整理番号	個人／法人等	職業	年齢	性別	ご意見の概要	御意見及びその理由
18001	個人	その他	80代以上	女性	ゼロシナリオ	原発は即時停止以外にありません。 国を滅ぼしたくなかったら、今すぐやめる以外にありません。
18002	個人	会社員・公務員	50代	女性	原発比率0%支持	東日本大震災で原発の影響をうけ、生活ができなくなった方がたくさんみえます。なぜその教訓を活かさないのでしょうか。今が良ければいいという考えはもう捨てるべきだと思います。
18003	個人	無職	60代	男性	「ゼロシナリオ」を選択する。本来、即時ゼロの選択肢も必要だ。原発事故の悲劇を再度繰り返しては、生命あるものへの更なる冒涜であり、生きる環境の破壊となり、到底許されない。又日本という国の命脈も尽きる。	政府も一体となっての頑慢な態度での安全性無視・国民騙しの原子力推進政策は、最早心ある国民の許容するところではない。加えて其の原発への信頼を再び取り戻せるものでもない。 再度、全生命に激甚なる被害の翼を及ぼさない為にも、2030年迄掛けて原発依存度をだらだらと下げるのでなく、一切の原発の再稼動禁止・稼動済みの原発は停止と、即時に原発依存をゼロにし、背水の陣を敷いての脱原発推進政策こそが、日本国政府の採る責任である。 更に、使用前核燃料の廃棄処理、そして使用済み核燃料の再処理もゼロにする為の具体的政策に加え、原発推進という此れまでの国家政策を放棄し、原発に依拠しない新エネルギーの具体的政策を練る。 また原発立地自治体の再生への道として、「脱原発交付金」の制度をつくる。
18004	個人	家事専業	60代	女性	原発依存率は0%にすると節電努力継続させ、現在の原発以外の発電能力の向上をすすめ、太陽光、地熱、風力発電を増設し、各種小規模発電の創設に国家の資力、人力を投入すること。	1）原発で核燃料を使用するのは合理的ではない。人類は核燃料を掘り出し、使用し、使用済みのものを無害にして保管するという全ての段階でその放射能の影響を 排除することが出来ないし、地球上の全ての生物への又その未来への大罪を犯すことになる。 2）複雑ないくつものプレートの上に形成され、しかも火山列島である日本の国土で祖先は地震、火山の爆発、津波に加え、台風、大雨といった烈しい気候に対峙しなければならなかった。そのためにこれまで知力の限りを尽くし、苦役に耐え、皆で協力するというすばらしい国民性を作り上げてきたのではないか。安易に「夢の エネルギー」なるものにすがる国民に劣化してはならないと強く思う。 3）自然エネルギーの開発、有効利用、は必須の未来型産業となるのであり、日本はすでにこの分野で遅れている。原発推進に知力、財力、人力を無駄に使ってしまった結果であり、悔やむに悔やみきれない国家の長期計画の失敗である。その失 敗を繰り返すどころか、更に上塗りすることは絶対に止めなければならない。 4）原発に反対する人は若い世代、特に、若い母親世代に多い。若い世代の夢や希望をつぶすのはどんな明日の日本になるか、恐ろしいことである。無理やり経済発展を推し進め、不安と罪の意識に生きねばならない世の中を若者に強要するのは経済界、政界の老人の大罪である。同じ老人として仲間に入れて欲しくない。原発絶対反対します。ちなみに私は長崎育ち、主人は広島育ちです。
18005	個人	無職	60代	男性	大飯原発は即刻停止しろ。全原発は廃炉にしろ。原発など必要ない。日本国の電気は石油‥石炭ですべて間に合っている。国民を舐めてデタラメをを言うんじゃない。	大飯原発は即刻停止しろ。全原発は廃炉にしろ。原発など必要ない。人間がコントロールが出来ない原発を崇神するなどキチガイだ。日本国の電気は石油‥石炭ですべて間に合っている。国民を舐めてデタラメをを言うんじゃない。 野田佳彦以下狂った売国奴等は即刻国会議員を辞めろ。日本国には必要ない者どもだし、いるだけで迷惑だ。
18006	個人	家事専業	70代	女性	原発0%を選びます	地震国日本、地震の都度、揺れ、津波、原発の恐れ、生きた心地しない。特に 原発、安心と思ってきたがこの度の　東日本大震災で人が住めない様な事が起きる。 今後は原発に頼らない方法で安心してすめる国でありたい。
18007	個人	自営業	40代	女性	原発ゼロシナリオを望みます。	すべての発電は大なり小なり事故を起こす可能性がありますが、日本が福島の事故で学んだのは、原発は一度事故を起こすと取り返しのつかない甚大な被害を及ぼすということです。このような危険な事業はしてはいけません。
18008	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオを選択します。ゼロシナリオの中でも即時ゼロシナリオを主張します。ゼロシナリオ以外は、原発の温存を前提としており、震災による原発事故（国会事故調報告参照）を受けた再考をしたとするに不足です。	ゼロシナリオを選択します。ゼロシナリオの中でも即時ゼロシナリオを主張します。ゼロシナリオ以外は、原発の温存を前提としており、震災による原発事故（国会事故調報告参照）を受けた再考をしたとするに不足です。 地震多発国の日本において原発がいかに危険であるかは明らかです。 電力会社の経営問題などは、別の側面からサポート、解決すべき問題で、そのための原発の存続は必要ありません。 原発のリスクは事故が発生すれば無限大で、通常の飛行機や自動車事故とは性質をまったく異にします。 原発無しを前提にエネルギープランを構築していただきたいと思います。国民はそれに応えるべく、節電に励み（といっても現状問題はピーク時電力のみ）、適切な電気料金を負担するのは、やむなしと思います。 ただし、電力会社の経営は厳格にチェックされるべきで、情報の偏在と、官僚、政治家との馴れ合いは許容できません。
18009	個人	法人等	60代	男性	選択肢は0%、最大の問題は核燃料廃棄物の問題がなにも見通しさえも立っていないこと。0%といえば1%、15%といえば25%、25%といえば40%、上限ではなく平均稼働率であるとか・・・	その理由は 1．首相は先送しりない政治といって、税と社会保障の一体改革を唱えているが、こと原発の核燃料廃棄物の処理方法、処理の場所の見通しが全くといっていいほどたっていないこと。 2．すでに現在までの廃棄すべき核燃料さえも各原発内保存の限界にきていること。 3．たった送り火の松でさえあの騒ぎになるのに膨大な核燃料廃棄物をどの地域が受け入れるだろうか 4．そのために核燃料サイクルがというのも原発があってのものだし、コストは埋設がもっとも安い。 5．さらに将来の日本の人口減からも原発がなければという論拠が薄れる。 6．また節電意識の定着から先の酷暑の日でも十分余裕があったようである。 7．結局原子力村とその周辺で生活している人たちの生活を守るために、日本の国土すべてを危険にさらし、膨大な地域支援交付金（税金）をばらまいて・・・。
18010	個人	自営業	50代	女性	ゼロシナリオ！	原発の即時停止を希望します。 化石燃料にも原発にも頼らない、新しいエネルギーの開発、実用を希望します。 風、太陽、風、小水力発電、フリーエネルギー……その気になれば、環境に負荷をかけないエネルギーはあるはずです。 原発を続けることは、一緒に自殺しましょうね、ということだと思っています。 自殺はいやです。 お願いですから。原発は即時廃炉の方向で、そこを出発点に、すべてを決めていって欲しいと思います。 木内鶴彦さんの発明や、非電化工房の博士の製品などに、もっと力を注いで下さい！ 使えば使うほど環境がよくなるような製品を保護し、環境に負荷をかけるものを流通させないような規制を希望します。政府のおやりになることはそういうことだと思います。
18011	個人	自営業	40代	女性	「原発依存度0ゼロ」を支持します。 原子力発電をやめて下さい。	「原発依存度0ゼロ」を支持します。 1．「エネルギー環境に関する選択肢」では、2030年においてとされていますが、即刻、原子力による発電を停止してください。 2．もっと電力を自由に取引できるようにして下さい。 3．省エネルギー・自然エネルギー・再生可能エネルギー分野の産業が発展するようにして下さい。 なぜならば、 原子力産業は未来をつぶしてしまうからです。 人間が作った物に絶対という物はありません。 形ある物はいずれ壊れ、壊れたときに被爆するのは、子供や孫・子孫です。 未来が被爆し、不安に触まれるのです。 将来の危険をはらむ原発は、安全であるうちに、技術者が現役でいるうちに解体し廃炉にすべきです。 日本は、原子力産業で世界をリードすることはできません。 少なくとも平成17年以降、原子力産業の人材育成が叫ばれていたのに、福島第一原発事故後、原子力と名のつく学科を志願する若者が激減しました。 原子力という産業を発展させるよりも、再生可能エネルギーや自然エネルギー 産業に未来を見いだすべきです。 原子力は、軍事産業と表裏一体です。 軍事国家ではない日本は、原子力利用産業ではなく、原子力安全廃止産業で力を発揮すべきです。 安全に原子力発電を止める。 これこそが、真の原子力の平和利用であり、日本の進むべき原子力のロードマップです。
18012	個人	自営業	40代	女性	原発ゼロシナリオを望みます。 福島の原発・・あのような危険を感じさせるまでのエネルギーが本当に必要でしょうか　エネルギーの生み方は他にもあるはずですので脱原発を望みます。	負の遺産を子ども達に残さないでほしい。。 すでに子どもの体にもたまっているかもしれない。。。たまりません。 あの事故以降　食べ物にもいろいろと心配な日々です。子どもの未来の為にも本当に必要なエネルギーはどういうものなのか　考えていくと原発は不必要と思います。
18013	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発は2030年と言わず、即時0%を希望します。	最終処分方法が決まっていないのに、今現在再稼働していること自体が問題です。地震大国の日本で原発を今後使い続けるのはいけないと思います。 未来の子供達を考えると断固、反対です。
18014	個人	無職	30代	女性	原発ゼロを選択。そして即刻であるべき。福島の事故の処理の道程も未だ立てられず、原発を扱う技術も知識も無いことが露呈した。扱えないものは使わないのが当然のことと思う。	原発の比率は、ゼロシナリオで行くべきである。 福島原発事故が明確にした事故のリスク、事故対応の無策。 そして未だに解決できない核廃棄物の処理問題。 原子力エネルギーを使用する能力が無いということ。 扱えないものを使ってはいけない。 想定される電力不足、経済的負担、日本経済の停滞、環境に対する負荷、それらを原発使用の続行と天秤にかけるような議論は無意味だ。 扱えないものは、そもそもその使用を考えること自体がありえないのだから。 2030年と言わず、今すぐにも原発を止めるべき。
18015	個人	会社員・公務員	40代	男性	福島原発事故の教訓から「ゼロシナリオ」を決定し、自然エネルギーの拡大に努力すべきです。原発立地市町村には新しい地域経済復興の施策を実現することを求めます。	「3.11福島原発事故」で明らかなように、原発の危険性から私たちの命を守るには「ゼロシナリオ」しかありません。原発を稼働し続けることは、将来にわたって危険な放射能を残すことであり、使用済み核燃料の処分技術や処分場所も不確定な中で、原発を稼働させることはできません。自然エネルギーへの政策転換を図るべきです。
18016	個人	家事専業	60代	女性	原発は地震大国の我国に100%安全ということがない限り、取り返しのつかなくなる大問題。大飯原発のように見切り発車は絶対にやめて欲しい。	原発は地震大国の国に100%安全ということがない限り、取り返しのつかなくなる大問題。大飯原発のように見切り発車は絶対にやめて欲しい。前例がないという理由で総理はデモの国民と対話しなかったが前例のない福島が起こったのだから耳を傾けて欲しい。国民はもう騙されないし黙っている限度を超えたとみんな感じている。
18017	個人	家事専業	60代	女性	アノ福島の原発事故を体験したのに、なぜ、すぐに原発は廃止して、他のものでエネルギーをという考えにならないのでしょうか。私は61才ですが、いま、3才と1歳の孫のこれからを考えると、とても不安になります。	毎日、食料を買う際、産地が気になります。福島だけでなくても、東日本のものはもうだめだとさえ思ってしまいます。アノ3月11日は、主人の仕事で、中国の広東省で草していましたが、3号機の核爆発も、中国のテレビは隠さずに、ライブで放映していました。ところが、日本では、枝野さんが、自分の子供と奥さんは、シンガポールへ逃し、、千代田区の番町小の子供や母親は、卒業式を欠席して、みんなで京都へと、かなり危険だということは、皆わかっていたのに、まるで危険ではないようなことを、枝野さんは毎日、毎日、、ああいうことに、外国から日本を見ているとこの国は大丈夫なのだろうかと、、今年の4月に帰国しましたが、2ヶ月ほど、咳がひどく、東京でもこんなにひどいんだとつくづく、健康だけは地震がありましたから、こんなに咳が長引いて、それも私だけではなく、周りの人も、同じような人が多かったのです。これは原発と無関係だとは思いません。再稼働反対のデモにはこれからも参加します。国もトップが考え直すまで、、、、20万人が集まった時も、家に帰ってテレビを見ても、NHKの大越さんは無視続けていましたが、NHKに無視されるのだけは許せないですよね。あそこに集まってる人たちは同じ気持ちだと思います。がんばりますよ。
18018	個人	無職	70代	男性	核暴走を阻止する構造・ｼｽﾃﾑ技術が存在せず、使用済み燃料の処置も、保管以外に不可能な現状では、なるべく早くｾﾞﾛｼﾅﾘｵに持っていくべき。	現在の100万kw級の大型施設は、炉心の核暴走に対応できる制御技術が、化学的、構造材料的、ｼｽﾃﾑ的いずれの面でも完璧でないし、人間の力では100%完璧なシステムは作れないのではないか、そのような中で、30年以上も経過したシステムでも、経済面から平気で使ってしまっている。 使用済み燃料の処置も、核燃料ｻｲｸﾙが期待できず保存以外に不可能な現状で、狭い日本の中では、保管場所も数少ない。老朽化の進んだ施設から順次廃炉にして、ｾﾞﾛｼﾅﾘｵを目指すべきです。 ただし、これは老人の意見で、若年層、中堅層の意見は別の観点から異なったものになるのではないか。最終的には、そちらの意見の方を重要視すべきと思う。
18019	個人	無職	80代以上	男性	本当は0%を選択したいところですが現実味に欠けると思います。15%を提案します。	再生エネルギーの不確実性
18020	個人	自営業	30代	女性	原発反対です。子供達に核のゴミを残してしまう事と、遺伝子を傷つけてしまう放射性物質そのものの恐怖と共存したくありません。	原発反対です。子供達に核のゴミを残してしまう事と、遺伝子を傷つけてしまう放射性物質　そのものの恐怖と共存したくありません。 今回の原発事故の為、茨城県から岡山県に移住しました。 3.11の1週間後に福島に引っ越す予定でしたが、突然変更になりました。 しかも、人為的ミスである原発事故の為に！ 私達は　いつも過ちを繰り返しています。 しかし、今ここで選択しなければなりません。 原発の無い世界を。核兵器の無い世界へ。 子供達に　どんな未来を託せますか？ 子供達にガラスバッジなどつけさせたくありません。 鼻血がでる子供をこれ以上見たくありません。 しかしこのままでは　子供達に限らず　全人類に甚大な被害が出て行くでしょう。 世界的な流れも　今　止めなければならない。 そのために　先ず日本から　変えていきましょう！ 海は　みんなのお母さんなのです！ その海を汚して　平気な顔をしている 魚が食べたい！ 海藻が食べたい！ 貝が食べたい！ 夏なんだから、海で思いっきり泳ぎたい！ 現実的に　一歩づつ　よく考えて行動しましょう。 まず　原発を止める事 再稼働なんて　してる場合じゃないでしょ 放射性物質分解の研究も　進めて欲しいです。
18021	個人	家事専業	60代	女性	エネルギー・環境に関する選択肢」に対する意見 原発を0%に。	この度の原発事故は人災であることが認められました。日本列島の構造から、地震、津波の脅威にさらされている日本で原子力発電は行われるべきではありません。ありませんでした。 私達も知らず知らずにあふれる電力のもとで生活していくことから脱却する時が来たと思います。 この豊かで緑あふれる日本列島に住み続けるには再生可能な電気が必要です。これまで原子力にかけてきた時間・知恵・お金をその開発に向けてください。 自由に電力を選ぶことができるのも一つの過程と思います。 原子力・負の遺産はこれ以上残してはいけません。 次の世代の為に、子供や孫たちが健康で安全な日本でありますように強く願います。
18022	個人	無職	60代	女性	地震の多い日本では原発はゼロにすべきです	福島原発事故で安全神話が崩壊し、放射性物質をまきちらし国民は安心して生活することができなくなりました。特に十数万人が故郷を失うなど犠牲を払ったことには心が痛みます。このような事故を再び起こさないためにもエネルギーは原発ではなく自然エネルギーでまかなうよう政策として制度化すべきです。金ではなく命、自然を大切にする日本になるのであれば大いに省エネに協力できます。

18023	個人	その他	30代	女性	2030年の原発依存度は「ゼロ・パーセント」にするべき。	できることなら今すぐにでもゼロ%にしてほしいところです。 福島第一原発の事故以来、外出するにもマスクが手放せず、食べる物の放射性物質汚染にも神経をつかわなくてはならなくなっています。 福島の事故も未だに収まっていないのに、他の原発を再稼動させるなんてありえません。 そもそも原発には「絶対安全」ということはないので、次に福島のようなことが起こったら日本は終わりです。 また、原発を稼動させるには、非常に危険な作業に従事する作業員が多く必要です。 この仕組みについても、何次もの下請け会社の作業員が危険にさらされ、なおかつ搾取されるような形になっており、容認できません。
18024	個人	自営業	50代	男性	原発ゼロ% 即時廃炉	当たり前の意見である。 あれだけの福島原発事故で、今まで当たり前のように将来の新エネルギーと思ってきたものが、「安全神話」の名のもとに騙され続けてきたことがよくわかった。 原発マネー、電力マネーをふんだんに使って世界のトヨタより高額予算を使って競争のない広告が必要がない電力会社及び電事連が、マスコミ対策、国民の洗脳のために使ってきて、それらは全て国民の電気料金から算出されていた。 さらに、事故を起こした同じ「安全神話」を使って再稼働するに至っては、もうこの国は崩壊に向かっているとしか考えられない。 聴取会でのヤラセ、電力会社員に、未だ答弁させる何も変わってないということの証左だった。 絶対に原発反対、再稼働反対、これ以上国民を馬鹿にすることは許さない。
18025	個人	無職	60代	男性	直ちに停止。 理由 (1)使用済み燃料の処理が今も目途なし。 (2)福島第一原発の事故は地震によるもので有り。冷却水・電源・窒素・ 圧空等が絶たれた結果で、地震国日本では使用すべきでない。	(1)各リサイクルは他の国も諦め、日本での開発も目途はない 直接処理ではさらなる地元の反対で進まないし、地震国内では不可能。 (2)原子炉本体や格納容器は耐震性はあったが、冷却水の配管・電源・窒素 圧空用コンプレッサー等が甘い設計である。(地震の無い国の設計) 原子炉本体・格納容器内の異常圧力に対して、人間の判断による遠隔操作 での、放出弁操作では想定外の現象が発生する。 住民に説明し(納得しないかも)緊急時、機械的に開く安全弁を設置すべき である。世の中のすべてのメイヤーには、安全弁が設置されている
18026	個人	無職	80代以上	男性	ゼロシナリオを支持します。	原子力発電所が稼動している限り、放射性物質が増加し続けます。従って放射性廃棄物も増加し続けます。それは、炭酸ガスよりも更に重大な悪影響を全世界の生物に及ぼします。安全性、経済性を云々する前にその事を重視すべきです。
18027	個人	その他	50代	女性	国は、未来を担う子どものために原発ゼロをめざし、国の政策としてすすめるべきです。	3・11以降、なにげなく使っていた電気、エネルギーについて深く考えさせられました。自分なりに節電に心がけています。 東北、福島でいまなお、被災して元の生活にもどれていない方達を思うと、本当に心が痛みます。 これだけの大きな災害や原発事故がありながら、国はまた、エネルギーを原発に求めようとすることが私には理解できません。福島の子どもたちはいまなお、福島に帰ることもできず、福島にいても外に出ることもできません。(でれても短時間)多くの方が故郷をおわれ、県外で仕事をして暮らすことを余儀なくされています。そのような福島の方を救うことより先に、原発にたよる政策を国がすすめていることを、福島の方にどのように説明するのでしょうか。 放射能の影響は、どのくらいあって、どのように表れるか予測が付きません。特に子どもにその症状がでたときには、国と東電はどのように責任をとるのでしょうか？とれるのでしょうか？ もうこれ以上原発に頼るエネルギー政策をやめてください。原発ゼロのシナリオで日本はこれからエネルギーを考えてください。
18028	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオを支持します。	・福島原発事故で明らかになった原発の危険性から私たちの命を守るためには「ゼロシナリオ」しか選択の余地はありません。原発を継続させることは、すなわち将来にわたって、どうすることもできない放射能と放射性物質を残すことになります。使用済み核燃料をどうするかの技術も処分場所も不確定なまま原発を動かしていくことはできません。「ゼロシナリオ」を決定し、自然エネルギーの拡大に努力すべきです。
18029	個人	家事専業	30代	女性	1、ゼロシナリオです。 ただし、2030年までではなく即刻です。	原発の即刻停止を主張します。2030年までにではなく「即刻」です。 理由は、福島のような事故を「絶対に」二度と起こさないためです。 原発の物理的なシステムも、それを管理する人間についても信用できません。 人間は必ずミスをします。 原発が動き続ける限り「絶対に」事故を起こさないということはありえないからです。
18030	個人	会社員・公務員	70代	男性	原発が絶対に許されないのは、使用済み核燃料の処理技術がないからです。現実に、溜まり続ける"核のゴミ"を前に、誰もなす術がないではありませんか。次世代以降に負の遺産を押し付ける権利をお持ちですか。	原発は直ちに全機停止し、廃炉作業を始めるべきだと考えます。廃炉のための技術、知恵を全世界から結集し、ロードマップを作成して、粛々と処分すべきだと思います。 その理由は、(1)過酷事故が起きた場合の影響があまりにも大きすぎることです。放射能で大気が汚染され、大地が汚染され、海を含む水が汚染されます。人が住めなくなります。動物が死にます。魚介類が食べられなくなります。 (2)概要にも書きましたが、使用済み核燃料の処分技術がないことは、決定的です。フィンランドでは、オンカロと称する地下の処分場へ直接、使用済み核燃料を埋設するこうじが進んでいるようですが、複数のプレートの上に載っている日本列島では動かない安全といえる岩盤はないようです。仮にあったとしても、たとえば放射能半減期が25万4千年もののプルトニウムを埋設して、それが安全を保てるかは、誰にもわかりません。 (3)太陽から降り注ぐエネルギーをはじめ、再生可能エネルギーの開発に全精力を注ぎこむべきです。風力、潮力、水力、地熱などをはじめ、バイオ技術も開発すれば、十分に賄えるはずです。 <u>原発を動かし続けることに、わたしたちの税金を無駄遣いすることはおやめください。あなた方政府、官僚、電力会社には、反社会的なエネルギーに税金を投入する権利はございません。</u>
18031	個人	無職	60代	女性	脱原発に進めるようにお願いします。	今すぐ実施出来るものでない事は理解しています。再稼働も推進も止めて下さい。原発で世界のトップを狙う国策もあったでしょうが、余りのも未熟であった事を露呈してしまっています。事故時に対する対策もなされてなかった事を米国を通し知りました。自民党が進めた原発のつけですが、退く勇気を持つ党ではないようで残念です。今の政府と電力会社の吐く言葉は世界の恥として広まっているのではないでしょうか。
18032	個人	会社員・公務員	60代	男性	当然0を目指すべきだ。	１日も早く選挙で信を取ってほしい。このような重要な案件は選挙をして、民主党が消滅してからの話だ。消滅、ワイルドだろう？
18033	個人	無職	30代	男性	国民や自然環境に悪影響を及ぼした原発を今後運用する意図が全くもって理解できません。原発0%を切に希望します。また、その後の各原発の安全確認・安全保持・緊急時の対応策等のアフターケアもお願いします。	エネルギー問題は各国切実な問題だと思います。 しかし、想定外の問題が起き、チェルノブイリ以上の環境汚染を抜けてしまった日本が、このまま原発に一部依存していくメリットがわかりません。これから起こるであろう想定外の自然災害、そして今回の福島原発のメルトダウン・水素爆発・汚染水漏れ等、地元、東日本、太平洋及び沿岸地域への人間を含めた生物への健康被害を考えると、再生日本・団結日本として、原発0%、クリーンでグリーンな明るい日本を国民及び全世界に打ち出した方が、明るい未来が見えてくるのではないでしょうか？次世代の労働力なくては、未来の明るい日本は描けません。 そして、原発が止まればいいだけではありません、きっちりとしたその後の安全対策、クリーンエネルギー対策・教育が必要です。それを長期的に国民とカを合わせて実行していく必要性があると思います。少々不便でも、少々経済的に厳しくても、健康に生活できる方が、どんな自先の経済成長・安定や便利さよりも大切であると思います。10年後、20年後、100年後…その時に時代を振り返った時、現代の日本政府は英断をしたなと思われ・感謝されるような歴史的ターニングポイントを作りませんか？ さらに、私は日本だけ原発を止めればいいと思っていません。現在私の住むドイツは、全原発停止しました。しかし周辺諸国はまだ原発が動いています。日本の周辺諸国もしかりです。原発稼働国が速やかに絶対安全神話が崩れた原発に依存することから脱皮し、将来的に環境や人類への負担の少ないエネルギーへの移行を図めていきませんか？技術力・開発能力に定評のある日本が率先して、次世代に繋げる持続可能なエネルギー開発・実用を進め、環境にできるだけ負担にならないライフスタイルを提案していきましょう！
18034	個人	会社員・公務員	40代	男性	(1)ゼロシナリオを選択	何よりも大切なのは人の命。 今迄援ってきてくれた我々の祖先、 将来の子孫のことを想えば ゼロシナリオ以外にない。 外国、政党、企業や個人の利権 全てを捨てて議論すべき内容です。 尚、 この登録システムも周知が圧倒的に足りない。 広く全国民に知らすべき。 政府配慮の足りなさを痛感すべき。
18035	個人	自営業	30代	女性	負の遺産である原発は地球のために良くないので日本は脱原発国家としてこれから生まれ変わることを願います。	負の遺産である原発は地球のために良くないので日本は脱原発国家としてこれから生まれ変わることを願います。
18036	個人	その他	50代	男性	(1)ゼロシナリオを選択します。	日本は地震国である。かつて地震の起きなかった地域は無い。 2011年3月に福島第1原発で4基の原発が爆発メルトダウンを起こしている。史上最悪の事故である。収束の目処も立っていないし、事故原因すらいまだ確定していない。この現状で原発を推進する事は我が国民だけでなく、世界に対しても無責任の極致である。 核廃棄物の処理はどうなっているのか。日本人は廃大な死の灰と共に生きよというのか。我々は原発を放棄するしか選択肢はないのである。
18037	個人	無職	60代	男性	これ以上の放射線被害はあってはならない。 原子炉の安全は他の技術以上に完璧性が求められるが、現状では信頼性が低い。 電力の浪費生活を改めるため、政府が啓蒙の先頭に立ってほしい。	意見 原子力発電は即時運転停止とし、可及的速やかに燃料棒は国民に被害を及ぼさない場所へ移動、保管するよう処置をすること。 原子力発電所は計画的に撤去するよう処置をすること。 原子力発電の代替は当面火力と水力を主力とし、再生可能エネルギーによる発電のコストを低下させるよう、開発をすすめること。 大企業に対しては自家発電装置で消費の何割かをまかなうよう義務づけること。 都市の過密化の解消をのぞむ、疎化を推進すること。 自動販売機、コンビニ等の24時間営業を見直すなど、電力浪費見直しの啓蒙を行うこと。 理由 日本国民は広島と長崎、水爆実験、原発3度の深刻な放射線被害を受けてきた。もうこれ以上は甚大な放射線被害はあってはならない。 電力需要にどう対処するかとの疑問には政府はそれをよりどころに原発容認の態度をとるべきでなく、むしろ後世代の安全のために脱却の方針を立てるべきである。 使用後の核燃料の安全な技術は確率のめども立っていないということである。地震被害がいつも心配されている日本で、原子炉の複雑な配管がどのような破壊力を受けるかも定かではない。 原発の立地は比較的人口密度が低いところになっているところに、安全への不安を認めていると思っている。また、適切な地域振興策をないがしろにして札束で原発を押し付けてきたことに怒りとともに恥ずかしさを感じている。
18038	個人	家事専業	30代	女性	2030年までに原発稼動率0パーセントを目指す。という意見に近いですが、 前倒しで、今すぐ稼動をやめてもらいたいです。	人の命をかけてまで原発を動かし続けるのは、もう無理があると思います。 日本に人が住めなくなれば、元も子もないです。 政府の皆さんの良心を信じています。
18039	個人	家事専業	40代	女性	原発はいらない。	経産相や電力会社、関連組織は高額給与だけもらって責任とらないし、リスク管理もできなかったのに、誰も逮捕されないから。 送電分離、西と東の規格統一をするべき。 太陽光発電や風力発電、地熱発電を増やすべき。 核燃料を始末する技術開発を継続しノウハウを海外へ輸出。 私達の世代で土や空気、水に消えない毒を撒き散らしたことが 子孫に申し訳ない。
18040	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発依存度(1)ゼロシナリオ支持します。	福島の原発事故があって、意識が変わりました。 原発は絶対安全はありえないし、一度事故が起こったら 人間の力では制御できないものだと痛感しました。 子供を持つ親として、子供を守りたい、未来を生きる子供たちの 環境を守らなくてはなりません。 自然エネルギーの開発を推進し、原発ゼロの未来、安全に暮らせる社会の実現を切に願います。 もし、また事故が起きたら、日本はもう立ち上がれないと思います。事故がいつどこで起きてもおかしくない環境だということを 考えていただきたいです。 国民の生命の安全を守ってください。 福島の事故から目を背けないで、福島の事故をなかったことに しないでください。
18041	個人	法人等	30代	女性	シナリオゼロを希望。環境に関しては、核のゴミと放射能汚染で温暖化とは比較にならない環境汚染。経済については、使用済み核燃料処理費用、今回の原子力災害の経済的損失も加味して試算を。	原子力発電が、経済にとって必要かどうかと、原子力発電が安全かは、全く次元の違う問題であり、そもそも別々に考える必要があります。 今回の原子力災害を鑑み、原子力発電は制御可能なシステムとも思えませんし、電力会社のみならず国家としても対応不可能な問題ということがわかりました。安全に発電できない以上、稼動するべきではありません。また、ひとたび、放射能に汚染されたら、その地域の生活も産業も破壊されるということも分かりました。地球規模での異常気象、農作物への影響が心配される昨今、放射能汚染は、日本の自給自足率をあげることに大きな妨げとなることもわかりました。食の安全を担保するのは国家の義務と考えます。 わたしは2歳の子供とともに、東京都在住ですが、生活のあらゆる場面で、放射能汚染とともに生活しています。内部被曝の影響については、これから明らかになってくることのほうが多いでしょうし、影響がでて初めて因果関係が議論されるということでは、東北・東日本の広域で大規模な人体実験が展開していると受け止めています。この実験は今回限りで終わりになることを切に願います。 世界に誇る日本の技術を駆使すれば、いまよりも更なる省エネルギー＆期待できますし、再生可能エネルギーの割合を上げていくことで、新しい需要を増やし、経済の活性化が期待できます。原子力産業と決別することで活性化する分野があります。 <u>過去の原子力発電所事故の歴史に学び、今回の原子力災害を教訓に、原子力発電ゼロを希望します。</u>
18042	個人	家事専業	50代	女性	ゼロシナリオ指示。原発事故による人的、経済的被害の大きさは甚大、即刻廃止すべき。節電、蓄電技術の向上、原子力以外のエネルギーの開発に予算を回す。金銭的負担が増えたとしても、将来的にはプラスに転ずる。	ゼロシナリオ指示する。 原発事故による人的、経済的被害の大きさは計り知れず、即刻廃止すべきと思う。節電、蓄電技術の向上、原子力以外のエネルギーの開発に予算を回し、電力不足に対応する。金銭的負担が増えたとしても、将来的にはプラスに転ずることなる。 原発の維持費用、事故が起こった場合の補償費用、廃炉の費用、正確に計算すれば、「安い電力」というのはまやかしに過ぎないことがわかるはずで、原発を廃止することで、当面の電気代の負担が増えるということばかり強調して選択を迫るのは、国民に対して情報公開の義務を果たしていない。
18043	個人	自営業	30代	女性	核のごみの捨て場など地球上にはありません。核燃料リサイクルも破綻しており、このままでは核のごみは増え続けます。原発依存度をゼロパーセントにするべきです。	日本には、資源が無いと言われて久しいですが、だからと言って、核のごみの捨て場がある国土でもありません。 東日本大震災により、国民の意識が変わっている現在、節電をもっと訴えて、原発に頼らない国にするべきだと思います。 仮に、日本が地震大国ではなく、原子力発電が100%安全だと言い切れたとしても、増え続ける核のゴミ、汚染水、などの廃棄物の処理方法が確立しない限りは、絶対に原子力発電をやめるべきです。 政府や、電力会社は、国民に、消費者に本当のデータを公表すべきです。ゆがめられたデータや将来増で、電力供給不足が怖いというイメージを押し付けず、計画停電を取り入れたり、時間帯別に料金を変えるシステムを取り入れたり、電力不足を防ぐ方法はいくらでもあるはずです。 日本には資源がありますが、日本人には優れた知恵と思いやりの気持ちがあります。日本人が本気で工夫すれば、電力不足は起こらないということを世界にアピールしたほうが、かっこいいでしょう。 自然エネルギーを進めることも大事ですが、コストの問題で限りがあり、原発のエネルギー量に追いつくには少し時間がかかりそうです。 だから、まずは節電です。 <u>電気が足らない、足らない、ではなく、無駄な電気の使用をなくす努力、計画停電、昼間の電気代の値上げなどでもっと国民の協力を求めようではありませんか。</u>
18044	個人	学生	30代	男性	「1．ゼロシナリオ」を選択します。	「1．ゼロシナリオ」を選択します。 2030年の目標ではなく、原発全基停止・廃止がすぐ必要だと思います。

18045	個人	家事専業	70代	女性	原発ゼロシナリオ	「2012年6月27日脱原発ロードマップ第1次提言　脱原発ロードマップを考える会」の提言の中にあるように 　原発は、リスクの巨大さでも、放射能廃棄物の問題でも、「倫理的」なエネルギーではありません。一旦事故が起これば無限大の被害が発生する可能性があるうえ、一度に大量の電源が失われます。また、未だに放射性廃棄物の最終処理が確立できておらず、仮に確立できたとしても、10万年以上の長い管理が必要とされるものです。 　原発による被害を受けるのは、原発の利益を享受している現世代の人々にとどまりません。「未来の世代」の人々も、事故のリスクに晒され、放射性廃棄物を大量に抱え込むことになります。今意思決定することのできない未来の世代に、膨大な付けを回すべきではありません。
18046	個人	会社員・公務員	50代	女性	脱原発の理由	日本のエネルギー問題に関して、脱原発を希望する第一の理由は、これからの時代を見据えて、21世紀を標榜するにふさわしい新しい国家の姿を、アジアの先陣を切って、日本に切り開いていってほしいからです。経済成長一辺倒ではなく、自然と人々の暮らしが調和し、活力ある個人や企業が誇りを持って生きられる平和な国へ。そのためにも、エネルギー政策には多様なあり方を求めます。 第二の理由は、もうこれ以上日本の国土を危険にさらしてほしくないということです。豊かな水、土、空気、そこにある多様な生態系とそれに連なる人間。福島の原発事故はそのすべてを破壊しました。日本経済が発展したのは、もとをただせば、豊富な水や土があったからではないでしょうか。政治家も経済界もそのことを忘れています。「日本列島改造」、近頃は「強靭な国づくり」などの声が聞こえますが、その発想が時代錯誤で、そこから抜け出さないと新しい日本はみえてこないと思います。 第三の理由は、使用済み核廃棄物の問題に道筋がついていないからです。 それこそが、子や孫の世代に大きな借りをつくります。日本のような狭い国土で、核廃棄物を処理できると考える方が無理ではないでしょうか。原子力発電は、ただ安全性を高めれば稼働してもいいという話にはならないと思います。

18047	個人	無職	60代	男性	これほどまでに悲惨な大事故を起こしていながら、まだ気づけない人たちがいることを不思議に思う。	原発はゼロにしなければならない。核エネルギーは人類にはいまだにコントロール不能だ。10万年前後も経過しなければ放射線に安心できないような膨大な核のゴミを出し続けて、いったい未来の人類になんといってお詫びするつもりか。 本気にさえなれば、原発以外の代替エネルギーの開発はもっともっと早いスピードでできたはずだった。 政府は早く本気になれ。 原発の輸出など、世界から「厚顔無恥」といわれているのを知らないのか。
18048	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオを選ぶべきだと考えます。 理由は放射性廃棄物の処分方法がないことです。地中に埋めるのは無責任すぎます。 また人間がやる原発が絶対に安全だということは、あり得ないからです。	ゼロシナリオを選ぶべきだと考えます。 理由は放射性廃棄物の処分方法がないことです。地中に埋めるのは無責任すぎます。 また人間がやる原発が絶対に安全だということは、あり得ないからです。 2030年を待たずに、即時、全原発の廃炉を望みます。
18049	個人	無職	60代	男性	2030年までに原発を0までにする力を日本は持っている。それまでに原発をよめるべきだ。福島の被災地を見れば誰もが思うはずだ。	最近福島へ行ってきました。ゴーストタウンでした。政府は日本を潰す気ですか？日本沈没です。
18050	個人	会社員・公務員	30代	男性	エネルギーや環境政策など、わが国の行く末を左右する重要な事柄を議論・決定する際には、国内経済や国民生活、雇用はどうあるべきか等について、筋道をつけつつ冷静な判断の下での選択肢を国民に示す必要がある。	今回の選択肢は、そのいずれもが、今後想定されるわが国経済への下押し要因を過小評価していることや、もっとも重視されるべきコスト抑制や空洞化防止のための具体策が示されていない、エネルギー比率の転換によって国民一人あたりの負担がどのように変化するのかが不明など、あまりにも目の粗いシナリオの下で策定されたものである。 また、いかにしてCO2を削減するかに関心が集中するあまり、「原子力対再生可能」という極めて狭い図式の中でエネルギー比率を決定しようとするあまり、国が存続していくための大原則である、経済成長とのバランスという観点を著しく欠いている。したがって、生活者という観点に立てば、3つとも選択に値しないというのが率直な意見である。 その中で敢えていうことであれば、「20～25%」を選択せざるを得ない。しかしそれとて、経済成長とのバランスの上ではきわめて不十分である。これまでのエネルギー基本計画がそうであったように、いずれ実態を加味した見直しがなされると思うが、その際には、一時的な感情に流されることなく、この国はいかにあるべきかという道筋をしっかりと示しながら、総合的かつ地に足のついた冷静な議論が、早期に開始されることを強く要望する。
18051	個人	自営業	40代	女性	CO2の削減量も再生可能エネルギーの導入により23%も上がることから、「ゼロシナリオ」の採用を希望します。3.11により原子力エネルギーの活用は、人間の計算通りの安全性を保てないことが明白になった。	人間は本来、地球の仕組みの中で頂点にあるのではなく、その循環の仕組みの一部の存在にすぎません。しかし、人間にはすぐれた知能が備わっています。その知能を、全存在が調和的に暮らすことに使うか、破滅する方向に使うかを考えた時、現段階で調和的なエネルギーであると考えられる再生可能エネルギーを選ぶのは、永続的な未来を考えると然るべきだと思います。 今、人類は破壊と調和という2つに分かれた未知の岐路に立たされているのではないでしょうか？ 目の前の視野の狭い利益に囚われず、広い市リスティックな視点による日本政府の選択を希望します。 3.11により原子力エネルギーの活用は、人間の計算通りの安全性を保てないことが明らかになりました。また、それによる健康被害、その土地に暮らす人々の生活基盤の損失、地域コミュニティの崩壊は、日本、そして広く考えると地球を決して持続可能で幸せなものには、成し得ないのではないかと思います。 国民の税金を破壊に使わないでください。日本が先進となって、調和的な人間の暮らしのモデルを示していく機会だと思います。3.11の時に日本人が表した高い精神性と調和と共に、エネルギーの選択においても、良い事例を示す時期に来ていると思います。 意思決定をされる政府の皆さま、よろしくお願いいたします。
18052	個人	その他	50代	女性	原子力発電所は、今すぐゼロにするべきである。	1.やればやるほど、核のゴミが増える。 2.10万年後には、人類は滅びている。およそ日本という国など存在するはずがない。保管などできるはずもない。ウランをもやせば、核のゴミが1－10億倍にも増えると言われる。キチガイに刃物状態です。 3.地球温暖化がまやかしであると世界的に認識されている（御用学者以外の何人もの東大教授が主張している）のに、まだ日本のマスゴミは間違った情報を流している。二酸化炭素がブルトニウムの危険性を上回るような既理屈は成り立たない。 4.原発維持派は既に論理が破綻している。
18053	個人	無職	50代	女性	原発依存度ゼロを求めます。福島の事故の解明がなされないまま、なし崩しに 再稼働を進めるのは、国民に対して誠意のないやり方です。	今回の事故が起こらなくても、核燃料廃棄物の処理はただ地中深く埋めるだけしか方法がないのに、こんな事故を引き起こして以前の環境を取り戻すのに 天文学的な時間がかかるという。 こんなエネルギーは要りません。一刻も早く再生可能なエネルギーへの政策転換をすすめるべきです。そのための不便や我慢ならあえていとわない国民は 多いと思います。
18054	個人	その他	60代	男性	20～25シナリオ、エネルギー安定確保の面で化石燃料には頼れない。太陽光や風力は、火力等でバックアップできる限界を超えると、膨大な系統安定化費用を必要とし、現実的でない。温暖化対策面でも原子力が必要。	エネルギー政策は、エネルギーの安定確保、コスト、地球温暖化対策、環境への影響等を総合的に勘案して決められるもの。福島事故で避難を余儀なくされたことは遺憾だが、一般の方々の被ばくは発がんの影響が確認されるレベルでない。一方IPCCの報告書によれば、温暖化ガスの放出は現状で地球が吸収できる量の2倍以上であり、今後世界全体で1／2以下に低減し、放出量の多い先進国は80%程度削減しなければならない。近年、これまでに経験したことのない豪雨や竜巻などを身近に感じる機会が多くなった。世界では、熱波や異常乾燥で穀物などの生産に影響が出ている。温暖化の進展は、次世代の人類や生態系にとって死活問題となるリスクをはらんでいる。二酸化炭素低減に効果が大きいのは原子力発電である。省エネや再生可能エネルギーに加え、事故に学び安全性の高い原子力を世界で使用することにより温暖化による大きなリスクを防ぎたい。この観点で、シナリオに含まれませんが、本来は2010年6月に閣議決定されたエネルギー基本計画がベストと考えます。
18055	個人	無職	60代	男性	脱原発を早期実現するために、原発村はわが国のエネルギー資源の情報を隠蔽するな！	再生可能エネルギーの開発に時間を要すから、当分の間は原発が必要だ！と、電力会社も国も 国民に訴えているが、火山国日本だからこそ、周辺の海底にメタンハイドレードが大量に存在している事実を、何故か隠したがっている姿勢が許せない。 利権団体（原発村）にとって不都合だからとしか思えない。 独立総合研究所の青山繁晴氏が、最近　私費を投じて、兵庫県沖合いと佐渡島近海を調査した結果、 メタンハイドレードが露天掘りの状態で海底に露出していることが判った！と発表しておられました。・・採掘には、海底油田の採掘方法で充分可能だとのこと。 南鳥島の近海でレアメタルの鉱床が発見された時、大々的に報道したのに、エネルギーは頑なに隠そうとする意思が見え見えである。 先日、佐渡島近海で、シェールガスの発掘調査を行うと政府は発表した。 調査には何年も要すとか・・採算無視の事業を敢えて開始するのは、メタンハイドレードの発掘調査を妨害するためのものである事は明々白白である。 始終は、目の前の海底に只同然の資源が寝ているのだから、メタンガス使用の火力発電を勧めるべきだと思う。 メタンガスは、石油や天然ガスと比し、遥かに二酸化炭素排出量を削減出来る。 自前の資源で大きなコストダウンが実現し、安全性にも大きく貢献する。 政府には、圧力に屈せず、前向きに取り組んでいただきたい。
18056	個人	パート・アルバイト	50代	女性	ゼロシナリオを支持します。可能な限り再生可能なエネルギーへの移行を希望します。震災の教訓は、「想定外」は起こりうるということ。安全が確保されない原発は、子孫のためにも廃止すべきです。	目先のことを考えれば、今の産業や経済を維持しながらだんだん減らす方向にと いう、「15シナリオ」が万人受けする考えになりがちですが、今回に限っては原発は「0」にするべきです。福島の現状をみると、原発事故の脅威は、想像をはるかに超えています。目に見えることだけではなく、体の奥にまで影響を与えていますし、2度とあってはならぬことです。万全の対策をしても、事故はおこりますし、ましてや自然が相手の場合は、防ぎようがありません。多少の不便は我慢するので、原発はなくしてほしいです。 これを機会に、技術国である日本の誇る科学者や技術者に大いに奮起してもらい、原発に代わる自然エネルギーの研究開発や実用化に取り組んでいってほしいです。 次の世代の若者を、原発の脅威にさらさないようにするために、今「原発0」の勇断が、必要な時だと思います。
18057	個人	自営業	30代	男性	「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張 大飯原発、志賀原発、敦賀原発、ほぼすべての原発直下に活断層。地震学者は皆巨大地震のサイクルに入ったという。再度過酷事故が起きたら日本は終わる。	「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張 大飯原発、志賀原発、敦賀原発、ほぼすべての原発直下に活断層。地震学者は皆巨大地震のサイクルに入ったという。再度過酷事故が起きたら日本は終わる。
18058	個人	家事専業	40代	女性	再稼動はせず、0パーセントのまま、ずっといく。	＊まず　使用済み核燃料の処理場所、方法が確定されていないというのに、稼動させて、さらに使用済み核燃料を増やすなんて無責任すぎる ＊大飯原発にしても、安全が確認されたというが、ベントもない、免震棟もない、周辺住民の避難経路も確認されてない。いざというときの資材の搬入を誰がどのようにして行うかなどもきめられていない、おまけに地下に活断層があるかもしれないのにまともに調査もしない こんな、ないないづくしで、どうして、安全が確認されたというのか？ 野田総理が、責任を取るというが、何か起こった場合、総理や例え総理の子孫がみんなな切腹したところで、何も戻らない、何の責任も取りようがないことは明白である 居住地、仕事、全てを、何の落ち度もなく奪われた福島の人たちは、はした金をもらっただけで何一つ元に生活に戻れるような補償はなされていない。 電気は節電すればよい 他の方法で発電すればよい この地震国日本で無責任に原発を稼動させてはならない。
18059	個人	会社員・公務員	20代	女性	ゼロシナリオを支持します	原発によるエネルギーをゼロにすることを希望します。 福島の事故は、1年以上たつ今も終息しておらず、福島第一原発は危険なまま、住民は帰宅できないまま、解決のめどもたっていません。 どれほど多くの人が苦しみ、どれほど多くの損失があったことでしょうか。 二度と同じことを繰り返してはいけません。 ここでまだ原発に頼っていては、あの事故から何も学ばなかったことになってしまいます。 愚かで恥ずかしいことです。 万全を期しても、100%事故を防ぐことはできません。 もし再び同じ事故が起きたら、日本はどうなってしまうでしょうか。 そのような危険と隣り合わせで暮らすことは望みません。 原発で使用した核燃料は、安全に最終処分する方法がありません。 そのようなものを使い続けては、未来へ負担をかけるばかりです。 未来の子どもたちへ、そのようなものを残したくありません。 本当に原発によるエネルギーがなければ私たちは生活ができないのでしょうか。 私は今ほど便利で贅沢な生活ができなくても、安全で安心して暮らせる生活の方を望みます。 少しの不便は受け入れる覚悟があります。 今の私たちが安心して暮らせること、未来の子どもたちも同じように安心して暮らせる社会を残すことを望みます。 どうか国民の意見を聞いてください。 政府が国民の意見を聞かずに政策を進めてしまうことが不安でなりません。
18060	個人	無職	60代	男性	電力は余裕が必要であり、選択肢3が現実的解決の道です。	選択肢3を支持します。 原発ゼロは、昨年の事故を受けたヒステリックな「感情論」「原発恐怖論」が根底にあると思われます。また、昨年一度しか経験してないにもかかわらず、節電すればなんとかなるという甘い精神論は排除すべきです。 さらに再生エネルギーに関する楽観的見通しもあると思います。たかが10数年で再生エネルギーが大きく伸びるとは考えられない。一方、過度な火力への依存は経済的負担が大きく、さらに国家の命運を資源国に握られるという決定的な弱みがあると思われます。 電力は国を支える経済、人々の健康な生活、社会の安定的発展にとって決定的に重要なものです。それは世界の現実と歴史が証明しています。既存原発の安全確保、原子力技術の維持・発展からも選択肢3が一番現実的です。
18061	個人	その他	60代	男性	原発は今後稼働しない。稼働している原発は即停止する。	1．福島はいわゆる想定外と東電・政府・ムラの学者は言っているが、現在存在する原子炉は、すべてこの想定外の思想で作られたものであり、その想定外の思想が崩れた今日、存在することが悪である 2．今後、もし原子炉に何か異変が生ずれば、日本国が滅びることになる。滅びるとは外国からは相手にされないことになることである。 3．原子力発電がなくなった場合に電力不足を問題にされるが、無くすことを前提にすることにより、新しい発想が生まれてくるものである。なんとかごまかしてでも原発を稼働させようとする発想があるかぎり、次に進むことはできない。 4．ムラの人たちは使用済み核燃料の処置をどうするのか、考えることすらできない未来の何十万年もどうするのか、極めて無責任である。「われてき後に洪水よ来たれ」か。
18062	個人	その他	60代	男性	ゼロシナリオを支持いたします。	福島第一原子力発電所の事故は、商業原子力発電所の危険性を明らかにしました。この危険性は災害に対するシステムの脆弱性だけでなく、人類が原子力を適正にコントロールして使うことができるかという根源的な問題を露呈させました。 原子力の利用の夢のエネルギーとして受け入れられ、すでに長きにわたって我々の生活を支えてきました。しかし福島で起った事故をみると、安定してエネルギーを供給する装置として完成していないばかりか、使用済み燃料の処理も確立されていないシステムであることが、国民に明白な事実として突きつけられました。 この事故で、放射能汚染のためにたくさんの人々が土地を追われました。事故により人命は失われていないとの主張もありますが、今回の放射能汚染の影響については年月の経過を見ないと、確定的なことをいうことができないと考えます。 原子力利用を、一つ一つの問題を克服して再開することも考えられます。しかし、長いスパンでの科学技術の進歩、資源、産業経済、国民生活、国際関係などを総合的に鑑みて、原子力利用は破棄し、それに変わるエネルギー供給システムを開発普及することこそ、人類の英知だと考えます。
18063	個人	会社員・公務員	50代	男性	2030年までに再生可能ｴﾈﾙｷﾞｰ比率を増やし、原子力発電を0%や15%にすることは現実的ではない。 もっと長いスパンで計画する方が現実的であると思う。	・原子力発電に代わって再生可能エネルギー（特に太陽光や風力）で賄おうとする場合はその立地に広大な面積を必要とし、森林伐採などの自然環境破壊がどうしても必要となってくる。またごの不安定な電源を安定的に需要家に供給するためには、バックアップ電源（多分火力が主）が必要となりその設備の維持に係る費用は当然電力料金に反映されると思われる。 ・再生可能エネルギー源を設置するには色々な法規制の改正が必要となると思う。例えば太陽光や風力に関しては森林法や農地法等、地熱発電では自然公園法等、小水力発電では水利権に伴う法令や条例、またこれらには当然地権者がいるために用地確保に地道な交渉が必要となる。たかだか18～20年間でこれらがクリアできるとは考えられない。 ・原子力発電所を稼働させないでも維持する必要があり（廃炉に関してはいずれ発生するために経費は同じと考える）これに掛る経費と共に発電効率の悪い高コストの再生可能エネルギー設備を拙速に税金を使って推し進めるのは、日本経済・国民生活にとってはたして良策でしょうか、経済が低迷し国民の収入は激減するなか、家庭の電気代が上がるのは元より、あらゆる製品に電気代の増加に対する価格転嫁が懸念される。国際競争力低下を招きさらなる経済低迷を引き起こすのは自明の理であり、他国の思う壺ではないでしょうか。
18064	個人	無職	70代	女性	原発からの電力を0%にしてください。完全な脱原発です。理由は後に書きます。自然エネルギーの割合はもう少し上げることができます。政府がぶれない方向性を決めて国民に協力を呼び掛けてください。	原発を廃止したい理由 (1) 東電は、津波による補助電源の消失が、大事故につながったように言っていますが、テレビ、書物、新聞などの検証記事を読みますと、すでに地震の段階で、設備のあちこちに、致命的な損傷を受けていたと思います。昨日のNHKスペシャルでも見ましたが、地震の時点で、格納容器に亀裂ができ、冷却水が漏れ、メルトダウンが起きたことは、ほとんど正しいと思います。そしてこの深刻な時にSR弁を動かず、最後の手段ベントも思うように行えなかった。これはここに送る気体の配管にすでに損傷が起こっていたと考えてよいのではないでしょうか。かなり前にアメリカのGEの技術者が、この原発はせいぜいM7．5位の地震にしか耐えられない。M9．0などは想定していなかったといっていました。日本は地震国です。M7．5以上の地震はいくらでも起きると考えるべきです。日本のような震災国に原発は絶対に作ってはならないと思います。核エネルギーを使うことじしん私は反対ですが、地震のない国が原発を使うことについては、その段階では言及は致しません。しかし地球のどこかで事故が起きれば地球全体の汚染につながることは、由々しきことです。 (2) 福島の方にはお気の毒ですが、今回の事故が東京の西側で起きなくてよかったと思います。もし九州や、四国や、中部など西側で起きたら、台風が来るたびに、汚染土は舞い上げられて首都圏にも深刻な汚染が起きたことでしょう。首都圏が汚染されたら、おそらく外国人はすべて逃げ出して大使館も閉鎖され、日本は全く孤立し、国民の多くもその中で逃げる場所も持たない悲惨な状態になるでしょう。もう一度事故が起きたら日本は終わりだと思います。 東南海地震が予想される中、すべての原発を早くに止めたい。国民はリーダーを信用すれば、電気料値上げにも協力し難局を乗り切る努力をするでしょう。
18065	個人	会社員・公務員	50代	女性	使用するエネルギーを生み出す方法として原子力発電を用いることに反対です。「0%にする」を選択するとCo_2削減数値目標を放棄しなければならないという選択肢しか用意されていないことに疑問があります。	放射能汚染を受けた住民の方々は生活基盤を奪われ、家族が共に生活できず、放射線による健康被害に怯えていると思います。さらに今回の原発事故では、風向き次第で東京以北が高度に放射能汚染を受ける可能性がありました。原発事故の自然環境に対する影響は、甚大かつ地球規模です。原発を再稼働せずにCo_2を削減する方法を、英知を結集して作り上げるべきです。 原発はクリーンエネルギーと言われますが、本当にそうでしょうか。採掘したウランを濃縮する過程で、大量の化石燃料を必要とすると聞いています。また、大量の海水で原子炉を冷却するため、海水温度が上昇することで海からのCO_2が発生します。使用済みの核燃料の冷却保存にもエネルギーが使われCO_2を発生させます。 原発は火力やその他の方法のように、使用量に応じて発電量を調節できません。臨界に達したらその状態の発電が24時間続きます。日本はこの電力供給をベースにすることで、エネルギー多消費社会を作ってきました。その結果、発電用の石炭利用量は90年代に大幅に増加しました。原発が増えるに伴い、日本のCO_2排出量が増加していくという皮肉な状況を生みました。原発事故を機に、産業界から家庭レベルまで、このエネルギー多消費社会構造を見直す必要があると思います。 再生可能エネルギー比率を大胆に増やす政策に転換してください。その中から新たな経済成長を生み出してください。

18066	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発を再稼動せず0%。視点に憲法25条に則り国民の健康権を守ることを加える。100%再生可能エネルギーへの大胆な転換と省エネ政策、火力のLNGへの燃料シフトで2030年温室効果ガス25%削減	今回示された「選択肢」は3つあり、それぞれ、2030年の発電電力量における原子力発電の割合を軸に選択にするというものになっています。 1．0%にする（ゼロシナリオ） 2．15%にする（15シナリオ） 3．20～25%にする（20～25シナリオ） ゼロシナリオでは、2020年の温室効果ガス排出削減数値目標は0%とされ、原発ゼロを選べば、地球温暖化対策の放棄を選ぶことになるようになっています。しかし地震多発国の日本で、ゼロシナリオ以外に国民の命と健康を守り、経済を発展させ、雇用を増やすシナリオはありません。 以下に私たちの意見に関わる論点を6点にわたり示します。 論点1．今後のエネルギー政策の基本に国民のいのちと健康を守ることを明確に掲げるべきではないか。すなわち視点の第一に憲法にもとづき、国民の健康権（注1）を守ることを明示することを求める。 （注1）健康権は、日本も批准している国際人権規約、WHOの健康戦略、社会疫学の発展の中で明らかにされてきた基本的人権である。いのちの尊厳、到達可能な最高水準の環境、安全な食糧の確保、安全で家族が安心して生活できる居住、労働、教育、プライバシーの保護などを無差別平等・公正に享受する権利である。福島第一原発事故は、被災住民を始め多くの国民の健康権を根こそぎ奪ってしまった。 論点2．原発を再稼動せず0%にする（注2）ことを求める。原発は、クリーンエネルギーではなく、CO2を大量に発生させる（注3）。日本では、1970年以後原発の増設による発電量の増加とともにCO2の排出量は大幅に増えてきた。原発は他の発電と違い、常にフル稼働が求められ夜間に発電をとめることが出来ないため、夜間電力の活用の名の下に「24時間社会」や、「オール電化」などエネルギー多消費構造が推進されてきた。原発が多消費構造社会の軸になっているのである。15と20～25シナリオは今後いずれも新たな原発の建設に向かう計画であり、CO2の排出量を増加させる計画である。 （注2）2010年現在の原子力発電は26%として提示されている。2011年の福島原発事故後、福島第1・第2原発、女川原発、日本一危険とされる浜岡原発などが当分の間動かないこと、発電開始後40年以上たった原子炉は廃止するという前提で考えると、15%シナリオでも新たな原発の建設に向かうシナリオであると考えられる。従って、我々の選択肢は0%シナリオしかない。 （注3）ウランの核分裂自体はCO2を出さない。（1）しかし、ウラン鉱山からウラン鉱を掘り、精錬して天然ウランとし、3～4%の低濃縮ウランに濃縮する過程で大量の化石燃料を必要とする。また、使用済み核燃料を冷やし、キャスクにつめて処理場まで運ぶ過程でも多量のCO2を出す。（2）さらに出力100万KWの原発は、300万KWの熱出力を生み、電気として利用できるのは100万KWで残りの200万KWは海に捨てている。毎秒70トンの海水を引き込んで、その温度を7℃上げている。海水の温度を上げるときに海水に溶けている炭酸ガスを多量に排出する。 論点3．脱原発と地球温暖化対策は両立することを前提とした選択肢を立案せよ。脱原発と地球温暖化対策は両立できる。今後CO2：25%削減を視野に、（1）エネルギー多消費社会構造を改め、（2）発電ロス、産業、運輸、業務、家庭の全ての分野毎に省エネ目標を明示すること。（3）また、省エネ技術の開発（省エネ家電や低燃費車など）の促進など省エネルギー政策の強化をおこなうべきである。 論点4．脱原発、かつ100%再生可能エネルギーをめざす選択肢を設け、その道筋を示すべきではないか。太陽光、風力、バイオマス、地熱、中小水力など再生可能エネルギーへの転換についてIEA（国際エネルギー機関）加盟国の最近20年間の変化をみると再生可能エネルギー比率が後退し、かつその比率が3%と最も低いのが日本である。100%再生エネルギーにむけた大胆な政策転換が不可欠である。 論点5．電力の地域独占をやめ、はっきりと地域分散型の発電とすることを明示すべきではないか。また、「脱化石燃料」で100%再生可能エネルギーを目指していく過渡期の火力での調整に、当面CO2の排出を出来るだけ減らす火力発電の強化と燃料については石炭からCO2排出の少ない天然ガスへの燃料シフトを明示することが不可欠である。 論点6．以上の取り組みで、雇用を増やし、経済を発展させつつ、CO2：25%削減が可能となる政策とすること。
18067	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオに賛成です。	世界でも類を見ない地震地域の日本において、原発の絶対的な安全性は確保できない。また、高レベルの放射性廃棄物の処理方法も確立されていない。過去に起こった原発事故や事故隠しの事実を見ると、この国には核を利用する資格がないと思う。現在の、未来の日本国民の幸福のためにも、一刻も早く原発を廃止しなければならない。

18068	個人	会社員・公務員	50代	女性	原発廃止	国民の声を無視して進められている現状は異常な事態です。被害者の皆様の生活も置き去りのまま、安全対策、事故原因も確実ではなく大飯原発再稼働なんて信じられません。活断層の問題だってどうなっているのでしょうか。 政府や東電、原子力村の隠ぺい体質にも憤っています。その姿勢が教育現場にもそのまま持ち込まれ全国にはびこるいじめ問題ともリンクしていると思います。 日本人はどうなるのでしょうか。あまりに私利私欲に走り過ぎています。 国民も節電を心がけて本当に必要な電力とは何かと自問自答し、明るすぎる夜の日本を暗くすれば少子化問題も少しは改善されると思います。 毎週金曜日に行われている デモに真摯に向き合って下さい。声なき声の人々が立ち上がったのです。 アリバイ作りに奔走するのではなく、本当の国民の声に聞く耳を持って下さい。お願いします！
18069	個人	家事専業	60代	女性	2030年に原発ゼロを。地震多発国に安全な設置場所はない。事故が起これば、終息・補償に大きな費用がかかり、多くの命や健康が危険にさらされ、安全な地域に戻すのに何十年もかかる。国民全体で安全な国を。	2030年には原発ゼロを実現させたいと思います。地震多発国である日本で本当に安全な原発設置場所はないです。原発ゼロが一番コストがかかるという計算ですが、一度原発事故が起これば、事故の終息にも住民の補償にも大きなコストもかかり、多くの人の命や健康が危険にさらされ、安全な地域になるのに何十年もかかります。国民全体で余分なコストを負担しあっても、未来の子供たちに安全な国を残したいです。 安全性の確保が十分でない：原発では水で冷却するために、立地がすべて海の近くで、数十メーターの津波が来たときに安全性は確保できていません。また、いくつかの原発の下に破砕帯が見つかっており、これが活断層である可能性もあって、その面でも安全性が確保できていません。また、大飯原発3、4号機などで免震事務棟や防潮堤などの中期対策が実施されていないことも大きい問題点です。中期対策が実施されないうちに大きな地震が来ないとは言えません。 経済面：原発ゼロの場合、30年時点の電気料金は10年度比で最大2倍となる試算を示した。15%案と20～25%案では電気料金の引き上げ幅は約1.7倍になるとのことですが、これは単に発電コストだけの比較で、今回の福島原発の事故後のいろいろな費用が最終的にいくらになるかわかっていない時点では、事故の可能性がゼロでない現在、何が一番経済的なのかは本当のところわかりません。 安全・安心な暮らしが一番大切：小さい子供を持つ親からしてみたら、コストよりも安全な食べ物、水、空気、土地が手に入ることが一番です。 地球温暖化に対する影響：日経新聞に「地球温暖化に影響する温暖化ガスも原発比率を引き下げれば、排出量が増える見通しだ。政府は20年までに温暖化ガス排出量を「1990年度比で25%削減する」の目標を掲げていた。原発ゼロの案では30年時点の排出量の削減幅は90年度比で16%で、20～25%の案でも23%にとどまる。会議は政府の目標達成は難しいとの認識で一致。この日の会合で目標を事実上、撤回した。」と書かれていますが、原発による地球温暖化のことはほとんど考慮に入れられていません。 （以下は、さよなら原発神戸ネットワークの脱原発入門講座より） 「・・・勿論、発電所ではCO2は出ません。しかし、ウラン採掘、燃料輸送、原発建設、廃棄物処理等々の全過程で膨大な石油を消費します。原発は「間接石油発電」なのです。 これらを考えると原発がCO2削減に役立つという理屈は根めて怪しくなってきます。原発は、発電能力の2倍ものエネルギーを、膨大な量の温排水などの形で廃熱として捨てています。 おまけに、巨大化しなければ採算がとれず、出力のきめ細かな調節もできず、消費地から離れた「僻地」につくられるため送電ロスが大きいなど、極めて効率の悪いシステムです。 この効率の悪さは結局電力の大量消費によってまかなうしかないのです。未来にまともな地球を残すには、無限の拡大・膨張・浪費を求める社会から、安定・充実・均衡の社会への転換を果たすしかありません。・・・「脱原発」はその出発点です。」 私たち一人ひとりが、エネルギーを選ぶとともに、省エネルギーを心がけた生活を選択していく必要があります。 そして、福島原発のことがみんなの記憶にしっかりある間こそ、安全なエネルギーへ、省エネルギーへと舵を切る決断することができるのだと思います。今この時こそ、原発ゼロ野方針を国が決め、国民に理解してもらえるように説得するべき時です。
18070	個人	無職	60代	男性	ゼロシナリオに賛成です。福島第1原発の大事故を受けて、日本国民は原発ゼロに向けて速やかに最大限の努力をしなければなりません。人類はまだ原子力を制御できず、経済の論理をうんぬんする以前の問題です。	日本に原子力発電を持ち込んだ経緯は、アメリカの核戦略の一環として、日本の政治家を使って、国民的な議論もなく進められた。心ある多くの専門家、科学者は反対の論陣を張ったが、政府機関には出世欲と金にまみれた御用学者のみが登用され、正論は後景に追けられた。こうしてつくられた政官財学の原子力むらが、今日まで大きな力をもち、福島事故後も政府の方針決定に影響を与え続けている。 日本国民と政府は、今こそ日本のエネルギー政策のあるべき姿を、経済論理や日米同盟にとらわれることなく考えなければならない。今はまさに絶好のチャンスといえる。政府は、原発ゼロへのシナリオを、代替エネルギー開発計画と併せて、国民に提起しなければならない。
18071	個人	会社員・公務員	30代	男性	エネルギーや環境政策など、わが国の行く末を左右する重要な事柄を議論・決定する際は、国内経済や国民生活、雇用はどうあるべきか等について、筋道を明確にしつつ冷静な判断を行った下で、選択肢を国民に示すべき。	今回の選択肢は、そのいずれもが、今後想定されるわが国経済への下押し要因を過小評価していることや、もっとも重視されるべきコスト抑制や空洞化防止のための具体策が示されていない、エネルギー比率の転換によって国民一人あたりの負担がどのように変化するのかが不明など、あまりにも目の粗いシナリオの下で策定されたものである。 また、いかにしてCO2を削減するかに関心が集中するあまり、「原子力対再生可能」という極めて狭い図式の中でエネルギー比率を決定しようとするあまり、国が存続していくための大原則である、経済成長とのバランスという観点を著しく欠いている。したがって、生活者という観点に立てば、3つとも選択に値しないというのが率直な意見である。 その一方で敢えてということであれば、「原子力発電」を選択せざるを得ない。しかしそれとて、経済成長とのバランスの上ではきわめて不十分である。これまでのエネルギー基本計画がそうであったように、いずれ実態を加味した見直しがなされると思うが、その際には、一時的な感情に流されることなく、この国はいかにあるべきかという道筋をしっかりと示しながら、総合的かつ地に足のついた冷静な議論が、早期に開始されることを強く要望する。
18072	個人	家事専業	30代	女性	原発を0にする！！	最終処分の仕方も分かってない、また、世界でも10万年かかると最終処分場が作られ、その時の地球に今生きている人はいるんですか？責任はとれるんですか？私はそんな負の遺産を未来の子供たちに残したくはありません。 福島での事故以来、買い物を安心して何でも手に取ることができなくなりました 雨も当たって良いのか、、、安心して暮らせる日本でなくなってしまってます。 福島での経験をどう生かすのか世界中で見ています！！ 今ここで今までの流れを一切絶ちきり、日本の新たなエネルギー政策を世界に見せる時だと思います！！ 原発への技術発展の資金を自然エネルギーや、他に考えられる代替エネルギーの発展へシフトさせることや、国民の節電意識を高めて今の浪費型の考えを変えていくだけで温暖化も含めて、原発0は可能です！！ いまこそ、国民の声を聞いて新しい日本を世界に見せたい！！
18073	個人	自営業	30代	女性	私は原発ゼロを支持します。	原発事故がおこってから、衣食住が保障されない現状を踏まえて、原発はいらない。原発がないと電力が足りないと騒ぐくらいなら、自然エネルギーでまかなえる生活に戻せばいい話である。そもそも100パーセントの安全が保障されないものに依存していたことが問題である。この先の未来に何を残すのか。 元来、日本人は「自然とともに暮らしてきた民族」である。その原点に返って、自然を残して、自然とともに共存していくことこそ、国の繁栄にもなる。 使用済み燃料の捨て場もなく、増えるだけの危険なゴミを、これ以上未来に残さないことも、原発ゼロの理由。
18074	個人	その他	40代	男性	福島原発事故の教訓から「ゼロシナリオ」を決定し、自然エネルギーの拡大に努力すべきです。原発立地市町村には新しい地域経済復興の施策を実現することを求めます。	「3.11福島原発事故」で明らかなように、原発の危険性から私たちの命を守るには「ゼロシナリオ」しかありません。 原発を稼働し続けることは、将来にわたって危険な放射能を残すことであり、使用済み核燃料の処分技術や処分場所も不確定な中で、原発を稼働させることはできません。 自然エネルギーへの政策転換を図るべきです。
18075	個人	会社員・公務員	50代	男性	原子力発電は止めるべきではない。 推進するべきである。	1．非核保有国で再処理が認められている国は、世界中で日本一国のみである。これは日本が核の平和利用にのみ貢献できることを世界が認めたからであり、技術力が認められているからである。 これを持って、世界のトップランナーとして原子力技術を高めるべきである。 2．今回地震および津波に対する、福島第一と他の発電所（女川、東海第二）の違いを明らかにすれば、同じような地震・津波への備えとなる。そこを明らかにして、もっと国民に示すべきである。 3．今回の災害で、放射線由来の人的被害は皆無と認識している。 被ばく線量の超過についても、医療行為が必要なものではなかったと認識している。ここをもっと、国民に示すべきである。
18076	個人	その他	50代	男性	1のゼロシナリオに賛成です。アメリカからの押しつけで、しかも未完成な原発には反対です。	1．原発ありきの政府の態度に腹が立ちます。マスコミの報道にも中立性が欠けています。 2．福島の事故でもわかるように、今の原発とは、共存できないと。何かあれば取り返しのつかないことになってしまいます。
18077	個人	会社員・公務員	30代	男性	「原発ゼロシナリオ」を選択する。 2030年までに原発依存度0%の必達を法制化する。省エネ目標の見直し、発送電分離の実行、自然エネルギー発電事業の振興、原発関連施設の国有化などを実行する。	(1)福島の原発事故を大前提に考えねばならない。今まで「全電源喪失はありえない」「重大事故のリスクは100万年～1000万年に一度」などと御用学者や電力会社の言い分を許してきてこの有様だ。原発の重大事故は、60年足らず33回も起こっている。電力会社の言い分がウソであるのは、保険会社が重大事故の発生確率は2千100年に1回とみなしていること で分かる。国内には五十四基の原発があり、日本全体では三十九年に一回の確率で重大事故が起きるとみられていたことにもなる。 福島の事故を東電は「想定外の津波」のせいとしているが、実は耐震レベルが低い配管の地震による損傷で冷却システムが壊れて炉心溶融に至った可能性があると報道されている。(NHKは2号機は特に疑っていた） そして、今回の事故の総括もせずに関電に再稼働を許した野田政権は歴史に残る最悪の政権である。大飯原発の安全性に責任を持つと明言したが、責任とは何か。野田が辞任しようが、議員をやめようが、責任などとれない。再度原発事故を起こせば、日本は破滅する。そのようなリスクは、他のどんな経済的リスクよりも大きい。 また、日本の既存の原発はヨーロッパなどと比べて格段に安全基準が低いことも国民にばれている。スイスなどは、「事故が起こることを前提に」安全基準を設けて運用している。これが日本と決定的に違う。日本は今まで「事故は起こらない」として安全基準を運用してきた。この基準のままに原発を続けることは国民への背信である。 (2)ドイツを見習うべき。メルケルは、原発推進であったが日本の事故をみて即脱原発を宣言した。ドイツは「倫理」の問題で脱原発すべきとしている。「倫理委員会」で注視すべきは感情的な脱原発論ではないという点だ。産業や雇用の問題、生活水準の問題等も意識した上で、倫理の観点から物事を捉えている
18078	個人	自営業	40代	女性	提示されている3案ではゼロシナリオを求める。直ちに自然エネルギー導入強化をおこなうとともに、石炭火力ではなく天然ガスをエネルギーシフト過渡期の橋渡しとして選択すべきである。	＜3つの選択肢について＞ 1．持続可能な日本のためにはゼロシナリオ以外選択できない 東京電力福島第一原発事故を経験した私たちが問うべき本質は、「社会としてどの程度のリスクなら受け入れられるか」ということだ。 原発災害が発生し、広大な国土が放射能に汚染され、16万人以上が現在も避難を強いられ、その多くが帰郷も叶わず、除染・賠償費用の国民負担は今後も長く続いていく。 地震には増加傾向がみられる。もう一度同様のことが起こる可能性を否定できない。 一方、1950年以降に世界では炉心溶融が5回発生していることを考えれば、原発で過酷事故が発生する確率は10年に約1回となる。 しかも、この計算には原子炉の老朽化という今後増加するリスクはまったく考慮されていない。(*1) 原発で深刻な事故が発生するリスクは否定できない。 過酷事故時の国民生活・国土・経済への影響は甚大で不可逆的である。 福島第一原発事故が明らかにしたこの2つの教訓のもとに考えれば、地震国の日本で今後も原発を使用していくことはありえない。 ゼロシナリオでは、2030年時点で0%としているが、2012年5月5日からの2か月間、日本の原発依存度は0%であり、7月20日現在発電供給量に占める原発の割合は0.5%に留まっている(*2)。即刻0%は可能であり、その選択肢があってしかるべきだ。 2．地球温暖化対策は原発停止とトレードオフではない 政府は原発を地球温暖化対策のカギと位置付けてきたが、原発停止と温暖化対策はどちらか一方をとるトレードオフの関係にはない。 原発は温暖化対策にとって、危険でコストの高い時間の浪費でしかなく、そもそも有効な手段とは到底言えない。 政府提案の3つの選択肢は、いずれも省エネ見込みが18年間で10%に限定されており、この間の技術革新や1000万人減と予測される人口動向を反映しているか甚だ疑問だ。 さらに、自然エネルギー導入量も控えめであり、その分をCO2排出量が極めて多い石炭火力に頼ることを前提としている。 化石燃料は枯渇性の資源であり、CO2の排出には今後多くの経済的制約が導入されるだろう。 原発停止にともなうエネルギー選択では、まず省エネ拡大と自然エネルギー導入が最大化するようあらゆる手立てを講じ、不足分を天然ガス火力で賄う選択をすべきだ。 ＜国民的議論の進め方・プロセスについて＞ 1．国民的議論の結果の評価・反映方法は即刻公表されるべきだ エネルギー環境戦略を決めるにあたり、政府は国民的議論を深め総合的に国民の意向を把握したうえで、責任ある選択を8月に行うとしている。 しかし、パブリックコメントや意見聴取会などによって政府に寄せられた意見が、どのような形で集約され、政府決定に反映されるかは、7月20日現在まったく言及・公開されていない。寄せられた意見を見て集約方法を検討するようでは、公正な方法とは言えない。 政府は、意見の反映方法を即刻明らかにすべきであり、寄せられた意見は個人情報を除き、すべてそのままの形で公表すべきだ。 2．エネルギー環境会議は一般傍聴・インターネット中継を許可すべきだ 国民的議論の結果、どのように政府方針が決まっていくかは国民の大きな関心事である。 国民からの意見を受けて結論を出す国家戦略室のエネルギー環境会議は、これまで資料と議事録のみ公開とされている。 また会議自体も約20～30分とごく短時間で議論も非常に限られており、国民の代表である国務大臣が国民の一大関心事である事柄に結論を出す場としては不適切だ。 今後の会議開催に当たっては、議論時間を十分に確保し、一般傍聴を認め、インターネット中継を許可すべきである。 政府は、福島第一原発事故を踏まえて新しい「革新的エネルギー環境戦略」を決定すると言う。 そうであるならば、原発の利用継続はありえない。 発電やエネルギーの利用方法の大胆な転換こそが、根本的に危険な原子力技術への依存に終止符を打ち、気候変動のリスクを最小限に抑え、真のグリーン・エコノミーを大きく伸ばす唯一の方法だと考える。
18079	個人	会社員・公務員	40代	女性	かつて原爆を受け、いま原発事故を起こした日本国民が、なぜ「原子力発電なしでやっていく」と言えないのか。原発なしのエネルギー計画を。原発なしの生活を。国民として誇りに思える決断を望みます。	原発はいらないです。かつて原爆を受け、いま原発事故を起こした日本国民が、なぜ「原子力発電なしでやっていく」と言えないのでしょうか。なしでやっていける、やっていけない、の両論があるのならば、日本国民として「原子力発電なしでやっていく」と言いいたいです。そう言わせてもいたいです。わたしは日本国が「非核三原則」を持っていてくれたことを誇りに思っています。様々な意見があるだろうけれど、原爆を受けたその時に「非核三原則」を制定してくれたことが、大変大きな意味を持っており、その後生まれたわたしたちに誇りを与えていることを思います。これまでと、これからの日本だけでなく、世界にとって大きな力となるはずだと信じています。そのことと同様に、原発事故を起こしたこの時に、「原子力発電なしでやっていく」と決めることこそが大切なのではないでしょうか、いつかではなく、事故を起こした今だからこそ。原発なしのエネルギー計画を希望します。原発なしの生活をおくりたいです。核の恐怖のない世界を望むように、原発の怖れのない世界を望みます。国民として誇りに思える決断を望みます。

18080	個人	家事専業	30代	女性	脱原発。 国内の原発は即時停止して全て廃炉に。	脱原発です。 国内の原子力発電所は、即時停止後全て廃炉にすべきです。 地震大国日本には、地下に無数の断層が走り、いつどこで巨大地震が起きても不思議ではありません。 そして海沿いに建つ原発に、津波が押し寄せることは確実です。 自然の力の前に、人類はなす術がないということを、先の大震災で学びました。 安全などということはあり得ません。 浜岡原子力発電所が東海地震とそれに伴う津波で爆発したら、愛知県にも放射性が降ります。福井の原発が爆発しても、偏西風に乗ってセシウムが降るでしょう。 私たち家族の健康と安全、財産を、その時いったい誰が守ってくれると言うのですか。 政府や電力会社が福島の方々をいかように踏みにじり見殺しにしてきたか、私達は目の当たりにしました。 目先の利益優先の経済界、既得権益にしがみつく官僚と政治家、ゲンバツムラに巣食う人達は、福島のことなど所詮は対岸の火事程度にしか思っていない。 その姿を、震災以後連日メディアが映し出し、活字で糾弾しています。 誰も助けてくれないのなら、自衛するしかありません。 即ち、原発再稼働反対を叫び、脱原発の意志を叫ぶことです。 暴走したらコントロールできないものが、なぜ安全と言えるのですか？ 最終処分方法、処分場も決まっていませんね。10万年間、閉じ込めておける施設はどこにどういう形で作るつもりですか？ 代替発電にはコストがかかるとか、発電量が少ないとか四の五の言うな。それを考えるのが国の、独占電力会社の、学者の仕事ではないのですか？ 電力が足りないと経済が逼迫し、国民の生活も苦しくなる？あともう一つ原発が爆発したら、小さな日本は終わりです。住む場所も無くなり経済の打撃に耐えられない。稼働してもしなくても、同じ未来ならば稼働しない方がいい。 脱原発！浜岡原子力発電所再稼働反対！全ての原発は即刻廃炉に！ そう叫ぶしか、現在の生活や生命財産を守れないと思うから、言い続けるしかない。意志を持ち続けるしかない。そう思っています。 脱原発！浜岡原子力発電所再稼働反対！全ての原発は即刻廃炉に！
18081	個人	会社員・公務員	40代	女性	3つのシナリオのうち、原発「ゼロシナリオ」を選択します。	・私たち日本国民は人類史上最悪の原子力発電事故を起こし、日本を汚染させただけでなく、世界中に迷惑をかけました。事故責任は、もちろん東京電力と国民を安全神話で操っていた日本政府にありますが、今まで原発に対して無関心であった一般国民にも責任があると思います。今ここで日本人が変わらなくてはなりません。 ・原発は一旦事故が起きると、その影響は測りしれません。生きているものの命、土地、海、河川、あらゆるものに取り返しのつかない長期間に亘る悪影響を残します。 ・日本政府は、新型インフルエンザやロ蹄疫、鳥インフルエンザ発生時に取った封じ込めの対応を今回の福島原発事故ではおこなっていません。そのため、直接福島原発事故の影響が及ばなかった西日本にまで、物流によって汚染が広がっています。また震災廃棄物の広域処理を本格的におこなえば、これからさらに汚染が広がることでしょう。この事故対応のずさんさをみていても、今後また事故が起これば日本国中放射能汚染され、人が住める環境ではなくなるでしょう。 ・日本は地震国です。国民が無関心だったとはいえ、活断層があちこちに走っている狭い国土に原発を造り続けた政策に強く抗議します。 ・これを機に、日本は経済大国から国民の命を守る国家へと転換していくべきです。原発がゼロになっても電力は不足しません。不足しなくても、私たちは、今までの無駄な消費を改めるべきです。店舗では夏は寒いくらい、冬は暑いくらいエアコンが使いています。24時間営業のコンビニは必要ないです。今こそ大量消費・大量廃棄型社会から脱却していかなくてはなりません。 ・原発の核燃料は長期間にわたり保管し続けなくてはなりません。もう再稼働は一切中止し、これ以上核燃料を増やさないこと。子孫に残す負の遺産を少しでも減らすことが早急に望まれます。本当の幸せとは何でしょうか。安全に安心して毎日の生活が送れること。家族の笑顔があること。贅沢は要りません。吸う空気が安全でない、買う食料が安全でない、水道水が安全でない、そんな社会を造らないために原発ゼロの日本にしてください。心から切にお願いいたします。
18082	個人	無職	60代	女性	金儲けより命を	日本の国はあと何年存在するのでしょう。 半世紀もの前にあの忌まわしい原子爆弾が広島と長崎に落とされた。 今でも大勢の人が苦しんでおられると云うのに。 後始末の仕方もはっきりしない原発の再開なんて？ 安全性は政府、総理大臣が保障すると言っておられるが、 地震大国日本、地球温暖化による異常気象を見るとき 何を置いても原発の完全閉鎖しかないと思います。 想定外は明日来るかもわかりませんよ。
18083	個人	法人等	40代	女性	原発以外のエネルギーを模索し、原発を止める決断を希望。 国民が拘りの持てる国になってほしい。	3.11の犠牲、目に見えない恐怖と戦う日常を送らざるを得ない人々。 彼らが普通の日常を望む事は、もうかなわないことなのです。 もう、人間業では修復できないほどの事態が起きました。 原発以外の道を選ぶべきとの、答えが出たのだと思います。 「日本は、原発を止める決断をした」と世界中から賞賛されるような 決断を期待します。
18084	個人	自営業	50代	女性	(1)ゼロシナリオを支持します。原発の再稼働も反対です。	原発事故の被害が未だ続いて、将来いつまた大きな地震や津波が来るか分からない現在、危険な原発の再稼働をせず、原発はゼロのまま、出来る限り太陽光や風力を使った再生エネルギーにシフトしていくことが安全だと思います。
18085	個人	自営業	40代	男性	エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張 《政府は本腰を入れて再生可能エネルギー開発に尽力すべき》	このパブコメ募集の前提が「2030年までは原発が維持される」というもの。前提自体が国民を騙すトリックだ。再び事故が起これば、日本は再起不能になる。政府は自然エネルギー比率を増やすスケジュールを国民にしっかり示すべき。
18086	個人	会社員・公務員	20代	男性	原子炉停止への訴え	専門家によると、ここ近年で日本に大地震が起こることは高い確率であるという報告がある。つまり、「地震はこないかもしれない」ではなく、「来てもおかしくない」または「来るのは必至」といっても過言ではない状況であると言えよう。そうであるならば、原子炉を稼働させた状態で大地震を迎えるのは、国家にとっての自殺行為であるのではないだろうか。「何年かかけて防波堤を作る」ことや「断層の存在を調査する」といった予定では、明日もしも大地震がきたら国はどう説明するつもりだろうか。放射能が漏れたら一瞬でその土地は活力を失う。福島の惨禍をまだ肝に銘じていないのであろうか。電力が足りないのであれば、そちらの対策を優先に考え、一刻も早く日本全土の原子炉を停止させるべきであると主張する。 国の今後の動きに期待したい。
18087	個人	家事専業	30代	女性	原発をゼロにしてください。原発がなくても電気は足ります。	日本の気候にあったパッシブハウス、断熱材、二重窓、最新の換気システム等を導入することによって、電力の消費を大幅に削減することができます。 こうしたことは、人々のQOLの向上にもなります。 効率的な熱電併給システムにより、電気と熱を送電ロスなしに供給することができます。 省エネ技術に加え、自然エネルギーを導入することによって、電力は充分にまかなえます。 自然エネルギーは、導入時に費用がかかりますが、その発電コストの上昇は、熱供給や運輸などの分野で燃料需要が減少することで埋め合わせられる程度のものです。 自然エネルギーにより、日本のエネルギー自給率はアップします。 省エネと自然エネルギーにより、巨大なグリーン産業が形成され、新たな雇用を創出し、経済へのプラス効果になります。 このようにして、原発のない、本当に安心安全な、そしてサステナブルなエネルギーの未来を築くことができます。
18088	個人	法人等	40代	女性	日本のエネルギーは、純国産の自然エネルギーでおぎなうべきであり、ウラン等の輸入にたよる原発は再稼動せず、ゼロシナリオでいくことが、国際社会に対する原発事故を起こした日本の責任である。	日本は海洋国家です。まだ認可されていない技術を含め、太陽光はもちろん風力、潮力、地熱、などなど自然エネルギーと呼ばれるものの宝庫です。そもそも温暖化問題はなぜ生まれたのか。遠い国の高い石油資源をベースとした大量消費経済が産んだ地球環境汚染なのです。 地産地者のスモールエネルギーならば、環境を汚染することもなく、地震活動期にはいった日本においても対応可能なエネルギー対策といえないでしょうか。こういった自然エネルギー大国になることが、大震災と大原発事故により よわった国力を回復させる第一の方法だと思います。 そして、なにより、今だ処分方法がない原子力にたよることはもう許されないことだと思います。 多少の不便はあっても、今、再稼動せず大きく自然エネルギー大国として能をきることが、今後の世界へのアピールにもなる政策と思います。 子を持つ親として、本当に誇れる日本を残すために、再稼動はせず、原発を撤廃し、ゼロシナリオでいくことを支持します。
18089	個人	会社員・公務員	50代	男性	ゼロシナリオ	電気は必要です。しかし、原子力発電による発電後に出る核廃棄物が、核種によっては途方も無い期間その有毒性を保持し続けると聞いています。この一点においてだけでも即刻廃炉しか選択肢は無いものと考えます。日本国がいち早く原子力から撤退し、核廃棄物の早期無害化を研究開発し、また、その代替エネルギー（循環エネルギー）の研究開発をやり遂げる事が、未来の子孫・地球・世界の民そして経済にも有効だと心から信じています。 この国を導かれる優秀な官僚から、やり遂げる事が出来ると信じます。
18090	個人	その他	60代	女性	2030年時点での原発比率に関して(1)0%を支持します。	世界の地震発生数の20%が日本で起きている地震大国日本。地震に伴う津波の脅威も歴史が証明している。 2011・3・11の東日本大震災での原発事故は明らかに地震と津波が原因であり、原発安全神話を掲げた電力会社や国策として推進した政治家たち、政府が起こした人災とも言える。福島原発事故の及ぼした多方面の予期せざる影響を考えると、地震大国日本には原発は適当ではない。私はフランス・パリ市で生活をしていたが、フランスでは全く地震は起きないから、原発が安全と考えるのも無理はない。日本は根本から違う。 今後は原発の脅威から脱出し、エコ・エナジーを推進し、自然エネルギーを活用しよう。そのためには、現時点ではより一層の節電の徹底、天然ガス輸入の増加、多様な自然エネルギーの開発でコストがかかることになると思われるが、電力料金のアップも原発ゼロのため、国民が耐え忍ばなければならないと考える。
18091	個人	パート・アルバイト	60代	男性	原発比率を0%にして下さい。東京電力福島原発での事故に対し、原発は安全であるという神話が崩れ去りました。原発は放射能が漏れだすような事故が起きると人間の手では抑えることが出来ない事を証明しました。	東日本大震災支援で2回東北の被災地に行きました。現在も避難している福島県の原発被災者の方々を思えば、原発を今後も稼働させる人は日本人じゃありません！。省エネをもっと進めるために照明のLED化を国策として推進を！。エコポイント制度の導入を希望します。原発以外のエネルギー比率を高め、新たな発電方法も日本人なら研究開発が必ず出来る。
18092	個人	無職	70代	男性	原発依存は0%であるべきです。	私は福島原発から45km程離れた場所に住んでいます。 避難に関しては何も指示がない地域のため、東電から80,000円の慰謝料を貰いました。放射能の心配のない地域に住んでいる方は「80,000円貰っていいですね」と思うかも知れませんが、原発事故以来、放射能に関して直接、間接にすべて説明出来ない程、迷惑をこうもっています。 また関電の社員が何かの会で意見を述べていたようです（新聞報道）「福島原発の事故による死者はいない」 何と言う暴言でしょう。事故による被害者の気持ち等は微塵も考えていません。福島県民全員で抗議に行きたいです。死者に関しては事故による死者はいませんが、「すぐ避難」と言う指示であったため避難時の強行移動等で高齢者や病弱者の死者は多数でています。発表がないので詳しくは分かりませんが数百人にのぼるはずです。 気持ちとしては80,000円を返して「放射能すべて集めて持ち帰れ」と東電に言いたいです。
18093	個人	会社員・公務員	60代	男性	(1)ゼロシナリオ 福島事故は地震からの可能性が高い。日本は地震国。原発の廃棄物処理は不可能。原発廃棄方法の研究をすべきである。太陽電池を可能な限り設置し小水力も加えてエネルギーを確保すべきである。	(1)ゼロシナリオ 国会事故調の報告書からも、福島の事故は津波だけではなく地震によって起こった可能性が高い。日本は地震国である。原発に事故が起これば、国土の大きな範囲で産業がストップし、居住が出来なくなることは福島のとおりである。原発は、廃棄物の処理体系も確立していない。六ヶ所村の施設は稼働せず、稼働したとしても、イギリスの例では放射能汚染を周囲に拡散させる施設となる。その施設も中間処理で、最終処分場は決められない。この場所の選定について、斑目さんは「金で解決できる」と言うが、廃棄物による国土の汚染は解決できない。「かつてアジアの東に日本という国があった」となる前に、全原発を廃棄しなければならない。廃棄についても困難極まる課題であるが、国力を注入して日本を救うために、安全な原発廃棄方法を研究すべき時である。原発再稼働など真逆である。エネルギーは、太陽電池を可能な場所すべてに設置すれば難しいことではない。民間も含めたすべての公共施設に設置すれば原発分をまかなえる。小水力も水車の国、日本に相応しい。列島を横断し縦断してエネルギーを送る必要はない。
18094	個人	自営業	50代	男性	この地震大国日本では、原発は無理だということ。そして、この日本のこれからの発展を考えたとしても、新しいエネルギー技術を世界に発信することによって、経済的にも発展できると思っています。	私たちは、福島の事故を教訓にして、もう原発を即時廃炉にして、世界に脱原発を発信するべきだと思っています。そして、新しいエネルギー技術を研究して、新しい産業革命を起こすべきと考えています。0シナリオは言うまでもなく、即時原発を停止して、未来に繋いで行く事を考えるべきだと思っています。
18095	個人	自営業	50代	女性	ゼロシナリオに賛成 再稼働もしないことに賛成です。	今この期に、再稼動もせず原発ゼロに向かうのは無理だ？！ 何が無理なのか具体的に教えてください。 福島に行って子ども達にあってください。お母さん達にあってください。 不安とひきかえの、一部の人たちが苦しんでいる上での幸せはいりません。
18096	個人	家事専業	40代	女性	脱原発を！	将来のことを考えると、違うエネルギーで電気をまかなってほしいです。使用済み核燃料の事など考えると、原子力には賛成できません。未来の子供達の為にも脱原発を支持します。
18097	個人	無職	60代	男性	原発はやめるべきだ。	福島の原発に対する事故調査ではメルトダウンに至った原因はまだ完全に特定されていない。 絶対に事故は起きないと言って事故は起きた。 原発事故は天災でなく人災だ。東京電力が福島第一原発事故の5年前の2006年、原子力部門の社内研修で、最大20メートルの津波に襲われた場合の被害や対策費を見積もっていた。この時全交流電源喪失により原子炉を冷やす注水ができなくなると想定。対策費用が80億円かかると試算したが生かされなかった。実際に事故が起きると想定外と 原子力ムラは声を揃えて言い張る。 原子力ムラ（利権集団）のための再稼働はいらない。 原発は0にすることを強く望む。 福島原発事故により環境汚染が広がっているが収束するのは半世紀以上かかるだろう。 太陽光発電、自家発電を進めることと、節電で原発は 再稼働して欲しくない。 電力供給が足りないなら、政治の力でその分の需要を抑えればよい。
18098	個人	パート・アルバイト	60代	男性	作業員の犠牲で成り立つ原発の仕組み	原発事故の作業を請け負う建設会社が鉛板のカバーで覆うよう指示していた報道がありました。末端の原発労働に近ずくほど危険さらされる、電力会社 は安全と主張するならば正社員を末端労働に従事させれば良い。低所得であるが伸えに危険にさらされながらでも働かざるをえない人々の犠牲で成り立つ原発の仕組みです。
18099	個人	無職	60代	男性	原発即ストップ	我が国のように地震国には、いつか地新になるケースが多いので危険であると思います。即原発を廃止していくべきだと思われます。
18100	個人	家事専業	70代	女性	『2030年までに原発0』ではなく、即刻全原発を停止し、廃炉にすることを主張する。	これまで『原発は安全・安心』と国民を騙してきた政府・国会議員、そして『原発ムラ』と呼ばれる原発にまつわるありとあらゆる利権を手中に収め、由税を湯水のように使ってきた電力会社・関連会社そして自治体をこれ以上信用することはできない。今回の『3択方式』の全ての選択肢に共通することは、『2030年まで原発は使い続ける』ということだ。このような状態では、今3つの選択肢のうちのどれを選んでも、その結果を検証する時（2030年）には、現在の総理をはじめとした政府・国会議員・電力会社の誰も責任を取られることはない。私は『即刻全原発を停止し、廃炉にする』事を主張し、それができない場合は、今その責任にある全ての人間にきちんとその責任を負わせるべきだと主張する。 今回の福島第一原発事故の原因の徹底究明も未だされておらず、東京電力は未だに倒産していないどころか、未だに原発の運転・管理を任されているということに憤りを超えて怒りさえ感じる。即刻全原発を停止し、廃炉にするよう、強く要求するものである。
18101	個人	自営業	50代	男性	原子力発電維持について	私は原子力発電所及びその技術維持に賛成です。脱原発と経済成長は両立できません。電力の安定供給は経済活動の基本なのです。原発を廃止して慢性的な電力不足に陥った場合の経済的ダメージは計り知れません。国民生活や医療・介護政策にも深刻な影響を与えるでしょう。 自然エネルギーは不安定な技術的にも完成しておらず、供給能力に疑問符が付きます。確実ではない技術に国の未来は託せません。 また、原子力技術の放棄は、既に飽和状態にある核廃棄物の処理問題を取り返しのつかないものにしてしまいます。 自然エネルギーの導入を決定したドイツでは、電力買取制度が電気料金の値上げを招いて国民生活に更なる負担を強いています。 情緒的で冷静さを欠く脱原発論に、国の政策が流されることがないように願います。
18102	個人	会社員・公務員	50代	男性	2030年までの原発依存度0パーセントを支持します。日本は世界で自然エネルギー最先端国を目指すべきと考えます。	世界人類は種の存続のため、自然エネルギーに能をきるべきです。核廃棄物の処理方法も確立していない今このまま原発を稼働させるのは、自殺行為です。 国家が自然エネルギーにシフトすることにより、新しい産業が生まれ雇用が促進され、現在の閉そくされた経済を打破できます。なにより未来の子供たちのためになります。新エネルギー政策で世界をリードすることにより国際社会での地位が確立され発言力が強まります。今こそ旧来の成功体験の呪縛、洗脳から解放され勇気をもって未来の人類のため日本国が先頭を切ってますすんでもらいたいです。そのための節電、計画停電などは、国民として辛抱し、全面協力いたします。どうかドイツに先を越されぬよう、世界に宣言してください。日本国が世界のリーダーになる！と。

18103	個人	パート・アルバイト	50代	女性	「原発0シナリオ」を選択します 「2030年に原発0」ではなく「即刻原発0」を強く求めます。 第二の福島が二度とあってはならない！	「原発0シナリオ」を選択します 「2030年に原発0」ではなく「即刻原発0」を強く求めます。 第二の福島が二度とあってはならない！ 原子力発電に未来はないと思う！ 再生可能エネルギーにこそ、この国の未来があるのではないか 国は潔く、原発を止めてほしい！「核開発」などもってのほか！ こんな危険な地震国で、原発を止められない理由が分からない。 このまま原発を続ければ、事故は、必ず起きます！！ 安全など保証されない！　誰も責任を取れない！ 国政を司る方々に切にお願い申し上げます。どうか勇気を持って、「脱原発」に舵を切って下さい。お願い申し上げます。
18104	個人	パート・アルバイト	40代	女性	地震大国にありながらエネルギー源として原発に依存しようとする現在の政策に反対。むしろ、日本の地の利を生かしたエネルギー政策に転換し、世界に向けて日本の技術力を発信し、技術立国日本をアピールすべき。	4枚のプレートが重なり合う日本にあって、エネルギー問題への国民的論議もないままに、54基の原発を稼働させていた自民党政権は、国土への愛国心、放射能に迫われ、仕事も我が家も故郷をも失わざるを得ない国民同胞を思う痛みはないのか悲しむばかりである。 　政府は、これまで個別撃破で地元への利益誘導で危険な施設を作り続けてきた。しかし、福島原発事故により、エネルギー源を原発に依拠することは、リスク大というより、自滅的行為であることは明らかであり、今まさに国民全体に真を問うべきである。そのなかにあって、臨取会では、限りもせずまたもや権謀な仕掛けでした。 　地震大国にありながら、日本のように多くの原発を保有する国があるだろうか？それ故にか、安全性ばかりを強調し、安全なあまり事故想定もおろそかにし、惨事を招いたことは、国に原発管理の能力がないことをまさに露呈するものである。追い打ちをかけるように、今まだ原発直下に活断層が発見されるお粗末。政府は、これまで念には念を入れたようなロぶりで、原発の安全性を説いてきたが、日本のエリートが、こぞって国民を死地に追いやり、自らも壊滅した敗戦時を彷彿とさせる事態である。 　地震活動期にいよいよ突入したことは人力ではいかんともしがたいが、日本の立地条件を逆に生かしていく人智が、今こそ試されている。日本は世界有数の周辺海域を誇る。風力・潮力等の自然エネルギー、地熱発電分野にあっては世界のトップレベルの技術力をもつ。 　狭い国土で、54基もの原発からでる廃棄物の処理先も不明なまま。これでは、嘘の大本営発表を鵜呑みにし国民全体が盲進した、かつての日本は根本においてそのままだと、世界を呆れさせるだけである。 　日本の地の利を生かしたエネルギー政策に転換し、世界に向けて日本の技術力を発信することが、放射能汚染により他国に迷惑をかけたことへの責任の取り方でもあり、技術立国日本をアピールする最大のチャンスにもつながる。 　原発がなければ、電力不足で企業の海外流失につながるなどというが、法人税もこれだけ優遇され、電力料金も一般家庭にツケをまわしという大企業天国。そうそう自ら手放しはしないでしょう。心配ご無用ではないだろうか？ 例え、海外移転となっても、現地の労働者が日本企業のやり方におとなしくしたがっているものか。いずれにせよ、今、日本政府、日本企業が国内外で問われているのは、民主主義的倫理である。
18105	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオ	コントロールもできない、廃棄物も埋め立て以外に方法がないなど技術的に破綻していると思います。新しいエネルギーの開発と電力需要の抑制を覚悟し、原発のない社会をと思います。
18106	個人	その他	60代	女性	原発依存度基準のゼロシナリオを選択します。	原発はこの30年ぐらいの間に、世界で既に3回もの広範囲の地球環境に影響を与え、また大きな国土に復活不可能な被害を与える事故を起こしています。原発の数からいったら、大変な確率です。また、福島第一原発で見ても甚大な被害を回復させる手段が日本には無いに等しいことが、1年半近くたっても、何もできないことから見ても明らかです。 安全装置のマニュアルや技計図のことさえ共有されないままに、月日が経つと忘れ去られてしまって事故に至り、その軌道修正の対策すら先伸ばしにする政府がある限り、箱ものインジニアはそう設計したつもりでも、再事故の可能性は確率が高い。 また、放射性廃棄物の処理もできないままに経済界の目の前の利益追求を目的とした原発比率を飲んでも、後で回ってくるツケは大きく、日本の経済力と政治力を損なう結果になります。最終的には、未来の日本人が経済的にも環境的にも苦しむだけです。 自分たちで被害を回復させることのできない装置を使うことは考えられない。ゆえにゼロしなりオを達成するように政府は努力してください。
18107	個人	会社員・公務員	40代	男性	電力の安定共有が実現できていない再生可能エネの推進は時期尚早。電気代も高騰し、日本のDGP40%程度を占めるものづくり産業の衰退イコール日本の衰退となる。産業界・経済への影響を加味した議論が必要。	産業や経済への影響を本当に考えているのか？綿麻ごとに感わされ、反対を唱える人にもっと現実を理解してもらう必要がある。反対している人も、日本の産業・経済の衰退でこれまでと同様の生活ができなくなることを理解しているのか？子や孫の雇用が無くなることを理解しているのか？原発を推進しているのではない。原発に代わる安定供給が電気代も変わらず可能となる方策が出来るまでの間は原発に頼る必要があるということ。現に原発が再稼働しなくても、地震や津波による危険性はそれほど変わらない中で、「再稼働反対」がお題目になっており、本来の目的に対応していない。 また、意見聴取会を開催しているが、その場で意見を言ってやろうと思う方々は原発反対論者が多いと考えられる。冷静に物事を見ている人は、あまりそんな所で発言しないのでは？こうした点を踏まえて判断すべき、世論の声がすべて正しいと言うことはない。一般国民にはそれだけの判断材料が十分には与えられていないのだから。
18108	個人	自営業	40代	男性	1番のゼロシナリオを望みます。それも出来るだけ速やかに実行される必要があります。	現在の原発は技術力もさることながら、それをオペレーションする電力会社の能力が足りてないと思うからです。現時点でも福島から大気へ海へと汚染物質が流れ続けています。公害問題として考えれば日本最大規模の大きな事件だと思います。日本だけではなく地球を守るために、一日も早く原発の無い世界を実現しましょう。それが事故を起こした当事国・日本の責任の取り方です。
18109	個人	パート・アルバイト	60代	女性	日本にある全ての原発の廃炉を希望します。	以下の理由からすみやかな脱原発を求めます。 1・原発からの放射能汚染された廃棄物処理の問題が解決していない（何万年後の子孫に危険物をこれ以上残すべきではない） 2・一度事故が起これば、放射能汚染は農業や漁業や生活を奪い、取り返しがつかない。 「原発をやめると日本の経済が･･･」と経済界は言ってるが、原発に代わるエネルギーの開発によって経済を発展させるべきと思う。 火力発電所のフル稼働や、地熱発電、太陽光発電、風力発電等の開発をすすめたい。 ウランも何年かすれば枯渇するはず。 3・狭い日本、地震の多い日本で原発はリスクが大き過ぎる。天皇陛下は口には出せないが、原発をやめてほしいと 思っているはず。日本が滅びてしまうから。 3・原発推進したい電力会社役員や野田さん、仙石さんには本人だけでなく、家族揃って福島に住んで下さいと言いたい。
18110	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	15シナリオを目標として、再生可能エネルギー開発を促進すると共に、より安全な原子力エネルギーとして核融合炉の早期実用化を目指すべきと考える	原子力エネルギーを継続して利用することが有効と考えているが、そのためには"放射能"を一方的に拒否しないで、相手をよく知って上手に付き合うことに対する国民のコンセンサスが不可欠である。 現在の軽水炉では核分裂反応に伴って様々な種類の"放射能"が生成・蓄積し、災害時に環境放出された場合にはお手上げ状態にならざるを得ないが、D/T核融合炉では反応生成物に"放射能"がなく、基本的に燃料となるトリチウムと上手に付き合えば良いことになり、現在の核分裂炉に比べて国民的なコンセンサスが得られやすく、災害発生時の安全管理対応も十分可能と考える。
18111	個人	無職	70代	男性	『2030年までに原発0』ではなく、即、原発を0にすることを主張する。 原発による『原発のゴミ』を処理する方法は未だなく、『核燃料サイクル』などというまやかしはもう通用しない。	核燃料サイクル、もんじゅや高速増殖炉は失敗を続け、成功の見込みはほとんどない。これまで政府は一般国民はこれらの『高度な科学』を理解できず、政府が『核のゴミはちゃんとリサイクルできますよ』などという嘘が通用すると思ってきたが、福島第一原発事故を機に、我々一般国民も相当な知識を得てきている。これまで原発にかかったコストは膨大であり、これからも原発をはじめもんじゅ・高速増殖炉を続ければコストは増すばかりである。さらには福島第一原発事故の事故処理のコスト・期間はやってみないと分からないというお粗末さだ。 全原発を廃炉にするには時間もコストもかかるが、それよりも原発を維持する方がはるかにコストはかかる。そして、一旦事故が起これば そのコストはさらに膨大なものになる。 今を生きる我々は今なすべきことを決断し、即刻全原発を停止・廃炉にし、再生可能エネルギー開発に全力をあげて事である。そのようにすれば、当然『原子力ムラ』は破たんし、原発にまっわる膨大な利権を握っていた国会議員・電力会社・関連企業・学者達にはカネは回らなくなる。代わりに、再生可能エネルギーを進歩させる企業や、自治体などにカネを回すべきである。それが正しい選択であると考える。
18112	個人	会社員・公務員	40代	男性	日本のエネルギー政策の方向性として、原発依存度0%「ゼロシナリオ」を選択するよう求めます。	福島第一原発の事故により明らかになったように、原発はいったん事故を起こすとその被害は甚大です。政府も電力会社もその被害をとても補償できるはずもありません。放射能による健康被害は、何年もたってから発生します。今後、原発事故による被害者が裁判で補償を求めてくることが当然考えられますが、政府はどのような対応をするのでしょうか。補償できない、責任のとれないことに対しては撤退するということが大原則だと思います。日本は原発依存度0%の国としての方向を選択すべきです。
18113	個人	無職	70代	男性	選択肢は 1「原発ゼロシナリオ」 野田佳彦首相・枝野幸男経産相・細野豪志原発担当相ばかりでなく、 古川元久国家戦略担当相までもが、国際法廷の被告席に立つことを阻まなければなりません！	国家戦略室のスタッフの皆さんもご承知の通り、ジュネーブで（別にもう一ヶ所あるとのことですが）、 "FUKUSHIMA Catastrophe"に対する国際法廷が提起されようとしています。 多くの科学者の知見と日本の原子力関係者の論文や発言記録や映像記録などがエヴィデンスとして提出されるのことですよね。 法人・個人・政府機関など被告は多岐に渉るようで進捗もスムーズに行くとは思えませんが、 私は、野田佳彦首相・枝野幸男経産相・細野豪志原発担当相ばかりでなく、 古川元久国家戦略担当相までもが、国際法廷の被告席に立つことに耐え難い思いを持っています。 なぜなら彼はかつてより、原発推進政策に疑問を感じ、国民の生命（この際、財産などと言う次元のものはどうでもよいでしょう）を守るために政治の果たす役割について、まじめに考えてこられたことを知っているからです。 原発「推進」して個人的利益を図るという確信犯（命あっての モノダネという理解がないのが政治家や官僚としてのレベルとして嘆かわしいですが）は、もうドンドン被告席立っていただくとして、 今回のパブリックコメントに関しましては、国家戦略担当室の行っていることと世界で認識されており、古川大臣が、このパブリックコメントの責任者として国際法廷の被告席に立つようなことを阻止したいと思います。 そのためには－－－ 1.　せめて選挙管理委員会並みの客観性を持たせた公正で公開されたリアルタイムのコメント集計にすべての国民にアクセスできること 2.　1のための公正性を分かりやすく証明すること 3.　すでに各地で開催された意見聴取会の非常に不味い演出構成を直ちに止め（頭のよくない電通などの演出家が演出していると思います）、 次の開催場所以降では、 あくまで公正に公開された各地の1・2・3の選択肢別の応募者の割合に応じた市民の意見を聴くこと 4.　3に関連して申し上げるなら、1・2・3の意見を3人づつなどという世論誘導世論操作術は、もうゲッペルス的古典であって、もはや通用しません。 　意見応募者全員から公開の場で無差別抽選すればよいのです。そうすれば確率としては自然に、 1・2・3の選択肢別の応募者の割合に応じた市民の意見を聴くことになるのです。 　こっそりと非公開でやる限り、ヤラセと思われます。過去の行状が国民をして、そう思わせるのですから致し方ありません。（電力会社の社員や御用学者に「意見」を言わせるなどもってのほかです。）
18114	個人	会社員・公務員	50代	男性	先日意見提出したが、明確にするために付け加えると、すべての原発の再稼働に反対で、2030年までに原発依存を0%にするべきと考える。	地震が多発するから　事故の場合、電力会社社員、自衛隊、消防隊、地元住民に被爆者が出るから　日常的に放射性物質を排出している恐れがあるから　放射性廃棄物の処理方法が確立しておらず、確立したところで、何の利益も享受しない子孫に負担をかけるのは倫理的に許されないから
18115	個人	その他	70代	男性	ゼロシナリオ選択 原子力依存ゼロの基本方針でみらいへの選択を問うてほしい。	今回のシナリオ作成に原子力委員会の参加は認められない。国民に安全神話を植え付けておきながら、事故が起きたら、原因はと問えば「想定外」ですの一言で済ませてきた原子力委員会には信頼ができない。また見直しを任せるわけにもいかない。 原子力は不安全であるならば、現在の原子力の不安全度はどのようであるのか？　専門家である方たちは分かっているのでは？公示できないものでしょうか？
18116	個人	会社員・公務員	60代	男性	原発のバックエンド（核燃料廃棄物処理）の見通しがない限り、脱原発を推進するためには0%シナリオ政策の下にエネルギー政策を推進し、問題点の抽出と課題解決に向けての議論を継続的に進めていく必要がある。	現実的には原発0%シナリオは困難であるように思われるが、核燃料廃棄物処理の見通しがない現状を踏まえると、原発廃止を目標に掲げて進めなければ原発依存のエネルギー供給システムの脱却は難しいのではないか。エネルギー政策を議論する上で多角的な視点からの議論が重要であり、現実的にはエネルギー政策の専門家が議論しているように、様々なエネルギー源のベストミックスを検討し、さらに、エネルギー関連の新たな革新的技術開発を推進することが重要であると考える。しかしながら、エネルギー政策だけではなく、今後問題になると考えられる「水」、「食糧」、「地球環境」などを考えると、以下の観点からの議論も含めて、総合的な議論を適切な時間軸を設けて進めていく必要性を強く感じる。 1）国民的な議論を喚起して進めるためには、情報を共有し、多角的な議論を重ねた上で、ある種の共感的な結論を導きだす必要がある。このためには国民の知識やリテラシーの向上が必要であり、将来の重要な選択を国民自身が考え、選べる能力を持たせられるような教育改革を実施しなければならない。あるいは、国民の理解を深めるためのインタープリッターの役目を担う人材を育て、国民、専門家、政治家を含めた国民的な議論が実施できるシステムを構築する必要がある。 2）人類の歴史を顧みると人類は様々な社会システムを試行錯誤してきたように思う。その中で資本主義を中心にした大量生産及び消費の社会が生まれてきた。よく言われる「持続可能な社会」を実現するためには、これまでの人類の歴史を人間哲学的に分析し、未来の持続可能な社会を科学的にシミュレーションし、将来の人間の社会システムの在り方について、原点に戻って考える必要があるのではないだろうか。これは人間とは何かという人類哲学的な要素が含まれてくるが、これから先の人類が進むべき道を人間自身がもう一度認識（再認識）することが重要であると考えます。
18117	個人	パート・アルバイト	60代	男性	原発比率はゼロ%にすべきです。	事故が起きたときの犠牲があまりにも大きすぎます。いまだに十数万人が故郷へ帰れません。放射能汚染は植物や海水にも及び、災いは人間だけでなく自然界にも及んでいるようです。住まい、食べ物が無くなってしまいます。今度また、事故が起きたら日本はどうなってしまうのでしょうか。多くの被爆者の住む、放射能汚染大国になってしまいます。チェルノブイリのような廃墟の街になってしまうのでしょう。 　３．１１であんなに怖い思いをしたのに、まだ経済最優先のような政治を感じます。命よりお金が大事とでもいうのでしょうか。事故はもう起こらない、対策を立てたからもう安全だというようなのですか。次もまた想定外のことが起きたことになるのでしょうか。ほんとうの対策は、原発を使わないことです。 　使用済みの核燃料の最終処理も不完全なままです。放射能は十万年以上もも出続くのです。自分たちが作り出したごみのあとしまっを後世の人達に押しつけてもいいのでしょうか。 　福島の事故を経験しても、原発はこれまでどおりだと言う方は、日本人の敵です。たとえ不便は覚悟しても、クリーンなエネルギーを求めていくべきです。
18118	個人	会社員・公務員	40代	男性	『2030年までに原発0』ではなく、即刻原発0を主張する。 地震大国日本に原発は不要。未来世代・地球に責任ある選択は、即刻全原発を停止・廃炉にすることである。	福島第一原発事故により、政府・電力会社・関連会社・御用学者達がいかに原発推進のために原発の危険性を過小評価してきたかが明るみに出た。これまでも電力会社の事故隠しは度々起こっている。さらには、日本は地震大国であり、多くの原発が活断層の上にあることも分かっている。一旦事故が起きれば、現状では国にも電力会社にも対応能力はなく、そもそも原発は人間の科学で完全にコントロールできるものではないことは明白である。一旦外界に放出された放射性物質を収集することは不可能である限り、真の意味で『原発事故に対して責任をとれる人間』など存在しないのである。 よって、即刻全原発を停止し、廃炉にすることを主張する。そして政府は再生可能エネルギーの推進に対して全勢力を注ぐべきだと考える。
18119	個人	無職	70代	男性	化学プラントでは事故で墓走する事があるかもしれないが、これだけ広範囲にしかも長期に影響を及ぼす原発事故は空恐ろしい。 直ちに原発はゼロにすべき。	原発はゼロにしなければならない。 ・使用済み燃料の埋設場所が決められない（引受ける自治体は出てこな　い） ・原発過史を読むと議論を尽くして政策が決められたように見えない（構　成員に偏りが有り、シナリオが用意されていたみたいだ） ・地震国で補着類まで含めて安全を確保するには莫大なコストがかかる（空気配管が地震で破損しバルブが開かなかった？） ・命が先ず大切 ・事故は再び起きないと誰が保障できるのか。
18120	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオを支持します。 この選択肢では当面の原発運転容認派であってもはゼロシナリオ以外は選べません。	ゼロシナリオを支持します 理由は世界の命運を左右する重要な問題を現在の政府に信託することができないからです。 本来このような意見募集は総理大臣がテレビ会見で直接国民に呼びかけて行うことではないでしょうか。 しかも周知期間も短く、募集期間もわずか40日、おまけに意見募集を閉め切ったその月内に責任ある選択などできるものでしょうか 当面の原発運転容認派であっても現時点ではゼロシナリオ以外は選びにくい状態と考えます。 選択肢についても0%以外は実質上原発の新規建設なしには達成できない数値という意見もあります。 数字だけでなく新規建設を認めるのか否か、核燃料サイクルをどうするのか、最終処分をどうするのか、など多くの問題についても意見募集するべきと考えます。

18121	個人	無職	60代	男性	原発ゼロを目指す。	原子力の罪は証明されました。人類がいくらがんばっても放射線から逃れられそうにもありません。 原発をなくすという命題から未来を考えると、将来の希望が湧いてきます。あらゆる方向への技術開発が要求され、あらゆる面で日本人の生き方を考え実現する夢が見えてきます。一刻も早く21世紀に向かって進むべきです。20世紀に留まっていてはいけません。新しいことに向かって日本が進むことが、この日本にとって活力が出てきます。そのために予算を立てて下さい。 原発関連の人々は安心してください。少なくとも50年いやもっとそれ以上、今の全原発の放射性物質の安全化封じ込めの為の仕事が続くでしょう。 原発廃止が経済投資に合わないなどという考えは人間という生き物の考えることではありません。 十分な電気がないと物が作れないというのではなく知恵を働かせて未来を勝ち取りましょう。 原発ゼロを日本人が世界に向かって発信し実現しなければなりません。
18122	個人	家事専業	30代	女性	(1)ゼロシナリオ、が前提ですが止められるものは随時止めるべきだと考えます。原発ゼロの実現を！	核のゴミの処理方法も決まらないのに原発に依存し続けるはおかしいのではないか。電力会社は動かすことには躍起だが、その後のゴミのことなど見て見ぬふりをしているように見えます。動かしたいなら最終処分方法や最終処分地を決めてからにしたらどうか。これ以上あとの世代に負の遺産を残すのは健全ではないと思います。 今まで多額の給付金をつぎ込み原発に依存せざるおえない状況を電力会社や地域社会が作ってきていたのではないか、交付金や給付金を今度は再生可能エネルギーなどの建設や研究に充てれば原発さえ動かすことが出来たのだからたやすいものではないか。 今、新しいエネルギー政策を模索し後世に伝えていくべきではないか。
18123	個人	家事専業	70代	女性	2030年時点の原発0%に賛成です	東電の原発事故の為帰る家や家族を亡くし悲しみの中で必死で生きておられる方々の姿をテレビ、新聞等などで見るにつけ、天災よりも人災だと云う結果。安全神話が壊れたのです。原発は安全だという言葉を信じ私達は贅沢に慣れた生活をしてきました。これからの若い人達や子供達の事を考えた時、汚染された物に囲まれて生きて行かねばなりません。私は年齢的に先が短いのですが子供や孫の事を思うといてもたってもられません。今の生活の中で昔と比べ贅沢になり電気製品に頼り生活しています。食洗機等一例です。一般家庭で必要だとは思いません。新幹線の本数もあんなに必要なのでしょうか？一晩中コンビニも開いており自販機は至る所あり都会は不夜城の様です。もう少し意識を持ち皆が節電すれば原発に頼らず代替エネルギーに替えても産業界は遣っていけないものでしょうか。地震列島に恐ろしい原発は要りません!!　何時どこで大きな地震や津波が起きてもおかしくない日本です。
18124	個人	パート・アルバイト	60代	男性	（3）２０～２５シナリオに賛同します。	国力の低下防止、経済力の弱体化防止のため。 多額の費用を投じて建設した原発を停めたまま、3兆円/年　もの燃料費を浪 費することは許されません。 日本の原発は、信用できます。技術をもっと高める必要がある、韓国　中国に 負けてはならぬ。 メタンハイドレートやオーランチオキトリュームの開発に国力を注いでくださ い。 太陽光発電は大型火山の噴火など大気の汚染に弱いはずです、風力発電は 低周波公害になる、そのため予備的に開発するべきです。
18125	個人	会社員・公務員	60代	男性	原発即時前面撤廃、TPP参加の即時撤廃	始めに申し上げておく。これを読まれる方が政府部内におられるとはとても思えないが、一応書いておく。 　戦後60余年自民党の売国政権下において一番に信用の置けないものが政府であった。 　まさに日本の愚民社会がアメリカの手先となった者達によって蹂躙されて来た事を見つめながら生きてきたものにとって、民主党に政権交代したことは、国民の存亡にかかわる切実な叫びが結実した結果だと言って良いと思う。 　しかし小生には、自民党と立ち位置が同じ政党に期待は持てなかった。案の定である、以下は国の根幹にかかわる事である。 　福島原発問題 　私は去年３月１４日にメルトダウンを確信、２００Km避難を唱えていたものであるが政府や東電、また学会やジャーナリズムの対応は、国民より原発の存続を考えているように見えた。 　そして現在に至り東電や政府関係者から誰も責任を取ったものがでていない。低線量被爆放置の福島集民政策、大飯原発再稼働これは世界中の笑いものの野蛮な3等国家以下の政策である。 　TPP参加問題 まずオバマ大統領が来日講演したなかでTPPに言及した所を引用する。 「米国にとって雇用戦略であり、輸出を少し増やすことで何百万もの新規雇用を創出する可能性をひめています。」 　TPP参加は、米国国内の雇用を拡大することにある。 　米国のグローバリズム戦略は、米国のルールを世界に普遍化し、米国にとって競走上有利な状況を作り出すというプロセスで展開されている。 　彼らはコスト削減と効率性しか眼中に無く、労働者の権利や福利を一顧だにしない、米国流の株式資本主義の論理そのものである。
18126	法人・団体等	会社員・公務員	50代	男性	２０３０年の原発依存０％ゼロシナリオ	私たち福島県民は、今回の原発事故において甚大な被害を受けました。そして今なお見えない放射能からどのようにして身を守るか考える毎日です。今後子どもたちが大きくなって健康が脅かされるのではないかと考えるとともても不安になります。今すぐ原発依存ゼロにすることを求めます。経済優先の社会でなく皆が共存できる社会を目指しましょう。
18127	個人	パート・アルバイト	70代	男性	『2030年までに原発0』ではなく、即刻原発0を主張。 今日本が選択すべき責任ある決断は、全原発を停止し廃炉にすることである。	原発は一旦事故が起き、外界に放射性物質が拡散されれば、放射能汚染を除去することは不可能である。福島第一原発事故の原因も究明されておらず、事故処理にかかるコスト・時間もどれだけかかるか分からない現在、たかだか1カ月程度の「国民的議論」でこれからの日本の原発政策の指針を決定するなど愚の骨頂である。「国民的議論」の名のもとで、形ばかりの意見収拾を行えば、国民に対して「国民の意見を聞きましたよ」と言えるとでも思っている政府は国民をばかにしているとしか言えない。このような政府や、これまで事故を隠し、原発利権に群がり甘い汁をすすってきた電力会社・関連会社・自治体をこれ以上信用することはできない。 よって、全原発を即刻停止し、廃炉することを強く主張するものである。
18128	個人	会社員・公務員	30代	男性	私の意見は、原発依存度の基準、ゼロシナリオです。 日本の美しい自然を未来の子ども達に残したいからです	私の意見は、原発依存度の基準、ゼロシナリオです。 日本の美しい自然を未来の子ども達に残したいからです。 日本は、歴史的にも自然と共に暮らしてきました。山や川、海、石などに神性を見いだし自然の恵みを享受してきました。 今の様に科学技術が発達した世の中は、歴史の流れて見たときにわずかの期間しかありません。 地震の活動期に入った日本では、福島県と同じような事故が起きてもおかしくありません。また、原発はこれまでも、小さな事故を繰り返してきました。それに、今回の福島の事故だけにとどまらず、使用済み核燃料は処理の仕方も決まらないまま増えていっています。 もう、これ以上、悲しむ人が出ないように、自然エネルギーへと転換していくことがこれからの日本の進む道です。 既存の仕組みを変えることは、様々な抵抗があると思います。けれども仕組みを変えることによって、新たな産業も生まれ雇用も生まれます。 以上の理由から、原発依存度はゼロというのが私の意見です。
18129	個人	会社員・公務員	30代	男性	ドイツのように脱原発を。そうできるよう前向きに再生可能エネルギーへのシフトを選択し改革を進めて欲しいです。	今現在の豊かな社会、経済を支えるのに原発が必要なのは理解できますが、これからの世代、子供やそのまた子孫たちに負の遺産を残し続けることはもう止めなければならないと思います。 地球規模での考えを国民一人ひとりがもつことでこれからの世の中をよりよく創っていけたらと考え投稿します。
18130	個人	無職	60代	男性	エネルギーの安定的確保、国民のコスト負担増高抑制、地球温暖化の軽減対策、国際競争力の確保等総合的に見て原子力比率が20～25%以外はない。なお、原子力運用技術の更なる安全性確保がその前提。	高度にシステム化された社会構造の中で、自然現象や地政学的リスクに左右されない電力エネルギーの安定的確保は、とりわけ資源が乏しく他国との電力連係が無い日本にとって正に生命維持そのものである。　自然エネルギーの有効利用の重要性は言うまでもないが、 　その発生量は自然任せであり、かつこれがネットワークに大量に連係された場合のネットワーク増強費用と電力系統安定性への影響度評価や、この不安定的電源を利用可能とするためのバックアップ電源の確保（二重的設備投資部分）は極めて重要な問題である。これらの不可避的コストは、結果して利用者負担（更なる家庭の電気代上昇）となり原発ゼロのシナリオは一段抜き出たコストになる。これらの付随的コストを再度計上の上、 環境負荷の低減効果度、エネルギーの多様化による供給リスク分散、国際競争力確保のためのコスト低減問題などを総合的に勘案すると、原子力エネルギーがゼロで良いと言うシナリオは必然的に排除される。 結果、原子力比率は現状以上あるいは少なくても20～25%程度の維持は絶対条件と言える。 　なお、今回の事故を最大の教訓として、より安全性の高い原子力発電システムの確保がその前提にあるのは言うまでもない。国家政策推進サイドとしてイデオロギーや感情論に左右されない冷静かつ公平な結論を望む。
18131	個人	その他	60代	女性	ゼロシナリオ選択 「とにかく早く原発をゼロにします」に！	地震国に住んでいる我々が現在を含めて未来の人々に一番しなければいけないことはこの国から原子力を無くすことです。人間だけでなくすべての動植物に対しても原子力は何一つよいことがありません。 福島の事故によって周辺の人はもちろん、動植物、土地等への甚大な被害をもたらしたことを教訓にして原子力を無くす方向で見直しをしてもらいたい。
18132	個人	無職	60代	男性	現科学では、放射能をコントロール不可能。故に「原発」は不要です。国策（過去の自民党支配）により、ただ経済を優先しただけ。安全はそっちのけ、真剣に日本の将来を考えるならば、「原発」は廃止するべきです。	現科学では、人間が放射能をコントロールすることはできません。従って日本の未来が消滅しないよう、「原発」は廃止すべきです。 だいたい核のゴミの処理にしたって、何も進んではいません。 経済を優先させると、あたかも「原発」による電気料金が安価のように、電力会社が言うのは当たり前ですが、国がそれを提示することは、国民を愚弄していると言えます。 何故なら、国民にとっては「原発マネー」と言われる交付金は、電気料金と同じではありませんか、それを抜きに電気料金を語るのは「騙し」と言えるでしょう。 何故原発に交付金をばら撒くのか、そもそもリスクに対する代償でしょう。そんな人類を滅亡に導くリスクを背負い込むのは止めましょう。未来の子供の為に。 今回の原発事故から、国民を欺いてきた結果が見て取れます。これで「原発不要」を学ばなければ、何時学ぶのか、要は自民党の政策が間違っていたことに他ならない。 国民は、民主党を選択しました、それを今一度お考えください。 原発は、直ぐにでも止めるべきです。 是非、(1)放射能のコントロール(2)電気料金（原発マネーを含む）(3)核のゴミ処理について、回答をいただければ幸いです。
18133	個人	会社員・公務員	40代	女性	地震国日本では、近い将来相当大規模な地震が想定されています。その中で、原発の安全性を保つことは不可能でしょう。「ゼロシナリオ」の他に私たちの安全を確保する道はないと考えます。よろしくお願いします。	6月29日、政府の「エネルギー・環境会議」は、2030年までの日本のエネルギー政策の方向として、「ゼロシナリオ」「15シナリオ」「20～25シナリオ」の3つの選択肢を提示されました。原発を続けることは、将来の子どもたちにどうすることもできない危険な放射能を残すことです。使用済み核燃料をどうするかの技術も処分場所も不確定な中で、原発を動かしていくことは、できません。放射能は、いったん外に出ると私たちの生活環境を奪ってしまいます。故郷を失った福島県民のことを考えれば、、原発をなくすことが重要であり、「ゼロシナリオ」しか選択肢はないと考えます。将来の子どもたちの明るい未来のためにも「ゼロシナリオ」を実現されますようお願いいたします。
18134	個人	無職	60代	男性	原発0%、即廃止	人間が制御出来ない物は使うべきで無い。 研究は残し、制御出来るように成ってから使用すべし。
18135	個人	会社員・公務員	50代	男性	私たちの命を守るには「ゼロシナリオ」しかありません。	3・11の福島原発事故で明らかになった原発の危険性から私たちの命を守るには「ゼロシナリオ」しかありません。
18136	個人	家事専業	40代	女性	原子力は、その最終処理方法が、見つからない以上、利用すべきでない。地震立国の日本は、原子力は利用すべきでない。自然エネルギーを選択していくべきだ。原発利用は、0%にすべきです。	最終処分が見つからないこと、地震が起きた時、利用して危険なものであること。人間が100パーセント操作できない、ひとたび、漏れたら、地球にも、人にも害を及ぼし、回収不可能なものを、地球上、特に地震立国の日本において、存在すべきでない。他の諸外国にも述懐である。もし隣国韓国などで同じような事故が起きたら、日本はどう思うのか、憤慨するはずだ。自国の利益ばかり追求するような、情けない国になってほしくない。戦争中の考え方と同じだ。 　電気は、必要な人が必要な発電機関から自由に購入すべきだ。電話と同じようにサービスを選択できるようにすべきだ。
18137	個人	家事専業	70代	女性	『2030年までに原発0』ではなく、即原発0を主張します。 政府は再生可能エネルギーの推進に全勢力を注ぐべきだと主張する。	福島第一原発の事故が起きるまで、そして事故が起きてからも、政府・電力会社は「原発をなくして化石燃料に頼ればコストがかかる。日本の経済に大きな打撃を与える」と、原発問題を単純にコストの議論に持っていっている。 私を含め、一般国民はこれまで原発にどれほど膨大なコスト（血税）を費やしてきたのか、そして、原発にかかわる利権でどれほど国会議員をはじめ、電力会社・関連会社・銀行などが私腹を肥やしてきたか知らずにいた。 原発は経済的にも安い発電ではないことは今回の事故で明らかである。 さらには、原発を地震大国日本で稼働し続ける事は倫理的にも問違っている。 未来世代に対して現在を生きる我々が取り得る責任ある決断は、即刻全原発を停止し、廃炉にすることである。そして、再生可能エネルギーを推進・開発して、日本が進むべき正しい道筋をしっかりと歩むべきだと考える。
18138	個人	会社員・公務員	40代	女性	私たちの命を守るには「ゼロシナリオ」しかありません。	3・11の福島原発事故で明らかになった原発の危険性から私たちの命を守るには「ゼロシナリオ」しかありません。
18139	個人	無職	60代	男性	脱原発と地球温暖化対策を両立させるシナリオが私たちの採るべき選択肢です。省エネルギーと再生可能エネルギーを両翼のエンジンとする施策を強力に推進していけば、必ず達成できると確信します。	・私たちが採るべき選択肢は、脱原発と地球温暖化対策を両立させるシナリオです。日本国民の英知を結集して、省エネルギーと再生可能エネルギーを両翼のエンジンとする施策を強力に推進していけば、必ず達成できると確信します。 ・「ゼロシナリオ」は唯一の脱原発シナリオです。石炭火力への依存が大きく、地球温暖化対策に問題を残していますが、他のシナリオに比べると相対的に望ましい選択肢となっていると思います。 　私は、産業構造転換やエネルギー関連予算の抜本的組み替え、更には電力システム改革などを実現することにより、脱原発と地球温暖化対策は十分に両立可能であり、経済的負担が重くなるどころか、日本経済の成長にも寄与しうると考えます。 ・「15シナリオ」と「20－25シナリオ」は原発を温存するか、原発を増やしていくシナリオであり、福島第一原発事故を経験した日本国民として到底容認することはできません。 　原発の最大の問題は、使用済み核燃料という有害な放射性廃棄物を生み出すことです。しかも使用済み核燃料の処理技術も未確立であり、何万年という単位の時間軸で将来の世代に悪影響を与えます。すでに日本の原発が生み出した使用済み核燃料は17６６キトンという膨大な量にのぼっています。これ以上、有害な放射性廃棄物を生み出し続けてはいけないと思います。 　私は、産業廃棄物を処分する技術を保有しない産業は、産業として存在してはならないと考えます。健全な産業人ならそう考えるのが当然なのですが、なぜか原発産業に携わる方々はそうは思っていないようです。 　使用済み核燃料の問題一つをとっても、原発はクリーンなエネルギーとはいえません。「クリーンエネルギーへの重点シフトと成長の確保」という第1の視点に照らしても、原子力発電は速やかに閉じていくことが必要です。将来世代への現役世代の責任という倫理的な面からも「15シナリオ」と「20－25シナリオ」はありえない選択です。 ・「脱原発は経済的な負担が大きく経済成長の足かせになる」ということがよく言われます。しかし、これからは、「環境・エネルギー」を軸とした産業構造転換を実現していくことがむしろ経済を成長させていくことになると考えます。今こそ「原発からグリーンへ」を合言葉に産業構造の大胆な転換に踏み出す必要があると考えます。第4の革命ともいわれる「環境エネルギー革命」の波に乗ることによって、省エネルギーや再生可能エネルギーを核とした新しい産業が生まれて経済も成長していきます。新興国や発展途上国では再生可能エネルギーの市場は膨大なものがあります。日本の強みを活かして輸出にも貢献し、化石燃料への国富の流出も抑えられます。再生可能エネルギーの拡大は日本国内で誤達されるので、エネルギー安全保障の視点からも最も望ましいシナリオです。「ゼロシナリオ」で経済的負担を強調しているのは問題があります。経済的負担ではなく、未来への投資であり、その投資によって新しい産業が興り、雇用も拡大していくことに目を向けることが大切だと思います。20世紀型の重厚長大産業に依存する産業構造では日本の将来はありません。今こそ、クリーンで地球環境にも優しい新しい産業を興していく時だと思います。 ・産業構造の転換のためには、何よりも膨大なエネルギー関連予算の抜本的な組み替えを行うことが必要です。省エネルギーと再生可能エネルギー分野およびそれを支えるインフラの張り替え（送電網の強化など）などに集中的に資金を投入する。また、核燃料サイクルなどに投じられていた資金も廃炉技術や使用済み核燃料の処分技術の開発に集中投入するなどです。 　「省エネルギー」と「再生可能エネルギー」を両翼のエンジンとした産業構造の転換を実現し、地球温暖化対策にも貢献する日本を創っていくためにも、国家の明確な意思と政策が必要とされています。そして、そのことはエネルギー関連予算の抜本的組み替えによって示されると考えます。 ・電力システムの改革も待ったなしです。電力市場の自由化はもちろんのこと、公共財ともいうべき送電網を電力会社から分離し、再生可能エネルギーによる発電の優先接続を可能にすることは、再生可能エネルギーを加速度的に拡大させていく鍵になると思います。 ・核燃料サイクル政策を廃止していくことも重要です。実現のめどもたたない核燃料サイクル事業に投じられている膨大な資金と人材を別の分野の振り向けていくことを早急に決断すべきだと考えます。 なお、核燃料サイクル政策については、独立した問題として取りとげ、国民的議論の遡上に乗せていくことが必要と考えます。 ・今回のパブリックコメントや意見聴取会の期間はあまりにも短すぎるし、1回だけでは「国民的議論」深まらないのではないかと思います。日本の将来を決める重要な意思決定ですから、国民が納得いくまで議論を尽くしていくことが求められていると思います。すべてのように公共放送の場で公開討論を行っていくのも一つの方法。少なくとも複数回の「国民的議論」は必要なのではないか。また、「国民的議論」の反映方法や評価方法も明確に国民に提示してもらいたいと思います。例えば、国会にエネルギー調査特別委員会のようなものを作って、「国民的議論」による意見集約の結果を報告し、審議していく方法も考えられます。最終的には国民投票で決めていくくらいの重要な案件だと思いますので、国会でも大いに議論してもらいたいと思います。まかり間違っても、関係閣僚会議のような少人数の閉じられた世界での拙速な決定はご免こうむりたい。日本国民として、未来の世代にも恥じないような正しい決定をしたと評価される透明なプロセスを経て、正しい意思決定に持っていきたいものと思います。 ・上

18140	個人	自営業	40代	女性	2030年ではなく、すぐに原発ゼロへして下さい。地震もテロも明日起こるかもしれないのに、なぜ2030年なのですか？即刻原発すべて停止してください、新たな原発建設はすべて即刻中止です。	福島第一原発だって収束などしていませんし、福島原発の管理会社がイスラエルのマグナBSP社だなんて本当はテロだったんでしょう？　地震もテロもいつ起きるか起こされるか、わかりません。原発を稼働させるのは狂気の沙汰です、目を覚ましてください、国を守るべき人達！　石油やガス、ソーラーの他に、地熱や放射能を出さない常温核融合などの新エネルギー開発だってもっと進めるべきです。今まで利権がらみの圧力で潰されてきたのでしょうが、もう騙せません、このままいくと、あなた達含め人類はおろか、地球全体が終わってしまうでしょう。電気がなくても生きていけるが、自然がなくなったら生きていけません。利権や お金などなんの意味もないのです。愛だろ、愛？　恐れや恐怖を与えて支配する今までの世界はもう終わりにしてください、みんなそれに気付いてしまったのだから。
18141	個人	会社員・公務員	40代	男性	3．11の福島原発事故で明らかになった原発の危険性から私たちの守るためには「ゼロシナリオ」しかありません。	地震の多い日本では、近い将来大規模な地震が想定されています。その中で、原発の安全性を保つことは不可能です。世論調査では国民の8割以上が脱原発を求めていることが明らかになっており、脱原発の実現は国民の総意といえます。原発の安全性が保てていない以上、「ゼロシナリオ」以外に安全を確保する道はありません。そのために、国の予算を増額し、代替エネルギーの拡大をすすめていく必要があります。このまま、原発を維持していくことは、将来の子どもたちを危険な状態にさらすことになります。ぜひ、ご検討をお願いします。
18142	個人	会社員・公務員	40代	女性	私たちの命を守るには「ゼロシナリオ」しかありません。	3・11の福島原発事故で明らかになった原発の危険性から私たちの命を守るには「ゼロシナリオ」しかありません。
18143	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	「3.11福島原発事故」で明らかなように、原発の危険性から私たちの命を守るには「ゼロシナリオ」しかありません。	原発を稼働し続けることは、将来にわたって危険な放射能を残すことであり、使用済み核燃料の処分技術や処分場所も不確定な中で、原発を稼働させることはできません。自然エネルギーへの政策転換を図るべきです。 地震国日本では、近い将来にも大規模な地震が想定されています。その中で、原発の安全性を確保することは不可能です。「ゼロシナリオ」しか私たちに安全を確保する道はありません。放射能汚染は、長期間にわたって私たちの生活環境を奪ってしまいます。故郷や雇用を失い、「命」が脅かされている福島県民のことを考えれば、原発をなくすことは重要であり「ゼロシナリオ」しか選択肢はありません。福島原発事故の教訓から「ゼロシナリオ」を決定し、自然エネルギーの拡大に努力すべきです。原発立地市町村には新しい地域経済復興の施策を実現することを求めます。
18144	個人	その他	50代	女性	この3つからというなら、1.『原発ゼロシナリオ』の選択しかありません。そこに、更なる省エネ、温暖化対策目標の強化を加えた案を支持します。	日本は今、厳しい地震活動期に入っています。日本のどこで地震が起きてもおかしくない状況の中で、原発を推進することはできません。確かに、経済も安定的なエネルギーも大切ですが、もし、もう一度あのような事故が起こるということは、そのすべてを失うことになるのです。決して脅しではありません。原発への信頼が失われた今、誰も責任をとれないような原発依存は不可能なことです。なので、この3つからというなら『ゼロシナリオ』しかありません。但し、これだけでは不足です。自然エネルギー安定化技術開発の国をあげてのサポートと、更なる省エネ目標対策、温暖化対策の強化が必要です。私はそういう努力と創意工夫を加えた新たな案を支持します！
18145	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発は今すぐゼロに！	福島第1原発事故であれだけ悲惨な事故が発生させたにも関わらず、原発を継続するということは狂気ともいえる。野田総理は「収束した」というが、何をもって収束なのか。いまでも放射能は垂れ流し、使用済み核燃料の処理はどうするのか。避難住民の生活の保障は何一つやられていないではないか。誰が事故の責任を取ったのか。 電気が足りないなどと国民を騙すのもいい加減にしてもらいたい。原発が一番低コストなどというデマもやめてもらいたい。何万年も先の核物質処理にかかる費用など、算出するのが無理な話だ。もっとも、すべて国民の血税で負担するという数字のトリックだ。使用済み核燃料の処分費用はすべて電力会社がやるべきだ。原発マネー（自治体への給付金など）も税金を使うな。 大飯原発も直ぐに停止せよ。国内の全原発の使用済み核燃料はどうするのか。六ヶ所村のプールは満杯だ。解決策を示すべきだ。 日本という国土で人間が住めなくなる、のことが一番の危惧だ。
18146	個人	会社員・公務員	40代	女性	私たちの命を守るには「ゼロシナリオ」しかありません。	3・11の福島原発事故で明らかになった原発の危険性から私たちの命を守るには「ゼロシナリオ」しかありません。
18147	個人	その他	40代	女性	原発ゼロシナリオを希望します。今すぐ再稼動は止めてください。もっと自然エネルギーを推進してください。	福島の原発事故はまだ終わっていません。避難した方、または留まっている方をこれ以上放置しないでください。あなたのご実家が福島にあり、ご両親が被爆していたら避難していたらと想像してください。エネルギー・環境会議事務局職員として、こんな状況を恥ずかしく思いませんか？
18148	個人	会社員・公務員	60代	男性	原子力発電は0%でお願いします。 原発再稼動に反対です。	原子力技術は人類には必要の無い技術です。 完全コントロール出来ないのに余りにもリスクの大きい技術だと思います。
18149	個人	自営業	60代	女性	原子炉による発電を、できるだけはやく廃止する。 自然エネルギーの推進を予算化し、普及させてください。 発電と送配線を分離し、消費者が電力を選べるようにするべきです。	原子力は人間が制御できるとは思えません。 特に、狭い国土で地震大国である日本には不向きです。 日本の風土にあった電力を開発普及すべきです。 消費者は、電力会社が独占状態では、その電力に不安があっても選べません。 選ぶのは消費者の基本的権利だと思います。
18150	個人	家事専業	70代	女性	「ゼロシナリオ」を選択します。	私は、原発の恐ろしさ、そして、リスクの大きさを知った今、エネルギーの選択肢は「ゼロシナリオ」しかないと思います。誰も責任をとれないような原発をこれから更に建設するのは論外ですし、地震が多発するようになった地震活動期の日本において、原発を動かし続けるのは傷痍をかかえているようなものです。毎回、地震が起こるたびにビクビクするのはもうたくさんです。それより、ここで決断し、創意工夫をして新たなエネルギーへ移行する方が得策だと思います。そして、省エネと、温暖化対策をもっと強化してください。国民もその道を誠意をもってきちんと示せば納得するはずです。何卒よろしくお願いいたします。
18151	個人	無職	60代	男性	「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張します ＜政府は、本気で再生可能エネルギー開発に尽力すべき＞	「2030年に原発0」は、その間は原発が稼働するということ。すべての原発の再稼働反対。 政府は自然エネルギー比率を増やすスケジュールを国民にしっかり示すべきだ。
18152	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	(1)電源構成にコージェネを明記すべき (2)一律に化石燃料依存度を下げるシナリオにすべきでない。また、化石燃料と非化石電源対比の構図にすべきでない (3)エネルギー需要全体におけるガスシフトを打出すべき	「エネルギー・環境に関する選択肢」(以下、本資料)の内容について、3点の意見を述べる。今後、「革新的エネルギー・環境戦略」を策定する際に、留意していただきたい。 (1)電源構成のなかに「コージェネ」を明記すべき （p9 表 1「2030年における3つのシナリオ」、p10 ～p12 電力量グラフ、p14表2「シナリオごとの2030年の姿（総括）」） 基本問題委員会において取りまとめられた「エネルギーミックスの選択肢の原案」のなかでは、電源構成のなかに「コージェネ」が明記されている。さらに、本資料の「大胆なエネルギー構造の改革に関する3つの視点」のなかで、分散型エネルギーの重要性が示されていることからも、エネルギー利用効率が高く、省エネ・省CO2対策にも有効であることに加え、発電出力が不安定な再生可能エネルギーとの親和性が高いコージェネの電源構成における位置づけを明記することが重要である。 (2)一律に「化石燃料依存度を下げる」シナリオにせず、「化石燃料のクリーン化」によるCO2排出量の削減を重視すべき。また、電源構成を「化石燃料」「非化石電源」という対比の構図として表記するのは不適切である （p9 2.3つのシナリオ、p9 表 1「2030年における3つのシナリオ」） 化石燃料の種類によってCO2の排出量は大きく異なることから、一律に「化石燃料依存度を下げる」との表現は適切ではない。少なくとも、短中期的には石炭や石油からCO2排出量の少ない天然ガスやLPガスへのガスシフトを進めることが重要であり、その結果、ガス体エネルギーへの依存度が現状より上がる可能性もある。また、「非化石電源の比率を上げ、CO2排出量を削減する」との表現は、CO2排出量を削減する手段が非化石電源のみであるかのように誤み取れるが、実際は、化石燃料のクリーン化（天然ガスシフト等）などもCO2排出量削減に寄与することから、併せて記載すべきである。 また、電源構成を「石燃料比率」と「非化石電源比率」に集約して二者択一であるかのように対比させて表記するのは、前述の化石燃料のクリーン化の観点や、非化石電源である「再生可能エネルギー」の普及には、発電出力の不安定性を補完できるコージェネ等の分散型電源（化石燃料）の普及拡大が不可欠であるという側面からも不適切である。加えて、依存度を低減していく「原子力」と最大限引き上げるべき「再生可能エネルギー」を「非化石電源」に集約して表記することは、分かりにくいばかりか無用の混乱を生じさせかねず、今後の「革新的エネルギー・環境戦略」の取りまとめに際しては集約して記載すべきでない。 (3)熱等の需要も含めたエネルギー需要全体のベストミックスにおけるガスシフトを打ち出すべき 本資料は、エネルギー需要全体の3割に満たない電気エネルギーにおける電源構成の選択肢になっているが、一次エネルギー比率等、熱等の需要も含めたエネルギー需要全体のベストミックスについても示すべきである。その際にも、供給安定性・環境性に優れた「天然ガスへのシフト」「LPガスの推進」を打ち出すべきである。
18153	個人	会社員・公務員	50代	男性	1　原発再稼働は絶対に反対。 2　日本にある全ての原発を廃炉へ。 3　福島そして日本の子供たちの命を守れ。 4　野田首相をはじめとする政府首脳、原発を推進する官僚は国民の声を聞け。	全くの悪夢である。世界で唯一原子爆弾を使用された日本が、その平和利用として開発された原子力発電所の事故で、今また本当に苦しんでいる。絶対に安心・安全でないかぎり、日本での原子力利用は問題外である。それにもかかわらず、政府は経済界と官僚と多分その向こうにいるアメリカの顔色ばかり見て、原子力～放射能の不安におびえる国民の存在を一切無視しているとしか思えない。坂本龍一氏が言うとおり、たかが電気なわけで、命を危険にさらすような原子力発電は全く不要である。それで電力が足りないのなら、国民はいくらでも節電に協力をするであろう。
18154	個人	自営業	40代	男性	原発の即時廃止が適当。また、東電を始めインフラ企業の国有化、発送電分離を早急に行なうこと。	「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張 明確な国民の審判もないまま再稼働を始めた大飯原発のみならず、志賀原発、敦賀原発、とこれらの原発直下に活断層があることが報道されたばかり。日本の多くの地震学者の共通見解は「巨大地震のサイクルに入った」と言う。2年程度の計画停電も受け入れよう。ただし、病人、被介護者、子供、老人は守らなければならない。 国家のありようを示すことのできない政府は、即刻退場いただきたい。 そのうえで、原発の即刻廃止を。
18155	個人	自営業	70代	男性	1．原子力発電政策は、既に破綻している。 これ以上資金を投入するのは無駄　　である。 2．効率の低い原子力発電は、黒潮に膨大な熱エネルギーを流し続けている。 　　これが異常気象の原因である。	1．原子力発電はCO2を出さないから地球に優しいと言う考えは大間違い。 　CO2を出さないが、直接海に熱を出している。その熱量は電気出力の三倍以 　上あり、地球温暖化を加速している。 エネルギーは不滅だから黒潮に蓄積　 され、海水温度が上昇する。 蒸発が活発になり豪雨災害の原因になってい　 る。IPCCは原発の排熱を評価していない。 　選択肢には排熱量と放射性汚染物質の発生量も項目に加えるべきです。 　発電コストは信用できない。放射性汚染物質の処理に幾ら費用が掛るかわか　らない状態でどうやって積算できるのか。どの範囲まで含まれるのか疑問。 　想定外が含まれると比較にならない。 2．原子力発電は異常気象の原因になっているのでゼロシナリオで進むべきで　す。 3．環境に熱汚染をばら撒く企業には、熱量に比例した課税をすべきだ。 4．『もんじゅ』も青森の使用済み燃料の再処理も出来ていない。見通しすら無　い。 5．中国、台湾、韓国の原発の排熱も黒潮に影響している。
18156	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発廃止か温暖化対策かという選択肢ではなく、どちらともに進める提案をしてください。	これまでも原発が稼働していましたがCo2排出量は減っていません。原発廃止と温暖化政策は相反するものではないと思います。
18157	個人	会社員・公務員	30代	男性	「2030年に」ではなく、「ただちに」原発ゼロを要求します。	「2030年に」ではなく、「ただちに」原発ゼロを要求します。 全ての選択肢が「2030年から」の計画である理由が理解できません。 2030年まで大地震が起こらない保障があるのでしょうか。 政府はエネルギー選択の優先度を、第一に国民の安全、第二に経済の発展、 それが満たされた上でのCO2削減を考えるべきです。 国民の安全が保障されなければ、経済の発展はありません。 今は、十分制御可能な化石燃料でのエネルギーを主に使い活動し、 次の技術へ早期に発展させることを考えるべきです。
18158	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発20～25%のシナリオに賛成します。	原発を減らしたら、電力供給の不安定化、使用制限、電力価格の高騰によって、産業が海外に移転し、国内産業の空洞化が起こり、景気悪化や失業者の増大は避けられません。
18159	個人	会社員・公務員	50代	男性	地震国日本に原発は必要ですか	3．11の福島原発事故から1年と4ヶ月が過ぎました。被災地では復興計画もままならない状態で、自分たちが生まれ育った町に帰ることができない人たちは、今回の大飯原発の再稼働をどんな思いでみておられたことでしょう。地震国日本では、近い将来相当大規模な地震が起きると想定されています。大飯原発の近くにも活断層があるやもしれないと言われています。こういう状況の中で、原発の安全性を保つことは不可能に近いことだと思われます。「ゼロシナリオ」のほかに私たちの安全を確保する道はないと思います。
18160	個人	パート・アルバイ	40代	女性	原発20～25%のシナリオに賛成します。	原発を減らしたら、電力供給の不安定化、使用制限、電力価格の高騰によって、産業が海外に移転し、国内産業の空洞化が起こり、景気悪化や失業者の増大は避けられません。
18161	個人	その他	30代	女性	2030年には、原発ゼロの世界をめざして頂きたい。私達の子孫のために、みんなの生活環境と地球の資源を守るために原子炉は、廃炉すべきです。	すでにご存じのとおり、原発による事故が起こってからでは、取り返しのつかない事態になることは、日本国民や世界の人々が理解していることと思います。 これ以上に放射能による被爆者が増えてほしくないのと、原子力を使用して発電することにより、環境汚染がひどくなるのは、耐え難い。 また、原子炉の耐用年数が過ぎても30年近く稼働しているのは、安全面についても疑惑がおこります。 一刻も早く原発を止めるべきです。 世界から日本は、プルトニウムを使い核兵器を造っているのではないかと疑惑が起きても、おかしくないのでは、ないかとも思います。あくまで想像ですが、私達の知らない所で、他国にそれらが渡り、核実験をするなど、とんでもない事態です。 ＜見直し提案＞ その1：廃炉と解体、廃棄物の処理をどのようにするのか考えて頂きたい。 その2：科学者と技術者は、コスト上、難しいと思いますが、自然エネルギーを 　　利用して、発電できる現在あるものより、もっと効率よいシステムを 　　開発して頂きたい。 最後にもう1度言います。 原子力は、未来をつくる資源では、ありません。 もちろん、脱原発に伴い全国民の理解と協力が必要となりますが。
18162	個人	学生	10代以下	男性	原発20～25%のシナリオに賛成します。	原発を減らしたら、電力供給の不安定化、使用制限、電力価格の高騰によって、産業が海外に移転し、国内産業の空洞化が起こり、景気悪化や失業者の増大は避けられません。
18163	個人	学生	10代以下	男性	原発20～25%のシナリオに賛成します。	原発を減らしたら、電力供給の不安定化、使用制限、電力価格の高騰によって、産業が海外に移転し、国内産業の空洞化が起こり、景気悪化や失業者の増大は避けられません。
18164	個人	自営業	50代	男性	人類が自由にコントロールできない技術・使用済み核燃料を無害にする事ができないのであれば経済性だけで安易に原子力は使うべきではない。	ディズニーの魔法使いの弟子という、未熟な弟子は魔法を使うことは出来てもその魔法を解くことが出来ず問題が発生すると言う話がある。原子力も同じ、人類が自由にコントロールできない技術・使用済み核燃料を無害にする事ができないのであれば原子力は使うべきではない。経済至上主義で原子力事業を推進することは今までのようにはいかないことを政府や原子力関係者はもっと認識するべきだ。
18165	個人	会社員・公務員	50代	男性	全ての原発を廃炉にして、子供達の未来を守る責任は私達にある。 政府は国民の声を真摯に聞くべきだ。	私は静岡県沼津市に住んでいる。海と山が近くにあり、川にはきれいな水が流れている。この自然が、浜岡原発やその他の原発により破壊・汚染されることは絶対にあってはならない。たかだか電気のために、故郷を失い生活を失うことは馬鹿げている。時の政府の「正力・中曽根」が米国の手先となり推し進めた原発で、日本国民が大変な苦渋と餌っている。 原発をよめることで、電力不足が生じ停電となるなら、私はそれでも良い。
18166	個人	会社員・公務員	30代	女性	全ての原発の稼動に反対	全ての原発の稼動に反対します。行政、電力会社のあまりのいい加減さや不透明さ等、今現在、原発稼動が必要な理由が全く理解できません。まずは、原発稼動にかける全ての資本、労力を自然エネルギー使用の準備にかけるべきだと思います。福島の人を苦しめている事実をしっかりと認識して欲しいと思います。原発の稼動を推進しようとしている人たちは、その苦しみを全く認識していない人たちであると思います。福島が遠い国のことではないことを、何故理解できないのか、何故そういう人たちが国のトップにいるのか、自分が生まれ、育ち、暮らしている日本ではありますが、本当にウンザリします。福島やこれからの日本を思い、暑い中「原発反対！」のデモやイベントに参加するたくさんの人たちと、原発稼動を推進しようとする政治家たちの胡散臭い演説やコメント・・・民主主義って何だっけ？
18167	個人	会社員・公務員	60代	男性	2030年時点の原発比率は　(2)15%　が適当 現時点の再利用可能エネルギーの普及状況を考えると、残念ながら　(2)15%とするのが、現実的であろう。	現時点の再利用可能エネルギーの普及状況を考えると、残念ながら　(2)15%とするのが、現実的であろう。 しかし、現在の政府は、福島原発事故の原因究明も満足にせず、再発防止も明確な基準を示せず手前勝手で、原発再稼働ありきで進んでおり、危険きわまりない。 再び地震が来て、同様な原発事故が発生したら、また「想定外だった」と言い逃れする気ではないのか....？！ どのように責任を取るのか？ 多くの人名や生活がかかっていることを忘れるべきではない。
18168	個人	会社員・公務員	30代	男性	放射能は、いったん外に出ると私たちの生活環境を奪ってしまいます。故郷を失った福島県民のことを考えれば、原発をなくすことが重要であり「ゼロシナリオ」しか選択肢はありません。	エネルギー政策の方向として「ゼロシナリオ」以外の選択肢は、2030年以降も商業利用を継続し、更に六ヶ所の再処理工場において使用済み核燃料からプルトニウムの分離を続けていくことを意味しています。世論調査でも国民の8割以上が脱原発を望んでいることが明らかになるなど、脱原発社会の実現は国民の総意とも言えます。 よって、「ゼロシナリオ」しか選択肢はないと考えます。

18169	個人	パート・アルバイト	50代	女性	ゼロシナリオ支持します。人類は放射能を制御できない。原発の過酷事故を起こす原因は、多数あり、被害は甚大である。使用済み核燃料・放射性廃棄物の処理方法が無い。原発労働は通常でも被ばくを伴う。	ゼロシナリオを支持します。その理由は、人間が放射能を制御できない以上、放射能により、人も動物も山河も海も、生きとし生けるものすべてを汚染し、生命の危機に直面させる危険がある原発を、稼働すべきではない、絶対にしてはいけないと強く思います。 自然現象において現代の科学で解明されていることは、ほんの一部のことで、地震も津波も台風も、人間の想定をはるかに超えたスケールで襲ってきます。自然に対抗する人間の力など、ほんのちっぽけなものでしかありません。また、技術が進歩しても、人間のミスをなくすことはできません。そして、人間の悪意。テロリストに原発を攻撃されたら。また、近隣諸国との紛争に巻き込まれて、原発を攻撃されたら。これら一つ一つが原発の過酷事故の原因になります。一旦、過酷事故が起これば、原発を制御するのがいかに困難か、それにより受ける被害がどれほど甚大であるか。東京電力福島第一原発事故やチェルノブイリ原発事故により明白になった事実が、今、私たちの目の前に突き付けられています。 また、たとえ事故が起きなくても、原発を運転することによって日々生み出されていく、使用済核燃料や放射性廃棄物の核のゴミ。無害化できる処理方法の無い核のゴミを、次の世代に押し付けていいのでしょうか。未来の世代に対し、本当に申し訳なくて、心が痛みます。 さらに、原発での労働や燃料のためのウラン採掘は、作業労働者の被ばくの前提の上に成り立っており、たとえ事故が起きなくても、原発を稼動することにより、新たな被爆者を生み出しています。 そして、脱原発により生じる経済的マイナスをプラスに転じるために、また、原発立地地域の地域経済の原発依存からの脱却を目指し、原発に費やしてきた莫大な予算を、再生可能エネルギー推進や省エネのための技術開発や、廃炉作業や除染作業を安全に進めるための技術開発に振り向け、日本経済の柱となる産業として育成し、新たな雇用を生み出していく。そこに日本という国のこれからを託したいと考えます。 日本人の知恵と勇気を信じて、原発のゼロの社会を選び取りましょう。
18170	個人	自営業	30代	男性	原発ゼロシナリオ賛成	未来の子供たちに文明の負の遺産を残してはいけない。 今の(今までの)政治は自分たちの世代のことしか考えてこなかったのではないかと思う。 10万年先の祖先にまで処理保管を残さないといけない使命をどう頭を下げてお願いしてもダメだと思う。 文明を止めることもまた文化だと思う。
18171	個人	自営業	30代	男性	国内、世界の原発を早い段階でOに。 2030年にどうかではなくあくまで早く。 急いで。	万が一の事態に、人の手で、力で対処出来ないような物を動かしている事が信じ難い。　大地震、その他の天災が来ても対応できるように、といっても、想定を上回る物が来ることも充分に考えられる。　今生きている人間、おえらいさん達の利権、一般人の便利さよりも未来の子供たちのためにエネルギーの在り方、使い方を考えたい。 財政の建て直し、経済の発展ももちろん大事ですが、そういう話では無い様な気がします。 みんなで少しずつ我慢して、今までの贅沢、物での豊かさ？を見直す時期なのではないかと思います。
18172	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	全原発即時廃炉	全国民の声を真摯にうけとめてください。
18173	個人	自営業	30代	男性	原発ゼロシナリオを希望する	これからの子供達、そしてまたその子供達のため、そして美しい地球のため、自然エネルギーだけでやっていくしかない。 これだけ、ひどい原発事故をおこした日本が、再稼働はありえない。 これ以上バカな生きかたはしたくない。
18174	個人	会社員・公務員	40代	男性	原子力発電所について、今のままの状態は、全ての発電所が危険なのでしょうか 世間はそんな風潮がありますが、そうは思いません。日本が貧しくならない方策も考えて下さい。	今回の東日本大震災の津波に伴う原発事故は、福島第一原発だけしか起こっていません(起こってはいけない事故ですが)福島第二はなぜ同じ事故が起こらなかったのでしょうか。女川、東通はなぜ大丈夫だったのでしょうかストレステスト等の怪しい安全対策より、なぜ福島第一だけなのか検証し、福島第一についても、「こんな対策がされていたら、こんなマニュアルができていたら、こんな訓練がされていたら」を明確にし、全国の原発に適応したら今後の東海、東南海地震にも対応出来るのではないでしょうか(同じ事故は起こらないのでは)。今のストレステスト(どんなのかわかりませんが)より、ようほど確かな安全対策になると思います。原発を停止させても廃炉までは40年以上かかります。大津波の安全対策は、原発を止めただけでは解決になっていません。 加えて、京都議定書、鳩山元首相の発言等、二酸化炭素の排出削減は、国際公約であり、事故のせいで免除になるわけではありません。原発は温暖化対策の１つにもなっていたはずです。その意味では、火力発電所の停止、自動車等の稼働禁止も同類になってしまうとも考えられます。 今の日本の人々は豊かさを享受しています。それを諦めることは出来ません。このため、持続した社会生活の方策を示してください。 安全、危険を見極め、危ない原発の停止、最先端の原発の新規開発、火力発電所の停止、再生可能エネルギーの活用を多面的に判断して欲しいと考えます。
18175	法人・団体等	法人等	50代	男性	一日も早く原発0パーセントにする。 とにかく安全が保証できない。 核のゴミの処理もできない。 こんな危険で手に負えないものをごく一部の利益のために やってはいけない。	一日も早く原発0パーセントにする。 とにかく安全が保証できない。 核のゴミの処理もできない。 こんな危険で手に負えないものをごく一部の利益のために やってはいけない。 ただちに全原発をとめよ。
18176	個人	家事専業	30代	女性	『重要なお知らせとお願いがあって連絡しました。 今、日本はこれからのエネルギー政策がどうなっていくか、佳境を迎えています。つまり、原発についてです。	政府は、国民に対して3つの選択肢を提示し、どれを支持するかの意見(パブリックコメント、通称パブコメ)を求めています。全国民、団体にパブコメを出す権利があります。 3つの選択肢とは、将来的(2030年)に日本のエネルギーに占める原発の割合を(1)ゼロにするシナリオ(唯一の脱原発のシナリオ)、(2)15%にするシナリオ(なりゆきまかせシナリオ。今止めている原発は再稼働。2030年以降増設の可能性もあり)、(3)20-25%にするシナリオ(今止めている原発を再稼働させ、さらに新規に増設する原発イケイケシナリオ)、です。 日本は原子力の怖さをどの国より知っています。 人間が作り出した威力を、制御できないならば、 手放す方向を見出さないと、国民はついていきませんよ。 選挙で、原発０を掲げる政党があれば、 国はかわるかもしれませんね。 危機感をもって、原発の問題にあたってください。
18177	個人	その他	60代	男性	安全、安全と言われていた筈の原電が震災で再開どころか多くの被災者を故郷から離れざるを得なくなっている。 火力、水力発電と違い多くの問題点を含み早急、且つ解決の目処が付いていないような気がします。	多くの科学者、専門家が智恵を出しても人類は原子力を安全に関しては制御できないのではないかと考えています。 将来の原子力の発電比率はゼロパーセントになって欲しいと思います。 今後は原子力発電に注力するのでなく自然界に存在する太陽熱、風力、地熱、波力、水力などのエネルギーに力を注ぎ安全な電力を世界の人達が共有出来る方向で日本が世界の国々を引っ張っていって欲しいと思っています。
18178	個人	自営業	50代	女性	私たちが選択すべき道は、原発ゼロシナリオ(1)しかないと思います。	福島の事故処理も充分にできない上、使用済み燃料の問題など、 将来、解決できる見通しがないまま、原発を使い続けること、 破滅への道を歩んでいるとしか思えません。 もし、同じような災害がもう一度起これば、どうなるのでしょうか。 日本人は、勤勉と工夫と人の和で、少々の不便なら乗り越えていける民族だと思います。 高度成長期以前の、古き良き時代に戻るつもりになれば、智恵は出てくるのではないでしょうか。
18179	個人	パート・アルバイト	40代	女性	ゼロシナリオを選択します。 この3つの選択肢から、どうしても選ぶということであれば、1のゼロシナリオになります。 それ以外には考えられません。	国と産業界は、これまで自然界に存在しなかった原子力を、それを扱う技術が未だ確立していないのを知りながら 自国経済の発展を優先させたいがために、強引にエネルギー政策の中心に位置付け推進してきたわけですよね。 安全政策が確立されていないまま、検証すら行われていないまま、原発を稼動することは、あまりに危険です。 2030 年までのなるべく早期に原発比率をゼロとする。 最終的には再生可能エネルギーと化石燃料からなるエネルギー構成とする。 化石燃料の依存度を極力下げ、他のシナリオとそん色のないレベルまでCO2 の排出量を低減するために、 広範な規制と経済負担で、相当高水準の再生可能エネルギー、省エネルギー、ガスシフトを実施することを希望します。
18180	個人	会社員・公務員	50代	男性	「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張する 《即原発ゼロへ、また発電送電を分離して自由化しろ》	エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張する 《1．政府は　遅くとも10年以内に　原子力発電以外の　火力、水力発電ほかで電力需要を１００％まかなうように即刻尽力しろ、 2．ただちに　発電と送電を分離して完全に自由化しろ》 このパブコメ募集の前提が「2030年までは原発が維持される」というもの。前提自体が国民を騙すトリックだ。再び事故が起これば、日本は再起不能になる。政府は上記スケジュールを国民にしっかり示せ！。
18181	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発ゼロ	原発は即廃炉でお願いします。 理由は簡単です。事故が起きたときに人類の手に負えないようなものを扱うべきではないと思うからです。
18182	個人	会社員・公務員	50代	男性	いますぐ、原子力発電を0%にすることを希望します。	原子力発電はリスクというよりも、人知を超えて制御不能なシステムです。いまだに、福島の制御棒を片付けられないでいることが証明しています。
18183	個人	自営業	40代	男性	原発は完全廃止の前提で、代替エネルギーで需要をまかなえるまで、期間限定で稼働させるべきだと思います。	日本のような地震多発国で、福島のような事故が再発する危険性をはらみつつ原子力発電所運転を継続するなど、正気の沙汰とは思えません。また、現状の電力各社の汚職・隠蔽体質は目を覆いたくなるような体たらくで、民主主義国家にありながら、どうしてこれが刑事事件に発展しないのか、政府の甘すぎる対応にも首をかしげるばかりです。 電力各社が主張する電力供給不足を「百歩譲って」信じるとして、太陽光発電などの自然エネルギーによる供給が十分になるまで、期間を限定して一時的に原子力発電所を再稼働させ、ペナルティ付きの目標値を設けて段階的に自然エネルギーへ移行するよう、政府が強い態度で指導することを希望します。
18184	個人	会社員・公務員	30代	女性	自然との共存＜原発廃止し、クリーンエネルギーへシフトしていって欲しい！＞	日本は歴史から見ても、自然と共存していた国のひとつであると思います。 環境破壊により人や動物、植物が住めない地球にならないよう 自然と共存していく生き方を先頭を切って、進めていける国であると信じています。 福島の問題も片付いていずに 原発を稼働してしまうことは国民、世界中の知識がある人は 既におかしい事には気が付いています。 考え方を変えていかないと、このままの日本、世界、地球は、悪循環だらけで 明るい未来は見えません。 世の中、人間の意識が変わっていっている時に それを汲み取って反映していただきたい。 自然に浄化されないものを地球に残さないようにしていただきたい。 そう望んでいます。
18185	個人	自営業	60代	男性	3つの選択肢しか提示しないのは判断を損らせ、意図的に誘導するため、国会でも追求されていましたね。 選択肢にないけれど、国会でどこかの議員が言っていた「ただちに0パーセント」です。	原発は即撤廃です。 暑いのくらいはがまん。 産業は、生産力が落ちても、秋から初夏までに調整できるように計画するべき。 なによりも代替エネルギーの研究をきちんと取り組むべき。 御用学者ばっかりではなく、そうした真摯な研究に取り組んでいる方もいるはずです。 政府として国民を危険にさらすべきではない。(沖縄の基地も。オスプレイも) また、どうしても原発を稼働したいなら「国会議事堂とその周辺」に限定してください。 それ位近ければ、国費の無駄遣いの議員も真剣に論議するかもしれないから。 また放射性廃棄物は、自民党政権時代までさかのぼって、当時からの原発賛成派の方々のお墨敷の敷地内に置いてあげてください。記念に。
18186	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	(1)ゼロシナリオに沿った政策を求めます。	地震や台風など自然災害の多い日本では、安全に「絶対」はないと考えます。自然エネルギーへの早期転換を考えるべきです。
18187	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	東日本大震災から日本全体が復興へと努力していますが、福島原発事故がそれを阻害しています。二度とあのような事故を起こさないために安全確認の不十分な原子力発電所の再稼働を止め、原発依存から脱却するべきです	(1)原発の割合を中心に論議することは原発依存において論議するもので相応しくありません。すべての正しい情報を公開し、日本の進むべき方向について抜本的に議論の上原子力依存から脱却すべきです。 (2)原発に代替できる地熱を過小評価していることは問題なので、正しく評価して議論すべきです。 (3)原発コストと再エネ価格は近接するとの記載は正確ではなく、国民を誘導する物なので問題です。 (4)発送電分離のシステム改革の内容が盛り込まれていないのは問題で、所有を分離すべきです。 (5)核燃料サイクル政策についても国民的な議論を行い、政策に反映すべきと考えます。
18188	個人	自営業	50代	男性	自分で選ぶエネルギーはもちろん原発でも火力でもない自然なエネルギー。	サクッとなくしましょう原発。
18189	個人	自営業	60代	男性	原発は一刻も早くゼロにしてください･代替エネルギーの導入はありとあらゆる方法を皆で考えて、出来るものから実行していきましょう。	負の遺産を子供たちに残していきたくありません。電気は科学の発展が与えてくれたすばらしいエネルギーであることに異存はありません。だからこそ再生可能なエネルギーはもちろんのこと、あらゆる方法によって電気を作り、明るい未来を子供たちに残していくことが私の願いです。 廃棄物のスキームさえできあがっていない様のゴミを未来に残すことには全く賛成できません。 原発の安全神話にだまされ続けてきた自分に心底腹が立ちます･
18190	法人・団体等	会社員・公務員	40代	男性	安全･安心な暮らしを次世代へ！	福島原発事故の教訓から「ゼロシナリオ」を決定し､自然エネルギーの拡大に努力すべきです。原発立地市町村には新しい地域経済復興の施策を実現することを求めます。
18191	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	原発ゼロシナリオを支持します。	「エネルギー安全保障」には原発が必要だとの主張がありますが、さまざまな資源の輸入が従来のようにできない状況を想定するならば、国内の資源を最大限利用しなければなりません。その場合、食糧生産の基盤を守ることは最重要の課題であることは明らかです。ところが原発や重大事故が起これば食糧生産基盤は深刻な危機に見舞われます。食の安全保障を内側から破壊する危険性は許容範囲を超えていると言わざるをえません。したがって「安全保障」にとっても原発ゼロシナリオをベースに組み立てることが最善の道であると考えます。
18192	個人	自営業	60代	男性	すぐには原発をなくせなくても、一日でも早く原発ゼロを実現すべきです。これが福島の教訓だと思います。化石燃料でその分を補う難しさも承知しているが、福島の事故処理はその何倍も お金がかかる。	福島の事故の責任所在の解明はまだですが、誰が見ても、人災です。東電の幹部は責任が非常に重いが、人間は神様ではないので、失敗はつきものです。問題は、失敗によっておこる結果の希望です。原発はうまく続いしても、核燃料廃棄物処理問題も残るし、3･11のような事故が起こった場合、被害にはかり知らない。そういうものは最初から作ってはいけません。野田政権が原発ゼロへの道筋を定めていただきたいです。 1歳の孫がいます。現在カナダに住んでいる娘夫婦はその孫を連れて、日本に帰りたいと言っていたが、福島の事故以来、ためらっています。放射能汚染も問題だし、政府の方針にも疑問を感じています。私たちも娘夫婦が帰国し、近くに住むことを楽しみにしていましたが、日本の今の状態では、やはり思いとどめた方がよさそうです。とても悲しです。 もっと人間希望、分散した自然エネルギーにシフトをすれば、今よりずっと強い日本ができると思います。日本はこれまでオイルショック、公害を克服して、そのたびに強くなってきました。今はまた気を引き締めて、長いい決断をして、年寄りなど弱い人たちへのケアをしっかり行いながら、国民とともに今回の危機をを機会とみて、地熱、太陽光、風力などのエネルギーを追求して行くべき、そうすれば、必ずまた世界をリードする日本ができる。私も応援します。

18193	個人	会社員・公務員	50代	男性	3・11の福島原発事故で明らかになった原発の危険性から私たちの命を守るには「ゼロシナリオ」だと思います。	地震国日本では、近い将来相当大規模な地震が想定されています。その中で、原発の安全性を保つことは不可能と思われます。「ゼロシナリオ」の他に私たちの安全を確保する道はありません。どうか「ゼロシナリオ」の選択をお願いします。
18194	個人	会社員・公務員	40代	男性	国家のｴﾈﾙｷﾞｰ戦略では、安全性、経済性に加え安定性、自立性の視点が必要。また、温暖化対策も考慮要。これらの観点から原子力は優れたｴﾈﾙｷﾞｰ源であり、その比率は今後も20～25%以上とすべき。	国家のｴﾈﾙｷﾞｰ戦略では、安全性、経済性に加え安定性、自立性の視点が必要。また、先進国として温暖化対策も考慮すべき重要な課題。 福島第一発電所の事故(以下「福一」と言う)以降、原子力の安全性について色々議論されているが、以下の観点から原子力の安全性(リスク)は社会に許容される範囲内にあると考えられ、かつ今後も改善が可能である。 (1) 福一の原因は想定の甘さ(津波対策という設備面だけでなく、人的体制と言ったソフト面も含めて)であり、今回の事故を教訓に、更に安全性を高めることができる。 (2) 福一では、「過度の安全性要求」に基づく「必要以上の対策」が「風評被害」を呼び、その結果、更なる「過度の安全性要求」が出されるという悪循環が形成された。 検討すべきは「社会に許容されるリスクレベルかどうか」であり、他のエネルギー源との比較、他の科学技術との比較、得られるメリットと払うべきリスクの比較である。 世の中に「100%安全/リスクゼロ」というものが無い前提に立てば、原子力の安全性(リスク)は他エネルギー源と比較して遜色ないレベルである。 将来に向けた再生可能エネルギーの開発も重要であるが、冒頭の視点に立てば原子力エネルギーの重要性は、震災以降も変化はないと考えている。震災を機に考えるべきは、いかに震災の教訓を原子力の安全性改善につなげるかであり、原子力を止めるというものではない。
18195	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	私たちの命を原発の危険性から守るため、また、危険な放射能を後世に残さないため、「ゼロシナリオ」を選択します。	3・11の福島原発事故で明らかな原発の危険性から私たちの命を守るには「ゼロシナリオ」しかありません。 また、原発の稼働を続けることは、将来の子どもたちにどうすることもできない危険な放射能を残すことです。使用済み核燃料をどうするかの技術も処分場所も不確定な中で、原発を稼働していくことはできません。
18196	個人	自営業	40代	女性	原発への依存度0%を希望します。	もとより原発は有害なゴミが出るため、人類のとって大きな害になります。 日本は地震国なので、事故の危険が大きすぎます。 原発がなくても電力は足りています。 日本はテクノロジー大国なので、より有益／無害なエネルギーを作るシステムを作り運営することはおおいに可能だと考えます。 日本を滅ぼさないためにも、地球をこれ以上汚染しないためにも、この新しい可能性を追求することが日本の課題だと考えます。
18197	個人	自営業	50代	女性	2030年までに原発の比率を　0とする。	原発は、人間には扱えないエネルギーです。原発から排出される核のゴミも処理できません。処理できない物をこれ以上、日本の国の中に作り出す事は、犯罪と同じです。倫理的に考えてもおかしいです。経済の発展ばかりに目が行き、人間として本質的に大切な事をおろそかにし過ぎです。 一人一人が、原発事故の反省に立ち返り、こんな事を起こしてしまった、日本人の欲深さを反省する時です。みんなで助け合って、質素に生きて行く事で、本来の日本人の美しい生活が見えてくると思っています。原発のまやかしのエネルギーに頼らず、国民全員で手をつなぎ、かばい合いながら、一生懸命生前に進む事を望みます。その次に、新しい良い未来がやってきます。地震におびえながら、ビクビク暮らすのは止めにしましょう。
18198	個人	パート・アルバイト	50代	女性	選択肢は0%しかない	「トイレのないマンション」とまで言われて 先の見通しのたたないものを　動かし続ける意味がまったくわからない。 原発の恩恵はもう十二分に受け取っている。 これ以上の被害を出す前に　多少の不便覚悟の上で原発はなくすべき。
18199	個人	家事専業	40代	女性	実現可能な案なのかが焦点	基本的には原発ゼロを早く政府に打ち出してほしいので、ゼロシナリオの追加対策後を支持します。 理由は化石燃料になるべく頼らず、再生可能エネルギーに比重を置くため、CO2の削減もできるというシナリオであるため。 しかし、このようなシナリオ通りに進むのか。それが一番の心配です。 今までのエネルギーに携わる様々な人たちの閉ざされた世界では到底実行できないと思います。 まずは東電を解体し、国が責任を持ったエネルギー政策を打ち出す。つまり、発送電分離、地産地消の電力の確保、蓄電技術の促進をオープンな環境で推進すべきだと思います。 以上のことを一度に推し進めるのはかなり時間も要すると思います。そのため、現実可能でないなら15パーセントの案も途中過程としてしかたないのかと思います。 また、コンビニ、自動販売機など、他国はこのような無駄な電気を使っているところはないと思います。産業界の意識の改革も必須ではないでしょうか。
18200	個人	自営業	40代	女性	原発ゼロシナリオを選びます。	これからの日本のエネルギー政策として私が選ぶのは、原発ゼロシナリオです。私は国内すべての原子力発電所の即刻廃炉を求めます。 ひとたび事故が起これば、近隣に住む者が家も仕事も奪われ、家族がバラバラになり、農作物や魚介類や水など食糧までもが放射能に汚染されるのが原子力発電だということを、私たちは2011年3月の福島原子力発電所の事故を目の当たりにして思い知らされました。福島の事故は収束の目処が立つどころか、いまだに放射性物質を空気中や海中に垂れ流して地球環境を汚染し続けています。微生物や虫や魚や鳥への汚染、その食物連鎖の末に起こるであろう病の脅威からまぬがれることはできません。環境汚染が母子感染も含めて人々の体をむしばみ続けることは水俣病などの公害汚染が証明しています。 福島の事故を経験してもなお原子力エネルギーに頼ることはあり得ません。私たちは、エネルギーの大量消費に甘んじていた暮らし方を見直し、原子力エネルギーに頼らない安全な未来を作るべきです。暮らし方を変えることによって、原発から脱却すると同時にCO2排出を削減することはできるはずです。そして、毎週金曜日の官邸前デモや、7月16日のさよなら原発デモなどに大勢の人が集まっていることが示している通り、私たちの意識は2011年3月11日を境に大きく変わりました。私もデモに参加し、自分と同じように、今までの暮らし方を反省して新しい未来を作りたいと考える人々が多くいることを知りました。お金が大好きな原子力ムラのぬるま湯にどっぷりとつかって鈍感な政府が思っているよりもずっと力強い思いで、国民の多くが放射能に怯えることのない未来を希求しています。 政府が国民に訴えるべきは、「原発を使わないと安定的なエネルギー供給ができなくなって産業が衰え国民も貧しくなっちゃうから、一回ぐらい事故があったからってびくびくしないで原発やるよ」ということではなく、「誰にも制御できなくなっちゃう危険な原発はもうやめて、再生可能エネルギーにシフトしていきます。税金はかかっちゃうかもしれないけど、国も不要な支出は見直すから、みなさんも暮らし方を変えて協力してね」ということなのです。そういう政府を私は望みます。 もしも東日本大震災と同規模の地震が起きたら、あのむき出しの建屋からどれほどの放射性廃棄物がばらまかれるのでしょうか。放射能は風に乗り海流に乗り、この地球に生きとし生けるものすべてが生命の危機にさらされます。地震国日本では、すべての原子力発電所が福島と同じ事故を起こす可能性を秘めています。もしも原子力発電所が飛行機の墜落事故やテロに合えば、それは巨大な核爆弾となり、広島長崎の比ではない人間が死にます。「もしも」が推拙な夢想でないことは、「想定外」の地震と津波に襲われた福島原子力発電所の事故が証明しています。 私は放射能の危険がなくなるまで10万年はかかると言われる放射性廃棄物(核のゴミ)を、子や孫や以孫に、そして何世代も先の子供たちに押し付ける道を選ぶことは、絶対にできません。
18201	個人	無職	60代	男性	枯渇する石油に依存してばかりは居られない	シーレーンが封鎖されたらそうなるのか
18202	個人	会社員・公務員	40代	男性	あんな大事故を引き起こしておいて、それでも原発稼働をしようとする思考にはまったくついて行けない。電力不足を解消するには「原発でなければいけない」という理由がまるで理解できない。	「3．11」で明らかなように、原発の危険性から私たちの命を守るには「ゼロシナリオ」しか考えられない。原発を稼働することは、将来に亘り危険な放射能を産み、残すこととなる原発は断じて容認できない。大事故を起こした日本は、その反省に立ち、一刻も早く自然エネルギーへの政策転換を図るべきだ。
18203	個人	会社員・公務員	50代	男性	今すぐ(1)か(2)か(3)かに決めることに反対。 まず確認しなければならないのは、国民一人一人が負担を共有する覚悟があるかどうかということ。原発の安全性を確認した上で、その恩恵を得るという選択肢もあり。	「原発」の問題でも「沖縄の米軍基地」の問題でも、解決できないことの根っこには同じ問題があると思います。 「必要なのはわかるけど、自分の周りにはあって欲しくない」という利己的な気持ちです。それを国民一人一人が克服しない限り解決はできない。 もし原発の安全性が技術的にかなりの精度で確立できるのであれば、原子力を利用することも悪くはない。ただその場合は一番の恩恵を得る大都市にも原発を作り、リスクも負うという形でなければならないだろう。「東京原発」「大阪原発」を作り、市民がしっかり監視するなかで、絶対的な安全を守る。 それがいやならば、日本のどこにも原発を作るべきではないと思います。 原発も米軍基地も地域で解決できない問題だけに、政治家の皆さんも今までのような地元の利益誘導型の思考ではなく、日本全体の視点に立った政策を実行して欲しい。 30年、50年後に「日本は原発事故を経験して、国民全体で負担を共有できる国家になり、豊かな生活を実現することができました！」と胸を張って世界の人々に言えるよう頑張っていただきたいと思いますし、われわれ国民も協力したいと思います。
18204	個人	無職	60代	男性	再稼動について。 新しい基準が出来てから再稼動する。 今後の方向について。 日本の原子力発電はもう新設はしない。 耐用年数は延長しない。 自然にゼロにしていく。	(1)日本の原子力政策は国民に開かれてこなかった。 このため政府や電力会社のいうことが信用できない。 (2)原発は地震国にはふさわしくない。 (3)技術立国・日本の力を安全なエネルギー開発にそそぎ、 もって将来の経済発展の基礎とすべき100年の国家戦略を 立てる時期に来ている。 (4)軌道に乗るために10年くらいはガマン。 以上。
18205	個人	会社員・公務員	30代	男性	(1)のゼロシナリオを選択します。 シナリオに関して3つしか示されておりませんので、その前提であれば(1)となります。	意見としては、即刻国内にある原子力関連施設(発電所・再処理施設)の稼働停止が要望です。理由は、福島の事故が起こってしまった事実が存在すること、起こってしまってからは取り返しがつかない事態が生じることです。
18206	個人	自営業	40代	男性	エネルギー・環境に関する選択肢 シナリオ詳細データーの0シナリオ追加対策前の情報を知らせないのは 情報隠しではないのか？	一般パンプレット等やその他の政府が国民に広報している3つのシナリオ比較で 最終エネルギー消費が0シナリオだけ3.0億ｷﾛとの・1億ｷﾛ少ないのが気になり 調べていたら シナリオの詳細データーには追加対策20兆円をせずに3.1億ｷﾛでの比較データーがあるではないですか？エネルギーコストを施ずる為の情報なら追加対策なしのデーターで比較検討するのが国民にわかり易い情報で、何故排出CO2ガス排出量を揃えた0シナリオを国民に提示するのか？ 何も知らないと0シナリオを実現する為に20兆円も負担があると勘違いします。 データーシートを見れば20兆円必要なのはCO2対策であることが判断できます。 正しい情報を提供せずに国民の選択を選ばせるのが正しい国家の在り方でしょうか？　子を持つ親子として、悲しい国家に子を託さないといけないのは情けないです。
18207	個人	自営業	30代	男性	絶対に自然エネルギーでいけます、一刻も早くエネルギー転換お願いします	生きとし生ける全ての生き物の為に。
18208	個人	会社員・公務員	40代	女性	「エネルギー・環境に関する選択肢」に対する意見 原発依存度は2030年にゼロではなく、直ちにゼロとすべきと主張する。	まず国民の安全確保最優先を希望する。原発が安全である保障などもうどこにもない。世界中が日本の動向を伺い見ている今、きっぱりと原発から手を引き、自然エネルギーの開発・設置を急ピッチで進めるべきである。それにより起こる電気料金値上げ、増税、停電であれば受け入れる覚悟はある。
18209	個人	家事専業	30代	女性	(1)のゼロシナリオを選択します。 シナリオに関して3つしか示されておりませんので、その前提であれば(1)となります。	意見としては、即刻国内にある原子力関連施設(発電所・再処理施設)の稼働停止が要望です。理由は、福島の事故が起こってしまった事実が存在すること、起こってしまってからは取り返しがつかない事態が生じることです。
18210	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオ以外なし	福島第一原発事故で原発の危険性が明らかになった。 生命の安全を守るには、「ゼロシナリオ」以外なし。
18211	個人	学生	10代以下	女性	(1)のゼロシナリオを選択します。 シナリオに関して3つしか示されておりませんので、その前提であれば(1)となります。	意見としては、即刻国内にある原子力関連施設(発電所・再処理施設)の稼働停止が要望です。理由は、福島の事故が起こってしまった事実が存在すること、起こってしまってからは取り返しがつかない事態が生じることです。
18212	個人	学生	20代	男性	日本国政府に原発ゼロシナリオを推進していただくよう求めます。 なぜなら原発から出る放射性廃棄物の処理問題が何も進展していないからです。	原発ゼロシナリオを推す理由は、原発が危険であることはもちろんですが、私はまず放射性廃棄物の問題に目を向けていただきたいからです。 この問題が進展しないと、永久に後世へと負荷を増やし続けることになります。 経済が、雇用が、という問題は、国内の全ての廃炉にすると決めても、その廃炉作業にかかる年月および必要コスト・人員が膨大であることを考えれば十分に解決できます。むしろ原発を動かし続けることが将来の人々の生活を脅かすことになります。 大飯原発の再稼動にしても、再稼動をしてから「見通しが甘く、再稼動をしなくても余力が十分にあった」という事実を後から出すという関電の態度にも抗議をしたいです。なぜ、再稼動ありきでしか考えられなかったのか。 大飯原発が他の原発の再稼動の川義理にならないか、それだけが心配です。 日本国政府に原発ゼロシナリオを推進していただくよう求めます。
18213	個人	自営業	30代	男性	原子力の電気作りから自然エネルギーでの電気作りに変わって欲しいです。	原子力の電気作りから自然エネルギーでの電気作りに変わって欲しいです。 理由:福島のような事故とその後の国の対応を目の当たりにして、 もっと安全でクリーンなエネルギーの作り方が絶対良い！と 思いました。
18214	個人	無職	60代	男性	20～25シナリオを支持する。 最重要課題は電気の価格と供給の安定で、原発は必要である。 原発の課題は安全性だが、関係者の努力に期待する。 高価な原発を捨てるのはもったいない。	20～25シナリオを支持します。電気で重要なのは価格と供給の安定化です。水力以外の再生可能エネルギーは、天候などの影響で安定供給は原理的に無理と思います。火力発電の燃料費は、国際情勢による価格変動が大きいはずです。3つのシナリオの比較では、為替相場の変動を考慮していないようですが、国債残高が異常に多い現状で、いつまでも今のような円高が続くと考えるのは危険です。原子力発電の課題は安全性ですが、福島の経験を元に関係者の努力に期待します。高価な設備を無にするのはあまりにももったいない話です。このシナリオの達成には現状の原発では不足のようですが、新設は当面無理ですから、40年といわれる寿命の延命策と、定期検査の見直しで達成していただきたい。定期検査周期と期間の見直しでどの程度稼働率が上がるかわかりませんが、保守業務には利権がつきものなので、無駄を排除して稼働率の向上ができるはずです。
18215	個人	自営業	50代	男性	【原発ゼロシナリオ】を強く求める。	「エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張 ・日本列島の北海道から九州までの間どこでも今日明日にも巨大地震が発生する科学的可能性を得ている今、日本国内での原発の立地・稼動は考えられない。 次に福島と同様の原発事故が起これば日本の終了となろう。即時の全原発の停止と廃炉化着手を強く強く求める。 ・行政府は主権者すなわち国民の意志の執行義務があることを肝に銘ずべし。 ・閣僚も官僚も、この日本社会の大変革期に、組織人としてではなく個人として 今一度日本と人類の未来を【自考】することを切望する。

18216	個人	会社員・公務員	60代	男性	原子力発電には、反対です。 発送電の分離を実行して、もっと電力コストの低減を図って欲しい。電力会社の地域独占体制はコスト低減の妨げでしかありえない。	原子力発電については、放射能の制御ができないこと、廃棄物の処理方法がないこと、事故発生時の負担が大きすぎること、地元へ過大な協力金を支出していることなど、継続には大反対をします。民主党はもっと国民の声を聞くべきだ。40年以上民主党を応援してきたが、今度ばかりは堪忍袋の緒が切れた。早く解散をして民意を聞いて欲しい。
18217	個人	会社員・公務員	60代	男性	2030年に原発0ではなく、即刻、原発0を主張します	《政府は本腰を入れて再生可能エネルギー開発に尽力すべき》 このパブコメ募集の前提が「2030年までは原発が維持される」というもの。前提自体が国民を騙すトリックだ。再び事故が起これば、日本は再起不能になる。政府は自然エネルギー比率を増やすスケジュールを国民にしっかり示すべき。
18218	個人	家事専業	60代	女性	原発は廃止する！	地震国日本では100%安全が保証されないことが明らかとなり、殆どの一般市民が反対している、原発は廃止すべき！ 政府事故調査委員会も安全神話を否定した。 大人しい日本人が自然発生的に、首相官邸前に毎週集結し原発反対の声をあげ、17万人ものデモが行われたことは、驚異的だ。 太陽光発電など、代替エネルギーを開発促進し、日本企業の生残りもかけられる、独占され、癒着が疑われる、電気関連企業をオープンに、消費者の側にたった在り方にかけてほしい。 福島の名前が世界で知られることになった今回の事故も、1年以上経っても、終結出来ないまま、同じような事故を起こしかねない、原発を稼動することは、到底容認出来ない。核のゴミ処理問題も未解決だ。 原発はゼロに！
18219	個人	パート・アルバイト	40代	女性	原発廃止問題について。	私は、原発はなくなるべき、だと思います。 今までそれに頼ってきた私たちですが、３．１１の震災で 福島の原発が事故になり、多くの国民が被害にあい、安全ではないことが 残念ながら明らかに証明されたわけです。 変化は困難であることは容易わかってますが、少しずつでも違うエネルギーに 移行しなければならないと思います。 すでにいろんな方々や企業が努力し、新しいエネルギーを 開発されてると思うので、国もいろいろなしがらみを整理しながら 諦めず努力してほしいのです。
18220	個人	家事専業	30代	女性	1の原発ゼロ%シナリオを選びます	二度とこんな辛い思いをさせたくないし、したくないからです。 他にも安全なエネルギーがあるのに電気の為に命を懸けるのはおかしいと思っています。 ドイツでは自然エネルギーにしたら雇用が3倍増えました。 人も潤い、地球や人に優しい未来を作ってください。 よろしくお願いいたします。
18221	個人	会社員・公務員	40代	男性	国民の意見は原発依存ゼロシナリオに決まっているでしょう。なぜ2030年迄なのか理解出来ない。3年以内に行うべきだ。	誰もリスクを取れない原発に依存出来るわけがない。
18222	個人	会社員・公務員	50代	女性	海外で非難されている、原子力と捕鯨はすぐに辞めるべきです。	ドイツ在住20年で、日本は報道規制され、正しい報道がされない事に気がつきました。正しい報道はドイツで取り、日本の友人に教えてあげます。 資源のない日本は、輸出で生きています。海外で非難されている、原子力と捕鯨はすぐに辞めるべきです。 節約すれば、原子力発電は不要です。 高給役人の天下りのための、捕鯨は、税金の無駄使いだけでなく、 調査目的として、うその商業捕鯨は、日本以外の全世界が知っています。 国民へのうその報道は、世界からも非難されています。(削除)
18223	個人	家事専業	40代	女性	2030 年のエネルギー・環境に関する3つ選択肢は原発依存度を基準、(1)ゼロシナリオを望みます	現在がよければそれでいいという考え方ではいけない。使用済み燃料の行き先さえ決まらず、各原子力発電所で満タンになっている状態をどうするつもりなのでしょうか？ 福島の作業員の方々も被ばく限度を超えつつある今、誰がこの先処理をして行くのでしょうか？他人事でなく、国民ひとりひとりが考えることだと思います。 まずは　今の問題を解決してから次に進んでいってほしい。子供や孫これからの日本のことを真剣に考えてほしい。 いろんな企業がいろいろなアイデアを持っています。今まで原発に掛けてきた予算で新たなエネルギーの支援をしていってほしい。
18224	個人	法人等	40代	男性	今は再生可能エネルギーの普及に全力を挙げるべき。 高速増殖炉の開発よりも、より安全な原子炉の研究に転換すべき。	いずれ、化石燃料もウラン資源も枯渇（高騰）し、再生可能エネルギーでやっていかなければならない時代が来る。その時備えて、今は再生可能エネルギーの実現に全力を挙げる事が我々の世代の責任だと考える。 原子力に関しても、軽水炉よりも安全なタイプの原子炉の研究に重点を移すべきである。例えば、フリーマン・ダイソン氏の著書「多様化世界」によると、ゼネラル・アトミック社で開発していたHTGR(高温ガス冷却炉)は、軽水炉に比べて１０００倍安全だと書かれている。(P.１８１)
18225	個人	家事専業	60代	女性	ゼロシナリオに向けて歩みだそう！	福島の原発が本当に安全な状態になっているかどうか、不安の中にあるのに停止していた原子力発電を動かし始めている。どこまで人災を加えて行こうとしているのか。この歳まで、ぼんやり政府の言うことに従ってきた自分の愚かさを深く反省し、企業のための原発にストップをかけ、一人ひとりの幸せで安全な日本、世界を作るために眼、耳、頭を使い、考えて行こうと思う。 自然エネルギーの活用を進めましょう。放射能を気にせず、食べられる普通の生活を取り戻しましたい。
18226	個人	パート・アルバイト	20代	男性	原発を絶対に再稼動しないでください。今動いている大飯3,4号機も今すぐにとめてください。2030年までにゼロではなく、今すぐにすべての原発から燃料棒を取り出し、高性能のキャスクに入れてください。	東京電力の福島第一原発事故によって、広島原爆470発分の放射性物質(Cs137、Cs134)が大気中に放出され、世界中に広がりました。 約150万人が生活している福島県の東半分を中心にして、宮城県南部と北部、さらに茨城県、栃木県北部は、本来なら人間が住んではいけない放射線管理区域（4万ベクレル／m2以上の汚染、飲食と生活が禁止され、一般人は立ち入り禁止）以上の汚染地域となりましたが、今でも人々は住み続けています。3500万人以上の人々が生活している首都圏でも、放射線管理区域以上の汚染地域が多々見つかっています。 土地だけではなく、食べ物も水も汚染され、政府は国民に汚染された食べ物を安全だと言って食べさせることにしたので、数年後から内部被曝による健康被害が深刻化するでしょう。 90ベクレル／kgを超えるものは海へ流してはいけないのになぜ500ベクレルまで食べてもよく、200ベクレルまで飲んでも良いという暫定基準値を3月18日に厚生労働省は出したのでしょうか。 一刻も早く、人々（特に、こどもや妊婦）を避難させなければならない状況ですが、政府とマスメディアと「ある医者」が広めた「100ミリシーベルトまでは妊婦も安全」、「年間20ミリシーベルト以下なら安全」という偽りによって、今でも多くの人々が、人間が住むことのできない汚染地域での生活を強いられています。 チェルノブイリでは年間5ミリシーベルト以上で強制移住でした。チェルノブイリの被害者は事故から20年で700万人であるという発表がロシア、ウクライナ、ベラルーシの保健省からされていますが、このまま人々を汚染地域に放置するのであれば、日本では明らかにそれを超える被害が出るでしょう。 東北大学の疫学調査により、東日本大震災以降に、心不全、急性冠症候群、脳卒中が増加していることが明らかになっています。特に、心不全の増加は過去の大震災疫学調査では報告例がなく、東日本大震災以後の特徴となっています。しかし、このことはマスメディアが取り上げることはなく、ごく少数の良心的な医者が声を上げているだけなので、ほとんどの人は日本で「いま何が起こっているのか」を知りません。放射能による被害はないことにされるからです。 広島で被爆した医師である肥田舜太郎氏は、原発事故後の5月頃から、こどもの下痢、口内炎、鼻血、紫斑、倦怠感など（広島、長崎原爆の特に入市被爆者に多く見られた放射能による初期症状）を訴える母親からの電話相談が増えたことと、その症状が原発から放出された放射性物質による内部被曝の症状であることを指摘しています。しかし、それらの症状は病院で診察を受けるとストレスだと言われます。 チェルノブイリの事故後、汚染地域で心臓疾患、循環器疾患、脳疾患、白血病、ガンが増えたこと、鼻血、倦怠感、めまい、下痢、目の痛みなどの症状が増えたことをぼくたちは思い出さなければいけません。 次の事故がいつ起きるかわからない状況にあるにも関わらず、愚かな日本の政府と電力会社は、まるで福島の原発事故などなかったかのように、これからも日本で原子力発電所を動かし続けるつもりです。 一番守らなければならないのは国民の命であるにもかかわらず、人間の命、これからの未来を担っていく若者とこどもたちの命にはまるで価値がないかのような政策と発言を繰り返す日本の政府は、恥ずかしながら、21世紀に誕生した世界一愚かな政府であるかもしれません。
18227	個人	無職	60代	男性	安心して住める国でありたい。そのためにはできるだけ早く原発を0にすべきです。	火山列島日本のこんな狭い国土に54基もの原発を作ってしまいました。核廃棄物の最終処分場も決まっていないのにです。大きな地震がまた襲いかかってくることは間違いありません。 今度どこかの原発が福島第一原発の様な事故を起こしたら、日本は住めない国になる可能性があります。電気の問題は自然エネルギー開発に力を入れ、省エネすることにより克服できます。 原発があるだけで私は安心して生活していけません。不安です。 電気もできるだけ使わないようにします。 癌発を早くOにして欲しい。 自然エネルギーについては、力を入れてますます技術革新を期待しています。 二酸化炭素の増加を考えると、火力発電も問題がありますので、何としても自然エネルギーの研究開発が不可欠です。
18228	個人	無職	60代	男性	原子力発電所はゼロにするべきです。	次の考え方に従って、原子力発電所はゼロにするべきです。 （1）原子力発電所の危険性は充分認識されています。 これまでも事故の報告を隠蔽したり、嘘をついたりしています。 （2）更に、維持管理する費用や廃炉する費用、使用済みの燃料の処理などを考えると、 余りにも多額の費用がかかります。 （3）次に事故が発生したら、日本の存続が危ぶまれます。世界中から批判されます。 原爆の被災国が、原発の爆発や排水で世界中に放射能を撒き散らしており、陰険な 中国などはきっと損害賠償などと言ってきます。 中国は日本を狙っていると思います。 （4）日本人は、問題解決能力に優れています。もし、原発が無くなっても必ず新しい エネルギーを提供する技術の開発が出来ます。 以上
18229	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発をただちにすべて中止して欲しい。運転は、福島原発の放射能漏れをしっかり止める事が出来てから検討するべきです。 食品の被ばく量の基準値も、考え直してほしい。	原発の放射性廃棄物の安全な処理システムが定まっていないのに、運転していることに疑問を感じます。現在の科学では、まったく安全な処理は不可能なのでしょう？だとしたら、すべて廃棄にする方向に進むべきではないでしょうか。世界中の科学者と協力して廃絶した方がいいと思います。 まずは、福島原発の放射能漏れをしっかりと止めて下さい。 そして、さまざまな都合の悪い情報も嘘をついたり、利害関係のために操作したりせず、正直に公表して下さい。福島の人々を被曝させたときのように、知らせないまま、私たちの健康を害することはやめて下さい。 私たちは成長期の子供達のために、被爆していない食材を購入したいです。でも最近の報道の様子を見て、政府の情報は操作されているのではないかと本当の所、疑心暗鬼です。目隠しをして買い物をさせられているようで毎日とても不安です。食品の被爆の基準値も、考え直して下さい。 本当は危険なものを、一部の権力者のためのルールを作って流通するようなことはしないでください。被爆したら死にます。病気になります。子孫に奇形が出ます。取り返しがつきません。 私の意見はたわごとでしょうか。大飯原発の再稼働は全く不可解です。福島ではまだ放射能が漏れているのにそれを対処する前に、活断層の真上にある原発を運転するなんて尋常な判断とは思えません。こんな状況なので毎日が不安で、余計な心配までしてしまいます。早くきれいな国土に戻して下さい。
18230	個人	その他	50代	男性	直流基幹送電網と発送電分離で、給電を自由化して、競争すれば電気料金は安くなります。規制をしなくても、経営判断で、原発を建設する会社はなくなります。周辺国とも送電網を連結して、融通すると平和的です。	電力会社の存続や、料金問題、あるいは原発の存続などは、表面的問題であって、エネルギー政策は、安く、安全で、持続性があり、輸入（輸送）等のリスクが少ない発電を、どれだけ導入できるかにかかっており、自由化して、競争する事が、これを可能にすると考えます。世界との取り合い、奪い合いの関係をやめて、共存の精神で、融通しあうユーロや北欧の送電網を見習うべきです。
18231	個人	パート・アルバイト	50代	女性	直ちに「ゼロシナリオ」を求めます。	日本の技術力（人知）と金と時間をフルに注ぎ込めば、安全でクリーンで再生可能なエネルギーにシフトすることは可能と考えます。その移行と、新しいエネルギー政策のためにも多大な労働力は必要で、それによって雇用がなくなるとか、経済が立ちゆかなくなるはずはありません。 率先して命（人、地球全体）が大切にされる国造りをして、真に世界から尊敬され愛される国になって欲しいと心から願います。もっと被害が広がってから見直すという、犠牲者拡大を待つような愚策は望みません。
18232	個人	会社員・公務員	30代	女性	(1)原発ゼロシナリオ	原発の危険性が福島の事故で露呈してしまい、もう二度と信用は出来ません。 地震のことあるので、2030年ではなく即刻原発廃止し、自然エネルギー主体に移行していくべきだと思います。
18233	個人	無職	60代	女性	原発反対！	あの事故がおきるまであのようにたくさんの原発が各所にあるなんて思ってもみませんでした。１か所に１基と単純に思っていました。今私たちは余りにも便利さに慣れすぎているように思います。トイレの便器一つにしても自動・なんでも自動というのはやりすぎです。この機会に見直しをすべきです。 不便でも安全を優先すべきです。これにつきます。
18234	個人	家事専業	50代	女性	原発0シナリオ これからの日本は、海、山、温泉、四季など大自然に恵まれている特徴を生かし、観光分野に力を入れ　東洋のモナコを目標に、いやしの国ずくりをしてほしい。	原発0シナリオ　高齢化が進み　原発0シナリオこれからの日本は、海、山、温泉、四季など大自然に恵まれている特徴を生かし、観光分野に力を入れ　東洋のモナコを目標に、いやしの国ずくりをしてほしい。工業生産分野の占める割合がからの日本は、海、山、温泉、四季など大自然に恵まれている特　徴を生かし、観光分野に力を入れ　東洋のモナコを目標に、いやしの国ずくりをしてほしい。
18235	個人	会社員・公務員	20代	女性	脱原発。再生可能エネルギーの開発や推進を行う法人を、支援してほしい。	人命を危ぶませてまで便利さを求めようとは思わない。また、いつか子どもを産みたいと思っているが、今の日本では安心して子育てできない。生むのをためらってしまう。
18236	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオを強く求める。	1．核廃棄物の最終処分・再処理の道筋が全く立たないまま、その負の遺産を未来に押し付ける訳にはいかない。 2．原発事故が起こっても、誰もその責任を問われない、また誰もその罪を問われないシステムではダメ。どうしても原発が必要と主張し、そこから益を得るなら応分の責を負うべきである。
18237	個人	自営業	30代	男性	「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張	事故が起こったとき取り返しがつかなくなるようなものを稼動してはいけません。 地震だけではなく、テロの脅威もあります。 原発を稼動して将来事故が起こり、日本に人が住めなくなったとき、あなたは何を思いますか？ 断固として「即刻、原発0」を主張いたします。

18238	個人	会社員・公務員	60代	男性	ゼロしかありえない。	・危険極まりない原発は、すべて即停止、即廃炉にするべきだ。地震大国の日本に 54基もの原発を建てたこと自体が、信じ難い悪魔の所業と言わざるをえない。 ・電気が足りなくなって停電になろうが、電力会社や銀行、保険会社が立ち行かな くなろうが止むをえない。ことは人類が生き残るか否かの岐路に我々があるとい うこと。 ・処理技術も処分場所も無い使用済み核燃料を、未来永劫に負の遺産として残すこ とは何人も許されない。
18239	個人	その他	50代	男性	原発ゼロシナリオに向けてエネルギー政策を見直し、サスティナブル社会を実現するため、再生可能エネルギーを日本経済にビルトインすべき趨勢にある。	地震災害の多い我国にとって、老朽原発は「負の資産」。今後、再生可能エネルギーに未来を託すことが、日本のサスティナビリティを実現可能にするだろう。世界のエネルギー政策をみても、米中ロのシェールガスやメタンハイドレートをはじめ、欧州も自然エネルギーに舵をきっており、日本は大国のエネルギー戦略の後塵を拝してはならないと考える。 ご参考URL:　http://www.fukushimanuclear.net
18240	個人	会社員・公務員	50代	男性	原子力発電は不要。 化石燃料と同様に有限の資源であるウランを使った発電は、化石燃料による発電と比べて何のメリットがあるのか、全く分からない。	水素、重水素による核融合が可能だというのであれば、無尽蔵のエネルギー資源を自給できるが、有限のウランを使う限りは、資源獲得における不安定さ、また、枯渇による将来の不安も、化石燃料と同じである。 CO2の問題しかメリットが無いが、放射能汚染とCO2どちらが、直接人体の有害だというのか。 私は、家族を、東京の放射能汚染から避難させるために、沖縄に疎開させた。 たった4基の核反応炉が壊れただけで、とんでもないレベルの被害が発生したうえに、今後かかるコストも、いまだに算定できていないはずだ。 少々の原価の差で比較できる話ではない。 まして、いまだに、福島は、収束どころか、日本を終息させてしまいかねない状態にある。 あのぼろぼろの建屋に、地震が襲ったらどうなるのか？ 水でしか遮蔽されていない大量の使用済み核燃料が、空気中に放り出された時の核物質の拡散について、政府は何も説明していない。 震度6までは大丈夫です？ 最大余震や、対になる巨大地震が震度6で収まるはずが無いではないか。 時限装置付きの核汚染爆弾をかかえた日本列島。 この核兵器をさらに、増やすのか？ 誰が考えても狂っている。 この国を一度、本当に作り替える必要がある。
18241	個人	会社員・公務員	50代	男性	(1)ゼロシナリオを選択します。 2030年などと言わず今すぐに、原発ゼロを希望します。	原発事故は未だ収束しておらず、福島の人たちも、ふるさとを無くした人たちがいます。 長野市も放射能とは無縁でなく、子供を持つ親たちは子どもの健康を考え、日々おびえています。 このような状態があと何十年と続くのです。 今すぐ、原発ゼロに向かって、すすむべきです。
18242	個人	無職	70代	男性	原発ゼロシナリオを選びます。	原発は今すぐにでも廃炉し、早急に廃炉後の処理をすべきです。3.11の被災でもわかるように原発事故は他の自然災害とは違います。3.11も仮に原発事故が無ければ、莫大な費用と日数はかかるでしょうが復旧の見込みが立ち、被災者はそれに向かって頑張れます。つまり、どのくらいの費用でどのくらいの期間必至になれば元の生活が回復できるかわかれば、人間はそれに向かって進むことが出来るということです。しかし今回のような原発事故は、復旧の見込みの時期も、どのように頑張れば良いかもわからないと、人はあきらめの気持ちが起きてくるのではないでしょうか。それでも3.11の被災者は頑張っていますが、二度とこの様な事故はごめんです。その為には直ぐ原発は廃炉処理すべきです。政府のやることは、「自然エネルギーなど原発にたよらないエネルギーの開発研究に取り組むから、国民の皆さん、今は電力不足になるかもしれませんが、皆さんの智恵と、努力でそれを乗り越えましょう」と呼びかけることではないでしょうか。
18243	個人	パート・アルバイト	20代	女性	2030年までの原発0%(ゼロシナリオ追加対策実施)を支持します。	もともと地震大国日本において、やみくもに(一部の団体の利益優先に)原発を推進してきたこと自体が問題であったと思う。 これまでの政権及び権力者の尻拭いとなるかもしれないが、 今回の震災を発端とする反原発の大きなうねりをチャンスとして 真に明るい日本のためにも潔い決断をして欲しい。 ゼロシナリオ追加対策実施を支持する理由は以下の通り ・電力は今でも原発なしでもまかなえる余力はあるはずである （18年の移行期間があればなおのこと） ・自然エネルギーへの転換も必須である （初期コストがかかるからこそ、国民の意識の高いうちに投資しなければ理解を得難くなる） ・電力量を賄えたとしても、多少強引にでも節電に努めるべきである （国民一人一人は、あまりに豊かになりすぎて甘えた自分たちの生活を見直すべき時がきていることを感じているはずだ。 国民が各集団の一員として生活する中においても、その意思を、実行に移せるようにするには、既存の権益を覆すという課題があるとは思うが）
18244	個人	パート・アルバイト	60代	男性	脱原発　即実行	人類がコントロールできない事象 如何なる技術を以ってしても、永久にこれをコントロールすることは不可能と言わざるを得ない。 彼のミュージシャンの言葉の様に たかが電気、電気のために人類の安全と電気の利便さを天秤にかけられるもんか。
18245	個人	家事専業	60代	女性	あの悲惨な事故に世界が驚愕してから1年以上経ち、日本の決断が世界に認められるかどうかも問われる過去に例を見ない重要なテストケースです。	放射能事故を想定して来なかった安全神話が根底から崩れ、国民を欺き続けて54基もの原発を“密かに”許可し建設してきた自民党の責任は甚大です。 海外から見ていると何ともふがいない現政権の事故後の対応で、電力が不足すると経済が立ち行かなくなるとの 根拠のない理由付けがりを強調し、安全確保の対策も とれていない時点で　やれ再起動、やれ再起動と囃し立てる姿勢は到底受入れられない。 いち早く決断したドイツの脱原発方針に学ぶべき点は多い。　そもそも日本の原発は米国からの技術導入に基盤を置いているが、地震や津波の影響がまるで違うと思われる 国の設計技術で30年以上も前に建設されたままのマークⅠなどは即刻廃炉とすべきであり、その後も“想定外”の 災害に対応した設計となっていない炉は再稼働などもっての他で、今や国民のマジョリティーは脱原子力でコンセンサスが出来つつある。 政局だけに目を向けた日本の政治家に国民の将来を託すことなど到底出来る筈もない。 私たちは再生エネルギーと 節電で立派に困難を乗り越えて見せます。 直ちに全廃の決定をするよう求めます。
18246	個人	会社員・公務員	50代	男性	ゼロシナリオに賛成です。	今回の事故が無かったとしても廃棄物の問題が解決しない限り原子力は使用すべきではないと思います。
18247	個人	家事専業	40代	女性	私の希望するのは「原発ゼロシナリオ」です。 また、ただちに現在稼働中の原発を停止し、燃料再処理施設についても 今後の利用について一切中止することを希望します。	地震国である我が国において、「絶対安全」が全く非現実的な幻想であることは、「東日本大震災」で、もう十分に立証されてしまいました。 たとえ「放射能が漏れ出てしまってもこれを捂取すれば身体に影響は出ない」 という魔法のようなものが開発されたとしても、諸外国に比べて極めて心配性であり、なおかつ政府に裏切られ続けているわれわれ日本国民は、その有用性を信じることはないでしょう。つまり、 国民の支持を得るには「原発ゼロシナリオ」しか有り得ないのです。 政治を司る方々は、少なくとも「国民の幸福な未来」を一応は考えて政治という仕事を選んでおられるかと思います。そういうビジョンを描いてくだされば 自ずと支持は得られるはずです。 今までは、少数派政党の妄想としか思えなかった「サヨナラ原発」というシナリオを、現実味のあるまともなビジョンとして描いた党が、今後の日本の舵取りを任されるのは確実でしょう。 私は一国民として、「サヨナラ原発」を単なる妄想ではなく現実的なシビアな 計画のもとに実行してくれる党が現れるのを心待ちに待っています。 支持したくなるビジョンを持った政党を心から待ち望んでいます。 出来れば、「党」という枠組みを超えて、それこそ「オール日本」で 取り組んでほしいと思います。 提示されている3つのシナリオには自然再生エネルギーの依存率が大変低く 設定されていますが、これについても新しい方向性を示してくれるのを期待 します。ただちに原発を停止し、自然再生エネルギーへの大いなる転換を唱え かつ実行してほしいと望んでいます。 ただちに原発を止めれば日本中の電力会社が原発が動かせないので大赤字になり、続けて→「株価が暴落」→「経営存続危機」→「政府への援助要請」→「国債暴落・日本破綻」という負の連鎖が始まるかのように言われていますが、 電力会社が電力会社として の使命を果たすために、まず自然再生エネルギーの 生産や国を挙げての取り組みに、率先して電力会社に働いてもらうしかありません。その新しいエネルギー生産への投資などによって、「負の遺産」を 少しずつ返済していくしかないのではないでしょうか。 そんな旗振りが出来るのは政府だけです。 いますぐに原発停止をするわけには いかないという経営上の困難もあるかとは思いますが、電力会社に破産されて困るのは国民です。そういったことの説明も含めて、自然再生エネルギーへの転換という新しい国のカタチを描いてください。 自然再生エネルギーへの転換は、地球温暖化対策の妨げになるとは思えません。両立できるやり方があるはずです。 そういうやり方を見つけてもらうために国民は税金をはらって「政治」に 国政を任せているのです。「政治家と専門家」は国民のために働いてください。 この意見がどれだけの方の耳に届くかは判りませんが、本気で日本の明るい 未来を描きたいと思っている方に届いてほしいと願っています。 政府だけでなく、野党の皆さんにも伝わってほしいと思います。 そうして、国民が支持したいと思うマニフェストとして「日本の未来」が 提示されてほしいと願っています。 原発に関しては「すぐさま停止」、自然再生エネルギーに関しては 2020年には依存度30%、2035年には依存度50%越えという 目標数値を期待しています。
18248	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発は本当に必要でしょうか？私の責任で判断と野田首相は言いますが、今度地震が起こって放射能事故が起こったら「あなたが責任取れるのですか？」いずれは変わる人に、私と家族の命はあずけられない。	私の責任というなら、真っ先に電力会社や関係者に対し、脱原発を掲げ、再生可能エネルギーの開発普及に取り組むと言った方が国民に対しての責任ある発言ではないでしょうか。。
18249	個人	会社員・公務員	40代	女性	2030年の原発依存はゼロシナリオでお願いします！！！！！！！	大飯原発が再稼動しました。いきなり原発にたよらないということは無理なのかもしれません。ただ、今後に関しては福島の原発事故で明らかになったように、人を含めた生き物と原発との共存は不可能なのです！！！！原発に頼らないエネルギー開発に尽力し、原発ゼロシナリオに向けて努力をしてください。多少の不便は仕方がありません。いのちが大事です！！！！そして、これ以上、民主党に対して期待していた私たちをがっかりさせるような政策はやめてください！！！！！
18250	個人	家事専業	30代	女性	原子力反対です。電力は原子力 以外で賄うべきです。 日本の未来は今変えるべきです。	原子力廃止の要望 原子力反対です。電力は原子力 以外で賄うべきです。 日本の未来は今変えるべきです。 福島の皆様のことを、他人事と思えるのは、間違いです。 東京にもたくさんの放射能がふりそそぎました。 狭い日本、地震の多い日本に 原子力はむりだったのです。 原子力エネルギー廃止を要望します。
18251	個人	会社員・公務員	20代	女性	原発ゼロシナリオを希望します	持続可能な電力システムに移行し、誰かに被害が及ぶような原発はもう卒業したい。国民や国の将来を本当に考えた選択をしてください。
18252	個人	自営業	30代	男性	現状、原子力のリスクを負うところにお金を出す』が基本になっていると思います。その結果として、過疎地域に使いもしない豪華な公共施設が乱立してます。これは明らかに無駄なので、原発はやめるべきだと思います。	原発には基本的に反対です。 現状の原子力の政策は『原子力のリスクを負うところにお金を出す』が基本になっていると思います。その結果、お金がない自治体、つまり地方の自治体が原子力のリスクを負うことになってます。 現状の規制がけいとか、原子力のリスクをお金に換算できるのかという問題も気になるのですが、それは横におきます。ここでは、『過疎地域にお金を出す』ことを問題だと思います。なぜなら、この『過疎地域にお金を出す』ということは、成長戦略の面から見て明らかにマイナスだからです。今、人のいない地域に無駄に立派な原発マネーによる公共施設が多く建っています。そこに人が増えていくことはないでしょう。そして、これからも同じように原発マネーで無駄な公共施設が増えていくことは目に見えてます。 いかにして地方の過疎をとめるか、もしくは過疎地での有効なお金の使い方をするか、または大都市近郊で安全な原子力の施設を作るか。このどれかに有効な回答を示されなければ、大都市のエネルギーを地方が担う歪みに加え、過疎地に意味の無いお金をばら撒く歪みも生まれてしまい、かなりロクデスクな社会が生まれると思います。
18253	個人	その他	40代	女性	安全性が担保できないので、全原発を廃炉に。	【ゼロシナリオを支持します】 原発は生存を脅かされるような深刻な環境汚染をもたらしました。CO2の比ではありません。この原発をいまだにコントロールする技術がない、環境を浄化する技術もないという事実こそを冷静に受け入れるべきだと考えます。1基稼働するのも54基稼働するのも、危険性という意味では同じなので、可能な限り早く原発ゼロを実現してほしいです。経済より安全を重視してください。
18254	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発を推進している内閣は、昨年の震災による福島原発の実態をどのように考えているのでしょうか？	確かに今までは原発を推進することで、事は進んでたと思います．しかし、昨年の事故を教訓に今は新たなｴﾈﾙｷﾞｰ開発に目を向け、世界へも日本の存在を改めて示す時期ではないでしょうか？
18255	個人	会社員・公務員	20代	女性	(1)原発ゼロシナリオ	原発事故の被害が甚大だったため。また事故が起きたら将来の日本を担う子供がいなくなる。
18256	個人	無職	60代	男性	2030年の原発比率3択について 素人にこの選択をさせて意味があるとは思われない 素人に判断させるつもりなら「原発賛成」または「原発反対」しかない 私は「原発反対」です	国民のほとんどが原発については素人です　従って2030年という期限を区切って原発比率を云々する程　国民は知識を持っていない し　当然解答は論理的なはずがない　それよりもこの3択は政治家の職務放棄だと言いたい　どのように決めても　問題提起きか　または　新たな問題がでてくるのであって　それらを全て検討して　結論を出していくのが政治家だと私は考えます 政治家はよく「覚悟」を問われますが　今は政治家よりも国民一人ひとりが覚悟を問われている状況だと考えています　そのことを国民に判易く説明するのも政治家の仕事です　どの立場なら　どのような問題が残り　どのように解決するか　判り易く説明した上で「賛成か反対」で国民投票をやって下さい　国民に責任を取らせるつもりなら　それなりの手順を踏みなさい
18257	個人	無職	60代	女性	エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」 福島の原発事故の解明がされていない。NHKの報道番組を観て思いました。	東日本大地震による福島原発事故の原因で未だ隠している事があることがNHKの報道番組で明らかにされた。HNK報道は政府よりの報道が多い中福島原発事故について報道された内容は恐ろしくなった。全てが解明されないで再稼動することはおかしい。
18258	個人	会社員・公務員	50代	男性	「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張します。	トイレのないマンションと言われているように、使用済み核燃料の処理方法もないまま、これ以上の核廃棄物を増やさないで下さい。100%安全と言うことは絶対にありません。福島の事故の原因も「想定外」の一言でかたづけないで下さい。明らかに人災です。再生可能エネルギーの使用を増やす事に予算を使うべきです。将来、子供や孫達が、安心して暮らせる社会を作るためにも、原発は即刻廃止すべきです。

18259	個人	家事専業	40代	女性	原発ゼロの、これ以上放射性物質を拡散しない、安心して暮らせる未来。そして、自然エネルギー100%の世の中を希望します。	福島第一原発事故により、日本だけでなく、世界中に放射性物質が放出されてしまった。そのことにより、大気、大地だけでなく、河川や海洋までもが汚染され、私たちも望まない被曝をしてしまった。 それは現在進行形であり、永遠に被ばくし続ける。原発は、クリーンなエネルギーと謳われ信じ込まされていたが、本当はそうではなかった。隠された事実は、ウラン採掘時にわずかしか使用可能なウランは採れず、そのほとんどが放射能に汚染されたがれきとなる。採掘、精製時にも大量の石油が使用されることは、ほとんどの人が知らない。 また、ウランが石油に代わるエネルギーと言うが、実際には**ウランの埋蔵量は、石油に比べてもわずかしかない。**そしてなにより、原発は正常運転時でさえも、煙突から放射性物質を放出し、海洋にも放射性物質を含む温水を排出している。それにより、海洋の生態系に悪影響を及ぼし、周辺住民の発がん率も上げている。そして、原発内で働く人の被曝という様々な犠牲のもとに成り立つ原発。 また近年、日本は地震活動期に入ったところに、地震に脆い老朽化した原発を稼働させること、存在すること自体が危険であり、それを政治判断で決めていることこそ、犯罪である。福島の事故は人災であり、本来に誰も責任を取っていないし、取れる規模のものではない。ましてや、首相個人が責任の取れるものではない。一度事故が起こってしまえば、誰にもどうすることもできない危険な原発は、経済（電力会社の利益）のためだけに、存在することはおかしい。直ちに、日本の原発を全て廃止しなければならない。どうしても、電気が足りないのなら、送発電を電力会社独占でなく、自由化し、余剰自家発電の電気を柔軟に供給できるようにする。そして、自然エネルギーを普及させ、それによるクリーンな雇用の促進。100%自然エネルギーへの方針転換をするべきです。
18260	個人	学生	20代	女性	原発再稼働に【賛成】です。 世界の発展している国は、原発があるからです。 原発を無くすということは、日本を衰退させるという事に繋がるのです。	日本は原子力発電を発展させるべきです。 火力や水力では経済を普及させることは困難ではないでしょうか。 これからまたさらに増税して国民を苦しめないでください。 この国にならお金を使いたい と思わせる国にしていただきたい。
18261	個人	会社員・公務員	40代	男性	3.11福島原発事故の教訓から「ゼロシナリオ」を決定すべきであると考えます。	福島原発事故で明らかなように、原発の危険性から私達の命を守るには「ゼロシナリオ」しかありません。原発を稼動し続けるには、将来にわたって危険な放射能を残すことであり、使用済み核燃料の処分技術や処分場所も不確定なもので、原発を稼動させることは出来ません。 また、地震国日本では、近い将来にも大規模な地震が想定されており、原発の安全性を確保することは不可能です。 さらに、放射能汚染は、長期間にわたって私達の生活環境を奪い、故郷や雇用を失い、「命」が脅かされている福島県民のことを考えれば、原発をなくすことは重要であり、「ゼロシナリオ」しか選択肢はないと考えます。
18262	個人	その他	60代	女性	1原発0を選択します。	3．11の時に「想定外の」の言葉を聞き　本当に想定ができなかったのか？ 疑問が残り、最近では、「人為的な」などとも言われているのを聞くにつれ 今後絶対にあってはならない大惨事を防ぐ為にも　原発0を訴えていきたいと思います。
18263	個人	家事専業	50代	女性	・「原発ゼロシナリオ」・・・唯一の脱原発シナリオを求めます！	福島原発事故により甚大な被害を受けた福島県を見ても十分すぎるほど その危険性が露呈しました。 原発関連の人たちが自分たちの都合のよい様に意見を変え、データを改ざんする様は、見ていて不信感以外の何物も生みません。 嘘の情報、歪曲された資料ばかりの羅列では誰が信じるのでしょう？ 多くの人が　生まれ育った土地を離れることを余儀なくされるような危険極まりない施設、停止してもなお危険な施設を稼働させ、放射能の危険に人々をさらし続けるような危険なエネルギー施設を容認することは不可能です。 代替えエネルギー、自然エネルギーを有効活用し電力会社の横暴を許すべきではないと強く願います。 これから未来の子供達が危険にさらされることになれば、日本は崩壊したも同じだと思うからです。 強く強く希望します。
18264	個人	パート・アルバイト	60代	女性	原発0%のシナリオに賛成です。	原発0%のシナリオに賛成です。 一刻も早く原発0%にしてほしいです。 地震がきたらと不安で仕方がありません。 不便はしょうがないです。 色々な会社が電気を供給できるようになり、自由に選んで買えるようになりたいです。
18265	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオを進めるべきと考えます。事故が起これば人の手が付けられないこの問題に対し、過去の公害問題以上に人や生態系への影響を考える必要があります。	事故調査委員会が「福島原発事故は終わっていない」と言われたとおりだと思います。炉心温度だけが問題ではありません。福島原発だけ捉えても、事故現場の処理と作業員の健康への影響、燃料棒の処分、廃炉までの工程、飛散した放射性物質の除去、避難住民の生活・住居（故郷）の復元、など、まだまだ課題が山積しています。福島原発が東端の海岸に建設されていたため、放射性物質の多くが太平洋に飛散しましたが、他の原発であれば、偏西風に乗って被害はより拡大すると考えます。雇用問題を為げる人がいますが、現に福島原発で働いていた地域の人は、住むところを奪われ、雇用問題どころではなくなっています。生活の便利さや電気料金のために、住む所を立ち退かざるを得なくなった方々の前で、原発を存続させろとは私は言えません。 現在の福島原発での作業も、下請け、孫請けの作業の方が被爆しながら（そのことは知らされず）作業にあたっているとも聞きます。誰かの犠牲の上に原発が存在していることを想像すべきです。また、廃炉費用や地元振興費等も考慮に入れると、他の発電施設より安価とは言えず、原発を稼動しないと電気料金が上がるというのは詭弁と考えます。それらの費用は政府が負担したりして算定されていないだけのことではないでしょうか。それなら、原発稼動停止に伴う費用増加分を政府が見れば電気料金を上げなくてすむのではないでしょうか。温暖化の問題もあるので、化石燃料による発電ではなく、自然エネルギーによる発電にシフトする必要があります。国民の合意形成上、いきなり原発をゼロにするのは困難でしょうが、再生可能エネルギーによる発電にシフトし、原発をなくすことは十分可能と考えます。原発を無害化しコントロールできるようにするより、自然エネルギーによる発電施設を整備する方が時間的にも金銭的にも現実的です。
18266	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発は無くするべきです	核廃棄物を今の科学では埋めるしか方法が無いから 福島原発の事故もこれからどうして行くか見えない 原発の下の方にコンクリートで水を遮断する壁を作らないと 放射能で地下水汚染と海洋汚染するのが目に見えてる 福島の子供達の4年後どんなになってくるか考えただけで恐ろしい と云うのは事故後5年経甲状腺癌がピークになるらしいから ロシアでは年間5ミリシーベルト以上の所は退去したから せめて年間10ミリシーベルト以上は住まないようにするべき ロシアの現状を勉強するべきです 近頃テレビで偉い政治家が出たら腹立つからチャンネル変えます
18267	個人	パート・アルバイト	50代	女性	原発はいりません。原発に依存しない社会にしていく必要があります。目標と計画をきちんと立て、国民の理解と協力を求めていくことが必要です。	チェルノブイリ以降、原発には反対してきたし、節電など”の努力を続けてもきました。が、社会生活を営む上で、なততなにふれていて自分を感じてもいました。息子などは、電気が豊富にあり、パソコンが自由に使える時代に生まれてよかったと言ってのける始末で、わが身の脱得力のない生き方を恥じたりもしていました。滅びの予感を覚えながらも。 震災後の原発事故で、危惧していたことが現実になった困惑と恐怖と後悔に打ち震えました。 現代社会に電気は欠かせません。しかし、生きるのに欠かせない命は、現代社会の上位にあるものです。そして、原発以降、私たちは、現代生活への自信と、未来への希望を失ってしまったのだと感じています。 生きる喜びと希望を取り戻すために、原発の必要ない社会に転換する、その設計図を描き、早急に建設してゆく時期と思います。
18268	個人	家事専業	60代	女性	原発はすべて止めて本来の日本人の勤勉さと知恵を発揮しよう！	これだけ地震が頻発しているとき、10年後、20年後まで安全に 原発を動かすことなど、まったく不可能だと思う。福島原発事故の原因さえ究明できない今、目先の利益に目がくらんで、日本と子どもたちの未来をつぶしてしまってはならない。 日本人は長い歴史の中で、自然に対して畏怖の念を持って共生し、知恵を絞り、勤勉に働き続けてこの国と文化を作り上げてきたと信じる。いつまでも原発に振り回されることなく、未来に向けて、明確な方向転換を決意すべき時だと思う。
18269	個人	無職	60代	男性	原発の使用済核燃料の処理方法も確立してないのに、原発を動かせば使用済み核燃料がどんどん増え続けるのが分かってて、動かしているのが理解できないです。処理法方法解決するまで、原発をストップさせてください。	使用済み核燃料を青森の六ケ所村に再処理という理由で運び込んで、その量は数千トンに及び、まだ増えようとしている。もし六ケ所村に大災害が起こって使用済み燃料がむき出しになって、放射能が大気に流出したら、青森県、日本どころか、世界中住めなくなる程野放射能線量になるという試算があります。これは世界の原爆が爆発したときの放射能の数百倍の放射能が六ケ所村から発生するのだから、当然のことです。全世界の人々に日本の原発の在り方、安全への取り組みを説明する義務があります。すぐ国連か世界の機関で日本の原発への取り組みを説明して納得してもらってから、日本の国会で協議を始めてください。
18270	個人	家事専業	30代	女性	原発ゼロシナリオを選択、希望します。	原発ゼロを希望する理由（箇条書き） 1　大飯原発再稼動について、不透明な部分が多すぎる。（事故があった場合に被害を受ける可能性のある地域　主に関西圏で原発の稼動の是非を問う住民投票をするべき） 2　福島の責任の所在や、除染、賠償が済んでいない中で、再稼動を進めようとされている。 3　原発事故の際の、現段階での責任の所在や、賠償の保障が明確にされていない。 4　地盤の問題　地震大国と言われる日本において原発を稼動させることへの不安。活断層などの問題点を指摘されているが、それに対する回答が無い。 5　廃棄や賠償などを含めた原発の「全」コストが、他の発電に比べ、高い事。 6　原発事故の際の、現段階での責任の所在や、賠償の保障が明確にされていない。 7　永久に増え続けると予想される使用済み核燃料の再処理について、明確なプランの説明が国民にないこと。 8　事故が多発し、危険であると思われる実験段階で中止した高速増殖炉を日本だけが稼動することへの不安。 9　原発を稼動することの個人的、全体的メリットが、デメリットを上回らない（民意が反映されず、一部の人間の都合のみで、稼動されている）為。
18271	個人	無職	60代	女性	原子力発電について国民的討議をおこなう、とのことですが、このパブリックコメント募集については、政府からのわかりやすい広報もないし、テレビや新聞などでも取り上げていません。	原発事故から1年半、やっと、私にも、何が起きたのか、わかってきました。この50年、私たち日本人は、たいへんな方向に突き進んできたのですね。この地震国に、「安全あんしん低コスト。資源の乏しい日本には必要」と、なんと54基もの原発。そして、福島原発事故。私は、「気にはなっていたけれど、よく考えず、電気をじゃんじゃん使ってきた」一人です。だから、この事態を真剣に考えています。大変な犠牲の果てに。今こそ、家事を切り盾すときが来たのだと思います。しかし。政府は、しっかりした検証もなく、対策もないまま「安全が確認されました。国民生活のために再稼働します」とは。そして、さっと「1条　2条　3条、どれがいいですか？意見聞きますよ」と。討論会の電力会社の方の「原発事故で一人も死んでいません」発言には、怒りと、情けなさに言葉を失いました。電力会社の方々は、土地を奪われ、生活の根底から奪われた人達の悲しみを想像したことはないようです。原発事故は「リスク」どころではなく、重大な「危機」です。国家の危機です。 私は、子どもの命・水久剣に汚染された国土、経済どころではありません。世界の人々は同情するも乗れるでしょうね。今回のような「討論会」や「三つの選択肢」は「国民の声を聞く」ポーズだけで、結局は「懸念を示す国民も多くいらっしゃることは存じております。しかしながら、長期的に我が国の…」という台本ができているように思います。また、大量の使用済み核燃料の最終処分の方法、場所もまだ、きめられません。本当に電力会社や政府はどうするつもりなのでしょうか。「もんじゅ」は、大変危険であり廃炉が難しいともきいています。すべて次世代送りですか？、原発は0パーセントへ！
18272	個人	無職	70代	男性	原子力発電の縮小について	チェルノブイリ原発の事故以来原子力発電に関して疑問をもっていた。 一旦事故を起こすとその影響が計り知れない事、福島の事故も後遺症は何年にも続く。原発神話が崩れた今こそ原子力発電を根本から見直すべきである。 日本は地震、津波は避けられない以上これを回避することは出来ない。いくら耐震構造にしても地球規模のエネルギーをコントロールできない以上想定外の事故だと責任転嫁するすべしかない。 原子力発電の縮小により派生する問題には、絶えるだけの用意がある。生活の便利さを享受できなくても経済的負担を強いられても原発の持つ危険を回避できるのなら我慢をしたい。将来に禍根を残さないように方向転換をしてほしい。 代替エネルギーへの加速と工夫が、日本人の英知によって解決すると信じます。
18273	個人	パート・アルバイ	50代	男性	原発は、もういらない?	一部の企業や個人の利権の為の原発なんて必要では無いし、電気を使わない努力が、まず、必要だと思う。
18274	個人	無職	60代	男性	原子力発電は即時廃止すべきです	東日本大震災がそう言ってます。 これは天災では人災です。
18275	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発をなくして、CO2を発生させる火力発電をなくしてください。	原発を再稼動する際には、まったく裏づけのない電力供給率の算出方法を知識のない人間にもわかるようにしてください。 私が住んでいる北海道では計画停電を行う場合は、事前の通知をキチンと行っていないということも聞いてます。供給量が足りている状況下で正しく行っているのでしょうか？ そのことも踏まえて、普通の一般市民より頭の良い官僚の方や大学教授や一般企業の研究者の知識を総動員して生き物に安全や再生可能エネルギーを一刻も早く、国が主導して行ってください。 また、いろいろな場所で行おうとしている、各地域での再生可能エネルギーを、きちんと調査して、不正や利権などの汚い行為がないきちんとしたのところに認めてあげてください。 もう、あなた方政治家や、経団連などの、国のことではなくて、自分たちの利権、利得しか見ていない人たちに日本を任せられないと思うので、一刻も早くやめてもらえないでしょうか？
18276	個人	家事専業	40代	女性	原発はもう廃止にしてください。 自然エネルギーの開発に力を注いでください。	自然に逆らう生活は限界に来ています。ウソやごまかしが後から後から出て来るようなことはもうごめんです。 子供たちに少しでも安全な生活を与えたい！ 原子力発電は全て停止させてください。 お願いします。
18277	個人	会社員・公務員	40代	女性	脱原発 何卒自然エネルギーだけで、電力をまかなって頂きたい	茨城県、福島県のような惨状は、もうこりごり 節電にも協力するので、原発はゼロにして欲しい
18278	個人	パート・アルバイト	30代	女性	自分の事しか考えられない人達へ。	利権のみだけに、原発を動かそうとするのはやめてほしいです。自分達の事しか考えられないですか？自分の家族が、親戚が、友達が、原発によって死んでしまったり、一生治らない病気になったりしたらどうしますか？ 核エネルギーは、今の人間のテクノロジーでは制御できないものなのです。まして中自然の力にかかれば、そんなもの吹き飛ばされてしまう事はよくわかったでしょう？自然も人間がコントロールできるものではないのです。 自然をなめないで下さい。いろんなものと共存する事の大切さを学んで下さい。 これから成長する子供たち、生まれてくる命に、地球という、とても美しく、素晴らしい星を綺麗なまま見せてあげたいと思います。
18279	個人	その他	50代	女性	ゼロシナリオを指示します。原子爆弾と放射能の恐ろしさを知っている、世界で唯一の国が、原発は排除しなくてはいけない。安全なエネルギーに移行してきたい。	原発に安全はありません。そのことを知っている国民だったのに、政府からの提案を受けてしまった。今の状態にしたのは、国民の責任もあります。 原爆で苦しんでいるのに、どうして拒否できなかったのか？　福島第一原発の事故で、たくさんの犠牲を出して、目をさますように促されています。もう、これでおしまいにしましょう。自然エネルギーへの移行を、専門家の方々に考えていただきたい。日本の安全だけでなく、世界の人々の安全のために、ゼロシナリオを選びます。
18280	個人	無職	70代	男性	日本のエネルギー自給率約4%は問題だ。現在の技術では再生可能エネルギーで、需要を満たすには程遠い。火力依存を高めると、供給、貿易収支上危険で、原発を抜きにしたエネルギー政策では、生きて行けない。	米国が世界の軍事力、エネルギー、食糧を支配できた時代から多極化している。 日本は、食糧自給率40%は問題と考えているが、それよりエネルギー自給率約4%は大問題だ。過去の戦争も、資源を求めたここに起因している。 エネルギーの多様化は必要であるが、現在の技術では再生可能エネルギーでは、原子力発電に比較して極少なく、代替えできるものでもなく、発電コストも高くなる。。 火力依存を高めると、供給、貿易収支上危険であり、二酸化炭素排出量が多く地球温暖化に拍車がかかる。原子力を抜きにしたエネルギー政策では、生きて行けない。 将来、石炭、石油、LNG等が輸入出来なくなった時点で、原子力発電に転換しようとしても、その時には築き上げられてきた原子力発電設備、技術および技術者が失われ必要なエネルギーが確保されなくなる。 また、人はそれぞれ趣味い、人の集合体が国であり、家庭を守るのは家族である。日本を護るのは他国ではなく日本国である。 国家間の紛争は、話し合い解決できるように最後の最後まで努力することが必要で、仮に武力紛争に発展しても、話し合いにる解決に努力すべきである。 しかし、日本は、小さな軍備であろうとも、核以上に強力なものが無い以上、核に対しては核報復力の威力を持ってバランスを保ち護るか、米国の核に依存する以外ないのであるから、将来に向け、国防とも核技術開発は重要であり、安全な原発にして稼働させる必要がある。
18281	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオを強く望みます。 2030年までのなるべく早期に原発比率をゼロとするべきです。	大飯原発再稼動の手続きの社撰さが、日本は原子力技術を扱う資格がないことを明らかにしてしまった。もっと慎重に対策をとり、より安全な運転を目指すことを突き詰めれば、これほど我々国民の怒りを買うことはなかった。電力会社、原子力保安院、政府の対応に失望し、原子力発電事業に対する不信感が拭えるものではないため、今後どの原発も再稼動することなく、廃炉に向けた措置をとることを望みます。
18282	個人	家事専業	40代	女性	人がコントロール出来ない原発は持つべきではありません	人がコントロール出来ない原発は持つべきではありません。使用済み燃料の処分すら出来ないのに、このまま子どもたちに危険な地球を残す訳にはいきません。どんなに偉い人が責任を取ると言った、汚染させてしまった土壌や海をどうやって元にもどせるのでしょうか。被曝してしまった人たちの行末も予測できません。今後どのような影響がでるかわからないのに、安全だと断言できるのでしょうか。 日本だけでなく海や世界中を汚染させてしまった日本が、原発を持ち稼動させるのはおかしいと思います。限りある電力で、できる範囲で生活するしかないと思います。原発の維持、開発の費用を、次世代エネルギーの開発にあててください。子どもたちが安心して暮らせる地球になるように。

18283	個人	会社員・公務員	20代	女性	ゼロシナリオを選択します。太陽、水、波、風、地熱・・・わたしたちはたくさんの恩恵を受けて暮らしています。安全で持続可能なエネルギーで暮らしたいです。	言いたいのは一言だけ 「どうやって直すのかわからないものを、こわし続けるのはもうやめてください」 原発はクリーンで安全なエネルギーではない。自然を壊すことしかしない。使用済みの燃料が無害になるには何百万年も見守らなきゃいけないということをわたしは知っています。何百万年後のこどもたちにわたしたちの負の遺産を押し付けることはしたくないです。
18284	個人	会社員・公務員	40代	男性	「ゼロシナリオ」の選択が不可欠です。	3・11の福島原発事故で明らかになった原発の危険性から、私達や将来の子どもたちの生命を守るには「ゼロシナリオ」の他には選択肢はありません。放射能が一度外に出てしまうと、私達の生活すべてを奪ってしまいます。福島の人々は故郷を失ってしまいました。そのことを考えれば、早急に「ゼロシナリオ」を決定し、自然エネルギーの拡大に努力すべきです。それが、新しい日本の経済成長にもつながると思います。
18285	個人	家事専業	40代	女性	全原発を廃炉にする方法、手順を具体的に詰めていくべきです。	後始末ができないことに、手をつけるものではありません。 自分たちがなにもできないくせに、次の世代にどんどん大きくなるツケを負わせるのは罪です。 今はそれで世の中が回っていることを恥ずかしいと思い、廃棄物の安全な後始末を真剣にみんなで考えるべきです。
18286	個人	自営業	40代	男性	原発は0%を目標にして下さい。	原発は危険すぎます。自然エネルギーの方が一見コストが高そうに見えますが、原発は廃棄物処理、廃炉作業、廃炉にしたときの資産の目減りなどを考えても、却って高コストです。 世界が日本をまねる日が数十年後にくるかもしれません。 原発は0%にしましょう。
18287	個人	自営業	50代	女性	原発0%指示。地震国日本での原発政策はリスクが高すぎる。早急に再生エネルギーの研究開発、新産業としてのビジネスモデル確立に取り組むべき。ドイツに出来るなら日本でも出来る。0%は非現実的な数字ではない。	◎原発に関しては「YES or NO」の二者択一からスタートすべきと思う。 なぜ3択なのか？ なぜ2030年？という年代が出て来たのか？（ドイツは2022年、大変だろうけど） 0・15・25%の数字刻みの意味が明記されていない。そんな意味不明の数字で国民の意見を聞いたフリをして、この意見書で政府が8月に決めてしまうのか？ ◎国民投票を強く要望する。国民投票を人気投票にしない為、信頼出来る資料を作成公表し、広く国民で議論出来る場と時間を設けるべし。国民はバカではない。正しく、透明性のある方法で事実を知らされていないだけ。 これが日本の民主政治か？ ◎核廃棄物処理についてのコスト試算が明記されていない。 ◎3つのどのシナリオでも核のゴミは避けられないはず。どこに捨ててどう処理するつもりか？福島原発のがれき処理ですら地方自治体に反対され、手こずっているのに。0%で脱原発にしても膨大な核廃棄物があるのに、15%、25%の稼働では、延々と核廃棄物が溜まっていく。 この問題について国民の意見を問う明記がないのはなぜか？ これは国民に選択させないのか？ ◎そもそも一番やっかいな核廃棄物処理をこの意見書から省いてあるのは、なぜか？核保有国でない日本において、「核兵器の基礎的な技術を保有する権利を保有したい」と正直に書けばよいではないか。それについても国民の意見を問えばよい。 ◎再生エネルギー、送電分離など新しい産業としての政策、ビジネスモデルが確立すれば雇用問題なども含め、経済的にも十分やって行ける。10万年とも言われる核廃棄物処理の危険とコストを換算したら、新エネルギー開発、事業を推進する日本のほうがはるかに現実的で未来がある。日本の技術なら世界に先がけて それは可能だ。 ◎原子力ビジネスが巨大な金を生むのは、国民はもう知っている。今までは、推進派の隠蔽や国民不在の不透明な場で決定できただろうが、今後は無理だと認識すべき。あっと言う間にネットで拡散する。 ◎ところで、原子炉規制法で40年運転となっているが、美浜原発の10年運転延長を枝野大臣が許可したと毎日新聞（7/19）で読んだが、これは事前に公表されたのか？そのような許可が、政府で勝手にできるのか？一度前例を作れば、また「他の原発にも同じ事はやる」と言うことですね？ ◎最後に、私は普通に仕事をしている一般人で何かの団体などに所属などしていません。6月から首相官邸前、金曜仕事帰りに一人で行くようになり、twitterなどで情報交換して、意見はこの程度の事しか勉強できていないです。日中は10時間ほど働き、その他の時間で資料を見たり、考えたり、人の意見を聞いたり。首相官邸前に集まる人は、私のように日中は生活の為に働いている。選挙で選んだ議員さん達が国民の為に本気で働いているのか疑問に思っています。 議員さん達は給料をもらい、政治のことを考え，行動する時間は、私たちより、はるかに多いだろうに、この仕事ぶりには心底失望しています。次の選挙では誰を選べばよいのか？とデモをしながら皆が言っています。 以上
18288	個人	家事専業	70代	女性	三択の内、0%を選択いたします。 原子力発電は「核」を使用する以上「核」が軍需につながることから賛成できません。	「核」を否定するいみで0%を支持します。第二に核のごみ処理の方法も決まってないところで原子力発電を行うことが信じられません。六ヶ所村のごみ処理場も満杯なのではないでしょうか。
18289	個人	会社員・公務員	30代	男性	エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 「2030年に原発0」（ゼロシナリオ）だけでなく、「即刻、原発0」を主張 即原発ゼロへ。弱者の保護を優先したい。	3・11の福島原発事故で明らかになった原発の危険性から私たちの命を守るには「ゼロシナリオ」しかありません。 地震国日本では、近い将来相当大規模な地震が想定されています。その中で、原発の安全性を保つことは不可能でしょう。「ゼロシナリオ」のほかに私たちの安全を確保する道はありません。 故郷を失った福島県民のことを考えれば、原発をなくすことが重要である。
18290	個人	その他	70代	女性	すべての原発が　すぐ止めるべきです。あまりにも危険性がありすぎます。	原発がすぐ止めるべきです。 経済よりもこの世の最高の価値が命です、しかもすべての人の命です。 今の原発が人々の　命を脅かしています。 国民からどんどんあがっている声を、もっと聞くべきです。
18291	個人	会社員・公務員	40代	男性	エネルギーにおける原発の比率は0%を支持します。	政府は、15%の選択肢を選ばせようとしていることは目に見えている。 25%の選択肢があることがまず不自然である。 25%ということは、現在ある原発を40年以上動かすか、新たに原発を作らなければ達成できないからである。脱原発を前提にしているのであれば、その選択肢はあり得ないはずだ。 次に15%であるが、これは40年廃炉規定にしたがって自ずと 15%になるということである。しかし、今稼働中の原発はわずか1基である。 今夏もどうやら電力不足に陥らずに乗り切れそうである。つまり、15%の原発はもはや不要である。 まして、地震国にこれほど危険な施設を維持する理由などない。
18292	個人	会社員・公務員	40代	男性	これ以上放射性廃棄物を出すべきではありません。 放射性廃棄物を処分する方法はありません	ウランやプルトニウムの半減期は数万年です。原発の是非はエネルギー問題ではなくこれら放射性廃棄物をどう処分するかだと思います。そしてその方法はありません。これ以上核のゴミを出してはなりません。未来の人類にそれを押し付けてはなりません。
18293	個人	会社員・公務員	20代	女性	「原発ゼロシナリオ」を選択します。	「原発ゼロシナリオ」を選択します。■選くとも2030年までには再生可能エネルギーを全体の50%となるように投融資をしてください。企業にも働きかけてください。これまで莫大な資金を第二次次産業に、そして原発に投じてきたように、再生可能エネルギー市場の拡大に資金を投じてください。□（理由）新たな産業がなかなか育たないのはその産業自体にポテンシャルがないのではなく、その産業をはばむものがあるからです。今回はそれが原発に投じる資金そのものです。ただちに核燃サイクルへの資金を凍結し、直接処分の検討に入ってください。■再生可能エネルギーの資源は地域のものです。よって、その地域の資本が地域の内発的発展に有効に生かされるような仕組みを作ってください。いわゆる植民地型開発ではなく、地域主導となる産業として発展させてください。そのため、社会学者やNGOを含むプロジェクトチームや委員会を設け、議論してください。□（理由）原発は「都市と地方の格差」という錯覚によって正当化されているからです。お金がない地方が原発を必要としていたのだといった議論は間違っています。本来、地域こそ豊かであり、自立した地域内循環で経済が成り立っていました。そうした地域の良さを引き出すような政策のもとで、エネルギー政策も議論すべきです。
18294	個人	自営業	40代	女性	出来るだけ早く、全原発の廃炉を求めます。	国民はバカではありません。 Twitter,Facebookなど駆使して、原発事故に関してこれまで隠されていた事が次々と明らかにされています。 もともと原発は発電コストが非常に高くつくとに、今回のような事故が起きれば、コストどころか、地球に取り返しのつかない汚染を広げるものだと言う事もよくわかりました。 この事故も全く収束していないのに、大飯原発を再稼働させたのは許しがたい事です。また大地震が起きれば、もう日本は再起不能でしょう。この先も利権構造をくずしたくないから原発を再稼働させるのですか？ とりあえず火力発電だけで間に合っていたじゃないですか？ 原発を使わないと不良資産になって、経営がなりたたないから再稼働した、ということはもう国民は皆知っています。 政府、官僚の方々、もういい加減に現実的に物事を考え、すばやく対処して下さい。ちゃんと仕事をして下さい。
18295	個人	自営業	60代	男性	先日のエネルギー政策意見聴取会における中電社員の「放射能の直接的な影響で亡くなった方は一人もいない」という発言は事実の捉え方に論理的まちがいがある。	放射能の影響で亡くなった人が一人もいないのは、人々が逃げるという「努力」をしたからであって、その逃げるという行為をもししなかったら直接的な影響をこうむって命に関わる影響を受けているはずです。「はず」ではなく今も帰れないわけですからこうむることは確実です。東電が放射能漏れで人々に直接的被害をもたらすという罪を犯さずにすんだのは人々が逃げてくれたからです。「直接的影響でなくなった人がいない」と言うせりふは強盗に入って刃物をつきつけたけれども体をかわされて逃げられてしまった男が後日捕まって「刃物で死んではいない」と言ってるのと同じです。 今回の発言は原発も対策によっては人の命は守れると言いたかったと思われますが、守れていません。奇跡の幸運が重なって死者が出なかったにすぎません。この1回の経験で明らかになったと考えます。 結論：原発はなるべく早くゼロにすべし。
18296	個人	無職	70代	男性	原発ゼロ 放射能の犠牲者を一人も出すことがないように、国内の原発を廃止して電源開発費など従来の原発推進財源ををすべて自然エネルギーの開発につぎ込んでください	原発はゼロにしてください。 理由 人類が作ったものでの事故は原発以外に沢山あります。飛行機、自動車、船舶による交通事故、工場などの生産活動による事故、工事現場などの事故などについて、人類はさまざまな知恵を集め対策を講じていますが、どんな対策を立てても完全になくすことはできません。しかし、これらの事故の被害は一時的であり、その範囲は固定的であり、比較的短期間に復興可能です。 原発事故も、いかなる対策を立てようが絶対に事故をゼロにすることはできません。しかしその被害は時間を超え、空間を超えてひろがるため、上記のような事故とは根本的に異なります。その被害は天災とは比較にならない惨劇をうみます。少なくとも現在の人間が生存中には復興できないのです。放射能を制御できないからです。これが他の事故と異なるところです。地震、津波、台風、干ばつなどの天災に対しては現在までのところ、人類が最大限の対策をとっても被害をゼロにすることはできませんが、原発は被害をなくすことができるのです。人類が作っているものですからこれをなくしたら、事故は決して起きません。やめればいいのです。 電気を起こす方法は他にいくらでもあります。 原発につぎ込んできた膨大な国のお金を自然エネルギー電源開発にまわしてください。 現在と未来の日本国民の生活と生命を犠牲にしないで済む電気にしようではありませんか。命が犠牲になることを知りながら原発を続けることは許されません。
18297	個人	会社員・公務員	60代	男性	原発3つのシナリオから「ゼロシナリオ」を選びます。	原発3つのシナリオから「ゼロシナリオ」を選びます。原発はいったん過酷事故が起きれば、周囲数百キロにわたって深刻な放射能汚染をもたらします。また、使用済核燃料の処理方法や処理場所もまだ確立していない中で、これ以上原発を進めることは、私たちの孫や次の世代に非参理な負担を強いることです。いま、私たちが電気を使ってその恩恵を受けたとして、その負の遺産をどうして次や次の世代に負わせられるのでしょうか。再稼動した原発もすぐに停止し、すべての原発を廃炉にすべきです。日本人の英知を集めて自然エネルギーの活用を目指すべきです。後世の人たちから愚かな世代の日本人と言われないために。
18298	個人	会社員・公務員	50代	女性	日本の原子力発電は近い将来に0%にすべき	津波の可能性を否定できない我が国の沿岸に、災害が起こった際にきちんとした対処ができると言い難いような、原子力発電所を設置していることは、国民を危険にさらしている訳で、一刻も早く、原子炉の廃炉に向けて、動き出すべきだと思います。人の住めない土地をこれ以上増やしたくありません。
18299	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	ここへ来て原発を将来にわたって存続させる選択肢を提示すると自体が国民を愚弄していると考える。原発ゼロ以外のシナリオは認められない。	原発については「ゼロシナリオ」しかありえない。福島原発事故の後、すでにすべての原発が停止して「原発ゼロ」を実現しているのに、この「エネルギー・環境の選択肢」の中に原発依存度何パーセントなどというものがあること自体、大飯原発再稼動と同様、原発推進派の厚顔無恥な策動としか思えない。 繰り返すが、原発については「ゼロシナリオ」しかありえない。あと残るのは時間の問題だけである。 すなわち、「福島第二原発をいつまでに安全な状態に持っていけるのか、近隣住民の生活はいつになったら元に戻るのか」、あるいは「自然エネルギーの比率を何年までに何パーセントにするのか」といった、問題解決のための具体的な工程を示したシナリオである。 そもそもこの「エネルギー・環境の選択肢」のシナリオには、「放射性廃棄物が今の時点でどれだけあって、これを処理するのにどれだけの時間と費用を要するのか」という現実に避けて通れない課題への対処が明示されていない。 いま政府が提示すべきシュリオとは、「原発依存度によってこの放射性廃棄物の処理が将来にわたってどう変わってくるかを科学的にシミュレートしたもの」でなければならないはずだ。そうすれば、今すぐすべての原発を停止して、ただちにすでに蓄積された膨大な放射性廃棄物の処理に取り組まなければならないことは、一目瞭然である。 一方、地球温暖化防止のための二酸化炭素削減の話は、本当のところを言えば、二酸化炭素だけが地球温暖化の原因ではない。むしろ太陽黒点の観測結果などから、今後地球が寒冷化する可能性が指摘されているくらいである。地球の温暖化や寒冷化は地震や津波と同じく、もともと人類にコントロールできる問題ではない。 また、あたりまえの話であるが、二酸化炭素はすべての生物が呼吸の際に吐き出すそれ自体はまったく無害な気体である。放射能はすべての生命体にとって極めて危険なものである。その二酸化炭素と放射能を同じ天秤にかけるという、この「エネルギー・環境の選択肢」は、ナンセンスの極みというほかない。 もちろん、化石燃料はいずれ枯渇するし、環境保全の観点からも、より クリーンなエネルギーへの転換が急がれることは言うまでもない。だが、国民の多くは「放射能がクリーンである」というような非科学的な話は二度と聞かされたくないのである。 ここでも答えは明白である。原発こそ、最大の環境汚染である。政府が早急に「安全な自然エネルギーへの転換」を決断し、そのための将来的な技術開発のシナリオを示すことである。
18300	個人	自営業	50代	男性	最短での「原発ゼロ」実現を。	目指すべきが「原発ゼロ」なのは当然として、 それを実現させる速度を最短にすべきです。 あらゆる手段を講じて、 今稼働中の原発を停止させ、 再稼働は認めず、 順次廃炉にする、 ということに、 早々に着手してもらいたいと思います。
18301	個人	会社員・公務員	60代	女性	すべての原発を廃炉にし、自然エネルギーの活用を進めてください。	いまは本にある原発の場所に、「絶対に地震が起こらない」と言えない以上、原発は即、廃炉にするべきです。 何より、何万年も冷やし続けなくてはならない廃棄物が出てしまう核燃料は、 人類が使えるエネルギーではありません。 物事には、いろいろな意見があり、それが当たり前だと思いますが、こと、 核燃料を使う原発に関しては、稼働せず、廃炉にしなくてはなりません。 「経済が落ち込む」「先進国から逸脱する」「私達の生活が全面的にダウンする」など、当然影響はあると思いますが、それは引き受けなくてはならないことです。 政府としては、その覚悟を市民にもとめ、そのかわり東電を甘やかすことな く、利益をあげる法人としては存在させないでください。 自民党時代から続く電力会社との「癒着」のような関係は、ここで打ち切ってください。民主党だからこそ出来る決断です。 原発のない未来に希望を持ち続けます。
18302	個人	会社員・公務員	40代	男性	エネルギーにおける原発比率は0%を支持します。	15%は、原発再稼働の口実に利用されることでしょう。 再稼働における「国民の生活を守るため」「私の責任のもと」という野田首相の言葉を本気で信じている国民がどれだけいると思っていますか。 原発維持の理由は国民のためではなく、電力会社のためであることは ほとんどの国民が知っています。 早く目を覚まして、合理的な判断をお願いします。

18303	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発反対。原発即全廃止。やらせばかりの意見聴取会はやめよ。この聴取会を原発再開の理由にしてほしくない。意見聴取会を聞きに来ている人にも意見を言わせること。質疑応答の時間を作ってほしい。	原発再稼働反対。
18304	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発0%を支持します。	地球温暖化が収束している中、日本の気温だけが上昇しているのは、CO2濃度の上昇だけでなく、ヒートアイランドや水蒸気の影響もあり、発電方法としては熱効率の良いものへ移行していく必要がある。その点から、原発は熱効率が悪く、温水を垂れ流す発電方法は早急にやめるべきである。
18305	個人	家事専業	60代	女性	「原発は即刻廃止して下さい」	もうこのへんで原発をやめないと地球が、まず日本が滅びます。 3・11以来私たちは、なるべく遠くの産地の食べ物を探して食べています。 安心して、食事をしたことが有りません。日本の人口は言われているよりももっと 早く減っていきます。放射能を食い止める方法は？？？
18306	個人	その他	60代	男性	原子力発電は事故が起こらなくても、核のゴミの処理方法もなく極めて危険で発電コストは廃炉などのコストを含めると火力をはるかに上回る。	パブリックコメントの目的は政府の原発推進の世論形成に使われようとしています。福島原発の事故の真相究明も不十分のまま、インチキデーターを並べ電力不足の危機を煽り大飯原発を再稼働させるなど極めて悪質です。 電力会社は事故を起こせば政府に援助させ、廃炉や核のゴミ処理に係る経費を計上せず当面の発電コストのみで「原発は安い」とふりまいていますが、福島原発の賠償請求をしたら東京電力は倒産しているのです。 電力会社は儲けは独りきめて損害は国民に押し付けるなど絶対に容認できません。 原発事故の放射能で発症する健康被害は、表立ってマスコミで報道されていませんが、深刻な事態が進行していると思われます。 危険で金のかかる原発は即座にやめるべきです。 政府が電力会社の儲けを保証するため、原発再稼働の世論誘導にパブリックコメントを利用しようとしていることは見え見えです。 政府が今やるべきことは脱原発の方針をきちっと表明することです。
18307	個人	パート・アルバイト	60代	男性	原発を将来ゼロにする。	福島原発事故の重大さを考えると、地震大国日本での原発稼働は危険です。また、トイレのないマンションと言うたとえの如く、核のゴミは残って行くばかりで、核のごみを処理する術がありません。必然的に将来を思うと原発稼働は止めるべき、の一言です。 福島原発事故は地震の影響が大で、津波による事故じゃなかったと思う。地下水が原子炉内部に流入して、その処理に困っているのが現状です。 故に、地震大国日本では原発をなくさないと将来がありません。もっと代替エネルギーに予算を割いてください。
18308	個人	その他	30代	女性	早期に原発0%にする「原発ゼロシナリオ」を強く希望。再稼動はありえません。一部のビジネス、経済界を守ることが最優先で命を軽視するエネルギー政策は要りません。早期に電力自由化、発送電分離を！	早期に原発をゼロにすることを求める理由は以下のとおりです。 1)核は人間にはコントロールできない 2)原発は材料採掘時から核のゴミになるまで放射性物質による汚染があり、半永久的に命あるものを汚染する 3)核のゴミの処理方法、処理場所が確定されていない 4)事故の際の被害は放射性物質の特性のため、取り返しのつかないものである 5)そんな原発からの電気はいらない 6)日本は地震大国である 7)原爆や事故で被爆・被曝経験のある日本は、核の危険を肝に銘じ断固として否定するべきである 原発ゼロを大前提に、市民、企業、自治体、国の優先事項を次のようにするべきだと思います。 1)福島の収束と市民の安全の確保 2)早期に期日を決めて原発をゼロに 3)省エネでもっと大幅削減 4)燃料シフト 5)再生可能エネルギーの積極的導入と期待 6)再処理ではなく直接処分や高い廃炉技術を 福島で被曝しながら毎日収束作業に従事してる作業員のこともっと考えるべきです。環境汚染、それによる健康被害も無視、軽視、隠蔽するべきではありません。 省エネの努力も再生可能エネルギーの推進も、国のリードで自治体、企業をサポートするべきです。原発にかけてきたお金もエネルギーも自然エネルギーと省エネに費やしてください。 一部の大企業が利益をあげるためだけのエネルギー政策は、結果として誰も幸せにできないと思います。一番弱い立場にあるものの視点で、持続可能な、命を愛しむエネルギー政策を。そのための費用は高いコストというより、未来への投資です。 システム改革を行ってください。9電力会社が発電・送電・小売りを一括して扱い、地域独占しているようでは、根本的な問題解決になりません。 通常稼動時も環境を汚染し作業員を被爆させ、事故の際には取り返しのつかない事態になる、そんな原発から作られる電気を選ばない権利が私たち国民にはあるはずです。 再処理は危険かつ大変高額な事業です。早急に諦めあべきだと思います。故郷の青森に3千トンもの核のゴミがり、何かあれば地球半球が吹っ飛ぶとも言われています。これまで原発から手を切れなかった責任として、今後も命ある限り後始末をしていかなければなりませんが、これ以上再処理を進めるのはやめてください。核爆弾の原材料になりうる物質なんて、わざわざ作る必要ありません。歴史的理由からも日本人はなおさら手をつけるべきではないと思います。 福島にしても、過去の原発立地自体でも。事故時も。市民や国民の意見が全く反映されていないように思います。 命や暮らしに関わる重要案件です。もっと自由に広く国民議論がされるべきであり、そういう環境を作るべきです。一見、議論に参加方法があるようでも、面倒なシステム、古い法律で市民が声をあげづらくなっているように思います。これでは健康的な社会とも真の民主主義国家とも言えません。 経済、快適な暮らし、そのためのエネルギーの確保はどれも大切なことですが、命より経済が勝ってはいけません。どこまで快適を追求するのか、しないのか、一番大事なことは何か、見直す時に来ていると思います。市民はもう、動いています。声をあげています。早く政治がそれについてきますように。
18309	個人	その他	70代	女性	地震の多い日本に、いったん事故が起きたら制御できない原発は不要です。コスト面からも、国全体から見てマイナスです。	次世代のために、地震の多い日本で事故が起きたら制御できない原発はゼロにすべきと思います。日本の国土の中に人の住めない地域を生じさせ、安全に暮らす国民の権利を奪いました。事故発生後かから費用に国民の税金が使われています。そのお金を自然の力を利用した発電技術の開発にかけてほしいです。私たちも省エネ生活に努力します。
18310	個人	会社員・公務員	40代	男性	９人を抽選で選ぶのに、２０－２５％枠に必ず電力会社関係者が入るのは確率論からして操作している以外の何物でもない	政府、総理、内閣は人間のかけらを今後見せてください。 もういいや、なんてなげやりはやめてください。次の選挙で勝てないとわかっていてもやることではありません。そろそろ政府は人間としての考えを重視するよう方向性を変えてほしい。 政府と民主党はもう次の選挙でどうせ勝てないことが分かっているから、もう好きなようにしようと思っているのかもしれないが、自分たちの孫・ひ孫・子子孫孫に影響するのですよ。 使用済み核燃料が無害なら、国会議事堂と電力会社本店に置いておけばいいでしょう。 原発も東京に集中させればよいのです。なんてふそその家の庭に置くのか。
18311	個人	会社員・公務員	40代	女性	ゼロシナリオを希望します。日本は地震活動期に入っており震動に弱い原発を使い続けることはできない。日本の原発は活断層の上に建っている。いつ地震が きて危険な状態になるか分からないから早く辞めて欲しい。	日本は地震大国である。地震が他の国よりも頻繁に起きている。 地震があるということはそれに伴って津波がくるということ。 原発は巨大精密機械であるから衝突と共に崩くできている。 そんな機械を地震活動期に入った日本で使い続けることは自殺行為です。 危険だから辞める政策を一刻も早くとらないといけない。 2030年までにできるだけゼロにする政策になっているが、即刻辞めるようにしないと、日本という国が昔ありましたということになりかねない。 現在も、地震があるたびにどこかで事故が起きていないかとビクビクしながら生活している。安心して暮らせるように早く原発をなくして欲しい。
18312	個人	パート・アルバイト	40代	女性	原発0%で自然エネルギーへの転換。国のエネルギー政策の失敗を認めよ。 税金の無駄使いをやめ、人命優先せよ	どの%にするかの記載がない場合、勝手に判断OR意見として取り上げないとのことで再送。 3択からの選択必要なら、3択からのチェック欄がないことへの不信が募る。なぜ記入箇所がないのか？ 0%かつ自然エネルギーでの国内自給への政策転換 原発ごみ問題の早急な解決 人命優先 国民無視の3択からしか選択余地がないパブコメの無意味さ 常に組織票や会社ぐるみの意見を演じて、強制的な官僚決定内容の遂行が 来世に残す、負産となっていることを顧み、方向転換を望む
18313	個人	その他	60代	女性	原発依存ゼロパーセントにすべきです。福島原発事故の原因も明らかにされないまま、大飯原発を再稼働したことは、歴史に残る大悪行です。核廃棄物をこれ以上増やさないためにも再稼働すべきではありません。	原発が技術的にも運用面でも、まだまだ不十分なものであることは、このたびの事故が証明しました。どこの原発も、今まで地震などで配管のずれやひび割れを経験してきました。津波が来るまでもなく、地震ですでに古い原発には相当のダメージがあったし、それは過去の何十年の運転の中でも知られてきたことです。核廃棄物に関しても、最終処理場も決まらず処理方法も決まらないまま再稼働して、これ以上の核廃棄物を増やしていったいどうするというのでしょうか。福島の事故ではっきりしたことは、誰にも責任が取れないし、誰にも責任が持てるようなものではないということです。たかが電気のために、何故にこのような犠牲を払わなければいけないのでしょうか。再生可能エネルギー や自然エネルギーの開発、推進には十分すぎるほどの時間があったにもかかわらず、原発だけを増やしてきたのはいったい誰の意向ですか。誰の責任でしょうか。私たち消費者は、命を懸けてまで電気を欲しいとは思いません。もう一度、福島のようなことがあれば、今度こそ日本はおしまいです。福島でいったい何が起こっているのか、避難してきた人たちに何が起こっているのか、我々はよく良く考えなければなりません。私たち有権者はだれが何を言ったのか、誰がどういう行動をとったのか、よく見ています。次の選挙では、きっと何かが起こるでしょう。未来の世代のためにも、それぞれがそれぞれの立場でやるべきことをやって原発なしの世の中を実現しましょう。
18314	個人	パート・アルバイト	30代	女性	「原発ゼロシナリオ」を望みます。	『原発ゼロシナリオ』を望みます。 子供達の未来、健康の為に 原発はゼロになる事を望んでいます。
18315	個人	無職	60代	男性	2030年時点の原発比率は(1)の0%であるべきと考えます。	理由 (1)　日本は、世界でも有数の地震国であること、３．１１以降でも地震の発生件数が平年比大きく増加している（余震を除外しても） (2)　地殻プレートが三方から取り囲んでいることにより、巨大地震が数百年単位で必ず発生しており、千年単位ではさらに巨大地震の発生がほぼ確認されつつあること (3)　福島の原発事故はつなみだけでなく地震による破損があったであろう事は素人の私でも容易に想像できます (4)　向後原発は次々廃炉が必要であるが、処理方法が全く確立されておらず、埋設処理を受け入れる自治体は現れないものと思われる (5)　今回の事故で巨額の費用が必要であるが、すべて国民負担（電気料金と税金）であり、全国の原発の廃炉費用も含め将来にわたり負担は想像できないほど増加する (6)　将来画期的な電気貯蔵方法が開発されるものと考えられ、それまでは化石燃料と再生可能な自然エネルギーによってまかなうべきである（徹底した節電、省エネ、をさらに国をあげて取り組む） (7)　政　官　財（電力会社）の癒着は徹底して追求されなければならない （今が良ければいい、自分さえ良ければいいとの考えは悲しい） (8)　人類の生活はは未来永劫に発展進化する事はありえず、いつの日にか衰退への道を歩むことになる（地球は有限である） 以上
18316	個人	無職	70代	女性	2030年に原発0ではなく、今年中に原発0にすべき。使用済核燃料はあと数年で満杯になるが、処分方法も決まらない。原発を稼働してこれ以上、使用済核燃料を生み出すのは止めるべき。地震の損発も心配です。	2012年7月現在、大飯3、4号機しか稼働していないにもかかわらず、全く電力は不足していません。それどころか、大飯原発の発電量を超える電力量が余っています。したがって、需給面からは原発無しでもやっていけるはずです。 原発の安全性についてですが100%の安全はあり得ないことが昨年の福島第一原発事故で思い知らされました。その福島第一原発は、4号機の核燃料の取り出しはまだこれから始まるのであって、収束とは程遠い状況です。また被災住民に対する賠償も除染も遅々として進まず、国と東電の怠慢が浮き彫りになってきました。さらに使用済み核燃料はあと数年で満杯になってしまうと聞きます。その処分方法も決まらないのですから、原発を稼働してこれ以上の使用済み核燃料を生み出すのは止めるべきです。さらに東日本大震災以降、日本には地震が頻発するようになりました。いつどこに大地震が来てもおかしくありません。活断層が動いてもおかしくありません。したがって、直ちに原発の稼動は止めるべきです。 現在の日本は経済を優先するあまり国民の生命、健康を軽んじているように感じます。私は何よりも命を大切にして過ごしたいと思いますので、原発はすみやかにゼロにしていただきたいと望みます。
18317	個人	会社員・公務員	50代	男性	私は、「原発ゼロ」を求めます。	私は、「原発ゼロ」を求めます。 原発は、今回の福島での事故を見てもわかるとおり天災、人災で事故が生じた場合、被害が甚大で取り返しがつきません。 まして、日本は地震国、地震のみならず他の自然災害も多い国です。また、国土も狭く細長く、こういった環境の国には原発が向かないのは明らかです。 おまけに政官財学の「原子カムラ」によって捏造された安全神話、その腐敗した体質、こういった人達によって原発が運営されているのですから、背筋が寒くなります。 まず、脱原発によって不足する電力は、火力発電で供給しましょう。 もし、それで不足するようなら、節電しましょう。 その後、徐々に火力発電から太陽光、風力等の自然エネルギーに切り替えていきましょう。 そうすることによって「原発ゼロ」は可能です。
18318	個人	家事専業	60代	女性	原発ゼロシナリオに賛同	もっと省エネの取り組みを進めてください
18319	個人	会社員・公務員	20代	男性	是非ともエネルギーにしめる原子力の割合をゼロにする挑戦をお願いしたい。私たちの子孫の代にいつか破綻するものではなく、ゼロにすることで新たな未来を私達の世代で切り開きたい。	原子力燃料は日本では採掘されず、輸入に頼らざるを得ない。また、埋蔵される量にも限りがある上に、現時点で再処理の開してもかなりの危険が伴う事が明白だ。 持続可能な再生エネルギーは技術的な課題や資金的な面でも課題は多いが、今このタイミングで方向を転換し、未来に向けて新たな環境政策による持続可能な社会を築く挑戦を我々世代は担い、新たな歴史を気づくべきだと思う。 当面のエネルギーをどうするかについても議論を重ね、問題を解決し課題を達成するためには、やはりゼロと言う目標が必要なのだと思う。
18320	個人	自営業	40代	男性	『原発ゼロ』の社会にしましょう。	原子力は人の手では制御出来ないものです。なにか問題が起きた時にコントロール不可能になり、その結果甚大な被害をもたらすことは３１１で私たちにもはっきりと突きつけられました。本当はチェルノブイリやその他多くのタイミングで理解すべきでした。 原子力発電は現に福島で起きたことを見れば、クリーンエネルギーなんかではないことは明らかです。 コストにしても、今までの原子力研究・開発に掛かったコスト、国策として推進して来た中でばらまいて来たお金。廃炉にかかる費用。それらを計算しても他の発電方法よりコストが安いといえるとは思えません。 自然エネルギーや再生可能エネルギー、それらのコストが高いと言う計算の根拠は曖昧だと思います。 私たちは、便利さよりもなによりも、安全で安心した生活をしたいのです。 その為には原発ゼロの社会にして行かねばならないと考えます。
18321	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	原発事故を二度と発生させないためには、原発を使わないエネルギー政策を基本とする事。	原発事故が起きれば、その地域は二度と生活が出来ない土地になる。コントロールが出来ない、日本人の生活基盤が失うリスクが明確な原子力エネルギーに将来の不安がある。 人るの生存を脅かすリスクが明確な原子力発電は、今からやめるべきである。 経済と命のどちらかを取るか。もちろん、命である。経済は、別の形で立ち直させられるが命は、二度と再生できない。

18322	個人	会社員・公務員	40代	男性	「エネルギー・環境 に関する選択肢 」について、原発依存度について(1)ゼロシナリオが妥当であるとの意見を表明します。	原発については 1：使用済み核燃料の長期間にわたっての安全な廃棄方法が技術的に確立されていないこと 2：核燃料についてそのままの状態で人体・環境にとって安全な状況を生み出せないため、 「安全」を確立するために技術的・運用的な対策が必須であり、今後も過酷事故の 発生が起こりうる（人はミスをする動物であり、設備は壊れるものである） 3：日本は地学的に地震が多く、また、自然災害の発生がおおい環境である が現状であると認識している。 そのため、速やかに現存している核燃料および使用済み核燃料を可能な限り安全な状況に置くことが重要であると考える。
18323	個人	パート・アルバイト	40代	女性	原発は0にすべきです。	日本の経済の発展のために確かに電力が必要だと思います。 ただ、原子力発電はかなりリスクがあるのでやめて欲しいと思います。 その理由は 1. 災害時に大きな被害をもらります。 東日本大震災のような事故が起こらない確率は0ではない、確率は少なくても、0でない以上はすべきではない。 2. 廃棄物の方が怖い どんどん、発電して、そのごみの放射能廃棄物がどんどん出てくる。その処理も、これから出るものに対してきちんとしていない。安全性も怪しい。 3. 原子力に変わるエネルギーは必ずある なぜ、原子力にそこまでこだわるのかわからない。ここまで、科学が進歩しているので、クリーンなエネルギーの開発もどんどん進めれるはず、そちらのほうにどんどんお金を使って欲しい。 自分の孫やその孫の世代に負の遺産を残すのはいやです。
18324	個人	学生	10代以下	男性	「エネルギー・環境に関する選択肢」に対する意見 いますぐ原発ゼロに!	2030年までに、ではなく、いますぐ原発ゼロにしてください。地震活動の活発な時期に入ったというのに、活断層の上にのっている原発がある。ぼくたちはずっと日本に住んでいたい。
18325	個人	無職	60代	男性	使用済燃料処理の技術が確立されぬまま、そして福島第一の原発事故の汚染で美しい国土の一部を失った今、何故に原発を推進するのか？ この歴史的な教訓を無視する政府が異常に見えます。原発の即時停止を望みます。	上記概要に述べたことが全てです。これ以上長く書いても、読んでいただけるのかどうか・・・！ 表記の、「ご意見」と「御意見」は、統一した方がいいと思います。
18326	個人	自営業	40代	女性	原発容認しています。 電力会社じゃなく国が管理運営して欲しい。 電気料金の決め方が不透明。 マスコミ等の教育も必要。	安定供給できる代替えエネルギーが確立されていない現状では原発やむなし。ただし、放射能の影響など詳細に国民に教えるべきです。 原発建設時より地元にバラマク金、一部地域のみに与えられる補助金、全てが不透明で、電気料金に反映されるのは納得できません。 明るみにすれば混乱をまねく事もあると思いますが、できる限り国民への原発に付いての教育と運営状況の説明はしていくべきだと思います。 マスコミと一部市民？のバカ騒ぎには、きちんと制限をかけるべきです。 CMで「個動にはのらず!自分で考えよう」とかって。 マスコミにもデモ参加人数とかの嘘はダメだし、報道機関で在る以上は倫理上、偏向報道は厳重注意をするべきです。むやみに反原発をあおっています。 鳩山さんは無用に国民感情をあおっている、立場上絶対に行ってはいけない事をしたと思います。
18327	個人	学生	10代以下	女性	原発ゼロシナリオを望みます	あの震災以降大変な思いをしたにも関わらず、原発を再稼働させようとする政府が理解できません。 電力を十分にご供給することと、放射能の被害に苦しむこと。 天秤にかけてみればどちらが正しいか自ずと見えてくるはずです。
18328	個人	自営業	60代	男性	直ちに全原発は廃炉。何で我が国の電気料金はこんなに高いのか？どのようにしたら良いのかが全く語られないし提案されていない。東電は当然無くして考えて提案をして欲しい。今とは違うステージに移ることが大事！	過去の状態に戻るのではなくこれを機に新しい構造を作っていって欲しい。過去の垢を落として新しい日本を作ろう。ほんとうに今が良いチャンスではないのか！
18329	個人	無職	60代	男性	「原発ゼロシナリオ」に賛同	地域分散型のエネルギー供給をすすめるよう電力システムを改革してください
18330	個人	自営業	30代	男性	「原発ゼロシナリオ」を求めます。 原発は、地震災害への耐性不足、未解決の最終処分問題、被曝労働、苛酷事故時の国家を脅かす損失などリスクが大きすぎるため到底日本の電力には採用すべきではありません。	私は「原発ゼロシナリオ」を求めます。 日本の電力においては、LNGを中心に資源も選択肢も豊富で進展著しい火力を柱にして、原発以外の様々な発電方法を採用すれば即刻このシナリオは実現されます。 すでに震災以降、民間レベルで自家発電の配備が進み、東電をはじめとした電力会社もPPSも、LNG火力の増設、燃料の調達ルートの確保を着々と進めています。巷間流布する電力不足は、実はすでに解消しているのではないでしょうか。少なくとも、早晩解決される問題であることは間違いありません。 火力でよく引き合いに出されるCO_2排出問題は、当面のエネルギー政策を左右する問題では一切ありません。実質的に国家を上げて排出削減を実施している国は存在せず、この問題を最初に掲げた米国すら取り組んでいないのが現実です。性急なCO_2排出削減目標を撤回する好機と考えます。 発送電の地域独占状態にメスを入れて送電を公共化、発電を自由化し、様々な発電方法を採用できる下地を作るのがこれからの国の役目です。もしCO_2排出を削減していくのであれば、その中で地道に取り組めばいいでしょう。 ただし、様々な発電方法の選択肢が「原発」だけは絶対に採用すべきではありません。 今回の福島の事故でも明らかなように、技術とは決して絶対安全に運用できるものではなく、事故やトラブルは必ず一定数起きるものです。原発はひとたび過酷事故を起こせば、この日本という国家を滅ぼしかねない世界規模の甚大な被害を招きます。圧力容器、格納容器や脆大な配管など原発の主要な部分は、もともと大規模地震を想定して設計されておらず、追加的な補強で今回の震災のような災害への耐性を確保できるものではありません。また、日本の原発はすべて海岸に立地しており巨大津波の脅威から免れることもできません。いわゆる安全神話のまやかしが振り払われ、国民の多くが現実を知った今となっては、4つのプレートがひしめき合う地震列島日本で原発を運用するなどもはや考えられません。 それに加え、コスト・の面においてもすでに原発が安価であることは明確に否定されています。研究開発費用、交付金、使用済み燃料の処理費用など私たちが税金で負担している原発関連費用を加えれば大変に高いコストであることが分かります。またひとたび福島のような事故が起きてしまえば、電力会社はおろか国家をもってしても賠しきれない損失を生み、コストなどという範疇では語ることも算出することもできなくなってしまうのです。 国防の観点からも原発は大きな足かせです。原子炉建屋の脆弱さは、水素爆発で立て続けに吹き飛んだ福島第一原発を見れば明白です。そのような施設が日本の沿岸に50基以上も建っていれば、国防上まさに致命的な急所を丸裸の状態で晒している同然です。その内たった1基でも軍事侵攻を受けて破壊されればどのような事態になるかは、もはや語るまでもないでしょう。国民と国土を危険に晒す存在を容認して、何が国防と言えましょうか。 以上のどれひとつを取っても原発を全廃すべき理由になりうるでしょうが、私が一番述べたいのはもっと根本的な問題です。3つのどのシナリオにも欠けている倫理的側面です。 原発を運用していく以上、私たちは2つの重大な格差問題を避けて通れません。ひとつは「リスクの地域格差」です。電力を得るためにはある程度のリスクは仕方ないという議論がありますが、本当のところは、都市部にいる人々が使う電力のために原発や処理施設が立地する過疎地域の人々がその甚大なリスクを一手に引き受けているのが実態です。あろうことか、リスクを引き受けている人たちは一切その電力を使ってもいないのです。この現実を前に、都市部の人間が「リスクを取っている」などとは間違えても言うべきではないでしょう。このような深刻な格差は、基地問題にも通じるところがあります。基地問題が解決困難なのは、沖縄など立地地域の歴史に鑑みれば明らかです。では原発はどうでしょうか。基地問題に比べれば、はるかに簡単に解決できる問題のように思われます。なぜなら代替する手段がすでにあるからです。少なくとも多少の努力をすれば十分に日本の電力をまかなえる火力、水力、そして太陽光や風力など新しい電力があります。それらを使い、原発を全廃すればすぐにでも解決する問題なのです。これまで私たちは、この地域格差という醜い歪みから目を背けてはいなかったでしょうか。原発事故のためにふるさとを追われた人たちのことを思えば、それは絶対に許されませんが。 もうひとつは「リスクの世代格差」です。原発は運用開始当初より「トイレのないマンション」と言われていたそうです。1基あたり毎年約1トンの使用済み燃料いわゆる「死の灰」を生み出す原発は、いまだ最終処分方法が確立されず見通しすら立たないまま溜め込まれ、すでに飽和状態に来ています。この負の遺産を受け継ぐのは未来の日本人です。私たちの子孫です。現代の私たちの生活のために、いわれのないツケを子孫に回し、積み上げていくこのリスクの世代格差の構図は、ひとえに現代人の傲慢です。今後もさらに原発を使い日々そのツケを増やしていくことが正しいでしょうか。 国民一人一人が、人間として、家庭人として、市民として、愛国者として、この「リスクの地域格差」と「リスクの世代格差」を真摯に受け止めねばならないと思います。これを己が問題として直視したときに、それでも原発を使い続けるべきだと言い切れる人が果たしてどれだけいるでしょうか。繰り返し述べますが、解決方法はすでにあるのです。原発廃絶です。 よって私は3つの中では「原発ゼロシナリオ」を支持します。2030年と言わず、即刻原発廃絶を打ち出すべきです。これまで原発政策を推し進めてきた日本にとって、この政策転換に多少の困難はあるかもしれませんが。ですが十分に為しうる課題であり、必ず日本の未来に資する決断だと信じます。
18331	個人	家事専業	30代	女性	原発ゼロシナリオを選びます。	原発ゼロシナリオを選びます。 もっと自然エネルギーを推進してください。 どんなに豊かでも、放射線に汚染されては住めません。 日本が好きだし、これからも日本に住みたいと思う。 安心して住むこと、子供を産むことができる国であってほしい。
18332	個人	学生	10代以下	男性	今すぐ原子力発電所をやめてください。僕達に放射性廃棄物を残さないで。	僕達の未来に放射性廃棄物を残さないでください。僕達でも今の国がしている事はおかしいと思うのにどうして偉い大人の人は間違っていると思わないのですか？ 僕達は放射能はいらないです。 地震や津波で家に住めなくなるのは嫌です。 正直に本当の事を話して下さい。
18333	個人	会社員・公務員	20代	男性	原発は段階的に減らしていくべきだと考えます。	原発は確かに効率の良い発電方式かも知れませんが、その将来性はあまりないと思います。 何故なら処理できない廃棄物を大量に出してしまうからです。火力発電などで二酸化炭素を排出するのと大差ありません。 大切なのは他の効率の良い発電方式を実用段階まで持って行くことです。太陽光発電なども廃棄物が無い訳ではありませんが、処理は到底楽でしょう。 電気料金の問題も大量生産化が進めば自ずと解決します。現に中国の太陽光パネルは安いです。 その為の先行投資は必須で、原発はそれまでの繋ぎと考えるのが妥当だと思います。段階的に減らしていけば雇用の問題も幾らかは軽減できると思います。 よりよい将来を期待します。
18334	個人	パート・アルバイト	50代	女性	国土が狭く、地震が多発する日本に原発は不向きである。 将来的に節電を続けていくべきで、国民の節電努力を無駄にしないで欲しい。特に、第3次産業には協力を求めていって。ほしい	国土が狭く、地震が多発する日本に原発は不向きである。万が一の時に被害を被るのは社会的に弱者であることは福島の事故で明白になった。 電力不足を懸念するなら、使用量を規制するのは第3次産業。例えば大型スーパーやデパートは週に1回は休業するとか、テレビは深夜帯の放映を止めるとか。 そして、生産業には過常に供給をする。 国民の中に節電の気運はあるので、その努力を無駄にしないで欲しい。 その間に、原発に代わるエネルギー源の研究開発などを続けていって欲しい。そして、2030年には0%をめざして下さい。
18335	個人	パート・アルバイト	60代	女性	原発ゼロシナリオを選びます：今までに溜まった放射性廃棄物の処理方法が、まだはっきりとは確立しておらず、今後何十年もかかるといわれています。このような負の遺産を次世代に残すというのは、全く無責任です。	原子力エネルギーは、安全で安価でCO2削減に効果があると騙されてきました。日本の様な地震多発国で安全だなどあり得ません。事故対策や廃棄物処理まで計算すれば決して安価ではありません。CO2を出さないからクリーンであるなどと嘘をついてきましたね。燃料棒を作ることから廃棄物処理に至るまで莫大なエネルギーが必要でその過程でCO2を出すそうです。騙されてきた国民にも責任があります。今後は決して原発を容認できません。 太平洋戦争を始めた愚かな日本の軍部のせいで、おびただしい犠牲者をアジア諸国と国内に出してしまいました。その大きな罪を戦後生まれの私たちまでが償わなくてはならず、本当に情けなく腹立たしい思いです。 同じような愚かな事を再び繰り返そうとしていることに、政府を始め政治家は気が付かないのでしょうか。福島の原発事故でこれほどまでに恐ろしい事態を招き、廃炉にするだけでも今後何十年かかるか分からないというのに、もう他の原発を稼働させなど、言語道断です。 原発を動かさないと日本の経済が成り立たないなどと、全く短絡的な考えしか出せない政治家に強い怒りを覚えます。国民全員で知恵を寄せ合って協力して行けば、あの敗戦後の焼け野原からでも復興してきた私たちに出来ないはずがありません。 次世代に付けを回すなどということの是非を一人一人の胸に聞いてみたいものです。
18336	個人	会社員・公務員	30代	女性	0%を選択します	出来ればすぐに停めて欲しい。 安全性が確認出来ていない。 地震の活発化。 今回の福島の件で原発が事故を起こしても誰も責任を取ってくれない、取れないことが解ったから。 自己責任になるなら私は自己責任を取るために反対します。 日本を明るくするのは原子力の技術よりもっと違う技術を活用・支援し、 他の国にないものを作り出す方が未来的に利益も生めると思います。 小さい意見ですが、心からそう願います。 宜しくお願い致します
18337	個人	パート・アルバイト	60代	男性	できるだけ早期に原発をゼロにするべきです。	私は福島の原発事故が起きる迄、原子力というものにあまりにも無知でした。深く知れば知るほどに、とんでもない領域に踏み込んでしまったものだという感慨を持ちました。放射能の被曝は、ウランを採掘するところから始まっています。たとえ事故はなくとも、定期検査などでかなりの被曝を作業員に強いています。極めつけは放射能を無毒化できない、また放射能のゴミの捨て場所がないということです。こんな発電方法は選択してはいけなかった。一刻も早く、世界中から原発や核兵器を無くさなくてはなりません。そうでなかったら、必ずや、私たちは自分達が生み出した放射能で殺されてしまうでしょう。 事故というものは起きるものです。どんなに気をつけていても、どんなに安全性を追求しても、起きるときには起きるものだと思います。人災であれ、天災であれ、ひとたび事故が起きれば???、今回の福島の事故も政府はあまりにも過小評価し過ぎです。原子力推進のIAEAの公式見解ばかりでなく、チェルノブイリでの被害を適正に評価すれば、そしてまた福島の事故を適正に評価すれば、二度と原発事故があってはならないと考えるのは常識でしょう。 少々電気に不自由しても、少々電気代が高くなっても、原発が無くなるのであれば喜んで我慢します。できるだけ早期に原発をゼロにするべきです。
18338	個人	会社員・公務員	30代	男性	私が希望するシナリオはゼロシナリオです。放射性廃棄物を生み出すより、それを処理して無害にする方に頭をつかったほうが、世界からも感謝されるのではないでしょうか？子孫に誇れる日本にしたいです。	安定した電力を生む事が、国民の生活の為か疑問に思います。 電力を生む為に、放射性廃棄物を生み出し、その処理を先送りにしているということと、 現在を生きている私たちの身勝手であり、子孫に対して申し訳なく感じています。 廃棄物を生み出さないようにまずは原発の稼動を止め 廃棄物の処理を研究するほうに頭も お金もつかうほうが 良いと私は思います。 世界でも問題になっている放射性物質を、日本の技術力で無害にしたいです。 日本ならそれくらいできるんじゃないでしょうか？
18339	個人	自営業	50代	女性	今すぐ「原発ゼロシナリオ」	今すぐ「原発ゼロシナリオ」を支持します。 使用済み核燃料を安全に処理できないのですから、 これ以上、原発のゴミを出してはいけないと思います。 また、以下を提案します。 ・原発再稼働禁止 ・使用済み核燃料処理方法の国民への分かりやすい説明 ・自然エネルギー開発の推進 ・自然エネルギーへの転換 ・核燃料サイクル・再処理廃止 ・電力会社の自由化推進 どうぞよろしくお願い申し上げます。

18340	個人	その他	40代	女性	「エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張。 政府は本腰を入れて再生可能エネルギー開発に尽力すべき。	このパブコメ募集の前提が「2030年までは原発が維持される」というもの。 前提自体が国民を騙すトリックだ。再び事故が起これば、日本は再起不能になる。政府は自然エネルギー比率を増やすスケジュールを国民にしっかり示すべき。
18341	個人	無職	70代	男性	ゼロシナリオを選び、非核エネルギー社会を目指すボ退転の政治的決意を示してください	国民の生活を支える基盤となるエネルギー政策が、国民の意見や考え方を大きく二分するような選択肢は望ましいものではなく、国民のおおむねの合意ができるものでなくてはならないと考えます。核エネルギーと人類との遭遇の経緯は科学史上知的興奮を呼び起こすものでしたが、同時にそれは第二の楽園喪失の契機ともなり得ることを改めて知ることになりました。"核エネルギーに依存する社会"と"非核エネルギー社会"を対比したとき、多くの国民にとって望ましいのはどちらでしょうか？　いま"テロとの戦い"などが呼号され、社会的緊張が強いらがいますが、非核エネルギー社会ならば、その緊張も軽減されるはずです。提示された3つの選択肢の選択を問われれば、その順位は： 　　ゼロシナリオ＞15シナリオ＞20～25シナリオ となるのが自然ではないでしょうか。 　ここで強調したいことがあります。これら三つのどのシナリオもその実現にあたってはそれぞれ乗り越えなければならない技術的、社会的、そして経済的な障壁があるということです。「20～25シナリオ」が容易に達成できるものであり、「ゼロシナリオ」が困難であるという先入観念をまず払拭する必要があります。明らかなことは「20～25シナリオ」がこれまでの社会と技術のシステムの流れに乗るものであるということだけです。 「20～25シナリオ」には明示されていない論点があることを最初に指摘しておきます。このシナリオでは原発から発生する使用済核燃料を「再処理」あるいは「直接処分」する可能性を示唆しています。日本の核エネルギー開発の歴史を顧みると、もともと再処理政策は次世代のプルトニウム専焼の高速（増殖）炉体系の導入を想定したものでしたが、金属ナトリウムを冷却材とする高速炉のコンセプトは、工学的安全性の確保の視点から、たとえ「もんじゅ（原型炉）の段階を超えたとしても。実用炉の導入と立地が社会的に受け入れられることは困難でしょう。再処理路線を放棄することなく、余剰プルトニウムを大量に所有し、いいわば核拡散防止対応の代替策として乗ぜしたのがプルトニウムを軽水炉燃料として消費するプルサーマル路線でした。 　さて一方、再処理事業の現状と将来を占うものとして六ヶ所再処理施設に注目してみましょう。現在再処理事業が一見事業として成立するかに見えるのは電力事業を支援する現行法体制（再処理等積立金制度など）による国民負担に負っているわけです。再処理施設は基本的に化学工場であり、電力企業が中核である事業主体（日本原燃）にはなじみにくい施設であり、近い将来事業主体の適正さと健全性が選択シナリオの問題として論点になる可能性もあり得るでしょう。事業主体の中核をなす東京電力の福島事態に起因する財務状況も無関係ではありえません。 　ここまでは提示された「20～25シナリオ」に顕著な問題点について述べました。一方ブラスの評価の最大のポイントは経済性と、他のシナリオと対比して必要な対策投資の相対的優位が含意されているようです。しかしこれまでの原発のコスト評価が適性なものであるのかどうかについては議論があります。電気事業連合会（2004年1月）「原子燃料サイクルのバックエンド事業コストの見積もりについて」を参照しても： 　(1)再処理事業とそれに伴って発生する各種コストの見積めは？ 　(2)従来報伝されてきた本当の意味での原子力発電コストの経済性は？ 　核エネルギー施設（原子力・核燃料サイクル施設）問わず固定経費が大きく、したがってコスト低減のためには稼働率の向上が必要ですが、六ヶ所再処理施設は工学的トラブルに起因して、当初タイムスケジュールは遅延し、稼働率は低水準で推移しています。再処理路線を推進するためには円滑な再処理工場の運転（800トンU/年）が枢要の課題であり、それが達成できる見込みがなければ再処理路線からの早期の撤退を決意し、全量直接処分に切り替えるべきでしょう。残量再処理シナリオが放棄されたことは日本原燃にとっても幸いだといえるのではないでしょうか？　このような事実に照した考察を倉めて判断するとき、早期に核エネルギーからの撤退を目指す「ゼロシナリオ」しかないのです。 　いずれのシナリオにおいても使用済核燃料の直接処分、あるいは（すでにこれまでに蓄積している）高レベル放射性固化体の長期貯蔵および最終的処分の課題を背負うことは避けられませんが、その課題の質的および量的な上振を見極めることができる「ゼロシナリオ」は、核エネルギーの便益と費用負担の枠組みを明確にでき、より一層透明な議論と公正な評価が可能になるはずです。 原発再稼働を契機として表面化している活断層の巣とも見えるこの日本列島で の放射性廃棄物の処分の問題は、人類史的時間のスパンのなかで、私たちが今手にしている便益の意味を考えざるを得ません。 　それぞれのシナリオ選択肢にはそれぞれ固有の困難があり、今回の問いかけにおいて各シナリオの下部構造について個別の議論が必要です。いずれも困難な道であるならば、非核エネルギー社会を目指したい。目指すべきでしょう。今必要なのは、非核エネルギー社会を目指して歩みだすという政治的決意であり、その不退転のメッセージを発していただくことです。非核社会への困難な扉を開いたという名誉を歴史に記す政権となっていただきたいと願っています。
18342	個人	無職	30代	女性	原発ゼロ、廃止を求めます。	命より大切なものはありません。子どもたちの未来に、汚染された地球をのこしたくありません。美しい地球を残してあげたいです。 これ以上地球を汚したくありません。
18343	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発は再稼働せず、そのまま全て廃棄。	福島の事が全く片付いてない現実を、どのような責任で解決なさるおつもりでしょうか。 電力が足りないという嘘も聞き飽きました。
18344	個人	その他	40代	女性	原発はゼロに。 理由(1)地震国に原発は危険すぎる (2)原発は経済的にコスト高である (3)核廃棄物の管理の問題 (4)原発は代替エネルギーの開発を遅らせる	このたびはこのような場を設けていただきありがとうございます。 私の意見として述べたい。やはり原発はゼロにしていただきたいです。 その理由の第一は、日本が地震国であるということです。 地震を止められる技術がないのであれば、地震によって起こるリスクは最小にするべきです。福島で起こったような災害は1000年に一度、もう起こらないと言っている方がいるそうですが、そうでしょうか。先日のNHKのドキュメンタリー『MEGAQUAKE』によれば、マグニチュード9以上の大地震が起きてから必ず9年後に大きな火山噴火があるとのことですが、もしも8年後にどこか日本の火山が噴火した場合、再稼働した大飯も、浜岡も、安全と言えますか。口先だけでなく、ご自分の孫子の命まで懸けて安全と言い切れますかとうかがいたいです。言い切れないことを実行するのならそれは責任の放棄です。 第二に、原発は非常に高くつくエネルギーです。環境省の発表によれば福島の汚染除去には１．１兆円の予算がかかるそうですが、ほかの原発でも事故が起きたら、政府は対応できるのですか。そうなったら国債の価値も暴落するでしょうし、ユーロ危機どころではない、日本は経済的にも国土的にも壊滅です。 第三に、核廃棄物の問題もあります。半減期が数万年もかかるものを完璧にコントロールしきれますか。数万年後どこうか、あなた方のお子さんやお孫さんの時代に、それがテロの標的となりうる危険についても考えください。また、地震など自然災害により、コントロールできなくなる可能性もあります。 さらに第四に、原発があることによって代替エネルギーの開発が進まなかったと言う実態があります。アイスランドの地熱エネルギーの機械は日本製。中東のソーラーシステムの機械も日本製。資源国ですら代替エネルギーを開発している時代に技術国家であるはずの日本で起こっていることはあまりにもお粗末なのではないでしょうか。
18345	個人	会社員・公務員	30代	男性	脱原発。原発ゼロシナリオを支持します。	全世界レベルで露呈した、原発の危険性を見過ごす訳にはいきません。もう目をつぶり、対岸の火事で済ますことはてわきません。
18346	個人	自営業	50代	男性	原子力発電の存続問題は割合で述べるべきではない。安全性、同意義で危険性について、国家として国民の感情に左右されず、しかし、あらゆる想定の下で稼働可能となったときには100%原子力によって発電すべきだ。	発電はそもそも国家戦略においてなされるべき性質だ。現在蔓延している国民感情に左右されてはならないはずだ。原発反対と声高に叫ぶ国民も等しく原発の恩恵を受けているのは本人らも否定しようがないはずだ。しかし反面、事業者たる電力会社、管理者たる国の双方が、意思決定や様々な障害に対しての判断力決断力が著しいと言わざるを得ないほど乏しく、この乏しさによって国民が迷いを植え付けられた。国民の不安が現在の原発反対を叫ぶ状況を生み出したのだ。３．１１後の東電の国の不適切な対応は福島第1原発第2号機に如実に表れた。SR弁の欠陥は真に歯がゆい。何故、非不作動が考えられなかったのかと言えば、原発の基本を知らなかったからだ、というがはない。電源喪失に関して、SR弁を動かさなければと必死になっていた現場作業員の立場からしたら、2Vのバッテリーを送りつけようとしたその無知の極みが、我が国の原発政策の根底に横たわっていると思うと背筋が凍りつく思いだ。原発先進国からー から教わるくらいの途方も想度安身につけるべきで、何パーセント稼動すべきかを国民に問うという姿勢自体が大きな誤りであり、謙虚でない驕左だと思う。私は原子力発電が必要だと考える人間の一人であるが、この国では最早一切稼動すべきではないと考えざるを得ない。最後に、敢えて申し添えなければならないが、今は、使用済み核燃料の処置方が非常に心配でならない。近い未来の我が国が、存在しているかどうか、それすら心配になる。
18347	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発は絶対に反対。ゼロにするしかありえません。	これだけ海も大地も空気も人々までも汚染した原発。 放射能をなくすことすら出来ない。 被曝を治す事すら出来ない。 ゼロしかないです
18348	個人	自営業	30代	男性	2030年度の原発依存度は、「ゼロシナリオ」を目指すべきだと考えます。	その理由としては、 ・人の命に関わることだから。 ・原発の津波対策が不十分だから。 ・日本が災害大国だから（活断層が多いため）。 ・原発の考えを、世界に向けてアピールする必要があるから。 　あれだけの事故を起こしておいて、0%を目指さないのはおかしい。 ・再生可能エネルギーに対して、資本を投下しやすいから。 ・大規模なデモ行進に応えるために。 ・新設は絶対にありえない。 　立地も少ないし、技術も世界で遅れを取っていると感じる。
18349	個人	自営業	40代	男性	原発ゼロにしてください。 原発に依存する方は有事の際、あなた自身が対処して下さい。 反対する私達は、感知致しません。	有事の際対応出来ない原発、故郷を失くしてしまった人々、良い点が1つも無い。命懸けで対処した自衛隊、消防レスキュー等、関係者の方々にも家族があります。公務員だから仕方ないなんて道理は無い。 備えろに意見を述べる前に、自分の会社なのだから自分達で何とかしなさい。
18350	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発は可及的速やかに廃止とするべきである。	天災やテロ行為等によるリスクと核廃棄物や将来的な廃炉に伴う処理コストを考えると、安全で安価な電力源であるとの理屈は到底受け入れがたい。 未来の子供たちのために安心して住める国土を保証ためにも、代替エネルギーへの転換や節電技術の開発を早急に進めるべきである。
18351	個人	パート・アルバイト	30代	男性	今回の選択肢の中では、ゼロシナリオを選択します。	今回の3つの選択肢の中では、2030年時点での原発0%を選択しますが、原発の即時廃止を希望します。 「現在停止中の原発を再稼働せず、稼働中の原発も即時停止する。全原発の即時廃炉を行う」という選択肢も必要です。 放射性廃棄物を無害な状態に処理することができない現状で原発の運転を行うことは、重大な環境汚染を引き起こす可能性があります。 東日本大震災のような災害も、明日発生しないとも限りません。 人や地球を危険と隣り合わせにして発電をすることは今すぐにでも止めて、自然エネルギーによる発電を全力で推進した方が良いでしょう。 日本は世界に誇る技術大国です。 自然エネルギー産業による経済の活性化に期待しています。
18352	個人	無職	60代	男性	1．原発比率「0%」を支持する。 2．将来と言わず、原発はすぐになくそう。 3．「0%」を前提に、今後のインフラ整備、技術開発を進めよう。 4．「脱原発」を表明しない候補者には投票しません。	1．将来何万年にも及ぶ「負の遺産」＝放射性廃棄物　を残し続けるのはやめたい。 当面の対応としては「節電」を、持続的発展には"原発ゼロ"を前提として英知を集めましょう。 2．これまで原子力を推進してきた人たち（東京電力、原子力保安院、・・）の責任感、責任能力の無さがこのたびの震災でよく判りました。反省の無いこの人達に危険で強大な原子力を、絶対任せるわけにはいきません。 3．悪いと判ったことでもすぐに直せないのが常、（チッソ・水俣病のの時もそうだった。"これまで通りでいたい"人がたくさんいて、悪いを続ける）・・だが、今度こそは思い切って変わりましょう。 4．速い遅いの差はあれ、原発に頼らないエネルギーが主流になる。いち早くその方策に取り組んだ人（国）が未来の勝者となるでしょう。ドイツはすでにその方に向かって走り始めた。 私たちも決心しよう「原発を捨ててより良い解を見つけるのだと。
18353	個人	学生	10代以下	男性	「エネルギー・環境に関する選択肢」に対する意見 即刻、原発ゼロにすることを求める。	今回の事故で原発がどんなに危険なものか分かった。いつまた大地震が起きて活断層の上に乗っている原発が壊れるかもしれない。今すぐ原発は止めると決めてほしい。
18354	個人	会社員・公務員	50代	男性	今すぐにも原発を無くす方向で政策をとるべき。	巨大なエネルギーを制御できなくなれば、そのまま国土を汚染し、生きるものの存在さえも脅かす。基本的に機械はスイッチを切れば止まるが、原発はスイッチを切れば爆発する。制御できないエネルギーはやめるべき。 今回の想定外の次の想定外は、日本の終わりを意味し、民族の終了おも意味する。 原発を制御できない民族を周辺諸国はこれ以上許すだろうか。日本は先の大戦で周辺諸国を支配しようとし、次は汚染すると言われれば、頷く国も出かねない。 想定外の起きる国土で、制御できないエネルギーを使うことはできない。
18355	個人	自営業	80代以上	男性	0%にすべきである。	東電福島の事故原因さえ未解明である。原発の構造上の欠陥さえ解明されていない。ただちに全原子力発電所を閉鎖する準備にかかるべきである。 それでさえ、30年～40年かかるといわれている。 これまで、日本は国家として間違った政策をとってきた。原子力を人間が支配しようということが根本的間違いである。いかに自然科学が進んでも、人間としてしていいことと、としていけないことがある。その判断が倫理というものである。
18356	個人	自営業	30代	男性	原発は0%！地域単位の再生可能エネルギーでたりる生活して生きたい。あなたたちに命を奪われたくない。	原子力発電所の人災後に大飯原発を再稼働さておいてほんまお金と権力しか頭にないですね。原発がなければ電気がたりないとかいうウソは通用しません。その代わりに再生可能エネルギーでは足る道して巨大胚力をすべく行動も理解できない。太陽光発電もメガ発電という規模になると、人体への影響、自然破壊、動物破壊につながる。巨大な発電所はもういらないということが、何故311の福島原発の大事故で気付かないの？何故、電力会社を購入する道の自分たちは選べないの？独占禁止法にひっかかりますね。自由化させて。これからは経済が大事じゃない。あなたたちは時代遅れすぎます。これからは地域で持続可能なエネルギーでいきましょう。絶対原発は0%しかありません。自分たちの利益を優先するな！！！時代はかわります。よんでくれてありがとうございます。これからの子供たちと自然を大切にしていきましょう。ありがとうございます。
18357	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発を止めたら、経済に大きな影響が出ます。原発ゼロには絶対反対です。	原発を減らしたら、電力供給の不安定化、使用制限、電力価格の高騰によって、産業が海外に移転し、国内産業の空洞化が起こり、景気悪化や失業者の増大は避けられません。特に産業界にとっては安定電力の供給が日本での操業における生命線です。太陽光発電や風力発電は不安定な電源で、産業界にとって頼りになるエネルギー源ではありません。あくまで補助的エネルギーであり、日本という国にとってマッチするものではありません。 原発は現時点においては他のどの発電形態より安定しています。また、日本の原子力技術は世界一です。そのため、政府は原子力発電所の輸出を行っているのでしょう？ 現時点および近未来の日本の未来は原子力発電の安定操業にかかっています。短絡的で情緒的な原発反対運動には賛成できません。
18358	個人	パート・アルバイト	40代	男性	原発は安全で未来を明るくしてくれる	メルトダウンしない原発の開発は必要だと思います。 今よりのより安全にすることで、 自然にやさしくない自然エネルギーの開発はやめるべきです。
18359	個人	会社員・公務員	60代	男性	原発は0%にすべき	原発を稼動した時と現在では状況が変わっている。 地震国で、福島での原発事故の収束が出来ていない。 活断層の上に原発が存在することがほぼ判明している。 再処理のめどはいまだ持って立っていない。 放射能の影響はこれから出る。 福島の原発のある近辺は、残念ながら原発関連の廃棄場にすべきと思う。 そこにとどまることは、危険であるし、住めるまでは気が遠くなるほど時間が掛かると思う。 野田総理が原発再稼動で問題発生したら責任を取るといっていたがどのような責任を取るのか具体的に示して欲しい。 出来ない話はすべきではない、なぜ、そのような発言をするのか甚だ疑問である。 また、活断層の再検査指示があるにもかかわらず、検査前から問題ない発言をする電力会社の役員はなにを考えているのか明らかにすべきである。 福島原発で死んだ人がいない、発言も含めて電力会社は普通ではない。 時代の流れに逆らうことはやめて頂きたい。 発送電の分離を早急にすすめ、電力の売買でも電力会社が損をしない仕組みも至急改めて頂きたい。
18360	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発ゼロシナリオを支持いたします。 もっとも大きな理由は、国防上の弱点だからです。 効率の良い火力発電、再生可能エネルギーへの代替えを希望いたします。	原子炉本体は頑丈でも、タービン建屋などの周辺設備が機能不全になると経済・環境・人心に致命的なダメージとなることを、福島第一原発が証明してしまいました。 今すぐはともかくとしても、十年後の世界情勢がどうなっているかは不明です。 日本に敵意を持った国から、原発に向けて巡航ミサイルを撃ち込まれたら、あるいは撃ち込む意思を示されたら、日本の敗北は確実と思われます。 テロリストや特殊部隊が上陸しての破壊工作より、この方法は確実でコストパフォーマンスに優れているように思われます。 廃炉にするまでの間にも、原子力発電所沖への護衛艦配備、発電所への陸上自衛隊部隊と対空ミサイルの配備を望みます。 以上です。よろしくお願いいたします。

18361	個人	会社員・公務員	30代	男性	選択肢の中ではシナリオ「(3)20～25」とすべき。 ※25%以上についても検討する必要がある。	安全性を確保しつつ、原子力発電を推進することが大切であるといえます。 （理由） ・再生可能エネルギーの買取制度や消費税増税もある中で、 火力燃料費の増加による電気料金の上昇や、その他の製品価格の上昇は 受け入れがたい。 ・私たちの生活が苦しくなる一方、石油などの資源購入のために不要な お金を 海外に流出させるだけとなる。 ・電気料金が上昇した場合、産業の空洞化を招き国内雇用が確保されないなど 国内経済の成長が望めない。 ・資源の少ない日本では原子力発電が必要。 将来枯渇する石油等の資源確保が可能か不透明。 ・太陽光などの再生可能エネルギーでは十分なエネルギーの確保はできない。
18362	個人	その他	40代	男性	ゼロが望ましい。即刻全基廃炉作業に入るべき。	核廃棄物の処理の場所、安全性、費用を考えるとこれ以上使用済み燃料を 増やすことは得策でない。 また、政治家、官僚、関連会社による安全、安価、クリーンとの 情報がうそだったことが判明した。これ以上の稼働で、日本在民と政府との あつれきを深めることは、安定した国内秩序を保つうえでもよろしくない。
18363	個人	パート・アルバイト	30代	女性	ゼロシナリオを支持します。原発をゼロにしてください。	ゼロシナリオがいいと思いますが、電力自由化、発送電の分離に全くふれていないのがおかしいと思う。また省エネの見込みもあまいと思います。もっと省エネはできるはずです。国の頭の良い人たちが考えている訳には3つとも？？？な内容です。
18364	個人	会社員・公務員	50代	男性	(1)ゼロシナリオ（即時廃炉への行動開始）。将来に残す負の遺産を最小限に留める選択を行うことが今の大人の責任と責務である。	福島原発事故後の当事者が口にした「想定外」を聞くにつれ、我々大人の危険に対する想像力のなさを痛感しました。また、当事者意識、当事者としての責任能力がない者が扱える代物ではないと考えます。核分裂を起こしている以上核爆弾と同じなんです。世界で後何年原子炉を運転するだけのウランがあるのでしょう。100年くらいといわれています。原発から出る核廃棄物をどれだけ保管、処理するのでしょうか。一説には、2万年ともいわれています。一体誰がその費用を負担し、誰が管理し続けるのでしょうか。あまりにも、身勝手、無責任ではないでしょうか。また、原発立地地元に対しても「あなた方は、無責任だと言いたい。」補助金は貰うが、事故があった場合の後始末は他人にやってもらう的な考えが透けて見える。あなたたちが補助金を欲しがる限り、原発はとまりません。もう誰かのために犠牲になる必要は、ないんですよ。化石燃料は、ウランを含め後100年程度で底をつきます。この事は、今日生まれた子供が70歳になるころには、日本ではエネルギー不足が危機的な状況になっていることを想像させます。世界的な経済発展を考えれば100年もたないかもしれません。また、100年で化石燃料を燃やし尽くすことは地球環境を激変させる可能性も高く、この選択も無責任極まりない行為だといえます。」日も早く再生可能エネルギーにシフトし、遅くとも2050年には日本のエネルギー自給率100%を目指すべきだと考えます。21世紀後半は、再生可能エネルギーによる自給率の高い国ほど安心で安全な国になれると確信しています。特にわが国のように化石燃料の乏しい国にとっては、1日も早く達成することが大事だと考えます。省エネ技術、再生可能エネルギーを取り出す技術は、かなりのところまで進んでいます。後は日本国として、日本国民としての意思決定しだいであり、まだ多少なりとも余力のある今が決断の時と判断します。21世紀後半の日本の生存のためにも、勇気ある決断をされることを政治家、官僚の皆さんには望みます。
18365	個人	自営業	40代	男性	原子力発電を緩やかにあきらめ、日本の産業のためにも、資金を再生可能エネルギーに集中投資するべきであり、買い取りの促進のために、税金を投入するのでは無くそれらの投資に対する、減税、税額控除をすべきである	原子力に資金を投入するのは、限られた資金からして、電力消費者に際限の無い負担を強いる物であり、未来に向けて、人類は再生可能エネルギーにその資金を使うべきである、政府も税金をばらまきめに投入するのでは無く、再生可能エネルギーの取り組みに対し、税額控除などで促進に、前向きに支援をするべき。税金を補助金の様な形で投入するのは、それ自体権益であり、官僚主義に至るものであり、政府は権力を振りかざすのでは無く、控除などで、民間の活力に対し、支援すべきだと考える。
18366	個人	会社員・公務員	60代	女性	原発は要らない。地震の活動期に入った今の日本では、どこでも大地震が起きる可能性がある。使用済み核燃料の最終処理もままならないえ、放射能は防ぐことは出来ない。地域ごとに電力をまかなう方策を立てるべき。	いつ・どこで・大地震が発生するか、かなりの精度で予測されるようになり、特に東海地震・東南海地震・東京直下地震などここ数年内に必ず発生するとされている。また原発の立地地区での活断層の場所も明らかになり、地震発生も確実視されている。冷却装置の電源確保や津波被害を防ぐ壁をいくら作っても、メルトダウンしないという保証はどこにもない。今度、どこかで福島と同じことが起きれば、日本中に放射能汚染が広まり避難する場所もなくなる。外国に逃げることはできないし、陸地だけでなく海も汚染され、飲み水も食料も放射能汚染され安全な食料も確保できなくなる。空気まで汚染されどこにも逃げ場はないのだ。「汚染された地域に住んで汚染された食べ物を食べても、ただちに影響がでるわけではない」などと楽観論ことをいっていても確実に体内に放射能は溜まっていくのだ。そして、癌などの病気につながっていくことになることはチェルノブイリの子供達の現状をみれば明らかである。 原発の使用済み核燃料の最終処分にも問題がある。地中深く埋めたからといって安全なわけではない。ここで格納容器が破損すれば深刻な海洋汚染を引き起こしかねない。核のゴミ処理こそトイレのない原発と例えられる最大の問題といえよう。 未来を担う子供達に汚染された日本を引き継がせることはあってはならない。そうなってしまってからではどうしようもない。今が選択の時、大人の怠慢といわれないようにしなければならない。 エネルギーの過迫・経済への影響など取り沙汰されているが、命に換えうる物ではない。 今こそ原発ゼロでも可能な経済生活を再構築する必要がある。昨年夏はそれが可能だったのだから、国民すべてが取り組めばできないはずはないと考える。
18367	個人	その他	40代	女性	ゼロシナリオ（再稼働も無し）を切望します。	原子力発電に安全はありえません。なぜならヒューマンエラーは起こり得ることであり、先の東北震災で分かるように、天災はどのような規模でこの先起こるのか分からないからです。ひとたび何らかの事故が起こった場合、原子力は広範囲に（地球規模で）長い期間に（子々孫々に至るまで）影響を与えることが、原子爆弾、チェルノブイリ、福島原発と、その深刻さは明らかです。子どもたちの未来に影響を及ぼすこと、まさに次の世代にこの問題を残す残すことは許されません。多くの自然エネルギーの開発も行われています。そこに力を注ぐべきです。消費するだけの生活を見直すチャンスです。原子爆弾、福島原発事故と二つの放射能汚染を経験した日本がどんな道を選ぶのかは、世界に与える影響も大きいと思います。子どもたちの未来を守るために、原子力発電は完全に廃止するべきだと考えます。
18368	個人	自営業	60代	女性	原発0を望みます	沢山の方の意見、世界における日本の地位、地球温暖化の観点など色々勘案しても、地球を人間のすみかとして残すためには全世界で原発0を目指すべきだと思います。確かに私たちは21世紀に生きる人間として、今まで沢山の科学の進歩により楽な生活を享受してきました。アメリカ、ロシアについて、まさか！の日本でさえ修繕を見ることになりました。いまのまま全世界の国々が原発に頼ることを進めるならば、毎年どこかで事故がおきないとは限りません。今国内でも、事故にあわないところを探して沖縄まで移動している被災者がいます。私の近くの浜岡が事故を起せば私たちの国の分断が始まりますし、海外移住しなくてはならないような事態が想定されます。世界中が放射線から逃げ惑うようなことだけは避け無くてはいけないと考えます。まだ国内には、化学物質過敏症やら理由の分からない病気やら、われわれが子どもの頃には見たこともない障害児が生まれてきています。あまりにも沢山の化学物質の合成により、科学の力により、自然界で生きてきた私たちの遺伝子がまだ対応できるまでには、克服出来るまでには幾世紀もの時代の経過が必要だと思います。私は個人的には家庭内に入り込んでいる電磁波、これも放射線の一種だと考えると、今世界に生まれてくる障害を持つ子どもの遺伝子が、多くこの影響を受けているのではないかと考えています。良く自然界にも放射線はありますといわれますが、これに対しては人類誕生の時から遺伝子が対応できるようになったんだと思います。人間が作り出した放射線とは別物として情報を出すべきとも考えます。今回政府が8000ベクレル未満は安全としたことについては日本人として、恥ずかしささえ感じました。浜岡の原発視察もしましたが6月でも尚、施設の説明では唯一リサイクルできる燃料はウランしかないといいました。これも現状では頼りです。政府は日本人のためにあります。どうぞ未来の人に恥ずかしくないよう決断をして下さい。
18369	個人	法人等	60代	男性	原発は再開すべきでない。	福島の原発事故をみると、広範囲にそして多くの人が被害を受ける。今、再開し再度原発事故が起こると日本は立ち上げれない。今のままで我慢をして原発に頼らない国を作るべきと考える。
18370	個人	パート・アルバイト	50代	女性	原発ゼロシナリオ	原発ゼロシナリオを選びます。 原発は、絶対に安全だと言われてきましが、福島で事故がおきました。 絶対に安全なばではないと思います。 福島原発の問題がまだ片付いてないのに、原発を稼働するなんておかしと思います。　もっと自然エネルギーを推進してください。
18371	個人	会社員・公務員	30代	男性	(1)原発ゼロシナリオ	原発をまず、やめて、その代替案を探っていきたい。 まずやめたい。
18372	個人	パート・アルバイト	30代	女性	エネルギー・環境に関する選択肢について 2030年、原発依存率 1 のゼロシナリオを選択します。	原発反対。一部の官僚やマスコミ、電力会社、企業のために何かあったら防ぐことの出来ない原発で電力を供給するくらいなら、新しい自然エネルギーや原発以外の方法で電力を作る社会にしたい。未来の子供たちのために、日本のためにo。
18373	個人	会社員・公務員	30代	女性	3つの選択肢の中では、(1)ゼロシナリオしかありませんが、2030年に原発ゼロでは遅いです。10年以内に原発ゼロにすることを希望します。	今も福島から放射能は漏れ出ています。 そのためにどれだけの被害を日本人はこうむっているのでしょうか。 原発の比率は、ゼロシナリオで行くべきです。しかし、2030年までに原発ゼロでは遅いです。 福島原発事故が明確にした事故のリスク、事故が起きた時の対策の不充分さ、未だに解決できない核廃棄物の処理問題など、様々な問題を抱えています。 今の日本人には原子力は制御できません。このまま原子力に頼っていくことは危険が大きすぎです。 日本の未来のためにも、子供のためにも、即刻原発ゼロにすべきです。
18374	個人	会社員・公務員	60代	女性	エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 「2030年に原発0」ではなく、「即原発ゼロへ」を主張します。 《福島原発の処理と被災された人々の生活を優先》	ほぼすべての原発直下に活断層。 原発の最終処理方法も定かでない。 次に同様の惨事があれば狭い日本国土の多くは人が住めなくなる。 国の絶対財産は国土と国民である。 それがなくして国は成り立たない。 企業は独自に自然エネルギーなどに転換していくべき。 そのための研究、補助など国がやるべきことはそちらではないか。
18375	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原発は新たに作らず、古いものから順に廃炉にすべき。出来ることならすぐにでも全て廃炉に!!	私たちの子供達に負の遺産は残したくない。福島の人たちのような悲劇は二度と起こしてはならない。
18376	個人	自営業	40代	女性	積極的に原発を動かし経済の再生を！	原発が止まったことによるマイナスの影響が大き過ぎる。新しい原発から速やかに動かし、安価で安定した電気を産業界と国民の生活へ供給することを希望する。産業界が衰退すれば自治体の税収が減り、行政サービスが不十分になる。また、東北の復興もままならない。 動かせる原発を動かしている間に、老朽化している、あるいは今回の福島原発事故の原因を受けて改善すべき点が分かっている原発は早急にメンテナンスを。 同時に、火力発電所も即刻メンテナンスを。CO2削減の研究も。 一方、原子力研究には潤沢な資金を投資する必要がある。より安全な原発の研究とともに、放射性廃棄物の処理をめぐる研究、廃炉の研究をもっと迅速に進めるべき。 原発の安価で安定した電気で産業界の再生を支えている間に、自然エネルギーの研究を進める。原発と同程度のコストにまで低減できてから買電を。現状の高コストの電気を無理矢理買い取るというのは不可解。産業界や国民が負担することになり、結局、産業も生活も疲弊する。 原子力、火力、自然エネルギーの、それぞれの割合は、今後の研究の進展による。現状では最大限原子力に頼って、早急に復興、経済再生を目指すべき。
18377	個人	家事専業	30代	女性	私は、原発の速やかな停止を強く要望します。 核燃料サイクルは、全量直接処分、もんじゅは廃炉にすべきです。	私は、原発の速やかな停止を強く要望します。 ゼロシナリオの実現に、2030年まで待つ必要はありません。 地震の多い日本には原発は要りません。 原発がなくても電力は足りるという事実を、国民は知っています。 それでも電力が足りないというなら、規制を緩和して地熱発電に本格的に取り組むべきです。 核燃料サイクルは、全量直接処分、もんじゅは廃炉にすべきです。
18378	個人	家事専業	40代	女性	原発ゼロシナリオを選択します。	原発がもはや安全ではないとわかった今、日本のエネルギー政策はエネルギーや経済だけの問題ではなく、命や健康の問題と考えます。 命や健康がなくては、日本の繁栄も望めません。 地震の多い日本で原発を運転するのは、本当に危険だと思います。
18379	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発比率は5-10%とし、もんじゅは即時停止すべき。再処理はわずかに続ける。	もんじゅは各国が手を引いた非現実的なものである。資源のない日本として夢を見たい気持ちはわかるが、財政的にも余力はなく、これ以上ムダ金を使ってはならない。 再処理についても、放射能の高い廃棄物を増やすだけであり、中止して放射性廃棄物はそのまま埋めるのが最も良い。ただし、核兵器製造能力を担保するため、わずかに残すことは安全保障の観点から理解できる。それでも全量の5%程度が限度であろう。 原発についても、やはり放射性廃棄物の効率的な処分方法が確立できていない以上、長期に渡り多くを依存することはできないと考えるべきである。また、現状の安全性についても事実から目をそらさずに適正な判断を要する。現在存在する原発の多くに構造上の問題があり、地震や津波も多いことを考慮すると、どんなに追加対策を施しても、半数を大幅に上回る数の原発を廃炉とする必要があることは明白である。前述の放射性廃棄物の問題を考えれば、対策して残した原発も、できるだけ稼働率を下げることが望ましい。 将来、リスクを現状の10分の1以下に確実に減らせる新型原子炉が育案され、かつ放射性廃棄物の処理にブレークスルーがあれば、原発を再考してもよい。しかし、後者はかなり難しいと予想される。
18380	個人	自営業	40代	男性	これだけの地震国に来た最終処分場さえ確保出来ず、低コストの根拠さえ疑わしい、高リスク原子力発電所は不必要。ゼロシナリオ以外の選択はない。 いち早く「再生可能な自然エネルギー」にシフトした方が結果、将来的に受ける恩恵も大きいと思う。 暮らす土地、国を失ってまで原子力推進？天秤に掛けるに前に答えは出ている。
18381	個人	会社員・公務員	40代	男性	将来の原発依存は、絶対に0%にしないと、将来に責任が持てません。	将来の安定のために、消費税を言うなら、危険性や処理方法の確立されていない原発をなぜ、推進しようとしているのか全く理解できない。原発再稼働は、今が良ければと言う観点だけに感じる。自然エネルギーの開発を急ぐわけでもなく、ただ、今が国会から原発を推進するという考えをどうやって信用することができるのか。福島の人のことを考えると、そんな簡単に原発を推進しようとする考えを推し進めようとするのは、東電や一部の経済界のもうけしか考えていないように思えます。 絶対に原発はなくすべきです。
18382	個人	会社員・公務員	30代	男性	原子力発電所を廃止してください	活断層の有無に関わらず必要があるように思えません。電力が足りないというなら使う電力を減らせばよいと思います。もっとも東京電力当の電力会社が発表している数字に信憑性を感じません。原子力発電所がリスクになっていることをもっと認めるべきだと思います。
18383	個人	無職	70代	男性	今後10年間は、現在あるの原子力発電所の安全性を高めながら運転を継続する。新規増設は認めない。 自然エネルギーの開発は推進すべきだが発電コストの上昇を避けるため無理をしない。	1000年に1度の大地震が続けて起こるという可能性は少ない。仮に起こっても福島の被害を上回るとは思えない。津波対策と非常時の電源システムの強化で、福島のような事故は防ぐことが可能と思う。電力は国民生活の基本である。一時的な感情で国を揺らせることがあってはならない。ドイツと同じく10年間は 原子力発電所を稼働して、それまでに我が国がどんな道を冷静に決めるべきだ。
18384	個人	パート・アルバイト	40代	女性	地球上から核を無くしてほしい。エネルギーが必要なら自然のもので。処理できないごみがでる原発は絶対あってはならない。	福島で育ち、子どもの頃から広島や長崎の原爆の話で恐ろしさは十分かんじていた。爆撃されたらどうなるんだろうとか、本当に怖かった。それでも原発が作られ核廃棄物が埋められていく現実が不思議でしかたなかった。大人って未来のことは考えないんだ、と思った。大人になり心配していたことが現実になりやりきれない気持ちでいる。放射能の恐ろしさ、そのゴミの処理もできないおろかさをまた議論しなければわからないものなのか。電磁波をだす電気をこんなにも使わなくてもよい社会を考えるべきである。目先の利益だけを考える大人の意見をきくのか・子どもたちの未来を考えるのかどちらかである。自然エネルギー先進国となり世界トップになり普及させるのが日本の使命だと思う。
18385	個人	無職	50代	女性	脱原発は困ります。エネルギーの安定供給、安全保障を考えたら脱原発はありゆえません。	原子力発電をゼロにするなど、中国の政策が日本海沿いに驚くべき数の原子力発電を今後も予定している現実と危険を思えば、ありえない自殺行為です。政府の不手際や対策不足は正面から正してほしい。すでに持っている技術力の高さや、国際的な視点で日本やアジアの国の利益を考えたら、反対はありえないのに現在の報道や空気に流される民は狂っているとしか思えない。 今の流れは、恐ろしいです。 再生可能エネルギーはドイツで電気料金の大幅な上昇を招き、失敗している。オール電化の波に乗ってエネルギーを電化した人たちが馬鹿を見る電気料金の上昇は、結局は日本の産業や国民全体に深刻な影響を与える。 世界的に優位な日本の原子力発電を減らすのは、大きな経済的損失であり中国や韓国の原子力関係者が喜ぶだけです。すでに技術者が引き抜かれているようです。日本こそ技術の発展を持って、平和的利用に世界を導ける唯一の国です。 一方、中東では常に戦争の火種がつきません。 シーレーンが危ういことを、ニュースでも言わないのはおかしいです。グローバルな視点で過去の戦争の原因がエネルギーの不足により、やむなく起こった事実を見れば、現時点で不安定な自然エネルギーへの移行は難しいことが判ります。効率と安全性を考えて当然、原発を維持すべきです。自動車事故のほうがよほど死亡者が多いです。微量の放射線はむしろプラスの働きもあるのに無視されています。完全に意見が偏っています。
18386	個人	その他	20代	男性	現時点での原子力発電所の一切の再稼働に反対、可能な限り早く各原子炉の廃炉作業を開始することを求めます。	日本政府が示した「2030年の時点で原発を 0% 15% 20-25% にする」という選択肢は、議論を長引かせエネルギー問題への注目度を低下させることを狙った恣意的な議論を展開するための三択に感じます。 廃炉作業が完了するまで多重な安全対策を施し、経済的影響を理由に長期的にのみ原子力発電への依存度を減らすという意見の一部の人間のみではなく、急速な原子力発電所の廃止を提案する専門家も含め原子力発電への依存度をゼロにする時期の妥協点を多角的な視点から決定する事を望みます。

18387	個人	会社員・公務員	30代	男性	ハイリスク・ハイリターンの原発エネルギーよりも、ローリスク・ローリターンのエネルギーを望みます。経済よりも命を優先いたします。	重大な健康被害をもたらす可能性がある原子力発電を地震多発国で行うべきではないからです。
18388	個人	会社員・公務員	30代	男性	2030年の原発依存度　0%	2030年に依存度0%は、遅すぎる。 もっと早く、原発依存度を0%に。
18389	個人	会社員・公務員	30代	男性	今回提示された3つのシナリオにおいて、20～25シナリオが自身の意見となる	資源の少ない日本においては、価格が大きく変動する化石燃料や、気象条件により大きく変動する自然エネルギーだけに頼ったエネルギー政策では、電気料金の高騰や停電・電圧変動などによる生産活動への影響は、避けられない。 具体的には、倒産する企業が増え、雇用が少なくなり景気が低迷する。また、年金生活者などの弱者が死に絶える。 国が進めてきた政策で、事故が起こっているので、国が責任を取り確実な対策を行ったうえで原子力を起動していくべきだと思う。
18390	個人	家事専業	20代	女性	ゼロシナリオを希望。	これ以上、核のゴミはいりません。子どもたちの未来を守るために、どうか他のエネルギー開発に力を注いでください。よろしくお願い致します。
18391	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発比率を今すぐ「0%」とすべきである。	一人一人が節電に心掛ければ、原発に頼らなくても生活は可能である。 東日本大震災の教訓から必要とされる安全対策すら先送りにして、大飯原発を再稼働したことを事態許すことはできない。そして何よりも、原発により発生する使用済み核燃料すなわち放射性廃棄物を、どのように処理するつもりなのか明確に示せない間は、原発を再稼働すべきでないと考えます。
18392	個人	自営業	50代	男性	原子力発電依存率0%を支持します。 これ以上、核廃棄物を増やし続けるのはNOです。 日本のエネルギーをどう転換させるのか、視点が無いままでの議論は無意味だ。 10万年もの責任は取れません。	・原子力発電依存率を問う前に、核廃棄物をどうするのかについての議論が必要で、政治は逃げ続けてはいけないし、私たちも覚悟を決めなければいけない。 ・これ以上核廃棄物を新たに増やしてはならない、最低限のことだ。プルトニウムをこれ以上溜め込んでどうするのか？ ・原子力立地の地盤についての信頼性が揺らいでいる。電気事業者の地盤調査にて電気事業者が安全を判断するなどという、公正ではない手段にて判断し続けてきた今の原子力事業者にはそもそも信頼性を持てない。持つべきではない。 ・刺害関係のない第三者機関を設立し、権限を与えてのチェックを行うべき。 ・原子炉建て屋の耐震性のみならず設備・配管に対する耐震性を確保すべきで、福島の検証を最優先すべきだ、原子力依存度を語る以前の問題だ。 ・原子力事業者は、想定外の事故を綿密に公表すべきだ。さまざまな視点からの意見を聞くべきだ。 ・事故発生時の避難対応援助体制を確立すべきで、権限を与えた支援システムを確立すべきだ。 ・放射能汚染に対する援助システムを確立すべきだ。 ・輸出し続けている原子力に対してどのように責任を持つのか、はっきりさせるべきだ。
18393	個人	無職	50代	女性	原発はすぐにやめるべきだと思います。	福島で起こったことはもう二度と起こってはならないのです。 安全神話は崩れたのです。最初から原発を日本で始めてはいけなかったのです。原爆が落とされた日本に原発は導入すべきでなかった。今からでも、福島の経験生かして、直ちに止めるべきです。
18394	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発ゼロシナリオを支持いたします。 ハイリスク・ハイリターンの原発エネルギーよりも、ローリスク・ローリターンのエネルギーを望みます。経済よりも命を優先いたします。	重大な健康被害をもたらす可能性がある原子力発電を地震多発国で行うべきではないからです。
18395	個人	自営業	60代	男性	何%という数字目標で選択するというよりは、少なくても代替発電が整うまでは原発を動かさなくてはならないのだから、活断層、津波、近隣の人口から原発の稼が貸せる場所から選定すべき。	福島原発の近くまで行ってみたが、住民が避難した無人の町は悲惨としか言いようがない。 原発の周囲20kmか30km内の人口がたとえば10万人以下の場所で、　津波かつだんそうな地震による震度が大きくならない地盤の強さを評価し、全国で(たぶん)数か所しかない原発立地の場所を国が責任を持って指定する。 その数か所に最新の技術で最も安全な原発を建てる。一基当たりの最大出力は現状の最大値か　あるいはその2倍ほどの新大型原発にする。これはそう原発数を少なくするため。 その原発の周りの住民は　いざという時の避難方法、　避難場所、　生活保障の制度を確保したうえで既存／新原発を稼働させるのは言うまでもないが、今の政府はそれが出来ていない。 がん発の依存度が何%かは、　それが目標ではなく、上記のプロセスで住民の安全を確保したうえで動かせる原発が決まり　単なる結果でしかないはずである。 目標%を議論しても単なる絵に描いたもちでしかないであろう。 国民の総意にはなりえない。 順序が逆である。 　私個人的には長く技術開発を担当してきたので、　原発も今はまだ不完全だが、技術としてはより完全なものになると信じている。 ただしそれを動かす人間の欠点も補う技術にしなくてはならない。 日本の技術力を持ってしてやればできると信じている。 　さらに　既存の危険な(古い)原発を順次廃炉にしていくにもお金がかかるし、我々が払う税金でやられるよりは　安全な原発を動かしてお金を稼いで、そのお金で原発技術を進化させたり、廃炉費用を稼ぎ出して欲しい。
18396	個人	学生	20代	女性	原発ゼロシナリオ	自然エネルギーに転換してください。 危険な原発はやめてください。 20才 女子大生からのお願いです。
18397	個人	会社員・公務員	40代	男性	今すぐに原発0でお願いします。	地震大国 〇いつどこで大きな地震あってもおかしくない地盤の日本列島。地震で電源喪失したら爆発します
18398	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発比率 2030年までに0%を選択します。	放射能で住めなくなってしまってからでは遅いでしょう。そんな事小学生でも解りますよ。 政府は国民投票を行うべきだ、勇気ある決断を総理に望みます。
18399	個人	家事専業	30代	女性	2030年の「エネルギー・環境に関する選択肢」について、原発依存度ゼロシナリオを強く希望いたします。	今まで、世界中の技術を集めて稼動させていたはずの「絶対安心」と謳われた原発で制御不能な事故が実際に起きてしまいました。 便利で贅沢な生活を続けるために、不安要素の高い「原子力発電」を稼動させることを望みません。 今まで原発に活用されていた予算を「地産地消」できる発電のための技術研究・整備のために活用されることを切に希望いたします。 未来ある子供たちのためにも、先の事故で住みなれた土地を離れなければならなかった万々の為にも国民すべてが少しずつ我慢・金銭的負担をしてでもエネルギー転換を図る時期なのではないかと考えます。
18400	個人	無職	50代	女性	ゼロシナリオで行くべきものと考えます。地球温暖化問題も経済への影響も考えるべき大切なことなのでしょうが、もっと大切なのは国土であり国民であるはずです	事故により福島の土地は汚染により失われたも同然です。多くの人が不自由な生活を強いられ、それは首都圏に住んでいる私たちも同様で、いろいろな不自由の中で生活せざるを得なくなっています。それぞれの視点が重要なのは解りますが、福島の事故は恐ろしすぎました。たまたま現在安定していてもそれは偶然のこととしか思えません。人が制御できない原子力でエネルギーを作るのはやめて下さい。人類長い歴史の中でほんの100年足らずの間に放射能で地球を汚染し尽くしてしまうことに成りかねません。
18401	個人	家事専業	40代	女性	原発ゼロシナリオを選びます	一旦事故が起きてしまうと取り返しがつかない原発、廃棄物が名十年何百年と放射能を出し続ける原発は要りません。 再生可能エネルギーをもっと利用できるような取り組みを進めてください。
18402	個人	会社員・公務員	40代	男性	原子力発電はゼロを選択すべき。	安全が確保できないこと、人智でコントロールできないこと、そしてその被害は人類存亡の危機を招くことが明らかになった以上、今後原子力発電という選択肢は無い。目の前に使える原子力発電があるから使おうとか、使わないと目先の生活に支障があるから使おうと言うのではあまりに短絡的で効率で偽善で強欲な議論。いま、そしてこれから日本は益々経済的に厳しく、国家存続の危機を迎えるリスクがある。今こそ第二次世界大戦以降の高度成長期を産んだように、日本全体が生活窮乏の打開と国家の存続をかけて、新エネルギーの開発と普及に全力を傾けるべき。かつて、炊飯器、冷蔵庫、テレビ、車を生み出して傾きかけた国を世界有数の経済大国となったように、本質的に変わらぬ日本人の勤勉さと世界でも珍しい程之危機感が共有できる民族性を活かして、世界中の見本となる政策と国力を発揮すべき。
18403	個人	その他	50代	女性	「原発ゼロシナリオ」を選択します。	「原発ゼロシナリオ」を選択する理由は、2011年の大震災で明らかになったように、日本のような地震国、しかも国土の狭い国で原発を稼働させ続けることはリスクが高すぎるからです。事故があってからでは遅すぎます。日本には人間の住める場所が無くなってしまいます。個人・法人とも節電につとめ、他のエネルギー源の発電所に切り替えつつ現存する原発を徐々に閉じていく道をとるべきだと思います。
18404	個人	会社員・公務員	40代	男性	これ以上先へ進むとみんな死んでしまいますよ	既に取り返しのつかないことになっています。 これ以上続けるともっと取り返しのつかないことになります。 このような不合理がいつまでもまかり通るわけありません。 いろいろな部分でバランスが大きく崩れています。 せめて今すぐ原発を止めましょう。
18405	個人	自営業	30代	男性	ゼロシナリオを、もう少し長いスパンでも良いので、倫理的な選択として表明すること、合わせて2030年までに最低でも15シナリオを実現させることを要望します。	ゴミの処理が出来ないエネルギー源であり、資源としても核燃料サイクルが実現しなければ 短命な発電方式ですから、将来的な原発全廃の目標自体は合理的と考えます。 核燃料サイクルの実現可能性は、ゼロシナリオと比べても不確かなものです、これ以上研究開発にコストをかけることは、合理性を欠くと考えます。 原発の管理と安全性の担保については、大きな失敗をして、多くの人の暮らしに泥を塗り、踏みにじったのですから、責任を問われなければなりませんし、国民の信頼を損ねた電力会社や政府が、再度原発の新設を手がけることは、倫理的に許されることではありません。 まだ東電社員にして地方議会に籍を置く議員がいます。 歪んだ電力業界と政治やマスコミとの癒着を構造的に変えるためにも、 総括原価方式の廃止。発送電の分離や、東電の賠償責任の追及と、東電の倒産・解体を要望します。原燃や、電力会社、電力労組の過去10年間の全ての寄付を調査し、公表して欲しいと思います。国民からの電力事業透明化のための通報制度も作って、不適切な介入、癒着を防ぐことも合わせて要望します。 また、観光業や農業の軽微な風評被害の申告に対する補償の窓口を新設し、 精神的な損害も含めた、損害の認定と算定（賠償責任は放棄しても良いので） をして欲しいと思います。 軽微な損害や立証不能な損害が、なかったことにされるのは大変腹立たしい思います。
18406	個人	家事専業	30代	女性	原発ゼロシナリオを選択します。	労働者の被爆なしに成り立たない発電は要りません。 放射性廃棄物の処分方法を確立してから実用化するべきだったと思います。
18407	個人	会社員・公務員	50代	男性	原子力発電を0%にする。「見切り発車」で建築していた原発の燃料の自然循環は不可能であり、その存在自体罪である。分子レベルで結合する遺伝子に対し素粒子レベルの放射線は危険極まりなく地域住民を守れない。	そもそも地球の厚い大気がせっかく宇宙放射線を抑えてくれているのに、わざわざ人類自らの力で地表に多くの放射線を生成することは、地球上の自然の循環を崩壊させる原因になる。また、いまの原子力発電所のエネルギー効率は3割で、残りのほとんどが海に捨てられており、原発トータルで海水の温暖化に寄与しており、氷河を溶かすなどし、このことからも、地球の自然循環を崩している。使用済み燃料棒はいつまで危険な発電所に冷やしながらためておくのだろうか。 　原子力工学技術者が、原発の開発のためだけに量産された発電所や研究所に送られ、それを税金や電気量で養う構造になっており、こうした、民間活力よりも親方日の丸の構造が、借金をすることなく国税のみで運営する国家財政を阻害している。このような研究は、工学ではなく、一部の自然科学研究者が中立の立場で続ければよい。また、イエスマンで固めた政治や行政は行き詰る。 　再生可能エネルギーが国内の資源を使って地球の自然循環の中に組み込まれるように開発されるならば、国内の民間活力を高める。原子力燃料にはこのような作用はない。 　原子力事故は、人災にもかかわらず、被害した住民に対するリスクの回避手段がまったくないことは、今回の事故、チェルノブイリの事故、どれを見ても明らかである。例えば、一般の工場が爆発事故を起こした(そこにサリンなどがあった)としても、事故後は、人が入って事故処理にあたることが可能であるが、原発事故では、制御不能な事故が起きてしまうと、その後、(入った人が重大な放射線による障害をおこすなどのため)人が入ることができず、原因究明もままならぬ。また、その期間が半永久的に続き、地域住民の生活圏を生きている間にわたって奪ってしまう。このような原子力発電所は不必要で永久。
18408	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発は即刻0にすべき	15%強、25%強はいずれも「原発事故は絶対に起きない」ことを大前提としている。活断層、巨大地震周期、リスク要素は無限にあり、どんな対策にも完璧はない。100%は絶対にない。他のインフラ等と違い、原発は一度事故が起きれば取り返しが付かない事態となる。フクシマから何を学んだのか、学ぶべきか。将来に責任を負う世代として、原発再稼働を容認できない。
18409	個人	法人等	30代	女性	地震大国の日本は、原発への依存度ゼロを目指さなければならない。新規建設計画の中止はもちろんのこと、建設中の原発もすべて工事を中止する。既存の原発はすべて廃炉にする。	理由は、 1・地震国の日本では、増え続ける核のゴミを管理できない。 　100000年も地中に埋めて管理することは不可能。 　地殻変動が起こり、地球全体に放射能をばら蒔くことになる。 2・東京オリンピック後の経済成長を支えたと言われている原発だが、たった　50年間の電気のために、子孫たちへ負の遺産を残した。 　大正・昭和生まれの輩は、そろそろ過ちに気づいて方向修正すべき。 3・福島原発の事故を収束させるために働かされている労働者の被曝のことを　考えると胸が痛む。原発を推進してきた学者や政治家は、まず福島原発に　行って労働すべき。被曝しながら作業している人のことを真剣に考えてほ　しい。 4・第1次産業を守るために、汚染食品（セシウム等の放射性物質が混入した　食品）を食べることを強いられている。お金持ちは、関西の食物を取り寄　せて子どもに与えているが、生活にゆとりのない人は、自分の汚染された 　畑で採れた、セシウム入り食品を食べるしかない。基準値以下の物は、検　出されても、ND（検出下限50bq／kg）と説明され、体内にセシウムが蓄　積している。 5・差別を生む原子力など要らない。
18410	個人	家事専業	50代	女性	原発0にすべき。この原子力政策は誤っていたと思う。今回の事故でこれだけ国土を海を放射能汚染で汚し、この先深刻な健康被害も必至だ。全ての原発を廃炉にし、新しい再生可能エネルギーへと今すぐ舵取りすべき。	原発0にすべき理由（1）放射能は人類と相容れないものだから。今回の原発事故で今すぐ健康被害が出なくても10年後、20年後と後になって様々な問題が起きてくるのはチェルノブイリの事故を例にとっても必至であり、次世代まで障害や健康被害をもたらすような危険な放射能。核の使用を直ちにやめるべきである。放射線は癌や白血病にならなくとも、ありとあらゆる疾病に罹患しやすくなる。疾病のみならず、次世代に障害という形で被害をもたらす。それにたとえ事故が起きなくとも、原発は放射能汚染を大気中や海洋に排出している。また、事故後の福島原発での復旧作業はもとより、原発がある限り危険な被曝労働というものが誰かを被曝させる。他にも原発で使用するウランを採掘する作業員、ウランを採掘した土地の住民までが被曝の被害にさらされる。このような人類にとってリスクの高すぎる原子力発電というものの自体を見直し、直ちに全廃にすべきである。（2）子どもたち、次世代の事を考えるべき。どんどん溜まる一方の核廃棄物は、安全な保管場所も処理方法も確立されていない。刹那的な考えで私たちの大切な子孫、次世代に大きな負の遺産をこれ以上残すべきでない。今の私たちの選択が日本の、世界の未来を変える。今こそ再生可能エネルギーに舵を取り直し、子孫に恥じない政策を選ぶべきである。（3）また原発事故が起きる可能性が高い。同じような事故が繰り返されれば日本は破綻する。そもそもこんなに活断層だらけで周期的に大地震、津波を繰り返して来た日本の国土に原発など作るべきではなかった。しかも54基も。今まで福島原発事故のような事故がなかったのはたまたまである。地震の活動期に入ったと言われる今、福島の検証も事故処理も行われないまま原発を再稼働させていることは常軌を逸している。 誤りは誤りだと気づいた時点で方向転換すべきだ。それが困難を伴おうとも正しい選択をすれば必ず道は開ける。今日明日の電気、お金、利権、しがらみ、狭視眼的な考えでこれ以上過ちを重ねるべきではない。日本人としての誇りを取り戻すべきだ。原発0、直ちに全廃すべきだ。
18411	個人	家事専業	40代	女性	原発ゼロシステムでお願いします。再稼働はしないでください。自然エネルギーで未来を創造して欲しいです。	子供たちの未来のために　安心して生活できる最低限の命の大切さを伝えていかなければいけません。人間の欲のために自然を破壊する、何世代にも負の遺産を残すような原発はいりません。自然と調和し共存するエネルギーを早く実現してほしいです。
18412	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発をやめたら、電力補給をする手だてが現時点ではないだけでなく、もっとも大事な国防上も危機に陥る。中国スパイによるプロパガンダから目を覚まして、自らの国を守るということを考えなければならない、	原発をやめるというのはきわめて情緒的な判断で、電力不足、国防上の危機の観点から、もし原発をやめてしまえば、中国の思うつぼである。これは亡国の所作であることを全国民が認識する必要がある。

18413	個人	会社員・公務員	40代	男性	原子力発電は安全で効率的である、という神話が霧散した今、原子力依存からの1日も早い脱却が必要である。地震は必ずおきるのだから、国土や国民を賭け金にすることは絶対にしてはいけない。	原子力発電は安全で効率的である、という神話が霧散した今、現在ある原子力依存からの1日も早い脱却が必要である。CO2の排出量増加も大きな課題ではあるが、地震国の活断層の上に建つ原子力発電所が稼動していることのリスクは比較にならないほど大きい。地震は必ずおきるのだから、国土や国民を賭け金にすることは絶対にしてはいけない。即刻、原子力発電から手を引くべきである。 1. 原子力は一度事故に至れば、世界に影響を与える惨事を引き起こす。 2. 推進勢力というものはその思惑を果すために、都合の悪い事実を伏せて強引に推し進めるのが 常であり、リスク回避よりも常に経済（利益）を優先する。 3. 以上の要素が合わさると、世界的大惨事が起きる。福島で起きた事故でそれらは実証された。 4. 今後、日本の国民は同じ振りを繰り返してはいけない。 5. よって、全ての原子力発電から撤退すべきであり、それ以外の選択肢は在り得ない。 6. 更に各国における原子力利用の実態についても調査し、周辺国に及ぼす影響についても評価でき　る国際機関を、日本が中心となって立ち上げることを提案したい。
18414	個人	会社員・公務員	40代	男性	エネルギー・環境に関する選択肢は、ゼロシナリオを選びます。	原発のリスクが大きすぎるから。 原子力発電のリスクはあまり大きすぎるため、そのリスク正確に見積もること、リスクが現実に起こったときの現実的な対処案を作成することが誰もできない。できないことを無理にやる必要はない。
18415	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発エネルギーの将来の依存度は絶対にゼロ%	現在、東京湾、伊勢湾、大阪湾などの大都市の近くに、原発が一基でもありますか。なぜないのですか。原発で作られた電気は全て大都市で使われています。もしそんなにも安全、安全、安全と連呼するなら、大都市のすぐ近くに原発を作れば済むはずです。なぜ原発は大都市の近くにないのですか。危険だからじゃないですか。嘘をつくのはやめてください。あなた方官僚の、政治家の次企業の原発推進の方針には、心から、心から、心からうんざりしています。そして心から、心から、心から怒っています。私たち一般家庭は太陽光発電などで十分です。安定的な電力は企業に回せばいいではないですか。ガス、石炭、石油で発電してください。今は効率のよい最新式の発電方法が開発されています。二酸化炭素＝地球温暖化なる大嘘もやめて下さい。地球の自然な環境変化は人間には変えられませんね。原発こそが日本の経済を破壊するものであることか`わかりませんか。原発こそが環境を破壊し、汚染しまくるものであることは明白ではありませんか。今度大事故でも起こせば、いったいどうなると思いますか。また国民の税金で賠償させるのですか。そんな事がいつまでできますか。国民がつぶれれば、あなた方だって終わりです。すこしは日本全体の将来の事も考えなさい。姑息で、卑怯で、こそこそ悪知恵ばかりを働かせ、自分たちの小さな、小さな、せこい、せこい、せこい、陰険な、陰険な、陰険な人生を守ろうとするのはやめなさい。正々堂々と生きなさい。税金で生活している自覚を持て。国民のために働くという当たり前の、当たり前の、当たり前の仕事をしなさい。正々堂々と生きる、実りある、明るい人生を、少しは考えて生きたらどうですか。原発はゼロ%、直ちにやめてください。心から、心から、心からお願いします。これは命令です。
18416	個人	家事専業	40代	女性	日本は核兵器を持てない約束を世界にしてしまいました。自衛隊だけ。ほかの国から攻められたときの自衛手段として　日本国中に原発を作りました。これで他国から攻められることはありません。なぜか　わかりますか？	そうです。日本国内を砲撃されて　原発が爆発したら　日本の国土がダメになる　使い道がなくなる　どころではなく　世界中が汚染される。 だから　どこからも　攻められない 体中にダイナマイトを巻いている人を　攻撃できないのと　同じです 待機だったのでしょうか 日本人はいつでも自害できる覚悟があるぞ。 ということだったのでしょうか それとも　アメリカに人質として　見張られているためでしょうか アメリカにはむかえないように 賢い日本人がはむかえないように そう考えると　合点がいきます でも　もう　そんな必要はありません そんな時代ではないのです おおっぴらに　日本は　脱原発して自然エネルギーで行きます！と世界中に発表しても　恐れるものはありません 賢い日本人をとりもどすため 体中のダイナマイトをはずして　本当の意味の自由を日本がてにするため いいチャンスです 本当の自由です 日本が戦後のしがらみから解き放たれる　おおきなチャンスですよ 目先のことより　大きな歴史の流れと　未来をみすえて　日本を　自然豊かな自由な国にもどしてください
18417	個人	家事専業	30代	女性	原発依存度はゼロにすべき。地震大国の日本でこれ以上維持していくことは不可能。	原発依存度はゼロにすべきである。 いつどこで巨大地震が起こってもおかしくない日本でこれ以上原発を維持していくことは不可能。 廃棄物の処理もできないようなものをこれ以上動かし続けるというのは、子供たちに残す負の遺産が増え続けるということに他ならない。 日本の未来のためにも即刻廃炉にすべきである。
18418	個人	会社員・公務員	30代	男性	私が3つのシナリオから選ぶのは、【ゼロシナリオ】です。放射能というリスクを抱えた発電を後世に残すべきではありません。原発はゼロにすべきです。	福島の原発事故以来、様々な情報を目にする限り、福島の事故はまだ収束しているとは決して言えないと私は考えています。 何十年かかるか分からない、メルトダウンした燃料棒の取り出し。一度事故が起これば、故郷に帰れなくなる、、、そのような発電方法はやめるべきだと考えます。 賛成反対を議論する際、必ず経済の発展のことが取り上げられますが、放射性廃棄物や廃炉の費用を考えると原子力発電に優位性を全く感じません。CO2を出さないといいますが、温排水が環境へ及ぼす悪影響は全く聞こえてきませんし、なにより放射性廃棄物の処分方法も決まってないことは、子孫に対して無責任すぎます。 放射能の半減期は物によっては数万年という物質もあるようですね。処分法として数万年の保管や管理が可能などといった説明も聞かれますが、これまでの歴史を見る限り、人間の世界がそんなに未来永劫続くとは思えませんし、国家という単位で考えたら更にそのような話は絵空事としか思えません。所詮、人間が扱うシロモノではないということは火を見るより明らかだと断言できます。 日本の人口も減少していきますし。原発を増やす必要は全くありません。今足りないと言われている、夏のお昼のピーク時も、要は晴天で太陽がサンサンとしている状態でしょうから、それこそ自然エネルギー太陽光発電が補ってくれるのではと考えるのは私だけでしょうか。今後スマートグリッドという仕組みを早期に確立して、効率の良い電力の使用を促進して欲しいです。 もちろん、原発をゼロにする場合の電気料金等の負担増があるならば受け入れることは可能です。ただ、現状の独占的な電力会社の形ではなく電力の自由化が今後更に進んでいくことは強く希望します。その際、発電方法を選べるならば、電気料金が上がっても原子力を使っていない会社を選ぶことは間違いないでしょうが、、、 最後に、少なくともこれ以上核のゴミを、子どもたちや子孫に増やすことの無いよう、恥ずかしくない選択、原発ゼロへの選択を願ってやみません。
18419	個人	その他	60代	男性	3つのシナリオの中ではゼロシナリオを選択します. 2030年より早くゼロにする選択があればそれを選びます. 原発は未熟で危険で高コストな技術. エネルギーの地産地消を進める又とない機会を逃すべきでない.	なぜゼロシナリオを選択するのか. 1)未完成の技術である. 使用済み核燃料の処理の方法ができていない. 「トイレのないマンション」である. 2)未完成の技術である. 冷却がうまくいかないことがある. その際の被害が大きすぎる. 3)「冷却・放射能封じ込め」の不断の努力と、「使用済み核燃料の保管」を、技術の完成まで継続しなければならない. 今の人間の社会制度では、技術の完成までの間に、その必要性を忘れてしまいそうだ. 日本では「根拠なき安全神話」を前提にして原発を運用してしまった.　福島の事故後の今でさえ事故原因究明の熱意が低い. このような社会が利用するのは危険である. 4)無視しているコストが大きすぎる. 使用済み燃料処理のコスト、技術開発のコスト、国と会社が自治体に落とす補助金等のコスト、廃炉のコスト、地域社会を破壊するコスト. 将来高くつく負の遺産が増えるのを止める絶好のチャンス. 5)これまで使ったのだから、段階的に止めて冷ゆけばよいという意見もあるが、今の機会を逃すと、危機意識が風化してしまい、次に再び大被害が起こることを阻止できなくなる. 6)エネルギーの地産地消を進める又とない機会である. これを逃すのはもったいない. 核融合と核崩壊熱をうまく利用すればよい. 核融合炉は1億5000万キロのかなたに配置し、電磁波で送ればよい. 核崩壊炉は地下に配置すればよい. 電磁波と地熱は海流、水流、波、風、有機化合物、など様々に様相を変えて人の生活圏に存在している. これらは貴重なエネルギー源である一方で、うまく制御しなければむしろ害となるものでもある. 科学と技術はこれらを有効に使うことを可能にしてきた. これらを放置したまま、さらに不必要に核廃棄物を作り出すことに合理性はない. 7)原子力以外の技術では経済社会の必要とするエネルギーがまかなえないのなら、エネルギーの要求量を減らすべきである. 成長（GDPの肥大）を必要とするらしい現在の経済システムには原子力でしかまかなえないほどの多大なエネルギー消費が必要不可欠であるならば、経済システムを変えるべきである. 経済の目的は生存であって、経済システムの維持に生存が脅かされては経済の自己矛盾である. 8)経済の成長が雇用の維持と・最低限の食物の生産に不可欠だとは思えない. 経済学はGNP増大が不可欠だと証明したのか？成書を読んでみてもそうは書いていない. GNPの増加に原発が必要だとしたらGNPの増加を止めればよい. 9)核兵器を製造するという特別な目的以外には、原発を維持する必要性はなさそうである. 原発を使い続けて核兵器で守るほどの祖国が残るのか. 10)Rachel CarsonはSilent springの中で述べている. 生命は何億年もかけて、放射能に適応してきた. 岩から溶け出したCaの毒性に対応し、骨や殻として無毒化しながら6ほとんどすべての細胞の応答に利用している. 生命が作り出してしまった酸素という猛烈な毒を、生命は逆に利用して適応してきた. したがって、今の環境が変化しても生命は対応するだろう. ただし、数年という時間ではなく数千年という時間を要する. 彼女は、適応が間に合わないスピードで環境が変化するとSilent Springが訪れかねないといっている. 原発の発生する放射性廃棄物、事故で排出する放射
18420	個人	家事専業	30代	女性	原発はいりません。ゼロにすべきです。	原発は要りません。福島をはじめとする東日本の多くの土地が、福島第一原発事故により、放射能に汚染されました。私も家族も被ばくを強いられ、引越しをしました。 国は非常時にはある程度の国民を犠牲にして体面を保つのが常とはいえ、日本政府の事故当時～現在までの事故処理と国民の健康管理に関する意識の低さは、常軌を逸脱しています。事故から1年4か月を経て、いまや日本国中に食品・肥料・がれき焼却などにより、汚染が拡大している状況です。ひとたび事故が起こると国家経済を優先するためにこのような状況になるということ、そして狭い国土と政治力のない我が国では、再び事故が起これば、おそらく今と同じように私たちの命を犠牲にする政策を取らざるを得ないのが現実でしょう。 今回の事故では幸運にも8割の放射性物質が海に流れました。偏西風の影響を受ける日本で次に違う原発の事故が起これば、国土のほとんどが汚染されます。 私たちの健康を返して下さい。安心を返して下さい。土地を返して下さい。私と子供のいのちは一つずつしかないのに。 私と子供のいのちだけでは飽き足らず、まだ経済至上主義と一部の人間の利権のために原発を動かす。そして将来の世代にも人体実験を強いるのですか。
18421	個人	自営業	50代	男性	2018年までに「ゼロシナリオ」を達成する事を望みます。それはゼロシナリオ以外では8割以上が核燃料サイクルを踏襲する可能性が高く、何ら脱原発依存と言えないシナリオとなっているからです。	2018年までに「ゼロシナリオ」を達成する事を望みます。それはゼロシナリオ以外では8割以上が核燃料サイクルを踏襲する可能性が高く、何ら脱原発依存と言えないシナリオとなっているからです。 　また、ゼロシナリオでも2030年とズルズルと長引けば、元の木阿弥と為る可能性も高く、抜達なエネルギー政策の転換を望みます。 　私は九州電力限界原子力発電所の有る玄海町に生まれ、現在も在住する農家です。九電のやらせメールと発端となった、県民説明番組にも参加しました。 　先日、地元の佐賀新聞から「やらせメール発覚1年」と言うテーマで取材を受けました。私の考えはそこに述べましたので、記事の一部を抜粋します。 ――――――

18425	個人	法人等	30代	女性	即刻廃炉希望！ 福島の原発事故から、私達国民は不安と戦い、本当の情報を求め、 人とのつながりを見出して、自然への畏敬、命の大切さという根 本的本質に立ち返っています。	理由 自分たちが制御不能なものは人間は作ってはいけないと考えます。 将来的に技術が良くなり、コントロールできると考えるのは楽観す ぎます。 そこに原発があるだけで精神的にも身体的にも沢山の、被害があるのに、 継続は考えられません。 国民の声を無視しないで.是非、勇気をもってやめるべきです。 たかが電気のために、私達が命をかける必要がありますか？わたしは そうは思いません。 どうか、他のエネルギーを考えて下さい。原発のために使っていた 予算や技術開発者を自然エネルギーのために利用してください。 原発が必要なのは、経団連ですか？日本経済ですか？アメリカ経済 ですか？世界経済ですか？ 今一度、生命の原点に戻ってください。 命を脅かし自然を破壊する不安材料はもういらないです。 なんのための誰のための政治ですか？一部の利権者のための政治は終 わらせてください。政治的配慮より国民の命を優先させてください。 福島の子ども達に希望を与えてください。 国民の声を聞いて下さい。 今が英断の時です。 脱原発、最終的に全て廃炉に。多少不便になったとしても命には代えられないのです。国民の願いです。 7代先まで子孫が誇りを持って笑顔で日本に住めるように考えてください。
18426	個人	会社員・公務員	40代	男性	今の現状では.原子力発電が必要。	今は.旧式の火力発電所を運転しているためにCO2がものすごい発生している。夜間もベース電力として火力発電所がフル稼働している。温暖化の現象は日本の気候に影響があると思う。大雨や気温上昇が目立つ。自然エネルギーが大切なのはわかる。夜や気象条件によって発電量が変わる不安定さを電池で補う技術がさらに進化することを望む。ウラン1gのエネルギーが石油2000リットル.石炭2t分と聞く何とか使用したい。化石燃料を使用し続けることはNOなのです。原子力の安全性をさらに高めて使用していてことが島国日本の選択として間違ってはいないと思う。
18427	個人	会社員・公務員	50代	女性	原子力発電によるエネルギー供給は今後0%にするべき	核廃棄物の処理の見込がないまま、原子力の利用を進めてきたことは間違いであったのではないか。未来にマイナスの遺産を残し続けることは即刻やめるべきだ。原子力にたよることなく、化石燃料にもたよることなく、エネルギーを得る研究はすでに始まっており、政府はそれを後押しするべきだ。 一時的なエネルギー不足には国民は耐えなければならないと考える。その時に財界が耐えられないからと言って、財界を援護するというのでは、誰のための政治なのか。 第2次世界大戦では報道が統制され、国民には何も知らされなかった。 今回の震災では、同様なことを感じている。核開発においても同様に国民に何も知らせないまま、進めてきたことに憤りを感じる。 「国民をバカにするのもいいかげんにしろ。」と強く言いたい。
18428	個人	会社員・公務員	40代	男性	「ゼロシナリオ」で進めるべき。 原子力は、根本的に制御不可であり、処分方法も未確立。 また、社会的コストも高く経済合理性もない。日本は再生エネルギーに集散に投資し、成長戦略につなげていくべき。	「ゼロシナリオ」で考えるべきと思います。 理由としては、大きく3つ。 (1)技術上の問題 ・原子力については、根本的に、技術上コントロールすることができない。 今回の福島の事故のように、冷却そのものが不可能になった際に、一旦そうなってしまうと、近寄る事おできず、制御することが修復する事が不可能となる恐れが高い。 ・使用済み核燃料の処分やリサイクルについての実現性が見えていない。 再処理施設をどうするか、もんじゅのようなリサイクルの仕組みが本当に可能かなど、実際のところ目処がまったくたっていない。 (2)経済合理性上の問題 ・社会的コスト、見えていないコストが相当な額存在し、経済合理的にも成立していない。ウラン採掘という行程から含めて被曝のリスクが存在し、発電コストに直接的にカウントできていないコストも相当存在するように思う。 ・また、保険会社が政府等の支援なしには保険化もできないものであり、それはリスクがあまりに甚大で、リターンに見合わないということを物語っている。 (3)日本の成長戦略への転換 ・ゼロシナリオによって、再生エネルギーに集散に投資し日本の成長戦略につなげる。 ・日本の技術を持ってすれば、再生エネルギーによる自給率もかなり高められるし、特に今回のエネルギー政策に対する国民の意識の高まりがあれば、利用者側からも積極的な再生エネルギー活用が見込まれ、官民一体となった成長戦略の実現が出きると思う。
18429	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発を廃止して自然エネルギーの利用を推進すべきだと思います。 また、病院や事業などでの電力不足、失業には、蓄電池や自家発電、省エネ施策な度に対して専用の補助金を出し、関連産業の発展を促す。	原発を廃止して自然エネルギーの利用を推進すべきだと思います。 自然エネルギーは、60か50Hzの交流の電気で動くものばかりでなく、いろいろな形態のエネルギーを利用する製品を増やすことで、停電、災害に対してより強い家庭になるのではと思います。 原発に関して、 原発が事故した時の損害賠償の価格は、電力会社1社が負える金額ではないと思います。それらは、使えなくなった土地をすべて購入したとした費用、あるいは借用したとした費用、つぶれた事業をすべて買収したとした費用、癌の慰謝料、除染費用、安全性の低下で売れなくなった作物、魚介類の被害額、避難者の移転費用などが必要となると思います。 これらへ税金を使わざるを得なくなったり、除染作業も完璧に出来るはずではなく、この地方の食物を回避する気持ちは残ってしまいます。このように万が一の場合のデメリットが大きすぎるので、原発は廃止した方がよいと思います たとえ、原発を建てるとしても絶対安全ではないなら、影響範囲の人々と万が一の時のための契約が必要だと思います。市長、知事が市民、県民の安全確保を保障できるわけないので、市長や知事による認可は無責任でしかないと思います 原発の安全を取り締まる人、電力会社の責任者は、家族を原発の近くに住まわせて、排水の近くで取れた魚で暮らしてもいいというぐらいに真剣な安全確保をして欲しいと思います。 地震、活断層、飛行機墜落、ミサイル、竜巻、くらげ、イナゴ、劣化、台風、磁気嵐、大雨、人工衛星の落下など。津波以外の有りうる災害も想定して何が起こるか検討し対策して欲しいと思います。 原発を0%にしたとして、 病院の電力については、生き続けることを望んでいない人に対する、緩和医療や自ら選ぶ安楽死に関する形而上学的、精神的、身体的な肯定的研究を増やすことが、高齢・重症患者のためにもエネルギーや社会の面でも今後重要と思います。また、今後少子化で人口が減るのでエネルギー消費も減るのではと思います。 原発を止めると経済力が落ちるのではとの意見に対して。 日本の経済力、GNPは、過労によって支えられてきたと思います。GNPが高い事が幸せではないと思います。日本の国際的な経済競争力が気になるのは、一部の人だけと思います。日本はGNP世界3位だが、幸福度は二十数位という事にも現れていると思う。便利と幸せは違うと思います。家族がいて、健康で、日々関わる人の間で自分なりの役割があれば幸せと思います。 電力不足や高騰で苦しくなる会社には、国から補助金をだし、省エネや自家発電関係の事業への転換、転職や電力不足対策をした費用を補うといいと思います。そうすれば省エネ産業も盛んになると思います。 国からの補助金は円を発行するか、あるいは、国債や税金から支払うといいと思います。円を多量に発行すると円安になるかもしれないが、国外から輸入する食糧などが高くなれば、国内の農産物の産業が盛んになると思います。 最後に、安定した為替相場の推移は、世界の多くの人の生活の安定に欠かせないと思いますが、不安定にしている原因は、先物取引市場を利用した空売りなどによる利ざやで稼ぐ行為だと思います。買うと言って買わない。売ると言って売らない。これを意図的に行うのは実質的には詐欺だと私は思います。国内で禁止するのはもちろん国際的に今後は犯罪の一つとして禁止するように働きかけるべきと思います。国民、国際社会が負うべき痛みは、その（悪く言うと詐欺師の）利益を利用している部分だと思います。 以上
18430	個人	会社員・公務員	40代	男性	エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」をとすべき 再生可能エネルギーの創出が経済の活性化となる	頻発する地震、引き取り手が見つからず処理が出来ない廃棄物、国土に巨大な空白地帯を生んだ現状と1年以上経ってもそれを活かす事が出来ない事を鑑みると現在の核政策には疑問を感じる。 だからこそ、エネルギーの安定供給の点からも核ではむしろ不安が払拭できない。 むしろ、再生可能エネルギーに対して明確な政策を行い　比率が増えていくことが　日本に対しての関心を継続して生み出し　経済活性化のチャンスがより大きいと思う。転換期には大きな明暗の変化があが　今がそのときと思う。
18431	個人	その他	50代	男性	シナリオ(1)原発ゼロ政策を強く要望する。 原発は核兵器と同様に、人類存続に対する脅威である。速やかに原発を廃止し、エネルギー転換することこそが日本と世界の安全を確かなものにすると確信する。	エネルギー政策決定には以下の四つの視点が必要である。 (1)倫理的視点　(2)自然環境的視点　(3)経済的視点　(4)世界の核政策の視点 (1)倫理的視点 これは行動原理として最も重要な視点であるが、昨今の議論で一番軽んじられているところである。原発は人の命への脅威であり、国民から故郷、国土を奪い去る脅威である。多くの人の快適な生活、利益のために、子供達を始め原発立地の限られた方々を犠牲にし、大きな危険に直面する作業員の方々に犠牲を強いるという、根底に功利主義的な差別の奴隷化が大きな問題である。この倫理時視点は経済に優先される判断基準であらねばならない。 (2)自然環境的視点 (1)とも関連するが、CO2以上に自然環境を汚染するのは明らかであり、今回の事故は勿論であるが、正常に稼働中も常に放射性物質は放出している。六ヶ所村では、クリプトン85だけでも毎年33京ベクレル放出されており、通常時の原発でも一基で年間0.09ベクレルくらい放出があり、環境汚染は蓄積され続け、多量の温水を海に放出し、海温の上昇を招いている。 放射能は自然から年間1.5ミリシーベルトは制御の範囲により長い年月の後に人類が住める自然環境の範囲であるが、現在医療から2.3ミリベクレル受け、更に原発等から人為的に加算され付加は高まるばかり、当然自然環境も同様の負荷が蓄積され、地球環境を汚染し続けている。 (3)経済的視点 今回の事故でも分かるように、健全な経営者感覚からすれば原発は割が合わないのは明らかである。電力会社が原発を続けようとするのも国の補償があってのことであろう。21世紀の世界の潮流は自然エネルギーであり、かつ自然に出来るだけ負荷の少ない方法への転換であるのは明らかである。政府ならびに政治が明確な方向性を示し、まずは発送電分離を早く実現し、電力会社の地域独占を廃止し、大小新たな電気事業が参入しやすい、環境整備をすべきである。これこそが政府のやるべき事ではないだろうか。エネルギー転換の大きなうねりの中に、多種多様な事業、産業が生れ、原発があった町にも、お金で奴隷化するのでなく、新しい発想による事業が起こされる、その可能性に満ちていると考える。将来のない原発にいつまでも固執するのでなく、この可能性に踏み出す勇気ある決断を強く望むものである。福島の人々を民目にこんな原発技術を発展途上国に売り込もうなんてことは、(1)の観点からも人道に背き、言語道断である。発展途上国の人が原発を欲しがっているのは、政府や政治家であって、国民は安全な電気が欲しいのは当然である。 だからこそ、日本が速やかなるエネルギー転換を果てし、その技術を輸出し、世界のリーダーシップを果たすべである。 (4)世界の核政策の視点 世界は1953年にアイゼンハウァー大統領が提唱した「核の平和利用」の再考が必要となっていることを痛感する。原発の推進と建設の広がりはプルトニウムの拡散を招いており、核兵器の転用という、原発のポテンシャルに日本の為政者の中にも、発展途上国の為政者は暗黙の期待を抱いている。このことこそが世界の安全保障の脅威であって、まずは日本が米国追従でなく、主体的に「核廃絶による平和の構築」のリーダーシップを取るべきである。そして、速やかなエネルギー転換の決断と行動それこそが、世界が真に期待しているところであると信じる。 以上のことを踏まえ、日本と世界の子供たちの希望と夢ある未来のために、原発ゼロを強く要望するものである。
18432	個人	自営業	40代	男性	原発は再稼働させてはならない。ゼロシナリオを支持します。	せっかく止めた原発を動かしてはなりません。原発が生み出した使用済み核燃料を処理するのにどれだけ時間がかかるのか考えてみてください。止めたものを動かしたら、エンドがさらに伸びるわけで、次の世代を生きる人類に負の遺産を延々と残すことになります。 必要だから動かすでは何もなりません。３１１の経験が全く生かされていません。あのときに気づいたことはなんでこんなものを作ってしまったのかという人類の愚かさです。それでも高度経済成長期は原発の恩恵を受けたかもしれません。でも時代は変わりました。今は原発を必要としていないのです。 日本経済は昔のように成長していません。おそらくこれからも成長しないでしょう。つまり原発が無くても生きられるはずなのです。再稼働はやめて欲しいと切に願います。そのための犠牲は受け入れるつもりです。 今こそ再生可能エネルギーへの移行を進めるべきでしょう。経済への影響を考えても、もはや国民は一致団結して乗り切らなければなりません。そのためのいいきっかけを天災が作ってくれた思うべきです。
18433	個人	その他	60代	男性	原発依存度は直ちに0%を切望します。	原発依存度0%を選択します。しかも2030年などではなく、今から直ちに実施することを切望します。活断層の存在を指摘された大飯原発は当然停止していただきたい。 原発はコスト的にみても決して安くないことが明るみになってきましたし、処理方法がない使用済み燃料をこれ以上増加させてはいけません。 私企業の電力会社にとって、原発設備が突如無用の長物となり、いきなり償却となれば多大な損失を負担することになりますから、それを避けたいことは理解できます。しかし、国策といえども政策の転換がないとはいえないし、もしくは原発がいつまでも継続できるシステムではないことは、専門家の電力会社が認識すべきことであり、それをしてこなかったとすれば、リスク対応の欠如が招いた自己責任にすぎません。 使用済み燃料処理ができず、万一の過酷事故発生のときには広範囲の周辺住民に多大な損害をもたらし、電力会社自身では対応できず、国に尻拭いしてもらい、自社は破綻するような危険な原発は一日も早く全て廃棄するスケジュールに乗せるべきです。 今後、原発の新設はありえませんし、たとえ既存設備を新たな厳しい基準と大幅なコスト増を覚悟で徹底した対策を実施して最大限稼動させたとしても、老朽化による故障トラブルの増加で稼働率が低下し、廃棄も進行して、２０３０年には恐らく依存度は１０％に満たないでしょう。 原発は電力部門では過去ピークで約30%のシェアでしたが、エネルギー問題全体で考えればその半分の寄与度となりますから、ピークでぜいぜい１５％程度でした。今後のエネルギー全体での原発の寄与率は上記のように無理やり再稼動させても最大でも１０％未満、平均数％でしょう。その程度であれば、今のうちから全く依存しないほうがましです。 原発の全面停止による生活の不便や経済活動の低下を懸念する面もあるでしょうが、国民の大部分はその覚悟はできています。むしろ省エネ、再生エネルギーの分野で新しい産業、雇用が生まれることが期待できます。 経済産業省は原発だけでなく、多角的に再生エネルギーの開発を進めてきた実績もあると聞いています。今こそ更に大胆に脱原発へと舵を切っていただきたい。事の始めから原発には頼らないほうがよい、したがって今から0%です。 以上
18434	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロシナリオを選択します。	よく、自然界にも放射能が存在しているので、低線量被爆は問題がないと言う人がいますが、すでに自然界の放射性物質で被爆してるのであれば、それ以上の被爆は避けるべきだと思う。 だから、少しでも人工的に作り出される放射性物質は無くなったほうが良い。
18435	個人	会社員・公務員	40代	男性	20～25シナリオを支持。もしくは第四の自由市場に任せるシナリオを支持する。ただし安全面やリスク管理に可能な限り努力することが前提。現行の原発管理体制には疑問が残る。	20～25シナリオを支持。もしくは第四の自由市場に任せるシナリオを支持します。ただし安全面やリスク管理に可能な限り努力することが前提です。菅内閣の対応を見ている全く備えが出来ていないとしか思えない。責任や役割分担が現実に即しておらず組織の見直しが必要です。また予備システムのPBS(Plant Behavior Data System)が無視されたことも残念としか言いようが無い。 是非、これらの痛い教訓を糧にして、現実的に日本が頑張れる政策を期待します。 ただ良く分からなかったのは、原発の建設廃炉コストや、火力水力その他の建設廃炉コストなどは適切に反映されているのでしょうか？新しく建て替えた方が効率的だったりしないのですか？
18436	個人	パート・アルバイト	40代	女性	原発ゼロパーセントシナリオ、唯一の脱原発を選びます。	原発の危険性や核廃棄物を出し続けることが恐ろしいから。 福島の現状やこれからのこと、子供たちの未来のためにも核のゴミを出したり、扱いきれないものに依存するのはやめてほしいのです。 また事故がおこれば私たちも避難生活や家族がバラバラになったり家族に自殺者が出ないとも限らない。 平和と幸せのために！もう原発は必要ない！！！

18437	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発比率0%を選択します。 原発は万が一の事故が起きた場合の被害が大きすぎます。 2030年までの実現が無理であっても、将来的に0%を目指すことを提案します。	原発比率0%を選択します。 原発は万が一の事故が起きた場合の被害が大きすぎます。 仮に身体的な被害がないと科学的に証明された場合でも、被ばくに対する精神的な不安や、いわゆる風評被害と言われるものを無くすことはできません。 それらを含めて全てが原発事故を原因とする被害となります。 試算によると、原発比率0%を実現するためには厳しい政策の実行が必要となるようですが、それに挑戦してでも、原発事故のリスクを無くしたいと考えます。 もし2030年までの実現が無理であっても、将来的に0%を目指すことを提案します。
18438	個人	その他	40代	女性	すべての原子力発電所を即刻停止し、原発依存度は0%にしてほしい	1）地震国である日本には原子力発電所は適さない。安全確保に努力すると言っても、これまでの様々な事故の原因を探れば、人間は必ず何らかのミスをする生き物であり、その人間が作るシステムには100%の安全はあり得ないことが明白である。また事故が起きた場合の被害は甚大であり、現在の政治家が「責任をもって」などと軽々しく言って保障できるようなものではない。 2）原発なしでも日本の電力は賄えることは複数の調査が算出している。（例えば長谷川公一『脱原子力社会へ』岩波新書参照）原発がなければ電力が足りないというシナリオには別の背景（当事者の利害関係や核武装の潜在的な可能性の保持など）があるとしか思えない。 3）再生可能エネルギーの開発・利用が重要であることは間違いないが、それを促進するための法的規定や政策を整えてほしい。例えば再生可能エネルギーによる電力の買い取りに制限を設けるなど、原発推進派のための抜け道だらけの仕組みを容認しないでほしい。 4）再生可能エネルギーに関わる議論ばかりがかんだが、日本はそもそも省エネルギー住宅や建造物（断熱のしくみ）を普及させるための法的規定の整備などが他の先進国に比べ著しく後れている。この点に関する政策を早急に整えてほしい。新築の建造物に限定するなどということではなく、古い建物にも外断熱やペアガラスの整備などによるリフォームを義務付け、一定期間は大胆な助成を与え、早いペースでの普及を義務付けるべきである（ドイツなどの法的規定を参照してほしい）。これが新しい産業の活性化の道にもつながるはずである。日本の政府・行政は、原発の再稼働やオスプレイの容認などでは民意を無視した決定を行う一方で、省エネ住宅の法的規定整備などのような長期的な視野にたった緻密な計画と決定のみがまったく欠如している。
18439	個人	自営業	30代	男性	「エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 明日にでも即刻、全国の原発を停止、廃炉にして下さい！ 原発の再稼働ならびに、今後一切の原発使用に断固反対します！ 原発ゼロシナリオを絶対支持します。	10万年も経たないと無害化しないものを作り出すなんて、 10万年後の人がいったいどんな気持ちになるか、想像出来ないのですか？？ 自分たちで管理、制御出来ないエネルギーなど使用するべきではありません。 地球の中を掘り起こして、ゴミの山にするのをやめてください。 お金の為に、地球をだめにするのを、今すぐやめてください。
18440	個人	自営業	40代	男性	2030 年のエネルギー・環境に関する選択肢（1）0%を支持します。	地震大国日本では原子力発電はあまりにもリスクが高い。 核廃棄物の処理を何万年もの先にまで伸ばねる種原が私たちには無い。 現存する原発は活断層の真上や付近に建設されたものばかりで即刻に廃棄すべきである。
18441	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオについて	地震からは逃れることができない我が国。有事に低でて対処すると必ず被害が広がります。特に今回の震災により、福島県を初め多くの被害が出ています。 子供を育てる立場からも生まれ育った環境から転居を余儀なくされた住民の苦痛は計り知れません。 やはり、脱原発「ゼロシナリオ」しか方法はないのではないでしょうか。国民が一体となり、節電に取り組み安全な日本を目指してほしいと思います。
18442	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発「ゼロシナリオ」を希望します。	原発「ゼロシナリオ」を希望します。
18443	個人	無職	30代	女性	ゼロシナリオにするべきである。	ゼロシナリオにするべきである。 福島第一原発は、今なお事故原因すら特定出来ていない。事故原因が分からなければ、再び同じ状況になった時、それを防ぐことすら出来ない。 福島第一原発のような事故があった際、それを人が制御することが出来ないものは、動かしてはならないと考える。また、放射性物質は、遺伝子レベルで子子孫孫にまで影響を及ぼす。そして、その影響の多くは未だ解明されていない。 また、使用済み燃料の保管や処理方法など、発電後も途方もない長期間に渡り管理や費用が必要であることから、とても国民や自然に負担の大きいエネルギーであると考える。 また、経済の発展は、国民が健康であって安全に働けることにより、初めて成り立つものである。健康を害し、安全な生活を奪ってしまう原子力は、いずれ経済の発展を止めてしまうだろう。 経済の発展は、最優先事項ではない。一時期話題になった議員の方の「2番ではダメなのですか」という言葉通り、経済だけが1番であっても意味が無い。日本は東端の島国である。そして世界トップクラスの技術大国である。地熱、波など、発電に使える自然はたくさんある。世界で唯一の原子爆弾の被害を知っている国として、原子力に頼らない道を全力で模索するべきである。今必要なことは、経済至上主義からの方向転換を図り、これからの日本らしい日本にしか出来ない未来を考えることである。よりよい日本の為に、一度立ち止まる勇気が、今最も求められていると考える。
18444	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発は不要だと思います。フルに使って電力が足りないのなら、まずは使用量を減らす努力をべきです。 原発稼働を容易に容認する政府は、経済社会のみを見て、国民一人ひとりの幸せを考えていないのではと感じます。	原発の再稼働、本当に必要ですか？大阪原発再稼働後、火力発電所を三機止めたと聞きました。波で電力を起こす技術を持っているというベンチャー企業の方ともお会いしたことがあります。 原子力発電が必須で必要だと思えません。 福島の原発事故後、会津若松在住の子供たちの体調に異常が出ています。甲状腺に無数の嚢胞。そして血流障害の指摘。親世代も「疲れやすい」と体調不良を訴えています。 除染活動に命を懸けながら、東電からは8万円しか補助金が出ないと嘆いている人がいます。 その一方、「命ではなくて「被ばく量」を気にして、線量計に鉛でカバーをつけるように指示した人もいます。 スマートメーターを全家庭に配布し、昨年のように各駅の照明を少なくし、工場の稼働を平日中心から土日中心にする。昨年カバーできたことが、今年度カバーできないとは思えません。 今の80%電力消費云々も、火力発電所を止めた結果の数値だと思います。正確な情報を国民に伝え、国民の意思を仰ぐことは政府の務めだと思うのですが、なぜ、わかりづらく、複雑な形での国民への共有になるのでしょか。まったく理解ができません。 東北で新しく建てる学校について「ソーラースクール構想」があるのをご存知ですか？昼しか使わない学校。必要な電力がソーラーパネルから得られるようにする。新しく立てる学校以外にも、屋上にソーラーパネルを設置できる学校や病院がどれだけあるか。 本気で脱原発を目指してください。苦しんでいる国民がいます。私の友人にも、地元に戻れなくなり、思い出も何もかもを失った気分だと言っている人がいます。 これからの日本、考えたくはないですが、まだ大地震は起こると思います。今回の福島の惨事を繰り返さないために、一刻も早く、すべての原発を再停止し、原発から脱却するというモデルを世界に示してください。
18445	個人	会社員・公務員	50代	男性	原子力発電を推進します！安価で安定的な新エネルギーが発見・運用されるまでは原子力が必要です。代替案もない人が、反原発を増えマスコミは、偏見に満ちた報道を繰り返しているが、国益の低減になるのでやめろ！！	原子力発電はまだまだ必要です！ 経済の発展も、快適生活の維持も、社会的弱者の救済も、安価で安定供給できるエネルギー（原子力発電）あってこそ成り立ってきたのです。 今まで、その恩恵を受けていたにもかかわらず、原発と原爆の区別がつかない政治家やマスコミの扇動によって、反原発をあおり、国益や発展を阻害しているのが現状です。 電力会社の姿勢もおかしいです！わざわざCMで、高額な宣伝費を使って「節電」を呼びかける違和感を拭も拭いないのはナゼでしょうか？ 企業が宣伝費を使って「買わないで下さい」などというCMをしているのと同じですよ！そんなバカげた」話はありません！ 政府も国民の生活や命が本当に大切ならば、一刻も早く安定電力を確保して、「安心して生活して下さい。安心して経済発展して下さい」と言うのが本筋でしょう！ しかし、現状は「国民みんなで、貧乏生活しましょう！発展をやめ、原始時代の生活に逆戻りしましょう！」と声高に言っているんです！ そんなこと人間として許されるはずがありません！本当に子供の未来を考えるなら発展し続ける姿勢です！そのためのエネルギーの安定供給です。 人間の本質まで破壊する反原発に反対し、より良い生活を未来の子供のために、発展的なニュー原発の提案を希望します！
18446	個人	自営業	50代	男性	原発0%火力0% 風力、太陽光、ゴミ発電など新しい選択の時代です。 日本はもちろん世界中に原発はいりません。	世界中から原発を手放すためにまず日本から率先して始める必要がありますね。
18447	個人	その他	30代	女性	原発0を強く願う	節電は辛いことではありません。 そもそも、過剰に電化し過ぎ、過剰が標準としか思っていなかった社会が異常だったのです。 電気無しの世の中にするのは無理です。ですが、ウラン採取の点を含めても原発はこの世で最悪の環境汚染を引き起こす発電方法です。 ですので、何としても、原発0の世の中になる事を切望します。 そして、自然エネルギー…を考える以前に、過剰過ぎた電化生活を見直し、電化に頼り過ぎない世の中を目指す事がなによりも大事な事と思います。
18448	個人	学生	10代以下	女性	私は原発ゼロシナリオを選択します。	私は、日本の未来のために、原発ゼロシナリオを選びます。 私は、中学校二年生です。福島原発事故が起こる前は、原発の安全性について考えたこともありませんでした。でも、今は違います。 国を動かす大人たちは、子供はしっかりとものを考えることができないと思っています。たかが子供の言うことだ、と受け流します。でも、それは違います。確かに、もっている知識は大人に比べて少ないかもしれません。しかし、考えることはできます。会社等、上の人の考えにとらわれずに発言できます。現に、私たち中学生は毎日のように原発再稼働について話し合っているのです。 今大人が決めたことを将来背負っていかなければならないのは私たちやその子供たちなのです。私は、未来の子供たちと、原発のある世の中で安心して暮らすことはできません。 日本の力、という言葉に大人たちはよく使います。原発がなくても国はやっていけるはずです。それを、日本が証明してはどうでしょうか。再生可能エネルギーを、日本の科学技術を活用して、より安全に、低コストでの利用を可能にすることは、できないことではありません。原発の危険性を世界に伝えること、それが、原発は暴走したら止められないことを知った我々日本人の責任だと思います。 核分裂によって電気をつくる原子力発電は、非核三原則に反しているのではないでしょうか。今一番恐ろしいのは、事故の風化によって原発に対しての危機意識が薄れることです。このままでは日本は同じ過ちを繰り返し、第二の福島を生み出します。日本には、いえ、世界中のどこの国にも、原発を管理することはできないのだということを、私たちは早く自覚しなければいけません。 私は、原発ゼロの世界を求めます。私たちが必要としているのは、例え原発をなくしたら停電の可能性があったとしても、「原発をなくすこと」によって、国民に更なる負担をかけるかもしれないが、みなさんも節電などで協力してほしいと言ってくれる政府です。ほっぽりしない物言いですむずるとも物事を引き延ばす政府ではありません。
18449	個人	会社員・公務員	50代	男性	2030年までに原発依存をゼロにする。 既存の化石エネルギーの使用、新たな化石エネルギー（シェールガス、ハイドロメタン）開発、風力発電の利用増大、太陽電池の効率改善に投資を行う。、	まず、ドイツに出来て日本に出来ない理由がない。 ふたつ、これ以上、放射性廃棄物を保管できる場所がない。放射性廃棄物を子供たちの贈り物にすることはできない。廃棄物の100年から1万年以上の管理など御話である。みっつ、危ないものを隠しすぎた。事故を起こした東電が収束のシナリオを明らかにできないものなど、不要である。 原発は原子爆弾のプルトニウムを作るため、アメリカが戦時中に作ったものであること、私たち被爆者の末裔にしっかり教育してほしい。
18450	個人	パート・アルバイト	30代	女性	ゼロシナリオを支持します（用意された選択肢の中からであれば）。原発がエコ、経済的という詭弁は、もはや許されません。	この度の原発事故で、真面目に働いて生きてきた人々が生活の基盤を失いました。将来に希望を持てず健康を害した人や、命を絶った人までもいます。罪のない多くの動物達も死にました。被害に遭った人々の生活の保障もできないのに、原発はエコ、経済的などの妄言はやめていただきたい。福島県の被災者をはじめとした国民をバカにするのもいい加減にしろと言いたい。 また、特定地域で健康被害が発生しないよう、全国にがれきをばら撒いて、国民をまんべんなく被曝させるのは、将来の訴訟を免れようという卑劣な行為であり、国民を守るべき政府・役人の職責から著しく逸脱した犯罪です。諸外国はこの所業に驚き呆れています。 放射能をまき散らして国土を汚染し、国民から税金をこそげ取って、原子力ムラの構成員や仲良く分配、という構造を叩き壊す必要があります。私たちの納めた税金が、無駄で有害でコストばかりかかった原発関連の施設に湯水の如く注ぎ込まれる現状は到底許し難く、国民が健康を損ない、命を危険に晒された挙句に、充分な補償もなく行ち棄てられるとしたら、日本はもはやチェルノブイリの事故を起こした旧ソ連以下の、最低国家です。このような異常で劣悪な施策し加担する政府は解体され、日本という国は、このままでは滅びてしまうでしょう。 今後の日本は、核の研究は必要最低限にとどめ、原発開発は即刻中止して、資金や人材を自然エネルギーの研究に振り向けなければなりません。 関係各位には、今回のパブリックコメント募集を単なるアリバイ作りにせず、ムラからどんななにお金をもらっても、利権を獲得しても、構成員からの恫喝があっても、一人の人間として、まっとうに生きるには何をすべきなのか、よくよく熟考の上、国民の意見を真の意味で公平にすくい上げて頂いにです。
18451	個人	会社員・公務員	40代	男性	新時代のエネルギー政策について。重要な事は、国内で自給できる部分を飛躍的に増やす事。日本の中の地域地域で局地的に賄える部分を増やす事。	エネルギーの自給は我が国にとって悲願とも言えるものですが、近年、メタンハイドレートやオーランチオキトリウム、バイオディーゼルオイルとして容易に使用可能で容易に栽培できる植物など、これまでの常識では考えられなかったことが現実味を帯びてきています。ここは国内のエネルギー関連の企業にも積極的に参加してもらい、強力に自給への道を突き進むべきです。それによって、安全保障と経済的独立性を共に強化出来ます。ただし、是まで世界中にエネルギー資源を供給して来た世界企業からは大きな抵抗を受ける可能性もあります。強力に施策を進めつつも余り大っぴらにしない方が賢明かも知れません。また電力供給ですが、是までの集約的に大きな発電所から配電するスタイルを止め、昨今流行りのスマートシティ化を完全に実現するべく急速に進めて技術開発を急ぎ、インフラやシステムのみ、マネジメントのみ等、新興国に売り込める様にする事。何処の国も日本の鉄道などと大規模なシステムの優秀さは知られる所で、絶対に他国に対するアドバンテージは高い筈です。 そして、我が国は自然災害が極めて多く、集落や一都市が被災によって孤立する事もまま有り、情報化社会の今、電力の寸断は人の命にも関わる重大事です。電力を小さな単位で供給し、それら多数在の電力網で賄く事で部分的なる時にも電力だけは供給可能になるはずです。この際、電源周波数の統一とスマートシティ化は必須で、さらに結果として原発の様な巨大なシステムは不要になります。さらにこれらの実現には強力なリーダーシップや関係者の取り纏め、理想の追求、公共事業が必要になり、疲弊した日本経済の浮揚に繋がる筈です。 但しそうして経済が日本の自力のみで立て直せたとした場合、今より更に円高になること請け合いですが。
18452	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発が安全ではないことが、福島の事故で証明されました。もう、原発は全廃しかありません。	政府も、電力会社も、さらに原子力を推進してきた学者や技術者たちも、ひた隠しにしてきた原発の（過酷事故）の危険性。そして、それを知りながら、国民に（安全神話）を喧伝してきたマスメディア。結じて「原子力村」の利害に振り回されて、騙されて、54基もの原発を作らせてきてしまいました。 でも、それは、あくまで「絶対安全」という「約束」に「納得」してのことでした。しかし、福島原発の悲劇は、この「約束」がウソであったこと、原発に「絶対安全」などともはや誰も言えないこと、むしろ、ひとたび事故が起これば、ふるさとも、暮らしも、命も奪われる「過酷事故」になってしまうということ、これを証明してくれました。 そして、安全神話が崩壊した今、原発の持つ問題性を直視せざるを得ません。 第1に、原発は、その通常操業でも原発ジプシーと言われる労働者への放射能被害の押しつけの下に成り立っていること。 第2に、「絶対安全」と言いつつ、法律も実際の運用も「都会」や人口密集地から離れて設置されながら、実際にその電力を使うのは大都会であるということ。これらは、差別以外の何物でもありません。 第3に、原発は、電力を作ると同時に、原爆の原料であるプルトニウムを大量に作り（元々それが目的だった）だし、そのことが日本だけでなく地球全体の脅威になっていること。 第4に、使用済み燃料はとてもその毒性を「処理」することなどできず、ただただ永続的に何万年も「保管」するしかなく、しかし日本ではその場所もないこと。再処理は、高純度のプルトニウムを作り、たとえ成功しても、リスクが高いこと。 以上の4点の差別性とリスクを考えれば、安全神話が瓦解した今、原発は即刻ゼロにすべきです。
18453	個人	家事専業	50代	女性	日本はドイツの様に電力の原発依存を止め、早急に再生可能エネルギーに依る発電するべき。	未だ福島の原発事故も終息したとは言えません。地震や台風の度に、どれほど多くの人々が福島やその他原発のある場所を恐怖とともに注視している事か。この状態で再稼働はあり得ません。日本は再生可能エネルギーに依る発電するべき。大体、今の政府の原発推進の姿勢は憲法違反ではないですか？国民の生命財産を危険に晒していますしか？
18454	個人	無職	70代	男性	エネルギーの発生方式の議論だけでなく、毎年繰り返される自然災害時にも対応できるFC（燃料電池）を主体とした個人単位の「パーソナルインフラ」の整備を提案する。	・今回の原子力発電所の災害によって湧き起こっているエネルギー対策を見ると、太陽光・地熱発電・風力発電など主にエネルギー源だけが争点になっているように思われる。 ・一方で今回の福島のように地震・津波による被害だけでなく台風や大雨又それらから派生する地滑り・液状化等毎年多くの人々が犠牲になっている。 ・我々の子供の時代即ち高度経済成長期前はどうであったか？大都市以外はほとんど各家庭に井戸が多く新で煮炊きをしていたので今起こっているような災害が起こっても給水車の世話にもならずに煮炊きは出来、ろうそくで数日間は何とか暮らせたものである。 ・現在はこれ等、命をつなぐ基本的インフラが全て大規模化されシステム化され全国的に一元化されているため脆弱なインフラ設備になって災害の度に被害を大きくしている。 ・近年、燃料電池技術が向上し既に一部のメーカーから製品が売り出されており、その性能も相当のレベルに達している。燃料電池は水素を燃料として電気と水（温水）を発生させるものであり、其の両方を利用すると効率は90%を超えるとメーカーでは宣伝している。 ・一般家庭では必ず電気と共に水（湯）を使うものであり、燃料電池はその双方を供給できる機能を有している（もちろん飲料にするためには適切なろ過装置が必要であるが）の少なくとも「明かり・煮炊きのエネルギー源・水」と言う生活に必要な最低のインフラを供給できる。 ・次に重要なことはエネルギーの元になるガスの供給であるが、これを現在のようなガス配管による集中供給方式ではなく田舎で行われているプロパンボンベによる方式或は、寒冷地で行われている灯油タンクを各家庭に設置するような方法で戸別供給或は分散供給にする事によって大規模な災害が起こっても地域全体のインフラが全滅するようなことは無い。 ・次に二酸化炭素の問題であるが、化石燃料を使うと起きる問題であるが当面は天然ガスから生成すると して、メタンハハドレードの開発も現実的になり、何よりもエタノール等は再生エネルギーとして今後開発が進むことが充分考えられるものの様な分野に資金を投入すべきである。 ・太陽光発電の場合は、バックアップが必要で効率も悪い（例えば雷電池による充放電電を考えると其れだけでも最低20%程度のロスは考慮する必要がある）。 ・少なくとも今回の東北の被災地は高台移転も含めーからインフラ整備をやっていく必要があり、初期投資も従来方式より安くなるのではないかと思われる。 ・原子力発電は研究用のため3基程度は残してそれ以外は寿命の来たものから順次廃炉にして行き、日本は廃炉技術を確立し世界の市場を狙う方が得策と考える。
18455	個人	会社員・公務員	30代	男性	新たな事故の危険も、未来の世代に後始末を押し付けることになる核廃棄物も、これ以上増やしてはならない。今すぐ原発をゼロにすべし。稼働中の大飯は即停止、その他の原発は再稼働せずに廃炉作業に入ること。	新たな事故の危険も、未来の世代に後始末を押し付けることになる核廃棄物も、これ以上増やしてはならない。 「核廃棄物から放射能を取り除くことができない」という事は、物理学を学んだものにとって「永久機関を作ることはできない」ことと同じぐらい自明の理であり、その結論に目を背けることは知性に対する背信だ。 地中埋設による最終処分も、どうやったら数百万年先の未来の人類に影響を与えずに済むか？そんな方法があるのか？真面目に検討したことはないはずだ。数百万年前に海だった地面が時とともに山麓を形成したり、たった1回の地震で、陸地だった場所が数百平方キロメートルにわたって海没したりする。それが、私達の住んでいる地球のダイナミズムだ。 本気で未来の人類への影響をゼロにしたいなら、核廃棄物は宇宙空間⇒太陽に投棄する以外に方法は無い。軌道エレベータが実現しそれが安定的に運用されるという事でもない限り、そんなそんなことは不可能だ。 したがって、今すぐに、早急に、即刻・即時に、時をおかずに、機会を逃さずに、いささかの遅滞もなく、原発をゼロにすべきだ。 稼働中の大飯は即停止、その他の原発は再稼働せずに即廃炉作業に入ることを強く要求する。

18456	個人	自営業	50代	男性	CO2無排出で無尽蔵・低コストに発電する可能性を秘めた海流発電技術を、実用間近かまで開発した中小企業がある。実現すれば原発依存度低下は容易。資金繰りに苦労しており、政府の補助金・融資で援助すべき。	現在の政府のエネルギー選択の議論は、ペーパー「エネルギー・環境に関する選択肢」にもある通り、現段階での（既存水力を含む）再生可能エネルギーの選択肢だけでは、原子力を大幅に置換したくとも、経済性や環境を犠牲にすることなくそれを可能とする技術・エネルギー源は、現在のところ見当たらないという前提からスタートしている。 たしかに、太陽光や風力エネルギーでは、機器の低コスト化を見通しに入れることはできても、取り出せるエネルギーの変動の予測が困難という点から、電力の限界性（常に需要のタイミングに需要があるだけ供給が必要である）との齟齬がつきまとい、発電電力一単位当たりでのコスト引き下げには限界がある。蓄電設備または電池の劇的なイノベーションが無い限り、これら現有の再生可能エネルギー技術では、原子力を大規模に置換できるとあてにするのは、現実的でない。現有の選択肢の中から現実的な政策選択を行い、政府として現段階での中長期の青写真を描くのは、支持せざるを天ないやり方である。 ただ一方で、より有利な選択肢を発見し、育成する努力は不断に継続しなければならない。ここでは、今回のエネルギー選択の議論の枠外ではあるが、将来有望な選択肢になりうるものを政府が見逃しており、そこに、今まで以上に注目し注力するべきであることを指摘したい。 海洋エネルギー利用技術の開発に関して、日本は海洋国であるにもかかわらず、大変遅れていると、最近のNHK番組が指摘していた。英国では、国策として研究設備と隣接する実験可能な海域を用意し、大学・企業・発明家、外国勢国内勢を問わず優秀なアイデアには門戸を開いて、国費を投入して、多くのアイデア・技術の実用化を競わせている。 一方で、同じ番組に取り上げられていたノヴァエネルギーという日本の中小企業は、独自の海流発電技術の開発で実用化に近い段階までこぎつけながら、事業化への資金繰りに苦労しているという。当該技術の特許を保有しているこの企業の社長は、英国の上記機関から研究に加わらないかと招致されたが、日本発の技術・製品として世に出したいと、その招致を断ったという。 このような英国との比較のエピソードひとつとっても、日本政府の研究開発費配分のメカニズムは機能していると言えるだろうか？時代の要請に合わせて、日々仕組みの更新を行い、官僚的惰性に流されぬような仕組みを組み込んでいるのだろうか？既存の大学・政府系研究機関が、税金から出る研究開発費の補填を政治的な既得権益として食いつぶしているのではないか？原発村の一部をなすといわれている大学研究室・研究機関が、研究開発費配分のメカニズムに跋扈し、原発村から研究費が出て行かないように、操作しているのではないか？英国と日本のあり方の違いを見て、そういう感想を抱かざるを得ない。将来の国運を左右する技術の開発に お金が回らないのであれば、何のための増税か？ ともかく、このNHK番組に取り上げられていた、ノヴァエネルギーを初めとする、海洋エネルギー・海流エネルギーの開発に携わる企業、とくに独立のベンチャーにも、政府関係機関からの研究補助費や、政府系金融機関の融資が、戦略的に配分されるよう検討して欲しい。事業仕分けで浮いた予算や資金を、是非こういう分野に重点配分して欲しい。 私は技術者ではなく専門外ではあるが、ノヴァエネルギーの技術をウェブで一読したところ、常に一定したエネルギーを持つ海流を、非常にシンプルなタービンを使用して回転エネルギーに変換することが可能で、それを電力に変換・送電する設備も非常にシンプルなものですむとしている。実用化すれば、無尽蔵の黒潮のエネルギーを日本の多くの場所に送電できるのも、夢ではないように見受けられる。海流のエネルギーは常に一定なので、太陽光や風力の持つ問題性とは無縁であろう。設備はシンプルで比較的安価にすむように見受けられ、大規模システムで稼動することができればコスト効率も高いはずだ。 この技術がもし実用化され、コストも発明者が唱えるとおり低ければ、地球温暖化問題、エネルギー安全保障、コストの抑制・空洞化の問題等、今回の政策選択では相互にトレードオフを有するとして議論せざるを得ない諸問題・諸課題が、比較的容易に解決できるかもしれないのである。実用化は先でも、その目処が数年のうちに立てば、エネルギー選択の政策は、大幅に楽観的な修正が可能となるかもしれない。将来の原発依存ゼロも夢では無くなるかもしれないのだ。こういう技術開発に、十分国の資源が配分されるよう、政府として尽力していただきたい。 ノヴァエネルギーの連絡先等 http://www.nova-ene.co.jp/
18457	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発を即刻ゼロにしてください。「2030年に原発ゼロ」では遅過ぎます。	「100%安全なものは無い」ということは誰であれわかっている思います。 原発は事故が起きた時の被害が大き過ぎます。 すぐに原発をゼロにしてください。
18458	個人	家事専業	50代	女性	原発は今後も安定した電力として最大限利用して欲しいと思っています。	福島の原発事故後、原子力が安全であるという前提が崩壊したといわれますが、そもそも全ての事象においてゼロリスクは存在しない。存在しないものを「絶対安全である」と言ったかいわないかは知らないが、少なくとも周辺住民はゼロリスクを信じていた。それは原子力発電所の責任ではない。運用上の瑕疵である。 リスクが存在するのであるから、それを減じるために最新の施設、設備に更新したりシビアアクシデントに対しての対応を可能な限り網羅すべきで、原発いらないという結論は飛躍がすぎる。 というより、この国の国民性なのか新型インフルエンザのときもそうだったが感情と行動が極端に振れすぎる。集団ヒステリーのようだ。 原発を直ちにゼロにすべきと訴える人たちは「経済より命が大事」というけれど、お金がなければ、仕事がなければ命も繋げないという想像力が欠落しているのではないか。未来のこどもたちに美しい日本を残すまえに、こどもすら持ち得ないような産業の衰退を引き起こすかもしれないことには考えが及ばないのであろうか。 世界では今後も原発建設が進むであろう。世界の趨勢がそうだから日本もそうすべきとは思わないが、現実的に考えても原発は優れた発電である。原発は減らす、よりも核をコントロールすべく尽力すれば世界にその技術を売れると思う。 これ以上経済を製造業を衰退させないでほしい。
18459	個人	パート・アルバイト	30代	女性	(1)ゼロシナリオを選択致します。	2030年までに、とのことですが、原発事故は、大小含め、いつも起きています。そもそも、平常時での原発稼働時でも、微量とはいえ、放射能を含んだガスが、毎日24時間排出されています。 もろろん、生物にとっては脅威です。 まして、去年の福島での事故。野田総理は、収束宣言されましたが、信じている国民は果たしているのでしょうか？原炉にさえ、最低40年もかかりますし、状況によっては、さらなる年数が必要とされます。そして、最終処理するのにも、問題は残っています。火力などと比較にならないほど、金額はかかり、環境も悪化します。どうして、目先だけの私利私欲でご判断されるのでしょうか？ 人口も減ってきているのに、これ以上原発に頼る必要があるのでしょうか？関西電力など、大飯を動かしたら、火力発電を止めていますよね？原発など必要ないのです。 2030年までになどと言わず、原発を即刻廃止し、全面的に自然エネルギーに転換して頂きたいと思います。それが、福島の事故を経験した我々の世界に対するメッセージかと思います。新しい発想で世界をアッと言わせましょう。
18460	個人	会社員・公務員	40代	男性	「2030年に原発0」 福島第一原発の事故原因の究明と徹底した再発防止策ができるまでは、 再稼働すべきでない。	エネルギーと環境に関する選択肢を議論するなら、原発だけをどうするかを話し合うのは歪である。 再び原発事故が起こる可能性が、冷静に判断されていない。少なくとも絶対に起きないということはない中で、我々国民がそのリスクを負いきれない。
18461	個人	会社員・公務員	60代	女性	原発は0%でお願いいたします。真の科学者を信じて！原発再稼働は国土を喪失する以外の何物でもありません。命をかけて出勤する機関をつくり、精鋭をそろえ訓練しそのための法律もかえて下さい。	福島4号機の使用済燃料棒約1300本、未使用核燃料棒約200本がくずれそうな4号機の3階のプールの中で、少しづつさびながら、また、いつ新たな地震、津波がくるかもしれない中で、1本とり出すのが、精いっぱいという現状、またすべて取り出すのにあと何年かかるのか、それまでにどんな安全が保障されるのかということです。そんなときに大飯原発再稼働は狂気の沙汰。世界の恥としかいいようがありません。この状況で稼働されるなら、米のように電源喪失後すぐに自家発電フォローできる機関が現在存在するのですか？ 法律もかえ国民（妊婦、こども）の安全を100%保障してほしい。 また、海にかこまれているこのめぐまれた国土をもっと見つめなおし、新しいエネルギーを模索してほしい。緊急課題です。もっと国民に心を開くべきです。国民は真実を知りたいのです。
18462	個人	パート・アルバイト	50代	女性	原子力発電所は0%にすべきだと思います。福島の事故があったからと云う訳ではなく、日本のような地震など自然災害の多い島国には原子力発電所は不向きだと思います。	原子力発電所がなくなると多くの方が仕事を失うとか、日本から製造業が海外へ移転してしまうとの意見をよく聞きます。本当にそうなんでしょうか。原子力発電所をこれから順次廃炉にして行くだけでも何十年も掛かるでしょう。それに付随した膨大な仕事が生まれると思います。廃炉処理や放射能廃棄物の安全な処理方法などの技術を開発すれば大きな産業になりうると思います。今まで原子力発電所に注ぎ込んでいた資金を処理技術開発と新しいエネルギー開発に向けてほしいと思います。また一般家庭は基本的にエネルギーは自給自足を目指し、それは太陽光・地熱・風力・波・小水力など複数の方法を組み合わせて考えればよいと思います。そのようにすれば、災害に対しても今より強靭な社会が築けると思います。日本のように災害の多い国ではとても重要な事ではないでしょうか。結局、今の日本は大部分のエネルギーを海外に頼っている状態なのでそれを改善するためにも必要な事だと思います。
18463	個人	自営業	40代	女性	原発は必要ありません！！	子ども達に、安全な未来を残したいです。 原発に代わる自然エネルギーの研究がすすんでいるはずです。 電力会社の社員の雇用の問題等があるのでしたら、自然エネルギーの開発や運用に雇用をしていけば良いでしょう。 核で作るエネルギーには、多大なリスクを伴います。 この、地震大国である日本では、原発は無理です。 人口がひしめきあう日本では、リスクが高すぎます。 ひとつの町の採決だけで決められる問題ではありません。 事故が起こる以前に、原発施設周辺では異変も起こっています。 原料となるウランを採掘する人々の放射性物質による被ばくにも、目を向けてください。
18464	個人	無職	40代	男性	2030年、原発0%。	今の「ヒステリックな原発反対」には反対です。 復興にも最低限のエネルギー確保にもまだ原発は必要です。 しかし、ハード面・ソフト面でもバージョンアップの見えてこない原発には信頼が置けません。 たしかに、今後政府は津波・耐震対策をすることを決めていることは知っております。 でも、遅きに失したのです。 また、廃炉完了までも時間がかかるのも事実です。 果たして、廃炉が決定したものに対してもそこまで責任もって対策してもらえるのでしょうか？ もはや、今の日本に信用できる要素はなにもありません。 なので「2030年、0%」です。
18465	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発0を支持。それも「2030年に原発0」ではなく「即刻、原発0」を主張。	「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張します。 理由の1つは、原発の耐震性、つまり地震動の想定が甘すぎると考えるからです。 今回の震災では宮城県栗原市で2933ガルを計測しました。 しかし約3000ガルもの地震動に耐えられる原発はありません。 例えば、中部電力の報告によれば浜岡原発の想定地震動はわずか1000ガルです。 更に、国会事故調の報告では、福島第一原発事故の原因として、 地震によって電源が損失した可能性が指摘されています。 地震国日本でこのような脆弱な技術を使用する事には断固反対します。 もはや想定外なんてことは絶対に許されないのですから。
18466	個人	会社員・公務員	40代	男性	「原発ゼロシナリオ」を選択します。省エネルギーと再生可能エネルギーの推進、そのための抜本的な政策の転換で、目標は十分達成可能です。	「原発ゼロシナリオ」を選択します。 省エネルギーの余地は少ないとされていますが、住宅の断熱性能の向上等まだ多くの余地があると考えます。また、再生可能エネルギーの推進のための抜本的な政策の転換で、目標は十分達成可能です。 さらに、使用済み核燃料の中間貯蔵及び最終処理のめどがついていない状況でさらなる原子力発電所の稼働は事実上困難であり、原発ゼロシナリオがむしろ現実的であると考えます。
18467	個人	その他	40代	女性	原発依存0パーセント、脱原発を目指して欲しい。	何のための電気だろうか。暮らしを豊かにするため？しかし核の恐怖にくるしめられながら、どこにいのちの「豊かさ」があるだろうか。 経済のために人間の命を犠牲にする国の方針には反対。 未来の日本を生きる人たちのために、 今こそ、原発依存0パーセント、脱原発の高い理念を掲げ行動すべきと考える。 広島、長崎の原爆を受けた日本は、核の恐怖を訴えていく使命があると思う。
18468	個人	会社員・公務員	40代	男性	エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 「2030年に原発0」ではなく、「即時、原発0」を主張します。	今回の選択肢の前提自体が、政府のエネルギー・環境に対する姿勢の 問題意識の欠如を示している。 再び事故が起これば、日本は再起不能になる。政府は短期間で、原発に代わるエネルギー開発スケジュールを国民にしっかり示すべきであり、それを実行する体制を提示しなければならない。 経済効率等の理由で、原発を残す選択肢は、ありえない。 津波対策さえも経済効率重視で、なおざりにした行政、電力会社に原発の運転資格はない。
18469	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発はもっと増やすべきです。今回の3つの選択肢にはどれも反対です。	原発をもっとすやすやさせます。 今回の3つの選択肢とも反対です。なぜ、選択肢の中に現状維持、あるいは現状より原発の割合を増やすものが無いのでしょうか？様々な選択肢を挙げた上で国民が自由に選べるようにしてほしいと思います。このような選択肢しかないパブリックコメントはそもそも成り立たないのではないでしょうか？ 原発に反対する人たちにすり寄り過ぎだと思います。 私は、現在のエネルギー事情を考えれば、原発をもっと増やすべきだと思います。 中東の政情の不安定さ、中国の海洋進出などを考えれば、火力発電による安定供給は危ういと思います。太陽光などの自然エネルギーも将来に向けて研究は続けるべきですが、効率の点から言っても、原発には遠く及びません。 そもそも今回の大震災で放射線で亡くなった人はおろか、健康被害を訴えている人が一人でもいるのでしょうか？ 政府も原発を悪者にし過ぎだと思います。 私は、今回の選択肢の中にはありませんが、現状よりもっと原発を増やすべきだと思います。
18470	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発に依存しない社会を希望します。	あまりに危険なのが明らかだからです。 今回の福島原発の事故でどれだけの人が生活を奪われてしまったのでしょうか。 人間や生き物が住めない土地をこれ以上増やしていい訳はありません。 2度とこのようなことにならないためにも、原発は廃止していただきたいです。
18471	個人	無職	70代	男性	原発ゼロシナリオを選びます。もともと日本には、原発は作るべきでなかった。 なぜなら 日本は原爆の投下された国だから。	原発ゼロシナリオを、当然選ぶ。被爆国日本の採るべき道は、最初からこのスタンス以外無い筈です。 その取るべき道を誤った政治家及び官僚は、非を認めて路線変更をしなければならない。 原爆の被害の更に上塗りとして、放射能の撒き散らしなど、とんでもない話です。 今こそ、日本を、正しい道へ引き戻さなければならないと思う。
18472	個人	会社員・公務員	40代	男性	福島での事故は非常に大きく重大なもので、被害にあわれた方にはお見舞い申し上げますが、現在ある原発に関しては点検等が済み次第速やかに再稼動すべきだと考えます。 （電力会社とは一切関係の無い者です）	今回の東日本大震災において、福島の原発も、また女川原発も原子炉停止は、無事に出来たと考えます。（福島に関しては推定ですが） 福島の事故はその後電源消失が長引いたために起きたものです。 原子炉や燃料貯蔵施設に関しては発電（稼動）していようと、停止していようと 常に冷却する必要があり、仮に原発を停止していても、冷却が出来なくなれば 福島と同じ事故が起きるものだと思います。 また、仮に停止後廃炉にすることになったとしても、それには数十年単位での時間がかかると思いますが、その間当然冷却は続ける必要があります。 つまり、現存する原発に関しては稼動していても、していなくても危険性のリスクは殆ど変わらないと思います。 であるならば、現在ある原発に関しては、福島の教訓を生かし、冷却設備の強化などを行い、点検後速やかに再稼動すべきだと考えます。
18473	個人	家事専業	50代	女性	2030年の原発比率は0%に。2012年の現在から今後の原発再稼働には反対します。大飯原発については、活断層調査をして下さい。重要免震棟、フィルターベントの装置も無いままの再稼働はやめるべきです。	国民の声を聞く姿勢を持たない限り、政権は持たないと思います。原発安全神話は崩壊しました。私達は原発の真の姿、危険極まりない現実に気づいています。情報操作で、世論を誘導できる時代は終わりました。原発の無い社会を築くことこそ、世界に誇れる日本の姿だと思います。ドイツもイタリアもオーストリアも原発は止めています。アジアで初の脱原発国となることを願います。

18474	個人	無職	60代	男性	原発ゼロ。まずは福島の事故終息に全力を注ぎ、これ以上の再稼働はせず全ての原発の廃炉準備と安全対策を図る。省エネに全力を注ぐことを政府が宣言する。再生可能エネルギー政策の推進を明言する。	今回の事故で世界中に迷惑をかけ自然を破壊し、いまだ放射能を垂れ流し続けている。これからは償いの意味も含め廃炉技術、事故終息技術を確立して地球上から核を無くする先陣を切るべし。 1　核を無くす技術は、原発を造るより困難であり、今後はこの技術で世界に　貢献すべき。 2　代替え燃料として （1）メタンハイドレードの掘削を本気でやる。のんびりしすぎである。 （2）佐渡沖の開発を急ぐ。 （3）東シナ海のガス田開発を直ちに着手する。中国のいいようにさせな　い。 （4）世界最高の石炭火力発電技術を活用、技術輸出と国際貢献にもなる。 3　木材の活用。 （1）これからは水が重要な資源となり、その確保には森を豊かにすること　が重要で、山を手入れすれば多くの木材が発生する。そこで木材を燃　して、発電し湯と共に地産地消、売電する。海も豊かになり労働需要　も多く発生する。 （2）今日本中で洪水や山崩れが発生しているが、これからはもっと酷くな　ると予想でき、多くの原因が山を針葉樹だけの山にしてしまったこと　と、それが放置林になっていることにもある。間伐や雑木との混植等　で多くの木材が発生する。住宅等向け国産材と燃料、労働需要が発生　し続ける。 （3）震災の木材瓦礫処理に困っているが洪水で出た木材も相当な量であり　これからも発生する。これをただ燃やす手ではない。燃料にすべきであ　る。 4　水の利用。 （1）小水力発電のための規制緩和と無駄な規制排除、役所の一本化。 （2）海水利用の促進、潮力等無尽蔵のエネルギーがある。 5　風力発電については、低周波装置、騒音、国産メーカー使用等十分に配慮　すべき。 6　太陽光発電は促進すべきだが、無秩序に地面へべたた置きするのはいかがな　ものだろうか、狭い国土の大切な平地である。せめて下が利用できるよう　にすべきである。作物を作るとか、駐車場にするなど（静岡県の企業が最　近開発したものはいい参考になると思う。川勝静岡県知事が静岡空港の駐　車場への設置を検討している）早急に手を打つべきである。 まだまだ、書き足りませんが、以上とします。
18475	個人	家事専業	30代	女性	「エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 2030年までに、ではなく、直ちに原発0を！	なぜ、直ちに原発0の選択肢がないのか。 2030年までは原発を稼働させるのが前提としてあるのなら、このパブリックコメント募集に何の意味があるのか。 私は原子力発電に未来はないと思う。一部の人間の利権のために選択をまちがえることはあってはならない。
18476	個人	自営業	20代	男性	一刻も早く稼働している原発を止めて、自然エネルギーにシフトをして欲しい。そして、全ての原発を廃炉にしてください。	全ての国民が健康で文化的な生活を送ることは憲法で保証されています。この後に及んで原子力発電を推進しようとしている政府は明らかに憲法違反だと思います。今すぐに大飯原発をストップし、原子力に全く依存しない安全なエネルギー政策を行うべきだと私は強く思います。
18477	個人	自営業	50代	男性	原発再稼働せずに電力不足を解決できる方法はあるでしょう。 よって原発再稼働もなし、将来も稼働しなが一番です。	早急な電力不足で経済の停滞が心配されますが、国民総出で節電すれば十分に原発がなくても電力はまかなえるでしょう。そのためには国のリーダーシップを発揮する必要があります。また、化石燃料などによる発電で電気料金が上がることが指摘されているが、電力会社の経営改善をすれば十分に発電コストは吸収され電気料金のアップにはなりません。玄海原発に見学に行きましたが、見学施設などの維持、管理費など無駄でしかありません。 また、再生可能エネルギー、クリーンエネルギーによる発電システムが電力会社、民間企業、一般住宅にも普及する政策をもっと打ち出していく必要があるでしょう。一日も早く原発事故のない日本にして頂きたいと共に、世界に範たる日本になることを望みます。 諸問題ありますが解決できるでしょう。
18478	個人	会社員・公務員	50代	女性	2030年において原発比率0％支持とその理由	国内及び地球上のすべての地域において原発の廃止を求めます。 地球上において唯一の被爆国である日本が、世界の核兵器を廃絶する役目を担っていると確信するからです。 そのためには、まず、原子力の平和的利用などという脱非に惑わされることなく、原子力との関係を断つことが必要であり、その第一歩として、原発の完全廃止を強く求めます。 原爆投下後の広島・長崎のこれまでの復興を成し遂げた日本の科学力をもってすれば、原子力に頼ることなく、エネルギー問題の解決は可能であると信じます。 "再び"ではなく、"二度許すまじ"と唱わなければならなかった長崎の無念さを、今一度、思い返して聞きたいと願います。 日本が、原発0％にすることが、どの国が実行するより、効果的です。それこそが、国際社会における日本の使命ではないでしょうか。
18479	個人	パート・アルバイト	60代	女性	再生可能エネルギーの地産地消	日本での原発は危険極まりない！！ ゼロにするべきで、今はそのチャンス 私達は今までこんなにも真剣に原発問題と向かい合った事は 無かったからで、節電に対する姿勢も高いのでライフスタイル も変えられる、兎に角、無駄使いが多すぎると感じています。 日本は温泉、海、川、等自然エネルギーは有ると思うからで 原発程の効率が有るのか分かりませんが、電気無駄使いのライフスタイルを辞めることで、安定的な供給も可能に出来ると思います。安全と言う事からの視線では比較には成りません。 太陽からだけでは無くその地方に有る自然エネルギーを活用し 発電可能に出来れば、原発の必要性はゼロです。 時間の問題も有りますが、短期間にsmすることは大切なmortivate なのではないでしょうか。 文章で上手く表現は出来ませんが、何か意思表示をしなければ成らないと強く感じています。
18480	個人	会社員・公務員	50代	男性	エネルギー問題は未来の重要課題である。	原発事故後日本国内でエネルギーに対する関心は高くなりマスコミ報道でも原発廃止、自然エネルギー開発等いろいろ言われていますが、エネルギーの比率 などで論じる事も大事ですが、これから人口減少などが進み海外へ企業出ていき優秀な技術者と技術が流出して結果円安となり国力低下を招く当然電気代も高くなるとおもいます。現状対策は取られているようには見られない。 原発　火力　自然エネルギーどれも大事なエネルギーだと私はおもいます。 日本の誇る省エネ技術と品質技術を駆使してエネルギー開発、効率化をしていくべきです。 ただ電力会社は発電会社　送電会社等に分社して現状の独占企業状態は無くすのが良い。(発電送の自由化) 健全な競争は電気料金のコストダウンにつながる。 最後にダムの耐用年数が公表されてはいませんが、老朽化と地震崩壊の危険性と対策案公表をお願いします。
18481	個人	無職	30代	女性	原発ゼロを支持する。原発は誰かの被曝という犠牲を要し、しかも放射能のゴミは10万年も人間に有害であり、ひたすら未来へのツケを増やしている。そのような非人道的な原発は、速やかになくすべきである。	2030年段階では原発ゼロを目指すべきである。2030年といわず、早ければ早いほどよい。原発は事故がおこった際、とりかえしのつかない放射能汚染という事態を引き起こすことが今回あきらかになった。しかし、事故という非常時のみならず、原発が稼働しているかぎり、メンテナンス作業において誰かが被曝しなければならない。安全管理をおこなっているとの反論があるかもしれないが、誰かの犠牲がなければならない電力など、おかしい。自分の子どもや孫がその仕事にあたることを許容できるのか？私はそんな仕事を子どもにさせたくはない。 また、原発を稼働時にでる使用済み核燃料、いわゆる核のゴミも問題である。有害なものであるが、現時点では有効な処理技術をもっていないまま、ゴミを増やしている状況である。人間にとって無害になるには10万年もの時間を要するゴミを、将来において技術開発されるはずだという甘い見通しで原発稼働を続けるのは、未来の世代に対して大変なツケを負わせているという自覚を持たなくてはならない。私たちは、自分が汚したものは自分で片づける、ということを幼いころより躾けられているはずである。原発は、そんな当たり前のことができない。ツケはたまればたまるほど、大きく、対応しにくいものになる。私たちは最近そのことを痛感しているはずではないか。 原発維持を求める論拠は、(1)電力供給能力が維持できないこと、(2)原発を稼働しなかった際に生じると考える経済活動の停滞(とくに生じないと思うが)、(3)安全保障、(4)化石燃料の使用による環境破壊などであろう。 まず、電力供給能力であるが、54基もある原発のうち2基を動かせばこの夏をやりすごせるということが逆説として、つまり2基さえあれば良いと言い換えることができる。所詮、原発は電力ビーク時だけの問題であり、見直すべき地域はくらくらである。また、将来にたたる電力についても、今回、省エネを試算してあるが、本当に妥当な数字なのだろうか。2030年、人口は減少し、一番に電力を使用する工場生産も現状に比して縮小しているはずである。原発による電力がなければ経済活動が停滞する、といわれるが、経済成長をしつづけるのは、土台無理な理想に過ぎない。マイナス成長こそ必要という経済学者の論にも耳を傾けていい時代になってきていると考える。そして、安全保障との関連は、本末無関係のものをくっつけていると過ぎない。非核三原則はどこにいったのか。今回、基本法に「安全保障に資する」などと盛り込んだために、一民間事業者に過ぎない東電の前社長であっても株主総会において「原発は安全保障のためなどもあり」などと発言するに至っている状況は変である。もし、原発が安全保障上必要であるというならば、安全保障を一民間事業者の「事業」に委ねていることこそ、本末転倒と考えるべきである。いっそのこと堂々と核爆弾を持てばよい。原発によらなければ火力発電による二酸化炭素放出が増加し、環境破壊を増長することになるという論は、核のゴミこそ環境破壊をして地球破壊であると考え直すべきである。したがって、原発を新興国に輸出することも論外であり、全地球規模で原発は稼働すべきではない。 私たちは、今しか生きることができないが、今の利益しか見ずに、未来にツケを負わせるのはあまりに情けなく、刹那的ではないか。原発は、周辺にはお金を生み出す源であり、麻薬のようであり、刹那主義の象徴と感じる。しかし、お金や自分が楽をするために、ほかの人の健康を損ねさせ、未来の人々に押し付けるどうしようもないゴミを増やし続けることは、人の道にかれると考える。非人道的な原発や、可能な限り速やかにゼロにすべきである。
18482	個人	無職	60代	男性	原発賛成です。当面は25%以下で運転し、電力会社や政府は隠し事をせず、時間をかけて安全性を高めていく必要があります。世界の大勢は原発推進ですから、日本だけ逆らうと遅れを取ってしまいます。	みなさんの考えは時間的なスパンが短すぎるようです。 当面の間は原発の割合25%以下で運転し、政治力を抜きにして現実的な安全性の確立が必要と考えます。 福島の事故について私の認識では、原発は冷却水さえ確保できれば大きな事故にはならないというものです。 私は退職前は家庭やオフィスの電気機器製造の技術者ですが、自然エネルギーで将来必要なエネルギーをまかなえるなどと将来の技術進歩に夢を持っていません。また、人間の欲求は無限にふくらむので、エネルギー効率は良くなっても節電は長続きしないと信じています。 従って100年後は原発の割合80%が妥当だと考えます。 100年か200年後に人類が石油や天然ガスを使い尽くした後は、世界中に原発2万基(もっと多いかも)が稼動する状況を予測しています。 100年後でもバッテリーで建設機械や大型トラックが走れるとは思えない。原発の電気をいっぱい使って人造石油(液体水素かも)を作って、それで大型トラックや重機を動かすことになるのでは？ そんな時代に原発の運転ノウハウで遅れを取ったら、日本は二流国に成り下がってしまいますね。 私が小学生の低学年のころは自家用車などは見かけませんでした。それから10年少々で1家に自家用車1台の時代が来てしまいました。これから50年経たない間に、インド・中国・東南アジアを始め、世界中の100倍の人が自家用車を持つような時代が来ると化石燃料などアッと言う間に使い尽くしてしまうでしょう。 電気自動車も石油・石炭・天然ガスで発電した電気ですから、税金を除いて考えるとエネルギー効率自体はさほど差が無いと思います。バッテリーでヒーターを使うなどは愚の骨頂。 日本では原発反対が大勢のようですが、根底には原子力村の利権問題を暴き出したい(または損ねたい)人たちの活動を感じます。 長期的には世界中の大勢は原発依存ですから、短期的には日本の原子力行政を明朗にしつつ原発の運転を継続していき、自然エネルギーが経済的に本当にモノになるのか議論を重ねながら、経済的な実績を確認するべきでしょう。
18483	個人	会社員・公務員	40代	男性	担保されない安全性と、核廃棄物の処理問題によって即刻原発0を希望。企業や家庭の太陽光発電や蓄電池導入官用支援による、普及率向上によるピーク電力低下。小水力発電の地方自治体への普及。	福島県内帰宅困難地域の土地の政府による買取と、当該地のメガソーラー発電所の建設、原発の廃炉作業と同時に原子力発電所を風力発電と波力発電所への置き換えによる地方経済と雇用維持。
18484	個人	その他	50代	男性	選択肢は0％とし、代替エネルギーの開発と推進、および省エネ対策と関連技術を推進する。	●　すべての原発を廃止します。将来の日本および地球にとって「原発0％」が唯一の選択肢です。放射性廃棄物の処理方法を解決できない技術は、決して使用すべきではありません。 ●　原爆の被害国である唯一の国として、世界の二度とあってはならない原発事故を、原発を安全保障に適用することには断固反対です。東アジアの緊張を高めるばかりです。 ●　もともと、原発は、敗戦後まもなく、米国の国益をもとに我が国に導入され、当時の世界情勢に依存するきわめて政治的なものです。日米安全保障条約とともに、できるだけ早期に全廃すべきものです。 ●　世界の動向はクリーンエネルギーに向けて研究開発が進められています。我が国は、この分野でも十分に競合できるはずです。他国に遅れることなく、すみやかにエネルギー政策を転換しなければなりません。 ●　クリーンエネルギーなど代替エネルギーの研究開発は、原発に代わるものとして、原発立地自治体にも利益をもたらすことでしょう。 ●　これまで以上に省エネ対策を国家規模で推進します。これによって関連産業の発展も期待できます。 （以上）
18485	個人	会社員・公務員	20代	男性	原発0プランの希望	今回の原発事故によって、安全性に疑問がでてしまった以上、別のエネルギーの生産に注力し、原発を無くしたほうが良いと思います。
18486	個人	パート・アルバイト	40代	女性	原発は2030年までにゼロにしていただきたい	日本人には、また日本の電力会社、政府、官僚、国民には原子力発電所を稼働させる能力はない。 自然のエネルギー化石燃料にたよって、日本の国土を汚さないように他の事で自然を大切にするべき。
18487	個人	会社員・公務員	20代	男性	今後のエネルギー政策について、原発を使わない方向で考える方がスマートではないか。	昨年の地震及び津波により甚大な被害を受けた福島の原発を今現在もコントロール、及び停止出来ていないにも関わらず、日本国内にある以上、同様のリスクは容易に想像できる。まずそれだけで原発を再稼働しない理由として十分ではないか。 また福島の原発事故によって亡くなった方が、作業員も含めて0ではないのだから、人の命を犠牲にしたり、危険に晒してでも作らなければならない電気とは。 また東シナ海だか日本にある巨大なガス田を中国より早く開発し、資源を売り得たお金でソーラー や風力発電を押し進めれば国家の収入も増える。国を豊かにすることを長い目でみれば、原発よりも後々までスマートである。
18488	個人	会社員・公務員	50代	男性	安全が担保されるなら原発の比率は問いません。	過去に原発で仕事に従事してましたが、代替エネルギーがコスト高なら今ある原発を安全に運転し最低限電力を確保し立地自治体にも雇用などを増えるように施策をし、また東電福島第一以外の廃炉も含め技術者を養成することも考えて頂きたい。
18489	個人	無職	80代以上	女性	2030年までに日本の原子力の割合はゼロにしてほしい。	事故が起きなくても、放射能汚染の災いをもたらす原子力発電所は人口過密の日本国には相応しくない。 あのような大きい事故を起こしたのだから、全世界に責任を取って 廃炉すべき。 原子力発電に変わる自然エネルギーにシフトし、今までの消費一辺倒だった生活様式を見直し、新しい世代の考え方に移行するべき。
18490	個人	その他	40代	男性	原発ゼロシナリオを選びます。省エネルギーの取り組みと自然エネルギー活用の方法を真剣に考えれば、日本人なら必ず世界が驚くような真の脱原発が実現できます。まずは政府が腹をくくって、その決断をすることです。	原発ゼロシナリオを選びます。理由は地震大国の日本には、原発はあまりにもリスクが大きすぎるからです。 フランス在住20年になりますが(上記の住所は実家のものです)、日本人の素晴らしさは、どこかく完璧を目指そうと努力すること、工夫することにつきます。トイレの水の流れ方から、ドアの閉まり方まで、日常のあらゆる場面にその長所は発揮されています。このような日本人ですから、政府が腹をくくって本気で脱原発の目標を定めれば、国民は慣じ難い努力と工夫によって、それを成し遂げる力を持っています。 素人なので気まぎに書きますが、例えば、各家庭に太陽光発電、小型風力発電機、場所によっては小型水力発電など自然エネルギーにある発電設備の設置を義務付け、家庭の電力を自然エネルギーのみで賄うシステムを作ります。自然エネルギーによって得られる電力以上の電力を消費したい場合は、これまでのように電力会社から電気を買いますが、その単価を家庭用に関しては従来の100倍にしておく、というのはどうでしょう。設置にあたっては、もちろん工事費等を政府が支援します。エコカー購入のような生ぬるいやり方ではなく、あくまでも義務化することが大切です。家庭で使う電気は自分で作る。これが国民に徹底されれば、大きな省エネにもつながります。 次に公共の場所での電力についてですが、例えば駅やデパートなど公共施設の階段を発電機にしてしまう、という方法はどうでしょうか。毎日毎日大勢の人が階段を上り下りするわけですが、その際の階段の下に、ちょっとだけ球体を埋めておくのです。各段に20cm幅のプレートを敷き詰め、それを1cmほど浮かせておきます。人が踏むごとに圧力でプレートが押し下げられ、その度に発電する装置を作るのです。安全上の問題や、エネルギー効率の問題などがありそうですが、そこは工夫を重ね、何とか実用化にこぎつけることができるでしょう。つまり駅などのエレベーターや照明などの電力を、お客さんの脚力で賄うのです。 このようにして消費電力を抑えていきつつ、各自で賄える電力は電力会社に頼らなくてもよいシステムを、社会の中に構築していくのです。つまり、電力会社の電力供給は、基本的に工業用電力のみというエネルギー消費スタイルを目指すのです。 国民は、政府の皆さんが考えているよりずっと有能で優秀です。「危険な原発に頼らなくてもいいように、みんなで工夫しながら乗り越えていきましょう。日本人が世界に先駆けて新しいエコエネルギーシステムによる生活パターンを実践しましょう。」と呼びかければ、想像をはるかに超える素晴らしい発明が続々と生まれ、自主的に限界まで省エネを実践する家庭が生まれ、エスカレーターを使わず階段を率先して上るような人々が大勢出てきます。政府は、この素晴らしい日本の国民を信じ、「脱原発」の大号令を発すればよいのです。その腹をくくることこそ、今政府に求められている仕事です。 このまま一部の特権階級の金儲けを優先させて、その場しのぎの策でごまかしながら、日本という国が沈没するのを、あなた方は容認しますか？東日本大震災で亡くなった多くの尊い命を、福島原発事故で奪われた多くの尊い人生を、あなた方は無駄にできますか？日本という素晴らしい国の運命が、あなた方の決断にかかっていることを忘れないでください。今こそ目覚める時です。本気で日本の国のことを考えてみてください。
18491	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発に関しては全て停止し廃炉に向けて行動すべきだと考えます。当面は現状の火力発電をメインに水力・揚水発電などでしのぐ	福島第一の事故が起き、故郷を奪われ仕事を奪われる人が多数出ている現実、広範囲に放射性物質がばらまかれ汚染が認められる事実。 福島第一原発の事故は津波を原因としているが津波前に地震でやられていたのではないか？日本の多くの原発の立地が活断層の上にあるのに地震に対して安全は確保出来るのか？放射性廃棄物は処理出来ずにどんどん増えていて、その処理に対する明確なプランの回答はありますか？そんな原発を続けて次の世代に責任を押し付けるのはただの問題の先送りであり、認められるものではない。

18492	個人	その他	50代	男性	国内総電力発電に占める原子力発電の割合を、今年度から零にすること。	国内電力総発電に占める原子力発電の割合を、政府は今年度から零にしなければならない。 なぜならば、 昨年、2011年3月11日の東北関東大震災時に発生した東電福島第一原発事故は、原子力技術が如何に未熟であるかを明確に証明した。それは戦後のエネルギー政策の失敗を意味し、また、原子力の研究開発の失敗をも意味する。それは唯一点の問題が解決していないにも関わらず原子力発電を実施してきたことに尽きるからである。 「唯一点の問題」とは、「トイレなきマンション」とかつて言われていたものであり、放射能の消滅処理技術がないということである。このことにより、原子力を扱う場合、常に放射能と言う「死の灰」の恐怖から逃れられないのである。従って使用済み核燃料の処分の問題も片付かない。高レベル放射性廃棄物の問題もしかり、低レベル放射性廃棄物の問題もしかり。原子力研究施設も放射性廃棄物の蓄積問題で行き詰るわけである。真剣に対応すればするほど膨大な経費が掛かるのである。 昨年の原発事故は、世界中に放射性物質をばら撒き、いまだに多くの人々に迷惑をかけている。 ちなみに、私の居住している住宅街には、中央をはしる県道があり、その両脇に併せて166本のけやき並木がある。このほとんどの根元は、私の測定器では振り切れてしまう10μSv/h以上の放射性物質で汚染している。この値は、事故前の値を0.05μSv/hだったとすると、事故前のその値に戻るのにざっと計算して200年掛かることになる。この道路は、歩道のある唯一の通学路であり小中学生等が毎日利用しているのである。すでに1年4ヶ月の間子供たちは被曝し続けているのである。 東電福島第一原発から130キロメートル近く離れていてもこの様に悲惨な有様なのでる。もうこれ以上原発事故を起こさせるわけにはいかない。 再稼動すれば事故は繰り返し起こると考えるのが常識である。 国内電力総発電に占める原子力発電の割合を、政府は今年度から零にしなければならない。
18493	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発を減らすと電気使用料の値上げ、ガソリン代等の値上げ、物流コスト等の上昇、物価上昇、景気後退が起こり、中小企業に勤める我々の生活が苦しくなる。	上記に加え、インフラのコスト高を嫌って製造業が日本から海外移転すると、雇用も無くなり、顧客も減り、負のスパイラルが起こる。電気、水道、ガス、通信はライフラインであって、生活や産業の根底を支える大事なものである。日本人が持っている原子力アレルギーをたきつける思慮に欠けるマスコミ論調によって電気の危機をもたらしてはいけない。旧式な沸騰水型原子炉は、より安全な加圧型原子炉に建て替えるべきであるし、冷却が必要という構造上、海のそばに建設しなければならないので、津波をかぶってもバックアップ電源を何重にも確保して、原子炉の暴走を食いとめられること、防災訓練の様子をネット上で公表し、リスクの小ささをもっとアピールすべきである。原発を止めても、火力発電で作った電気を消費しながら使用済み核燃料は冷却されつつも燃えていて、原発を止めることに殆ど意味は無いと考える。そのことをもっと訴えるべきである。1000年に一度の大地震でも原子炉は破壊されず、地震による津波による2次電源喪失、その復旧ミスにより水素爆発、放射線漏れという段階を辿ったことをマスコミは、うやむやにしてはならない。リスクマネジメントにミスがなければ福島原発の放射線漏れはなかったと思料する。官内閣、東電経営陣のミスリードは厳しく断罪されるべきである。 <u>原発を止めることによる経済苦、生活苦、国力の低下、犯罪の増加の方こそ問題にすべきであろう。</u>
18494	個人	会社員・公務員	30代	男性	1．ゼロシナリオ 3つのシナリオと言うならゼロしかありえません。	・使用済核燃料の最終処理方法が確立されていません ・再処理システムの破綻（一体何年付加価値を生まず運転準備？実験しているのですか？） ・国のエネルギー政策の下、税金のバラマキによる原発立地自治体の原発マネーによるシャブ 中毒のような症状 ・電力会社及びマスコミの世論操作が酷い ・まったく信頼のおけぱい電力会社の対応 ・原子力発電の単価が安いって本当？無保険運転なのでは？保険に入れないですよね。 あんな事故が起こった場合の保証なんてどこの保険会社も請け負ってくれないはずです。 それを考慮した発電単価になってますか？ 将来的には化石燃料比率も減らすべきですが、当面は火力をベースに自然エネを上げるよう 補助金などを出して推進。原発は止めてソチラへのシフトを国が示せば、企業や人も一気に シフトと次への活力となって行くと思います。 今の日本の閉塞感の一つの原因は間違いなく原発です。発・送電線分離し、独占電力会社から （中央型）の仕組みから地方エネタイプへシフト。他の企業との適切な競争を望みます。
18495	個人	会社員・公務員	50代	女性	今後の原発依存度は0%を選択します。	昨年の福島事故をかんがみるに、原子力発電に伴う危険性は、何をもってしてもぬぐいさることはできません。 放射性物質は、事故後1年以上もの間今だに海を陸を大気を汚染し続けています。それに対し、政治家も技術者も労働者も、人知の限りを尽くし対処されては来ましたが、全く改善されたとの実感はありません。 そもそも、原子力をエネルギー政策のかなめに据えたのは、政治の誤りです。 どう考えても安全確保ができないものに、血税を使ってほしくありません。 今、全ての原発を即刻廃炉にしても、その後始末はあと何代先まで続く分りません。一刻も早く、原子力発電からの撤退を希望します。 私は、国民の幸せ度はエネルギーの多寡に比例するとは思いませんし、結果として今より不便な国になったとしても、再びの原発事故で国を失うよりいいと思います。
18496	個人	家事専業	40代	女性	「エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 0%　ただし2030年ではなく即時	即時、原発比率0%を希望する。 狭い日本で福島級の事故がもう一度起こったら、安全な食べ物がなくなってしまう。 健康への不安、処分できない廃棄物など、次の世代におしつけるべきではない。 国家主導で導入したのであるから国が責任を持って原発0を進めるべき。
18497	個人	会社員・公務員	30代	女性	「エネルギー・環境に関する選択肢」に関して	1.2012年12月31日をもって原子力発電所の運転を停止し即座に廃炉にする 2.ただちに風力・水力・地熱発電にて不足分をまかなえるように公共事業として大々的に発電所を施工し順次運転を開始する。 3.電力が足りない期間はテレビ放送時間を短縮・電光掲示板を消し省エネする 4.永久に原子力発電所の新規増設は行なわない。
18498	個人	会社員・公務員	30代	男性	一刻も早い原発ゼロを実現させるべき。	先の福島の原発事故も「人災」であることがわかった以上、目指すべきは「安全な原発」ではなく「原発ゼロ」なのではないでしょうか。 これ以上原発を稼動させるということは、今現在の我々の生活だけではなく、未来生きる人たちの生活も脅かす行為です。 もちろん、それが簡単にできることではないということはわかりますが、「はじめにゼロありき」でエネルギー問題を考えていかないことには、実現できないのではないかと思われます。

18499	個人	会社員・公務員	50代	女性	エネルギーの確保は、原発以外からお願いします。	絶対というものがありえない以上、原子力にたよることは、原爆被害を受けた日本としては、認められない。 私は、主婦です。国の上の方に何がうずまいているのか、詳しく知る術も持っていません。ただ、原発に公に反対すると、仕事がなくなるとか、社会的地位が奪われるとか、そんな話は耳にします。 指摘な利権を、原発に求める人がいるからやめられない、というものが原発というなら、一刻も早く原発の廃止を要求します。 まだまだ、節電すべきところや、節電できるところは存在すると思います。自分のまわりにも、もちろん、あります。 我が家も微力ながら、節電に努めますから、原発を廃止してください。 よろしくお願いします。
18500	個人	会社員・公務員	50代	男性	脱原発を目指すべきです。 原子力発電のすべてを否定するわけではありませんが、核燃料廃棄物等の問題もありリスクが高すぎます。脱原子力発電を目指しましょう。	チェルノブイリ原発の事故により、改めて放射能の恐怖を感じてきたけれど、同じように日本でも天災が原因とはいえ発生しました。 将来的に見ても絶対安全が保障されない限り、これ以上原子力続けることがベターと思えません。 使える原発は、ストレステストや活断層調査など安全性を再確認して、再開しつつ、新しい原発を作らせずに新たな自然エネルギーへの転換を図りましょう。
18501	個人	その他	30代	女性	ゼロシナリオを支持します。	やり方が汚い気がします…。 こういうことをやるのであればもっと大々的に、こんな分かりにくい場所に配置され、告知もなく、ネット環境がない方は用紙すらプリントできない状態…ひどいですね。 関係者の票集めになっているのではないでしょうか？ こんな大事なことはある一部の意見だけを吸い上げるのではなく 投票選挙でもして全国民の意見に耳を傾けてはいかがでしょうか？ 以上は余談ですが、 原発推進するなんて、被災地の方々、被害に会われた方々、亡くなられた多数の方々に対して失礼ではないでしょうか？ そういった方の意見は聞いているのですか？ 安全性も不確かな状態で、最近の地震の多さを考えたら、推進すると簡単に言えるのはとても謎です。 被害者の方の保障問題など何もクリアしていないのに、時期尚早ではないでしょうか？ 無理矢理都合の良いほうに持っていこうとせずに、本当に必要だったら色んなごまかしをせずにもっと訴えればいいことです。 ごまかしばかりなので何を言われても不信感しか持てません。 冒頭の余談もですが、こういうやり方が不信感につながります。 正直、怖くて東北近郊の野菜や魚や米など食べれません。 今までは国産にこだわって食べてきたのに、今では輸入物の方が安心できるなんて…。 そういう人はたくさんいます。 復興に協力したくても、そんな気持ちなんです。 これって日本にとって怖いことだと思いませんか？ 復興を切実に願う日本人でもこんな気持ちです。 諸外国の方々はどう思うでしょうか？ もう一度事故が起きれば日本は終わりだと思います。 それが地震が原因になるとなれば高確率だということはだれでも簡単に予測できます。 そんなリスクを背負ってまで稼働させる覚悟なんですか？ 人の命をなんだと思っているんですか？ 人の命はコマですか？ チェルノブイリは日本の未来の姿でしょう…。 あれを見ると原発推進なんてできません。 子供たちの将来が大変心配です。 大丈夫と言われても、ごまかしばかりを見てきたので信用できません。 まずはその体質改善を行い、もっと心に響く納得できる説明がない限りはゼロ以外考えられません。 まずはゼロを基準に考えられませんかね？ 利権の兼ね合いで無理なんですかね？
18502	個人	会社員・公務員	50代	男性	原子力発電は、今すぐ全廃というのはとても現実的ではないが、できる限り早い時期に全面的に廃止すべきであり、新設はもちろん廃炉の延長はすべきでない。 また、安全対策がなされないままの再稼働には反対である。	私は、システムのあり方に限らず、原子力発電そのものに問題があると考えている。原発については専門家の間で様々な問題点が指摘されているが、私が最も問題と考えているのが、使用済み核燃料・放射性廃棄物処理についてである。システムとしては将来的に事故の確率は下げていけるであろうと思われる。しかし、使用済み核燃料については人間の力で放射能を弱めることはできず、どんどんたまり続けるだけであり、長期間にわたる管理が必要である。最終的には地層処分しかない現状で、地質的に不安定な日本でその間の安全性を保障できるものはなにもない。これは将来にわたって子孫に負担を負わせ続けることである。これはいま生きているもののエゴであり、許されるべきではない。たとえ核燃料サイクルがうまくいくことになったとしても同じことである(うまくいく見込みはないと言っていいと思うが)。また、ストレステストの一次評価をもとに再稼働が決定されたが、対策がとられたわけではない。万一大飯原発付近で巨大地震が発生したらどうするのか、地震により安全(冷却)装置が破壊されることはないのか、その仮定の可能性はないのか、といった疑問に、福島原発の事故原因が究明されていない中で、とても答えられる現状にはない。現時点での再稼働は撤回すべきである。
18503	個人	無職	50代	男性	活断層が無数にある日本列島。この国に安全神話が崩れ去った原発を置くべきではなく、できるだけ早くゼロの状態にもっていくべきです。国民の様々な不安を政府が払拭するまでは原発は再稼働するべきではありません。	今回の内閣府のパブリックコメント募集への意見を書かせて頂きます。 私は原子力やエネルギーや経済の専門家ではないので、詳しいデータや 数字を書くことはできません。 原発を明日からすぐに廃止できないことも、わが国の再生可能エネルギー比率を急には上げられないことも承知しております。でもできるだけ早く原発依存度をゼロに近づけて廃止するべきだと思います。 理由1. 日本列島は地殻のプレートの境界にあり活断層も無数にあるので、 大地震の揺れや津波による影響を受けない原発は一基もありません。 「原発は絶対に安全だ」という神話は昨年の大震災で崩れ去りました。 このような国には原発を置くべきではありません。 理由2. 原発から出る放射性廃棄物の地中処分場を引き受けてくれる自治体は今のところ皆無であり、地殻変動の激しいこの日本列島で数万年も安全に管理される保障などありません。国家体制の崩壊やテロや戦争からも安全に守りきれるとはとても思えません。今までに生み出された“核のゴミ”の処理方法も確立されていないのに、もうこれ以上ゴミを増やすべきではありません。 理由3. 原発推進派の方の言い分に「原発は地球温暖化ガスを排出せずクリーン エネルギーである。」というのがありますが、最近のネット報道によると、「東芝は、発電と同時にCO2を分離・回収できる新火力発電の開発に乗り出したほか、三菱重工業が従来より6倍の効率で回収できる発電プラントを開発した。日立製作所やIHIもCCSと呼ばれる分離・回収技術の確立を目指す。米国が今年3月に発表した温暖化ガス排出規制案の中で、今後、排出量の多い石炭火力発電所にCO2回収装置の導入を盛り込むなど世界的に規制が厳しくなる中で、日本勢の技術が世界にアピールできそうだ。 http://sankeijp.msn.com/economy/news/120716/biz120716120100003-n1.htm からの引用」のように近い将来温暖化ガス無排出の火力発電技術が確立されると思われます。 街の飲食店やスーパー等に行くと冷房が必要以上に効き過ぎている所があり、また、コンビニの前に置かれた自動販売機等・・日本全国ではまだ相当量の省エネの余地がありそうです。真夏の一番暑い時期に開催される高校野球を涼しい秋に変更するだけでも大幅に電力消費を減らせると思います。 今為る原発周辺の活断層や津波への安全性の調査が不十分であるという 国民の疑問や不安を政府が払拭するまでは、大飯原子力発電所の再稼働を直ちに撤回し他の原発も再稼働するべきではありません。ゼロシナリオにより一般家庭の電気代が1.5～2倍になることも、いつ襲ってくるか分らない大地震による原発事故の放射線汚染リスクに怯え続けること。私は迷わず前者を選びます。
18504	個人	その他	20代	女性	原発ゼロシナリオの選択を要求します。日本に原発はいりません。あんな恐い事故はいりません。	「原発ゼロシナリオ」の選択を要求します。 もう原子力発電所は日本にはいらないと思います。 我が国には活断層が多く、いつまたあのような大地震が起きても不思議ではありません。その上、活断層の上に原発がある場所もあります。自民党時代の政府が建設を決めたことはいえ、なぜ見て見ぬふりをして建ててしまったのでしょう。なぜ安全面を今まで強化してこなかったのでしょう。そして今も日本の原発は確実に安全と言える環境を作っていない中、民主党政権はそのまま再稼働をしてしまいました。 まだ福島原発事故の原因や真相は解明されていませんし、、核燃料の処理方法も決まらず、人々は我が家を失ったままで終息とはいえない状況です。まだあの事故は終わっていないんです。 もう国民は原発に対して、東電に対して、政府に対して、政治に対して、不信感しかありません。この様ならやむやで不安定な状況の中今のエネルギー政策を続けることは、日本にとっても世界にとってよくないことだと思います。 さらに原子力発電は非常にコストがかります。維持費、消費電力、核燃料の処理費などから考えても原発に頼るエネルギー政策は考え直さなくてはいけないでしょう。 よって、「原発ゼロシナリオ」のエネルギー政策を要求します。 また、このシナリオ自体まだまだ不明点や問題点が多いです。 2030年までに原発ゼロというのは、具体的な内訳はどうなっているのでしょうか。18年間でどのように原発を減らし、いつ原発ゼロになるのでしょうか。今すぐにでも日本のすべての原発を止めていただきたいです。 また、省エネをしたり、自然エネルギーの活用をもっとしたり、より環境に配慮した政策の見直しが必要だと考えます。日本は技術力の高い国です。自然エネルギーをこれからたくさん使って行けるように政府の方でも例えば技術的な援助・金銭的な援助をするといった明確な姿勢をみせてほしいです。 とにかく今のエネルギー政策のままでは日本はだめです。「原発ゼロ」それしかありません。
18505	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発依存度ゼロシナリオを支持します。 今すぐ大飯原発を止め、クリーンエネルギー先進国へと政策転換するべきです。	3つのシナリオのうちゼロシナリオは国民負担が大きいように書かれていますが、原発事故処理や住民補償、既存原発の安全対策には一体いくらの負担がかかるのでしょうか。 ゼロ政策を進めることになっても廃炉が完了するまでの安全対策は当然必要ですし、そもそも安全に廃炉が完了することはあるのでしょうか？ 今ここで依存度0%か25%かの目先の2兆円の負担増を理由に政策転換を行わず、第二の福島が生まれる事は許されません。 その代りクリーンエネルギー推進のために私たちの負担が増えるのはやむを得ません。 消費者は省エネの意識を高め、電力供給者は技術向上に努め、いずれクリーンエネルギー先進国としてそのノウハウを輸出していくことが、あのような事故を起こした国の責任だと思います。 事故調査委員会の最終報告を待たずに大飯原発の再稼働を決定するなんてもってのの外です。 「安心・安全な生活」の意味をはき違えないでください。 せっかくこのような機会が得られたので広く国民の声を拾い上げてください。 一丸となって日本の復興を目指したいです。
18506	個人	会社員・公務員	40代	男性	「ゼロシナリオ」の実現をお願いします。	原発を続けることは、将来の子ども達にどうすることもできない危険な放射能を残すことです。使用済み燃料をどうするかの技術も処分場所も不確定なままで、原発を動かしていくことはできません。「ゼロシナリオ」しか選択肢はありません。
18507	個人	自営業	30代	男性	ゼロシナリオに賛成。本気ならもっと前倒しが必要。 新技術とインフラに投資し雇用をそちらに導くべき。 原発への資金投入はバラマキで将来性なし。 競争原理の働く業界になるよう改善すべし。	原発が必要と考える者でさえ「いつかは廃止」という意見にも賛成であろう。 意見の差異があるとすれば、時間軸や他国関係に関連した実情での話ではないか。 そこで、まず長い目で言えば「原発はいつかは廃止すべきである」という前提で良いことを確認すべきである。 よって必然的に2030年向けに原発を0としない選択肢に対しては「では、いつ0にするのか」という議論がセットでなければならない。 今回は、この点が抜け落ちているところに意見の収束を困難にしている要因があると指摘しておく。 何はともあれ私は「ゼロシナリオ」に賛成である。 願わくば「ゼロシナリオ」をもっと前倒しで実現すべきであると考える。 これは我が国にとって本当の成長とは何かを考えれば自明である。 まず上記に見るように、原発は出口戦略を描く対象に他ならない。 よって、原発への資金提供や運用費の加算は、当面の業務遂行に必要最低限に限るべきである。 既存の定常業務を行いながら、出口戦略に基づいて規模を縮小しつつ、経営体質をスリム化し、コスト低減に努める分野であるから、その力学が働くために、以下2つを示すことが必要である。 ・競争原理を導入できる仕組み（発電・送電の分離と、それぞれにおける適正な市場の自由化） ・原発廃止に対するQCD要件 さて、上記と並行して必要なのが、新しいエネルギー政策および新成長戦略である。 発電と言うエネルギー問題に限って言えば、上記の競争原理の導入は、PPS参入や各家庭の小規模売電の加速や自由化を意味する。 この延長上にあるのは、多様な電源に対応し電流や電圧をコントロールできる電源網、スマートグリッドに行きつくであろう。 スマートグリッドの実現課題は割愛するが、一極集中管理よりも分散管理の方が事故の影響を局所的に閉じ込めることができ、また代替手段の準備や回復も早いことは、ネットワーク技術で証明済みである。 この分野は技術的な要素はそろっているため、街づくりやインフラ整備の順番などの制度設計が本当の課題であり、これはまさしく政権の仕事である。 また太陽光や風力などの発電装置、スマートメータ、発電量管理や送電量管理などの新しい分野で経済成長の多くが見込める。 またインフラ整備は立派な投資であり、結果できあがるものは国の資産である。 以上から概観するに、国としてやるべきことは、原発を引き上げる出口戦略を明確にするとともに、それにとって代わる新しい電源開発を新成長戦略の中に確固として位置づけ、古い雇用から

						新しい雇用へ人々を導くことである。 現状、既存の製造業が海外進出して空洞化し、若い人の雇用が低迷している。 根本原因は、自動車や家電と言ったこれまでの基幹産業に対する内需の枯渇である。 今は物が溢れ、外国産の安いモノでも品質がなかり向上した。 海外に活路を見出す企業はQCD要件のQ(品質)意外に日本で生産する理由がなく、またその理由がなくなるのも時間の問題である。 一方、新しい電源網は誰もが必要としているという莫大な内需である。 国内企業によってQCDの多くは内需によって支持される。 戦後のようにモノづくり技術と内需を結びつけられるチャンスは、そうそうないだろう。 原発を止めると日本の経済成長が止まるという主張は、衰退産業からの知見である。 原発を一刻も早く止められるように仕組みを整理していくことが、本当の成長である。 よって早ければ早い方が良いのである。 15年先、30年先に誰が国を支えているかを見据え、国家百年の計という使命のもとに、ぜひご判断いただきたい。 最後に蛇足であるが、日本が原発を推進してきた理由を確認し、それらが今後は不要であることを確認したい。 私の解釈では、原発推進の理由は大きく以下であると認識している。 (1) 戦後の経済成長を支えるために発電所の拡張が急務だった 　資源の乏しい日本は化石燃料に依存しない発電技術が必要 　発電においても二酸化炭素の排出量を減らす必要がある (2) 唯一の原爆被災国として核の平和利用を開拓する必要があった (3) 発電コストは安い方が良い まず(1)は発電一般に言われる論点である。 これらの論点が原発を支持するのは、原発が唯一または最良の選択肢である場合である。 しかし技術の進歩とともに選択肢が増えて来た。近年では原発以外にもある。 さらに日本近海で化石燃料やメタンハイドレートの埋蔵も十分であることが判明してきた。 これらを利用し原発を導入しなくても二酸化炭素の排出量を減らせる技術もある。 よって(1)は時限的な理由で、時間とともに理由が薄れるものである。 次に(2)について。 日本は戦争放棄をしているため核兵器への応用を否定する必要があった。 しかし、6月に原子力規制委員会設置法案および宇宙基本法が改正され、日本でも核の軍事利用や宇宙開発の軍事転用が可能になってしまった。 以上から(2)は消滅した。 最後に(3)について。 現状の原発のコスト試算方法は「減価償却」の概念が誤っている。 通常、設備の減価償却は、価値が0になった時に、廃棄・消滅可能なものについて言う。 原発の場合、設備の価値が0になった後も、放射性物質の恒久的な管理が必要となり、廃棄・消滅が不可能である。 よって減価償却には、数十万年にわたる管理費や、まだ確立していない管理技術の開発費用なども含める必要がある。 あるいは付加価値を生み出さない廃棄物の管理は損失として計上しておく必要がある。 よって(3)については試算方法の開示と第三者的な専門家による議論の必要がある段階であり、原発の優位性を立証できるものとは言えない。 以上から原発の導入・推進の理由は今後殆ますことはあっても強まることはない。
18508	個人	会社員・公務員	50代	女性	ゼロシナリオに賛成です。 核廃棄物を安全に処理できない状態で、原発を使い続けるのは危険過ぎます。 再生可能エネルギーの研究にもっと力を入れてほしいです。	極論ですが、核が100%安全なものならば、東京のど真ん中に原発を作ることも、核廃棄施設を作ることも可能でしょう。安全ではないとわかっているからこそ現在の設置場所なのでしょう。 福島原発の廃炉への道の険しさを見るにつけ、自分たちの手に余るものを作ってはいけない、使い続けてはいけないと思います。 四号機の使用済み核燃料棒を安全に取り出すことにさえ、苦労しているじゃないですか。 現状でも穴ヶ所村の施設は満杯じゃないですか。 廃棄の当てのないようなものを作るべきではありませんか。 原発の置かれている地域への助成金を見ても、廃炉にしていく過程を見ても、莫大な お金が使われています。いくらランニングコストが安くても、実際にかかる金額は、到底安いとは思えません。 2030年までには、今ある原発はほぼ老朽化していることでしょう。 新しい原発を作らなければ、原発はゼロになるはず。 クリーンなエネルギーの開発にこそ、力を注いでいただきたいです。
18509	個人	学生	20代	女性	原子力発電0%を	大きな地震など自然災害に見舞われることの多い日本で安全が確証されていない原子力発電は言語道断です。
18510	個人	家事専業	50代	女性	原発依存度は0%にすべきです。 国民の安全な生活確保を最優先に考えれば核エネルギーはいらない。 核廃棄物という負の遺産を後世に残してはいけない。	地震多発、火山立国日本の風土に原発はそぐわない。 第2の福島を作らないためにも原発は即刻廃炉にすべきです。 原発の真下に活断層が通っているという恐ろしい記事を目にして、分かっていて作ったのなら許しがたいことだと思った。もし、分からずに作ったのなら、同じ危険性は他にもあるかもしれないと真剣に全施設の立地条件に関する検討を重ねていただきたい。 まともに稼働して負の遺産を後世に残さねてはならない原発は、止めるべきだと思う。太陽光発電や風力発電等、自然エネルギーの開発余地はまだまだあるように思う。 核エネルギーの必要性を訴えられても、素直に納得できるものではない、政府や電力会社が安価にエネルギーを確保するためには核が一番手っ取り早いという風にしか伝わってこない。 利益よりも国民の安全性の方を優先していただきたい。
18511	個人	会社員・公務員	60代	男性	原発即時廃止 無毒化できない原発廃棄物を天災大国で狭小国土のどこに処置できるのだ。 事故原因さえ不明。安全・危険を判定する人も組織もなく、原子力はデララ委員会、政府組織は真実・事実を発表しない。	原発即時廃止 理由 (1)事故原因を、真実の原因を発表していない。 (2)安全神話とコスト重視によって造られた現原発は、今事故で最悪危険物と明示 (3)天災大国であるこの国土の状況を考慮に入れていない。 (4)「想定外」を真に受けてもあまりにも幼い想定震度による設計 (5)地震の知見無き者の設計したる原発 (6)地下構造を無視したる原発 (7)見ない、見えない、知らないは存在しないとする安斉ご都合な原発関係者 (8)安斉ご都合主義の原発関係者による建設・運用・管理・規制は事故に直結。 (9)金額によって決定する防潮堤の規模 (10)地震津波は自己都合によって誤来を想定した原発設計 (11)津波の高さは自己都合によって決定。(津波の神様へワイロを贈ったか) (12)原発由来の放射線に危険を認識していない。 (13)原発由来の放射線の汚染滞留時間を故意に無視している。 (14)原発由来の放射線を安全だと話さている。 (15)原発由来の放射線の影響を故意に無視している。 (16)原発由来の放射線による子孫への影響を故意に無視している。 (17)原発事故の対策がない。 (18)原発事故の対策を構築しない。 (19)原発事故への対応力が無い。対応できない。 (20)原発事故を解明していない。 原発事故を解明しようとしない。 東京電力は事故賠償を自己都合で対応している。 原発事故被害者は救済されていない。事故後500日経過 東京電力は事故責任を取っていない 経産相の原子力保安院は重大事故を出来させながら、お構い無しである 責任の無い社会・制度・組織は向上しない。 責任を明確にしない社会・制度・組織に改良改善は起きない。 責任を取らない社会・制度・組織は同じ愚を繰り返す。歴史の示す処 原子力保安院の看板を変えても職員は同じでは、事故は必ず起こる。 その保安院の田中俊一氏は信用できない。 田中俊一氏の言動は、国民に放射線を浴びせるも同然である。 原発廃棄物は無毒化できない 極超危険物の原発廃棄物を処分できない。 原発廃棄物の地中処分は気休めにすぎず、海中処分は汚染の拡大拡散 ?極超危険物原発廃棄物を処分できぬまま原発稼働は自滅行為である。 ?重大情報を隠蔽する霞ヶ関役人を信頼できない。 ?安全策を講じぬまま原発再稼働を許す保安院を信用できない。 ?安全対策を構築せず原発再稼働に邁進する政府を信用できない。 ?安全よりもカネ、目先で判断する首相は信用できない。 ?選挙公約と真逆の政策、原発稼働に走る民主党を信用できない。 ?原発建設・稼働の根拠はすでに消滅している。 ?電力不足について門外漢にも理解できる説明、根拠の明示をしない。
18512	個人	家事専業	40代	女性	原発ゼロシナリオに賛同です。原発0%、再稼働にも反対です。ましてや原発を新設するなどもってのほかです。代替エネルギーの開発に力を入れるべきです。一時的な経済停滞があったとしても日本に安全な将来を。	地震大国であり、大地震が定期的に発生する日本で原発を稼働し続けるのはリスクが大きすぎます。広範囲、長期に及ぶ被害をもたらす原発に頼っていては日本の将来が危ぶまれます。既存の原子力発電所の安全性についても私は納得しておりません。一連の危機管理も不十分なまま、原子力発電を継続して良いはずはありません。更なる問題点は、使用済み燃料棒の処理方法で有効な解決策がなく、現状その場で保管されている点です。この点の解決もないままで原発を再稼働して良いのでしょうか。使用済燃料棒の処分まで計算した場合、原発は決して安価なエネルギーではないはずです。 原発ゼロにする事により、一時的には不便を強いられるかもしれませんが、代替エネルギーの開発や、地域供給型のエネルギーを考慮し移行すべきです。そのためなら、一時的な不便や経済衰退を強いられても日本国民はそれに耐えられる忍耐と開発意欲、実行力や団結力があると思います。ソーラーシステムを各地域や各個人で設置し、自給自足体制に移行する、現在無駄に消費されているエネルギーをより有効活用する等、対応策はいろいろとあるはずです。再稼働促進する前に、原発なしでエネルギーを賄うにはどうしたら良いか、短期的な戦略と長期的な戦略を国民に提示するのが政府の役目であり、真に国民の声を反映している政策だと思います。 原発がなくてエネルギー供給不足になると日本経済は衰退するではないかといわれるかも知れません。日本の経済を衰退させて良いのかと言われるかも知れませんが、一時的な経済衰退を甘受しても、原発地震と事故が起きた時の危険性と無関係である国民が受けるダメージを比べた場合、私は断固、原発ゼロを望みます。そして、日本がその方向に行くと信じています。
18513	個人	学生	40代	男性	示された選択肢:合理的判断可能な選択は0%のみ 選択肢提案が問題 選択肢が示される経緯, 関連会議進行に問題　本提案正当性が無効 原子力発電基本問題の検討が不十分　原子力を選択肢に含められない	1）示された選択肢:合理的判断可能な選択は0%のみ 選択肢提案が問題 政府の方針として, 将来的に原子力エネルギーの軽減を基本に考えているので, 0%以外では実質的に軽減になっていない. すなわち各原子力発電の廃炉までの期間と定期点検に伴う原子力発電の休止を組み合わせた場合には0%以外の選択肢では原子力エネルギー軽減になっていない. 当該選択肢の提案は根本的な問題を含んでいる. すなわちベストミックスというシナリオでは, 原子力発電などの割合で組み込むという思想が根底に残されている. この点を鑑み, 選択肢の提案自体を削除して頂きたい. もしこのベストミックスシナリオが残されるならば, 0%の選択になることが必然である. 2）選択肢が示される経緯, 関連会議進行に問題　本提案正当性が無効 「エネルギー・環境に関する選択肢」がまとめられた経緯において, 強い利害関係を持つ者が発言し影響力を持っているように認められた. また震災前のエネルギー政策に関わった委員会制度の枠組みが改変されていない事, そして関連会議の議事進行が原子力推進への偏りを払拭できていない, 以上の点から本提案自体が無効と言わざるを得ない. 改めて関連会議の枠組みや委員の選出基準, 委員長の選出方法に正当性が維持される形式での関連会議の再開が必須である. 3）原子力発電基本問題の検討が不十分　原子力を選択肢に含められない 原子力発電の事故原因が未だ不明, 今後の事故対応に対する人と物と予算の予想が出来ていない, 原子力事故の将来像が予測不能な現在において, ベストミックスという枠組みの中で原子力エネルギーを検討するための材料が不足している. このため, 「エネルギー・環境に関する選択肢」の内容に原子力エネルギーが含まれることを現段階では認められない. 大変難しい課題と思いますが, 引き続き国民生活そして日本のために本質的な議論が展開されることを切に期待しております. ぜひこの意見を, 参考として頂きたいと思います. はじめから原子力エネルギーに反対をしている訳ではなく, 現在の「エネルギー・環境に関する選択肢」では原子力エネルギーを含めることも, 除くことも, 他のエネルギーに関して検討することも出来ないほどに, 基本的な問題が大きいということをぜひご認識ください.
18514	個人	会社員・公務員	30代	男性	「原発0%」です。理由は核兵器開発目的以外に原発の優位性がないから。原発による放射性廃棄物処理技術すら確立していない原始エネルギーを稼動することは後世へ負の遺産を残します。3度の被爆でこりごりです。	「原発0%」です。 理由は原発は核兵器開発目的以外に発電としての優位性がないからです。 ・ウランは石油と同じく有限資源で埋蔵量も多くない ・事故が無いとしたって発電単価が安くない ・使用済み核燃料の無毒化への技術がずーと確立できてない ・一度事故が起きると放射性物質が危険で対応できない ・事故による周辺に及ぼす被害が尋常でない。 原始エネルギーを稼動することは後世へ負の遺産だけを残します。3度の被爆でこりごりです。 ・内部被爆による健康被害は若年層に特に厳しく、7世代に渡る遺伝子異常をもたらす ・使用済み核燃料の保管ですら、10万年という途方もない期間安定させなければならない ・世界の問題でもある原発というエネルギーを3回被爆した日本が責任を持って 　被害の極小化に努めなければならない、輸出なんても恥の何者でもない。 ・目の前の電力不足などウソはやめて、必要な節電を求めて、新エネルギーへ舵を切るべき 自分たちのエゴを後世に残すのはやめませんか？ 胸に手を当てて考えて見ましょう。
18515	個人	自営業	30代	男性	(1)ゼロシナリオがいいです	電気はとても必要ですが、もう今更、原子力に頼らないで良いんじゃいでしょうか
18516	個人	会社員・公務員	40代	男性	「2030年に原発即時0」ではなく、「即時、原発0」	原発が再び事故を起こすのは歴史が証明している。 再び事故が起きれば日本は破滅する。 即時原発停止し、廃炉にすべき。 政府は再生可能エネルギーの比率を増やすことに力を注ぐべきです。 2030年まで原発を稼動させてはいけません。

18517	個人	無職	60代	男性	原発はもういらない　０．００%を要求	原子炉の安全に関してはもちろんですが、核廃棄物処分をできるところは日本に無い。１０万年単位で保管するなんてことは誰が保証できるのでしょうか。私たちは数１０年しか生きられない。たかだか良い生活をするために未来に付けを回していく論理はおかしすぎるとは思いませんか。 　原発は今となっては負の財産にしかなりませんが、今の少しの経済的利益のために悪いことがわかっていることを続けるのはもうこの辺で終わりにしよう。 　福島の人たちには気の毒でしたが、今回の事故は原発はもうやめようという合図と考えましょう。 　原発０パーセントは当然ですが、再生エネルギーはもっと発展させましょう。なぜ太陽光と風力だけかな。おかしいですよ。海流、地熱、バイオマス等発電量が予測のつく、又継続的に運転できる自然エネルギーは、まだまだあるはず。 今度の原発事故で、原子力が安定的とはいえないことがはっきりしました。 経済界だとか原子力村とか、官僚とか、特権を持っている連中が一番の 癌ですかね。 優秀な官僚は、政府の方針に従えば給料をうんと上げる制度にすればいい。よくやったヒトには年金屋退職金もたくさん出したらいい。 天下りしなくても良いように。 　原発が５０%になる前に事故が起きて良かった。今なら方向を変えられます。
18518	個人	自営業	40代	女性	脱原発に向けて、自然エネルギーを推進してください。	今すぐに自然エネルギーに変えることは無理なことは十分承知しています。原発をとめたら経済的に無理ということも承知しています。けれども福島第一原発のような事故が再び起きたらもっと費用がかさむことになります。 　今から少しずつ自然エネルギーに変えていくことで、子供たちや未来の子どもたちを守りたいという気持ちで意見を書こうと思いました。 　一昨年前に主人の仕事でイタリアに1年間住みましたが、太陽光パネルの設置や風力発電など、ここ10年の間に風景が変わるほどどんどん増えているとのことで、フランスの原発から電力を購入し続けることからも脱しようという努力が見られます。イタリアは国民投票により脱原発を決定しましたが、そこから本当に実現するまでは長い道のりであることは見てわかります。けれど、だからと言って変えようとさえしなければ何も変わりません。まずは日本の子供の未来を守るため、脱原発を目指そうと声を挙げること、そこから始めたいと思います。

18519	個人	無職	60代	男性	「原発ゼロシナリオ」に賛成。原発再稼働に反対し、世界中のすべての原発の廃炉を日本が率先して提案すべきです。その第一の理由は、人類に対する倫理です。技術的な面では、原発の危険性はすでに証明されています。	原発に反対する理由は以下の通り。(1)原子力というものの平和利用が人類の手にあまるものであること、自然には逆らえない、ということが、証明された。(2)放射性核種を効果的に消滅させる技術はなく、原発は子孫に放射性廃棄物という負の遺産を残すことになる。長期間になるほど、地層処分に適した地域は、変動帯の日本にはない。行き場のない放射性廃棄物をこれ以上増やしてはならない。(3)技術に100%の安全はない。とくに原発という技術では、事故が取り返しの付かない大被害につながることを福島第一原発が証明した。「安全神話」をばらまいてきた関係者の責任は重大である。(4)原発は、保守点検などのため作業員の被曝が避けられないという点で、非人道的なシステムである。(5)これだけの自己を起こした日本は、世界に率先して原発廃止を訴える倫理的義務がある。
18520	個人	家事専業	60代	女性	原発は直ちにやめるべき。(2030年というライフの意味が不明)地震活動期に入っている中、フクシマがもう一度ダメージを受けたら東京にも人は住めなくなる。考えただけでも恐ろしい。原発絶対反対！	日本人のみならず全人類がフクシマから教訓を得た。これを決して無駄にしてはならない。安全無くして平和は無い。電力、府関係者にも家族はいるだろう。それなのにどうして執拗に原発依存に固執するのか？水力、火力、自然再生エネルギー、方法はたくさん有る。黒部ダムはどうなっているのか？ このパブリックコメント募集の件にしてもテレビで広報し、国民みんなが自分の意見を述べなかれば意味がない。いつもの言い逃れ的思いつき的発想と思われても仕方が無い。私は偶然インターネットで知った。だから、この場で私は強く言いたい。原発絶対反対！直ちに原発ゼロを希望。
18521	個人	法人等	60代	女性	ゼロシナリオを選びます。どのいのちもたいせつにしましょう。想定外のことがおきることを肝にめいじるべきです。いまだ、福島の問題は解決せず、多くの難民を出しています。再稼働などもっての外です。	(1)を選びます。 福島を経験した以上、エネルギーの選択は原発はやめるべきです。 地震国日本ではどこで福島のようなことがあっても不思議ではありません。 これから内部被ばくが出てきます。どう対処できますか？何も政府は考えておりません。 未来の子供たちのいのちを優先して考えましょう。 原爆を経験した日本です。経済優先の路線ではありません。いのちを大切にするのが 優先課題です。多くのいのちを失ったのですから、目覚めるべきです。
18522	個人	その他	50代	女性	例え経済が大きく影響を受けようと自然と命を選びます。	今回のフクシマ原発事故により、広範囲に渡って国土や人々や野生動植物、家畜、農作物が被曝、汚染されました。 この問題はこの先何十年と続きます。それはチェルノブイリのその後を見れば明瞭です。 事故が起きていない状態でも作業員は常に被曝しないでは仕事が動きりませんな。 資料済み核燃料の最終処理に関しても全く予定が立っていません。 地震国の日本で原発の稼動を続けていくのは危険きわまりありません。 これ以上自然や命をないがしろにした政策は続けないで頂きたいです。 美しい日本をもっと大切にしてください。新しい今建設中のものも含めて原発は決して建てないと約束して欲しいです。 即停止を望む者ですが、選択肢から選ばなくてはならないとすれば10ゼロ以外に考えられません。 お願いです。目を覚ましてください！
18523	個人	会社員・公務員	40代	男性	「0%」。2030年はももろん、いますぐ0%にするのが、普通の人の考えでしょう。	故郷を失った福島の方々、原発のために助けられなかった方々、自殺を選択せざるを得なかった方々のことをまず思います。廃炉まで40年もかかるなど、信じられないことばかりです。
18524	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発依存度0%を目指して	我が国の将来にとって、エネルギー問題から逃げることはできません。しかし、今現在のことのみしか考えない安易な思考ではなく。先の3・11の福島原発事故で明らかになった原発(放射能)の危険性から私たちの命を守るには、ゼロシナリオしかありません。原発を稼動を速やかに止め、自然エネルギーの拡大に努力すべきです。そのことが、新しい日本の姿であり、科学技術を屈指し環境先進国となることが、世界に誇るべき、日本の将来像ではないでしょうか。
18525	個人	会社員・公務員	70代	女性	「エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 「2030年に原発0」でもなく、直ちに原発0を主張します。	活断層の上に成り立つ日本。核廃棄物を生成してしまう原発の稼働は、日本の未来をつぶす。福島の教訓がなぜ生かされないのか。直ちに原発0、再生可能エネルギーへのシフトで、日本の未来を明るくしてほしい。節電だけでなく、計画停電も受ける覚悟です。
18526	個人	その他	40代	女性	原発ゼロでも電気は足ります。原発はいりません。	我が国は世界で唯一原爆を落とされた国です。戦後67年経っても、その傷は癒えていません。 そんなところに、昨年3月11日の福島第一原発事故です。マスコミは報じようとしませんが、被害はチェルノブイリの4倍にわたっています。 その被害を最小限に抑え、再度事故を起こさないようにする努力も見られないまま、原発を再稼働するというのは、民意から乖離しています。 もううんざりです。 原発など不要です。
18527	個人	パート・アルバイト	50代	女性	原発及び再稼働について、また国のエネルギー政策について。	全国の原子力発電所の再稼働については100%反対です。 なぜなら福島の原子力発電所の事故を踏まえて、 いかに原発の脆弱さを思い知り、100%安全でないのなら 増して地震国日本に耐えられない物なのならば稼動すべきではないと思います。 今はテクノロジーが発達して原発に頼らない発電方法がたくさんあります。 アメリカの言いなりにならず、日本の子供達のために クリーンな世界の残さなければならない、わたし達大人の最低限の使命です。 最終処分方法も確立していない燃料棒を子供達に残すなんて耐えられないし、愚かな行為。何故国民の七割以上が反対してるのに無視できるのか？ JAPAN、JAPAN、ここで放射能廃止へのスマートなシナリオを世界に発信して
18528	個人	家事専業	30代	女性	原発ゼロシナリオ！！！ これ以外にはありえないと思います。	この地震の国、そして世界で唯一の原爆の被害を受けた日本だからこそ、考えなくてはいけない、新しい資源、エネルギーのあり方があるのではないですか？ 目先の便利さ、利益だけを最優先に進んできたこの国の、これからの道、未来は、今のこの時にかかっていると思います。 子供たちが健康に、安心して成長していける。という当たり前のことすら叶わないような国に未来はあるのですか？ 原発は、絶対に反対です。 段階的にでも、ゼロの方向へと進むべきです。 これは日本だけの問題ではありません。 世界中の国々が、これからの日本の動向を見つめています。 この国だからこそ、やらなければならないこと。 どうか、目を覚ましてください。
18529	個人	自営業	30代	女性	原発は今すぐやめてほしい。 原発0%を希望します。	息子に明るい未来をあげたいのです。 私たちはネットでいろいろな現実をしっています。 今すぐ原発を停止し、廃止して頂きたい。 自然エネルギーを利用を希望します。 地震大国日本は原発を持つことは体に巻き付けた爆弾のように感じます。
18530	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発依存から脱却し、「ゼロリナリオ」の実現に向けてエネルギー政策を推し進めていくことを求めます。	原発を続けることは、将来の子どもたちにどうしようもできない危険な放射能を残すことです。3．11の福島原発事故で明らかになった原発の危険性から私たちの命を守るには「ゼロシナリオ」しかありません。できる限り早く「ゼロシナリオ」を決定し、自然エネルギーの拡大に努力すべきであり、そのことが日本の明るい未来に向けて進むための第一歩となると考えます。
18531	個人	自営業	40代	女性	原発依存度は0%を選択します。	電気はなくても生きていけますが、大地や空気や水がなかったら生きていけません。 自らそれら(大地や空気や水)を汚染させることになる原発はもうこれ以上増やさないでください。 今後は、すでに抱えている原発の後処理にのみお金を使ってほしいです。
18532	個人	無職	60代	男性	放射能の危険のない「等圧法核融合炉」の開発を求めます。	「等圧法核融合炉」は、安全・無公害・コスト低廉、であるということを聞きました。まだ実験装置がなく確認されてないらしいがエネルギー問題(特に現在の原子力発電)は、子々孫々の命に係わる大事なことである。 可能性があるなら是非政府で確認し、今後の政策に組み込んでいただきたい。 以上
18533	個人	会社員・公務員	30代	女性	今稼動しているすべての原発を止めて、即日、原発ゼロ%に賛同。理由は、事故が起きれば、立地自治体・周辺住民の生存権を脅かすものは電源とはできないこと、最終処理の方法が確立していないこと、この2点です。	即日、原発0%にしてください。 震災による原発事故で、立地自治体・周辺地域の多くの人々は、憲法で保障されているはずの生存権が奪われました。その事実が起きてしまった以上、原発を即時廃炉にし、処分方法が確立されていない廃棄物をどうするのかに専念して知恵を絞ってください。 国民の生存権を踏み台にしてまで経済成長・便利な生活を確保するのが政府の役割だとは絶対に思えません。勇気あるご決断を現政権にはしていただきたいです。 現在、二児の母、そして学校教育にかかわっています。かたや「いのちの授業」を、ながら、原発に対する今の大人たちのスタンスを、胸を張って説明できません。危険な状況は今でも作業員の方を中心に続いていますが、その状況を倍増させるような方向に進まないで下さい。今、日本にはたくさんの困難がありますが、これからは少しでもポジティブな未来を子供たちに見せてあげたいのです。 ゼロシナリオの中にはかなり厳しい省エネ・節電・規制がありました。もっとこれから良いアイデアが出てくるかもしれないけど、私たちの生活にも相当数影響があることは否めません。 でも、政府が脱原発の方針を勇気を持って打ち出せば、私たちは電力が逼迫した状況下でも譲り合い、我慢し、知恵を絞りあって、どうにか暮らしていきます。自然エネルギーの普及もかなりのスピードで進むでしょう。医療機関のみ、電力をきちんと保障できる方法を考えましょう。それで十分ではないですか！ 震災、原発事故を教訓に、これから日本がどのように進んでいくのか世界中が注目していると思います。「人」を大切にする国へと進んでいってほしいです。
18534	個人	無職	60代	男性	原発ゼロシナリオを主張します。 限りなく力を尽くして即刻ゼロにすべきです。	・うそ八百で国の国民をバカにしている今の日本政府と企業に、原発を運転管理する資格などはない。いくら技術があっても運転管理する人と組織が駄目なら事故は再び起きる。 ・原発に「完全な安全はない」、メリットに比ベリスクが余りに大きすぎる。もう一度深刻な事故が起きれば日本国土は無くなる。ふるさとを奪われた福島の人達の事を思うと涙が止まりません。 ・原発の寿命40年に対し、ゴミ(高レベル廃棄物)の管理に10万年も要するなどバカげている。自分達の今の繁栄のために未来の子供達に負の遺産を残すなど大人達の恥です。
18535	個人	会社員・公務員	40代	女性	ゼロシナリオでよいと考える。原発にかけるお金を、太陽光発電や小規模水力発電にまわせば、あっという間に原発分はまかなえると考える。子ども世代に負を残すことはできだけやめるべきと考える。	我が家は5月に太陽光発電を導入したが、非常に有効であると感じている。 工場などについては設備投資として太陽光発電を導入し、日中の電機をまかなうことで大部分が解決してしまうのではないか。 また、工場などは水の近くであることが多いので、小規模水力発電という選択肢もある。 これは設備投資となるので、消費が進み、経済活性につながると考える。 一方、1年ぶりに東京にいったが、去年の節電ムードはほぼ全くなかった。 人間なければいようにエ夫するのに、しなくていいとなるとしない、ということを如実に感じさせた。いま必要とされている電力は、ほんとは不要な(なくても<よい)ものまで含めて必要としているとしか考えられない。 原発は、事故が起こった時に周辺住民というだけではいえないほどの広範囲にわたって人体に影響を及ぼし、それが土や水に影響を及ぼし、全ての生態系に影響を及ぼす、ということが明らかになった。また事故そのものの鎮静化も尋常でないことも明らかになった。ここまでのリスクを背負って原発を維持するメリットはないと考える。 太陽光発電というコストの下がってきた代価手段が目の前にあって、なぜ原発を維持する議論をするのか、全く理解できない。 電力会社を国有化するのであれば、NPOのように利益が出ないようにすることにすればよい。そして電気代金へ還元するのが、一番普通なのではないだろうか。
18536	個人	会社員・公務員	30代	男性	「原発ゼロシナリオ」を希望します。既存の原子力発電所の再稼働はしないでください。	再稼働はしないでください。子供たちに健康な未来を残す為に、原発はゼロにしてください。もっと省エネルギーの取り組みを進めてください。
18537	個人	自営業	40代	女性	原発ゼロシナリオを選択します。	どうしようもなくなり、元に戻す労力を使うよりも、そのエネルギーを、地球環境を破壊しないエネルギー政策に使うことのほうが、安全で有効的だとおもいます。 子どもたちに健康に生きることができる環境を残してください。
18538	個人	会社員・公務員	40代	男性	福島原発事故の教訓から「ゼロシナリオ」を決定し、自然エネルギーの拡大に努力すべきです。原発立地市町村には新しい地域経済復興の施策を実現することを求めます。	福島原発事故の教訓から「ゼロシナリオ」を決定し、自然エネルギーの拡大に努力すべきです。原発立地市町村には新しい地域経済復興の施策を実現することを求めます。子どもたちに負の遺産を押し付けるべきではありません。
18539	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発を古いものから徐々に廃炉にし、2030年までに全廃する。 グリーンエネルギーに国、企業、国民が一体となり、取り組む。	福島の事故で明らかになったように原発は、危険であり、事故が起こってしまえば、もうそこには住むことさえできない状態である。2度とこういうことが起きてはならないと思う。 電気が必要なら、原発以外のエネルギーを使おう。そこに税金を使ってください。やれないのではなく、やろう。
18540	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオ支持です	そもそも、原子力発電の安全性については、政府の主張を盲目的に信じてきました。 地震大国である日本において、それによる事故の発生は当然予測されることで、それに対して政府は絶対の安全を公言してきたわけですから。 地震が起きても原子炉は破壊されることはない・・・確かに1次的なダメージということでは破壊されることはなかったのでしょうが、周辺施設が大きなダメージを受け、2次的に破壊されたのでは同じことではないのか。 地震発生時には直ちに安全装置であるところの制御棒が挿入され、核反応を停止する・・・確かに安全装置は働いたようですが、それが直ちに核反応の停止ということにはならなかった。 政府の説明はいずれも表面的な事象を説明したのみで安全を唱えたのであって、実際それがその先の危険性に言及しない、「安全だと思わせるための説明」であったことが今回明らかになったわけです。 実際にこれほど重大な事故が起こってから、自身の不明を恥じるのはなんとも滑稽といわざるを得ませんが、事が明らかになった以上、NOと言わないわけにはいきません。 嘘に等しい説明不足が明らかになっていながら、同じエネルギー政策を推進しようとするなど、政府の厚顔無恥ぶりにはあきれるばかりです。 今回の事故による歳出の増加、電気料金の値上げ、原子力はすでに安価なエネルギーでなくなったのは誰の目にも明らかです。 放射性物質をを大気に、海に垂れ流し、クリーンなエネルギーということもはやできません。 政府が原子力発電の推進にあたって、もっとも声高に唱えたその2つのメリットが失われた今、継続の選択がありえるとは到底思えません。 なぜそれほど原子力にこだわるのか全く理解できません。
18541	個人	会社員・公務員	40代	男性	国民経済振興の観点や復興財源の確保のためにも、最大限度の原子力比率を維持すべき	原子力発電の比率については、現状以上を目途とすべき。その意味では、本選択肢に不満はあるが、最高度以上を目標とするべき。 東日本大震災の復旧、復興について、原子力発電を活用し、安価で安定的な電力を供給することで、化石燃料の輸入に振り向けられる財を復興に振り向けられ、公共事業や民間投資と相俟って内需の高進を図ることができる。 政府の選択肢に関して、再生可能エネルギー導入の目標が、個人の選択の自由を大幅に制限するものであり、非現実的であると同時に、コスト面から絶対に引き合わない、つまり投入した財以上の価値を生み出さない設備投資になる、という事が明らかである。現にドイツでの導入は、供給力としての実用性の無さが実証され、電気代の高騰を招いただけの失敗に終わっている。再生可能エネルギーの導入には慎重であるべき。
18542	個人	会社員・公務員	40代	男性	日本国として、次世代の効率的な代替エネルギーが開発および実用化されるまで原子力発電は必要だと考えます。政府においては、「現時点と将来のこの国のあるべき姿」を正しく見据えて智慧のある判断をお願いします。	左翼勢力およびマスコミの煽動により、「原子力は悪」という風潮が蔓延していますが、現時点において日本が原子力を放棄することは、自殺行為に当たると信じています。原子力発電を放棄した場合の代替手段として、火力発電がありますが、石油の輸入コストが飛躍的に増加します。また、電気料金の値上げにより、個人も打撃を受けますが、企業も大きなダメージを受け、円高による国際競争力の低下に追い討ちをかけることとなります。さらに外的要因として、産油国の一部は政情不安定であると共に、石油資源を輸入する経路(シーレーン)には中国の脅威が迫ってきています。上記のような理由により、現時点で日本が原子力を放棄することは、エネルギー供給における重大な危機を招くこととなり、日本が第2次世界大戦に突入した状況と同じようなエネルギーの調達環境になることを懸念する次第です。

18543	個人	無職	30代	女性	めざすべきは完全な脱原発です。	シンプルに考えて不利以外の選択肢は生まれません。 消費社会からの脱却はニッポンから！！ 非核三原則を提唱、実行できた国です。わたしたちにしかできない事で誇りのもてる国にもういちど！！！！
18544	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発ゼロシナリオを選びます。	原発ゼロのシナリオを選びます。 安全な自然エネルギーを進めて下さい。 コントロールが確立されていない原子力発電を進める事に、強く反対します。
18545	個人	自営業	50代	男性	直ちに原発を廃止する必要があります。原子力（核）は人類とは相容れない、2030年までとの設定ですが、直ちに止めるべきです。	直ちに原発を廃止する必要があります。 (1)東京電力福島第一原子力発電所の事故では、どこがどれだけ壊れているのか人がそばに行って調べることが出来ない。まして人が行って直す事も出来ない。30年から40年で廃炉とNHKを使ってプロパガンダを流し続けているが、ほぼ半永久に廃炉出来ないことは、有機者は馬鹿ではないので分かっている。(2)人類は放射能を無毒化出来ない。NHKを使って「除染」「除染」とプロパガンダを流し続けと、まるで放射能を取り除けるかのように宣伝しているが、放射能をAからBにBからCに移すことしか出来ない。それが今の現在の日本の技術レベルです。一旦汚染された広大な大地は、数百年にわたり人が住めない。ウランを燃やしたあとの使用済み核燃料は、処分することが出来ず、使用済みプールに一時保管していて、プールが既に満杯で、ウランを燃すことが出来ない事態に追い込まれていて、事実上、原子力発電は破綻している。(3)原発の熱効率は約30パーセント、約70パーセントの熱は海水を1秒に70から80トンを7度温めて、地球気候変動を促進させ、海水温上昇により海水に溶けていたCO2を大気に放出させて、地球気候変動を促進させている。LNG及び石炭ガス化、タービンによる発電・給湯では、熱効率約60から80パーセントであり、原発は遅れた技術熱効率も悪く評価に値しない。石炭は地球上に豊富な資源で、数百kmにわたり露出している地域もあり、固体なので安価に取引されている。LNGもさかんに発見されて開発がすすんでいる、ますます資源量が多くなっていく。ウランはまことに貧弱は資源で、ウランのさらに0．7パーセントしか燃やすことができない。原発はまったく評価に値しない。
18546	個人	家事専業	60代	女性	原発は即刻止めるべきです	・原発は即刻止めるべきです。 理由 地球温暖化と2酸化炭素との関係が良く言われています。このまま化石燃料を燃やし続ければ100年で大気は5℃、表面海水温で3℃上昇する。そして原発は2酸化炭素を排出せず、地球温暖化をさせないという話です。海水温の上昇は海水温の2酸化炭素の含有量を減らすため大気中の2酸化炭素量を増やし、さらに温暖化傾向に拍車がかかります。 新聞記事で以下のようなコメントがありました。 「日本周辺の海面水温は、100年当たりで世界平均（0．5度）の2倍強の0．7～1．6度の割合で上昇していることが気象庁の調査でわかった。1900年から昨年までの船舶による観測データを新たに解析し、日本海中部が1．6度と最も高く、四国・東海沖北部が1．3度、山陰から中国、九州が1．2度など西日本で高かった。同庁は、上昇率が同程度の地上気温が影響している可能性があるとみている」 ところで、原発から排出される温水は排水口近辺の海水温を数℃上昇（上限7℃で規制）させるとの事が言われています。この温度上昇は原発を動かし続ければ続けるほど温度上昇域の海水面積を広げていきます。（このため漁業被害が取りざたされています）。もちろん海水面蒸発や対流、拡散によって海水温は下がります。多分、この温度上昇と温度下降バランスが取れるところで温度上昇は止まるのだと思います。地域の海底面が日本海や瀬戸内海や駿河湾のように浅い場合、平衡になる海水温が高くなることが予想できます。海水の温度上昇には大気温度の上昇や生活排水、工場廃水に起因するものもあるとは思います。でも、原発からの排水がさらに加わる事は否定できない事実です。 またガスや石油・石炭での発電も海水温上昇の一因となります。原発もガスも石炭も熱変換効率は約3分の1で残りの3分の2は廃熱として捨てています。 しかし原発は一度運転を始めれば、常に稼動させなくてはなりず、電力需要の増減に従って、ガスや石油のように入力供給を調整することが出来ません。電力需要が減った場合、余った熱エネルギーは1部分揚水発電に利用し残りは海水に捨てています。 海水温上昇という視点で考えてみると原発の稼動は化石燃料を燃やすよりも多く海水温を上昇させる。特に日本という地域ではもしかすると、さらに上昇を早めていると考えられませんか。ここら当たり、さらに詳しい現地調査が、必要なのではありませんか。 ところで、気象庁は台風と表面海水温との関係について、このように言っています。 「台風が発生・発達するには、海面水温が28℃以上であることが必要といわれています。ただし大気の状態も重要な要因であり、海面水温が高いだけでは台風の発生・発達につながりません」 この話から、一度太平洋で発生した台風は、その進行経路の海水温が高ければ高いほど強大になってくる可能性があると思えませんか。 現に日本近海の夏から秋にかけての海水温は7度この28℃前後からそれ以上になります。このため毎年、この時期台風被害に合います。しかし台風が北上するにつれ、海水温も低くなり、台風も徐徐って勢序低気圧に変わっていきます。従って日本列島南部ほど被害が大きく、北部に行くほど被害が少ない訳です。また海水温が一番高くなる秋口に被害が大きくなります。 もし、原発による海水温度上昇域が台風の進行経路に重なるとすれば、海水温が高いため、台風が強い状態のまま北上する可能性があると思われます。日本は台風の通り道です。毎年、台風被害（停電被害も含む）で膨大な損害が生じています。 今後、台風の強大化に伴う被害を少しでも小さくしたいのであれば原発は即刻、止めるべきです。 もちろん代替エネルギーとしての化石燃料も可能な限り自然エネルギーに変えていくべきだと思っています。
18547	個人	無職	40代	女性	がれきすらを受け入れる場所がない日本で、原発ゴミを出し続けることは現実的だとは思えません。	がれきすらを受け入れる場所がない日本で、原発ゴミを出し続けることは現実的だとは思えません。 私は、原発0%を目指すべきだと考えています。
18548	個人	自営業	40代	男性	原発はいらない。核兵器を生産していない地震大国の日本が原発を稼動させていることに無理がある。40年以上経っているもの、不具合が多いもの、立地条件に問題のある原発は即使用停止・廃炉すべき。	原発稼動を国・県・地元が認める・認めないといった話題が多く取り上げられているが今後稼動する場合はこれまで通りの安全一点張りでは通用しない。 SPEEDIなりで問題が起こった場合の非難優先地区等国民に事前に広く周知させるべきである。 平時に出来る事であるので、即時行動に移すべきである。
18549	個人	家事専業	30代	女性	断固として原発依存0%、脱原発を支持します。	海外在住ですが、選挙権を持つ日本国民として意見させて頂きます。 これからも地震や津波の脅威が必ずと言っていいほど日本を襲ってきます。それが分かっていながら、そして日本だけでなく、世界中、地球上に解決できない放射性物質をまき散らしておきながら、まだ原子力発電に依存したいという政府の考えが全く理解できません。日本の将来を本気で考えるのなら、原子力発電ではないエネルギー政策へと転換し、世界からリスペクトされる国を目指すべきです。このまま行くのでは日本の将来は無きも同然です。再度、今回のような人災を生ずれば、国際社会からの救助の手はどこからも伸びないでしょう。首相は責任を取るとおっしゃっていますが、首相の政治生命くらいで責任が取れるほどの問題ではありません。軽々しく再稼働をした政府と、与野党含め全ての国会議員、もちろん東京電力その他の電力会社に断固抗議申し上げます。現在海外に住んでおりますが、将来娘が日本人として、日本に住みたいと言い出した時、安心して住むことのできる国であって欲しい心思いますが、残念ながら、我が祖国であってものままでは帰国させたいとは全く思えません。 それと、海外から見ていると、日本のこのようなごたごたは政治とも呼べない情けない体たらくとしか言いようがありません。「まともな」ビジョンをもって国を治めることのできる、本物の政治家が出て来て欲しい之願っています。はっきり言って現在の政治やお役所の仕事の進め方に絶望（失望以上です！）しています。言葉は荒くなりますが、国民をバカにするのもいい加減にして欲しいです。大江健三郎さんがいみじくも患弄されているとおっしゃいましたが、まさにその通りと感じざるを得ません。 きちんとまとまった意見が書けませんが、おなじ血税と努力を要するのであれば、多くの日本国民は原発をやめて他のエネルギーシステムへ移行する試練を選ぶと思います。福島の方々が、どれだけ大変な思いをしているか、原発事故の現場で働く人が文字通り命がけで戦っているか、国を操っている皆さんは、そこに一緒に住んで生活するべきと、心底思います。
18550	個人	その他	30代	男性	既存原発の有効活用を	今回の福島第一の事故で、原発の安全性はあまり筋がよくない、ということがわかりました。 しかし、稼働していない原発のもつリスクは稼働しているときとほどんど違わない、と思います。 また、原発を置換できるだけの発電機構はまだないのが現状です。 大規模地熱発電（マグマ発電）や宇宙太陽光発電の大規模な自然エネルギー発電に切り替えることができるまで、原発を使い続けるべきだと思います。 もちろん、老朽化した炉については廃炉にすべきですが、比較的新しいものについては、使い続けるべきです。 反原発「市民」団体は「子供の命」で脅していますが、電力不足に伴う経済の低迷のほうが将来の「子供の命」に与える影響が大きいと考えています。資源の乏しい我が国において、経済力や科学技術力を維持していかなければ、国家として存続できなくなってしまいます。 上記の理由により、代替技術が確立するまで、原発を使用していく(ただし段階的に古いものから廃炉)必要があると考えています。
18551	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発は絶対に反対。 原子力発電ではなく、100%自然エネルギー目指して進んでほしい。	今回の福島原発の事故で、原子力発電の恐怖を思い知った。 地震、津波、竜巻、洪水、噴火、沢山の自然災害が多発する今、原子力発電を稼働することがどんなに危険な事か、私のような学歴もない一般市民ですらわかる。 原発を、子供達の世代に残す事は絶対にあってはならない。100%自然エネルギーに移行していくべきだと思う。 大地震で起きた悲惨な事故を、2度と繰り返してはならない。 どんなに危険かを思い知った日本は、今、変わらなければならないと思う。
18552	個人	その他	40代	男性	これ以上の事故を招かないためにも「ゼロシナリオ」以外に考えられません。子どもたちに安心して牛乳や野菜を食べさせられる日本を残してください。政府の責任とはそこにこそあるはずです。	原発が一つも動いていなくても、電力は不足しないし、家庭で節電の必要すらありません。 電力会社は電力不足を盛んに訴えていますがそれは根拠のないデタラメです。 関電は夏場のピーク時には10～20%不足すると盛んに危機感を煽っています。 しかしこれは真っ赤なウソです。資源エネルギー庁の試算では、静岡以西の60Khl圏の発電力全てを合計すると、ピーク時電力より130万kwもの余裕があるのです。 つまり、電力会社間で余剰電力の融通を行えば、電力は不足することはありえません。 このように、全原発が停止しても、電力が不足しないことは明白ですが、電力会社は不足すると声高にウソを訴えます。 なぜでしょうか？ご想像のとおり、そこに莫大なお金が絡むからです。 原発一機の建造費は現在では4000億円を超えますが、すべて借金によって造られます。 発電して支払えば良いという考え方なのです。ですから、発電のできない原発はとたんに不良債権となります。 動かない原発は赤字製造マシーンなのです。 一方、建造費の借金をすべて払い終わった古くて老朽化した原発は、ドル箱です。 40年を超えても、危険を冒してまで劣化した原発を動かし続けるのはそのためです。 震災後多くの原発が停止し、火力発電の燃料費がかさんで電力会社が赤字になっていると聞きます。 しかし、これほどでたらめな話はありません。 火力発電では、燃料をたくさん燃やし、多くの燃費がかかります。 しかし、電力会社は燃やした燃料代以上に高い値段で電気を売っているので、燃料代で赤字ということは絶対にありません。電力会社が赤字になる理由は、原発がとまり、その抱える借金が発電で返せず、まるまる負担となっているからなのです。嘘をつくのは電力会社だけではありません。 原発の利権は"原子カムラ"と言われるように、電力会社や関連産業以外に政界・官僚・マスコミ・学界が広く手を結び共有しています。彼らは一緒にウソをつくのです。 ここで、原子カムラのウソの実例をいくつか挙げておきましょう。 最も有名なのは去年の夏の電力不足大キャンペーンでしょう。 電力も政府もマスコミもこぞって機器をあおり、原発のありがたみを訴え、節電せよと脅しました。 東電では福島始め多くの原発が止まり、古い火力発電所の整備・起動が追いつかず、電力が大幅に不足すると言われました。太口の企業のみならず、家庭でも"節電"が当たり前のように求められ多くの国民は黙って従いましたが、実態はどうだったのでしょうか？ 最大電力だったは8月18日のピーク時で4922万キ ロワットと、供給力5460万キロワットを大幅に下回っています。 家庭での節電分は約100万キロワットで、あれほど最さを我慢してのう頑張りは、実は全く不要だったのです。 この電力不足キャンペーンの大元を支えた国の試算のウソは最近バレてまだ記憶に新しいところです。 国は、原発7機分にもあたる759万キロワットの自然エネルギー分を勘定に入れず、本当は6%の余裕があったにもかかわらず、9．2%不足するとウソの需給見込みを算出、日本中が不必要な節電を強いられました。 電力不足キャンペーンの中でも特に印象に残っているのは、バルバルの燃料不足デマをブチあげ、石油協会に真っ向から否定され恥をかいた九州電力のデマです。 震災直後の5月、九電の6機ある原発の内、すでに3機が停止、再稼動の見込みはまったく立っていませんでした。そこで、玄海2号・3号の早期再稼動をもくろみ、5月18日、九電は記者会見を行います。曰く、このままでは夏には火力発電用の燃料が不足するので、原発がこのまま再稼動できないなら電力が20～25%不足するとして、15%の節電を呼びかけました。これを受けて、九州中を節電の話題が駆け巡ることになったのです。ほとんど脅しに近い感じです。 しかし、何とこの発言は再稼動したいがための デタラメだったことがたちまちばれてしまいます。 5月26日、石油連盟の会長が自ら記者会見を行い、燃料は足りている、足りなくなることは無いと、九電の発言を真っ向から否定したのです。 これで、九電の節電要請は全く説得力を失い、一気にトーンダウン。 その後ほどなく、やらせ問題などを噴出し、九電の信用は完璧に失墜していきました。 全ての原発が停止しても、日本が電力不足になることはありません。 "電力不足"という言葉は、原発の再稼働を仕掛けたい原子カムラのでっち上げです。電力は足りています。 家庭で節電の必要など全くありません。(エネルギーの節約はとても良いことだと思うけど、それとこれとは別の話)
18553	個人	会社員・公務員	40代	男性	脱原発を前提とし、新たな自然エネルギーへの転換を推進する。	放射性廃棄物の処理技術が確立していない以上、原子力発電は欠陥といえる。 また、原子力発電は、リスクや廃棄物処理に関する費用は、電気代に転嫁せず、税金で賄われている。 同じ税金なら、原子力発電の維持に使うのではなく、自然エネルギーの開発などに使ったほうがよい。
18554	個人	法人等	50代	男性	原発依存度はゼロにするべきであると考えています。原子力発電によって生まれる放射性廃棄物はこれから極めて長い時間にわたって管理されなければならず、「世代間の不公平」となります。	原発依存度はゼロにするべきであると考えています。理由などは次のとおりです。 （1）原子力発電によって生まれる放射性廃棄物はこれから極めて長い時間にわたって管理されなければなりません。現在生きている人間のツケを子孫に払わせようとしています。これは「世代間の不公平」であります。原発を停止しなければ、必ず我々は後の世代から糾弾されます。 （2）しかし、その代わりに化石燃料を使った火力発電を増やしたのでは、温室効果ガスの削減になりません。そのためには再生可能エネルギーを拡大するための方策を大々的に展開すること、例えば、風力発電や地熱発電、太陽光発電などを政府として奨励するとともに、そのようなエネルギーが流通しやすい環境を整えることが必須です。 （3）それにしても、現代人はエネルギーを使いすぎています。「GDP 信仰」から脱却して、質素で幸福な生活を送ることができるような世界になることを希望しています。
18555	個人	その他	40代	女性	ゼロシナリオを目指すべき。 国民への経済的な配慮をしつつ、なるべく2030年までには依存度がゼロに なるよう国が為すべき。	現状としては、原発を稼働しなくてはなりたたない事案等あるので、 今すぐには"ゼロ"にはできないであろうから、2030年までには、早急に代替できる発電方法を国家レベル、地球レベルで探し出すべき。 もう、想定不足で済む話ではない。 国家としては、これ以上の失態を演じないためにも、"ゼロシナリオ"を 目指してほしい。
18556	個人	自営業	40代	男性	(1)原発依存度0パーセント即時廃炉にすることを求めます	原発は、ある意味で核兵器と同じだと思います。 核兵器を持つことで平和はないのと同じで原発で日本が平和を手にすることはない。これは福島第一原発事故が起こったことから明らかだ。誰にも制御することが出来できないものだ。事故の責任をたらい回しにし、責任逃れをする姿はあまりに情けない。原因も自己にあると認めずに、こんな状態で原発を動かすことは倫理的に許されるものではない。
18557	個人	その他	60代	男性	原発再稼働の根拠は何か？ 国民の願いを無視した方針はどこから来るのか。 つぎの総選挙では民主党は消滅すると思う。	原発再稼働の根拠は何か？電力会社、経済連の言いなりで、官僚の筋書きどうりに動く能無しの内閣である。 国民の願いを無視した方針はどこから来るのか。 戦後最悪の内閣と言わざるを得ない。 オスプレイの国内配備の危険性についても、アメリカの言いなりであり、恥を知らない亡国内閣だ。 反論があるならはんろしてみろ。 これ以上国民を侮辱するな！ つぎの総選挙では民主党は確実に消滅すると思う。 何故なら野田の顔に強烈な嫌悪感を覚えるからだ。
18558	個人	会社員・公務員	50代	男性	絶対0シナリオ	私は、シナリオ0以外に考えられません。今回の東電福島原発事故は、原子力発電そのものが持つ潜在的なリスクを白日の下にさらしただけのものです。原子力開発の発端が原爆などの核開発であり、人殺しの道具という原罪から解き放たれることのない、本来、人間が手を出してはならないパンドラの函であると思います。 　確かに、通常の状態では、人の手によりコントロール可能でも、ひとたび大きな負荷がかかれば、手に負えない事態を招く事は、今回の事故でも明らかです。電力関係者からは、今回の事故を想定外の津波が引き起こしたものであり、津波対策を徹底するとともに各種設備の強化で再発は防止されるとの意見もあります。 　しかし、活断層や火山の存在やテロ対応能力の脆弱性、さらに危機管理に対する人的な対応能力の欠如等は、原子炉事故の再発を強く懸念させます。また、処理方法が未定な使用済み核燃料が原子炉稼動に比例して増加していくことは宿命であり、狭い地殻変動の激しい国土に子々孫々に対する好ましからざる遺産を残す事は決して行ってはいけないと思います。 　広島・長崎を経験し、核武装を放棄した日本。フクシマを経験し、いまだその解決が遅々として進まない原子力を原則放棄する事は当然ではないでしょうか。原子力から再生可能エネルギーへの転換を国策としておこなえば、産業界にとっても利益は多いと思います。また、国民一人一人がエネルギーを生産し、消費するようになれば省エネや二酸化炭素対策への国民の理解も深まるのではないかと思います。 　そして、これらの経験や知識・技術を広く世界に発信することが、日本の責務であると私は考えます。

18559	個人	パート・アルバイト	60代	男性	原発を減らす事によりマイナスの影響が非常に大である。電気料金の値上がり 、節電により産業活動の停滞による景気悪化、失業者の増加、国民の健康への影響、給料の低下等、国民の生活水準を守るべきである。	原発の代わりに、再生可能エネルギーと言っていますが、こんな不安定なエネルギーでは、将来も電力供給の不安、節電、電気料金の値上がり. 産業活動の低下等、日本の未来は暗いものになってしまいます。 原発の安全性が確保されたところは早く再稼働させ、本当に危ないところは廃炉させても、今よりもっと安全性がある原発なら新規建設も進め、原発比率は30%以上は確保すべきと考える。 又、最近の中国の骨威から、シーレーンの危うさや、安全保障上も原発の維持は最低限必要であると考える。
18560	個人	会社員・公務員	40代	男性	脱原発	「3．11福島原発事故」で明らかなように、原発の危険性から私たちの命を守るには「ゼロシナリオ」しかありません。原発を稼働し続けることは、将来にわたって危険な放射能を残すことであり、使用済み核燃料の処分技術や処分場所も不確定な中で、原発を稼働させることはできません。自然エネルギーへの政策転換を図るべきです。
18561	個人	会社員・公務員	60代	男性	15シナリオ・20～25シナリオに反対しゼロシナリオ賛成	1．原発の事故を二度と起こしてはならない。 2．津波・地震に対する絶対安全の対策はあり得ない。 3．福島第一原発の廃炉まで何十年もかかる。 4．使用済み燃料・放射性廃棄物の処理策はない。地中に埋めるというのは 　処理ではない。 5．原発に対する世論は二分ではない。国民の大多数が原発の存続に反対してい　る。 　以上から15シナリオ・20～25シナリオは論外、ただちに大飯原発を停止する　とともに全原発を即刻廃炉にすべきである。
18562	個人	その他	40代	男性	2030年の原発依存0%「ゼロシナリオ」にしましょう。	3・11の福島原発事故で明らかになった原発の危険性から私たちの命を守るには「ゼロシナリオ」しかありません。 国民の命を守る、尊厳を守る、それが政治家の仕事です。
18563	個人	会社員・公務員	50代	男性	原子力発電は国民の命と健康を守るために、すみやかに「0」にすべき。同時に、政府は京都議定書に沿ってCO2対策に本気で取り組むべき。太陽光、地熱、風力など、環境問題を重視して取り組むことも重要。	福島原発事故により、原発の危険性がはっきりした。政府事故調査委員会も国、と東京電力の問題を指摘している。今の福島の姿は多くの科学者がこれまで原子力発電の危険性を指摘してきたことを、国と電力会社が無視し続けた結果。今の科学では原発事故をコントロールができない。原発を止めない限り第二、第三の福島は必ず起きる。 原発をやめたら、どうして温暖化が進むのか？「原発0＝温暖化の進行」という論調は、原発推進派が国民を欺くための常套手段。国民はもう、だまされない。
18564	個人	会社員・公務員	30代	男性	選択肢として3つシナリオが提示されていますが、原発ゼロは大前提で温暖化対策を十分に考慮し、強化したシナリオを希望します。	多くは書き込みませんが、昨今の状況と今後の進め方をみます。原発ゼロの選択肢以外は考えられません。 自分の子供を含めた未来の人々たちにこれ以上迷惑はかけたくありません。 いろいろな資料などを自分なりに集めて、至った答えです。 そのため、温暖化対策も提示シナリオもしか出てこなかったのが理解できません。 欧州の自然エネルギー利用や、エネルギーの使い方自体を、日本がそれを超える手法育成とその実行を望みます。 出来ない理由はないと思います。 子供たちが幸せに過ごせる、今為る居場所をなくさないように。
18565	個人	その他	60代	女性	2011年の震災、原発事故による被ばくを経て、原発の廃止は当然の結論。	福島の被災者と汚染された土地を、もとにもどすことはできない。 経済を優先して原発で儲ける人は、さらに多くの人間と自然を犠牲にして、 喜んで生きるれれるのか。私は犠牲になりたくない。ほかの人にも犠牲をしいることはできない。
18566	個人	法人等	30代	男性	私は今回のエネルギー選択において、「ゼロシナリオ」を支持します。	原発において、チェルノブイリや福島の事故を防ぐ抜本的な方策はなく、高レベル放射性廃棄物の抜本的な処理策もないように思えます。 原発の抱える抜本的な問題解決がないまま問題を後世に残しながらエネルギー政策を進めていくのには疑問を拭いきれません。(また、日本は地震や活断層の問題など、原発によりふさわしくない環境だと考えられます。) さらに、代替エネルギー（自然エネルギーや再生可能エネルギーも技術の発展や（特に蓄電が一般家庭でも可能になりつつあるなど）普及を進めることが現実的になりつつあるように思えますので、年月はかかるかもしれませんが持続可能で環境負荷の少ない社会システムづくりの為には必要な選択だと感じています。 一方で、原発関係で経済活動を営む方々への配慮や保証（被爆作業員の方々などを含む）は必須であり、経済の構造転換を図り、その成果を国や産業、社会の強みとすることのなかで、新たな雇用を生み出す流れをつくる事こそ、現時点で必要なことなのではないのでしょうか。 また、よく聴く「潜在的核武装」の問題ですが、この点についてはエネルギー選択とは切り離して議論をすべきであり「潜在的核武装のために原発を推進する」という事がないようにしていただきたいと考えております。 長文になり申し訳ありません。なにとぞよろしくお願いいたします。
18567	個人	会社員・公務員	20代	男性	反原発・反核	国民のための政治であり、国家が国民の生活・生命を脅かす可能性（もう既に）する行為は犯罪である。毒物を撒き散らす反社会勢力と何ら変わりがない！ なぜ国民の声を聞かない？どうして？どうして？
18568	個人	会社員・公務員	50代	男性	シナリオ・ゼロ・・・現在以降の時代に対してリスクを肩代わりさせるシステムは公正さを欠くものであると考え、原子力発電所の全面廃止を求めます。	学生時代、坂田昌一門下の先生方（とりわけ沢田昭二先生）、あるいは飯島宗一先生のお話をうかがい、原子力の開発にともなうリスクを学びました。 学生時代、坂田昌一門下の先生方（とりわけ沢田昭二先生）、あるいは飯島宗一先生のお話をうかがい、原子力の開発にともなうリスクを学びました。「一度決めたことはなかなか変えられない」は組織（人）の論理ですが、いてもたってもいられずに、総理に声が届く場所にやって来て、手作りのプラカードを持ち寄り声をあげているのが、ごくふつうの日本国民のリアリティです。それに対して、外の声を聞きつけた野田首相は、「大きな音だね」とただ一言述べました。せっぱつまって、ぎりぎりのところから、無層の問題に対して発せられた声は、単なる音、騒音として「処理」されていきます。ぎりぎりの声は届かないのでしょうか。 「森の木が切られるのは、我が身が切られるようだ」と言ったのは、南方熊楠でしたが、いまこの列島には、「身を切られる」思いで「出郷」しているあまたのひとがうめき声をあげつつ、暮らしています。その情景は、うめき声に背中を押され患者の美庭からわきあがる声なき声を書きとめた若年礼道子の「居ながらの出郷（者）、心情の出郷（者）」についての言葉と、なんという符合をしてしまっていることでしょうか。 土地の「未来」を考え、「よかれ」と思って原発推進政策を選択していた／せざるを得ないと考えてきた双葉町の井戸川克陸町長は、あの爆発後の「灰」を見て、全町民避難へと身体が動き、こうおっしゃいました。「細野・原発事故相は、（原発再稼働にむけて）しっかり責任をとるなんて簡単に、やさしい言葉、みなさんに言ってますけど、われわれにとってはとんでもない。いま置かれている姿は、棄民、棄てられた国民であります」。若者だけではなく、90歳を過ぎたひとも未来を見つめ生きることは、人間の根本的な条件でありつづけました。 歴史を見れば、民の声を無視し、「仲間」内の「ムラ」の論理だけで動こうとした為政者は必ず滅びています。
18569	個人	無職	40代	男性	地熱発電に切り替えを	温泉地では、100度近い熱湯と湯気を噴出していることをよくみます。 大規模な発電装置ばかりでなく、地域に根ざしたミニ発電所を作れるところには作ればよいと思います。 地熱発電はコストが掛かることを知りました。福祉サービスの温泉保養所とセットで発電所を作ることはできないでしょうか。発電に利用した蒸気を冷まし再加熱して安全な蒸留水に、温泉を保養所に使ってから地下に戻すことができないでしょうか。
18570	個人	自営業	50代	女性	原発0%を選びます。この2012年夏が終わったら9月から大飯原発停止。自然エネルギーの増設により足りないエネルギーを補います。	2013年の夏までに自然エネルギーで不足分のエネルギーを補う政策をとってください。よって2012年9月から原発0%の状態を維持します。 電気が足りないから原発を再稼働するというのは無策です。日本国家がやることではありません。国民は原発を廃止することを望んでいます。自然エネルギーによって経済を維持し、2030年からゆるやかな経済の成長が始まる政策をとってください。
18571	個人	会社員・公務員	30代	女性	ゼロシナリオを目指し、地熱、波力、天然ガス等中心の発電に一刻も早くシフトすべき。	原子力発電は現在の科学力では非常にリスクが高く、利用する事による経済的メリットよりもデメリットの方が大きく上回ると認識している。科学力が十分ではない現段階では、原子力以外の代替発電方法を推進するべきである。 地震国日本では地震による電源喪失、配管損傷等により、原子炉や使用済み燃料プール の事故発生リスクが他国よりも高い状況にある。また原子力発電は使用済み燃料の処理に関して現状技術が確立しておらずトイレのでたらめなマンション状態である。地層処分等の技術も研究されているが付加体である日本列島はその成因から安定した地層はほぼないと言ってよく、これ以上負債を我々の子孫に増やすべきではない。 日本列島は運良く地熱等の資源に恵まれており、世界に先駆けてクリーンエネルギー推進するべきである。
18572	個人	会社員・公務員	70代	男性	(1)ゼロ 再稼働絶対反対	政府の高官の野原だったか野山だったか、なんかそんなような名前の方が 「何かあれば責任をとる」と言っていたようですが、きっと聞き間違いとは思いますが、そうでなければ、いくら言論の自由とはいえこれはひどすぎる。最低の常識があればこんな発言は考えられない。 今現在故郷をなくした、人生を破壊された福島の方々のことは、頭にないのか、今の全国民、また将来の子孫の代まで放射能の恐怖、生命の恐怖にさらす原発。人間が制御できない原発。どうか何とか皆で、恥も外聞もなく金儲けにまっしぐらとしか思えない方々を、止めたい。この方々も生まれたときはきっとかわいい赤ちゃんだったのに。 我々は何も知らない孫の小学生、中学生、幼稚園児、赤ちゃんにどんな説明ができるのか。何とかして何とかしてとんでもない国土にならないようにしたい。 私事ですが小生重度の胃癌のため余命少ないのですが、歩ける内にデモに参加して微力ながら原発ゼロでがんばってみえる方々を応援してまいります。 何とかかわいい孫たち、日本中の子供たちに、恐ろしい原発のない日本を。
18573	個人	無職	50代	男性	(1)ゼロシナリオを選択します。	◎ 地震大国日本に原発はいらない。 ◎ もうこれ以上、処理できない放射性廃棄物を増やしてはいけない。
18574	個人	無職	60代	女性	エネルギーの原発依存率をできるだけ早くゼロにすることを目標にすべき。	日本は世界で唯一の被爆国でかつ大きな原発事故も体験して原子力の平和利用などあり得ないことを身をもって実証している。CO2対策としての原発と言われるが稼動に必要なウランは資源として限りがある。原発で使うまでに多くのCO2を放出している。使用済みの放射能廃棄物の処理も未解決で保管しているだけだ。
18575	個人	その他	60代	女性	原発0シナリオを希望します。	原発が危険で、人の手に負えないものであることを福島原発事故が証明しました。その事故は今も進行中。収束なんかしていません。 もはや原発ストップの声は大きなうねりとなっており、原発0シナリオしか考えられません。再稼働なんてあり得ない。一刻も早く危険度の高い原発から廃炉にしていくべきです。 仕事も家も故郷も失った福島の被災者、子どもたちを放射能から守るために立ち上がった人々の声を聞き、誠実に原発0の決断をしてほしいと思います。 世界の先頭に立って被爆国、日本が脱原発を選択することを望みます。 原発に頼らなくても電気は足りている。 自然エネルギー等の開発を進めれば、何の問題もありません。 誠実に賢い選択をお願いします。
18576	個人	その他	50代	女性	脱原発 原発依存0% 再稼働反対	福島の事故で安全神話は崩れた。 故郷、仕事を失い家族離散し苦しんでいる人が大勢いるのに再稼働に踏み切った政府に強い怒りを感じる。 使用済み核燃料の処理の見込みもないのにこのまま原発を使い続け将来に負の遺産を残すことはモラルに反する。経済効果を考える以前の問題だ。 優れた日本の技術で自然エネルギーを普及させ世界をリードしてほしい。
18577	個人	その他	60代	女性	原発はなくすことが1番です。国会事故調査委員会の報告からも、原発の危険性があきらかになりました。 日本は地震国です。原発をつくるべきではありません。再稼動も止めるべきです。	将来にわたって、安心して暮らすためのエネルギー政策が必要です。 太陽や風、水力など無限のエネルギーを使えば、原発よりコストも安くなるはずです。 事故によって命と健康が危険にさらされることに替わる利益などありません。 日本の原発は、企業利益のためと思われます。 日本の将来と子ども達の未来のために、できるだけ早く原発をなくすことが大事です。 雇用の問題も、再生可能なエネルギー部門への政策転換で生み出すべきです。
18578	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発をゼロに。新しいエネルギー源を探すべき。	今回の地震で原発の与える被害が非常に大きいことがわかったにもかかわらず、具体的な安全性の根拠もなく再稼働をすすめる政府のやり方は不信感を高めました。被災地の復興を最優先すべきなのに、原発再稼働、消費税増税と自分たちの利益に絡めることだけを率先してやりたいようにやっているとしか見えません。地震の後、自分たちの政策へ帰れなくなった人たちがいたり、水や食べ物の汚染心配し、子どもたちも外で遊べない状態に。そして、地震はまたいつ起きるかもわかりません。災害の後始末だけでなく、原発事故が絡んだ為に後々の処理がどれだけ複雑かつ困難なものになっているかを目の当たりにしました。核の恐怖を知っている日本だからこそ、原発から脱却して安全なエネルギー政策を行い、世界に広めるべきだと思います。運転中に地震や津波などの災害に見舞われればまた事故が起き福島と同じようなことが繰り返されます。災害に備えるだけでも大変なのに、安全性の保証がなく、処分にも時間のかかる原発事故の事まで考えられません。また事故が起きても政府の対応はたかがしれています。政府は国民の不安を取り除く努力をすべきです。急に切り替えるのは無理でも、方向性を明らかにすることはできるはずです。たとえ災害がなくとも、人間の作ったものは古くなります。動かしているのも人間です。ミスはあり、事故が起きる可能性があります。制御できないエネルギーにいつまでもしがみつかないで欲しいと思います。
18579	個人	家事専業	50代	女性	原発は0パーセントにすべきです。	日本の未来、子供たちの未来を真剣に考えたら、今から直に原発に頼らないエネルギー政策に変えるべきです。 一部の人の利益を守っている場合ではありません。 目先のことでごまかしていないで、国を挙げて取り組めばできるはずです。 原発は人類が制御出来ません。 絶対に0パーセントです。
18580	個人	無職	60代	男性	1．のゼロ%を選択します。	1．原子力発電技術は未だ未完成の技術であること。 　使用済み燃料の処理も未完成。 2．事故対策も驚くほど粗雑で莫大な被害を出している。 　責任の所在も曖昧 3．「安全神話」を作為的につくり、反省もなく、原子力行政と 　電力会社に対する信頼もない。 4．自然エネルギー重視の行政を期待します。
18581	個人	会社員・公務員	30代	男性	20～25%原子力に依存するのがベストである。	現状、原子力発電と同等の効率を持つ発電方法はないことを理由に 将来的に原子力発電と同等の効率を持った発電方法が確立されるまで 原子力発電に依存する方向で問題がない。 原子力発電＝怖いものという印象を与えた政府、マスコミには責任を取っていただきたいものであります。 化石燃料に依存した場合、原油価格の増減に伴う電気料金の増加、CO2排出量の増加、 中華人民共和国にシーレーンを封鎖された場合、原油が入ってこないこととなり、 日本経済の停滞とマイナス要因が多すぎる。
18582	個人	自営業	40代	女性	原発ゼロシナリオ希望です。絶対に！	脱原発＝といっても、廃炉にするのにも時間がかかります。 原発の稼働停止→ゆるやかな脱原発なのです。 ゆるやかに再稼働停止→脱原発の未来がそれだけ、遅くなるのです。 正直なところ、今、全ての原発が止まっても、止まらなくても、私の生きている間に大きな違いはないような気がします。 でも、生きている間に、未来のコドモたちへの方向性は打ち出し、進んでいたいと思います。 また、知らないうちに決められてしまうのが一番、いやです。なぜ、住民投票の署名を拒否されてしまうのでしょうか。。
18583	個人	パート・アルバイト	40代	女性	原発再稼働には反対です。 大地震が来るとわかっているのに、再稼働するのは狂気の沙汰です。 放射能による汚染は、次の世代にまで影響します。 早く安全な再生可能エネルギーの開発、実用を望みます。	事故が起きてからでは、遅すぎると思います。 電気が足りないと経済に影響するのはわかりますし、日本の世界競争力も 落ちてきているので心配ではあります。 しかし、子供たちに安全で、美しい未来を残してあげるほうが 大切だと思います。 日本人の団結力、忍耐力、英知をもってすれば節電しながらでも やっていけると思います。 そして、次のクリーンなエネルギーを早期に開発、実用してもらいたいです。

18584	個人	会社員・公務員	30代	女性	ゼロシナリオへの賛同	原発事故で日本は耐え難い被害を受けた、表面上収束したのようにみえるが、海外から日本は"原発事故をおこした国"であり、現在なお経済的損失、偏見、被害はとどまらない。海外との輸出業務を仕事としているが、食品などの輸出は破壊的な被害を受けている。また、何よりも関東地方に住む者として、"安心して住める大地"というものを失った。自分自身子供を持つ親として、外で遊ぶときに線量を気にする生活、産地を気にする生活には限界を感じている。 ゼロシナリオからはじまり、15-25シナリオまでの資料を全て拝読しましたが、これだけの被害をもたらしておいて、また、処分方法が決められていない現状で原発を存続することは現実的ではない。人間が手に負えないもの、負の遺産になるものを持ち続けることの経済的損失がどれくらいになるのか？そういったことまで踏み込んで算出すべきだ。彼かにゼロシナリオの経済への影響は大きいと思う。しかし、原発事故が起きた場合の被害額は算出不能である。精神的被害、社会的被害、経済被害、全てこれらの表では算出できない莫大な金額である。事故を起こした国として、率先して自然エネルギーに転換すべきである。 安全な大地、安全な空気、安全な食品なくして経済活動はできない。これらを一瞬で壊した事故をおこした当事国として、目先の被害額（原発を廃炉にした場合の金額など）に捉われるのではなく、未来を見据え行動をしてゆかなければならない。そういった態度に転換していってこそ、日本の信頼度も回復するものだと考える。天災はまた起こる、日本は地震大国であるから。原発事故が起こる可能性のあることを危惧しながら生活するのではなく、起きたときにでも問題のない状態で生活する、そのためにもゼロシナリオを推進すべきだ。
18585	個人	会社員・公務員	50代	男性	私は「20～25シナリオ」を選択します。	日本のエネルギー自給率は4%と非常に少ないこと。エネルギーセキュリティーや地球温暖化防止、経済の発展を考えるなら原子力発電に頼る以外ない。新エネルギー（太陽光、風力、地熱、波力）の開発促進も必要であるがエネルギー密度が低過ぎるし気候に左右されて安定しない。原子力とのベストミックスをしながら進めて行けば良いと思います。 私は、これからの地球のために原子力発電を推進して頂きたいです。
18586	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原子力発電0%を希望します。	三つの理由から、原子力発電0%を希望します。 まず第一に、原子力発電は輸入化石燃料に依存した発電であること。産出国の政情や国交によって変動する不安定なエネルギーです。限りある化石燃料は戦争の火種となり、貧富の差の拡大や、現地の過酷労働を引き起こします。自分たちが資源を使うことで、地球のどこで何を引き起こしているか、鉱物資源の乏しい国土という特性を踏まえてどう生き延びるか、といった問題から目をそらしては立ち行かなくなる時期にきているのではないでしょうか。 第二はコスト。電力会社の提示する原子力発電のコストは一見安いように見えますが、輸入資源確保のための外交取引上負担せざるを得ない直接売買以外の資金(海外へ流出)、廃棄物処理や廃炉を含めたライフサイクルコスト、事故発生時の補償金等を考えるなら、莫大な額にとり、とても採算が取れるものではありません。 第三に、今以上の技術革新が望めないこと。燃料の性質上、研究者、技術者、現場管理者、作業員の被曝は免れません。特に現場の作業員の熟練が不可能であるというハンディは大きなものです。また技術革新の基本は千も万もの失敗からの学習ですが、原子力発電の場合は失敗が許されない、問題が発生しても解決のために発生箇所へ近づくことすら出来ない、という特殊な状況で行われています。四十年以上の年月と一兆を越える資金が投入されている高速増殖炉が、未だ実験的な発電さえもままならない、という状況からみても、その技術開発の困難さの一端が伺いしれます。 これらの時間と資金と労力を、もし他のことに、既存発電所の低燃費化や発電効率の向上、建築構造の見直しによる空調・照明の省・非電化、閉伐材バイオマスを含めた自然エネルギー利用のシステム開発などに振り向けることが出来れば、日本は世界に誇れる新しいエネルギー開発国に成長していけることでしょう。従来のような化石燃料大量投入による消費型社会から、循環可能な社会へ進んで行くことで、新しい産業が生まれ、発展していく確信しております。 人間の新しい可能性への一歩を。原子力発電0%によって、築いて行くことを希望します。
18587	個人	会社員・公務員	40代	男性	今後10年で原子力発電をゼロにしていく政策を望みます。	自然の延威は、人知を超えてしまう、ことのことは震災ではっきりわかると思います。また使用済み核燃料の処理方法がしっかり決まっていない現状も踏まえると2030年以前にもっと早急に原子力発電をゼロにする政策を望みます。 ただ残念なことに今すぐに原子力発電をゼロにするのも、電力の安定供給上無理があると思います。完全な安全対策はない！と思いますが、考えうる最大の安全対策を行い、最小の稼働で今後10年をめどに新しい電力構造にしてほしいです。
18588	個人	家事専業	70代	女性	2030年度原発依存率0%を主張します。	福島の原発事故原因も、今後の対策も不透明、使用済み核燃料の処理法も確定しない今、原子力のコントロールは、人智の埒外に有ると言わざるを得ない。地震王国の立地を考えても、原子力依存率は0%を目指すべきです。 それに替わるエネルギー政策(再生可能エネルギー、我が国近海で取得可能なメタンハイドレートの採掘技術など)に積極的に能取りをすべきです。
18589	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発の推進には反対・残すも反対・0にしていくのが望ましい しかしながら原子力発電は今の日本の国力維持には必要?	今まで国民に言ってきた安全神話を神話ではなく現実にすべき。 まずは今ある原発を七の場所で・その地域から本当に国の為に必要なら首都に移設すべきである。 国家が崩壊するほどの事故が万が一があるのなら利用すべきではない。 高出力の見込める圧倒的な恵のエネルギーを人間はコントロールできない様に神がしかけているのだからそれは利用せず新たなエネルギー開発に集中する事が必要と思う。 暫定・限定なども先送りにしかならないから 将来のあのエネルギー遺言状を後世の人たちへ残せる偉大な世代であってほしい。
18590	個人	自営業	60代	男性	原発は速やかに0%にすべきである。これはお金の問題ではない、命の問題だからである。	私は市井の物理学者です。 一つは、現在の原発はエネルギー変換効率が30%で残りの70%を捨てている。つまり地球温暖化に手を貸していることになります。 第二に使用済み核燃料は人工放射性物質をもつ放射線を出します。人工放射性物質は、自然界になかったもの、これが限くなるのに何年かかるでしょうか。気が遠くなる時間がかかります。50年100年で効きません。数千年かかります。10万年かかるものもあります。それでもゼロになりません。誰がこのパンドラの箱から出たものを回収できますか？原子、分子級の大きさの人工放射性の汚染物質を回収できますか？科学的に不可能です。 　そしてこの使用済燃料が増え続けていることを考えれば、人類は爆弾を抱えて生活していることです。 　この問題(使用済み核燃料)は解決されていません。 第三、使用済み核燃料のみならず、事故を起こしていない原発自体からも現在でも放射性物質は環境に放出されていますし、かつても出していました。現在の技術では、完全密閉はできません。 　問題はこの人工放射性物質による被曝は自然放射能よりもたちが悪い。人工放射性物質の微粒子は、原発内の核分裂でできた雑多な放射性物質を含んだ毒団子状態になっているからです。 　その微粒子による放射能被害、被曝は食物を介して人体に取り込まれた時に深刻な被害を起こします。 　結論　福島原発、チェルノブイリ原発事故で環境はすごく汚染されてしまった。パンドラの箱は開けてしまった。第3、第4の事故は必ず起こります。 何よりも世界で有数の地震国だから地震は避けることが出来ない。だったら未完成の技術であるNuclearPowerPlantはつくるべきでない。
18591	個人	会社員・公務員	40代	男性	使用済み燃料はもちろん廃炉のガラ全てを納めるだけの捨て場の確保をすること。それまでは放射性廃棄物を増やすべきでない。最終処分場が確保できるまでは原発の全停止が妥当と考えます。	「原発の安全性」には放射性廃棄物の管理まで含まれてしかるべきです。 第一に、使用済燃料の捨場は絶対必要です。「安全に捨てる技術」がある と宣伝したところで、現実に捨て場がないなら空論にしか過ぎません。 廃炉をするにしてもその放射性ガラの捨場がないことには廃炉処理が進みません。低レベルだから安全だと説明してもそれが受け入れられない可能性があることは、震災ガラの引受反対運動からも明らかです。 まずは捨て場の確保、原発を稼働するかどうかの検討はそれ以後と考えます。
18592	個人	自営業	40代	男性	ゼロシナリオを支持。原発が再度、311と同様の事態に見舞われた際、確実に食い止めることが可能とは思えない。また事故と関係なく使用済み燃料の処理方法等が確立されていない以上、これ以上の拡大はあり得ない。	原発設備の使用上限年数を超えて稼働したい、使用済み燃料の処理方法も確立されてもいないのに拡大したい、原発立地は活断層上に設置できないとしながら、活断層と予測される部位への再検査を渋る、効率が良いことは結構だが、次に同様の事態に直面した際に、確実に食い止められるのか。原子力規制委員会は結局、原発エネルギーのおいしいところを押しとどめてまで、規制をすることなどできなかったではないのか（恥ずべきである）。 突然の停電は人命に関わることは理解するし、経済成長を期待する上で、またCO2排出抑制などの地球環境に寄与することも理解する。が、イイカゲンな経営のもとで利権まみれの推進をするならばフェイルセーフについて今一度考えるべきだ。放射線量が異常値を示す場所にある弁を人の手で操作せねば、再度あの悲劇が繰り返されるという状況で、命をかけて弁を操作できるか、またそれを命ずることができるか。民主法治国家に日本では建前上できないだろう。ならばそれは、やってはいけないことなのではないだろうか。 原発反対、とぶろ上げるのは、これまで原発の恩恵に預かってきた一国民としては、あまりいいたくない。ただ今回の惨事でここまで災禍が広がった様子を（フィルターされているにしろ）ニュースとして接してきた身には、まだ推進しようという気にはなれない。もともとの規定通り、耐用年数を超えたら廃炉にすべきだ。安全のためにはそれが必要なのだと、設置時に計画したのでしょう？ 日本は技術立国で、ロボット大国なのだという。その技術・知恵、研究者がその気になれば新しい代替エネルギーの模索は可能ではないのだろうか。また人が対応できないところへも分け入ることのできるロボット技術も夢ではないのではないか。事故対応時、ロボット技術などで名の通っていた企業からは、何のリアクションもありませんでしたが、これからは、こういった分野への研究参入も必要なのでは？ 原発を抱える地元でも不安の声が上がっています。それでも、その交付金がなければその地は成り立たないという構図を作り上げてきたのは、おそらく次の原発事故が起きる頃にはこの世にいない人々ばかり。自分の老い先まで しか目が届かない、短慮な方々にはご迷惑いただかなければ、ドラスティックな改革は起きえないだろう。 節電に関して、非常に理詰めに見える計画停電なども行われたが、原発を抱える当事者が、できる範囲で、また原発がないと危ない、という思わせる対応しかできないのはいかがなものか。ここは発送電分離を必要性はないのでは？ 半ば国有化された東京電力であるが、国有化ということは税金が投入されているわけであり、納税者の立場としては一方的に現状の施策を受け入れることはとうていできないし、何のための国有化なのかも理解しずらい。安定した電力の供給のために、というならば、より広い電源確保の方向模索と門戸開放を行うべきである。 地震による災害は遠からず起きる、と国が言っていながら、活断層の疑われる立地に原発の調査もすぐに入れない、うやむや、ということばが非常によく似合う現在の対応が引きずられれば、同じ災厄は起きる。もちろん起きてしまうことは仕方ないかもしれないが、それに対する対応について、できるはずの部分を先延ばしし先延ばししていてもしかたないではないのだろうか。 なお、今回3つのシナリオを提示してパブリックコメントを募っているが、3つのシナリオだけで済むはずもなく、様々な可能性が残されている。15シナリオはほっといても耐用年数がすぎれば自然と達成される。ならばそれまでに新しい代替エネルギーの開発やインフラの整備、または「絶対安全な原発」の開発を行うべき。絶対安全などとは言い切れないかもしれないが、少なくとも技術者の意地で国民を納得させるだけの方法を提示してほしい。そのためには、今の儲かるからやる、という機線の電力各社の考え方が変わらない限り、無理だ。もういい加減、利権にまみれた経営を脱皮すべきだ。
18593	個人	パート・アルバイト	60代	女性	全ての原発再稼働、絶対反対。 いますぐに原発ゼロ社会に対応するために、日本の英知を、資金を結集するべきです。	元々日本は地震国です。 それが、311の巨大地震以降、大地震が起きる可能性がさらに飛躍的に増大したことを専門家がこぞって指摘しています。 その国土の上に、54基もの原発があり、それを再稼働しようとしていることはまったく理解できません。 これは、日本人の命の問題だけでなく、世界中の人の命の問題です。 福島の事故は、ある程度「想定外」の津波のせいだとして、多量の放射能の放出があっても、世界の人々は我慢してくれました。 でも、今度また原発事故があり、放射能汚染が起きたら、日本は世界中から損害賠償を求められるでしょう。 経済界は、原発を再稼働しなければ経済的影響が大きいと言いますが、ひとたび事故が起きてしまったら、それを賠償することは日本経済で可能なのでしょうか。 国が破綻することは火を見るより明らかです。 原発を稼働しなければ、現在の生活レベルを維持することが出来ないのは、当然だと思います。 でも、どんなに困難でも、それ以外に選択肢はないのです。 日本中の英知を、資金を、自然エネルギー開発に注ぐべきです。 日本の技術力を結集して、自然エネルギー産業を世界に売り込みましょう。 それこそが日本経済生き残りの唯一のチャンスだと思います。 自然エネルギーを再生可能エネルギーなどという分かりにくい名前で呼ぶのもやめてください。 たとえ、自然エネルギーに含まれないものがあったとしても、微々たるものであるはずです。 「自然エネルギー」という、分かりやすく、明るく、希望を感じられる名前で呼んで、それに日本の、人類の未来を託しましょう。 最後に、一つ聞きたいことがあります。 原発推進論者は、核のゴミを最終的にどう処理するおつもりなのでしょうか。 福島の事故が起きる前から疑問に思い、原発をやめるべきだと思っていましたが、この期に及んでも再稼働しようとする方々に、改めて伺いたいと思います。
18594	個人	会社員・公務員	30代	男性	影響が大きい将来の子どもたちのためにも、「ゼロシナリオ」を決定し、危険な放射能を残すことのない、自然エネルギーの拡大に努力すべきです。	長崎には原爆放射線の影響により、苦しんでいる方々が沢山おられます。今後、二度とヒバクシャをつくらないためにも、「ゼロシナリオ」を指示します。
18595	個人	その他	60代	男性	「原発0」を支持する。原発関連の全ての経費(国税歳出分)を太陽光・熱・地熱・風力・潮力・バイオマスエネルギー開発や、事業所への資金援助に回すべきと考える。	原発0パーセントにすべきである。 その理由は、(1)安全神話にのっとり原発村を作り続けた過去から決別するチャンスが今だから。 (2)日本列島は、活断層で覆われていて、立地条件を満たすところは少ない。 (3)福島原発事故の原因究明すらなされていない。東電が真相解明に協力したとしても、数年で解明できるはずがない。ましてや現状非協力的な東電ではうやむやのまま葬り去られるだろう。 (4)使用済み燃料棒の最終処理方法も確定していないのに、これ以上稼動し続けてはならない。 (5)原発事故による放射能汚染の実態が報道される数値だけでは信用できない。 (6)福島の帰宅困難地区は、チェリノブイリの例からも半世紀からそれ以上立ち入りできないと思われる。除染と言えども、汚染源を別な場所へ移動するだけでなんら解決にならない。 伝染病　　と同様のイメージを国民に与えているのではないだろうか。 (7)福島第一・第二の廃炉に向けた作業、活断層が敷地内にある原子炉の即時廃炉・撤去へ心血を注ぐべきできる。 ほかにもいろいろあるが、再生可能エネルギー、水力、火力でまかならべきで、LED照明器具が普及や送電網の超伝導利用など原発なくても未来は明るい。
18596	個人	会社員・公務員	30代	女性	「原発ゼロシナリオ」に賛成です。	自分の健康はもちろん、未来ある子供たちの安全で健康な未来を築くためには、脱原発しかないと思います。エコ活動や自然エネルギーの有効活用で原発などなくても生活できる未来を考えるべきだと思う。
18597	個人	会社員・公務員	40代	男性	原子力発電の継続利用は必要がありません	福島県を中心として、人が住めない地域を作り出してしまいました。 結果はあまりにも重大です。 震災後、また今後、節電する生活スタイルへの転換、節電機器の普及、 太陽光発電の拡大など、あらゆる方法で努力すれば、電力は不足しないし、 また安定的供給も可能だと判断します。 地震が多発し、また人口減少に向かう日本において、 原子力発電所は危険を伴う過剰な設備です。
18598	個人	無職	50代	男性	核のゴミとエネルギー問題	トイレ無きマンション 核のゴミは今あるだけでも大変な量があり、リサイクルしたとしてもまだまだたくさん出る （六ヶ所村のリサイクルも20兆円かけて未だに未稼働って言うのに） フィンランド（オンカロ）で最終処分場作っている（10万年貯蔵だって） と言ってもこっちランドにやないよ。 今の日本でそんな施設を作るとか受け入れるところができる訳無い。 あり得ない！ 東北の瓦礫でさえ、放射能の無いものだけ運ぶと言っても、ほとんど受け入れ拒否されているのに、核のゴミと聞いたら100%拒否されるに決まってる。 何度も言うが、あり得ない話だ。原発を動かせばどんどんゴミを作ってしまうじゃん。 今後も原発を維持していこうとする前に、トイレを作ることが先決なんじゃないの？ （莫大な予算組んでねーその予算遥るの？） でも、絶対にトイレなんか作れる訳ないことくらいわからないのかなあ？ どっかの誰かが助けてくれるとでも思っているの？ トイレ作れないってことは維持は困難だってこと、国民に聞くまでも無いんじゃないの？（オスプレイだかコスプレイだか知らないけど、そんなレベルじゃないよ。必死にに反対するに決まってる） 本当にアタマ大丈夫？（幼稚園でもわかりそうな話じゃないの？） 本当に無責任！ エネルギー問題 オーランチオキトリウムとポツリオコッカスのスクアレンによる重油との転換が10年後には流通する。それを火力発電に使用すると汚水処理と一体化できていいじゃん。 火力発電は当面維持していかなければならないけど、その他のエネルギーに力を注ぐしか無いじゃん。 ソーラー、地熱、揚水発電、水力、風力、バイオマス、それぞれ小規模発電を地域分散して全都道府県にどんどん作っていくしか無いじゃん。 特に地熱は火山列島だから、もっと力を入れて例えばハワイの海洋深層水使ってるやつ真似して作れればいいじゃん（CO2出ないし）それ老しなくても、今、温度が60℃くらいで発電できるシステム開発されたじゃん。知ってる？ ソーラーパネル（蓄電池も）だって集光技術も発展してきているし

						(私、思うんだけどメガソーラー作る時可動式ミラーを取り付けて反射させ、裏にもソーラーパネルつければ面積2倍になるじゃん) そりゃあ原発のエネルギーは大きいけど、あくまでも運転コストがいいってことだけ(トータルコストは無視) しか見ていないのは、電力事業者のエゴじゃないの? ＜参考まで＞http://kikko.cocolog-nifty.com/ いざとなったらお国が面倒見てくれると思って・・(それって税金だよねえ？) 目先のことしか考えてないし、上から下までそれを続けようとしているのは、すべて洗脳されきっているとしか思えない。 (誰から？一今までのしがらみ、利益重視) ちょっとちょっと、目を覚ましなさいよ！ ビジョンも想像力も無さ過ぎじゃないの？ マイクログリッド＋スマートグリッド構築を全力で目指しなさいよ！ http://www.kankyo-business.jp/dictionary/000181.php
18599	個人	家事専業	40代	女性	原発比率(1)0%	福島原発事故から1年四か月経った現在でも事故処理が終わっていない。原発事故によって山・川・海を汚染しそこで暮らす人々の生活・人生を奪ってしまった事を忘れてはいけない。低線量被ばくによる身体への影響が心配だ。フクシマを教訓とし、今すぐ原発ゼロにすべきである。
18600	個人	その他	50代	男性	原発はゼロにするべき	原発はゼロにするべきです。 2030年と言わずに、出来るだけ早くゼロにするべきです。 原子力は一度大事故が起きたらもう取り返しがつかないという事は、東京電力福島第一原子力発電所の事故を見ても明らかです。 原発事故が起き放射能率をゼロにする事は不可能です。 しかし、原発をゼロにする事はやろうと思えば可能です。
18601	個人	その他	40代	女性	今後日本の取るべきエネルギー政策として「ゼロシナリオ」が望ましい。国の力強い方針の発信が不可欠。	「ゼロシナリオ」を選択した訳 今まで「クリーンなエネルギー」として電気は身近で安全なものだと信じて暮らしてきました。10数年前に新築した時にはオール電化にして、太陽光発電も取り付けえました。深夜電力が安いということでヒートポンプを設置し、我が家は地球にやさしいと自負していました。が、福島第１の事故から原発の危険性、長期にわたって地球を汚し、世界を汚染する施設だと分かりました。どんなに科学が進んでも人間の力が及ばない世界があることを、今回の震災は教えてくれたと思います。 2030年を目指して原発をゼロにするのは、この事故を起こした国として取るべき道だと思います。 ただ、そのためには現緊で再生可能エネルギーの開発、安定供給のためのシステム作りが必要で、またそのためには生活者である国民に負担を強いることを深くより具体的に心を込めて説明することが大事と考えます。 茨城には経過年数の古い原発「東海第2」があります。昨年の津波では危うく福島第１と同じように電源消失のおそれがあったと聞きます。 再稼働の問題も、いずれゼロになるがそれまでの間原発を使用するのなら、福島第１の事故を教訓に、複数の安全対策・安全強化の下「何故動かすのか」を心を砕いて説明して欲しいと思います。
18602	個人	会社員・公務員	40代	男性	原子力廃炉、既存エネルギー源の再評価、技術革新、権拙な核技術、無責任、変化が必要なライフスタイル、無意識の意識化	高名な物理学者である亜田利幸氏は、"No to Nuclear Energy."というエッセイで、核技術の権拙さ、廃棄物処理の長期化、安全が担保されない危険性を簡潔にまとめている。同時に、推進派がうそつきあるいは無知であることも指摘している。これらは、福島原発の結果を見れば間違いなかったことは自明である。にもかかわらず、誰も責任をとらない、期待値を包含する危険性を伴うどのような事象も、責任の所在が明らかでない者は、誰もが信用を置かない。福一の結果を前提に、政府および電力会社は国民にお詫びをし、電力の供給力低下を甘受するようにお願いをするべきである(本心から頭を下げるのが嫌いなのだろうか？)。同時に、すでにクライメイト・ゲート事件で明らかなようにCO_2と地球温暖化の因果関係はないので、ことさら温暖化を理由に原子力を進める理由は見当たらない。ウランはせいぜい後数十年しかないので、むしろかつてのエネルギー源である石炭等をより効率よ熱交換できる技術へ投資を振り分けるべきで、原子力ムラが潤うだけで、国民や孫にツケを押し付けようとしているとしか思えない行為は慎むべきである。国民も、自らのライフスタイルを変化させる必要があり、政府はこれらを啓蒙すべきである。 所詮人間は永遠ではない。子どもなどの子孫に自らのツケを押し付けるような最低の人間ではなく、現時点も時間軸の中で継続的なものであるという視点で政策を進め、暮らしていかなくてはならない。払えないツケはすべきではなく、業を認識すべきであろう。
18603	個人	会社員・公務員	20代	男性	「ゼロシナリオ」原発に変わる代替発電への早期切り替えを求めます。	原子力発電においては、電力の安定供給や、発電時にCO_2を出さないという利点もありますが、今回の震災に対しての安全神話の崩壊、燃料採掘から核燃料にいたるまでの過程のCO_2排出やウラン残土の問題、使用済み核燃料に関する課題など、多くの解決困難な問題が多数あります。 ただちに全原発停止は難しいかもしれませんが、技術開発、代替エネルギーへの転換に向けて政策を転換していくことで、ゼロシナリオを実現していっていただきたいとおもいます。
18604	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発再稼働は行わず、今後原発は0%にすること。また、国民の健康権を守る上で、100%再生可能エネルギーへの転換と2030年温室効果ガス25%削減政策をめざし、地球温暖化への対応強化を行うこと。	今回の福島第一原発の事故は人的災害であり、被災した住民をはじめ多くの国民の健康を脅かし、将来にわたって、国民の健康権を奪いました。今後の日本のエネルギー政策において、第一に日本国民の健康を守ることを明確に掲げた上で、シナリオを明示するべきではないでしょうか。 また、今回示されたシナリオは、限られた選択肢であり、0%にするシナリオにおいても、2020年の温室効果ガス排出削減数値目標は、0%となっており原発を0%にすることと、地球温暖化対策を強化することは矛盾するものとなっています。この3つの選択肢だけでは、全く不十分だと言わざるをえません。脱原発と地球温暖化対策は、両立することを前提とした選択肢を立案すべきであると考えます。 以上、原発0%とすることは、国民の健康権を守る上で、当然の選択であり、かつ$CO_2$25%削減が可能となる政策を示すことが必要と考えます。
18605	個人	家事専業	30代	女性	即時の廃止を希望しています	色々情報が交錯する中、本当に原発が必要なのかわからなくなりました。 何をどうしても、亡くなる方が出てくるような気さえしています。 そんな中、一度頭の中をフラットにして改めて考えてみましたが、 やはり原発には頼らない日本（地球）がいいなぁと思いました。 原発を無くしても本当の意味で困る方がでないよう、 細心の注意を払いながら、全ての原発を即時廃止する方向に進みたいです。 というか進みましょう。 言うだけは簡単かもしれませんが、 その気になれば出来ると思います。 今まで原発には凄くお世話になりました。 原発に感謝しつつ、そろそろ「お疲れ様でした」と声をかけてあげたいです。 最後までお読み頂き、ありがとうございました。
18606	個人	家事専業	70代	女性	3。原発は100%　必要です。資源のないから国、日本で、現在最高のエネルギー源。原油価格が今以上に高騰すれば、すぐに日本経済は破綻します。子供や孫たちに、不自由な生活を強いたくありません。	原発は絶対に必要です。 先の東北地震での災害は、原発のシステム上の問題ではなく、政府 の対応がおそまつだためです。 また、現在の放射能の測定は、根拠があいまいではありませんか？ 人間の体にも、土や野菜などにも、ごく微量の放射能が含まれているのは、普通のこと。今回の放射能で死んだ人は、いない。(チェルノブイリではあるまいし。)
18607	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	原発ゼロです	高コスト、危険、時代おくれの原発要らない
18608	個人	自営業	40代	女性	原発からの脱却、依存度0%を目指します。 サマータイムを設ける等の節電、蓄電、代替エネルギー開発に向けた法整備を目指します。	原発のリスクが高すぎるので、完全脱却を目指します。 その為に、まずは節電志向のライフスタイルにすべきです。現在は過剰エネルギー消費社会となっていますので、もっと節電可能です。震災後落ち着いた照明はいつのまにか、以前のようにギラギラと明るくなっていますがまずはその意識を変える必要があります。サマータイムを設けるなどして節電も可能なはずです。 代替エネルギーとして風力、太陽光発電、地熱発電等十分に安全を確保し、地元の十分な理解を得た上でエネルギー開発を推進すべきです。 節電に向けた法整備、新エネルギー開発促進に向けた法整備を行うのが大事だと考えます。
18609	個人	無職	60代	女性	2030までに原発依存度比率を0%にするべきです。	放射能は、今、人間だけでなく、地球上の生物全てを脅かしています。 環境汚染は史上最悪の状況です。 今、予想されている自然災害の襲来に備えて、原発は全基即刻稼働停止にすべきです。 あと一カ所でも原発のメルトダウンが起きたら、日本人は逃げる所も食する物も無くなって、今世紀中に絶滅するでしょう。 全ての原発を、今すぐ稼働停止にして下さい。 そして、廃炉にして下さい。
18610	個人	無職	70代	女性	省エネこころみました。しかしガス冷房ガス風呂今はすべて電気を一緒に使わねば起動できない方法に変わっています。まずはそこから変えてください。	高知は電力会社一社で独占禁止法ぎりぎりになっています。オール電化にしてもガス管が残っていたら1割引にしません。万一停電でガスが着たらガスを使う必要があるのです。平素は使わないけれど、こんなな覆う兵を国が許していると四電エネジーは主張しています。
18611	個人	その他	60代	男性	原発は過酷事故を人間の力では制御できず(福島も結果して収まった)、高レベル廃棄物の最終処分方法も処分地も確立されていない、運転し続けることは無責任である。早急に原発依存0を目指すべきである。	(1)　国会事故調の報告書でも明らかなように、最悪の事態に備えた備えもなく、暴走し始めた原発の制御が無理なことが明確になった。人類は核エネルギーを使いこなせないことが明白である。3．11の事故の対応を見れば、東電も政府(保安院も)も対策が出来ず、福島県民に被爆をさせ、我々から見れば罪の意識を感じないようである。これからの運転していけるかどうかは、自分の胸に手を当てればわかることである。 (2)　今までOKといってきた保安院が、特に役人が知ったかぶりをして出てくると自体不愉快である。こうした事故が起こらないと行ってきた者が事故の説明をする、本来であれば国民の前にで説明をする資格などないのでないか。まずはポストから辞任すべきである。 (3)　高レベル核廃棄物の最終処分地も方法も決まらないので(建立されていない)、運転し続ける(出し続ける)のはきわめて無責任である。 (4)　高レベル核廃棄物の最終処分を事業主責任にすべきである。そうすれば原発の採算性も運転し続けることの大変さもわかり、再稼働・運転継続の判断も違ってくるのでないか。本社の近くで(電力消費地の近くで)、原発も最終処分地も解決すれ。 (5)　政府も電力も役人も結局「原子力村」の一員で、村の利益、個人の利益だけで動いており、国民の命など言葉だけで真剣に考えていない。命のことを考えれば、今の対応など出てこないはずである。 (6)　国民への謝罪と被災者に対する正当な補償と早急に脱原発、原発の社会への工程表を作るべきである。
18612	個人	無職	60代	男性	線量計に鉛のカバーをして労働者を放射線に曝そうとした会社が露見した。政府と3党は国民にこれと同じようなことをしてきた。問題の核心は、「ごまかし」と「安全神話」を謝罪し、国民の信頼を得ることである。	一旦事故になれば、環境や住民に悲惨な被害を招き、原発の放射能は手を付けられないことを「フクシマ」が証明した。そして多くの国民が再稼働に不安を抱いているもかかわらず、政府と民主・自民・公明の各党は、夏の電力不足を錦の旗に掲げて大飯原発の再稼働を強行し、これを突破口にしてさらに広げようとしている。 線量計に鉛のカバーをして労働者を放射線にさらそうとした下請け会社が露見したが、政府は国民にこれと同じようなことをしているといっていい。 政府は再稼働をただちに中止し、総力で電力確保に取り組み、実態を正しく国民に知らせ、協力を要請すべきことは要請すべきである。 今、何より大切なのは、これまで政府や3党が行ってきた「ごまかし」や「安全神話」をはっきりと謝罪して決別し、脱原発の道筋とエネルギー政策をきちんと示し、国民の信頼を得ることである。これなくしてどんな妙案もない。問題の核心は、代替えエネルギーの技術ではなく、国民に安心と展望を示すことである。信頼は人の輪を広げ力となる。 線量計に鉛のカバーをした事件は、日本の原発技術の水準を示したものである。このようなごまかしは、これまで何十年にわたり各原発で行われ、多くの労働者が人知れぬうちに犠牲になってきた。 廃炉に40年もかかるという危険極まりない「悪魔」とはきっぱりと決別すべきである。原発の放射能を管理することができないという事実を冷厳に認めて、未来を示すべきである。脱原発の向こう、国民にとっても企業にとっても、日本の輝かしい未来があると信ずる。国会の事故調査委員会の報告を"紙屑"にしてはならない。
18613	個人	無職	80代以上	男性	原発は全廃すべき。福島の事故はもうごめんだ。	一度起きた事故はまた起きる。起こる可能性のある事故は必ず起こる。このわかり切ったことが、わからない人がテレビや新聞でえらそうに話しているのには腹が立つ。日本の国が消滅してもよいと思っているのだろうか。今もって安全神話の呪縛から抜けられず、事故は二度と起こらないと信じているのだろうか。 再生可能エネルギーに方向転換すべきです。20年後でも原発に頼っているようでは、日本は世界から後れをとるでしょう。ドイツに大きな格差をつけられるでしょう。 今のままではいつまでたっても原発の呪縛から逃れられない。国があげて再生可能エネルギーに舵を切らなければ、いつまでも原発に頼らなければならない。国は、原発ファミリーを助けるためにサボっているのではないかと危惧している。 これから新築する建物には必ず太陽光発電の設置を義務づけるなどしたら、原発解消は数年で可能なのではないか。
18614	個人	自営業	50代	男性	原発0%を望みます	過日の悲しい事故により、もう十分に原子力の脅威はお判りの筈。 同じ過ちを二度と繰り返さなくても良いでしょう。 国民は電力の不足にも耐える事は出来ても、原子力事故には耐えられません！
18615	個人	自営業	60代	女性	福島県の住民の方たちが、住んでいる所に帰れないのは、とてもきのどくです。生活の場、職場、家族、先祖、友人、知人、友達、全部犠牲になって、別の場所で暮らしているのは・・・・・	原発は反対です。0パーセント これからのエネルギーのことは、国民の中にいろいろな意見（実際に電気に関する発電の良い意見や意義・実例をもっている人がたくさんいます）をもっている人がたくさんいます。 大學の教授・先生・民間のエネルギー関連会社・著名人・その他の人を集めて、 必ず良い「案」がでます。 ごちゃごちゃ原発の事を言ってもしかたないので、0パーセントでやってみて、そしてダメなら、考える。
18616	個人	法人等	40代	男性	エネルギーは不足していない。	エネルギーは不足などしていない。 命を削ってまで「無駄遣い」をする必要があるのか。 推進者は、自分の家族には何と言っているのか。 考えれば判るはずで、考えても判らない、考えようとしない輩には、何を言っても無駄である。
18617	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発はゼロにすべき。でも「時間とお金がかかる」ことをもっと周知しよう。	原発はゼロにすべき。 リスクがバカにならないし、管理できない。例え国有化したとしても。 電力は高くなっても仕方ない。 いまままでの原発依存体質からは脱却すべき。 でも「時間とお金がかかる」事が周知できていない。 過激な発言をするひとは知識が足りない場合も多いので、説明をもっとすべき。 ビジョンを示し、その理由を説明すれば納得もしやすいと思う。
18618	個人	会社員・公務員	50代	男性	私は、反原発・脱原発には反対です。原発の安全性を高め、原発を従来通り活用する方向がベストです。	何が何でも消費税を上げねばならないほど経済的に困窮している国なのに、さらに再生利用可能エネルギー整備に莫大な経費をつぎ込み、きっと利用する国民にも大きな負担を強いるであろうことは想像に難くなく、本末転倒である。また、外国では、再生利用可能エネルギー事業は失敗したとも聞いている。世間では、反原発・脱原発と騒いでいるが、あの人たちは、目の前のことしか考えていないと思う。 私は、反原発・脱原発には反対です。私は、今ある原発の安全性を高める方向で整備し、原発を従来通り活用する方向性が、この国のベストだと考えます。
18619	個人	家事専業	70代	女性	このようなサイトがあることを偶然facebookで知りました。 体力的にデモに参加できず、 老人でも脱原発の声を上げる場があることに感謝です。	原発0パーセントを求めます。原発であれなんであれ、人間が制御できないものは作ってはいけない、というのが持論です。 予測不能の地震がいつ起きてもおかしくない日本列島で、これで安全、ということは不可能です。 ならば、巨大プランドに継ぐ膨大な お金を新たなエネルギー開発に向け、世界に誇る脱原発国として、リーダーシップをとっていただきたい。 真の豊かさはお金だけで獲得できるものではありません。 巨大システムに頼らず、国民こぞって大革命を起こす心構えができている、と確信します。 子、孫には命を張っても、世界に誇る山紫水明の美しい日本を残す義務があります。 祖母力も数があつまれば大きな力。生活の知恵は山ほどあります。 日本のゆくえのリーダーシップをとる立場のみなさんの、良識と想像力に期待します。
18620	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原子力発電所について	原子力に頼らない生活を望みます。 天災や自然は変える事が出来ません。 でも、人間は変わる事が出来る。 美しい日本を、忘れないでください。

18621	個人	会社員・公務員	40代	男性	原子力発電は即刻廃止すべきと考えます。また統括原価方式の廃止、発送電の完全分離を求めます。	1．原発に絶対の安全はない。これまで絶対安全と言ってきたが事故は起こった。安全というのならばなぜ首都圏に作らなかったのか？ 2．いざ事故が発生した際の損害が一企業で賄いきれるレベルでなく、国土やその周辺住民に回復不能なほど甚大なダメージを与える。 3．使用済み核燃料を処理する技術がない。地中深くに埋めても前記1・2と同様のリスクがあるので根本的な解決にならない。また除染というが汚染物を移動しているにすぎない。 4．そもそもエネルギーはコスト面・効率面から考えても地産地消がよい。補助金を出して地方にリスクを負わせるこれまでのやり方に賛成はできない。 5．統括原価方式と送電網の独占、そして国策としての原子力利用という大義名分があるかぎり、既存の電力会社は優遇され続け、新規の参入を阻んでいる。 6．原発が出す膨大な廃熱は海を暖め続けている。これがCO2排出や温暖化の一因になっていないか。またすでに放出された放射性物質は世界中の大気や海中を汚染し、食料資源にまで影響を与えている。環境保護の観点からも受け入れられるものではない。
18622	個人	家事専業	30代	女性	原発反対です	原発反対です。核は、人間とは共存できない存在だと思います。世界唯一の被爆国として、世界に向かって核のいかなる利用にも、計り知れない危険をはらんでいることを日本が伝えていく責任があると思います。そうしないと、原爆でこくなった方、苦しんでいる方、また原発の為に命骨かされている方達がむくわれません。
18623	個人	自営業	40代	男性	エネルギー環境についての意見 即刻原発ゼロ！	原子力発電に安全などありえない！即刻中止をして再生可能エネルギー開発に尽力するべきだ！世界の離形になることを望む！
18624	個人	自営業	60代	女性	私たちの英知と努力を結集して、原発依存から抜け出したい。危険をはらんだものにおびえながら暮らすのはごめんだ！	地震、津波、台風、竜巻、集中豪雨などにたびたび襲われる災害列島の日本に、フクシマのようなことがあったら何百万年間も被害を及ぼし続ける原発はいらない！ 自然エネルギーだけではなく、CO2の排出量が極端に減少しているという石炭や天然ガスを使った発電をなぜエネルギー政策の中心として考えないのか、不可解。天候に左右されるという理由で敬遠されている自然エネルギーも蓄電技術が進化したら、人々の生活は安定するはず（実際すでに実行している地域もある）。それより何より、発送電分離は最重要課題です。小さな地域で発電し、地域内に送電する。このシステムを作るように政治家や官僚は頭を使うべき。経済優先、お金優先の日本。人の命より国力が大切だと言う日本の政治家と官僚と経済界と一部の学者。実に恥ずかしい国です。 そしてフクシマの被害者たちへの賠償…親族の命も奪われ、土地も奪われ、健康に不安を抱かせられ、そんな人たちにあんな金額の賠償金を提示してくれて手を打て！）とはあまりにも酷い。除染などという引き延ばし作戦をやらずに、彼らのこれからの生活を真剣に考えるべき。国民から選ばれた政治家と、国民から選ばれた官僚とが、国民から選ばれたわけでもないが力を持っている官僚、彼らはこれほど無能なのかと、国に対する失望感は日に日に増していくばかり。原発から脱却しよう。欲張りな気持ちを捨てて、清廉な理念を持とう。人はどうあるべきかを考えよう。 　そして最後に（オスプレイ）。なんであんなものを持ち込ませるのか？　日本はアメリカの植民地なのか？　なぜNOと言えないのか？　日本は戦争が終わってからずっとアメリカに占領されたままなのか…そうとしか考えられない。 国民の「音」ではなく「声」をしっかり脳裏に刻め！　刻むだけではなく、それを実行すべし！　まずは（国民投票）を実行して、国民の声を聴く。 　もうこれ以上、国に失望したくない！
18625	個人	会社員・公務員	50代	男性	今後、全世界において人類は原発を使うべきでない。また被爆国として国連等を通じて非核をを推進し、省エネ技術を世界に示すべきである。日本がリーダーシップを今取らなければどうするのですか？！！。	核融合は25万年も高レベル廃棄物を安定した場所に保存しなければなりません。 日本に安定して25万年保存できる場所は有りません。 地球規模でも25万年安定した、場所は限られます。 核融合が出来れば核廃棄物は著しく減少します。 あと10年あまりで発電出来るようになります。 今は再生可能エネルギーを推進すべきです。 ハイブリッド、LED、等世界最高の省エネ技術を使って、また国が推進することで経済も安定します。 今、やらねばドイツに先を越されます。太陽電池普及率だってそうです。 頭の良い政治家が先読みし世界のリーダーシップをとり、同時に安全に暮らせる国に復興すべきです。 先後のように世界に示すべきです。日本なら出来ます。
18626	個人	会社員・公務員	50代	男性	3選択肢の下では電気代が数千円規模で上昇する。新規負担増は容易なものではなく、パッシブ化とICTのフル活用に基づいた安上がりのシステム設計に発想を転換すべき。	政府「エネルギー・環境会議」が提示した3つの選択肢の下では、1月当たり1世帯の電気代が2030年に1万円から1．2～2．1万円へと上昇する。これに、福島第1原発に係る廃炉や除染の費用が加わり、さらに消費税、医療費、社会保険料の値上げ等も加わる。 一方、家計の消費支出は1月当たり28万円程度であるが、内訳は、食料6．8万円、住居2．0万円、保健医薬1．2万円、教育1．1万円など非裁量的な経費が多く、裁量的な支出は教養娯楽3．1万円などしかない＜平成24年6月総務省統計局「家計調査報告」＞。将来家計の消費支出全体が伸びるとしても、電気代だけで1月当たり数千円の負担増はなかなか容易なものではない。これが主婦（主夫）感覚ではないか。 こうした中、ハードに依存したシステム設計は、それで最終負担者である国民の負担は可能なのかという根本問題を抱えているのではないか。例えば、蓄電池に依存しすぎた社会システムの構築を目指すことに関しては、疑問が残る。また、蓄電池に必要なリチウム、ランタンなどのレ・アアースの輸入拡大に伴う資源ばい弱性の拡大などが起こることになるのではないか。 シリコンバレーのEPRIのアプローチは、これとは全く異なる。まず、目指すべき社会をデザインし、社会的要請を特定して、それを実現できるアプローチを技術的な可能性、コスト、時間軸等を踏まえ、徹底的に科学的に分析して社会システムの構築を進める。 これと同様の発想で上記の根本的な問題を解決する唯一の道は、(1)ゴールとしての「エネルギーの自産自消」(その結み上げによる「エネルギーの地産地消」)の実現によるエネルギーコストのゼロ化（政府も、２０年に標準的な新築住宅でZEHを、新築公共建築物等でZEBを実現するとしているが、これに徹底的なパッシブ化の推進により、既設建築物にまで対象を拡大する）、(2)「徹底したICT利活用による安上がりの解決」(ハードへの依存は必要最小限度とする)の2つの組み合わせ。これにより、「家計の負担極小化」を実現できる。 このアプローチの下では、人と人のみならずモノとモノをIPネットワークでつなぐこととなり、関連するハードの量産効果による価格低下のみならず（市場規模が2倍になれば、ハードの価格は2分の1になる）、ネットワークの参加者の二乗倍でネットワークの価値が増殖する「メトカーフの法則」が働く結果、「ムーアの法則」(ネットワークに関連するハードの性能対価格比が、18カ月ごとに2分の1となる。半導体の世界では、この現象が40年以上続いている）が妥当することになると、考えられる。 さらに、スマホやビッグデータを活用した新規ビジネスも膨大に出現する。スマホだけでも、平成24年版情報通信白書によれば、年間7・2兆円の経済拡大効果があることが指摘されている。 以上に、日本が現在絶対的な競争優位性を有する燃料電池を組み合わせれば、国民一人ひとりが発電所となる「スマート国民総発電所」＝「エネルギーのインターネット」を構築することができ、それをアジアをはじめとする世界に展開すれば、システムの輸出と外貨の獲得も可能になる。以上により、「市場の飛躍的拡大」を達成し、政府が目指す「原子力からグリーンへ」というグリーン成長が実現する。
18627	個人	自営業	50代	男性	日本は資源のない国である。エネルギー効率の良い原子力発電設備があるのだから。これを積極的に活用すべきだ。太平洋戦争がABCD包囲網によって輸入できなくなった自衛戦争であったことを思い起こすべき。	資源のない貧が国が世界有数の経済大国に発展したのは、これまでのエネルギー政策による功績が大きい。その恩恵を無視して「原発反対」という左翼マスコミ煽動の運動が展開されている現状を苦々しく思っている。 　千年に一度の天災は千年に一度しか起こらない。福島第一原子力発電所の廃炉の問題は粛々と進めるべきであるとは思うが、それ以外の原子力発電所については安全性の再確認をした上で従前の通り再稼働することにして電力供給を行うべきだ。 　発電の動力をすべて石油等に頼るのは、国際政治や外交上危険である。太平洋戦争の契機がアメリカ・イギリス・中国・オランダによる禁輸包囲網であったことから、今後の国際情勢によっては日本の弱み を突いて（国は違うかもしれないが）同様の兵糧攻めに遭うことも考えられ、もし戦争となったら戦力的の不利なのは明らかであるし、日本国憲法9条が改正されず戦争も起こせないとなったら中国等の属国化してしまうであろう。このような将来は大和民族の子孫の途絶を意味し、とても受け容れることのできない事態である。 　日本国の独立性の維持のために、原子力発電は必要である。
18628	個人	会社員・公務員	60代	男性	原発再稼働絶対反対！and　絶対脱原発！	現時点で人間のコントロール不可能な原子力を、いかにも安全だと偽って、金儲けの手段とすることは、恥ずべき行為である。諸外国に対してみれば日本国民全体の恥でもある。国民のためと声高に叫んでみても、結局は一部の人間に利するのみであることは、これまでの歴史が示しており、国民の生命を危機にさらしていることは明らかである。健康な生活あっ て初めて成り立つ豊かな生活ではないのか。原発推進を主張するなら、福島に起こっている惨状の解決法をまず示すべきであり、それが出来ないならば、危険な凶器を振りかざす殺人者に過ぎない。
18629	個人	法人等	30代	男性	原発は必要です。	化石燃料に頼っていては、中国にシーレーンを押さえられる危険が高いと思います。中国工作員に援助を受けた脱原発運動などに負けないで欲しい。この国を外国の侵略から守って下さい。
18630	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	「(1)ゼロシナリオ」に沿った政策を求めます。原発ではなく、自然再生エネルギーへの早期政策転換をお願いします。	原発事故が起こり、収束にどれだけの時間、お金、労力が費やされたでしょうか。しかも、人体、環境に与えた放射能の影響の検証として、これから何十年先までも、お金と労力が費やされるのです。 その莫大な経費を考えると、再び「想定外」事故、地震が発生したときに、「安全」が担保できない原発は、本当に国にとって有益な施設と言えるのでしょうか。 電力会社と国が協力して、自然エネルギーに転換し、そちらの事業を拡大することで、国民の命と、国益、社益は守られるのではないでしょうか。 もちろん、我々国民も、今まで、あたりまえのように電気を使い、原子力の恩恵にあずかっていました。 使用していた私たちも、負の遺産を背負わねばならないと自覚しています。 ならば、この負の遺産は、我々の世代で終わらせて、 次世代へ、汚染の無いクリーンな日本を残してやりたいと強く願います。 中途半端に原発を残すと、ただ、放射性廃棄物、日本の負の遺産が増えるだけです。 どうか「0」への勇気ある決断をしてください。 あなたがたの子孫に関わる、日本の未来に関わる大きな大きな決断です。
18631	個人	家事専業	40代	女性	3、原発20～25%シナリオに賛成です。 原発ゼロには反対です。少なくとも30%近くは必要です。理由は以下のとおりです。(1)経済に多大な悪影響を与える(2)国民の生死・健康にも波及する(3)国防上必要	原発は絶対に必要です。 (1)まず、電気料金が上がることで日本経済を圧迫します。 原発は今あるエネルギーの中で、一番効率よく経済的です。 原油を使う火力などと違って、プルトニウムなどは半永久的に使えます。 発電量も他と比べると大きく、安定した電力を供給します。 エネルギー問題は生活に直結しているので、電力の値上がりがあらゆる価格高騰を招き、その結果、消費が落ち込み、日本経済が冷え込んでしまいます。 ここで、原発以外の火力などだけで頼る問題点を挙げておきたいと思います。 火力発電は地球温暖化を促進し、環境にも良くありません。 また、他国に頼るしかない原油を必要とするところにも問題有りです。 国内のエネルギーを他国である原産国に価格や輸入量などで支配されるのは危険です。 戦争などで原油が入ってこなくなる可能性もありますし、 外交交渉上、弱みに付け込まれ、脅される材料にもなり得ます。 水力、風力、太陽光などは発電量・コスト面から見て、問題外です。 (2)国民の生死も左右しかねない問題です。もし、原発をゼロにするなら、このまま国民は節電を強いられます。今後計画停電が続くようであれば、医療器具を使って生命を維持している人などは自分の生死にかかわってきます。 医療機関であっても、人の命を預かっているわけですから同じです。 また節電をして、無理をして熱中症で死亡する危険性もあります。 (3)原子力を保持し、常時稼動しているということは、それだけで国防上の抑止力になっています。それはいつでも、短期間で核武器に変換できるということを意味しているからです。理論上可能だということだけで、十分抑止力が働きます。 ちなみに、中国は現在、原子力発電をどんどん開発建設しているそうです。 最後に、原子力は危険だという理由で反対している人がいると思いますが、なくすという選択をする前に、事故が起きないよう、より高い対策を構築していくべきです。 危ないからといって排除するのは賢明ではありません。 対策をかければ良いことです。 現在、原子力に替わる、より効率的・安定的・経済的代替エネルギーがない以上、なくすことは絶対国益に反することでもあり反対です。
18632	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	脱原発にむけ、(1)ゼロシナリオを支持します。	今回の福島第一原発事故は原発の安全神話を完全崩壊させました。そして、その起因となった東日本大地震は自然の恐さ、驚異をしらしめました。島根県にある島根原発周辺にも活断層が存在し、いついかなる時に大地震が発生し、重大事項につながるかわからず、住民は常に不安を抱えています。絶対的な安全を実現するには原発をなくすしかありません。「ゼロシナリオ」を早期に実現するよう求めます。
18633	個人	その他	50代	男性	ゼロシナリオを支持する。	ゼロシナリオを支持する。さらに日本における原子力発電は直ちに全面停止し、廃炉、解体、撤去の手順に入るべきだ。 　理由は以下の通り。 1．現在的な危険性について 　誰もが認めるように日本列島は火山島であり、それは地殻プレートの沈み込み点に位置するという地球物理学的な原因による。それゆえに、少なくとも日本においてはあらゆる場所で大規模地震発生の可能性がありそれに伴う地盤変動や津波が起こりうる。 　一方、原子力技術は未だ人類にとって未成熟の技術であり、安全に取り扱うことが出来ない部分が多く、ある段階を超えると確実なコントロールは不可能となる。放射能から放射線の放射を止める技術はなく、それはつまり核物質の本質的な無害化は現時点において不可能であることを意味している。 　そうした現状の中で先年の福島における原発事故の事例を見ればわかるとおり、ひとたび地震災害などで原子力発電所が被害を受ければ、日本に住む全ての住民、生物、のみならず全地球規模での環境破壊を引き起こすことはもはや可能性ではなく現実であると言わざるを得ない。 　そうした危険を放置しておくことは政府として「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」を保証した憲法第25条に抵触する可能性があり、ただちに原子力発電の廃絶と撤去を実行すべきである。 　さらに指摘するなら原子炉に致命的な事故が発生した場合、稼働中であるか冷温停止中であるかは、事態のコントロールに決定的な違いを生む。そもそも原子力発電所は存在自体が危険なのであるが、まずは直ちに停止させることが急務である。 2．未来における危険について 　前述したとおり、原子力（＝核）技術は未成熟な技術であり、とりわけ我が国においてはいわゆる核廃棄物の最終処理には全く目処が立っていない。 　環境汚染の危険性は現在のみならずはるか遠い未来にまで残されるのであって、これほど後の世代に負担を負わせる事業は他に無いと言ってよい。それは財政赤字問題の比ではない。財政的問題なら消費税の税率を上げることで対処しうるかもしれないが、現時点で核廃棄物の量や放射能汚染を減らすという選択肢はどこにも無く、どのようなシナリオでも必ず増え続けるしかない。 　こうした中での最善策は直ちに原子炉の稼働を停止し、なるべく廃棄物を出さないようにすること以外にない。 　なお付言するなら、原子力事故が全地球規模で災厄をまき散らすものであることを考えるど「われらは、いづれの国家も、自国のことのみに専念して他国を無視してはならないのであつて、政治道徳の法則は、普遍的なものであり、この法則に従ふことは、自国の主権を維持し、他国と対等関係に立たうとする各国の責務であると信ずる」とした憲法前文によって、原発廃絶は我が国の責務であると言うべきである。 3．原子力の管理等について 　大意見は当然ながら現実の科学技術の到達点を前提にした議論である。

						本意見は当然ながら現実の科学技術の到達点と前述した議論を踏まえ。 もし放射能の無害化や核廃棄物を完全に消滅させる技術が完成し、確実に原子力をコントロールできるようになれば、原子力発電を利用する選択肢も全くないとは言わない。 もちろんそれはかなり難易度が高く科学技術の一大発展が必要となると思われるが、それ以前にも前述したような核廃棄物処理や原子炉の廃炉の技術の確立が、現実にクリアしなければならない課題として我々の前に存在している。 本意見は原子力発電の速やかな停止を求めるものであるが、しかし現在の諸問題を解決するためには逆に原子力技術の更なる発展も求められていると考える。 そうであるなら、この問題を営利を目的とした私企業に担わせることには無理があり、国の責任おいて独立した非営利の公開された機関で原子力技術および核物質等の管理・運営を行うべきである。 たとえば東京電力を発電会社、送電会社および原子力管理機関に分割してその任を負わせるなどの方法も考え得る。 4．経済とエネルギー問題について エネルギー問題の抜本的解決は、新しいエネルギー源を見つけることではなく、エネルギーを(使わない)というところに求めるべきである。 人類規模における化石燃料の浪費が生み出す諸問題は多く語られているところだが、いわゆる再生可能エネルギーにも多くの問題が存在する。たとえば風力発電が鳥類の生態系に深刻な影響を及ぼすといった類の問題である。原子力がだめなら別の発電方法で不足を補えばよいという単純な話ではないのだ。 エネルギー問題の本質はエネルギーが足りないことにではなく、エネルギーを使いすぎることにこそ存在する。 エネルギーを潤沢に使えないと経済が停滞・衰退するなどと、人々の恐怖感をあおるような言説が巷間あふれているが、果たして産業革命以来続いている人類の(成長)が自然なものだったのかどうかを今一度立ち止まって冷静に考え直す必要がある。まさに東日本大震災を経験した我々はそれを考える最良の時期にいるのである。 そもそも日本をはじめ欧米先進諸国の経済が減衰するのは歴史的必然であり誰にも止めることが出来ない。そうした確実にやってくる衰退を前提にしたところで新しい国家のあり方、国民のあり方を真剣に模索する中にこそ、エネルギーと経済の問題を解決する方向性が見つかってくるはずである。 カネと命のどちらが大事か？　金持ちになれば幸せになるのか？　賢明な選択がどこにあるのかは明白だと思う。
18634	個人	自営業	40代	男性	原発はゼロでも不都合はない	原子力発電と言ってもお湯を沸かして その蒸気でタービンを回しているだけだ。 そんなものは火力にでも任せておけばよい。 原発の問題点は (1)原子炉自体が危険 (2)廃棄物の処理が確立していない (3)経済性もない (4)石油の節約にならない(火力発電の原料は重油) (5)再処理計画はとん挫している (6)そもそも地震国の日本列島に原発は合わない (7)エネルギー安保論にのっとるなら、むしろ 再生可能エネルギーの普及が重要 (8)現に今覚、原発は大飯の2基しか動いていないのに 不都合はない、少なくとも残りの48基は 必要ないことが証明された。 従って原子力でお湯を沸かして発電する意味などない。 ゆえに原発はゼロにすべきだ。
18635	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発の割合を0%を目指したいと思います。その為にはどんな、痛みも仕方ないと思います。	私たちの責任は私たちが取る。子供たちにはその責任はありません。また先延ばしにしてもいけないのです。その為には私たちの世代、がどんな辛い事になってもいいと思います。正直税金でまかなうしかないでしょう。それで解決できるならそれでもいいです。どぉか未来の子供たちの為に、私たちが出来る限りのことをしなければならないと思います。でなければ、先人たちや、これからの子供たちに申し訳ないと思います。胸を張って生きたい。これが私たちが築きあげてきた日本だと、戦中幸い思いをされた皆さんを胸に最後頑張ってきた私たちの日本だと胸を張って、誇りをもって次の世代へと渡したいと思います。福島を、忘れない為に。福島が教えてくれたことを胸に。感謝しなくてはならない思います。胸が痛い思いで生きていきたい(はありません。良心と共に、日本人は生きるべきだと思います。これは私たちの義務であり、罪であり。戦中の方々ご先祖さま、これからの未来の子供たちへの償いです。平和で豊かな今の時代を生きることができた。その償いを私たちはするべきだと考えます。子供たちの命と経済発展。選択は明らかです。
18636	個人	パート・アルバイト	50代	女性	今後、原発は　ゼロ　にするという ゼロ　シナリオを支持します	今の人間の能力では原子力をコントロールできないのだから 扱うべきではない。 何より、放射能と命は共存できない。 原発が必要というなら、今ある放射性廃棄物の処理、地球上にまかれてしまった放射能問題 を完全にクリアしてからだ。
18637	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	自然エネルギーへの政策転換を図るべきです。	「３．１１福島原発事故」で明らかなように、原発の危険性から私たちの命を守るには「ゼロシナリオ」しかありません。 原発を稼働し続けることは、将来にわたって危険な放射能を残すことであり、使用済み核燃料の処分技術や処分場所も不確定な中で、原発を稼働させることはできません。
18638	個人	会社員・公務員	40代	女性	脱原発、ゼロシナリオを望みます。	３．１１後、原子力発電は人間が制御しきれない技術だということが明らかのなりました。日本のみならず地球規模の放射能汚染の危険が想定外ではないことを多くの人が危機感を持って認識しました。 私は安全な未来のためには今の生活を変えざるを得ないし、また変えたいと思う一人です。そのためには政府の強いリーダーシップが必要です。目先の経済指標に目を奪われることなく、違い未来を見通したエネルギー政策を考えてください。完全に原子力エネルギーへの依存を止めると明言してください。
18639	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	福島原発事故の教訓から「ゼロシナリオ」を決定すべきです。	放射能汚染は、長期間にわたって私たちの生活環境を奪ってしまいます。故郷や雇用を失い、「命」が脅かされている福島県民のことを考えれば、原発を無くすことは当然であり、「ゼロシナリオ」以外の選択肢はないものと考えます。
18640	個人	会社員・公務員	50代	男性	「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張	国内に大型の原子爆弾をかかえているのと同じ状況です。 爆弾として機能してしまう原因として地震、戦争、テロ、老朽化、人為的ミス、隠れた設計ミス、隠されたミスなど沢山あります。 私は熱に関する装置の設計をしていますが、基本的にスイッチを切れば安全側に停止するというように装置を作ります。原発は停止すると発熱する、もしくは爆発するものです。また、そうなった場合の被害がすさまじく、その後処理も出来ません。また、影響は何千年にもわたります。危ないものを使ってただの湯沸かし器を作るくらいなら他に方法はいくらでもあります。電気がだめなら他に動力源、熱源、光源にするものを工夫すればいい。技術は物騒なものを作るために使われるべきではありません。 総理が責任を取るといっても、うそつき人間一人くらいの命をささげてくれても、間に合いません。 早く原発0を実行してください。
18641	個人	無職	60代	男性	原子力は推進すべき。	1．日本は殆どのエネルギーを輸入し、準国産エネルギーを確保すべき。 2．価格も比較的低位安定、産出国も世界に拡がっている。 3．40年以上使われており、確立された技術。（福島第一は特殊例と考えるべき） 4．自然エネルギーは、エネルギー密度が低く、原子力の代用とするには、広大な土地、費用を要する。 5．現在、原子力発電を停止し、火力を代用しているが、莫大な外貨を要している。（消費税3～5%上げを議論しているがその半分以上ということをもっと前面に出すべき） 6．原子力にアレルギーな人々を説得する為に福島第一の惨状の真の原因を早く特定し、必要なら既設・新設に反映すべき。 7．ドイツ等は、隣国フランスから輸入の事実も説明すべき。 （今、思いつくものだけでもっと大事なものもあるかもしれません）
18642	個人	家事専業	40代	女性	原発はいますぐ、とめてください。 いりません。	大きすぎるリスクを背負ってまで 電気をつくる必要はないです。 原発さんは今までおつかれさまでした。。。 たくさん電気をつくってくれて ありがとう～と こころから 思います。。。 ありがとう！と 解放して あげてください。。。
18643	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロシナリオを希望	原発ゼロシナリオを希望 理由 ・そもそも、原子力は危険すぎる ・国を含めて、ソフト面・ハード面で原子力を扱える能力がない ・増え続ける放射性廃棄物の処理のめどがない
18644	個人	その他	50代	男性	原発は即刻廃炉にすべき	原発の再稼動計画が進んでいるが、事故の検証はこれからであり、安全確保の理由は、野田首相の「大丈夫」という宣言のみというお粗末さです。もんじゅや他原発施設にこれ以上莫大な税金をつぎ込むリスクを考えると、電気の尻ぬぐい生活くらいなんでもないと思います。政府のエネルギー政策では、安心して、暮らしていくことは、到底できないと思います。抜本的なエネルギー政策の転換が必要であり、原発依存はゼロにすべきです。
18645	個人	学生	10代以下	女性	私たちは環境に横ばずエネルギーをあるだけ使う暮らしを変えなければならない。自然と命を大切にする社会にする為に、私は原子力発電所はいらないと考え、将来には原発が日本から全て無くなることを強く望む。	原発はすべてにおいて負の面ばかりで、特に私は生体への影響が一番怖い。働く人、周辺地域に住む人、自然、動物、国境を越えて原発は汚染を広げているからだ。 原発からはウランを核分裂させた時にのみ出るプルトニウムという放射線が出ている。これらの放射線が人体を通過した時、細胞やDNAを傷つける。その傷ついたDNAを治そうとした時、間違えて修復してしまう「修復エラー」が起きて異常な細胞ができる。それが分裂を繰り返して異常細胞が増え、ガンになってしまう。特に、細胞分裂が活発な赤ちゃんや子供が一番影響を受けてしまうのだ。 １９８６年のチェルノブイリ原発事故後、小児科医のスモルニコワ・バレンチナさんは様々な症状の子供たちを診てきた。症状として子供には珍しい甲状腺ガン、小脳ガン、ヘルニア、内反足(足の変形)、指の癒着、多指、歯の発育の後れなどで、足に腫瘍ができて切断をした子供もいる。そしてたった１歳２カ月の女の子は子宮ガンになった。骨盤周辺の臓器や肺にまでガンが転移していたそうだ。また出産時に6kgの巨大児や未熟児が生まれることも事故後に起こり始め、原発からの放射線はこのように多くの子供たちを犠牲にしてしまうのである。私はそれが一番許せない。 子供だけでなく大人への被害も大きい。低線量や、１００ミリシーベルト以下なら安全と聞くが、量や数字は関係ない。うけた放射線は消えることなく体内に蓄積され、白血病やガン、難尿病などの病気になってしまうからだ。ロシアでは原発事故の約5年後に子供たちの体に異変が起き始めたと言う。原発に事故で人体への影響は時間が経ってから出るから、日本でも3年、5年後にどのような症状が出るかは分からない。だから一刻も早くとめるべきである。 また日本の原発は、他に働く余地のないホームレスや外国の人など、社会的に弱い立場の人を働き手として雇い、被爆させている。最近では二人の未成年も働いていた。 そして国を超え、オーストラリアのウラン鉱山周辺に住む先住民のミラール族の人々も、ウランの採掘により被爆させている。 だから原発はいらない。未来の日本は再生可能エネルギーを各地域で創り地域で使う社会であるべき。原発をこのまま2030年までに35%に増やし全ての核燃料をリサイクルした場合、18兆円かかるそうだが、脱原発を宣言してその費用を新エネルギーの開発に利用していくべきだと思う。 太陽光、風力、波力、バイオマス、水力などの資源を今よりもっと活かしていき、なかでも地熱発電をこれから進めていくべきだと思う。火山の多い日本の地熱資源量は約2300万kWと世界第三位で、地熱発電は天候や季節に左右されず安定した出力が可能である。３．１１直後も東北地方の地熱発電所はすべて安全に稼動している。またCO2排出量は全電源中で最低レベルのため、地球に優しい安定電源と言える。現在日本には17箇所の発電所があり、わずか国内発電の０．２%にあたる約54万kWしか発電していない。しかし、これからその開発を進めていけば十分にまかなえるはずである。 また日本の電柱や電線は電力会社のものだが、それらを民主化して地域や各家庭で作った電力を地域で回すようにして欲しい。 目先の短期的なおカネではなく、私たちが生きる自然と生物の命に目を向け、守っていくべきだ。脱原発を宣言して国民１億３０００万人全員でそれを実現していくべき。原発で働く人は生活するためにこれ以上働いていても、被爆をして健康を損なうのは人権が守られていないし、誰かの犠牲の上で自分たちだけが快適な暮らしをするのは決して豊かとはいえない。利益よりもなによりも子供や自然を守りたい。だから一刻も早く停止して、これ以上の被害を出さぬことが先決であると強く思う。
18646	個人	会社員・公務員	30代	女性	ゼロシナリオしか受け入れられません！どんなに安全対策を講じても、地震大国である日本では「想定外」のことが起きます（実際に起こりました）。電気料金が上がってもかまわないので脱原発を推進してください！	今回の津波で政府が訴えてきた安全性が信用できないことが実証されました。 電気料金が上がってもかまわないので、原発をなくして安心して暮らせる生活を送りたいです。 また国を挙げての節電への取り組みももっともっとできると思います。 国民の節電意識を高める運動をすべきだと思います。 脱原発は簡単なことではないと思いますが、子供達の未来のためにがんばるしかないと思います。
18647	個人	その他	40代	男性	3つのシナリオのうち、どれを選択しますかという問いなのだとしたら、私の答えははもちろん「ゼロシナリオ」です。	今後、パブコメと言いながら、書類だけ投い投げて何を聞いているやら分からない「意見募集」なるものは、政府にとっては税金と時間とエネルギーの無駄使い、個人にとってもコストと時間とエネルギーの無駄使いなのでやめてください。こういうのをやめなければ政権政党が公約したところの財政赤字削減も、この書類がめざしていない(！)ところのエネルギー総消費量の削減は進まないでしょう。 聞くから3つのシナリオのうち、どれを選択しますかでしょう。私の答えははもちろん「ゼロシナリオ」です。 ゼロシナリオにもエネルギーの使い方を変えて総消費量を減らす道が示されていないので、 大いに不満です。 現政権はその道をとる意図がないと解釈しますので、支持いたしません。
18648	個人	パート・アルバイト	50代	女性	原発による発電は、研究などの部分以外は廃炉にして、新しい発電方法に切り替えていくべきだと考えます。	地震・津波によるとはいえ、原発による事故が起こり、被害にあった方だけでなく、多くの国民が、今エネルギーの問題を真剣に考えています。 確かに、原発にはこれまで大きな恩恵を受けて着たと思います。 さらに、国や電機業界、電気会社が一体となってオール電化を推し進めて来た結果として、選択の余地がないほど電力(原子力)に依存してきました。 私たちは、その事にやっと気付くことができたのです。 地震の他にも火山や、風水害、まさに災害大国の日本です。 原発には明らかに不向きなところではありませんか？ 資源に乏しい国ではありますが、それならもっと多様なエネルギーの開発利用 を押し進めて行くべきだと思います。 また、原発は放射能で汚染された廃棄物の処理方法も確立していない、開発途中の技術であると思います。 原子力は研究すべき技術ではあっても、依存すべきエネルギーでは無いはずです。 日本の選択すべき道は脱原発以外に考えられません。
18649	個人	無職	70代	女性	(1)を欲します。	孫のことを考えると、安心・安全がなによりも大事だからです。

18650	個人	その他	50代	男性	0シナリオを支持する。 24．7の国家戦略室の資料には、トータルの電力需給見通しが入っていない。 資料の作りがあまりにお粗末で、判断材料になっていない。	そして2030までの水力、風力、太陽光、地熱などの発電量の見通しもない。 つまり、資料の作りがあまりにお粗末で、判断材料になっていない。 また、公表の仕方もどこにあるのか分からないようなやり方では、信じられない。更に、問題点として、 1．公表の仕方がもっと国民にわかりやすくすべきで、どこにあるのか分からないようなやり方では、わざとかりにくくしていると勘ぐってしまう。 2．ドイツでは20年も議論しているのに、たった2ヶ月で決めるようなやり方では、あまりに拙速である。 3．国民から意見を聞くと言ってもどのように集約するのかがわからない。 大飯原発再稼働のように関係閣僚が決めてしまうのでは、益々不信感が増し、もううんざりしている民主党政権には国民の怒りが爆発するだろう。 とにかく、国民に対する説明が全く足りない。
18651	個人	会社員・公務員	40代	男性	原子力発電はいらない。	2011．3．11のようなことを二度と起こさないために、原子力発電はいらない。我が家では生活がままならず、子供を学校及び保育園を休ませ田舎に預けました。そんな生活2度としたくない。
18652	個人	その他	60代	女性	原発ゼロ	福島県郡山市の自宅から、3歳と5歳の孫を連れて自主避難中です。 子供たちの親は仕事で郡山市を離れずにいますから、こんなに小さいのに親と離れ離れでがんばっている姿を見ていると不憫でなりません。 原発事故が起きれば広範囲が汚染されることはもうフクシマを通じて分かりました。現在の日本は、(1)避難させるべき人を避難させず、(2)その根拠となる一般住民の被曝量の限度を引き上げただけでなく、汚染されていない食料の確保も怠ってその汚染の限度までも引き上げて、(3)事故を起こした人や会社の責任は問わない、と、やりたい放題です。 こんなことでは、原発は動かしてはならないと思います。
18653	個人	家事専業	40代	女性	ゼロシナリオ支持します	最近、活断層の存在が少しずつ明らかになっている等人間が把握している自然や科学はまだまだほんの僅かなのではないでしょうか。 その事実を謙虚に受け止めてほしい。 福島のような犠牲の上に経済の成長があるとしても、それは本当の成長とは言えないと思う。 誰かの不幸と引き換えの真の幸せなんてあり得ない。 自分の子孫が福島と同じような被害を受けて良いのか。 担当者はそのような観点から事に当たってほしい。
18654	個人	会社員・公務員	30代	女性	エネルギー政策を考えるうえで、原発は必ず0%を前提に進められなくてはなりません。日本には脱原発を進める義務があります！	エネルギー政策において、原発は持続不可能かつ、人命、環境等々の多大な犠牲のうえに成り立つ危険なものなので必ず「0%」を前提に進められなくてはなりません。一国の問題だけではなく、率先して脱原発を進める義務があります！今も作業を続け、命を削って働いておられる方々、今も福島に住み、日々、被爆を続けておられる方々のことを忘れてはいけません！絶対に原発はいりません！！
18655	個人	その他	60代	男性	原発に反対です。3．11以降、特にそう思う。日本は地震大国で100年に一度は大地震・津波が起こり、5 4基原発のどれかが大事故に遭遇します。人為やテロを警戒すればいい原発大国フランスとは条件が違う。	以上に書いた点が骨子だが、結局、原発依存から抜け出せないのは、日本が旧体制から改革できないことを意味している。原発依存体質の経済のままでは、有効な経済発展も望めないし、国民のモチベーションも下がる一方だと思う。 要は既得権益に守られた原子力産業の鎖国体質が問われているのであり、これを解体することで日本の将来に明るい展望を作るしかないだろう。 原子力や石油エネルギーに依存して、湯を沸かしてタービンを回して発電するという原初的発電形態こそ、環境悪化の第一要因だ。 失われた20年と3．11以降の停滞から日本が抜け出すイノベーションのためにも、脱原発を強力に進めるしかない。 速やかな脱原発が重要で、代替エネは頭脳と技術があれば開発可能であり、海外への再生エネ技術輸出も可能になるだろう。

18656	個人	その他	60代	男性	原発ゼロシナリオを熱望。可及的速やかに全廃すべき。15年でも後処理を考えると遅すぎ。	地震や津波が頻発する我が国、先の福島原発の事件により判明したように、一端事が起これば地域に壊滅的損害を与え、完全に元の状態に戻るまで回復させることはほぼ不可能である。また、使用済み核燃料の最終処分も、めどがつく見込みが皆無である。合わせて、原発の発電コストが一番安いという主張も、まやかしであることが白日のもとなった。 今こそ、全世界に脱原発を宣言し、原発の廃炉にかかわる技術を確立し、世界に貢献すべき時である。 その実現のために、原発に向けていた予算や人的資源を、代替えエネルギーや原発廃炉の技術開発に直ちに転換すべき。 過去にとらわれず、真に国民の願いをくみ取る、付託に答える政治を実現されたい。
18657	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発ゼロ 希望します。	原発ゼロ 希望。世の中をこんなに生きにくく変えてしまった、危険が付きまとう施設は困る。 世の中、まだまだ節電できる事は沢山ある。
18658	個人	無職	60代	男性	エネルギーコストの抑制、エネルギー安全保障の担保、CO2排出量削減、原子力発電技術を通じた国際協力による地球温暖化防止などの観点から、20～25シナリオ を支持します。	・日本の財政事情から政策資源の効率化、有効活用は避けられない、既設原子力発電所は日本の社会資本という観点に立てば、その働きを止めているのは国家的損害である、安全対策という経費をしっかりかけて本来の役割（発電）を担うべきである。 ・地球温暖化防止の観点から、持続可能エネルギーへインセンティブを与え創出される量に見合った化石燃料の老朽発電所から閉じていくべきであろう。 ・地政学上のエネルギー安全保障や、シェールガス、メタンハイドレートを取り巻く状況変化、エネルギーシステムの改革、蓄電池技術、スマートグリッド技術の進展など今後の変化を見極め、なにより日本の成長を基本に置いた戦略をフレキシブルにかつ不断にチェックをかけ続けてもらいたい。
18659	個人	自営業	60代	男性	原発ゼロシナリオ（火山島の日本に原発は無理）	使用済み核燃料の処理方法も確立されていないのに、これからも使用済み核燃料をどんどん増やしていくなんて考えらません。 福島原発事故によって、避難されている方々が来だに沢山見え、保障や除染も進まない現実。又原発にするだけでも何十年も掛かるのに、全ての原子炉を止め廃炉に向けて取り組むべきです。 事故を起こした、保安員や原子力安全委員が、再稼動にOKを出し、地元の首長がOKを出しても 首相が「責任を取る」と言っても、先の福島原発事故の責任者の処罰等も出来ないのに、その様な事を言われても首相はどんな責任を取るんですか？ 原発事故は取り返しがつきません。 又、事故が起きたら日本中住むところが無くなってしまいます。 幸い日本は、火山国です地熱発電とか、周囲は海だから波力発電等の利用を考えた方が良いと思います。
18660	個人	法人等	60代	男性	ゼロシナリオを支持します。原発は即時停止し、国家戦略として再生可能エネルギー社会へエネルギーシフトを。	安全でも安心でもなく、核のごみ処理もままならない原発は、すべて廃炉にするのが人類の唯一つの生きる道ではないでしょうか。 再生可能エネルギーの技術開発とともに、むしろ世界の見本となるように、廃炉技術をこそ世界に先駆けて開発し、国家戦略として「戦時経済下」並にエネルギーシフトを断行すべきと考えます。 それが、核爆弾による唯一の被爆国、原発事故被爆国である日本の世界に対する義務と言えるのではないでしょうか。
18661	個人	会社員・公務員	60代	男性	「エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 なぜ2030年の原発比率なのか？ 即時原発0%を主張する。	福島の事故は日本のみならず世界に放射能を撒き散らし、終息はまったくおぼつかない。 核が人類の英知をもってしても制御出来ないことを証明した。 そして、地震や津波だけではなく、操作ミスやテロでも事故は起りうる。 多用な発電方法がある中で、何故こんな危険な核による発電を行う必要性があるのか 政府や国は、一刻も早く「脱原発」に舵をきるべきである。再生エネルギーに本腰を入れれば 優れた日本の技術力によって早期にクリーンなエネルギーによる発電が出来るであろう。 過渡期の発電はガスコンバインドなど、発電効率が原発より格段に優れた発電方法が短期間で 建設できるであろう。 明日なのか10年後なのか、必ず原発事故は繰り返され、今度起ったら日本は壊滅である。 ドイツが福島の事故を教訓にして原発廃止を決断した、当事国の日本はドイツより早期に 原発廃止に踏み切るのが、世界への福島の事故の総括ではないか。
18662	個人	その他	50代	女性	原発再稼働反対。すべての原発を廃炉に。	福島第一原発事故は、いまだ収束を見ません。周辺住民は故郷に帰ることもできず、避難生活を続けています。 地震の巣のような日本列島の上で、人類が制御することができない原子力発電を、このまま稼働し続けることの恐ろしさを、私たち国民は福島第一原発の事故を通じて知りました。国民の80%は節電しても原発再稼働はしてほしくない、安全に暮らしたい、とアンケートに答えています。 放射性廃棄物の処理もできずにいます。未来に危険なつけを回してまで原発を稼働させる目的は何でしょうか。 私は、こどもたちが安心してのびのびと暮らせる日本で会ってほしいところから願っています。これ以上、放射能汚染を広げる可能性のある原発は再稼働せず、すべての原発を廃炉にしてください。
18663	個人	会社員・公務員	40代	男性	3つの選択肢に絞った理由は？安全に問題がないのであれば、50%も選択肢として残しておいても良かったのではないか？逆に要望が多いのであれば、可及的速やかに原発ゼロという選択肢もあっても良いのではないか？	いずれの選択肢でも10年以上原発を利用することになる以上、 原発で経済性と安全性を天秤にかけることは許されない、現在のように電力会社（経済性を考慮せざるを得ない民間企業）に任せておく妥当性があるのか？ そもそも3つの選択肢に絞った理由は？ 結論ありきで議論したと言うことか？ 逆に原発が本当に安全に運用できるのであれば 当初の予定通り50%を越えても良いハズ。 25%ならば安全で50%になると危険ということか？ 原子炉の安全性を検討した結果25%なのか？ 危険であれば、もしくは原発を止めるようにと言う 国民の声が多いならば、国民にいかなる負担を強いてでも 電力を25%ダウンするために、どんなことが できるのかも検討する必要はあるだろうと考える。 電灯をすべて、LEDに交換するだけで10%の 削減になるとのデータもあるように聞く それ以外の設備等の更新を促して省電力化を 進めることもできるはずである テレビのアナログからのデジタル移行と同じように 国策で誘導する方法もあるであろう。 その場合にはどれだけコストがかかるのか？ その負担は誰がするのか？ さらに言えば、全原子炉廃止の場合の 廃炉コストなども現状の電気料金に どのように反映させるのか、それとも税金で賄うのか？ などもキチンと見せて国民に判断させるべきではないのか？
18664	個人	その他	50代	女性	原発への依存度は、ゼロにすべきです。 現在稼働している原発はすべてできるだけ早く活動停止し、廃炉にする手続きをとったうえで、廃炉後の安全措置まで万全に尽くすことをのぞみます。	原子力発電に依存する現在の政策は、根本から考えなおす時期に来ていると思う。 原子力発電は、経済や技術力や国防上の観点から、一部の者に必要が求められるだけで、それがなければ人間が生きていけないというものではない。 原発を動かすためには損なわれる命があり、それは必ずもっとも弱い立場の人間である。その一点だけでも、原発は非人道的産業であり、他のエネルギー産業の成り立ちとは、まったく性質を異にするものだと思う。 他エネルギーも、完全とはいえずそれぞれに問題もあろうが、それを検証しながらも、原発のないエネルギー政策を求めていくことが、現在の日本にとってとるべき道である。
18665	個人	家事専業	60代	女性	原発再稼働絶対反対 原発そのものをなくして欲しい。	安全の保障なく、人類が生きて行くのに危険。地球の破滅だから
18666	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロシナリオを希望	原発ゼロシナリオを希望、安全性や廃棄物の処理方法に納得がいかない。
18667	個人	会社員・公務員	50代	男性	全原発を直ちに廃炉にせよ	原発の再稼働は電力確保のためはウソだ。電力は水力・火力などで足りている。 原発の再稼働は電力会社の経営破綻を防ぐためであろうし、官僚は一度決めたことを撤回しないということもあろう。しかし、これは問題の矮小化だ。 本質的な問題は、ウランとテクノロジーの供給とプルトニウム処理を通じてアメリカの核の傘に積極的に参入していく、対米従属の軍事戦略が本質だと思う。少なくとも核の平和利用を推し進めた中曽根康弘と正力松太郎は明確に意識していた。 野田総理も官僚も閣僚もこれを認識しているだろう。絶対に認めないだろうが。 廃炉と廃棄物の数十万年の管理のコストとリスクを考えれば、発電所としてのメリットはなく、猛毒プルトニウム生産だけが使用価値として残る。結局、核兵器?生産なのだ。全原発廃炉に向けて、核兵器の全廃と安保条約廃棄が政治?課題にならざるを得ない。 それほど、危険な代物だから、すべての原発は直ちに廃炉にせよ。
18668	個人	無職	50代	男性	原発は0にするべきです。2030年ではなくすぐに0にするべきです。たかが電気のために、国民の生命や財産を危険にさらすことはやめてください。	原発は過疎地に作り多額の交付金を出していることからもわかるとおり、推進している人たちは最初から原発が危険なものとわかっていながら、安全神話をふりまき自分たちの利益のために安全対策を怠ってきました。今後の原発政策を問うなら、まずこの点をはっきりさせ、責任者を明らかにするべきだと思います。 次に、原発そのものについては、核廃棄物の処分方法がわかっていない、原発を稼働するためにウラン採掘・精製・原発稼働の過程で作業者に被爆労働を押しつけている、フクシマのような事故が起きた場合はとりかえしのつかない被害が発生する、原発が存在することにより放射性物質の量が増え生命に遺伝子レベルでの影響を与える、などの理由により、人間とは共存できないものと考えます。 最後に、原発を止めると電力不足になると政府も経済界も口を揃えますが、総務省統計局や電気事業連合会の資料を見ても、火力・水力の発電設備量を最大需要電力量が越えたことはありません。更に昨年から節電意識が高まっているので、原発が稼働しなくても電力不足にはなりません。 まずは原発を止めて、太陽光・風力・地熱などの自然エネルギーの開発を進めるべきだと思います。日本は世界でもトップレベルの技術力を持っているのに、原発の既得権益を守ろうとする人々によって妨げられてきたのだと思います。また、総括原価方式という民間会社では考えられない制度はすぐに廃止して、電力会社も普通の民間会社のように経営努力をして、お客様に電気を買ってもらっているという意識になれば、計画停電などの発想は出てこないでしょう。
18669	個人	その他	30代	男性	具体的にイメージのできるメリット・デメリットの提示なきシナリオは、シナリオとは呼べないと思います。まず何よりも、これから我々はどういう世界観の中に生きていくべきなのかという問題を考えるべきです。	ご指定の資料を文書・PPTとそれに拝読しましたが、わずか1ヶ月かそこらの短期間で、資料「おわり」でも述べられているとおり国家のエネルギー政策という大問題を、このような乱暴で中途半端なご意見箱システムを用意したからと言ってそれを「国民的議論」などと詐称して説明責任を果たしたかのような既成事実を担保しておく、というおざなりな態度に、憤りか覚えません。 問題の解決策を考える際に提示する「シナリオ」とはそもそも、任意のプランを採択したのちに起こるであろう現状との変化から生じるメリットとデメリットを、根拠に基づいてストーリーとして明らかにしていくことだと思います。然るに、資料内で述べられている「シナリオ」とは単に「エネルギーミックスをこういう比率にします」と「言っただけ」に過ぎません。 これだけでは何も客観的な判断はできません。「経済負担が重くなってでも」という言葉がいくつも出てきますが、ではどんな負担が、どのくらい重くなるのか？が全く示されていません。多少の経済負担が重くなってでも原発依存度を下げたいという思いは、もはや多くの国民が共有している事実ではないかと思います。ではその負担がどのくらいなのか、我慢して耐えうるレベルなのかどうか、それがわからなければ判断ができるわけがありません。原発リスク低減というメリットの代わりの経済負担増というデメリットが、秤にかけられないのです。 文書資料の表2を見る限り、いずれのプラン（「シナリオ」）も、家庭の電気代の負担増額にそう大差があるようには思えません。しかし、省エネ投資額はゼロシナリオとほかと2つのシナリオの間には20兆円もの差があります。つまり家庭の電気代だけでなく社会全体として「他の何か」にかかってくる負担が増えるのだろうと思いますが、それがどのくらい生活に影響を及ぼすのか、全く見えません。 本来ならばこのプランを採ると、日常においてこういう負担がこのくらい増えることになります。よって家庭の経済活動、企業の経済活動、その他諸々が各々の負担を最小限に抑えるような行動をとると前提すれば、日本として、社会、経済の流れはこのようになっていくと予想されます」という「シナリオ」を、各プランごとに明らかにしなければならないはずです。 つまり、今更言うまでもなくこの問題はもともとエネルギー政策のみならず、今後日本が国家としてどのような価値観を目指す国になっていくべきなのかという憲法のような大きな問題であることは疑いえません。それは再三にわたり、あの震災以降各地各方面で提起されてきた問題です。なぜその根幹の問題を、いざ肝を据えて、政府として国民に提示しないのか？このおざなりと浅はかさが、理解できません。 外国に居住したことのある人間なら誰でもわかることだと思いますが、日本ほど、あらゆることが快適で至れり尽くせりな環境になっている国、そうでなければ許されない国、などは、他にそうそう無いと思います。それこそが今までの、世界における日本の優位性であり、そのさらなる原動力でもあったということは誰しも納得することだと思います。しかし今まさに、それが本当に、いち人間として生きる我々が、常にそうでなければならないという姿なのか？ということを、考え直すべきときだということは、すでに多くの方々が指摘しているとおりだと私も考えます。 我々は、西洋主義的な進歩史観とネオ・リバタリアニズムに乗って、功利性を追求することこそが人間の進むべき道だと信じ込まされてきたような気がします。しかしそれは、ある特殊な状況から発生したひとつのイデオロギーに過ぎなかったのではないかと、今私は感じています。全てのものごとは便利になり、容易になりました。しかしすでに、高まり続ける「容易」は、いずれ単なる「安易」に堕していくという分水嶺を越えてしまったのではないかとも思います。ある程度の不便には忍耐し、工夫し、努力するという、五感と身体性をフル活用して生きる能力、それが、人間の、本当の生きる力ではないのか。その力をこそ、我々は人間として養っていくべきではないのか。そう考えています。
18670	個人	家事専業	60代	女性	すべての原発即刻停止し廃炉に！電気は節約出来る。屋根で発電可能。地熱　水力いろいろあるじゃない。日本の技術で可能性はいっぱいある。 原発にいいことは何もない。核兵器は絶対いらない。 憲法9条が泣くよ。	今までも　原発に安心感を持ったことは一度もなかった。3.11は大きな反省を迫った。何もしなかった罪　知ろうとしなかった罪。何もしないことは、私の嫌いな政治家や経団連の提たちの思うつぼ。何考えてるんかこの人たち。 廃炉にしても放射能は生き続ける。放射性廃棄物の山はどうなるのか？ それでも再稼働したい人がいるのが信じられない。子供たちやこれからの子孫たちにどう責任とるのか？どじょうが命を差し出してもうれしくないよ。 仕方ないので　一人だけの抵抗をしている。連れ合いも協力 1. 日立　東芝　三菱の製品は買わない。 2. 電気はなるべく使わない。 3. 不要な電気製品は買わない。自慢になるけど電子レンジ　電気炊飯器なし エアコンあるけど何年も使っていない。 4. アメリカには行かない。 5. 東電には電気を売ってやる。ソーラー発電で 6. 中曽根を許さない。 7. 原発推進に加担した御用学者を許さない。 8. TVに出る時流に上手におねるタレントを許さない。 許さない主3つも書いたけどこの人たち痛くも痒くもないだろうね。 それがちょっぴり悔しい。

18671	個人	会社員・公務員	30代	男性	停電は絶対にしないでいただきたい。人命と産業の尊重を求めます。	リスクの高い原発はないに越したことありません。 しかしながら今のところ停電のリスクの方が大きいものと思います。 挙げればきりがないですが次の2点だけ特に主張したいです。 ・在宅医療を受けている人に対して停電は命の危機 病院で医療を受けている人は自家発電などで一時的な停電を乗り切れると思いますが、在宅で医療を受けている人、寝たきりの一人暮らしの人などは停電に伴い死亡してしまうリスクが非常に高くなると思います。場合によっては動けないことで熱中症でなくなってしまうかもしれません。 ・日本の宝である中小企業の技術の危機 ただでさえ円高などが原因で大企業が海外に出て行く中で、計画停電が起きるようになれば生産の不安定化に伴いさらに企業は海外に流出するでしょうし、下請け企業は倒産してしまうリスクが高いです。 日本の企業にはそこでしか作れない高度な技術をもった製造業者がいますが、一度会社が倒産してしまったらその技術は永遠に損なわれてしまいます。 日本経済を下支えしている企業がなくなってしまっては、税収が落ち込み国民の豊かな生活は損なわれてしまいます。 将来的にはさまざまなシナリオが有り得ると思いますが、現時点では原発の再稼働はやむを得ないと思います。できるだけ安全な原発から選択して再稼働していただきたいです。
18672	個人	会社員・公務員	50代	女性	「原発ゼロ」を支持します。	未来の世代に核廃棄物という安全な処理方法がいまだ見つからないものを残したくはない。多少の不便があっても、自分たちで責任の持てる生活を選んでいきたいです。現在原子力エネルギーの開発に使われている予算は、原子力発電の安全な終息とよりよい自然エネルギーの開発・整備に使うべきだと考えます。
18673	個人	会社員・公務員	50代	女性	「2030年に原発0」ではなく「即刻、原発0」を主張します。 再稼働された大飯原発も再停止を！ 政治的判断は一過性のものではありません。これから先の社会がどうあるべきかを視野に「原発0」の判断を！	「原発0」とするために必要な財源・諸政策を早急に推し進めましょう。国の方針がしっかりと決まれば、何かと不安定な物議を醸す自然エネルギー利用の発電についても、安定供給へ向けての研究開発が大幅に進むと考えられます。原子力エネルギー利用へ舵を切った当時、必要な財源確保と政策推進を国が先頭になって音頭をとることによって、各地の電力会社がこぞって原発立地へと動いて行ったように・・・ 自然エネルギーの研究開発が内需拡大の切り札、日本の経済力アップへ繋がります。繋げるよう、国がその先導役となる、それこそが今政府に求められていることです。既存の企業団体の営利追及のみに国が肩入れをして、「原発の電力を頼り経済発展を金儲けをし続けることこそが日本の発展につながるという考えにしがみついている」、その状態から抜け出す時です。 今までの経済基盤を維持しようとするのではなく、別の価値観に基づく社会構築を目指すよう、舵を切る時です。バブル期の再来を目指すのではなく、本当の意味での豊かな社会を多くの国民は望んでいます。財力や地位があるため、それを活かして意見を言う、社会のいわゆる上層部にいる方々の意見ばかりに目を向けるのではなく、これから社会を担っていく若い世代が何を望んでいるのか、もっともっと耳を傾けてください。 「原発0」を目指すために必要な現実の変更は、国民が覚悟を持って引き受けなければならないと考えます。国民のことを考えてというのであれば、目先の利益にとらわれず、一部の人々から総すかんを食うような事態になろうとも、政治的英断を下す－それこそが「決める政治」ではないでしょうか。
18674	個人	その他	50代	女性	原子力発電所ゼロ%を選択してください。ゼロシナリオの選択で日本のエネルギー政策を構築することを切に希望いたします。	日本列島が地震またそれに伴う津波を避けられない以上、原子力発電所を稼働させてエネルギーを得るという国策は早急に見直すべきであり、それには猶予などありえません。 また使用済みの核燃料の処理について、いまだに抜本的な解決方法がないまま、莫大な資金をかけて再処理を模索していることにピリオドを打ち、安全な保管方法について日本の原子力の技術を持って最低限のリスクで実施できるよう、具体的な策を講じてください。 日本の技術をもってすれば、省エネルギーの推進はまだまだできます。原子力に頼らなくても、日本は自然エネルギーの豊かな資源を有している国です。 ひとたび事故が起これば、命や国土を失ってしまう、人々の暮らしを脅かしてしまう、そんなエネルギーは要りません。
18675	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発依存度は(1)ゼロシナリオをベースに進めるべきです。福島の現状を見ると利便性追求のために電気を使うことに抵抗があります。	自動販売機、宣伝等広告灯まだまだ削減できる電気があるはずです。個人的には新築する自宅にソーラー発電も付けました。どうしたら企業活動への影響を少なくしつつ電力消費量を減らせるのか検討の余地が大いにあると思います。 最後に、反省することを忘れこれまで通り電気を使っているとバチが当たる気がします。
18676	個人	会社員・公務員	30代	男性	経済成長の想定は、これまでの実績に加え、化石燃料の高騰や超円高、電力料金の上昇など、今後予見される影響についても十分織り込んだものでなければ、国民が冷静な判断を行うことは困難である。	シナリオでは、わが国の実質経済成長率を、2010年代は1.1%、2020年代は0.8%と想定しているが、1991年度から2011年度のわが国の実質経済成長率は平均で0.8%に過ぎないことをまず もって直視すべきである。 その上で、足下のわが国を取り巻く状況を見れば、電力需給のひっ迫に伴う輸入化石燃料の高騰や、超円高の継続に伴う輸出型産業の業績低迷や生産拠点の海外移転の加速とそれに伴う雇用調整、さらには再生可能エネルギーの導入促進による電力料金の上昇など、今まで以上に悪影響を及ぼすと考えざるを得ない事象が多く散見され、プラス成長どころかマイナス成長となる可能性すら考えられる。 そのような中で、2030年までにGDPが2割以上増えるという、あまりに楽観的にすぎる事務局の想定・提起は、シナリオ選択の前提条件であるだけに、国民が正しい選択を行うための冷静な判断力を奪うことにならかねない。
18677	個人	法人等	30代	男性	原子力発電への依存度はゼロにすること。 代替エネルギーとしては当面、石油や天然ガスによる火力発電に頼り、 そして風力、太陽光、地熱発電などの再生可能エネルギーの割合を徐々に高める。	核燃料の最終処分場も決まっておらず、天災や人災によって完全に制御することが不可能なものを、日本中に配置しているこれまでが間違っていたのである。福島の原発事故では、多大な被害が発生し、メルトダウンした周辺地域では何十年も住むことは難しく、流れ出た放射能物質がB日本中、世界中に迷惑をかけている。その地域に住んでいた方々に損害を賠償するとして現金を渡すとのことであるが、それで責任を取ったことにはなっていない。被害を受けた人々の生活をできなくしたことを償うことは不可能であるのだから。責任をとれるはずもない。それどころか、周辺に住んでいる私どもも、原発が爆発したことによる放射能による被ばくを毎日受けているといえる。特に、子供たちへの影響は、我々、大人よりも何倍も、何十倍もあるはずである。経済活動に支障をきたすとの立場にあるが、命やそこでの日常生活が最も大切なものである。今回の原発事故で明らかになったにも関わらず、さらに原子力発電への依存を国が続けるというのは、明らかに憲法13条違反のはずである。再び、原発事故が起きないとは言えないはずである。 廃炉にかかる費用は、原則、各電力会社が本来負担するべきものである。各電力会社の保有資産を全て売却し、給料や役員報酬を中小企業並みに減らしても足りない場合には、やむを得ず税金負担とするべきである。 そもそも、電気料金の方式が総括原価方式というコストをいくらでもかけて良い方式であることが間違いである。コスト意識が極めて電力会社は低い。この点を改善せずに、電気料金に上乗せしようとすることが間違っである。そもそも、東京電力は今回の事故での賠償を支払いきれないというならば、破たん処理すべきである。その上で、電気料気に上乗せするというのでなければ、納得できない。 火力発電、や再生可能エネルギーによるコストアップは当面の間はやむを得ない。これらの技術的な向上、運用ノウハウを世界トップクラスにすることで、新たな産業として雇用を創出し、海外に輸出することで経済的な戦略とするべきである。 このまま、現状に甘んじて原子力に依存していると、再び原発事故を起こすことは明らかである。その際には、国民が被害を受けるだけでなく、海外から「あきれた国」であると見捨てられることだろう。
18678	個人	会社員・公務員	30代	男性	空洞化が及ぼす影響が書かれていないコストの抑制空洞化防止が重要な視点であるという反面でこれに関する記述がなされていない。空洞化が国内経済や生活・雇用に及ぼす影響やそれをどう防ぐのかを明示することが必要	シナリオを検証するにあたって踏まえるべき極めて重要な4つの視点として、コストの抑制と空洞化の防止をそのひとつに挙げているが、今回掲げている3つの選択肢のそれぞれが、国内空洞化にどのような影響を及ぼすのか、また、それを回避するためにどのような手立てを講じようとしているのかを、シナリオから読み取ることが出来ない。 3つの選択肢は、いずれもエネルギー比率を大きく見直すものであり、電力料金の引き上げにとどまらず、コスト上昇による生産拠点の海外移転や国内雇用にも大きな影響を与えることは明らかである。その程度が国民生活や雇用の上で果たして受け入れ可能な水準にあるのかどうか、シナリオの中で明確に示すことが必要である。また、原発依存度低減の道筋を具体化すれば、これらの影響が回避出来る、とも読み取れるような今回の視点は、あまりにも乱暴に過ぎると言わざるを得ない。
18679	個人	その他	60代	男性	エネルギー・環境に関する選択肢?ゼロシナリオ	三つのシナリオのうちゼロシナリオを選択します。 私は結党以来民主党を支持してきました。 次の選挙では民主党に投票はしません。 生の「人間」や「生活」というものを知らない野田首相に政権を任せるのは、私もストレスになるしもう勘弁してもらいたい。 おおい原発の再稼働を、福一の被害者が再起できる道筋を付けないまま決定してしまったことは決定的でした。 目の前で「助けて！」と瀕死の状態で叫んでいる人に手を差し延べないで、自分を指示してくれる人のところへ先に歩き出してしまったのです。 政府は、「福島」を捨てました。 繰り返しますが、原発の「再起動」より先に、まず福島の方達に「再起動」できる道筋を立ててあげなければいけなかったのです。 福一の事故による被災者はいまだ土地を離れさまよっています。 すでに70人近い方達が亡くなり故郷のお墓にも入ることができません。 被災者の方達をはじめ、酪農家や農家、そこにいる動物たちにはなんの落ち度もないはずです。 なぜその方達が警戒区域に入ることや動物たちに餌を与えることが対してイジメに近い規制を加えるのですか？向ける方向は別でしょう？ 規制だけでなく、外に出せないものをそこで消化するなど、こういった状況を有効に活用することはいくらでもあります。 データとしても残すことができます。 「話そう"エネルギーと環境の未来"」この能天気なタイトルは福島県の避難民の方たちにはどう聞こえるでしょうか？ 意見聴取会や委員会、各種会合を含め福一の被災者となった方たちにできるだけ多数参加してもらい「生」の声をすくいあげていただきたい。
18680	個人	会社員・公務員	50代	女性	原発　全て廃炉	今回の事故の処理費用を考えたら、原発はとてつもなく経費がかかる。 また、使用済燃料等の処理する場所がない、保管場所も決まっていない。 日本の経済の中心地である関東・東海・西日本で起こったら、もう住めなくなるし 経済も崩壊する。もともと塩田の多かった瀬戸内の雨の少ない場所で過疎地に太陽光発電を採用すれば、日照時間も多いので効率的。30年くらい前に香川の仁尾町で太陽博をやったくらいです。各工場・ビル　家庭全てに、太陽光パネルと小型風力発電機を取り付け、各河川にも小型水力発電をつけ、一箇所で発電するのではなく小電力を多箇所で行うことを考える。地震国で原発など行うべきでない。1つの発電所がだめになったら、広範囲に電気が使えなくなる。無駄が多すぎ。
18681	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発ゼロシナリオを選びます	原発ゼロシナリオを選びます。 一度の事故で多くのものを失う原発はリスクが高すぎです。 もっと地域分散型のエネルギー供給を進め、自然エネルギーを効率的に利用できる仕組みを推進してください。
18682	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発はゼロにすべきと思うが、地球温暖化対策の中断はすべきでない。現在出されている「三つのシナリオ」は、原発ゼロにすれば温暖化対策は先送り、という内容であり、容認できない。	原発は、ひとたび事故が起これば甚大な放射能被害をまき散らすだけでなく、運転を続ければ必然的に出てくる放射性廃棄物の最終処理のあり方も決められない状態。福島第一原発事故でも、近隣住民をはじめ多くの国民の健康権を奪う結果となった。そのような状況のなか、福島第一原発の事故原因の究明すらできない状態で、原発の運転を続けることそのものが、許されてはならないと考える。 一方で、全世界的に取り組まれている地球温暖化対策を、いま止めるべきではない。「京都議定書」で定められた目標数値は日本の国際公約でもあり、それを反故にするようなことはすべきではない。 原発ゼロと、地球温暖化対策を両立することは、再生可能エネルギーの割合を増やしていくことで可能だと考える。太陽光や風力、バイオマス、地熱、水力などの再生可能エネルギーを最大限活用する方策をたて、化石燃料を燃やす発電を計画的に下げていくことは十分可能。
18683	個人	自営業	50代	男性	日本の国際観光と農林水産物に、永久的な被害が出たのです。原子力発電という選択肢は放棄です。それでも賛成される方はちがう惑星に住んで下さい。	今の災害の後始末にこれからどれだけのお金が必要でしょうか？安全な原子力発電を完成させるための費用がどれだけ掛かりますか？ そんなにリスクにお金が掛かるなら、はじめから太陽光発電パネルを国民全世帯にプレゼントしてください。ビルや倉庫など建築基準に効率のいい太陽光発電設置に対し補助金を出して下さい。そうすれば日本のライフラインや工業需要のために供給できるだけの電力を集めることができると思います。それでも天候に左右されるなら、予備電源として火力発電を使うしかありません。 今回のような災害はこれ一回で済むとは思えません。 日本国のエネルギー問題は過去の大戦の引き金となり、大きな負の歴史として国民に負担を強いてきました。我々は同じ過ちを何度も起こす民族では無いと信じています。単一国家として世界で最も長い歴史を持つ日本国を愛してやみません。官僚職を持つ方々に、お願いして変わるしかありませんと、どうか、世界の手本となるような国政をお願い致します。
18684	個人	会社員・公務員	40代	女性	原子力発電再稼動反対　および　原子力発電をなしへの希望	原子力は人間の力で操れるものではありません。チェルノブイリや福島のように何かがあった時には　人間のなすすべもどうにもできません。 気の遠くなるような半減期のプルトニウムなどができることも　そもそも地球に生きるものとして、自然に反していると思います。 この2012年ではマヤ族の暦が終わり、またホビインディアンも2012年で人類のこれからの選択により今後　人類が生存を続けられるか、断絶かと予言されています。 ホビインディアンの予言は長崎や広島の原爆投下の予言がされたことをきっかけに世の中に公表されるようになりました。 予言だからと言っているのではありません。 しかし　2012年で人類が自然と共に共存する道を選ぶか、今までのやり方を変えないかで、ジャッジされる時期にきているのだとおもいます。変えなければ人類の道は途絶えています。 今までは許されていましたが、もうここまでではないですか？ 東日本大震災、そして福島原発の事故、このことにより日本のとる行動が注目され、他国にも影響を及ぼしました。他国も原発を止めるきっかけになりました。 もしこの大惨事が日本に来た事に意味があるとするならば、日本は今後 原発0にするべきではないですか？ もちろん簡単なことではないでしょう。 でも人類生存がかかっているとするならば、原発はなくても生存を続けられるほうがいいです。 私達は世界から比べると小さな島国の日本に立っています。 でも日本にだけたっているのではなく、地球にたっています。 その地球には人間だけでなく、他の生物、自然もあります。 そしてその地球は宇宙にぽっかり浮いています。宇宙のひとつです。 みんなよくなるように　すべてがよくなるように この視点から見てください。 全てが含まれているユニバース（ひとつ）のバランスのとれた視点から。 どうか「最大の振った選択をした時代の政治家」にみなさんならないで下さい。 今だからこそ、原発をやめることができるチャンスの時期です。 くらげの大発生は偶然ではありません。 原発は世界を滅ぼす力です。 今こそ手放しましょう。
18685	個人	自営業	50代	女性	原発依存率0にするべきです。国は国民の命と人権を守る使命があります。 この英断を下せるよう政府に求めます。	今回の事故で原子力は人が制御できるものでないことを痛感しました。廃棄処分するにも気の遠くなるような年月と膨大な費用がかかります。事故原因もうやむやで東電幹部、政府、原子力に関わった学者に責任をとらせることもせず本当に怒りを覚えます。放射能汚染がなければもうちょっと復興半ばだろうし、被災された方が自宅に戻る道筋がついているでしょう。人の命を思うとき今こそ、原子力以外のエネルギー利用に切り替えるべきです。日本人なら必ずできます。未来の日本と国民のことを本当に考える政治家であれば原発依存率0の決断ができるはずです。 私たちには国民に向き合えない政治家は必要ありません。国民はしっかりと見ています。 現在、福島の現場で防護服を着て作業に携わっている方にはほんとうに頭が下がります。でもここには東電の社員より下請け、孫請け、ひ孫請けの方たちが殆どで劣悪な環境、低い賃金だと知りました。政府にはこの方たちの待遇の改善を求めます。
18686	個人	会社員・公務員	50代	女性	直ちに原発は止めるべきです。原発に「安全」はあり得ません。まず廃炉あり き、で新しいエネルギー政策を考えていくべきです。	今回の調査結果にもあったように、自然災害多発の日本で原発は相いれないものです。人災でもあり得るこの原発事故を前に謙虚に自然からのエネルギーに変えていく時です。わたしたちも節電を心掛けますが、電気は足りているはずです。放射性廃棄物も一体どう処理するつもりなのでしょう？　負の遺産をこれ以上未来に残さないでください。
18687	個人	会社員・公務員	50代	男性	「安全な事故を起こさない原発」などない、と思います。従って［原発ゼロ］を選択します。	２０１１．３．１１までは、原発のこともあまり知らず「安全神話」を信じていたほうです。 　その後、原発のことを知るほど、原発はなくすべきと思うようになりました。これは自然な流れだと思います。 　さらに、いわゆる「原子力ムラ」あるいは「原子力擁護派」の意見等を見聞きするほど、やはり今［原発ゼロ］を選択しなければ、第二のフクシマが起きるまで、またいままでのように原発が続いてしまう・・・と、いっそう確信するようになりました。 　最近は「反原発は日本をダメにする」とか「国を滅ぼす」といった意見が多く出されているようです。 　反原発を批判するより「原発は必要だし、安全な事故を起こさない原発は必ずできる」ということを強く、はっきり言うべきでしょう。 　多くの人は、「安全な事故を起こさない原発」を信じていたけど、そういう原発がないことがわかったので、［原発ゼロ］を叫んでいるのだと思います。

18688	個人	その他	50代	男性	「原発ゼロ」を主張。ただちに！ 2030年までに「原発ゼロ」ではなく、原発の再稼働を中断し、今「原発ゼロ」をめざすべき。人々の命、安全、生活、がなによりも大切。それを犠牲にする豊かさなどはない。	「原発ゼロ」を主張。ただちに！ 2030年までに「原発ゼロ」ではなく、原発の再稼働を中断し、今「原発ゼロ」をめざすべき。人々の命、安全、生活、がなによりも大切。それを犠牲にする豊かさなどはない。 原発の輸出や、モンゴルへの核廃棄物の埋設計画などもただちに中断して欲しい。危険を他国へ押しつけることはできません。
18689	個人	会社員・公務員	60代	男性	原子力発電所は全て廃止すべきです	原子力発電所と経済問題を秤にかけますが、安全の問題と経済問題は全く別です。大飯町の経済と原発の稼動は秤にかけることは間違いです。原発に頼るこじき自治体の救済は別問題です。 核のゴミを処分できずかつ事故が起きれば処理することも出来ないし、被害者に保障することも出来ないので、原子力発電所は全て閉鎖すべきです。 大飯原発も政治家が安全宣言をしたが科学者は誰も安全だと言っていない。また、御用学者を動員しますかね。オスプレーもまた野田首相と細野が安全宣言をするのですか？全く信用が出来ません。
18690	個人	自営業	40代	女性	原発ゼロシナリオをのぞみます。	東日本大震災のときの原発事故がいまだ終息していない状況を、また、核燃料廃棄物の処理もめどが立っていない状況を、憂えています。子どもたちの将来・未来のことを考えると、安心して暮らせることがなにより大事です。いま現在の企業の利益を第一とせず、まず安心・健全な未来の暮らしを第一として、この先のことを考えていくべきではないでしょうか。2030年までだ18年あります。それまでに自然エネルギーに関する技術も進むでしょうし、資源の開発も考えられるのでは。いまの段階でそれは難しいとかできないとかきめつけることなく、国、技術者、国民、みながー丸となって、原発ゼロに向かって取り組んでいくべきではないかと思います。そのためには、節電も計画停電も、不満なく、力を合わせていけるのでは。震災直後のあの混乱した夏でさえ、そうして乗り切れたのですから。今後それができないはずはないと思います。 人間の理性に立って、原発ゼロをめざしていくべきだと強く願います。

18691	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発は即時撤廃すべき。このまま原子力発電を続けて、2度目に福島と同様な事故が起これば国家が滅ぶと思います。いまの地震が多発している状況を考えると2030年までの時間的な余裕は無いと思います。	ほとんどの国民が原子力発電は原子力村や電力会社の利益のためだけにあることに気が付いている。原子力村の住人は福島の事故のために生命や財産の危機に瀕している人たちのことを考えて胸が痛まないのだろうか？このまま原子力発電を続けていれば、他人事では無くやがて自分や自分の子孫も多大な被害を被る可能性を考えることができないのでしょうか？このような想像力も人間的な感情も欠落しているような人達が原子力という非常に危険なものを扱っていることに戦慄を覚えます。このままでは第二の福島事故は必ず起こると思います。原発は即時撤廃するべきです。
18692	個人	家事専業	30代	女性	原子力発電を即時廃止してください。	福島第一原子力発電所の事故を受け、 大量の放射性物質が放出され続けています。 今後、第二の事故が起これば、日本に住むこと事態が難しくなると考えています。 健康を脅かしてまで、電力が必要だとは思えません。 どうか、即時、原子力発電を廃止してください。
18693	個人	会社員・公務員	30代	女性	ゼロシナリオを選択します。	2030年とありますが、できるだけ早期にゼロにしたいと思います。 国と国の話、お金の話、色々な問題があると思います。 しかし、わたしはキレイな地球を未来に繋いでいきたいです。 企業が電気供給元を選択できるように、一般家庭も選択できるならば、 今すぐにでも変更したい！ これはどこ産だから安全だとか、ここの海なら入れるとか、そんなことを考えなら生きたくないだけです。 先祖が間違えてしまったことは、わたしたちが正して、新しい世代につなげていく。 それがしたいだけです！！
18694	個人	自営業	40代	男性	日本のすべての原発を止めて、廃炉へのスキームを政治主導で示してほしい。さらに、日本のエネルギー政策の根本を問い正し、日本の技術力と経済力を持って、先進的かつ持続可能なエネルギー自給の道を探ってほしい。	まずは、手始めに国有化された東京電力を解体し、発電部門と送電部門を分社化し、事業者向けと家庭向けの事業をさらに分ける。さらには、その他の電力会社も、これを例に分社化解体し、国の電気事業の刷新を図っていただきたい。 その為だったら、多少の不便でも国民は納得できます。一日に数回停電があっても、日常生活が困る訳でもなく、電気がないならないなりの生活をすればいいだけのことで、困るのは生活ではなく、困るであろうと思っている頭の中、もしくは社会・経済システムそのものに問題があるような気がします。 人間ひとりひとりは皆たくさんく、原子力発電を永遠に放棄できるのであれば、どんな苦労にだって耐えることはできるはずです。 その不便に耐えられないのは、その恩恵に浴してしてしまった一部の人たちだけで、そもそもその人間の生きる力自体が弱いのであり、そんな人間の為に、未恐ろしい爆弾を抱えながら生きていくのはもうたくさんです。
18695	個人	自営業	30代	女性	エネルギーの原発依存度は、2030年と言わず、即時ゼロにすべき。 経済性を安全性に優先させるべきではない。 政府は真剣に、持続可能なクリーンエネルギーの開発とそこでの雇用にこそ力を注ぐべき。	エネルギーの原発依存度は、2030年と言わず、即時ゼロにすべき。 経済性を安全性に優先させるべきではない。 原子力と人間の共存は不可能と考える。 ひとたび事故があれば、これ以上にない地球的規模の環境破壊と国民の生活を壊したことが福島の事故によってわかったはず。その経済的損失が考慮されているのか。 たとえ事故が起こらないとしても、そこで働く労働者を被爆させる原発はあってはならないものである。 政府は真剣に、持続可能なクリーンエネルギーの開発に力を注ぐべき。 新エネルギーにて産業と雇用をつくる政策を強く進めるべき。 廃棄物の処理もできないのに、さらに未来の世代に核の負の遺産を負わせることは許されない。 現在ある原発は全て即刻廃炉に。新しい原発もいらない。
18696	個人	自営業	40代	男性	第二次大戦で原爆を投下された唯一の「被爆国」の我が国だからこそ、今こそエネルギー転換が必要です。「環境に悪影響を及ぼすエネルギー」ではなく「地球と共存するためのエネルギー」を。目標はあくまで、0%！	安全神話の上での原発開発は、例え地震による事故であったにせよ方向転換せねばならない。 事故は起きてしまったのだから。もしもう一度現在の準備されていない状態で、もしくは準備は完了したが想定外のことが起こった場合、どんな理由であれ（天災によるなども含めて） もう一度起きてしまえば、終わってしまうことは想像できると思いませんか。 今までのエネルギー転換は素晴らしいと思います。原子力も素晴らしいパワーを発揮しました。 しかし、廃棄の問題は先延ばしのまま進めてきたように、そして再利用もまだ出来ない状態では、原子力の現状でも問題は山積みです。 今まさに、次の世代へのエネルギー転換をするタイミングなのではないでしょうか。 原子力の周りのことでも、廃炉にするためのビジネス、廃棄物をどう処理するかということに向けたビジネスもまだまだあり、十分に現在関わっている方々にとっての利益も 得られるのではないでしょうか。 25%程度というと、福島第一を廃炉にして、新たに数基建設ということですよね、新規建設はもう止めましょうよ。 15%程度というと、福島第一を廃炉にして、新たには作らないということで、現状維持ですよね、そろそろ古い原発もあるのですから、もう少し減らしましょうよ。 目標は高く持つべきではないですか。 0%を目指して進みましょうよ。 70年前、原爆を投下された唯一の「被爆国」なのですよ、原子力の力により、たくさんの命が奪われた、その体験をした世界で唯一の国なのですよ。 原子力の平和利用とはいえ、安全利用ではありません。現状でもコントロールしきれない暴れん坊ですよね。 前を向いて進むために、新しいエネルギーを作っていって欲しいです。 今までの「環境に悪影響を及ぼすエネルギー」ではなく、「地球と共存するためのエネルギー」を作ってください。 そのためにも、完全に依存せずに進む道を探しましょう!
18697	個人	無職	60代	男性	原子力発電は未完成または安全に扱うことが不可能な技術なので使うべきではない。	原子力発電は、チェルノブイリ・福島で示されたように、事故の時の被害があまりにも大きくその影響が長期に続く。それだけでなく、廃棄物の安全な処理は数万年単位で考えねばならない、実質的に不可能である。どんな理由があろうとも、原子力発電は使うべきではない。 風力・太陽光・太陽熱・地熱・波力・潮力・水力などを最大限に活用すること、特に日本では技術的には完成している小規模水力発電の開発に力を入れるべきだと考える。また、住宅における太陽光発電の設置などに思い切った補助をすることも必要と考える。長い目で見れば、いずれ買い換えることになる車や家電にエコカー減税や家電エコポイントで補助するよりはるかに効果が大きいはずである。 電力不足がいわれるが、夏期・冬期の短期間の短時間だけである。その時間だけの対策を総合的に考えることがまず必要だと思う。病院など必要なところは確保して、あとは出来るだけ電力需要を一つを分散させる、商業用などで節約可能な電力が充分にあると思う。
18698	個人	会社員・公務員	20代	男性	原発に依存しない、新しい社会を作るためにできる限り早く全ての原発を廃炉にするための政策を進めることを求めます。	福島第一のように、事故が起きてからでは取り返しのつかないことが二度と起きないでほしいと願うからです。未来の日本を担う今の子供たちを守ることは何より大切ですし、原子力に頼らずとも日本の電気を賄うことは可能であると多くの専門家が語っています。どうか彼らの意見に耳を傾け、日本の素晴らしい技術を生かし、持続可能な素晴らしい日本になってほしいと切に願っています。
18699	個人	無職	70代	男性	原子力発電は稼働しているものを直ちに中止、点検・停止中のものは全て再稼働させない。脱原発の国にして欲しい。	人間が制御出来ないようなものを作ってはいけない。廃炉にするには少なくとも40年必要なこと、完全に放射能が無くなるには300年かかるとか、使用済み燃料棒の処理方法も、その設備も完全に準備されているわけではない。このような危険なものをいくら経済的に有利でも人間の安全な生活を考えたら、原発に頼る経済を変更すべきであると思う。福島の事故をどのように受け止めているのだろうか　この莫大な損害・補償費用を考慮すれば、原発は決して経済的ではない。国民の税金で尻拭いせざるを得ず、これらの費用を全部、自然エネルギーの開発に回したら、安全・安心の電力を生み出すことが可能と考えます。以上
18700	個人	無職	60代	男性	原発、ただちに廃炉にすべきです。電力不足の緊急時には、最新の火力発電の設備を利用すべき。	日本は、地震の世界一の地震の多発地帯です。福島の原発が爆発した事実がある以上、これまで作られてきた原発も同様の危険がある。すぐに、原発という危険物は、取り除くべき。
18701	個人	その他	50代	男性	即刻、原発0を目指す。地球の 生物の多様性のために。	現在の科学や人間の力で操作できない（フクシマの事故で証明された）原発をすぐに廃止すべきである。歴史上、木、石炭、石油とエネルギーの中心は変遷してきたが、木が石炭や石油と大きく異なるのは、それを使う個人や複数の人の手によって育てられ、再生し、再び土に帰せるということ。そして、他の生物と恩恵を共有できるということ。石炭や石油を無責任に掘り起こし、利用するサイクルの中には、他の生物が関われることはないに等しい。 地球がさまざまな生命体であふれ、共存できるためには原子力は不必要。
18702	個人	会社員・公務員	40代	男性	日本の原子力発電所の安全性は立地から含めて信用できない。従って、原子力発電所の再稼動は認められない。技術立国日本であるなら、再生可能エネルギーの技術革新を推進して原発ゼロの国を目指すべし。	当初はある程度の原発利用は容認し、その間に再生可能エネルギーの比重を拡大して、最終的に原発ゼロを目指すのがベストと考えていました。しかし、政府事故調の報告書や7月20日のラジオ番組「DIG」を聴いた限りでは、日本の原発は端とご都合主義で作られたことが良く分かった。福島以外でも同様なので、とても再稼動は認められない。特に地盤においては、玄海以外は全て危険と聞く。どんなに安全対策を講じようが、地盤が安心できないのであれば意味がない。そもそも安全対策においても、政府の対応では再稼動先行、対策後追いと言うのだから事故報告書の「先延ばし」体質が全く変わっていない。一体、福島に何を学んだのか？。こんな政府を諸外国はどう見ているのだろうか？明日、大地震が起きて大飯原子力発電所で同じことが起こったら、どんなコメント言うのだろう？これが世界唯一の原爆被爆国のやることだろうか？ 日本国民は我慢強い。日本には世界に誇る技術がある。いまこそ日本の底力を見せつけて、原発ゼロ、再生エネルギー大国の日本を作って欲しい。
18703	個人	無職	70代	男性	「(1)原発ゼロ」を選択します。	理由：核燃料サイクルの成功の見通しがないことから、放射性廃棄物は地下へ埋めるしかありません。原発の敷地内はいずれ満杯になります。その後は原発の外に埋めることになりますが、場所がありません。汚染度が低レベルである震災のがれきでさえ、受け入れる地方自治体は少ないのが現状です。高レベルの使用済み燃料を受け入れる自治体はどこにも無いでしょう。
18704	個人	無職	60代	男性	2030年を待つまでもなく可能な限り早期に原発はゼロにすべき。 政府は原発からの撤退を決断し再生可能エネルギーへの転換に全力を挙げるべき。	1．原子核反応で生じる核廃棄物は現在人類の技術で処理不能で我々世代以降に負の遺産を残すことは許されない。 7/21放送のNHKスペシャルで福島型原発のSR弁制御系とベント制御系に設計的欠陥があることが明確にされた。また、原発事故支援体制がいわゆる「安全神話」に基づき、米国に比べて極めて不十分であることが示された。この事実は政府が「安全性は確認された」として強行した大飯原発再稼働の根拠を覆すものであり、少なくとも番組で指摘された安全装置の改修が行われない限り同等設備を持つ全ての原発の稼働を止める必要がある。 2．日本には原発に代わるエネルギーもそれを利用する技術も十分に存在する。 再生可能エネルギー開発や利用技術の開発は日本の産業を活性化させる。世界的に見て原発代替エネルギーの開発は先端技術であり、世界の技術をリードできる。現存の電気設備の省エネ化は産業的に大市場。政府の決断で産業の活性化が推進される。 原発依存から脱却することで国の経済活性化が図られることはドイツ、スペインの実例を見れば明らかである。
18705	個人	その他	60代	女性	「原発ゼロシナリオ」即刻停止を望みます。	・福島第一原発の事故は放射能によって日本全土また世界の国々の海空気、土壌を汚染しました。この影響が出てくるのは数年後といわれています。放射能の毒性は8日から2億年と核種によって違いますが低線量被爆、内部被爆、外部被爆によってすべてのいのちが危険にさらされています。震災と原発事故で膨大な被害が出ています。本来原発の再稼動は考えられませんこの事故処理を考えると人もお金も時間も膨大に掛かります。エネルギーのコストが安いとは考えられません。 ・使用済み燃料についての処理を未来に生きる人たちがリスクを負いながら事故を起さない用、管理せねばならないことは不条理であり危険だ。再処理については言語道断、直接処理をする。 ・自然エネルギーについて他国に学びその技術力を活かし本格的に政策として取組みを石燃料に頼らない国をめざす。 ・原発事故があって国民の大半が放射能汚染について知り、廃棄物処理について知るという事態は民主的な国のやることではない。国民の声を幅広く聞くこと、議論について広く知らせることを併せて要望します。 ・福島一事故の収束すらしていない現実、被曝をしながらの作業、生活していた地に戻れない現実、など福島の地でこれからのエネルギー政策についてを考えることが必須です。
18706	個人	パート・アルバイト	50代	女性	エネルギー選択肢の中には原発は絶対に入れない方向をとる。	福島の原発事故を経験した今、原発の安全性が叫ばれているが、原発のみならず物事には人間の想像を超えた事故はつきものである。ふつう事故が起きたらその事故を二度と起きないような対処がとられる。しかし、原発の場合、その危険性とまだ人間が原子力に対して実体をつかめきれていないという点で他のこととは異なる対処の困難さがある。 また、原発を稼働して事故もなく安全に推移しても原発から出た廃棄物の処理問題も出てくる。これは福島原発事故以前からの問題でもある。今は福島の実情をみて安全性のみが優先しているが、稼働すればするほどこの問題はついてまわる。 原発賛成の方は、では自宅を原発周辺にお住生活できるか考えてみてほしい。原発でなにかあったらもう取り返しがきかないし、無事に稼働していても廃棄物処理の問題でそれこそ安心して住める所がなくなっていくのではないか？ 企業の方々の電気問題は企業存続にかかわる問題かも知れない。しかし、人間が健康にリサイクル可能な安全な土地に住んで初めて企業も成り立っていくという大きな視点で考えていってほしい。 エネルギー代替案が提案できればいいのだが、庶民の一人として原発は絶対エネルギー供給の選択肢のひとつにいれるべきではないと思う。
18707	個人	会社員・公務員	40代	男性	安心して暮らせる社会を未来へつなぐため、2030年までにすべての原発をなくす「ゼロシナリオ」を求めます。	東京電力福島第1原発で起きた事故は、あらためて原発事故の被害の大きさと悲惨さ、そして収束させる技術を持ち合わせていないことを露呈した。 どれだけ安全対策を施しても事故をゼロにできないことは、飛行機や電車、自動車の事故、自然災害への対策を考えても明らかである。 この原発事故から何を教訓にし、対策を考えるかを問われたとき、原発ゼロの実現に向けた、政財官の一体的な取り組みをすすめることこそが必要ではないか。 日本は「物づくり」の得意な国である。最新式の省電力商品を開発する技術力を持っている。以前行った「エコポイント制度」のように国民に省電力商品への取り替えを促し（補助を行い）、電力使用量を抑える努力を国をあげて行うこと。 あわせて、クリーンエネルギーの開発に企業が取り組に宅なるような補助を行う。日本は地域による特徴がある。太陽光発電、風力発電、水力発電、地熱発電など、地域にあわせた電力開発をすすめ、関連産業もあわせ、あらたな雇用を開発していく。 また、発電と送電を分離し、電話会社を選択できるように、個人契約者も電気を購入する企業を選択できるようにすること。
18708	個人	パート・アルバイト	70代	女性	速やかな原発0を求める。 ハード、ソフト面いくら完璧を期しても、100%安全はあり得ない。必ず想定外、人的ミスは起こる。事故の場合の収束の困難さ、被害の大きさから原発を認めることは出来ない。	速やかな原発0を求めます。 I原発の安全性について (1)ハード面：安全性を高めるといわれています。どこまでの範囲を考えておられますか？想定外をどこまで担保するつもりですか？適当なところでは安全ではありません。とことんやれば経済的に成り立たないでしょう。 (2)ソフト面：いくら綿密なマニュアルを作っても、人がやる以上100%ミスを防ぐことは不可能です。 (3)放射能のコントロールについて：3.11後、放射能の暴れ状況を報道で知りました。人間の知恵はこの程度かと愕然としました。一度事故が起きると収束困難。被害の大きさは計り知れない。地震多発国でどのようにコントロールしていく自信があるのでしょうか。あるとは考えられません。 II原発のメリットについて 以前から原発は危険と考えていました。しかし地球温暖化の観点から容認する気持ちになっていました。今回の事故でやはり原発は危険です。メリットよりデメリットが大きいと再確認しました。 III使用済燃料について この問題についても人間の知恵は足りないようです。ここまでの管理ができて初めて原発の導入を云々する資格があるのではないでしょうか。 IV暮らしについて 地震多発国に住む我々は、自然災害に怯え、さらに人的な原発にも怯えて暮らすことには耐えられません。省エネ生活は我慢できます。 V最後に　政権は将来に負の遺産を残さないとして消費税を上げることに熱心です。原発の負の遺産も将来に残してはいけない。もう経済大国世界何番目の考えから抜け出したいものです。
18709	個人	会社員・公務員	40代	男性	「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張《再生可能エネルギー開発を進めよう！》	「2030年までは原発が維持される」という前提自体が国民を騙していると思います。現代の技術力では放射性物質の100%安全な管理は不可能です。 再び事故が起これば、日本は確実に再起不能に…。 少しでも早く、原発を廃炉すべきです。 政府は、日本の技術力を生かし自然エネルギーを増やす方策を国民にしっかり示すべきです。 日本の技術力を結集させ、海洋エネルギーなどの自然エネルギーの開発に予算を費やしてほしい。
18710	個人	その他	50代	男性	(1)原発依存度はゼロとすべきです。 (2)ゼロとする前提で必要な政策を議論することを主眼とすべきです。15%とか25%という設問事態が、フクシマを経験した現在では国民を愚弄しています。	(1)原発依存度はゼロとすべきです。 (2)ゼロとする前提で必要な政策を議論することを主眼とすべきです。15%とか25%という設問事態が、フクシマを経験した現在では国民を愚弄しています。

18711	個人	無職	70代	男性	原子力40%とすること。3択からねばならないなら25ー30。太陽光等は大切だが地政学的・経済性の両面から期待は直ちに中止し計画を15%以下とすること。貧乏が赤字に転落した現状を注視せねばならない。	（理由）：3択回答では原子力でゼロシナリオを設けていて、上限を設けないか30%以上の回答欄がないのは不公平な設問の取り方である。エネルギー基本計画の中で、発電に占める原子力発電は40%以上として、総合エネルギー計画を作成すること。2030年以降は50%以上を目指す。 発電のための熱源として先進国が利用している原油、天然ガス、石炭は内燃機関、化学原料資源として、後世に残す。発電熱源は再生エネルギーと原子力エネルギーを各国の事情に応じて最大限利用する。日本は起じて再生エネルギーの利用で経済的に不利な地勢であるので、熱源にしか利用できない原子力エネルギーを最大限利用する選択肢が経済性に長けている。 福一事故後事故への損害賠償が巨大な分原子力は経済性がない。放射線は人類への悪影響がある。ゆえに脱原発が筆延している。 これは前首相が起用した参与職の造言と自らは市民運動の原点に戻り咍味な状態で発した数々の指令がこれらの風評状況を作り出した。 これが今回の事故の損害賠償額を青天井まで膨らませた直接の原因である。年間1mSvまで除染する理念を取消、ICRPが発した100mSvの意味の説明を国民にすれば、損害賠償額を支払う範囲が大幅に少なく査定でき、安心と安全への考えが明瞭な国民の放射線への恐怖心を払しょくすることができます。また原子力のコストが高いという根拠がなくなり真実が見えます。 太陽光発電は規模の大きな工場や大型建物の屋根利用、未利用地に設置し、メンテナンスコストを最小化する工夫が必要。修理コストが高い戸建の屋根利用発電は買い取り制度から外す。このような工夫の巻、今回設定した42円で20年間固定買取制度は不合理な高価価格設定であるので、世界の実情と合致した水準まで下げる。営利目的とした太陽光発電企業は利益がでることが見込まれ、太陽光発電の技術開発も見込める。 原発を止め再稼働させない国の施策が年間3兆円の余計な外貨使用につながった。原発はエネルギーの安定供給源になると共に当面の外貨を節約するのに有効な手段である。 中期に見ても同じである。長期にみれば尚更である。 当面高値で推移する再生エネルギーに過大な期待を植え付けた前首相の失政から一日も早く脱却しないと一日遅れるとそれだけ多くの国富を失う。 片や国と地方自治体を合わせて1000兆円の借金を抱えていて、その返済時期を鑑みると日本が第2次大戦直後に経験した悪性インフレ状態に陥るのが目に見えている。その時期も差し迫っている。これは何が何でも避けねばならないし、いったんこれが起これば工場の稼働率低下や食糧調達危機に陥り多くの生命が失われるのも目に見えている。これは国民が安全神話を無限に追い求めている現在の姿はどこか間違っていて、それを政府がきちんと予言しなければならない。にもかかわらず、目の前のよきことを並べ立て真の姿を語らないことに真の問題がある。エネルギーの長期計画で一番大切な視点はこのようなマクロをみて策定する必要がある。 高レベル放射性廃棄物の処分方法と処分地の設定がいまだ終わっていないことに憂慮するのは同じ立場である。 高レベル廃棄物は再度連鎖核反応を起こす物質でないため、廃棄物が持つ高レベル放射線と、金属が持つ毒性を外部へ出さないことに注意を払えばよい。むやみに恐れる必要がない。この意味をしっかり国民が理解するよう、教育で共有した認識を普遍する必要がある。同時に日本国内でーか所まず見つけて、その住民にそれ相応の対価を支払った後は、国際協力の枠内で安定した地層を持つ国に廃棄を委ねるよう国際条約を醸成する活動を今から立ち上げる。安定した地層を持つ国に高レベル放射性廃棄物の処分を依頼する。 低レベル放射性廃棄物の処分は現在の福1事故でも危険と言って処分地に名前が挙がった住民が忌避しているが、一般ごみに相当するレベルが大部分であることから再度一般廃棄できる量と言わゆる低レベル放射性廃棄物に分付、量を減容したのち、数百年隔離できる処分地を選び処分すればよい。下北半島ですでに処分地が確立している。 世界で脱原発を唱えている国は主にドイツとスイスの2国だけである。イタリアはもともと保持しない国である。世界では原発を運転中、ない し計画している国で福島事故以後、今までの既定方針通り、推進している。これは国のエネルギーの「安全保障上の視点からである。 　主に原子力の必要性からと、原子力はなくてはならない観点から述べました。安全性については原子力が危険であるとあまりにも多くの視点から指摘されて、いかにも危険だという視点が独り歩きしているという場をとっています。しかし誰もが指摘している通り、事故が発生すれば大変な危険に陥るのは事実である。このことは事実であり同意しているので避難訓練や原子力発電所の防護体制は着実に改善し安全策にいつも新しい知見を取り入れ、瞬時瞬時に改良し続ける体制で挑み続けるのは当然とみている者です。
18712	個人	パート・アルバイト	40代	女性	地殻変動をし続ける地球上に原発はあってはならないと思います。	震災後、地震学者が「日本は大変な地震の活動期に入ってしまいました」と言っていました。地殻変動を繰り返す地球上に原発を作るという行為は、最初から間違っていたと思います。人類至上取り返しのつかない最も大きな過ちになる前に原発を0にするべきです。広島、長崎、福島を経験した日本だからこそ原発0を訴えて行くべきだと思います。
18713	個人	会社員・公務員	30代	男性	「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張 《経済復興には国民の「未来への希望」というエネルギーが必要だ》	政府は経済再生と経済復興というけれど、毎年、再生可能エネルギー比率が増えていくことが国民の活力を生み出す。放射能の危険から開放されれば、日本は飛躍的に成長する。求められるのは国民のほうではなく、官僚の頭の中のパラダイムの転換だ。
18714	個人	自営業	30代	男性	「エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見です。 私は「ゼロシナリオ」を主張し、 2030年までではなく、今すぐの原子力発電所の全停止を主張します。	今、原子力発電に対して多くの人々が不安を抱え、どうすればいいのか悩み苦しんでいる人々がいます。 デモの人数、署名の数をみればそれは明らかです。 原子力に代わるエネルギー、 それを見出すのはとても大変だと思います。 ただ、戦後の日本を支えてきた様々な技術革新。 日本人の勤勉で真面目な姿勢。 その力をまた皆で発揮するときが来たと思います。 皆が幸せに、不安なくおだやかに暮らすための努力。 そのためには、たとえ無謀であっても、理想論であっても、 大きな目標が必要です。 まだ私たちの知らないところでも、 より良い未来のために、準備している人がいるはずです。 3・11以降、私たちは悩みながらも行動し、話し合いました。 準備はできています。 今こそ情報を公開して、皆でより良い未来を考え、変わるときです。 長々と失礼致しました。 ただの一国民の意見を聞いてくださったことに感謝します。 神奈川県在住 （削除）
18715	個人	自営業	40代	男性	予防原則に従えば、原発の利用などあり得ない。電力を使用している国民が利益者としても、償えないリスクを冒してまで行う事業ではない。	まず、この論議は自国の利害のみで世界的影響や採鉱、製錬から廃棄物処理までの一貫した問題への対応が必要であるし、これを無視すれば日本国のよる地域エゴとなります。また原子力の扱いは今の技術では及ばない代物で、研究、技術開発は進めることには反対しませんが、現時点で主要な電力資源として活用してはならないと考えます。 また、未だ広島、長崎の被爆者認定も進まない現状で、またも福島の想定された地震に対応を怠った人災を起こし、被害者が出る頃には「因果関係が分からない。」と言って見捨てるのは明らかです。現に福島の事故を含め何ら解決していない状況で、電力関係者、報道や学者は論拠も無しに安全と言い続け、各地の原発の再稼動を認めたことは、被害者感情を無視したものと感じざるを得ません。 福島の事故は地震を想定しながらも構造の欠陥から電力を失ったことによるものであり、責任の所在が東電にあるのは明らかであるにも関わらず、多大な退職金など誰も責任を取らなかった。また、それを認め続けた政府、行政も責任をとったものはなく、このことは制度上の欠陥を意味し、抑制の効かない組織系統はまた間違いを犯すことは明らです。 自然エネルギーについては国家の方針として推し進めるべきで、電力会社への強制買取は評価できます。さらに電力自由化を進めコストの安い電力供給を図り、その中から新しい技術や自然エネルギーへの転換を目指すべき。送電施設は既存の電力会社とは分け、自由な電力事業への参入を妨げたならないことが肝要です。
18716	個人	自営業	40代	男性	「エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張をさせていただきます。	マスコミを含む有識者たちが首都圏に住む国民たちが望ふ、福島や大阪など日本国中にある54基もの原発を作らせたいと言われています。私はこの意見を受け入れられませんが、十歩譲って受け入れるのならば今の私たち国民は原子力発電を必要としていません。なぜなら震災後毎週末首相官邸前に何十万人もの人たちが集まっている事がその証明です。 人が作り出した機械は必ず壊れます！福島原発の事故を知り、多くの国民が今も恐怖の中で生活をしております。私たちが原発を始めさせたのなら、私たちの手で原発を終わらせる事が出来ると信じています。 震災後、経済発展やお金以上に大切なモノがあると気づいた今、子供たち次世代に原発の無い社会を引き継がせたいと切に願います。 その為ならば「計画停電・電気料金値上げ」も甘んじて受け入れる覚悟があります。
18717	個人	家事専業	50代	女性	2030年には原発は0にすべきです。再び狭い国土で福島の様な事故が起きたらと思うと、ぞっとします。4号機のプールの具合によっては東京から逃げなければと、心が休まりません。	(1)人間が完璧で無い以上、世界で1番安全で、完璧な原発を作る事など絶対に不可能 (2)未だに事故は終息どころか原子炉の中が不明で、見ることもできない程の高濃度が続いている。 (3)放射能は人間が制御できるものではない。手に負える代物ではない (4)1番大切な子供が1番先に犠牲になる。 (5)完全な除染など不可能。何故なら山を除染出来ない以上再び汚染される。 (6)日本は世界1の地震国だから (7)国土が狭いのに、再びシビアアクシデントが起きれば日本は終わりだ。 (8)使用済み核燃料の最終処理が決まらず、核のゴミは溢れ、将来の子孫に10万年の付けを残す。 以上の理由で人間の英知を尽くして、原発から絶対に撤退するべきと考えます。
18718	個人	自営業	50代	男性	即時廃止	しよき玄が過ぎても その処理に困るような物は （東北震災の折の対処・処理現状） 今の日本に暮らしている人たちはもちろん 未来の日本のためにも 脱原発できうのであれば そうした選択が いいと思います
18719	個人	無職	60代	女性	未来の子ども達、地球に住む未来の人達に、原発ゼロをめざして今動き出そう	確実に一人ひとりの声が、意思が届くのシステムに賛同します。
18720	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオによる、原発の廃止と再生可能エネルギーの拡充を期待します。	原発は一旦稼働すれば、特別な事故がない限り、電力の安定供給が可能な電源だと思います。しかし、一旦発生した際の自然環境や住環境への影響は甚大であり、安価・安定供給だからといって、受容することが出来ないリスクであることは既に国民的合意が形成されていると思われます。また、今回の事故調査で明らかになったように、一民間業者によるいわば人災に対し、国が補償や資本注入を行うことは、結局は国民の税金を使用していることになり、納税者として納得がゆきません。したがって、2030年のあるべき電源構成を考えた際、原発全廃以外のシナリオはあり得ないと思います。 再生可能エネルギーが事業的に収支が見合うようになるには20年はかかると思いますので、2030年時点では原発は全廃して然るべきと考えます。また、再生可能エネルギー比率を急激に上げることで、技術革新が起こり、シナリオ以上に安価で安定的な電力供給が可能になると思います。 最後に省電力について、国民はもっと真剣に考えるべきです。諸外国に比べ、日本の夜は明るい過ぎ、不必要に電力を消費していることが顕著です。なんでもかんでも電気を使った省力化を図ることもまた控えるべきでしょう。電気機器の省電力化を行うのはもちろん大切ですが、そもそも電気を使わないことを政府として啓発していき、電力使用量の1割削減を実現したいと思います。
18721	個人	自営業	40代	男性	ゼロシナリオに賛同します。	まず、廃棄物の最終処分地が決まらないまま、原子力発電に踏み切ったこと自体に問題があると思います。 もうすでに満杯に近づいている六ヶ所村の中間貯蔵施設のことを考えても、原発は減らしてゆくべきだと思います。 放射能汚染の危険性、万が一事故が起こってしまったときの被災地の苦しさ・辛さを考えると、原発ゼロを目指すべきです。 何よりも大切にすべきは、国民の生命、国民の暮らし、国民の幸せ。 そこに立ち返れば、自ずとゼロシナリオを選択することになると思います。 、 政府からキチンとした情報提供も求めます。 クリーンさをアピールしている原子力発電ですが、ウランの採掘から使用できる燃料の形にするまでの精錬作業では、多くのCO2を排出していると聞きます。 精錬作業では、多くの作業員が被ばくしているという話もききます。 これらは外国で行われている作業に伴うものですが、これがなければ日本の原発も動かすことは出来ない。 そういうこともキチンと情報開示した上で、国民に議論を呼びかけるべきです。
18722	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発の新設は計画中・建設中を問わず認めない。 既存の原発は次の条件を以て稼働させる (1)各原子炉ごとの廃炉時期の明確化 (2)海外識者を含めた第三者監視機関の創設 (3)廃炉技術などの早急な確立	そもそも、原子力が危険極まりなく制御し難い代物である事は開発当初から周知の事で有ったはずである。 　しかるに、政府及び電力会社は「絶対安全神話」のみを構築し「隠蔽と捏造」「慢心と油断」を繰り返してきただけであり、この事への執刀がなされなかった点を最大の問題点とすべきである。 現在、廃炉技術はおろか修復技術すら研究されてこなかった点を大いに反省すべきである。 　人類は「火」を手に入れる事で大いに進化して来た。「火」は当初危険極まりない存在であったに違いないが、幾多の経験を踏まえ制御する事を学んだ。原子力にも同じ事が言えよう。しかし、一旦暴走すると制御不可能である事実が証明されてしまった。今般の事故から学んだはずである。故って最終的には「脱原発」を目指す事は当然の帰結と言える。 　しかしながら、現在の生活レベルを変更する覚悟も無く、又廃炉技術も無く地球温暖化防止への確たる施策も無い現状では、既存原発に一時的に依存せざるを得ない。地球温暖化が原因と思し き各種現象で、全人類が如何程の人的・物的被害を被っているのかを検証せずして、既存の原子力発電所を放棄する事は甚だ無責任の誹りを免れないだろう。 　そこで先ず、既存の原子力監視機関の無力・無能さは露呈済で有るので、海外識者・原発反対論者も含めた強権を持った第三者機関を創設し、そこに廃炉を命令できる権限を持たせる事で現状の「絶対安全神話」を打破する。 　原子力発電所の新設は計画中・建設中を含めて一切放棄する。既存の原子力発電所は各々の廃炉時期を明確にする事と最大限の安全設備の追設を条件で稼働を暫定的に認める。 　これを以て漸近的に依存度を低下させ、その間に代替エネルギーの開発・実用化を目指す。全炉廃炉までにそれら技術が実用化されなければ、自ずと全国民が生活レベルを変更せざるを得ない。 　又、福島原発を実地研究材料として一電力会社の責任論を棚上げにしてでも、予算に糸目を付けず廃炉技術・修復技術・放射能遮蔽技術・汚染物質の処理保管技術の確立を目指すべきである。 　「甚だ危険・制御不能」を以て何の準備も無く「ゼロオプション」に飛び付く事は、我が意とはしない。それは原子力に手を付ける時に熟慮すべき事象であり、この期に及んでは次善の策を取らざるを得ない。だが、この機を転換点として「第二の絶対安全神話」の再構築だけは阻止するべきであり、第三者監視体制の構築を差し当たり急ぐべきであると考える。
18723	個人	会社員・公務員	50代	女性	ゼロシナリオしかありません。	日本は、地震、津波、台風など自然災害の多い国です。福島第一原発事故は原発の安全神話を崩壊させ、自然の驚異を証明しました。島根原発周辺にも活断層が存在し、いついかなる時に大地震が発生し重大事故につながるかわからず、住民は常に不安を抱えています。絶対的な安全を実現するには原発をなくすしかありません。「ゼロシナリオ」を早期に実現するよう求めます。

18724	個人	パート・アルバイト	60代	男性	「脱原発」に国の方針を転換するため、0%を目標にすべきである	福島原発の事故の真相が分かるにつれて、東電はもとより政府の発表が如何に信用ならないかを思い知らされています。戦前の「大本営発表」も多分このようなものだったのではないかと思う程です。 「脱原発」に大きく梶を切る諸外国が増えている中で、どうして事故の当事国が、その方向に進めないのでしょうか。全く理解できません。 諸外国の笑いものになります。現に心ある外国の方は「日本って何てバカな国だろう。」「原発事故・放射能汚染という未曾有の犠牲を払わされている今こそ、これまで反対してきた人を説得し脱原発に転換できるチャンスなのに・・・」と思っていると思います。 「電力供給が逼迫する」「日本経済が減速する」から始まって、政府が言う「国民の生活を守る？！」ためという理由は理由になっていません。なぜなら「国民の生命が守られてこそ」の「電力供給」であり「日本経済」であり、「国民生活」があることは、明白です。 とりわけ政府の言っている「国民生活を守るため」は、正に論理矛盾も甚だしい。論理そのものが原発と同様破綻しています。「国民の生命を第一に考える」ことが「国民生活を守る前提」でなければなりません。 こうした国民の生命を第一に考えない政策を進める政府はいりません。また、同様の考えの政治勢力もいりません。今度の選挙では、そのことがはっきり示されると思います。 書きたいことは、いくらでもありますが、一番言いたいことを、もう一度訴えて私の意見とします。 放射能汚染に生命をおびやかされ、生活を破壊されて苦しむ福島などの方々に思いを馳せてみてください！（　日本は原爆の被爆当事国です！！　原爆も原発も「被爆」は同じです！） 「国民の生命を守るためには、『脱原発』＝0%の選択肢以外にあり得ません。」 以上です
18725	個人	学生	20代	女性	選択肢(1) 将来的には原発をゼロにすべき。 再生可能エネルギーで国際標準を取りにいく戦略と火力での代替による廃炉計画を進めるべき。 電力エネルギーシステムの改革と政策、そしてその説明が必要。	「エネルギー・環境に関する選択肢」に対する意見 選択肢(1) 原発は将来的にはゼロにすべき。 福島事故から学んだように、日本での原子力発電はリスクが大きすぎる。 電力エネルギーシステムの改革と政策、そしてその説明が必要。 日本は、再生可能エネルギーの国際標準を取りにいく戦略を進めるべき。欧州委員会は再生可能エネルギーの促進に向けた長期的な指針を発表し、2014年10月までには新たな方針設定で合意したいとしている。日本が再生可能エネルギーでリーダーシップをとるには、拘束力のある目標を設定し、成長投資が必要である。電気料金値上げなどと関連するので、政府の説明が不可欠である。 しかし、再生可能エネルギーと省エネ・節電だけでは代替できない。再生可能エネルギーの拡充には時間とコストもかかるので、「今すぐ原発ゼロ」には反対。計画的に廃炉にしていき、火力の技術を最大限に発展させて補うしかない。原子力発電所の既存の送電線と変電設備は使ってLNGと火力に置き換えていく、といった原発を立地した地元の「出口戦略」を行うべき。そして、2030年までに、原発をゼロにする。 再生可能エネルギーの導入でイノベーションを生み、電力エネルギーの分散型のシステムを構築すべきだ。
18726	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発の一番の安全は、再稼動せず、原発ゼロにすることです。	今回示された「選択肢」は3つあり、それぞれ、2030年の発電電力量における原子力発電の割合を軸に選択にするというものになっています。 1．0%にする（ゼロシナリオ） 2．15%にする（15シナリオ） 3．20～25%にする（20～25シナリオ） ゼロシナリオでは、2020年の温室効果ガス排出削減数値目標は0%とされ、原発ゼロを選べば、地球温暖化対策の放棄を選ぶことになるようになっています。しかし地震多発国の日本で、ゼロシナリオが社に国民の命と健康を守り、経済を発展させ、雇用を増やすシナリオはありません。 以下に私たちの意見に関わる論点を6点にわたり示します。 論点1．今後のエネルギー政策の基本に国民のいのちと健康を守ることを明確に掲げるべきではないか。すなわち視点の第一に憲法にもとづき、国民の健康権（注1）を守ることを明示することを求める。 （注1）健康権は、日本も批准している国際人権規約、WHOの健康戦略、社会疫学の発展の中で明らかにされてきた基本的人権である。いのちの尊厳、到達可能な最高水準の環境、安全な食糧の確保、安全で家族が安心して生活できる居住、労働、教育、プライバシーの保護などを無差別平等・公正に享受する権利である。福島第一原発事故は、被災住民を始め多くの国民の健康権を根こそぎ奪ってしまった。 論点2．原発を再稼動せず0%にする（注2）ことを求める。原発は、クリーンエネルギーではなく、CO2を大量に発生させる（注3）。日本では、1970年以後原発の増設による発電量の増加とともにCO2の排出量は大幅に増えてきた。原発は他の発電と違い、常にフル稼働が求められ夜間に発電をとめることが出来ないため、夜間電力の活用の名の下に「24時間社会」や、「オール電化」などエネルギー多消費構造が推進されてきた。原発が多消費構造社会の軸になっているのである。15と20～25シナリオは今後いずれも新たな原発の建設に向かう計画であり、CO2の排出量を増加させる計画である。 （注2）2010年現在の原子力発電は26%として提示されている。2011年の福島原発事故後、福島第1・第2原発、女川原発、日本一危険とされる浜岡原発などが当分の間動かないこと、発電開始後40年以上たった原子炉は廃止するという前提で考えると、15%シナリオでも新たな原発の建設に向かうシナリオであると考えられる。従って、我々の選択肢は0%シナリオしかない。 （注3）ウランの核分裂自体はCO2を出さない。（1）しかしウラン鉱山からウラン鉱を掘り、精錬して天然ウランとし、3～4%の低濃縮ウランに濃縮する過程で大量の化石燃料を必要とする。また、使用済み核燃料を冷やし、キャスクにつめて処理場まで運ぶ過程でも多量のCO2を出す。（2）さらに出力100万KWの原発は、300万KWの熱出力を生み、電気として利用できるのは100万KWで残りの200万KWは海に捨てている。毎秒70トンの海水を引き込んで、その温度を7℃上げている。海水の温度を上げるときに海水に溶けている炭酸ガスを多量に排出する。 論点3．脱原発と地球温暖化対策は両立することを前提とした選択肢を立案せよ。脱原発と地球温暖化対策は両立できる。今後CO2：25%削減を視野に、（1）エネルギー多消費社会構造を改め、（2）発電ロス、産業、運輸、業務、家庭の全ての分野毎に省エネ目標を明示すること。（3）また、省エネ技術の開発（省エネ家電や低燃費車など）の促進など省エネルギー政策の強化をおこなうべきである。 論点4．脱原発、かつ100%再生可能エネルギーをめざす選択肢を設け、その道筋を示すべきではないか。太陽光、風力、バイオマス、地熱、中小水力など再生可能エネルギーへの転換についてIEA（国際エネルギー機関）加盟国の最近20年間の変化をみると再生可能エネルギー比率が後退し、かつその比率が3%と最も低いのが日本である。100%再生エネルギーにむけた大胆な政策転換が不可欠である。
18727	個人	自営業	40代	男性	原発は一つ（ゼロ）もいりません！	放射能はコントロール出来ない！原発以外の発電ならOK！
18728	個人	その他	40代	男性	原発依存 度．ゼロシナリオを強く希望します．	放射性廃棄物はたまっていくばかり．将来にわたって．地球が守られ．人が安全に暮らせる環境を1番に考えてもらいたい． 原子力発電に代わる．自然エネルギー開発を早急に行うべき． 東京電力をまずは国有化し．送電線などを新規参入の電力会社も利用できるようにし．自然エネルギーを利用した新規電力会社の参入を促して欲しい．
18729	個人	自営業	50代	女性	「原発ゼロシナリオ」を選択します。 代替エネルギー・蓄電技術など意義のある研究開発を支援して下さい。 節電は理想の国づくりの一環考え取り組んでください。	国民の安全を一番に考えてください 福島原発の事から有事のときには取り扱い不能な事を知った。 地震　津波　隣右などの自然災害、また万が一原発に対するミサイル攻撃があったらなど考えると　国民が危険に曝されているし、その現在ばかりでなく被害は子孫に及びます。 自然エネルギー・蓄電技術・てこのように少ないエネルギーで大きい仕事量を生む技術などの研究を支援して下さい。 電飾や過度な音量で流される音楽　電動のゲームの遊技場　24時間営業の店舗　遊びも仕事も24時間出来る中で心は満たされず　うつ病や神経症などの疾患が増えている。 便利さの中で精神は脆弱になってきている。 電気によって助けられている事と電気によって害されている事 理想的な国は　国民の幸福は 節電というよりは『本当に必要な電気を使おう』といった視点を持って欲しいと思います。 平和・安全・安心で誇りの持てる国づくり目指して下さい・
18730	個人	法人等	50代	男性	原発は全て停止して廃炉に向けて作業を進める。当面効率の良い火力発電で代替し、再生可能エネルギーの開発を主軸としたエネルギー政策を進める。原子力は研究目的に限って存続させる。	1・原発への依存度が高い現状からの早期の脱却を求める 2・電力会社の地域独占をやめさせ、自由化と地産地消型の電力供給を求める。 エネルギーは食糧・水・空気と並んで人間が暮らしてゆくのに必須のもの。エネルギーの中でも電気無くしては1日たりとも過ごせないのが現代人の生活。電力は極めて高い公共性を持っており、国策とはいえ一企業が独占支配している現状は極めて不合理である。 食糧輸入大国の我が日本であるが地産地消のとりくみは全国で行われている。電力は貯めることが難しい、言わば生鮮食料品のようなもの、遠くへ運ぼうとすると効率下がりコストも多くなる。であるならば地産地消にこれほどふさわしいものはない。生活の場にある水力、地熱、太陽すべてが利用できる。過疎による地域の衰退は悪循環を繰り返し奈落に落ち込もうとしている。地域の活性化への決定打は電力の地産地消しかないだろう。また、高い技術力を誇る日本は他国に先駆けて再生エネルギー大国となって世界をリードしてゆく存在なのだ。 2011年の東日本大震災は1000年に1度と言われている。今後1000年起こらないのかも知れない。自然災害による原発事故も起こらないのかも知れない。それでも原発は発電に向いていない。地下資源が少量で今後の展望が見いだせず、高コストであることは今回証明された。過酷事故が起こった場合放射能を無力化する技術を持たない人類は極めて無力な存在だ、ただただ数万年の時が過ぎるのを待つ他ない。 原発の本質はプルトニューム製造工場であり、非核3原則を国是とする我が国では原爆の材料にしかならないプルトニュームはあってはならないもの。もし原爆を持つことにするいうなら話は別。ただその場合、核武装を国民が望むことが前提で、とてもそんなことが受け入れられる素地があるとは思えない。
18731	個人	会社員・公務員	50代	男性	20－25シナリオを支持。 ・エネルギー安全保障確保のため、原子力を含めて、多くの選択肢を持つことが不可欠	・脱原発は、日本国内での安定的エネルギー供給を危うくするだけでなく、国家としての産業競争力の衰失、原子力関連技術者の枯渇、ひいては20世紀に開花した原子核物理学や素粒子物理学の研究継続に多大な影響を及ぼし、国家的大損失の引き金となる。 ・エネルギー・環境会議が提示した3つのシナリオとも「発電電力量は約1兆kWh」と仮定されている。「発電電力量は約1兆kWh」が前提であれば、20－25シナリオが当面、狙うべきターゲットである。 ・他の2つのシナリオは、わが国の経済成長が止まり国内総エネルギー需要が減少する過程（2030年以降）で、（火力と再エネの発電量絶対値を維持しながら）原子力への依存度を下げていく際のプロポーションと考えるべきである。 ・例えば、15シナリオでの「発電電力量は約9000億kWh」に、セロシナリオでの「発電電力量は約7500億kWh」になると試算される。
18732	個人	パート・アルバイト	60代	男性	日本政府は、従来の原発依存のエネルギー政策を見直し、脱原発を明確にした長期のエネルギー政策を策定し、その実現のための方策を直ちに実施すべきである。	私の手元に、1988年6月1日付けの毎日新聞に掲載された、電気事業連合会の意見広告「私たちはこう考えて、原子力発電を進めています」と云う記事があります。内容は、資源乏しいエネルギー消費国日本には原子力発電が必要で、石油の消費を抑制できるし、核燃料サイクルの確立により使用済みのウランを再処理し自前の資源として利用できる。危険な放射性物質は封じ込めることにより外部に洩れることはなく安全である。すでに1988年には35期の原発が稼動しています。多分、1988年と言えばバブル崩壊の前でり、エネルギー需要も右肩上がりで、2年前のチェルノブイリのような事故は日本では起こりえないと思い込んで、こんな安易な考えでその後の原発政策（エネルギー政策）は今日まですすめられてきたと思います。 今、福島の事故に直面して、この24年前の考えがいかにおかしいか、間違っているかは明白だと考えます。 高速増殖炉はいまだに完成の目途もたたず、核燃料サイクルの確立など諦め方針転換すべきです。再処理をしなければ核燃料も輸入に頼らざるを得ず、決して石油など他のエネルギー源と変わりません。確かに日本は資源に乏しいといわれ続けていますが、果たしてそうでしょうか。自然エネルギーの見直しなど行えば、かなりのエネルギーが生み出せる可能性があると思います。それと、この新聞記事が書かれた以降の日本は、ものも含めエネルギーの使い捨てを奨励するような社会に流れた気がします。省エネ製品開発は進んでいますが、ライフスタイルからみなおす、今ある便利さをもう一度見直すことも必要で、要は、使うエネルギーの絶対値を減らすことをもっと積極的にすべきである。多分それはこれからの日本の発展とは何かにかかってくると思います。今までのような経済発展でなく、本当の豊かさが実感できる発展をめざすのです。 自然エネルギーの開発と、社会構造を見直して省エネ社会の構築を今こそめざすべきです。 もう1点、1988年の記事には触れられていませんが、原発からでる核のゴミの問題です。これまで排出された量と今ある50機ほどの原発内の核物質、いずれは廃棄になる原発自体、これらの核廃棄物を、安全に何十年、何百年保管しなければなりませんが、この問題については政府は長期の解決もっていないと思います。私は、廃棄物の問題をどうするか結論を示せないなかで、これ以上原発を稼動させるのは全く矛盾したことだと思います。核廃棄物の問題は、解決を先送してばかりで一向に目途が立っていません。これは、原発がある限り避けて通れない問題です。エネルギー源として原発を作用してしまった最大のつけであり、次世代以降に負担を強いるものです。 政府は、目先のことにとらわれず、すべての原発を停止し、廃炉・核廃棄物の処理などを安全に行える技術を早急に開発し実施すべきです。 まず、脱原発で日本社会を再構築することを国民に宣言して下さい。
18733	個人	会社員・公務員	40代	男性	放射能は、いったん外に出ると私たちの生活環境を奪ってしまいます。故郷を失った　福島県民のこと、再び他で事故が起こることを考えると、原発は減らす方向が望ましい。	マスコミの論調は原発反対一色だが、メガソーラーなどは代替になりえないと思うので現実的にゼロは無理であろう。リスクがあることは否めないが、原発反対と騒いでいる人たちは原発と核兵器を混同しているように思える。さらに原発立地場所から遠く離れたところに住んで今まで原発の恩恵を受けてきたものが反対とはどういうことかと思う。 とはいえ事故があれば恐ろしいことになるのは間違いないのでリスクは減らして欲しい。国内からなくせと言っている人たちは、新幹線で事故を起こしたように中国とかが無茶苦茶して事故を起こしたら一緒と思わないのだろうかと不思議でしょうがない。
18734	個人	無職	60代	男性	原子力発電を即刻やめ、再生可能エネルギーに転換してください。 大飯原発を直ぐ停止してください。	福島原発の事故で、日本中が汚染され、福島県は壊滅的被害を受けました。現在も収束の見通しは全く有りません。放射能は、国民の命を損ない、何よりも危険な物質です。原子力発電は最悪最高の危険きわまり無いものです。地震国日本では、作れないし、作るところもありません。廃棄物も処理できません。日本の将来を破滅に追い込む原子力発電をする道理は全くありません。事故調査委員会報告の通り、安全対策、原因究明、災害保障が先です。再稼動は許されません。
18735	個人	自営業	30代	男性	僕自身の仕事が撮影の照明と言う事もありまして、電気がなくては成り立たない仕事なので、複雑な部分もあり　最終的に　原発がなくなれば と思っています。	何より　国やマスコミ（テレ朝以外）の報道にいつも　失望されている日々です。真実を報告、報道してもらい　それにより国民の意見を聞き最終的に　原発がなくなってくれればと思っています。
18736	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発再稼働を認めず、将来にわたってもゼロシナリオであるべきです。	原発事故のリスクを抱えながら暮らすことの不安、原発事故が終息していないなか、将来にわたって健康不安を抱えながら暮らすことのストレス。また、子どもの未来のためにも、原発事故を2度とおこさないためにも、今ゼロシナリオを選択すべきとさであるから。
18737	個人	自営業	30代	女性	原発反対！原発をゼロにしてください！	私たちは少しの不便があってもかまいません。 経済的利益と安全性、命の問題は別々に考えるべきです。 原発によってパーセントでも事故の可能性があるなら、 初めは少し不便なことがあったとしても、自然エネルギーにシフトしていくべきです。お願いします！もう国民はだまされません。利権がらみはもううんざり！ 本当の意味での民主主義の政治をお願いします！ 原発ゼロにしてください！
18738	個人	その他	40代	男性	原子力エネルギー政策はただちにすべて廃炉の方向へ転換し、再生可能エネルギーの導入に全力を注ぐべきです。それを柱にして、コンバインドサイクル発電の早急な推進が横渡しになる技術だと考えます。	原発で経済や国防や未来を語る思想そのものが、その有効性において、これから急速に死滅していく思想です。それに気付いて大きく転換し実践していっている国は、実際に経済が安定しています。 国防に関して原発はその根拠に成り得ません。この災害列島において家ろ自国民がその脅威に毎日晒されています。 経団連に代表されるような大企業や外資系の外圧が日本経済を牽引し刺激してきた時代はもはや終わりを告げています。またそれらを根幹に据えて未来のエネルギー政策の道を今、このタイミングでつけてしまった場合、当然の結果としてさらなる負のスパイラルを呼び込むことになります。ほんの一握りの利権者をのみ豊かにして国は滅びゆく運命となります。 これから地域分散型社会の時代が到来します。その兆しは既に訪れていて、一時的なものではなくそのかたちこそがこれからの未来を切り拓いていきます。 その中心に据えなければならないのは環境思想です。枯渇していく資源を消費しその利権にお伺いをたてたり偏して搾取しながら自由を謳歌する思想はその宿命的役割を終え、地域社会がその環境適応に即した多様性を開花する、創造を主体とした思想が席巻していきます、根を中心に据えた思想です。これは理想論ではなく、現実論です。 国を治め、豊かにするのがその職務である筈の公的機関がその足を引っ張ることになった場合、そこには衝突が生まれ国全体が衰退していきます。 過去の業績や固定観念や一部の利権と心中することなく、その職務と現実を全うされることをなにとぞお願い致します。祈る想いで書きました。
18739	個人	その他	60代	女性	●●シナリオを選びます ●●シナリオを選びます。原発を稼働することは、我が国のみならず、地球をも破壊してしまいます。若い人含めて国民がこれほど真剣に怒っていることがあったでしょうか。	●●シナリオを選びます ●●シナリオを選びます。原発を稼働することは、我が国のみならず、地球をも破壊してしまいます。国民がこれほど真剣に怒っていることがあったでしょうか。

18740	個人	無職	30代	女性	原発0%を選択する。 日本の国土全体を居住不可能にする可能性のある原発の使用を即時停止し、自然エネルギーへの転換を国家全体で選択し、自然エネルギー先進国として発展していくべきである。	「原発0%」を選択する。 日本が原発を稼動させるということは、「日本の国土全体が居住不可能になる可能性がある」ということである。そうなった場合、国民が他の安全な国々へ移住することは可能だろうが、国土をなくした日本はもはや国家として存続することは不可能だろう。 また、地球上で原子力を使用するということは、地球上全体が居住不可能になる可能性があるということだと思われる。以前、「エコ＝地球大好き」という標語があったが、地球は「好き嫌い」の範疇にあるものではない。「地球より水星が好きだから水星に住もう」とか「地球がだめになったから火星に住もう」とかいう選択肢は現在の人類にはない。地球がなければ地球人類もない。 同様に、日本の国土なくして、日本の国家も国民もない。日本の国土を壊滅させる可能性のある原発はすぐに使用をやめ、自然エネルギーへの転換を官民あげて取り組むべきである。日本の技術力をもってすれば、日本は自然エネルギー先進国として発展していくことが可能なはずである。
18741	個人	家事専業	60代	女性	原発シナリオゼロを支持します 私たちは、過去誤った道を選択し内心の不安を「見て見ぬふり」をして暮らしてきました。事故が起きた今、エネルギー問題を真摯に再検討し脱原発の具体的なシナリオを描くべきです	原発シナリオゼロを支持します。 私たちは、過去誤った道を選択し、内心の不安を「見て見ぬふり」をして暮らしてきました。事故が起きた今、エネルギー問題を真摯に再検討し、脱原発の具体的なシナリオを描くとともに、廃炉に向けた具体的な計画の策定、放射性廃棄物の処理法の研究や、技術者の育成を行うべきです。 産業界は「廃炉ビジネス」にシフトすることにより、従来と同様の雇用や人材の育成が継続できるのではありませんか。 放射性廃棄物の処理は現在はとても困難なことですが、これを避けて通ることはできません。研究にも十分な投資をすべきです。 このままでは、第二、第三の事故が起き、日本列島は無人島。日本はかつて美しかったが今はもうない国として、伝説の中に消えていく・・と、危惧しています。
18742	個人	会社員・公務員	30代	男性	原子力0%、再生可能エネルギー50%、火力50% 最終処分場の早急な決定、老朽化した原発の廃炉。 発送電分離法案を成立させること。 コンビニエンスストアは22時に終了し夜間余剰電力で揚水発電を。	原子力発電0%の理由は、原発放射性廃棄物の最終処分場が決まっていないのに稼働するのはおかしいと思うからです。特に福島第一原発4号機では使用済み核燃料が野ざらしになっており、早急に最終処分場を決定して地中深く埋める必要があります。最終処分場は原発電力をうけていない沖縄を除く各自治体と各電力会社で早急に決めてください。築40年以上経過した老朽化した原発は廃炉にすべきです。今後の地震で放射能漏れの危険性があります。また原発から出る多量の温水は海水を暖めるので地球温暖化の原因になっています。地球自分は、再生可能エネルギー全50%に出来ると思います。火力発電は、CO2を沢山だすので地球温暖化の原因になっていますので50%までにとどめることが望まれます。また、液化天然ガスは中東よりもアメリカから買った方が安く、火力発電に際し国民負担の軽減になると思います。メタンハイドレートはパンドラの箱です。手を出さないことが望まれます。再生可能エネルギー全50%にする理由は、揚水発電、風力（風車やプロペラ）、水力、太陽光、地熱などさまざまな発電システムや蓄電池による蓄電システムのさらなる広がりが期待できるからです。発送電分離法案を早急に可決してください。原発電力の需要減や企業間競争による電気料金値下げが期待できます。少子高齢化で人口減少が確実であり、今後の電力需要は減ります。節電努力も必要です。コンビニエンスストアが24時間あいている必要がなく22時には終了するような法案を是非お願いします。夜間の余った電力を揚水発電にまわすことができます。以上の努力により子孫に核のゴミを残さないよう法願いします。
18743	個人	自営業	30代	男性	福島の様な悲惨な事故が今後起きる可能性がゼロではないので、私は2030年までに「原発0%」を選択します。	福島の様な悲惨な事故が今後起きる可能性がゼロではないので、私は2030年までに「原発0%」を選択します。 心情的には原発は即時停止して欲しいぐらいですが、発電を自由化し再生可能エネルギーが十分に競争力も5年程度は原発稼働は仕方がないのかもしれません。 あと、ベース電源を担える地熱発電を最重要施策として積極的に導入していくべきだと思います。日本はアメリカ、インドネシアに次いで世界第3位の地熱源を保有する地熱大国であるにもかかわらず、ほとんど活用されてきていません。ベース電源が地熱発電で確保されれば、より早い段階で原発0%を実現できると思います。
18744	個人	自営業	70代	男性	原発は　直ちに廃止すべき	この自然界に　不測の事態というものが存在しうるものだ。又、不測の事態に対処する人間の能力、対処法の誤りも完全に回避することは不可能である。従って　人間が制御できない可能性がある核の存在を認めると言うことは、人間の生命の維持、持続を否定することにつながる。よって原発は直ちに廃止すべきである。
18745	個人	会社員・公務員	40代	男性	「ゼロシナリオ」選択	原発を続けることは、将来の子どもたちにどうすることもできない危険な放射能を残します。使用済み核燃料の処理技術も処分場所も不確定な中で原発を動かしていくことはできません。
18746	個人	会社員・公務員	30代	男性	二本中の原発を今すぐ全て停止してください。	広域に及ぶ人のいない町を作る兵器と少しの不便は天秤にかけられない。原発も核兵器もいらない。
18747	個人	その他	40代	女性	ゼロシナリオの選択を強く推進します。 電力料金値上がりに関する議論が電力会社やマスコミ、政府関係者の間で交わされていますが、電力自由化を実施すれば、価格競争が生まれ、コストダウンは可能です。	ゼロシナリオの選択を強く推進します。 原子力発電への巨額投資と維持による経常利益の存続、脱原発による経営破たん回避目的のための原発維持には賛同できません。 ゼロシナリオにシフトするに伴い、電力料金の値上がりが懸念される議論が電力会社関係者やマスコミ、政府関係者の間で交わされていますが、電力自由化を実施すれば、価格競争が生まれ、コストダウンは可能です。 地震大国日本にそもそも原発を設置し、稼動したこと自体がリスクであり、我々は自然の力を畏れなくてはなりません。今後予測されている発生率の 可能性の高い大地震に備え、少しでも人的、経済的被害を軽減できるよう、 二次災害の危険性が問われている原発を一刻も早く無くし、代替エネルギー にシフトしてゆくことが最も重要だと思います。 化石燃料はCO2排出により環境破壊に加担するネガティブな面がありつつも、 15シナリオ、20～25シナリオと比較して温室効果ガス排出量－23%～－25%とゼロシナリオと比較し、違いは微々たるものです。 再生可能エネルギーや天然ガスのシェアを増やすにあたっては、設置環境に制約があったり、設備投資に費用がかさむと言った問題に局面しますが、短期的な利益で物事を見る視点から長期的視野で物事を見るようにすれば、自ずから 持続可能な環境、社会と経済発展のためにこれらのエネルギーへのシフトは 必要不可欠です。
18748	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発は日本人だけでなく、人類の存続をも危機にさらすものである。唯一の被爆国である日本が原発をゼロにすることは、国際社会での新たな貢献となり、今後の平和な世界作りのリーダーとなりうるものである。	原発の危険性は、充分に国民に理解されているし、本質的には原発をゼロにすることに反対する人はいない。ただ、「電気が足りない」「経済が立ち行かない」「日本の国際競争力の低下につながる」など、経済的側面から、今回の選択肢が出てきている。考えてみれば、明治維新、第2次世界大戦後の復興、真のイノベーションは、窮地から生まれる。原発事故は再生可能エネルギーによる、新たに成長する社会を作る大きな可能性を秘めている。ただ、残念なことに、国の取り組みが中途半端なことだ。もっと大胆にお金、研究者を振り向けるべきである。数年間のコストを見るのではなく、太陽光発電が普及すれば、材料としてのエネルギーが先端を走る炭素繊維も更に進化する。今こそ、脱原発によるイノベーションを追求する時が来ている。目先の利益、既得権益にとらわれることなく、進めることは、今後の日本再生につながる。過去の延長線上の発想では、この国に未来はない。脱原発を進め、再生可能エネルギーによる社会を作ることは、地球温暖化対策となり、化石燃料を輸入に頼る日本の新たな成長戦略となりうる。再生可能エネルギーは日本のインフラを含めて新たな輸出産業となり、雇用を生み、少子高齢化社会の対策にもなりうる。この、インベーションを行う絶好のチャンスを国は放棄しないでほしい。脱原発による、新たな成長戦略に全エネルギーを集中させるべきだ。その道筋が示されれば、国民はがまんし、協力する。また、実現できると確信している。これこそが、唯一の被爆国であり、原発事故を起こした日本の進むべき道であり、日本人のみでなく、人類に大きな利益をもたらすものである。
18749	個人	会社員・公務員	50代	女性	「エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張 (現時点で、人間に原子力をコントロールすることは不可能であることを認めてください)	現時点で全くコントロールの出来ない危険物質を生み出し続ける、ということは、自ら滅びの道をつき進むことに他ならない。 利得のからんだ一部の人間の判断で進めてよい問題ではない。 導火線に火のついた爆弾を子供に、更にはその子供に渡してはならない。 同じ"億"という お金を使うのであれば、安全な再生可能エネルギーによる電力供給システムの構築に費やすべき。
18750	個人	会社員・公務員	30代	男性	「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」としていただきたい。	「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」としていただきたい。
18751	個人	自営業	40代	男性	現状では20～25シナリオを選択、原発50シナリオ追加希望。 再生エネルギー25%以上は、強権的送電網整備等、財産権の規制な 制限が必要で司法機関の協力が得られない。 時間もかかり外資誘導不可。	匿名希望です タイトル：「再生可能エネルギー比率がどの選択肢も25%～35%で、現実的ではない点。」 目次 1）再生可能エネルギー比率がどの選択肢も25%～35%で、現実的ではない点。 2）最終エネルギー消費の設定が低すぎる問題。 3）内需拡大のための具体策 4）行政と司法の価値観の問題点 5）財政負担を低減するための外資の積極的導入。 6）あとがき 1）再生可能エネルギー比率がどの選択肢も25%～35%で、現実的ではない点。 ゆえに、再生可能エネルギー20%以下、及び化石燃料25%以下で、原子力50%の 選択肢を加えるべきです。 その主要原因は、国内法曹界が民間知識レベルよりかなり劣っているためです。 論点1、地熱発電は自然公園の規制撤廃が必要。 論点2、原発が0%でない場合は、テロ対策のための人権の一部制限の導入が必要。 論点3、新規送電網構築のための財産権の一部制限の導入が必要。 特に、論点2と3は、国民と既得権益を守りたい法曹界との利害関係が一致しているため、強い政治力が必要も、現状では無理です。 また、国内法曹界も民間の会計やITの知識レベルにおいついていない状態で、テロ対策や国民IDにつき、適切な個人情報利用ルールを確立できない状態です。 結果、再生可能エネルギー25%以上は現実的でなく、この観点から原子力50%の選択肢を加えるべきです。 冷静に判断して、原発15%も25%も50%もリスクはほとんど変わらないはずです。 （中略） 2）最終エネルギー消費の設定が低すぎる問題。 食料大増産に必要なエネルギーを加えた形で、場合によっては1.5倍～2倍の想定が必要。 論点1、人口減少に伴い、内需が縮小するという理論はおかしい点。 一人当たりの所得が増えて、消費が上がれば内需は拡大する余地が十分にあります。 これは政策次第です。（下記、「内需拡大のための具体策」を参照） 論点2、地方の人口減少に伴う治安維持のための外灯等の設置によるエネルギー 消費も加えるべきです。 （中略） 3）内需拡大のための具体策 （中略） d）不動産債権登記の高度化と金融システムの強固な連携(登記に公信力、登記と決済の連動) ※消費者高齢者の高額契約の安定化による莫大な内需拡大 ※訴訟リスクの低減による民間事業者のコストカット （中略） g）個人情報フィルタの導入(オプトイン方式)による国民ID制度の早期導入 ※社会保障番号とは別に、最初から民間中心の利用を想定。 場合によっては民間のIDレス管理が普及するのを待つかは検討。？ 4）行政と司法の価値観の問題点 （中略） ゆえに、資産主義を中心とする護送船団方式から脱却できず、特に財産権の 一部制限をできないことで、再生可能エネルギーの普及を妨げてしまうので、 現実策として、原発50%は選択肢として提示すべきです。 5）財政負担を低減するための外資の積極的導入。 これは事業化のスピードが命となります。(規制対応で時間がかかれば、 事業期間がその分長くなるので、事業配当が年ベースで少なくなり、ファンド としての魅力が低くなるので外資がのってこない。） 現状は、事業が失敗すると、行政に文句がつくので、行政は敬遠状態です。 また、外資の導入には、規制緩和とともに、特に社会資本投資に関して業務の 効率化やカントリーリスクを排除するために、不動産及び債権登記に公信力を持たせ、 また付随情報を登記システムに集約させ、金融システムと登記システムの決済等の 連携が、今の時代には求められます。 このような状況から未来、地熱発電に関するファンドやプロジェクトファイナンスは、 海外で積極的に行われていると思いますが、国内では行政規制と法曹界のIT利用の 立ち遅れから、再生可能エネルギーへのシフトに大きく影響が出ると思われます。 ゆえに、再生エネルギーの資金面、及び不動産実務を考慮すると、無理が多いので、 原発50%の選択肢を加えるべきです。 6）あとがき 再生可能エネルギーへのシフトは、盲目的人権と財産権の保護の観点から無理です。 先進各国がインフレ誘導する条件には、各国が内需拡大、輸入も増やすことで、 第三世界のインフレを抑制して、食料価格を抑える必要があります。 この観点から内需の大きな日本において、国内法曹界がネット社会に対応できずに、 内需を押さえていることに、かならず国際的非難が起こるはずです。 要は、日本の行く末が、そして世界の未来が、実は行政改革ではなく、国内法曹界が ネット社会に対応し、妥当な線で、人権と財産権の一部を制限し、個人情報の利用ルールを 確立できるかにかかっているという結論です。 再生エネルギー普及問題しかり、テロ対策しかり、内需拡大しかりです。 かなり強権的に送電網を整備し、かつ自然公園を壊さないと、再生エネルギー25%以上は、 現実的に無理と思います。

						選択肢としては、20～25シナリオしか選択できません。 ゼロシナリオで、かつ追加対策後、再生エネルギー35%は、机上の空論と思います。 最高裁や弁護士会と相談して、強権的財産権の一部制限が可能か否かの確認と、外資誘導 のための登記制度の高度化、及び原発が0%でない場合はテロ対策のための人権の一部制限、 これらに法曹界が協力するかの確認が必要と思われます。 以上です。
18752	個人	会社員・公務員	40代	男性	エネルギー政策の方向	エネルギー政策の方向が示されましたが、「ゼロシナリオ」が大切ではないでしょうか。原発を続けることは、将来の子どもたちにどうすることもできない危険な放射能を残すことです。使用済み核燃料をどうするかの技術も処分場所も不確定な中で、原発を動かしていくことはできません。 原発の安全性が保障されないままに、動き出すのはおかしいことです。 利害関係がだれの眼からみてもはっきり分かります。何を大切にしますか。将来をよく見据えて日本を立て直す施策を期待しています。
18753	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発を無くして下さい。	原発事故が一度起きれば大惨事となります。 チェルノブイリ、スリーマイル島、そして福島が教えてくれています。 節電は人がコントロール出来ますし、慣れることも出来ます。 しかし、放射能は慣れることが出来ません。 何年も住めなくなるのです。 絶対というものは無いと思います。 故に、「想定外」となるのです。 よって、原発は、全て廃炉にして欲しいのです。
18754	個人	パート・アルバイト	40代	女性	原発反対！	私は原発に対しては勿論反対だし、国内のすべての原発は停止・廃炉すべきと思います！１００％、ノー！原発 飯舘村の問題や避難している子供たちのことなど考えると、今の野田政権や東電のやっていることに憤りを感じます。 新潟の刈羽原発の下に活断層があることも少なくとも10年前にはわかっていたことで、東電が知らなかったというのは大嘘です！！新潟の教訓を東電が真剣に受け止めてきちんと対策を講じていればここまでの被害に至らなかったと思います。
18755	個人	自営業	50代	男性	原発は、もういらない	安全なはずの原子力発電所が、致命的な事故を起こした。 想定外の地震や津波によって。 今回の災害によって当然、被害想定は厳しくなるだろう。 でも、限界がある。 二度と起こしてはいけないのに、安全を先送りにして再稼動した。 日本の核廃棄物の最終処分場は未だない。 これ以上危険が増えないように、今すぐ原発をとめて、研究者の努力で、 放射性廃棄物を減らす研究をしてほしいです。 頭が良いはずの、原子力研究者は方向性を変えて、自然に逆らうことはできないかもしれないと理解して、今回の災害から学び、これからの原子力の研究は放射性廃棄物を減らす技術で、世界一を目指してほしい。 原発は、もういらない。 未来の人たちに先送りせずに、今回の災害から学び、原発ゼロをめざそう。
18756	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発ゼロシナリオを強く希望いたします.	核のゴミの廃棄方法が未だ決まらない有害・危険なものを次の世代次の次の世代に託してはいけないと思います. 広島・長崎・福島. 今まで散々. 放射能に苦しめられました. これ以上, 日本が放射能に苦しめられ, 自分たちの子供たちが住めなくなるのは悲しすぎます. 日本が好きです. 美しい日本を未来の日本人にも残してください. よろしくお願いいたします.
18757	個人	その他	60代	男性	原子力発電に頼らない方向に国としてシフトするべきだ。国が方向を示せば自然エネルギーの活用がもっと進み、新たな技術や産業・雇用も生み出し、好循環になると思う。	日本は、自然エネルギーが豊かな国である。それらをもっと活用すべきである。
18758	個人	無職	60代	男性	今回の悲惨な事故は、自然災害ではなく人為的な自己との結論が出た。人類は原子力を安全に使える技術力を有していない。再度原発事故が起きることがないと確信はもてない。原子力発電は早期の撤退を望む。	福島第一原子力発電所の悲惨な事故は、自然災害ではなく人為的な自己との 国会調査委員会の結論が出たが、高い科学技術の進歩は見られても、人類は原子力を安全に使える技術力を備え切れていないと考えている。再度原発事故が起きることがないと確信はもてないはずである。 原子力発電の全てのシステムの中でも耐震性を区分けして建設している事実を知ったが、今回の事故は最も耐震性設定の弱い配管部が、津波ではなく地震によって破壊された可能性を示している。これが全ての電源喪失時に原子炉の冷却をできなかった原因の一つであることが明らかにされた。極めてお粗末な設計であり、安全性に対する慎天の誹そであると思う。 原子力発電所の設計と安全性の危うさは、他の原発でも共通性があると思うが、巨大地震や巨大津波に対応するには、技術的に想定でいない課題が多々あると思われる。これは点検だけでは済まない課題である。福島原発事故の全ての原因が明らかにされない現状では、再発防止対策もまた明らかにできないという現状であると考える。全ての課題を出し切る技術力と全ての対策を打つために時間と費用は天文学的なものであろう。原子力発電は安全性だけでなく、経済性もまた他の発電方式に比べて劣ると考えている。 何よりも一度しかない人間の命に危機を与える原子力発電を早期にやめて、原発に変わる多様な発電方式にきりかえることを望みたい。特に、ドイツなどヨーロッパのエネルギー政策に見られるように自然再生エネルギーの早期開発と実施に向かうべきである。また、過渡的には、火力発電のコンバインドサイクルの強化拡大を早期に行う必要がある。また、地域性を生かした風力発電、太陽エネルギーの高効率化による発電なども重要であると考えている。 国の誤った政策により二度と大きな災厄が起きることがないよう強く願望したい。
18759	個人	家事専業	60代	女性	2030年よりももっと前に、原発0にすべきだと思います。 代替えエネルギーを希望します。実践している他の国々を参考にし、日本の優れた技術で可能だと思います。	被災された方々の辛さ、不安、恐怖を思います。この先、原発の事故が再び起きたなら、生命の危機となります。日本の大地も豊かな海も更に汚染されてしまいます。起きてからでは遅いです。
18760	個人	会社員・公務員	60代	男性	2030年に原発依存度ゼロシナリオを主張する。 　我が国はヒューマニティーの国家であると思慮する。 　生命・人権・環境を無視する国とは思想が相違する。 　原発をゼロにして国民を守ろう。	原発の安全性確保 　福島の原発事故により多数の県民が被爆し、放射能汚染により帰宅困難な　状況になった事実がある。 「想定外」の一言で原発の安全神話は完全に崩壊した。 　想定外の事故は何時でも起きる、放射能を制御することは不可能と学んだ　筈だ。 　使用済み核燃料の処理・処分方法も、原発の廃炉技術も無い状況で安全の　確保は出来ない。 エネルギーの安全保障 地球温暖化問題解決への貢献 　再生可能エネルギーの推進、シェールガス・メタンハイドレード等代替え　エネルギーの開発と実用化によりCO2の減少を図る。 　CO2より「想定外」の事故により放射能が、世界に拡散されるほうが格段　に恐怖である。 コストの抑制、空洞化防止 　目先の発電コストで国民を欺くのでなく、未だに確立されていない核燃料　処理の費用、原発廃炉費用、事故の賠償金を考慮すれば原発コストは膨大　になる筈だ。 　クリーンエネルギーの推進及び代替えエネルギーの実用化、更に電力業界　の競争自由化よる価格低下、また原発従事者の新エネルギーの開発・実用　部門への配置転換により産業界の活性化と雇用の安定を図る。
18761	個人	その他	60代	男性	新しい雇用「パラダイム転換の好機」 ―核エネルギーを利用した原子力発電は「絶対悪」である―	（1）核分裂性物質で原子力発電に利用されるウラン235、プルトニウム239（高速増殖炉で利用）、使用済み核燃料を再処理して成型されるMOX燃料は、さまざまな原因でその核分裂の制御に失敗（臨界を超える）し事故を起こした場合には、大気中および海中などに放出される放射性物質（放射性ヨウ素131と133、セシウム137、半減期29年のストロンチウム90、プルトニウム239などの各核種）によって外部および内部被曝を通じて人体に長期にわたり深刻な影響を及ぼす。特に、原子力発電を稼働させることによって人工的に生成されるプルトニウムは、100%に近い濃縮が必要なウラン235と違って容易に核兵器の材料に転嫁され得る。もちろんNPT（体制下でIAEAとの間の保障措置協定にしたがった査察活動によるプルトニウムの生成量確認が義務付けられてはいるが、その精度には疑問が持たれており、日本のような高度の科学技術を前提に政治決定がなされれば核保有への道が開けう可能性を排除できない。その際には1968年調印のNPT条約からの離脱が必要なので、国際社会からの批判に耐えうるかどうかの問題は存在する。しかし日本では2012年6月に原子力行政の憲法にあたる原子力基本法に「安全保障に資するため」という趣旨の言葉が、広い議論もなく追加された。従前の「平和目的に限る」からのこの変化が示すものは、国際情勢の悪化時に核兵器を保有できるオプションを残しておくという政治判断がなされたということである。 （2）他の先進国と決定的に異なる自然環境の違いは日本が地震大国であるという事実であり、なおかつ福島原発事故以来、地震専門家が発生に関する評価の見直しの結果、今までの想定以上の大地震が発生する可能性が高まったという知見が出された。このことは日本では原子力発電所の事故が過酷事故に至る蓋然性がきわめて高いことを示している。一旦そうした事故が発生すれば、深刻な放射能汚染は言うに及ばず廃炉に至る莫大な財政的負担や被害者への保証措置が長期にわたって発生し、延いては日本経済と国民の生活に大きな損失がもたらされる。特に東京の西にある諸原発、たとえば静岡県にある中部電力の浜岡原発などが福島並み以上の事故を起こした場合には首都機能が失われ、その時こそ主権国家としての日本が大混乱に陥って外敵のさまざまな干渉を受ける可能性さえ否定できない状況になる。何百兆円になるかも分からないこの経費を国家プロジェクトとして再生可能エネルギー開発に積極的に投資すれば、将来を見越した新たなビジネスチャンスにも繋がるし、新たな雇用創出にも繋がる。ちなみに2022年までに原発全廃を政治決定したドイツは、すでにこの道を歩みつつある。 （3）正常運転でも継続的に必ず出てくる高濃度核廃棄物の最終処分方法がきわめて困難である。日本ではその具体的な論議すら行われていないが、フィンランドでは地下約420メートル（そこに至るまで折れ曲がった斜坑で全長約4400メートル）の固い岩盤（フィンランドは国土自体が固い岩盤で覆われていると言ってよく、その地層は19億年間動いていないと言われる）にこの廃棄物を約10万年の間保管できるとされる施設（ヘルシンキの西方にあるオルキルオトのオンカロ）の建設に世界で初めて着手した。さらに国民の信頼を得るために、電力会社の社屋を原子力発電所の敷地内に置くという決断まで行っているのである。日本では使用済み核燃料をすべて再処理して燃料として再利用する方法（青森県六ヶ所村の再処理工場での）さえ継続的に議論されている状況であり、アメリカを始め諸先進国が事実上放棄したプルトニウムを再生産できる高速増殖炉の開発さえも依然として断念していない。こうした国の政界・財界・官界のリーダーの危機感と責任感とは驚くべき率離がある。 （4）核エネルギーの利用はその爆発的究極的な威力を爆弾に応用することから始まった。具体的にはドイツの原爆製造の可能性に危機感を持ったアメリカが1942年にマンハッタン計画を承認して、1945年7月に世界初の核実験に成功したことに始まる。その直後の8月にはB日本に対して2個（広島型はウラン235、長崎型はプルトニウムを使用）の原子爆弾を投下した。戦後は米ソなど核保有国が冷戦下での核軍拡を正当化する一方、1960年代に創設したNPT体制を構築して非核保有国の平和利用としての原子力発電を推進したのであるが、その原子炉からプルトニウムが人工的に生成され、それが核兵器の原料になるという大問題をもたらしている。日本は国際社会で唯一の被爆国として甚大な人的・物的損失を経験したのであるから、こうした大いなる危険を内包した核エネルギーの利用の禁止に向けて積極的にリーダーシップを発揮すべきである。 （5）現存する大学の関連学部・学科や研究機関は、未だ確立していない廃炉や除染技術の教育・開発に集中することによって存続させ、技術開発と製品化によってビジネス・チャンスを創造するとともに、この技術と製品を世界へ発信することによって国際貢献を目指すことが出来る。こうした技術を開発する研究所を原発が所在する場所につくれば、効率的であるし現原発従事者の先ともなり得る。
18762	個人	自営業	30代	女性	今すぐに原発を無くすのが難しいことは理解できるので、しっかりした計画を立てて徐々に無くして行くようにしてほしい。	ここまでたくさんの被害を出し痛みを伴っている原子力は、もはや持続可能なエネルギー源ではない。今すぐに原発を無くすのが難しいことは理解できるので、しっかりした計画を立てて徐々に無くして行くようにしてほしい。
18763	個人	その他	40代	女性	原発ゼロシナリオを望みます	福島の事故から何も変わってない状況での原発再稼働　何の為？子どもたちの未来の為に危険な原発をなくしてください。自然エネルギーに転嫁してください。 原発反対です。
18764	個人	無職	60代	男性	原発の再稼働はいたしかたないものと考えます。いつからかは今後の経済情勢によります。国民の大多数が納得の行く何らかの経済指標、社会指標を設定し、それにリンクさせて稼働率、稼働数を定めるべきだと思います。	余りの反原発の動きに危惧してパブコメすることにいたしました。 原発ゼロに越したことはありません。原子力行政、電力会社の姿勢に問題が多いのも事実だと思います。しかしながら、不景気に加えて、経済情勢は混沌として、先行き全く不透明です。「おカネ」と「電気」は経済を維持発展させて行くための原動力です。「おカネが回らない。」に加え、電力が足りないとなると、日本経済はどんどん先細りして行くことになります。 いろいろの悪影響があると思います。産業の空洞化もそうでしょう、生き残るため、企業が海外に地盤を動かさざるを得なくなるのもそうでしょう。リストラも日常茶飯事で行われるようになって、街に失業者があふれます。特に若い世代はスペイン、ギリシャのように失業率50%もいずれありうるかもしれません。しかし日本のような経済規模の国を救える国はどこにもありません。社会不安により犯罪が増加し、うちに向かえば自殺者が増えることになります。法人税は減少し、それとほぼ比例して所得税が減少して行きます。現レベルをはるかに超えた国債を発行することもできません。かと言ってすぐに消費税に転化するわけにも行きません。（税率30%でも済まなくなるかもしれません。） となると、どうしても弱いところにしわ寄せが来ます。給与は減り、あるいはなくなり、年金の支払いが滞り、医療機関でも動かる命が動かからないことになります。生活保護費は大幅に減らさざるを得ないことになります。被災地は救われないまま放置されることになります。 高度成長期ならまだしも、明日から原発ゼロにするのは国の自殺行為に等しいと考えます。子どもたちは原発から守れたが、多くのお父さん、お母さんたちの仕事がなくなります。子供たちが大きくなっても、多くの人たちは仕事に就けなくなります。結婚どころではなく、少子化が更に加速します。 子どもが地獄を見るか、弱いものが地獄を見るか、難しい選択を強いられている状況です。しかし、日本が将来も日本であり続けるためには、差し迫った地獄である「弱いものが地獄を見る社会」を防がざるを得ないものと考えます。
18765	個人	家事専業	30代	女性	原発は動かさない、大飯はすぐに停止。 全国の原発は廃炉に。	子育て中の母親として、 もう福島の事故の恐怖を2度と経験したくない。 子どもに原発のある日本を渡すことはしたくないのです。 日本の技術力があれば、太陽光、バイオマス、風力、 すぐに原発の能力を凌ぐ発電量を確保できるのではないでしょうか。 まだまだ24時間営業のスーパー、 明るすぎる商業施設、自販機、公共施設でのクーラー、 電気の無駄は一杯あります。 原発はもう動かさない。 大飯はすぐ止める。 核を持てない日本の抑止力？！ 経済とマンパワー、文化で国の価値を高めましょう。

18766	個人	その他	70代	男性	OHMASA－GAS http://ohmasa-gas.org/05what_gas.html 夢のエネルギー 国レベルで研究開発を進めれば同ガス単体で全てのエネルギーに成ります。	生産には水と電力が必要、 火力発電所に併設プラントで無限に生産出来ます。 敷地が必要なら羽田空港海上滑走路を前の河川に敷けば済みます。
18767	個人	学生	20代	男性	原発は廃止するべきだと思います。	もう1度すべての原発の安全面を見直し、また使用済み核燃料のその後の処理を明確にする。それをクリアできないのなら、稼働はしない。 活断層があるなんてもってのほかだと思います。危険な原発は廃炉にすべきだと思います。
18768	個人	会社員・公務員	40代	男性	原子力発電を2030年までにゼロにしてほしい。	2010年3月におきた福島原子力発電所による水素爆発やメルトダウンにより日本中が放射線に汚染されてしまいました。 農産物、水産物も小さな子供たちに食べさせるにはとても危険で不安です。 しかし、このような大変な事故を起こしてもだれも責任を取っていませんし刑務所にも入っていません。 調査でも人為的事故と認定されていても誰も責任が問われません。 この先再稼動して事故があっても責任は取らないということでしょうか？ 経済の発展や地球温暖化対策などで動かそうとしてるようですが、 これからの日本の未来、子供たちのことを考えると、このまま何もせずに見てるわけには参りません。 かならず国民の声に耳をかたむけて、二度と原発による事故を起こさない為2030年まで待たず一刻も早く原発を止めてください。
18769	個人	自営業	70代	男性	将来のエネルギー政策を決めるのは拙速の感あり。 もう少し時間をかけて決めるべきである。	1.原発事故からまだ日が浅いので、原発に関して問えばほとんどの人は後先　考えずに脱原発というだろう。 2.原発の比率3案しかないが40,50,60%の案も必要である。それぞれの案に 　対して電気料金がどうなるのか、ガス、原油の輸入による貿易赤字がどうな　るか、製造業が成り立つのか、など色々とシュミレーション必要。 3.事故を教訓に世界一安全な原子力発電所を開発して日本が世界に供給する 　責任がある。危険だからやめるでは逃避にほかならない。 4.現在の政権与党が日本の将来を決めるような決断はすべきでない。すべて　の面で稚拙で国民から信用されていない政党が決めるべきではなく日本の 　将来を誤ることになる。 5.再生エネルギーともてはやされているが産業が必要な数%も満たすことが 　できるか計算してみること。外国ではどのようになっているか調査必要。 6.孫なんとかが太陽光発電事業に参入しているが日本人にあまり信用されて　いない人物が関係していることもあり、金もうけのネタにされているのでは 　ないかとの疑念をいだかせる。(東北大津波の時100億円寄付すると発表し　たがほんとに寄付したのか確認してみてほしい)。以上
18770	個人	その他	50代	男性	原子力発電所は可能な限り(2030年までには当然)ゼロにすべきと考えます。	原子力発電所は可能な限り(2030年までには当然)ゼロにすべきと考えます。核燃料サイクルの持つ大きな課題、それに伴うエネルギー収支が全体としてプラスとなるか疑問であること、大きな災害はもとよりテロ等による原発攻撃を考えれば到底十分なセキュリティを保つことは困難であること、セキュリティの厳重確保は結局秘密主義に陥り市民による十分な監視が困難となること、きわめて危険な放射性廃棄物の処理が現在の世代で解決できないこと、大規模発電に伴う利益と弊害の集約化により立地自治体の自由なリスク選択が困難になることなど、多くの理由があると考えます。 一方で、一定の電力需要は当然であり、これを満たすためには、オイルシェールなどによる石油資源を基礎にした火力等の活用は今後も行うべきですが、温暖化防止を考えれば、今まで以上に積極的な再生可能エネルギーの利用が必要になります。この際、再生可能エネルギーの買い取り価格を原発推進にかけていた税の振りかえや限界があるとしても新たな税投入等によりさらに引き上げることで、より積極的な開発が行われ、それらはひいては日本の産業拡大にもつながると考えます。 管内関の方針であった脱原発に基づき、できるだけ早い時期の原発ゼロのための工程表を作成せず、なし崩し的に再稼働を行うことは絶対に避けるべきだと考えます
18771	個人	会社員・公務員	30代	男性	全ての原発の即時停止、廃炉に向けた取り組みを希望します。	福島の原発事故についての解明がなされていません。安全性が確保されない状況で、原子力に依存するのは、たとえわずかであれ、危険極まりないことだと考えます。第2の「フクシマ」を作ってはなりません。現時点の人類に原子力の制御はできないのですから、原発が稼動していることは、第2の「フクシマ」を作り出す危険性をはらんでいるわけです。多くの福島の人が人生を、故郷を奪われたまま、いつになったら戻れるのかわからない状況で苦しんでいます。その苦しみを繰り返してはならないし、そのために、最低限、国内にある原発は全て停止、廃炉にすべきだと考えます。
18772	個人	会社員・公務員	30代	男性	(1)ゼロシナリオにするべき:ドイツのように震災3日後に原発撤退が判断できる国ならいいが、1年以上たっても右往左往している日本に原発のような危険なものを運転する資格はない。	今回この3つのエネルギーミックス案を持ち出した総合資源エネルギー調査会基本問題委員会の有識者の選考方法自体も変更しなければならない。(というか、全ての委員会の有識者選考自体問題だと思われるが・・・)。今後のエネルギー政策をどうするかを話し合うはずの場が、途中から2030年のベストミックスはどれか？というお題にすりかえられている。そもそも脱原発について考える委員会であるならば(1)案～(2)案の間に色々と選択肢を並べるのが本来の目的であるはずだ。総括原価方式の下に巨大利権を育んできた電力産業は手強いが、重厚長大産業はいずれ人件費の安い新興国に取って代わられるべき産業であり、日本が今後も追い求める産業ではない。今すべきことはいち早く再生可能エネルギー発電へのシフトチェンジをし、それに伴って産業構造改革が起こり、そこで蓄積されるノウハウを輸出することで世界に冠たる先進国日本として君臨し続ける道を示すことである。今ここで判断できないと、何一つ変える事ができない日本は世界の笑いものになる。
18773	個人	無職	60代	男性	原発依存度は「0%」を支持する。 理由1. 原子炉立地審査指針に適合していない。 理由2. 地震に対して脆弱で非常に危険である。 理由3. 使用済み核燃料の最終処分場がない。	「理由1. 原子炉立地審査指針に適合していない」について。 原子炉立地審査指針では、「立地場所で極めて大きな地震、津波、洪水や台風など自然現象が、過去になかったことはもちろん、将来にもあるとは考えられないこと。また、災害を拡大するような事象も少ないこと、……」 このように立地条件として、大地震や大津波が誤う可能性がある場所では、原子炉を設置してはならないことになっている。我が国ではこの条件の外にある立地場所は、絶対にないと思われる。 「理由2. 地震に対して脆弱で非常に危険である」について。 原発の耐震基準は概ね300Galから600Galになっており、福島第一原発では270Galで設計していた。しかし、新潟県中越沖地震では、柏崎・刈羽原発地点で2，100Galが観測されている。昨年3．11の東日本大震災でも2，900Galが観測された。 このように強い揺れがあれば、特に再循環ポンプの配管の破損が命取りになる。一般配管では外部から建屋への貫入部分で破壊される。また、配管を支持するパイプラック等は、耐震設計強度が小さく設定されており、配管の破壊は著しいものになる。従って、送水ができなくなり重要な原子炉の冷却ができなくなる。 「理由3. 使用済み核燃料の最終処分場がない」について。 六ヶ所村に建設されている「使用済み核燃料貯蔵プール」が、ほぼ満杯に近付いており、各発電所にある保管プールも、2から3年後には満杯になる発電所が多い。 「使用済み核燃料貯蔵プール」および、「使用済み核燃料中間貯蔵施設」ならびに、「高レベル放射性廃棄物の最終処分場」が不十分または、施設がないうえに原発を稼働させることは絶対にするべきでない。
18774	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発を廃止すべきである。現在運転中の原発も即刻停止し、廃炉に向け作業を開始しなければならない。	原発の廃絶が遅くなればなるほどほど核廃棄物は溜まる一方であり、環境への負荷と経済的負担が増大する。福島を中心とする地域に降った放射性物質を取り除く方法ない。この現実を直視し、エネルギー政策を速やかに転換しなければ社会に未来はない。
18775	個人	自営業	30代	男性	(1)ゼロシナリオでお願いします。	(1)ゼロシナリオを採用すべき。 放射性廃棄物の処理方法が確立されていない現在、原子力発電所は稼働させるべきではない。 原発に関する支出を再生可能エネルギーの補助もしくは買い取り制度のための費用に充てれば、確実に再生可能エネルギーへの転換業が進む。 発電については、現在の各地域電力会社が独占していることが問題なのであり、競争原理を取り入れる必要がある。市民の立場からは、グリーン電力を購入することも選択したい。非効率かつCO2排出量の多い火力発電を減少させるために、より効率のよい地域ごとの小規模発電施設を順次設置し、もしくは設置の補助を行う必要がある。
18776	個人	無職	60代	男性	原発を一刻も早く0%にするべきです。	懸念されていた原発事故が2011年3月11日に、福島第1原子力発電所において起こりました。1年4ヶ月が経過しましたが、事故は未だに収束していません。高放射線量のためもあり、原因も解明できない情況です。明らかに、原発を人類は制御出来ないことが明らかになりました。この事故により福島県の人々を中心に未だ苦しみ続けています。今後の後遺障害も心配されています。 現在、原発はなくても電力は足りる事がはっきりしました。電気の使い方を日本人の多くは見直しをしています。生活全般も見直しをしています。即ち、エネルギーの過剰な使い方を反省しています。これらは今後人類存続のために続けられるでしょう。 原子力に換わるエネルギーはまく余ります。今その様々な取組が精力的になされようとしています。風力・波力・地熱・太陽光等のいわゆる自然エネルギーが日本には豊富にあります。原子力に頼らなくても日本のエネルギーは十分可能です。 危険極まりない原子力発電は一刻も早くやめるべきです。 これからの子どもたちの未来のためにもです。
18777	個人	自営業	60代	女性	3.11東日本大震災原発事故を考えると当然「ゼロシナリオ」以外に選択肢はありません。2030年と言わず、もっと早急にゼロに向かって努力を必要と考えます。	東京電力を政府管掌企業になったのであるから、もっと政府がリードをして原発を止めるように努力が必要です。原発は「トイレなきマンション」と言われているように廃棄物によって人類は破滅に向かっていくことをしか進む道はないといえる。地球のため、人類のためにも早急に原発はとめるべきと考えます。 日本だけではなく、世界中が脱原発に向かって英知をつかいましょう。 政府の英知ある決断をお願いいたします。
18778	個人	その他	60代	女性	原発依存率　ゼロ%を選択します。 他の2つの選択肢など、あり得ません。	1. 福島第一原発の事故による福島県民のあってはならない悲劇と事故処理の困難さを知るにつけ、二度とこのような核との闘いを起こしてはならないと思います。 ゼロ%以外の選択肢は、この設定そのものが国民を侮辱しています。 2. 事故がなくても、放射性廃棄物をどう処理するのかといった根本的な問題を未解決にしたまま、これまで同様に先送りにすることは、未来に対してあまりにも無責任すぎます。 再稼動や新設などという選択肢がまかり通れば、またこの上に廃棄物が増加していきます。このことを考えると、もうこれ以上の愚策は、絶対に止めるしかありません。 3. 地震多発国の日本、多くの活断層の上に原子力発電所が建っていることがこれだけ明白になっているにも関わらず、いまだに愚かな安全神話を信じさせようとしている国の姿勢に憤りを感じます。 現在、再稼動していない、止まっている原発でさえ危険なのだと認識し、国は廃炉に向けての政策を今すぐ開始すべきです。 4. 2030年までにではなく、ただちに全原発を即廃炉にするべく、今こそ叡智と勇気を持って、新しい正しい政策を推し進めることこそが、日本の進むべき道と考えます。そのことをこそ、国民に呼びかけるべきです！
18779	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオ	ゼロシナリオを決定し、自然エネルギーの拡大に努力すべきです。それをすることが、新しい日本の経済成長にも寄与すると思います。
18780	個人	法人等	60代	女性	先進国の象徴のようにされてきた電気の使い方を考え直し、賢い節電と原子力以外のエネルギー開発を推進すれば、0パーセントで可能と思いこれを指示します。	1. これまでいくつかの大きな原発事故について、未然に防ぐ方策はなく、高レベル放射性廃棄物の処理も適切な方法がありません。という事は、原発が抱える問題の解決策はないということになります。 2. そもそも、安全や将来的な見通し等の検証、検討がされないまま原発稼動が先に在りきで始まったことについて、このまま続行する事は避けなければならない(特に活断層の問題や福島の事故後の対策を無視することは断じて許せない)。 3. 原発を優先させる為に、再生可能エネルギーの開発を意図的に排除してきたことについても問題あり、原発稼動よりも技術開発を急ぐべき。 4. 7月初旬の暑さでかなりのエネルギーが使われたと思うが、日本全国「電力不足」を言うところはなかった。原発再稼動の狙いで脅迫的とも言える「電力不足＝早急な原発再稼動」にしか思えない。原発がなくても電気は足りる。 5. 狭い島国でしかも地震大国の日本に、何故こんなに多くの原発が存在しているのか、裏事情が大変気になる、そんな怖い戦略は排除させるべき。
18781	個人	家事専業	30代	女性	「エネルギー・環境に関する選択肢」に対する意見 2030年までに原発ゼロではなく、即刻ゼロにすべき	1.使用済み核燃料をこれ以上増やすべきでない。子供や孫の世代にこんなものを押し付けてはいけない。 2.福島の事故で、一度事故が起これば人間の手ではどうすることもできなくなることが明らかになった。自然災害はいつどこで起きるか分からず、原発は余りにもリスクが高い。人の命や故郷を犠牲にしてまで原発に頼るのは間違っている。 3.日本の技術があれば、自然エネルギーをもっと増やせる。国民は自然エネルギーを求めている。
18782	個人	無職	70代	男性	政府は2030年時点の原発比率で三つの選択肢を示しましたが、 私はその中で1番目の"0%"を選択します。 (理由は下欄に記述) 尚、パブリックコメントは、迅速で公正な公開発表を期待します。	我が国は海に囲まれ風光明媚な自然に恵まれていますが、一方において 世界有数の地震国であり、有史以来数多くの巨大地震や大津波による被害を 経験してきました。 しかしこの地震列島において"安全神話"に守られた国策としての原発推進も、 今回の東京電力福島第一原発事故は、私にとっては根底から見直しを 考えるきっかけとなりました。 私が1番目"0%"を選択する理由は下記の通りです。 (1)想定外の自然の脅威に対して、原発設備の安全維持や危機管理対応は 　人間の能力を超えたものと言わざるを得ない。 (2)全国で54基もの原発がありながら、未だに核燃料サイクル実現の目途も 　たたず、莫大な費用のかかる核燃料再処理工場の実現性も低い。 (3)東京電力福島第一原発事故の様な事が起きれば、その事故処理は数十年の 　長期にわたり、将来世代への影響は計り知れないものがある。 今後は再生可能エネルギーと地産地消型エネルギーの普及政策に力を入れると 共に、国民レベルでのエネルギーに関する生活意識の見直しを進め、 この美しい国土の安心と保全に努力したいものです。
18783	個人	会社員・公務員	50代	女性	原発は要りません。	まだ、福島の原発処理が終わっていません。 終わるスケジュールも方法も確定していないのに再稼動などはもってのほかです。 原発が必要な人は原発のそばに住むならまだしも、自分は安全場所にいて再稼動容認など言う全ての人が信じられません。
18784	個人	会社員・公務員	30代	女性	ゼロシナリオ	原発を存続させることは、将来を担う子どもたちに危険な放射能を残すことになります。
18785	個人	家事専業	50代	女性	即時廃止を希望！ 地震大国の日本に原発はいりません。 福島の経験を無駄にしないで国民の命を優先に考えてください。	阪神淡路大震災は原発の事故がなかったから、復興も比較的早かったと思います。 しかし今回、福島の多くの方々がまだ避難されて自宅に帰ることができない。 今後このようなことが起きないという保障はありません。 次世代を担う子供達にこれ以上負担をかけてはいけないと思います。 もっと安心なエネルギーの開発に力を入れていただき、原発は廃止で お願いします。
18786	個人	無職	70代	女性	「20－25シナリオ」に反対。 遅くとも2030年以降には原子力発電依存度をゼロにする。ただし、大学や研究機関で原子力についての真剣な研究を続けて行くべきです。	エネルギー・環境会議がシナリオ提示に当って示した大前提は、どのシナリオにも適用されるもので、今後とるべき方向を示していると思います。 それでも、最終的には原発依存度ゼロを目指して欲しいと思う理由は、 1. 使用済み核燃料の再利用方法や放射性廃棄物の安全で確実な処理法がない。 2. 政府や電力業界、産業界に、原発事故についての十分な反省、責任追及、原因の徹底検証、十二分な安全確保措置を行なわないうちに、目先の経済だけを考えて、なし崩しに原子力発電を再開・継続する動きがあり、責任を持った原子力発電を続けられるかどうか、心もとない。 3. 地震国日本は、原発の立地条件として最悪。(1と2は今後の研究や、政府・産業界の覚悟で解決できるでしょうが、これは解決できそうにもない) 4. 原発依存をやめることで、新しい、平和で心豊かな、世界が憧れる日本に生まれ変わることができかもしれないから。3／11以後、私もそうですが、世の中が変わった、変えなくてはいけないと思い、毎日の生活の中で、もっと節電できる、むだをやめよう、助け合おう、と考える人が増えたと思います。我々日本人の生活は、快適で、ぜいたくです。不幸な原発事故の後こそ、生活の仕方を変えるチャンスです。原子力発電ができなくなれば、日本は先進国ではなくなる、落ちぶれてしまう、と脅かす人々がいますが、エネルギーをあまり使わないで、快適な生活を送る方法を考え出す事で、活気を取り戻し、希望を見つけることもできるのでは？

18787	個人	その他	80代以上	男性	本アンケートは、政府と東電が人災事故の責任を回避し、改革の道を曖昧にする手続きに他ならない。政府は自己の倫理的責任を自覚し、指摘された問題点を克服すべきである。今許される唯一のシナリオは(1)である。	1．現状認識 3.11の東日本大震災により、福島第一原発で電源喪失その他の事故が発生し、多くの人が土地を離れて生活するとともに、生活基盤としての仕事を失うに至った。私の出身地・酪農町では、妹をはじめ、親類縁者は故郷に戻ることも近づくことも許されていない。 国会事故調はこの事故を人災と明確に指摘している。それは電力会社の怠慢とその監督・指導の責任を放棄してきた政府とによる複合被害であった。この事実は、彼らに許された唯一の選択があらゆる想定を踏まえて、100%の安全が確認されるまでは、いかなる再稼働もあり得ないという選択でなければならない。 2．現在政府に許される唯一の選択 国会事故調や政府事故調の報告が指摘した問題点が、現在、東京電力により、また政府により明確に意識され、それへの対応に向かった措置が自覚的に始まり、公開され反省的に克服されつつあるとは言えない。このような状況下で、直下に活断層の存在が疑われ、調査が開始されようとしている大飯原発が再稼働された。原発稼働ゼロの現況からの再稼働への道は、電力会社と政府がいかに今次の事故の重大性を認識し、節度ある対応をしようとしているかの試金石であった。このような無節操な行動を平然と起こす組織に地震大国・日本において今後原発の稼働は許されるべきではないであろう。現時点では、2030年に原発の稼動は0%以外の選択肢はありえない。 3．政府は経営責任を自覚しているのか 徹底した公開性と説明責任を電力会社と政府が果たした上で、エネルギー政策の大きな方向性は国民に対して問わるべきで、現段階はこのような政策の方向性を政府が国民に問いうる段階ではない。このような問いかけを基盤に方向性を定め、国民に連帯責任を負わせ、否むしろ、政府にあらゆる政策への免罪符を確保しようとする、このようなアンケートがいかに卑劣な行為であるかを政府は反省すべきであろう。このアンケート自体が、政府の無節操と厚顔の表現にほかならない。政府は、あらゆる意味での安全性が確保されるまで、0%の実現に向けての前進を誓い公言すべきである。 4．政治家の倫理的資質に対して明確な自覚を 政治家の資質をマックス・ウェーバーは情熱・責任感・目測の三つに見出している。今の政府は、何に情熱を傾けているのであろうか。次の選挙で与党が勝つことなのか。国民の平和で豊かな生活を実現することなのか。先ず、平和と安定への願いを国民と共有しつつ、あのマニフェストの実現に情熱を傾けるべきであったであろう。そしてその実現に責任を持つとともに、その実現に向けて、あらゆる情報を動員しつつ、一歩一歩前進し、その目標を達成する道を歩むことに責任を強く感じるべきである。現政権は国民に納得いく説明をなしつつ、マニフェストの実現に向けて前進すべきである。まずこの姿勢が明確になって初めて政治屋集団を脱却して、真の政治家としての自覚に裏打ちされた政治が始まると考えられる。
18788	個人	自営業	60代	男性	原発は制御不能下において、その時点から永遠といっていい永きにわたって甚大な災厄をもたらすということが、だれの目にも明らかになった今、「ゼロシナリオ」に基づき、可能な限り早期にその実現を図るべき。	今回の原発事故について、国会と政府からそれぞれに報告書が提出された。それぞれに当を得ている部分やなぜか突っ込みの不十分な部分を持った内容と敬見している。一国民の目からは、事故に至った原因や背景につて、まだだれかをかばっている感は否めない。先日南相馬市へ調査と訪問活動に参加したが、仮設住宅で生活する方々が異口同音に「大飯原発の再稼働は信じられないこと」「事故原因もその検証も未だはっきりしないままの再稼働は、わたし達を無視するもの。わたし達はおいてきぼりにされた思いだ」と語っておられた。電力不足をおざしに使い再稼働に踏み切った背景には、関電や原発メーカーの都合を優先させた政治判断があったとしか思えない。その政治判断には、科学者の直近の登髄も無力であった。政府と関電は少なくとも再稼働をすべきではなかった。この夏の電力不足は火力発電を持続していれば乗り切れると言うことを多くの国民は知っている。原子力の利用への人間の知恵と技術は、これを自由に制御するにはあまりに無力である。生成物としての死の灰を中和するすることもできない、温暖化防止という点でも原料生成からトータルとしてみれば何らクリーンエネルギーではないことも明かである。国のエネルギー政策として、原子力から自然エネルギーへの転換を速やかに図ることを強く希望する。まずそこから出発することだ。為政者は自然エネルギーの研究開発に思い切った政策投資をすることを国民は歓迎し支持をすることに自信を持ってほしい。東京で多くの若い人達が毎週脱原発を願って集まっているようだ。あれはわたしの声だと思っている。声なき声を届けてくれていると感謝している。政府と電力会社は原発事故被災者のくらしや仕事再開へ責任を果たし、エネルギー転換の最も賢明な道を日本が選択していくようにリードしていことを、今を生きる日本国民のひとりとして強く求める。
18789	個人	自営業	40代	女性	次世代への責任のために ゼロシナリオを支持し、省エネと自然エネルギー主体の暮らしと社会のあり方を実現する政策を	私は、パルシステム生活協同組合連合会発行の月刊誌『POCO21』の編集長で、3歳の息子の母親でもあります。原発も、地球温暖化も、放射能を気にしなければならない生活も、いずれも次の世代に負け越すばかりでなりません。一時的な追加コストを承知の上で、日本は省エネルギーと自然エネルギー主体の暮らしと社会のあり方を世界に示すべきだと考えており、よってゼロシナリオを支持します。 先般の東京電力福島第一原子力発電所での大事故は、原発が地方やそこに住む人々の犠牲の上に成り立つ、暴力的なエネルギー源だったということを白日の下にさらしました。それは、いじめという「暴力」を許してきた今の日本の社会のありようとも重なって見えます。今こそ、一方が犠牲になるのではなく、共存共栄のための施策をあらゆる政策課題において考えるべき時ではないでしょうか。 私たちの祖父母・親世代は、世界でも類を見ない豊かな社会を残してくれました。が、それは限りある地球資源を使い尽くす、さらには人間の手に負えない負の遺産(放射性廃棄物)を遺した持続不可能なあり方でした。私たちの世代は、それを持続可能なあり方に変換して受け継いでいく責務があると考えます。
18790	個人	会社員・公務員	40代	女性	3.11の福島原発事故で明らかになった原発の危険性から私たちの命を守るには「ゼロシナリオ」しかありません。	原発を続けることは、将来の子どもたちにどうすることもできない危険な放射能を残すことです。使用済み核燃料をどうするかの技術も処分場所も不確定な中で、原発を動かしていくことはできません。地震国日本では、近い将来相当大規模な地震が想定されています。その中で、原発の安全性を保つことは不可能でしょう。「ゼロシナリオ」のほかに私たちの安全を確保する道はありません。 「ゼロシナリオ」を決定し、原発立地市町村には新しい地域経済復興の施策を実施することを求めます。
18791	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発はすぐにでも0%にしたほうが良いと考えます。事故が起きた後のリスクが高すぎると共に、現状で安全であると言われている原発の安全性も信用できないので。	原発事故後、国土の汚染が広がりました。被害も正確にはまだわかりません。しかしながら、賠償の費用も大きくなりましょう。なにより今後完全に元の状態の安全な環境に戻る展望が見えません。 　このように高リスクな原発はすぐにでも中止し、それに変わるエネルギーの生産方法に切り替えた方がいいと考えます。 　現時点ではエネルギー生産コストは大きい技術であっても、そこに戦略的にお金を掛けて技術の高度化、低コスト化を進めれば展望はあると思います。 　いのちを貧かす放射線被害を発生させる原発は即時中止の英断を。
18792	個人	会社員・公務員	20代	男性	核を生む原子力発電所の行く末。これからのエネルギーはみんなが選ぶ時代。	3.11のちょっと前まで、僕は原子力発電所という存在を深くは知りませんでした。実際には知ろうとしませんでしたが正しい言い方かもしれません。 原子力発電所から生まれる電気と使用済み燃料(核のゴミ)。 六ヶ所村の再処理工場、福井のもんじゅを経て核のゴミがまた新たなエネルギーを生み出す。これはとっても素晴らしい技術だと思いました。 しかし、六ヶ所も正常に起動せず、もんじゅに関しては完成は未定。 核燃料サイクルどころか核のゴミを多量にかかえた日本。 北朝鮮のテポドンとは比べ物にならないほどの量。 原発が動けば核のゴミも増える。 一方で福島原発の核燃料用プールが満タンになってしまい、燃料棒を冷やす場所がなく無理矢理、六ヶ所村に再処理工場を作ったとも言われています。 ぼくは使用済み核燃料の後処理、原発の安全性と市民の声。 問題を抱えたまま市民の声を無視してまで、原子力発電所を動かすのは反対です。 そして僕らは決められた電力会社からしか電力を買う事ができません。 値上げをすればそれに従うしかなく、原発を動かす電力会社から電気を買いたくなくても買わざる得ない。選ぶのは家にソーラーパネルを付けるか付けないか。 少なくとも何かしら選ぶ自由が欲しい。 原発の電気か、太陽の電気か、風力の電気か、地熱の電気か・・・ など。 お金を払うのは市民や一般企業。 少なからず僕らの声に少しでも耳をかたむけてください。
18793	個人	会社員・公務員	40代	女性	(1)ゼロシナリオを選択する。	今だ、福島の原発事故も終止していない上に、日本は地震の多い国なのに、これ以上原発を稼働して第二の福島原発のようになったら、誰がどう責任を取るのか? また、原発を稼働した後の使用済み核燃料の処理もまだ出来ない状態なのに、 これ以上稼働し続ける事は、将来、負の遺産を残すだけだと思う。 原発に依存しない社会を作るべきだと考えます。 以上の理由で(1)ゼロシナリオを選択する。
18794	個人	自営業	40代	男性	15シナリオで良い。ゼロではCO2が減らない。20-25では原発が減らない。15で原発稼働数を限定して安全対策を潤沢にする。その上で2050年頃に原発ゼロとする。同時に人口抑制策も必要である。	15シナリオで良い。 ゼロシナリオではCO2排出抑制幅が少ない。これではCO2排出を減らそうとしない新興国に示しがつかない。 20-25シナリオは原発を減らせない。重要なのは放射能拡散事故の回避だが、東日本大震災相当の安全策を全原発に対して講じるのは予算的時間的に無理。 15シナリオなら原発稼働数を限定するため、安全対策を潤沢にできる。また廃炉にした原発敷地を放射性廃棄物の一次貯留に使える。さらに、15シナリオにすれば自然エネ開発に必死に取り組まざるを得なくなるという「追い込み効果」が期待できる。 その上で2050年ごろに原発ゼロとすればよい。 但し、根本的な問題はエネルギーを必要とする人間が多いことである。今こそ少子化対策を見直して、日本の人口を半分くらいに減らした方が良い。
18795	個人	自営業	40代	女性	原発ゼロシナリオ	再稼働はしないでください。子供たちに健康な未来を残す為に、原発はゼロにしてください。もっと自然エネルギーを推進してください。 原子力発電所を存続する費用が削減できれば、消費税を増税する必要も無いと思います。
18796	個人	無職	40代	男性	原子力エネルギー(核融合も含め)の使用ゼロを目指して欲しいい。	原子力エネルギーの使用ゼロを目指す事によって、廃棄物の処理に関しても多くの知識が集まると思います。また、省エネ家電製品から都市生活(インフラ)まで、出来上がる製品は諸外国にも喜ばれる技術となるのではないでしょうか？ 自然環境調査などの仕事(パートやアルバイトが主ですが)を転々として来て、年々強くなる希望があります。 人間生活の省エネルギー化と生活区域のダウンサイジングです。 地方での雇用促進や開発のための助成の一部として発電所はあったと思います。 その助成の仕方を変えるチャンスに、今現在はあると思います。 国際経済の動向も手伝って、海外へ輸出品目に日本発の環境保全規格付き製品を考案する事もできると思います。 地方への助成を、自然環境保護活動と自然エネルギー(主に太陽光利用)の設置を目的とする人々に寄与したらどうかと思います。 また、都市部での農耕開発を進めることも好ましいと思います。 経済成長だけを念頭に置いての持続可能社会の構築は難しいと思いますので、エネルギー消費のみに依存する事のない生活をPRして欲しいと思います。 2012年7月24日 （削除）
18797	個人	学生	20代	女性	1．ゼロシナリオを希望します。	節電が大々的に叫ばれるようになってから、空調の設定温度は上がり、照明は暗くなりました。 でも、それで十分だと思っています。まだまだ省エネは可能だと思っています。 地震大国といわれる日本で原発を稼働し続けていたら、また福島原発と同じような惨事が起こってしまう可能性はゼロではありません。 事故が起こってしまったいま、過ちから学ぶことはたくさんあると思います。 未来の子どもたちが二度と同じ過ちで苦しむことがあってはいけません。 自然エネルギーへの迅速な方向転換を求めます。
18798	個人	会社員・公務員	50代	女性	「原発ゼロシナリオ」を支持します。ただし2030年までにでと言わず、もっと速やかにゼロにするべきです。	使用済核燃料の処理もままならない原子力発電は既に破綻しています。 これ以上核のゴミを増やさないよう原発再稼動を停止し、一刻も早く再生可能エネルギーの開発に力を注いで下さい。
18799	個人	無職	70代	男性	色々検討はなされている様だが、これだけの情報からどのシナリオを選ぶか判断せよと云うのは無理だ。 単にムード作りを狙っているとしか思えない。具体的な内容は本論に示す。	○ （震災後の選択）として、2011年6月から議論を開始した「エネルギー・環境会議」で同7月29日に決定した基本理念、即ち原発依存度を低減するとしたことは、短絡的すぎる。原子力は、危険。だから廃止に向ける。このような短絡では無く、何が悪かったのか、安全に扱う手法は考えられないのかという面を、その利点と今までの我が国における貢献度合いを含めて検討する必要がある。 ○ エネルギー・環境会議の（案）冒頭で、家計や製造業のエネルギーコスト、発生する炭酸ガス量などを2010年ベースで掲げているが、震災前後でこの認識を変える必要があるとはどうも云う事か。これ等をそれぞれ減らそうではないかと云うのであれば理解できるし、震災とは何ら関係なく、当然のことである。 　わざわざこれを冒頭に置いた意味が分からない。 ○ 再生可能エネルギーに対する期待が大きすぎる。以下の検討がどの程度なされているのかを明確にしなければ議論にならない。 1．単体での発電コストは時間軸と共にどの様に低下するのか。 2．昼夜・季節によらず安定的な供給は期待出来ないので、電源系統の安定化対策コストがかなりかかると云う事は考慮されている模様だが、ゼロシナリオの費用が他のケースの2倍にも達しない試算は納得できない。極端な話では再生可能エネルギー設備の発電容量と同規模のバックアップ電源を用意しなければならない場合があると云う議論も行われている。 3．節電、各種節約、規制等がゼロシナリオに向けて厳しくなって行くことは、定性的には理解できるが、「どの段階ではどこまで」と云う数量的な目安が無い。これ抜きでは国民的議論に向けた最も重要な点が議論にならない。 　定性的なムード論では何の役にも立たないのは自明である。
18800	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオを選択するべき	原子力発電所は、事故を起こすと発電所周辺60キロ圏内には100年単位で住むことができなくなるものです。 また、事故を起こさなくても使用済み核燃料の再処理技術は確立されておらず、将来にきわめて危険な負の遺産を押し付けることになります。 安全性に問題があり、プルトニウムなど再処理不能な核のゴミを作り出す原子力発電所は無くしていくべきものです。
18801	個人	自営業	50代	女性	原発ゼロを選びます。国民の7割は経済より安全を望んでいるのに規制委員会は推進派ばかりです。委員の人選過程は秘密、国民を尊して、勝手にやって来た結果が福島です。全て公開して、原発ゼロに進むべきです。	原発がこ度と罪人を産むことがないように、新しい制度を作って政治家と官僚と御用学者を処罰できるようにする事が原発ゼロへの近道です。 原発を推進してきた責任者が、責任を取ったという話は聞いていません。スピード進反でも罰金を取られます。罪には罰があるのが法治国です。 理由 国会事故調の結論を待つまでもなく、福島事故はこれまでの原子力関係の人々の無責任な精神構造を露呈していました。謝まろうともしないで　規制委員会などに顔を並べる厚顔無恥な人も居ます。科学が発達して放射能を無毒化する、とか、もんじゅもうまく行くとか、まるで新興宗教のような事を唱えている無責任な学者が原発を支えています。放射能無害神話を根拠に原発を進めるつもりです。「五重の装置に守られているから安全だ」という安全神話は　放射能の害を認めて作られたものです。今、放射能は 漏れた！だから今度は放射能は安全だと言うのです。論理的に破綻しているのに、平気でそういう学説を唱えるのは学者とは言えません。犯罪人です。彼らを牢屋に入れないから、いつまでたっても原発が無くならないのです。 一例をあげておきます。 田中俊一氏; 原研機構理事長、原子力委員長代理、原子力学会会長を歴任、原子力損害賠償紛争審査会においては、最後まで、自主的避難者に対しての賠償方針を策定しようとする能見会長に抵抗。理由は、「政府が避難の基準としている20mSVをゆるがすべきではない」審査会で決まったあとも、抗議文を読み上げ、福島の被害住民や、傍聴者の怒りをかった。住民の帰還基準を20mSVと主張している。 NPO放射線安全フォーラム（原子力ムラの住民たちの立ち上げた団体）副理事 長として、いち早く飯舘村に入り、高線量地区の長泥区長宅に押しかけて除染 を行い、除染土の処理に「これだけ広いんだから谷一つくらい埋めればいい」 と述べた。さらに県内各地で除染を手掛け、JAEAの除染利権獲得に成功、自身 は福島県の除染アドバイザーに就任した。

18802	個人	パート・アルバイト	30代	女性	この3つのシナリオで私が選択するのは原発エネルギー0シナリオです。	原発エネルギー0シナリオを選ぶ理由は、他の二つのシナリオでは脱原発社会を目指せないからです。脱原発を目指すのであれば現在ある原発を全て廃止しこれ以上増やさないというのが前提です。 まず、東日本大震災において起きた事故を踏まえてもまだ原発エネルギーの使用を継続しようとするこの国に対して、これから日本人として産まれてくる子供たちは大人になったときにどう感じるでしょうか？ 近い未来大きな地震が来ることは、毎日の新聞やニュースで報道されていますが、誰が今回のような大規模の地震はこないと、それによって今回のような原発事故が起きないと言えるのでしょうか？？ どんなに偉いひとたちもどれほどの規模の地震がどこに起きるのかさえわからないのに、どうしたら危険極まりない原子力発電の使用を継続しようと思うのでしょうか？　子供にきけばすぐにわかります。答えはNOです。つも遊んでいたいやや大きくなって大好きな人と結婚して子供がほしいと思ったときにどんな人でも原発のような危険な[可能性]があるところで子供を育てようとは思いません。どんなに少ない可能性でも危険なものは必要ありません。100%安全と言えないものは受け入れられません。原発は全て廃止して他のエネルギーに変えましょう。 現在の日本の技術があれば、原発エネルギーがなくても他の電力を使用して電力不足になることはないこともも誰もが知っています。 それなのに、情報操作で原発をなければいけないと信じさせて、原発エネルギーを推進する、そのような態度を続けて、それを見ている子供たちはいったいどんな風に感じるのでしょうか？大人とは何でも自由振る舞えて、発言できるのが大人なのではありません。大人とは、これから社会に出ていく子供を社会に出たときに活躍できるように導いていくものです。でもこの国で先頭をきっている大人は誰のことも導いていません。さらに今は小さて物事が理解できない子供でもあと数年で理解するでしょう。そうなったときに、こんなにたくさんの国民が反対し意見をしたのにも関わらず、やっぱり変わらなかったと、彼らは自分たちの国は自分たちを大事にしてくれないとがっかりするでしょう。 国民のほとんどが脱原発を目指しています。原発の被害によって沢山の人たちが悲しい思いを今もしています。そういう人たちが他の国よりも大勢いるのにどうしてそんな日本が原発エネルギーを推進するのでしょう？？　ドイツなどが日本の被害を見て、脱原発を決定したのにどうして日本は同じことができないのでしょうか？ 私は現在の日本の状況でこのような原発に対する態度は間違っていることを指摘したいのです。
18803	個人	自営業	40代	女性	2030年までに原発ゼロにするシナリオを支持します。 2030年よりもできるだけ早い時期に原発ゼロが実現されることを希望します。	原発はその廃棄物の処理の問題が未だに解決できていない、不完全な技術です。目先の豊かさを追求するために子孫の世代に負の遺産を残し続けるのは間違った文明だと考えます。 もちろん廃棄列島でしかも地震や火山の活動期に入った日本で原発を使うのはリスクが高すぎます。 また、福島の重大な事故を起こしたのですから、海外に原発を売り込むのはあまりに無責任で罪深い行為です。 さらに、核武装の可能性を担保するために原発を続けるのは論外です。 原発をやめて、自然エネルギーと省エネの技術を発展させ、それを今後の日本経済の成長分野とするのが、経済界にも一般人の生活にも幸せな選択と思います。またいち早く廃炉を進めていけばその技術を海外に売ることもできるでしょう。 原発ゼロにするためには国民が負担しなければならないコストや我慢しなければならない不便があるのはもちろん承知しています。我が家では一昨年レベルと比べれば電気使用量を40%以上減らしました。不便と言うより一種の達成感があります。日本の消費財生産は過剰、商業施設も多過ぎかつ空調や照明を使いすぎ 、毎日大量の食品を廃棄している。適正な規模の経済にすればそんなに電気はいりません。便利な暮らしよりも誇り高い暮らしを選びたいと思います。
18804	個人	その他	30代	男性	2030年には当然、原発ゼロにするべき。福島県の多くの方のふるさと、生活の場を奪った原発。 人間だけではなく、たくさんの牛たちも犠牲になった。	2030年には当然、原発ゼロにするべき。 福島県の多くの方のふるさと、生活の場を奪った原発。 人間だけではなく、たくさんの牛たちも犠牲になった。 原発がなくても電気はまかれるのに、一部の人の利権のために原発が利用されてきた。 二度と同じようなことを繰り返してはならない。 いまだに原発が必要かどうかという議論がされていることもどうかと思う。 また、大手新聞社（東京新聞と赤旗以外）やテレビ局などが電力会社からの広告収入を得ているので、原発に関して正しい報道をしていないことも非常に残念。 そのため、原発ゼロというのは難しいと思ってしまう国民が出てしまう恐れも十分にある状態。 しかし、原発によって恩恵を受けている一部の企業以外には原発が必要な理由はなに一つないというのが真実。 原発ゼロの方向に進めていただくことをひたすら願いたい。
18805	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発ゼロシナリオを主張します。ウラン採掘から再処理・処分まで、社会的弱者の被曝を必要とし、経済的にも見合わず、原発から恩恵のない人にも汚染という被害を与えるからです	脱原発依存と言った野田さんは「日本は原発がないと立ち行かない」といいました。これは誰が聞いても原発に依存しているということです。六ケ所の再処理工場の計画が明らかになる前から注視していますが、政府、電力会社のいうことには嘘やごまかしがたくさんあります。 今回の事故でも少しも変わることがありません。3ヶ月で1.3ミリシーベルトを超える地域つまり0.6μSv/時を超える地域には放射線管理区域の扱いをすべきではないですか。これだけの汚染をさせても違捕者が出ないばかりか家宅捜査もないのはなぜですか。放射性物質の放出が止まらないのに収束宣言をし粉塵の上がるような工事が許されているのはなぜですか。 「原発をなくすと主張するなら代替エネルギーを示せ」という言い方もおかしい。強盗が「盗みをやめろというなら盗まなくても金を得る方法を示せ」と居直るようなもの。天然ガスを主として風力・太陽光で補う。夏の冷房が悪者に仕立てられているがこれもごまかし。本当にそうならば夏の暑い日は日差しも強いはずなので、太陽光発電がちょうどいい。昔の日は自動的に発電量を調整する。 原発を止めると電気代が上がるというのもごまかし。電源開発費など原発のために電気料や税金としてわれわれが払っている金額と燃料費がどちらが高いのかを考慮に入れればこんなことは言えないはず。 ところで、このページには個人情報の利用についての記述がないのですが、政府のやることは間違いがないからいいということですか。
18806	個人	その他	60代	女性	原子力発電に反対する一国民です。	原発は個人を挫折、組織を挫折、国家を挫折、自然を挫折、　やがて 廃墟と化した地球は人間の愚かさの証人として、宇宙を彷徨うことになる。 感情論でなく、今目前になすべき事は原発を稼動しないことだとおもいます。 その上で不自由なことがおこれば、国民みんなでその事を考えざるを得ません。 生きるという原点に立ち、一人一人がエネルギーに関してもエ夫を重ねていく。 　そのような道筋をつけて頂けるなら、今の政府を応援できます。
18807	個人	会社員・公務員	40代	男性	とにかく、原子力エネルギー（＝"核"エネルギー）には頼らない（現在、使用中のものは、すぐに廃棄する）ことが重要だと思います。風力・水力などの自然力なものを利用するのが、最も良い方法だと思います。	第一に、『非核三原則』の徹底をはかることだと思います。核"兵器"については、気にしてきましたが、核"エネルギー"については、規制がなくなり容認されてきた点が問題だと思います。核"兵器"はもちろん、核"エネルギー"についても、この素敵な『非核三原則』を守ることが大切だと思います。 　ある試行の結果、有害な物質が生成されることがわかっていながら、試行を悪用してしまうことが、いつも悪い結果を招いていると思います。現実的には、（原発などを含む）工場から出る有害な"煙・"排水"・"放射能"など、生物に害をおよぼすことが、建設する前から分かっていても、ことが進んでいってしまうのがおかしなことだと思います。最後、生成されたものが、生物に悪影響を与えないように"なる"までは、ことを進めるべきではいけずなのに、隠蔽の根源は"経済"だと思います。 　未来の子ども達のために、使用後の処理に困るようなもの【特に核燃料】の使用は、すぐに、やめるべきです。
18808	個人	無職	60代	男性	エネルギー環境会議について　原発比率は%0の0%が望ましいと思う	理由　今回の地震による被害のとうり　福島の現状を見るたびに　この災害の中身を見ていると天災部分のことは日本の置かれた自然環境でしかたない部分があると思うが　原発事故については人災と言えない　放射能というものを人間が操ろうとしていることが間違っているのだ　福島では人間が作り出した原発で今も苦しめられている　我々60歳を過ぎた人たちはもういい　可愛い孫たちに負の遺産を残してはいけないと思う　原発は安全と言うことは信じることは出来ない　原発を動かすことは経済に必要と現野田政権は力説しているが放射能による　環境破壊が起きればお金の価値なんか紙くずと同じ　今の地球に住めなければお金などいくらあっても何の役にもたたない　人間や動植物が生きていける環境があってこその豊かな生活であり経済であるとおもう　原発を動かす費用でソーラ　風力　水力　その他の自然環境にあったエネルギーを生み出すよう推し進めていく方向へ転換して欲しいと思います　日本は地震大国なんです　原発は無理なんです　青い地球　緑の大地　に戻しましょう　ドイツと同じく日本は　原発　０　が必要なんです。
18809	個人	学生	10代以下	女性	原発は0パーセント(＝廃止)にするべきである。	なぜなら、もちろん危険性が高いことは表げられるが、 原発を認めるということは現在福島において問題となっている原発によって膨大な量の放射能が散漫している日本の状況が深刻であるにも関わらず平気な顔をして金のことしか頭にないような東京電力と政府の頭へい体質を許すことになるからである。 私はもうすぐ二十歳になるが、今後の日本が心配で仕方ない。 放射能のせいで好きな野菜もごはんも自由に食べれない。 なぜこんな想いをしなければならないのか、それは東京電力によるミスによってである。 原発はいらない。 こんなことを繰り返したら日本はなくなってしまう。 目を覚ましてほしいです。
18810	個人	無職	60代	女性	脱原発を早急に押し進めるべきです、私どもも出来うる限り節電致します。	●地震国日本でも一度福島原発と同様の事故が起きたら、我が国はお終いです～福島の復旧も、1年4カ月以上経った今も殆ど進んでいません。ごくごく普通の人たち皆が、政府・東電・経団連・東電労組・連合等に怒っています。 ●聴取会での中部電力社員の「福島の事故で、1人も死んだ人はいない」という発言には、テレビのニュースで聴いた瞬間唖然としました。あれが上に記した人たちの本心かと思いますが、実際には非難所や病院で亡くなったお年寄りや子病人、また農業や自営業が出来ず自殺した方、過労で亡くなった原発作業員の方たち、等々たくさんの方の死を無いことにすることです。 ●経団連は「脱原発なら海外に出て行く」と脅しのような言い方をしますが、東南アジアの電力事情は不安定と存じます（人件費だけは安いですが）。
18811	個人	会社員・公務員	40代	男性	福島県では原発事故のため、今も避難し、住み慣れた土地にいつ帰れるかわからず、故郷を離れざる人がたくさんいます。そのような状況にたいして原発を認めることはできません。「ゼロシナリオ」を選択します。	原発は決して安全で、金銭的にみても安価なエネルギーでないことが、福島第一原発の事故で証明されたと思います。将来、安全で安心した生活を確保していくためには、原発以外のエネルギーに変えていく必要があると思います。そのためには、電力会社の独占的な経営を見直し、他社が介入できるしくみにしていかなければならないと思います。また、原発立地地域は原発によって雇用を生んでいることで、原発依存から抜け出せない状態にあると思います。原発立地地域の雇用も政府は生み出していかなければならないと思います。
18812	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発の存続に断固反対し、「原発ゼロシナリオ」を選択します。	自然の脅威の前にいかに私たちは無力であるか、「絶対安全」などありえない、そして一度事故が起きれば手のつけようもない事態が今現実に起きている。命や生活が脅かされてまで、何故原発に頼らなければならないのか？こんな不安を抱えて未来など語れるはずもない。子供たちのためにも脱原発社会を望む以外に道はありません。
18813	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原発は0に!	先の地震, 津波により原発の危険性は十分に認識されました. 原発廃止によって, 経済が伸びなくても, 電気が足りなくなっても, 命に関わる事を最優先すべきだと思います. 原発は廃止してほしいです.
18814	個人	自営業	50代	女性	原発以外の発電なら全てOK しかし、原発だけは許さない	理由は言う迄でもないではありませんか。 福島は4回で沢山だからです。 5回目は要りません。 否、要らないというだけでは不十分です。 絶対に起きてはいけない5基目の原発事故。 再稼動せず、廃炉にします。 次の選挙では、そういう反原発の候補者にしか投票しません。選挙前には反原発、当選後は原発推進をする奴が出たら、リコールします。
18815	個人	自営業	60代	女性	可能な限り至急に、原発0を主張します。	日本は活断層でできているような国土です。このようないわば、火山、地震国に原発は危険すぎる。確実な方法で断層検査が過去実施されたのか、疑問です。
18816	個人	その他	50代	女性	ゼロシナリオを支持致します。ひとつでも一度事故を起こせばどうなるかは、東日本大震災で思い知ったはずです。今、未来のために暮らし方を変えるいい機会がやってきたのだと思います。	ゼロシナリオを支持致します。 原発は、完分コントロールできない危険物をあちこちに置いてあるようなもの。ひとつでも一度事故を起こせばどうなるかは、東日本大震災で思い知ったはずです。いくら、安全に扱えるとしても、絶対地震等で事故が起こらないとは言えないでしょう。「事故が絶対起こらないものはないだろうか」と言う人がいるかも知れませんが、その事故は、ほかのどんなものとも比べ物にはならないほどの被害が出て、それは人類の未来にも大きくかかわってくるようなことです。 安易にエネルギーが得られるからと、国民や、他の国までをも犠牲にしかねない原発は使うべきではありません。その数は少なくなったとしても、その残りの1個で未来が大きく変わってしまいます。今、未来のために暮らし方を変える良いい機会がやってきたのだと思います。安易に楽な原発を取って、未来の人間にその負を譲り渡すべきではないと思います。
18817	個人	その他	40代	男性	日本人ひとりひとりの努力で、原発0%の社会を直ちにつくっていきたい。2030年と言わず今すぐ取り組みたい。	1. そもそも核兵器の平和利用という前提が間違っている。 2. 福島の事故で、天災が起きたら今の電力会社や政府ではコントロール不可能と多くの国民が理解した。 3. プレートの狭間にあり、地震が多い日本に原発は向いていない。 4. 原子力発電は危険であるが故、導入や維持、事故発生時にかかる付帯費用が他の発電方法にくらべあまりに高い。 5. 核廃棄物の問題が解決されていない。 6. 国土や食物をこれ以上放射で汚染することなく、全国の山林と耕作地、河川、海洋資源を後世に残したい。 8. 自分の家の隣に原発があったら、どんなに大金をつまれても私は絶対そこには住まない。だからそんな思いをする人を日本からなくしたい。 9. 日本人の英知を結集し、新しい発電方法とエネルギー政策を創造することで、この難局を突破できると確信する。 以上です。
18818	個人	家事専業	40代	女性	原発依存度0%！ 再稼働はすべきではない。 すべての原発をすぐに廃炉すべきだ。	核は、人に制御できません。 核のゴミはたまり続け、暴走も食い止めることができません。 もっと安全で、人にも環境にもやさしいエネルギーに変える時だと思います。 どうか、国民の意見を聞いてください！
18819	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオを選択すべきだと思います。 0%、15%、20～25%という三択そのものが茶番です。	なぜなら、15%の選択肢に「稼働率が70%程度である場合は二機を新設」という条件が入っているからです。20%～は言うまでもなく、たくさんの新設を含みます。 15%以上のシナリオを設定すること自体、福島の事故後、脱原発に方向転換するとした当時の政府方針「脱原発」という路線から逸脱するからです。 せめて0%、6～7%、12～15%の三択にならば、もっと建設的な議論が可能です。 そもそも論からすると、福島事故の原因や対策も明らかにしないまま、今回のような意見聴取は意味があるのか疑問です。 余談ですが、今回の国会事故調査委員会の報告に基づき、責任者（特に行政側）の刑事責任を問うべきだと思います。万が一の事故を起こした場合には、刑事責任に問われる、という緊張感があってこそ、新しい規制組織の人たちも真剣に仕事をすると思います。
18820	個人	会社員・公務員	50代	男性	産業界のエネルギー不足は、経済の発展に弊害となるとい う主張に反対する。エネルギーを大量に使ってきた日米の発想から抜け切れていない。また、政策がなにもかも日本全国一律でなくてよい。	あまりに大きな国全体の論議をしていると「多様な可能性」に目が向かない。むしろ身近な生活の中からエネルギー問題をとらえたい。それは、単に発電手段の選択をするだけの論議ではなく、自分たちの社会や生活を見直すことになる。昔の生活がベストとはいわないが、あまりに大量生産・大量消費を前提とした社会と生活は、続かないと考えた方がよい。現在当たり前の贅沢な衣食住、そして公共交通機関を衰退させたモータリゼーションが、日本の経済力の前提(GDPを大きくしてきたことは認める)では、高度経済成長期の発想としか思えない。「出るをはかって入るを制す」というが、不必要なエネルギー消費をまず抑えるべきだろう。そうすれば、合理的な送電網の早期実現とあいまって地域に適した小規模な発電設備でことたりるであろう。私の住む地域は、三河山間地を控えた工業地帯である。自動車産業が集積している。工場には、沿岸部の火力発電所の電力が必要かもしれない。田園地帯には、山間部の間伐材を使った小火力発電所を考えよう。山の手入れにもなる。風力も太陽光も小規模なものを適地に立地できる土地の広さもある。中部電力が原発をよめても電力が賄われている現状をみれば、小さな工夫を積み重ねることで、電力不足にはならないと思う。そして、今より必要とする電力消費は減少する可能性が大であることも考慮したい。ともかく、過大な電力消費見通しを振りかざして国民を脅すよりも、分かりやすく国民の生活感覚に即したエネルギーの選択と利用を政策に盛り込んでほしい。原子力政策に投下される財源も人的資源も、すべて自の前にある可能性に振り向けるべきだ。小さなことを大胆に続ければ、新しい社会が見えてくる。なお、私は電力だけでなく、石油を大食いする自動車の利用の抑制も重要と考え、電力問題というよりもエネルギー全般を今回の事故から見直すべきだと考えている。 　原子力発電所について私がかねがね疑問に思ってきたことを一つだけ挙げておく。それは、一基の出力が大きいことと発電所に複数基があることだ。あまりにも巨大な原子力発電所の規模である。確かに火力発電所でも400万キロワットと表示される施設がある。原子力発電所並みである。しかし、巨大な核施設の危険性とは次元が違う。だから、火力発電所は都市近郊に立地できるのだ。原子力潜水艦の推進プラントに原流をもつ原子力発電所は、せめて原子力潜水艦規模で満足できなかったのだろうか。原子力発電所の原子炉建屋やタービン施設の巨大さをみると、無理が重なっていると素人目にも心配になる。配管の長さと複雑さには、震えさえ覚える。原子力潜水艦の推進プラントの規模では効率が悪いから、大きくしたというのなら経済性のみを重んじる態度でしかない。軍事技術とは違うとは、通じない。そういえば、もんじゅのナトリウム冷却炉は、原子力潜水艦でも試みられた。実用に耐えないので、早期に取り換えられている。笑い話ではないが、津波が原子力発電事故の原因というなら、なぜ潜水艦見習わなかったのか。原子力発電所はそもそも原子力潜水艦の技術を利用したのだから。軍事技術とは違い、安全を重視した設計ですと豪語してきた者達は、アメリカ海軍のリコーバー提督に怒鳴ってもらいたい。そして、原子力に携わる者達が、なぜベストを尽くさないのかたずねてほしい。空母ジョージ・ワシントン、空母ロナルド・レーガンが水素爆発直後とった退避行動を考えれば、核の恐ろしさを知り抜いたアメリカ海軍に多くを学ぶべきだとつくづく思ったものだ。
18821	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発再稼働を直ちにやめて、すべての原発を廃炉にせよ。原発の無い社会への方向転換をはかれ！	10万年も処理できない危険な核燃料廃棄物を作り続けるとは、あまりにも科学技術の限界を無視した試みであろう。 　電気が足りなければ再生可能エネルギーに大きく政策転換するべきであろう、それらの目途が立つまでの間は、足りない分は化石燃料で賄うしかあるまい。日本国内にはまだ石炭を掘るという選択肢も残っているし、それらは労働力を吸収するという雇用作用も生み出す。 　間伐材や廃木のチップによる火力発電ならCO2はゼロともなろう。だったら、それら林業に関わる産業を育成しそこで雇用を創出する方法もあるのではないか。 　なぜ本原発を稼働し続ける限り、放射能と言う目に見えない危険物質のために住めない国土をさらに作り続ける可能性もある。豊かで自然にあふれた国土を残さずしていかに国を守るのか。

18822	個人	会社員・公務員	60代	男性	事故が起きたときに、人間が容易に処理できない、また回りの環境を永年汚すこととなるエネルギーである原子力発電は、順次停止し、廃炉にするべき。 風も熱も水も再生可能なエネルギーを使用すべき。	現状の原子力発電所は、トイレのない住居を作っているようなものです。 いつかはトイレも作るよ、と言いながらいつまで経っても作らない。 その原因を聞くと、お金がないやら、安全だからと他愛のない答えしか返ってこない。 政治家や官僚たちには嘘も言う人はいるが、と思ってこれまでは容認していた方たちが、政治家、しかも政権の中枢にいる総理大臣をはじめとした政治家や官僚たちに愛想を尽かしている。と共に不信感の残となっている。 いったん事故が起きたときにも短時間で自然環境が再生できる自然エネルギーを使うべき。 国立公園だから、温泉旅館の反対があるからと、いつまでも火山国でありながら地熱発電ができないのは、無策以外の何者でもない。 官僚たちに任せている限り、官僚OBたちへの利益誘導でしかない。 総選挙で国民に信を問うて、エネルギー政策を論議させるべき。
18823	個人	会社員・公務員	40代	女性	将来的には代替クリーンエネルギーへ変更して原子力はゼロにすべきだが、感情に流されずに本当に必要ならば原子力も暫くは必要。但し各方面からの軋轢に負けず、本当に安全管理が出来るという場所のみ起動すべき。	将来的にはゼロがいいと思いますが、CO2の問題もあり、製造業等の節電対策等はコスト削減で以前から手がけられてきている時勢でのこれ以上の節電は日本の製造業を頭打ちにし、苦しめるだけなので現時点では供給必要量だけは代替エネルギーを確保できるまでは厳しい管理の上で原子力も使用していかざるを得ないと思います。 計画停電は今でも苦しい製造業を更に苦しめ、実施された場合の企業の原料ロスや色々な補償されない被害も考えて頂きたいです。ただエアコンを止めるだけじゃなく、ラインを止める事での製造業の被害は政府の頭にないように思います。中小企業程この被害は深刻だと思いますが？ 節電で暑を失う人や命を失う人が出ないように管理供給するのは政府の義務です。但し、全国の原発のうち、様々な利害関係考慮の上で再始動する原発が決められているのではないかという情報がネット上には流れています。 アメリカ基地周辺であることや大企業等経済連からの締め付け等、そんなものに流されて危険な原発を再開だけはしないで頂きたい。 本当に一番危機管理のし易い安全を守りやすい原発だけを使用し、それ以外のものは妥協せずに始動させないこと。 最近の政治の惰弱さはすでに国民の信用を失っています。 政治家はここで信用回復できるよう、説明、開示、制度のクリーン化、しがらみ等の排除を徹底して頑張ってほしいと思います。 そして、新しいクリーンエネルギー業界を担うメーカー等への投資等、国は国、企業は企業、ではなくこの業界を公共事業として支え、開発を急いで出来るだけ早く原発ゼロ国家を作って頂きたいと思います。
18824	個人	会社員・公務員	40代	男性	原子力発電反対。発送電分離。自然エネルギーへのシフト。	原発の汚染から回復までには、非常に長い年月がかかる。人はミスを犯すものなので事故があってからでは遅い。 まず、現状の問題を解決しておかないと自然エネルギーへのシフトが進まないので、発送電分離を先に実施し、それから、新しい技術、例えばマグネシウムを使用した新しい発電技術を現実のものとなるようにしてまらいたい。新しい雇用促進のためにも、お願いします。
18825	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロ。脱原発。 福島の人たちの将来にわたる不安をどう考えていますか。もし、あなた方が福島におられ、同じ境遇に合っていたらどう思いますか。	原発ゼロ。脱原発。 福島の人たちの将来にわたる不安をどう考えていますか。もし、あなた方が福島におられ、同じ境遇に合っていたらどう思いますか。 広島・長崎の原子爆弾の影響を、アメリカの圧力で日本人に核は安全だと吹聴せざるを得なくて、危険な地震国日本に原子力発電所を誘致させたことは誰もが知っています。 利権に群がるゼネコンが、政治家との癒着を断ち切れずに原子力政策を推し進めていることは、ゼネコンが政治家に献金していることからも明瞭です。 勇気ある政治家は、電力会社、原子力発電所に関わるゼネコンからの政治献金を明確にし、返金し、今後、いっさい受け取らないこと。電力会社、原子力発電所に関わるゼネコンも政治献金をしないことを国民に明瞭にすべきです。 爪に火をともす思いで、節電をしている高齢者がいます。それも国のためにと。 いつ計画停電になって、自宅での人工呼吸器が止まることを恐怖におびえている障害者の気持ちがわかりますか。 電気料金の値上げの前に、電力会社の給料、年金を削ることが先ではないですか。 勝手な電気料金の値上げは断固許せません。 もっと政府が太陽光発電などの自家発電への支援、援助、助成をすればいいのです。政府がそれを推し進めないのは、電力会社、原子力発電所に関わるゼネコンからの政治献金にうま味があるからです。 使用済み核燃料の処理さえ明確でない。何十年にも渡って国民に恐怖を与え続ける原子力政策には未来はあり得ません。 断固、脱原発です。
18826	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発は地球環境からも経済的にもおかしい　核燃料サイクル事業も早く辞めて再生可能エネルギー開発普及に取り組んでほしい	もう原発やめましょう　再生可能エネルギーの開発普及に力を入れてください　第2の福島ができたら怖い　地震活動期に地震の怖さより原発事故の怖さを感じています　本当に怖いです
18827	個人	パート・アルバイト	50代	女性	原発はすぐに廃止してください。	これだけの被害をもたらした原発は もう必要ないと思います。 地震国の日本に原発はいりません。 リスクが大きすぎます。 子供たちの未来を考えると希望が全く持てなくなります。
18828	個人	学生	10代以下	女性	無論、原発0%!!!!!!!!!	あんな危険なものを稼働させるのはおかしい！ 学校で日本国憲法を習ったが、今の日本では出来ていないことが多々あり、とてもショックだった。 政治家は自分しか見ていない。もっと日本国民の安全を確保すべきではないのか。国民一人一人の意見をしっかり聞き入れてほしい。今のままでは未来が不安である。 あなたがたは中学生がここまで言っているのに、聞きもしないのか？
18829	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	「ゼロシナリオ」選択	(1)　放射能は、いったん外に出ると私たちの生活環境を奪ってしまいます。故郷を失った　福島県民のこと、再び他で事故が起こることを考えると、原発をなくすことが絶対です。 (2)　原発を続けることは、将来の子どもたちにどうすることもできない危険な放射能を残します。使用済み核燃料の処理技術も処分場所も不確定な中で、原発を動かしていくことはできません。 (3)　「ゼロシナリオ」を決定し、自然エネルギーの拡大に努力すべきです。それが経済成長にも寄与するはずです。原発立地市町村には新しい地域経済復興の施策を実施することを求めます。
18830	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	「(1)ゼロシナリオ」に沿った政策を求めます。	3・11福島原子力発電所の事故で原発の危険性が明らかになった今、これまで通り原発を推進することは考えられることではありません。 そもそも、制御できると思われてきた「核」は、とても人間の手では扱いきれないものと誰もが理解できることでしょう。 これまで、各地で「核」の事故がありましたが、原発を止めることはできませんでした。 今こそ、全ての原発を止めて、子供たちが安心して暮らせる未来を残そうではありませんか。 三度の被爆を経験した日本人として、脱原発を世界に訴えていくべき時です。 世界は日本の動向を見守っています。
18831	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発ゼロシナリオを選びます。	原発ゼロシナリオを選びます。今回の震災により原子力発電は環境や人に良くないことが、はっきりわかりました。日々明るみになる国と電力会社による事実の隠ぺいの報道についても嫌気がさします。後世の人々のことを考えるのであれば原発のいらない社会を実現してほしいです。
18832	個人	会社員・公務員	40代	男性	リスク、権益、不正、いずれの観点からも、原子力発電はゼロにするのが妥当である	原子力発電は非常にリスクが大きいのは福島の事故を見れば明らかである。原子力ムラで何でも非公開で進められ、一部の人間の既得権益となっている。さらに今になってもまだ、作業員の被爆隠しなどの不正が横行する。原始力はゼロにするのが相当だと思う。
18833	個人	自営業	50代	男性	原発は期限をきって可能な限り短期間で全て廃止すべしと考える。	福島原発事故で、原発は人間が制御できるものでない、もっと言えば絶対に制御できないものだとはっきりした。何らかの理由で大規模な停電が起こり復旧時間が長引けば、福島と同じことが起こる(国外も同じ)。 　原発稼働に要している金額を、他のエネルギー開発費用に充てるべし。 　この場合、電力会社を保護するようなどうでもいい規制や法律は止めてください。日本人の叡智により必ずエネルギー開発が成功し、ひいては外国に輸出することができ、成功した技術等は人の役に立つ技術・製品となり日本及び日本人はが外国人から感謝される存在になることを目指すべきだ。 　原発は、一見理屈が通っているように説明されているが、行き着くところは人間を、国を、地球を滅ぼすこととなる存在であることをはっきり確認しなくてはならない。原発で儲けている企業等には是非、人間の役に立つ技術を開発してもらいたい。出来れば福島の地で技術開発の狼煙を上げて欲しい。
18834	個人	無職	40代	女性	原発は、この世にあってはならないものです。	事故を起こし続けている原発は、この世から一刻も早く消し去る努力に取り掛かるべきです。絶対安全と言っていながら起こした事故が今回のものです。誰がどう責任を取るのですか。取れるのですか。科学の発展、経済の発展、それで一体何を目指しているのですか。人類は本当に地球を滅ぼすために生まれてきた種族ということにしたいのですか。何が愚かで、何が大切なことかすらも考えられない生き物になってしまったのですか。未来の罪のない者たちにまで、日々恐怖と不安の中で生きていくことを強いる権利が私たちにあるのですか。私たちは、既に不安の世界に生きざるを得なくなっています。人々は幸せな日常を過ごしている、便利で快適で満足して、さらに発展を望んで生きる喜びに包まれているとでも思っているのですか。一人一人は、ほんの数十年の短い命を与えられて精一杯生きています。一時一時の幸せが、生きる意味であり、社会の幸せ、世界の幸せなのです。人としての幸せを、便利さや金や権力や物欲の充足と、本当に思っているのですか。気付いたが、勇気をもって間違った夢みを正していく行動こそが、現在もっとも必要なこと。手遅れにならないうちに。真実の声を聞き分ける者になってください。全く簡単なことではありません。大変な努力と苦労がいるでしょう。でも、我々は、正しい道へ向かうための苦労であれば、それこそ、幸せと充実の中で、互いに支え合い、共に生きる喜びに浸りながら必死で乗り越えることができるのではないですか。
18835	個人	学生	50代	女性	原子力発電所の再稼働には反対します。原発ゼロの日本を目指してください。	「原子力発電が安全である」という言葉は、信じられません。チェルノブイリ原発事故の教訓は生かされず、今回の3.11の地震では、福島原発がチェルノブイリ以上の悲惨な状況になっています。 その事故原因の追及も終息もまったく見通しが立たない状況であり、いまだに避難生活を強いられている方々います。 原子力の平和利用はあり得ません。使用済み燃料の処分の方法さえ確実ではなく、捨てることができない危険なものを使いつづけるわけにはいきません。利権や便利な生活、安易な補助金目当てのために、子どもたちの未来を不安で危険な状況にするのはいやです。わたしたちは、安全できれいな地球を子どもたち、孫たちに残したいと思います。
18836	個人	その他	30代	男性	「原発ゼロシナリオ」を選びます。	「原発ゼロシナリオ」を選びます。 原発に関して今後進めて行くにはもう無理があります。 すべて自然エネルギー開発に切り替えてください。
18837	個人	家事専業	40代	女性	原発は廃止すべき。	人間は核を扱えない。使用後の処理方法も確立していないし、地震大国の日本では、いつ大地震におそわれて、危険なことになるかわからない。福島はこれから何十年と放射能におびえて暮らすことになる。他にもこういう場所を作ってはいけない。
18838	個人	無職	40代	女性	原発ゼロを支持します。	いまこのときが、わたしたち人間を含め地球に住む全ての生物のターニングポイントだと思います。このまま原発を推進し続けることは地球の破滅への道です。日本で3.11に何が起こったのか、その結果どうなったのかよく考えるべきだと思います。ひとたび原発で事故が起これば、それは地球規模で影響します。ここからは大丈夫という境界線などないのです。安全神話を信じ切り、便利な生活に慣れ切ってきた自分にもちろん責任があります。だからこそ、いまはっきりと声を上げて原発ゼロを支持します。わたしたち日本人が世界の先駆けとなって、これからの舵の方向性を示していきましょう。原発推進の方々もその心の深い奥底では、危険だとわかっているはずです。その心の声を無視しないで下さい。団体や個人の利益よりも、未来を優先して下さい。健康や幸せ、豊かな自然、何よりどもたちの笑顔を優先して下さい。
18839	個人	自営業	50代	男性	原発は即、廃止すべき。	使用済み核燃料の処分方法もままならず、 活断層、耐震対策はいい加減、 噴と怠慢に まれた国と電力会社に原発を任せるのは、 将来必ず国を滅ぼすことになると信じます。 一日も早く全原発を廃炉にし、再生可能エネルギー利用と研究に全精力を注ぐべきだと思う。
18840	個人	会社員・公務員	60代	男性	(1)ゼロシナリオ「廃炉技術の開発、確立のチャンス到来」を出張 《使命感を持ってプロメテウス鎮魂プロジェクトを》	積立金のある古い原子炉は、廃炉を急ぐべき。現在、福島原発事故のお陰（？）で福島に高放射能環境がある。高放射線量下で機能する機器の開発には最適なはず。一刻も早く、廃炉作業に役立つ機器の開発を急ぎ廃炉作業を確立へ。”事故処理能力”あってこその安全だろう。廃炉技術は、汎用性があり、強力な武器になる。もう一つ地域原発労働者を再生エネルギー開連産業に一刻も早く雇用して。
18841	個人	会社員・公務員	60代	男性	選択肢(1)のゼロシナリオを支持します。	この間の我が国のエネルギー政策は、原子力発電の比重を高める方向で進められてきました。そのために再生可能エネルギーを効率的・経済的に採用する為の研究や開発に国家財政が向けられることはなく、また、民間企業も需要が見込めない状況で再生可能エネルギー関連設備・器機の研究・開発へ力を注ぐことを見合わせてきました。 　選択肢のシナリオ解説は、現在の日本における遅れた再生可能エネルギー活用技術レベルを前提としているため、ゼロシナリオを採用しようとすれば経済性が悪化し、二酸化炭素排出量の減少率も少なくなるとしています。しかし、すでにこの間、脱原発政策を進めてきた諸国の実績に示されている通り、国家事業として大規模かつ急速な再生可能エネルギー中心政策への転換が行われれば、エネルギーを取り出す技術水準が高度化し、採用可能なエネルギーの種類も増加し、国内各地でそれぞれの地域の状況に合わせたエネルギーをより経済的に活用することが可能となるはずです。 　そうした選択をするためには、福島であれほど深刻な被害をもたらせ、今後同様な事故が発生する可能性が否定できない原発依存とさっぱりと手を切る立場にたつことが必要です。中途半端に原発をあてにする立場や政策では、実現できる 再生可能エネルギー中心への転換方針が鈍り、結局虻蜂取らずになってしまいます。
18842	個人	その他	30代	男性	原子力発電は将来の日本に大きな負債を残し、最悪の場合日本に住めなくなるので即時廃止の方針を出してほしい。将来予想される海外からの損害賠償に対応するためのクリーン科学技術振興をしてほしい。	原子力発電のコストは火力発電に対して安いということを言わないでほしい。なぜなら原子力発電のコストは、単なる発電だけのコストでしか考えられておらず、当然含まれるはずの種々のコスト（原子力発電事故の対応コスト、使用済み放射性廃棄物の管理や、日本国土が使用できなくなる機会損失、日本食品に対する安全性が毀損されたことに対する将来的損害等）を勘案すると、日本の将来のためにすべき発電方法ではない。 原子力事故の確率が低いということは認めるが、事故が起こったら日本国土が破滅するような方法をいつまでもするべきではない。確率が0%でないなら、いつか事故が起こることを意味するので、原子力発電所の事故が再度起こることが否定できない。原子力発電をやめる方針を出してほしい。 そして将来的に今回引き起こした事故の損害賠償等が海外で多数発生すると考えられます。現在海外にいますが非常に肩身が狭い思いをしております。放射性物質を処理する技術の振興をぜひ政府に進めてほしい。

18843	個人	無職	50代	女性	現状の選択肢の中では選べない。原発即時停止を求める。原発問題はとかく技術や経済問題にすり替えられて論じられがち、被爆国・被曝国としての立場で倫理問題として考えられるべきだからだ。	原発問題を技術論や経済論にすり替えて論じられがちな現在の傾向に、大いに疑問を感じる。社会学者や哲学者をも含む倫理委員会の提言が重んじられたドイツのように、なぜ日本でも倫理や哲学の観点で論じられないのだろうか？　いや、むしろ、そういう観点を感情論として軽んじる向きがあるように思う。命に関わる問題が数値本位で語られ、多数決まがいの考え方が横溢していることに、恐怖さえ感じる。 人類の戦争の歴史は資源エネルギー争奪の歴史であるので、原子力政策を含む資源やエネルギー問題が一国の経済問題にとどまらず、国際情勢に密接にからんで外交問題と化し、ひいては、最悪の場合戦争につながる大きなリスクをはらんでいることは容易に想像できる。その意味では、エネルギーの安定供給が可能とされる原発は、化石燃料を巡る中東情勢への依存を避けることができ、また、万が一アメリカの核の傘が外れたときに核兵器への転用が可能というポテンシャルを持つため、脱原発依存が大きな損失ととらえる人たちがいることも理解はできる。かくして、原発問題が国家の存亡をかけた一大国家戦略であることは間違いないので、とかく経済論が何より優先される現状を一応理解はできる。さらには、アメリカの核の傘下にいながらにして、核兵器と表裏一体である原発を手放すべきという理論が矛盾をはらんでいるということも承知している。 しかし、国家とは、生命体である国民と、国民その他の生命体や食物を安全に健全に育むことのできる国土があってこそ成り立つのだ。人智では制御できない自然の猛威にさらされ、いつまた暴走するやもしれない原発は、何代にも亘って国民と国土の両方、つまり国家そのものの根底から覆す存在であり、現にすでに脅かしつつあるというのに、なぜ倫理戦が最上位概念に置かれないのかが私には理解できない。遠大な時間をかけて安定を得た地球の生態系のバランスを崩すものでしかない原発は、地球上のあらゆる生命との共存は不可能だ。しかも、原発と核兵器が表裏一体であることや、日本が世界で唯一の被爆国であり、さらには第五福竜丸の被曝、東海村とフクシマの原発事故まで経験してしまったことを考えれば、なおさらのことだ。倫理戦こそ最優先されてしかるべきではないだろうか。原発推進派や容認派は、ヒロシマ・ナガサキの被爆者やフクシマの被災者の魂の叫びを直接聞いてもなお、考えを変えることはないのだろうか。 原発問題を倫理面で考えることが感情的だ、幼稚だ、無知な人間のすることだ！と笑まれ、蔑んじられるとすれば、それ自体が妙である。そもそも、生命体としての人間は、目に見える身体活動と、目には見えないが身体をも司る精神活動として成り立っている。さらに、後者のうち、意識的なものはたったの3%、97%が無意識、つまり本能による行動だという。科学や理屈では説明しがたいその97%の部分で選択する行為やその結果を、3%の部分で悔ると自体が、そもそもおかしな話なのだ。ときには、後者としての本能、直感、霊感、第六感が重大な局面での意思決定に大きな役割を果たし、それが正当な結果を導くことが歴史的にあるにもかかわらず、後者が現行の科学では解明しきれていないという理由だけで軽んじられるのは、実におかしい。いわゆる「胡散臭い」という本能や感覚で行動することが、なぜかくも笑まれるのだろうか。被爆者や被曝者の心情が、なぜかくも簡単にないがしろにされるのだろうか。何十万年という人類の歴史の1%ほどの部分は、生命体としての本能による選択の結果の蓄積であるというのに。芸術作品やそれを生み出す人々の感性には敬意が払われ、実際にそれらには癒されているというのに。まして、原発推進派が根拠としてとかく持ち出してくるデータや数値が東電や政府によって隠蔽されたり改ざんされたりと、信頼できないものであることが明らかになるにつれ、信頼できるものは本能や感性でしかないではないか。 「原発は胡散臭いから嫌だ」という感覚的理由で原発に反対し、デモでシュプレヒコールを叫ぶことを、もし「衆愚の集団ヒステリー」とでもして蔑み、蔑んじるのなら、蔑む側の人々こそ、理屈や数値ばかりにとらわれるのではなく、人間の生命体としての地球生態系での成り立ちや本質に立ち返り、想像力を使って命について考え直してほしい。命と、それを健全に育むことのできる地球環境こそが、すべての前提であるべきことを、そして、被爆者、被曝者、被災者の声を直接見聞してみてほしい。 本能として原発に反発し、次世代の命を必死に守ろうとしている若い母親たちの母性や、体を動かして放射能に汚染された現実と向き合っている人たちの強い意志と努力や、デモに参加して魂の叫びを ぶつけている人たちの情熱…つまり、人間の本能に近いものこそが、日本の国民や国土を守っていく存在であると私は信じたい。その原点にあるものは、日本が世界で唯一の「被爆国・被曝国」であり続ける理想、人道的自覚であるべきだ。そして、奔走する人たちは、もしかしたらもしれないその集団は、大手マスコミが報じない隠された事実や海外からの情報を書物やネットから得ることにより、知識として蓄実に蓄えているということを、蔑んでいる人たちは常意しておくべきだ。
18844	個人	その他	40代	男性	全原発即時停止、順次廃炉。原発稼働は、自然エネルギー技術の開発にとってジャマにしかならない。更に云えば、いつまでも化石燃料をアテにしているこんな話算はクズだ。これは給料の前借りで借金を返す発想だ。	政治家や官僚が〈国家信仰者〉であることは、今はまだやむをえない。だが〈経済信仰者〉であってはならない。 現在のように、政治システムと官僚システムが〈経済信仰〉の上に成り立ち、その〈教義〉の実践を目的としている限り、原発カルトの再興は防げない。 原発がもたらす〈利益〉が、未来からの借金でしかないことはフクシマが明らかにした。途方もなく大勢の人間の未来の生活を売り飛ばすことを条件に支払われるのが原発による〈利益〉だ。 今、原発の稼働を許し、原発カルトの〈神官たち〉に活動の場を与えれば、彼らによる〈未来の搾取〉が再び始まる。そしてこの愚かな所行を、今の政治システムも官僚システムも止めることは出来ない。 ■ コトは原発技術の問題ではないのだ。日本が根拠なく自慢する原発技術など、50年をかけてこのザマである。このままのやり方を千年続けた所で、技術的には何の進展もない。 第一に、最大の課題である放射性物質への対処は根本的には何一つ解決してない。原発技術と称しているもののほとんど全ては、〈釜〉のハナシであり、〈容器〉のハナシだ。原発技術者のやっていることは、赤錆やコレラを、オマルや便所の改良だけでどうにかしようとしているようなものだ。オマルや便所をどんなに進化発展させたところで、それで赤錆やコレラが治療できるようになるわけではない。 第二に、供給電力が途絶すれば爆発する以外ない発電システムなど、技術ではなくただの災害だ。ビルから飛び降りた人間は空を飛んでるのではなく、落下しているのだ。それを「いやアレは飛んでいるのだ」と言い張るのが、原発装置の擁護者たちだ。原発は〈稼働〉しているのではなく、〈爆発〉しかかっているだけだ。山火事を指し、あれは焚火だから安心しろ、と云っているのだ。 第三に、最大の課題である放射性汚染の中和技術（無害化技術）の開発に、原発の稼働はなんら寄与しない。せいぜい、過酷事故で人々の生活圏をむりやり悪魔的な実験場（広域放射能汚染地域）とすることで、科学者たちに放射能被害の実証データを提供するくらいだが、そんなことはもちろん許されない。 原発システムを稼働すること、新たな原発を建設することが、原発の安全性の発展に繋がるという言説はもはや空疎なタワゴトである。絶対に漏れない原発も、絶対に爆発しない原発も、人類は50年をかけて未だ実現していない。イヤ、そもそも、原発に限らず、絶対に壊れない装置など作れないことは、いかな傲慢な人類でもはじめから知っているではないか。原発は壊れる。壊れれば、漏れ、止まる。漏れ、止まれば、それが、過酷事故へと繋がり、放射性物質が広範囲から広範囲にわたって、生活環境を汚染する。 原発事故の問題の本質は、放射能汚染の問題であり、それは原発装置の改良では決して克服することが出来ない。原発の有害性は、放射能汚染物質の有害性であり、その有害性を解決出来ない限り、装置として原発にどんな工夫や仕掛けを施したところで、根本的な解決にはならない。そんなものは、目くらましであり、気休めである。 放射能汚染の問題は、放射性物質の問題であり、それは純粋に物理学によって解決する以外にない。その解決のないまま、配管工的な、あるいは溶接工的な工夫をいくら施しても壊れるときは壊れると当の技術屋が分かり切っている（圧力鍋）の研究開発の為に、危険な原発装置を動かし作り続けることは愚の骨頂である。 ついでに云うなら、〈圧力鍋〉の技術的側面から原発の賛成や反対をやり合うことは不毛だ。反原発の主張は〈圧力鍋〉の完成度を問題にしているのではないからだ。旅客機に喰えるなら、旅客機が落ちるか落ちないかを問題にしているのではない。落ちたとき、乗客が死んでしまうのを防ぐ方法を見つけ出さない限り、旅客機に乗るのは断る、と云っているのだ。 この宇宙の物理法則が変わらない限り、絶対に落ちない旅客機など、今もこれからも絶対に存在しない。落ちて死ぬ可能性を受け入れるから旅客機の利便性は活用できる。原発の稼働は、その「落ちて死ぬ可能性」を受け入れたくないから旅客機には乗らない、と云っている人間を無理矢理旅客機に乗り込ませているのと同じことだ。時間はかかっても俺は船で行く、とか、陸路を行く、とか云ってる人間に対し、イヤ、飛行機の方が速い、便利だから、と云って無理矢理飛行機に乗り込ませる。それが、原発を押し付ける連中のやっていることだ。 ■ 原発問題を巡る対立の病巣は社会システムにある。未来を売り渡すことで今を貪る原発カルトは、〈経済信仰〉という共通の〈教義〉を利用して、政治、官僚、マスコミに深く根を降ろしている。現在の〈経済カースト制〉の中で、彼らカルトを止める者の地位は低く弱い。逆に、彼らカルトを利する者は地位は高く、強い。 人間が薬物中毒になり身を滅ぼすのは、人体がその薬物に中毒を起こすシステムを持っているからだ。意識や心構えや規則や罰則をどう工夫しようと、中毒性薬物を摂取すれば、人間は必ず薬物中毒になる。この国の社会と原発の関係がまさにこれだ。社会（主に〈経済信仰〉に毒された政治システムと官僚システム）を根本から変革しない限り、原発は必ず原発カルトを生む。そして、原発カルトは第二第三のフクシマを生む。
18845	個人	自営業	60代	男性	原発依存度ゼロに賛成。今すぐに大飯原発も停止すべきだ。	福島の問題処理が終わらないうちに大飯原発再稼動した事に対して憤りを感じる。 何としても原発依存から脱却し、安心して暮らせる国づくりをして欲しい。電力供給自由化にし、夫々の条件に合わせた電力供給を可能にするべき。 この頃まで国民の何パーセントが参加しているのか？受理された意見がしっかりと反映されるのか？不明な点も多いが、今後の方針に国民の意見が生かされる事を願って私もここに原発依存反対の考えを述べました。
18846	個人	会社員・公務員	50代	男性	減原子力ではなく、減リスクの視点からエネルギー政策を議論すべき。死亡リスクの点から火力発電の低減は現実的課題。原子力発電の維持と再生可能エネルギーの導入によって火力発電を可能な限り低減する必要がある。	国民の生命を守る為には、減原子力ではなく、減リスクの視点からエネルギー政策を議論すべきである。国民更には人類の生命を守れずして「国民の生活が第一」など有り得ない。化石燃料の使用に伴う大気汚染や資源採掘時の事故、更には地球温暖化による異常気象で多くの死者や被害者が出ている現実を軽視すべきでない。原子力発電で重大な事故が発生すれば甚大な被害を及ぼすと言われるが、火力発電は利用すること自体が死者を伴う被害の元凶となっている。自動車もまた大気汚染の原因となっており、将来的に電気自動車の普及が望まれるが、電気自動車に供給する電力を火力発電で賄うのであれば意味がない。一方、再生可能エネルギーの導入規模には限界がある。エネルギー・環境会議がまとめた「エネルギー・環境に関する選択肢」では、2030年時点での再生可能エネルギーの比率は最大35%とされている。それを実現する為のハードルは極めて高いと思われるが、仮に35%が実現できるとするならば、火力発電によるリスクを低減する為に、原子力発電を維持して、火力発電を40%以下とすべきであろう。なお、再生可能エネルギーにもリスクがあることを忘れてはならない。例えば太陽光パネルの設置やメンテナンスの為の高所作業が増加することに伴い、転落事故による死亡のリスクは確実に増大する。また、1000万戸から1200万戸の屋根に太陽光パネルを敷設し、東京都の1．6倍から2．2倍の面積に風力発電設備を設置して、それらの不安定電源を安定化させるための蓄電システムを整備することによって自然環境や居住環境、廃棄物などにどのようなリスクが新たに発生するのか、誰にも予想がつかない。原子力発電を減らすことが至上命令と化してしまい、原子力発電を止めることでそれを利用すると以上にリスクを高め国民の生命を脅かすような政策を採るようなことがあっては断じてならない。国民的議論を展開するというのであれば、全てのリスク（特に国民の命に係るリスク）を国民の前に詳らかにし、冷静な議論を展開した上で、エネルギー・環境の観点から最もリスクが低いと考えられる道を選択していくべきであり、我が国はそのための知恵と技術力を持っている。
18847	個人	無職	70代	男性	原発ゼロベース案に賛成 30年以内に原発は廃止しその間に自然エネルギーの導入を促進	日本は地震大国であり、設備の経年劣化で危険性が大きくなる。 またニュースで1回のみでだが、アメリカでは航空機の落下に対しても 安全対策が必要とのこと。日本の近くには事あれば、もっと危険なものを 落とせばもっとも日本を破壊するのに有効なものを持っている国がある。 特攻機などより効果があるかに大きい。紀章と言っていたが、今は可能性があるのである。 冬福井の原発がダメになったら岐阜・三重・愛知・静岡の人はすべて どこへ逃げればいいのか。産業もすべてダメになる。 これれてもまた安全に人が再建できる自然エネルギー使用の発電設備が よい。日本の川は外国人から言わせると海だそうだ。エネルギーはたくさんある。
18848	個人	その他	10代以下	男性	原発ゼロを選択。	地震大国の日本に原発があるのはおかしい。放射能で汚染された土地は何十年も元に戻らない。福島の悲劇を他でもおこさないためにも、今すぐにでも原発をゼロへ。
18849	個人	家事専業	60代	女性	福島原発事故の悲惨さは、二度と国民が味わうことがあってはならない。ゼロパーセントを心より願っています。	子子孫孫、真の安全・安心な社会の構築は、今現在の私たち大人の責任です。もっと時間をかけて、国民のための議論を尽くしていただきたい。真のリスクコミュニケーションには、ほど遠いと感じています。
18850	個人	その他	50代	女性	原発はゼロにしてください。	昨年の福島原発事故から1年以上も過ぎているのに、問題が解決していません。 次世代の人々にツケを残す政策があってはならないと思います。 今後も原発を運動し続けるということは、廃棄物の問題を積み上げていくだけです。 人々の暮らし命を、一部の人の利益と交換するのはやめてください。 再生可能100%の安全なものを導入してください。
18851	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	原発については、「ゼロシナリオ」以外にはありえない！	島根県には全国で唯一、県都市である松江市に島根原発があります。市の中心部からわずか10kmのところにあり、万が一事故が生じれば多くの人が危険にさらされ、県都機能を失います。 既設の1，2号機の再稼働、新たな3号機の稼働、フルサーマル計画の実施は断じて許すことはできません。そのため「ゼロシナリオ」を選択し、早期の脱原発社会をめざすべきです。そもそも、日本は地震、津波、台風など自然災害の多い国です。福島第一原発事故は原発の安全神話を崩壊させ自然の驚異を証明しました。いついかなる時に大地震が発生し重大事故につながるかわからず、住民は常に不安を抱えています。絶対的な安全を実現するには原発をなくすしかありません。「ゼロシナリオ」を早期に実現するよう求めます。
18852	個人	その他	10代以下	女性	原発ゼロを選択。	放射能は目に見えない恐怖。原発事故は、この先どういう影響を及ぼすのかわからない状態で、原発を稼働するのはおかしい。節電に取り組むので、原発はなくしてほしい。
18853	個人	会社員・公務員	50代	男性	停止した原発は再稼働せず、即時廃炉にせよ！	原発周辺で生活していた多くのひとびとは、家も仕事も失い、ふるさとを追われ、いつ帰れるかわからない状態です。さまざまな地域のひとびと、とりわけ子供たちの将来を考えたとき、原発再稼働や原発に頼ることない議論ではなく、原発なき社会をどうつくるかという議論をしてもらいたい。 他国との比較での技術衰退や経済のためや利権などための原発はもうたくさんです。 再稼働した原発含めて即時停止と廃炉を。
18854	個人	会社員・公務員	30代	男性	エネルギー問題・原発について	3・11の福島原発事故で、原発の危険性は明らかになりました。原発の危険性から私たちの命を守るには「ゼロシナリオ」しかありません。福島でおきた悲劇が二度と繰り返されないように原発をなくしてください。よろしくお願いします。
18855	個人	会社員・公務員	30代	女性	「エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 すぐに原発ゼロに向かうことを求めます。原発推進に注ぎ込んできた莫大な予算を全て、原発の廃炉・再生可能エネルギー開発の促進に使うべきです。	事故がなくても、大量の放射性廃棄物を生み出し、その処理方法も確立されていない原発は、すぐに廃炉にしていくべきです。日本の技術をもってすれば、自然エネルギーの比率を高めていくことは可能だと思います。未来の子どもたちに核のゴミを押し付けるべきではありません。
18856	個人	無職	60代	女性	1．原発ゼロシナリオを支持する。日本の国土をこれ以上汚すことがあってはいけない。順次減らして美しい日本を取り戻すことが、次世代への最大の贈り物だ。 再生可能な自然エネルギーへの転換を求める。	最近デンマークへ行ってきたが、デンマークでは原発の良い点・悪い点を包み隠さず国民に明らかにして国民の判断を求めたという。その結果、原発から自然エネルギーへの転換を決めた。原発の普及にかけた予算を自然エネルギーの研究にかけていたなら、日本も自然エネルギー先進国になれていたはずと思う。 デンマークでは風力発電機は協同組合方式で国民が金を出して建てている。その見返りに余った電力を国が買うわけだが、もっと民間活力の利用の方法も考えるべき。今のままでは東電や原発関発に携わる大企業に国民の大事な税金を奪われるのみ。そこで働く人は危険にさらされ、地域はひとたび天災が起これば人が住めないことになる、そんな発電方法があっていいわけはない。 東電は、有り余る電力を使わせるため、オール電化住宅など大々的に宣伝し、その宣伝費すら電気料金に組み込まれていたという。普通の企業では考えられないことだ。これだけの発電能力があると伝え、国民はそれに適した生活をすべき。夜中でもこうこうと電気がつく24時間営業のコンビニがそんなに必要なのか。自動販売機は外国に行けば無くて当然である。 原発がなくては電力が足りないという、原発をこれ以上作り、動かすことの理由にはならない。即座に廃炉の方法を検討しないと日本の将来は危うく、国際的評価も下がる。ヨーロッパでは日本と聞くと福島を思い出すと言われた。福島に原発ゼロへ決断を！
18857	個人	自営業	50代	男性	原発は存在自体が非倫理的。必要なし。尚、選択肢はこの3つ以外にも存在する。また、この議論方法には不透明かつ不公正を感ずる。	・原発は燃料となるウランを採掘する現場（世界各地）に於いて既に、そこに住む人々や生活環境を汚染している。稼動時も現場の作業員を被爆させ、或いは今回の事故のようなことがあれば周辺の住民の幸せな暮らしを奪い、世界中に本来必要のない放射性物質をばら撒き、廃棄処理方法も確立されぬまま、経済的負担も含めた何千年もの管理を次世代に育食わせようとしている。ゆえ多少のメリットがあったとしても、このような発電方法は「倫理的におかしい」…と考えるのが「文明社会、文化国家」に生きる人間の正常な感性と感覚なのではなかろうか。 その感性が失われたとすれば、この国は文明社会でも文化国家でもない。ただの蛮族の集団である。 ・掲げられた3つの選択肢のいずれもが「今までと同等、或いは更なる経済発展」を前提に描かれているが、果たしてそれでよいのか。今回の事故による負債を付加しなくとも、今までの行き過ぎた経済活動による地球規模の環境破壊によって、人類には解決しなくてはならない多大な負債が既に存在している。それを真摯に受け止め、解決へ向け既存の莫大なエネルギーを必要とする大量生産やエネルギー大量消費社会から脱却し、新たな価値観と実践による社会形成を行わなくてはならない。それらをこの議論の選択肢に含めるべきである。 例えば原発ゼロ必要以上の経済的豊かさに依存せずとも国民幸福度の高いブータンのような選択肢もあってしかるべきである。いずれにせよ3つのシナリオから選択せよと云うのなら「ゼロシナリオしかない。 ・この議論方法について「国民的議論」と謳ってはいるが、先ず情報が公平かつ適正に国民全般に行き渡っているのか否か、甚だ疑問に感ずる。事実、周囲の知人では、web環境があってもこのパブコメの存在を知る者は僅か。ましてやPC環境の無いご年配や、避難生活によりインターネットを利用できない環境に置かれている福島原発事故の被害者など、情報を知る由もない方々も多い。しかしながら国民的メディアとして機能するTVでの本件の呼びかけや広報は（ほぼ）皆無である。 福島原発事故を受け脱原発の道を選択したドイツでは十数時間に渡る討論をTV放映し方針を決めたが、当事者として日本政府は以上の努力を行う義務があるはずだ。 今回の議論は「多くの民意を尊重した」という規制事実作りや、或いは政策に疑問を持つ国民の口封じを目的とする「おためごかし」になってはならない。 しかし、現状ではそれを疑わざるを得ない。 また、意見聴取会は全国11箇所と少なく、募集期間も短すぎる。その意見聴取会の発言者は、事務局で丸ごはめた合計9名のみなので、恣意的に発言者を選ぶことも可能。不透明・不公正。また会場からの意見や討論は一切認めないという議事進行もおかしい。何のために多くの参加者を募るのかはなはだ疑問である。討論型世論調査に於いても参加者選出の妥当性を確保する方法が示されなくてはおかしい。
18858	個人	会社員・公務員	30代	男性	「2030年には原発ゼロ」をお願いいたします。	日本はその地盤の問題もあり残念ながら原発には向かない国です。むしろそれを逆手に新たなエネルギー開発に尽力し、それをこの停滞した経済復興の起爆剤としていただきたいです。よろしくお願いいたします。

18859	個人	自営業	60代	男性	「ゼロシナリオ」がベストであるが2030年までは無理と思う、 環境問題無視、電気料金アップ覚悟でこれを支持する。	1．2030年までの対応 ・原子力発電所の発電設備と送電設備を活用する、原子炉は停止し 発電機を火力燃料で運転する、発電所は海に面しているので燃料 搬入は可能と考えられる 2．核融合発電について ・25年前ぐらいに青森県の六ヶ所村に原子力発電の使用済燃料の 再利用処理工場、最終処理場建設の時に放射能が出ない核融合に よる核融合による原子力発電「夢の原子炉」があり利用できる までに後50年かかると、と言う話を聞いたことがある。2005年 6月の読売新聞に実用化まで に50年の記事があった。今、毎日 原子力発電反対の騒ぎの時に「夢の原子炉」の報道がほとんど ない、国の機関で研究しているのか？、この環境会議でも話も 出ないのか？、夢は夢なのか？、もう少し情報提供が欲しい。
18860	個人	会社員・公務員	30代	女性	NO NUKES. 一部の権力者のシナリオではなく、国民の意思表示に目を向けて下さい。 原発を廃止するにも時間はかかるのだから、即刻、方向転換の姿勢を示して下さい。	原発のおかげで今まで色々便利だったと思います。 しかし今回の震災で私達は現実を突き付けられました。 そして関心を持ちました。 そのおかげで視野を広く持ち、人任せにしないで自分で考え、意見が固まりました。 NO NUKES. 危険だろうが一部の人の被害で済んで、自分に直接の害が及ばないのなら、そして、目の前に現状維持という 楽(ラク)さ があって、それが特定の方に大きな利益をもたらすのなら、脱原発をする必要は無いのでしょうね、そういう風に見えます。 しかし、『すべて』の国民一人一人を、ひとつひとつの命と認識し、自分の事として大切に思い(もしくは思おうとし)、そのリスクを背いる良心が国政に携わる者に有るのなら、福島を他人事としないのなら、自分が原子力発電所の隣に住む覚悟が無いのなら、そんな危険なものは、原発は全て廃止しましょう。 節電大変！＝要原発、の短絡的な発想を促すような情報発信、 原発以外のエネルギー や経済の可能性を示しにくい情報統制、 そういう事も不信感に繋がっています。 日本に与えられている自然の力、日本人に与えられている知恵や勤勉さ、それらを用い、『原発ゼロ』という、国民の…そして近隣、もっといえば世界の安全、という『優先順位に基づく枠』を、まず設定する、そしてその為にはどうしていけばいいか考えていく、無いなら無いで必ずよりよい方法を見つけ出していくはずです。そしてその事は経済、エネルギーのみならず 人として 豊かな国になるキッカケにも必ずなります。もしかたしらもうそんな事は判っているのではないか、とさえ思います。 頭と心を柔らかくして、多くの国民の声を、責任を持って聞いて下さい。聞かないふり、見ないふりをしないで下さい。原発はどんな説明をされても決して少しも安全では無い。敢えてそういうものを(他にどんな良いと思われる理由が有ろうとも)持つ必要は無い。 原発は全く要りません。 自分の事として考えた時にそれ以外の選択肢がありますか？
18861	個人	会社員・公務員	40代	女性	ゼロシナリオを推薦します。	3.11の際、幕張新都心のビル街からわずか25Km先の市原市の石油コンビナートの爆発を目の当たりした。真っ赤なキノコ雲と共に空高く黒煙が上がった。 もしあれが原発であったなら、千葉県主要都はもちろん、対岸の東京ディズニーランドもほぼ20km圏内で、当然立ち入り禁止区域となっているはずだ。 「原子力発電はクリーンで安全なエネルギー」とうたっていた東京電力のコマーシャルの「大嘘」を国民の誰もが知るところとなった。 更には97年に完成予定だった六ヶ所村の使用済み核燃料再処理工場もいまだ安全に稼働できていない。そこで万一事故が起こった時の被害は尋常ではない。 以上のことから、原子力は命の危険をさらしてまでも必要ではない。停電も不自由も、人間慣れはすぐです。
18862	個人	会社員・公務員	40代	男性	原子力発電所は稼動すべきでないと考えます。ゼロシナリオにするべきです。	色んな方が既におっしゃって居る通り、一度何かが起こると手の施し用が無いものを使ってはいけない。経済も大切ですがそれ以前に安全が大切な筈です。3/11に起こった事は『万が一』の事かも知れませんが結果、放射能に対しなす術が無い事が判りました。色んな問題も有るかと思いますが是非原子力に依存しないような社会作りをお願いします。押忍！！
18863	個人	会社員・公務員	30代	男性	エネルギーの選択を議論する上では、雇用を守っていくために必要な日本の経済成長を考慮することが重要である。日本のモノづくり産業に与える影響も考慮し、議論を進めて欲しい。	今回の選択肢は、日本の経済成長とのバランスという視点が前提条件となっておらず、雇用に大きな影響を与えかねない議論と考える。コスト面において原子力に比肩するような代替策がない中で議論を進め、その結果として、仮にゼロシナリオを選択した場合、日本のモノづくりの国際競争力は一層低下し、多くの国民の雇用・生活に影響を及ぼしかねない。日本のモノづくり産業に与える影響を考慮し議論を進めて欲しい。
18864	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発に頼らない社会づくりの覚悟を、日本のみんなでしていく必要があると思います。	先の震災で「絶対安全」がないことがはっきりしました。今こそ、原発に頼らない社会づくりに向けた能取りが必要なのではないでしょうか、国民も脱原発を求めるならば、その覚悟が必要です。 政府として、国民に呼びかければ、消費税に賛成する国民よりも、より多くの国民が賛成するはずです。何より安全第一。自分たちの代も、次の世代も安心して暮らせる社会づくりをすることが私たちの義務だと思います。 一方、原発によって成り立っていた立地市町村には新しい経済復興の施策を実施するべきです。みんなが危険な原発に依存せざるを得ない、そんな社会から早く卒業したいものです。 日本人みんなの問題として、みんなでとりくむ覚悟を持ちたいものです。政府としてのリーダーシップをお願いします。
18865	個人	その他	30代	男性	本当に人類の未来を考えるのであれば、原発や原子力技術の研究は止めてほいけない。	なぜならば、いつか星は死ぬから。 宇宙戦艦ヤマトを作って、脱出しなければならない。www
18866	個人	その他	40代	男性	原子力発電からはただちに撤退し、自然エネルギーの開発・活用およびそれに伴う法整備などを進めること。	原子力発電はこれまで国策として進められてきましたが、福島第一原発での事故以降、改めて明らかになったように、原子力発電技術は複雑で、様々な危険がつきまとっています。福島第一原発でも、何重もの安全対策が機能せず、放射性物質の流出、という事態が発生しています。また、使用済み核燃料の処理についても、確立されていません。これまでの原子力を加えた「ベストミックス」ではなく、自然・再生可能エネルギーを活用するための技術開発・法整備などにこそ力を集中すべきだと考えます。
18867	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発は危険なエネルギーであり、人類がコントロールできないものであるから、原発をなくすべきである。	原子力発電は、使用した後の処理ができないこと、プルニウムの利用もできていない状況から、将来にわたって、危険な物質を地上に残していくことになり、人類の死活問題になる。それよりも、風力、地熱、太陽光など自然エネルギーを利用したものに転換するべきである。どんなものでも最初はコストがかかる。自動車のハイブリットにしても最初はコスト面で実用化が難しいということだったが、できるようになっている。 国民は、子どもたちに安心の未来を贈るために今どんな犠牲でもできる。できないのは、「国際競争力」といっている一部の大企業に過ぎない。 いまこそエネルギー政策の大転換が必要だ。
18868	個人	パート・アルバイト	40代	女性	原子力発電所はすべて廃止することを望みます。 できるだけ早急に、安全に停止して廃炉にしてください。	使用済み核燃料の最終処分についても、その方法が確立されておらず、また今回の震災で発生した瓦礫についてさえも受け入れを拒否される状況の中で、使用済み核燃料の最終処分場を受け入れる自治体があるのでしょうか。 事の止めの方を知らずに、運転免許は取れるのですか？ 安全な処分方法が確立されるまで原発は封印すべきです。 被爆国、日本において、いかなる形の被爆者も今後いっさい出してはいけませた。 本当に原発がないと生活が不便になるのか？ 国民も本当の豊かさとは、幸せとは何か考え直すいい機会だと思います。
18869	個人	会社員・公務員	50代	女性	原発0パーセントを強く支持します。 原発には未来がなく、未来のない計画は精神を荒廃させます。 電気は自然エネルギーの推進によってまかなうのが、ビジネスチャンスでもあると思います。	東日本大震災で、原発の危険はあらわになりました。また、原発を動かしている人間の「想定」というのがいかに手前勝手なものかも、この上なくはっきりと示されました。 使用済み燃料がたまってゆき、これをどうしたらよいか分からない、今も放射能が洩れ続けて、大気を汚染している、汚染された土地は失った大地となる、このような将来のない事業を、どうして継続してゆけるでしょうか。 すでにフクシマがあったのですから、なかったことにはできません。 今、日本経済は低迷していますが、これを機に自然エネルギーの開発に進んでゆけば、一石二鳥にも三鳥にもなります。 機会を逃して、世界中から笑われる日本になってほしくない。右翼ではありませんが、美しい日本を取り戻し、経済も活性化させたいと思います。
18870	個人	自営業	40代	男性	原発比率を今以上に下げるべきではない	コストが安い。 石油依存＝中東依存は危険。 シーレーンを抑えられる可能性がある。 増殖炉の実用化による自給率アップを図るべき。 Co2その他の排出が抑えられ、また排出物を封じ込めることが可能。 「プルトウニム備蓄」の抑止力を維持せよ。
18871	個人	無職	60代	男性	「ゼロシナリオ」を選びます。他の選択をすることは未来への犯罪ですので、絶対に認められません。	「ゼロシナリオ」を選びます。他の選択をすることは未来への犯罪ですので、絶対に認められません。ゼロ以外のシナリオがあることが信じられません。　　再び原発の重大事故が発生すれば、もう日本で安全に安心して住める所がなくなってしまいます。そして、地球規模での環境汚染は極めて深刻になるでしょう。 日本は地震の大活動期に入ってきていると云われています。今後20年以内に原発の重大事故のおきる確率は100%だと考えなければなりません。2030年に原発がゼロではだめです。それでは手遅れになる危険が極めて高いのです。明日でも全ての原発の稼働を停止して、廃炉の作業に入るべきです。待ったなしなのは野田某の云うような消費税の増税ではなくて、原発の即時停止です。　　原発を停止すれば火力(天然ガス・石油・石炭)を増やさなければならないので、二酸化炭素が増えて、地球の温暖化につながるとの意見もあります。でも、よく考えて下さい放射能と二酸化炭素のどちらが危険なのでしょうか。二酸化炭素は植物の生育にはなくてはならぬものですが、放射能は極めて危険だけで何の役にも立たません。このことは私の幼稚園時代でも、判断が出来ました。だいたい温暖化といいますが、私の感じでは2000年以降は温暖化に感じることが少なくなり、逆に寒冷化に感じることの方が多くなっています。今は太陽活動の低下等寒冷化の動きが指摘されています。もう八つの一つ覚えのような地球温暖化を騒ぐのをやめるべきです。もっと冷静に温暖化・寒冷化の議論を深めるべきです。 ところで、この3つのシナリオですが、前提になる考えに地球温暖化はあるが、放射能の危険性の考えが全くありません。何という恐ろしいシナリオなのでしょうか。まともな人間の考えることではないです。 二酸化炭素地球温暖化説は原発を推進するための方便とも言われているくらいです。 最優先すべきなのは速やかに原発を停止して、天然ガス等の火力に置き換えるべきです。大飯3、4号機を稼働後、関西電力は多くの火力発電所を停止しました。電気は足りていたことが証明されました。効率の悪い石油火力をやめて、効率のよい最新式の天然ガス火力にすれば、二酸化炭素は大きく増えることはありません。 火力発電にすれば、二酸化炭素が大きく増えると思っている人が今でも多くいるようですが、最新式の火力は熱効率がよく二酸化炭素の排出が少なくなったといわれています。逆に原発の方が発電の時の二酸化炭素の発生は少ないが、ウランの採掘・燃料棒での加工等で多くの二酸化炭素を排出しています。 再生可能エネルギーに変えながら原発を少なくしていくのではダメです。また、原発の重大事故がおきてしまいます。全ての原発の即時全面停止・廃炉をすべきです。 原発ゼロ後は、県次化石燃料への依存を減らすことは重要です。本来3つのシナリオは原発をゼロ後にどのように化石燃料への依存を減らし再生可能エネルギーを増やしていくのかの議論であるべきでした。 原発への依存を減らすことと、化石燃料の依存を減らすのを並行的に考えることは間違いです。 なお、この原発ゼロシナリオすでの再生可能エネルギーの比率ですが35%ですがもっと増やすことが可能ではないでしょうか。 再生可能エネルギーにいろいろな選択肢を考えて、これまでの既成の観念にとらわれるべきではないでしょう。 原発の原料となるウランの埋蔵量は化石燃料の埋蔵量に比べると遥かに少ないのですが、そのことを知らない人が多すぎます。こんなエネルギーにこれまで依存して多くの核廃棄物を生み出してしまいました。無害化に10万年以上かかるという核廃棄物をこれ以上増やしてはなりません。 原子爆弾の技術を応用した原子力発電の「原子力の平和利用」というまやかしが、2011年3月11日以降よく見えるようになりました。 今、我々がやらなければならないのは、原発を全てやめることです。そして廃炉にすることです。このことに総力を上げるべきです。そして、我々が目指すべきは地球上のすべての原発・核兵器を廃絶することです。
18872	個人	自営業	50代	男性	再生可能エネルギーの比重をもっと増やしてもらいたい。そのうえで原発 の比率を早い段階で出来る限り0%に近づけてほしいです。早い段階の原発0%を大前提にエネルギー環境問題を国民的に話し合うべき。	原発依存度は、2030年など遠い将来の話ではなく出来る限り近い将来に0% にしてほしいです。今現在でもほとんど大飯原発以外は稼働していなくても電力問題はないと思います。よく経済的な事を言う人たちがいますが、特に私が感じている範囲では、GDPの低下や税収不足からの財政危機に対する国債の格下げも騒がれるほどでもない様子だし。今夏の関西電力管内の電力不足もある程度対応出来ると思われます。 実すらに去年の東京電力管内で実施された計画停電なる我しの電力不足設定より拡大させて企業が電力不足を理由に海外移転をするかもしれないとか、現在海外移転を踏躇している多くの会社を引き留める口実に利用したりとか、ありとあらゆる方法で既存の電力会社を存続させて改革を先送りしたい人々の為に安全面や使用済み核燃料問題など重要問題が少しも解決されていないのに何もないかのように振る舞う政府を到底容認出来ません。 先日NHKスペシャルでも紹介されていました。福島第一原発2号機の惨状や4号機の未処理核燃料物質の処理に かなりの時間を要するなど甚大な事故を起こしてしまった日本の原発を再稼働させるのはかなり難しいと思います。今になって各地原発で活断層が発見された事や令後益々大地震などと天災が予想される日本には やはり初めから原発は無理だったのです。これからは、今ある原発が地震や津波の被害に遭わないように対処、処理するほうが先決です。東北地方からは風力発電、各地域の地熱発電、メガソーラー発電、小水力発電など全国どこでも再生可能エネルギー発電出来る日本は資源の宝庫です。原発再稼働よりも送電線の融通性を高めたり、送電ロスをなくすなど日本の技術を強化する事こそに力を結集して頂きたい。私にも福島県に知人や友人がいます。その人達の声をまず一番に聞いてもらいたい。きっと彼らは、被災者がもうこれ以上出てもらいたくないと思っているはずです。広島や長崎の被爆経験者の方々もNOと言うでしょう。その様な人々の声を無視してはいけません。財界や政界、実業界の大きな声だけを聞いてしまう上必ず過ちを繰り返します。小さな声ほど耳を傾けてもらいたい、官邸前のデモには、まだ参加出来ていませんが是非参加したいです。最近は、デモに参加する普通の国民が確実に増えています。東京電力や地域独占をしてきた他の電力会社はもはや時代遅れなのです。たとえ電力自由化や原発0%がすぐには実現しなくてもスマートメーターの早期普及による原発以外の電源を個人の自由選択によって使える様になる日が一日でも早く来る日本になってくれることを節に願っております。　　以上
18873	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発セロシナリオを選びます	原発ゼロシナリオを選びます。原発の危険性は、地方の過疎地に設置している事から明らかです。原発が安全でクリーンであるならば、大都市の中心に原発を設置するべきです。危険な原発に依存しない方法を、難しくても考えていきたいと思います。
18874	個人	パート・アルバイト	30代	女性	2030年の原発依存度は0パーセントであるべきです	理由その1：使用済み核燃料の処理についても未だどこに処理場をつくるのか、まったく決まっていない。今現在も原発敷地内にどこにも行き場のない使用済み核燃料が増え続けている。日本国中のあちこちに危険物質がばらまかれている状態で、このままでは第二のFUKUSHIMAが起きかねない。 理由その2：原子力発電所の電気は安くない。原子力発電所でつくられる電気は安くありません。理由1で述べた使用済み核燃料を10万年お守する費用、そのための電力、原発事故が起きた時の保障の費用等全く考慮に入れられていません。 理由その3：原子力発電のエネルギー源であるウランは石油石炭よりも埋蔵量の貧弱な燃料である。それが恒久的エネルギーになりえるわけがない。 理由その4：核燃料サイクルは夢物語。即刻、もんじゅは廃止するべきである。これまで何兆円もお金をつぎ込み、一度として成功したことのない核燃料サイクル。他国もどんどん撤退していく中、放射能を多量に放出する(1日で通常の原発の1年分の汚染を大気中にばらまく)もんじゅなど、即刻やめるべきです。
18875	個人	無職	50代	男性	選択肢自体に問題が有ります。原発の使用量を決めるのではなく廃棄するべきです。 使用量0%でも不十分です。 その決定後に、どのような発電方式の割合で行くかの選択肢を提示してください。	自然災害に起因したとは言え、原子炉事故は取り返しのつかないものになることが証明された。 この事故の原因は未だ明らかにされていない、従ってどのように政府が対策をしたと言い張っても、次の事故が起こらないという保証はない。また、事故後の対応(情報隠し)の責任追及や改善手段も明らかにされていない。この体質を引きずって、原発を再稼働するのは許されない。 そして、核廃棄物は確実に後世への負の贈り物になる。核廃棄物を減らせるのは時間のみで、人為的に減らすことは不可能である。であれば、核廃棄物をこれ以上作らないために、原発を止めるべきである。 原発を止め、中に入っている核燃料や核廃棄物をすこしでも安全なところで管理するために、原発を廃棄するべきである。 命が最優先で後に、エネルギー・環境に関する選択肢を策定するべきと考える。 さらにパブリックコメントの取り方にも問題が有る。従来の放送や新聞広告を通じて、パブリックコメントを収集していることを宣伝しないと、実施したと言う「官僚的」実績だけで実際の国民的な議論に発展しないと懸念します。
18876	個人	その他	70代	男性	本来選択肢などを設けずに意見を求めるべきだと思うが、しいて選択せよと言われれば原発の比率は0パーセントにするべきだと思う	昨年の福島原発事故で明らかになった「日本でも過酷事故」それも世界の原発事故の中の最悪の事故が「世界でもっとも安全」と言われ続けてきたこの日本で起こったことに対する原因究明が出来ていないことで、不十分なことなど国会の事故調査報告でも政府の調査報告でも指摘されている。国会の調査報告では事故の原因が津波だけでなく地震によるものであることも疑われていて現状の津波対策(それも不十分ずぎるほどだが)だけでは地震対策が出来ていないこと。 事故原因に付いては天災だけでなくて人災であることも指摘されている。 いま福島第一原発4号機でもっとも恐れられている使用済み核燃料の処置方法がないままに、こんごも稼動をすることは「トイレのないマンション」に住み続けることと同じで、やがては日本国全体が巨大な使用済み核燃料の保管庫になってしまいます。 政府は一刻も早く原発ゼロを決定し、再生可能な自然エネルギーの開発を早めるべきだと思います。 もう一度言いますが、地震列島といわれる日本で原発は一刻も早く全てを廃炉にすべきです。
18877	個人	自営業	30代	女性	2030年には原発がゼロであってほしいです。	自然エネルギーで補足できると思うからです。 放射能におびえて暮らすのは嫌です。 安全に暮らせる権限がほしいです。

18878	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロとしつつ温暖化対策目標を更に強化したものを支持します。 選択肢として示された、『ゼロシナリオ』の強化版的なものになります。	◆原発比率 ・比率は『ゼロシナリオ』を支持します。今回の福島での事故調査委員会の報告でも 分るように、固定観念や想定外等明確にできない事も多く、結果、生じるリスクが大きすぎると考えるからです。(子供や孫の世代まで影響を与える) ・推進派や電力会社の言う様に、本当にリスクが無いのであれば、東京の都心や人口密集地に原発建設できるはずで、過疎地に建設している事からもリスクが有る様に思うからです。 ・次は想定外では済まされないと思います。 ◆温暖化対策 再生可能エネルギー利用をより政策的に推進して、温暖化対策の目標UP出来ないでしょうか (1)火力発電への過多な依存⇒再生可能エネルギーの推進で、火力比率の低減 ・世論を武器に、送電分離を早く進める推進させる事を期待します。 ・新規の住宅建設時や、一定規模以上の工場の屋根には、太陽光発電を義務付け(国の補助) (2)省エネ不足 発電と共に重要になる省エネについての目標設定をより高くして、強力に推進して もらう事を期待します。 ⇒国として強いリーダーシップでの推進を期待しています。
18879	個人	自営業	50代	男性	今すぐすべての原子力発電を止めるべきである。	非常にリスクの大きい原子力発電を大規模に発電を行うよりも小規模の自然エネルギーによる発電に変換すべき。原子力の開発に巨額の費用を費やすよりも自然エネルギーによる発電の開発に投資すべき。
18880	個人	パート・アルバイト	60代	男性	2030年には原発での発電を0にする。 もっと早くでもよい。	原発由来の核廃棄物の処理が出来ていない。 原子力発電を推進している人が真っ当な考えを持ってるように見えない。 そもそも、原子力の専門家の原子力を扱う能力と人間性に疑問がある。
18881	個人	その他	70代	男性	ゼロシナリオ。東電福島第一原発の事故による放射性物質の拡散は、福島県を中心に多くの人命を危険にさらしている。原発に頼らない社会を世界に先駆けて構築することが、事故を経験した日本の歩むべき道と思う。	絶対安全で、万が一にも事故など起きないといわれてきた原発が、東日本大震災で施くも破壊され、爆発事故を起こしてしまった。この事故により、膨大な放射性物質が拡散し、16万人を超す人々が故郷を追われ、農漁業者や戦光業者は風評被害にその生業を奪われ、子を持つ母親は放射線被曝の恐怖に怯いている。私たちは、絶対安全などあり得ないことを、東京電力福島第一原発の事故でまざまざと知らされた。核エネルギーは、それがいったん暴走してしまうと人間の英知をもってしても制御が困難であり、むしろあらゆる地球上の生き物にとって、危険極まりないものであることを知ってしまった以上、人間の欲望を満たすための手段として、原子力エネルギーへの依存を可能な限り速やかに止めるべきである。 むしろ、燃料電池や再生可能エネルギーへの依存度を高め、そのために必要な新しい技術を開発することによって、日本の成長戦略に繋げていくべきである。一方で、省エネルギー技術をさらに発展させ、少ないエネルギーで産業や社会生活を維持発展させることのできる新しい文明モデルを構築する。 アルビン・トフラーの『第三の文明』ならぬ、『第四の文明』の構築である。ここにこそ、新しい成長戦略と成長モデルにつながる可能性が秘められていることを認識すべきであろう。 つまり、人類は自然の一部であり、自然との共生を通じてのみその存在が保障され、持続可能な社会(サスティナブルコミュニティ)が実現できるのである。
18882	個人	会社員・公務員	40代	女性	「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張	エネルギー環境に関する選択肢に対する意見 「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張 《即原発ゼロへ。弱者の保護を優先》 大飯原発、志賀原発、敦賀原発。ほぼすべての原発直下に活断層。日本の多くの地震学者の共通見解は「巨大地震のサイクルに入った」。2年程度の計画停電も受け入れよう。ただし、病人、被介護者、子供、老人は守らなければならない。
18883	個人	家事専業	60代	女性	「原発は即刻廃止して下さい	地球を助けてください　人類を助けてください　日本人を助けてください 地球を壊さないで　人類を壊さないで　日本を壊さないで
18884	個人	パート・アルバイト	60代	男性	将来的には(10年くらいの間に)原発を廃止すべきと思います。	福島の原発事故の原因究明ができていないうちに、いつの間にか原発の再稼働が行われ、なし崩し的に全ての原発の再稼働を目指しているような状況に危惧を持っています。 福島の事故原因の徹底的な究明と、責任の所在を明らかのすべきと思います。 過去の石油危機の際に、官民を挙げて省エネルギー技術の開発に挑んだ結果、 日本は世界トップレベルの省エネルギー技術の国となりました。 この経験を生かして、脱原子力の技術開発に全力で当たれば、将来は脱原子力技術のトップに立てるものと思います。 現在の在り方は、あまりに安きに流れているのではないかと思います。
18885	個人	学生	20代	男性	再稼働反対。	人の命をカネで買うな。
18886	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	「ゼロシナリオ」を希望します！！	「3.11福島原発事故」で明らかなように、原発の危険性から私たちの命を守るには「ゼロシナリオ」しかない。 原発を稼働し続けることは、将来にわたって危険な放射能を残すことであり、使用済み核燃料の処分技術や処分場所も不確定な中で、原発を稼働させることはありえない。自然エネルギーへの政策転換を図るべきである。 放射能汚染は、長期間にわたって私たちの生活環境を奪ってきた。故郷や雇用を失い、「命」が脅かされている福島県民のことを考えれば、原発をなくすことは重要であり「ゼロシナリオ」しか選択肢はない。 福島原発事故の教訓から「ゼロシナリオ」を決定し、自然エネルギーの拡大に努力すべき。原発立地市町村には新しい地域経済復興の施策を実現することを求める。
18887	個人	学生	10代以下	女性	原発利用を中止すべきではありません！節電により熱中症などで命を落とす人(原発事故死より多い)、不況の中にさらに企業が苦しみは増し日本の国が弱まるばかりです！これ以上日本国民を苦しめないで！	確かに原子力の威力はすさまじいものだと思います。原発に反対している人たちは福島の事故で苦しんでいる方、また戦争で傷を負った広島、長崎の方、その親族の方が主だと思います。 しかし、今原発を無くしてしまうと日本そのものが無くなってしまうのではないですか？ということを私は反対している方に訴えかけたいのです。 中東では戦争が起きるか起きないかの瀬戸際ではありませんか。日本は火力発電の燃料を中東からほとんど輸入しているはずです。原発をなくし、火力発電を主力にしたときに戦争が起きてしまえば日本の電力はどこから供給されるのでしょうか？ また、経済面でも不況に輪をかけるように増税増税と言っています。増税をして好景気が続いたことがこの歴史上あったのでしょうか？アメリカはちゃんとインフレ政策を打ち金融緩和をしています。今の日本の政治家は頭が悪いのではないですか？私は経済学部でもなんでもないですが、学生の私でも分かります。そのような状況下で節電なんてとんでもないです！！ また、日本の国だけで原発を廃止したところで放射能による被害が全くなくなるわけではありませんよね？隣の中国では200機ほど原発を計画しています。その内の一機でも事故を起こせば偏西風が日本に向かって吹いているのですから、同じことです。日本国内の廃止よりもお隣の国に原発の廃止を促す方が先決なのではないかと思います。 日本の原発は、日本の技術者たちは優秀です。今回の事件の祭も対応がよく世界各国からその対応について学びに来たくらいです。自信をもっていいと思います。中国は原発といいつつ核開発を進めていくはずです。それは日本に向けられる可能性がとても高いものです。防衛という意味でも日本も原発を廃止せず、むしろ核の開発をした方がよろしいのではないかと思います。 まだまだ、勉強不足ではありますが一日本国民として日本の繁栄を望んでいる次第でございます。
18888	個人	会社員・公務員	20代	男性	原発依存は近い将来0にすることを目標に今すぐ動き出すべきです。	真夏の最大需要電力の時期に足りなくなると報道されていますが、疑問です。足りるという主張の本も読んだ事があります。とにかく電気が足りない、コストが安いなどの理由で再稼働を進めていますが、納得の行く根拠が全く説明されていません。大飯原発を再稼働させた野田政権に強い憤りを感じています。このまま原発依存の政策を掲げる政党は絶対に応援できません。 電気不足の話題で真っ先にやり玉にあげられるのが、国民の生活に密着したエアコン等の家電製品であることに強い不信感を感じます。 日常的に使う電力よりも、まず大工場を抱えている企業などに節電させるルールを設定すべきではないでしょうか？各家庭で使用される電気をはるかに上回る電気を消費しているはずです。一人ひとりの良識に訴えるやりかたで「原発再稼働しようがないか」と言う世論を創りだそうとしているとしか思えません。 原発の問題は全国民的に議論されるべき問題です。 多くの国民がフラットに原発の未来、日本の未来を考えられるような情報公開と考える為の場を提供してください。
18889	個人	家事専業	30代	女性	原発の削減反対です。	原子力発電をなくて、同じほどのエネルギーをつくりだすことは、自然エネルギーではまだまだ補いきれないと聞きます。それよりも、安全対策を徹底するほうが良いのでは。 また一番の理由は、原発が国防の役割を果たしているからです。それをご存知の政治家の方は結構いらっしゃるはずですが…、原発をなくしたら、中国・北朝鮮に国をとられる可能性はかなり高くなります。なぜ、政治家やマスコミが、原発が国防の役割を果たしているのだということを、もっともっと伝えないのか疑問でなりません。 チベットなどのように、中国の自治区の一つに日本がならないことを、切に祈ります。そして、日本を日本人を中国に売らないで下さい。どうか守って下さい。私も自分にできることをやっていきます。 加えて、尖閣諸島も必ず守って下さい。宜しくお願い致します。
18890	個人	会社員・公務員	70代	男性	原発の再稼動は関電の2機にとどめ、節電とクリーンエネルギーの可及的速やかな開発を前提に原発比率は一両年で完全にゼロにしたい 生産の海外移転はこれ以前からの問題で、原発問題が決定的ではないと考える	エネルギー・環境に関する選択肢 ロシア(チェルノブイリ)、アメリカ(スリーマイル)と違い安全と言われた日本の原発(福島第一)も大事故を起こした。 日本で今考えられる次の三つの選択肢から、安全性第一で(1)を取りたい。 (1)安全性第一 原発の再稼動は今回の関電の2機にとどめ、節電とクリーンエネルギーへの代替を可及的速やかに進める その間、節電で賄い切れないピーク時は火力で補い、化石燃料使用による若干の経済的負担とCO2排出は認諾 ⇒原発比率は2013～14年で完全にゼロになる (2)CO2問題を最重視 今ある原発の使えるものは使い、その間にクリーンエネルギーの開発を可及的速やかに進める ⇒2030年の原発比率はクリーンエネルギーの開発テンポ進展如何となる (3)化石燃料使用の経済負担を忌避 原発は使えるものは今後も使う(新設までは考えないが、老朽化による更新はあり得る) ⇒今後の原発比率はクリーンエネルギーの開発テンポとそのコスト低減成果如何となり、2030年の原発比率は一元的に決められない
18891	個人	その他	60代	女性	原発は今後「0パーセント」しか考えられません！ 日本の原発を0パーセントにして、自然エネルギーに移行していく道を歩みましょう。地球に安全で、雇用促進にもつながる道を選択しましょう。	原発は0パーセントにする。他に選択肢はありません。 「日本の原子力技術は進んでいて旧ソ連のような事故は起きない」という安全神話が昨年3月11日に崩壊しました。原発がクリーンで安全ということが実は神話だったのです。 福島原発事故の原因究明も補償もなされていない段階で大飯原発が再稼動されてしまいました。故郷を追われ家も仕事も失った福島の人たちをみていると、「次は自分かもしれない。自分の子や孫が同じめにあうかもしれない。」と不安におびえながら、活断層が全国にひろがる地震国で、これから生きていかなければならないのでしょうか。 大飯原発には、事故を起こした福島原発にあった免震棟もベントもフィルターもありません。恐ろしいことです。 戦後、新しい平和な国を創ろうと人々がどん底から這い上がったように、今日本は大きく変わり、自然エネルギーの分野で世界を牽引できるくらいに発展する転換地点に立っています。国際的な犯罪ともいえる放射能をまきちらした責任を取るというのは、実際に地球環境を考えて自然エネルギーへと転換する道しかないのです。 ウランやプルトニウムが人体に影響がなくなるには、何億年もかかります。そのような途方もない未来へ、負の遺産を押し付けるものを最低これ以上生み出してはなりません。原発で儲けている電力会社や財閥、そのおこぼれに預かってきた人たちと政府は今後一線をひき、真に国民の安全な暮らしと命を最優先にした道を選んでください。
18892	個人	自営業	30代	女性	エネルギー・環境に関する選択肢 原発依存度0シナリオを選択します。	私は原発依存度0シナリオを選択します。 もう作ってしまった原子力発電所を使用しないということはとても経済的には損失であることは十分に理解できます。 しかし、原子力発電はその危険性、廃棄物の処理や様々なコストを考えると時代遅れのエネルギーシステムだと言えます。 今回の事故を機に、その他のエネルギー源で国内の電力をまかなえるよう、開発、発展していくべきだと思います。地力や風力、水力、太陽熱の再生エネルギーを効率よく電力に変えるシステムを構築すれば、日本が世界の中で胸をはって先進国だと言える日がまたくるのではないでしょうか。 私は専門家ではないので無責任なことは言えませんが、2030年までに0にしないという選択はやはり考えられません。ドイツは事故後すぐ0にしたのにも関わらず、どうの事故当事国が2030年までに15パーセントやましては25パーセントという事故前と同じ数字にする取り決めをするとは、原発を推進している事故前となんら変わらないのではないでしょうか。再生エネルギー開発への資金も減ります。 現行エネルギー計画では2030年には45パーセントの計画になっていました。その時に事故が起きればもう後戻りは出来なかったかもしれません。今ならば可能だと思います。可能だからこそ、0パーセントの選択肢を設けたわけですから。
18893	個人	パート・アルバイト	50代	女性	原発ゼロにしてください。 再稼働は反対です。	人間の手に負えない放射能で、これ以上　地球を汚したくありません。 自然や命に負荷をかけないエネルギーで、必要以上に電気を使わないで、暮らしていきたいです。 そのために、技術や智恵を使っていくべきだとおもいます。 これだけの事故があったのに、原子力に頼るのはおかしいです。
18894	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	福島原発事故により故郷や雇用、生活環境も失われた福島県民のことを考え、私たちの命と地域での生活を守るには「ゼロシナリオ」しか選択肢はなく、自然エネルギーの拡大に努めるべきです。	2030年の原発依存は、0%「ゼロシナリオ」を選択するべきです。原発事故の影響の甚大さは、今回の「3.11福島原発事故」で明らかとなりました。現在の科学では、放射能汚染の状況を事故前の状態までにすぐに回復させ、影響のない状態にすることはできないと思います。それなのに、これまで政府は事故が起きた際の対応を説明するのではなく、事故が起きないための方法の説明をし、「原発は事故が起きないから安全だ」というような説明をしてきていました。 ですが、今回、福島原発事故では事故に対しての対応が十分に行われたとは言いがたく、事故後1年が経過しても多くの人が住んでいた土地を離れ、避難生活を余儀なくされています。そして放射能の汚染を除去して事故前の状態にまで回復する技術が今の社会にないことは、現在も避難生活が続いていること、風評被害などで多くの地域や人々が苦しんでいることからも明らかです。さらには使用済み核燃料の処分技術や処分場所も不確定なままです。 そもそも自然災害によって原発事故が発生する可能性は、「限りなくゼロに近い」のでしょうが、ゼロではないと思います。福島原発についても自然災害によって原発が事故を起こす可能性は、限りなくゼロに近かったのでしょうがゼロではなかったから、結果、東日本大震災によって福島原発事故が発生してしまいました。 もし、これから先の未来に向けて原発を残して稼動をしつづけることは、将来にわたって原発事故が起きる可能性を残すことになりますし、使用済み核燃料の処分技術や処分場所も不確定ななかで、今も処理できていない使用済み核燃料や放射性廃棄物をさらに発生させることにもつながります。 東日本大震災のような大きな災害という0は、人の想定を超えたところで発生して大きな被害をもたらすものです。今回の福島原発事故も想定を超えた範囲の震災が原因の一つなら、人の予測を超えて起きる災害に対して原発の安全性を確保するのは不可能です。そして原発事故が起きてしまった際は、事故前の状態にまで回復する技術が今の社会にはありません。 福島原発事故により故郷や雇用、生活環境も失われた福島県民のことを考え、私たちの命と地域での生活を守るには「ゼロシナリオ」しか選択肢はなく、自然エネルギーの拡大に努めるべきです。 原発立地市町村には、新しい地域経済振興の施策の実現を求めます。
18895	個人	会社員・公務員	50代	男性	私は、2030年の原発依存率0%「ゼロシナリオ」を選択します。	原発を続けることは、将来の子どもたちに危険な放射能を残すことになります。使用済み核燃料の処分技術も不確定な中で、これ以上使用済み核燃料を増やすことはできません。また、巨額な資金を投資したプルサーマル計画も不安を残したままです。 さらに、近い将来、大規模な地震が日本を襲うことが想定されます。その中で、原発の安全性を確保することは不可能だと考えます。放射能漏れ事故は私たちの生活を奪ってしまうことは福島で経験したはずです。「ゼロシナリオ」の他に私たちの安全を確保する道はないと考えます。

18896	個人	家事専業	60代	女性	原発は、全面的に反対です。 福島が収束の見通しがたってなく、 世界中の人も 4号機が 危険と隣り合わせなこと知っています。 原発は、一基もいりません。	3.11以後、放射能で東日本全体が汚染され その中で、生活していること考えると 今も涙が出て止まりません。 命より大切なものはありません。 電気も、何も、いりません。 欲しいのは、安全な空気と、安全な食べ物 安全な大地だけです。 どうかよろしくお願い致します。
18897	個人	家事専業	50代	女性	3つの選択肢ではなく、即刻、日本中の原発を廃炉にして、原発以外の安全なエネルギー供給システムを確立すべきと考えます。	政府の提示した3つの選択肢はすべて2030年時点のシナリオであり、それまでの18年間に東日本大震災のような、あるいは、それを超えるレベルの地震と津波が日本のどこかで発生する可能性が無いとは言えません。専門家の最近の分析でもその確率が高い海域があると指摘されています。今後日本中の調査が進めばそのような危険地帯がもっと多数見つかる可能性があるとのことです。そうなった場合、今現在、狭い日本の国を取り囲むように立ち並ぶ40基以上の原発が一切故障すること無く、100%過酷事故が起こらないという保証はありません。国会や政府の事故調査委員会でも、結局、福島の原発事故の真の原因解明はできませんでした。つまり、地震だけでも原発事故に繋がる可能性はあるわけです。その上、事故後の対策も不十分であり、国民や国土を守るための所謂救命ボートも十分に備えられていないという現状で、いつ制御不能の原爆となるか分からない危険な原発を再稼働させることはあまりにも無謀で国民の安全・健康に生きる権利を踏みにじる行為です。 原発の場合、原子炉本体は頑丈に作られていても、その周りの機器は脆弱であることも判明しました。つまり、原発はほんの小さな故障と、そして、少しの人間の判断の遅れや間違いでも、即制御不能に陥り、昨年の福島第一原発事故のような取り返しのつかない悲惨な大事故に繋がってしまうのです。日本のおとなは冷静な思慮を失い、人間としての慈愛の心を捨て、自国の大勢の大切な子ども達を経済成長と国家安全保障の名の下に被爆させてしまいました。美しい日本の自然を半永久的に汚染してしまいました。今こそ、このことの重みを日本人は政治家、官僚、大企業の経営者というような肩書を取っ払ってしっかりと受け止めなければならないのです。そして、二度とこのような愚かなことを繰り返さないよう、国民一人一人が知恵を絞り、行動し、日本の未来を守らなければなりません。 福島原発の事故原因の究明は今後も継続されると信じていますが、人災だったかどうかに関わらず、人間のすることに完璧はないのです。人間はどんなに優秀な人でも間違えるものです。その人間が作る物、そして、操作するものにも当然完璧なんてないはずです。ならば、地震の巣の上に建つ日本の原発は即刻廃炉にするべきです。まずは、即時原発0から新しい一歩を踏み出すべきです。私達の大事な国の未来を壊すためではなく、守るために国民一丸となって知恵を出し合い、行動を起こし、お金を出し合うべき時だと思います。すでに、地域分散型の自然再生エネルギー産業を早急に創設・拡充するためにあちこちの自治体も動き始めています。私達の脱原発・節電意識も高まっています。（2030年時点での節電率が20%前後との試算になっていますが、この数字はあまりにも低すぎます。） 現在の日本中の草の根デモが示しているように私達国民は気づいたのです。日本は決して自立した平和な国なんかではないことを、そして、子ども達を守るのは自分達なのだということを。私達は同じ日本人同士で無益な対立をしている場合ではなく、子ども達の未来を守るために、一緒に協力してこれからの困難を乗り越えて行かなければならないのです。 そもそも原発には、途方もない長期間生命に危害を加える放射能を放出し続ける核物質を燃料とし、その危険な廃棄物の最終処分場もないという、生物の存続を脅かす致命的な問題がある以上、地球上から原発をなくすべきと考えます。その上にのっても、日本も自然と共生できるグリーンエネルギーの分野で技術開発を優先し、現在の地球破滅への道を突き進む世界の潮流を持続可能な方向に転換させるために貢献すべきであり、今こそ、勇気を持って決断をし、行動を起こす時であると考えます。 昨年の3月15日、私の住む松戸にも放射能雲はやって来ました。私は何としてでも娘を守るという一心でネットからありとあらゆる情報を捜し、安全な水や食料を求めて線量が異常に高いことを承知で毎日あちこちを走り回りました。その時、街中では普段と変わらない人々の行き交う姿がありました。マスクもなす、赤ちゃんをベビーカーに乗せてゆっくりと歩くお母さんもいました。私もすぐには何が起きたのか自覚できませんでした。福島はもちろん、関東・東北のほとんどの地域で今も被害は継続中であり、この先3年後、5年後、10年後にどんなことが起こるのか考えると怖くて、そして、無念でたまりません。 ゆえに、私はこれ以上将来世代の未来を悲惨なものとしないよう、責任ある大人として、子を守る母として即時原発0からの新しい出発を覚悟を持って決断したいと思います。即時原発0シナリオを前提に国民すべてが参加して今後の日本の新しい国造りについて議論が尽くされることを切望します。
18898	個人	自営業	40代	女性	原子力発電所はすべて廃炉にすべき。	停められない理由が100あるなら、停められる理由も100あるはず。 停めようとしないだけ。 それに関する諸問題は、良くも悪くも"頭の良い"人達がたくさいるので必ずなんとかなるはず。 原発による電気が無くても生きていけるけど、 自然が破壊されたら生きていけない。 今までも十分に破壊してきた。 それを黙認もしてきた。 けど、今まで黙認してきたからといってこれからも同じというわけではない。 物事も、世界も、人も、科学も、ぜんぶ進化している。 考え方を変える時。 世界が日本の動きに注目している。 歴史に残るかっこいい選択をしてほしい。
18899	個人	会社員・公務員	50代	女性	原発は止めて欲しい。	原子力発電所は人間が作ったものですが、人間の力では制御できないものだと思います。放射能で地球も生命も汚されます。
18900	個人	会社員・公務員	20代	女性	(1)原子力依存ゼロシナリオの推進 (2)人々が自由に電力供給元を選択できるシステムの導入（スウェーデン型）	(1)原子力依存ゼロシナリオの推進 理由 ・福島原子力原発事故を通じて、当事故の最大の被害者は福島県民の子供たちと現場作業員であると痛感しました。さらには、住民の方々は代えがたい福島の自然をも失いました。たしかに、原子力放射能を下げるにあたり、高コストがかかる点、CO7排出量削減に逆のく点は大きなネックとなります。しかし、それらよりも人命が最優先されるべきなのではないでしょうか。原子力発電のメリット（コスト安、CO7排出量小）とデメリット（事故発生時のリスクー身体への影響、生態系破壊）を比較衡量した場合、デメリットがあまりに大きいことを今回の事故が提示していると考えます。 ・感情論的ですが、どうかこれ以上の犠牲者・犠牲地を日本国内において出さないでください。地元を捨てざるをえない人々の生活の上に、私たちの豊かで安価な電力生活が今なおあると思うと申し訳なく思います。今回の事故を教訓に、コストの問題も含め、国民全体で責任をとるというスタンスで原発依存ゼロに取り組みたいです。 (2)人々が自由に電力供給元を選択できるシステムの導入（スウェーデン型） 理由 これまで、電力供給元に対する意識が非常低かったと思います。どのようにして現在供給されている電力が我が家に来ているのか、ということを意識するためにも供給元を自分で選べる仕組みをぜひ導入していただきたいです。火力エネルギーや再生エネルギーなどエネルギーの種類に対する関心を持って自主的に環境に配慮した選択をすることが、電力だけでなく普段の生活の省エネ意欲につながると考えます。
18901	個人	会社員・公務員	60代	男性	原発ゼロシナリオ 福島原発の廃炉が完了して社会的費用を含めた原発の発電コストが分かるまで、新たな原発建設は中止すべき。本当に重要な事項はそれくらい時間をかけて決定した方がよい。	原発ゼロシナリオを望みます。 1．発電コストが低いというのが原発推進の口実でしたが、それが真っ赤な嘘だったのが分かったのが今回の福島原発事故でした。事故以前も原発推進の法律を作っての国費投入と、廃炉と放射性廃棄物の処理費用を計算から除外していた東京電力と原子力村の住民は全く信用を失っています。直接的な廃炉費用、原発推進で投入された国費、福島の地域社会と住民に対してかけた負担の精算、超長期にわたる環境汚染の予防の費用をすべて合計して、原発の発電コストを算出すべきです。そのとて、原発を継続するかどうかの決定を行うことが望まれます。それまでは新たな原発建設は中止すべきです。それだけ重大な問題で、慎重な判断が望まれます。 2．一般論として、様々な領域で日本社会が今後採用する技術を選択する場合があると思われますが、重厚長大な技術よりも、地域分散的で、環境や社会への負担が少なく、問題が分かったときに比較的容易に後戻りのできる技術が望まれます。それが、安定した、暮らしやすい、個々の人間を尊重できる日本社会を作るのに必要だと思います。
18902	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発は即刻全廃すべき	事故が起きた場合に被害がどこまで広がるか予測がつかない。 使用済み核燃料の廃棄も決まっていない。 どうしてもエネルギーをまかなえないからとの理由で再稼働させているが、短期的には天然ガスで代替可能である。
18903	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発はゼロシナリオへ。太陽光などの自然エネルギーへシフトする。企業の電力使用にも規制を。残業規制L8時間労働を遵守させる。深夜営業や自動販売機等も規制をしても困る人が減り、規制をかければいいと思う。	首相、政府は、東京電力福島第一原発の事故が、終了と宣言しましたが、警戒区域を設けることや、マスコミ報道を素人が見ても「終了」とは思いません。原発は、事故がなくてもつかえば、それに比例して処分に10数万年処理に日がかかる核のゴミが出ますし、事故がおきれば今回の原発事故にような悲惨なことになるからです。 8時間労働制の遵守は、概要に書いていますが、電力使用を減らす方向からもまた、失業者や貧困者の解消からも1石2鳥と思います。
18904	個人	自営業	40代	男性	脱原発をお願いいたします。 国民一人一人に原発に代わりえるものを一緒に考えたいです。	私は、単に原発反対だけを謳っているのではなく、 私一人でもやすぐ取り組めるものとして、 Forward to 1985 energy life http://to1985.net/ を取り組んでいます。 この運動は、豊かで人間的な暮らしができる、究極の省エネルギー社会の創出を目指し、家庭でのエネルギー消費量と電力消費量を1／2以下にしようとするものです。 つまり自分の意識改革かなと思います。
18905	個人	学生	40代	女性	原則、原子力はフェイドアウトで0にする。	1、環境に配慮された新エネルギーが十分に確保される。 2、原子力関係者様の原子力に変わる新事業への目処がたつ。 3、核燃料・施設の適切な処分方法が確立される。 上記の3つが整うまでの期間、どうしても足りない分だけ稼働する。という柔軟性は取れないのでしょうか？ 1について現在は未だ十分であるとは言い難い状況のように見受けられます。 2について出来るだけ失業者を出さずに転換するため。 3について核燃料は本来どこにも捨てられる場所は無いのではないでしょうか？ 私が無知であるのかも知れませんが、地中埋設と言ってもこの地震大国で目先の処理ではいけないでしょう、海へ投棄する訳にもいかないのではないですか？ 放射性物質によっては1万年以上に亘反応を続けるものもあると聞きます。 現在の技術で1000年単位迄核の廃棄が可能になったという様なお話も聞きましたが、それでも1000年です。 捨てられないのであれば、専門家の目の届く所で厳重に封印・管理し、何かあれば（地震等）直に適切な処置が施せるというのも一つの手段ではないでしょうか？ 封印の方法については国民への専門家の方の十分な説明の元に決定・実行される流れを取るのはいかがでしょうか？ 急務であっても、焦ったために後々大変なことになるのでは困ります。 そして、そもそも生命にとってリスクの高いエネルギーは0にすることが望ましいと思います。
18906	個人	会社員・公務員	60代	女性	政府は、脱原発を選ばずして国民からの信頼を得られることはありません。 原発依存0%「ゼロシナリオ」を選択すべきです。 政府は被災者に冷たい。国民の心がホッと温かくなるような施策を示してほしい。	私は、民主党に期待して来ましたが、沖縄問題から始まり失望ばかりさせられてきました。 民主党が生き残れるか否かは、この原発問題にかかっていると思います。 脱原発に向けて国民みんなが支え合い助け合っていこうというメッセージを待っているのがわかりませんか？！
18907	個人	会社員・公務員	40代	男性	段階的に原発を廃炉にし、原発の比率を0%にするとともに、それ以外でエネルギーのベストミックスを行う。 既得権益や政府のプライドを捨て、真摯にエネルギー戦略を考えよ。	原発は、一度事故が起これば取り返しのつかない事態に陥ることは、今回の福島の事故で十分わかった。天災であろうが人災であろうが起こってしまった事実は変わらない。 にもかかわず、政府および経団連は、短期的なことしか考えず、原発の稼働を推し進めようとしている。確かに、経済や経営のことを考えれば やむをえないことは分かっている。しかし、「福島で放射能で死んだ人はいない」という理由で、原発の稼働を推進する意見を述べる電力社員の発言を聞いてもわかるように、短期的な理由ばかりを全面に押し出して、経団連は原発の稼働を主張しようとしているところに問題があるのだ。自分たちの既得権益あるいは、自分たちのポジションを守ろうとするために、こんな子供だましの意見をまじめに主張していることにあきれてものが言えない。 政府、経団連は、自分たちに有利になるように発言しているということを意識した上で言っているのならともかく、まるでそんなことを感じていないかのように、「福島で放射能で死んだ人はいない」などといっているようだ。つまり、自分たちの発言がポジショントークであることに気付いていないということだ。国民はこのことについてはちゃんと見透かしているのだ。 これは「今主義」だ。今よければ、後はどうなってもよいという刹那的な考えだ。 既得権益に安住しようとしている「ムラ」の存在が日本全体を覆いつくし、短期的な考えが長期的な考えを封じ込めようとしているようだ。 マスコミもしかり、政府しかり、政治家しかり、企業しかりである。 われわれ力のない一市民が声高に叫んでみたところで、自動車にちっぽけな虫がぶつかっても進路は全く変わらないごとく、変わらないことは分かっている。 だからこそ、せめて、政府は、企業は、日本全体のことを長期的に考えた上で、 話って欲しいのだ。 冷静に考えると、エネルギーのベストミックスは重要であることは明らかだ。火力だけでも、水力だけでも、太陽光発電だけでも、風力だけでも地熱だけでもだめだということは、資産のポートフォリオ理論と同様に考えれば明らかだ。経済のポートフォリオ理論の結論は、リスクを分散させれば全体としてのリスクは減少するという理論だ。しかし、原発のリスクはどうだろう？ 原発のリスクは、ほとんど無限大だ。一度大事故が起こると、他の発電所のようではないのだ。いったん大事故が起きると、そこの住民が避難し、住民の生活が奪われることが分かっているのに、そんなリスクが無限大の原発をエネルギーのポートフォリオに組み込んでもリスクは減少しない。 それだけではない。マスコミも政府も企業も、原発の一番の問題点をいっていない。あるいは意図的に触れていない。すなわち、使用済み核燃料の問題や、もんじゅをいまだにやろうとしているところだ。現状では、軽水炉を中心とした燃料サイクルがうまくいっていない。政府、経団連は知らんぶりだ。 これも、短期的にしか物事を考えられないところからきているのではないだろうか。 現時点で、原発は段階的に廃炉の方向でいき、その他のエネルギーのベストミックスでエネルギー戦略を考えるべきである。日本海側にもメタンハイドレードがあると聞いている。そして、そちらの方が取り出しやすいと聞いている。そのことに関しても、太平洋側のメタンハイドレードに投資していたから、日本海側はプライドが許さないなどという考え方でなかなか日本海側の開発をしようとしなかったそうだ。これは、まるで、もんじゅをせっかく作ったのだから、なんとか結果を出そうとしていることとよくも似ている。 このことを見ても、日本のエネルギー戦略は既得権益とプライドに阻害され続けているのかもしれない。 政府は、自動車の排ガス規制のごとく、企業に対して原発の電気を使うことに対してペナルティーを与えるなどして、徐々にその他の技術開発を促進するような環境作りをすべきだ。いきなり0%にするのではない、段階的に0%にするのがよい。 私は、原発は今まで日本の高度成長期を支えてきた電源であった。これには感謝すべきだ。しかし、今回の事故が起きて、さまざまな社撰な体質が原発サイドにあったことが多くのマスメディアで取り上げられた。さらに、冷静に考えると、日本に建設されている原発のたった4基の事故が起きただけで、居住可能な地域が大幅に減っていしまい、ふるさとが奪われるのだ。ということは、今後100%事故が起きないというあり得ないことが保障されない限り原発をこのまま稼働することは避けなければいけない。このことを政府は、経団連はわかっているのだろうか？ 原発のリスクは無限大だ。無限大の危険性をもつ原発をエネルギーのベストミックスの一つとして組み入れることはもはやできないのだ。 新しいエネルギー技術のイノベーションを促進するためにも、政府は比率を段階的に0にすることをアナウンスすべきである。
18908	個人	パート・アルバイト	50代	女性	原発ゼロを希望します。	福島のことをまだ収束していない上に、同じような災害が起きた場合に、安全を確保できるかどうかもわからないのに、原子炉を再稼働するのは危険です。自然エネルギーを活用する方向で考えてほしい。責任は東京電力にあるのに、電気代の値上げをするのはおかしい。私たちには選択肢がないのです、独占企業ですからね。 今すぐにでも行動に移してほしいです。
18909	個人	パート・アルバイト	30代	男性	原発減らして熱中症続出！	「原発が減ること」によって、「夏の電力不足」が起こることが心配です。 それによって、「熱中症で倒れる人が続出すること」が予想されるからです。 原発を減らさないほうがよいのではないか？と思います。

18910	個人	家事専業	30代	女性	選択肢としてあげられた三つのシナリオのうち、賛成できるものは 原発ゼロシナリオしかありません。原発は絶対に反対です。	福島の原発事故以後、生まれたばかりの息子を育てるのに あまりにも過酷な環境を強いられました。日々、拡散する放射能に脅え、 内部被曝に脅え、通常の生活ができなくなりました。 原発事故直後に福島に住み続ける選択肢しか持てなかった 同じ幼子を持つ母親達の絶望を考えてほしいです。 福島原発の事故でどれだけの幼い子供達が殺人的な放射能を浴びせ続けられたのか考えてほしいです。今も尚、子供達の健康は日々蝕まれ続けています。子供達の未来はすでに奪われてしまったも同然です。 去年の3月11日以降、福島原発の状況は何も変わっていないのです。 これから生まれてくる子供の健康を蝕み、子供達の未来を 奪う原発はもう日本には必要ありません。 原発を根絶するのは今しかありません。
18911	個人	無職	60代	男性	直ちに原発を零にせよ	東京電力福島第一原子力発電所の壊滅的な事故に対応できる人は、世界中に誰もいないことが明らかになった。放射能の放出を止めることが出来もしないくせに、解っているような説明にならない会見が行われるだけで、落胆と怒りで一杯です。野田総理は再稼動後の事故については責任を負うと言っていますがどんな責任をとるつもりなのか理解できません。福島県の事故の責任は誰もとっていないではありませんか。大飯原発及びそれ以外の原発で事故が発生したら言葉で責任はとれません。放射能拡散により日本が壊滅しますよ
18912	個人	会社員・公務員	50代	男性	核(原子力発電所)と人間は共存することが出来ないものです。	原子力発電を続けることは、私たちの子どもたちや孫の世代に大きな負の遺産を残し続ける事になります。そして事故や自然災害によって、いったん放射能が外に出てしまうと、今回の福島のように住み慣れた故郷を捨て、生活を捨てる事になります。私たちの生活環境を守るためには、原子力発電をやめることが最も賢明な選択であり、そのためには「ゼロシナリオ」以外考えることが出来ませんな。
18913	個人	会社員・公務員	40代	男性	(1)ゼロシナリオに賛成。	(1)ゼロシナリオに賛成。「福島原発事故を踏まえた見直し」というなら、「原発の安全性に対する保障」が完全でない限り、ゼロシナリオを根本に据えて、今後のエネルギー・環境の方向性を決定するのが当然だと考える。
18914	個人	会社員・公務員	50代	女性	原発依存0%　脱原発社会の実現を！	日本は、地震がいつ起こってもおかしくありません。そんな国で原発を推進することは考えられません。私たち国民の安全は、脱原発しかありません。自然エネルギーへの転換を考えていくべきだと考えます。
18915	個人	その他	40代	女性	原発ゼロシナリオを支持します。 ただし、今すぐゼロに！！	原発の安全神話がこれほど明確に崩れ去った今、なにを根拠に、残る原発が2030年まで安全に稼働すると言えるのでしょうか。 昨年の東日本で、みなが協力し合って節電し、夏を乗り越えたその努力を、西日本の人も分かちあうことが、なぜできないという思うのでしょうか。 政治の無策、今原発再稼働のための論議に使っている時間とエネルギーとお金を、即刻風力発電やソーラー発電、ありとあらゆる代替エネルギーの開発に向けて、使うべきです。 日本人は、昔から創意工夫でさまざまな困難を乗り越え、新しい技術を開発してきたのではないですか。 政治家が正しいリーダーシップをとり、日本の産業界を正しい方向へ導くならば、日本はこの危機を乗り越えられるだけでなく、今後の世界のエネルギー政策のリーダーにもなれるでしょう。 外国に怪しげな原発を売りつけるのではなく、安全で安心な代替エネルギーを全力で開発し、日本全国に広め、そして全世界へと広めればよいのです。 ピンチをチャンスに変える、そういう発想が今必要なのではないでしょうか。
18916	個人	家事専業	50代	女性	何故、何百万年も消えることが無いと解っている物質を、この地球に産み出し続ける事が平気なのか・・・理解できない	どんなことでも思い通りになると思っている人類、コントロール出来ないことが有ってもあたりまえ！って、何故思えないのでしょう？ 人間は核を制御できません、できない以上、それは手を出してはいけない領域なのではありませんか？ 私たちの子孫に放射性廃棄物の山を丸投げして、「時代の進んだあなたたちなら、放射能除去装置を発明しているでしょう？」とでも言うつもりですか？ まさか、宇宙戦艦大和でイスカンダルまで、放射能除去装置を取りに行こう！なんて、本気で思っていませんよね？ 原発の再稼働を認めた人々が、大したことないと思っている様に思える、福島の事故・・・ それで私たちはそこに住むことも出来ず、遊びに行くとすら躊躇してしまう状況になってしまったのです 住む家を、故郷を失うことの悲しさがお解りにならないのでしょうか？ 今後大きな地震だけではなく、あまりにもずさんで人任せでだらしない原発に、どんな災害・事故が起こらないとも限りません そうなった時、又住む場所を失ってしまう人々を、大勢産み出すつもりですか？ 勇気ある撤退を！ 処理できない核のゴミ 一旦事故が起こったら、計り知れないダメージをまき散らす原発 経済に与える影響？それこそ人類皆で知恵を出しあえばいいのです 少しの不自由や不便と、人類が地球というかけがえのない星を失うと言うことでは、比較にならないでしょう 本当に人類が地球に住めなくなってしまうと言う事態を招いてはいけないのです 私たちが生きている間の話ではないもんね！ と言う、どうでも良い話ではないのです 私たちの子孫が、私達先祖を恨むような種をまいてはいけないのです 原発には絶対反対です！
18917	個人	無職	60代	男性	今すぐに原子力発電を0にするのは無理としても、出来るだけ早い時期に0と するようにするべきである	原子力発電の安全に対しては以下の問題が考えられる 1. 発電によって発生する放射性廃棄物の処理方法が確立されていない 2. 再処理施設が完成の目途がない 3. 日本で本当に最終処分場が建設できる安定した地質の場所が有るの か？ 4. 火山国で地震国の日本でそれに対応した構造物を莫大な費用を費やし　て作る価値があるか 5. これから将来の日本は現在より電力需要が大きく増加は考えられない 以上の理由により出来るだけ近い将来に原子力発電を0として再生資源エネルギー等の報告に向かうべきである
18918	個人	自営業	40代	男性	電力の大半をまかなっている原子力エネルギーをなくすなど、このままでは日本は滅びますよ。左翼マスコミの反原発バカ騒ぎもいい加減にして欲しいです。	いま集って原発をなくそうとするのは、明らかに中国政府の方が情報操作的に利口で日本政府は愚かということ。福島第一だって、津波の想定が甘かっただけですよね。それでも被害は最小限だったのですからもっと政府として国民に自信を鼓舞したらどうですか？世界一の技術力を持つ日本人を、中国政府の工作にまんまと乗っかって滅ぼそうとする政府は歴史に間違いなく汚名として残りますよ
18919	個人	家事専業	40代	女性	脱ではなく、前向きな卒原発を。急がば回れ！	私は卒原発を目指すべきだと思います。 原発をやめるということは、決して後ろ向きではない。 昨日までの日本では機能不全に陥っているからこそ、この状態から抜け出せないのです。明日へ向かうための第一歩です。 原発の新設は当然なし。これからの日本は廃炉も産業とし、海外に売り込みます。 現存する原発やもんじゅはすべて地震や災害やテロの専門家が中立的な立場で精査し、使っても良いと判断されるものだけ使用。 あとはすべて廃炉とし、廃炉技術の研究に活用。 20年後には火力（自前の資源・日本海側のメタンハイドレートを使用）を中心に各種の自然再生エネルギーとあわせ、電力をまかなう。 発送電分離を含む電力業界の改革もすみやかに行う。 そして今までのように自前の資源に目を瞑らず、あらゆる可能性を並行的に開発を進める。 今までのように言い値でガスを買わされてると無駄に料金が高くなるので。 廃炉技術の研究も重要で、将来的に廃炉技術も日本の武器となるので、これも進める。 重大な問題は最終処分場の建設。 今すぐ候補を決めるための調査を開始し、地層などからみて最適な場所をあらゆる専門家の目で選定、フランスのように強制的に決める。 政府も国民もそれぐらいの覚悟が必要なぐらい、核廃棄物は完全コントロール不能の恐ろしいものであるから。使用していた我々の責任です。 まずは日本の長期的な方向性を全世界に向けて宣言し、自らを追い込む形で取り組むべきである。 民主党のマニフェストのように安易に撤回したりできないようにする。 お得意の先送りや選挙目的の利用は原発に関しては厳禁です。 政府は国民や国益のためにあるわけで、その時の政治家や官僚の保身のための政治ではありません。 日本がまず覚悟を決めてやるべきことは、消費税増税ではなく、原発問題・自前の資源開発からです。
18920	個人	会社員・公務員	40代	男性	現代の欲求を満たすための「選択」が、次世代の未来を奪うようなことはあってはならない。エネルギー・環境に関する選択肢は「ゼロシナリオ」しかありえない。	現代の欲求を満たすための「選択」が、次世代の未来を奪うようなことはあってはならない。エネルギー・環境に関する選択肢は「ゼロシナリオ」しかありえない。 何年、何世代にわたって故郷を奪われた人々、国の言う「絶対安全」を信じた結果が今回の事故である。「そもそもがまちがっていたこと」を政府として認めるべきだ。今回のパブリックコメントや意見聴取会で「国民の意見を聞いたから」などと言い訳するのではなく、「当たり前の判断」をしてもらいたい。「政策がまちがっていたので、変更します」これだけでよいではないか。 太陽光、地熱、風力を加えた「原発以外のベストミックス」をすすめてもらいたい。各発電の課題は承知しているが、課題を克服することで、日本の新しい産業構造を築く方向をめざしてもらいたい。そのことが、世界をリードすることにもなる。 「停電」「国内産業の空洞化」の懸念はあるのだろう。だが、「絶対安全」が否定されたいま以上、万が一にも同じことがもう一度も繰り返されれば、それこそ「日本は終わり」である。繰り返すが、政府が言うべきことはこれまでの政策がまちがっていたので、変更します」。それだけで十分だ。 我が家の娘はまだ3歳。この子らが生きているうちに、東海・東南海・南海地震はきっと起きるだろう。「自然災害」は私たちの責任でも、子どもたちの責任でもない。ましてや政府の責任でも電力会社の責任でもない、「自然災害」は受け止め、耐え、凌いでいくしかない。だが、「人災」は許せない。私たちおとなの努力で防げるからだ。 「人災」の可能性を残す「15シナリオ」「20～25シナリオ」は認められない。あくまで「ゼロシナリオ」を貫くべきだ。
18921	個人	学生	10代以下	女性	原子力発電はいらない	原発はいりません。原子力発電は皆無にしてください。理由 たった一発であまりにも多くの生命を不幸にします。 後始末もできず、やっていくことができるとお思いですか？ 政治家さんたちにもお子さんがいらっしゃいますよね。選択が許されない未来世代に取り返しのつかないものを押し付けるのは恥ずべき行為です。 浪費を前提とした経済なんかよりも命の安全を国民は求めています。 時限爆弾に使うお金があったら自然エネルギーの開発に使ってください。 だれの目にも明らかなのに国民をはぐらかすのはもうやめてください。民意を無視する政府はいりません。親として、人間として、地球に生きる生命として本当の選択をしてください。
18922	個人	会社員・公務員	30代	女性	これからの日本は、原発比率0%をめざすべきだと思います。	福島の事故を受け、日本は平和な国ではないことを思い知りました。目に見えない放射能におびえ、子どもが外でのびのびと遊べなくて、どうして平和だと言えるでしょう。 海外の国々は、日本が同じ過ちを犯す可能性のある原子力発電を続けるのか、それとも、方向転換をして安全でクリーンなエネルギー政策を推し進めるのかを注目しています。ここで前者を選んでしまっては、ヒロシマ・ナガサキ、そしてフクシマを経験したことのある日本としては、大変恥ずかしいことだと思います。 明らすぎる照明も、過剰な冷房もいりません。太陽光や水力など危険のない安全な発電を、各地域で必要な分だけつくって消費する、そんな仕組みになったらいいと思います。 2030年は、私のおなかにいる赤ちゃんが18歳になっているころです。子どもたちに、未来ある平和な日本をプレゼントするのが、今のおとなの役目だと思っています。 ご検討を宜しくお願いいたします。
18923	個人	自営業	40代	女性	原発は、即時ゼロに。	万が一の事態を想定しても、また運よく現状維持が出来たとしても、永久的な安全が100%保障されることは不可能です。所詮人間が作ったもの。そういう謙虚な気持ちなしで、ただ「安全」と断言していることは無責任だと思います。 現在生きている私たちが使用し、使い終わり、後世に迷惑をかけずに済むならともかく、負の遺産を残したくありません。 「安全」だと断言できる、人間に100%の信頼を持っているならば、自然の力で発電出来るような能力を借し、そちらに力を注ぐべきではないでしょうか？
18924	個人	自営業	40代	男性	原発再稼働中止	核廃棄物の処理など、さまざまな問題が全く解決してないから。 全く貴任感のない東電に、金儲けで、再稼働してもらっては、困るから。
18925	個人	無職	70代	男性	日本国内にある商用原子力発電所(原発)は全て運用を直ちに中止し、順次廃炉にする。省エネルギーの推進と原発の代替は化石エネルギーによらない太陽に由来するエネルギーで賄うべきである。	ウランの核分裂によって発生するエネルギーは化学反応によるエネルギーに比べ1000万倍も大きく驚異的だが、核分裂によってウランの99.9%は放射性物質に変わる。放射性物質は核々の放射線を出し続け、周囲の物質にエネルギーを与える。放射線の出し方は自然法則によって決まり人為的に制御できないもので、放射性物質次第である。 地球の生成を考えると46億年前は膨大な核分裂物質が存在し、膨大な放射線量であったが、長い時間によって減衰し、生物が生存できる環境ができあがったと考えられる。現在我々が感知できる自然放射線のかなりの部分は地球内部からの残存放射線物質のからの放射線である。 地球上の生物は遺伝子の変異・修復によって進化してきた。人類も然りである。放射線によって遺伝子が傷つき変異することがわかっており、大部分は修復されといわれるが、全てが修復されるわけではない。放射線障害を考えると、この割合が放射線の量によって決まるかもしれないという考え方もできるが、まだ断定できる状況にはない。 このような状況下で、自然放射線の2倍くらいは安全というのは全く根拠が無い。福島で放出された放射線によって双葉町大熊公民館は未だ時間あたり10マイクロシーベルトを超えている。年100ミリシーベルトの高線量である。人類が生存していない時代の自然放射線量である。こんなところに住めるはずもないが、5000万kwの発電能力があった原発に溜め込まれた放射性物質はどの位あるか確定値は出されていない程膨大な量である。地震国日本において原発の存在そのものも問題であるが、更に稼働させ放射線物質を生産し続ける愚かさからとにかく脱出すべきである。 地球に注ぎ込まれる太陽エネルギーは平方メートルあたり1kwである。現在の太陽光パネルの変換効率を考慮して国土の0.1%、ほんのわずか利用するだけで十分賄いきれる。
18926	個人	会社員・公務員	30代	男性	0% 再稼働反対。原発ゼロにしてください。	現状原発依存度0パーセントでやれています。原発以外の新しい技術開発にもっと予算をかけてください。使用済み核燃料の再処理は現実的に考えてこれ以上の開発は予算上も難しいでしょう。
18927	個人	家事専業	40代	女性	エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見	「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張 《即原発ゼロへ。弱者の保護を優先》 大飯原発、志賀原発、敦賀原発。ほぼすべての原発直下に活断層。日本の多くの地震学者の共通見解は「巨大地震のサイクルに入った」。2年程度の計画停電も受け入れよう。ただし、病人、被介護者、子供、老人は守らなければならない。

18928	個人	自営業	50代	男性	原発が0%になることを切に願うものです。	福島原発事故は決して起きてはならない事故でした。 この事故から私たちが学んだことは、 想定外は起こる。 100%の安全はない。 一たび環境中に放出された放射能は、人間の管理できないものになる。 ということです。 いくら技術が進歩し、安全基準を厳しくしても、今回のようなシビアアクシデントが起きるリスクを0に近づけることはできても、決して0にはならないわけです。 ということは、原発が稼働している限り、又いつか、同じような事故が起こり得るということです。 私は、2度とこのような事故を起こしてはならないと考えます。よって、すぐにでもすべての原発を廃炉にすることを、切に望みます。
18929	個人	無職	60代	男性	原発即停止	原発は即停止0です、福島の事故被害を見てもまだ原発を稼働させようとする人がいるとは信じられないことです。福島の事故はまだ収束していません。だいたい選択肢がおかしい、意見を2に誘導しようとしている意図が見え見えです。 今回の震災でも分かる様に、日本は地球の各プレートが複雑に入り組んだ地震大国です 世界中で起きるM6以上の地震の20.5%が日本で起きています、地球に占める日本国土の割合は0.25%しかないのに。「出所　地震情報サイトJIS」より 地震の活動期に入ったと言う地震学者もいます。 この様な地震大国の日本で、冷却出来ないと2700℃まで温度が上昇する物を 1000℃で溶ける容器に入れて使用する事自体安全とは言えない。 日本のどこにも最終処分場は無く核廃棄物を無毒化できない、原発の廃炉技術もまだ確立されていないし費用も幾ら掛かるか解からない、このような物を選択することはできません。
18930	個人	会社員・公務員	60代	男性	比率を下げたいが電力需給、原発処理技術、代替技術・システムの開発遅れを考慮し15%に賛成する。但し電力使用実績、上記技術の開発状況を定期的に精査し、状況に応じ公正に速やかな実現、計画更新を図る。	比率案には比較できない異なる4要素が混在する様に見える。人により重視する要素は異なると思うが、今回のアンケート結果からは、多分どの要素が重視されたか判らない。比率と同時にその考え方を吸い上げる必要があると思うが。(1)日本が今後原発をどの様に扱うかという基本方針案、(2)目先現実への対応方法案と理由、(3)サブカテゴリー:(1)代替技術・システム開発への取り組み姿勢:今の日本にとり脱原発は技術、社会システム的に新しい試みになり、探索・開発事項を多く含む。開発コストも巨額になり、実現には現在不確定な部分がある。どのようにそれを実現するか？(2)公正な運用の意志表示とその為の仕組みの明示:これ等相互に関連し合うプロジェクトの運用においてモラルハザードを生まない方策・仕組みをどのように考えるか？(原発開発から事故に至った歴史にはモラルハザードとも言える面があるという見解)。多くの国民はそれが繰り返されることを望まないと思う。 今回のプロジェクトは相互に関連し、初動から結果に至る全てが国民の注目の的になると考える。また長期に渡り多額の投資が必要になるだろう。プロジェクトの扱い方次第で計画自体が無駄になる可能性があり、その時の国民の喪失感とその後の社会への影響が無視できないと危惧する。公正なプロジェクト管理と意味ある進歩が必須と考える。今回の策定案でも、検討した要素と検討結果の付記が欲しかった。 長期的な難問:原発事故の汚染で生じる世代を超える失地リスク、放射線障害のリスク・恐怖、補償等は一地域の問題ではなく広域に及ぶ。廃炉、廃棄物処理技術も見えない。何れも長期に渡り多額の費用(税金)が必要になり、併せて国力を削ぐ懸念があるが避けて通れない。以上の観点から、目先の電力不足や温暖化の懸念を払拭する為に、難問を持つ原発を稼動する事を正当化する理由にはならないと考える。本来代替候補となるべき技術の開発が遅れた為に生じた捻じれた選択になっている様に見える。一方難問解決の為の技術開発、原発技術の継承も必要で、その為に一部原発の継続稼働が必要になるだろうが、多くは必要なく、改めて検討し決める案もあるだろう(開発の目的、体制作りには仕切り直しが必要と考える)。基本は代替技術開発に殆どのリソースを振り向け、実現を急く必要がある。15%は禁ぎの意味が大きい。
18931	個人	家事専業	40代	女性	(1)ゼロシナリオを選択します。 子どもを守れないような国は信用できない。 子どもたちには原発は要らない。 2030年などと悠長なことを言っていないで、今すぐに原発をゼロにしてください。	原発はなくとも、電気が足りなくとも、足りないなりの生活をすればよい。 この国の未来を背負って立つ子どもを、安全安心に育てることができない国は、人材からして成長はならない。 電気が足りず経済的に心配するどころではない、何が一番大切なのですか。 子どもは国の宝です。
18932	個人	会社員・公務員	20代	男性	シナリオを三つに限定する意味がよく分からない。	シナリオを三つに限定する意味がよく分からない。 この選択肢の根拠は何なのか？ ただいたずらに原発を減らすことに何のメリットがあるのか？ 安全保障上原発は必要だと思う。中国に侵略されて中国人にはなりたくない。 原発をなくすといっても 代替エネルギーがないのにどうやって電力をまかなっていくのか？ 石油燃料頼りでは中国に海路をふさがれたら日本は終わりになると思います。 レーザー核融合などに大金を投じて国家プロジェクトとしたらいい思います。 疑問しかでてこないです。
18933	個人	家事専業	30代	女性	2030年、原発の占める割合0パーセント！	今すぐにでも、原発はやめてほしいです。 首都圏に原発がなかった。その事実が、すべてです。 自分たちだけの利益のために、この地球の土や水や空気を汚していいとはおもえません。 首都圏のひとためだけじゃない。 日本人のためだけじゃない。 先進国のためだけじゃない。 人間だけのためじゃない。 動物だけのためじゃない。 現代だけのためじゃない。 生きるものすべてのために。未来のために。 もう、原発は嫌です。
18934	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	地震大国の日本に、もしものときに制御不能となる「原発」は危険すぎます。「原発」への依存にかかる莫大な費用を自然エネルギーの開発に充てるべきです。政府は勇気を持って「ゼロシナリオ」を決断すべきです。	地震大国の日本に、もしものときに制御不能となる「原発」は危険すぎます。「原発」への依存にかかる莫大な費用を自然エネルギーの開発に充てるべきです。政府は勇気を持って「ゼロシナリオ」を決断すべきです。
18935	個人	会社員・公務員	60代	男性	「将来の原発比率0%」と考える。	私の意見は、「将来の原発比率0%」である。現在の電力の需要を減らすことができると考えていることと、他の発電方法に秘して、原発は貧の違う危険性を抱えており単なる「リスク削減」の努力では不可能な「危険物」だと考ている、その2点が、理由である。 福島原発の事故によって、「原発のいらない社会」の必要性を誰もが感じ たはずである。経済活動や生活水準の維持を図りながら、電力需要を適度なものにおさえる工夫を何が何でも行う努力をするべきだ。現に、節電の方法は多種多様にあり、それが決して「節電」ではなく、通常のものにする社会を目指すべき。当然、あらゆる分野の「あり方の見直し」が必要だ。それができるぐらいには、日本の市民社会は大人になっていると思うのだが。 原発は、放射線・原子力の利用法としては、「廃棄物の処理」と「事故への対応」において、技術上解決できない問題を抱えた、共存できない「危険物」だと、判断するべきである。他国にもそう訴えるべきだ。廃炉と他のエネルギー生産・開発に、原発関連の雇用を転換して行くことで、原発関連事業の雇用を針るべき。1960年代のエネルギー転換時、政府と産業トップは「不退転の決意」で臨んだではないか。その覚悟で、しかし、労働問題は現在の英知で曖をふまないように。私たちは、原発事故で危険に身をさらしている最前線の原発労働者と、生活基盤を奪われ心身ともに疲れ切っている避難民の思いを基準に据えて行動すべきであって、総意な電力供給策や空疎な「絆」の連呼ではなく、「脱原発」の全国民的宣言をこそすべきである。
18936	個人	家事専業	30代	女性	すべての原発を停止してください	再び地震が起き、原発事故が起きたときの対策が十分になされていないため、すべての原発の停止をお願いします。 その理由は、対策がそもそもなされていないゆえの稼動は環境・健康・国際社会に対するリスクが大きすぎると考えるからである。 第1に、3.11後の放射能汚染により、すでに食べ物、空気、土と心配が多く、母親としてすでに安心して子育てができない状態にある。そのような中、再び原発事故でこれ以上の放射能汚染が広がり、放射能汚染地が広がると、ますます安全な食べ物、遊び場を見つけることが難しくなる。資源を殆と持たない日本における唯一の資源である「人」、それも次世代を担う人が健康に育てなくなるリスクがあることは廃止すべきだと考えるためである。 第2に、仮に再び、放射能事故を起こしてしまったら、国際社会に対してもしめしがつかなくなる。これ以上地球の環境を、人災で汚してはいけないと考えるからである。 宜しくお願いします。
18937	個人	会社員・公務員	50代	男性	原子力発電は直ちに中止すべきです。 私たち世代で責任の負えないことが、今回の事故で思い知らされました。	最悪の場合どうなるかということで、私たちは考えなくてはいけないということが、今回の事故の最も大事な教訓であると考えます。そうして考えるなら、事故がなくても使用済み核燃料処理の問題も含めて、この地球をどう守っていけるのかということが心配でなりません。今私たちが必要だからという理由で大きなつけを、子供や孫、ひ孫と多くの世代に押し付けていくのは耐えられません。それなら、今がどんなに苦しくなろうとも、自分たちのことは自分たちで責任をもって行動していきたいです。その覚悟は多くの人がすでに持っています。今のまま、無責任世代にはなりたくありません。
18938	個人	会社員・公務員	20代	女性	原発はすでに止めるべき。 上に立つ人間が代わったからといって「進められません」はもうやめて。	代替エネルギーは十分にあると聞いた。ならば比較的安全なそちらにすぐに替えるべき。「そのうち・いつか」ではいつまで経っても終えられないし、変われない。
18939	個人	自営業	30代	女性	原発ゼロシナリオ	処理方法が見つかっていない廃棄物が大量に出る 事故が起きて汚染された場所はいつまた住めるようになるのか分からない。 そんな原子力発電は廃止にしてほしい。
18940	個人	自営業	40代	男性	「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」。 当然、2030年に原発ゼロになっていることが大切。	原発から出される、高レベル放射性廃棄物が自然界レベルになるのには10^20万年もかかると言われている。 核廃棄物の最終処分方法が決まらないうちは、原発は動かすべきではない。 現在の快楽的な生活のために、未来に負の遺産を残すべきではない。
18941	個人	会社員・公務員	30代	男性	エネルギー資源に乏しく大量の安定な電力の必要な我が国は、核融合発電、再生可能エネルギーなどの次世代エネルギーが開発されるまでは安全対策をしっかり行いながら、原発を高水準で維持、稼働していく必要がある。	福島原子力災害の影響で現在、我が国では脱原発、反原発運動が盛んに行われているが、代替エネルギーのめどの立っていない現段階では拙速であると考える。むしろ、化石燃料枯渇、価格高騰のことを考えると高度な原子力技術を誇る我が国では、安全性を高めつつ原子力発電を発展させていくことが必要であると考える。 言うまでもなく、我が国は電力を大量に必要とする先進工業国であり、これを維持していくためには安定した電力供給は不可欠である。化石燃料とは異なり、比較的価格の安定しているウラン燃料は、安定な電力供給には優れた燃料であると言える。もちろん、原子力には一度事故が起きると取り返しの付かない被害をもたらすことが今回の福島原子力災害ではっきりしたが、今回の各種事故調査報告を見ると、津波による避けられない被害による部分と災害対策の不十分さ及び事後対応のまずさが今回の被害を大きくしている。今回の災害を教訓に政府、電力会社に都合のよい意見だけをいう専門家ではなく、きちんとした専門家による明確な安全基準、査察体制の確立が必要である。また、これらの対策をきちんと国民に開示し、安全に対する国民の同意が得られるように政府、電力会社の隠蔽体質の改善が必要である。また、自然災害だけでなく、今後はテロ対策もあわせて検討する必要がある。
18942	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発ゼロシナリオを選択します。	東日本大震災で、原発の恐ろしさは明白になりました。これ以上、被害者を出してはいけないと思います。2030年を待たずに、一刻も早く原発を廃止すべきです。ドイツをお手本にしてほしい。
18943	個人	学生	20代	男性	2030年ではなく、明日にでも0%に	原発依存率を下げるのは当然だ。だが、2030年までに30%などという生ぬるいことを言っていていい訳がない。明日にでも全ての原発を停止し、原発依存率を0にするのが今取りえる最善の政策だ。 第一に、これから2030年までの間に、昨年の福島のような重大事故や災害が起こらない保障はどこにもない。もし安全だと言う人がいたとしても、そいつは福島も安全だと言っていた人間だ、誰がそんな人を信用するのか。 第二に、原発は稼動すればするほど核のゴミが出て、その処理には莫大な資金と時間が必要になる。つまり、実際には原発は動かせば動かすほど負債が溜まっていく性質のものだ。再処理？未だに一度も実行していない技術をもって、それがあるから安心だとなぜ言えるのか。目先の電力不足を理由に原発を動かすのは、未来のことを何一つ考えていない馬鹿者のすることだ。 第三に、そもそも原発がなければ電力が不足するという試算そのものが、原発ムラの恣意的な解釈に基づいている。まず、大飯の原発一つ稼動しただけで夏の電力不足に間に合うなら、54基もある原発は何のためにあるのだ。必要ないではないか。 原発を動かさなければ火力発電が必要になって、化石燃料が消費され、二酸化炭素が出ると言う人がいる。化石燃料のお配も二酸化炭素の削減も大いに結構、だが、放射能の害は二酸化炭素の害の比ではない。二酸化炭素削減のために原発を使うという行為は、害虫を駆除するために畑を焼くようなものである。少なくとも、日本社会が電力に依存しなければいけないのなら、火力に依存していたほうが原発に依存するよりはまだしもましである。
18944	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発事故により甚大な被害が発生したこと、使用済核燃料や放射性廃棄物の処理方法や処分位置が決められないこと、再処理核燃料を活用した発電が成功していないため、今すぐに全原子力発電を停止すべきである。	(1)たとえ地震や津波により、今回の原発事故が発生したとしても、現実を見据えたとき、放射能により自然や国民に対して甚大な被害が発生してしまったことを考えると、原子力は人には使いこなせていないことである。 (2)使用済核燃料や放射性廃棄物については、いまだに処理方法や、処分位置も決められない状態で、これ以上絶対に量を増やしてはならない。ましてや再処理核燃料などと、長い期間研究しても成功していない現状を考えれば、不可能とかん言いようがない。 (3)現状の資源での電力が不安であるならば、あえて研究をするなとは言わないが、製造から廃棄処理までが安全確実に行えるようになるまでは、今すぐに全原子力発電を停止すべきである。
18945	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発全廃　0%を目標とします。	将来、原発を0%を目指すべき理由。 ・核廃棄物の最終処分方法が確立されていません。 ・もんじゅ、再処理工場などの稼動は、絵に書いた餅のように、現実不可能。 ・福島原発の事故原因が、検証されていない、というか、原子力事故に於いて、被爆の問題から、立ち入り検証が出来ない以上、事故予防の為の正確な検証が、不可能な構造。 ・原子力発電所の稼動には、安全確保のための高度な運用オペレーションが必要ですが、過去の歴史から、原発の設置の審査、安全委員会、事故後の対応。隠蔽体質等々、日本の文化的背景から、安全に運転は無理。 ・現在、電気料金に含まれない、即ち税金で賄われている、原子力発電関連の予算(最終処分費用、地方交付税等々)が膨大。 ・万が一の事故が発生した際のリスクが大き過ぎ、人間が責任を負う事が出来ない。 電力が確保出来ないのではという観点について ・過去、原子力政策に向けて行われていた、優遇政策、予算を再生可能エネルギーに付け替える。 ・エネルギー関連の情報公開の徹底。必要な電力、発電出来る、供給出来る電力の情報を公開し、停電のリスクを減らす。現実的に、原発が全て停止した状態で、停電は起こりませんでしたから。 ・この夏の節電目標値、東京電力管内と関西電力管内で差があった理由は何ですか。原発を稼動させずに、電力を確保しようとすれば、方法はあるんです。東京電力が教えてくれます。 以上、箇条書きですが、理由を述べさせて頂きました。 最後に。既得権益を守る為に、不合理な理由や情報操作して、原子力を継続させるのは、本当に辞めて欲しい。
18946	個人	無職	60代	男性	2030年には原発比率は0%にすべきである。 もっと早く達成できればよりベターである。	不測の事態が発生した場合において、人の力でコントロールできないような原発は日本国内から廃止すべきである　また世界中からも無くなったほうが人類の幸せにつながると考えられる。 現在も残っている「核のゴミ」の処理のことを考えれば一刻も早く実地すべきだ。 現在の政権与党である民主党が野党の時であれば原発再開には当然反対したはずだ。自民党化した民主党は情けないの一語に尽きる。
18947	個人	会社員・公務員	50代	女性	原子力エネルギーへの依存ゼロを求め、将来にわたり国土及び地球の自然環境を維持し、自然と共生を願います。	私たちはこれまでの経済発展や生活の利便性を追究する中で、公害等により多くの自然環境を失ってきました。 その再生には、多くの研究や努力が必要でした。 福島における原発事故は、大地・自然が悲鳴をあげているように感じているところです。 被爆国として核兵器の根絶を願う我が国として、原子を利用したエネルギーの早期廃止を求め、新たな自然エネルギーへと転換をし、自然環境を維持し、自然との共生を真に願うものです。
18948	法人・団体等	会社員・公務員	20代	男性	福島事故の後、それまでほとんど考えたことのなかった放射能について考え始めた。小さい頃社会の教科書で見た「安全な放射能」という言葉は嘘だったんだとショックを受けた。ゼロシナリオを希望する。	原発事故からのこくみんの気持ちのショックを政府に分かって欲しいです。
18949	個人	会社員・公務員	60代	男性	原発はトイレのないマンションなので、一刻も早く原発を全部ストップして、再稼動禁止、全部を廃炉にする作業に着手すべきである。	電気は十分あまっているので、火力　水力の発電を　電力会社に　サボタージュさせずに、すべての原発を直ちに　ストップしても　なんら問題はない。 福島原発事故の責任者を　処罰してもらいたい。 市民の力で　厳罰をあたえるぞ！
18950	個人	会社員・公務員	40代	男性	原子力発電所の再稼働反対。かつ今後の原子力発電への依存度即時ゼロを要求します	原子力への依存度をゼロにする事を要求します。 それも30年後という悠長な話ではなく、即時です。 理由は安全が確認されず、明日にでも地震、事故が起こる可能性があるためです。 民意を誰もが納得できる形で確認し、結果が依存度ゼロであれば、政府として受け入れる義務があると思います。 日本は民主主義国家です！

18951	個人	その他	60代	女性	ゼロ・シナリオに賛成します。今すぐゼロにしてほしい。	日本は地震の多い国なので、原子力発電所の存在自体、とても危険だと思います。また核廃棄物の処理もできないので、子孫にそのツケを回すことになってしまいます。福島の大事故があった以上、原発が絶対に安全だとはだれも言えないのですから、多少の不便は覚悟したうえで、原発は2030年ではなく今すぐゼロにしてほしいと思います。そして原発に使うお金を、その他のエネルギーの開発に回してほしいと思います。 政府がなぜ安易に再稼働させるのか、ちゃんとした納得できる理由がまったく見えてきません。 こんなことを書いても、政府は聞く耳を持たないから無駄ではないかと思いましたが、将来のことを考えて意見表明だけはしておこうと思いました。
18952	個人	無職	70代	男性	早急のエネルギー転換は、産業界に混乱を招く。エネルギー源の多様化は非常時において安全性を高める	原子力発電は、riskの大きい設備であるが、エネルギーの安全保障上、総能力の15%は温存すべきである。 但し、東京電力は一旦破産させて、従来の国民を愚弄する企業風土を消滅させなければならない。
18953	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発ゼロシナリオを選択します。	危険なため。 早急に原発ゼロを実現されたい。
18954	個人	会社員・公務員	40代	男性	1日も早い稼働ゼロを願います。	想定外の災害が起きてしまったのですから、今はもう安全以上に優先すべきものなんてありません。2030年なんて悠長なことを言っていないで、1日にも早い稼働ゼロを願います。
18955	個人	会社員・公務員	30代	女性	(3)ゼロシナリオ	原発と命を引き換えにしてまで、電気に頼る生活は望みません。2児の母です。今の大人の決断が未来の子供たちの将来を作ります。原発事故をきっかけに、新しいエネルギー国家日本の、本当の意味での復活再生の姿を世界に示してください。お願いいたします。
18956	個人	家事専業	20代	女性	「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張	昨年の震災による事故でどれほどの自然、そして福島の人々の心を傷つけたのか…。これほど地震発生国と言われている日本で、そしてあれだけの歴史的な事故が発生してまだ2年も経ってない中で、原発を支持する政府に不信感しか抱くことができません。首相は「責任をとる」と言いましたが、本当に今度事故が起きた際、どのように責任を取るのですか？それを明確にしてください。日本経済のためと言いますが、国民の大多数はそれ程の経済利益を求めていません。私たちが求めているのは、経済的な利益、豊かさではなく、自然の中で安心して過ごすことができる日本です。日本が今ほどの経済的に豊かな国にならなくても、私たちは力を合わせて生きていくことができます。 この国は民主主義なのですよね？お願いですから、国民の意見をきちんと聞いてください。国民の意見を第一に取り入れ、その上で政策を考えていくのが政府の仕事ですよね？今は政府のやりたい放題です。 原発を支持する日本では、こどもの将来が不安でいっぱいです。こんな国で生きていかなければならないこどもが可愛そうでなりません。
18957	個人	会社員・公務員	60代	男性	原発を直ちに　ゼロに　しなくてはならない	原発は　トイレのないマンションであり　運転すればするほど　市の灰が増える 最終処分場を　何万年も　だれも管理できない 電気は　あまっている　　電気不足は　作り上げられた　ウソである 原発推進の動機は　金儲けであった 直ちに　原発を　ゼロにしてもなんにも　問題がない
18958	個人	会社員・公務員	50代	男性	燃料セキュリティーの確保なしに化石燃料や、再生可能エネに過度に依存するシナリオ設定は非現実的。時間軸を考えた長期戦略の再検討が必要。敢えて選択するとすれば、「(3)25」案が3案の中で現実的な選択に近い。	現状展開している、原子力停止等のエネルギー施策は、電力の安定供給を阻害、国富の流出もあいまって、大きく国益を毀損していると言わざるを得ない。これにより、大企業の生産拠点の海外移転、中小企業の疲弊などを経て、二次産業から一次、三次産業まで影響を及ぼし、日本に暮らす人々、特に弱者を苦しめつつあるのではないかと考える。かつての経済大国日本は、その経済の疲弊により、急速に強国に囲まれたアジアの一小国に転じつつある。そのような状況下、エネルギー自給率僅か４%の日本国の将来のエネルギーに関する選択は、国の存亡まで左右する重大な問題であり、国民およびその代表たる政治家は、正確なデータに基づき、現実を直視し、責任を一人一人が認識した上で、冷静な議論を行うことが必要であると考える。 一方、今回の活動は、国民に議論を喚起するという点では評価できるものの、提示されたシナリオは、いずれの場合も、・短中期的には輸入に頼らざるを得ず、中長期的には枯渇が懸念される化石燃料に過度に依存していたり、・長期的にはエネルギー問題解決の切り札となることを期待されるが、短中期的には、画期的な技術開発なしには国民に過度の負担を強いる再生可能エネルギーを性急に導入することを前提としていたり、するなど、時間軸を無視した、実現性の低いシナリオから、冷静な議論を経ることなく国民に選択させようとしているとの感を禁じえない。 あくまでも一例であるが、 ・短期的には、経済、産業の安定を得ることを早急に対策必要な課題ととらえ、既存の原子力発電所を早期に再稼働させ、電力の安定供給、化石燃料輸入低減をもって、国民生活・産業安定の基盤を提供する。 ・中期的には、原子力お新増設、化石燃料の効率的利用などで、安定基盤を継続させながら、唯一日本が資源を確保できる見込みのある、海域に存在するメタンハイドレートや海洋地下エネルギー資源の開発などで、燃料セキュリティーの確保を実施し、国民生活・産業発展の糧とする。 ・長期的には、自然エネルギー活用上の問題点を克服する技術開発を行い、将来のエネルギー確保へ道筋をつけ、国民生活・産業発展を盤石なものとする。 といった、時間軸を考えた長期戦略を検討、国民に再提示することが必要であるのではないかと考える。敢えて提示されたシナリオから選択するとすれば、「(3)20－25」が3案のなかで現実的な選択に近い。
18959	個人	その他	40代	男性	今すぐ0%にすべきである。	視点1。「原子力の安全確保と将来のリスクの低減」は実現していない。原子力は既に大事故を起こした破綻した技術である。その危険性が事故前から指摘されてたのも自明である。大飯原発の再稼働後に、活断層の上に立っていることが判明することなど、安全確保を全く無視している使われている技術である。爽は わかっていてロに出さずに再稼働させたのであっても安全保障を全く無視していることは同じ。将来的にリスクが増えることはあって、減ることはあり得ない。 視点2。原子力は「エネルギーの安全保障の強化」には寄与しない。核燃料は輸入に依存しているので安定的なエネルギー源とな り得ない。また、テロに備えて警備せざる得ない施設などは、この国に住む者の安全を脅かしているといえる。 視点3。原子力が「地球温暖化問題解決への貢献」は詭弁である。チェルノブイリ、福島から放出された放射能によって、大気も海も、地球環境は破壊されたのである。温暖化解決といいながら、環境破壊の可能性のある技術によるのは愚かである。また、核燃料を取り出すための環境への負荷を見ても、クリーンなエネルギーと主張することは不可能である。 視点4。「コストの抑制」。原子力は一番安い電力供給源であるという(会計上のごまかしによる)主張はどこへいったか。さらに、これだけの大事故を起こしたことへの補償、また廃炉にかかるコストを考えてもコストパフォーマンスのいいエネルギー源ではあり得ない。コストの抑制を考えるのであれば、原子力以外の方法によるしかあり得ない。 以上の4つの視点を検討する限り、原子力へは役に立たない技術であり、依存は今すぐに0%にしなければならない。また、どう考えても電気は十分足りていると思われる。電気が足りないのなら、東京電力はなぜ事故後にまでにオール電化などといっていたのか。
18960	個人	会社員・公務員	40代	男性	「ゼロシナリオ選択」でお願いします。	今まで私たちは、原発の「光」の部分しか見てきませんでした･･･。 今回の原発事故により、日本の国土の一部が汚されてしまい、大勢の方が故郷に帰ることができなくなってしまいました･･･。 この時代に生きる私たちの責務は、このとてもとても大きな失敗を教訓として、２度と同じ過ちを繰り返さないことではないかと考えます。 国家の第一義的な存在意義が国民全体の生存権の保証にあるならば、いくら便利だからといっても、放射能漏れの危険があり、将来に危険な廃棄物を残す原発に、もうこれ以上頼るべきではないかと考えます。

18961	個人	会社員・公務員	60代	男性	2030年で原発比率:15%にて対応	現在の電力不足の状況と電力料金の値上がり状況から、日本の産業は空洞化が目に見えている。将来的には原発から脱却するとしても現状からは、如何にソフトランディングするかが日本産業復活の勝負と考える。 再生可能エネルギーが万能との妄想は、考え直した方が良い。注目を浴びている太陽光エネルギーについても大きな問題を持っている。 太陽光パネルは、家庭用で3kwが標準であるが、約300万円の費用を要するが、100万円/KWでの実際の発電時間は、1/3(昼間)×1/2(曇り等)=1/6 なので600万円/KWとなる。又、CO2と放射ガスの発生量との比率で、世界一少ない日本でも3kg-co2/kPH-GDPと言われている。つまり3kwの設備自体がすでに18TのCO2を発生したことになる。これは、グリーンサスティナビリチーを目指す日本にとって異常な数値となる。今本当に太陽光を筆頭とする再生可能エネルギーを推進して良いのか？？、先ず太陽光なら、変換効率を20%以上にする研究開発と如何に安くパネル生産をする為の技術を確立するのが先決と考えるので、42円/kwh買取制度の前にこれらの技術開発に国は金を使うべきだ。 日本は、世界に先駆けて画期的なｴﾈｰｼｽﾃﾑ開発が出来ると信じている。この段階で国内での普及支援を国はすべきだ。世論に踊られるのではなく、きちんとした将来展望を持って臨んでほしい。この助走期間の為にも安全確保が保障されている原発は、稼働が必要と思う。
18962	個人	法人等	50代	男性	すべての原子力発電所は即刻停止、速やかに廃炉とし、以降、我国は原子力発電施設を保有せず、また世界各国への技術提供もしないという方針を打ち出すべきと考えます。	すべての原子力発電所は即刻停止、速やかに廃炉とし、以降我国は原子力発電施設を保有せず、また世界各国への技術提供もしないという方針を打ち出すべきと考えます。 代替として再生可能エネルギーの利用研究に予算を注ぎ、得られた技術を世界へ向けて提供すべきと考えます。それが、今回、極めて深刻な事故を起こし、地球規模の放射能汚染を引き起こした当事者国としてなければならない、世界へ向けた謝罪と償算ではありませんか。 電力会社の面となり、必要なリスク管理指導を行うことが出来なかった政府は、真摯に反省をすべきであり、反省の証として再生可能エネルギー利用技術を世界へと普及するために尽力すべきと考えます。我国に対する国際的な信頼を取り戻すためにも。 福島第一原子力発電所の深刻な事故の後であっても、いまだに原子力発電の優位性を説く記述内容には驚きました。あなた方は、福島の事故から何を学んだのでしょうか？こうした姿勢に不信感を感じずにはいられません。 原子力以外の発電施設で深刻な事故がたとえ起きたとしても、これほど大規模、長く未来にわたる甚大な被害をもたらすことはありません。 憲法第第二十五条に「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。」と我々国民の生存権を保障しています。福島の事故以来我々多くの国民の生存権が蹂躙されています。それが分かっておられますか？ 多くの国民が怒っています。政府の姿勢に対して疑問、不信感を抱くようになっています。この事実を無視して、まだ原子力の推進を続けるつもりですか？いくら電気が必要とはいえ、これほどまでの危険を冒してまでも、核を利用した発電を続ける必要があるとはとても考えられません。原子力発電にそれほどの価値があるとは思えません。核は、現在の人類の手に負えるものではありませんか。 また、地震を研究している学者の多くが我国が地震活動期に入ったことを訴えています。もともと、地震多発地域である我国で、これほど危険な施設を造ること事態、非常識であったと考えます。また、活断層の上に原子力発電施設が建設されているという疑いまで指摘されているのに関わらず、政府や電力業界には危機感が感じられず、まったく理解できません。いったいどうなっているのでしょうか 福島第一原子力発電所の事故の経緯、原因の詳細はいまだに明らかになっておりません。今後、機器へ人が近づけないままで、詳細に調査できるのかどうかも分からない状態ではありませんか。事故の詳細な検証も済ませずに、再稼動へと踏み出したことに大きな憤りを感じます。まったく理解しがたいことです。 エネルギーが国民生活に重要な要素であることは分かります。石油、ガス、核等化石燃料などのエネルギー源は国民が自らの手で作り出すことは困難です。しかし、電気は誰にでも比較的容易に作り出すことが出来るエネルギーであり、核を除く化石燃料、太陽光、風力、水力、バイオ、可燃廃棄物、地熱、波力などなどさまざまな方法で、規模の大小はあるが、多様な方法と地域で、事業者でなくとも生産可能であることを忘れてはならないでしょう。この多様性と分散型の発電方法が万が一の事態に対して各種のリスク回避につながることを強調するべきだと思います。 また、再生可能エネルギーの利用が「なかなかむずかしい」という記述がありますが、万が一のことを考えますと核エネルギーの利用に比べれば、リスクははるかに低く、安易に「むずかしい」と記述するには違和感があります。 CO2についての記述が何箇所かありますが、CO2と地球温暖化の因果関係について科学的な考察、議論、論文などありましたら提示してください。私なりに調査してみましたが、CO2が地球温暖化の原因という科学的根拠はみつかっておりません。地球温暖化を防ぐべくCO2排出削減について論じるのであれば、CO2が地球温暖化の原因であることを科学的に証明してからでなければなりません。 あわせて、原子力発電施設が排出する熱が周辺や地球規模の環境への影響がないという科学的根拠があれば提示してください。影響がないのであれば、そのことを記述するべきですし、あるならどれほどのものなのか記述すべきです。 エネルギーコストについて論じていますが、従来の試算は正しくなかったことが判明していることは既にご存知かと思いました。かつて原子力発電を推進するために行われた試算でしょう。いまだに原子力発電のコスト面での優位性を説くとはまったく不思議です。原子力発電施設の廃棄費用、使用済み核燃料の処理保管費用、更には万が一今回のような事故を起こした場合の被害保障費用も試算に組み入れて、再度提示してみてください。そのほうが国民には分かりやすいでしょう。
18963	個人	パート・アルバイト	60代	女性	福島を体験した日本だからこそ、やらねばいけないことがある、世界に示していくことがある、と思います。知恵を絞って、新しいエネルギーを開発し、そのために少々の不便を負う覚悟はあります。	この震災の直前「寄跡の日本列島」という本を読み感動していたところでした。原発にたいして福島以前から、永久に増え続ける核廃棄物をどうするのだろう、と考えていました。未来に残していくわけです、遠い遠い未来には地球は果てるのでしょうが、それまでは人知をつくして未来に残る地球にしていかなくてはいけないと思います。今がチャンスです。原発稼動には反対です。
18964	個人	会社員・公務員	50代	男性	２０３０年には、原子力発電の割合は０%にする	事故は想定外のことがありうる。原子力発電は事故があったときの悪影響の大きさや、後始末に膨大な費用がかかることを考えると、無駄や無理がある。他のエネルギー源で生活することを考えるべきである。 使用後の核廃棄物の処理方法が確立できていないのも大きな理由である。国土の狭さと人口密度の高さからして、無理である。
18965	個人	その他	20代	女性	原発は要りません。 0%を望みます。	故郷を原発によって奪われた人の気持ちを考えました。 原発が無くても日本はやっていけると思います。 もっと国民の意見に耳を傾けて下さい。
18966	個人	その他	40代	女性	原発のない日本に！	放射能の恐ろしさを一番知っているはずの私たちが、地震も津波もあるこの国で原発を稼動させるってどういうこと！？もう一度何かおこってからではもう間に合わない。
18967	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発の稼動、再稼動には反対。将来の利用率も0%で！	(1)今回の原発事故において、だれも責任を取っていない。責任の明確化、それは 政治家、これから発足する規制委員会、電力会社など事故が発生した場合の責任の所在を明らかにすべき。今回の福島第一原発の事故についても関係者(斑目氏、近藤氏、その他)はな～んにも反省しとらん。 (2)再生エネルギーに重きをおいて、これを輸出産業に育てれば良い。 (3)本当は日本の各地、どこにでも再生エネルギーを生み出すところがあるはず。それを規制とか、利権とかで排除するべきではない。空いている屋根があればリースしてもらい太陽光発電器を載せればいい。水量のある用水路で小水力発電すればいい。間伐材、廃プラ、なーんでも利用できる。 (4)民罰、おそるべし。国民の多くは解っている。このままではいけないことを。
18968	個人	無職	30代	男性	「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」です。政府は本腰を入れて再生可能エネルギー開発に尽力してください。	このパブコメ募集の前提が「2030年までは原発が維持される」というもの。前提自体が国民を騙すトリックだ。再び事故が起これば、日本は再起不能になる。政府は自然エネルギー比率を増やすスケジュールを国民にしっかり示すべき。
18969	個人	会社員・公務員	50代	男性	ゼロシナリオを選択します。 即刻原子炉を全停止し、廃炉へのスケジュールを決定すべきです。 同時に各種循環型エネルギー実用化へのシナリオを策定し推進してほしい。	使用済み核燃料の処分技術も確立されないまま原発を稼働し続けていることに、かねてより疑問を感じていましたが、福島の事故により墓走を止めることもできないなど安全稼働の技術が全く確立されていないことが露見しました。1回の事故で未来数十年に亘り悲像を絶する人的・物的被害を被ることが明確になった以上、原子炉を動かし続けることは受け入れられません。 今夏、原発を稼働しなくても済むなら節電はもとより、計画停電も受け入れるつもりでした。しかし世論を無視するような大飯原発の再稼働には怒りさえ感じています。 原発廃止による立地自治体の雇用問題について、これまでの雇用は廃炉作業に伴う事業への雇用でまかなえるのではないでしょうか。通常の廃炉でも20年以上はかかるとのこと、その間に原発雇用に依存しない自治体に再生することは可能でしょう。また、太陽光・風力・波力・潮力などのエネルギー事業をこれらの自治体に優先的に誘致するなど、素人が考えてもいくらでも案はでてきます。 原子力関連の研究開発事業にしても、「安全な廃炉方法」「使用済み核燃料の処分技術確立」など、まだまだ進めなければならない課題は山積みのはず。研究者の「食いっぱぐれ」も起きないのではないでしょうか。 このまま安全に止める技術も危うい原発を稼働し続け、処分方法も確立されていない「核のゴミ」を排出し続けることは、人類・地球への背信行為だと思います。すぐに止めてください。
18970	個人	自営業	40代	女性	「ゼロシナリオ」を支持します。ただし、速やかな原発の企画停止と、2020年に25%のCO2削減目標の達成を前提とすべきと考えます。	・原子力発電の安全性が確保されていない現状では、原発に依存したエネルギー政策は持続可能とはいえないことから、「ゼロシナリオ」しか選択肢はありません。 ・原発がなくても自然エネルギーの導入と省エネルギーを徹底すること、さらに、エネルギーの大量消費に依存しない生活スタイルへの移行で、エネルギー需要を満たし、地球温暖化を防止すべきです。 ・自然エネルギーの導入のための政策支援はまだ不足していると思われます。自然エネルギーは地域性の高いエネルギーです。地域ごとに最適な自然エネルギー導入のための調査研究を進め、国や自治体をあげて自然エネルギーへの移行を進めるべき時だと考えます。
18971	個人	無職	70代	男性	私は原発は0を目指すべきだと思っています。せっかく菅内閣で「脱原発」の方向で進んでいくかと思っていたのが、野田内閣に代わってからはことごとく原発推持の方向に舵をきられているみたいで、残念でなりません。	色々な理由がありますが、根底的に言えば、原発は人間の命と生活と共存しません。まして中核燃料の処理さえできていない現状では、原発を使っていくという選択肢は、まったくないかと思っています。
18972	個人	その他	30代	男性	即完全な脱原発、ゼロシナリオを選択します。脱原発から始まる物質至上主義の終焉を。価値観をシフトチェンジする時代が今。	まず、一に原発は「人類が制御出来ない物」という事は福島原発の事故で明らかになりました。二に、原発が人体に及ぼす悪影響が結局は行き着く先は死に向かうという事実です。沢山の正しい人道的目線で警告を発信している科学者もおられます。人体に及ぼす影響については、過去の記録から今現在に至るまで、命を賭して語られている方々もおられる事は多数の文献や、又過去から今現在に至るまで原発に携わられている方々からの生の声も情報として多数ある事実がありす。三に、原発廃棄物の処理方法が無いという現状です。トイレに例えるなら、汚水とともに生活し続けるわけです。全ては理性的な想像力で判断できます。経済よりも命に重きを置けばこの答しか出ません。
18973	個人	会社員・公務員	40代	男性	2030年時点で原発0%を目指すべき	原発のゴミの問題の解決していない。このまま増え続ける核のゴミをどうするつもりなのか。 福島原発事故を見て、核のコントロールは無理だと考える。天災・人災いづれにしてもコントロールは不可能。 いわゆる自然エネルギーに本格的にとりくんでいない今の状況から方向転換することが必要。
18974	個人	パート・アルバイト	40代	男性	原発について	会社が原発を動かさない事で潰れてしまうのを、嘘をついてまで稼動する事に反対致します。 結局その為に増税、その割には仕事を不安定にさせる法案まで提出して、 全然未来を見据えない現政権に怒とほとほと呆れております。 せめて増税する位ならいっぱしに原発等を止めていただき、 そこから処理場、新しいエネルギーへの再考、それまでの火力発電の原料への支払いに転換していただきたいです。 未だ福島で全然復興もケアもしてやれないくせに国民の為と言いつつ、 その国民とは原発の後始末、現段階で安全策も練れない電気会社しか保護できない今の政権に断固反対致します。 本当にいい加減にしてください。 ご再考よろしくお願いします。 (削除)
18975	個人	会社員・公務員	40代	男性	エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見です	原発ゼロを望みます 農作物や海産物の放射能汚染が心配。 巨大地震が来る可能性が高いとわかっているのになぜ再稼働するのか理解できない。 次の事故は日本にとって想定外では済まされない大ダメージとなる事は間違いないと思います。 日本はいつまでも世界一治安の良い、そして安心して生活のできる国でいてほしいものです。
18976	個人	自営業	50代	女性	選択肢としては原発ゼロを選択します。 他のエネルギーへの置き換えというよりはこれだけのエネルギーが必要かどうか、という点から考えていく必要があると思います。	原発ゼロを求める理由は、廃棄物の処理方法が確定していないからです。 単に運転して電気を作るだけで、何万年も危険な状態になる物質を生み出すものを動かし続けることは後世の人々あるいは他の生物に対してあまりにも傲慢だと思います。 また、リスクがゼロでなくてはならないものは理論上ありえないので、原発に関しては「ゼロを求めなくては「安全」とはいえない、つまり、何か有事が発生すればどのような危険が生じるかわからない、そういうものを動かし続けることは絶対に反対です。 「責任を持つ」というのは補償というようなことではなく、少なくとも自分の子孫が苦しまないようにすること、しかないのではないでしょうか。
18977	個人	自営業	20代	女性	(1)ゼロシナリオを選択します。	(1)ゼロシナリオでは2030年までにとなっていますが、日本にある原発全機(六か所の再処理工場ともんじゅも含む)を即刻廃炉にすべきです。もちろん新規増設、原発の海外輸出も反対です。 自然エネルギー(特に個人で可能な)水力、火力、風力の開発、普及を急ぐべきです。 経済成長よりも命が優先です。命あっての経済成長です。(個人的には経済よりもブータンのような幸福度指数を取り入れる国であってほしいです。)
18978	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原発ゼロシナリオ	再稼働に反対です。再稼働しないでください。 福島の事故が起きてしまって尚、この負の歴史を続ける先に未来はありません。 自然を壊さないで、自然と共生しながらエネルギーを生み出すことを希望します。 自然エネルギーの発展を促し、国民がエネルギーを選べるようにしてください。 再稼働の先には破滅しかありません。 原発ゼロに向かってください。
18979	個人	家事専業	30代	女性	原子力エネルギーをゼロとするため、循環型エネルギーの実用化に必要な手続き、厳しい管理と危機管理の元に、正確かつ迅速に進めていくことを希望します。	現時点での経済的・社会的な不安があったとしても、原子力発電は将来ゼロにしていくべきだと思います。 東京電力福島第一原子力発電所の事故を見ても明らかであるように、事故を起こした原子力発電所は大きなリスクなしに完全にコントロールしていくことは現段階ではほぼ不可能です。 また、通常運転を行っている状態でさえ、作業員の被曝なしにはなしえません。 クリーンなエネルギーと言われた原子力エネルギーですが、大気中や海水中に放射性物質を全く放出せずに運転することは不可能ですし、発電で生まれた熱を水中に逃がしているため、生物・植物への影響も無視できません。 そしてなにより、十万年と言われている核廃棄物の管理は現実のではなく、その具体的な処分方法も確立していません。 自己完結できないエネルギーに依存することは、私たちの将来へ負債を送り続けているようなものです。そういったエネルギーを継続・推進していくことは賢明とは言えません。 ただ、現代の我々の生活は多大なエネルギーに支えられていることは否めません。 節電の意識が高まっているとはいえ、電気なしでの生活は今や不可能です。 原子力発電の停止分を多くが火力で補っていますが、限りある化石燃料を一時しのぎであるならともかく、不足分を埋めるエネルギーと考えることはできません。 そのため、それらの代替エネルギー＝自然エネルギーの開発・拡充が必要不可欠です。 各分野の研究者や企業が協力・競争し開発していくことで実現可能だと考えられます。 そのためには、国のエネルギービジョンとして、原子力ゼロ・循環型のエネルギー中心をはっきりと打ち立てていくことが必要不可欠です。 同時に、自然エネルギーを大規模に活用していく中でのリスクのアセスメントを厳しくしていくべきです。 今回の事故により、メリットを重視するがあまり、負の部分を軽視し目を伏せるということが、正確な判断を大きく誤らせることを知りました。 原子力には反対ですが、原発を廃止するために、他のエネルギーのリスクを見ないふりをするような世論の動きにはしていけないと思っています。

18980	個人	無職	50代	女性	原発0を望みます。何年後ではなく、即刻です。あのように、恐ろしく危険なものがあっては、安心して暮らせない。そのためには、お金を出します。お金を出して安心・安全を買います。	原発のコストが安いのはわかりました。それを無しにするには、新たなお金が必要なのは仕方がないこと。そのためには、他の支出を抑えます。安全・安心のためになら、お金を出せます。
18981	個人	家事専業	50代	女性	原発は必要ありません。我が家はオール電化住宅ですが、去年太陽光発電を設置しました。	去年の我が家の夏場電気料金は4,620円でした。エアコンをつけたのは夏の間でたった9時間でした。ただただ東北を思いながら、節電に明け暮れました。家中を遮光して、日々100ワットで暮らしました。すべて東北に届けと、そればかり祈っておりました。 そして今年も同じように暮らしています。電気を使わないように。使うなら夜間の電気を と心がけております。 津市にも、郊外に行けばかなりの土地があります。その土地にメガソーラーを設置すればいいのではないでしょうか。我が家は、今年末には蓄電装置を購入しようと考えています。 あの大津波があったときの、原発の怖さを日本人は忘れてはならないと思います。原発反対、絶対反対。うちはいち早く太陽光パネルを設置しました。もっと国が補助をするべきです。
18982	個人	会社員・公務員	40代	男性	「ゼロシナリオ」を選択します。	3．11で明らかになったように現段階では、原子力を人間が管理することは不可能です。せめて、放射能を人知で消滅させる技術を開発するとかで核廃棄物を完全に消去できる技術を開発することができなければ、電力の確保という目先のメリットより、核廃棄物の処理というデメリットが大きすぎます。 また、地震大国の日本であり、戦争も辞さない不穏な日本の政治家がいたり、日本近隣諸国の戦争も辞さない様々な万が一戦争がおこれば、原子力発電所が核兵器となる危険性も否定できません。 したがって、原子力に頼らないクリーンエネルギーの開発・増設により、原発をすべて廃炉にすること。そして一国民である我々は電気を極力使わずにいることで補いたいと考えます。
18983	個人	会社員・公務員	50代	男性	3つの選択肢から選ぶのは非常に現実離れをしています。 選択肢の中身に現実的にどういう問題があるかしっかり調査して公表すべき。 あえて選択なら、国民生活に影響が少ない20～25シナリオです。	ゼロシナリオおよび、15シナリオは現実的に不可能です。国民に相当の経済的、肉体的負担を強いられることになります。 再生可能エネルギーは将来的に増やすことには賛成ですが、太陽光は夜発電できません。風力もいつも風が吹くとは限りません。 経済活動に必要な電気はどこから調達するのですか。 一般住宅で太陽光発電はすべて電力会社が買い取ることになっていますが、すべて送電できるとは限りません。それは電圧抑制という機能があり、配電網の電圧の分布で流れない状態があります。 太陽光に限らずこういう問題がたくさんあることをもっと国民に説明すべきです。知らない人、わからない人ばかりでは感情論が先になり、議論にならないと思います。 日本は昔に戻る覚悟がありますか? 日本で電気が使えない企業はどんどん海外へ出て行くのではないでしょうか。日本から産業が消えたら、若者の就職はどうするのですか。しっかり実態を直視してください。
18984	個人	その他	40代	女性	原発割合を、0パーセントに！	福島第一原発の事故は、人災であったとの事故調査委員会の報告が出されました。安全だ、は神話であったということはだれの目からも明らかであり、今なお、放射線量が高いために、事故現場での調査は進まずにいます。そのように、一度事故が起きたら、人間の手に負えない原発を、国内にいくつも抱え込んでしまった現実を改めていかなければ、安心して暮らせる社会、国を次の世代にバトンタッチすできません。知力、努力、総力を挙げて、新しいエネルギー資源の開発し、一方で節度のある暮らし、互いに助け合う社会を築く必要がある と考えます。政府の施策もその方向で決断がなされるよう希望します。
18985	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発ゼロシナリオ	福島の原発事故は今までの原子力政策の見直しをする最後の機会と考えられる。 福島では、放射能で汚染された地域を除染すると言っているが、それは永遠に不可能でしょう。 そんな事故を起こす可能性がある原発は一刻も早く廃炉にして、安全な日本を創りましょう。 原子力村の利權に浸かれた考えは早く捨てましょう。 原発はその廃棄物の処理方法が確定されていない。ごみ処理ができない。 絵空事の核燃料サイクルは永遠に稼働は不可能である。 地震列島の上に、地域振興というエサをばらまき、過疎地に原発を利権にして造った。 原発に依存した市町村は経済を電力会社に握られ、安全より経済優先の意見となっている。
18986	個人	家事専業	30代	女性	1のゼロシナリオを選択します。原発はいりません。大切なのは命であり、健康であり、地球上の美しい自然です。原発の危険性は人間の手に負えないので、まず原発を止めて下さい。経済や利益や利便性はそのあとです。	1のゼロシナリオを選択します。福島の原発事故が起きて、福島に住んでいた私達は避難しました。避難しても、放射能の影響を受けて、いくつもの心配な症状が現れました。いつ戻るかも大きな問題なのです。今、緩慢の高い地域に暮らしている人達、福島第一原発で作業をしている人達、子供をもつ親、これから子供をつくる人達…。たくさんの人に大きな不安を与え、健康に悪影響を及ぼす原発を続けて まで、必要なものが本当にあるでしょうか。たくさんの犠牲を強いてまで、続けたいでしょうか。人としての良心を持って現実をみれば、どちらがより大事かわかるはずです。原発はいりません。電気は足りています。足りなかったとしても、原発の危険性は人間の手に負えないので、原発を止めることを先にして下さい。経済や利益や利便性よりも大事です。そしてこれからは、別のエネルギーの可能性を探りましょう。大切なのは命であり、健康であり、地球上の美しい自然です。それらを経んじては、日本の発展も望めません。すべての原発を止めて、廃炉にすることが、たとえどんなに困難でも、それを強く望みます。日本でそれができると信じています。
18987	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオで原発は早急に停止し廃炉にすべき	市民・企業が節電を意識し生活すれば原発を稼働することなく電力がまかなえると信じている。 行政は早急に火力発電所、地熱発電所、風力発電所、その他の自然エネルギーを用いる発電施設の増設を行い、同時に原子力発電所はすべてすぐに停止し廃炉にすべきである。 使用済み核燃料の処理方法も無いまま、無責任な役人や電力関係者にこのまま地震の多い日本での原子力発電所の運営を任せる訳にはいかない。
18988	個人	会社員・公務員	50代	男性	「原発ゼロシナリオ」を望む。 原発安全対策は経済性から完全なものはできないため、想定外の事故が発生する危険がある。 原発に投入されている資金を回して、より強力に再生可能エネルギー化を推進すべき。	私は「原発ゼロシナリオ」を望みます。 原発の安全対策は経済性を考慮した想定内の対策しか実施できず、想定外の状況が発生した場合には最悪の事態になることを今回の福島原発事故はすでに証明している。愛する郷土を放射能で穢される危険に晒すべきではない。 これを機に日本は原発に見切りを付け、原発に投入されていた資金を再生可能エネルギーに回して強力に再生可能エネルギー化を推進することによってエネルギー問題を解決すべきである。 日本の科学技術力をもってすれば対応可能だと信じている。方向転回をするのは今しかない。
18989	法人・団体等	法人等	法人等	男性	脱原発！原子力発電所はいりません。 自然の力、恵みをいただいて、地熱発電や地域の隅々まで張り巡らされた用水を利用した簡易水力発電が各家庭各地域で可能ではないかと思います。	脱原発！原子力発電所はいりません。 私たちや未来を担う次世代のいのちが危機にさらされています。出口のない原子力発電所による電気をおこす工場機械設備等は、未来永劫に汚点を残し、拭い去ることのできないことを東日本大震災が証明し、その恐ろしさを私たちに示唆しているのではないだろうか。 そこで、日本は火山国であり、豊かな田畑の恵みをもたらす豊富な水資源があります。これら自然の力、恵みをいただいて、地熱発電や地域の隅々まで張り巡らされた用水を利用した簡易水力発電が各家庭各地域で可能ではないかと思います。
18990	個人	会社員・公務員	30代	男性	原子力発電所は全て廃炉とすべきである。私達は福島原発の事故を経験してしまった以上、「原発は安全である」という意見に対して賛成はできない。 放射能は「○○SVなら安全」というような聞値を設けられない。	政府から選択肢が提示されているが、余りにも単純化しすぎていると思います。これらの選択肢の根拠は何なのか？また各選択肢を実現するための具体的なシナリオは考えられているのか？ これらのことが国民に提示されないまま、選択肢の中から選べというのは無理があると思います。 私は福島を経験した以上、少なくとも日本国内で原子力発電所を稼動させるべきではないと思います。イタリアが全廃炉をするように、日本も国民投票で決するべきです。原発が無くても火力発電等をもっと効率よく行う、再生可能エネルギーを普及させるなどの対策に お金を使うべきだと覆います。
18991	個人	その他	30代	女性	自然災害が多発する日本に原発を建てること自体がとても危険であり、また世界は脱原発へと向かっているので、ここで日本も舵を切り、自然エネルギー産業の拡大を目指すべきだ。原発は即刻廃止すべきだ。	日本に建っているどの原発も、自然災害により事故を起こす危険性がある。しかもかなり高い。 種力が原子力エネルギーにしがみつく理由が利権である事は、ヨーロッパをはじめ日本でも暴露されてきている。米国など超大国の意向が存在するのも分かるが、脱原発へと舵を切ったドイツやイタリア、スイス、欧州委員会などうまく連帯する事に集中し、その流れに乗るべきだ。 自然エネルギー産業は今後期待できるので、日本の技術を利用して経済的な効果も狙える。
18992	個人	その他	30代	女性	ゼロシナリオ、再稼働反対。	再稼働反対します。ずーっと原発は?ゼロのままでいけます。そうできるように生き方、暮らし方、一般市民も企業もすべてを変える時です。ゼロシナリオを選?び、再稼働もしないことを強く希望します。 福島の原発事故以来、未だに福島で暮らさざるを得ない方々がいて、4号機の不安と共に全国的に放射性物質にも気を使っている今、安全性も確認されていない原発を再稼働するなんて頭がどうかしているとしか思えません。結局はお金でしかないということももうみんなわかっています。 この先どれだけ生きるかたかだかしれているおじさん達の欲のために、原発を動かすべきではありませんを。 次世代へとバトンタッチしていくのは地球を守る義務があります。 まさに今、変えられる時が来ています。こんなチャンスはありません。 ずーっと原発は?ゼロのままでいけます。そうできるように生き方、暮らし方、一般市民も企業もすべてを変える時です。 ですから強く意見を申し上げます。ゼロシナリオを選?び、再稼働もしないことを強く希望します。
18993	個人	会社員・公務員	50代	男性	ゼロシナリオを支持します。	結局、使用済み核燃料の明確な処理方法が見つからないまま、使用済み核燃料が貯まっていくだけの現状は、このまま負の遺産を後世に引き継ぐ事に他ならない。今の時代に生きている者の責任として、この状態は無責任と言わざるを得ない。その観点から、我々は、あくまでも原子力利用ゼロを前提として、エネルギー計画を進めて、これ以上負の遺産を増やす事を止めるべきであると考えます。
18994	個人	法人等	40代	男性	原発及び全ての核使用・開発に反対します。	福島での惨事は何一つ解決されていません。誰一人、果すべき責任を果していません。核を人間が扱うのが不可能な事は、誰が見ても明らかです。では何故、少なからぬ方々が、それでも核に拘るのか？歪んだ経済至上主義がその理由としか考えられません。 電力は必要です。必要なものであるからこそ、可能な限り恒久的に安全な方法で、それを得る方法に切り替えるべきです。原発の安全性がまやかしである事は、既に世界中の多くの人々の共通認識であると言っても過言ではありません。しかしながら、政府をはじめとする然るべき機関は、我々を欺く様な行為に終始しています。そうとしか思えません。 先のリオ会議の、ウルグアイ大統領のスピーチを、真面目にお聞きになられていますか？ あなた方のなさっている事は、最低です。国内のみならず、世界的に被害をまきちらす要因を放置した上で、今尚、同じ事が繰り返される可能性を多大に孕んだ政策を強行しようとしています。 しかも、唯一の被爆国が、です。 他にも言いたい事はありますが、ひとまずは以上が理由です。
18995	個人	自営業	60代	男性	原発の発電コストについて公開討論が必要。	立命館大学教授が、原発の発電コストは他の発電方法によるコストに比べて高いと表明されている。危険でありコストが高いものであるならば兵器に転用すること以外に原発を使い続ける意味はない。専門家により公開の場で原発の発電コストは高いのか安いのかを討論させ、国民に知らせる必要がある。
18996	個人	会社員・公務員	40代	男性	エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 2030年原発ゼロではなく、来年度よりゼロにするべきです。再稼働した原発は即刻停止、現存する施設は凍結し廃棄をすすめる事を要求します。	人間はミスを犯す動物です、今までの偉人も然り。誰ひとりミスを犯さなかった人間は居ないはずです。そのミスはたとえ小さなことでもやがて大きな自体になってしまう。いま稼働中の原発も稼働する最中、多々問題が起きていましたがこれの多くは人間に起因するものだったのではないでしょうか？いつの時代も繰り返してきた事柄ではないでしょうか？稼働している原発は即刻停止し、日本にある原発は廃棄処理を進めていく。不足電力は一時的に火力や水力などで賄い、節電で経済を回していく。電気代の値上げもそれが真実なら受け入れるしかないです。その代わり太陽光、風力、波力などの未来エネルギー開発に取り掛かり移り変えて行く。地球温暖化にはこの程度では影響が少なくむしろ過去からの蓄積が主でありけんちょな変化は見られないと予想します。原発に掛かる費用を未来エネルギーの開発に回す、こちらのほうが明るい将来を想像できる国の活動ではないでしょうか。
18997	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発即刻停止・廃止	再び原発が壊れれば、日本は崩壊してしまいます。 使用済み核燃料をこれ以上ふやしてはいけません。 原子力に頼らなくても、電力は足りています。 お金にとらわれず、現実を見てください。 福島をちゃんと見てください。
18998	個人	自営業	30代	女性	原発は一部の人の利権のために作られているようにしか見えません。原発ゼロになるように国が推進していかなければ日本の未来はないと考えています。	原発ゼロ。それしかない。 どうして国が原発を援助しているのかわかりません。 東電はじめ電力会社に補助を行わず、もし事故があった時の責任を全て自己責任で補償するようにして、電力の自由化を行ってください。 つぶれたら困る、という名目の下、電力会社は勝手し放題ではないですか。 どうせ何があっても、放射能の被害が甚大でも税金で守られる。いざとなれば「電気が足りません」と脅せばよい。 自分達だけがぼろ儲けの利益を得て、リスクは住民に押し付ければよい。 そんなふうに考えているのが見え見えです。 実際に恐ろしい被害が出ているのに、ごまかすことばかりに必死で開き直り、原発利権を守るため新しい安全なエネルギーの開発を叩いて消そうとやっきになっている、そんなふうに見えます。 どう見ても原発は危ない。事故があれば人が死に、農作物や大地を汚染し、その被害は何代も続くのは明白な話じゃないですか。事故がないはずがない、ということがすでに証明され、世界でもっとも地震が起きやすい国で、情報操作してまで原発を存続させようとする・・・日本は本当におかしな国です。よっぽど強欲な人達が国を動かしているのでしょう。 強欲な人達に支配されているとはいえ、（どこの国も大差ないかもしれませんが）日本人は優秀だと思っています。原発に変わるエネルギーが開発できないはずがない。 誰かが利権を持っていようと、国の税金でぼろ儲けしていようと、ある程度は仕方がないとは思います。ただ、それを危険な「死の器械」で行うことはなんとしても止めたい。 このパブリックコメントも、おそらくは一般市民への告知よりも原発関係者への告知の方が力を入れて行われているのでしょう。でも国民はバカではありません。バカではいけないのです。 国が、未来を、子供達を、率先して守らなくてどうするのですか。 情報操作やごまかすことにやっきになるのではなく、本当に未来を作る政策、技術を作ることにカをいれてください。お願いします。
18999	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発イラネ	金の亡者どもめ
19000	個人	家事専業	30代	女性	原発0%	以前コメントを寄せましたが、原発の比率について書いていなかったので追記します。重大事故の起こりうる原発は0%にするべきです。自然災害は予測不可能で想定外だし、人為的ミスは完全には防げないし、廃棄物の処理能力もないしでは、核は人間の手に余るものと考えます。電気がなければ不便になり経済も立ち行かなくなる、というのは脅しと捉えていますが、それが本当だとしても、それならそれなりに暮らしていくしかありません。返すあてのない借金をしながら、贅沢な暮らしをしようと思わないのと同じことです。
19001	個人	会社員・公務員	50代	女性	原発反対です。以前からそう考えていましたが、3.11ではっきりそう思うようになりました。国民全員で節電し、消費電力の少ない電化製品の開発をすべく産業界に働きかければできない話ではないと思います。	官邸周辺でのデモ行進、政府関係者はその意味をどうとらえているのでしょうか。国民の声に耳を糧向けてほしいからです。自国の国民の生活を守れないようでは政府および政治家としての仕事を放棄していると思うからです。
19002	個人	会社員・公務員	50代	女性	原子力に頼らないエネルギー政策をしてほしい。2030年までには原発は当然0でしょう。セロシナリオを推進してください。	福島原発のように人間のカではコントロールできないことが、今後も起こる可能性があります。また、使用済み核燃料の処理はどうするのですか？何十年何百年地下に埋め続けるのでしょうか？そしてそんなことが本当に可能ですか？ 後世に負の遺産を残すようなことを現在の人間にする権利はないと思います。 一部の人間の私欲のために原発を使い続けることはめてください。もっと地球規模に考えて、太陽光、風力、地熱、バイオマスなどの持続可能なエネルギー、クリーンなエネルギーに変えていくべきだと思います。 絶対にゼロシナリオで！そのための科学技術をもっと高めていけるように研究を助成すべきだと思います。
19003	個人	会社員・公務員	40代	男性	2030年のエネルギー・環境に関する選択肢は当然、(1)ゼロシナリオにすべきである。	ゼロシナリオしか考えられない。なぜ原発に依存しなければならないのか理由がわからない。核廃棄物も原発を廃炉するにしても処理することもできないものになぜ頼るのか。もちろん電気は必要なものであることはまちがいない。しかし、人の手に負えないものでつくることは考えられない。再生可能エネルギー利用をもっと考えていくべきである。今、すぐに十分なエネルギーを確保するのは難しいかもしれないが、原子力にかけている研究、費用、あらゆるものを再生可能エネルギーにむければ希望は見えるはず。もっと本気になり手どりくんでほしい。そのことでこれから電力が不足し今よりも不便になってもそれは覚悟の上です。今こそ、脱原発社会をめざし、自分たちの生活も見つめなおしながら、安全で安心な中でつくられるエネルギーの量の中で暮らしていかなければならないと考える。
19004	個人	会社員・公務員	20代	女性	ゼロシナリオ	今日のニュースでストロンチウムの事が報道されていました。 危険なものを稼働させていて言い訳が無い。 今の私たちよりも次の世代に爪痕を残すことになる。 今ある命から紡いで行く次の命 次の命の為に正しい道を・・・
19005	個人	会社員・公務員	40代	男性	3つの中から選ぶとしたら、ゼロシナリオ。 ただし、原発は、2030年と言わずに、いますぐゼロにするべきです。 また、グリーンエネルギーの比率は、もっと高くしても、頑張れると思います。	原発は今すぐゼロにするべきです。 国会の事故調が指摘したように、今回の事故の背景には、日本人のマインドセットや、組織構造の問題があると思われるからです。 そのような問題がすぐに解決できるはずもなく、法整備だけしても、また、抜け穴だらけの拙大解釈可能な法律が出来てしまい、同じことを繰り返すに決まっているからです。 一方、日本のテクノロジーは優秀です。 再生可能エネルギーの開発事業者には、高い目標と、インセンティブを与え、競争させて下さい。 ひとたび、目標を定めた日本の技術者は、あっという間に達成してしまうでしょう。

19006	個人	自営業	40代	男性	原発は必要ないです。0です。	福島、伊達市に親戚もおり、声を聴いております。 私の家にもソーラー発電2年前に設置いたしました。各家の屋根にソーラーパネル設置、地熱発電の設置、風力発電など再生エネルギーへの移行へ国は取り組むべきです。 福島原発事故の教訓を、危険性をなぜ官僚の方々解らないのですか？ 福島4号炉、もしものことがあればどうなるか解ってると思います。 人が住めない日本になるからです。人だけではなく、ほかの生き物にも異変が起こります。 もう、住む場所を奪わないでください。
19007	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発に「絶対安全」はない、私たちの社会の根幹を破壊しかねない原発と共存することはできない、原子力発電は、エネルギーの選択肢から外すべきである。	原発に「絶対安全」はない。天災・人災を問わず、危機的状況に陥ったときに受けるリスクは、はかりしれないものがある。私たちの健康を蝕み、食を支える農業・漁業を再起不能にし、社会を根幹から破壊しかねない。その影響は、私たち人間が把握しきれない、地球の生態系におよび、取り返しのつかない、次世代への負債となるだろう。たとえ経済が影響を受けようとも、このような危険をはらんだ発電に、将来を委ねることはできない。地球上の限られた資源を、持続可能なかたちで使えるような社会を実現するための努力をしたい。その選択肢に、原子力発電はあり得ない。
19008	個人	学生	10代以下	女性	すぐにでも原発をゼロにしてください	私は、当然、原発再稼動に反対だ。 3月11日から、日本中の人々を苦しませてきたのにもかかわらず、政府は、人事のようにしている。将来、放射能が原因でがんになった人がでてしまったら、責任がとれるのだろうか。 ただでさえ、こういったことが問題になっているのに、活断層の上にある大飯原発を再稼動するなんて、絶対にありえないと思った。
19009	個人	会社員・公務員	40代	男性	原子力発電所全廃	原子力発電所を全廃すべきです。 今後も、福島のような事故が、起こらないというのは考えられない。 天災、人災含め、想像しえない事故は、突に起こりえる。 加え、原子力発電から出た核のゴミを、後世に残していくことしか出来ず、地球環境に影響を与えかねず、その危険は計り知れない。 今回の事故を教訓に、日本は自然エネルギーに舵をきり、環境負荷を少なくするべき。
19010	個人	自営業	60代	男性	原発は廃炉にすべきです、人類はまだ原子力を完全にコントロール技術を持っていません。完全にコントロール出来ないため、福島原発爆発のような苛烈、過酷、悲惨な大事故を起こしてしまいました。	原発は廃炉にすべきです。人類はまだ原子力を完全にコントロール技術を持っていません。完全にコントロール出来ないため、福島原発爆発のような苛烈、過酷、悲惨な大事故を起こしてしまいました。静岡県から青森県まで大なりかなり放射能に汚染されました。原爆と変わりありません。広島原爆の約20倍とも言われる放射能排出で、20キロ圏内だけでなく、特に福島県人は特に小児は父親から離れ母親と一緒に避難し、父親は福島に残って生活費を得ています。このような状態が常態化しています。 もし西日本で福島原発と同じ爆発が起こったならば、日本は放射能に侵され安全な食物を得られなくなる可能性が出てきます。それは日本人の多くが日本を離れ他国に避難することを余儀なくされます。日本はアメリカのような広い国土を持った国ではありません。原発二箇所、三箇所の爆発で日本は滅びます。原発はすべて廃炉にすべきです。
19011	個人	自営業	50代	女性	再稼働は反対です。 原発はゼロにして下さい。	経済も大事でしょうが、経済活動をする人間そのものの生活を脅かされるのであれば、どうしようもありません。福島の事故で確認済みです。これ以上のことが起こらない保証は何処にもありません。又、核廃棄物の処理についても何も決まっていません。もんじゅも役に立たないのに莫大な維持費です。私は、子孫が安心して住める日本を望みます。そのためには、不便な生活に戻ってもそれを受け入れます。

19012	個人	自営業	50代	女性	0%に賛成。福島原発事故の教訓をふまえ、今後起こりうる最悪の想定を日本全体で共有し、目先の経済を重視し、行けるところまで行くという集団自殺的な考え方ではなく、代替エネルギーによる安全な未来を選びたい。	福島第一原発事故で私が学んだことは、最悪の事態は「想定外」とされた、都合のいいことしか想定しないという思考停止のまま、全国の原子力発電所が操業されてきたという事実だ。いくつかの事故調が終わり、いかに想定がずさんであったかが明らかになった。では、いま何が明確に想定されているのか？福島四号機はいまだに危険な状況だ。最悪を想定するのに格好の現実ではないか？しかし、政府は震度6の地震にも耐えられる、と想定。「最悪の場合どうするか」その想定をわれわれは必要としているというのに。誰が事故処理に向かうのか（自衛隊、消防、警察？…決死隊を何人単位で何時間で組織するのか）、避難範囲を誰がどのように情報提供するのか、SPEEDIの情報が信頼できないなら何をもって（アメリカ軍に瞬時に依頼？）正確な情報を流すのか、それら考えられることすべてを想定し、国民に知らせるべきだろう。地震国日本に原発を抱える、ということは、国民全員が最悪の想定を理解し、それでもパニックにならざるを得ない覚悟が必要なのだ。しかし、誰も想定しない。そして、不安にふたをしたまま、なんとなく原発が再稼動されていく。福島の事故、県民の悲惨から日本全体が何も学んでいないも同じではないか、もう一度何か起こったら、日本はおしまいだ。今の経済など吹き飛んでしまう。その前に、できるだけ早く代替エネルギーをビジネスチャンスとし、何十年後かの未来を見据えたビジョンを政界、経済界、学界、国民一人ひとりが持つべき。現在の閉塞した生活感に光をもたらすいいチャンスではないか。目の前の利益ではなく、希望を持ちたい。世界のさきがけとなって、新しい生活様式を真剣に模索したい。日本のような大国が原発なしでも暮らしていけるという仮定のうえで、さまざまな分野を活性化させたい。原発企業が乗り遅れた危機感をもつくらいのスピードで。
19013	個人	自営業	30代	男性	脱原発	原発は本当に安全ですか？ 3.11の件でもう安全なんてことは言えなくなりました。 事故はおきないようにしてるといっても、事故はおきたのですから 事故が起こったときにコントロールできないのを使用するべきではない。 それに、点検や、修理等様々な場所で誰かが被ばくしています。 そんな危険なものを使用し続けなくてもいいでしょう。 電力がそこまで足りてないという話ももうできないでしょう。 脱原発での産業面、経済面のデメリットは分かりますが、 それならば、原発のデメリットもちゃんと発信してください。 どちらが、より人の生命にかかわるのか。我々がどちらを望むのか。 あと、理屈とか、ビジョンとか、損得とか関係なく、 誰もが根本的に使ってはいけないと感じていると思います。 感情論といって切捨てるのではなくて、 それも貴重な意見と考えてください。事実ですから。 誠実な判断をよろしくお願い致します。
19014	個人	その他	30代	男性	原発0%　2030年といわず早い段階で。	原子力発電所の果たしてきた役割は確かに大きい。しかし、それが経済面のみであり、人の命を軽んじた考えのもとで運営されてきていた。情けない話だがこの事故が起きてようやっとわかったことである。 2030年と言わずにできる限り早い段階で、原子力発電に関しては0%にしていただきたい。 再生可能エネルギーを利用して、温暖化ガス（と目される）CO2の排出量をできる限り軽減できるよう、財政面での優遇措置も法整備していただきたい。 理由 今回の事故によって原子力発電がいかに危険なものかを思い知らされたからである。 地域住人は避難を余儀なされ、子どもたちは外で遊べなくなるだけでなく、これから数十年、被曝による健康被害を気にしながら生きていかなければならない。 土地は汚染され、農作物は栽培できなくなってしまった。しかも少なくとも数十年先まで。たとえ汚染されていない地域においても福島県であるだけで風評被害を受ける。漁業、林業においても同じくである。 原子力発電所がひとたび事故を起こした時、あまりにダメージが大きすぎる。 しかも今回の事故や一連の被害の原因は、地震や津波といった天災だけでなく、人災であることが国会事故調査委員会からも指摘されている。 特に運営運用している東京電力の対応はお粗末なものであった。 今後、どんなに優秀な人材を配置し、安全性を高めたと言われたとしても、信用することはできなくなってしまった。 この不信感を払しょくするためにも、今後の未来のためにも、自分たちの問題として、福島の前提で事故調査に当たり、できる限りの防災、減災対策を講じていただきたい。
19015	個人	家事専業	30代	女性	3つのシナリオしか用意されておらず、選択肢が不十分ではないか。特に、原発ゼロシナリオでの「できるだけ早期に」というあいまいな表記ではなく、ゼロにする時期を明示した選択肢を用意すべきではないかと考える。	意見が分かれる論点において、(1)どの程度の時間をかけて減らしていくのかと問題提起をしているのにも関わらず、2030年に向けたシナリオを3本しか選択肢を用意していないのは、論理が破たんしているのではないか。 また、当然、ゼロシナリオにおいて、できるだけ早期に原発比率をゼロにするという表記ではなく、(1)2015年までにゼロにする。(2)2020年までにゼロにする。それと(3)2030年までにゼロにするという選択肢を用意する必要があると考える。このような選択肢を用意しないのは、原発を温存したいという意図が見えて仕方がない。
19016	個人	その他	30代	女性	提示された3つの選択肢ではなく、原発「即時」0%を望みます。発電ロスを減らし、積極的な省エネルギー政策をおこなう。化石燃料への依存をやめ、再生可能エネルギーへのエネルギーシフトをしてください。	福島第一原子力発電所の事故により、日本がどれだけ世界に甚大な被害を及ぼし続けているのか。その事故の収束もままならない中、下に活断層がある可能性の高い、関西電力大飯原発の性急な再稼働。それによる電力余剰により、火力発電所を8基を停止。どこからどう見てもこの国は異常です。汚染地域の救済もせず、人のいのちよりも経済を優先させた今回の政府の行動、わたしは一生忘れません。 被曝労働をともない、安全といいながらも事故が起きたら手のつけようがない。稼働すればするほど、処理できない核のゴミが増え続け、それを処分する場所すら決まっていない。（故障してばかりの再処理工場の稼働にも絶対反対です。直接処分を支持します。）そんな危険な原発でつくった電気は金輪際使いたくありません。 福島の事故が起きて尚、「2030年に原発ゼロ」など、悠長にもほどがあります。 いまこの瞬間から、原発ゼロ、それでも電力をまかなえるエネルギーシフト政策に、真摯に取り組むべきです。 石炭の割合減、天然ガスの利用増により、CO2の削減を目指すとともに、無駄を省いた省エネルギー政策の推進、再生可能エネルギーの積極的な導入を望みます。
19017	個人	その他	30代	男性	原子力は、環境中を安全に移動させることが難しい上、将来の世代に危険な廃棄物のコストを負わせ、さらには、恐竜時代にウラニウムを埋めたとしても、まだ半減期を迎えたばかりのレベルである。	国家の補助なしにエネルギー確保を考えた際、 原子力コストは火力に劣ると思います。 温暖化以上にリスクの高い政策は取るべきでない。 情性。無視。制度的自己満足での政策であってはならない。
19018	個人	家事専業	40代	女性	原発をなくす努力を	原発をなくしてほしい。地震列島日本では原発は無理だと思います。今まで、日本列島で福島のような原発事故がなかった方がおかしいと思います。 今まで、私は原発に対して何も考えず生きてきました。こんな恐ろしい事故が起きてから、慌てふためいて一生懸命反対デモに参加している自分が恥ずかしいと思います。もっと以前から、政治に関心を持って（民主主義の意見を持って、民主主義国家で国民の意見が通る国家を作っていく努力を日々怠らなかったらよかったと上日本国民として後悔しています。自分のためだけでなく、今現在、事故の被害を受けている方々のためにも）です。政治家の皆さんは自分の今までの行いに後悔していますか？そして、これからは民意を誠意に聞き、こんな恐ろしい事故が2度と起こらない日本を築いていこうと思いますか？何が必要ですか？ とにかく、原発は反対です。原発に使うお金があるんだったら、（当然ありますね、再稼働しましたし）、いますぐにでも、その資金を使い、安全で比較的効率の良いエネルギーに代えるべきです。少しコストがかかっても、です。急がば回れです。もし、ここでかえなければ、また事故が必ず起こります。誰かに頼まれて日本を滅ぼすために再稼働させているのですか？国は私達国民を皆殺しにするために再稼働をしたのですか？ これは、とても、暴力的な言い方と感じますが、本心です。私は福島近隣の方々に比べると、幸運なことにも、外部、内部ともに被爆を恐れて生きていく地域に住んではいません。福島近隣の方々が大変な努力をされて日々をお過ごしになっているのか計り知れません。 私は2児の母ですが、原発事故後、子供の将来も大変心配でなりません。このままでは、将来の日本の衰退が目に見えています。病気によって人口が減ってしまうのではないですか？生きていても病弱で働けない人間が増えた時に保護はどうするのでしょうか？健康に働ける人口が減れば税金も思うように支払いが不可能です。町中が悲しみを抱える人間でいっぱいになって希望からかけ離れた社会。考えるだけで恐ろしいし不安です。国は国民を安心させているのではなく不安を暮らせているように感じてなりません。自分や自の家族や友達が直接被害を受けるのも勿論つらいですが、自国が衰退していく様子を日々感じながら生きていくのもつらいです。その中で、自分の子供達がどのように育っていくのか心配です。癌が心配です。今は国の衰退の入り口のような感じがして危機感を感じています。 そんな危機感を感じている時に、原発再稼働のニュースです。原発があったら、地震列島の日本中、どこに暮らしても安全な所はありません。風向きで被ばく量が変わります。日本国民の安全な生活や人生が賭けですか？日本は治安がよいといいますが、たとえ治安が良くても政府に国民の命をとられるのだったら、治安が悪いのと同じことではありませんか？ だから、なんとかしてほしいです。逃げたいけど、逃げ場所がないです。私は日本国民ですから。
19019	個人	会社員・公務員	20代	男性	「原発ゼロシナリオ」に賛成です。	震災直後、報道される原発事故の映像を、友人たちと固唾を飲んで見守りました。二度とあんな思いはしたくありません。 原発は背伸びです。私たちは身の丈に合った生活をすべきです。変わるなら、今しかありません。 「原発ゼロシナリオ」を進めましょう。 省エネ化と、少しの我慢（同時に価値観の転換が行えたらいいですね）を推進し、原発をゼロにしましょう。 よろしくお願いします。
19020	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発比率0%とすべきである。早急に脱原発、全原子炉の停止及び廃炉に向けて動き出すことを強く願う。加えて、太陽光、風力、小水力、海洋発電の普及開発に努力したい。送電網の自由化も必要である。	(1)まず、原子力発電は、危険極まりない。通常運転をしながら、放射性廃棄物が絶えず産み出され、それらの安全な処理の方法は未だに確立されていない。 (2)原子力発電はトータルで見て、発電コストが極めて高い。建設、運転、燃料の交換・処理、メンテナンス、やがて来る老朽化と取り壊し、廃炉。これらのコストは全て国からの補助金という形で国民が負担することになっている。電力料金というより、人頭税に払わされていると同じ。それらに費やす莫大な金は、持続可能なエネルギーの開発に当てるべきだ。 (3)3．11福島の大失態をさらした今、世界の潮流は原子力発電から離れている。制御不能となった時、国土を失う事態にも発展してしまうことが証明されてしまった。誰も放射性物質の飛散拡散に対して責任が取れないということも明らかになった。それでも更に再稼働するなど、狂気の沙汰としか思えない。 将来の日本を背負って立つ若者や子どもたちに、極貧の遺産を残す大人がどこにいよう。 (4)電力会社があまりにもお金儲けに走り、その経済力にものを言わせ、国として冷静な判断をするのを邪魔立てしているとしたら、もはや日本は民主主義国家などではないと感じている。 (5)私は6年前から太陽光発電を行っている。より多くの普及が進めば、また、それに伴う技術革新が進めば、投資額はより低く抑えられる。日本の技術力と国際的競争力を高め、先進性をもって生き抜くことこそ、今、国のリーダーが考えなければならないことだと思う。 (6)原子力発電が安全なら、東京のど真ん中、火力発電の横にでも建てればよい。誘弁はもうたくさんである。
19021	個人	自営業	50代	男性	最も困難な0%を選択するべきです。日本は過去幾度も非常に困難な状況を乗り越え、さらに発展してきました。極限でこそ新たな地平がみえます。なまぬるい条件ではブレークスルーはおきません。	3つのシナリオはいずれも実現可能な数値が上げられていると思います。 また0%シナリオの再生可能エネルギーは堅めに見積もっていると考えます。 省エネに関しては、現状より10%の減を予想していますが、照明機器のLED化だけで992億kwh減ることの試算（日本エネルギー経済研究所H23/5）もあり、消費電力・待機電力減の機器開発、産業構造の変化により20%も十分可能でしょう。 3つのシナリオのうちいずれかを選択するかと言うことは、実現可能性が問題になるのではなく、エネルギーの利用と生産に関してどのようように考え、覚悟して実現するかかという点につきます。 ・原発の絶対的な安全性の神話が崩壊し、かつ原子力発電を推進してきた人々に対する信頼が、ゼロどころかマイナスになってしまいました。 私達は事故は絶対に起きないという前提で、原子力発電を容認し、又実際に3．11までは大規模な放射能漏れ事故が起きなかったことから、信頼してきたわけです。しかし、この前提が覆った以上、原子力発電を進める人々による原子力発電所の運転を任せる根拠がありません。原子力は危険な物であることは、誰しも認めることです。神話にすがる人々に任せられるような代物ではありません、 大飯原発の再稼働に際しても、広域避難訓練はおろか、被害想定、避難計画すらたてられておらず、オフサイトセンターも至近距離のままという現状は、またしても「大事故は起きない神話」だよりと言えます。 代替技術が皆無であればいざ知らず、発電に関しては多様なエネルギー源が日本には存在します。 －－－－参考－－－－

19025	個人	その他	60代	男性	原発に頼るエネルギー政策は止めるべきだ。また原発再稼働に対する怒り。	福島で原発事故が起きましが、私は前から原発には反対でした。原発を稼働することによって出る核のゴミをどうするのか、まだ最終処分場も決まっていません。危険なこのゴミを子孫に残すのか。それでは無責任に過ぎルと思います。稼働すればゴミが増えます。やはり中止しかないと思います。 さらに今回の事故は起こるべくして起こった事故のようです。東京電力をはじめとした原子力ムラの人々の無責任さ、政府の無策、保安院の無責任体質、どれをとっても救いようがありません。 福島の原発事故の原因究明もなされないうちに、政府は大飯原発3，4号機を再稼働させました。無責任きわまりないです。今度事故が起きたら、日本は人々の住めない国いなってしまう恐れがあります。首相は責任を取ると言いましたが、事故が起きたら責任の取りようがありません。経済よりも命の安全が大切という初歩の論理も分からない人々が政権を担っている日本は不幸です。 原発を輸出すると言っている人々は原発事故は起こらないという神話にまたしがみつこうとしているのでしょうか。世界ではもう三回も事故が起きています。これからも起きると考える方が自然でしょう。どこの国で原発事故が起きても、世界中に放射能をまき散らすことになります。地球環境を守るためには原発をゼロにしなければ、人類は危険と隣り合わせで生きなければなりません。いや、危険と隣り合わせではすまないでしょう。人類の危機は核戦争ではなく、原発事故、核のゴミから発生するというのほうがちすぎでしょうか。
19026	個人	その他	40代	男性	(1)ゼロシナリオがめざすべき政策と考えます。	使用済み核燃料の処理が出来ない状況で原発を稼働させることは、今の我々のために未来の人々を犠牲にすることだと思います。 また一度事故を起こしたら、福島のように取り返しのつかない被害を生み出ます。事故がなかったとしても、廃炉がきちんと出来るかどうかまったくわかりません。(おそらく使用済み核燃料同様きちんとしたことは出来ないと思われます) 原発廃止を支持する理由はほかにもいろいろ挙げられますが、原発で働いている人々や原発のある地域の人々の命と健康のため、美しい国土のため、未来の人々の命と健康のため原発は可及的速やかに廃止すべきと考えます。
19027	個人	自営業	40代	女性	原発ゼロで	福島の様に住めなくなっては経済も何もありません。電気が足りる足りない…私たちにはどちらを信じるか自己判断です。しかし、これまで嘘をつかれ続けた東電や国の言葉はもう信用出来ません。「足りる」と言って、料金も何もない方々の意見を信じるに決まってます。我が家でも電気なしでは仕事も出来ません。でも、原発事故から頑張って省エネを心がけています。しかし、勝手に微妙にじわじわ続ける電気料金。そして、大幅な値上げ…。どれだけ国民に東電の失敗を押し付けるのか…。まずは、電気の自由化を…選べるとしたら、東電の電気は絶対に買いません。自然エネルギーが高かったとしても、そちらを選びます。せっかく停止した原発、ここで自然エネルギーに切り替えないなんて、本当に愚かだと思います。自然エネルギーに切り替える事で雇用も得られると思います。地域で行えば活性化にもつながると思います。各地でデモも大きくなって来ました。「うるさい」でおわらせるなんて、どんなに馬鹿にされているのだろうと思います。国民の意見に耳を貸さない政府なんていらないと私は思います。
19028	個人	会社員・公務員	30代	女性	日本で原発は危険すぎます。 全廃に向けて本格的に動いて下さい。自然エネルギーによる事業に本気で取り組んで下さい。今やらないと、日本の未来はないと思います。	日本で原発は危険すぎます。 自然災害を想定してそれに合わせて安全システムを作ったところで、その予想は裏切られる事を日本人は体験したのです。本当に想定できるのなら、311の事故は起きていませんよね？ もし、誰かが想定して忠告しても、政府と電力会社は対策を怠りましたよね？ 一度動き出したら軌道修正しようともしませんよね、事故が起きても尚。 原子力を安全に扱える人間はいません。 誰にも任せられませんし、任せられて責任を負える人間はいません。 全廃に向けて本格的に動いて下さい。自然エネルギーによる事業に本気で取り組んで下さい。今やらないと、日本の未来はないと思います。
19029	個人	会社員・公務員	60代	男性	3つの選択肢はいずれも、2030年時点でのエネルギー体制の選択となっているが、現時点から原発ゼロという選択肢を置くべきである。 この3択だけでは、原発再稼働を前提にした議論になってしまう。	以下の4点を述べます。 1．核燃料サイクルに展望を持たえない。 増え続ける核燃料のゴミを、10万年以上もの期間、貯蔵できる保証は技術的に存在しないと思われる。これを将来世代に引き渡していくのは犯罪ともいえる。既に存在する使用済み核燃料は何らかの方法で貯蔵しなければならないが、これ以上核のゴミは増やすべきでない。 2．福島第一原発の事故原因がまだ究明されていないうえに、収束もしていない。 事故の発生原因が未解明のまま原発の再稼働をすることに驚きを禁じ得ない。 また、未使用核燃料、使用済み核燃料、メルトダウンした核燃料の回収もできていない。このような中で、なぜ見切り発車するのか。 もし、再び同じような事故が起きれば日本は崩壊すると言っても過言ではない。そのくらい大きな取り返しのつかない事故を起こしたのだという認識を忘れてしまっては困る。 事故は必ず起きる。人間は必ず過ちを犯す。ひとたび事故が起きれば破局を招くような物質を取り扱わないことこそ賢明な選択だと思う。 3．原発を規制する、信頼できる組織体制ができていない中でのエネルギー政策決定には疑問がある。 情報格差のある中で、国民は正確な十分な事実を知りえていない。電力会社も経済産業省も自己組織の保身のために従来路線を踏襲しがちである。今、我々が行うべきは自己組織の保身ではなく、安全な社会を構築することである。 4．廃炉のコストを先送りすべきでない。 廃炉にいくらコストがかかろうが、それを将来世代に先送りすべきではない。廃炉には時間とコストがかかる。再稼働を続ければ、それだけ長期に亘ってそのコストを将来世代に負わせることになる。 以上
19030	個人	会社員・公務員	40代	男性	2030年までのなるべく早期に原発比率ゼロに。核燃料サイクル政策に関して、使用済核燃料を直接処分する政策を採用。最終的には再生可能エネルギーと化石燃料からなるエネルギー構成に。(ゼロシナリオ)	今までの政府のエネルギー政策が余りに予算，人員とも原子力偏重，再生可能エネルギー軽視であったのは明らかであり，再生可能エネルギーを最優先に予算と人員を回し，技術開発と普及のスピードを上げるべきである。 原子力については，廃炉までの安全対策，安全な廃炉技術の確立，核のゴミの最終処分のみに集中すべきである。新規建設は一切認めず，また高速増殖炉もんじゅは即時廃炉にし，核燃料サイクルからは前面撤退すべきである。 また，政府と電力業界の所謂原子力ムラが生んだ根拠なきデタラメな安全神話が今回の福島の惨劇を招きいたのは明らかである以上，政府と電力業界は今後のエネルギー政策の決定では黙って国民の意見を聞き，それに従うべきである。
19031	個人	家事専業	40代	女性	再稼働反対	原発は、未来のため絶対に動かしてはいけません。 事故は、必ずまたおきます。原発の事故の代償は余りにも大きすぎます。 今回の福島事故で痛いほど分かっている事！国は隠ぺいしているけれど、これから沢山の悲しい事態が起きるがおきるでしょう！ 同じ過ちはもう繰り返してはいけません。 再稼働絶対反対です・
19032	個人	家事専業	30代	女性	日本国内すべての原発即停止及び廃炉作業にうつる事を強く望みます。	この度の大飯原発の再稼動には震撼しました。 日本政府は、日本国民の「いのち」よりも「お金」が大切という事を、この強引極まりなく行った再稼動によって、世界中にアピールしたも同然です。そして世界はそれを目撃・確認してしまいました。 世界の国々も、日本のこの愚かな決断を許してはいけません！そして日本国民は立ちあがらなければいけません！！ 今の日本の状況をきちんとみつめて下さい。お願いです。 どやかく理由をこじつけたとしても、原発の時代はもう終わりです。 目をつむって、深く呼吸をして、今の日本の状況を考えてみて下さい。 福島の人達の声を聞いて下さい。忘れないで下さい。お願いです！！
19033	個人	会社員・公務員	30代	女性	(1)ゼロシナリオを求めます！！	原発に依存し続ける事は、いったい誰にとって有益なことなのでしょうか？ 私には全くわかりません。 人類は太古の昔から、自然に畏敬の念を持って共存してきたはずです。 恵みを人間だけで搾取せず、分をわきまえて慎ましく、自然の恵みに感謝して生きてきたはずです。(江戸時代がベストなバランス！) 戦後の高度経済成長から、人は欲に任せて人間中心の生活をしてきてしまった…ほんの数十年前の事で。 そしてその代償が、去年の災害で明らかになりました。 私たちはここで、今までの自己中心的な考えを改め、行動も変えていかなければなりません。これ以上自分の首を絞めるようなことはしてはなりません。 今，過去の行いを反省すべきです。 そして変えていかなければ，これから生きていく人たちに申し訳がない。 今変わらなければ，きっと近い将来取り返しがつかないことになります。 本当に最後のチャンスだと思います。(大変大きな代償を払いましたが) 再度同じ事故が起こったら(このままだったらきっと起こるでしょう)… 日本は終わりです。いや，地球が終わります。 ここで日本が先頭を切って電気政策を転換し，世界をリードすべきです。 日本は唯一の被爆国なのに，これまで原発を進めてきました。 二度も苦しめられるとは…もううんざりです。 原子力の利用や遺伝子の操作は，神の領域であって人が操作してはいけないものだと個人的には感じています。人の手には負えないということです。 今後国民全体で十分な議論を行い，過去を反省し，これからの事を真剣に考えなければなりません。その責任が私たちにはあります。 どうか，国民の意見に耳を傾けてください。多くの方が同じことを感じているはずです。 目の前のことではなく，もっと先にことを考えてください。 明るい未来のためなら，色々なことを我慢できます。その覚悟はあります。 どうか明るい未来を想像させてください。ビジョンを見せてください。 未来に希望を持たせてください。
19034	個人	パート・アルバイト	40代	女性	原発をゼロにして！	今も故郷に帰れず苦しんでいる方たちがたくさんいます。 どうか原発を必要としない国を目指してください どうかいつまでも子供達が安心して暮らせる国を！ もっと再生可能エネルギーの普及を目指して積極的に動いて欲しい 原発再稼働へむける熱意を再可能エネルギーへむけてください 今ならどんな苦労も受け止められます。 野田首相のいう守るべき国民が，私たち一般市民のことなら！
19035	個人	自営業	60代	男性	2030年　0%　　最も即日0%よい	あまりに拙速な原子力発電再稼働には怒りを覚える。 そろそろ　本音の政治に戻ってはどうか。 古川、細野氏には国民として怒りを覚える。 そこまで業界、官僚にへりくだらねばならないのか。 政治家のプライドなくしたのか。あやつられ人形を見ているようだ。 情けない。
19036	個人	自営業	40代	男性	本当に原発って必要なの？	関西在住です。 大飯原発が再稼働しなければ、この夏の電力需給は不足すると、聞かされてはいましたが、今日（7／24）だって気温30度越えであったにも関わらず、最大で84％で安定的との使用状況、発電量2,886万から換算すると、約450万の余剰電力があった事になる。 大飯で発電される電力量は1～4号機全てが稼働しても471万?http://www1.kepco.co.jp/wakasa/ooi/gaiyou/gaiyou.html参照 と言う事は、現在は3･4号機だけの再稼働になるので、総発電量はこれより下回る。 それを鑑みても、原発の再稼働が無かったとしても、今のように皆が節電を心懸けるだけで、充分な電力量は確保されたのではないかと言う疑念が浮かび上がる。 火力発電や原発に頼らない他の発電方法だけでも充分賄えるのではないか言う疑念がわいてくる。 ここに様々な再生可能エネルギーを駆使する事で、原発自体が必要なくなるのでは無いかと思えてならない。 原発は、今までコスト安を掲げてきた。だが安全やいずれ来るであろう老朽化した原子炉の廃炉という、最もコストがかかる部分には目をつぶってきたからだと、国民は気が付いてしまった。 そんな事も加味すれば、緩やかに現在有る原子炉を廃炉にし、再生可能エネルギーへと順次移行する事がベストなんでは無いかと考えます。 余談ですが、我が家も太陽光発電を始めようかと考えています。
19037	個人	パート・アルバイト	40代	女性	「エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 2030 年のエネルギー・環境に関する3つ選択肢の中で、(1)ゼロシナリオを選択いたします。 さらに、すぐにでも原発を0にしてほしいと思います。	日本は活断層が豊富な地震大国です。 そのような国に、ひとたび事故が起きれば取り返しがつかなくなる、 賠償も国家の手に負えなくなるような原子力発電所は不適切だと考えます。 大飯原発、志賀原発、敦賀原発など、活断層の上に建てられた原子力発電所も多く 明日にでも、地震により再び福島のような、あるいはそれ以上の惨劇が起きる可能性が あります。 これ以上、事故補償は国民にも負担できません。 これ以上、日本を汚すことなく、過剰な電力消費を見直し、小さくても健全な国を 子ども達に残していきたいと思います。
19038	個人	家事専業	30代	女性	「ゼロシナリオ」を支持します。危険性がすでに証明されている原発をこのまま使い続けることは、電力会社の利益になっても、国民の利益にはなりません。国民の利益とは経済性だけでは計れないものでだからです。	すでに3･11の原発事故で、全世界に原発の危険性が証明されました。その犠牲は、多様かつ甚大で、我々がどうあがいても取り戻すことはできないのです。 原発が、どんなに経済的で、CO2排出量が少なくて、そして一部の有力な人間にとって利益があろうとも、政府が最も重要視するべきは、国民が安心して暮らせる平和な国を作るということです。国民が安心して暮らせるとは、安易に経済発展だとか、雇用創出だとか、高い発電効率と電力の安定化・低価格化だとか、そういったことを言われますけど、本当にそれだけが国民の望んでいることでしょうか。原発事故で故郷を追われた避難者の方々の無くしたものを想ってみると、本当の一般市民の望む平和な生活は、原発と共存できないということは明らかです。 お金の損得勘定だけで、原発を選ぶべきではありません。つまり、多少の負担を国民に強いる結果になったとしても、「ゼロシナリオ」を選んだ責任を、自分だったら喜んで背負うつもりでいます。そして、多くの国民も同じ思いでいるはずです。 また、国民の利益とは、美しい国土／地球に生活できるという喜びがあります。環境を汚染し続ける発電方法を選ばず、自然からエネルギーを拝借したり、さらなる科学の発展により新しいクリーンな発電方法を開発し、化石燃料への依存度を下げることも重要です。そして、我々は地球に住ませていただいているのだという謙虚な姿勢を常に持ち、環境を破壊せず生活を営んでいくことが求められていると思います。 以上の理由より、私は原発ゼロのシナリオを強く推します。
19039	個人	その他	60代	女性	地震の多い日本には原子力発電所は最大の危険です。 すべての原発を日本から無くして下さい。	原子力発電所が想定外の事故に会った時に どれほどの被害を被るか計り知れない事は、福島原発の事故が証明している。 それは国土の喪失、健康被害、命と財産の喪失に他ならない。 地震の多い日本から 地球上から福島原発事故を最後にしてもらいたい。

19040	個人	学生	30代	女性	0%にして行きましょう。 再稼働反対。 原発ゼロにする方向を目指す未来にしてください。	広島、長崎、福島、どれだけ酷いめに合えばこの国は分かるのでしょうか？ 「命より経済が大事」だと 子供に教育しなければならない現実をなんとかして欲しいです。 何万年もの未来を たった130年の電気の歴史で壊していいわけがありません。 切実な想いを受け止めて欲しいです。 地球の美しさに気付いて欲しいです。 人間の芸術的な素晴らしさに気付いて欲しいです。 ここ、日本は古来聖地でした。 こんなに汚してしまった事、謝ってもきりが有りませんが せめて、方向性をしっかり決めてそこを目指して 力を合わせて頑張ってみたら素敵な国になれるのではないでしょうか？ まず、「いつまで生きられるの？」と聞いてくる子供たちの為にも 方向性をしっかり決めることが大切だと思います。 勇気を出して方向転換してみましょう!! 病気になった親族のため、お金なんてってなるのと同じです。 味方になるはずです、そして今の若者は優秀です。 出来るはずです。 「死んでしまうからどうでもいい」なんて恥ずかしい大人ばかりです。 こんな地震が多い島に 人間が作ったお金と言うシステムの為に 特攻隊みたいな真似はやめて欲しいです。 私たちの税金を大切に使って欲しいです。 お金で働く政治家しかいないのですか？ 国民に食べさせてもらってる事に気付いて下さい。 政治をするなら心で働くボランティアにして下さい。 お礼は税金から支払われるシステムだったはずです。 誰を犠牲にして誰を守りたいのか 一番病と云う病気です。 世界の国は先進国だけではありません。 お金持ちがお金持ちでいられる政治も悪魔に取りつかれています。 お金の為に命を犠牲にする政治しか出来ないのなら 全員辞めて実家に帰って欲しいのです。
19041	個人	その他	40代	男性	原子力発電はやめるべきではない。国内15%～25%で維持すべき	この先　未来のエネルギー制作が拡充されていないのに　根本的な廃止には賛成できない。今回の原発事故は地震、津波の影響は薄く。いろいろな角度からの安全対策の怠りが事故の原因によるものだと思います。 東電、関係部署、管直人元総理の対応の責任がこの事故の原因である以上この関係者（管元総理）をしかるべく責任を負えば　この反対派の意見は薄れるものとさたいします。
19042	個人	学生	20代	男性	「エネルギー・環境に関する選択肢」に対する意見 2030年に原発比率20～25%を主張 ・脱原発は単なる「逃げ」 そこに未来はない ・現実的な視点をもってエネルギー政策に取り組むべき	世論の大勢は脱原発・反原発を唱えているが、あえて原発の活用を主張する 日本には資源は乏しい、その上輸入の化石燃料はどんどん高くなっていく。将来的に火力発電の割合も減ってくる。 再生可能エネルギーのみで国を持たせるためには今の10%を100%にしなければならない。とても現実的だとは思えないし、今の日本の財政状況ではその望みすらない。 原子力に関する技術開発を進め、福島の反省を活かす努力を怠らなければ、原発を活用することも可能である。そもそも脱原発なんていう考え方は「逃げ」である。逃げで問題がすべて解決すると思ったら大間違いだ。 大量の二酸化炭素を排出し続ける火力発電に無駄金を投じ続けるのと、水力発電ダムの数を現状の10倍にするのと、既存の原子力施設を動かすのと、どれが最も簡単に国民生活を豊かにできるか、今一度考えていただきたい。 原発ゼロにして、「エネルギー足りないから誰か死んで」「エネルギー足りないから生産やめよう」では話にならない。
19043	個人	家事専業	60代	女性	原発に安全はあり得ない。人間の制御できない核を利用する発電には反対です。子供、孫等未来を担う世代への健康被害を招かないよう原発のない社会を望みます。	福島の例からわかるように、原発事故は人々の故郷を奪い、生きる手段を奪い、途方もない被害を人類にもたらしました。それでもまだ原発を再開しようとする理由がわかりません。「一人も死ななかったから良いではないか」と電力会社社員の言葉は被害にあった人々の苦しみを全く理解しない。儲けがこの世のすべてと言ってるに等しい暴言です。自分が住んでいるところで事故が起きたら平然とこのような発言ができるのでしょうか？子供、孫の健康被害をこれから何十年先まで心配するような原発はなくしましょう。使用済み核燃料の処分もはっきり出来ない現状で、事故が起きた時は「想定外」と言って済まされる状況にはもうないのです。放射能に汚染されたごみは増え続ける一方です。このような危険な、人類が制御しきれない核は利用すべきではありません。 核を安全に利用する知恵はいらないから、安心・安全な代替エネルギーを開発することに知恵を使ってください。科学者は自分の住んでいるところ、自分の家族、子供、孫がそこに居たら？を常に頭において安全第一の研究をしてくださるよう強く望みます。
19044	個人	会社員・公務員	20代	女性	(1)ゼロシナリオを支持します。	地震の多い日本で原発の保有・稼動は自殺行為であると思います。 今すぐゼロになるわけではないけど、今始めないといつまでもゼロになりません。 四季豊かな美しい国、日本を守るためゼロシナリオを進めてください！！！
19045	個人	パート・アルバイト	40代	女性	すべての原発を、即時廃炉	今という時代に生きる人類が何十年か使う電気のために、放射性廃棄物は何十万年も安全に保管させる。安全に保管できる方法も確立されていないのに、すべて後回しにして、原子力はクリーン、原子力は安全、原子力は安い？全て嘘でした！ どんな理由を付けても子孫にこの始末をお願いする言葉が出てこない。 これ以上始末できないゴミを増やさない為にも即時廃炉すべき。 関電も、再稼働して満足気に火力発電をさっさと止めているのですから、やはり電気は、余っていますね。 嘘だらけの節電のお願いはもう止めてください。あのCMも電気料金の原価になるんでしょ。 火力発電にすると燃料代が！というけれど、それならどうして地熱を早くから取り入れない？地熱発電に燃料代はかからないでしょう。
19046	個人	会社員・公務員	30代	女性	2030年の原発依存0%「ゼロシナリオ」の決定を！	原発を動かせば必ずできる使用済み核燃料の処理施設もまだ決まっていないような状況で、稼働を続けていくなんて考えられません！近い将来相当大規模な地震が想定されているなか、100%安心とはとても言えない状況です。これからの日本に世界も注目していると思います。日本の技術力を結集して、新しい発電の技術や蓄電など、ピンチをチャンスに変え、経済成長につなげていく方向に力を入れていくことを強く望みます。
19047	個人	自営業	30代	男性	原発反対！0%！	福島在住でした。政府は福島県民を忘れないで欲しいし、今回のこのアンケートも、もっと国民に知らせるべきではないのでしょうか？本当ならば国民投票をするべき！何故？今回の事故で外国が原発の有無の投票をしたのに、当の日本は今更？しかも皆知らないアンケート？あり得ない！どうせまた嘘、隠蔽できるからでしょうか？少しは国民の意見を聞いてくれませんか？明日は我が身！福島の苦しさを、また繰り返してはいけません。

19048	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発依存度0%が希望です。	電気のために住めない場所を作り、人々の家や故郷を奪う原子力には賛同できません。今すぐに原発を止めるべきです。原発依存度0%が希望です。 日本では地震は必ず来ます。津波も来ます。 これまで原発は「安全である」と繰り返し言って来たのに、全く安全でなかったことが証明されました。2011年3月の事故は「想定外」を繰り返しましたが、人災です。 2011年3月の事故とその後の国、電気事業者の対応を踏まえると、原発での発電を信頼できるに足る材料が何一つありません。 逆に、原発を動かすならその安全性を証明してからにするべきです。 きちんとした調査もなく、説明もなく、ただ「電気が足りなくなるから」と原発を動かす。果たして本当なのでしょうか。国と電気事業者の隠蔽体質にはウンザリです。 今後、日本は再生可能エネルギーにシフトしていくべきです。 そして、現在の社会のあり方を再考していくべきです。電気は足ります。 原子力で電気を作り続けても、どんどん使えば、電気は足りなくなるでしょう。 原発は即刻止めるべきです。
19049	個人	自営業	50代	女性	原発はゼロにしていくべきです。	電気は必要です。 でも、常に不安と隣あわせの電気は使いたくありません。 誰かの命や健康を犠牲にする電気は使いたくありません。 でも残念なことに今現在、私達国民には選択肢はありません。 自然エネルギー活用にむけて、もっともっと政府は前向きになってほしいと思います。 福島原発の事故を経験した（今も継続中ですが）日本だからこそ、世界に先がけて安全安心なエネルギーをつくりだしていくことが国の使命だとも思います。 経済発展も大切なことですが、原発に頼らない経済　を望みます。
19050	個人	会社員・公務員	30代	男性	2030年の原発依存0%「ゼロシナリオ」を支持します。	「ゼロシナリオ」を決定し、原発の立地する市町村には、別の振興策を策定すべきです。将来、自身等でさらに大きな被害が出る可能性もあり、原発の安全を保障しきれない以上、原発依存を続けるべきではないと考えます。
19051	個人	会社員・公務員	40代	男性	2030年は原発0%でお願いいたします。	原発を100%管理できる科学力が人類には無いと思います。 原発がある限り、自然災害、電源喪失によるメルトダウン、施設での作業での被ばくによる病や死、核廃棄物による汚染や兵器使用、などに怯え、地球環境を汚し、他の生物、地球に人類など居ないほうが良かったという事になると思います。 再生可能エネルギーの開発に国は力を入れるべきであり、発電の自由化をするべきであり、電力会社が原発をあきらめられるように、国が協力、指導される事を望みます。
19052	個人	自営業	60代	男性	原発はすべて廃止。	火山国に原発は危険。 福島の原因が不明。 世界有数の地熱資源国。 地熱発電に代替させ経済復興を。
19053	個人	自営業	50代	女性	0%を望みます。	「絶対に安全」とお墨付きがなければ、この世には存在させてはならないものは、動かしてはいけないのです。 二度の被曝体験を持ち、 南洋の核実験被曝の魚を食べて育った私達世代は、各種アレルギー、腎疾患、若年性悪性腫瘍・血液疾患、生まれながらの四肢異常等など、たくさんの業を背負っています。 第五福竜丸の乗組員だけではないのです。
19054	個人	家事専業	50代	女性	原子力発電の割合は40%程度は必要。	代替エネルギーが未だ開発途中であるにもかかわらず、原子力発電の割合を減らすのは本末転倒である。順序を間違えてはエネルギーの安定供給は望めない。
19055	個人	会社員・公務員	20代	女性	2030年の原発依存率は0%を目指すべきだと思う。ゼロシナリオを今後のエネルギー政策の基本にしてほしい。	福島原発事故の後、一時は現存する原発を全て止めることができたのに、多くの反対を押し切ってまで、再稼働を始めた理由が理解できない。また原発をなぜ稼働させなければいけないのか、経済的な面だけでなく、きちんとした理由を示して欲しい。原発を稼働しないことで再び福島原発事故以上の重大な問題が起こる可能性があるならば示して欲しい。多くの国民は今までの説明で納得できていない。国民が納得できる明確な理由がない限り、原発の依存率は0%を目指していくべきだと思う。
19056	個人	無職	60代	男性	原発は即廃炉	3.11原発震災以降「死を覚悟しています」「じわじわと死を感じるのです」「助かったとしてもこの先、放射能の恐怖と隣り合わせなんです」「私たちは見捨てられました」「被災者被災者を見捨てた国を許さないし、恨み続けます」
19057	個人	会社員・公務員	50代	女性	0%を切に希望します、2030年にではなく、今すぐに実行するべきです。	各事故調が出そろい、今回の事故は人災であったことは、明白です。 今回は結局のところ、誰も真に責任がとれない事態が起きたという事を、もっと深刻に受け取るべきです。 世界中が注視している中、今年の夏を乗り切るためだけに大飯原発再稼働はしょうがないとして、政府が当然のように次々と、原発再稼働させようとしている、とした思えないのは、とても容認できない。 今回の事故以降、何ら根本的な、改善策の実行が行われないまま、平然と再稼働させる政府の態度は、激しい怒りを感じますし、日本人としてとても恥ずかしい事です。 地震多発国の日本列島に、まんべんなく原発があって、また何かあって も、危機管理の構築は遅々として進まないまま、国民は危険にさらされる。 このような在り方は、この国は、原発を持つ能力も、資格も 無いんだと、つくづく思います。
19058	個人	自営業	30代	男性	未来は原発を0に。その間に自然エネルギーの活用と開発を、節電のシステムも合わせて開発し、世界に輸出する。	「地熱・波力・風力・水力などの自然の力を使った発電力開発及び、省エネ家電・機械技術にこれから力を注ぎ、10年以内に原発を0を目指す。そのために開発する企業には投資する。そして、確立したシステムを世界の国々に輸出します。」と公言するだけで、日本の経済も展望が見え、世界の注目も集まり、国民が未来に希望を持てるようになります。開発力や省エネ技術は日本の技術者にとって、時間とお金さえあれば更なる進歩もまた容易です。その分野を勉強する学生に奨学金を渡しても将来お釣りがくる程に投資価値があるでしょう。短期的な視点でなく、子供や孫の時代も考えそして、日本の将来を考えた方向性をまず明示すること。そして支援するシステムを整えさえすれば、民間の力は驚くべき力を発揮しますし、その力が日本のブランド力を構築し、輸出でき燕材へと発展します。
19059	個人	家事専業	40代	女性	原発に頼ったエネルギー政策に反対です。 原発ゼロを目指して、再稼働は断固避けるべきです。 子供たちに負の遺産を残すべきではありません。	福島原発の事故処理はいつ終わりますか？ 私たちに以前のような海や大地が戻る日はいつですか？ 少なくとも40年ということですが、原子力政策を進めてきた人々はいったい何人が生きてその処理を見届けられるのでしょう？ 事故処理は子供たちに、これから生まれてくる子供たちに残していくのです。 こんな恥さらしはもうここまでにしてください。 人々の安心なくして、経済発展など何の意味があるのか。 原発ゼロのために生活が例え30年前に戻ったとしても、それを楽しめるくらいの国づくりをするべきです。 原子力に代わるエネルギー開発を、世界に先駆けて日本がしていくべきですし、日本人にはその英知が備わっていると考えます。
19060	個人	家事専業	60代	女性	原発による発電は反対します	今回の福島原発の地震及び津波による崩壊、事故によって地元及び子供への健康被害、及び日本全国への放射能漏れによる人間の生きる根源ともいえる土地の汚染による作物の汚染、野菜つくり農家の仕事を奪い住む場所さえなくなった人々を見てこれでも経済性や国の面子のために再稼動する人の考えが全く理解できません。経済と命や国家の存続と比べられる価値観のものでしょうか。 国民の民意をくんでもらいたいです。政府による裏の思惑によるごり押しの再稼動には賛成する理由が全く見当たりません。これでは犠牲になった人々は死に損ですね。
19061	個人	会社員・公務員	30代	男性	2030年ではなく即刻原発ゼロを主張する.	安全性が確保されていない原子力発電は即刻廃止するべきである. もしもまた原発事故が起きれば今後日本には住むことさえできなくなる. 原発事故が発生し子ども達、そしてこれから生まれてくる子ども達にも甚大な影響を及ぼすのであれば, 経済が停滞し我々の生活を脅かそうとも即刻原発を廃止すべきである.
19062	個人	会社員・公務員	30代	女性	15シナリオを支持します。	今後の原発の安全規制年数が終わるのを待ちながら徐々に脱原発を進めていくのがよいと思うから。再処理が残るのは問題だが、20年以内に一気に「ゼロ」とするのは急激すぎるように思う。 本来はロが望ましいが、2030年にゼロとするには太陽光発電量確保のために住宅改修してまでパネルを設置しなければならないとあり、現実的でないように思う。 また、20%以上では原発の新設・更新が必要とあるので、それでは流れが逆行してしまうと思う。 ただ、3つの選択肢が示されているので「15」を選びましたが、たった18年後に現在26%ある原発依存度を15%まで下げるという目標は現実的なのでしょうか。
19063	個人	家事専業	40代	女性	子どもたちとそのまた子どもたちのために、今勇気をもって変わらなければ！原発比率0%を希望します。	少子高齢化に歯止めがかからない日本・・・。 戦争に負けてから少しずつ少しずつ日本人が本来の日本人らしい心を忘れてしまったような気がします。お互い様の精神から来る思いやり、足るを知ること、勤勉な民族である事、謙遜する気持ち、我慢強さ・・・、一人ひとりが人権を主張でき、色んなことが便利になった事は決して悪いことではないのですが、そのことを追い求めるばかりに、本来、日本人が大切にしてきた事がおいてきぼりになってしまっているのではないかと思うのです。私もその1人です。反省するべきだと思っています。2児を育てる事で日々いっぱいいっぱいですが、その思いも込めて今回思い切って出しました。脱原発のデモに参加できず残念にして悔やんでいたので、本当にありがたいです。 日本(人)は変わらなければいけません。このままだと消滅してしまうかもしれません。大いなる宇宙からすればそれもいたしかたない事なのかもしれませんが、私は嫌です。わびやさびを大事にする、美しい日本が好きです。富士山を見ると幸せな気持ちになります。子どもたちにもその子どもたちにもこの国を受け継がせたい。色々なしがらみの中、聖徳太子が十七条憲法を作ってからこの方、島国の日本は、代々のご先祖様たちが国を守るため一生懸命生き、戦い、創り上げてきた、歴史のある国なのですから。 でも、人間は間違います。一生懸命間違えるんです。だからその時はまたそこからやり直せばいいんです。そして今もその時だと思います。それが脱原発を成し遂げるということではないでしょうか。 日本の政府の皆さん、オバマ大統領達に負けないで下さい。福島の故郷を奪われた方々の気持ちを余りある程察して下さい！ 私たちはここで生きて行くしかありません。だから、原子力がなく、電力が足りなくて今までみたいな便利な生活が出来なくなったとしても、輪番停電のように力を合わせるし、我慢するし、生活を考え直して行けます。日本人のほとんどが本当はそう出来る人たちなのです。便利さに甘えすぎてそういうじを忘れているだけなのです。電力のお仕事で生活をしていた方々の今後も、皆で知恵を出せばきっと何とかなるはずです。廃炉にするまでの仕事だって残っているでしょう。お給料は、色々なこれまでの無駄を見直せばきっと出るはずです。そうやって、自分たちの利益だけじゃなく、周りの様子も気にしながら生きていく。私たち日本人がそういう心を思い出せば、そういう生活を取り戻せるはずです。 私たち一般人が安心して子どもを産み、育て、老いて行ける日本に、一緒に戻して行きましょう！その第一歩として原発比率0%を希望します
19064	個人	会社員・公務員	50代	男性	6月29日政府の「エネルギー・環境会議」に提案された3つの選択しに対しての意見です。 これからの国のことを考え、「2030年の原発依存0%ゼロシナリオ」になることを切望します。	福島原発事故で明らかになった原発の危険性から私たちの命を守るためには、「ゼロシナリオ」しかないと思います。今までの安全神話が崩れた上は、早急に方針を転換し、原発廃止の方向に向かうべきです。また、それこそが原発事故によって痛みを受けた人々への償いではないでしょうか。 一刻も早く「ゼロシナリオ」を決定し、自然エネルギーの拡充を図るべきです。
19065	個人	会社員・公務員	50代	男性	電気が不足することの不便に対応する覚悟は出来ています。	何故今、そんなに原発の再稼働を急ぐのか？たとえ事故が起きる可能性が低いとしても、稼働することにより再処理不可能な使用済み核燃料、つまり核のゴミである核廃棄物の発生は避けられず、その処理方法さえ決まっていないことを考えれば、原発に代わるエネルギーの開発に総力を上げるべきときが来たと思います。 その過渡期に原発を稼働させないことによる電力不足には、国民一人一人の覚悟が必要ですが、私にはその覚悟は出来ています。 生産工程に優先的に電力を配給して下さい。それで家庭向けの電力が不足して停電になっても構いません。 原発の再稼働がなければ、電力はどのくらい不足するのか？ この夏はそれを実際に試すことが出来るチャンスだと思っています。 原発はコストが低い、クリーンなエネルギーだという幻想は既に破綻しています。 このまま核廃棄物を増産し続ける原発の再稼働に、私、(削除)は断固反対します。 戦争で、我が日本は地球上で唯一の被爆国になりましたが、このまま原発の再稼働に踏み切れば、『原発による自爆国』として世界中の物笑いになると思います。 群馬県富岡市 (削除)
19066	個人	家事専業	30代	女性	原発再稼働、及び脱原発について 再稼働反対であると共に急にでないにしろ徐々に原発から自然エネルギーへの移行を希望致します。	福島原発がまだ解決されていない今、早急な再稼働はいかがなものかと思います。 安全安全と電力会社は言いますが、事故の原因も分かっていないのに、何が安全と言えるでしょう 説得力がない上に今までの誤魔化しが露わになり不信感を抱くばかりか、再稼働、原発を維持したいが為の動きに 再稼働反対の声が届いてないことに 憤りを感じます。
19067	個人	会社員・公務員	40代	男性	地震大国の日本では原子力発電はやめるべき。	３１１東日本大震災の前年まで、NHKを始め東南海大地震に備えるようにあれだけメディアが喧伝していたのに、大震災は東北から関東にかけておきてしまいました。どこでいつどれほどの地震が起きるのかさえ予想がつかない中で、原子力発電所の運転は危険すぎます。福島第一では運転が停止できても、定期点検中で燃料を取り出してあってすらも、メルトスルー や水素爆発、核爆発を防ぐことが出来なかった。安全安全と繰り返してきたことは全て覆されたことが証明された以上、原子力発電はやめるべきです。経済は健全な汚染の無い国土と、国民の命が土台となって成り立つものと思います。国土を汚染し、国民の命や健康を危険にさらす可能性のある原子力で発電などするべきではありません。それならばたとえCO2排出の低減目標から多少後退してでもしばらくはLNG火力でまかなって、いずれは自然再生エネルギーへシフトしていくのが現実的だと思います。次にどこかで原発が爆発事故を起こしたら、日本はそれこそ再起不能となってしまいます。これ以上核のゴミを増やさないためにも原発は全てすぐにでも廃炉を決めてやめるべきです。また日本中に50基もの原子炉が存在すると自体も国防上問題があると思います。まさにロシアンルーレットのような状態で、国家存亡にかかわることですので、絶対にやめるべきです。
19068	個人	法人等	50代	男性	原発は、リスクがありますが、世界の状況を見ても、ローコストエナジーである、という認識は正しいと判断します。	原発は、リスクがありますが、世界の状況を見ても、ローコストエナジーである、という認識は正しいと判断します。 不安を煽るべきではないのです。科学技術にはリスクが伴います。 完璧を求める風潮はむしろ、国民が情緒的不安に流されている、あるいは煽られている、という可能性があります。 ただし、福島で原発の被害にあった人々については、迅速丁寧な対応が今後の原発維持の絶対条件であります。ホスピタリティは不可欠です。 絶対的な安全神話はありません。相対的により安全性を高めることは可能だと思います。電力企業も科学技術の理念をもっと真摯に伝える べきであります。 不安を煽るマスメディアは、代替案も無く、経済論も半端でエネルギーがいかに大切であるかを国民に伝えていません。 尖閣諸島の地下にある石油資源を中国が放っておくわけがないのです。1800兆円の資源がある、ということをマスメディアは伝えません。 原発は迫り来る中国の侵攻危機に、核保有可能性の抑止力でもあることを認識すべきです。 原発は厳重慎重な管理の下に、維持継続すべきであると強く主張いたします。
19069	個人	自営業	40代	女性	今すぐに原発をなくすことはできませんが、再び原発事故が起こったら日本はどうなってしまうのでしょう。	今すぐに原発をなくすことが無理なことは、百も承知です。 産業の事を考えると、エネルギーが無くなる事は今の日本にとって致命傷でしょう。それは大変困ります。 しかし、一日本人・一個人としましては、原子力発電所がある事が恐怖でなりません。 何とか自然エネルギーの開発を願います。 1日も早く脱原発国になることを希望して止みません。 私は当たり前のように原発の恩恵を受けて育った世代ですので、文句は言えません。しかし今はあまりに無知であったと心が痛みます。政治を司る方々も同じ気持ちを持たれていると信じたいです。 原発事故が再び起きたら、日本はどうなるのでしょう。考えただけでも悲しくなります。 日々の大変なご苦労をお察し致します。お体にお気を付け、日本再生のためにどうか頑張って下さい。

19070	個人	家事専業	60代	女性	「ゼロシナリオ」に賛成する。原発再稼働には断固反対する。国民一人ひとりが省エネ生活に取組み、官民の総力を結集して再生可能エネルギー技術開発に取組むことで、安全・安心の生活を確保したらよいと思っている。	今回の福島原発事故で報道されるまで、放射性廃棄物が六ヶ所村や原発内の施設に保管されているだけで、何ら処理がなされていない事実を知らなかった。不明を恥じるのみである。動物の発生段階をみると、生長のために母体経由や卵内の栄養物摂取が始まると、汚物排泄のための器官が形成される。摂取と排泄は対をなし、生命維持の必須アイテムなのである。人間が原発から得られるエネルギーを利用するのみで、核廃棄物処理を成しえていないという事実を知り、私は現段階での原発は“自然界”の摂理に反していると考える。核廃棄物処理が実現するまでは、原発の稼動はゼロとすべきであろう。 以前より、原発が、原発だけが、“絶対安全”だと思ってはいなかった。形あるものは何時か壊れてしまうことは、誰でも知っている真理で、その前に手当て（更新）が必要であろう。ある確率で発生するシステムエラー や人為的ミスなどへの対処もせねばならない。これまで処々の原発施設で起こっていた事故は、原発が“絶対安全”ではないことを示していた。電力会社は、“規模が小さい”、“めったに起こらない”といった、過小評価をしていたのではないだろうか。関係行政当局や国民の側も、事故が起こった、自治体等への連絡が遅れた、ひどい場合は隠蔽していたことが発覚して、電力会社側の当事者能力の低さが露呈されても、大きな問題としなかったことを反省せねばならない。 福島原発事故を、東電・政府・学識経験者も含めて、“想定外”だという言葉を多用して弁明/弁解した。仮に“想定外”だったことを認めたとしても、“想定外”を体験したあとの今、すべては“想定内”になった。東北地方のみならず、日本のいたる所で大地震発生の危険性があること、二次的に起こる津波や地すべりなどの危険性もあること等々が明らかになり、その危険度の見積もり・対処法・人的被害の問題をクリアーしないまま、なぜ原発再稼動がなされたのであろうか？ 政府には「国民の生命」「安全・安心な生活」よりも重要な課題があるというのか？ 私は不思議でならない、というよりもがっかりしてしまった。 原発に替わるシステムの大きなものとして火力発電がある。化石燃料の使用により二酸化炭素排出量が増加し、地球温暖化に悪影響を及ぼすことが懸念される。官民一体となって再生可能なエネルギー技術の開発に取組むことが火急の課題であろう。もう一つの大きな課題は、国民一人ひとりが使用エネルギーの削減に尽力することである。たとえば、スローライフや節電・節光などライフスタイルの見直し、環境家計簿をつけてエコ生活を確立する等々、自覚的・積極的に取組むことで、“原発ゼロシナリオ”を実現させねばならない。 最後に、私たち日本人は、世界で唯一の被爆国として、世界平和を訴えてきたはずだ。しかし、自国で核兵器を持っていないとはいえ、他国への“ノーモア広島・長崎”の訴えが十分であっただろうか？ そして、恐るべき“核”を用いた原発にいたっては、自国内に多数設置・保持している。さらに、安全への手立てを十二分に施さなかった結果、今回の福島原発事故を起こしてしまい、地球を汚染してしまった。日本人の一人として、私は恥入り、深く反省している。体力的に反原発のデモには参加できないが、せめてもの思いで“原発ゼロシナリオ”を顔ラー文を投稿する。また、まわりの人々に呼びかけて、具体的には自治会の継続的活動として、“回覧板を用いて、環境家計簿をつけましょう！ ”を実施することを始めようとしている。その中で、温暖化をはじめとした環境のこと、原発のこと、ライフスタイルのこと等々を、みんなで考え、話合い、実行していくことができればと思っている。ほんの小さい一歩でも踏みだすことが大切であり、小さい力でも合わせることが重要だと考えている。
19071	個人	家事専業	50代	女性	原発は0にしてほしい。	とても危険なので、チェルノブイリの事故が起きた時からずっと反対している。 放射能の危険なゴミをどうやって何万年も保存し続けるのか。こんな割に合わないものはない。
19072	個人	パート・アルバイト	20代	男性	2030年までに原子力発電を確実に0%まで削減すべきです。 ハイリスク、ハイコスト、無計画の原子力発電を早急にやめ、 石炭火力や地熱発電などの開発をすべきです。	私が、2030年までに原子力発電を確実に0%まで削減すべきと主張する理由は、以下の通りです。 福島第二原子力発電所事故やそれまでの度重なる原発事故を考えると、 いずれまた重大事故が起きる。 あり得ない核燃料サイクル。 未だ決まらない最終処理。 無計画のため、割り出すことのできない全体のコスト。 利権のため無視されてきた有益な石炭火力や地熱発電などの開発。 以上です。 原子力発電の廃止が遅れれば遅れる程、これらの問題は深刻化していきます。 連続と続き、これからも継承されてく日本列島をこれ以上汚すことは許されません。
19073	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発は事故が起きたら、制御不能と思い知りました。 廃棄物の処理も出来ない現状ではとても原発を認める事は出来ません。	10%とか25%とかではなく、原発を無くすかどうかの議論と考えます。原発は絶対反対です。 政府も電力会社もマスメディアも信用出来ない現状では、危険な物は排除する以外生活は守れません。
19074	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	・原子力利用に関する意見 ・代替電源に関する意見 ・地産地消・リスク分散・送電効率の向上に関する意見 ・発送電の完全分離と周波数統一に関する意見 ・発電の完全自由化に関する意見 ・その他	1. 原子力による商用発電の2030年までの廃止 商用原子力発電所の2030年までの全廃（0%）を選択します。 福島第一発電所の事故は換つかの自治体を事実上消滅させました。 これは国土が消滅したのと同意であり、有史以来、日本が経験したことのない事態です。 また数十万人単位の住民の生活や財産も根こそぎ奪いました。 国家の究極の目的（存在理由）が「国民の生命と財産を守る」ことであると以上、これは決してあってはならないことです。 原子力発電所は一度事故が発生し放射能が漏えいすると、量の多少に関わらず、環境や生活に対する影響が不可逆であり、完全ではない収束であっても莫大な人命・時間・費用が伴います。 また、日本は地震・噴火・津波などの大規模な自然災害に常にさらされており、特に地震については震度6強あるいは震度7に完全に耐える原子力発電設備は技術的に不可能と思われます。 そうしたことから、原子力発電は経済性が優れているかも知れませんが、日本の自然環境にそぐわない技術であり、発電方法であると考えます。 2. 核燃料サイクル事業の2030年までの廃止 原子力発電は「トイレのないマンション」との喩のとおり、川下工程の技術が全く確立されていません。 このような実態の中で、使用済み核燃料や高レベル核廃棄物が無為に蓄積されていく事態は食い止めなければなりません。 原発廃止とともに核燃料サイクルも同時に廃止して、子供たちの未来を保全することが、現役世代の日本人の役目です。 3. 再生可能エネルギーによる発電比率50%の法制化 基幹電源については地球温暖化対策も鑑み、再生可能エネルギー（太陽光・風力・地熱等）を選択したうえで、2030年までの発電比率50%を法制化して、発電事業者に対して義務化します。 4. コンバインドガスタービン発電の促進と石油・石炭火力発電の暫時削減 暫定的な代替電源としては比較的低コストなコンバインドガスタービン発電を選択し、同時に石油・石炭火力発電を暫時廃止します。 5. 発電設備の小型化・分散化による地産地消の促進・リスク分散・送電効率の向上 大規模発電施設はイニシャルコストもかかり、計画から発電までに長期間を要し、電力生産地と電力消費地が物理的に離れていることから、送電効率・経済性も悪いです。 事故収束時の可逆性が確実に担保できる、より安全な発電設備を小型・分散化して設置することで地産地消を基本として、発電施設の集中化によるリスクを分散し、送電ロスを低減することが再生可能エネルギー やコンバインドガスタービンにより可能になります。 6. 発送電事業の完全分離（資本分離も含む） 送電網を電力事業者から資本も含めて完全分離することは、ここで述べている発電に関する提言を実現する上で不可欠です。 もし、財産権の侵害等で既存の電療事業者が抵抗するなら、全く別に国家事業として送電網を構築して、広く開放すべきです。 この設置・運用・管理には独立行政法人・非営利法人・PFI等が考えられますが、当社ではPFIが最も適当と考えます。 7. 電気周波数の統一 バッファーとして、停電や電力不足の回避手段を容易にするためにも、東日本・西日本の周波数統一は必須です。 8. 発電事業の完全自由化（料金完全自由化を含む） 料金完全自由化も含めて完全に自由化すべきです。 全量買取を既存の電力事業者に義務化するのは、かえって高コストです。 9. その他 総括原価方式の廃止・研究炉による原子力利用研究の継続・プルトニウムの一部兵器転用の実施を提言します。 公共事業で景気刺激をしようと、参院予算委員会で100兆だ200兆だと議論されていますが、これらを実施すれば達成は充分可能です。 究極的選択として、生命と経済性（命と金）があります。 私たちは日本という国を存続させ、次の世代に何の憂いもなく未来をつなぐ義務と責任があります。 環境や生命に対して不可逆の影響が残る原子力については再考を切に願います。
19075	個人	自営業	40代	女性	2030年までに原子力発電の依存を0%にするゼロシナリオを選択します。その上で今まで稼働してきた原発の収束のための研究は続ける。海外への原発輸出も止める。今止めている原発の再稼働はさせない。	今回の震災でわかった取り返しのつかなさを、これからもきちんと引き受けて生きていくためには、負担が増えても、生活の質を少々落としても、原発はなくさなくてはならない。核のゴミの処分の仕方もきちんと用意できない国土なのだから、これ以上、子どもや孫の世代にひどいものを押し付けたくない。 小規模発電がもっと簡単にできる技術や法律を策定し、個人使用の電気はできるだけ、そのコミュニティーでまかなえるようなシステムを作りたい。そのための支援を政府は行うべきだし、それのための技術を開発する会社を育成する会社を優先することで、雇用創出し、ワーキングバランスを是正するようにしていきたい。物事の根幹はエネルギー問題だけではなく、私たちの生き方の選択だと思うので、その選択の可能性をひろげる施策を政府には期待したい。 みなは生活の質がおちることにおびえているようだが、わたしは昭和30年代の頃の電気使用のスタイルになっても、まったくかまわない。
19076	個人	家事専業	70代	女性	原子力発電は今の機会に廃止をきめるべきです。 自然のエネルギーは沢山あります。 原発を再稼働させるための費用を自然エネルギーでの発電開発に 使ってください。	福島の震災での被害は原発がなければ　もっと早く開発が進んでいただろう と　日本国民のほとんどの人が　そうべやんでいると思います。 今まで無関心でこの小さな日本にこんなに多くの原発があるとは 思っていませんでした。 その一箇所が事故を起こして　これだけの 被害が出るのですから　何箇所もの原発で事故が起こればどんなことになる か　考えただけで恐ろしくて、まだ若い人たちの将来はどうなるのか ほんとうに心配です。 原発で働いていらっしゃる方たちの仕事が なくなるという問題もありますが、人間が処理できないような廃棄物 を出す発電ではなく、もっとあんぜんな方法の発電に切り替えて そちらで力を発揮して頂けたらと思います。 この年になるまで このような意見を書く事になるとは　思ってもいなかったのですが 今回ばかりは初めて書かせて頂きます。 政府の方針を原発廃止にはっきりと　決めていただけますよう心からお願いいたします。 私たちも 出来るだけの協力は　させて頂きます。
19077	個人	その他	60代	女性	2030年時点で原子力発電が0%であることを望み、発送電分離と再生可能エネルギー開発振興が行われていること、使用済み核燃料の全量直接処分を望みます。	原発は運転を続ければ、処理不可能な廃棄物を貯め続け、未来の世代に膨大な負担を残す。さらに、事故が起こらなくとも、わずかながらも放射能の拡散があり、海水の温度上昇等、環境に悪影響を与えている。特に、ウラン採掘から定期点検・修理など通常運転の各時点で、労働者の被曝を伴わなければ発電できない。軽減するには防護服など膨大なごみも生む。 また、原発の事故、あるいはテロ攻撃などが不測の事態による放射能拡散が、いかに甚大な社会への影響をもたらすか、福島第1原発の事態で明らかになった。被害は世界的な規模で、世代を超えて及ぶ。 目に見えない放射能の長期間に亘る影響、特に内部被曝の恐怖と、一年以上続くても事故現場を検証できない特異性からして、原発の存続は考えられない。 経済への影響が盛んに言われるが、全原発が停止しても停電にはならなかった。産業界はギリギリの節電で悲鳴を上げているところも確かにあるが、一方更なる節電や省エネ策の余地は残る。原発への優遇策を廃止しなければ再生可能エネルギーへの振興が本格化しない中、原発の廃止を決定し、代替エネルギーを振興することで供給は補える。 一方、原発の存在は核兵器の拡散と密接に関係する。日本が不必要なプルトニウムを溜め込んでいる状態は不自然で、周辺国への信頼を欠く。原発の廃止を決定し、難しい廃棄物処理の研究・開発に速い進することで、新しい産業分野への転換を図るべきと思う。
19078	個人	その他	30代	女性	エネルギー・環境に関する3つ選択肢（原発依存度を基準、(1)ゼロシナリオ(2) 15 シナリオ、(3) 20 ～25 シナリオ）の内、(1)を希望します。	子どもたちのために、望みます。 収穫を、素直に喜べるように！ 元気に皆で外で遊べるように！ いつでも帰ってこれる我が家が、いつでもそこにあるように！ 借金は返済しなければ、次にまた借りることは出来ません。 原発も然り 福島は、まだ終焉していません。 まだ何も終わっていない、解決の糸口すら見えていないのに 次を考えることに、疑問を感じます。 私たちは、不便な生活を受け入れる心積もりは出来ています。
19079	個人	その他	40代	男性	原子力エネルギー政策と福島事故処理対策	原子力エネルギー政策について 1．根本的体質の問題。これが解決できなければ評価できない。 　事故調査報告書には第一原発1号機の事故は事前対処不足と対処不足によ　る人災と明記。にもかかわらず、東電と行政機関のコメントは、把握してい　ない。これは3号機水素爆発について、JUNESのPDFに明記されているのに 　原子力安全保安院、経済産業省、東電のプレスリリースには認めていないコ　メントが工事されていたのと同じこと。続括内開がこのような体質であれ　ば、その下部組織も同様の対応をする。JUNESのPDFは個人的交渉で、公式　に手に入れたものだが、事故調査報告書は国が行ったもの。にもかかわらず　その対応は行政処分に相当する。 2．安全性確立。 (1)　PWRが事故を起こしたから。BWRで論外。原子炉を取り巻く　環境、設備　が一番の問題。冷却システムが未熟なことは、三菱とアメリカ原　子力企業　との間で、その事実隠蔽が問題になっている。老築の懸念は解消さ　れてい　ない。原子炉が大丈夫でも、その周りの配管は安全確立は出来ていな　い。　一般の水道管は25年で老朽し、交換しないとひびが入り、放置すれば腐　敗、もしくは破裂する。塩素カルキによるもの。原子炉配管は水素、ナト　リウム、核反応物質。内官に、付着することは想定され、詰まることも想定　内。交換メンテナンスが必要だが、技術不足と、被曝の危険性から出来な　い。 (2)　予備電力の確保にも問題。2重、3重のシステムが必要なことは先の事　故で、露呈済み。立地条件から、大飯原発は地震による電力損失サポートに　問題があると評価。橋が崩壊すると、陸路でのサポートは無理。橋が崩壊し　なくても、交通アクセスを考えると。バッテリー搭載の車での送球対策は不　可能。オフサイトセンターに常備できるならまだましなほう。 (3)　活断層対策。世界類を見ない地震大国日本では、たこくのセキュリティー　は通用しない。スマトラ沖の前例が世界中に公示されていることはご存知だ　と思いますが、プレート近辺の地震活動が一度始まると、50～100年単　位。先の阪神大震災を評価してもまだ20年。活動は評価できる。今現在地　震の影響を受けてないのは想定内ではなく、想定外。奇跡に近い。 　想定される事態は“起こりえるかもしれない”決して“起こりえないだろう　”では対処できない。 (4)　最低限福島レベル。それも確立できてないのに稼動は評価できない。これ　から対策ではおこりえる事態にまったく対処できない。 　ストレステストとはこういう案件をクリアーする もの、子供の遊戯でないの　だから、お解りになると思いますが。 (5)　原子力エネルギー依存。代価エネルギーについては海洋発電がかつて先進　国であったにもかかわらず、開発中止により、現在出来ない。エネルギー　政策失敗が評価。原子炉停止による経済的損失は国費。失敗による　の方が、甘じて受けるべし。 (6)　以上をクリアーしているなら100歩譲って稼動は致し方ない。世界各国　からの制裁は覚悟の上で、稼動すればいい。対処出来ないことは評価でき　る。 2　福島事故処理 (1)　終息できないことは今現在の技術力では限界が評価。次に起こりえる事態　に対し、まったく対処していない。東電発表の4号機構造耐震性は素人に　毛が生えたもの評価。構造上問題だから、他のケースでたとえて考える。5　階建てアパートが、震災で半壊。4回の風呂桶がいくら頑丈でも次の震災に　はとても耐えられない。炉屋外部が鉄筋で頑丈に囲われ、支柱が残り、内部 　骨組みがあって、はじめて耐えられると評価。不安定な半壊原子炉も懸念。 　路や構造の一部にあれだけ比重のあるものが同化してると、傾けば炉屋は崩　壊。 (2)　2号機内作業できるレベルになるのに300年。現状を300年維持で　きるとは評価できない。炉屋内温度測定結果から、自然核融合が評価。冷却　システムは国内技術では不可能と評価。世界中に全て公式に発表する必要が　ある。非公式では限界がある。 (3)　(2)については外相本人もしくは、総理が直接行うことを提言。外務官は先　の中国領事館問題を筆頭に、その仕事はまったく信頼できないと評価。 (4)　被爆対策。地域が広大すぎて、保障は限度がある。医療規制緩和と治療法　確立は急務。出遅れている。数年後の健康被害は経済活動に直接関わる。 　以上

19080	個人	無職	50代	男性	電力は足りています。原発はいりません。放射性物質やアスベストや遺体の一部が入っている瓦礫の拡散をやめてください。	災害瓦礫処理問題を読み思うことがあり手紙を書きました。 これは環境省に1兆500億円の予算が付き、南川秀樹事務次官をはじめとする環境利権。 焼却炉はゼネコン入札なし5000億円を総合評価方式で地元を排除し大手鹿島清水大成大林が原発建屋を造った業者がまた造ります、今回は経産省は動けません。 宮城県公益処理希望は354万トンしかし瓦礫が海へ流れて実際127万トンで三分の一になっているので村井嘉浩宮城県知事もすべて県内で処理できる量に減ったと。 岩手県も50万トンから30万トンでほぼ県内で処理できます。 泉田裕彦新潟県知事も簡単に地元で処理でき広域処理する必要はないといいます。 旧内務省系の巨大利権で現実には必要ありません。 多くが津波で海に流され、また被災地内に仮焼却炉が多数建設されもはや広域処理の必要はありません。 福島津波対策の堤防を造るため瓦礫をすべて使ってもたりません。 今回の津波は100年に一回で1000年に一回ではないし、住宅建築許可をしている行政の人災です。 復旧が遅れている原因は中央官僚主義でこれを瓦礫のせいにしているだけです。 困っている人を利用(弱者の種で相撲をとる) 彼らの要求の第一は働けるところと住むとこで瓦礫は関係ありません。 巨額の広告費(去年博報堂9億、今年電通30億円)にものを言わせた世論誘導と情報操作によって広域処理は環境省のゼネコン利権を生むだけ。 広域処理を提言した環境省の災害廃棄物安全検討会は非公式で決定。 議事録開示請求に回答せず、今後は記録を残すこともやめてしまいました。 必要性がない広域処理に三年間で1兆億の予算がつきゼネコン、マスメディアにとっても新たな利権になっているだけです。補助金の95%は国で結果、国民に帰ってきます。 仙台市役所が安全を保障した瓦礫から大量のアスベストが検出されました。
19081	個人	自営業	40代	男性	原発反対 日本に必要なし	今回の福島の件で安全ではないことが判明 子供ですら分かる 国民の為に無くして欲しい
19082	個人	会社員・公務員	30代	男性	原子力エネルギーは早急にドイツ式地熱発電に移行するべき。	ウラン型の原子力発電をつづける理由はない。 人類がコントロールできないことがハッキリわかったからです。 じゃ、膨大なエネルギーをどこから得るか。 ズバリ、ドイツ式の地熱発電。 マントルの熱をつかって、発電すれば、エネルギーは無限大。 場所も国定公園と国民エネルギーとしては最適。
19083	個人	会社員・公務員	40代	男性	この国に原発を管理する能力はない。よって0%でいい	当然あるべき責任も、安全管理への取組も、不安を感じる者への説明もまるで果たされていない。 にも拘らずとるに足らない理由をつけて、原発を動かそうとする日本にはそれを管理する能力や責任は欠落しているといえる。 再び事故が起こった時この国はどう責任を取り、世界にたいしどう償うつもりですか？ 貴殿方のとるに足らない命じゃいくつあっても償えませんよ？ 福島の悲劇を二度と繰り返してはならない。 その為に全国民が知恵を絞り、充分な議論を重ねるときは今をおいて他にありません。
19084	個人	会社員・公務員	40代	男性	「2030年に原発0」(本来は「即刻、原発0へ動き出す」)を主張 一生命と安全が第一、経済復興には国民の「未来への希望」というエネルギーが必要。	大飯原発、志賀原発、敦賀原発。ほぼすべての原発直下に活断層。日本の多くの地震学者の共通見解は「巨大地震のサイクルに入った」という。新たな発電施設の準備、対応のためには、2年程度の計画停電も受け入れる。多少の値上げもやむを得ない。ただし、病人、被介護者、子供、老人は守らなければならない。 政府は経済再生と経済復興というけれど、毎年、再生可能エネルギー比率が増えていくことが国民の活力を生み出す。放射能の危険から開放されれば、日本は飛躍的に成長する。電力業界、経済団体の方を向いている政府、官僚に対して、求められるのは国民のほうではなく、官僚の頭の中のパラダイムの転換だ。 なお、このパブリックコメント募集の前提が「2030年までは原発が維持される」というもので、前提自体が国民を騙すトリック。再び事故が起これば、日本は再起不能になる。政府は自然エネルギー比率を増やすスケジュールを国民にしっかり示すべき。廃炉にするとしても、長い年月がかかる。直ちに動くべき。
19085	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発は即刻廃止して下さい。	昨年の福島原発事故で科学技術力があるこれ日本において放射線を抑えることができることができない。 福島の事故でこの日本で人がすめなくなる地域ができたのになぜ原発を稼働するのか。
19086	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発依存0%「ゼロシナリオ」、未来の平和な日本を考えたとき選択肢はこれ以外にありません。	原発建設後、今になって活断層が見つかるなど、地震国日本では原発の絶対的な安全を保つことは不可能と考えます。私たちの命、未来の命を守るには「ゼロシナリオ」しかありません。
19087	個人	無職	70代	男性	福島原発事故のような被害は二度と繰り返してはならない。核燃料廃棄物の処理等いまだ技術的にも解決策がなく、後世にそのつけを先送りしてはならない。経済よりの最優先すべきは人の命の重さである。	広島・長崎・福島と核の被害を体験した日本は世界平和と核なき世界へとメイセージを発信すべきである。人類の叡智をもってすれば原子力に頼らなくてもエネルギー確保の道は切り開かれると確信している。野田政権とそれを支える既得権層は自己の経済的な利益を確保するために原子力政策を推進しようとしている。原子力発電は核兵器と表裏一体のもと推進されている。 私たち国民の目は節穴ではない全世界の平和を希求する人々とともに 近い将来に予想される総選挙に際しては野田・自公民政権に対して鉄槌を下す1票投ずるべく仲間の輪をふやす努力をしている。 エネルギー問題について言及すれば近々の問題としては天然ガス、地熱、 潮力を利用した海上発電等道は切り開かれている。 再度、国民の声を無視する政権に未来はない。
19088	個人	会社員・公務員	60代	男性	原子力発電エネルギーはまだまだ必要。全原発を安全確認し次第、再稼働すべき。	福島原発事故を契機として、更なる安全性を高めるための技術力を磨き、他のクリーンエネルギーでの電力供給が可能となるまで原子力発電を全て再稼働させるべきと考えます。そうしなければ、益々、工場は海外に逃げていかざるを得なくなり、雇用は減り、日本の経済成長は望むべくもありません。。 また、エネルギー安全保障上からも原子力発電を維持すべきと考えます。 人類は、常にリスクをマネジメントしながら大きな発展を遂げてきました。
19089	個人	会社員・公務員	70代	男性	原発と放射線の危険性について、誤った情報が敷衍したまま、恐怖が拡大再生産され続けている。 全ての科学は疑問から解明が始まるはずだが、放射線は疑問を呈することさえ封じられている。	原発は重要なエネルギー源であり、福島以降、世界中の各国が原発の新・増設に踏み出している。我が国だけがある種の意志によって原発と放射線に関する正しい情報が隠蔽され、恐怖だけを煽り続けて居るように見える。 公開会で、電力会社の原発推進論が封じられたことは、それが脱原発の世論誘導、世論操作の手段だったことを示している。 この原発推進論を圧殺した事実を、全てのマスコミは是認するべースで報道されていた。 “やらせ”とか“気持ちを傷つける”などの感情的な発言にすり替えてしまった。 遡って、福島原発事故以前から、放射線は生物に悪いもの、少なければ少ないほど良いという常識が誤りであり、放射線にもホルミシス効果があるという学説が台頭していたというが、我が国では一切知らされることは無かった。 事故を契機に、いくつかの著作が翻訳されたり、ネットで主張する学者も現れたが、これもマスコミは一切殺戮している。 根拠を以て疑問が呈されたら、少なくともその疑問が呈されたという事実は知らされなければならない。 なぜなら、そこから議論や研究が広く展開され、科学は進歩し、人類に貢献することが出来るからである。 脱原発の風潮とも言うべき言見の高まりは、理性的な判断とはとても言えない。なぜなら、マスコミがその使命を抛擲し、伝えるべき真実に一切触れることがないからであり、人々はその根拠を知ることなく恐怖に怯えているだけだからである。 福島事故では“放射線”によって亡くなった人も傷害も発生していないし、強制避難が原因で亡くなったり自死を選んでしまった方が大勢いることは事実である。 福島第二の被害は限定的だったこと、女川原発はじめ他の全ての原発が無傷だったことを殆どの日本人は忘れて居る。 脱原発を訴えにやってきた人が居た。 “原発事故では何人が放射線で亡くなったか？”と聞いてみた。 “これから大勢が死ぬか知れない！”。 “あなたは、ここまでどうしてやってきたか？電車か自動車か？” “自動車に決まっているだろう” “自動車は日本中で毎年数千人が殺されている、だれも死んでもいない原発を止めろといいながら数千人の死者を出している自動車を使っている・・・可笑しくはないか？”
19090	個人	会社員・公務員	50代	男性	ゼロシナリオ	地震国日本では、近い将来相当大規模な地震が想定される、していなければならない。その中で、原発の安全性を保つのは不可能である。「ゼロシナリオ」以外私たちの安全を確保する道はない。
19091	個人	会社員・公務員	50代	男性	「原発依存度を20～25シナリオを基本としつつ、経済状況をふまえてフレキシブルに対応できるように対応する」意見です。	・基本は経済です。再生可能エネルギーを増加しても電気料金は増加します。油やLNGも値段が上がれば電気料金は増加します。安定した安い電気料金を続けるには原子力発電所の継続運転は不可欠です。 ・国が「ゼロシナリオ」等の基本的な方向性を示した場合、結果、電気料金が増加となった場合の責任は誰がとるのでしょうか？ ・私は安い電気料金となる方向性を希望します。
19092	個人	無職	70代	男性	原発はただちにゼロにすべき。0%を主張します。	たかが電気のために途方もないリスクをともなう原発を選択するのはバカげている。電力が少々不足しようと(実際は不足しないと考えるが)、電気料金が少々上がろうと(実際は中長期的には下がる可能性がある)原発からは即座に撤退すべきだ。ドイツやイタリアは事故を起こしたわけではないが、フクシマに学んで撤退を決めた。当の日本が未練がましく原発にこだわるのは正気の沙汰ではない、原発は所詮、一炊の夢である。
19093	個人	会社員・公務員	60代	女性	18年後ではなく、今すぐ原発稼働をゼロにしてください。2012年5月5日(こどもの日)にそうであったように！ これからの日本は、「自然エネルギー技術大国」を目指しましょう。	ドイツのように、理路整然と、そして人間が生きていく上での根本倫理(いのちと自然を大切にする)に基づいたエネルギー政策が必要だと思います。日本はアジアにおいてもっとも「近代国家・先進国」とされている国です・・・。でもほんとうの意味で先進国とは、「どうあれば」よいのでしょうか。どのような社会をめざせばよいのでしょうか。日本には数千年にわたる、自然を大切にしてきた文化の継承があります。真に「日本らしい」とは、そういうことではないでしょうか。そして自然を大切にし、市民のいのち・幸せを最優先する国こそが「先進国」と呼ばれるにふさわしいのではありませんか。エコノミックアニマルと呼ばれて世界から蔑視されていた経済戦闘士の時代は、日本の長い歴史のなかではほんの一時期です。本来の日本人の姿ではありません。 これからは自然エネルギー技術大国になって、世界中にその技術を輸出し、地球を美しく、安全で、平和で、幸せな惑星にしてゆきましょう！　日本人ひとり一人、そして「先進的な」考え方の企業には、その秘められた力量があると信じます。
19094	法人・団体等	会社員・公務員	30代	男性	経済成長の想定は、これまでの実績に加え、化石燃料の高騰や超円高、電力料金の値上げなど、今後に予見される影響についても十分に織り込んだものでなければ、国民が冷静な判断を行うことは困難である。	足元の我が国の取り巻く状況を見れば、電力需要のひっ迫に伴う輸入化石燃料の高騰や、超円高の高騰に伴う輸出型産業の業績低迷や生産拠点の海外移籍の加速とそれに伴う雇用調整、更には再生エネルギーの導入促進による電力の料金の上昇など、今まで以上に悪影響を及ぼすと考えられざるを得ない事象が多く散見され、プラス成長どころかマイナス成長となる可能性すら考えられる。そのようなかで、2030年までにはGDPが2割以上増えるという、あまりにも楽観視すぎる事務局の想定、提起は、シナリオ選択の前条件であるだけに、国民が正しい選択を行うための冷静な判断力を奪うことになりかねない。
19095	個人	その他	50代	女性	放射線が現在の人間の能力で処理できない以上、地球上で使用することはできない。それでも使用するのは、産業、経済優先の選択であり、明らかに間違いである。	先の震災の折、何度想定外という言葉を聴いただろうか。人間のすることに過ちはつきものであるし、自然界の力も時に人の想定を超えてしまう。このことを思い知らされて、メルトダウンの恐怖におのののいたのは、つい先日のことではないか。そして福島第一原発近辺に居住していた方々は、いまなお精神的、経済的に大変な苦労をされている。金銭で保障されても、健康被害をかえ、もとの暮らしにもどることはない。 原発を再開し、そのうちのどこかで万が一、想定外の事故が起こったとき、狭い国土に二箇所も汚染地域ができる様なことが起きたら日本人はどこで暮らすのか。目先の豊かさ、経済の成長ばかりが判断基準でいいのだろうか。 今回の主題に政治は直接関係ないが、だれもが知る正解を、曲げる政治に不信 が募るばかりである。国民は電力料金不払い運動でも起こし対抗してみてはどうだろうか。福島のように、命や資産を奪われてからでは遅いのではと考えます。
19096	個人	会社員・公務員	30代	男性	(1)ゼロシナリオ 本来ならば即時全ての原発を廃炉にすべき。 日本は地震活動期に入った為、必ずまた東日本大震災級の地震が発生し、原発事故が発生する。それを避けるためには原発の即時廃炉しかない。	原発反対の理由 ■原発事故で3000万人が死亡するとドイツの研究者が予想 http://homepage3.nifty.com/gatayann/770115.pdf ■原発事故で放射能を大量に浴びるとこうなる 東海村臨界事故の被害者の方 http://www.mobypicture.com/user/monzetsu_usatyan/view/9067741 ■電力は足りる。関西電力の昨夏の最大電力需要は、2784万kw。発電能力は、火力1456万kw、水力713万kw。他社受電670万kw、融通320万kw。あわせて3159kwです。余剰は375万kwもある。再稼動は不要。 ■原発に二酸化炭素削減効果はない。二酸化炭素は温暖化の原因ではない。現在の濃度の二酸化炭素は吸収可能な地表からの波長15μmの地球放射を全て吸収していて、地表に同じ大きさの大気放射として戻っているため、温室効果を既に100%発揮済みであり、現在以上に二酸化炭素が増加しても、理論上、温暖化は起こりえない。 ■原発を廃止するなら車を廃止しろ?原発と車は(1)リスクと(2)代替可能性が異なる (1)リスクの大きさ 車の事故は収束に数日で影響範囲は限定的で死亡者も数人。しかし原発の場合、収束に数万年、一回の事故で国が滅ぶレベルの被害が発生。 (2)代替可能性 車の代替物はない。だが原発の代替物は、火力発電、水力発電、風力発電、地熱発電、太陽光発電など沢山ある。 よって車はなくせない。原発はなくせる。 ■大飯原発は危険、再稼動など論外。 ・防波堤のかさ上げ→やってない ・水素除去装置→ない ・ベントフィルター→ない ・免振重要棟→ない ・非常用電源車→高台に駐車場なし ・非常用発電機→高台に設置スペースなし ・アクセス道路→県道241号線一本のみ(しかもトンネル)

						・外部電源の多重化→やってない ■送電利権を電力会社が独占している事が全ての元凶。「地域独占」と「発送電一体」を潰す必要がある。欧米のように発電・送電・卸電力において競争すべき。 ■電源三法を撤廃すべき。毎年1000億円以上の金が原発の立地市町村に金がばら撒かれ、原発を受け入れる自治体が存在する。 ■電力会社が6000億円の原発を造りたがる理由 電気事業法で＜電力量収入＝原価(発電所建設費・燃料費・広告料など)＋原価×4.4%＞だから。減価償却の済んだ火力発電所をもっていても儲からないが、6000億円の原発を新設すれば儲かる。CMやればやるほど儲かる。電気代に上乗せできる。しかも独占企業。 ■原発を廃炉にすべき他の理由 ・日本の火力発電所の稼働率を50%→70%に上げるだけで、原発分を代替できる(再生エネルギーなど不要) ・核燃料サイクルは破綻してる。高速増殖炉もんじゅは2兆円4000億円かけて、発電は0W ・福島原発処理にかかる費用は数千兆円 ・福島原発は収束しない。福島は永遠に汚染された ・世代間の不公平。廃棄物を未来に押しつけることになる ・2011年の夏冬。原発がほぼなくても電気は十分に足りた ・原発事故によって、広島型原爆160発分のセシウムがばら撒かれ日本は汚染された ・福島原発から海に1京5000兆ベクレル(6万年分)が放出され、世界規模で海が汚染された ・福島事故によって長期的にガンになって100万人が死亡する説あり(ガン患者、白血病、奇形の子供は増加する) ・内部被爆で細胞の遺伝子は破壊され、ガン等の病気が発生する。生殖細胞のDNAが破壊され、影響は七代先の世代に及ぶ ・日本はプレートが四つ重なっている為、地震多発国であり、必ず別の原発事故が発生する ・原発は他の発電形態に比べ、最も高コスト。よって日本の電気料金は世界トップレベル ・使用済みの放射性核廃棄物を捨てる場所が世界のどこにもない ・原子力産業は年間2兆円、原子力関係予算は年間4500億円。政治家・官僚・東電・メーカー・御用学者などが利権を得る ・原発で働いている労働者は、ホームレスや多重債務者、暴力団が集めて原発に送っている ・たった30年程度の寿命の原発に解体費用数兆円が必要。廃棄物処理に数万年必要、そして核廃棄物は必ず流出する ・女川原発もメルトダウン寸前で奇跡的に助かった ・ウランは数十年で枯渇する。しかし天然ガスの埋蔵量は400年。石炭の埋蔵量は2000年。原発に未来はない

19097	個人	自営業	30代	女性	原発ゼロ以外にあり得ません	原発ゼロ以外にあり得ません。これは日本だけではなく世界の問題だと思います。ここで正しい方向に舵を切ることが、日本に与えられた使命ではないでしょうか。"原発ゼロ"を堂々と掲げることができたら、日本人も少しは政治に希望が持てるのではないかと思います。
19098	個人	会社員・公務員	60代	男性	原子力発電は、大飯原発についても即刻停止し、すべての原発は稼働すべきでない。 すなわち、0%にすべきである。	福島原発事故の結果をみれば、プレートの境界線にある日本には原発を 設置すべきでない。 放射能を無害化するのに10万年もかかるというのに、子子孫孫に、放射能 という毒の付けを回すべきでない。 そもそも、最終処分場もないのに原発の「ゴミ」を増やすべきでない。
19099	個人	会社員・公務員	30代	男性	0%。今すぐにしてほしいが、そうできる物体ではないのだから、勿論、段階的で良い。仕方がない。	根本的に最終処理まで確立できていないことを続けてきた低脳さを認識し、 0%へ段階的廃炉しなさい。 いろいろな意見がありますね、という問題ではないんだよ、この問題は。 事実をただただ見るだけでしょ。 右にも左にも寄るな、真ん中を進むだけだ。 地球と多くの地球人に迷惑をかけてはいけない。そんな資格はない。 改めて身の程を知り、 とにかく 1からやり直し。 それにしても何万年も、もうすでに 注視していかなくてはならないものを 作り出し、 この期に及んでも、 今日も作り出している脱ですからね。 バカ者以外の何者でもないだろう。 0%。 とにかく 最期は正しい人間とした方向に進んだ日本人で終わったらどうだ。
19100	個人	会社員・公務員	50代	女性	0%を選択します。	原子力発電は人間が管理できるエネルギーでは無いことが今回の福島での事故でよくわかったからです。また、事故がも起きた場合、政府み、電力会社、どこも国民の命を守る意志がきはくである事に驚いたからです。
19101	個人	家事専業	30代	女性	何としてでも全ての原発を廃止してほしいです。	絶対に再稼働反対です。4歳と生後一か月の子供がいます。食事や生活に最善の注意を払っていても、311以前にはなかった放射性物質が蔓延している今、確実に被爆しています。命より大切なものはありません。いい加減、目を覚ましてほしいです。
19102	個人	自営業	20代	男性	原発の新設や更新をせずに2030年15%シナリオで着実に原発を減らし、2050年までには原発をゼロにすることを希望します。	最終的には原発ゼロを望んでいます。 しかし、既存の原発を急になくそうとして、 日本経済の大きな減速になったり、 原発を安全に廃炉にしていく予算が確保できなくなることを懸念しています。 原発の新設や更新をせずに運転制限年数を使い切る 15%シナリオで着実に既存の原発を廃炉にしていくことを宣言し、 2050年までには原発のない日本が実現されることを望みます。
19103	個人	会社員・公務員	50代	男性	脱原発は「集団自殺」行為である。国力を増し、安全保障の観点からもこれまで以上に原子力発電について積極的に推進すべきだ。	脱原発は「集団自殺」行為である。中国が泣いて喜ぶことをすることは国賊行為である。国力を増し、安全保障の観点からもこれまで以上に原子力発電について積極的に推進すべきだ。このままでは中国に沖縄のみならず九州までfar領される。日本にとって原子力発電は絶対に必要である。
19104	個人	その他	60代	女性	2030年時点での原発依存度はもちろん0%にすべきと思います。 選択肢 (1) ゼロ　　に賛成です。 原発の再稼働には絶対に反対です！	福島の事故ではじめて原発とはこんなにも危険で制御が難しく、更には後始末にも大変な労力がかかるものだと知りました。 これからは、絶対に原発に頼ってはいけないと思います。 これからは人間の手に負える範囲のエネルギーで暮していくべきです。 この事故を教訓に、今夜こそ新しい自然エネルギーの方向に向けて進んでいくことが、亡くなった方々の気持ちを大切にすることではないかと思います。 原発再稼働、絶対に反対です！！！
19105	個人	会社員・公務員	60代	男性	ゼロシナリオを支持します。	湯を沸かすのにこのような技術は不要です。増え続ける核廃棄物、処理もできないのにどこに誰に押し付けるのですか？たとえ料金が何倍になろうと一向にかまいません、不便をもいといません。福島で何もかも失った人たちにぜひ聞いてください。もし時間を戻すことができたなら、どちらの生活を選ぶのかと。経済第一などと主張するのはまさに想像力の欠如です。 中国電力の株主総会に出席しましたが、総括原価方式の問題点、進められようとしている自由化や発送電の分離への対応など真摯な質問に対する答弁は、政府や消費者をなめた極めて不誠実なものでした。地域独占にあぐらをかき、自先の利益のみを追求する電力の傲慢に鉄槌を下さなければなりません。 15%など見え見えの小細工はやめて、多くの国民が支持しているゼロシナリオでいきましょう。
19106	個人	会社員・公務員	50代	女性	脱原発原発社会を目指して、2030年原発依存0%を支持します。	誰のためのエネルギー政策なのですか？電力会社の利益のための政策ではなく、国民のための政策を！ 脱原発を目指してください。 個人やマンションでの太陽光発電がもっと行われやすいような法律を作ってください。 「自らの電力をできるだけ作れる人は自分でを」、後押ししてください。
19107	個人	会社員・公務員	40代	女性	ゼロシナリオを選択します。 原発はエコな発電ではないことは国民はもう知っています。自然エネルギーを使った発電方法を開発するまでは、現存の火力・水力などをフル回転させることにより十分な電力を賄えます。	ゼロシナリオを選択します。 原発は発電時には二酸化炭素を排出しないかもしれませんが、それを維持するために動かしているものは大量の二酸化炭素を出しています。そして死の灰を出し続けています。政府や電力会社が盛んに言っていた「エコな発電」というのはまっかなウソです。 また、寿命が来て廃炉にしてから、何百年という長い間、お守をしていかなくてはなりません。そこにまた被曝労働が生じます。 原発を作った大人たちがやっていくならおいますが、 何も罪のない子どもたちやこれから生まれてくる子どもたちに迷惑をかけないようこれ以上、原発を作らない。そして現在ある原発は一刻も早く廃炉にするべきだと思います。 早ければ早いほど、子どもたちそしてこれから生まれてくる子どもたちに迷惑をかけなくてよいのです。 また、高速増殖炉も一刻も早く廃炉にすべきです。 これ以上、長崎と同じ兵器の核開発はやめてください。 莫大なお金を投じて研究してきて、今さらやめられない　という気持ちは捨ててください。 国民は、核開発を即刻やめるなら、莫大なお金の無駄使いも許してくれます。 これからは自然エネルギーを使った発電を研究していってると思いますが、研究を頑張るとともに、それまでは、半分も動かしていない　現在ある火力・水力発電所をフルに回転させて電力を賄いましょう。 そして、国民も引き続き節電し地球にやさしい日本国にしましょう。
19108	個人	会社員・公務員	40代	男性	3案とも賛同できない。 震災前に発表されたエネルギー基本計画の、原発依存度45%を支持する。	経済成長戦略に見合った電力の供給計画を。 原子力発電はマスコミが騒いでいるほど危険ではない。 現在実用化されている発電方式の中では、原子力が最も効率的、安全、地球環境にもやさしいはず。 なぜ、それを捨てるのか？ むしろ更に安全な原子力発電を開発し、海外に輸出し、原発依存率を高め、国を豊かにするべき。 ものづくりには電気が必要。 日本をこれ以上貧しくするような、チープな発想はやめていただきたい。
19109	個人	会社員・公務員	40代	女性	危険のおおきすぎる原発はなくし、再生可能エネルギーへの変換を勇気を持って決断を！（政府も、そして国民一人ひとりも）	国策として原発の開発をしてきたことが、原発をこれほど便利にエネルギーとして使うことを可能にした日本。これほど勤勉で優秀な頭脳があれば、今、便利とは思えない、安価とも思えない再生可能なエネルギーでも、国の後押しさえあれば、原発と同等もしくは原発を超えるような、便利で安価なエネルギーを生み出すように開発できるはずだと信じています。 今、必要なのは、脱原発を決断する勇気だけだと思います。 政府も、そして国民一人ひとりも、利害はいろいろあるとは思いますが、そこは勇気を持って決断を。
19110	個人	会社員・公務員	40代	男性	「ゼロシナリオ」選択	原発を続けることは、将来の子どもたちにどうすることもできない危険な放射能を残します。使用済み核燃料の処理技術も処分場所も不確定な中で、原発を動かしていくことはできません。
19111	個人	その他	40代	男性	原子力の利用は反対です。	子供の頃は新しいエネルギー源である原子力に期待していました。それはおそらく日本人の多くがそうだったと思います。 しかし、科学が発達した今ですら原子力を使いこなせていません。これだけお金と時間をかけて開発しても、人類は原子力を上手く制御できないと言うことだけがわかっています。原子力の研究は続けるにしても、利用するのは見切りをつける時期に来ているのではないでしょうか。 早急に新しいエネルギー源の開発をするべきだと思います。それこそ人類の明日のためにたくさんの金をかける価値があると思います。
19112	個人	その他	30代	男性	ゼロシナリオを支持します。	原子力発電は即刻止めて廃炉にすべきです。 その理由は、 (1)事故が収束していない。 (2)地震国日本ではまた大事故が起きる可能性が高い。 (3)放射性廃棄物の処理ができない。処分先も決まっていない。地層処分もできない。 などです。 現在でも高性能の火力発電で不足分を十分に補えますし、co2お排出も削減しようと努力しているのは世界でなぜか日本だけです。最大排出国のアメリカと中国が削減努力もしていないのはなぜか、それは地球温暖化が大した危機ではないからです。100年先の気温の心配をするよりも、目の前にある本当に深刻な環境危機、つまり原発事故のほうがはるかに恐ろしいのは道理です。 省エネや節電の努力を最大限に行い、原発に全く頼らない国にしてください。 建物の屋上は太陽光パネルを設置するか義化するかどちらかにしないといけない法律をつくってください。
19113	個人	その他	60代	男性	「ゼロシナリオ」です。 原発はすぐにでも廃炉すべき、危険極まりない欠陥システムです。 原発の代りには、最終的には再生可能エネルギーにすべきですが、過渡期には化石燃料も積極的に使用すべきです。	当然「ゼロシナリオ」です。 原発はすぐにでも廃炉に取り掛かるべき、危険極まりない欠陥システムだと思います。 原発というのは、電気（電源）がなくなると停止する（フェイルセーフ）のではなく、暴走し、その結果は福島で実証されたように、取り返しのつかないとんでもない結果をもたらすシステムだということを昨年3．11で知りました。電源は何重にしていても、思いもよらない原因（地震、津波以外にも、テロ、隕石落下、その他想定外の原因）で全電源喪失に陥る可能性があります。従って、システムというものは、電源が無くなったら、自動的に停止して、そそまま放置しても、機能しないだけで何事も起こらないように設計すべきです。それが原理的に出来ないようなら、そのようなシステムは作り、使うべきではありません。 その原発が国内に50機もあるとは、身のももんだつ話です。2030年にゼロでは遅すぎます。 原発の代わりには、最終的には再生可能エネルギーを全面的に採用すべきですが、それまでの過渡期においては石油、石炭、天然ガス等も積極的に使用すべきです。CO2の問題がありますが、原発による放射能汚染に比べればはるかにましです。 また、燃料費が高くて、電気料金が高くなる？（これ自体信用できませんが）という話がありますが、かりに本当だとしても、その方（値上げ）がましだと思います。むしろ値上がりすることにより、節電意識が高まり、その面でも良いと思います。 また、最大の現実的問題は、電力会社の経営が立ち行かなくなるという問題がありますが、そのような電力会社はそのまま破綻させ、一時国有化の上、原発関係廃炉事業を専門に行う事業団、それ以外の個々の発電会社、送配電会社（国有？）等に分割し、電力自由化を促進すべきだと思います。
19114	個人	家事専業	40代	女性	原発の推進は絶対に必要です。原発の放射能による死者は0なのに、停電対策による熱中症の死者は急増している。LPGなどの輸入コストは電気料金に跳ね返り、経済を低下させる。経済的理由による死者も増える。	震災前(2010年6月のエネルギー基本計画では、2030年までに14基以上の原発の新増設(54基→68基)を行い、原発依存度45%まで引き上げるとしていました。 この計画を守りエネルギーの安定供給により、国の経済的発展を後押しすべき。政府の代替エネルギーのしっかりした裏付けのある試算はない。
19115	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	できるだけ早く原子力発電比率を0（ゼロ）にするべき。再生可能エネルギーへの転換も重要であるが、大量の電力消費を必要としない生活、産業、経済の構造が求められる。	原子力発電は、安全性、経済性、効率性、どれをとっても不利益が大きい発電方法（ごく一部の利害関係者にはお得なのかもしれませんが）であるのみならず、大量の核廃棄物を次世代に押し付け、通常運転においても社会的・経済的弱者の被曝労働を必要とする発電方法であり、このような発電方法で作られた電気など使いたくない。「国防の観点から、核兵器への転用可能性が重要」という意見もあるようだが、テロの標的になることを考えれば抑止どころか弱点でしかない。福島の事故では今でも10万人以上の方が避難生活をされ、避難されずとも200万人の福島県民が様々な不安や葛藤、苦悩を抱えて生活されている。事故の収束、原因究明、被害者補償、まだまだ問題は山積され、これから起こる健康被害については被害の規模すら予想できない。原子力の負の側面に正面から向き合い、反省し、そして、「原子力の次」を世界に提案することが日本に与えられた使命だと思う。そのために様々なリソースを投入すべきと考える。
19116	個人	会社員・公務員	50代	男性	政府は本腰を入れて再生可能エネルギー開発に尽力すべき、発送電分離の法制化、地熱発電拡大を阻む法規制の撤廃等、金を掛けない推進策は多々ある。太陽光発電の助成制度も現状より拡大すべきだ。	【「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張する。】 このパブコメ募集の前提が「2030年までは原発が維持される」というもの。前提自体が国民を騙すトリックだ。東京電力への福島原発事故調査も甘い。再び事故が起これば、日本は再起不能になる。自分を金の家族はどこへ逃げればよいのか？昨年3月は、茨城県の原発もあと数十センチで福島原発と同じになっていた。これは、県が東京電力会社に申し入れて嵩上げした防波堤でかろうじてしのげたもの。国民の安全、日本の将来のためにも政府は自然エネルギー比率を増やすスケジュールを国民にしっかり示すべき。
19117	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	原発依存0％	○ 3・11 の福島原発事故で明らかな原発の危険性から私たちの命を守るには「ゼロシナリオ」しかありません。 ○原発を続けることは、将来の子どもたちにどうすることも出来ない危険な放射能を残すことです。使用済み核燃料をどうするかの技術も処分場所も不確定な中で、原発を動かしていくことは出来ますか。 ○地震国日本では、近い将来相当大規模な地震が想定されています。その中で、原発の安全性を保つことは不可能でしょう。「ゼロシナリオ」の他に私たちの安全を確保する道はありません。
19118	個人	自営業	20代	男性	「エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 2030年に原発0ではなく、即刻原発0を主張 処分方法のない有害廃棄物は故意に生み出してはいけない。 地球との共存に際し当たり前のことだと思います。	処分方法が決まっていない有害廃棄物を生み出しながらエネルギーを作り出す主な理由は、経済の発展だと思います。 これはドーピングした選手と同じで、経済の発展において我々は実力以上の結果を出そうとしているだけだと思います。 人間が本来持つべき力の範囲で、地球を汚すことのないように物事を考えるべきだと思います。
19119	個人	その他	50代	男性	原発の早期廃炉と再生可能エネルギーへの段階的な転換が必要。	原発のメリット、必要性を唱える人もいるが、使用済み核燃料の最終処分が全く決まっていないのに、これ以上の原発稼動は、未来に責任を押し付けるもの。 まず、現存する膨大な使用済み核燃料の最終処分を決めることが先決。それこそ国民的な議論でそれを明確にすることのほうが、エネルギーの選択肢を決める以上に重要になっている。 また、高速増殖炉が稼動できないのであれば、原発の原料も石油と大差のない限りあるものである。実際に「もんじゅ」は稼動されないし、各国で高速増殖炉は断念している状況、廃炉や処分、さらに福島第1原発の事故処理に関する経費などを考えれば、「原発は環境にやさしく、安価、持続的、安全」などという宣伝はできないはず。 原発が動かなくても当面は節電の必要性を感じないが、節電そのものは十分可能。そして、政府が予算と制度を確立することで、再生可能エネルギーは大きく前進すると思う。
19120	個人	無職	60代	男性	早期に原発比率をゼロとすべき。	安全神話のもとに推進されてきた原子力発電は、3.11の東京電力福島第一原発の事故後、放出された（大気中に）各種の放射性物質の影響が多くの国民に不安を与えている現実（健康に影響はほぼ無い値等と報道はされるが）があり、将来世代に与える影響は未知数である。 事故を起こした発電所の廃炉までの気の遠くなるまでの期間（30年～40年） 又、賠償や除染によるかかる国民負担が大である。さらに使用済み核燃料の処理、行き場所等の問題は未解決。 事故になると、原子力発電は気の遠くなるような問題を抱える。 原子力発電は2030年のなるべく早期に原発比率をゼロとすべきである。ゼロ目標にすることにより、クリーンエネルギー（再生可能エネルギーの導入）の 技術開発が促進されると思う。

19121	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	いばらきコープは、福島第一原子力発電所事故の悲劇を繰り返さないために、原子力発電に頼らないエネルギー政策への転換をすすめる「ゼロシナリオ」を選択すべきであると考えます。	東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故から1年以上が経過しましたが、今なお16万人もの人が先の見通しの立たない避難生活を余儀なくされています。被災地では除染も進まず、生まれ育った故郷に帰れないでいます。また、全国的に食品に対する放射能汚染の不安も広がったままです。目に見えない放射能汚染によって、わたしたちの命と生活は脅かされ続けています。本格的な事故原因の究明や安全対策をすすんでいません。 私たちが住む茨城県にも東海第二原子力発電所があります。そこから30km圏内には約100万人が住んでおり、万が一の場合、全員を避難させることは難しいとされています。また、運転開始からすでに34年が経過し、老朽化もすすんでいると言われています。東日本大震災の時も、津波の高さが6.7mを越えていたら、水中ポンプ室の防潮壁の完成があと2日遅かったら東海第二発電所も同様の事故を起こしていたと考えられています。この世界一の地震列島で原発に依存することは身の程知らずということを認識すべきです。また、依然として使用済み核燃料の処分問題も未解決のままです。 いばらきコープでは、この6月の総代会において「エネルギー政策の転換をめざして」というアピール文を採択しました。そこでは、福島県の人たちを今後も支援していこと、国民参加や安全重視のエネルギー政策への転換や再生可能エネルギーの拡大をすすめることと、わたしたち自らも節電をすすめるとともに、エネルギー政策や原発について学習していくことを確認しています。 以上のことから、2030年までのなるべく早期に原発比率ゼロとする「ゼロシナリオ」を選択すべきであると考えます。
19122	個人	パート・アルバイト	40代	女性	原発ゼロシナリオを選びます。2030年までといわず、今すぐ止めるべきです。	膨大な維持費、地震発生時の危険度、普遍の思考ならこんなに割のあわないエネルギー選択はしないはず。よろしく願いします。
19123	個人	自営業	60代	男性	エネルギーの確保は国家の根幹の重要な要素です。将来有望なエネルギー資源が開発されるまでは原子力発電を50%以上にひきあげる必要があると思います。	国防、経済、政治においてエネルギーの確保は絶対条件です。それもエネルギー資源を他国に頼らないほうが、ベターです。石油は中東情勢の不安定さからいつ、調達できなくなるか解らない状態です。また、OPECなどからも油の価格を操作され、経済的にも不安定です。先進国として、国内産業の国際的競争力の点からみても海外の石油依存をなくす方向へと切り替えるべきです。又最近日本に莫大な石油が埋蔵されている所からいち早く、採掘すべきです。 現段階では、次の新しいエンルギーが開発されるまでは、原子力発電は必要不可欠であります。世界の情勢からみても、隣国でも相当数の原発を建設する計画です。 日本は単に原発アレルギーや左翼団体や左翼マスコミ等によって、エネルギー問題を誤った方向に導いてはなりません。 国防上でも、中国にシーレーンを押さえられると日本の石油依存の状態から中国に屈しなければなりません。国家安全上からも原子力発電はさらに増やさなければなりません。原子力発電を削減したり、廃止するというのは、亡国への道です。
19124	個人	家事専業	40代	女性	選択肢が原発依存度しかない事について	原発依存を30年で0%、15%、30のどれにするかについてのパブリックコメントという事に違和感を覚えます。毎週金曜日に官邸前に集まる国民の声を見れば分かる通り、国民は誰も原発で発電したいとは思っていません。まだ事故も収束していないのに、大飯原発を民意とは正反対に移動したり、福島原発の薬色の分まで電気料金値上げに加算されていたりと、環境、エネルギーを論じるまでもなく0%に決まってます。 選択肢を挙げるのなら、今後のエネルギーを地熱、太陽光、風力、シェールガス等の自然エネルギーの比率をどうするかという事こそ妥当であり、世界の世論にも順応した考え方なのでは。 政府と電力関係者の癒着が明らかなのでこのような馬鹿げた選択肢なのでしょうか。 夏場の電力不足や経済への影響だの、本当の原因ではないのは明らかです。 太陽光、水力等の施設建設で十分、雇用は補えるのはないか、代替エネルギーへの技術を更に向上させる等、戦後復興を果たした日本なら絶対やれる筈だと思います。
19125	個人	家事専業	30代	女性	2030年の原発比率は、0%を強く望みます。 全ての原発の廃炉を望みます。 福島原発事故で失ったものはあまりに大きく、原子力発電所と人間が共存などできるものがないということが、わかりました。	チェルノブイリという大事故が起きました。しかし、教訓として生かすことはしてこなかった、しなかった。そして、福島の事故が起こりました。 故郷を失い、放射能汚染と向き合いながらの生産者、子育て…の日々。多くの国民が苦しみ、悲しみの中で生きています。 そして、低線量被ばくにさらされ、生活せざるを得ない人々、特に子どもがいるということは、大きな問題です。福島のみならず、関東圏も同様です。 こと低線量被ばくについては、安全を唱える専門家もいる一方で問題であるとする専門家もいます。どちらが正しいと議論しているよりも、より安全策の立場に立ち、子どもや妊婦などを守るべきことが、優先と思います。 原発は、多くの弱者の犠牲に成り立っているものだということが、今回の事故で多くの国民が気がつきました。原発労働者や原発立地町村などは、まさに立場の上では弱者です。そして、被ばくの影響を最も強く受ける子どもも然りです。 強者の論理はいつも、机上です。 誰かの犠牲によって電気を作るシステムそのものが、違うのだと気がついた人は大勢います。 地震大国ニッポンによりふさわしく、未来に向けて胸を張れるエネルギーシステムを構築することこそが、今大人である私たちがすべきことであり、決して原発再稼働などと、世界に恥じるような、子どもたちに恥じるような選択をしてはならないと思います。 この国が、全ての原発から撤退する選択をする（できる）国であってほしいと思います。
19126	個人	自営業	50代	女性	原子力エネルギーの利用に安全性を求めることのナンセンス	今回の事故で原子力発電の怖さをまざまざと見せつけられました。事故処理ができない技術は技術として認めるわけにはいきません。安全性云々をいくら語っても、 ひとたび今回のような災害が起きれば、ひとたまりもありません。使用済燃料の処分方法にしても然り、そもそも、人間が踏み込んではならない領域に無理やり入ってしまったのではないでしょうか。 至極単純に、片づけられないものは使ってはいけないと思います。 日本の技術を以ってすれば、地熱発電や潮力発電などの自然エネルギーへの転換は容易に計れるのではないでしょうか。 核の脅威を一番知っているはずの日本人として、相変わらず、原子力発電に重きを置こうとしている日本の在り方は、とても情けなく恥ずべきことと考えます。
19127	個人	その他	50代	女性	原発は一刻も早く全廃すべきである。	我が国は世界有数の地震国である。また、国土も狭い。 昨年、福島の事故が起こった時、地図を眺めて、あまりにも狭い国土に点々と原発やその他の核施設があることに溜息が出た。チェルノブィリの原発事故では700キロ離れた地点でもホットスポットが形成されたことを考えると、日本のどの原発で事故が起こっても、国土の大半が放射能汚染から免れない危険性が高い。 また、安全に100%確実ということはないが、仮に100%安全な原発ができたとしても、原発はエネルギーとともに放射性廃棄物を生産し続ける。エネルギーは現役世代が享受するものだが、放射性廃棄物は十万年先まで延々と子孫に押し付けるものである。これほど不平等で倫理に反したエネルギー源はない。 これ以上放射性廃棄物を生産しないためにも、原発は可能な限りすみやかに廃止するべきである。
19128	個人	パート・アルバイト	40代	女性	エネルギー・環境問題はとても大切です。 同じく国防も重要です。	原発の稼働は、今の日本には必要です。エネルギーは必要だからです。 政府は日本の未来の発展を目指し、政策を打ち立てるべきです。 原発は、代替エネルギーが開発されるまでは、中国の脅威に対する抑止力になるので、今は絶対に手放すときではありません。 日本の原発の安全性は、とても高く海外でも評価されていることを政府・マスコミで正しく報道してください。 また科学的に、福島の放射線量は、人体に影響がないことを、はっきりお伝え頂きたいのです。 逆に、中国の軍事的脅威によるエネルギー不安に対し、早急に対策を立て、私たち日本人の生活を、どのように守って下さるのか、お考えを広く公表して頂きたいのです。 政治家のみなさんは、国民が日本の命運を預けていることを、真摯に受け止めて、正直で誠実な政治をされてください。 なので、どの選択肢を取っても、国が発展しない政策はおかしいのではないでしょうか？ あえて選べば（3）20～25%シナリオになりますが、震災前の基本計画では2030年までに依存度45%まで引き上げることにならていたのではないでしょうか。 感情的な脱原発論調は、今後のリスクが大きすぎることを懸念しています。正しい判断で、アメリカのように神の正義を実現して下さる政治家の出現を願ってやみません。
19129	個人	法人等	30代	男性	「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を このパブコメ募集の前提が「2030年までは原発が維持される」というもの。前提自体が国民を騙すトリックだ。再び事故が起これば、日本は再起不能になる。	今回示された「選択肢」は3つあり、それぞれ2030年の発電電力量における原子力発電の割合を軸に選択することになっています。 1．0%にする（ゼロシナリオ） 2．15%にする（15シナリオ） 3．20～25%にする（20～25%シナリオ） ゼロシナリオでは、2020年の温室効果ガス排出削減数値目標は0%とされ、原発ゼロを選べば地球温暖化対策の放棄を選ぶことになるようになっています。しかし地震大国の日本でゼロシナリオ以外に国民の命と健康を守り経済を発展させ雇用を増やすシナリオはありません。
19130	個人	法人等	40代	男性	原発についてはゼロシナリオを選択すべきだと思います。また、原子力研究の予算を大き削り、再生可能エネルギーの開発へと振り分けるべきだと思います。	原子力発電のゼロを目指す理由は大きく二つあります。一つは核燃料廃棄物の問題であり、もう一つは事故が起こった際のリスクの大きさが他の技術とは桁が違うという問題です。 前者は、最低でも1万年、より厳しく見れば数十万年もの長い時間ならんかの管理が必要であり、現在技術的な解決法がありません。この核燃料廃棄物の長時間の管理を考えた場合、本当に原子力が人類にとってエネルギー的にもコスト的にも収支がプラスである根拠が希薄です。単に、ツケを後世に押しつけている可能性があり、この点をもっときちんと試算すべきです。 事故のリスクに関しては、単に放射線による急性の死者を出すというリスクだけではなく、国土に長期間にわたって人が住めなくなる地域を生み出してしまう可能性あります。特に一つの敷地に複数の原発が林立する我が国の原子力発電所は、福島第一原発の事故でも明らかになりましたが、そのリスクが甚大であり、今回の事故も「この程度で済んだ」という側面もあります。 どんな技術も事故のリスクをゼロにするのは、現実的に不可能であり、可能性は低くても事故の際のリスクが甚大な技術には頼らない方が、戦略的に優れています。 以上のことから、原発の新設を行わず、原発の寿命40年を厳しく守り、漸進的に脱原発を目指すことを支持します。このためには、年間4000億円もの予算が投入されている原子力開連に対する研究費を80%程度は削減し、再生可能エネルギー、特に地熱発電に対して積極的に振り向けるべきではないかと思います。日本には潜在的に地熱発電の候補地が多く、この地下に眠るエネルギーの有効な取り出し方に技術革新が生まれれば、日本の将来の渡るエネルギー問題をほぼ解消できる可能性もあるかと思います。 日本の将来のために、是非、賢明な選択をお願いしたいと思います。
19131	個人	無職	60代	男性	福島原発事故で思い知らされた、コントロールできない原発・放射能。日本国民誰しも廃炉しかないと考えたのではないか。私は原発は即刻廃止すべきと思います。	福島原発事故は地震・津波への不安が指摘されていたにも拘わらず、安全神話のしがらみの中で事故が発生した。まさに人災です。1年4ヶ月が経過した今でも16万人の国民が避難生活を強いられています。事故対応も手探りの対応で遅々と進みません。絶望ある希望すら見えないのが現状です。野田政権は早々と収束宣言を出しましたが、事故対応の現状、事故調査結果では検証ができない状況で原因が解明できていない事から見て、この宣言が原発再稼働のためのワンステップのシナリオとしか言いようがありません。今からでも「収束宣言」を撤回してこそ、事故原因の究明・避難国民への対応・一日も早い復旧を進める原点に戻れるのではないでしょうか。 私は福島の原発事故で思うことは、原発は即刻廃止しか考えられません。多分多くの国民が同じ判断をしたのではないかと思います。しかしその後電力不足・電気料金の値上げ又原発技術が停滞してしまうなど再稼働を意識した意見が、テレビ・新聞などマスコミで報道されるようになりました。私は電力不足・電気料金値上げなどは国・電力会社・国民が努力すれば対応できる内容ですが、原発で事故が一度起きると国・電力会社・国民でコントロールできず、土地を失い人命も失う最悪の事態になります。つまり原発を廃止するか稼働するかは「生活全てを失うリスク」を負うかどうかです。 必然的に原発NOです。私はこの立場で課題を考えることが唯一の道だと思います。
19132	個人	家事専業	30代	女性	2030年の原発依存度を0%にする案を支持します。	震災時は関東におりました。福島の爆発後関東の水道からも放射能が検出されました。まさか核戦争でもないのに、自分たちが被ばくするとは思ってもいませんでした。原発に関して無関心であったのを恥じています。 電力、経済が大切だというのはよくわかりますが、地震のたびに××原発は大丈夫だっただろうか、などとひやひやしながら暮らすことを考えれば、電力不足にともなう困難さのほうがまだましです。実際電力は原発だけに頼らなくても、新しいエネルギーはあります。子供や子孫に核のゴミを押しつけて、自分たち世代だけおいしいとこ取りをするという考えは、根本的に誤っています。
19133	個人	自営業	30代	女性	原発ゼロはもちろんのこと温暖化対策を強化したシナリオを支持します	被爆国でありながらこんな事故がおこってもまだ原発を稼働させるなんて、子供でもわかる過ちです。 今私たちがすべきことは私達の利益の追求ではなく地球を守ること。地球をどうしたら守れるか、それはもう十分わかりきったことと思うのです。行動あるのみ！脱原発を目指し温暖化対策も強化！！！
19134	個人	会社員・公務員	30代	男性	「脱原発」に向け、「ゼロシナリオ」を基本に議論をお願いします。	日本は地震、津波、台風など自然災害の多い国です。福島第一原発事故は、原発の安全神話を崩壊させ、自然の驚異を私たちに証明しました。 私が住む松江市にも、島根原発がありますが、ここには活断層があり、可能性は低いとは言え、いつ大地震が発生し重大事故につながるか分からず、松江市民をはじめとする周辺の住民は不安を抱えています。 絶対的な安全を実現するためには、原発をなくすしかありません。「ゼロシナリオ」が早期に実現されるようお願いします。 先日、「生レバー」の規制が始まりました。生レバーを原因とする食中毒が後を絶たず、なくなる方も出ているため、規制が始まったものと思っています。 国は、生レバー」による「ゼロリスク」を実現させようとしています。 食文化と国全体の生活を簡単には比較できませんが、原発から国民を「ゼロリスク」にすることも考えられるのではないでしょうか？
19135	個人	無職	60代	男性	原発は広範囲に被害をもたらします。事故の収束に時間もかかる。もう一回事故になれば日本中が汚染されるし、事故はテロなどの人災でも起きます。核廃棄物の処理もできない現状では原発は廃止すべき。	概要で書いたとおり不完全な原発は一度事故が起これば日本だけでなく世界中に被害を及ぼす可能性があります。今回の福島の事故でもどこまで被害が広がっているかはっきりしない部分もあります。海と空気は世界中につながっているので広がりの可能性は否定できません。またそれが微量であっても長い間にちりも積もれば山となる状態になっているかもしれません。さらに事故をすでに収束できない問題があります。結局福島第一原発は廃炉にするわけですが、それだってとてつもない時間がかかるわけで要するに原発は発電まで行ったらそんなにお金はかからないかもしれませんが、一度事故を起こしたら税金を投入しなければならないほどお金がかかるわけで、もう一回事故が起きたら国が財政的にだめになるんじゃないですか。電気を使うのを我慢しても死なないけど、晩発が事故になったら健康被害がどこまで行くかそれも定かではないほど問題が起きます。ですから、早く原発は止めるべきです。
19136	個人	その他	60代	男性	原子力比率20～25%を選択。 エネルギー資源のない日本にとって最も重要なことは、エネルギーのセキュリティであり、エネルギーの安定供給と供給の多様性をまず考える必要があると考えます。	エネルギー資源のない日本にとって最も重要なことは、エネルギーのセキュリティであり、エネルギーの安定供給と供給の多様性をまず考える必要があると考えます。また、電気のない国の形態が考えられない以上、資源のない国にとって、エネルギーセキュリティの問題は、そのまま国としての安全保障の問題に直結する。できるだけ多くの選択肢を残しておくべきである。選択肢を狭めてはならない。多くの人は、現在の生活がそのまま維持できるようなことを漠然と考えるが、あらゆることを考慮して備えていくことが重要ではないかと考えます。これは、今回の事故で得られた貴重な経験でもあるものと考えます。 もうひとつ、この選択の問題のなかで、考えなければならない視点は、世界の国々との関係であります。この選択は、単に日本国内の事情だけで決めるのではなく、事故を起こした当事国としてしっかり対応し、原子力発電を継続・導入しようとしている国にフィードバックをしていくことが重要であり、このためにも必要最小限の原子力発電の維持は必要なものと考えます。
19137	個人	会社員・公務員	50代	女性	エネルギー問題について	原発は福島原発事故で100%安全性がないことが確認されましたので、今後は原発をなくす方向で電気代が高くなったにしても、太陽光やその他の自然エネルギーへ転換していくことを考え、太陽光パネルについての補助を拡大し、各家庭にパネルを設置するなどんどん自然エネルギーへ転換していただきたいと思います。
19138	個人	会社員・公務員	40代	男性	3・11の福島原発事故で明らかになった原発の危険性から私たちの命を守るには「ゼロシナリオ」しかありません。	放射能は、いったん外に出ると私たちの生活環境を害ってしまいます。故郷を失った福島県民の様子を報道等で見るたびに、原発がなければよかったのにという思いがわいてきます。原発を続けることは、将来の子どもたちにどうすることも出来ない危険な放射能を残すことにつながります。使用済み核燃料をどうするかの技術も処分場所も不確定な中で、原発を動かしていくことは出来ません。また、地震国日本では、近い将来相当大規模な地震が想定されています。その中で、原発の安全性を保つことは不可能ではないかと思われます。「ゼロシナリオ」の他に私たちの安全を確保する道はありません。
19139	個人	会社員・公務員	40代	男性	20～25シナリオ(原発依存度20～25%)賛成	今回の原発事故での死亡例がないのに、脱原発の推し進めるのは間違えである。 震災前(2010年6月)に制定されたエネルギー基本計画では、2030年までに少なくとも14基以上の原発の新増設(54基→68基)を行い、原発依存度45%まで引き上げるとあるが、これに基づいて行動すべきです。 日本のような高温多湿な工業国で資源を輸入に依存している状況では、原発止めたら、死活問題となる。
19140	個人	自営業	50代	男性	2030年の原発比率は0%とすべき。	2030年における原発比率は、0%とすべきであると思います。その理由として、第一に、最終処理に数万年を要するような放射能物質をこれ以上使用することは、まさに、人類の子孫につけをまわさないためにもないほうがよいということです。経済への懸念を唱える人がいますが、目先の得で物事を決めないほうが良いと思う。政府が0%の方針を決めれば、技術がありや勤勉な日本人は、原子力以外の代替エネルギーを開発し、それが景気回復にもつながると思います。第二に、我が国は、運命的に地震大国であり、物理的に原発について安全性は担保できないということです。第三に、0%というこのぐらい戦略な目標を立てないと、マスコミを含めた、政・官・財や諸外国による外圧によって構成されるいわゆる原子力村は排除できないということです。この後の及んでは、私欲は捨てなければ、国は維持できなくなってしまうと思います。
19141	個人	会社員・公務員	50代	男性	地震国の日本では、原発は廃止してほしい。現にドイツは日本と同様の産業国家だが、原発廃止を決定している。	原発はゼロにすべきである。理由は、地震などの災害に十分に対処するのは技術的に不可能だと考えるから。さらに、核廃棄物の最終処理が明らかではないこと。将来的には自然エネルギーの開発が日本の産業にも貢献しうると考える。国防の観点からも、核兵器の装備は非現実的だから。原子力発電所を廃止することにる電力会社の損失は、程度はともかく国民全体で負担するも他はないと考える。さらに、福島の被害者の現状を考えれば、原発再稼働は不道徳でもある。

19142	個人	会社員・公務員	20代	女性	選ぶとしたら原発ゼロシナリオを選びます。 それプラス石炭火力依存の割合を減らしていき、一割ではなく省エネに もっと取り組み、再生可能エネルギーの導入を最大限行うことを希望します	地震はとても悲惨で大きな被害を残しいまもこれからもそれは続いていきますが、(放射能等)よい機会ととらえ、はじめは時間やお金がかかるかもしれませんが、目先の解決策をだしていくのではなく、未来への投資をきちんとしていってほしいです。 原発の事故は、いまだ収束せず、放射能の放出は続いており、危険な状況が続いて います。そして、この事故により、今も多くの人が苦しんでいます。地震大国日本で原発を進めるのは危険だし、他の自然エネルギーの普及の 可能性も十分あると思います。 また発電量で見ても陸上風力や太陽光は旧来型の発電量を十分に置き換えることが可 能です。これには特別な未知の技術革新を必要とせず、在来技術の改善と学習曲線効果に より、十分なコストダウンと速やかな普及が可能だと思います。 またいつまでに何を目指すかを明確にすべきだと思います。 自然エネルギーを最大限とりいれ原発ゼロ、そして核燃料サイクル・再処理の余地を完全になくす決断をしっかりとしてほしいです。 また電力自由化や発送電分離などシステム改革も行っていくべきだと思います。 ドイツに続き日本もエネルギーに対して周りの手本となり勇気を与える選択をし、おいしく安心な野菜を食べることや子供たちがのびのび遊べる国づくりをしていって頂きたいです。 今回わたしはフェイスブックで友達がシェアしてくれこのパブリックコメントを知りました。大きな方針をきめていくのだからWEB上だけでなくテレビ放送などでも呼びかけたりマスメディアやタレントも使ったりもっとみんなで考えるべきだと思います。ドイツでは数十時間にわたる原発是非の討論をテレビで放送したうえで2022年までに原発をゼロにする方針が決定しました。 日本もそのようにしっかり国民と連携をとりながら話を進めていくことこ大切だと思います！ 実際国民的議論はほとんど知られていないと思います。 パブリックコメントや意見聴取会の期間も短すぎます。会場からの意見や討論を一切認めない進め方も何のための200名ほどの参加者を募集するのだろうと疑問です。 国民と政治の清もこういった機会にポジティブに 取り組んでいくことでうまっていくことを望みます。 お読み下さりありがとうございます。
19143	個人	会社員・公務員	30代	男性	急進的な方針転換ではなく、バランスの取れた周囲の負荷の少ない長期的な政策を望みます	昨今、急激な反原発運動や環境保全団体の動きが目立つ形になっていますが、その様な目先の喧噪に惑わされることなく、国家百年の計を立てて着実に、そして出来る限り周囲の負荷が低減される形での政策立案をお願い致します。 短命に終わる政権基盤の下では、国民の支持を取り付けドラスティックな改革を望む政治家が跋扈する事でしょう。しかしそこで目先の利益に囚われ周囲の負荷の大きな政策を選択する事は中～長期的な視野において国力を疲弊させ、急激な改変によって一部の人々に負荷を強いる結果を呼び込みかねますね。 昨今取り上げられている急進的反原発運動の醜悪な所は、最終的には「自分の手を汚さず、リスクも負担せず、今まで通りの生活を要求する」部分にあるかと思います。 急進的に原発に反対するのであれば、まずコストを負担させるべきです。 また、東京電力のボーナス問題に関しても、国税を投入したしない以前に「電気代を値上げする様な無能な連中にはボーナスを支給せず」この困難な状況でも電気代の値上げを出来るだけ抑え、或いは削減し、安定供給に寄与したのであれば満額支給」等の正当な評価を下すべきと感じました。 様々な点で現在の各種方針はバランスを欠いています。 もう一度良くお考えになって、国家百年の大計を構築して欲しく思います。
19144	個人	会社員・公務員	50代	男性	原子力発電の割合を 0%にする事を要望します。	福島でこれほど大きな原発事故を経験しながら これといった安全策も明示されないまま原子力発電を継続させようとするのはいかがなものか。 また、専門家より大飯原発の下には活断層があるのでは？と再調査を求められながら、一切対応しようとせず、曖昧な返答で終始している電力会社の姿勢。これで本当に安全が確保できるのか
19145	個人	家事専業	30代	女性	「エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見。 「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張。	私の子供は今3歳、5歳、2歳、18年後の2030年には26歳、23歳、20歳になる。 その頃には今原発を無理矢理動かしている人達は、もういないか隠居しているだろう。それまで絶対安全、福島のような事故は１００％ありませんと誰が言えるのだろうか？私には後は野となね山となれと、突き放しているようにしか思えない。 子供達に残すものが余りにも大きすぎる。責任をなすりつけている。 子供達もTVでトラウマになる程、福島で起きた悲惨な現実を知っている。 大人がキチンと力をつけなければいけない。 だから元気な、余力のある私達は計画停電も受け入れる。多少の不便も受け入れる。子供達にもキチンと教えていく。 国民を守る為、子供、弱者を守る為に国が動く、それがシンプルな理論なはず。 国民に理解と協力を要請して、国が一丸になり再生可能エネルギー開発に尽力すべき。福島の天災が人災となった事実から目を逸らさない、国民や子供達に重荷だけを強いらないで。
19146	個人	自営業	50代	男性	経済後退を招く安定的エネルギー原子力発電は老朽化システム、環境チェックを行い60％稼働が必要。	人類、また日本の歴史の中で色々な発明、それは原始的なもの火の発見、車輪の発見、それの集合体として車、飛行機、等があるがそのたびに人間は危機と便利さ自由の枠を広げてきた。それは経済に直結して繁栄をもたらしている。 この度の地震により津波が起こり発電所が破壊され日本だけでなく、世界まで被害の爪痕を残してきた。 その中でアメリカ、フィリピン、等は原子力発電所着工の意思を決めその推進をしている。地震自体の耐久力をありと認めた結果である。津波に耐える設置環境の改善と見直しをするところで問題解決の糸口があるはずである。 この度の地震では多くの尊い命が失われた。冥福を祈りたい、長く教訓として残すべきである。 しかし、現在もっと怖い事が起きている。 原子力安全委員会、政府は責任逃れの為に安全という言葉を使い責任ある決断を避けロをつぐみ左翼活動家たちの扇動による世間の声にたじろぎ文明後退を起こしている。このまま行けば大きく日本経済の減速が起こる。 さらに失敗したものをたたくまさに学校個人レベルを越えた国家社会レベルのいじめ問題の様相を呈してきている。それもマスコミなども公正さを欠いた報道により一緒になって不安をあおりたて原発反対ありきで進んでいる。 今回の原発事故で放射能の被ばくによる死者はない、そしてさらにその基準に関しても其の決定に世界常識からも外れた厳しい基準決定がなされている。 使いこなすことで本当のクリーンエネルギーが達成する原子力発電の活用を未来の為、未来の人の為に進めて頂きたい。
19147	個人	会社員・公務員	30代	男性	(1)のゼロシナリオを希望しています。	福島の事故により、原子力を人間がコントロールできる段階にないと身を持って、感じました。あの事故は、関東に人が住めなくなる可能性も十分にあったと思います。これまで政府と一部特定企業が、その安全性をベールに包んでいたため、我々には知ることが出来ませんでしたが、その実態を知った今、方針を転換するべきと思います。危険な所は即時廃止が必須、安全性の高い所は順次廃止を許容しますが、方向性としては、明日にでも早期に天然ガスや、持続可能なエネルギーに本格的に舵を切って頂きたい。日本はこれから人口減少や国際化から取り残されつつある問題を抱えています。自然エネルギーの技術開発は、将来の自動車産業に大いになりえる事であり、また被爆を2度も経験している国家として、世界を新たなエネルギー創出の道へリードする種利と義務が、この国にはあると考えています。
19148	個人	学生	20代	男性	日本の将来ビジョンとして電力供給量の向上に向けたエネルギー政策の実現を	私は東北福祉大の学生であり、将来日本の政治に携わり日本の発展によって他国の貧困問題の解決の突破口を開きたいと考え勉強に励んでおります。 環境問題を検めて今の国際情勢を見ますと、お隣の中国という国の原子力発電政策にいささか、疑念を持つ。日本のように沿岸部に集中した発電所を設ける点は理解できますが、仮に中国の原発が事故を起こした場合、その甚大な被害は偏西風により運ばれてくるだろう。もっとも私は原発の批判はしないが、そのような有事が起きた場合を考えると、環境問題とエネルギー政策には必ず国際関係が介在する。 現在中東ではシリアの内戦や最近ではイラクでもテロがあった。現時点では石油などの価格変動はかさいものの、このままではいつまたオイルショックが起きるかわからない。 要は経産省前のテントがあろうと変な鳳船型って脱原発を叫ばれようと、国民の生活を本当に守るならば、現内閣は毅然として電力供給量を減らしたりしてはならない。国民の生活を守るならば、電力不足を国民や民間に押し付けてはならないから政府のエネルギー政策、原発については三十五パーセント以上を目指し、安定供給を図ることが先決だ。 現首相は増税に政治生命をかけられ、遠反を増やさないため動いているが、もう少し志を持っていただきたいと考える。
19149	個人	会社員・公務員	60代	男性	節電の徹底と多様なエネルギー開発利用で原発をゼロに！	「原発ゼロシナリオ」を選択 自分には孫が2人いますが、小さい子どもへの放射能の影響を考えると、 想定外の危険性を秘めた原発はゼロにするべきと考えます。 我が家は節電について真剣に取り組んでいます。 企業も含めみんなで節電に取り組めば、原発ゼロは可能だと思います。 節電はまだまだ不徹底です。先日も駅のホームで天気も良く明るさも十分なのに 沢山の水銀灯を点けていました。 政府の国民や企業などへの説明や、きめ細かな指導が不足しており、それを徹底 するだけでも大分節約になると思います。 節電と並行して多様なエネルギー源を積極的に開発、利用すべきです。 個人の発電を促すために、太陽光だけでなく風力や水力などのミニ発電所などもっと普及促進を図ることが必要です。 そういった省エネのための選択肢が増えれば、家庭や企業はコストに見合った最適な方法を積極的に取り入れていく思います。
19150	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	「ゼロシナリオ」の実現	「3.11福島原発事故」で明らかなように、原発の危険性から私たちの命を守るには「ゼロシナリオ」しかありません。原発を稼動し続けることは、将来にわたって危険な放射能を残すことであり、使用済み核燃料の処分技術や処分場所も不確定な中で、原発を稼動させることはできません。自然エネルギーへの政策転0換を図るべきです。
19151	個人	自営業	60代	男性	ゼロシナリオに賛成	人間の手に負えない死の遺灰である原発を将来の子供たちに残してはいけない。それは、我々の責務である。
19152	個人	家事専業	40代	女性	原発は不要	原発に頼ってきた現状などを詳しく知らないのに反対するのはどうか？という意見もある。 確かに専門家ではないし、詳しくは知りません。 原発がなくなってどうする・・・という政治家の方、それを考えるために税金でお金もらっているんですよ。素人みたいなこと言うのやめて下さい。この苦しい状況を乗り切るために導くのが国を代表すべき人なのです。 知恵をだしてください。 高度成長期はだいぶ昔に終わりました。新しい日本です。日本はヨーロッパと違います、人間至上主義ではなく、自然と共生してきたのです。死んだら、土に戻るのです。 私は瓦礫で人口島をくっていればいいとお思います。そこにソーラーパネル。低しゅう音がNG？考えてください。
19153	個人	自営業	60代	男性	原子力発電は15年以内に全面廃止してほしい。	せまい国土に50基もの原発があるのは異常だ、使用済み燃料のプールも余裕が少ないとの事、日本人の叡智と原発にかける金をかけ地熱や天然ガスなど代替エネルギーの開発は15年あれば出来ると思う
19154	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	地震国日本では、近い将来大規模な地震が想定されます。自然災害を人間が完全に克服することは現代の科学テクノロジーでは不可能です。原発ゼロシナリオこそ「科学的判断」と考えます。	ドイツでは2022年までに17基ある全ての原発を閉鎖し、今後30年以内に再生可能エネルギーだけで国内のエネルギーを賄おうとしており、その見通しも、現実的なものとなりつつあります。5月25日と26日の2日間、ドイツの太陽光発電量が史上最大を記録し、一時は22００万キロワットに達し、ドイツの電力需要の半分近くが太陽光発電で供給されました。太陽光発電の立地に不向きとされるドイツでさえ、原発20基分に相当する電力を太陽光で発電しました。環境省によれば、日本では、太陽光、風力、地熱で20億キロワットの発電が導入できると試算しています。現在の発電設備容量の10倍の数値です。再生可能エネルギーは技術的問題をクリアし、進めるかどうかは政治の決断の問題です。日本は地震大国です。神戸大学の石橋克彦名誉教授などは、日本は地震の活動期に入っていると報告しています。近い将来において大規模な地震は想定されます。日本の多くの原発は老朽化しており、耐震設計も古い思想のままです。原子炉そのものを取り替えない限り根本的な耐震補強は不可能です。今あるの原発をより安全にするコストと再生可能エネルギーを導入するコストはどちらか安いのでしょうか。そもそも「完全に安全」な原発などできるのでしょうか。自然災害を人間が完全に克服することは、現代の科学テクノロジーでは不可能です。原発ゼロのシナリオこそ「科学的判断」と私たちは考えます。原発ゼロのシナリオを選択するべきです。
19155	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	「ゼロシナリオ」の実現	福島原発事故の教訓から「ゼロシナリオ」を決定し、自然エネルギーの拡大に努力すべきです。原発立地市町村には新しい地域経済復興の施策を実現することを求めます。
19156	個人	会社員・公務員	30代	女性	「ゼロシナリオ」を決定し、自然エネルギーの拡大に努力すべきです。そのことが、新しい日本の経済成長にも寄与するはずです。	限りある資源から、再生可能エネルギーへの移行を強く希望します。 原発に関わる予算をソーラーパネル設置の補助費としたり、メガソーラーのための土地買収費にあてたりしてほしいからです。
19157	個人	無職	60代	男性	2030年に0ではなくまからOにすべし。	最終処理が出来ないものを使用すべきでなく。 安全なわけこそ発展があるのであり、命と天秤に掛けてはいけない。 たかだか2～3千年の人類が10万年後の地球に責任が持てるのか！ 総理に責任がとれるのか！
19158	個人	会社員・公務員	10代以下	男性	原子力発電は、必要です。経済、外交、国防において、福祉をはじめ国民生活に絶対必要です。無責任な意見や行動に惑わされてはなりません。世界平和の旗手として、原子力を活用し平和利用を推進して下さい。	世界の中での日本の現在の立場、我が国の技術力からすれば、政府が示されたシナリオは、すべて選択に値しません。国家は、国民を守り、発展繁栄し世界の平和に貢献しなければなりません。決して一部の市民や団体、マスコミなどに翻弄されてはなりません。なぜ縮小や衰退への方針しか示せないのですか。これは、民主党政権による間黒思想ではありませんか。国民の暮らしや子供たちの未来を貧しく危険な方へ引きずり込もうとしているように感じられてなりません。何を目指すかを再度確認し、どうしたらできるかを考えるべきです。ここで数字やデータを並べ説明する必要はないと思っています。すでに経団連を始め多くの皆様が見解を出されています。その通りなのです。前提がおかしい上に、公での議論を避けているような、このような取り組みは、意味がありません。日本は、原子力を平和的に最大限活用し繁栄発展し、世界のリーダーとしての責務を必ず果たして行きますよう正しい判断をしてください。
19159	個人	会社員・公務員	50代	男性	原子力発電は、必要です。経済、外交、国防において、福祉をはじめ国民生活に絶対必要です。無責任な意見や行動に惑わされてはなりません。世界平和の旗手として、原子力を活用し平和利用を推進して下さい。	世界の中での日本の現在の立場、我が国の技術力からすれば、政府が示されたシナリオは、すべて選択に値しません。国家は、国民を守り、発展繁栄し世界の平和に貢献しなければなりません。決して一部の市民や団体、マスコミなどに翻弄されてはなりません。なぜ縮小や衰退への方針しか示せないのですか。これは、民主党政権による間黒思想ではありませんか。国民の暮らしや子供たちの未来を貧しく危険な方へ引きずり込もうとしているように感じられてなりません。何を目指すかを再度確認し、どうしたらできるかを考えるべきです。ここで数字やデータを並べ説明する必要はないと思っています。すでに経団連を始め多くの皆様が見解を出されています。その通りなのです。前提がおかしい上に、公での議論を避けているような、このような取り組みは、意味がありません。日本は、原子力を平和的に最大限活用し繁栄発展し、世界のリーダーとしての責務を必ず果たして行きますよう正しい判断をしてください。
19160	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	安全性を十分に確保・確認した上で原発の再稼働が必要。再生可能エネルギーの普及や、メタンハイドレート・シェールガス等の資源開発と、これらを支える発電機・建設機械等の生産設備に対する投資助成策も肝要。	電力供給力不足が懸念されている現状に鑑み、工作機械業界では、昨年同様、夏期の節電に率先して協力すべく、生産活動等への影響に配慮しつつ、サマータイムの導入、休日の移動、空調の温度調整あるいは完全カット、照明の間引き、電力監視装置による抑制、自家発電機の導入等、業界各社に最大限の節電努力を要請しております。 一方、製造業に生産設備を供給する立場として、製品である工作機械本体についても、モーターや補機類などの効率向上を始め、インバーター制御油圧ユニットの採用、チップコンベア（切りくず運搬）の最適運転制御等、省エネ技術の開発・普及を推進しております。 しかしながら、中期的な視点で見た場合には“モノづくり”をするとて電力・エネルギーの安定供給が不可欠であることは言うまでもありません。特に使用エネルギーの8割以上を電力に依存する当業界では、十分かつ安定的な良質の電力・エネルギーの供給があってはじめて、国内生産を継続することができます。このことは、工作機械産業に限らず、国内製造業共通の課題だと認識しております。 また、電力・エネルギー供給の不安定さは、市場原理を超えた、行き過ぎた円高・国内経済の構造的なデフレに加えて、日本の製造業の空洞化を加速する要因にもなっております。 このような現状認識に加え、震災からの復興、安定的な経済成長、豊かな国民生活を実現するためには、当面は、安全性が十分に確保・確認されることを前提とした原発の再稼働が必要であると考えます。 長期的には、風力・太陽光・地熱等の再生可能エネルギーに加え、日本近海に相当量の埋蔵が見込まれているメタンハイドレートの開発や、シェールガスの採掘など、あらゆる資源・手段の活用を視野に入れることが肝要です。さらに、これら資源の開発・採掘に不可欠な建設機械や、再生可能エネルギーを効率良く電力に変える高効率発電機等の生産設備の導入に対しても、補助金や即時償却を柱とした優遇税制などの投資助成策を講じることが必要であると考えます。このような再生可能エネルギーの普及促進と、資源採掘のための投資促進・産業育成は、日本での新たな需要、国内産業の新たな強みを生み出し、日本経済を活性化することが強く期待されます。
19161	個人	会社員・公務員	50代	男性	2030年のエネルギー・環境に関する選択肢については、(2)15シナリオを選択します。	現状では、太陽光発電等の再生可能エネルギーに転換するにしても、コスト・技術面でも限界があると考えます。ただし、原子力発電設備を40年で廃炉することが条件です。
19162	個人	会社員・公務員	60代	男性	原子力による発電は直ちに停止し、順次廃炉とすべきである。	原子力による発電は、一旦事故が起きると取り返しの付かない被害が出ることが今回の事故で明確になった。また、今回の事故が想定外であったとするならば、今後も想定外の事故が起きる可能性が常にあるので、原子力による発電は直ちに停止しなければならない。電力不足にたいしては、そもそも電力会社の自己都合の数値を検証しておらず、不足の根拠があいまいである。 また不足するとしても、夏場の一定期間の一定時間帯にどう対処するかという視点が欠落している。 不足するから原子力発電を再稼動するという発想ではなく、原子力発電を停止して、それから派生する問題にどう対処するかという発想が必要である。
19163	個人	無職	60代	男性	「ゼロシナリオ」を支持します。むしろ、今後10年をめどにウラン型原子力発電所を順次廃炉し、その間に再生可能エネルギーの開発と普及に力をそそいでください。	福島第一原発事故により「原発安全神話」は崩壊し、ウラン型原発に頼らないエネルギー政策への転換が必要です。再生可能エネルギーへの変換と同時に、トリウム型原子炉の研究を進める必要があるとおもいます。10年という期間があれば実用化の可能性は十分あるはずです。遅くとも2030年にはトリウム型原子炉の稼働は可能ならばです。

19164	個人	無職	60代	男性	即刻原発ゼロの社会を目指すべきです。	昨年計画停電を経験しましたが、まだまだ節電できるものがたくさん存在している。「24時間稼働している社会は果たして必要なのか」これだけでもみんなで討論し合って節電社会に移行すべきです。最悪なのは使用済み核燃料の処理を考えるとこれ以上の原発は不要だし既存の再稼働など許されないと考えます
19165	個人	パート・アルバイト	50代	女性	エネルギー政策を脱原発に向け直ちに国内の全ての原子炉を廃炉へ！	福島の事故を体験し、電力会社幹部、原子力安全保安院のお粗末な対応にあきれるばかりです。 自然災害に対応できない物を安全と言う推進派の意見は納得できない。 地震国の日本に原発を建設すべきではない。 トイレのないマンションと言われる原発は使用済み燃料をどのように最終処理するのか？ 推進はから最終処理の方法を何も提示されない。 もんじゅには多額の税金を投入し、民間レベルでは撤退しているのではないか？ 利益を優先する暮らしの結末は、放射能に怯える暮らしとなった。 若者、子供たちに後始末を押し付けるのではなく、脱原発を決断すべき時期と思い、コメントします。
19166	個人	無職	70代	女性	原発に関する三つの選択肢のうち (1)原発ゼロシナリオを求めます。 しかも、なるべく早期に原発をゼロにしましょう。	人類は、核物質を安全に扱う技術を持っていません。 30年40年もたつ老朽化した原発や、年数が少なくても、沢山の管など細かい構造物がいっぱいのなか、亀裂は入ったりなど細かい故障が起きる可能性を否定できるものではありません。核を扱う以上どんなミスも許されません。福島の原発は今も放射物質を出しつづけ、修復の見通しも立っていません。これをみても日本では扱う力がありません。 次に、原発が存在する限り被災者がです。現在いまも、施設で働いている方々は、放射能を浴び続けています。人力を必ず必要としていますね。 日本は地震大国です。いつまた、原発事故が起きるかも知れません。他国では地震地帯を避けて原発が建設されています。 福島原発の処理や放射性廃棄物などを数百年数万年以上もの間、子孫にそのつけを残さざるを得ないことに慙愧の念を覚えます。除染の技術も開発されていません。至急取り組むべきです。
19167	個人	会社員・公務員	30代	女性	私は何不自由なく育ち、命の危険にさらされることもありませんでした。しかし、自分の子供はそうではないのです。自然災害は避けられませんが二次災害を防ぐため、原発はなくすべきだと思います。	原発がなければ本当に電気は作れないのですか？エネルギーは足りないのですか？だったらどうして昨年の夏は計画停電が毎日行われなかったのですか？ 本当に原発がなくて電気がないのであれば、もっと東京は混乱になっていたのではないのですか？ 原子力の放射能が漏れ、植物が汚染されるという自体も起きました。 どうしも十分に生命を脅かす問題だと思いますが、そうは思われないのでしょうか？ 原発事故による被害は、心にも影響を及ぼしていると思います。常に不安におびえながら生活するのがどれだけ苦痛か分かりませんか？安心して眠れないことが精神をさらに不安定にするのです。親は子供を守らなければなりません。その親も自分を支えることすらままならなくなるかもしれません。 普通の生活ができる幸せを国民から奪わないでください。 よろしくお願い致します。
19168	個人	無職	60代	男性	原発の恐ろしさと、放射能のしつこさを福島で嫌と言うほど、知らされた。可及的速やかに、原発ゼロに向かうべき。そこへ行くまでの工程表も早急に作るべし。	「国敗れて山河あり」との言葉があるが、今度原発事故が起きたら「国敗れて、もう何もなし」状態になる。このまま行けば、日本に未来は無い。政治家、官僚、東電を始め、原子力を扱う皆は、現在の我々国民のみならず子孫にも顔向けできないのではないか。 今の内閣、もしかしたら政治家全部が、国のことを考えていないのではないか？それどころか嘘に嘘を重ねて、自分の又は自分たちの保身しか考えていないのではないかとすら思える。官僚を始め、東電他の電力会社等全くもって信用できない。 この言葉を送りたい。 『Shame On You！』 でも何とかしっかりとした若い人、はいるだろうとは思う。そういう若人よ。立ち上がって欲しい。
19169	個人	無職	70代	男性	人間として最低限持っていなければならない倫理観にうながされて原発ゼロ、今すぐ、を強く主張するものです。技術的には言うまでもなく今すぐにでも可能な事です。経済的な問題とその解決については以下に述べます。	メルケル首相の決断がいわゆる国家倫理諮問委員会の答申による、ことを参照するまでもなく、これ以上子孫に核廃棄物を残すことは、人間としてしてはいけないことです。原発を残す理由は極めて理不尽です。原発が廃炉になれば電力会社の財務体質が悪くなる、ただそれだけのことです。言わば連帯責任で東電と同じくリストラをある程度他の電力会社にも求めればよいのです。財務的にも数年は今のしくみのままでも持ちこたえることができるはずです。その間に国家戦略新エネルギーシステムを始動させていくのです。このような構想を国民に示せば国民も相応の負担はいとわないはずです。
19170	個人	パート・アルバイト	50代	女性	原子力　0%でお願いします	資料を読ませて頂きましたが 今後20年で国が考える以上に日本の企業は、利益を上げながら新しいエネルギ 一事業を立ち上げていく事が可能だと考え 原子力　0%も決して無理ではないと思います 現に今ほどんどの原発が稼働していないのに、電気が足りなくなって困っていな いじゃないですか？ みんなの少しずつ節電する行動に期待したいです 一つだけ心配なのが、太陽光が今後たくさん増えた時に今の買取り価格を本当に 維持してくれるかが問題です。太陽光により電力会社の発電量がコストがかから ないのならその分仕入が減るのだから、その仕入の費用で買取りの方にまわして 下さい。全部電気代にプラスしてしまうのはおかしいですよね！
19171	個人	その他	60代	男性	原発は必要です。25%～80%必要。	・日本の原子力技術を、独自の設計・開発の方向で、安全　性を高めます。 ・世界ナンバーワンの技術で、抑止力にもつなげていきま　す。 ・もっともエネルギー効率の良い、原子力は25%から　80%のシナリオを描いてもよい。
19172	個人	自営業	30代	女性	自然エネルギーの推進をお願いします。	核エネルギーよりも安全でクリーンなエネルギーがあります。 原子力での発電は危険です。 近い将来の脱原発を強く望んでいます。
19173	個人	会社員・公務員	40代	男性	「ゼロシナリオ」を決定し、原発立地市町村には新しい地域経済復興の施策を実施することを求めます。	3・11の福島原発事故で明らかになった原発の危険性から私たちの命を守るには「ゼロシナリオ」しかありません。原発を続けることは、将来の子どもたちにどうすることも出来ない危険な放射能を残すことです。使用済み核燃料をどうするかの技術も処分場所も不確定な中で、原発を動かしていくことは出来ません。 地震国日本では、近い将来相当大規模な地震が想定されています。その中で、原発の安全性を保つことは不可能でしょう。「ゼロシナリオ」の他に私たちの安全を確保する道はありません。放射能は、いったん外に出ると私たちの生活環境を奪ってしまいます。故郷を失　った福島県のことを考えれば、原発をなくすことが重要であり「ゼロシナリオ」しか選択肢はありません。「ゼロシナリオ」を決定し、自然エネルギーの拡大に努力すべきです。そのことが、新しい日本の経済成長にも寄与するはずです。
19174	個人	その他	60代	男性	3選択肢のうち、ゼロオプションを支持します。できる限り早く、すべての原発を廃炉にして、原子力以外のエネルギーでまかなえる範囲の新しい経済と生活を構築すべきです。	原子力の平和利用というものが、結局のところ核兵器の開発と利権の追求でしか無かったというのが、私の認識です。そして、核反応を人間が制御できるという希望的願望を、いかにもすでに可能になったというウソで粉飾することによって、原子力発電は行われてきました。しかしながら、未だに使用済み燃料を安全に処理することすら技術的にも可能となっていません。そして、安全神話を振り撒いて、原発推進を行ってきた結果が、東電福島第一原発の事故でした。放射能をばらまく危険性は福島第一原発だけではありません。多くの原発が大地震と津波によって、危機一髪の事態におちいったことも事実です。 　福島第一原発の事故の収束が50年先か100年先かと言われているときに、しかもその原因も責任も何もかもまだ明らかにしていないのに、原発を再稼働させたり、将来電気の何パーセントかを原発で賄うということを議論するというのは、まさに人間のおごりとしか思えません。できる限り早くすべての原発を廃炉にして、作ることのできる安全なエネルギーの枠内で生活することを選ぶべきです。それが、世界を放射能で汚した日本のとる道です。 　経済発展に必要な電力を得るために原発を稼働させるというのは、今の日本では、明らかにおかしい。右肩上がりの経済発展などは、もうとっくに卒業したはずです。これからは、自然環境を破壊しないで、成長無しの身に合った経済を模索しなければいけません。そうしないと、いずれ(原発事故がなくても)人類は破滅の道をたどるでしょう。
19175	個人	会社員・公務員	40代	男性	日本に原発はいりません。0%希望です。	・事故が発生した際に収束できない力である「原子力」に頼るのは無理があります。 ・自然界で発生しない放射性物質をわざわざ作り出して、地球に放出するのは自ら地球を汚す行為だと考えます。 以上のことから、現在ある50基の原発を廃炉にし原発0%を望みます。
19176	個人	自営業	50代	女性	地震の多い日本には、原発は不適合すぎます。原発0%を希望します。	私達大人には自分たちの欲よりも、これからの世代が健全に暮らしていける世界にする義務があると思います。地球を自然豊かな環境へ戻しましょう。また、原発に携わって来た労働者の方々にはこれから先、廃炉の仕事や次の自然エネルギーへの仕事に携わっていただき、気持ちのよい暮らしをしていただきたい。なぜなら解決策のない原発の仕事は殺人に加担する事と同じだからです。メルトダウンよりは大停電を希望します。
19177	個人	家事専業	50代	女性	私は20～25プランを支持します。これからの少子高齢化、中国の脅威を考えるとこれ以上の経済の弱体化空洞化は日本そのものの安全保障をおびやかすと考えるからです。政府が守るべきものは地球ではなくて国です。	私は自営業の夫と重度心身障害のある娘の世話をしている52歳の主婦です。私は20～25プランを支持します。 できれば原発はないにこしたことはないでしょう。でも今回の地震における女川原子力発電所を見れば適切な場所と新しい設備であれば、あれほどの地震がきても大丈夫であるということがわかります。老朽化している原発を放置しておくことがなによりも今回の事態を招いた原因です。新しい設備の原発を安全対策をしっかり万全にして稼働すべきです。 今の世情は原子力を悪の権化のように言いますが、エネルギーを求めて海外へ進出したあげく悲惨な放戦を経験した先輩方にとっては希望のエネルギーであったことは間違いありません。漫画アトムはその象徴でしょう。 「日本にはエネルギー資源がない、安定的エネルギーの供給なくして日本の経済の維持はできない」ことは悲しいけれど事実です。つい70年前に外国からそこをつかれてさんざんな目にあったことをすっかり忘れて、地球環境の心配をしているなどおめでたいにもほどがあります。 また今現在の優秀な原子力研究者、技術者が、日本に居場所がなくなったらどこへ行くでしょう？中国が手ぐすねひいて待っているはずです。日本に脅威を与える油断できない国がすぐ隣で軍事力増強を図っている時に、よくもまあ「非核三原則」などとのんびりしたことを言えるのか、私は中国が怖くてしかたをありません。 日本はこれから働き手の少ない老人ばかりの国になっていきます。日本経済を引っ張ってきたモノづくり、工業はすっかり空洞化してしまっています。これ以上の電力の供給の不安定化は国力の著しい低下を招くだけです。 うちは先代からずっと飲食店をしてきました。ずっと景気が悪くていつも綱渡りをしているような状況です。一時も早く経済がよくなってくれないか、そればかりを願って暮らしています。でも政府はかっこいいことばかりやりたがって、ちっとも景気対策をしてくれません。地球温暖化やCO2などどうでもいいです。こっちはいつ首を吊らなきゃいけなくなるかを心配しています。 うちの娘は重度の寝たきりの障害者です。電気が止まったら吸引機が使えません。お友達には人工呼吸器を付けている人もたくさんいます。その人たちが電力供給に対してどんなに不安に思って暮らしているのか考えてほしいです。命の危機なのです。 いつ起こるかしれない100年に一度の地震や原発事故のために今すぐ原発をすべて止めろという方たちは、きっと商売にも重い病気にも関係無い方々なのだと思います。中国から攻められるなんて考えもつかないのでしょう。理想はそのとおりです！でもそれを通したら今の現実がどんどん壊れていくかもしれないのです。 私は原発事故よりも電気の安定供給がなくなること、国がなくなることのほうが怖いです。
19178	個人	その他	60代	男性	原発事故は湯川博士の警告"原発は絶対に使うな"を無視した結果で、[(1)ゼロ]しかない。世界中で発生する震度6以上の地震の3割は日本で起きている。謙虚に、自然災害は人の想定を越える！と受け止めるべきだ。	1．日本人は古来、山地を開墾して田畑を増やし、山や敷地に苗木を植え、次世代に引き継いできた。"子々孫々が少しでも楽な生活が出来るように"との親心からである。一方、原発から排出される猛毒の『核廃棄物』を、処理法が見つからずに積み残していく現代社会は、先人たちとは全く逆の行為であり恥ずべきことである。『良心や良識』があれば、湯川秀樹博士の警告は正論であると気づくはずであるが、如何であろうか。 2．今、再生可能エネルギーは、『農業革命』、『産業革命』、『IT革命』に続く「第4の革命」と評して、ドイツ・デンマーク・スェーデンではうなりを上げて成長しており、将来、原発は無論のこと、石油火力・石炭火力も不要にする可能性さえある。人類が化石燃料を使い果たした後、頼るのは再生可能エネルギーだけになる)。再生可能エネルギーは、二酸化炭素の削減に寄与する一方で、雇用をあらたに生み出すことにも役立っているそうだ。また、石油や石炭のコストは、この10年間に5倍も高騰しているが、再生可能エネルギーは唯一コストが下がっている。地球上に降り注いでいる太陽エネルギーは、人類が使っているエネルギーの1万倍もの膨大な量で、これを使わないでおくのはもったいないことである。「再生可能エネルギーは不安定さやコスト高である」と何時までも批判するのではなく、技術革新やIT技術を応用して弱点を克服し、日本の基幹産業として育成し、世界中に輸出して行くことに総を切るべきである。
19179	個人	会社員・公務員	70代	男性	2030年代の原子力割合は、20-25%が望ましい。日本経済の活力を保つために必要。前提は、原子力の安全性を確保・向上。日本には、そのための技術がある はず。	(1)エネルギー・環境を考えると安全性・供給安定性・経済性が重要。(2)日本は資源が少なく再生可能エネルギ(太陽光、風力)の適地とは言えずこれらのエネルギ(太陽光、風力)は コストも高い。(3)原子力は、安全性を確保できれば、コストと、供給安定性に優れている。(4)今後も、日本には、現在と同程度のエネルギーが必要とすれば、現状と同程度の原発割合を保つ事が選択肢と成る。(5)そのためには、新規の原発も必要と思う。(6)日本の国際公約のCO2削減のためにはCO2を出さない電力源が必要。(7)新しい原発には、安全性の向上が期待できるし、既存の原発にも安全性向上を規制で実現するべき。今回の津波の経験を活かした安全性の高い原発を作るように指導すべき。新しい原発は今よりコストが高いかも知れないが、それでも太陽光、風力よりは経済性がある。(8)原発の高レベルの放射性廃棄物の処分には、高い費用と長い年月の技術開発賞必要だが、原発の経済性と今まで蓄積した科学技術が役に立つはず。(10)高レベルの放射性廃棄物の処分は、地下深くに埋設が世界の方向である。日本全体の廃棄物を処分するための敷地は高々数Km四方の広さがあれば、可能と聞いている。(11)世界を見渡せば、中国、ベトナム、トルコ、韓国等のアジア諸国が今後も、原発を建設することが確定しており、それ以外にも、計画している国々がある。(12)原発を作れるメーカーは、日本で3社、ロシアと、フランスで各1社程度しかない。原発を建設する国に日本の技術を輸出して安全な原発を供給することも役に立つはず。(13)太陽光発電では、中国のメーカーが低価格で供給し、日本の技術が経済性で排除される恐れがある。そうならぬように国産優先を政策としないといけない。
19180	個人	会社員・公務員	60代	男性	20-25シナリオを選択すべきである。	電力料金体系変動の極小化、日本の製造業を始めとする競争力の維持、国民生活への影響の極小化、地球環境に対する影響などの要因を考慮する時、示されている3つのシナリオの中では、現状に近い20-25シナリオが最も現実的かつ有効なシナリオである。
19181	個人	家事専業	50代	女性	原発0シナリオを選びます 国は日本人に被害を受けさせたいのか	千葉市は　空間放射線量を測定しますと、比較的低い値が出ます。 しかし、土壌や　山や畑で採れる作物からは数値に差はあるものの、高放射線量が測定されることも珍しくありません。 問題は　自家製農作物販売所タイプの店舗で　貼ってあるシールの数値より高いセシウムの値が出たこともあり　実際どの程度監視されているかわからず、安心して地域の作物を購入できなくなりました。もう　地産地消は無理です。 千葉県は　土壌の採取もさせてくれません。 子どもが中学生の時には　学校の対応には危機意識が薄く 　震災のすぐ後にも運動場で運動会を行い、落ち葉掃除をさせるなど　子どもの健康はニの次といった対応で腹立たしいかぎりです。 私は　ヒロシマ出身です。 被爆の影響を受けたさまざまな人々を見たり　聞いたりして育ちました。 まさか　という思いです。 こうして　地震大国日本に多くの原発があることを不安に感じてきたことが　現実となりました。 被爆するたび　人とものを逝せ　そのうち　どこにも暮らせなくなりますよ。 私たちの美しい日本を　どこまで痛めつければ気が済むのか。 残念でなりません。 経済発展の方向を誤ったのですから　もう　反省してください。 原発0に方向修正し　今度こそ　生命を犠牲にしない経済を構築してほしい。
19182	個人	家事専業	30代	女性	政府は活断層があるかもしれないという声を無視し原発を再稼働させた。安全第一などと言っているがならば再調査もせずに再稼働なんてしないはず。安全が確実ではないものは稼働するべきではない。ゼロシナリオです。	原子力発電関係に依存してきた地元の人たちはそろそろ自ら地元を活性化させる手段を考えるべきである。甘んじて生きてきたツケがまわってきたのだと思う。それにつけこんでいる国は最悪。 確かに電力不足になるというのは大変だと思う。 私は足立区に住んでいてしかも計画停電の地域だった。大変だけど、大震災に被災した人々のことを考えるとそんなことを言ってられないと思った。足立区と荒川区の一部だけだったと後から知ったが。 節電となればそれぞれやるしかないのだからすればいい。命にかかわる病院などは別だが、 大企業がどうのなんて関係ない。潰れそうになったら国が支援するでしょう中小企業にはしなくても。
19183	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオを決定して自然エネルギーの拡大に努力すべき	福島のような事故は二度とくりかえさないように

19184	個人	パート・アルバイト	30代	男性	原発再稼働、原発の増設に反対し、全世界からの脱原発を求めます。 と同時に、原子力爆弾、原子力潜水艦を世界が持つことに反対します。 それは、電力が足りなくても反対し、代替エネルギー研究に期待します。	反対するのには、様々な理由があるとは思います（電気は足りてる、子どもを守ろう、自分を守ろう、自然を守ろう、安全ではなかったなど）。だが、それは少し違う。 私はもう加害者になりたくはない。福島にせよ大飯にせよ、都会の人々が、そのリスクと負担を琴線によって地元に押し付けている。日本の企業が原発技術を海外に売り、その危険を押しつけている。福島の事故以降、加害者として意識が薄れているが、原子力を扱うことそれ自体の加害性に国民全員で、人類全員で反省すべきであると思われる。 そのためにも、過ちは正そう。それが正義の契機ではないか。
19185	個人	家事専業	50代	女性	原発ゼロシナリオ 原発の稼働を今すぐ中止し全てを廃炉に	放射能が何年にも何世代にもわたって環境や生物に与える影響について正確なデータはなく、政府の言う「安全」に根拠などありません。核のごみも覆い隠すのみというとても処分とは言えない方法で未来へ残すしかない。原発は稼働・停止に関わらず危険であることに変わりありません。 福島の原発事故により、多くの人が「安全神話」の間違いに気付き、これからの日本・次の世代の子ども達のために原発ゼロを叫んでいます。その切実な声に政府はきちんと応える義務があります。 早急に進めるべきことは、危険を抱えたままの原発の再稼働ではなく、安全なエネルギーを模索し導入への道筋をつけることです。 原発ゼロシナリオ（原発技術の輸出も含めて）を進めていくことが、原爆の恐ろしさを知る国として、また重大な原発事故を起こした国としての責任です。
19186	個人	自営業	50代	男性	原発存続を前提とした安全対策にかかるあらゆるコスト、マンパワーを再生エネルギーの開発に傾注すれば、ゼロシナリオを実現できる。	原発存続を前提とした安全対策にかかるコストを算出しようとすれば、安全に完全はない（想定外のことはいつもおこる）という定理から、無限大のファンタジーとなる。 これに比べれば再生エネルギー開発コストの試算ははるかにリアルだ。 要するに両者の比較はそもそもできない話で、結論は明らかなのである。
19187	個人	法人等	60代	男性	2030年を待たずに原子力発電は0にすべき。	安全な原発はないことが福島事故から明らかになった。 使用済み核燃料の安全な処理も不可能。 原子力発電の全過程をみると温暖化対策に役立つというのは詭り。 原発を残すのは電力会社の利益のため以外ではないと思える。
19188	個人	会社員・公務員	60代	男性	「原発ゼロシナリオ」しかありません。	日本はこれまで歴史上何度か過ちを犯してきましたが、原発の導入程ひどいものはありませんでした。第二次世界大戦で敗戦になっても、復興する機会がありました。しかし。フクシマの事故がもたらした放射能は孫子の代まで多くの人々を苦しめます。ここで原発をゼロにしなければ、死んでも死に切れません。 フクシマがくれた機会をチャンスに変えて行くべきだと思います。今まで野放図に使ってきたエネルギーの節約、省エネ・節電をすすめることが大事です。政府は省エネを本腰で取り組んで下さい。まだまだ無駄な事があります。更に、計画的に自然エネルギーなどの導入を行って下さい。 核燃料サイクルも今すぐ止めるべきです。動かせば動かすだけ経済的にも負債が溜まっていきます。フクシマの参事を経験した者として今すぐ政治的な決断をお願いします。
19189	個人	その他	60代	女性	原発は国民の命を脅かしその生活を不安のどん底に落とすものだと気がつきました。 この小さな国に沢山の原発はいりません。速やかに原発ゼロへと方向転換していただくようお願いします。	福島県の方たちの大変な状況を知るにつけ、心から何とかしていかなければと思います。福井の原発銀座の近くに位置する滋賀県も他人ごとではありません。活断層が通っているとか。 エネルギー資源が少ないからと言って原発に頼ることは国を滅ぼすことになるような気がします。 廃炉にしても莫大な金額がいるということですが、安全の保証がない原発を動かすのは絶対にやめてほしいと切に願っています。
19190	個人	会社員・公務員	30代	男性	3つの選択肢のうち、基本的に原発ゼロのシナリオを支持します。脱原発と気候変動対策にもつながる再生可能エネルギーと省エネをさらに推し進めるエネルギー政策を求めます。	3つの選択肢のうち、基本的に原発ゼロのシナリオを支持します。 福島第一原発での事故が証明したように、原子力発電は事故が起こった際、計り知れない損失をもたらします。いま世界中で地震が活発化していますが、特に地震が多い日本で原子力発電を続けることはリスクが大き過ぎます。 また、使用済みの核廃棄物の最終的な処理方法は未だなく、埋めるにしても数十万年にも及ぶ管理が必要であり、後世に負債を残すことになります。研究も含めて膨大な費用をかけているにもかかわらず未だ実用化に至っていない核廃棄物の再処理も直ちに止めるべきです。 今後は原発の維持や開発にかけてきた知見と費用を、廃炉と再生可能エネルギーと省エネ技術の開発に向けるべきだと考えます。 脱原発へ踏み出す国がヨーロッパを中心に出てきているいま、廃炉のノウハウは人類に必要とされており、ビジネスとしても大きな可能性があります。 そして世界的に化石燃料はもちろん、原発の燃料となるウランも枯渇しはじめていることもあり、再生可能エネルギーと省エネの分野で技術を高めることが、経済戦略上も復興の上でも重要になってきます。 未曾有の災害を受けた国として、災害に強く、環境に負荷をかけない国づくりを推進してください。大規模な発電所や送電線に頼らない、マイクログリッド、オフグリッドの再生可能エネルギーによる地域分散型エネルギー社会を速先して切り開いていくことを期待しています。
19191	個人	パート・アルバイト	50代	女性	原発ゼロの実現をお願いします。	福島の事故で明らかになったように、いったん事故が起これば人間の力では収拾がつきません。人間が制御できないものを使ってはいけないと強く思います。もっと安全なエネルギーがあるはずなのに、工夫する智恵を持っているはずなのに、なぜ原発にこだわるのか、そこにはどんな裏があるのかと勘繰ってしまいます。豊かな自然に溢れた美しい国日本が、このままでは住めない場所になってしまいます。日本が廃墟となる前に、廃炉を！
19192	個人	会社員・公務員	50代	女性	「ゼロシナリオ」の実施を求めます。	原発を今後も続けることは将来のある子どもたちにきわめて危険な放射能を残していくことになります。また、使用すみ核燃料をどうするかについても不確定なままで願発を動かしていくことはできません。よって「ゼロシナリオ」の実施を求めます。
19193	個人	家事専業	80代以上	女性	ゼロシナリオを選択 2030年では遅すぎます。 できるだけ早く、ゼロを望みます。	原発は危険だから、早くやめて欲しい。 放射能を甘くみると、何代にも渡って影響がでる。 即やめて欲しい。 原発を推進する人がいるなんて、信じられません。
19194	個人	会社員・公務員	50代	女性	原発0です。	人類は地球を危険に陥れつつ、金もうけに奔走してきた。今は地球が悲鳴をあげている。我々も、もう、国や個人レベルの金もうけで物事を考えるべきではない。その行動は地球にとって良いのか悪いのかという地球レベルでものを考える時が来ている。 こんなに国民が反対しているのになお原発を推進しようというのは、原発推進派が巨大な利権を握っているにすぎないから、というのは、あまりにも国民の心や生活を無視した行動である。 人間は地球にとって、地球が風邪をひいたときのウィルスのようなもの。地球に住まわせていただいていることに感謝し、地球の高熱やくしゃみで、人類が自然淘汰され、絶滅に向かわないように、地球の安全を第一に考えなければならない。 それを先頭切って示すのが日本の国の役割だと考える。東日本大震災で、福島という故郷を人々から奪う結果となった原発を撤廃するのが、我々東北人、いや日本人の役割である。
19195	個人	自営業	40代	男性	選択肢(3)を支持。18年で現在の電力構成をドラスティックに変えるのはリスクが大きすぎる。電力が安定的かつ低コストで供給されなくなる可能性の、生活、経済、安全保障への影響が過小評価されている。	私は選択肢(3)を支持します。18年という比較的短いスパンで、現在の電力構成をドラスティックに変えるのは、リスクが大きすぎます。電力が安定的かつ低コストで供給されなくなる可能性の、生活、経済、安全保障への影響が過小評価されているのではないでしょうか。超長期的には原子力への依存はゼロにするべきだと思いますが、それには再生可能エネルギーが安定した電源として利用できる目途が立ち、天然ガスや石炭といった化石燃料も長期的・安定的に調達できる目途が立ってから、次のステップに進むべきです。再生可能エネルギーという、現状では不安定でコストも高い電力源に過大に期待するのは、ナイーブな考えであり、国民生活や国家安全保障に対して無責任だと思います。
19196	個人	自営業	60代	女性	2030年には、原発はゼロ、火力発電（石炭のほか天然ガスその他）及び再生可能再生可能エネルギーによる。もんじゅは廃止とする。使用済み核燃料は再処理せず、廃棄する。	日本は原子力発電には不適の国土である。地震はあらゆるところで発生するし、活断層も無数にある。また、国土も狭いので、事故が発生した場合に影響を受ける範囲に住民が居住しているという状況である。このような所に原発を造るのは無謀というしかない。従って、2030年には原子力発電は日本においてはゼロとすべきである。40年経過した発電所は、廃炉にしていく。一方CO2削減方法の研究を進めるべきである。 国民が減少していくことを前提として、国の予算の使い方、配分を考えるべきで、もんじゅなど即刻辞めるべきものである。これ以上廃棄物を増加させないためにも原発はやめるべき。原発の新設はしない。 生産業者はエネルギー不足で成り立たないから原発をやめないというが、これを商機としている業者もいるはずである。今すぐに電力がなくなるという訳でもない。2020年までにどれだけ工夫するか、そして2030年までには原発はゼロとする。日本が世界の中に存在感を示すことが出来る分野となるのではないか。
19197	個人	無職	70代	男性	"フクシマ"事故が収束していない中で、三つの選択肢を示すことは全く理解しがたい。(1)ゼロシナリオ以外の選択肢はない。飽食の生活を続けるために、子孫に危険な核のゴミを残し続けようとするこの国の未来を憂う。	「福島原子力発電所事故は終わっていない。」国会事故調の報告はこの言葉で始まっている。このような状況の中で、あなたがた「エネルギー・環境会議」は2030年のエネルギー・環境に関する選択肢を3つのシナリオから選ぶよう国民に問うた。それを問うならば、まず、福島事故の原因が究明され、原発が果たして安全なものかどうかを国民が理解していなければならない。 震災後の選択として、「共考されうつつある方向性」を「原発依存度を可能な限り減らす」としているが、果たしてそのような合意形成があるか。「可能な限り」という以上は、原発が存在しうるという前提がある。 原発に危険性はないという確認がない限り、原発は存在できない発電方法であり、装置である。 言うまでもなく、原発のゴミは処理する方法もなく、20万本のドラム缶が穴々所村に埋められている。高レベル放射性廃棄物をどのようにして100万年管理していくのか。全く解決の術はない。そのような電力をふんだんに使い、我々の世代は、飽食の生活を続けている。危険な核のゴミを、すべて孫や子に背負わせて。 受験競争を勝ち抜き、エリートとなられた方々は、様々の既得権を並べることが出来、国民も騙され続けてあろうが、問われるならば、進むべき道は(1)ゼロシナリオ以外にはありえない。 自然と調和し、ほどほどに充足する生活を探求すべきである。
19198	個人	会社員・公務員	30代	男性	2030年原発依存0%を選択します。	一番大切なものは「人の命」です。未来の子供たちのために、これ以上原発のゴミを押し付けることは出来ません。原発安全神話は崩壊しました。これ以上、危険な、人類を滅ぼす力を持った原子力に依存することは出来ません。だから『ゼロシナリオ』です。
19199	個人	会社員・公務員	30代	女性	ゼロシナリオを決定し自然エネルギーの拡大に努めてください。 原発立地市町村には新しい地域経済復興の施策を実施すること。	安易に原発に依存し都心から離れた地方に原発を作ってその電力を無駄に使い続けてきた社会の体質がおかしい。 産業もすたり、人口も減り続ける田舎の弱みにつけ込んで危険な原発を誘致したにもかかわらずいざ事故が起こっても地域住民の生活の保障すらまともにできないではないか？結局差別され、迫害されるのは原発がある町なのに。 福島のような最悪の事態を想定した対策もしないまま、非常に危険な原発を再稼働する政府。そして電力不足を理由に原発の必要性を訴える企業。口先だけの節電にしかみえない現在の都会の街並み。 どれをとっても福島の人たちの苦しい思いをわかっているとは思えない。 確かに自然エネルギーだけでまかなえるのか？危険が無いわけではない。 しかし未曾有の原発事故がもたらす悪影響に対しての対策方法もないのに今の時点で原発をうごかすことは世論を無視し国民の生活を守ろうともしないからじゃないのでしょうか？ 事故が起こってからでは遅いのです。 福島の現状をもっと国民は知るべきです。 そして知らせるべきです。
19200	個人	その他	60代	女性	原発依存度ゼロシナリオに賛成。 ヒトの遺伝子は35億年かけた進化の宝物。最優先課題は人類の命と文化を守ること。放射線の環境汚染はDNAを損傷する。日本は脱原発先進国を目指すべきである。	長年、薬学部でヘルスケア教育をやっている。 ヘルスケア薬剤師のつとめは、「生活者のヘルスケアに参加、その体験を社会全体のヘルスケア運動に広げ、未来の人が健康に夢を持って生きるようにする」ことである。命と文化を後世に伝えることが、人の使命である。 我々一人一人が、かけがえのない人類の宝物であるDNAを持っている。絶対に傷つけてはならないものだ。放射線は強力にDNAを破壊する。 人類の文明は、まだまだ始まったばかりである。 例えば、地球の歴史46億年を1年に縮めてみると。。。 生命誕生は3月下旬の海の中、11月末に上陸。 恐竜出現は12月12日で2週間後に絶滅。 人類誕生は大晦日の午後4時半。 紀元1年から14秒。明治維新から1秒。 一人一人にできることは、かけがえの無い命と文化を未来につなぐことである。このままでは、未来の批判に耐えられないであろう。 「昔、日本という馬鹿な国があった。その国の人々は地震の巣の上に何基もの原発をつくり、自分の人生の目的を快適に生きることにおいた。歴史を顧みず、子孫のことを考えず、文化を伝えることも忘れ、地球を汚染した。何度も方針を変えるチャンスがあったのに、国民は目先の利益に走り、政治家は票読みと政争にあけくれた。」
19201	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオを支持します。	地震多発国である日本は、近い将来においても東日本大震災と同様の地震が発生する可能性があります。 その中で、原発の安全性を確保することは現時点では不可能です。 ゼロシナリオを選択し、天然ガスや自然エネルギー等にシフトすべきです。
19202	個人	会社員・公務員	40代	男性	2030年までに0%、その後も原発0%維持	物が壊れるのは世の中の常であるが、壊れて暴走を続け人間の手で暴走を止める事ができない原発は、やはり共存することは難しいと考えます。残りの時間で他の発電方法に資源を集中して、その分野で世界一になることを切望します。
19203	個人	会社員・公務員	20代	女性	脱原発。自然エネルギーへのエネルギーシフトを求めます。	原発のような人間が対処しきれないようなエネルギーは使いたくありません。 自分の子供のその子供の子供達の未来のために。 今きちんと意見を言っておかないと、私が親になったとき子供に申し訳ない。 持続可能な世の中を実現するために国としての脱原発を掲げ、自然エネルギーへのシフトのための実現化のために国として動いて欲しいと考えています。 毎週行われているデモの声をきちんと聞いて向き合ってください。 国民のための政治というのであれば、外に出て国民と話して下さい。
19204	個人	学生	10代以下	男性	原発ゼロシナリオ	震災だけでもものすごい被害がでて、日本全体が苦しんでいるのに原発の問題まで抱えるのは大変だということが今回の震災でわかったはずだ。 この失敗をいかして次につなげることができるなら今回の事故で亡くなった方やそのご家族も報われると思う。 しかしまた同じ失敗を繰り返そうとしている、そんなことは絶対にしてはいけない。 原発に未練をもつよりも新しい発電方法を見つけ出してほしい。
19205	個人	会社員・公務員	50代	男性	ゼロシナリオを選択します。危険な原発への依存度をゼロにすべきです。	地震国日本ならなおさら、安全な原発なんてあり得ません。危険な原発と決別するゼロシナリオとして、再生可能エネルギーの拡充や省エネのとりくみで、温室効果ガス排出削減を進めていくべきです。
19206	個人	法人等	40代	男性	脱原発を前提に議論してほしいです。シナリオで言えばゼロシナリオに賛同します。	経済を活性化させる意義は、人の命、人権における価値を超えることは決してないはずです。その大前提が覆させるような政策は、国民の生活を考えるのであればありえないと思っています。
19207	個人	自営業	20代	男性	1.2030年原発依存率ゼロシナリオに賛成します。	今後地震災害により福島第一原発事故と同様の事故が起きる可能性は否定できません。震災前より地震の頻度は高まっており、長い目で見た場合の原発事故のリスクは短期的な経済的損失より遥かに多大です。被ばくした国民の健康や、汚染された大地は元に戻す事は出来ないのですから。 すでに福島第一原発の廃炉作業、大量の使用済み核燃料の管理など、日本国民には多くの苦難が待ち受けていると言えます。みながこれからその重みを知ることになり、今後、原発容認の世論は形成されえないと考えます。 原子力発電所の停止により各電力会社の経営状況は非常に厳しくなるでしょうが、公的資金の投入なども視野に入れ対応する果断をしてすべきです。 加えて、ゼロシナリオを実現するためには省エネ技術や火力発電の高効率化、有望な再生エネルギーを用いた発電所建設などに全力を挙げて取り組むべきと考えます。

19208	個人	無職	40代	女性	原発依存ゼロを希望します。 日本は国として原子力利用を全否定してほしい。 今後は再生可能エネルギー依存を拡大するべき。	（意見） 原発依存ゼロを希望します。 日本は国として原子力利用を全否定してほしい。 今後は再生可能エネルギー依存を拡大するべき。 （理由） 原発震災を経験した地震大国の日本としては原子力利用の不安定な技術をはっきりと否定しなければいけません。今後30年でゼロなどと悠長なことを言わず全力で、できれば2012年中にゼロにすることが重要です。 原発は100パーセント安全に稼動させたとしても核廃棄物を生産し続けます。核廃棄物の完全な処理方法が地球規模で確立されていないのに、核廃棄物を生産し続けることはできないです。つまり原子力発電は不完全な技術なのですから、依存どころか採用すらできない技術なのです。 ドイツは2022年までにゼロにするそうですが、日本はドイツよりも早く今年すでにゼロを達成しているのです。もう一度ゼロをめざし、その後は再生可能エネルギーにシフトチェンジしなくてはなりません。 （政府への疑問点） 今回のパブコメ募集にあたっての政府提案に疑問点があるので下記します。 1　30年後の目標というが各年単位の経過予測も必要。 2　全シナリオにおいて省エネの見込みをもっと削減できるはず。 3　再生可能エネルギーの導入見込みを大幅に増やすべき。 4　温暖化対策と原発依存の比較は試算方法に問題がある。 5　核燃料サイクル政策は世界的に見ても無謀だという認識に欠けている。 6　電力自由化や発送電分離などのシステム改革に触れていない。 以上
19209	個人	無職	60代	男性	原発ゼロシナリオを選びます。	原発ゼロシナリオを選びます。ひとたび事故が起きれば、人が生きる上に必要な環境、空気、水、食物、土地など、すべての生活基盤を失うことが明らかになりました。私は、日本の国土と日本人の安全な生活環境の維持無くして、何の経済発展かと思います。日本の国土と安全な生活環境を子供たちに残すためにも、自然エネルギーの活用など脱原発政策を推し進めてください。
19210	個人	自営業	30代	男性	リオ会議でウルグアイのムヒカ大統領が仰ったように、人の「幸せ」の本質と、現在の原子力政策は、全くかけ離れてしまっているように思います。将来の原発依存度はゼロにするべきです。	本当に国民は、そんなに電力を必要としているのでしょうか。リオ会議でウルグアイのムヒカ大統領が仰ったように、人の「幸せ」の本質と、現在の原子力政策は、全くかけ離れてしまっているように思います。将来の原発依存度はゼロにしなければ、未来の子供たちに大変な重荷を課すことになるのではないでしょうか。 私たちは、ただ今を「一時の欲」のために生きているのではなく、長く連綿と受け継いできたライフスタイイプを、後世へ正しく引き継がなければならない役割を持っていると思います。 これからを生きる子供たちのために。原子力をコントロールするという大それたことなどせず、地に足をつけて普通に生活をするために、ここで方針を改めて原発はすべて無くすべきだと思います。
19211	個人	会社員・公務員	30代	男性	将来的に原発を必要としないで原発依存度(1)ゼロシナリオ」に方針決定を心からお願いします。未来の子どもたちの為に、今こそ自然エネルギーに方向転換を行う時期だと思います。	いくら経済の為と言っても放射能という現段階で人間が扱えきれず、人体に悪影響を与える物質を扱うのは危険すぎます。知識の乏しい自分ですが、日本の特性（温泉が多い、海に囲まれている）を生かした地熱発電や、水力発電など、3.11の原発事故後にドイツが自然エネルギーに方向転換し、開発を進めているように、日本の技術力があれば、開発はできるのではと信じています。 このままでは、この時代に生まれた自分達は、未来の子ども達にとって、とんでもない日本の状況で声を発しなかった。情けない大人たち…。そんな風に思われてもしょうがありません。 僕は愛国心もある之自負しており、信じている日本だからこそ、今、過ちに気付いて方向転換をしてくれると信じています。 心より宜しくお願い致します。 （削除）
19212	個人	会社員・公務員	40代	男性	2030年と言わず、一日も早く原発ゼロとなることを望みます。稼働しないということでなく一日も早く全ての原発の廃炉を望みます。	原発はひとたび事故がおこれば取り返しのつかない事態が起こること。また、使用済み核燃料の処理方法も確立していません。この2つのことから、人が扱ってはならないものを使用してしまっていると考えています。政府は車に補助金や減税をしている財源があるなら、ソーラー発電などに補助金を出すべきです。この間の政府の動きは、「原発再稼働ありき」で動いてきたとしか思えません。まずは、原発をゼロにするという目標をたてて、それに向かってあらゆる努力をすべきと考えます。
19213	個人	その他	40代	男性	2030年の原発比率は0%しかありえません。これだけの環境破壊を起こしておきながら、原発を再開し新設するなど考えられません。	まず第一にこんなバブコメだけで将来の原発比率を決めてしまおうとしているのですか？これだけ重大なことを決めるためには選挙での国民の審判が必要ですので、原発比率を争点に掲げ選挙を行ってください。 　ところで2030年というとまだあと18年あるわけですが、その間はどうするつもりでしょうか？これだけ大きな再稼動反対の国民運動が起こっている中、18年間原発を動かし続けることが可能だと思っているのでしょうか？ 　高レベル核廃棄物の最終処分はどうするのですか？再処理工場で更に廃棄物を増やしてどうしようと思っているのですか？廃炉への工程も決まっていないのに、福島原発事故は収束したと思っているのでしょうか？原発事故により避難した人々の生活の再建はどうするのでしょうか？母子避難している人々の生活は？福島に限らず東日本一帯の放射能汚染は解決したと思っているのでしょうか？直接原子炉から汚染水が流れていると思われる海洋汚染はどの程度のレベルで、どこまで影響があるのでしょうか？これだけの地球環境破壊を行っておきながら、世界の 人々に向けて原発推進しますといえるのでしょうか？これだけの地球環境破壊を行ってしまったのは、原発行政の安全性を無視した行動と規制官庁の馴れ合いが原因ですが、現在の体制でその原因を廃除できていると思っているのでしょうか？ 　今の政府に対しては、疑問以外には何にも浮かんできません。これらの疑問にひとつでも答えを出せるでしょうか？原発をどうしても残したいというのであれば、この疑問全てに答えてからにしてください。
19214	個人	無職	60代	男性	経済界・原子力村の利権と効率主義と省エネという欺瞞によりまた再稼働を画策している。国が破れ山河もなくなる事態、祖先の恩、子供たちの未来にどう責任を取るつもりか。	原発の全廃止。
19215	個人	法人等	50代	男性	今まで、原発は安全だと、国民をだましてきたのは許すとしても、これからもだまし続けるのは良くない。即刻やめるべし。当然、2030年には原子力発電はゼロになっていなければならない。	(1)2030年に原子力発電をまだ行っているというはありえない。即刻、原発ゼロにすることを提案する。 当然、大飯原発の再稼働には大反対だ。すぐやめろ！！それが正常な国民の感覚だ。理由は原発は危険なため、核がコントロールできないものであるため、一部の人の利益が極端に優先されるという歪んだ社会を作り出しているため、 (2)核廃棄物の処理方法も決まっていないでしょ。後の世代にすべてを押しつけて、利益をむさぼるのは、泥棒と同じだ。そいうことが解らないのか。 (3)放射線廃棄物を何万年もの間、保存しておく方法も技術もないのにあるふりをしたり、誰がそれを管理するんだ。そういう説明をきちんとしろ。管理してもらう人たち（未来人）に承諾をとったのか？とれないだろう。 野田が勝手にそんな重要なことを決める権利があるのか。これは極悪非道な犯罪と同等である。 (4)野田総理のやっていることは人間のすることとは思えない。即刻辞職すべき。 理由は、経済的利益を最優先するあまりに、人間の皮を被ったぶたになってしまったからだ。（豚に失礼なことを言ってしまって申し訳ない。豚は立派な動物であり命だ。）そこは、人間の皮を被った最も愚かな人間になってしまった、と訂正する。
19216	個人	無職	60代	男性	ゼロシナリオを選択します。	再び、原発事故は起きることはないとは、誰もが言えない。原発は即時停止すべきです。
19217	個人	自営業	40代	男性	原発はゼロにすることを目標にしなければ、何事も中途半端に残るだろう。 未来の人たちへの責任をもっと考えてほしい。	原発に関しては、これまで「クリーン」「絶対安全」「最新の技術」などでその明るい側面ばかりが伝えられてきてました。 しかし、先の大震災でその幻想がもろくも崩れたことを、もっと受け止めてほしいです。 絶対安全なのに、その中心に本社を置かないのはナゼ？ 国が買い上げて、そこに国政の中心を持っていけばよいじゃないですか？ だれもやらないんでしょ？ 自分のこと、自分たちの組織のことばかり考えるようになって、他人はどうなってもよい。という考えが本当に広がっているように思えます。 原発を囲む、利権などについてはももちろん魅力的でしょうが、人々の…ひいては地球の生命体すべての環境を壊すリスクがここまで膨らんだ以上は、もう手放してほしいと思います。 エネルギーがなければ…ももちろん、社会的にも問題は起こるでしょう。 その問題にどう向き合い、かじ取りをしていくか？が、国や政治家の責任なのではないでしょうか？ 利権は本当に魅力だと思いますが、そろそろ目を覚ましてほしいと思います。 私たちは、生まれてきたからには死んでいきます。 その時に、後悔しない選択をお願いしたいと思います。 総理大臣になれたから、えらいのではない。高級官僚になったからえらいのでもない。 まっすぐ生きたか？が大切になると思います。 そんな姿勢が、国民に伝わるような政治や判断をお願いしたいと思います。
19218	個人	法人等	40代	男性	(1)原発ゼロ依存を支持します。	・使用済核燃料の処理に対して我々の世代が責任を持てない以上、原子力エネルギーに依存する社会作りはやってはいけないことだと思います。 ・未来の世代の「命」よりも目先の「お金」を優先する政治家、官僚、電力会社の経営陣の方々には、人間として最も大切にしなければならない「モラル」が欠けています。 ・今、原子力に頼らない社会作りに転換しなければ一体いつできるのでしょうか？ ・原発のリスクを一体いつまで待ち続けなければならないのでしょうか？ ・制御できないテクノロジーは使うべきではありません。 ・そのために生じる生活上の不便や経済上の不利益は喜んで引き受けます。 ・ですので、政治家、官僚、電力会社の経営陣の方々には、人間として末代の子ども達に対して「恥じることのない決断」をお願いいたします。
19219	個人	無職	60代	女性	原発0シナリオを希望	国土の狭い地震大国日本をふちどるように 作られている54基もの原発の ことを考えただけでも 恐ろしくなります。 原発施設から排出される 膨大な放射性廃棄物の 最終処分方法もない現実に 地震対策、津波対策、まして再稼働は ありえません。
19220	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発を0%にする「ゼロシナリオ」を選択します。	ゼロシナリオの中で再生可能エネルギーがしめる割合が少ないと感じます。 発送電を分離し、電力の自由化を求めます。
19221	個人	自営業	60代	男性	原子力発電を0にしつつ、再生可能エネルギーの開発、普及にもっと力を入れた、第4の案を支持します。	不安定な太陽光発電、風力発電の問題は、蓄電池の開発はもちろん、水素がスタービン や、水素と液化天然ガスの混合ガスタービン発電などの開発を、全力で進め、不安定な太陽光発電、風力発電で水素を生成して、ガスタービン発電の燃料にすれば、安定して発電でき、CO2の発生も削減できる。特に国土の狭い日本では、浮揚型洋上風力発電を開発して水素を作れば、送電線の敷設もいらない。 爆発の危険が高い水素だが、原発を安全に管理する事に比べると、可能だと思われます。
19222	個人	会社員・公務員	50代	男性	脱原発は、国家衰退の道。原子力発電所の早期再稼働をすべし。 原発を再稼働するリスクと原発を再稼働しないリスクを総合的に判断をすれば、今の日本には、原子力発電が必要である。	(1)安全の問題 福島の原発事故の放射能漏れによる事故で、亡くなった人は一人もいない。にもかかわらず、原発より命が大事だという脱原発の感情論だけの議論が先行している。昨年、どれだけの人が熱中症で病院に搬送され、亡くなった人がいたのか？冷静に議論をする必要がある。 また、電力が安定供給されず、突然停電をして、病院に電気がいかず、エレベーターで閉じ込められたらどうする？多くの人が死の危険にさらされる。 (2)コストの問題 これ以上の電気料金の値上げは、家庭生活を苦しめ、産業の衰退を招く。増税と電気料金値上げで国民生活に深刻な影響を与える。 (3)経済衰退の問題 これ以上の電気料金の値上げや電力の不安定供給は、企業の海外移転を加速し、空洞化を招く。円高が追い打ちをかけている。これ以上失業者を増やしてはならない。 (4)安全保障の問題 中東で有事が発生し、ホルムズ海峡封鎖により石油が輸入できない状況となれば、国家のエネルギー危機を招く。また原子力技術を持っていることが、日本の抑止力のひとつになっていることも指摘しておきたい。
19223	個人	会社員・公務員	50代	男性	人類地球の最大の危機、人類地球を滅亡させるのは原子力かも知れませんがそれを操るのは人間でした。	現在持っている人類、人間の力英知で制御できない物を動かしたりするのは本当に危険な事で、ある意味「野田首相」は核兵器のボタンを押したのと等しいと思います。 今回の福島原発の事故を教訓にすれば再稼動及び原発新設などありえない話で発想することさえ人類地球宇宙に対する冒涜です。そんな冒涜を屁理屈理論で再稼動した3党に未来無し、そんなに金が大事なんですか？ 命あっての物だね、何よりも命これが最優先です。 命を奪う電気は入りません。 原発0社会を望みます。
19224	個人	自営業	60代	女性	計画的な脱原発の方針を打ち出してください. 原発依存は、0%を目指すべきだと思います. 多様な自然エネルギー政策を推進すべき。原子力は、安いと思わない.	私たちが出すゴミの行き場は、どこか？ 地球のどこにも捨てるものではない. 私たちは、持続可能な社会を目指すべき。 核のゴミをどう処理するか、事故のリスクや、一旦事故が起きた時の規模の大きさを考えると原発を選択するという余地は、ないと考える。 『原発で死んだ人は、いない」などと電力会社の人は、無神経なことを言っているが、「すぐ、死ななければいいのか？」の疑問が残る. 放射能の影響は、何年も後になって明らかになることもあるのに. 業界の事情や偏った知識だけの事業者に任せているのが怖い. 指導官庁ともども誰もすぐには、責任を取ろうとしない、ぐずぐずして、うやむやのなかで、最低の保証だけ考える国や、水俣や、チッソなどの公害と同じ構図がある様な気がする。 初期の頃管理が悪く、知識の無かった原発労働者にも、幾人もの放射能の影響による死者が出ていると元労働者のから現場の話を聞いたことがある. 今回の事故でも、町ごと先祖からの土地を追われた人々が何万といる。 そういうリスクをとりながら安い限を大量に買い、工場でつくった食料を大量に食べ散らかすような日本のありようは、変えていきたい。
19225	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	「ゼロシナリオ」の選択しかありません。	未来の子どもたちから預かっているこの世界を守るためには「ゼロシナリオ」しかありません。原発存続は、未来の子どもたちに対する犯罪行為です。他の選択肢を提示した政府に怒りを覚えます。エネルギー・環境政策の大きな方向を定めるためには、自然エネルギーの拡大に努力すべきだと考えます。

19226	個人	自営業	50代	男性	新しい再生可能エネルギーの構築に私たちは取り組まなくては いけません。まずは、原子力発電所はゼロ(0)にしよう	20世紀の高度成長期と共に原発も数多く建設されました しかし、21世紀にはいりCo2削減など、環境に対しての 新しいシステム構築が叫ばれています。そんなか突然 神のお告げか、はたまた怒りか3．11で原発の安全神話が 崩れました。これは、私たちにとって大きな機会です。エネルギーの再構築です。元々私たちが制御できない物をエネルギー 活用として構築してきたことに間違いがあったのでしょう 新しい自然エネルギーの構築に私たちは取り組まなくてはいけません。さあ一みんなで、再生可能エネルギーの輪を早く日本で実現しましょう。
19227	個人	会社員・公務員	30代	女性	「(1)ゼロシナリオ」に沿った政策を求めます。	3・11の福島原発事故で原発は危険なものだということが改めてわかり、日本では安全に「絶対」はないと思いました。原発事故で「使用済み核燃料」の処理技術も処分場所も不確定だということを知りました。そもそもの原発を動かすことには反対です。未だに放射能の影響を受けながら生活している方々がいることにも怒りを感じます。 私たちが安心して暮らせる社会、私たちの命を守るためには「ゼロシナリオ」しかないと思います。再生可能なエネルギーを活用し、脱原発への政策転換を求めます。
19228	個人	家事専業	30代	女性	原発は即時0、そして全て廃炉にしてほしい。 今後もし原発が復活するとしたら、 放射性物質を安全かつ簡単に分解、処理できるように になった時しかありえない。	福島の事故で、原発に未来が見えてないことを確信しました。 それは放射性物質を処理できる技術がないということに尽きます。 埋め立て処理と言われていますが、地中に埋めて安全になるまで待つって。 それはこの先のまた先の子供たちに　危険を押し付けているだけに過ぎないのではありませんか？ 今、全国の道路、トンネル、橋、交通標識、もろもろが傷み、破損しかけているというのに、 そんな埋め立て施設がいったいどれくらいの期間、問題なく存在するというのでしょう。はなはだおかしな話です。 かならずどこかで痛みがきて、地中を汚し、水をよごし、じわじわと人間たちを追い詰めるに決まっています。 有害物質を無害物質に変える技術があるっていうなら、まだしも。 ただただ時間経過に頼らざるえない技術なんて、、そんなもの技術じゃないです。 今でさえ処理まちの燃料があふれています。これ以上増やすなんて絶対に反対です。 日本経済に大きな打撃を与えようと、人間の住めない日本になる前に、 原発のない未来を示してほしいと思います。
19229	個人	会社員・公務員	60代	男性	原発削減は、夏の電力不足にて熱中症死亡者が予測される。一昨年の熱中症死亡者は、1700人以上です。原子力技術は、安全保障上の抑止力であり、撤退でなく、安全な原発を作り、世界の原発建設に寄与すべきです。	福島原発事故で、直接的に死んだ人は一人もいません。 しかし、原発を減らして、夏の電力不足が起きたら、熱中症で死亡する人が 予測されます。一昨年の熱中症死亡者は、1700人以上です。月140人以上の人が 亡くなったことになります。 原発を減らされたら、多くの電力を使用する製造業者は、電力を削減するために、生産を縮小せざるを得なくなり、利益を減らすことになるでしょう。 例をとると、半導体のメーカーでは、1秒の停電で一億円の売上減少になると言われております。 したがって、経費節減は、工場や一般企業の従業員の賃金・ボーナスのカット、解雇などに繋がります。またマスメディアも広告料収入の削減により、経営状態が悪くなります。 企業の倒産は、多くの不良債権と自殺者を生むことにも繋がります。 家系の収入が、減れば、食費・生活費にも影響がでます。 解雇されれば、子供の学費が払えなくなり、学校にいけなくなる子供も出てまいります。 「脱原発」は、私たち庶民には、身近な問題として跳ね返ってきます。 また、原子力技術は、安全保障上の抑止力にもなります。 お隣の中国は、現在15基の原発を持ち、2011～2015年までの5ヶ年計画には、26基の建設、2020年には60基持つ計画です。 日本が原発を減らす流れの中、お隣の中国は、原発推進なのです。 中国は200発の核ミサイルを持ち、日本には、60発向けています。 しかも多弾頭の核ミサイルなので、日本に一発落ちれば、広島・長崎の何倍もの人が死亡します。そういった意味で、原子力技術は、いつでも原発を作れるという抑止力にもなるのです。 海外は、日本の原子力技術の安全性を高く評価し、日本の原子力を活用して、ベトナム、ヨルダンなど原発開発を進めています。 今回の事故を教訓にして、撤退するのではなく、より安全な原発を作り、 世界の原発の安全に寄与すべきだと思います。
19230	個人	家事専業	40代	女性	政策について	国民に奉仕する立場として法律にうたわれているにも関わらず、国民の声を無視して政策を決定したり進めていくのはどういうことなのでしょうか？ この世の中は因果の法則で動いているのでわかっていてされていることは当然結果として返ってきます。 国民の幸せのために奉仕される方々にはそれ相当の結果が必ず伴い、無視して大きな利欲のため動かれる方々にはそれ相当の結果が伴うことをご存じでされておられるのでしょうか。 どうか原発にしても消費税にしてもその他マニフェストにしても国民の声を聴き、国民、国家全体の真の幸福のために働いてください。 心より願っています。
19231	個人	法人等	60代	男性	基本的に原発は廃止すべき。今やるべき事の優先順位を間違わないで頂きたい。	原発は廃止、廃炉を基本として進めるべきである。我々国民はこの度の福島原発事故を目の当たりにして、制御できない怖さを知った。いまだに、福島原発は終息せず、さらなる危険性を認めざるを得ない。次の展開を考えると、日本の存続さえ危うくなる恐れがある。したがって、政府の終息宣言には深い疑念を感じざるを得ない。また原発の再稼働にしても、あれほどの放射能被害を受けながら、何の確信もない安全性になんとなく地震はないだろうといった希望的観測だけで、産業界に押されて踏み切っている事に対して、未来を担う子どもたちに対して本当に責任を持てるのだろうか？責任のとれる、責任を取る政治・行政を目指していかないと、国民の国に対する信頼は失われて行くばかりである。
19232	個人	学生	20代	女性	提示の選択肢においては「20～25シナリオ」を支持いたします。原子力発電のあり方を中心に、火力に代替するエネルギーの必要性、原子力を用いる技術の必要性、国民感情と経済発展について主に考察いたしました。	地球温暖化の問題については個人的に疑問点がありますので今回は言及いたしませんが、化石燃料が枯渇するという予測が比較的現実的なものとされています。そのような中、我々の生活に欠かせないであろうエネルギーを確保するために、火力を中心としたエネルギー構造は改革されていかなければならないと考えます。 　では、火力に代わるエネルギーとはいったい何なのでしょうか。日本のエネルギー政策においては主に原子力が用いられてきました。しかし3.11以降、国民、国土、そして世界に甚大な被害を与えつつある「加害者」としての原子力発電の存在強調、また国家の社債な管理露呈等によって、原子力を推進していくことは容易ではなくなりました。しかし、「したがって原子力の利用をすぐさま完全に止めなければならない」という結論に至るには時期尚早であるかと思います。なぜならば、日本の国民にとって、日本という国家にとって、また世界にとっても、日本において原子力を利用し続け技術を残していく必要があると考えるからです。このように考えることには二つの根拠があります。 　一つめは、原発問題早期解決のためです。特に被害の大きい福島の方々の状況を思いますと、胸が痛みます。また我々に被害を与えることを知りますと、原子力発電など止めてほしいと思うことは当然であります。しかし、このような被害をこれ以上もたらしてはならないと考えるならば、むしろ原子力発電を止めてはならないと思いました。もしも止めるにしても、現在までに使用してきた核燃料を再処理または直接処分する必要があることに変わりはありません。止めずに利用していくほうが被害を大きくしてしまうという意見もあるかもしれませんが、ただ放っておくだけでは汚染水は垂れ流しになってしまうでしょう。さらに被害が大きくなると思われます。専門ではないため詳しいことは理解していませんので根拠はありませんが、原子力発電を止めてしまったら研究が今までより先に立ち行かなくなって、もし解決するならばですが、この問題の解決の時期が遅れてしまうのではないかと考えます。 　二つめは、原子力エネルギーの技術を外交手段として用いるためです。世界において原子力発電を投える風潮もありますが、中国やインドなど依然として原子力発電を推進していこうとする国も存在します。そのような国々に対する外交手段の一つとして、原子力エネルギーの技術が大切な役割を果たしうると思います。また、現在も核兵器が世界に存在していることも加味したいと思います。世界において核兵器を減らしていこうとする風潮もありますが、核兵器を増やしていこうとする風潮も見受けられます。日本は核兵器を所有していないようですが、核兵器を保有する国々に対する外交手段として、抑止力となりえるかもしれませんので、日本が原子力の技術を保持、発展することにメリットがあることと思います。 　以上の見解から、火力に代わるエネルギーとして原子力は選択肢の一つから必ずしも排除しなくてもよいと考えます。そして現在の再生可能エネルギーの普及状況も鑑みますと、当分は原子力の利用が必要だと思います。（将来的に原子力が本当に有用かどうかは、それこそ研究進上でありますので完全に把握することはできません。したがって火力、原子力にも代わるエネルギーとして再生可能エネルギーの研究も同時に進めていかなければならないと思います。現在固定価格買取制度も実施されまして、太陽光発電所が建設されるなどしており、少しずつ再生エネルギーのあり方は進展しているようです。再生可能エネルギーについて言及していきたい内容もございますが、今回は原子力発電のあり方を中心に述べていきますので省略させていただきます。） 　最後に、なぜ20～25年のシナリオを選択したかについて述べていきたいと思います。これまでの自分の論理からしますと、原子力発電を減退させていくようなシナリオには賛同できないとも考えられます。しかし、国民感情を考慮しつつ、経済の発展を最も妨げずにエネルギー構造を改革していくためには、20～25シナリオが選択肢の中で最もよいと思いました。 　なぜかと言いますと、国民感情を配慮しているという点において、ただ理由も説明せずに「これからのために原子力発電が必要であるから再稼動します」という結論のみを述べるのではなく、「原発を減らしていってほしい」という意見にも耳を傾けていると思われるからです。ドイツにおいて国民全体の問題としてエネルギー政策が注視されたように、国民性などは異なりますが、日本において国民全体で問題解決していけたらよいのではないかと考えます。したがって話は反れますが、政府に対しては、ありきたりな表現になってしまいますが、納得のいくような根拠の提示、もしくは納得のいくような説明を願いたいところであります。すべての情報を開示することはできないかもしれませんが、もう少しわかりやすい説明がある国民の理解が得られやすいと思います。 　そして経済発展を考慮してみても、このシナリオが最もよいと思います。変わらない円高の傾向、電気料金の値上げなどによって多くの企業に負担がかかっていると思います。どこの国においてもそうでありましょうが、日本にとっても経済発展なしに生き残ることはできないでしょう。少しでも経済に悪影響を与えずにエネルギー構造改革を行えるならば、その選択をしていきたいと考えます。
19233	個人	家事専業	30代	女性	(1)の原発依存ゼロシナリオを望みます。今回の原発事故により、このエネルギーは人智を超えたもので扱いきれないものだということは目に見えて明らかになりました。	転換期には痛みを伴うかもしれませんが、今、ここでシフトする勇気を持たなければ日本に、地球に未来はないと思います。既に、子どもたちが外で遊んだり、食事をするという当たり前の日々の行為に多大な支障が出ています。こんな不自然な社会になってしまったということを、謙虚に捉え、軌道修正をすべきです。
19234	個人	その他	50代	男性	私たちの選択は、「ゼロシナリオ」以外にない。放射能を無毒化する技術は存在せず、放射能は人間がコントロールできないものだから。特に、日本のように大規模な地震がどこでも起きる可能性のある地域ではなおさら。	私たちが選択できるのは、原発依存を2030年までのなるべく早期に0%とする「ゼロシナリオ」以外にありません。なんといっても放射能は人間がコントロールできないものであり、その「ツケ」は未来永劫にわたって引きずる怖れのあるものだからです。放射能は生命体をたえず傷害し破壊し続けるものであり、生命体と放射能は共存できないと思います。 　今回の選択肢の問題点として、「ゼロシナリオ」の選択＝地球温暖化対策放棄であるかのような設定になっていますが、この点は間違っていると思います。そもそも、原発は決してクリーンなエネルギーではなく、その稼動過程でCO2を大量に発生させています。（ウラン濃縮過程で大量の化石燃料を必要とすること、使用済み核燃料を冷やし処理場まで運ぶ過程でも多量のCO2をだすこと、さらに出力100万kwの原発は300万kwの電力を生むが電力として使用できるのは100万kwで残り200万kwは海に捨てており、その際に海水に溶けている炭酸ガスを多量に排出している、など） 　脱原発と地球温暖化対策は両立することを前提としたエネルギー政策を策定していく必要があると思います。 　原発は他の発電と違い、常にフル稼働が求められ夜間に発電をとめることができないため、夜間電力の活用の名の下に「24時間社会」などのエネルギー多消費構造が推進されてきたことに問題があります。原発と決別し、同時に私たちの生活スタイルをも見直し、クリーンでエコロジカルな社会を作っていく決意と方向付けが必要だと思います。
19235	個人	自営業	60代	男性	原発は要りません。即ゼロにすべきです。	核は人間が制御できるものではなく、また放射性廃棄物の処理も人間の手に負えるものではない。
19236	個人	家事専業	50代	女性	原発比率0パーセント	・作業員がいなくなる 福島では、廃炉に向けて、オリンピックの最中にも日に3千人もの人が働いている。廃炉まで40年、被ばく許容量を越えれば人間は働けなくなる。全てをロボット化できるのか？ 20年後には、今日「オギャー」と産声をあげた赤ん坊も、明日・明後日・・とこれから生まれる赤ん坊も大人になり、福島の廃炉に向けての作業員とならなければならない。福島だけでも、罪のない子子孫孫が被ばくしながらの作業に駆り出されるのである。もっとも、これから生まれる子供達や、今被ばくしている子供達が、外部・内部被ばくの蓄積によって健康な大人に成長できるのかも判っていない。 こんな日本にしてしまったのに、「私が責任を持って」と原発を再稼働させた野田総理・原発稼働賛成者は「原発で事故が起きれば、自分の子孫は被爆させながら作業員とさせる」と約束してほしい（それでも責任はとれないが）。 放射能も自然災害も人間が制御することは不可能な上、最終処分場の問題も棚上げにして、原発を動かすことは驕りより外の何物でもない。日本は、原発に頼らないエネルギー政策に舵を切る他に選ばない。
19237	個人	自営業	40代	男性	原子力に変わる環境を汚さないエネルギー源について、大学の研究などで様々な発表があります。可能性のあるものは取り上げ、成果があれば実際の電力源として採用してほしいです。	原子力発電にかかる既得権が蔓延しているためか、太陽光、風力、波力、地熱、メタンハイドレードといったエネルギー源があるにも関わらず、それらの可能性が踏みにじられていると感じます。 全てだとは思いませんが、頭の固い「学会」も「公害」のひとつです。 原子力関連や学会など、一部の人の既得権や名誉のためではなく、普通に暮らす万人のための電力供給のために、風通しの良い制度を持って、様々なエネルギー源の研究と利用を進めてほしいです。 そのような環境に良いエネルギー源の研究と利用を日本が率先して進め、広く世界に広げれば、それこそ日本が「世界平和」に貢献できると信じております。
19238	個人	会社員・公務員	40代	男性	放射能は、いったん外に出ると私たちの生活環境を奪ってしまいます。故郷を失った福島県民のことを考えれば、原発をなくすこと重要であり「ゼロシナリオ」しか選択肢はありません。	核廃棄物の問題、災害の場合のトータルコストの問題、福島県民の感情等あらゆる角度から検討しても「ゼロシナリオ」しか選択の余地はありません。後世のためにも。
19239	個人	無職	40代	女性	原発ゼロを目標とするべきだと思います。その方が明るい。前向きになれる。	日本の技術力をもって研究開発に力を注ぐことは、技術力の向上、そういう皆の為にやっている技術は子供達の目標にもなる。 人生の目標、学ぶことへの意欲、お金主義で生きるのでなく確かな生き甲斐を持ちながらもお金を稼ぐことも、勉強することも出来るという感覚を育てることができる。国民性の向上も、エネルギー問題には含まれている。 クリーンなエネルギーを目指すことは、世界の最先端を行くことができる。他の国が日本に学びに来る。 そして、多様性をもって取り組むべきだと思う。
19240	個人	無職	70代	男性	原子力発電は全部廃止し、運転も行なわないこと。使い済み核燃料は、数億年でも有害な放射能を消すことができない。危険を未来の人類に残すことは罪悪である。工夫で凌げる経済の為の今の運転も、罪悪を重ねている。	日本に50基以上ある原発の、使い済み燃料も、老朽化した原発本体も、日々発生する高濃度・低濃度の運転廃棄物も、どれもこれも最終処分場は決まっていない。否、決められないのだ。誠意ある事業者・原発推進者なら、最終処分場も決めないで、危険なものの設置を行なったことが罪悪である。 まして、科学技術では無害化できない原子力廃棄物の処理、既拭いを未来の子孫に託すのは残念無念である。 地球温暖化の原因の大気中のCO2は、将来技術が発展すれば、減らせる可能性があるが、使用済みの放射性物質は、原理的に無害化できない。
19241	個人	無職	80代以上	男性	原発はゼロパーセントにするしかありません。」	原発はゼロパーセントにするしかありません。すでにゼロパーセントですごした実績があります。人類の力で処理不可能な負の遺産を残すことはできません。天災のみならず人災の可能性もあります。
19242	個人	家事専業	50代	女性	これからの日本のエネルギー政策について、長い将来を良く考えて専門家だけでなく広く国民の意見を考慮して決定していただきたいと思います。福島原発での事故処理のめどが立たない今こそもっと考えなければ	多分現在の成人が生きている間に福島原発の廃炉はできないのではないでしょうか？それだけでも大変な負担を次の世代に残してしまう事を本当に残念に思います。問題がありながら再稼働した原発も想定外の事が発生し、再度事故が起きてしまう可能性もそれほど低いとは思えません。一般的な構造的な原因による事故もこれまで聞されていただけで、かなり頻繁に起きていたようだし、大きな地震によるダメージが全く無い原発は皆無なのではないでしょうか？ 経済的な理由によりそのまま原発を推進するよりも、ここで方向転換を図って安全な生活ができる国を目指してほしいと思っています。 オーストリアでは実際にかなりの資金を投入して原発を建設したものの、国民投票によって、廃炉にしたと聞きました。本当に国民が望んでいる方針を良く聞き入れて、遠い将来にも安心して暮らせる国にしていただけるよう強く希望します。
19243	個人	会社員・公務員	50代	女性	「ゼロシナリオ」を希望します。	原発の危険性から命を守るため、「ゼロシナリオ」を決定し、自然エネルギーの拡大に努力すべきだと思います。

19244	個人	無職	30代	女性	日本国内にあるすべての原子力発電所について、いますぐ廃炉の決定をしてください。 出来る限り早く原発ゼロにするべきです。	必要のない原子力発電所を稼働するのはもうやめましょう。 富の象徴でも、豊かさの象徴でもありません。 他国に対しての抑止力でもありません。 国民の生命を危険にさらし、国自体を崩壊させかねない制御不可能な施設です。 誰の手にも負えません。事故が起こってからでは遅いのです。 今ならまだ間に合います。 これ以上、人が住めない、作物を育てられないような不毛の土地を この狭い日本国内に作る事になってもいいのですか？ 事故収束にあたる作業の方々を含め、これ以上被曝者が増える事になってもいいのですか？ 生まれ育った土地で死ぬまで安心して暮らしたい。 私の願いはただそれだけです。 この国に生まれて良かったと思えるような決断を期待しています。 東京は現在、原発なしでも電気が足りています。 個々が今までの生活を見直し電気の使い方を工夫すれば、 原発以外で作られるエネルギーで電力はまかなえるのです。 福島の事故からたくさんの事を得たと思います。 決断の時です。 真の安心安全な暮らしを約束する心ある国、日本に期待します。
19245	個人	会社員・公務員	30代	男性	電力需要の伸び、燃料調達の安定性、再生可能エネルギーの立ち上がりのスピードを考えると、20～25%シナリオが適当と考えます。	電力需要は減少すると予測されていますが、今後、化石燃料から電力へのエネルギーの転換がEV等の普及で加速していくなかで逆に増加していくのではないかと考えます。 その中で、電力の安定供給と地球環境保護の両面を達成するには再生可能エネルギーの立ち上がりに期待するのはしんどいのではないかと考えます。 原子力は無ければ無い方が良いに決まっていますが、あの大きな事故を教訓に現場では安全性の確保と安定稼働に向けて努力されていると信じています。 それを感情論で危ないからと反対する気持ちにはなれません。 今の便利で安心できる生活があるのは電気が安定に供給されているからで、そのために我が家の隣に原発ができるとしても文句は言えないと思っています。 もちろん、歓迎というわけではありませんが。 再生可能エネルギーの立ち上がりには技術的な課題が多いので、官民一体で技術開発の取り組みを行うことが必要と考えます。
19246	個人	自営業	40代	男性	(3)自営業者は、死活問題。命を預かる仕事なので計画停電の対応にも困っている。経済安全保障の面からも(1)(2)は考えられないのは、常識。アメリカの核の傘の中にあって、原発・原爆反対とは、国際非難の的だと感じる。	(3)自営業者は、死活問題。命を預かる仕事なので計画停電の対応にも困っている。経済安全保障の面からも(1)(2)は考えられないのは、常識。アメリカの核の傘の中にあって、原発・原爆反対とは、国際非難の的だと感じる。
19247	個人	家事専業	30代	女性	原発は「いらない」	起きないと言って起きた原発事故。 死人が出てないから「事故」じゃないなんてとんでもない。 放射能をあびた食べ物、ひと、もの。。。責任は賠償金をはらうことだけでは済まない。 責任うんぬんの問題ではない。未来に負の遺産を残すべきではない。 日本に原発は全くいらない。 原発を動かした途端に止めた火力を復活すればいいだけのこと。 もう利権にしばられるのはやめましょうよ。 最後にもう一度。 原発は「いりません」！！！
19248	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオしかありません	日本は地震、津波、台風など自然災害の多い国です。福島第一原発事故は原発の安全神話を崩壊させ、自然の驚異を証明しました。島根原発周辺にも活断層が存在し、いついかなる時に大地震が発生し、重大事故につながるかわからず、住民は常に不安を抱えています。絶対的な安全を実現するには原発をなくすしかありません。「ゼロシナリオ」を早期に実現するよう求めます。
19249	個人	会社員・公務員	40代	女性	支持するシナリオ:　ゼロシナリオ しかし、目標は2030年より前倒しでお願いしたいです。また、代替エネルギーについても、予算や人員の配分を検討して1年以内に公表してほしいです。	私は、ゼロシナリオを支持します。 しかし、2030年までといわず、もう少し前の段階で原発依存0%にできるよう政策をたててくださることをお願いします。 現在、大飯原発を除くすべての原発が稼働していないにもかかわらず、どこも停電という事態には陥っていません。夏の電力消費ピークがこれからというものの、去年の夏はのりきれています。 この夏は現時点で、電力の最大消費地の首都圏への供給に原子力による電気は予定されていないと理解しています。ガスコンバインドという方法で、原子力発電所の発電分を補っていると聞きました。2030年よりも早くに原発依存をゼロにすることは十分に可能に思います。 生産の現場に電気がとどかずに経済力が低下すると言う心配は私も感じます。 でも、もしそうなら、去年の夏のように、首都圏では星間の電車の運転本数を減じるべきです。原発全基が停止している状態でも、首都圏の電車はフル稼働に復帰しました。この夏はまた電車を運転数を減らしていただきたいです。必要なところに確かに配分されるようにするべきです。 むやみに電気料金を値上げしては、大企業の下請けをしている中小企業に打撃を与え、自殺者や生活保護受給者が増加しかねません。でも原子力発電をする以上は、廃棄物の処理、事故の予防や対策のために膨大な費用がかかります。六ヶ所村では今後廃棄物処理に19兆円という費用を試算しているそうです。。しかも何百年も先までの管理業務が発生するうえに、その間も未来も国民の健康が犠牲になります。また事故がおきたら、それこそ、日本経済は立ち直れないのではないでしょうか。今度はどうやって国民に補償金を払うのでしょうか。また、1兆円を税金から投入するのですか。 以下について政府の指針を具体的な数字を持って示してください。 1.全国の原子力発電所の閉鎖予定を西暦を表示して、表形式でわかりやすく示して　下さい。(例　○○○○年に××原発) 2.電力の自由化(発送電の分離はいつまでにするか？) 3.代替エネルギーの開発にかかる費用と見通し(何年までにいくらの予算をつけるのか) 4.核廃棄物の処理の予定と予算(現行の予算と将来の予算)
19250	個人	パート・アルバイト	30代	男性	原子力発電は反対です。原発依存0%でお願いします。	これ以上地球を汚染しないで下さい。廃棄処理の方法もありません。日本政府、原子力発電の関係者、電力会社の人達の利益の為に国民の税金を使わないで下さい。格好の良い日本を政府と国民で力を合わせて作っていけたらいいじゃないですか？日本政府は全ての過ちを国民に謝り、正しい道に進むべきです。
19251	個人	会社員・公務員	40代	男性	0シナリオしかない！	地震活動期に入った日本全土は、原発を回している余裕などない。 大飯を即刻停止し、すべての原発を廃炉にして下さい。
19252	個人	会社員・公務員	30代	男性	エネルギー・環境政策については、国民生活や雇用を支えるための健全で持続可能な経済成長との両立を踏まえることが不可欠である。しっかりとした前提条件のもとで、国民的な理解を得ることが必要である。	エネルギー比率の転換によって、国民一人あたりの負担がどのように変化していくのかが不明。 　また、国が存続していくための大原則である経済成長とのバランスという点を著しく欠いており、雇用にも大きな影響を与えるものと考える。 　したがって、今回のエネルギー・環境政策の判断は、将来のこの国のあり方に関わる重要な事項であるだけに、健全で持続可能な経済成長との両立の視点、国民生活や雇用をいかにして守るのかとの観点を含め、しっかりとした前提条件のもとでの議論と国民の理解を得ることが必要である。
19253	個人	家事専業	30代	女性	エネルギー・環境に関する選択肢として、(1)ゼロシナリオを希望します。 少しでも早い時期に原発を廃止して欲しい。大飯原発の再稼動も正直反対です。	近年、想定外の自然災害が急増する中、福島原発の事故を考えると、原子力というエネルギーを人間の手でコントロールすることは難しいと思います。 自分達のこと＝目先の経済を考え、福島の土地のように、未来の子供達に負の遺産を残す可能性のある政策は少し無責任ではないでしょうか。 日本は被爆国で、福島の方達は今も苦しんでます。なのに、2度ならず3度も同じ道を選択するのはどうしてなのか、今の政府の考えが不思議でなりません。 原発地域の方の経済を考えるなら、原発の安全対策に費やす費用を地域活性に繋がる何かに充てられると思います。 節電できる所はまだまだ沢山あります。都心の夜は明るぎます。夏なのに暖房便座にしているデパートが沢山あります。 消費税を上げるなら、太陽光など自然エネルギーをもっと利用できるように、そちらにお金をかけて欲しいです。 私にはよく分かりませんが、蓄電システムをもっと良いものにするなど、日本の技術者は優秀だから、今まで無かった物を開発できるはずです。 原発以外に日本の消費電力をまかなう方法がないと思っている人もいるようですが、最初からできないと思っていたら人類は月には行っていません。 私は絶対に何か方法があると思います。 私の意見など幼稚に思われるかもしれませんが、そちらには頭の良い優秀な方が沢山いることと思いますので、どうか、既存の方法にとらわれず、部署など枠にとらわれることなく、知恵を出し合って、皆にとってプラスになる方法を選択して頂きたいです。 物に溢れ、毎日食べ物が大量に捨てられている中で私が思うことは、お金よりも国民の命が守られる国に住みたいということです。
19254	個人	会社員・公務員	50代	女性	(1)原発ゼロ 原発は即廃止すべき。 原発はなくても電力は足りている。	その証拠に大飯を稼動させて直後に関西電力圏内の火力発電所を止めている。東北電力は一年かけ火力電力を整備して原発がなくても十分に電力が足りている。 更に、今の原子力ムラには、ガバナンスがない。とても原子力を司る資格がないことは国会の事故調査委員会も指摘している。 このような危ない原子力ムラに原子力という危険な施設を任せることはできない。絶対にできない。福島の責任を誰も取っていない。東電の幹部は天下りでヌクタクしている。 頑むから、この原発依存患者とも思える面々に大切な国土をこれ以上壊させないで欲しい。
19255	個人	パート・アルバイト	30代	女性	ゼロシナリオがよろしいと思います。	コストの面から、まずは福島および近県の方全ての個人・企業に補償を実際に支払った上で(その総額×動かしたい基数)が事前に用意出来ていなければ、原発は動かしてはならないと思います。それが原発のコストです。
19256	個人	会社員・公務員	40代	男性	暴走しても止められない、破壊もできない。使用済み核燃料の処分もできない。 原発ゼロ以外にあり得ない。 将来、原発の制御が完璧になり核燃料の処分ができる技術が得られたときのみ原発を利用する。	シナリオには3つしかないが、私は4つあると思っている。それは、原子力の科学技術が発達し原発の制御と処理が完璧になったときだ。元々、使用済み核燃料の処理技術がそのうち開発されるとしてスタートしたはずだ。しかし、できないままスタートしたため「トイレのないマンション」状態になっている。年度は決められないが、原発を利用すべき時が来るかもしれない、という4つ目のシナリオがある。ただし、現時点では原発ゼロが当然だ。 　原発に限らず交通事故だってあるだろう」という意見もある。原発がダメなら自動車もダメではないか、という理論だが、それは違う。原発と他の機械の決定的違いは、すぐには止められないことだ。制御不能に陥ったとき破壊することさえ許されないことだ。そして、被害の範囲は世界にまで及び長い年月が失われることだ。 　また、地球温暖化と原発の問題は別に論じるものである。あたかも原発が地球温暖化の救世主のような扱いになってはならない。現在の地球温暖化とCO2の関係は未だ専門家の間でも二分している。地球は生きている。人類のエネルギー生活に関係なく、人類の存在に関係なく、ある周期で高温期と低温期を繰り返してきた。言えることは、地球環境を変えないにこしたことはない、ということだ。 　<u>どんなエネルギーを使うにしても節約と環境維持には気を違うべきである。</u>
19257	個人	法人等	40代	男性	原発事故被害を受けた人達の心情を察し、即刻「原発ゼロ」のシナリオで対応すべき。核燃料は使用済処分も含め人類の手におえません。自然エネルギー開発・研究に資金を集中投下し世界をリードするのが日本の道。	核燃料は使用済処分も含め人類の手におえません。自然エネルギー開発・研究に資金を集中投下し、日本は世界の人達の役に立たなければならない。100%安全でなければ原子力を稼働すべきではない。
19258	個人	自営業	50代	男性	原発の無い社会の実現を望みます。	途方も無い年月を待たなければ消えない放射線物質のゴミが出続ける原発で電気を作っても未来に対して責任を負えない。
19259	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発依存度を基準は(1)ゼロシナリオを選択します。	私は原発反対です。是非この機会に自然エネルギーに転換していただきたい。 太陽光、地熱発電、安全で、クリーンなエネルギーの活用を積極的に進めるべきです。 原発でできた膨大の高レベル死の灰処理すらできないでいるのに、この様な原発を動かしていいのでしょうか。 また、自然災害には想定外はあって当たり前です。想定外の災害が起こる前に、原子力発電をやめる決断をしていただきたいです。
19260	個人	会社員・公務員	40代	男性	まず、早期に原発依存度をゼロにすることを決める。次に、化石燃料依存度を下げるため、再生可能エネルギー、蓄電システムなどのクリーンエネルギー、省エネルギー等、全てを検討し、エネルギー構造を転換させる。	原子力発電を動かす技術は安全という専門家は多いが、日本は活断層、プレート等の地理的環境により、大地震が発生する可能性、頻度が高い。3.11福島原発事故の再現は、原子力発電による電力の供給が続く限り、確率がゼロにはならない。 また、原子力発電を行うことによって排出される汚染物の半減期は、物によっては数千年～数万年と聞く。原子力発電が稼働して以来の問題であり、地中深くに埋めるしか解決策がない。このような問題を放置しておくこと(危険と知ってるにもかかわらず)は、後世の人類に対して無責任である。いつか革新的な技術によって救われることを祈っているだけで、まるで「ドラえもん」の出現を待つかのような夢物語と言えないだろうか。
19261	個人	パート・アルバイト	40代	女性	原発はいりません。 無いなら無いなりに、何かを生み出せばよいと思います。	今、生きている人の幸せも、この先生まれてくる人の幸せと 繋がってこそだと思います。 今、電気が儲かるから、原発第一主義になってるだけで 価値観が変れば、換えれば、次に儲かるものだって 変ってきますよ。 個人は、そんなに儲かることは考えていませんが、 政府の金儲け主義につき合わされるのも、もう、うんざりです。 国に必要なお金は、もちろん必要ですが 金儲け第一主義的に、配分しているから バランスが悪いだけだと、もうそろそろ 気づいてもらえませんでしょうか？ 国が存続するためには、健康な一般国民あってこそです。 そうじゃないと税金も吸い上げられないし 儲けたくても、みんなが貧しければ儲けられませんよ。
19262	個人	無職	60代	女性	原発はいらない	これだけの事故を起こし、このまま原発を推進するのは犯罪であると思います。 また、稼働したとして、放射能廃棄物をどうするのでしょう。 将来のそどもたちにどのような日本を残すのか、真剣に考えてください。 今まで原発につぎ込んできたお金を、廃炉、廃棄物処理の方法の研究や、自然エネルギー普及のために使い、世界に貢献できる技術の確立にまい進してほしいと思います。 いま、子どもたちの被ばくが何より心配です。適切な、効果的な政策が取られる事を願っています。
19263	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発は危険との印象操作はもうやめよう	いったい今度の原発の事故で何人死んだのか？ 節電節電と国民に節電を強いて去年は何人熱中症で死んだのか？ 印象だけでの反対に危機感を覚えないほうが異常。
19264	個人	会社員・公務員	40代	男性	「ゼロシナリオ」を早期に実現するよう求めます。	日本は地震、津波、台風など自然災害の多い国です。福島第一原発事故は原発の安全神話を崩壊させ自然の驚異を証明しました。島根原発周辺にも活断層が存在し、いついかなる時に大地震が発生し重大事故につながるかわからず、住民は常に不安を抱えています。絶対的な安全を実現するには原発をなくすしかありません。

19265	個人	その他	50代	男性	2030年の原発依存割合は0%とすべきです。	どのような「安全対策」を講じたとしても、福島のようなシビアアクシデントが起きないという100%の保障がない以上、原子力の選択肢の設定自体がナンセンスである。
19266	個人	無職	70代	男性	原子力発電を今後も、全力をあげて、推進するべきであると思います。	福島県の原発事故は東京電力の意識的（過小評価）なもの「そんな津波などあるはずはない。」の結果と、その時点の、東電の経営者および、総理大臣であった菅に責任がある。 原発が悪いのではなく、かかわった人間が罰せられなければなりません。「根当な実刑」（ふちこめ。） 　また、ここぞと、ソフトバンクの孫みたいな悪いやからが、国民の税金から、掠め取っていくようなことを、許しては、なりません。 （太陽光発電は約23円から43円にあがった。） これこそ、税金泥棒というのでしょう。 　さて、科学技術の進歩は、50年後には、放射線の無害化を達成し、今は、ごみとしてこまっているものまで、再資源化を可能にするでしょう。 　原子力関連に力を発揮してください。 アメリカの、原子力関連の、有力な企業は、日立と東芝の子会社2社であり、にもかかわらず、大統領は、原子力に援助を惜しまないとしています。
19267	個人	家事専業	40代	女性	圧倒的に「ゼロシナリオ」に賛成します。原発の再稼働も新たな建設も断固反対です。	直ちにすべての原発と再処理工場を廃炉にしてください。再稼働や新たな建設などもってのほかです。 絶対安全といいながら福島の事故は起こりました。津波だけが原因ではありません。また地震や津波だけが大事故の原因になるとは限りません。可能性はいくらでもあります。可能性があるということは、絶対安全は嘘だといえます。たとえば原発テロが心配です。原発に飛行機が落ちても安全ですか？ 万が一のときも住人に対し完全補償すると約束してきながら、まったくなされていません。これまでも、これからも、いったいどれだけ多くの人の生活や命が犠牲になるのでしょうか。「被爆で死んだ人はいない」「この程度の被爆は問題ない」などとよく聞きますが、まだ被爆と健康被害の関係が医学的に証明されていても、被爆が多大な健康被害をもたらすことは容易に想像できます。被害者は人だけではありません。とつてもなく汚されてしまった福島の自然、飼い主を失い彷徨う動物たち。補償などできるはずもありません。 原発がなくても電力が足りることは、政府が発表したデータで証明されています。それなのになぜ国は電力不足を振りかざしますのでしょうか。脅迫でしょうか。原発依存の電気料金がもっとも割高になることも証明されています。 原発事故は福島だけでなく日本中、世界中に、未来に渡って被害をまき散らします。さらに事故後の後手後手の対処、度重なる隠蔽、原子力村の住人たちの見え透いた欲望、うんざりです。深く原発から手を引き、再生可能エネルギーの分野で世界を引っ張っていって欲しいです。それが最悪の原発事故を起こした日本の責任であり、せめてもの誠意だと思います。もし世界を引っ張ることが無理なら、それでも良いです。貧乏になっても、不便になっても良いです。誠実で清潔で美しい母国、日本を誇りに思って生きたいです。
19268	個人	家事専業	40代	女性	一刻も早く原子力をゼロにすること	原子力については、事故が起きた場合の影響リスクが大きすぎること、使用済み燃料の処理方法が確立されていないこと、被曝労働なに成り立たないこと、一次産業を衰退させることの四点から反対。 我が国ではなぜドイツのような倫理委員会を作らないのか。だいたい政府・関係者はドイツ倫理委員会の報告書を読んだのか、これに反論できるのか。 再三言われていることだが、本パブコメの選択肢もおかしい、これだけの欠陥事を経ての25％～は論外として、15％も現状維持の無策。安全性が確保できないとして原発ゼロの会が即刻廃炉にすべきとした24基を稼働させなければこの数字にはならない。敦賀1、2号機、浜岡3、4、5号機を動かせるのか。311以降、世界が変わったことが分からないのか。 電力不足は節電、自家発、融通で、CO2問題はGTCCと自然エネルギーへのシフトでクリアできる。LNGが高いのは総括原価方式をいいことに電力と政府が調達価格の引き下げに真剣に取り組まなかったため。自分たちの怠慢を棚に上げて国民を脅すなど、恥ずかしいと思わないのか。 原発政策に満足した時のように必ずになって法律を作り、予算を注ぎ込めば地熱発電もすぐ普及する。核燃サイクル、マイナンバー制度、無駄な公共事業は止めて予算を回すべき。 原子力は軍用兵器として危険性や採算を度外視して開発された技術。核爆弾を落とした国に平和利用と言われて鵜呑みにする愚かさ、目先の利益にとらわれて次世代のことを考えない浅はかさ、他人に犠牲を押し付けて見て見ぬふりをする醜さに、もう耐えられない。
19269	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発に麻痺した国民の生活を正常な形に戻すには「ゼロシナリオ」しかない。	福島第一原発事故を受け、それでも政府は原発の安全神話を唱えるのか？事故が起こらない保障が100%であるというのならば、このような議論にはならないはず。国民ひとりひとりの生命を守る責任が政府にはあるのではないか？ 一部の経営者が優遇されるような政策が、一方では国民の生活に大きなリスクを抱えさせている。この現状を正常な形に戻すべきだと思う。原発立地自治体の住民の生活は、どのように変化したかご存知ですか？原発建設前は漁業や農業に精を出し一生懸命生活していたものが原発作業者相手の飲食店や旅館業など業種転換し、原発なくしては生活できない環境に自らがしてしまっている。これが正常なのでしょうか？私自身も玄海原発の近くに住んでいますが、自分の生まれ育った町が福島のようになるのは絶対に許せません。原発マネーに麻痺させられた国民を正常な生活に戻し、安全で安心できる日本にしてもらいたい。 自分達の時代のつけを次世代にまわすことは、絶対にやめてもらいたい。
19270	個人	会社員・公務員	40代	男性	原子力発電は必要ない。	原子力は、使用の市過短士を間違えば大きな被害が起きるのは。緩解の福島の事故でアーク蕾である。 　もと安心して利用できる、発電方法を考えていく必要があると思う。
19271	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	他のエネルギーへの変換	安全なエネルギーへの変換をして下さい。
19272	個人	その他	40代	女性	エネルギー・環境会議、3つのシナリオのうちで「ゼロシナリオ」を支持します。	政府は国の借金について「次の世代につけ残さないよう」と繰り返し言うのに、なぜ原発は残そうとするのか。 処理できない核の廃棄物、そんなものと永遠隣り合わせに暮らさなければならない社会を残すこと、それこそが、次の世代に残す最大のつけなのではないのか。 いまこそ将来につけをのこさないエネルギーを生み出していく最大のチャンスだ。 伸れる当てのない福島の現状を見れば「ゼロシナリオ」以外の選択肢があること自体、理解できない。
19273	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原子力への依存度は2030年に0%を。十分な津波対策や活断層調査、老朽化対策が取られると信じられない。ベース電力はLNG火力で高効率化をはかり、商業施設削減など電力需要の削減も考慮すべき。	原子力への依存度は2030年に0%を目指してほしい。 福島の事故はきちんとした津波対策を行っていればおこらなかったものと思われるが、ほかの原子力発電所においても十分な津波対策が行われているとは現段階では思えない。また、志賀原発の活断層問題が浮上したように、原子力発電所設置に当たり電力会社が専門家を通じて公平な調査をしたとは信じられない。 老朽化の問題でも、原子力発電所で初期に使われたステンレス鋼は応力腐食割れが見られることが知られている。改良されていると聞くが、現在動いている炉がすべてその鋼材に置き換えられているのか分からず、不安である。少なくとも40年で廃炉にすることは必要であり、新しい炉を作ることが難しい現在の社会状況からすれば、原子力発電比率の低下は当然であり、いずれ0%となることは必然である。 今回示されたシナリオでは再生可能エネルギー30%を目指すが、ベース電源としてはLNGによる高効率の火力発電所を増設し、安定的な電源を確保しながら、再生可能エネルギーを増やすことが求められる。 火力での発電量の割合は変わらずとも、熱源の変更や高効率化により二酸化炭素の排出は抑制できる。また、二酸化炭素の削減については発電ではなく運輸や暖房需要での削減を推進することでも達成できる。 再生可能エネルギーは増えるに越したことはないが、コストとの兼ね合いもあり、2030年の数値目標として30%にこだわる必要があるかどうか。 まずは電力使用量自体の削減を求めるべきではないか。今後の人口減少を見据えれば、商業施設などの増加は頭打ちとなる。現在のような商業施設設置の行き過ぎた自由化をやめ、各都市でコンパクトシティを目指す政策を推進し、商業や事業所の電力需要を絞るほうが効率的ではないだろうか。 もちろん家庭の節電や太陽光発電の導入なども行うべきであり、1市民としてできることをしっかりやっていきたいと考えている。 電力に関する直接的な政策だけでなく、さまざまな観点から将来的な日本という国の形を見据えたうえでの政策をおこない、最適な選択がなされることをこころから願っている。
19274	個人	家事専業	60代	女性	0% できるだけ早く原発を0にする	次世代へ核のゴミを押しつけてはいけない。 自然エネルギーを活用できるように、 数々の規制を取り払い、法改正を速やかに進めてほしい。
19275	個人	会社員・公務員	50代	男性	新たな価値観、本当の意味の幸せを目指すべきです、	今回の原発事故で改めて原子力の恐ろしさに気づきました。 私たち人間がコントロール出来ない技術は使うべきじゃないと 思います。私たちのすむ地球上、海、川、山、大自然、そして すべての生き物が最優先されるべきだと思います。
19276	個人	家事専業	50代	女性	事故調報告終了後も調査継続すべき。恐れ知らずなのが魔物のようだ。米国にそそのかされ、導入当初から国民不在だった。又地震津波が来かねない。4号機の使用済みプールの底も抜けかねない。原発ゼロしかない。	各事故調の報告が終わったが、何も解決していない。 総理が昨年はやばやと、終息宣言したことは、あまりにも被災者や国民、半減期まで10万年以上かかる使用済み燃料の問題も考えていない、無責任な発言だ。 国際的体面があるのだろうが、世界に対する責任の上からも、慎重にあるべきだ。 政府・電力関係者は自分だけは安全と信じきっているようだ。この恐れ知らずな様子は、実に魔物のようでさえある。 そもそも災害大国に、知らぬ間に、これほど多数の原発があるということは、どういうことか？ 当初から、国民投票ということもなく、敗戦国として、唯唯諾諾と米国の言いなりになり、一部の政治家・財界人が、踊らされて今日を招いたと思う。 老朽化した火力発電所の、早急の整備。そして、再生可能エネルギー開発に力を入れる。 また、東京都副知事猪瀬氏の提言のように、原発をたたむためのビジネスも世界に向けて、トップランナーになるべきなのだろう。 いずれにしても、途上国に、この恐ろしい原発を、新たに輸出するのは、悪魔の所業である。 まずは、原発ゼロの立場に立つ意志を強固にもつことが大切だ。
19277	個人	無職	60代	男性	原発はゼロシナリオとすべきです。	全ての事業は事故をゼロにすることはできません。原発のように、事故を起こしたときの被害が限度を超えるような事業はすべきではありません。
19278	個人	会社員・公務員	20代	女性	ゼロシナリオ	原発はゼロシナリオを支持します。 エネルギー不足や地球温暖化等の問題がありますが、やはりまずは安全性を最重要視することが重要であると思います。 今回の事故では、住民の方々の生活ももちろんですが、特に農業での被害が気になりました。ただでさえ低い日本の食糧自給率に加え、農家の方々の生活は苦しく、今回のような事故のあとでも原発がまだ残っているとなると、農業の経営を断念する方も多くなり、ますます悪化していく思われます。 安全あってこそのエネルギーであると思いますので、まずは安全な代替エネルギーの開発等に力を入れ、省エネやCO2の問題に取り組むべきだと思います。
19279	個人	会社員・公務員	40代	男性	日本は地震大国であり、今後も大きな地震が起こることが分かっていながら、原発を温存、推進等という考え方をすること自体が異常だと思う。何をおいても「ゼロシナリオ」しかない！	放射能汚染について、国や東電から出ている情報が正しいとは思えない。現に、国はパニックを避けるためとはいえ、誤った情報を国民に垂れ流し、国民の命を危険にさらし続けている。政治家のお寄りのみなさんは、先に逝くのでいいが、これから成人していく子どもたち、これから生まれてくる新たな命にとって、原発推進が最善の道とは言えない。最悪のシナリオである。どうか、さまざまな利権を捨て、心から国民の未来のことを考えて欲しい！
19280	個人	その他	20代	女性	ゼロシナリオに賛同するが、原子力研究の更なる発展を望む。	地震の多いこの国で、原発ゼロが現実的に可能なのであればぜひ実行してほしい。「安価なものをたくさん」よりも、「高くてもよいものを長く」使う、の精神で。経済的な負担など、私たちの生活にも変化があるかもしれないが、それでもこの選択肢を選ぶのは平成生まれのはじめての大きな責任だと思う。日本の経済が無駄にモノを消費することをよしとするシステムなら、今後の改革の結果、今の世界的な地位を失うことになってもかまわない（もちろん新たな分野の成長には大いに期待するが）。 　ただし、ITERなど、世界規模での原子力研究の分野での日本の研究者・技術者の貢献が否定されるのではいけない。原発産業も含め、ゼロシナリオ選択による損害が最小限に抑えられる道を進んでいただきたい。
19281	個人	自営業	20代	女性	原発は、2030年までに廃止できるよう進めるべきだと思います。	原発を止めるには経済的にも損失が大きいことは十分わかっていますが、それとひきかえに住めなくなった土地があります。今の経済は、その豊かだったはずの土地よりも価値のあるものなのでしょうか？ 原発は、安く安定した電気を広範囲に供給できるといいますが、もっと地域ごとに小さく発電し小さく使えば（送電線の問題を解決して）十分間に合うと思います。 太陽光など の自然エネルギーを各家庭で作っても、売り買いのシステムで電気が無駄になってしまうので、そのまま家で使えるようになるといいと思います。 何かを犠牲にしなければ成り立たない安定は、見せかけだけの安定です。 世界に誇れる日本の技術と国民の生活スタイルを見直す意思があれば、自然エネルギーでも十分賄えるんです。でも儲からないから進まない。国は、会社ではありません。税金があります。 国が本当の意味で豊かになるために手助けしてください。お願いします。
19282	個人	自営業	50代	女性	日本政府は、すぐに脱原発国宣言をしください。 54基の原発を止め、廃炉に向けた取り組み計画を早く実行すべきです。地震国我が国に原発は危険すぎます。。真の国を作り上げる覚悟が必要です。	100万年も処理が必要な核廃棄物はこの地球にあってはなりません。自然の脅威を忘れては人間の進歩もありません。すべて未来の子どもたちのために今決断すべきです。 国民の声が聞こえない政治家・官僚はすぐに辞めてください。国民のためのに働けない方は辞めてください。
19283	個人	会社員・公務員	60代	男性	シナリオ(3)を支持する。今次事故は健康被害のレベルでなく、安全性の向上は可能。稼働はエネルギー安全保障で不可欠。日本の使命は世界一安全な原発の開発提供である。また稼動は核抑止力として国防上不可欠。	上記に記載済み。
19284	個人	無職	60代	男性	条件付きで「原発ゼロ」を選択します。条件は、2030年時点でゼロは遅すぎる。遅くても2025年（今から13年後）までにゼロとすることです。	原発の新指針・基準を以下のように設定していただきたい。 (1)運転期間が40年に達したものは廃炉。例外を許さないこと。 (2)新安全基準に基づき審査し、追加安全対策（完全なバックフィット）が速やかに（3年内程度に）完了しないものは廃炉すること。完全フィット完了までは稼働停止しておくこと。 (3)現在新規計画中および建設中の原発は建設中止すること。 (4)使用済核燃料は全量直接処分すること。地下貯蔵は安全管理が行き届かなくなる恐れがあるため、管理が厳格に行いやすい乾式地上保管を当初数百年間程度行うこと。 (5)核燃料サイクルシステムは中止し、「もんじゅ」「六ヶ所村の核燃料サイクル施設」は廃炉すること。 代替電源確保等の諸新対策 (1)再生可能エネルギー（特にバイオ発電、森林保護、間伐材やスギ花粉対策にもなる）利用を開発・普及すること。省エネ対策を強化実施すること。 (2)当面は天然ガス利用（シェールガス導入やコンバインドサイクル、家庭用燃料電池を含むコージェネレーション等）を普及強化すること。 (3)電力の自由化抜本改革（全電力小売りの自由化、発送電分離、新規事業者参入促進、総括原価方式の廃止等）をすること。電力システム改革と再生可能エネルギー利用普及は車の両輪である。発送電分離は、確実な分離がしやすい機能分離を採用すべきである。 (4)原発立地地域への電源立地等の交付金類は中止し、新規事業興し、雇用対策に衣替えすること。 (5)日本の産業構造（重厚長大産業、燃料電気多消費産業から知識・サービス産業へ転換）の変革を受容し、むしろ積極的に変革を推進すること。既存利益団体を守る制度から新利益団体が参入しやすい社会制度、法制度への移行（既存規制の撤廃と新監視ルール・制度の強化・創設）。 脱原発を早期達成すべき理由 (1)原発事故は一度と同じで被害が甚大で想定不能であり、受容限度を超える。事故のデインジャーは倫理的道徳的に許されない。いかに安全対策を施しても事故は起きることを前提に新たな追加安全対策をとらなければならないというエンドレス循環に落ち入る。だから、結局事故を防止するには、原発をゼロにする以外に解決策はない。今即すべてを廃炉しても今後10万年の間、子孫に負の遺産を残すことになる。だから今後原発を運転したり、増設することはもってのの外である。 (2)高レベル放射性廃棄物は、10万年後の将来まで管理が必要である。我々人類が責任管理できない長期に及ぶ。現状を観ると、大量の廃棄物が貯まっているにもかかわらず、未だ最終処分場所も見つかっていないお粗末である。これ以上廃棄物（使用済み燃料等）を増やすのはもってのの外である。 (3)各種自然災害はもとより、サイバーテロ、武力テロ・戦時の標的、ロケット・飛行機の墜落、突発的な精神的・肉体的異常による作業員の故意または過失操作等等、あらゆる事故発生原因に対しての対策が必要であるが、実際には十分な対策実施は困難と言える。 (4)原発と核燃サイクルの全体システムは原爆を作る材料と人材、システムを確保する裏の対策であり、これらは人類が持つべきでない技術と物質である。世界の核廃絶を目指すことを方針とする日本にはマッチしない。 核爆発の潜在力保持が目的なら、別途堂々と国民的議論を行い、国民合意のもと目的限定的な対策がとられるべきである。 (5)安全神話からの脱出が本当にできるか？　政府・電力会社・学者・メーカー等原子力村の住人は、大飯原発再稼働の説明にみられるように安全は確保できていると主張し、安全神話から脱出できていない。現実には、利益共同体だけで結論を下し、国民に対しては、ただ安全を確認済みであると叫んでついて来させようとしている。 本来、原発の危険性（デインジャー：想定できない有りうる危険）、放射能物質、使用済燃料等の問題は広く国民の間に公開し透明化し、議論を尽くした上で、方針・結論を出すべきである。 (6)原子力村の解体は無理ではないか？ 本来は、原子力村の解体と独立性の高い新規制・監視組織の構築が必要である。 しかし原発は超・長・ビッグビジネスであるために、利権構造、利益共同体が生まれる。 金で強固に結ばれた「政・官・財・学・（マスメディア）」が再結集するだろう。現にその動きがある。原発が存続する限り、また原子力村は蘇生するだろう。 新しい安全規制庁の委員候補案が細野大臣から発表されたが、規制を受ける事業者からの委員が5人中3人もいるではないか。これでは安全規制に手加減をする恐れがあるではないか。最低2人程度の委員は脱原発反原発の意見を持つ人を選ぶべきである。 (7)政府は「原発依存度をできる限り減らす、これは福島事故を踏まえた政府の方針である」と言っているので、20～25%案は現状実績値26%との差異がほとんどないため、この案は政府方針に適合しているとは言えない。 (8)説明資料では、原発事故が起きた場合の社会的費用は「1．7円/kWh を下限として試算」とした記述されていないが、これは問題である。下限ではなく、最大想定値あるいは、最大想定値と下限値の平均値等を記述すべきである。また原発立地交付金、原発事故対策費用、賠償金にかかる金額を明示すべきである。さらには仮に東京都に放射能が流れてきたら3，500万人あるいはその内半分の人々が、福島事故のように長期に避難せざるを得ないとして、試算したケース等も例示すべきである。

19285	個人	無職	60代	男性	原発事故の賠償や原発の安全性の確認等が行われていないので、原発依存率0%シナリオを目指すべき。	理由 〇理念 東北震災復興を中心に国全体のエネルギーを検討する。地域の「持続可能な開発」として、地域の農村・漁村等の復興、再構築がなされる「エネルギー・環境戦略」であるべきである。国としてリッチではなくとも、真の幸福を目指す、都市と地方の新たな関係を構築する契機となるような、屋台骨とする。 〇再生可能エネルギーの可能性を、詳細に検討する。 太陽光発電、風力だけでなく、小水力、地熱、バイオマス等を詳細に検証する。又、導入のための、イノベーション、行政インセンチブを踏まえて検討する。 〇火力 0%シナリオでの火力の割合が高すぎる。揚水発電など従来型水力発電の可能性を検討する。 〇原発の核廃棄物処理についても、処分場所等の処分方法やコストを踏まえて検討する。
19286	個人	会社員・公務員	30代	男性	福島の原発事故以後の利益優先の電力会社の対応、政府のスタンスでは原発の持つリスクを回避出来ない事が明確になりました。 そもそも未完成の技術である事も含め依存率0%を望みます。	福島の原発事故以後の利益優先の電力会社の対応、政府のスタンスでは原発の持つリスクを回避出来ない事が明確になりました。 そもそも未完成の技術である事も含め依存率0%を望みます。 経済的な観点からしても、原発を動かす事での金のばらまき、放射性廃棄物の処理、あってはならない事ですが万が一での事故後の保証、処理などに関する費用を考えるとそれらに使われているお金が電気料金が高い要因であり、高い料金を練って海外での事業展開を余儀なくされている企業があると考えます。 「原発が動かなくなる→電気が足りなくなる」といった話が聞かれますが、それも電力会社の一方的な見解を受け入れざる負えない状況の中で組み立てられたロジックに過ぎないと感じています。 ※こうした状況を変える為にも一社独占の電気供給ではなく、多様な電気会社が参入、消費者が選択出来る電気供給システムに変えていく動きも同時に必要であると思います。 現状でも家庭電気料金には「再生可能エネルギー発電促進賦課金」と「太陽光発電促進付加金」といった費用を各家庭から徴収しているが、そういったお金がどういったものに使われているのか、徴収によりどのように変わっていっているのか示されているのでしょうか？ 電気は必要です。 ですが、現電力会社でないといけない事も原発でしか電気が得られない訳でもありません。 日本としても新しいスキームを作り出し、世界に指し示す事がジャパンブランドを高め、経済効果を上げる事に寄与するものと考えています。 現状の日本は歴史上最大規模の原発汚染をしたにも関わらず、何の対応も救済もビジョンも指し示せない無能な国であると評価されているのではないでしょうか？ グローバル社会の中で恥度を示せない事は国としての弱さに繋がります。 もろろん、日本国民としても信用出来るものではありません。 震災、原発事故後も同じ価値観しか示せない日本である事に未来はありません。
19287	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発関連施設はすべて停止すべき。電力は自然エネルギーからによるものへ切り替え、原発にかかる税金をそちらへスイッチしてほしい。	先の大震災において、福島原発が周辺他国にまで、放射能を巻き続けていること。それ以外の地域においても、微量とされるものの放射能が漏れていること、また、使用済み核物質の保管など、自分たちの世代からさらに下の世代へ、処理すべきものを抱え込む、問題の先送りが目立つ。 日本の科学力は、あのような事故を起こした後でも世界で有数のレベルであると思う。そのカを自然エネルギーの開発に注ぐなら、ふたたび世界をリードすることができるのではないかと思う。 原発関連で亡くなった方のためにも。
19288	個人	家事専業	70代	女性	原発は即時撤廃を指示します。	2030年ではなく、即座に禁原発を希望します。今後、化石燃料以外を使うエネルギーはなるだけ減らして、価格は現在の二倍くらいまでの範囲に収まる形で、代替えエネルギー（自然エネルギー）を可能な限り進める政策への転換を、政策で選ぶべきです。宜しくお願いします。
19289	個人	その他	70代	男性	子と孫の未来を奪う原発の再稼動はすべきでない。ただちに原発の廃炉に着手すべきである。	生命を引き継ぎ、次代に継承する使命を持つ者として、生命の永続を危機に曝す原発は原爆とともに認めることは出来ず、すみやかに廃絶すべきだと考える。 この間の政府の施策は「国民の生命と安全」を守るという国家存立の理念の欠片もなく、目先の対処と日本経団連などの脅しに屈して追従するばかりであり、許すことが出来ない。 いま、着手しなければならないのは、「収束」していない事故の原因と責任の糾明、廃炉であり、被災地の復興である。 この緊急の課題は、「消費増税」に政治生命を賭ける野田内閣によって片隅に放り出されている。 再稼動に当たって取れもしない「責任を取る」と大言壮語しても、誰も信用していない事実に気付かない「裸の総理」であってはならない。 民意を聞き、民意に従う政治を切望する。
19290	個人	会社員・公務員	30代	男性	全ての原発の新規建設を禁止せよ！ 既に存在する原発の最稼働を一切禁止し、廃炉にせよ！ 速やかに火力発電所を建設し、老朽化する火力発電施設に対する備えをすべき。 地熱発電の実用化に力を入れよ！	全ての原発の新規建設を禁止せよ！ 既に存在する原発の最稼働を一切禁止し、廃炉にせよ！ 速やかに火力発電所を建設し、老朽化する火力発電施設に対する備えをすべき。 地熱発電の実用化に力を入れよ！ 東日本大震災にともなう原発事故後、電力会社、政府等の原子力関連の主張は一切信用できないことが明らかになりました。 原発のようなとてつもなく危険が施設は即座に撤去しなくてはいけないと思います。
19291	個人	その他	50代	男性	2030年までには原発依存をゼロとしてください。	世界で津波の被害にみまわれる危険性のある原発の8割が日本に集中していると言われます。もう一度福島のような事故が起きたら、日本は誰も住めない国になってしまいます。遅くとも2030年という期限を切って、代替エネルギーの開発を進め、原発から脱却すべきです。
19292	個人	無職	40代	男性	原子力による発電はすべきではない。 また、中長期的な観点からの電力需要における原発の再稼働もすべきでない。	原子力による発電は原発の構造、地震、津波など、不安定な要素が多い。 事故がおこった場合の被害は、生命の危険にまでおよび、とても電力と天秤にかけられるようなものではないと考えます。 原子力による発電はないものとし、そのうえで安全で効率のよいエネルギーへの転換をのぞみます。
19293	個人	無職	80代以上	男性	シナリオ(1) ※限りなく早い時点で、原発をゼロにしてください。	シナリオ(1) ※限りなく早い時点で、原発をゼロにしてください。原発は、できる限り、動かさない。できるだけ早く、廃炉への処理を始める。もんじゅの研究はやめる。原発立地場所への補助金はそのまま続けてもよいです。その分、原発への依存を下げる方策を、最大限に施行してください。
19294	個人	自営業	40代	女性	原発はいりません。 既得権、一部の方の富のために国民を犠牲にする政治のやり方は今すぐ やめてください。	その政治のやり方は なんのために政治があるのか なんのために人間が生きているのか まったくわかっていないからです。 自分のためだけに生きている ということにほかならないからです。 地球を残したくはないでしょうか？ 子どもたちの笑顔に心ゆさぶられないでしょうか？ 心ある方向へみんなでいきましょう。
19295	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	原子力から再生可能エネルギーへの転換過程において、現行の基幹エネルギーである石油の高効率利用と資源確保を確実に実行し、エネルギーの安全保障を確保する中で、エネルギー転換を進めることが重要。	東日本大震災では、電気・ガスが使用不可能となる中、石油は被災者の安全・安心を守り、被災地の復興と電力の安定供給を支えるエネルギーとしてその重要性が再認識された。 一方で、石油の国内需要が年々減少する中、サプライチェーンは縮小・疲弊し、緊急時に頼れるエネルギーがなくなる社会に向かいつつある。そこで、これまでの脱石油政策を改め、一定量の石油を効率的に使う政策に転換する必要がある。 今回の「エネルギー・環境に関する選択肢」を受けた「エネルギー基本計画」の策定にあたっては、国民の安全・安心を大前提に、国内災害等の緊急時を含めた安定供給の確保を最優先課題として、経済成長と環境適合性の両立を図りながら、検討することが重要と考える。 その際には、「石油」は利便性・可搬性・貯蔵性に優れたエネルギーであり、緊急時対応の観点から、日本の経済社会を支える基幹エネルギーである「石油」を分散型・自立型エネルギーとして明確に位置付け、省エネ・省発電力対策に向けた高効率利用の技術開発とともに、資源確保を確実に実行し、エネルギーの安全保障を確保する政策を推し進める必要がある。 同時に、国民負担の軽減の観点から、市場における効率的なエネルギー選択を促すため、石油・ガス・電気などエネルギー間の公平な競争促進に向けた環境を整備することが重要である。 以上
19296	個人	無職	70代	男性	安全な生活ができるようにゼロシナリオを支持します。	原発をやめれば次のエネルギー開発せざるを得なくなるため、日本の技術開発も更に向上すると思います。
19297	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原子力発電所はもう必要ない。真の豊かさは政治や経済にコントロールされるものではない。	これまで、何のためらいもなく電気を使ってきました。 今も夜になれば電気をつけ、暑くて眠れないときは冷房をつけ、お風呂にも入れば、ご飯も炊きます。電気がある生活がこれほどまでに便利で重要かを改めて考えます。 世界中どこを探しても安全性が確立された発電所はないと思います。それでも人は電気の恩恵を受けています。しかし、今回の震災で原子力発電所の本当の恐ろしさを知りました。原子力を使うということは、場合によっては一瞬にして生活を破壊されるということ。原子力発電所と原子爆弾は使っている仕組みは全て同じだということがよくわかりました。日本という国は、地震が起こります。海に囲まれているので津波も起こります。果たして、そんな国が原子力発電所を所有することは正しいのでしょうか。 私には子供が2人います。この子たちの未来を作るのは今の大人たちであると思います。未来永劫、日本がいつまでも豊かで安全な日本国であるために今が変換時だと思います。日本には優れた科学者が山ほどいます。また世界には原子力だけに頼らず豊かな生活を送っている先進国もあります。政治や経済といったしがらみなしで、日本という国が安全で真の豊かな生活をこれからも送れるために、国民もまた協力し合わないといけないと思います。そして唯一の被爆国としての立場から原子力発電所に頼らずとも生きていける日本の姿を世界に示すべきであると切実に思っています。
19298	法人・団体等	法人等	60代	男性	ゼロシナリオ、15シナリオ、20～25シナリオ、全てに反対する。原発を危険視してGDPを押し下げてはならない。事故を教訓として、より安全な原発を作り日本の経済を真に活性化すべきである。	震災前(2010年6月)に制定されたエネルギー基本計画では、2030年までに少なくとも14基以上の原発の新増設(54基→68基)を行い、原発依存度45%まで引き上げるとしていた。 経団連は7月10日、上記3つの選択肢全体に反対する見解をまとめた。 いずれの案も、政府の成長戦略と整合性がなく、再生可能エネルギーの普及も予定通り進むか疑問で、電力料金の値上げなど経済への悪影響を当然視している。「議論の前提条件がおかしい」 具体的には、昨年末に閣議決定された「日本再生の基本戦略」は2011～20年度まで名目3%、実質2%成長を目標にしているのに対し、各選択肢は実質経済成長率を2010年代に1.1%、20年代は0.8%と低く想定されており、矛盾している。 これはエネルギー需要量を低く抑えるための悪質な数字操作であり、政府の成長シナリオが実現すれば電力が大幅に不足する。 政府は4つの研究機関・大学が分析した試算結果を公表しましたが、いずれも実質GDPが押し下げられる結果となっている。 こうした原発ゼロリスクに加え、消費税増税、復興増税などの増税ラッシュも、不況の要因となり、確実にGDPを押し下げ、失業増大の原因となる。今日本に必要なのは原発事故から逃げることではなく、事故から教訓を学び成長することである。
19299	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオを選択します！ 原発の新規建設を禁止せよ！ 既存の原発の最稼働を禁止し廃炉にせよ！ 速やかに火力発電所を建設し、老朽化する火力発電施設に対する備えをすべき。 地熱発電を実用化せよ！	ゼロシナリオを選択します！ 全ての原発の新規建設を禁止せよ！ 既存の原発の最稼働を禁止し、廃炉にせよ！ 速やかに火力発電所を建設し、老朽化する火力発電施設に対する備えをすべき。 地熱発電の実用化に力を入れよ！ 東日本大震災に伴う原発事故後、電力会社や政府が原子力政策について一切信用ならないことが明らかになりました。 原発のような生命を脅かす極めて危険な施設は即座に撤去すべきです！
19300	個人	自営業	30代	男性	即時、原発ゼロを主張する。 不完全な核燃料サイクルを続け、土に帰らない使用済核燃料の地層処分は 身勝手きわまりない行動で言語道断。 これ以上使用済核燃料を増やすべきではない。	原子力爆弾の被害を受けた唯一の国である日本が、 さらに福島の原発事故を経験した後も 原発に依存するのは国としてあるまじき行為。 自分たちの世代が多少の犠牲を払ってでも、 後世に原発ゼロの日本を残すべきである。
19301	個人	無職	60代	男性	原子力発電を推進すべきである。	資源小国である我が国自前で調達できるエネルギーは、自然エネルギーと原子力エネルギーだけである。(メタンハイドレート対象から除く) 自然エネルギーは周知のとおりエネルギー密度が薄い物殆どがであり安定的な供給は望めない。比較的安定している水力発電、地熱発電も原子力エネルギーに匹敵するだけの供給は望むべくもない。 原子力エネルギーはこの度不幸な人災を引き起こしたが、これにより技術的知見、制度の欠陥、施設保安基準の欠陥など膨大な知見が得られたはずである。 この度の事故も全電源喪失を考えに入れていない設計に起因し、それにオペミスが重なって発生した事態であると考える。 不幸な事故であるが幸いにも死者が出ることはなく現在まで16ヶ月が経過している。 これまでに得られた各種知見を活かして新設の原子炉に適用すべきである。 また、プルトニュームが介在することのないトリウム炉など作動課程が異なる炉も研究する価値がある。 このまま原子力エネルギーから手を引くような事態とされば我が国の安全保障の根幹が揺るがせられることになる。 断じて原子力エネルギー事業から手を引くべきではない。 唯一の被爆国である我が国が、原発事故の知見を活かした改良型の炉を氏揃すれば世界各国はその技術と自信を評価するであろう。 有望な輸出産業となるであろう。 但し、プルとニューム抽出を伴う核燃料サイクルは早期に取りやめる必要がある。高速増殖炉研究は放棄し、MOX燃料でプルトニュームを処分することも必要である。 なお、多少の量のプルトニュームを保管していることは安全保障の交渉カードとなる可能性があると考える。
19302	個人	会社員・公務員	60代	男性	原発比率20%～。将来、地球規模で悲惨な貧困・飢餓をなくするには原子力エネルギーの活用以外ない。指導する行政、事業推進者、受益者の国民が協力して正しい進め方をできれば、この度のような事故にはならない。	原子力活用は、そのエネルギーの桁外れの大きさのために扱い方に危険性が伴う。残念ながら現在の科学技術は、コントロールが未熟で大きな難しい対策を必要とする。それ故に多くの反対者が常に存在する。これまで、この技術の開発と活用において推進者が反対者を始め、全ての受益者に正しく知らせ、出されてくる多くの不安に応えることを怠ってきた。それが現在の国民的な不信・嫌悪を生み、その結果として福島原発のような大事故・大災害を招いた。 今回の事故についての調査を徹底的に生かし、行政は安全に対しては最大限の対策を取り、推進者は厳しくそれを実行していく体制、運営方法を確立しないといけない。そのためには、安全対策には採算を度外視しても費用をかけて徹底的に確実に実施していかねばならない。そうすることで、原子力の活用が成功すれば、足元のコストが掛かっても、その莫大なエネルギーが受益者すべてに利益をもたらすことになる。 扱う人間の不完全さや原子力の危険への恐怖で原子力の活用を断念することは将来の子孫のために大変な損失となる。私たち日本人は、原子力の活用において科学、政治、文化を真剣に進歩させ、世界にその恩恵をもたらす使命が有る。先進国が、その科学技術と政治文化によって脱原発で済ませようとするのは、それができないで飢えと貧困に苦しむ世界にとっては、自己本位のエゴである。科学技術の進歩が、今後さらに莫大な自然エネルギーの活用技術も進歩させるであろう。 更に言いたいことは、今原子力活用を放棄するならば、曲がり角にある日本の経済を沈滞させ、先進国から早晩脱落するのではないか。これも、絶対避けないといけない。
19303	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロシナリオ」	即時0%を希望します

19304	個人	家事専業	50代	女性	1）脱原発案 「意思を持って原発をゼロにする」に賛成です	1）脱原発案 「意思を持って原発をゼロにする」に賛です。 A.原発に反対する理由 1・チェルノブイリ事故をみれば分かるように、放射線で汚染されるとその土地に人が住めなくなります。被ばくすると深刻な健康被害が子供、孫、その先の子孫にまで出ます。人間のすることに「完璧」はありません。これからも事故は起きます。地震の島の上に原発を作ったこと自体が間違いでした。 2・原発を動かす人も被ばくします。原発は周りの海を温めてしまいます。核廃棄物も危険な物質です。 B.これからのエネルギー 再生エネルギー　35%について 太陽光発電、洋上風力発電、地熱発電、波力発電、海水温度差発電、小水力発電などへの国からの研究費を多くし、効率の良い発電方法を開発してほしい。 原発から自然エネルギーに移行する過渡期には不足分を天然ガス発電で補えると思います。 C.発怨電分離は絶対に行って下さい。 競争によってサービスが向上し、電気料金が外国並みに安くなると思います。市民が選びたい自然エネルギーが育っていくと思います。 以上、宜しくお願い致します。
19305	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオを選択としたいです。原発停止は直ちに行われることが大事だと考えます。	廃棄物処理もままならず、一度事故が発生すればその対処に何十年もかかり、地域の復興も見通しが効かなくなるようなエネルギー源に依存している状況からは早く抜け出すべきです。原子力発電所の事故の場合、地震や津波による被害と異なり、生命全体に対する継続的な危機が伴います。今回の地震・津波は想定外の天災でしたが、そのようなことは、この日本ではまたいつ起こるか分かりません。原発事故が複数同時に発生した場合、日本国の存続自体が危機に陥ります。 今回の事故をきっかけとして、しばらくの間は国外から電力を輸入してでも、クリーンエネルギーへの国家的取り組みに向かい、クリーンエネルギーの先進国として進むことができるのではないかと考えます。エコ・カーなども、国家的規模で推進できないのでしょうか。
19306	個人	その他	30代	男性	原子力発電を全て辞めて、核のゴミや核燃料を無くしていく努力を望みます。	東京電力の福島第一原発事故がきっかけでエネルギー政策や原子力発電の存在自体に、多くの方々が疑問を持ち始めました。 しかし、福島第一の事故以前より、東海村などの事故もあり、これまでも事業全体での事故や問題は様々にあり、その事実を政府や電力会社はマスコミと結託し矮小化していました。 技術的に核のゴミの処理もままならない、後片付けまで考慮すると原子力発電とは不可能技術なのは内閣府の皆様も当然ご存知と思います。 廃炉に向けての危険な作業も含め、尻拭いを後の世代に残してしまうしかない。 そんな業の深い行いは改めて、より安全な火力を安価で提供できるよう政府と電力会社は努力すべきであり。さらなる自然エネルギーの効率的利用を可能にするよう、国策として科学を推進して下さいます。 私は郷を捨てたくはありません。
19307	個人	家事専業	30代	女性	「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張します。 《政府は本腰を入れて再生可能エネルギー開発に尽力すべきでは》	経済より命を優先します。 これから日本の底を支える世代として、経済よりも命を 子供を最優先します。 子供を最も大切にしない国は国として成り立ちません。 再び事故のおこるリスクは減るどころか増す一方なのに ハイリスクな賭けに付き合う程、自分や家族の命を粗末に扱いたくありません。 福島の原発事故はまだ、終わっていません。 それがわかっているのに まともな対策・情報公開しない国のやり口にも全く信頼性がありません。 現実味のあるまともな対応やリスク回避の対策をしないうちに 原発を再稼動させるそのやり方からすれば 「即刻　原発ゼロ」は至極まっとうなことではないでしょうか。 また、日本人は素晴らしい発想と技術力を持っています。 もっと安全で誰も不幸にならない再生可能エネルギー開発に力を注ぐべきです。 あまりにも原発に固執していると、それはいいては日本の不利益になるのではないでしょうか。
19308	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	太陽光	太陽光発電 核エネルギー依存率低下
19309	個人	無職	60代	女性	(1)ゼロシナリオ	昨年の未曾有の大災害で福島の原発があんなひどい事になったにも関わらず、政府は色々と隠し事をしたり、そんな中で又大飯原発を再稼働するなど考えられません。 私のように先の短い者にはどうでも良い事なのかもしれませんが、これから将来を生きる子供達、孫達の事を思うと黙っていることは出来ません。 将来は原発ゼロを目指す政策を希望します。
19310	個人	会社員・公務員	30代	女性	「原発ゼロシナリオ」	使用済み核燃料の処理方法がないのに、どんどん原発を動かしてどうして行くつもりなのかと思う。また事故が起こっても誰も責任を取らずにおかしいと思う。徐々にエネルギーの転換を図って欲しい。
19311	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原発ゼロシナリオを選びます。	太陽光など自然エネルギーを推進してほしいです。
19312	個人	パート・アルバイト	40代	女性	0%を選択します。	ヒロシマ、フクシマの悲劇で終わりにしたい。 今の私たちには、我慢ことが必要です。
19313	個人	自営業	60代	男性	原発ゼロシナリオを選びます	原発ゼロシナリオを選びます。 使用済み核燃料を、さらに増やすことは、人類への危険を増大させます。 すぐにやめねばなりません。
19314	個人	会社員・公務員	30代	男性	放射能に脅かされない安心な生活を目指すには、「ゼロシナリオ」を選択するしかありません。	放射能は、一度外に出るとどうすることもできず、私たちの安心な生活に多くの危険を及ぼします。そんな危険な放射能から安心な生活を守るには、「ゼロシナリオ」しかないと考えました。
19315	個人	自営業	20代	男性	国会議員、官僚の縮小。原発いらない！	子供の未来。 地球の未来。 日本の未来。 綺麗にしよう。 いろんな考え方を認めよう。 お金のサイクルにのまれないでいよう。 国は人。 電気でも、お金でもない、ひと。 先祖から受け継いだ、日本。 いいや 未来から預かっている、日本。 大切に次の世代へ。
19316	個人	会社員・公務員	30代	男性	原子力発電を全て辞めていただきたいこと。そのために電力に自由化と会計方式の変更、発送電分離をお願いしたい。	原子力発電を全て辞めていただきたいこと。電力会社の電力自由化を促進してほしいこと。発送電分離を必ず実現させること。電力会社の会計方式を見直していただきたいこと。廃炉への学者を養成する国策を打ち出していただきたいこと。クリーンエネルギーを国策で推進してほしいこと。 私は大飯原発50キロ圏内に住んでおります。 万が一と考えるとぞっとします。 よろしくおねがいします。
19317	個人	無職	60代	女性	政府から、原子力を0、15、25と案が出されていますが、選択の前に日本のエネルギー問題を、どうすればよいのか？自国に資本が無く、経済の問題もあり、という状況下で、という議論を、国民全体で、と思います。	ネットもいいけれども、使えない人も居るので、町会とか、皆の声が届くような、システムがあったらいいと、やってられないではなく、ちゃんとした説明もほしいと思います。ただ間雲に、原子炉反対ではなく。将来をきちんと考えられるような、システムがあれば良いなと思います。3つの中から選ぶなら2を選びます。
19318	個人	その他	50代	女性	エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見です 「2030年に原発0」のゼロシナリオを支持します。 しかし本音では「即刻、原発0」を主張いたします。	6才の子供がおります。福島での原発事故から、現在、帰宅困難地域、つまり一生故郷へ戻れない方が大勢いらっしゃることに非常に悲しみを感じ、同じような年頃のお子さんを持つ方のお気持ちを考えるといたたまれません。大飯原発、志賀原発、敦賀原発直下の断層も発見されたいま、早急にすべての原発を廃止、廃炉への道を歩く出すことをお願いします。
19319	個人	自営業	40代	女性	エネルギー基本計画について。 「原発ゼロシナリオ」しか考えられません。	安全神話が壊され、あれだけ大きな被害を出し、未だ被害を受けた方々が以前の生活に戻れていない状態であるのに、それでもまだ原発を考えている事が不思議でなりません。 生物や地球にとって恐ろしい物を廃棄、処分するすべも無いのに、 なぜこのまま原発を動かさるのかが解りません。 エネルギーが足りる、足りないの問題以前に、例えエネルギーが足りなくても原発無しに考えるべきではないでしょうか。 自然エネルギーが豊かで素晴らしい技術を持つ日本が、その気になれば、自然エネルギー100%にする事が可能であるという事も証明されているのに、なぜそのように動いていかないのでしょうか。 温暖化防止の為に原発が必要なのではない。 脱原発と温暖化防止は、その気になれば両立出来るのです。
19320	個人	会社員・公務員	40代	男性	放射性廃棄物の最終処分場が決まらない現状を考えても、「ゼロシナリオ」しかありません。	放射性廃棄物の最終処分場をどこの自治体も受け入れない以上、原発をこれ以上稼働させることはできない。このままいけば原発周辺が放射性廃棄物の「ゴミ屋敷」となることは必然である。まして や、福島第一原発の廃炉によって発生する廃棄物はどうするのか？　津波に飲み込まれてできた瓦礫のようにどこかの自治体が受け入れてくれるのだろうか？　日本は高度経済成長のさなか、多くの公害を引き起こしてしまった。放射性廃棄物は、歴史上最大の公害をもたらす。これ以上愚かな過ちを繰り返しては、公害によって苦しみ、亡くなっていった人々に顔向けできない。
19321	個人	その他	50代	男性	「原発ゼロシナリオ」。大飯原発を今すぐ止めて即原発ゼロにする。日本のエネルギーはLNGの確保などをすすめながら自然エネルギーにきりかえる。原発廃炉と放射能処理を省庁再編含め国内外の知恵を集めすすめる。	大飯原発をすぐに止めて原発ゼロをすぐに実現する。福島県の原発事故で明白になったが、地震列島日本に原発はおけない。もともと原子力発電は放射能制御に未熟でエネルギーとして利用できる代物ではない。それがはからずも今回の震災で明らかになった。それもおびただしい放射能をまきちらし、福島に帰るところもてない何万人もの人びとをうむなど最悪の状況をつくりだしてだ。一刻も早く原子力発電はやめる。廃炉と放射能処理に専門の省庁をつくり、国の内外の知恵と力を集めて対処することを求める。国策として原子力発電をすすめきたのだから、国策として原子力発電の廃棄にあたる。廃棄にあたっては原子力政策をすすめ利益を得てきたものが負担するのが当然です。その費用は原子力発電で利益を得てきた大企業集団に負担を求める。今後のエネルギー政策は省エネルギーとLNGなどの確保をすすめながら自然エネルギーに大きくシフトする。国策として自然エネルギー推進をすすめるのが日本の生きる道だと考える。
19322	個人	無職	70代	男性	ゼロオプション選択(1)福島事故同様の、超危険な事故が今後も続く。(2)近年の日本では二千ガル～の地震が多発しても、開もなく次の大地震がある。(3)平常運転時でも放出された放射性物質が癌等を発生させている。	私はゼロオプションを選択します。 全ての原子力発電所を無条件で直ちに廃止することを求めます。 原子力発電所は地球上のすべての人・動物・植物を短期間のうちに絶滅させる可能性を持つ、諸悪のカタマリです。 そのことが3．11福島発電事故で証明されました。 福島第一原発4号機の燃料プールが破損して、冷却が出来なくなり、全地球的な・破滅的な放射性物質の大量放出が起こる可能性があるのです。 このような悪と引き換えてでも原発を動かしたほうがよい理由など、全く存在しません。 原発の数多くの問題点のうちの四つについて考えます。 (1)複雑で大きな装置・設備は大きな事故を起こします。2011年1年間に分かっているだけで世界と日本で15件の航空機事故があり353人が死にました。飛行機は安全第一に作られているにも関わらずです。 スリーマイル島原発事故、チェルノブイリ事故、福島第一原発事故は1979年から2011年までの32年の間に起きたのです。発生頻度は約10年に一回です。 このほかに、日本ではもんじゅ事故(1995)、美浜原発事故(2004)、柏崎刈羽原発事故(2007)など分かっているだけで1973年から約40年間で17件の原発事故が起きました。 これからも原発事故は起き続けます。 (2)福島では500gal(ガル　地震の揺れの強さ)の揺れで配管が破断してメルトダウンした。日本では近年それよりも大きい揺れの地震が多発している。(鳥取日野町 1482gal 、宮城鳴瀬町 2037gal 、新潟川口町 2515gal 、新潟柏崎市 2058gal 、岩手一関市 3866galなど) 日本は阪神大震災(1995年)以来地震の活動期に入った。どこで大地震が起きてもおかしくない。(作家・広瀬隆さん講演 2012.3.20) 地震には地面が揺れて起こる被害と、活断層により土地がずれてしまう被害の2種類があります。土地がずれてしまえば、原子炉本体が破壊に伴ってあったとしても、それに関係なく、配管その他が壊れてしまいます。 日本の原発のほとんどは活断層による被害を受ける地形にあります。(渡辺満久さん・東洋大学教授　地形学　2012.6.6 毎日放送ラジオ) (3)原発は平常の運転時でも放射性物質を大気中に放出しています。 ・米ペンシルバニア・シッピングポート原発の運転開始後10年間で、周辺のミッドランド市では、がんの発生率が184%増えました。 ・米国の原発7基の周辺160キロでは1954年～1989年に乳がんによる死亡率が5倍になりました。全米平均は2倍。 ・イギリス・トロースネイズ原発周辺のフェスティニオグ村の乳がん発生率は全国平均の15倍です。。 (4)福島県などで政府が測定・発表している空間線量は主としてセシウムから出るγ線のみです。 γ線は主として外部被曝の原因となります。γ線による外部被曝の600倍の悪影響があるのがα線、β線による内部被曝です。(矢ケ崎克馬(琉球大学)著 「内部被曝」 岩波ブックレット) 福島の場合、主としてヨウ素、セシウム、プルトニウム、ストロンチウムなどがα線、β線の線源になると考えられます。 外部被曝より、内部被曝を重視するα線、β線の測定怠慢こそが重要です。 福島県が18歳以下の県民38114人を検査したところ、13646人(35%)に甲状腺結節、のう胞が認められました。(週刊金曜日　2012.6.8)　これはヨウ素のβ線による内部被曝が原因です。 「甲状腺の中にしこりが発生することは、将来の甲状腺がんの発生の恐れを示している」北海道・A医師の言葉です。 以上4点を考慮すれば、原子力発電所は即時全面廃止以外の選択肢はありません。
19323	個人	無職	60代	男性	より安定した電力供給のため、原子力発電は必要である。	1）自然エネルギーのバックアップはどうするのか。 　太陽光が十分でない日は火力で補うのか。風の弱い時も火力頼みか。 　結局自然エネルギー10に対し10の補完用火力発電が必要になる。 2）もともと原子力へ依存したのは中東の政治不安。これは今も同じで 　いつ原油の船積みが前面ストップするかわからない。 　国の安全保障の面から考えても、石油・天然ガスにのみ依存するのは 　非常に危険である。 3）自然エネルギー利用時の自然環境に対する影響は。 　日当たりの良い南側斜面を全て太陽光パネルで覆ってしまっても 　問題ないのか。 　風の通り道に風車を建て、その後方にはどんな環境変化があるのか。 4）発電コストの上昇が日本経済に与える影響は。 　特に海外との競争、日本の雇用が守れるのか。 以上の点から、現状では原子力発電がベストの選択である。 最低でも20～25%の核燃料を利用利用しつつ、早急に次の技術革新に 人・物・金を投資すべきである。

19324	個人	自営業	40代	女性	原発ゼロシナリオを選びます。	原発ゼロシナリオを選びます。 福島第一の事件で、いかに原発がおそろしいものか、よくわかった。 食べ物、子供たちの健康、大変心配である。 原発は絶対いらない。
19325	個人	会社員・公務員	40代	男性	東京電力福島第一原発事故で明らかになった原発の危険性から私たちの命を守るには「ゼロシナリオ」しかありません。	原発を続けていくことは、将来の子どもたちにどうすることもできない危険な放射能を残すことになります。使用済み核燃料をどうするかの技術も処分場所も不確定な中で、原発を動かしていくことはできません。 故郷を失った福島県民のことを考えれば、原発をなくすことが重要であり「ゼロシナリオ」しか選択肢はありません。
19326	個人	家事専業	60代	女性	原発比率0%を選択します	海外の国々へ出かけると、自販機のないのに驚かされます。私たちの周りにどれだけの自販機が設置されていることでしょうか？これは果たして便利さを求める、私たち消費者だけの責任なのでしょうか？エネルギーの危機を訴え、消費者に節電を要求しながら、自販機、コンビニなどを含めた不要なエネルギー政策に手をつけないのは片手落ちと考えます。 私もこの夏を乗り切るために、考えうるあらゆる方法で節電を心がけています。これは現代の便利な生活に慣れ親しんだ私たちの、当然の務めだと思っています。 それもこれも、危険な原発の稼働を止めたいためです。この地震列島に原発はもう一基も要りません。
19327	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオを支持します。原子力発電所は全て運転停止し、核燃料を処分する態勢を速やかに整えるべきと考えます。新規増設はしないこと。	地震が以前より多く発生している国内において、原発を稼働し続けることはかなりのリスクを負うものと考えます。福島の事故処理をみていても、新たに炉心溶融に至る事故が起こった場合には対処する能力が疑われます。次世代への負担をこれ以上増やさないためにも核燃料の使用は即時停止し、代替エネルギーへのシフトを進めていくよう希望します。
19328	個人	会社員・公務員	30代	女性	原子力発電所への依存度をゼロにして欲しい	未だ収束を見ない福島での事故を受け、その危険性が明らかになった現状において、人命を後にしてまで、「原子力発電所ありき」の世の中を容認することはできません。 優先すべきは人命だと考えます。それに伴ういかなる問題があったとしても、人命を最優先に考え、解決策を見出していくしかありません。命が失われたら未来はありません。生活のため、事故が発生して、命を失うことになっても仕方ないと考える方もいるのかもしれませんが。しかし、命を失いたくないという人間が1人でもいるようであれば、その意志を尊重すべきです。 また、大飯原発が政府から納得のいく説明がないまま再稼働したことについて、非常に失望しています。もし説明をしていたというのなら、少なくとも私には全く届きませんでした。信頼できない政府の元で原子力発電所が稼働することにも非常に不安を感じます。国民が安心して生活できる未来を作っていただくことを政府に望むのは見当外れなのでしょうか。
19329	個人	自営業	50代	女性	福島の事故は天災ではなく、今後のわたしたちの選択如何で再発を防げる。国民に問うべきは今後も原子力を使いたいか、否かである。使わないなら方法論を、使うなら福島の教訓を活かすことを議論すべき。	東日本大震災以来、昨日と同じ明日が必ず来るとは限らない、と実感しています。地震や津波は、過去に何度も起きている避けられない災害だと言えるでしょう。しかし、原子力発電所の事故は、わたしたちの選択如何で再発を防げる、いわゆる天災とは別のものです。政府は事故を「収束」したものとしてすでに大飯原発を再稼働しました。現在、放射性物質が拡散するような爆発的変化が起こる可能性は確かに低いと思います。しかし、先日の報道では地下にたまった汚染水の放射線濃度は数死量をはるかに超えているようですし、格納容器は損傷している可能性が高く、一部は建屋が破損してむき出しのままです。震災から1年以上が経つというのに、建屋の本格的な覆いも遮水壁の工事も始まっていません。一方、震災後の地震活動は数の上では少しずつ減少していますが、2012年7月現在、震災前平時の1ヶ月平均に対して約2倍の発生が認められます。また福島第一原子力発電所がある福島南部には震災後ほとんど毎日、小さな地震が群発している場所があります。地震観測のデータを継続的に見ていると、日本ほまさに地殻変動の時期に入ってしまったという感じがします。過去の地震活動記録からしても、今後日本各地で大きな地震や火山活動が起こる可能性は高いと言えるでしょう。それは20年後かもしれませんが、明日かもしれないのです。最近の自然環境変化は地震活動にとどまらず、海水温や気流の変化によって世界各地に大雨や干ばつをもたらす気候変動が起き、また大きな竜巻の発生や、台風が大型化したりしています。そんな中で震災以前の安全基準をもとにした原子力発電所の稼働は安全と言えるでしょうか。ひとたび事故が起これば、ただでさえ狭い国土を失い、生活を失い、近隣諸国への保証が必要になる可能性もないとは言えません。「安全」に「暫定」などありえないと、わたしは思います。そのような状態で、経済活動のために再稼働を優先することは、人の命より、安全より、経済を優先すると言っているようなものです。 今回の「国民的議論」について、政府は本当に民意を活かす意向があるのか疑問です。みなさんから広く意見を聞いて（聞かないで決めるとうるさいから ガス抜きのために聞くことにした？）、政府が決める（もちろん民意で決まるのではない？）、というふうに感じてしまうのはわたしだけでしょうか。本当に民意で決めるつもりがあるなら、国民投票で決めるべきだと思います。何を国民投票で決めるか、と言えば、それは将来の発電方法が占める割合を選択する、というものではないでしょう。国民的議論の議題が、発電方法の割合、3つの選択であることの意図がわかりません。そもそも議論の目的は何でしょう。自然環境だけでなく、経済環境も短期で変わる今、18年も先の固定した割合を目標設定にするのはナンセンスです。国民に問うべきは、発電にこれからも原子力を使いたいのか、使いたくないのか？ではないですか。使いたくないのであればどのように減らすのか、どんなふうに0にするか、何年くらいかかるのか、そういう議論になるのが普通だと思います。国の方針として、将来的に使わないことを選択するなら、代替えの開発にもっと時間もお金も使うべきです。では、これから先わたしたちはエネルギーをどうやって得るのがよいのでしょうか。例えば、自治体ごとに地域に合った小規模の発電をする、というのはどうでしょう。その方法を開発することにばらまきの助成をするのではなく、各地でアイディアを募り評議する場を作って企画が通れば資金を出すことにすればお金の無駄使いもなくなります。日本のように様々な地域があってバラエティーに富んだ環境では、まさに多様性のあるエネルギー開発が出来るでしょう。もちろん、最近のように頻繁に大きな災害が起こる状況下では、エネルギーやライフライン全一局集中による分配ではまかなうことはとても危険だと思います。なぜなら、直接災害に遭っていない地域でも、コントロールしやすいる地域が被災すれば、全域で機能不全に陥るおそれがあるからです。広範囲にそれらを分配することは自体がエネルギーの無駄遣いとも言えます。災害が起こったとき、小さな単位でエネルギーや食料、水などが自給出来ていれば不足の部分を近隣で補うことができます。つまり、自立した多様なエネルギーシステムのネットワークによって、エネルギーを自給することを目指す訳です。実現は簡単なことではないでしょう。しかし、何のために何をがまんするのかが明確なら、人は耐えられるものです。ますたくさん作ってどんどん使う、のではなく、今あるものを有効に使ってそれぞれが自立し、かつ速やかな流れで情報を共有する。そんなシステムが作れれば、貧困も国土もさしい日本の未来が少し明るくなる気がします。最後に、もし、将来ずっとエネルギーの生産手段として原子力を使うことを選択するならば、(1)直ちに福島の事故をいくらお金がかかろうとも本当の意味で検証し、安全かつ安定な状態に出来る管理体制を作ること。今現在も実際に現場で働いている方たちは保証が少ない下請け労働者の方が多いと推察しますが、本来安全かつ安定な管理というのは常勤で責任のある方々が行うべきものです。(2)現存する各原子力発電所の安全性を、公開の上で公正に評価し、現時点で継続使用に不適なものはただちに廃炉とするべきです。(3)使用済み核燃料、拡散した汚染物質など、いわゆる核廃棄物の最終処理方法（暫定ではなく）、また廃炉にする場合の工程を明確にする必要があります。この中のどれか欠けても再稼働の前提にはならないし、今後原子力を使い続けるという選択はあり得ない、とわたしは思います。これが、わたしたちが福島から得た教訓です。
19330	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発再開反対！	本当に必要なの？
19331	個人	会社員・公務員	40代	男性	原子力発電所の安全性は、今回の福島の事故で「安全性」が確認された。 よって、おおいに原子力発電を推進すべきである。	今回の福島の事故で「安全性」が確認された。あれだけの大事故にも係らず直接的な死者はいない。また、今後も限りなく0である。 自動車事故により毎年死者がでる。電車により100人規模の死者が出た。飛行機事故で500人規模の死者が出た。バス事故で7人の死者が出た。しかしながら毎日毎日、自動車は走り、電車も走り、飛行機が飛び、バスに乗り込む。 また、船も毎年遭難する。しかしながら、漁船で捕獲した魚介類を食べる。 これだけの危険を冒しながら経済活動をしているにもかかわらず、何ら人的被害の無かった原子力発電は、今後更に推進すべきである。 また、帰宅困難な土地が大量に発生した。しかしながら、水力発電では、ダムに民家が沈み、高速道路や鉄道の建設では、用地買収で住み慣れた土地を離れる人が居る。帰宅困難は、別に原子力発電の事故だけに限らない。 解決すべきは、事故被害を受けたときの賠償責任の所在と、賠償方法の確立である。 問題なのは、原子力発電が止まる事による日本の富の国外流失の方である。 原子力発電所の事故の最大の被害は、日本中に安全性を求める人が大量に発生してしまった事である。生きている事自体が危険でリスクである事を忘れてしまった人たちの大量発生である。
19332	個人	パート・アルバイト	30代	女性	(1)ゼロシナリオを目指すべき。	原子力発電をゼロにしてください。 原子力の廃棄物を処理する事が、適切に出来ないのは、国として無責任すぎる。日本や、地球上の何処にも適切な処理を持つ人はいない。 原子力発電を稼働させて利益をえている人は、一部で、しかも彼らは情報を歪曲している。過去の原発についてのみならず、現在と未来の原発についても正しく周知させる義務があるのではないか。 それらを放棄して、原発による汚染を隠蔽してはいけない。それらに関わっている現在の政界・産業界・金融の関係者は、今から将来的まで永遠に日本を「汚染を輸出する国」と認めていることにならないのか。 バイオエネルギーに革新的な石油をつくる藻類オーランチオキトリウムなど、確実に日本主導の技術を育てることは必要ではないか。無能な大衆をつくり彼らを先導する優秀な人材が、実は無能であることは否定しきれない。 数字のトリックで原発の存在を肯定せずに、科学的に未完成な原発を処理する事を真面目に取り組む姿勢を見せてほしい。
19333	個人	自営業	30代	男性	原発ゼロシナリオでお願いします。	1歳の息子がいます。日本子供達に健康な未来を残す為に、原発はゼロにして再稼働はしないでください。 青森県に住んでいます。再処理工場の廃止を お願いします。 青森県は自然もいっぱいあるし、日本一の生産をほこる食べ物もいっぱいあります。お願いなので廃止にして下さい。 再処理工場が本格稼働すると、また引越しなきゃいけません。 せっかく、子供ができて地元青森に帰ってきて、孫と一緒にいて両親にも、やっと親孝行できたと思ってたところなのに・・・原発ゼロシナリオでお願いします！
19334	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原発に頼らない、お金に頼らない、誰も苦しまない、楽しい「原発ゼロ社会」を実現しましょう！	昨年の震災をきっかけに、地震大国において100%安全な原発はありえないと知り、それまでエネルギーに関して人任せで関心だったことを心から反省しました。 そして、今まで原発の多大な恩恵を受けてきたことに心から感謝し、これからは国民1人1人が考えて選択できるようになれば、原発に頼らない社会が自然に実現するのではと思うようになりました。 自然エネルギーだけで十分電力をまかなえることを国民は知っています。 なぜ私達国民は原発社会を育て上げてしまったのでしょうか。 それは、原発を推進する理由が「人間（国民）にはお金が必要だ」という幻想から来ているからです。多くの国民が今でもお金がないと生活できないと信じています。 でも、お金は本当に必要でしょうか？お金があるから「私のもの、あなたのもの、私の仕事、あなたの仕事」という所有の概念が生まれます。 最も進化した社会では、お金がなくても豊かな生活が送れます。実際は、世界中の人に十分に行き渡るほどの食糧も住居もあります。 全ての人が無償でものやサービスを今必要な分だけ与えあうので、貯める必要がなくなり、老後や家のローンや子供の教育費を心配することもなくなります。 お金がなくなった世界では、テクノロジーはより高度でより自然に調和したものになります。労働時間も減り、犯罪や病気が激減します。 このことに1人でも多くの国民が気づくことができたら、これまで国民のために一生懸命原発を研究・開発してきた科学者や電力会社や政府関係者の方々の苦労や努力に対する批判・非難は無くなるはずです。そして、自然エネルギーに切り替えるために必要なもの全てを無償で提供するでしょう。 政府や電力会社を批判したり、原発反対デモをしている人達はまだ気づいていません。自分達が作り上げてきた原発社会に文句を言うという矛盾に気づいていません。批判・非難は、自分を正当化して問題を人のせいにすることり依存から出てくるものです。あり余ったエネルギーは、戦いに使うのではなく、もっと生産的なことに使われるべきです。 そして、被害者は人間ではなく自然です。責任をとるのは政府でも電力会社でもなく、自然に生かされている私達人間1人1人です。 100%自然エネルギーに切り替えるために必要なもの・手順や問題点など全てを公開して下さい。 批判・非難は全て流してもく大丈夫です。私達は誰も責める資格などないのです。 原発を推進してきた政府関係者や電力会社や科学者の方々は、もうこれ以上苦しまなくても大丈夫です。責任を抱え込まなくても大丈夫です。 あとは国民1人1人に選択肢を与えて、政府に依存せずに自分で考えて選択させて下さい。そのためには全ての情報を公開して下さい。 きっとすばらしいアイデアや技術やアクションが沢山生まれてくるはずです。 みんな同じ目線であれこれ楽しく話しあいましょう。 一緒に原発ゼロ社会を育てていきましょう！
19335	個人	会社員・公務員	30代	女性	(1)原発ゼロシナリオ	「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張します。 原発で事故が起こった場合、電力会社・政府共にまともな対応はできませんし、絶対事故が起こらないようにすることもできません。 このような人間の手に負えないものを使うべきではありません。 福島第一原発の事故はこれらのことを気づかせてくれた、我々への地球からのメッセージではないでしょうか？ 放射能の危険から開放させて下さい。 このパブコメ募集の前提が2030年までは原発が維持される」というもので、前提自体が国民を騙すトリックだと思います。 政府は自然エネルギー比率を増やすスケジュールを国民にしっかり示して下さい。よろしくお願いします。
19336	個人	家事専業	70代	女性	気持ち的には、原発依存度0だが、経済的負担が大きくなりすぎるのは困る。再生エネルギーを育て、原発に頼らなくてもやっていけるようになるとよいと思う。	自分たちは先が見えているが、子供、孫たちが安全な暮らしが出来ることを切に希望します。
19337	個人	パート・アルバイト	30代	女性	エネルギー・環境に関する選択について	私は3つのシナリオから『ゼロシナリオ』を選択いたします。 このまま原発を推進してしまいますと、近い将来に賠償金を払いきれないほどの重大な事態に世界が覆われてしまう恐れが予想されるためです。 福島第一原発事故という世界的に見ても重大な原子力災害を起こしてしまった国の国民として、とても恥ずかしく思っています。 皆さんは大変な誤解をされています。 原発が稼動しないから と言って経済が廻らなくなると言う事はないからです。 各企業なども省エネ商品や節電対策などをして知恵を常に出しています。 日本の住宅や商店・企業の屋根にすべて太陽光発電を取り入れた場合、相当量の電力が生産されます。 まずそこから始めて頂きたいです。 太陽光発電は今のところ、エネルギー問題に対して考えている方か金銭的に余裕の有る方が取り付けられているのが現状だと思われます。 金銭的に余裕のない方も国でローンに似たような制度を考えて頂き、上手にやれば問題なく費用は回収出来ると思います。 太陽光発電などの再生可能エネルギーでも不足する分は、浜々火力発電を使用させて頂きます。 人の寿命は限られています。 私だったら原子力ではなく、再生可能エネルギーを使った生活をしていきたいです。その方がスマートで賢い選択だからです。 日本の為に宜しくお願い致します。
19338	個人	会社員・公務員	50代	男性	エネルギー政策の未来は、コスト高で原始的な風力・太陽光発電の方向にあるのではなく、原子力のさらに進化した形態のなかから出てくると思います。	日本の将来、及び未来産業の発展・成長においては、安価で安全ななエネルギーの、供給が大前提であると思います。 現在において、もっとも優れた発電技術は、原子力エネルギーであります。 将来的には、重水素による核融合発電・海洋温度差発電・・・等、の発電がでてくるでしょうが、それまでの間、原子力によるエネルギー供給は大切です。 エネルギー政策の未来は、コスト高で原始的な風力・太陽光発電の方向にあるのではなく、原子力のさらに進化した形態のなかから出てくると思います。 世界一の原子力発電技術を持つ日本ですが、更なる安全化、技術発展を目指すことが、今後の国策だと思います。 原子力発電は、問題の多い火力発電による比重を下げるためにも、50パーセント位を目指すべきです。 原発20～25%シナリオ以上を望みます。
19339	個人	会社員・公務員	40代	男性	脱原発への政策転換を強く求めます。再生可能エネルギーを活用し、「(1)ゼロシナリオ」を基本に制度設計を進めてください。福島の事故を踏まえると原発依存は考えられません。	東電福島原発の事故は、改めて原発の危険性を示しました。地震列島と言われる日本では原発の安全性の担保は不可能であると考えます。今後は、太陽光や風力・波力などの自然（再生可能）エネルギーの活用をはかることが日本の進むべき道であると考えます。自然エネルギーへの政策転換は、各種企業の活性化や、それに伴う新規雇用も創造すると考えます。 以上の理由により、一日も早い、脱原発と自然エネルギー政策の推進を要望します。
19340	個人	家事専業	40代	女性	私は、今まで原子力発電等について何の関心も知識もありませんでした。 このたびの福島の事故で、原発がどれほど怖いものか思い知らされ、無知であった自分を反省し、改めて心のそこから考えました。	核廃棄物の処理も確実に出来ていないのに、自然に戻らない物をどんどん生産 し、先のことは考えない無計画なエネルギー政策で福島のような悲劇が起こりました。福島とその周辺地域の人達のことを思うと、私達はまず反省しなければ ならないと思っています。 化石燃料を発見したように、自然界ではまだエネルギーに変わるものはあると 思う。人々を危険にさらして迄で行う価値のものではないと思います。 国が、原発を推進する裏事情を考えても、なおさら認められるものではありま せん。 原発を少し減らしたところで、そのごみは溜まっていく一方です。
19341	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	ゼロシナリオを決定し、原発立地市町村には新しい地域経済復興の 施策を実行する事を求めます	放射能の内部被曝のリスクは大きく、ゼロとは思えない。

19342	個人	その他	50代	女性	日本という地震大国で、原発を作る事自体間違い。アメリカの圧力でGMが作っている原子炉を押し付けられた政治家は　国を売った！国民をだまして恥を知れ！良心というものがないのか！　日本が地球を汚染している。	国は、原発が無くなれば電力不足になると言っているが、それは嘘だという事を国民は知った。 もし足りないとしても、今の科学を持ってすればそれに換わる発電方法を開発できるはず。そして何より、原発はリスクが多すぎる。何か予想できない事態が起きた時、人類が対応しきれない物を使っては行けない。現に福島は未だ収束していず放射能を垂れ流し、地球を汚染し続けている。そこまで犠牲を払って電力を無駄使いする価値はない。私たちは負の遺産を後生に残してはならない。
19343	個人	会社員・公務員	30代	女性	今後のエネルギー政策において、原発ゼロシナリオを強く望みます。	まず、チェルノブイリで事故が起こってしまった事により、原発=安全で安価なクリーンエネルギーという大嘘が白昼の元にさらされ、本来であればその時点で原子力政策を大幅に見直す必要があったと思います。 その上で、今こそ日本であれだけ悲惨な事故が起きてしまいました。 原発が稼働してからの約60年程の間、一体何回の事故を起こしましたか？ これはもうエネルギーが足りる足りないの問題では無く、原子力発電は現代の我々の技術で扱いきれるものでは無いということがはっきりと証明されたのではないでしょうか？ 事故が起こらない為の対策も起きてしまった後の対策もどちらも不十分であり、 たった一度でも事故が起これば、人の住む事の出来ない場所が生まれ、近郊地域の空気、水、食べ物、無尽蔵に汚染されます。 そんな恐ろしい発電をしないと得られない便利さや経済発展など、まやかしに過ぎません。 そもそも高速増殖炉含め原子力政策に費やしてきた莫大な費用があれば、 他のエネルギーの研究や対策がどれくらいできたでしょうか？ 原子力発電には無駄も沢山あるし、安全ではないし、排水で海を暖め生態系も壊している可能性があります。 今すぐこんな時代遅れな発電方法はやめるべきです。 電力不足への対策としては (1)不要な電力の節約、削減。 特に都市部の繁華街、建物や乗り物の冷暖房等節電できる項目は沢山あるはずです。 (2)ライフラインに関わる施設や世帯へ停電が起こったとしても危険が無いようにきちんと事前に対策すること。 (3)当面は火力発電を頼らざるを矢なくても、再生可能エネルギーやその他のエネルギー（化石燃料以外の燃料等）をなるべく急いで増やしていく 皆で危機感を持ち協力し合っていければ絶対出来るはずです。 最後にもう一度、あまりに危険すぎる発電方法である原子力発電はもういません！！ よろしくお願い致します。
19344	個人	会社員・公務員	40代	男性	0シナリオが妥当だと思います。放射能という生死に関わる問題をもっと深く考えないといけません。生きるための経済活動ですが死んだら経済活動いりません。	地震被害だけなら復興に向け前に進むだけですが、放射能汚染は30年前のチェルノブイリ原発事故を見れば判るとおり今現在でも立ち入ることさえ出来ません。福島でも同様だろうと容易に想像出来ます。これから起こりうるであろう東海、東南海、南海地震で原発事故は決して起こしてはならないんです。人が直接制御できない、修復もできない物が必要でしょうか？さもないと日本中汚染され住めなくなり日本国自体崩壊してしまいますよ。
19345	個人	その他	30代	女性	供給側は各々にエネルギーを浸然と使わせたり一律な供給コントロールに甘んじることなく供給（需要側の利用）目的に注目し「需要の詳細に応じた供給システム」の再構築を。それらを伴い原発依存度ゼロの早期実現を。	日本で暮らす各々が、各々の立場役割に応じて、エネルギー利用量の見直しを図ることが先ず必要である。私も個人として見直していっています。 また、供給側の皆さんは、各々にエネルギーを浸然と使わせたり一律な供給コントロールをすることに甘んじることなく、各々供給先の利用（供給）目的つまり「エネルギーが各々何のために使われるのか」にもっと注目し、「各々の需要に応じた供給システムを再構築する」ことが急務であると考えます。 電力は、比較的中～大規模に生産されるが、供給先は中～大規模の施設だけではなく、小規模の利用者（個々の世帯）に数・量ともに多く供給されている。ですから、発電源についてはもちろん、それと同時に供給システムについても再考すべきであると考えます。 そして、そういった努力を伴い、原発依存度ゼロを早期に実現するよう努めることが重要です。原発依存度ゼロの早期実現という意見である理由は、原発の運用において現段階での適用は研究不足が過ぎ、時期尚早も甚だしいと考えるからである。 原発は維持に非常なリスクとコストがかかると、運転稼動するにもリスクとコストが伴う。 リスクの点では、特に人類の健康や生態系汚染へのリスクが大きいが、現時点で、それらのデメリットが克服されているといえない。原発を稼動させるならば、リスク管理の点も含め、十分過ぎるほどの研究と真に多数の住民の理解と支持が必要でしょう。それのないまま権力を行使して稼動させるということを続けることは、日本の社会にとって決してよいとはいえない。 老朽化が進んでいる発電所・地震災害のリスクが高いから順に廃炉にし、一旦諸々の問題をクリアにしていきながらすべてを再考し、日本を再構築していく機会として利用すべきだと思います。
19346	個人	その他	30代	男性	1.ゼロシナリオに賛成、その理由 2.ゼロシナリオの問題点とその考察	3つのシナリオならば、ゼロシナリオを国の方向性として進めて頂きたいと考えます。 今回の東日本大震災は、地震と津波の直接的被害だけでなく、この先原発などのように付き合わなくてはならないのかを現実問題として突きつけられました。 原発事故が起こらなければ、被災地の復興は現状よりもスムーズに進んだのだろうと思うと、被災された方々に申し訳ない気持ちになります。 なぜならば、首都圏の電力を福島原発に頼ってきたことや、農作物・海産物の生産から流通までの流れを事故後の報道で知ったからです。 今までは、正直原発の使用済み燃料の問題をはじめとした原発の抱える根本的な問題についても、難しくて考えることを避けていた気がします。他人事のように感じていました。 また、地元近くの浜岡原発の事故は怖いなと思っていましたが、遠い地域の事故は自分には関係ないと、これも他人事のように思っていました。 しかし、今回の福島の事故により、地元の原発以外でも自分の生活が支えられている現実を知りました。 物流、各種工業製品の製造、TVをはじめとしたメディア制作及びその放送、農業・漁業もそれを行っていただいている人がいなければ食べることができない現実、 つまり今回で言えば被災された方々の日常生活などに少なくとも今まで気が付こうとしていなかっただけですぐ支えられていた現実に気が付きました。 このように福島原発の電力の恩恵は、被災された地元の方々以外の日本全国の人の生活と密接に関わっていたことに気がついた今では、原発を容認できない気持ちが強くなっています。 以上が、ゼロシナリオを選択した理由になります。 しかし、ゼロシナリオ実現のためには乗り越えなければならない課題があることも分かりました。 1.原子力の安全確保と将来リスクの低減 2.エネルギー安全保障の強化 3.地球温暖化問題解決への貢献 4.コストの抑制、空洞化防止 ゼロシナリオは、他のシナリオよりもを重視しており、そのため特に2の解決が難しいのが現状の課題であると考えました。 2の問題は、国民の日常生活に直接関わるために、ゼロシナリオを進めるためには特に解決しなければならない重要な問題であると思います。 また、2の問題と4の問題も密接に関係していると思います。 つまり、ゼロシナリオを実現するためには、「エネルギー安全保障の強化」を行いながらそれに伴う「コストの抑制、空洞化防止」も同時に進めなければならないと考えます。 まず2については、エネルギー資源を輸入に頼るゆえに生じる問題であります。発電を輸入資源に頼らず行うことができれば解決するが、国全体のエネルギー需要に応えるほどの資源は 現状日本にはありません。 思いつく解決策 A.再生可能エネルギー（太陽光、風力など）の比重を増やし火力発電の総発電量割合を減らす B.再生可能エネルギー技術の新たな模索 C.省エネの継続 Aは当たり前のことですが、この方向性で進まない限り解決できないと考え特に明記しました（議論の方向性の明確化）。 Bについて 3つのシナリオでは、再生可能エネルギーの導入として太陽光と風力のみが挙げられています。この2つのみで火力発電の割合を下げることは難しいかもしれないが、このほかの発電技術 も実用化できれば、総発電量に対する再生可能エネルギー発電の割合を上げられるのではないかと素人ながら考えます。 2030年を区切りと考えるならば、あと18年の間に原発を上手に使いながら再生可能エネルギー施設の建設を行い、新たな発電技術を国の先導で開発していく決断をすることが大切なのではないかと考えます。 そのために、新たな発電技術開発のための予算を設けることも必要なのではないかと考えます。アイデアがあっても資金面で開発できないということがないようにフォローが大切だと考えます。 また、国民としては節電を継続していくことでこの問題のフォローができると考えます（C）。 次に4について、 有識者提起の論点内に、 「再生可能エネルギーのコストは、大量導入でコストが市場価格に低下するまでの経過的なものである。国を挙げて再生可能エネルギーを増やしていくのだという方針が重要である。 電気料金は上がるが、国民にも説明し、受け入れていただくプロセスが大切である。」 といったものがありました。 この意見に賛成です。 導入初期のコスト増大の可能性のみで、再生可能エネルギーへの転換をやめるべきではない状況になっていると思います。 確かに日々の電気料金はじめとしたエネルギーコストは、安ければ正直大変助かります。 しかし、原発をこの先も使っていき、もしもまた事故が起これば その事故処理のコストは膨大なものになり本末転倒となることが福島の事故で明らかになったと思います。 初期コストはかかっても、経済的に価格が低下するならば頑張れると思います。いま意を決して始めれば、日本の体力ならばまだまだ大丈夫だと思います。 後で最悪なことが起きても後悔しない選択がいま求められていると考えます（福島の事故の教訓）。 1は、2030年までは原発はゼロにならないのでその間の施設管理が大切だと考えます。 また、既に出てしまった使用済み核燃料について、処理技術のさらなる安全性の進歩も大切であると考えます。 3は、以前より政府主体で取り組んできた問題です。今後も社会全体で今の方向性で頑張っていけばよいと思います。
19347	個人	パート・アルバイト	40代	女性	原発は世界のためにも今すぐ0にするべきだと思います。	日本は世界的にみても持っている技術力はすごいと思います。 その日本が原発に頼らないと電力が足りないなんてことはおかしいと思います。 今年も暑い日が続いていますが、とりあえず太陽の活動も低下しているようですし、電力も足りているようです。 みんな節電に無関心ではなくなったのですから消費量は確実に減っていくのではないでしょうか。 今迄原発の維持に使っていたお金で、今後世界的に問題になっていくであろう食糧問題を解決するとかしていただきたいです。 そうした新たな産業を活発にしていき原発に依存している地域のみなさんを助けていくのはどうでしょうか。 ちょっと前まで電気なんてなかったんですから、歴史に学べばいくらでも解決方法が見つかるんじゃないでしょうか。 原子力は空けてはならないパンドラの箱だった事に気付くべきです。 早く閉めましょう。
19348	個人	自営業	70代	男性	原発は出来る限り早く0にすべき。原発に依存しない発電の研究開発に力を入れ国を挙げて努力すべきと思います。又、電力の消費を抑えるための研究も国の予算を使い強力に実施する。そして5年内に原発をゼロにする。	国民の内、年寄りは不自由な生活の経験があり、生活を切り詰めるすべも知っています。又、毎日停電があったことも経験しています。しかし今の若者は物が溢れている時代に生まれ贅沢な生活に慣れてしまっているので難しい面もありますが、少しづつ「もったいない」意識を持たせるよう努力すべきです。 1つ例を挙げると「シャワー」でも若者は最初から出る末で出し放しにして使っています。少し途中でよめることを教えて国民みんなが努力すればエネルギーの消費は抑えられると思います。原子力は今回の事故で1つ間違えば人類でコントロールの出来ない恐ろしい物だと認識できたのではないでしょうか。 特に日本は地震国なので可能な限り1年でも早く原発から抜け出すべきと思います。
19349	個人	会社員・公務員	50代	男性	ゼロシナリオに賛成です。私の家も玄海原発から30Km位の距離にあり、事故が起これば、小学生がいるので我が家も避難すると思います。また、放射能汚染物質の最終処分場が決定していない。	核抑止力のため平和利用の原発は必要だとした政府はどう責任を取るのか。福島の事故がおこっても誰も責任を取ってない。東電社長は福島住民に謝罪もしていない。福島原発から30km圏内の子供達は本当に健康なのか、かなり被曝していると聞く。本当に10km圏外の人が戻っても健康被害がないのか。福島の人たちは汚染された食べ物を消費していると聞く。政府は本当の情報を公表すべきである。政権にとって不都合な情報は隠べいするのはやめてほしい。 放射能汚染物質の最終処分場が決定しておらず、どの県も処分場建設け入れを拒否している。私も反対である。原発の地下には放射能汚染物質が飽和状態になっていると聞く。大飯原発・オスプレイとい！見切り発車はやめてほしい。 日本には再生可能エネルギーがたくさんあります。それを利用しないでどうするのですか。日本中の屋根に太陽光パネルを、風の強い海に風力発電、海洋発電、地熱発電、その他の発電などに原発の費用を再生可能エネルギーのために使うべきである。
19350	個人	自営業	50代	男性	(3)を選択します。	ただでさえ不況で仕事が減っているのに、このうえ停電や節電の影響をうけたら、仕事が成り立たなくなります。 日本は良質で安価な電気が豊富に使えたからここまで世界に誇れる産業が多く発展してきたのに震災後はそういうことがまるで無かったかのように原発反対・脱原発しか見受けられません。 新聞もテレビも原発推進という選択肢が無いとか言け止められない報道ばかりです。実際に電気が止まってしまったらどうなるのかを報道して欲しいです。 電気は生活に不可欠です。決して止めてはいけません。
19351	個人	会社員・公務員	30代	男性	脱原子力への転換を望みます。再生可能エネルギーを活用することで(1)ゼロシナリオ」に移行することを強く求めます。事故が起こった時の対応出来ないことが明らかな以上、国策上得策とは考えられません。	原子力の安全神話、人間は全てのものをコントロールド下に置くことが出来るという神話は東日本大震災で崩壊しました 人間は基本的に自然と共存する（再生可能な自然エネルギーを有効に活用すること）のが常として生きてきました 現在化石燃料、原子力を中心とした、発電体制は20世紀に構築されたものであり、21世紀の日本に求められていることは再生可能エネルギー産業を中心に据えることでの国内経済成長であり、その技術を世界に輸出していく形を模索することが、国内需要の伸びが期待できない条件下に置いては、政策上最も優れたものになると思います。 また、これ以上原発に依存することは、外国人での日本のイメージ悪化による観光者数減につながり、観光業界を含めて更なる雇用悪化に起因する不況に繋がります 以上の事項を踏まえ脱原発、自然エネルギーへの速やかな実施、転換を求めます。
19352	個人	無職	60代	女性	(1)ゼロシナリオを選びます。	ゼロシナリオを選択すべきです。経済第一から国民の生命・安全第一に方向を転換してください。 まず第一に原発で発生する核の廃棄物を処理する最終的な技術は発見できません。後世までその付けを回してはいけないからです。 第二に、他のシナリオでは40年以上経過した老朽原発や地震・津波等の自然災害に弱い既存の原発を再稼働させる危険を冒す事になるからです。 即座ではなくとも、10年・15年計画で再生可能エネルギーを促進し、その間は省エネにも努力しましょう。 実りの無い核燃料サイクル政策を中止し、即座に六ヶ所村の再処理工場や高速増殖炉を廃棄する準備を始めるべきです。
19353	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発再稼働なんて、本当にやめてください。	事故が起きないなんて、本当に思ってるんですか？壊れないものなんてないんです。再稼働するなんて、ゆるやかな自殺をしているのと同じ事ですよ。
19354	個人	自営業	40代	男性	直ちに全ての原発を安全に廃炉にして下さい。	直ちに全ての原発を安全に廃炉にして下さい。エネルギーは火力を中心に地熱など各種再生可能エネルギーに順次シフトしていく事で対応できると思います。脱原発。脱原発。脱原発。
19355	個人	無職	60代	女性	「原発ゼロシナリオ」を選ぶ。 これまで安全だと言って推進してきた人たちには、国民の命と健康を第一に、この危険な施設を地震多発の日本で、これからも安全に管理していく能力・心構えがないことが明白だから。	日本での地震発生頻度は他国の比ではない。現在国内に既設の原発数は国土面積が20倍の米国の約半分で、密度は10倍。米国や他国では地震が発生する地域での原発建設は認められていない。 福島原発の事故処理を観ていても電力会社、原子力保安院、原子力安全委員会は想像しうる安全対策を講じていないことは明白である。「安全神話」の上に胡坐をかいてきた。原発のような危険な施設のリスクマネジメントでは「想定外」ということは許されず、あらゆる可能性を想定して対策を講じるのがリスクマネジメントである。しかし、残念ながら、運営する電力会社には想像力が欠如しており、将来にわたり、原発を管理していく能力・姿勢を備えていない。 既に処理できない使用済み核燃料で原子炉建屋内がいっぱいになっているというのに、処理方法が定まらない中、今後も原発を稼働し続けるのは危険なばかりでなく、将来世代への負の遺産を増やすだけである。 福島原発の事故収束作業を観ていても、多くの作業員が日々被曝しながら危険な作業を続けている。いったいいつまで作業員を確保できるのだろうか。原発を推進してきた「原子力村」の方たちは原発が安全だというなら、こうした作業を引き受ける覚悟があるのか。 スマートグリッドの導入、再生可能エネルギー、省エネ、天然ガス火力発電所、コジェネレーションの地産地消を推進して、国内の地域活性化、雇用の創出をしていく。 経済、経済というが、再度原発事故が起これば、日本は本当に終わり。国民の命、健康あっての経済ではないだろうか。
19356	個人	法人等	50代	女性	2030年の原子力発電の割合は、0%を望みます。	原子力発電は、安全に運転していても、何万年もの未来まで管理しなければならない高レベル放射性廃棄物が出ます。今の便利な生活のために未来を犠牲にすることはできません。ましてや、福島は、原子力発電所の事故のまだ最中です。メルトダウンした燃料がどうなっているのかも分かりません。人の手で修理したり収束することができないような物を勉かすことは間違っています。一番危険なところは下請け孫請けの低所得者、弱者が命がけで行くなどの点も、倫理的に間違っています。原子力発電は行うべきではありません。

19357	個人	無職	60代	女性	原子力発電＝0% 原子力発電所は、ただちに廃炉にすべきだと思います。	(1)地震国日本には危険すぎる。事故が起こったらとうてい人間の力で制御できず、放射能汚染を地球規模で広げてしまう。 (2)海水を温暖化させ、原発建設やウランの燃料化の過程で二酸化炭素を出し、地球環境を悪化させる。 (3)プルトニウムの半減期は2万年を越える。使用済み核燃料や放射性廃棄物の管理は不可能。未来へ大変な禍根を残す。 (4)ウラン燃料は化石燃料より早く枯渇する。プルサーマルや高速増殖炉「もんじゅ」も実用化できず危険極まりない。 (5)原発は最も高くつく。事故を起こせば国家の滅亡、人類の破滅につながりかねない。金銭で償えるものではない。
19358	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	3.11の福島原発事故で明らかな原発の危険性から、私たちの命を守るには「ゼロシナリオ」しかありません。 原発を続けることは、将来の子どもたちにどうすることもできない危険な放射能を残すことです。	使用済み核燃料をどう処理するかの技術も処分場所も不確定ななかで、原発を稼働することはできません。放射能は、いったん外へ放出されると私たちの生活環境を奪ってしまいます。故郷を失った福島県民のことを考えれば、原発をなくすことが重要であり、「ゼロシナリオ」を決定し、自然エネルギーの拡大に努力すべきです。また、原発立地自治体には、新たな地域経済復興施策を実施することを求めます。「ゼロシナリオ」のほかに、私たちの安全を確保する選択肢はありません。
19359	個人	自営業	40代	男性	原子力発電所稼働については反対です。 原発0%に○	自分たちの生活の事だけでなく、これから先の子供たちの未来に関して考えたら原発0%に決まっています。まだ福島の事故の処理も済んでいないうちの原発再稼働は信じられないです。速やかに稼働ストップさせるべきです。そのことで電気が足りなくなっても庶民はみな節電していますし、そういう暮らしに移行していこうという意思は持っています。放射能に汚染されていく日本より、一昔前に戻っても安全な暮らしがいいに決まっています。 原発ムラの利権の絡んでいる事からの再稼働は許せません。 断固反対です。
19360	個人	家事専業	40代	女性	即原発廃炉 ゼロシナリオを希望します	今度事故が起きれば日本は滅ぶ。 事故が無くても使用済み核燃料の保存や廃棄にとてつもない危険が伴う。 自然エネルギーをもっと開発し、上手に使いましょう。
19361	個人	無職	60代	女性	”即刻　原発はゼロにすべき”と考えます。人間の制御できない自然力と原子力を相手に、日本ばかりでなく世界中に対して、何人も責任はとれない。 ”安心して暮らせる母国日本”と胸をはれる様に！	あの悪夢のような地震津波の後の爆発、原発事故、その後、外国のインターネット放送でこその重大性を聞き、震えました。しかし、日本の公式の情報はいつも遅く客観的な現状が正しく伝えられているのか疑問でしたし、今でも不安です。一部の人々の利益保身の影を感じます。国益、経済力、云々は我々庶民にはむずかしい問題でしょうが、全て日本が、国土、国民があっての事と思います。来だ事故の始末が終わったわけでなく、これから”災害列島”日本には大きな地震が迫っていると言われているわけですので避けられる危険は避けなくてはいけないと思います。その中での再稼働は反対です。美しい海に囲まれた国土、環境、水、まじめな国民をどん底に落とし、そしてその負の遺産を後世に残すわけにはいきません。自然豊かなこの国の天然資源を活かした再生エネルギーの道に進んでいくべきと思います。政治がその方向をはっきり示して下さい。日本の技術力なら、叡智を集めれば可能だと信じています。 放射能の恐怖から解放されて、新しい日本に向かう為に我慢と協力をしたいと考えます。そして孫たちに、世界に胸をはって言える”母国日本”を残したい。
19362	個人	家事専業	30代	女性	原発ゼロシナリオに賛同。海に囲まれ温泉も湧く日本は自然エネルギーの宝庫です！ 安定したエネルギー供給は難しいといいますが、それも心配なく供給できる方法が開発されてます。未来を見据えてください。	来だ福島第一原発の事故は終息していないにもかかわらず、原発の立地条件に問題のある大飯原発は再稼働されたりと政府は子供たちの未来をどうするつもりでしょうか？高齢化による税金負担だけではなく、子供たちから走り回れる野山、海、自然をこれ以上奪わないで下さい。これ以上消えないゴミを出してはならないのです。今、現場で作業されてる方々の事を考えると申し訳なくならないのですか？野田総理のおっしゃる人間らしい暮らしは、人々の苦しみの上に成り立ってます。貧困できません。そして、海外への原発輸出はこれからの国交にも関わる最も行うべき事ではないと思います。この声が沢山の政治家の皆様に届きますように。
19363	個人	家事専業	50代	女性	原発ゼロシナリオ（2030年時点ではなく直ちに）	福島第一原発の事故も収束していない上、もうすでにある膨大な核廃棄物の処理法すら決まっていません。 この状態で原子力発電を続ける資格は人間にはありません。 省エネを進め、自然エネルギーを推進し、電力会社の独占体制の廃止を進めてください。
19364	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	3.11の福島原発事故で明らかな原発の危険性から私たちの命を守るには、「ゼロシナリオ」しかありません。	「ゼロシナリオ」を決定し、原発立地市町村には新しい地域経済復興の施策を実施することを求めます。
19365	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	「(1)ゼロシナリオ」を基本にした制度設計を求めます。	島根県には全国で唯一、県都市である松江市に島根原発があります。市の中心部からわずか10kmのところにあり、万が一事故が生じれば多くの人が危険にさらされ、県都機能を失います。 既設の1，2号機の再稼働、新たな3号機の稼働、プルサーマル計画の実施は断じて許すことができません。そのため「ゼロシナリオ」を選択し、早期の脱原発社会を目指すべきです。 国民の命に勝る政策なし！
19366	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	エネルギー・環境に関する選択肢について、原子力発電は2030年の割合は0%を望みます。	・福島第1原子力発電所の事故原因が明確でなく、事故はまだ進行中。メルトダウンした燃料はどこにあるのか、圧力容器や格納容器の状態はどうなっているのか等解明されていない。 ・安全に運転している原子力発電所でも、最終的に出される高レベル放射性廃棄物の処理（分解）の手段が確定しておらず、ガラス固化して地下埋設しても10万年以上の管理が必要とされるなど、安全性においても、費用の面においても次世代に大きなつけを残す物となるだろう。
19367	個人	その他	40代	女性	「原発ゼロシナリオ」を選択します。 どんな理由があろうとも、人の生命を犠牲にすることを前提にした技術など この現代において許されてはならないと思います	「原発ゼロシナリオ」を選択します。 それ以外の選択肢など、いまの日本にはないと思います。 事故が起こらずとも、原発を運転するには、常に作業員の被ばくを伴います。 事故が起きれば、人も動物も植物も大地も海も空気もすべてを傷つけることは 福島の事故で明らかです。 どんな理由があろうとも、人の生命を犠牲にすることを前提にした技術など この現代において許されてはならないと思います。 命を犠牲にせず、コストもかからないエネルギーの開発は、 既に多くが進行中であり、 国を挙げて研究開発を進めれば、すべてのエネルギーを賄うことも それほど時間はかからないはずです。 ただちに全ての原発を止め、再処理を廃止することを求めます。
19368	個人	パート・アルバイト	40代	女性	原発ゼロシナリオを望みます。	子供達の未来に原発はいらない！原発はゼロにしてください。
19369	個人	自営業	40代	女性	全てのシナリオに反対する原子力発電は即刻中止し原発は全て廃炉にする2020年に自然エネルギー割合をドイツと同等の40%まで高め、総括原価方式と電力事業の独占体制を廃止し発送電を分離するべき	1　原子力政策の誤り エネルギー・環境会議は、「震災前、原子力を基幹電源としたエネルギー選択」の中で、過去のエネルギー政策を「燃料となるウランは特定の国・地域に頼ることなく安く買うことができ、備蓄効果が高く、発電時にCO2も出さない。使用済核燃料を再処理し、回収されるプルトニウム・ウラン等を有効利用する核燃料サイクル政策と組み合わせることにより、準国産電源としての原子力発電の優位性がさらに高まる。」と要約しているが、事実は異なっている。 ウラン燃料の調達はアメリカに多く依存し、高価である。立命館大学の大島堅一教授は、これまで原発に払ってきた総コストを発電実績で割り、それに電源開発促進税（1Kw当たり37.5銭＝約100円／月：国民負担）等の税金を入れて計算すると、発電単価は原子力が10.68円、火力9.9円、水力7.26円となることを示した。これらの数字は、電力会社の有価証券報告書を元に計算されたものである。CO2対策については、原発は熱効率が低いために発生させた熱の66%を海に捨てており（大飯原発3号機では、定格熱出力342.3万KW、定格電気出力118万KW）、海水に溶け込んだCO2の放出を使う。使用済核燃料の再処理については、高速増殖炉は未だに稼働できず、核燃料サイクルは実現不可能で、使用済み核燃料の最終処分は目処が立たない。 2　自然エネルギーの過小評価 エネルギー・環境会議は自然エネルギーの現状と将来性を過小評価している。各国の最近の動向を見れば、イギリスは13兆円を投じて7000基の風車を沖合に設置し、原発30基分の3200万KWを発電して、2020年までに電力総需要の3割を再生可能エネルギーでまかなう計画を発表した。（2012/7/5日本経済新聞） ドイツは、福島事故を受けて停止中の原発8基はそのまま閉鎖、残りの9基も2022年までに閉鎖する決定をした。2010年に発電力の17%がすでに自然エネルギーであり、2020年には自然エネルギーを少なくとも全体の40%にする計画である。2050年には自然エネルギーの割合を80%に高めるという。 2011年春に発表された環境省の「自然エネルギー導入ポテンシャル調査」によると、住宅の屋根を除いた太陽光発電の潜在量は1億5千万KWで、住宅の屋根を加えた試算では、およそ2億KWの潜在量が見込まれている。風力発電に至っては、陸上で2億8千万KW、洋上で16億KWの膨大な導入可能性が明らかになっている。これは詳細な地理情報システムデータを用いて、導入できそうにない場所を除いた上での調査結果である。（以上、飯田哲也、新・エネルギー原論）　輸入が必要な核燃料や化石燃料に一切頼らなくても、日本国内の風力や太陽光だけで半永久的に十分なエネルギーを供給できるのである。 3　原子力政策及び電力事業者の問題 2012年7月5日に国会に提出された事故調査委員会報告書は、以下のように述べて、福島事故を人災と断定している。エネルギー・環境会議にはこのような根源的な視点が全く欠落しているので、抗議の意味を込めて引用する。また、このような事態を招来した背景には総括原価方式と電力事業の独占体制の利権構造があることは明らかであり、日本で自然エネルギーへの転換が進まないのは、技術上の問題ではなく、政策の貧困と言わざるを得ない。 【事故の根源的原因】 今回の事故は、これまで何回も対策を打つ機会があったにもかかわらず、歴代の規制当局及び東電経営陣が、それぞれ意図的な先送り、不作為、あるいは自己の組織に都合の良い判断を行うことによって、安全対策が取られないまま3.11を迎えたことで発生したものであった。 当委員会の調査によれば、東電は、新たな知見に基づく規制が導入されると、既設炉の稼働率に深刻な影響が生ずるほか、安全性に関する過去の主張を維持できず、訴訟などで不利になるといった恐れを抱いており、それを回避したいという動機から、安全対策の規制化に強く反対し、電気事業連合会を介して規制当局に働きかけていた。 このような事業者側の姿勢に対し、本来国民の安全を守る立場から毅然とした対応をすべき規制当局も、専門性において事業者に劣後していたこと、過去に自ら安全と認めた原子力発電所に対する訴訟リスクを回避することを重視したこと、また、保安院が原子力推進官庁である経産省の組織の一部であったこと等から、安全について積極的に制度化していくことに否定的であった。 事業者が、規制当局を骨抜きにすることに成功する中で、「原発はもともと安全が確保されている」という大前提が共有され、既設炉の安全性、過去の規制の正当性を否定するような意見や知見、それを反映した規制、指針の施行が回避、緩和、先送りされるように落ちとぼころを探り合っていた。 これを構造的に見れば、以下のように整理できる。本、本来原子力安全規制の対象となるべきであった東電は、市場原理が働かない中で、情報の優位性を武器に電事連等を通じて歴代の規制当局に規制の先送りあるいは基準の軟化等に向け強く圧力をかけてきた。この圧力の源泉は、電気事業の監督官庁でもある原子力政策推進の経産省との密接な関係であり、経産省の一部である保安院との関係はその大きな枠組みの中で位置付けられていた。規制当局は、事業者への情報の偏在、自身の組織優先の姿勢等から、事業者の主張する「既設炉の稼働の維持」「訴訟対応で求められる無謬性」を後押しすることになった。このように歴代の規制当局と東電との関係においては、規制する立場とされる立場の「逆転関 係」が起き、規制当局は電気事業者の「虜（とりこ）」となっていた。その結果、原子力安全についての監視・監督機能が崩壊していたと見ることができる。
19370	法人・団体等	会社員・公務員	法人等	法人等	ゼロシナリオしか選択肢はない	ゼロシナリオに沿った政策を求めます。 地震や台風など自然災害が多い日本では安全に「絶対」はありません。 自然エネルギーへの早期転換を考えるべきです。 島根県には、全国で唯一、県都市である松江市に島根原発があります。 市の中心部から10kmのところにあり万が一事故が生じれば多くの人が危険にさらされ、県都機能を失います。既設の1，2号機の再稼働、新たな3号機の稼働、プルサーマル計画の実施は断じて許すことは出来ません。 そのため「ゼロシナリオ」を選択し、早期の脱原発社会をめざすべきです。
19371	個人	その他	50代	男性	生命の安全を脅かし故郷を奪う放射能のリスクを考慮し、既存の原子力発電所を早期に全廃する方向で、ゼロシナリオを選択すべきであると考えます。	東京電力福島第一原子力発電所の事故により、いまだに数万人の人々が住み慣れたふるさとを奪われ避難を余儀なくされています。また、福島県のみならず近県を含めた広範囲の人々が土地や生産物の放射能汚染による深刻な被害に苦しんでいます。 基本的に、原子力発電はリスク管理が可能な安全なエネルギーではありません。「原子力のリスク管理を徹底して強化する」という課題設定そのものが幻想であり、予測不能な事態、予期せぬ出来事が起きれば、取り返しの付かない事態に陥ることは福島の事故で証明されています。 確かにゼロシナリオを選択することは、経済的な負担を重くし、また、温暖化防止に有効な再生可能エネルギーへの転換も膨大なコストがかかります。しかし、そうした経済的なリスクと放射線による安全へのリスクを同列に論ずることはできません。最も優先されるべきは、安全な社会の構築です。すでにドイツでも脱原発に大きく政策転換をしています。広島、長崎の悲惨を経験し、今また、福島の残酷な現実に晒された日本国が取るべき選択肢は、原子力発電からの脱却をおいてないことを国民的な合意とすべきであり、そうした政策リードこそ政府に求められています。
19372	個人	無職	70代	男性	原発の自然災害に対する物理的・機構的耐力および人的管理体制の現状の弱点を何時までにどう改善するかを、国民に明瞭に約束した上で、改めて意見を問うべきである。それまではどの原発も稼動不可。	原子力発電所の自然災害に対する物理的・機構的耐力および人的管理体制が現状のままならば、どの原発も稼動させてはいけない。これらの現状の弱点を何時までに何をどう改善するかを、国民に明瞭に約束した上で、改めて国民の意見を問うべきである。
19373	個人	無職	40代	男性	原発0%	原発絶対反対
19374	個人	会社員・公務員	40代	男性	国防および日本文化復権の観点から、原発そのものを無くすべきと考えます。	現状の日本を見たときに、モノが湯水のようにあふれ、電気は停電しない、電気を利用する情報通信は情報量が人間の処理能力を超えるほどあふれています。これは典型的なエネルギーの無駄使いであり、日本人が文化として持っていた節約の美徳を破壊してしまったと言っても過言ではありません。一方で原発は海岸に集中しており、諸外国の格好の爆撃目標となっています。もし戦争で原発を爆撃されたら、福島原発と同じ被害が発生するのは目に見えています。先進国でも停電はよくあることであり、それゆえにエネルギーに限らず、モノを大切に扱う習慣が浸透しています。日本はこの習慣を失いました。以上の観点から、国防の意味でも、またモノや情報は必要最小限持つ「節約社会」の実現の意味でも、原発そのものを無くした方がいいと考えます。
19375	個人	パート・アルバイト	40代	女性	原発は「いま」やめないとやめる機会を失います。 利権を握る人たちにもうハンドルを持たせてはいけません。	原子力発電は絶対に反対です。
19376	個人	家事専業	60代	女性	原発比率”0（ゼロ）パーセント”とすべきです。	万一とはいえ事故が起きたとき国や国民を滅ぼしてしまいかねないような事業はやってはいけない。即刻禁止すべきものです。

19377	個人	自営業	50代	男性	原発は、安全性を最優先に検討したうえで、当面は稼動させ、電力不足を回避する。メタンハイドレード、地熱発電、などの新エネルギーや天然ガスパイプラインを積極的に推進し、問題のある原発は順次廃炉にしていく。
19378	個人	パート・アルバイト	40代	女性	私はゼロシナリオを選びます。
19379	個人	自営業	50代	男性	原発ゼロシナリオを支持する
19380	個人	その他	30代	女性	これから日本が選択していくべきエネルギーは、地球そしてその上に生きる全ての生物が安全で幸せな生活が送れるということが絶対条件である。そして持続可能で環境に負荷をかけないものを選択していくべき
19381	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発の再稼動に反対します。
19382	個人	無職	60代	男性	ゼロシナリオに賛成です。
19383	個人	自営業	30代	男性	原子力や石油、石炭、ガスに頼らないエネルギー政策に方向をいち早く転換するべきだと思います。
19384	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発ゼロシナリオを選択。理由は、福島の事故により原発は危険であることが証明されたこと、廃棄物の問題も解決されていないこと等です。
19385	個人	会社員・公務員	40代	女性	即時0%
19386	個人	その他	40代	男性	原発ゼロシナリオを支持する。
19387	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発の再稼働は、現状に於いては必要。依存度を段階的に低下させて、極端に原発依存度の高い地域（関西圏など）を無くす事で、全体に占めるパーセンテージを低減する事が肝要。
19388	個人	自営業	50代	男性	ゼロシナリオ。平和利用として推進してきた原発推進政策の失敗が今回のような大きな事故です。原爆も原発もない世界を作るべく率先して訴える国になる。それが唯一の被爆国である日本国がするべきことです。
19389	個人	学生	20代	男性	核分裂からエネルギーを取り出す原子力発電所はもういらないと思います。
19390	個人	自営業	50代	男性	1）国土と国民の安全のために政府は0%シナリオを指向すべきである。 2）再生エネルギーの促進と高速増殖炉即時停止で費用軽減できる。 3）国民が政府に望むのは100年の大計である。
19391	個人	会社員・公務員	40代	男性	使用済みの核燃料の処理技術や処分場が確定していない状況の中で、このまま原発を稼働し続けていくことは、必ず人類や地球に大きな負の遺産を残すことになります。ぜひ「ゼロシナリオ」への決断をしてください。
19392	個人	自営業	50代	女性	2030 年のエネルギー・環境に関しては原発依存度ゼロシナリオを選択します。
19393	個人	自営業	60代	男性	「原発ゼロシナリオ」を選びます。原子力発電からは出来るだけ速やかに脱却すべきだと思う。理由は人類はまだ原子力を扱うだけのしっかりした技術も確立していない。原子炉の運転も廃棄物の放射能処理も。
19394	個人	会社員・公務員	30代	男性	再生可能ｴﾈﾙｷﾞｰの導入拡大は行なっていくべきだが、導入にあたっては不確定要素が多い。原子力は選択肢の一つとして継続利用すべき。比率は20-25%程度はやむを得ないのではないか。

19377	2030年までの長期で考えるならば、原発の新規増設や更新が必要な15%以上のシナリオは全く賛成できない。 原発は、安全性を最優先に検討したうえで、活断層が近辺に無く津波対策が十分でフィルター付きベント装置を備え予備電源が十分整備されているものに限り当面は稼動させ、電力不足を回避する。 メタンハイドレード、地熱発電、波力発電、石油を産出する藻などの新エネルギーや、ロシアからの天然ガスパイプラインを積極的に推進し、老朽化した炉や活断層上の原発は順次廃炉にしていく。 また、地球温暖化というか地球の気候の変化が激しくなっている事は近年の集中豪雨災害で明らかでは有るが、それが、CO2が原因である事は全く分かっていない。確かにCO2を出さないほうが良いのは間違いないが、元々世界のCO2の4%しか排出していないわが国だけが、なぜ他の国が取り組んでも居ないCO2排出規制に邁進しているのか全く理解できない。革新的技術を得るためだけにCO2排出規制を利用するのは非効率だと考える。 原発の問題点 1.大規模な事故（シビアアクシデント）が日本でも起きる事が分かった。 今までは、地元自治体を説得するために「事故は起きない」と言い続け、細かい事故は隠蔽してきたが、福島の事故で大規模な事故も起きることが分かってしまった。これ以降は事故が起きる事を前提に訓練もすべきである。 2.現時点の原発の危険度を冷静に判断して危険な原発は使わないようにすべき。 日本は世界の地震の2割が起きる国土である。津波が起きる事を前提に活断層の存在、老朽化を冷静に判断して危険な原発は使わないようにすべきである。 3.電力会社にとって原発は重要な「資産」であるので危ない原発は電力会社から切り離すべき。 電力会社にとっては原発は重要な「資産」である。会社は設備を資産として持っている。原発と言う施設は、電力会社にとって高価な資産である。大きな資産があれば、銀行も融資する。しかし、脱原発となると、原発と言う資産は、高価な資産から一気に0円、いや、マイナス数千億円のゴミになってしまい、融資も受けられなくなる。原発を否定することは、今の電力会社にはできない。このために、電力会社としては、原発を死守するしかない。また、融資している銀行も高価な資産を動かす事しか会頭に無く圧力をかけている。 このため、国が危険な原発を買い取って火力などの発電施設を作るようにする、または、原発の減価償却や資産としての価値を残すような特例措置をとるなど、電力会社が原発を切り離せるような環境を作るようにすべきである。そうしないと、電力会社側は自身の存亡をかけて反対してくる。 飯田哲也氏が、「原発は電力会社にとって大事な資産」であると指摘しているのだが、まったく対応策が見られないのは残念でならない。 4.使用済み核燃料や廃炉にした原発のゴミのための施設を作り技術開発を行う。 使用済み核燃料はすでに大量に溜まっていて、これを国外で貯蔵する事はかなり困難であるので、不幸にも事故が起きてしまった福島第一原子力発電所などの施設に貯蔵する施設を作り、また、無害化するなどの技術開発を積極的に行うべきである。 5.発送電分離を行い、様々な電源の有効活用を考えるべき。 今の電力会社独占体制は経済産業省や他省庁との癒着の温床になっているので、発送電分離を行い癒着を解消するべく仕組みを変えるべきである。発送電分離をしても、送電部門およびその監視部門が癒着と癒着していては何にもなら無い。透明性を確保するよう第三者委員会などの監視が必要である。
19378	私はゼロシナリオを選びます。 理由 3つの選択肢の中で原発を将来的に無くせるのは「ゼロシナリオ」だけなので、これを選びます。 原発事故によりこれだけの被害をもたらしておきながら、尚、原発を存続させたい理由は、「お金」であることは周知の事実です。 （必要な電力をまかなうためにはクリーンな原発が一番良いという人もいるようですが、心の底からそう信じている人は極わずかでしょう。 CO2排出と放射性物質放出ではどちらが危険か、比べものにはなりません。）今後、原発関連事故は2度と起きないということはありえません。） 「命」と「お金」は比べるべき問題ではないのですが、現実社会では住々にして「お金」を優先していますので、今回もそうなるのではないかと危惧しています。 国のやることといったら、過去の戦争、水俣病、イタイイタイ病、薬害エイズ…、数え上げたらきりがありません。 放射能汚染による被害は長期に渡り、実際に死者が出るのは何十年後かも知れません。そうなると、原発事故が原因かどうかあいまいになり、被害者として認められないことも多々あるでしょう。だからこそ、国は真剣に動かないのだと思います。ごまかせると思っているのでしょう。 だから原発再稼動にあたって、「責任を取ります」なんて無責任な発言ができるのです。 日本の政府にも良心があることを信じたいけど、これまでの歴史、そして震災・原発事故後の対応を見ているとともじゃないけど信じられないです。 でも、一縷の望みを託して、パブリックコメントを提出させていただきます。
19379	福島の原因究明もせずに原発を再稼働したことは許されないことだ。すべての原発を直ちに止め、原発のない、安心して暮らせる日本を取り戻せ。大飯原発を直ちに停止させ二度と再稼働させるな。野田は大飯再稼働の責任を取って直ちにやめよ。
19380	なぜ私がこのような意見の書き方をしているか。 それは日本の現在のエネルギー政策では、この基本的なことが満たされていないから。 国民は、もう多くひずみに気づいているのです。 そして、なぜ多くの国民が望んでいないことが、次々に決定され、実施されていくのでしょうか。 原子力発電、核のない世界は必ずやってきます。 全ての生物の生存を脅かすものが、本当に必要なのか、答えは出ている。 誰だって自分の心に問いただせば、答えは同じ。 子供たちの笑顔を思い浮かべながら考えたら、今私たちは選択すべきことは明らかである。 必要以上の電力は必要ないし、原子力発電所はいらない。 賢い私たちは、もっともっと平和な方法でエネルギーを生み出すことができる。
19381	福島県は今どうなっていますか？人間よりも多くの動物を犠牲にしている。家畜やペット、野生動物。 彼らに罪はありません。なぜ助けない？助けるのが当たり前だろうが。 なぜ立ち入り禁止にする？なぜ殺死させる？ もうそんな悲劇を繰り返したくない。学習しよう。そうでもしないと、今回の原発事故で犠牲になった動物（人間も含む）に申し訳が立たない。彼らの死をムダにしたくない。 地球が怒っている。そろそろ気付かないともっと大変なことになる。
19382	原発依存度ゼロは厳しいと産業界は主張するでしょうが、まずは徹底的な節電を国民がするべきです。オイルショックの時に我々は徹底的な節電をしました。深夜テレビをやめる、ネオンサインをやめるなどを始めとした節電をすべきです。一方代替エネルギーとして風力、太陽光、地熱などの開発に力を注いで欲しい。 これが子孫に禍根を残さない道だと思います。
19383	あらゆる可能性を否定せずに、様々な高効率の再生可能エネルギーを考えるべきだと思います。 太陽、水力、風力、潮力、地熱などいろいろあると思いますが、それぞれの研究者が互いに自由に競い合えるように国が法律や規制などを変えていくべきではないでしょうか。 いままで原発に費やしていた お金を研究にまわし、再生エネルギーの技術を世界に輸出すれば新たな外貨獲ぎになるのではないでしょうか。日本の技術者は素晴らしいと思います。誇りに思います。その技術者を生き生きとさせるのが国の役割ではないでしょうか。 多少、暑かろうが寒かろうが腹減ろうが死にません。自然エネルギーで十分まかなえるようになるまで国民の皆さん、我慢して下さいといえば、我慢します。戦中戦後の世代の方たちも我慢しました。自分たちにも出来るはずです。福島の人たちのためにもどうか原発じゃないエネルギーへ転換して下さい。そして、世界の範となった日本をみな誇りに思います。どうか、よろしくお願いします。
19384	原発ゼロシナリオを選択いたします。但し、2030年ではなく即時ゼロです。 原発はコントロール不能の技術であること、学者も含めた原発関係者・行政が意図的に作った安全神話という隠蔽に自ら陥り、事故対策が全くおざなりのものでしかなかったことが、福島原発の事故により証明されました。この証明を覆すのは難しいでしょう。何万年も消えない放射性廃棄物を排出し続け、将来世代に負の遺産を押し付けるのはやめましょう。再稼働した大飯は停止し、停止中の原発は再稼働せず、このまま即時原発ゼロにしていただきたい。18年も後の2030年であるならば、原発ゼロは当然です。根本的なエネルギー政策の転換を求めます。
19385	安全性はもちろんのこと、 稼動による核のゴミをどうするのか、全く決まっていないではないか。 このまま日本が核のゴミだらけになるのはごめんです。 しかも、蒸気タービンを回すだけのために、原子力は必要ありません。 未来の日本のためにはならない発電方法だと思います。 電力と経済の反映が比例しているとでもいうのなら、 代替エネルギー、クリーンエネルギーがメインの発電方法になるよう、 即刻研究についやすべきです。 こんなことを今さら議論しているのは、政府として対応があまりにも遅すぎます。
19386	原子力発電が人類にコントロール不可能な発電方法であることは、福島の事故をみれば明らかである。再稼働には断固反対する。また放射性廃棄物の問題も残されている。将来に禍根を残さぬための脱原発にエネルギー政策を転換すべきであると考える。
19387	国民は皆が無理解かつ短絡的思考者ではないので、下記の内容を率直に政府が国民にアナウンスして理解を求めるべきだと思う。 原発は、事故の危険性は伴うが当面稼働させなければいけない。 廃炉のための膨大な費用や、使用済み燃料の廃棄コストなどを勘ぐランニングのみに絞れば、他の方式よりも低コストなので、いきなり全てを止めて化石燃料での発電や、発展途上の端緒についたばかりの自然エネルギーのみで電力を賄おうとすると、民間企業である電力会社の事業収支へのダメージが大きすぎる。 よって、ゆるやかに原発依存度を低下させていく事が最も現実的なアプローチである。ただし、国際競争力と国防の観点からも、原子力技術を担保することは重要なので全廃はできない。 むろん、起こってしまった福島の事故は痛ましいものであり、今よりもっとピッチを上げて倍力でフォローしなければならないが、それをやり切る事と、情緒的に原発を全部一気に廃止する事は切り分けて理解する努力をするべきだと思う。
19388	ゼロシナリオ以外に選びようがないではないですか、この選択肢では。あまりに露骨な誘導的な三択です。落とし どころを15%ということにして、意見だけ出させようというその意図が透けて見えます。こんなやり方は、私たち国民を馬鹿にしている。ほんとに舐めている。としか思えません。もっと多くの議論の場を設定すべきです。特に今回の事故を起こした福島の人たちの現状を知ることは、一番大切なことです。それなくして今後の原発の比率をどうするのか、という今回のエネルギー基本政策は決めようがありません。 福島の人の現状を知るには、絶対に福島県内その地元で、内閣や国会を開くことが必要です。エネルギー政策を決めるために国会の委員会を、福島で1～2週間くらい連続で開くべきだのことは出来るはずです。すべての大臣も出席します。そこで原発事故で避難されている多くの方々の意見を聞く。福島第一原発の現場で実際に働いている方々の意見を聞く。これは東電の社員にも、その下請けの人にもです。福島で暮らしている人々、市民や漁民漁業の人の意見を聞く。識者意見も聞いてもいいですが、偏らないことです。それを日本中に映像中継したり、メディアを通じて伝えるのです。それらの意見を聞いて、他府県の人々の意見を聞く場も設ける。それらの意見をもとに政府としてのエネルギー政策を策定し国民に示す。そして選挙をして国民に問う、ということくらいをすべきです。拙速に結論ありきで、今回のように進めていくような事柄ではありません。私たちの子々孫々が生き延びていけるのか、平和に無事に生きていく社会を作り上げていくことができるのどうかという、大きな課題です。 私は、原子力を人間が制御できるとは考えていません。したがって、即原発をゼロにすべきです。では電気がまかなえるのか、という問題ですが、多くの人が言っているように自然エネルギーに全面的シフトし、予算もそこにつぎ込んで必要とかいわれていくことが必要となっていくでしょう。もちろん節電は国民の義務となります。生活スタイルまで変える必要が出てくるでしょう。それは私たち日本人の今までのエネルギー消費が過剰であったと思うからです。アフリカ、南アジア、中南米の人たちが今の日本時と同じようにエネルギーを消費して世界が存続できるでしょうか。 私たちはいま大きな分岐点にいます。この原発事故の失敗を経験した唯一の被爆国である日本がしなければいけないことは、原発をゼロにし、自然エネルギーを推進し、全世界それができることを示すことです。人類は平和に自然と共存して生きていけることができるのだ、と示すことです。これこそが私たち日本人が今後できること、しなければいけないことであると確信します。 原発ゼロシナリオ以外に、日本の進む道はありません。
19389	ドイツでの瞬間的とはいえ原発20基分の太陽光での発電に成功したという記事も多りましたが、 潮汐力や水力、地熱、地温、小水力、太陽光、風力など、あらゆる自然エネルギー活用の小規模分散発電の方で生活は充分まかなえると感じるからです。 これらを建造するコスト、と、原発の維持費・市町村への補助金はどちらが高く付くのでしょうか？ また、まだまだ送電線でのロスは多いと聞きます。 市街での分散発電が実現すれば、発電量自体は少なくとも生活水準を下げることにはならないのでは？ともお感します。 そのため、原子力発電所はもう日本国内にはいらないと思います。
19390	1）エネルギー・環境会議の3つのシナリオでは、原発0%シナリオから20-25%シナリオまで温暖化や発電量に大きな違いは認められない。0%シナリオで若干のコストと節電が求められるが、4-30年以内に7割の確率で大震災発生が予想される以上、国民は0%を求めるし、政府は効率でなく国民と国土の安全を指向すべきである。 2）報道によれば北海道では稚内など風力発電量が充分あっても、北電の送電能力不足のため活用できていない。再生エネルギーを本気で増やすのであれば、発送電分離をし、初期段階でのコストがかかっても長期的に非核・非化石エネルギーである風力、太陽光、地熱、潮力などの自然再生エネルギーを国が積極的に開発主導すべきである。同様に費用ばかりかかりビジョンのない高速増殖炉を即刻中止し、使用済み核燃料を全部直接処分することで無駄な費用を削減すべきである。 3）国民は将来の安全（非核）でクリーンな再生エネルギーの推進のためであれば当所の節電と、費用の増額を我慢できる。政府に求められているのは、子孫のための100年の大計である。
19391	使用済みの核燃料の処理技術や処分場が確定していない状況の中で、このまま原発を稼働し続けていくことは、必ず人類や地球に大きな負の遺産を残すことになります。ぜひ「ゼロシナリオ」への決断をしてください。
19392	2030 年のエネルギー・環境に関しては原発依存度ゼロシナリオを選択します。
19393	私たち人類はまだ原子力を安全に運転し、放射性廃棄物を無害にして廃棄するだけの技術を確立していない、とりわけ今回のような大災害時には通常では想定できない様々な事態が発生するが、それらを予測してすべての事態に対処するにはこれまでの技術的、経済的、人的な努力の何倍、何十倍もの努力が必要である。現在の日本の原子炉は利益優先の立場で運営せざるを得ない社会システムで運営されている。ここから脱しない限り安全な運転は不可能である。 少なくとも、福島原発事故の原因が明らかにされ、十分それらやその類似の事態に十分対処できることが国民的に明らかにされるまで、どの原子炉も運転すべきではない。 国民的に明らかにする際特に必要なのは、いわゆる原子力村の専門家たちに技術的な審査を任すのではなく、原子力の危険を主張してきたまたそれ故迫害されてきた研究者たちにも十分は発言力を与えそれらを含めて公開のしっかりした議論のもとで、原因、課題や対処方法を明らかにすることである。
19394	心情的には脱原子力を唱える方々のご意見は最もであるが、下記の視点も踏まえ、冷静ﾆｴﾈﾙｷﾞｰのﾒﾘｯﾄｺｽﾄを考えるべき。 1. ｴﾈﾙｷﾞｰｾｷｭﾘﾃｨｰ 原子力を国策として推進してきたのは、1970年代のｵｲﾙｼｮｯｸが契機と伺っている。特に産油国周辺では緊張が続いており、今後70年代のような状況が起こらないとは断言出来ない。また、原子力という選択肢を捨てる事で、化石燃料購入の際の価格交渉は、足元を見られることにより、かなり不利になることが想定される。 2. ｺｽﾄ 化石燃料の購入量増加に加え、再生可能ｴﾈﾙｷﾞｰ導入に伴うFITの導入によって電力料金のｱｯﾌﾟが想定される。原子力比率が低減することで、料金のｱｯﾌﾟ率はより大きくなり、特に産業界にとっては大きなﾀﾞﾒｰｼﾞとなることから、電力料金を始めとする生産ｺｽﾄの条件が緩やかな海外への産業の移転が進むのではないか。 結果、産業の空洞化、雇用の喪失が懸念される。 3. 安全性 福島事故が示すように、原子力は一旦事故が発生すると甚大な被害をもたらす。しかしながら、福島第一同様の地震、津波の被害を受けても、事故に至らなかったﾌﾟﾗﾝﾄも存在する。この事実も加味し、事業者及び国は、原子力ﾌﾟﾗﾝﾄのより一層の安全強化に取組むことで、周囲の信頼を得ながら事故リスクの低減に努めていくべき。 4. 倫理面 「経済性の観点から原子力は必要とする声は、命を軽視している」との意見があるが、経済基盤が確保されることで命が守られるとの見方も出来る。倫理とは決して一元的ではないことを認識すべき。

19395	個人	会社員・公務員	60代	女性	福島原子力発電事故は、避難を余儀なくされ不自由な暮らしを強いられ、何としてもこのような事態はあってはならない事です。自然エネルギー、省エネに徹し、断固原発反対します。ゼロシナリオです。	人災による放射能で、我が子が、孫が、自分が、親が、友人が何気ない、当たり前の生活をしていくうちに被災していく。10年20年先か、見えない将来の生活に被爆と言う恐怖があること事態、許されない事です。予測できない被爆の将来が、チェルノイブルにあるように、多くの子供達が甲状腺癌に、白血病に罹り闘病生活に苦しんでいる現実があります。先が見えない恐怖の中で、同じ国民が、我が子を守る事に必死にならなければいけない。このような事があっていいのでしょうか。絶対あってはならない事です。だから、省エネに勤め、原発反対と訴え続けます。国民の声を政府は聞くべきです。国民の生活を守るのが政府に役目です。絶対原発反対します。
19396	個人	会社員・公務員	40代	男性	エネルギー・環境に関する選択肢は、原子力はゼロへ、火力もゼロへと移行し、自然エネルギーや、より地球環境に負荷をかけないエネルギーへ変換していくべきだと思います。	現在の世界状況から見て、今の日本の状況は、日本の技術力を世界へ示すチャンスであり、新産業創出のチャンスであると考えます。 今後も地球温暖化がすすみ、原子力もコストがかかる事が明らかになってきた時、新たなエネルギーを作り出すシステムを作り上げたところが、次の時代をリードすることになるでしょう。 日本の国益のためにも、原子力や化石燃料に頼らないエネルギーシステムの開発に力を入れるべき時だと考えます。
19397	個人	会社員・公務員	40代	女性	「原発ゼロ社会」を目指すべき。今、私たち国民が望んでいる社会は、「安全で安心できる社会」。これほど甚大な被害をもたらし、故郷を失い、未だに大気中、海中の放射性部室に不安が残る原発はゼロにすべき。	「想定外」の事故はこれからも起こる。 安全に不安が残るもの、そして使用済み燃料などの最終処分場も決まっていないままの原発行政は、ここでストップすべき。 以前、駅や街で蛍光灯が半分の灯りになったが、それでも十分だった。無駄な電気使用を節約すれば、「原発ゼロ」で過ごすことが可能である。
19398	個人	自営業	40代	男性	0を選択します。昔原発がなかった頃は電気料金が今ほど高くなかったのでは？ 国民の民意を尊ぶなら、すべての国民が投票できるシステムにしてください。	同左

19399	個人	無職	60代	女性	1番を選択。地震活動が活発化している日本列島。原発事故の危険性だけでなく、使用済み核燃料の保管場所すらありません。2030年と言わず、すぐにでも原子力発電をゼロにする覚悟で臨むべきだと思います。	我々の生活には様々な形のエネルギー源が欠かせません。しかし、その前提にはまず、人々が安心して暮らせる大地や水、空気の存在があります。福島第一原発事故は、福島の大地を放射能汚染し、海を汚染し、16万人もの人々から故郷を奪い、幼い子供を抱えた両親に不安を与え、お金には換算できない苦痛を強いています。誰もが、ふたたび同様の原発事故が起こったらこの国はもう終わりだ、と思っているはずです。 5月5日から約2カ月、私たちは原発による電気の無い日本で暮らしました。原発は無くても暮らせます。孫たちが安心して暮らせるきれいな日本列島を残すために、2030年までといわず、すぐにでも原子力発電をゼロにしてほしいと思います。 （1）地震列島に原子力発電の安全な運転は不可能です。 日本列島は地殻の大変動期に入り、東日本大地震がそれを加速していると言われます。今もいたるところで地震が起こっています。多くの原発の近くに活断層が走っています。この国で原発を運転することは危険極まりないとの厳しい認識が必要です。 国会事故調、政府事故調報告でも、「原発安全神話」と「原子カムラ」体質が今回の事故をいっそう深刻なものにしたと指摘されています。しかし、今回の大飯原発再稼働に至る経過を見ると、この体質は少しも変わっておらず、原発の安全な運転など到底期待できないと思います。 （2）これ以上放射性廃棄物を増やすのは、子孫に対する罪です。 たとえ事故が無くても、原発は放射性廃棄物の処理、管理の問題が残ります。高速増殖炉「もんじゅ」は技術的に不可能だし、六ヶ所村再処理工場も問題だらけ。核燃料サイクルは机上の空論です。この地震列島に放射性廃棄物の最終処分場を見つけることなど不可能だ、というのが地震学者の意見です。北海道から青森沖にかけてのプレート型地震の可能性は大いにあり、大量の放射性廃棄物を擁する六ヶ所村再処理工場は危険極まりない施設だと思います。 1基だけでも1年間運転すれば広島型原爆の1000倍もの放射性廃棄物を生み出すという原発。私たちの物欲のために、これ以上子孫に付けを残してはならないと思います。 （3）一層の節電・省エネに努力し、暮らし方の転換を 提案では、電力供給を1割減として計算されています。しかし、まだまだ節電の余地はあると思います。電気をはじめ多量のエネルギー消費に頼る私たちの安逸な暮らし方を変えるときです。 たとえば、今はどこにもかしこにもエスカレーターがあり、一日中動いています。人々はエスカレーターを利用する一方で、運動不足解消のためジムなどに通っています。下りエスカレーターはなくてもよいでしょう。身体の不自由な人のためにはエレベーターがあるのですから。エアコンやエスカレーターなどに頼らず、日常生活に「自然」を取り戻すことは健康にもよいと思います。 エネルギー大量消費型の生活を改め、名目の経済成長率にこだわるのではなく、生活の質を向上させることが大切だと思います。 （4）再生可能エネルギー利用へのシフトを精力的に 発電にも自然のエネルギー利用を蓄及させましょう。原発は当初は開発途上にある技術でした。それを政府があらゆるかたちで後援して予算をつぎ込み、現在の原発依存体制ができあがりました。太陽光発電、風力発電、地熱発電などはすでに技術が確立しており、発送電の分離などの適切な政策によって、速やかな拡大が可能だと思います。また、海に囲まれた日本では、安定的な電力供給源として潮力発電などの新しい技術も開発も期待されます。再生可能エネルギーへの速やかなシフトは政策的な「やる気」次第で可能だと思います。 （5）原発は地球温暖化対策にはなりません。 提案文には、地球温暖化問題に配慮し、CO2削減にはあたかも原発が有用であるような表現がみられます。たしかに原発は発電段階ではCO2を出しませんが、ウランの精製段階ではCO2を排出しています。原発では、核分裂で生まれた熱エネルギーの3分の1しか発電には利用されず、残りは温排水として海に放出され、周囲の海を7度も上昇させるものであり、むしろ地球温暖化を加速しています。 原発の温排水は放射能の危険を含み、利用することは不可能ですが、火力発電所の温排水は暖房や給湯などに利用することも可能です。コジェネレーションなども普及させ、発電だけでなく、エネルギー消費全体を低減する工夫をすべきだと思います。 （6）提案の第2、第3案では脱原発になりません。 まず、第3案は、「原発依存度を低減する」というエネルギー環境会議の基本理念に反するもので、選択肢から削除すべきものです。2010年の原発依存度が26%であるなら、2030年20～25%ではほとんど変化がありません。原発を40年を越えて運転するか、新たに建設することになってしまいます。 第2案は、原発の運転年数を40年とした場合ということですが、2030年に運転されているのは、1990年以降に稼働を開始した原発がすべて動いていることが前提になります。この中には、浜岡原発4、5号機や活断層が直下を通っている志賀原発も含まれる計算です。個別の原発の危険度について精査もせずに、数字合わせをしているだけ。非常に無責任な提案だと思います。
19400	個人	会社員・公務員	30代	女性	いますぐ原発をなくすゼロシナリオを選択します。大飯原発も停止していますぐ活断層の評価を実施してください。	・地震の多い日本で安全な原発を作ることは不可能だということを2011年の東日本大震災で学びました。フクイチでも津波ではなく地震で損傷を受けていた可能性が国会事故調によって指摘されました。 ・最近オール電化などで電気の需要をわざわざ増やしているだけだとおもいます。熱を電気に変えてまた熱にして利用するのは捨てる部分が多く無駄の多いエネルギー利用です。ただオール電化以前に戻すだけで、生活の質を落とすことなく節電は簡単にできると思います。 ・各地の原発で活断層が過小に評価されているのも問題です。 大都市の電気のために、そうした危険を過疎地に押し付ける差別の構造にも大きな問題があります。原発は、ウランの採掘、最終処分ともに労働者に被ばくを押し付け、未来に多くの負の遺産を残します。 ・高速増殖炉や核燃サイクルもやめてください。ストップすべきです。これ以上使用済み燃料を増やすことは許されませんし、現在既にある使用済み燃料についても、安全な処分方法を検討してください。
19401	個人	無職	70代	男性	原発は即時ゼロにするべし。 再稼動や原発輸出などもってのほか。	人類が、制御できない原発、もしまた、事故が起きれば、日本、いや、世界が 破滅となる。 唯一の原爆被爆国である日本、福島事故を経験した日本―― 昨年末に野田首相が収束宣言したが、驚愕している。とても、人間のすることではない。 たとえ、原発無しの生活が不便になり、色々支障が発生しても、国民の多数は 我慢すると思う。 代替エネルギー促進に注力し、時間がかかっても、不便でも、安心・安全な 暮らしを目指すべし。
19402	個人	無職	70代	男性	ゼロシナリオを支持する。その理由は、原子力発電は未成熟で危険な技術であるから。8月末のエネルギー・環境戦略が決まるまでの過程を国民にオープンにしてほしい。地熱発電を大幅に増やす措置をとってほしい。	私はゼロシナリオを支持します。2030年までの、できるだけ早い時期にゼロにしてください。ゼロシナリオを支持する理由はつぎの通りです。使用済み核燃料や放射性廃棄物は、処分方法の見通しのないまま原子力発電所敷地に置かれていると聞きました。あと何年かで敷地内部に置き場がなくなるという状況だそうです。使用済み核燃料や放射性廃棄物は核反応によって必然的に発生するものですから、これらの抑制には限界があります。今直ちに運転を止めたとしても、我々より若い世代に、微世代にもわたって危険な物質の管理を強要することになります。その上、昨年のような地震津波に遭う可能性もあるのですから、原子力の安全は確保できないものです。従って日本で原子力発電をすべきではありません。核燃料サイクルも直ちに止めてください。「脱原発の考え方は感情的だ」という意見があるようですが、私は人類史的尺度から考えても、脱原発に必然性があると確信しています。むしろ「トイレなきマンション」と揶揄される原子力発電に固執することこそ、将来への展望を欠いた考え方と思います。 この機会に私のエネルギー選択に関する意見を書かせていただきます。 1.「エネルギー環境会議はこの3つのシナリオに関して国民的議論を開始し、その上で・・・結論を出す」と「エネルギー・環境に関する選択肢」4ページに書かれています。「その上で」でなく「それに基づいて」としてほしいです。パブリックコメントは8月末に決定予定のエネルギー・環境戦略にどの程度反映されるのでしょうか。この戦略決定までの過程は国民に公開して下さい。「省エネにより発電電力量は2010年比3割減が可能であり、2030年までに原発をゼロにできる」という専門家もいます。国民的議論を進める形の一つとして、各立場(0%,15%,20~25%その他)、各分野の専門家の討論を公開の場(例えばNHKテレビ)で開催されることを希望します。 2.三つのシナリオの中で、ゼロシナリオの場合にコストが最も高くなっています。これに私は疑問を感じます。ゼロシナリオは「より踏み込んだ制度改革」を前提にしています。この改革による自由競争の効果はコスト計算に反映されているのでしょうか。一方、原子力発電のコストは最低限の値であり事故後の補償までを考慮するともっと高くなるはずです。自由競争にさらされれば原子力発電は成り立たない事業だという説もあります。以上を考え合わせると、「ゼロシナリオは高コストである」とは必ずしも言えないと思います。 3.2030年までに再生可能エネルギーの比率を高めることは、エネルギー安全保障を強化し地球温暖化軽減に貢献することになります。再生可能エネルギーを増やすためには、太陽光、風力と並んで、地熱発電を大規模に進める必要があります。国立公園内部で試掘ができないことが地熱発電普及のネックになっていると聞きました。地熱発電の実用化は2030年には間に合わないかも知れませんが、長期的視点に立って、地熱発電が大幅に増える措置を進めてください。
19403	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発を残すこと将来の子どもたちにどうすることもできない危険な放射能を残すことです。使用済み核燃料を処理する技術も処分場所も不確定ななかで、原発を動かしていくことはできません。	私自身、３．１１の地震で初めて知ったことでした。今までは原発イコール比較的安全、高出力のエネルギーだと思っていました。そんな中、３．１１の原発爆発の映像はショックでした。また、放射能が大変な勢いで広がっていくこと衝撃的でした。 私のまわりでは福島から避難されてきた人もいます。 原発について考えたとき、デメリットがあまりにも大きすぎて、やはり反対せざるを得ません。国民が省エネ生活に向けて意識も高まっている中、原発ゼロを３年くらいは続けてみなければなりません。 そのご、再度議論をしていくことでしょう。
19404	個人	その他	50代	男性	2030年原発依存0%＝ゼロシナリオしかありません。	福島原発事故で明らかなように、原発の危険性から私たちの命を守るのは「ゼロシナリオ」しかありません。原発を稼働し続けることは、将来にわたって危険な放射能を残すことであり、使用済み核燃料の処分技術や処分場所も不確定な中で、原発を稼働させることはできません。自然エネルギーへの政策転換を図るべきです。
19405	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発0シナリオを支持します。	大飯原発の稼働は許せない。稼働を直ぐ止めよ。危ない原子力で電気を作る必要はない。また今迄そしてこれからの発生する廃棄物の扱いを決めないで青森に任せっぱなしとはひどい話だ。放射線は10万年しないと消えないと言う。 人間の手におえない原子力発電によって電気作る必要はない。日本政府は、国民の安全を第一に考えるのが必要だ。福島原発で被災された人々をどう考えての大飯原発稼働なのか野田総理は、国民の安全を考えず少数の原子力で大きな利益につながってる人を支持してると思える。もっと国民の安全な生活を守っていただきたい。
19406	個人	会社員・公務員	60代	男性	原発は廃止すべき。そのため、自然エネルギーを促進し、省エネを徹底する。たとえば、自販機を少なくする。24時間営業のコンビニを整理する。パチンコ屋を廃止する（電気の垂れ流し、もともと違法）。	原発は、いったん事故が起きると、取り返しがつかない。チェルノブイリや今の福島の状態をみれば明らかである。事故から1年以上たってもなお放射性物質は垂れ流しの状態ではないのか。たとえ事故が起きなくても、原発は放射性廃棄物の処理もできないしろものである。事故は、地震や津波による天災でも起こりうるし、人災でも起こる。また、日本の隣には何をしでかすかわからないＩ「北朝鮮」という国もある。原発を標的にして攻撃されたら、ひとたまりもない。また、放射能被曝で甲状腺がんばかりでなく、白血病・心疾患などが増加する。 原発に代わる代替エネルギーとして、太陽エネルギー・風力エネルギー・地熱エネルギーを促進する。また、蓄電技術を開発することも大切である。省エネのために、ビルの屋上の緑化促進、省エネ型の電気器具の奨励、自販機の整理縮小（炎天下の冷たい飲み物用の自販機などはエネルギーの垂れ流しそのもの、タバコの自販機も全く不要）、24時間営業のコンビニも整理したらどうか。たとえば、ある地域で深夜営業するのは1軒だけに限定して（当番制）、深夜は複数の店員とする。犯罪防止の点からもいいのではないか。深夜テレビもなくしたらどうか。パチンコも百害あって一利なし。エネルギーの浪費だし、そもそも違法ではないのか。サマータイムの導入も考慮すべきと考える。
19407	個人	会社員・公務員	50代	男性	3月11日の福島原発事故で明らかになった原発の危険性から私たちの命を守るためには「ゼロカイハウ」しかありません。	地震国日本では、近い将来かってない大規模な地震が想定されています。その中で、原発の安全性を保つことは不可能でしょう。地震国、日本においては原発より自然エネルギーの拡大に努めるべきです。特に地下エネルギーは、全国いたるところに無限にあります。規制をもっと緩和すれば実現可能なエネルギーです。
19408	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発は2030年までと言わず即刻運転を中止し再生可能エネルギーにシフトしていくべき。	経済への影響から原発の運転を続けるべきという意見があるが一旦事故が起これば不の影響は原発を運転して得られる経済的影響よりもはるかに大きい可能性が高い。また地震国日本では事故の起こる可能性が大陸国家よりも高く、他国のじれいはさんこうにならない。日本独自の道を歩むべきだ。
19409	個人	その他	30代	男性	原発ゼロシナリオ（再稼働なし、廃炉）を選択します。	地震大国の日本で原発を稼働させるということは、福島第一原発での過酷事故のようなリスクを負う覚悟で原発での発電を行うことであり、命や健康を犠牲にしてまで原発は要りません。 私たちが望む発電方法は、安心で安全、自然環境や生態系を壊さない、自然エネルギーです。 原発を稼働させるだけで、核廃棄物は増え続けていくけれど、現在、確実な核廃棄物の処理方法もなく、最終処分場の場所すら決まっておりません。 未来の世代に核廃棄物という、とてつもなく危険な物を残したくはありません。 原発を即停止し、廃炉にすることを望みます。
19410	個人	自営業	60代	男性	原発その物に反対です。	原発自体は危険な物と認識はしていません。人間が危険なだけです。 財界、経団連、官僚等等の恣意で運営されて安全性が確保されるわけが有りません。 自然災害時の話ばかりですが、万が一他国の工作員が破壊操作を行おうとした場合はどうでしょう？　その様な事は起こりえない、想定外ですか？ 政治家、企業、マスコミ等、責任すら取らずに逃げ回る方々が過去の事例から物事を学ぶなどできるのでしょうか？学ぶ物は保身術のみです。 この類の人間が責任者として存在する限り、原発稼動には反対します。 パブリックコメントとは言っても、都合の悪い意見は無視され結局好き勝手に決められてしまうのは十分承知ですが、一応意見を述べさせて頂きました。
19411	個人	会社員・公務員	40代	女性	ゼロシナリオを支持します。	再エネが35%で頭打ちという根拠がいまひとつ腑におちませんが（各界でいろいろな研究者がいろいろな数字を出しておられるので）、そのパーセンテージを上げていく高度な工夫（他のエネルギー先進国も参考にしつつ）とたゆまぬ努力は続けていくべきであると思います。 原発はいらない、子どもを産み育てる人ならそう思うのが自然ではないでしょうか。そんなに安全な原発がなぜ大都市にはないの？と子どもも聞きます。 まずゼロを目指す、というスタートを。そこから人は動きはじめます。
19412	個人	会社員・公務員	40代	男性	「ゼロシナリオ」の選択しかないと思います	原発の稼働を続けるということは、使用済み核燃料などの危険を、将来の子どもたちに残すことになります。使用済み核燃料をどうするかという技術も処分場所も不確定な中での原発存続は、納得できません。3.11の福島原発事故で明らかになったのは、原発で重大な事故が起こったときに、私たちには何もできないということです。また、夏の電力不足を理由に、大飯原発が再稼動しました。しかし、東日本大地震直後には、高速道路の照明が、1つおきになっていましたが、節電を呼び掛けているこの夏、その照明はすべて点いています。本当に電力って不足しているの？原発なくっても意外と余裕があるのではないの？と思います。故郷を出ていかざるを得なくなった福島県の人たちのことを考えると、少しぐらい不便になっても「ゼロシナリオ」しか選択肢はないと思います。
19413	個人	会社員・公務員	30代	女性	ゼロパーセント支持	いまだに福島原発の事故も収束していない中、他の原発で事故が起きた場合に同じことの繰り返しになると思う。 100%コントロールできるもの、収束可能なエネルギーでなければ、扱ってはいけないと思う。
19414	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原発は、2030年に停止ではなく、即刻原発停止を求めます。	原発は、あるだけで私たちの生活を今もおびやかしているものです。 もう原発に頼るのでなく、自然エネルギーを生かした発電方法に変わっていくことを求めます。 なので、原発停止に関しては、今後停止する事の議論をするのでなく、即刻原発ゼロ、廃炉技術に力を、お金を、時間を使っていただきたい。 大飯原発の再稼働も、即刻停止して頂きたい。 千葉県の一市民からの意見です。
19415	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発を続けることは、将来の子どもたちにどうすることもできない危険な放射能を残すことになります。使用済み核燃料をどうするかの技術も処分場も不確定な中で、このまま原発を動かしていくことは認められません。	直ちに「ゼロシナリオ」を決定し実施することを要求します。
19416	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発事故の被害が　甚大と思う。	コストが高い。　地球を温暖化させる。　電気は足りているからなどです。
19417	個人	自営業	40代	女性	2030年までに、エネルギーの原発への依存度をゼロにし、自然エネルギーなど持続可能なエネルギー源への転換を望みます。	・昨年の原発事故により、私が住む地域も汚染されました。豊かな自然があれば、人間が生きる基本である衣食住を支えることが出来ます。私たちは自給用に使っていた畑の汚染状況を心配しながらの暮らしとなってしまったため、のストレスはお金に換算できるようなものではありません。ひとたび事故を起こせば、人々の暮らしを根底から覆すような原子力発電は廃止して欲しい。 ・また、核廃棄物の処理方法も確立されていないため、次世代にしわ寄せを残すことになります。そこまで確立することが出来て、初めて人間が原子力を使うことが出来るのではないでしょうか。 ・経済成長を前提として、原発がなければ経済が傾くという意見がありますが、大量生産大量消費で、どんどん、地球に負荷をかけ続けるような経済のあり方自体を考え直す時だと思います。本当の豊かな暮らしは何であるのか？経済は成長させなければ、私たちは貧しくなってしまうのか？という問題を議論したうえで、エネルギーをどうして行くのかを決めていくプロセスが必要だと思

19418	個人	自営業	60代	男性	私は今回のエネルギー選択において、「ゼロシナリオ」を支 持します。	理由： （1）原発において、チェルノブイリや福島の事故を防ぐ抜本的な 方策はなく、高レベル放射性廃棄物の抜本的な処理策もないように 見えます。すなわち、原発の抱える抜本的な問題は解決の仕様がな いのではないでしょうか。 （2）しかも日本は地震や活断層の問題など、原発によりふさわし くない風土と考えられます。 （3）また、何の安全性の根拠もなく大飯原発の再稼動を決定し実行するなど、政府は、原発の危険性から国民を守るという意思と能力を持っていないと判断せざるを得ません。そうした政府の 実態を考えると、原発を0にしないことには、安全な生活を維持していくことに、大きなリスクが発生します。 （4）さらに、再生可能エネルギーも技術の発展や、特に蓄電が一 般家庭でも可能になりつつあるなど、普及を進めることが現実的に なりつつあるように見えます。 （5）そうだとしたら、ゼロシナリオこそが他のシナリオに比べて むしろ現実的ではないでしょうか。自然エネルギーの普及と、環境 負荷の少ない社会の構築に向けて経済の構造転換を図り、その成果 を国や産業、社会の強みとすることこそ必要ではないでしょうか。 （6）なお、原発推進の裏の理由として、潜在的核武装の問題があ ると思います。この点についてはエネルギー選択とは切り離して議 論をすべきであり、「潜在的核武装のために原発を推進する」こと は避けていただくよう、お願いいたします。
19419	個人	自営業	30代	女性	ゼロシナリオに賛成。今すぐ廃炉に！「無い中で工 夫する」という知恵が、技術者や生活者にはある。「電 気がなければ経済が発展しない、国際競争力から脱 落する」なんて、私たちをバカにしていると思う。	今すぐ廃炉に！　今すぐゼロベースの決定を！ 「日本は資源が乏しい」というが、どの時代でも、独自の発想と美学でオリジナル文化を築いてきた。「電気がなければ経済が発展しない、国際競争から脱落する」なんて、私たちをバカにしている と思う。私たちは、そんなやわな文化じゃない。「無い中で工夫する」というのが、昔から日本が培ってきた能力である。技術者や生活者をもっと信じるべきだ。 原発は間違いだった。原子爆弾も、原子力発電所も、同じ恐ろしさをはらんでいる。自分の手に負えないものに対して、これ以上依存するのは、あまりにも無責任すぎる。明らかに、子供や未来 の人間に対して、恥ずべき負債を負わせてしまった。はっきり言って、節電が苦しいなんて気持ちはまったくない。「節電が苦しいから、生活が危うくなるから、原発再開」なんて、原発被害を目の 前にして言えることではない。 「もったいないから電気を消す、控える」、それだけで済むレベルの節電で、実際どうにかなっている。「たかが電気」のために、こんな爆弾を抱えて暮らすのは、もういい加減止めて欲しい。 原発作業員等の仕事が無くなるとはいうものの、廃炉に向けた作業は気の遠くなるほどの年数がかかるので、雇用をそちらに向ければ良いだけの話。 電力会社は目先の利益を追及しすぎて、設備投資や方向性に失敗した「ただの斜陽企業」にしか見えない。そのツケをどうして「被曝」という「人間の尊厳の犠牲」で補わなければならないのか。 今変わらなくて、どうするんだと思う。世界中が、日本の動向を、政治家の判断を、見張っています。1000年後も、2000年後も誇れる日本であって欲しい。 今すぐ廃炉に！　今すぐゼロベースの決定を！　今を生きる私たちこそが、未来のお手本になるべく努力すべき時だと思う。
19420	個人	自営業	30代	男性	エネルギー政策での「ゼロシナリオ」を希望します。ただしこのシナリオにおいて、大きなエネルギー政策の 転換となるのに地球温暖化という「常識」を疑わない のは問題です。	原子力発電がもはや負け戦であることは自明です。第二次世界大戦で二つもの原子力爆弾を落とされてようやく負けを認めたような同じ鉄を踏むべきではないと思います。原発を維持したいと 考えているのは経済上の理由だけ、それも福島のような事故リスクや今後の廃炉コストを計上しない粉飾決算のような経理上の収益だけを追い求めています。 バブル崩壊後の日本経済は、銀行が抱えていた不良債権を勇気を持って処理しました。結果的にこのことがこんにちの日本経済を支えているのではないでしょうか？瞳は早いうちに出したほう が良いのです。 しかし、わが国のエネルギー政策が自主独立した考えに根ざしていたのか？これからの日本の主権独立性はどうなるのか？大きな課題について真剣に考えるにしては、前提条件が保守的す ぎるように感じます。ロシアからの天然ガス購入であるとか、ブラックボックスをすべてひっくり返して議論していただきたいと思います。 地球温暖化なんて、そもそも嘘かも知れないのですよ！
19421	個人	無職	60代	男性	20～25シナリオ＋α：再生可能エネルギーへの過剰 な期待は国を危うくする。福島事故を教訓に安全強化 した原子力発電と火力発電を基軸に、国情に合った ベストミックスで日本の衰退を回避すべきである。	1．シナリオについて 　福島事故は原子力の信頼失墜と深刻な環境汚染を招き、未だ多くの方々が避難生活を余儀なくされている。原子力関係者は福島事故の教訓を真摯に活かすことが大切。同時に、エネル ギーは産業と国民生活を支える基盤であることを念頭に、我々国民一人一人がエネルギー政策について冷静に考え、選択する必要がある。 　「シナリオ」は原発依存からいかに脱するかが大前提で、技術開発の時間と導入促進策があれば再生可能エネルギーが基軸エネルギーになるとの誤解がある。再生可能エネルギーは選択 肢を広げ、分散・地産地消に資するが、その特性や日本の自然条件から、補完的役割では許容されたことが導入規模の拡大につれて問題化し、高コスト・不安定社会を招く。更なる産業空洞化 と雇用喪失が加速し、エネルギーコスト増を価格転嫁しづらい中小企業にとっても致命的となる。また長期に及ぶ脱・減原発は、原子力技術の継承や人材確保に支障をきたし、却って リスクを高 めかねない。 2．再生可能エネルギーへの過剰な期待は国を危うくする 　希薄なエネルギーを利用する太陽光発電と風力、エネルギー密度やエネルギー収支比（資源有効利用の尺度）が小さく、出力が天候に大きく左右されるため不安定で、設備利用率も原子力や 火力に比べて大きく劣る。2030年の太陽光の発電コストは、楽観的シナリオでも事故リスク反映の原子力やLNG火力より割高である（コスト等検証委員会資料）。太陽光発電や風力発電を大規 模に電力系統に繋ぎ込む場合は、需給調整用の蓄電設備やバックアップ電源（火力や揚水発電など）、送電設備の増強が必要で、更に発電コストが高くなる。 　台風や梅雨、雨天・曇天が多い日本の年間日射量は、日射条件の良い南欧や米国中西部の半分で、同じ太陽光発電設備でも設備利用率は半分、発電コストは倍になる。自然条件は変えら れないので、日本は研究開発に傾注し、海外の好条件地域への輸出戦略が得策。風力発電が盛んな欧州は平坦な地形と遠浅な海岸線、安定した偏西風に恵まれ、自然災害も少ない。山地 が多く平坦地が少ない日本は、北海道や東北、沖縄など風況に恵まれる地域が限られる。台風や落雷による倒壊・破損例も多く、風力発電の稼働率も低い。 　広大な敷地が必要な太陽光発電や風力発電が2030年計画値を達成するには、ゼロシナリオまで千葉県並みの敷地面積が必要で、大地震や津波が起これば大規模停電となりかねない。自然 災害に備えた設計基準や投備対応が必要である。 　ゼロシナリオの場合、2030年に太陽光は20倍、風力は30倍、等々に増える。7月発足の固定価格買取制度（FIT制度）に伴う国民負担増を簡易試算すると、毎年一定量を新規導入し買取価格 一定の場合は2020年に年間2.2兆円・累計11兆円、2030年に累計43兆円・以後の債務残36兆円となる。3年経過後買取価格を毎年一定額で削減する場合でも2020年に年間1.9兆円・累計10兆 円（ドイツの太陽光発電が頓挫した額）、2030年に累計31兆円・債務残27兆円になる。国民負担額から、2020年レベル（再生可能エネルギーは総発電量の約12%、既存水力8%を加えると約20%） が限界ではなかろうか。 　太陽光発電市場は金融商品化しており、海外への資金流出も懸念される。買取負担額の一割でも既存原発の更なる安全強化や次世代炉に振り向ければ、リスク低減と便益向上が図れ、余 程合理的と思われるのだが。 ※ドイツやスペインでFIT制度頓挫。一時世界を席捲したドイツやアメリカの太陽電池メーカーが中国との価格競争に敗れ相次ぎ経営破綻、膨大な余剰在庫を抱える中国製品が日本市場にな だれ込む。 3．諸外国のエネルギー政策 　脱原発・再生可能エネルギー傾斜のドイツは、太陽光発電や風力発電が頓挫しても、数百年分の自国埋蔵石炭が安心感。脱原発イタリアの電気料金は欧州で一番高く日本の2倍、資源に乏 しいフランスは、オイルショック後「エネルギーの独立」を大前提に原子力政策を推進。島国のイギリスは自前のエネルギーを重視、北海石油・天然ガスの生産量減少に備え原子力の利用拡大 方針を明確化。アメリカはシェールガスでエネルギー資源の主導権を狙い、更に34年ぶりに原発も新設決定。逼迫する電力需給と石炭環境問題を抱える中国は原発にも積極的で、レアメタル 資源戦略を展開し、シェールガスも埋蔵量世界1位。韓国は石炭と原子力による安価な電気料金を背景に輸出立国。 　戦略性に優れた国は、依って立つエネルギー源を確保している。 4．日本の国情に合ったエネルギー政策を 　資源に乏しく（エネルギー自給率4%）、極東の島国という地政学的立ち位置、少子高齢化・労働人口減少の日本は、準国産エネルギーたる原子力を依って立つ柱とすべき。原子力は、発電量 当たりの燃料消費が少なくエネルギー安全保障に優れ、高速増殖炉サイクルが実現すれば資源問題からも解放される。温暖化対策にも適し、火力発電の燃料費高騰への抑制効果もある。新 興国の参入が容易なモジュラー型（例：太陽電池、パソコン等）と異なり、インテグラル型（例：新幹線、自動車等）の原子力は作り込みを得意とする日本人の特性に合い、国際競争力にも優れ る。 　貸否対決ではなく、国の安全規制改革、事業者の安全重視経営の徹底等を通じ、国民が「より安全な原子力技術への進化」を受容できるよう地道な努力を積み重ね、原発（発電量の約30%）と 火力（約50%）を基軸に、無限のない資会の再生可能エネルギー（約20%）を加えエネルギーベストミックスで日本の衰退を回避すべきである。
19422	法人・ 団体等	法人等	法人等	法人等	提示されているシナリオの中では、2030年までのなる べく早期に原発比率をゼロとする「ゼロシナリオ」しか ありません。	地震大国日本には、近い将来にも大規模な地震が懸念されています。 福島第一原発事故では、五重の壁と呼ばれる安全装置もまったく役に立ちませんでした。安全な原発など、ありえないことが明らかになりました。 そうした中で、原発の安全性を確保することは不可能です。 私たちに安全を確保する道は「ゼロシナリオ」しかありません。
19423	個人	その他	60代	女性	＊0%を支持します。 ＊今回短期間で大切なことを決定するのは納得がい きません。	原発を維持することは未来の世代に対して私たちが選択することでしょうか。答えは否です。原発は人の力で制御できないことがはっきりしたのになぜつづけようとするのでしょう。危険な燃料 は10万年もの長い間地球上のあらゆる生物を脅かし続けます。政府、財界は核武装への道を画策していることも明らかになりつつあります。再稼働ありきの立場からのまやかしの論点に加担し 国民を欺く「専門家」なる人物たちの責任も極めて重い。2度と広島、長崎、そして福島の悲劇を繰り返さないためにすべての原発を止めてください。日本人の英知を結集して再生可能な社会を 目指すための一歩を踏み出してください。 　このような短期間での決定で悔いることのないよう、もう一度国民的議論を起こしてください。
19424	個人	無職	60代	男性	まずこれからのエネルギーとは、ほぼ全て電気とし ます。 原子力33%、火力、水力、地熱発電所で33%、太陽、 風力、燃料電池、新開発発電で33%、これが現実的と 考えられます。	原子力発電は第一にコスト安、安定的である。発電量比較建物立地が少ない、二酸化炭素問題対策。これらより日本には絶対に必要です。 　火力、水力、地熱、それぞれが長所、短所を補い合い、安定的でもある。これらが時間稼ぎしている間に新開発発電が飛躍的に進歩し、画期的発明により前者2方式にとり変わることを期待し ます。 　化学変化、E＝MCCなどで熱を作り、熱により水を水蒸気圧に変え発電タービンを回し発電する方式から、熱を作る過程を無くし発電する技術が早く確立することを待ちたいと思います。
19425	個人	無職	50代	女性	原発ゼロの速やかな実現。 既存の原発は順次廃炉、建設中また建設予定の全 原発および核燃料再処理施設の稼働を中止する。	人間に制御できない核エネルギーを「平和利用」の名の下に発電に利用し、国策として原子力発電を推進してきたのは間違いだと思います。 事故が起きれば(現実に事故は起こっています)生態系への壊滅的な影響を与える原発からは完全に脱却すべきです。 また、今回のエネルギー政策見直しのプロセスでは議論されていない、使用済み核燃料の再処理・再利用について、私は断固反対です。 莫大な金と時間をかけ、犠牲になった人の命もありながら、未だに技術的に実現の目途がたっていない巨大なリスクを負った核燃料サイクルに関わる全ての施設と研究プロジェクトを中止してく ださい。 使用済み核燃料の再処理・再利用を前提に、核廃棄物の最終処分場をつくらずにここまできてしまったことが信じられません。 フィンランドが堅い岩盤を切削してつくっている最終処分場をドキュメンタリー映画で見ましたが、フランスの核のゴミはスペリアに野ざらしになっていると知り、驚愕しました。 日本で造からず使用済み核燃料の仮置き場が一杯になったら、どうするつもりでしょうか？　地震の多い日本のどこに最終処分場をつくろうというのでしょうか？ 原発・核燃料サイクルについて、この根本的な問題をもっと議論せず、先送りにするのはあまりにも無責任だと思います。 政府が提示したエネルギー政策三つの選択肢の、2030年原発依存度 15%シナリオは老朽化した原発から順次廃炉とふいて(それでも40年の期限を超えて稼働させる場合もあることを巧みに前提 条件にしていますね)一見、現実的な選択肢のように見せかけていますが、使用済み核燃料の再処理・再利用を前提にしている点で、在り得ません！！ 福島第一原発事故により、多くの人が生活の場を失いました。失われた命、汚染された環境、内部被ばくの脅威と共存していかなければならない人々・・政府がこの現実に真摯に向き合うなら ば、原発ゼロに方向転換するか選択肢はないと思います。 原発による電力の安定供給がなければ経済発展が阻害されるというような脅かしはやめてください。代替エネルギーの開発による産業育成・経済発展は可能ないハズです。それをどう実現する かは国を動かしている人たちの仕事ではないですか？ 原発を廃炉にすると東電が債務超過になり、出資している銀行が困るというような経済論理で 今回のエネルギー政策見直しの結論を出さないよう、どうかお願いします。
19426	個人	会社員・ 公務員	60代	男性	原子力発電所の再稼働絶対反対。	原子力は人類が制御出来ない物である。 原子力発電所は、テロに対して無防備であり、原子力発電所＝原爆である。 再生可能エネルギーに投資したほうが日本の産業が発展する。
19427	個人	その他	50代	女性	原発は要りません。原発頼みのエネルギー政策を信 用しません。人だけではないのです。限りある地球の 生命体すべてに、今回の事故でどれだけの酷い ことを し続けているのか理解しようとするべきです。	子どもたちのみならず、これ以上地球に膨大な負の遺産を残すことは許されないことです。原子力を未熟な人間の力で制御できると思っていることが既にとてつもないおごりです。現時点では必 要、との意見にも反対です。電力供給が少なからうが、充分にあろうが、節電をすれば良いのです。原発を動かして、節電を解除、ということ自体おかしい。
19428	個人	その他	40代	女性	原発依存度を(1)ゼロシナリオにして欲しい。	現在も放射能汚染を完全に止められない。福島の除染を完璧にできていない。避難している全ての方々が前と同じ生活ができるめどもたっていない。放射能に汚染された空気・水・食品などが 広まり自然や生活を脅かしている。常にんが被爆しながら人の犠牲の上に作られる電気はいらない。人間の手に負えない原発はいらない。
19429	個人	無職	60代	男性	一刻も早く原発依存から抜け出すこと。	先ほどの被ばく線量隠しでも明らかになったように何重もの下請の労働者の方によって成り立っている原発は、差別そのものです。また、燃料のウラン鉱石採掘現場で働く人たちの安全はどこ まで保証されているのでしょうか。 毎日たまり続ける核廃棄物の最終的な処分方法も決まらないまま原発を稼働させ続けることは、将来に大きな禍根を残さざるを得ません。たとえ地中深く埋めたとしてもどんな地殻変動の影響 を受けるかわかりません。そもそも、この問題を先送りにして原発を推進してきたことに問題があるのです。 今後一切の原発を動かさないで、絶対に安全な廃棄物処理に向けて政府、電力会社、各研究機関は取り組むべきです。
19430	個人	無職	40代	男性	(2)のシナリオが妥当。各発電方法にはメリットもデメ リットもある。福島原発事故後、原発ゼロの声も大きい のは事実で再生可能エネルギーで安心だわといった 気分だけで依存度を急激に増やすのには疑問がある。	太陽光発電利用が増えた場合、パネルからの輻射熱による温暖化促進はないのでしょうか。 地熱発電利用が増えた場合、地熱の放熱に伴う地下の空などは発生しないのでしょうか。また、熱の移行によって地域の自然への変化は発生しないのでしょうか。 私は早急に発電方法を切り替えていくのではなく、徐々に切り替えていくことを望みます。 その中でいろんな問題も発生していくと思いますし、また、新しい発電方法が出てくるかもしれないからです。 私は酸化と還元が繰り返される発電方法が出来ると素敵だなと思います。 酸化・還元には吸熱や発熱が起きます。酸化したものを還元し、また酸化させる。そのエネルギーから発電できたら素敵だと思います。 その中で使用されている原子の数は変化せず、右から左へ、左から右へ移動しているだけ。 これが新たな原子力発電になったらとても素敵です。
19431	個人	会社員・ 公務員	40代	男性	そもそも2030年までに原発依存度を減らすための目 標なのですから、当然「ゼロシナリオ」を掲げて、政 府、国民一体となって実現のための努力をすべきです	「ゼロシナリオ」を目標とした場合、関連の企業や省庁が権益を失うだけでなく、国民にもさまざまな負担がかかることと思います。しかし、この資料にある「マイナス面」くらいであるなら、多くの 国民は受け入れて努力することが可能です。対して「15%」と「20～25%」の場合のマイナス面が資料に表記されていないのはフェアでありませんが、2010年が26%なので現在停止中の原発の うち少なくとも50%以上の原発を再稼働または新設していくシナリオですから、その過程で起こりうるリスクとして「原発地域に地震や事故が起こった場合のリスク」や「増え続ける放射性廃棄物 が未来に及ぼす影響」などがおもな「マイナス面」です。もし、そのリスクが表面化した場合には、国民は事態を受け入れることも固復努力することもできず、ただ途げ惑うだけです。そしてまた原 発事故に対しては政府も国も充分に対処することができないことも福島の事故で明確になりました。15%以上のシナリオで原発依存を継続していくということは、現在国民が抱えるそうした不安 と恐怖がこの先も日本中で継続していくということです。「ゼロシナリオ」における温暖化やコストなどのリスクと比較した場合、国民に与える影響の大きさが比べものになりません。今、世界でも 数少ない苦しい選択を得てきた日本だからこそ、脱原発のリーディング国となるべく進んでいかなければなりません。政府にはもう一度、そういう当たり前の理性を思い出していただき、勇気を 持ってエネルギー政策の転換を図ってほしいのです。 　政府が寺ちんとした目標を示し、従来のしがらみに捉われずに法を整備し、覚悟を持って訴えれば、国民も大きな目標のために継続的に努力できます。そのさまざまな努力は、経済至上主義 が根付いてしまった日本人の体質と相反する部分があるかもしれませんし、しかし、今こそもう一度日本人の生活や幸せの価値観を見直す時期ではないかとも思うのです。今より少し不便な部分 がでてきたとしても、その中で自分にとって本当に必要なものが見えてくるかもしれませんし、過剰な供給と消費のシステムも改善されるかもしれません。そういう個々の価値観の変化の中で、 新しいエネルギー産業の発展や省エネ体質の国家も実現していくのだと思います。 　2030年へ向けてみんなで努力した結果、その時点ではどうしても10%残ってしまったとしても構いません、さらに次の10年で実現できるよう努力すればいいのです。日本なら出来るはずです。 そのためにも目標は絶対に「ゼロシナリオ」でなくてはならないのです。

19432	個人	会社員・公務員	50代	男性	日本は、外国との貿易で、国としての豊かさを堅持すべきである。しかるに、電力単価は安く、安定的に供給しなければならない。そのためには、原子力発電所の安全確保を図った上で、原子力比率は維持すべきである。	1．日本は、狭い国土で、資源も無い国である。狭い国土で生産する農産物だけでは、国民生活を支えていくことは無理である。その中で、諸外国と対等に渡り合うためには、製品加工で儲けていかなければならない。そうしなれば、全国民を現在の、レベルの生活を維持していくことは不可能である。 生活レベルの中には、文化活動、音楽活動、スポーツも含まれる。これらをすべて中止し、原始人のような生活には戻れない。 2．原料を輸入し、付加価値をつけて、製品にして、売っていく。そのためには、生産活動の基盤である電気供給は不可欠である。電気を安定供給するためには、自然エネルギーのような不安定な電源の比率は、ある程度に抑えていかなければ、不可能である。さらに、安価に供給するためには、今のように、経済原則を崩してまで高値で買い取っていては、諸外国には勝てない。安価に電気を供給することが大切である。原子力は、廃炉費用は、固定費としてかかる訳で、今、動かしても、止めても、同じだ。だから、動かした方が電気代は安くなる。 3．諸外国との競争に勝つためには、エネルギーの大半を外国に依存しているわが国においては、準国産エネルギーである原子力発電は、重要である。いつも外国の顔色を伺いながら、エネルギー確保を図っている姿は、弱腰にならざるを得ない。従って、エネルギーセキュリティの観点からも、経済性（高いなら要らないと言える）の観点からも、国産エネルギーは死守すべきである。 4．原子力の安全確保の観点からの設備改善や廃炉技術、使用済み核燃料の問題は、存在することは確かである。これは、国全体として取り組んでいかなければならない問題である。今回の経験を踏まえて、一段と優れた安全な原子力発電所を開発・改善できれば、外国に輸出できる国産技術の柱をすることも可能である。災い転じて福となすべきである。 と考える。
19433	個人	会社員・公務員	40代	男性	私は、2030年における原子力発電の割合をゼロにする、（ゼロシナリオ）を 選択します。	東日本大震災による福島第一原発の事故は、今だ収束したとは思えず 事故に至った根本的な原因も解明されていない状況と理解します。 そんな状況では、全国の他の原発が安全であるといった判断が下せる訳も無く 稼働させることも危険極まりないことです。 大飯原発が稼働されましたが、万が一、何らかの事故が発生した場合、誰が どんな責任をもつのでしょうか。また、周辺のみならず日本国民の安全は 誰が保障してくれるのでしょうか。 福島第一原発でも使用済燃料の問題が取りざたされています。 核のゴミの処分は、まったく恒久的な施策が講じられてなく、未来に先送りの 状況も容認できません。 今回の震災から我々国民がとても高い代償を支払って学んだことは「脱原発」で あり、目先の電力状況で判断を下すような安易な課題ではありません。 電気や経済のことと「いのち」を天秤にかけるような考え方は認められません。 たとえ不自由なことが生じたとしても、きちんとした長期的な展望さえ示されれば、みんなで乗り切れるはずです。少なくても私は我慢をします。 「脱原発」を具体的且つ明確にするためには（ゼロシナリオ）を目指すほかに 選択はありません。 以上の理由にて、意見を申し述べさせていただきました。
19434	個人	会社員・公務員	20代	男性	原発はゼロシナリオしか考えられません。	日本は地震、津波、台風など自然災害の多い国です。福島第一原発事故は原発の安全神話を崩壊させ自然の驚異を証明しました。島根原発周辺にも活断層が存在し、いついかなる時に大地震が発生し重大事故につながるかわからず、住民は常に不安を抱えています。安全を実現するには原発をなくすしかありません。「ゼロシナリオ」を早期に実現するよう求めます。
19435	個人	その他	60代	男性	2030年原発依存0%を望む。 （即時原発依存0%の選択肢が無いため）	以下は、全て既知のことであり、「釈迦に説法」で恐縮ですが、私の認識・思いを書きます。 後世に、大きな負の遺産の核燃料廃棄物を、今以上残してはならない、絶対に！　心から心から心から思う。 人は「核＝原発」を制御（コントロール）できないし、これからも絶対にできない。 日本は言わずと知れた地震多発国、原発立地に不向きであり、"日本に原発は不要"（3．11以後）、と強く思う。 原発は早急に全て廃炉にすべきで、特に高速増殖炉「もんじゅ」は即刻廃炉にすべき、と考える。 高速増殖炉の開発には、これまで膨大な費用と年月を費やしたが、全く目途が立っておらず、学術理論として成り立っても、商業化は絶対無理であり、典型的な"金食い虫"と化しており、全ての面（テクノロジー・コスト・リスク等々）から即刻廃炉にすることを希望する。　また、使用済み核燃料の処理技術は未だ確立されておらず、高レベルの放射性廃棄物貯蔵施設の建設の目途すら立っていない。「福一事故」の真の原因は不明であり、また、収束も封じ込めも出来ず、危険な状態が続いている。 （特に4号機は大型の台風・竜巻の直撃、強震度の地震による崩壊が心配） 東日本大震災のような「大地震・大津波は百年・千年に1回」に惑わされ、原発推進派・原発容認派は数十年は発災しない、と根拠の無い甘い希望に縋り・縋り、予測不能な自然界（地球）の活動をナメきっている、としか思えない。　明日、明後日、数か月先、数年先に再びも大震災の発災は有り得ると考え、諸々の防災・減災対策を講じるべき、と思料する。　その対策を考えると気が進くなるほど、途方もない費用と時間を要すること重々承知しているが、必然と投入、推進し、その第一歩を原発の廃炉とすべき、と思う。　もし万一、大震災や直下型地震による原発シビアアクシデントが発生した場合、日本国は崩壊し、国民の多くが流民と化すのでは、の思いが日々募る。 ＜原発不要の根拠＞ 7月29日現在、日本で稼働発電している原発は大飯原発3号機のみに関わらず、7月に入って数日猛暑になったが、電力不足は発生していない。 特に供給力不足と言われた関電地域は17日に猛暑に見舞われたが、発表された数値から電力は充分足りている。（国民の節電の努力も大きい と思うが） 関電は供給力不足と言いながら、大飯原発3号機の再稼働に合わせて合計300万KWの火力6基を止めていることは理解不能であり、国民の安全・不安解消より、コスト重視の姿勢がより鮮明になった、と言える。　野田政権と電力会社に、国民をナメるな！、ふざけるな！、と強く言いたい。 毎週金曜日の首相官邸前の抗議行動を始めとし、全国各地に燎原の火のごとく広がっている"脱原発"の一般市民の行動は、政治的に半のごとく大人しい日本国民の意識・行動が大きく変わった象徴的な事象（俗にいう"潮目が変わった"）であり、それを感知・認識出来ない感覚が鈍い政治家の多くのは、次の選挙で淘汰されるハズ、と期待を込め思う。 ＜火力発電によるコストについて＞ 再生可能エネルギーの普及まで時間を要する。当分の間、火力発電頼みになるが、電力会社は総括原価方式に守られ、地域独占で競争原理が働かず、調達努力が全く足りない。　調達費削減で各関代は広くて大きく、天然ガス、シェールオイル・ガスの調達先を拡大すると共に、効率の良く、CO2排出量も少ない最新式のガスタービンに切り替えることで、大幅なコスト削減（皮肉なことに原発事故の後押し）を実現できる。（短期・短所で見れば初期投資は高いと思いがちであるが、大所に立ち、電力供給全体で調整、長期で見れば達成可能）　秋田・新潟における国産油田（シェールオイル・ガス）の試掘、想定埋蔵量や採算が見込めるニュースは明るい希望であり、周辺や他の地域で発見できる可能性を秘めており、メタンハイドレード関連と共に、今こそ政官民が一体となり、「人、モノ、カネ」を集中投入し、国内の採掘・利用技術の開発を促進することで、自ずと道が開かれる、と思っている。 ＜エネルギー・イノベーション＞ 早急に政府は原発ゼロ・ヴィジョンを打ち出し、道路を断ち、高い目標を立て、規制緩和等々の法整備（要罰則明確化）を行い、そして「人、モノ、カネ」を集中投入することで、エネルギーのイノベーションに弾みが付き、必ずや目標を達成するが出来る、と思料する。 発電では地熱、ソーラパネル、バイオマス、小水力等々、発電以外では節電・省電力、蓄電、並びに省送電ロスなどの分野、統合システムとして技術革新・発展が期待できる。 統合エネルギー政策と共に推進することで、コストを下げ採算性を高め、災害リスク分散・減災にも寄与し、何より日本の大きな問題点の2つ、雇用と景気回復に大きく寄与できる、と思う。　これから経験する廃炉技術も含め、必然的に、これらの技術は世界に誇れる、世界をリードできる技術となり、「福一事故」で多大な迷惑を掛けた世界の人達、東日本大震災に対して応援・支援をいただいた世界の人々に応えることでもある。（大きな世界貢献）　日本なら日本人なら、近い将来必ず実現できる、と確信しております。 以上、一読いただければ幸いです。
19436	法人・団体等	その他	50代	男性	福島原発事故からも分かるように、原発の危険性は明らかです。私たちの命や、子どもたちの未来を守るためには、「ゼロシナリオ」しか選択の余地はありません。	3．11の福島原発事故で、原発の危険性は嫌というほど明らかになりました。原発を続けることは、将来の子どもたちにどうすることもできない危険な放射能を残すことです。私たちの命を守っていたのにも、子どもたちの未来を守っていたのにも、「ゼロシナリオ」しか選択の余地はありません。「ゼロシナリオ」を決定し、自然エネルギーの拡大に努力すべきです。
19437	個人	無職	60代	女性	1 ゼロシナリオ	M7以上の地震多発地帯と原子力発電所多数立地帯が重なっているのは世界でも日本のみです。地球規模で地震激動期に入っている今、第2のフクシマが起これば日本沈没です。歴史に学ばないエコノミックアニマルとして世界中の笑われ者となるでしょう。
19438	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	福島原発事故の教訓から「ゼロシナリオ」を決定し、自然エネルギーの拡大に努力すべきです。	東日本大震災福島第一原発事故は、原発がひとたび、事故を起こした時のおそろしさを、私たちに示しました。放射能が大地や海をよごし、農産物・海産物を汚染しました。放射能汚染は、長期にわたって私たちの生活環境を奪ってしまいます。 私たちは第一次産業を守り、食と暮らしと命を守るため、「ゼロシナリオ」しかありません。
19439	個人	会社員・公務員	50代	男性	ゼロシナリオにすべきだと考えます。我々の一番の使命は、経済的な発展ではなく、この緑に輝く美しい地球を守り、安全な地球を、これから生まれてくる我々の子孫に永遠に引き継いでいくことだと考えます。	現在、世界はグローバル経済（資本主義経済）のもと、各国や各企業が経済的な競争にしのぎを削っています。このような世の中では、コストを下げるためや競争に負けないために、大量の電力を消費しています。ゼロシナリオを実現するためには、この経済的な競争社会の仕組みを考えなおす必要があると思います。 　なぜかというと、経済成長や経済的な競争を考えている限り、大量生産・大量消費、コスト削減などが加速され、それを支えるために多量の電力が必要となり、結果的に「できれば無い方がいい原子力発電も必要になってしまうからです。電力会社が原子力発電を進めたいのも、他の電力よりも利益が出るからだと思います。このような世の中の流れでは、地球環境が加速度的に悪化してしまい、次の原発事故を待たずとも、人類が安心して暮らせない地球を今世紀中に創り上げてしまうでしょう。 　そこで私は、ゼロシナリオ達成に向けて、次のことを提案します。日本は、できる限り経済的に自立すべきだと考えます（各国がそれぞれに経済的に自立すべきだと考えます）。すなわち、現在の日本は、エネルギーもることなども、生きていくために最も大切な「衣・食・住」のほとんどを国外に頼ってしまっています。すなわち、食料や衣料品、建築資材（木材）のほとんどを海外に頼り、その代わりに電化製品や自動車、ハイテク製品などを輸出しています。そのため、企業（生活資を稼ぐための仕事）が都市部に集中してしまい、農村部（地域）のほとんどは過疎化と高齢化が進み、田畑や森林は荒れ放題となっています。聞いた話によると、日本の農家の7割は65歳以上の高齢者とのことです。したがって、地域を活性化するためにも、日本は農林魚業などの一次産業にもっと焦点を当て、その自給率を上げていくことにより、できる限り経済的な自立を図るべきです。エネルギーについても、LEDへの移行の徹底などによる節電を進めるとともに、日本の資源を利用した発電（小水力や地熱発電など）や新たなエネルギーの開発などに力を入れるべきだと思います。 　それから、このゼロシナリオを達成するためには、何よりも国民一人一人の意識改革が必要です。自給自足率を上げて経済的に自立するためには、高くても国産品を買うことが重要ですし、物質的な豊かさ、経済的な豊かさよりも、心の豊かさを大切に、助け合いながらシンプルに生きることが大切だと思います。そのためには、我々一人一人が「何のために生まれて来たのか」「我々の使命は何か」「我々はこれから何をすべきなのか」を真剣に考える必要があると思います。今は、お金のため、生活費を稼ぐために大切な時間のほとんどを、やりたくもない仕事のために費やしている人がどれだけ多いことでしょう。 　今回の原発事故は、我々（日本人だけでなく、全人類）に、「本当に大切なものは何かを考えなさい！」と言ってくれているような気がします。 　原発事故に合われ、奥さんと娘をでくした男性が「電気なんかいらない！　ロウソクで十分だ！　家族さえいれば！」と言っていたことが私の心に焼き付いて離れません。
19440	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	ゼロシナリオを選択します！！	地震国日本では、近い将来大規模な地震が予想されています。にもかかわらず、確実に100％安全であるという保証のないまま、再稼働がおこなわれています。私たちの命を守るためには、ゼロシナリオしかない！！ゼロシナリオを決定して、原発立地市町村に新しい経済復興の施策を実施することを求めます。
19441	個人	その他	30代	女性	「ゼロシナリオ」支持。日本国内（福島県）で深刻な事故を起こした以上、即時、国内にある全ての原発を廃炉にするのが当然だ。原発全廃の結果としての経済負担増加を受容する。放射能を出して作る電気はいらない。	「ゼロシナリオ」を支持する。日本国内（福島県）で深刻な事故を起こした以上は、その事実を直視し、即時、国内にある全ての原発を廃炉にするのが当然だ。原発全廃の結果としての経済負担増加などは受容する。放射能を出して作る電気などかんからない。
19442	個人	会社員・公務員	40代	男性	地震国日本において原発との共存は不可能であるという現点から「ゼロシナリオ」を選択し、原発に頼らず自然エネルギーの拡大に努力することにより日本の経済成長にも寄与することを求めます。	東京電力福島第一原子力発電所の事故は、安価で安全、環境にも優しいとされてきた原子力エネルギー選択の妥当性を根本から問い直すものとなりました。放射能はいったん外に出るとわたしたちの生活の生活環境を汚し、奪ってしまいます。地震国日本で、近い将来相当大規模な地震が想定されています。その中で、原発の安全性を優つことは不可能です。「ゼロシナリオ」の他に私たちの安全を確保する道はありません。原発に頼らず、自然エネルギーの拡大に努力することは新しい日本の経済成長にも寄与するはずです。「ゼロシナリオ」の決定を強く求めます。
19443	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオしかないと思います。 2030年までにといわず大飯原発舎めすべての原発をすぐにでも止めるべきと考えます。	安全と言われていた原子力発電所が3.11により、安全でないと分かったこと。 事故後に多くの犠牲のもと事態収束に向け尽力しているにも関わらず一向に収束できず、 放出された放射能についてもどうすることもできないという状態の中で、原発再稼働というのは 明らかにおかしいと思います。 経済性が議論されるという事もおかしな話だと思います。 生命の危機の問題にたいし、経済性の話を議論の題材として持ってくること事態がおかしく、 生命の安全の確保が第一条件だと思います。 経済的に後れを取ったとしても人が生きていける環境を壊す可能性がある原子力発電は必要ありませな。 また、制御ができない事は事故後の状況を見て明白です。
19444	個人	会社員・公務員	50代	女性	可能な限り早く明確な道筋で原発を全廃してほしいです。	原発をすぐには全廃できないかもしれませんが、全廃時期、全廃するまでの道筋、原発を動かす最低限の条件、稼動予定年数、などを明確にするべきです。 あと10年の間に原発をゼロにするなら10年を徹底的に安全にする手立てを講じてください。安全が十分補償されていない段階でなし崩し的に再稼動させるのは国民を愚弄しています。電力不足や、経済衰退を理由に再稼動している現状は見ていて恐ろしく感じます。まだ福島は終息していないと感じている国民が大半だと思います が。 大飯の再稼動を見ていると、なにか後ろに得体の知れない大きく黒い組織が存在しているような気がします。（枝野さんの発言主旨が微妙に変化したあたりにそういったことを感じます。）電力会社の株主総会もそのように感じました。 後ろで手を引いているのは悪魔に魂を売った利権に目がくらんだ人間たちでしょうか？ 汚物の処理ができないのに危険極まりない汚物を垂れ流し続けるなんて、小学生が考えてもおかしな話で異常です。原発を反対している多くは左翼の人ばかりではありません。私を含めて大半が普通の市民、国民です。
19445	個人	会社員・公務員	40代	男性	福島第1原発事故で、私たちは原子力をコントロールすることができないことが明らかになった。将来にわたって安心して生活できる国土を維持するためには、原発依存0%をめざすゼロシナリオ意外に考えられない。	福島第1原発の事故で、その周辺は、今後何十年にわたって居住不可能になってしまいました。私たちは原子力をコントロールできないし、その廃棄物の安全な処理すらできないのが現実です。何らかの想定外の事故・トラブルが発生したら、日本だけでなく、世界中に放射性物質がまき散らされることになります。事故が起こる確率が「ゼロ」でなければ原子力発電は行うべきではないと考えます。 　経済発展、豊かな生活を追い求めて、安心して住める国土を失うのは愚かなことです。使用電力量を減しら、新しいエネルギーの開発をすすめ、原子力発電を 「ゼロ」にすることが必要です。
19446	個人	会社員・公務員	50代	男性	エネルギー問題は国家の基本戦略をなすものであり、原子力発電の割合を減らすことは国家としての自殺行為である。原子力発電の割合は25％以上を目指すべきと考える。	エネルギー問題は国家の基本戦略をなすものであり、エネルギーセキュリティの観点、有用性の高い化石燃料を次世代に残す観点、技術立国として持続的な発展を続けていく観点などから、原子力発電の割合を減らすことは国家としての自殺行為である。 安全性を確保・向上することは当然であるが、原子力に限らずどんなエネルギーを採用するにしてもリスクは存在する。リスクの相対比較をすれば原子力のそれは決して高いものではなく、感情的な議論に流されるのは国家として間違いである。 また、人類が原子力に手を付けた以上、廃棄物処理の問題を含めて原子力と共存していかねばならないのは自明であり、いたずらに恐れるのではなく、積極的に技術開発を進めていくべきである。開発途上国のエネルギー需要の増加を考えれば、先進諸国は原子力などの高度な技術を要するエネルギーにシフトしていかざるを得ないのは明らかであり、さもなければエネルギー資源の獲得競争が勃発する。 クリーンエネルギーの開発に尽力することは当然必要であり、ある程度の割合をこれらのエネルギーが占めることは可能であるが、原理的に供給に不安定さを持つこれらのエネルギーを主流とすることは不可能である。これらのエネルギーについても、環境破壊の問題、低周波騒音、重金属汚染などのリスクが存在しており、これらの割合を過度に増やすことは新たな公害問題を引き起こす可能性も否定できない。一方、人類は誕生以降放射線と共存してきており、原子力に起因する放射線の問題は、理性的に考えれば十分許容できる範囲である。 以上のことより、原子力発電の割合は下げるべきでなく、25％以上を目指すべきと考える。
19447	個人	会社員・公務員	50代	男性	ゼロシナリオを選択すべきです。放射能はそもそも、人間の管理下におけないことが福島原発事故で実証されました。これまで原発の維持開発につぎ込んだ資本や労働力を再生可能エネルギー開発へ転換することが必要です。	福島第一原発事故は、原子力への人間の驕力さをまざまざと見せつけられました。「核の平和利用」のるのもとに、これまで日本は原発を増設してきましたが、行政もメーカーも事業者も「安全神話」を根拠に、予見されたリスクへの対応も先送りし、実際事故が発生したらほとんど具体的な手立ても打てず、危機管理体制も機能せず、事故が発生した原子炉の状況すら1年4か月経った現在でも把握できない状況です。 今後も復旧には途方もない時間を費やすと予想され、復旧そのものが成功するかどうかも疑問視されています。 これらから、原子力は人間が手を染めてはならない領域・分野であることは明白です。失敗したら取り返しがつかなくなることが立証されました。 一方私たちは、再生可能エネルギーを手にすることができて、その開発には大きな可能性が見込めます。 将来に福根を残さず、子孫に安心して安全に生活できる環境を受け継ぐことは、現在を生きる私たちの責任です。そのためには再生可能エネルギーへの大転換が今まさに必要です。 今回「選択肢」に示されるシナリオは、根底に「原発ありき」で、原発を維持させることがCO2排出を低減させ化石燃料への依存度を抑え、コストも低く抑えることができるように見せる、誘導策が透けて見える選択肢が並んでいます。 これまで原発開発に費やしてきた、ヒト・モノ・カネを再生可能エネルギー開発に転換させれば、予想よりもっと短時間でエネルギーを転換させるだけの技術力を有していると思います。 本来、科学は人類の幸福のために発展していくものだと思いますが、原発は人類を不幸に陥れる最たるものです。エネルギー政策は一部の者の利益のために執る政策ではあってはなりません。 万人の幸福と利益のためにゼロシナリオを選択すべきです。
19448	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発依存度をゼロにすることを要望いたします。	原発は、事故が発生した場合、放射能の汚染被害等によって、多くの人々の人生（生活、健康及び財産等々）を破壊するという極めて大きなリスクがあります。 　このような極めて大きなリスクに対して、「低減するとか最小化する」という考え方は間違っていると思います。なぜなら、「最小化」ということは、どこかで だれかが、放射能の被害にあうことを含んでいる、許容していることになるからです。私はそのようなことは望みません。安全で安心なエネルギーで生活をしていくことを希望します。 　したがって、原発依存度をゼロにすることを要望いたします。 　また、エネルギー・環境に関する選択肢[概要]においては、「2030年までに」や「2030年に向けた」と記載されておりますが、大地震・大津波はいつ起こるかわかりませんので、今すぐにでも、原発依存度をゼロにする取り組みを要望いたします。

19449	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオを希望。稼働の先延ばしは将来への禍根。	ゼロシナリオを希望します。地震国日本では原発事故はいずれ起こりうることですし、安全性を高めても人間の行うことに絶対安全などありえませんから懸念は払拭されません。稼働を停止しなければ燃料棒の取り出しや廃炉も不可能ですから、稼働を先延ばしすればするほど、燃料棒の取り出しや廃炉も先延ばしになり、将来への禍根の原因になりかねませんね。 核燃料の再処理など、六ヶ所村で失敗に失敗を重ねているだけであり、現実性がありません。 温室効果ガスの排出に関する懸念については、一酸化炭素が地球温暖化の原因だと決めつける理論的根拠に乏しい上、原発の廃炉や最終処分では一酸化炭素の発生なしでは済まされないはずです。そもそも火力発電に比べて発生する熱が大きい原発が地球温暖化の一因ではないとなぜ言えるのでしょうか。 経済的効果は取らぬ狸の皮算用というものです。事故の時にすべて吹っ飛びます。
19450	個人	会社員・公務員	40代	女性	わたしは誰が何と言っても原発推進派です。	今の日本にとって原発は必ず必要になります。大井原発が再稼働し、この夏の電力が確保されました。原発ゼロとなれば国民全体で超節電になり、熱中症患者急増、死亡者多数、節電により企業（特に中小企業の町工場）の生産力ダウンで止む無くリストラに雇用激減、日本全体が沈んでしまいます。日本の原発がすべて停止させても中国がこれから500基原発を作る計画がある限りまったく無意味です。中国の原発が事故を起こせば必ず放射能汚染が海の向こうからやってくるのをどれだけの人々が知っているのか疑問です。日本は島国です。ドイツのようにフランスから電力を輸入することも不可能、ホルムズ海峡が閉鎖され、中国がシナの海を支配する計画が実行された場合、火力発電に頼り切るのもだめでしょう。安定した代替エネルギーが確保されれば話は別でしょうが、今のところ自然エネルギーに頼るのは無理な話です。政府民主党や無責任なマスコミや左翼の労働団体、日教組による国民の洗脳によって国民のヒステリックな嫌放射能情報で反原発派の意見が寄せられてますが、現在の日本の豊かな生活は原発稼働によってもたらされています。無責任な報道によって、正しい放射能情報は遮断されています。3.11の原発事故による死亡者は一人も居ません。これからも出ません。健康被害も出ません。無意味な心配はいりません。日本の原発の技術は世界一なことも世界では認められているのです。ホルムムンズ効果ももっと国民に発信しなければいけません。そしてなにより原発があるという事は安全保障上もっとも必要であるという事も言わねばなりません。原発がなくなれば喜ぶのは中国の工作員です。政府はもっと日本の国益をもっと考えていただきたいです。
19451	個人	自営業	30代	男性	ゼロシナリオを選択します。	今回の震災により、人の力ではコントロールできない原子力の恐ろしさをとても感じました。将来の子供が安心して生活できる様、お願いいたします。
19452	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	これからの日本は、原発ゼロシナリオでなくてはなりません。しかも、即時停止を決断し、省エネルギーと再生可能エネルギーへのシフトをできる限り早く達成していくしか、我々が生き残っていく道はないと考えます。	10万歩ゆずって、原発ちょこっでも使いましょ、と決断すれば、原発においてどんな危機が起こりうるかということに向き合い、それに対して周到な準備を怠らず、原発を使い続けなければいけないということだと思います。 原発を温存するということは、広範囲にわたって長期間避難せざるをえない事態がいつでも起こりうると思いながら暮らす覚悟をしなければならないということです。そして、さらに使用済み核燃料の保管の問題は解決されていません。我々はすでに未来の子供たちに負の遺産を残すことになってしまいました。 そして、現実に福島の豊かで美しい広大な土地が人の住めないところになってしまいました。 いまままでは、安全だから、そんなこと（どのような危機が起こりうるか）なんて考えなくていいんだよ―と電力会社も政府も国民を騙してきたかもしれませんが、福島の原発事故が現実を私たちに突きつけたのです。電力会社や政府は、この期においてもまだ国民を欺き、自身をも欺き、破滅への道を突き進もうというのでしょうか。 もう、終わりにしなければなりません。そして、真に幸福な社会について想像力をはばたかせるべきです。エネルギーを使えば使うほど我々は幸福になれるのでしょうか？あるいは、なったのでしょうか？ 原発の即時停止をまずは決断し、そのための段取りをできることからすべて始めていくべきです。そして最大限の努力で省エネルギーと再生可能なエネルギーへのシフトを達成していきましょう。私はそれが可能な社会をむから望んでいますし、そういう社会で生きたいのです。そして、子供たちにそういう社会を手渡したい。 それが実現できたとしても、すでにある原発を廃炉にしていくことや使用済み核燃料の保管という重い、気の遠くなりそうな時間を要する課題をクリアしなくてなりませんし、福島原発事故の後始末さえできていない現状です。危機的な状況は本当に脱したのでしょうか？避難されている方々の生活がこれからどのように保障されていくのでしょうか、何をどのように取り戻せるのでしょうか、どんな希望を抱いて生きていけばいいのでしょうか。 原発ゼロを選択してももはや私たちの生活は、どの瞬間も核時代の重い課題とともにありそれから逃れることはできません。だからこそ、今以上の負荷を負うべきではないし、現実的に負うこともできないはずです。すでに数え切れない多くの人が声も上げず多大な犠牲を払っているのです。 とにかく、まず、やめるということを決断し、どれだけ早くゼロにできるか、日本中のいや世界中の英知を集めて実行していくのみです。それしか、人類が生き残っていく道はないはずです。
19453	個人	会社員・公務員	30代	男性	未来の子供たちに残す自然をこれ以上放射能で汚させないために、重要な政策決定に我々の声を直接届けたい。	放射能汚染は、長期間にわたって私たちの生活環境を奪ってしまいます。故郷や雇用を失い、「命」が脅かされている福島県民のことを考えれば、原発をなくすことは重要です。 「ゼロシナリオ」を決定し、自然エネルギーの拡大に努力すべきです。原発立地市町村には新しい地域経済復興の施策を実現することを求めます。
19454	個人	会社員・公務員	30代	男性	1．ゼロシナリオを選択します。 あえて選べば1ですが、「即刻、原発0」を主張します。	福島は再三警告された危険性を無視した結果であり、これは明らかに人災だと思います。そして、大飯、志賀、敦賀等、活断層の存在が指摘されているにも関わらず再稼動ありきで議論がなされ、福島の事故の教訓が何も活かされていないと感じます。 このパブリックコメントや意見聴取会に関しても、選択肢の在り方や広報活動、運営において疑問がありますし、本当に国民の意見を反映する意思が見えず、やはり一定の議論の方向性ありきで進められていると感じます。 これまで、電力会社や原発立地自治体は、繰り返し原発の安全性を住民に説明してきました。浜岡原発においても、中電や御前崎市は、「チェルノブイリ発電所と日本の原子力発電所は、基本的な仕組みが異なり安全文化も違うことから、日本の原子力発電所では同様な事故は起こり得ないものと認識しています」と言っているように、安全だからと説明されてどこの住民も原発を受け入れてきたのです。 しかし、今回の指針改正案では「残余のリスクについて」の項目があり、それを真っ向から否定しています。前提条件が違う中で設置されたにもかかわらず、再稼動を検討する事は考えられないと思います。 今回の福島の事故において、何故誰も責任を取らないのでしょうか？誰も責任を追及されないのでしょうか？ 今後も、事故が起こっても「残余のリスク」として、誰も責任を取らず、何も解決せずに汚染された土地だけが残るのは明白です。 「即刻、原発を0」とする事を目標とし、そこからの議論が成される事を期待します。
19455	個人	会社員・公務員	40代	男性	2030年にどうするではなく、即刻原発ゼロという選択肢が必要。	20年後にゼロであるかではなく、今すぐに脱原発を目指すという選択肢が無い事自体がおかしい。もし即刻原発ゼロの選択肢があれば、迷わずそれを選択します。 このパブリックコメント自体が原発稼働を前提としたものなので、無駄なようにも感じますが、人として後悔しないために、即刻原発ゼロを訴えます。
19456	個人	会社員・公務員	50代	男性	ゼロシナリオを選択	3つの選択肢の中からはゼロシナリオを選択します。ゼロシナリオの具体的な中身は今後さらに詰める必要があるとは思いますが、放射性廃棄物をもうこれ以上増やしたくはありません。多少の不便は我慢します。今は、原発に頼らないエネルギー政策に切り替えることが可能なめったにない機会だと思います。地震、噴火、洪水、津波、竜巻など、自然災害も多発してきており、いつ何が起きるか分かりません。これらの自然災害を受けた時に長期間復旧困難な甚大な被害を発生するリスクをもつ原発は早めに終息させたほうがよいと思います。また、新たな自然エネルギーの研究開発を一層推進させるような仕組みも作ってほしいと思います。
19457	個人	会社員・公務員	50代	男性	「(1)ゼロシナリオ」に沿った政策を求めます。安全に「絶対」はありません。自然エネルギー中心への早期転換を求めます。	絶対に安全と言われた「原発神話」は、東日本大震災により、あっという間に崩れ去りました。取り返しのつかない「負の遺産」を後世に残すことは出来ません。「脱原発」に向かい、自然エネルギー中心のエネルギーに早期に転換すべきです。
19458	個人	その他	30代	男性	ゼロシナリオを支持します。	ゼロシナリオを支持します。 原発の危険性からです。今また地震が起きても安心できますか？ 想定外という言葉でまたごまかされるのではと心配です。 度重なる余震でいつまた福島第一原発が影響を受けるかわかりません。 現にコンクリートによる封鎖さえ開始されていません。 国や東電が自己の利益のために初動を遅らせ、 原発を使うことにこだわって対処を誤ったせいです。 各原発施設が絶対安全といえないまま電力会社の利益の為に再稼動が 開始され、また大地震が起きまた原発がメルトダウンして 「実は断層の上にありました。これは人災ではありません。 そんなことは想定外でした。」 なんて聞きたくありません。 過去、カナダであったような太陽からの磁気嵐による 予測外の大停電で冷却自体ができないなどのことが 将来発生するかもしれないと思います。 それとなぜ原子力発電がこれほど推進されてきたのか理解できません。 コストの計算がどういうふうにされているのか。国民を欺いていませんか。 企業や国の都合で進められてきたのでしょうか。 まずは人の命を第一に考えて下さい。 これから建物が老朽化するたびに、地震のたびに 国の破滅を考えたくはありません。 地熱発電はもっと活用できないでしょうか。
19459	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオしかありえない。	今回の福島原発の事故で安全神話は崩れた。核のゴミ処理の問題も含め、国民の命を脅かし、自治界に負の遺産を生み出し続ける原子力発電は、決して容認することはできない。 利権にまみれた業界・政治団体が作り出した「原子力発電依存社会」は、真に国民のためとはなっていない。 電力不足の危機をあおったり、原子力発電は地球温暖化に効果があるといったデタラメを並べて、意志を誘導するといった姑息な手段をとることは、電力会社のヤラセ発言と同じで自らの不当性を認めているようなもの。 原子力に3度までも国土を汚染された国として、今の日本のありようは世界に恥をさらしている。 納得できない理由での再稼働は即時中止し、廃炉に向けたビジョンを早急に描くべきである。
19460	個人	会社員・公務員	40代	男性	東日本大震災による「3.11福島原発事故」を再認識すべき	「3.11福島原発事故」で明らかなように、原発の危険性から私たちの命を守るには「ゼロシナリオ」しかないと考える。原発を稼働し続けることは、将来にわたって危険な放射能を残すことであり、使用済み核燃料の処分技術や処分場所も不確定な中で、原発を稼働させることは認められない。自然エネルギーへの政策転換を図るべき。 　また、地震国日本では、近い将来にも大規模な地震が想定されている。その中で、原発の安全性を確保することは不可能であり「ゼロシナリオ」しか私たちに安全を確保する道はない。
19461	個人	自営業	30代	男性	原発ゼロシナリオを支持します。即時すべての原発を停止してください。	国のエネルギー政策は我が国のためになされるべきであって、一部の企業や利権を受ける人々のためになされるべきではないと考えます。 地震国のわが国において、想定外のことが連続して起こるのであれば、一旦起こってしまってからではコントロールできないようなエネルギーは、国の発展を長期的に縛ムると、扱うべきではないと考えます。 仮に短期的にエネルギーコストが上がろうとも、国を挙げて再生可能エネルギーの開発、エネルギーやりとりの仕組みなどを構築していくべきと考えます。 一番の理由は、想定外の事態になった時の危険度が他のエネルギー資源と比較して突出しているにもかかわらず、厳格な審査が行われていなかったことです。 最近の報道により、いかに地質調査が甘いか、原発関連の人によって大甘の審査しかなされていないかなどを実感しました。 これらの嫌疑がなくても尚、コントロールで不能に陥った際の危険度を考慮すると、原発即時停止すべきと考えます。 以上の理由から、原発ゼロシナリオを支持いたします。
19462	個人	会社員・公務員	50代	男性	3･11の福島原発事故で明らかになった原発の危険性から私たちの命を守るには「ゼロシナリオ」しかありません。	原発を続けることは、将来の子どもたちにどうすることも出来ない危険な放射能を残すことです。使用済み核燃料をどうするかの技術も処分場所も不確定な中で、原発を動かしていくことは出来ません。地震国日本では、近い将来相当大規模な地震が想定されています。そのので、原発の安全性を保つことは不可能でしょう。「ゼロシナリオ」の他に私たちの安全を確保する道はありません。「ゼロシナリオ」を決定し、自然エネルギーの拡大に努力すべきです。そのことが、新しい日本の経済成長にも寄与するはずです。
19463	個人	会社員・公務員	50代	男性	国民は福島第一原発事故から改めて原子力は制御不能であり、一旦事故を起こせば永遠に故郷に帰れないことを学んだ。また、ゲリラ豪雨により多くの住民が被災し、地球温暖化防止の取り組みも喫緊の課題となっている。	今回のパブリックコメントはエネルギー選択にあたって、原子力の安全確保、エネルギー安全保障の強化、地球温暖化問題解決の貢献、コストの抑制と空洞化防止といった4つの視点がきわめて重要であるとしてその選択をそれぞれに関連付けている。従って、今多くの国民が求めている原発ゼロのシナリオを選択すると、地球温暖化防止から逆行してしまう選択しか与えられていない。これでは原発推進か地球温暖化かどちらかを選択せよということになり、世論をどちらかに誘導するものとなっており、国民一人一人が日本と世界の未来のために今何をなすべきかを真剣に考え行動するための選択を奪ってしまっている。確かに、この4つには一定の関連があることは認めざるを得ない。しかし、原発をゼロにし、かつ化石燃料電力を減少させる方策は本当にないのであろうか。電力料金が少し高くなったら、直ちに国内の経済空洞化が進むのだろうか。国内経済の空洞化は現在の円高でも深刻なダメージを受けている。相互の関連とそれぞれ重要な課題とを整理し、国民が正しく「エネルギー」政策を判断できるようにすべきである。
19464	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発はなるべく早く全廃し、将来的にもエネルギー源として利用すべきではないと考えます。	原発が無くなったら産業が立ち行かなくなるとの理由で原発を正当化する考え方には到底賛同できません。そのような領域にはそもそも持続的な産業など成立し得ない、させようとしてはならないと考えます。 一度、大事故が起こった時に表面的には沈静化したかに見えていても、遺伝子レベルで計り知れないダメージを受ける恐れがあり、今回の事故の影響さえ、どれほどの影響があるか分からないのに、そのリスクから目をそむけ、恩恵の部分だけを享受しようとする何ともお気楽で都合の良い価値判断で、将来の人々に負の遺産を引き継がせようとする選択には断固として異を唱えます。
19465	個人	家事専業	30代	女性	原発・エネルギー政策	3.11の事故後、原発の恐ろしさを実感。家の周囲の土壌でも放射性物質が検出された。福島第一原発の事故で水や大地を汚染して食物を育て食べるという人間的な暮らしの根本を奪われた。土いじりをしない政治家にはこの実感がないのだろう。事故後、脱原発へ舵をきったのなら、また計画停電となろうが、景気が悪いままだろうが、日本を誇りに思うことができたが、大飯の再稼働にはこんな国にした首相に嫌悪。経済よりも、物質的な豊かさよりも一般市民には大切なものがあることが理解できない政治家には早く辞めて欲しい。 祈・脱原発！
19466	個人	その他	50代	男性	個人情報記入必須は2006年3月総務省行政管理局長通知139号に反する。本意見募集は、やり直し。 三択の設定が誤り。原則再処理禁止にして、人工光合成へ重点投資すべし。 私はゼロシナリオを支持。	この意見募集の住所等個人情報記入必須は、2006年3月総務省行政管理局長通知139号の趣旨に違反するので、この意見募集は、やり直しする必要がある。速やかにやり直してください。 三択のシナリオのうち、ゼロシナリオ以外の選択肢が核燃料廃棄物再処理の継続を前提にしているのは誤りである。15%シナリオでなおかつ再処理禁止という選択肢の用意を希望する。 また、再生可能エネルギーとして例示されたものがことごとく我が国では弱いことに同意する。しかし原発はゼロにすべきである。代わりの資源として、人工光合成を重点的に発展させるための国策投資を行うことを提案する。 人工光合成により、電気化学的方法を用いた発電、水素による蓄電、化石燃料類似物の人工合成による国産化が可能となる。早急に実用化すべきで、人工光合成の選択肢が三択の中にないのはおかしい。人工光合成は、太陽光発電とは全く異なる別の技術である。 私はゼロシナリオの支持者であるが、ゼロシナリオ及び15%シナリオに、人工光合成の寄与を組み込み、なおかつ、15%シナリオから核廃棄物再処理すなわち高速増殖炉、に関して禁止することを明記した上で、意見募集をやり直しするべきである。 繰り返すが、意見募集のやり直しにあたり、個人情報の記入必須化は、2006年3月総務省行政管理局長通知139号の趣旨に違反するので、この点も改められたし。 概要が100文字以内ということで、概要の記載の記述がきつくなってしまった。表現を柔らかくするには400文字程度は必要であろう。
19467	個人	その他	60代	男性	使用済み核燃料棒はどのように処理出来ているものか？	一番厄介なものと判断いたしますが、この処理技術を完全にマスターしなければ永久に平和は来ないでしょう。

19468	個人	その他	30代	女性	「ゼロシナリオ」。ただし、2030年までの再稼働を容認するものではない。我々は憲法で、健康で最低限な生活を営む権利を保証されており、それを脅かす全ての原発は今すぐ廃炉にすべきと断固主張する。	「エネルギー・環境に関する選択肢」ということで、原発に対して3つの選択肢から選ばせるというのであれば、間違いなく「ゼロシナリオ」だ。しかし、2030年までにというのは詭弁である。これを容認してしまえば、例えゼロシナリオでもそれまでは原発の再稼働をしても良いということになるであろう。なので、私の意見は直ちに原発をゼロにするというものだ。 原発をゼロにすることに対して、電力会社など原発を推進する者たちは、まず電力不足を理由に停電の恐怖をちらつかせ、計画停電のお知らせをもって我々を恫喝するが、これは大きな間違いである。 私の職場である東京は、昨日も猛烈な暑さであったが、電力消費量は90%程度であった。もちろん東京電力管内で現在、原発が1基足りとも動いていないことは誰もが知っていることであろう。 そして、原発依存度の高い関西電力においても、あれだけ電力が不足すると言って強行に大飯原発を再稼働したにも関わらず、その後、定期点検でなく火力発電所を8基も停止させている。果たして電力不足は本当の事なのだろうか。 また、原発をゼロにするにあたり、コストの問題を挙げてそれを阻止しようとする声もあると聞く。原発が最も発電コストが安いと言っているわけだが、これも詭弁であり、一般に公表されている原発の発電コストは、あくまで発電するまでのコストであり、未だ最終処分方法が確立されていない使用済み核燃料の処分や、耐用年数を経た原発を廃炉にするコストは含まれていない。 これらのコストを無視して、原発が最も低コストの発電であると論じるのは、単なる問題の先送りであり、自分たちが生きている間だけ便益を享受できれば良いという極めて無責任な考えであると断じる。 このような原発に反対する様々な意見に対して、最後に原発推進者が述べる言葉があるとすれば、『代案を出せ』であろう。 これもまた詭弁と考える。我々が政治的な問題に対して、間接民主主義の賛否を表す場として、選挙が挙げられるが、選挙において投票という形で政策への反対を表す際に、代案や具体的な政策を上げる必要があるのであろうか。 私は代替エネルギー等に関する専門知識を持たないが、その分野に関して専門知識を持つ信頼できる人間を見極め、それに賛同する形で代替エネルギーについて意見を示していきたい。 最後になるが、我々日本国民は憲法第25条により『健康』で文化的な最低限度の生活を営む権利を保証されている。 にもかかわらず福島やその近隣県に暮らす方、そして東京に暮らす我々、ひいては日本国民全員が、3.11以降の福島第一原発から排出された大量の放射性物質により被曝させられ、さらには今も食物による内部被曝、そして瓦礫の広域処理による放射性物質の拡散により健康な生活を脅かされている。 このような憲法に定める国民の権利を無視して、原発が存続して良いはずがない。「ゼロシナリオ」はもちろんだが、それが一時的な再稼働を許容するものではなく、断固として今すぐに大飯原発を止め、全ての原発を廃炉にすべきであることを主張する
19469	個人	会社員・公務員	30代	男性	現行エネルギー基本計画「45%」のままでいいと思います。 あえて3つのシナリオから選択するならば「20～25シナリオ」を支持します。	今まで原発を推進してきたのは、資源の多くを輸入に頼ってる我が国において、エネルギー安定供給の一環であったと思います。 原発を推進している他国も少なくないなかで、安価で安定的な原発はより安全性を高めて活用していくべきだと思います。
19470	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原発比率0%を支持します	私は以下の理由にて、原発比率0%を支持します。 1、今年原発稼働率が0の時点でもエネルギーは足りていた。 2、原子力の燃料ウラン採掘場所における労働者の被爆がある。 3、ウランは石油、石炭に比べ埋蔵量が少ない。 4、放射性廃棄物を安全に処理する方法がない。 日本は技術大国です。今まで原発に投資してきた額の資金を、今後自然エネルギー開発に注ぎ、新規開発を促す。それにより自然エネルギー分野にて先進国となると、その分野にて利益を出すことも可能となります。 同時に、看板など、無駄な電気の利用を控える省エネ政策を進めていくことを提案します。
19471	個人	自営業	30代	男性	稼働中の原発を即時停止して下さい。全ての原子炉を廃炉にする為のプロジェクトを早急に立ち上げて下さい。核燃サイクルを中止して下さい。大量に持ってしまった核を今後どう扱うか一緒に真面目に考えましょう	核は行き詰まってます。
19472	個人	パート・アルバイト	30代	女性	エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」にしてください。 《即原発ゼロへ。弱者の保護を優先》	大飯原発、志賀原発、敦賀原発。ほぼすべての原発直下に活断層。日本の多くの地震学者の共通見解は「巨大地震のサイクルに入った」。2年程度の計画停電も受け入れよう。ただし、病人、被介護者、子供、老人は守らなければならない。
19473	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発は今すぐすべて廃炉。そして電気の無駄使いをやめて自然エネルギーやガスの発電などに移行する作業をすぐ始める。原発に依存しない仕事、経済の循環を原発立地の市町村で確立できるように知恵をしぼる。	人間は間違いをする生き物であり、原発の運営や設計に完璧はあり得ないと思うし人為的な事の可能性もゼロではない。 地震や台風などの自然災害によって事故も発生する。そのときに原発は放射能もれを起こし、これによって何万人の人や生き物が何万年も苦しむことになる。放射能による被曝の恐ろしさ、土地の汚染などのやっかいなことは広島、長崎の原爆やチェルノブイリ原発の事故からよく理解しているはずなのになぜ原発を維持、また新しく作ろうとするのか。政界と電気事業の間にお金が絡んでいるとしか思えない。
19474	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオの選択を要請します。	昨年3月11日に起こった東日本大震災、それに起因する原発災害から、日本はまだ立ち直っていません。にもかかわらず、野田総理は大飯原発の再稼働を決定し、将来的には高浜原発まで再稼働されるとの見通しを関西電力は示しています。災害の原因究明もされないまま、原発だけが元通りに稼働していくのでは、わたしたち市民は平和な生活を送ることができなくなります。 今、私たちに必要なのは、ゼロシナリオの選択です。日常生活に対するさらなる節電努力と引き換えに、安全安心な生活が保障されるのであれば、何物にも代えがたいものが手に入ることになります。監督官庁として、ゼロシナリオを選択されるよう、要請するものです。
19475	個人	会社員・公務員	50代	男性	「ゼロシナリオ」を決定し、自然エネルギーの拡大に努力すべきです。そのことが、今回の大災害の反省にたって、新しい日本を作っていくことだと考えます。	日本においては、大規模な地震が今後も必ず発生します。被害を小さくする努力はすべきですが、被害をゼロにすることはできません。原子力発電をゼロにするしかありません。
19476	個人	自営業	40代	男性	原子力発電は、もう終わりにしましょう。	「反対－！」って言うのが嫌いな私が今回、原発を拒否するのは、今回の事故で明るみに出た、様々な社旗な話と、電力会社の傲慢な態度屋隠蔽体質を見て、とても、こんな危険な物を、心か弱き人間が管理出来る訳が無いと感じたからです。また、以前から言われている、「核のゴミ」問題も改善されていないからです。
19477	個人	会社員・公務員	40代	女性	2030年の原発依存0%「ゼロシナリオ」の実現を。	ゼロシナリオを決定し、自然エネルギーの拡大に努力すべきです。福島原発事故で明らかになった原発の危険性から私たちの命を守るには、ゼロシナリオしかありません。将来の子どもたちに危険な放射能を残すことなく、安全、安心して生活できるように願っています。
19478	個人	無職	50代	男性	絶対的にゼロシナリオ！　それしか有り得ない！　世界から今日本がどう見られているか、よく認識すべき！　唯一の原爆での被爆国として恥ずかしくないのか！	間違いなくゼロシナリオしかあり得ないでしょう。 多分、このパブリックコメントは、最初から間を取って15%でいくための政府のアリバイ作りだと、国民の多くが認識していると思います。それでもゼロシナリオしかない！　それが当たり前でしょ。 おバカな官僚さんや経済界、政治家諸氏及び電力会社、とその利害関係者は目先のことしか見ていないのでは？ 自分の子供、孫に負の遺産を残すなと、今消費税増税が決まりそうだが、それ以上に原発を残す方が負の遺産になるのは明白です。 野田政権は、そんなの関係ない！　って消費税に突っ走り、原発は知らん顔。官邸前のデモも雑音にしか聞こえないらしい。そんな政府の下でのパブコメ、アリバイ作りに協力するのは嫌だけど、書くしかないでしょ。 古川さん、恥ずかしくないですか？　電力業界、マスコミ、経済界、原発の負の部分はみな覆い隠してるのは明白です。本当に原発を稼働すれば電気代は安くなるのですか？　今回の東電の福島の事故を見れば違うことは明らかです。もう止めましょう！　次は東南海で連動する地震が起き、大飯が福島第一と同じもしくはそれ以上になったらどうするんですか？　やっぱり想定外？ まず今の強も極島に関して責任を取らない状況こそ異常だし、即刻ゼロシナリオが実現しなければ、この国の統治に関する本質を見た、と思う。
19479	個人	家事専業	60代	女性	原発は2013年まで待たずに即刻依存度をゼロにすべきです。	原発は事故をゼロにすることはできません。万一とはいえ、事故が起きた時の被害が限度を超えることが証明された原発は即刻廃止すべきです。
19480	個人	自営業	40代	女性	原発への依存をすべて終了し、自然エネルギーへのシフトを希望します。	3／11の震災があったことをきっかけに、 福島など原発の様々なことが知られるようになりました。 今まで、私たちは知らなすぎました。無知でした。 これだけのリスクの間を抱えながら、一見豊かそうに生きていることに。 電気は今の人間には必要なエネルギーですが、原発ではない自然エネルギーでできるはず。 世界の色々な地域では、そのようにシフトしています。 目先の富や、権力に惑わされることなく、恐れることなく これからは自然と共存しながらいきていきます。 様々な自然エネルギーの研究の成果を一刻もも早く、 日本全土に行きわたるよう、よろしくお願いします。 この地球の豊かな自然を守ってこそ、 本来の人間の豊かさがあるのだと思います。 母なる地球の自然と共存して生きたいと切に願います。
19481	個人	会社員・公務員	30代	男性	20%～25%シナリオを選択します。	現社会の中で，エネルギーは大変重要であり，省エネ社会にも限りが有る。 その中で，輸入だけに偏っては日本は衰退していき，世界との競争に勝てなくなり，産業の空洞化に繋がる。 また，風力は風が安定的でないと不安定な電気を作るだけだと思うし，台風大国日本ではあまり現実的ではないと思われる。 太陽光は補助金・買い取り制度で設置できる富裕層だけが，得をして生活保護の方々が苦しむいっぽうだと，全然日本が良くならないと思う。 また，上記の意見から技術の進歩より安定で良質な電気が作成できるまでの間は，現状の状態すなわち，安全な状態が確保されれば，使える設備（原子力）は使うべきと考える。 そうすれば，電気料金も下がる・周辺住民に雇用がうまれる・立地自治体にもお金が入る・生産コストが減り，量産に対する雇用ができ日本の活性化にも繋がると思われる。 現在脱原発など，言っている暇があったら，きちんと働き税金を納め，日本の借金を減らすべきと考えます。
19482	個人	会社員・公務員	50代	男性	未来の子どもたちのために、原発依存0パーセントをめざすべきです。	7月16日に名古屋市で開催された「エネルギー・環境の選択肢に関する意見聴取会」の中で、中部電力社員が「福島第一原子力発電所事故の直接的な原因で死亡した人は一人もいないし、十年後も一人もいないだろう」という発言を聞き、パブリックコメントに参加したくなりました。福島の事故で、自分の住む場所をうばわれ、苦しい思いをしている人がたくさんいます。私自身学生時代白砂青松の美しいこの海岸線にひかれ、何度も常磐線の鉄道写真を撮りにいったのを覚えています。電気事業者の判断ミスにより、民主国家のはずなのに自宅に住めなくて苦しんでみえる方がたくさんみえます。未来の子どもたちのためにこのようなことはおこしてはなりません。そのために、原子力は人間の力でセーブできない事態もおこるわけで、原発0パーセントをめざし、多様な方法で電力を確保すべきです。
19483	個人	その他	30代	男性	原子力発電の維持と発展を望みます。 反対するなら、しっかりとした代替案を出して欲しいです。 生活や命、雇用、そして将来の子供たちのために、安全な原発の維持管理を求めます。電気は必要です。	私も再生可能エネルギーが普通に使用出来る時代にしたいですが、現実として、まだまだ、それらは研究・開発途上であり、それを実行したドイツでは電気料金の大幅上昇を招き、失敗しています。その意味でも、原子力発電はまだ必要であると感じています。 今夏も熱中症の報道と、対策としてクーラーの活用などがTVで紹介されていました。電力の恒常的な供給は、生活や命を守ります。 反原発を主張する方々は、電力不足によって起こる被害対策を講じて、国民を理論的に納得させてほしいものです。反原発論者の方は、自らの正当性を実証すべく電力を断った生活を1年くらい実践してみて、電気（TV、ネット、電話等）を使わずにその効果を発表してほしいものです。 日本国民1億2千万人の明日を情緒的な動きで“お先真っ暗”にすることは許されません。原発を減らしたら、電力供給が不安定になり、また価格高騰によって、産業が海外に移転し、国内産業の空洞化が起こり、景気悪化や失業者が増加するでしょう。 また、「原発が無くても、火力発電があるではないか」という意見もありますが、油の供給源である中東の情勢は常に不安定でいつ戦争が起こるかわかりませんし、輸入による赤字が日本経済を圧迫しています。また、シーレーンには、国籍不明船や国籍不明の潜水艦がウヨウヨしている許今、いつなんどき不幸な事故が起きるとも限りません。 さらに、野田政権は、原発輸出を国会承認しつつ、国内向けには「脱原発」と言う。そういった卑怯なことはやめて、現実を直視し、国内で半永久的にエネルギーを生み出せる原発をさらに安全性を高めながら、維持すべきだと思います。
19484	個人	無職	60代	男性	原発ゼロシナリオを支持します。	原発ゼロシナリオを支持します その理由 1：原発の原理は核分裂によるものであるから、放射性物質を副産物として生み出します。これを安全に処理することは絶対に出来ません。 2：核分裂を人為的に行わせることは、絶対安全という保証がありません。何か事項が生じたときは人間を含めた生物に広範且つ重篤、且つ、超長時間の危害を与えます。 3：原発ゼロは今すぐにでも十分可能です。
19485	個人	会社員・公務員	50代	男性	我が三重県は「芦浜原発計画白紙撤回」の県です。 自信を持って、原発は絶対にイヤだ！(1)ゼロシナリオが一番だ。	子孫に「使用済み核燃料のごみ」を残したくはない。

19486	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロシナリオに賛同します！福島の原発のように事故があった際にすぐに収束出来ない物であれば絶対にやめるべきです。地震などの天災は止める事はできませんが原発は止める事が出来ます。	電力不足という事で大飯原発が再稼働しました。ですが日本全体で本気で節電すれば電力は足りると思います。確かに現代において電気は必要ですが福島原発事故を期に発電方法を見直すべきです。現時点の福島原発の状況を見るかぎりこれから何年もの間不安を抱えながら生活しなければなりません。これは今の子供たちや日本の未来にとても関係する事だと思います。豊かすぎる生活よりも日本国民全員が安心出来る生活を求めます。原発に頼らない原発ゼロシナリオに賛同します！
19487	個人	会社員・公務員	50代	男性	早急な原子力エネルギー削減は反対です。三つの選択肢は意図的な誘導です。当初の計画通り45%を支持します。日本はこの度の経験を生かして、世界の原発をより安全にするために、前向きに貢献するべきです。	この度の福島原発の問題は、津波によってポンプが止まってしまったことが第一義的な問題で、二義的には、東電と国の対応の問題です。ならば、原発そのものに限って言うのならば、今後はより安全性を高めることに力を注ぐべきで、これによって国のエネルギー政策を変える必要は全くありません。そこで得られたノウハウと技術によって、世界の原子力発電の安全性を高めることにも、貢献できます。それが日本の使命であり責任であると考えます。むしろ、日本よりも、中国が今後日本海側に建設を予定している原発の安全性のほうが、どの程度のものなのか、ずっと問題であり心配のはずです。また、早急な原発削減は国民の負担を高くし、産業に大きなダメージを与えてしまいます。政府自らが築った結論によって、日本沈没の引き金を引くようなことが、決してあってはなりません。一部の感情的で過激な反対や、工作員の思いのままになることが民意として捉えるのならば、政治家としての仕事をしているとはいえません。官僚の方々にも国益こそ優先して考えていただきたいと思います。グリーンエネルギーが取って代われるものであるのならば、国民のキチンとその理由と根拠を明確に示すべきです。削減ありきの選択肢設定と、それらにも基づいた議論では、結論ありきの意図的な誘導が最初からなされていて、反対です。決して、決して、原発の削減をむやみに行ってはなりません。
19488	個人	その他	60代	女性	3つの選択の中では、1の原発0%に支持します。 そして、温暖化対策強化も併せて支持します。	ひとたび事故が起こると、こんなにも広範囲に多大な被害を、日本だけでなく、 世界にも及ぼすことが、今回の事故で、改めて痛感した。　何よりも使用済み 燃料の処理も未だ確立していない。 こんな危険な原発を、経済の為という名の もとに動かしていいものでしょうか。この美しい地球を人の住めない場所にしては 断じて許される事ではない。しかも地震国日本は、最も持ってはいけないものが、 原発です。 今こそ、日本の英知を持って、安全でクリーンなエネルギーを目指すべき。 そこには又新たな雇用も生まれてくるし、必ず日本なら成し遂げる事が、出来る。と信じています。何より子供達が、未来に夢を持って生きられる日本に、なって 欲しい。と切に願います。 ”原発ゼロで、安心安全な日本に！！”
19489	個人	学生	20代	男性	現代は損得勘定や長期予測などあってないようなもの。日本としての理念は何ですか？僕は、人間の生命を脅かす原発にNOという理念に賛同します。リスクがあるのはわかりますが、理念は過程に左右されません。	原子力発電所は核技術を用いた発電方法として、自給資源の乏しい日本において貴重であり簡単に放棄できないのはわかります。廃炉にするという選択肢が様々なリスクをはらんでいることも理解できます。しかし、今や理念の時代です。損得勘定や長期予測などあってないようなもの。では、日本としての理念は何ですか？僕は人間の生命を脅かす核兵器にNOといい、原発にNOという理念に賛同します。リスクがあるのはわかっていますが、理念は過程に左右されるものではありません。 今、僕はドイツで留学中です。ドイツの人の中には、日本の事故で脱原発が達成できたという人もいます。彼らは論が通っています。それは聞いていて気持ちいいし、かっこいいです。 それを感情論だとか幼稚だとか聞き捨てるのは間違っています。原発維持・推進の意見がいかに幼稚で自分勝手なことか。 仕事人としてではなく、一切の肩書を排して、一人の人間として原発の是非に向き合った時、日本人はどのように考えますか？その総体から理念が生まれます。そして、それはNO原発ではずです。 理念が固まれば、あとは各自が持ち場でそれに対して出来る限り対応していくべきです。 一人の人間としての意見を実現する社会/仕事であるように。逆ではいけません。 余談ですが、どんなに矛盾や歪みがあっても日本が平和憲法を死守すべき理由もここにあります。
19490	法人・団体等	法人等	50代	女性	多くの国民が、持続可能な未来を真剣に考え行動するも、政府は、原発必要論を説く。が、巨大地震前夜。福島原発事故の収束の目途もつかない現状ではもはや、脱原発しかない。	私自身は宗教的観点からも、10年来、原発の危険性について、発信して参いりましたが、遠れ会いである住職ですら、そんなことは問題にもしてくれませんでした。が、こんな事故が起こって、ようやく、この教団も腰をあげ、以前より反対を唱えていた宗教者を担ぎ出し、宗教を語りながら支援を始めている状況に疑問を感じています。 ですが、政党というものには、もはや、失望と怒りしかありません。そもそも、原発を推進してきた自民党は、政権交代して、野党になった直後に起きたこの原発事故の、また之責任を問われるべきにも関わらず、都合よく、野党の立場からの批判ばかりで、話になりません。ですが、民主党の現状は、もっと、国民を失意に陥れています。いまや、世界中が日本の動向に注目している状況ですが、この国の政府の選択は、明らかに国民の多くの考えを無視していることに、落胆を禁じえません。この状況は、戦争へと突き進んでいったこの国の空気に似ているのでは.とすら思えます。
19491	個人	自営業	30代	女性	原発0を望みます	誰も自分の住む街で原発は持ちたくないはず。 原発の未来を決めるのが東京であるなら 東京に原発をおくことを想像して欲しい。 自然エネルギー開発に日本の技術とお金を日本だけではなく世界中の未来の為に 原発0の見本を被爆国である日本が見本に なってしめして欲しい。
19492	個人	パート・アルバイト	40代	女性	原発比率について 0%を望みます。	まずは使用済みの核燃料を今後どうするつもりなのでしょう？ 地下埋蔵法についても、疑問です。 この地震大国日本で、核燃料を置く安全な場所はありません。 脱原発を実現させたドイツに視察を送り、日本はただちに脱原発に向かって 進むべきです。 今なお故郷を追われた福島県民、および近隣の県民の方の 生活が安定しないのに、原発再稼動など言語道断です。 原発廃止による雇用の悪化などは、政府がその他の 雇用を生み出すべき。 そのために政治に携わっているのでは？ なんでもなかなあで進められては国民は迷惑です。 このPコメントも本当に読んでいるのか疑問です。 国民の声をきき、政治をとってください。
19493	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発エネルギーには反対です。	人の住めない土地をつくり、その人間さえも触んで殺す原発を使う理由がわかりません。 そんなにお金が大事ですか？
19494	個人	会社員・公務員	30代	男性	現存の原子力発電所の廃炉、今後の建設計画の撤廃を希望します。	以下の理由により、現存の原子力発電所の廃炉、今後の建設計画の撤廃を希望します。 1. いま必要とされている電力は、 火力発電と安全な再生可能エネルギーで十分に賄えており、 危険な原子力を用いてエネルギーを生み出す必要がない。 2. 原子力発電所の建設から運用に至るまでの運営が、 電力会社によって行われる必要がない。 3. 発電にかかる費用の大部分を個人・家庭に負担させているのなら、 株主よりも個人・家庭の意見に従った運営を行う必要がある。 4. 原子力発電を行う際に海水温を490℃?／分、上昇させるにもかかわらず、 CO2より地球温暖化を促進させるおそれが少ないとしている根拠がない。 以上。
19495	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発・エネルギー政策	事故後何も解決せず、政府は真実をひた隠しにし後出しにして感情を麻痺させる 。今日も各地でストロンチウムが検出されているというニュース。どうするの？？洗い流すの？？？冷却に使われた水は増えるばかりでしょう。燃料プールのむき出しの建屋、溶け落ちたモノの回収方法。。。。できないんでしょ！！！！核廃棄物の処理方法だって埋めるしかないのでしょう？？戦争被爆国であり原発事故を起こした国。ここで核にさようならしないでどうするの！世界にこの経験から新たな指針をかかげるべきです。
19496	個人	パート・アルバイト	40代	女性	エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張 《政府は本腰を入れて再生可能エネルギー開発に尽力すべき》	このパブコメ募集の前提が「2030年までは原発が維持される」というもの。前提自体が国民を騙すトリックだ。再び事故が起これば、日本は再起不能になる。政府は自然エネルギー比率を増やすスケジュールを国民にしっかり示すべき。
19497	個人	会社員・公務員	50代	男性	福島第一原子力発電所の事故が起きてしまった以上、原子力発電のリスクが大きいことが判明。今後リスクコントロールは失敗し日本に甚大な影響を及ぼすことを想定。そのため、『ゼロシナリオ』を選択します。	・電力会社および政府の信用の失墜 今回の事故は、東京電力および政府が起したものとの認識に立っています。 それは、政府事故調、国会事故調、民間事故調の調査結果を見れば明らかです。 一般的な市民から見た東京電力および政府は、完全に「信用が失墜」しました。 その「信用を回復」するのはもう不可能でしょう。 ・使用済核燃料の処分 高速増殖炉「もんじゅ」は何十年も多額の国費を費やしても正常稼動していません。高速増殖炉は、核燃料としてプルトニウムを使うことが前提となっていますが、プルトニウムの毒性や、ナトリウムを減速剤、冷却剤として使用する構造の危険性は、広く知れ渡っています。ましてや、地震大国である日本でひとたび事故が起これば、それは日本国滅亡を意味します。従って、プルトニウムを使用する高速増殖炉の開発は、ただちに止めてるべきでしょう。また、プルトニウムをウラン燃料と混ぜて既存の原子炉で使う、いわゆるMOX燃料も廃止するべきでしょう。プルトニウムの毒性が高いからです。 以上から、使用済核燃料は100%直接処分することとします。 ・エネルギー安全保障 エネルギー燃料の種類を多様化するということと、国民の生命や財産を守るということのどちらが大切でしょうか？例えば、ウランの原産国であるオーストラリアは、原子力発電所による電力の発電は行っていません。エネルギー安全保障の問題は、ウランなどの核物質に頼ることなく、天然ガスなどの化石燃料の調達先を広く求めることによって、解決すると思います。当然ながら、それは太陽光、風力、地熱、水力、潮力などの再生可能エネルギーの開発を進めることも意味します。原子力発電所を持たない国と日本の比較も必要ではないでしょうか？ ・日本の経済活動の見直し 高いGDPを維持するのが、日本の国民にとって幸福に繋がるのかどうか検討する必要があります。今の生活水準の維持向上、主に工業などの産業の発展を維持というのではなく、何かを諦めるということが必要です。例えば、リニアモーター力一子。次世代の鉄道システムですが、多大な電力が必要となるのではないでしょうか？そのようなシステムは開発を諦める。そう云うことが必要です。
19498	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発はいりません	原発は即刻廃止して下さい。原発を推進する議員には投票しません。
19499	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオ支持	前回、どのシナリオを支持するか明記しなかったので再送信させていただきます。ゼロシナリオを支持しますが、2030年と言わず、一刻も早い原発廃止を願います。
19500	個人	その他	50代	女性	ゼロシナリオを支持します。地震国日本には、原子力発電所は危険すぎます。	原子力発電は、人間にとって、コントロールしきれないエネルギーです。一刻も早く、廃止すべきです。 日本では特に、地震、津波などの自然災害、人為的なテロに対して、現在の原子力発電所の備えは決して十分ではないと思います。 また、使用済み核燃料の処分の問題があります。完全に人体に無害になるまで10万年かかるといわれる放射性廃棄物が毎年増えていくことは、子孫に負担となるのはもちろん、彼らの生存を危うくすることさえ考えられます。これ以上、自分の世代で無毒化できない廃棄物を増やすのは、許されないことと考えます。 また、被爆労働者の問題もあります。過剰なイルミネーションや、冷やしすぎの冷房など過剰な電力を人々が享受する裏で、派遣労働者が、健康被害になりかねない危険な職場で働いていることを聞いて本当に心が痛みます。一部の人々に過剰な負担を負わせて、一方で、必要の感じられないイルミネーション、涼しすぎる冷房、暖かすぎる暖房に使っている電気を減らすことで、そのような危険な労働に従事する職場を減らすべきだと思います。
19501	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオ。全原発の停止・廃止を求めます。今考えるべきは原発ゼロをいかに実現するか。どんな想定も簡単に超えるのが自然の力だからです。	日本は2つの原爆の痛みを忘れようとしている。 チェルノブイリの事故も遠い国の過去のことのよう。 しかし原爆の後遺症はまだ残っているし、チェルノブイリは高い放射線を出し続けている。ベラルーシでは奇形児が生まれ続け、幼い子が命を落としている。 福島の事故は未だ終わってない。 原子炉の中身がどうなっているのかすら分からない。 核エネルギーは平和利用であれ、兵器であれ子孫に負の遺産を残すという点では同じだ。平和利用した後に残るプルトニウムは原爆の材料になるという。果たして平和利用というのは本当なのだろうかと疑いたくもなる。 たとえ兵器にならなくても、その毒性は何万年も続く。 安全に埋めて管理するというが、地震大国の日本のどこに埋めるというのか。 人間は核を完全に封じ込めることはできない。 人間は自然には勝てない。 人間は地球から離れて暮らすこともできない。 未来の子どもたちのこと、国づくりを考えるのなら まず、原発の撤廃を決め、エネルギー消費自体を減らし、自然エネルギーの活用 に知恵を絞るべきだ。豊かさ＝消費ではないのだから。
19502	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオを基本とした制度設計を求めます。	原発は事故が起きたときには取り返しがつかないことが証明されたと思います。我が国は地震や台風など自然許害が多いこともあり、安全なことは絶対にない。自然エネルギーへの早期転換を考えるべきだと思います
19503	個人	無職	60代	男性	エネルギー問題を議論するには、先ず第一に、現在エネルギー事情を正しく理解・認識する必要がある。	エネルギー問題を議論するには、まず、一次エネルギーがどのようになっているかから、始めるべき。我が国の国産エネルギー源は4%程度であり、大部分を輸入に頼っている。しかも、大部分は化石燃料に依存している。エネルギーの安定確保のためには、まず、この化石燃料を如何に安定して輸入できるようにするのかが、一番の課題になる筈。この議論を抜きにして、10数%の原子力エネルギーをどのようにするのかという議論は、どの程度重要な意義を持っているのでしょうか。
19504	個人	会社員・公務員	40代	男性	原子力発電は将来的になくす。今はその過渡期であり多少の許容はある。 政府、電力会社、原子力を取り巻く企業まったく誠実さがない。	国力や命に原子力は必要だといいますが、それは今だけ。間違った原子力政策のつけが回っている今だけです。 災害大国日本はもっと謙虚に災害大国らしい電力と経済活動を長期視点でみすえましょう。 背伸びした原子力は嫌いです。

19505	個人	無職	60代	男性	原発を廃炉にして、再生可能エネルギーへ転換する。 無駄に電力を消耗し、国民の精神を破壊するパチンコを韓国のように全廃する。	福島原発事故で、原発の安全神話は崩壊しました。放射能は30KM圏内だけではなく100km以上に及び、海洋を放射能汚染させました。 原発事故の収束は未だ目途がたっていません。 原発事故が無くとも、原発を稼働させれば放射性廃棄物がでます。 未だ放射性廃棄物の処分方法は決まっていません。 現世の人が原発の恩恵を受け、後世に放射能廃棄物だけを残すことは許されません。放射能により日本人の遺伝子が崩壊し、後世の生命の存続も危うくなります。 日本には原発適地はありませんが、地熱適地は沢山あります。再生可能エネルギーへの転換を強く求めます。 パチンコは、国民からお金を奪い、時間を奪い、精神を崩壊させ、無駄に電力を消費しています。電力不足の今、日本からパチンコを全廃すべきと考えます。
19506	個人	その他	60代	女性	原発はすぐにゼロに。再稼働に反対する。	(1)原発は大量の放射能を作る。医療用以外の放射能は有害なだけ。制御できない膨大な廃棄物を作り出すのは破壊的行為である。 (2)日本は地震国でどこも危険。海岸線では地震も津波も来ると考えるのが当然であるのに、「来ないに賭ける」ではたかが電気のために日本の消滅を許すことになる。(3)原発の採算性は、短いスパンで黒字であっても、長期に、安全にと考えると自然エネルギーや火力にかなわない。(4)炉の耐久性が悪いうえ、新しい炉でも安全対策をしたとは信じられない。(5)我が家の太陽光発電は4年経過したが好調である。かつては採算のとれない機械であると考えていたが、そうではないと思うようになった。(6)原子力村への不信がある。
19507	個人	無職	70代	男性	「ゼロ」シナリオとすべきです。	1、「絶対安全」の無い中で、原発事故で一旦「核」が拡散すれば　破滅的な被害が人類・社会に及ぶ 2、原発立地に問題がある。地震・津波等 3、核燃料サイクルは既に破綻している。 　使用済み核燃料の処分ができないため、原発は未完成の技術 　だと言える。 4、　経済活動ばかりを優先するのではなく、安全とともに今日、　将来のエネルギー問題について国民的議論をすべきではないか
19508	個人	自営業	30代	女性	福島原発事故以後、日本の原発政策は世界中の注目を集め、各国の原発政策と世論を大きく動かしました。世界唯一の原爆被投下国としての責任、子供たちに託す未来を考えると、原発は完全廃止しかありえません。	私は、震災、福島原発事故の際も、スイス、バーゼルに住んでました。この町は、原発停止を決めたドイツ、原発国家フランス、やはり事故をきっかけにいくつかの廃炉を決めたスイス、三国の境にあり、スイスのなかでも、外国人が多く受け入れられている町です。震災と事故をきっかけに、さまざまな人と話し、意見を交換する機会がありました。また、各国の反応を間近に見たことで、日本への注目度、日本が成すべきことを考えるようになりました。 ドイツは原発を停止しましたが、理念だけではなく、長期的な国益を考えての決断だったそうです。原発を稼働し続ければ、核廃棄物は増え続けます。１００％完璧な危機管理など、人の手では成し得ません。かなら千数％のミスがでる。少なくとも常に１００％を目指すべき危機管理体制は、穴だらけであったこともすでに明らかになりました。日本は、原発政策に関して目先と一部の私個人の利益に終始せず、長期的な国益と、責任を考えるべき時です。一時的な電力不足など、日本の知力と技術を捻出すればいくらでも対応していけるはずです。 あと何回か原発事故が起きれば、日本全土が居住不能になるでしょう。日本人には、健康すら絵空事となるのかもしれません。それは、私個人の利益、などと比較できる被害ではありません。日本政府が、サムライの国にふさわしい、潔く正しい決断を世界に示してくれることを期待しています。
19509	個人	会社員・公務員	30代	男性	「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張 《政府は再生可能エネルギー開発に尽力すべき》	「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張 《政府は再生可能エネルギー開発に尽力すべき》 原子力発電は半永久的な核のゴミを出し地球を汚染し続けます。想定を超えた災害は今後も起き続けますから、福島の原子力発電所のような原子力の事故、ひいては更なる悪い事故も今後も発生するでしょう。そんな原子力を使わず、安全な再生可能エネルギーを使うことは当たり前の欲求です。過ちを2度犯す事は愚の骨頂です。
19510	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロの実現へ切望	福島のこの悲惨な状況、帰りたくても自分の家に帰れない人々がこんなに沢山います。 次にまた大震災が起きた時の更なる被害、日本そして世界の子供たちの将来、環境を考えたら、原発ゼロ、自然エネルギーへのシフトを今から始めるべきです。 ドイツは原発ゼロを国家意思として決断して、行動に出ているではないですか。 ドイツ国家の環境への配慮、国民への想いが伝わって来ます。日本も見習うべきではないでしょうか？特に、この大惨事が起きたからこそ。
19511	個人	パート・アルバイト	40代	女性	今すぐ、原発エネルギーから完全に脱却し、次のエネルギー政策を示すべきである	今まで行っていた原発推進政策が間違っていたことは先の震災での福島第一原発の重大事故ではっきりしたと思う。 今まず政府がやらねばならないことは、原発以外の次世代のエネルギー政策を示すことである。 原発を推し進めたかったのならば、このような社撰な安全管理をするべきではなかった。しかしもう時すでに遅し。福島第一原発はやり直しはできないのである。 この状況を作ってしまったことを反省するべきである。 大飯原発を動かしたことで、政府は全く反省していないことを示したも同然である。 この後に及んで、自分たちの権利ばかり主張する東電をそのままにしておくことにも疑問を感じる。 結局何も反省していないのではないか。 福島県の皆さんに対して失礼ではないか。 私も汚染地域である千葉県北西部に住んでいるが、子どもの健康が毎日心配で、普通の生活ができない。 今も子供は地方に疎開している。 国の考える安全と国民が求める安全は今まったくイコールではないことを、もっと国民の側にたって認識すべきである。
19512	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロシナリオを選びます	原子力発電に代わるエネルギーを早急に考えるときです。 原子力エネルギーの使用済み核物質を処理することは人間にはできないようです。 核を必要としないエネルギーが必要です。 何のために核が必要か？とても疑問です。 昨年の震災では、今も、まだまだ多くの方が苦しんでいることと思います。 原発を持ち続ければ再度、このような事故の可能性があり、人々は恐れ続けなければならないのです。 日本が世界に誇れる国であるため、核物質でこの世界の自然を汚してはいけないと思います。
19513	個人	自営業	70代	男性	ゼロシナリオを支持します	昭和11年生まれです。 戦後の復興と共に育ち、とにかく科学の発達とお肩上がりの経済を信じて生きてきました。 が、2012年3月11日を体験し、考えが180度変わりました。 今、15歳を筆頭に4人の孫がいます。 彼らの身を案じて死んでいく身として 我が時代に始まった原発は、我が時代に終わらせる責任があると思っています。
19514	個人	自営業	50代	男性	過去の原発事故の教訓を活かす事が出来なかった今回の対応は 安価な電力供給を求めてきたが、安全対策は出来ていなかった 証明となった。	原発依存の電力供給の比率をゼロに下げる様、火力、他の代替エネルギで、運用すべきと考える。 安全対策が不完全な状態で原発を再稼動する事に非常な疑問を感じる 又、過剰な程、原発を稼動させないと、電力供給が出来ないので 生活に支障をきたすと言った脅しに近い意見は論理的におかしいし 意識操作もやめてほしい 節電対策をお願いしているが、本当に電力が不足しているかも 疑わしい、一番電力を使用しているのが電力会社ではないか 一般家庭の電力なんて、使用量が少ないはず、節電をお願いする 所が違う、供給量と各所別使用量を見ると、お願いする所と 節電する場所が明確ではず、色々な手段を講じて、原発を再稼動 したい魂胆がみえみえな気がする。
19515	個人	会社員・公務員	60代	男性	将来にわたって放射能の不安を残す原子力発電には反対です。 低線量被爆の影響についても危険性が完全に払しょくできない以上未来を背負う子どもたちの健康を最優先する政治を希望します。	東京電力福島第一原子力発電所から放出された放射性物質は，セシウムだけではなく，気が遠くなるような半減期をもつ，ストロンチウムなども検出されています。福島県民だけでなく近隣の県民が放射能による汚染で，自らの土地を追われ、生業としていた農業や漁業，林業からの撤退を余儀なくされています。子どもたちは一番大切な学び舎から追われ，自然の中で思い切り遊ぶという子どもにとって一番大切な権利も奪われています。このような人権侵害を引き起こす大事故に対する謙虚な反省もなく，経済的な利益のために原発が再稼働され，責任も明確にされないまま，原発依存体質が復活することは許されません。 　私たち国民は，今節電の努力を続けています。心ある企業家はエネルギーシフトに向けた取り組みを着実に行っています。日本の技術力が，地球を傷つけず，空気や水を汚さず，子どもたちが健やかに育つ社会へ貢献することは，中・長期的に見れば，日本の国益にも，世界の安定にも寄与するものです。 　だからこそ，政府は国民の素朴な声尾を受けて，脱原発社会を目指す決定を一刻も早く決定すべきです。
19516	個人	学生	10代以下	男性	ゼロシナリオ、原発ゼロ、今すぐ原発ゼロ（再稼働なし）、将来もずっとゼロにしたい	危険な原発はいりません。
19517	個人	パート・アルバイト	50代	女性	「原発ゼロシナリオ」を主張します。	原子力発電は、ウランの採掘を行っている地域に始まり、原発のある地域、原発作業員、またいったん事故が起こった場合には空気や海を通じて世界のあらゆる国々を、放射性物質で汚染してしまう、命をむしばむ危険な発電です。事故が起こった場合の処理の方法はもちろんのこと、そもそも原発から排出される廃棄物の処理についてさえ、まだ技術が及ばないままでの見切り発車でこれまで行われてきました。福島第一原発の事故は、この未熟な技術を安全であるかのように偽って使用することの危険を、たくさんの人々の犠牲を伴いながら教えてくれました。 もはや、今の技術のままで原発を稼働することはありえないと思っています。ただちに日本中の原発の廃炉を決定することを願っています。 日本は自然エネルギーの技術でも優れた成果を世界各地で上げています。これをもっと利用し、さらに発展させていってください。
19518	個人	パート・アルバイト	50代	女性	2030年までに原発はゼロにするべきです。 それが、今回の震災及び原発事故後の日本の当然のあり方です。	政府は遅ラことなく、原発ゼロを目指し、動き出すべきです。15%、20%では、政府の言う「脱原発依存」の意味が不明になり、ますます政府への信頼が失われるでしょう。 太陽光、風力のみならず島国日本なら波動エネルギーも有効でしょう。 自然エネルギーこそ、いま選択すべきエネルギーです。 また、送電線の問題を解決し、蓄電方法の研究が進めば、もっと自由に個人がエネルギーを選んで買え、低価格化も実現すると考えます。 原発は、もはや時代遅れです。
19519	個人	パート・アルバイト	30代	男性	自然エネルギー普及拡大を希望します 原発など、核廃棄物の危険性が残る発電は廃止を希望します 国の安全保障などに原発をもちいるのではなく、自然エネルギー、世界基準技術の構築。	エネルギーに利権が大きく関わる古い時代から抜け、自然エネルギーに技術開発、構築の助成金など、普及に向けて欲しいと思います 原発が悪い、危険、電力不足、安全保障、これだけの問題が関わるのであれば フリーエネルギー、自然エネルギーにシフトして一度、利権問題などクリアにして行かないと古い考えからどんどん遅れてしまう 2012年を機会に新しい時代の考え方にシフトしていかないと、どんどん遅れてしまう。エネルギーを独占して利権を離さないのは電力だけではなく、多くの業界、道路、水道、ガズ、などあるので、また同じ事を繰り返すことになる これだけ、多くの被災者がいるにもかかわらず、進めていく事自体、国民はどんどん信用しなくなっている、そんな状態で国家繁栄はありえない、国家低迷が必須になり、政権も危うく、政党も危うい状態になる、 人が人らしく生きられる世をつくることに目を向けて欲しい。
19520	個人	無職	60代	女性	・原発の廃炉を求める ・原発の稼働には国民投票を行う ・地熱利用とうの再生可能エネルギーへの転換をすすめる。	原発はすぐに廃炉にすべきと考えます。 今の経済を優先し、国民の命を軽視する政府の方針に反対します。 トイレなきマンション。放射性廃棄物の最終処分場、処分方法も未定のままの原発稼働に反対します。 原発の利用については、国民投票にかけるべきと考えます。 日本には地熱資源が沢山あります。後世が安心して暮らせる環境を残すために再生可能エネルギーへの転換を進めるべきです。
19521	個人	会社員・公務員	60代	男性	原発Stopには絶対反対。原発停止は集団リンチ的感情論が先行した結果で政治、マスコミにおいて冷静なエネルギー政策論議がなされていない。法令に違反してない原発を強制的に止めるのは法令違反である。	原発の停止は「電気事業法」や「原子炉等規制法」に基づいて行われるべきです。 現政権は法的根拠がないことを分かっていながら、行政指導的な「お願い」という形をとり、電力会社に自主的に再稼働を行わせない状態を続けています。 したがって、県民投票によって反対派が多数を占めたとしても、再稼働を禁止する法的根拠はありません。現政権は分かっていながら、このまま開西電力や中部電力などに『自主的な形』として再稼働を停止する状態を続けると思われる。 しかし、ホルムズ海峡や台湾海峡などのシーレーン上での紛争が起きれば、原油輸入の80%以上を中東に依存しているわが国では、安全保障面上で脆弱さを露呈しエネルギー危機に直面します。中東情勢にもよるが、こうした最悪のリスクをも考慮しておく必要がある。この選択肢では、エネルギーの補給路が有事の際に絶たれる可能性をほとんど想定していません。「エネルギー安全保障」という国家の最重要事項を考慮していない欠陥シナリオであることは明白。 政府がエネルギー政策の選択を誤れば日本の没落は回避できない。 また、原発を減らすことに事によって、計画停電があった場合、私たちの生活に重大な影響が発生します。事実、計画停電がなくても熱中症が多発し、最悪のケースでは、エアコンがないために倒れる人が多くなることが予想される。 突然停電があった場合、自宅で人工透析を行っている人たちは死の危険に直面する。人工透析を行う人は全国で約30万人いるが、例えばある男性は自宅で週に3～4回、血液透析治療を行っており、一回の透析に5時間半かかる。このため停電で機械が停止したら、大量の血液が失われる可能性もあるという。人工透析の患者らで作る「全国腎臓病協議会近畿ブロック」などは、電力の確保を求める要望書を関西電力に提出している。 原発が長期停止することによって地域のGDPは減少し、原発関係に従事していた労働者は職を失い、家庭崩壊、自殺者が増加している。失業者の増大による雇用保険費用も増大していることを忘れてはならない。 『命を大切にというなら、まず、このことを考えてから発言すべき。 「人命や生活より脱原発」と真逆であり、はなはだ無責任な発言としか言いようがない。 住民投票や県民投票が行われる際には、総合的な視点から議論がされているか否かをチェックすべきです。（地方の住民の生活と国益の観点を考慮すれば、県民投票という手段をとるのではなく、県が何を言おうと、政府が責任を持って原発を再稼働する英断をしなければならない。 以前より、虎視眈々と日本から国防の要となる原子力エネルギーを排除しようとして来た左翼勢力は、菅前首相の「脱原発」路線に乗じた形で日本の世論を乗っ取り、「全原発廃止」に追い込もうとしている。マスコミも言論の自由と言いながら左翼的な報道姿勢をとるため、原発反対運動やデモは長時間放映しますが原発賛成の運動やデモは一切放映しない。これではフェアではない。 脱原発というなら、中国の中長期計画では2020年までに建設中の26基を含め60基以上の原発を建設予定であり、現在15基の原発が稼動中で、中国の新幹線で分かるように、ずさんな設計や	

						製造で事故が起こる可能性が日本よりはるかに高く、漏えいした放射能は偏西風に乗って日本に来て、国中に甚大な影響を与える。まず、それを言ってから国内の事を言うべき。 また、再生可能エネルギーの大量導入による電気料金の上昇、原油やガス価格の高騰、増税に日本経済が襲われた場合、一般物価が上昇し、インフレと不況が同時に襲う可能性がある。 「太陽光発電など再生エネルギー買い取り」がスタートしたが、これはすでにドイツで失敗した実績があるにも係わらず政府は採用を決めた。 ドイツでは2000年に同様の制度を導入したが、消費者負担が増える一方となって、今年2月には全量買い取りを断念した。買い取り価格も段階的に引き下げることになりました。太陽光発電の買い取りにクリーンエネルギーの助成金の約6割をつぎ込んできたにもかかわらず、全発電における太陽光発電の比率は、わずか3％にしか達していない。太陽光発電は、天候に左右され、曇りでは半分以下になることや、夜間は発電できないと、実際の発電量は発電容量の3割程度と非常に非効率のため、結局、高くつき普及しなかった。 経営的に採算が合わないエネルギーを無理やり補助金で普及させたとしても、最後には破綻する。また、耐用年数が過ぎて廃棄される場合は環境汚染の悪影響を与える元素が含まれており、全くのクリーンエネルギーではないことも知っておかねばならない。 経済産業省の試算では、今年度中に計250万キロワット超の電力を認定することになると試算しているが、これは原発約2基分にあたる量。 太陽光は1キロワットあたり42円、風力は23円～58円、地熱は22円～42円で、電力会社が買い取る。買い取り価格は電気料金に転嫁されるため、結局は消費者の負担となる。 標準家庭の今年度の負担増は平均87円となるが、今後普及がすすむほど負担は増える。全量買い取りのため、再生可能エネルギーで発電するほど、その売り上げは、すべて家庭の負担となり、火力発電の燃料コスト増による値上げとは別枠での負担増となる。原発を再稼動させれば、これらの負担は全く必要ない。<br　先般来日した英国原子力公社(UKAEA)のバーバラ・ジャッジ名誉会長が、「資源の乏しい日本は、原子力発電が必要」と、4/21日付産経新聞のインタビューで答えている。氏は、東京電力の福島第一原発事故で、あれだけの大規模な地震と津波でも建屋そのものは残ったことや、新興国が日本製の原発をほしがっていること、日本の原発が国際的にも高い評価を受けていることなどを指摘しています。原発の技術を高め、技術で克服する必要がある。以　上
19522	個人	学生	10代以下	男性	ゼロシナリオ、原発ゼロにしたい	危ない原発はやめてほしい。
19523	個人	その他	50代	女性	原発再稼働のまえにやるべきことが山のようにあるのではないですか?	野田さんのいう「決断」は、民意からかなり遠いのです。 首相といえど、税金で暮らすひとりの個人が、 多くの人間の未来を左右する「原発問題」を勝手に決めていいわけがありません。トイレのないマンションといわれる原発。 まず選挙で民主党がどれほどの「民意」を受託しているかを、しっかりたしかめてから「決断」しなければ、民主党は詐欺集団と同義だと感じます。 つごうのいい「学者」ばかり集めて、つごうのいい「意見」ばかり垂れ流し、それが納税者がどれだけおざなりにされているか。 民主党は詐欺集団でも、置き去りにされた民衆は、人生そのものを被害者として生きる道しか残されていない。それが見えないくらい、民主党は権力官僚側にとりこまれてしまったのでしょうか。 民主党を支持していただけに、たいへん残念で、後悔する日々です。
19524	個人	会社員・公務員	40代	男性	3・11の福島原発事故で明らかになった原発の危険性から私たちの命を守るには「ゼロシナリオ」しかありません。	地震国日本では、近い将来相当大規模な地震が想定されています。そのなかで、原発の安全性を保つことは不可能でしょう。「ゼロシナリオ」のほかに私たちの安全を確保する道はありません。
19525	個人	パート・アルバイト	30代	女性	2030年までに原発ゼロではなく、いますぐゼロにするべきです。 福島第一原発事故でまだくさんの人が苦しんでおり、事故が発生したら人の力ではコントロールできない原発を稼働させることは考えられません。	福島第一原発事故から現在の状況をみて、なぜ選択肢に原発依存ゼロ以外があるのでしょうか。子供たちが安心して暮らしていける社会、エネルギー政策を国民目線で考えてください。
19526	個人	家事専業	40代	女性	原発はいらないです。すべて廃炉、ゼロパーセントにしてほしいです。	3.11以降、福島で大変な原発事故がありました。それなのに、政府は大飯原発を再稼働しました。まだ福島では原発のせいで苦しんでいる方々が沢山います。破損した原子炉の終息の見通しもつかない中での再稼働でした。一国民として信じられませんでした。首相は「私が責任をもつ」と発言しましたが、どう責任を持つのでしょうか？福島のような事故が起きた場合、首相が身代わりになることで病気の人や汚染された土地、空気、海が元通りになると補償されるのであれば問題ないですが、小学生が考えてもそんなことが出来ないと分かります。愚かな発言も度がすぎます。「今さえ良ければいい」という考え方は未来をなくします。大人である私たちが将来を背負う子供たちのために、また、未来のために自然で住み良い環境を作らなければなりません。原発は断固反対です。必ずゼロパーセントです。 1基でもあってはならないものです。私たちの神は「お金」でも「経済」でも「開発」でもありません。「空気」「水」「土地」が汚染されては生きていくことができないのです。福島での原発事故で思い知らされました。今まで、何も知らずに過ごして来た自分も被害者の一人です。このようなことが今後二度とおこらないように原発ゼロパーセントを要望します。
19527	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発反対で、将来的には0にすべき。	100%安全であることはありえない。事故が起これば、環境に一番悪影響を及ぼすし、お金もかかる。 新しいエネルギー創出を目指せば、新たな雇用も生まれる。
19528	個人	その他	50代	男性	エネルギーは、自然の力をいかすこと。	原子力に依存していては、日本人は生き残れません。 地震が多い日本では、無理です。福島原発でわかったことです。原発近くでの瓦礫は三重には絶対に持ち込まないでほしい。放射能量が基準より少ないからよいというものではない。少しでもあればだめです。鉛で数値をごまかした情報は信用できません。これから福島付近の人は十数年後どうなるでしょう。三重県も激変があります。魚は怖くて食べれません。福島や茨城・岩手でとれた物はいくら安全と言えども食べれません。どれだけ体内に蓄積されるのでしょう。<br　４号機の燃料を取り出していた映像を見ませたが、どれだけの放射能があるのでしょう。計測したのでしょうか。命がけですよね。命知らずですよね。病気になったら家族は不幸になります。願うことは、家族みんな健康でありますようにと願うでしょう。あそこで鳥がとべたでしょうか。 これからは、自然エネルギーの開発に力をいれるべきです。 これからわが子はどうなるでしょう。全てが間違った方向に動いています。今の政府はどうなっているのか？せっかく期待して投票したのに、55歳からは昇級などとかおかしいでしょう。だんだんお金が回らなくなる。格差がもっとでる。原発ではなく、ほかの安全なエネルギーをつかえばまた、そこに新しい雇用がうまれたりするのではないでしょうか。もっと元気がでる政策をしてください。最低です。政治家の数は減らさず、対価も下げず、自分さえよければというホント最低です。もっともっと身を粉にして働いてください。日本の国民のために仕事をしてください。
19529	個人	学生	10代以下	女性	原発ゼロシナリオを選びます♪	今は、体に害は出ないかもしれないけれど、 30年先にはどうなっているのかはわからないため 今から原発をやめればこれからの日本を担う子供たちが 助かると思う。 いまの政府が原発を稼働させても将来日本を引っ張っていくのは わたしたち子供なのだから、そのために原発は稼働させてはいけないと思う。 チェルノブイリ原発事故のような悲劇を繰り返してはいけないと思う。 戦争時代にも広島は原爆を落とされ、いまも後遺症で苦しんでいる人がいるのに、今度は日本人自身が日本人を同じ放射能で苦しませてはいけないと思う。 お金よりも大切なものは人の命である。 いくらお金に困っていようとも、放射能をつかって儲けてはいけない。 『放射能は人体に影響はない』というなら、 政府が福島の原発の前で国会を開き、会議をしてみてはいかがだろうか。 以上の点から私は原発ゼロシナリオを選びます。
19530	個人	会社員・公務員	60代	男性	原発依存率、ゼロ%を選択します。	原発依存からの速やかな脱却を求めます。 放射性廃棄物の課題は全く解決されていません。 課題を子孫に積み残すだけです。 また地震多発国の日本で、巨大地震の発生が懸念されている中、 日本列島のどこであれ、原子力発電所の存在は極めて危険です。 以上の理由で、原発に合理性を見出せません。
19531	個人	会社員・公務員	50代	男性	どんなエネルギーであれ、イノベーションの可能性のあるものは等しく研究開発を継続すべき。但し、期限を設けて第三者視点でチェックしていかないと、特に再生エネルギーは補助金の垂れ流しに終わる可能性がある。	いま議論されているエネルギー問題の本質は、将来の財政と雇用問題そのものである。日本の上位一割の企業が、残りの財政の9割を支えているが、食わせてもらっている9割の人達の政治的圧力が、日本に止めを刺そうとしている。 過剰なゼロリスクを求める国民と、迎合する政治家と、無意味に煽り立てるメディアのトリプル感情攻撃で、データに基づく正しい議論が成立していない。 震災自体の自然被害より、原発による過剰な避難範囲や風評被害や強制停止の方が、はるかに甚大な財政負担となってしまった。 原発停止による代替エネルギーの輸入だけで、一日90億円、年間3兆円に達し、そのまま貿易赤字の額と一致している。 野田首相はポコポコニされて本当に大変だと思うが、今の政界で彼をおいてこの難局を乗り切れる人材は他に居ない。 辛いだろうが、一刻も早く原発を再稼働し、財政をバランスさせながら、新たなエネルギーの可能性を模索していく、そんな正常な状態に早く戻ってほしい。
19532	個人	無職	30代	女性	国内の原子力発電所をゼロにしてほしい。 脱原発をお願いします。	福島の事故で、実際に放射能が漏れている。 どんなに安全策を強固にしても、 自然災害に対して100%安全とは言い切れません。 仮に安全であるとしても、 「不安」「怖い」「心配」をかかえながら この国で生きなければいけないことがかなしいです。 私には小さな子どもがいます。 子どもに原発のない未来を残したい。 そう願います。 お金より、立場より、大人の事情より、 命、心、子どもたちを大切にしてください。 これらを犠牲にしてまで、 たくさん電気を使って、お金がもうかる国が、 本当に豊かな国でしょうか？
19533	個人	家事専業	30代	女性	日本は原発ゼロを目指してほしい。 2030年までに動いている原発がなくなってほしい。 原発の再稼働はしないでほしい。	今まで電気はお金さえ払えば、電力会社が作ってくれるからと、何も考えずに使っていました。福島原子力発電所の事故の翌日に産まれた娘が、この先ずっと、放射能の被曝にさらされながら生きるなんて、かわいそうです。 もっと省エネをすすめて、原子力による電気はいらない世の中を作りたいです。 もうこれ以上、核のゴミを将来の子どもたちに残したくありません。 電力を供給する事業者は、危険を顧みず、収束に向かって頑張っていると聞きますが、本当に頑張っているのは、下請けの方たちなのではありませんか。再稼働に対するシナリオは既に作られていて、それに向かって進んでいるとしか思えない動きに、私は怒りを覚えます。 地震が多く、自然災害に見舞われながらも懸命に生きてきた先祖が残してくれた土地を、これ以上人が住めなくしてはいけません。地震が起こるたびに、放射能汚染の心配をするくらしはしたくありません。 北海道の候延で行われている地層処分の研究も、高レベルの放射性廃棄物を捨てるために行われているのでしょう。食料自給率が高いこの北海道で、失敗の許されない核のゴミ処分場をつくるなんて、絶対に許せません。
19534	個人	会社員・公務員	50代	男性	「ゼロシナリオ」選択 「ゼロシナリオ」を決定し、自然エネルギーの拡大に努力すべきです。それが経済成長にも寄与するはずです。原発立地市町村には新しい地域経済復興の施策を実施することを求めます。	「ゼロシナリオ」選択 「ゼロシナリオ」を決定し、自然エネルギーの拡大に努力すべきです。それが経済成長にも寄与するはずです。原発立地市町村には新しい地域経済復興の施策を実施することを求めます。
19535	個人	会社員・公務員	50代	男性	(1)ゼロシナリオを選択します。	今、原発を稼働させることが多大な利益（目先の個人のお金）を得る手段になっている現政府、自民党、その他為政者や電力会社、その周辺に群がる企業の経営者（従業員ではありません）たちは、そのために努力して今の立場にあるわけで、彼らも、再度大地震が起これば原発が大丈夫でないことぐらい百も承知でしょう。でも、いま情に入ってくる金をあきらめ、せっかく築いてきたこの金のなる木を手放すことはできないでしょう。人間の哀れな性です。私も、もしその立場なら原発維持に固執します。彼らを批判することはできません。 ただ、もっとまともな言い分で国民を騙すことはできないのでしょうか。全くお粗末な言い訳や取って付けたような理屈、あっちへふれこっちへふれる言動。本当にこの人たちは国語（日本語）や修辞学を学ばなかったのか、そしてその手のプレーンに愛想をつかして助けてもらえないのか、いやはや情けない限りです。 しかし、今度、原発周辺地域で大地震が起きれば、世界中の子どもたち、孫たちに地獄の苦しみを与えることがわかっていながら、それを防げないのでは、われわれは生物としての役割を放棄することと同じです。私は、目先の金より生物として地球上の人間がこれからも連綿と健康な状態で種を継続していくことを強く望みます。 私は原子力発電所を廃止し、核兵器を作らない、持たない世界を強く望みます。 他国から侵略されるというなら、核兵器に頼らずにそれを防ぐ別の方法を実施するのが為政者です。理想論と言われようと、人間は理想がなければただだけの生きる屍でしょう。
19536	個人	パート・アルバイト	40代	女性	人類では手におえない関発物、原発は今すぐ再稼働全てを白紙にしてください。原発保有即座に0%を望みます。	私は必死で子供を産み、育て、成長を観てきました。女であることを捨て、子供を育てることに命を懸けました。その子供たちをただ、守りたい。原発は今すぐいりません。経済が破たんしても、手を育てロウソクで灯りをともして生きていきます。原発は即座に0にしてください。
19537	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発は再稼動させず、早急に0を目指すことが必要だと思います。国の原子力政策を見直して、そして、電力会社の責任と役割をきちんと果たさせることが大切とおもいます。	原発は再稼動させず、早急に0を目指すことが必要だと思います。国の原子力政策を見直し、原子力村に依存、甘い汁をすすってきた人々、企業の責任を徹底的に洗い出し、電力会社の責任と役割をきちんと果たさせることが大切とおもいます。御用学者ばかりを集め、原発設置や稼動ありきでの運営のやり方、また、地質についてもまともに調べることなく建設。大学の教授が聞いてあきれる発言を平気でしゃべる。この国も落ちたもんだと思う。また、その発言にも全く責任を負わず国も追及しない。いったい、国民の命とか生活・国土に愛着はないのか、愛国心のかけらさえ見られない。 一旦、暴走を始めたら人類には手の尽くしようのない核原子力から手を早急に引くべきでしょう。 今、誰が好き好んで福島に住み続けられようか、東北の食品を口にしようか、こんな状態を日本全土に広げてはいけない。 人間が作るもの、操作するものに「絶対」はありえない。 福島でも「SPEEDI」さえ生かせることができず、多くの国民に不必要な放射線被爆をさせてきたではないか。内部被爆に対しても明確な対応さえ出来ない。これで未来のこどもたちのためとか、経済が・・・、など語る資格はない。 福島の子供や親が10数年後を心配して悲しんでいることを無視したまま、原発を再稼動や増設をさせるわけには行かない。 先ほど、ブータン国王が来日した際「幸福」が話題になった。電気があることが幸せでは決してあるまい。無駄なことがいっぱいあるはず。国民一人一人が何か出来ることはないか？また、そのために国民一人一人が何をなすべきかを考えていくように、国は、知恵をはたらかせるべきじゃないの。美しい国土、幸福な国民のせいかつのために。

19538	個人	会社員・公務員	40代	女性	福島第一原子力発電所の事故により、絶対安全ということはなく、事故が起これば甚大な被害が出ることが判りました。ゼロシナリオを選択し、原子力を0にするとともに再生可能エネルギーの利用が進むことを望みます。	福島第一原子力発電所の事故により、想定外の災害は起こり得るということが明らかになりました。 1000年に一度の災害だったという意見もありますが、震災以降地震活動が明らかに活発になっている中、果たしてあと1000年は同じような災害が起こらないと言えるでしょうか。 たとえ本当に1000年起きなかったとしても、1000年後に起こるのであれば問題だと思います。 以上のことから、原子力発電所が絶対安全であるということはできなくなったと思います。 また、一度事故が起これば、甚大な被害が出ることもわかりました。 放射性物質の拡散により健康被害が果たしてあるのかどうかはまだわかりませんが、もし健康被害がなかったとしても、長期的に居住できない地域が発生するなど、その被害は他のどのような工業施設よりも甚大なものであると思います。 原子力発電はCO2排出量が少ないという点で環境に負荷を与えないと言われていますが、今回の事故のこと、また核燃料廃棄物の問題を考えても、CO2排出量が少ないというだけでは環境に負荷を与えないエネルギーであるとは言えないでしょう。 以上の理由から、最終的に原子力発電を0にになる、ゼロシナリオが選択されることを望みます。 ゼロシナリオの実施においては、再生可能エネルギーの拡大による経済的な負担が大きいとされています。 しかし、私は事故以前から、日本の再生可能エネルギー開発が進まないことに疑問を持っていました。 今回の事故に伴う報道によって、コストが高いこと、立地の問題などの原因あることがよくわかりました。 しかし、私には、これまでの日本では、これらの原因を解決しようという努力をせず、経済的に負担にならず、(実際のところ本当に原子力発電がコストが安い発電であるのかどうかは理解し難いのですが簡単にCO2排出量を減らせるという安易な発想から、原子力発電が推進されていたように思えます。 ゼロシナリオを選択することで、再生可能エネルギーの利用について、より高い目標を定め、国策として進めていくことは、以上の点からも望ましいことであると考えます。
19539	個人	無職	60代	男性	原発0ベースが最も望ましい。再生可能エネルギーに転換すべきです。	原発の安全性は自然のあらゆる不測の事態には耐えることは不可能です。地殻の変動やそれに伴う地震や津波などには安全対策を完璧には出来ません。 従って日本の将来ノエネルギー政策は全て再生可能エネルギーに変換すべきであると思います。化石燃料によるエネルギーは資源の枯渇のみならず温暖化の大きな要因です。水力、風力、地熱、波力及び国を挙げての太陽光発電に取り組み安全でクリーンなエネルギーが将来最も必要です。 又これからは道路や線路、歩道等敷設発電式エネルギーなどあらゆる対策を研究すべきと考えます。福島の原発事故はあまりにも代償が大きすぎ今後の対策も長い年月がかかり先の見えないことが気がかりでなりません、国をあげてこの問題に真剣に取り組む事が将来を担う子供達のために今最重要課題です。
19540	個人	会社員・公務員	20代	男性	原発依存度は限りなくゼロシナリオに近い値にすべき。 また、目標年次を「2030年までのなるべく早期」とあるが、これを具体的に示すべき。	原発と経済や環境など様々な要素が深く絡み合っていることは間違いなく、原発を廃止することで増えてしまう負担が多岐に渡ってしまうという懸念があることも間違いない。 しかし、福島の件を考慮した際、どうしても原発事故に対する恐怖と不安を拭い去ることはできない。 安全性を高めていても、事故が起きてしまう可能性はゼロにはなりません。昨年の大震災のように、想定外の天災を予測することは非常に難しいことであり、そういった可能性がある限り、原発のリスクを背負っていくことは避けるべき。 従って、原発依存度は限りなくゼロシナリオに近い値にすべきだと考える。 また、地震大国日本において、昨年の大震災クラスの震災が2030年までに起こってしまう可能性も否定できない。地震をきっかけとして事故につながる可能性も十分考えられる。そのため、原発に対する問題は早急に対応すべきであり、2030年と言わず、より早い時期でのゼロシナリオ達成を目指すべき。
19541	個人	自営業	40代	女性	たくさんの危険を伴う原子力発電に頼らないよう、原発停止を希望致します。	長い長い時間をかけて均衡をとり、命を育んできたこの地球を未来の子たちにつなぎたい。もしも、放射能で汚染したら人力では、止められない悲劇が待っている。 子供たちの純粋な声を聞き……どの声も、身内の声と思ったら……止めたくなると思います。国民一同で停止をして行く道を歩みましょう。
19542	個人	会社員・公務員	30代	男性	「エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見について 「2030年に原発0」ではなく「できるだけ早期に原発ゼロ」を主張。	1．脱原発に起因する産業界への重圧による空洞化懸念は、円高や法人税などの重圧と同列に過ぎず、原発を維持する理由づけにならない。 2．20年後となる2030年であれば、代替エネルギーの技術的な成熟・普及の可能性が十分に考えられる。ひとつの代替エネルギーに依存するのではなく、多面的な発電システムをつくることで災害に強い電力供給システムを構築することもできるとも思われる。 3．産業や雇用の側面では、廃炉ビジネスだけでなく、代替エネルギーの普及によるものも見込むことができる。 4．2011年夏の国内原子力発電所の稼働状況や、2012年5月に全原発が停止したことを考慮すると、全ての原発が停止した状況であっても、真夏や真冬のピーク電力を賄うことが可能であると考えられる。
19543	個人	家事専業	30代	女性	基本は15シナリオ。ただし、日本海側のメタンハイドレードを早期に活用すれば0シナリオは可能である。	性急な反原発論には与しない。日本経済が極端に弱くなっては、被災地の復興どころか将来の日本がダメになる。南欧の危機を見て、貧困に苦しむアフリカ諸国姿を見て強く思った。 日本が自前の資源である「メタンハイドレード」について、本気で向き合うことができれば、ゼロシナリオであっても、経済に悪影響を与えるどころか、中東等に流出していた国富を国内に循環できる。 しかし、現在の政府・政治は、自前資源への可能性を避けているように思えるので、その場合は15シナリオで行くしかない。原発は40年をめどに全部廃炉にし、福島第1原発敷地に直接処分するしかない。核燃料サイクルは数十年かけても開発できなかった。これからの原子力は除染や放射能の無害化などの技術を高めてもらいたい。 新エネルギーについては、経産省も民主党も太陽光が好きのようだが、地産地消エネルギーとしては小水力発電を普及させるべき。この技術はすでにあり、あとは水利権等の規制を取っ払えばすぐにでも普及可能な発電である。
19544	個人	パート・アルバイ	40代	女性	原発は不要	人間が制御しきれないものを増やしたのが間違いだと思う。
19545	個人	その他	50代	女性	0%にしないといけない	これからほどんどん地震が増えていくと思います。 もう二度と福島のようになっては絶対いけませんので、絶対に原発は廃止すべきです。原発がなくとも十分　今の電気量でやっていけるのです。 原発が無くなったら　電機会社の人たちが儲けないから、今の日本は資本主義で会社が儲けることだけを考えて世の中を動かしています。原発を廃止しないと日本はもう人が住めなくなり、地球自体がもうだめになってしまいます。 絶対に0%にすべきです。
19546	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロにしてください。	いますぐゼロにすべき。2030年まで待てません。 エネルギー分野で世界の最先端をいく、それ以外に今の日本が他国と勝負できるものは何もないと思います。
19547	個人	会社員・公務員	30代	男性	2030年の原発比率は0%とすべきであり、原発の新設、再稼働は行わず、自然エネルギーに集中的に予算を投入すべき。	地震等の災害が起こりやすい日本においては、原発はリスクが高すぎる。よって、原発依存から脱却し、自然エネルギーによる発電を迅速かつ大規模に実施すべきである。なお、今後、エネルギー問題は世界中で深刻になると思われるため、高効率の自然エネルギーに集中的に予算を投入すべきである。 従って、中長期的な日本の国家戦略として、原発をやめて、自然エネルギーへのドラスティックな転換を図るべきである。
19548	個人	パート・アルバイト	20代	女性	原発ゼロシナリオを支持し、今すぐ原発ゼロにする	経済の低迷の心配があるようだが それよりも食料自給力を上げるべき。エネルギーも同じ。原発の被害のせいで土や水が犯されるなんて一番馬鹿げている。被害が大きすぎる。それに学ばずにまた原発推進するのも学習していないと世界からも判断される。これをターニングポイントに自立すべき。 日本には休耕田も沢山のこっており、若い力で地方の第一次産業を支えるべき。そのためには都市集中形の経済の仕組み、あるいはエネルギーの仕組みを変えるべき。 ローカルに循環して生きていく方法 地産地消等 生き方そもそもを考え直す時がきたと思う。 電気の需要が多い、工業製品や無駄も多い。 直ちに原発ゼロ支持は そうしないといつまでも終わらないだろうから。地方では沢山の人達が立ち上がり、動いています。生き方に選択肢をくださいますよう、エネルギー事業は国民が選べる仕組みにしてください。 人間のみならず全ての生命を一番大切に守るべきだと思います。原発は人間のしてい事以上の事です。過去から未来へ責任を持って生きるべきです。
19549	個人	自営業	40代	男性	脱・原子力エネルギー、および、代替エネルギーのイノベーションを推進せよ	放射性物質に直接関係がなくとも、原子力エネルギーをめぐる議論と、それを行なっている大人たち、決断の理由など、もっとも深く理解するのは未来を担う子供たちだろう。時間に追われ、過去の実績や現状にがんじがらめになり、新しさやわくわくする未来とは反対の、結論が見えているレールの上を走らされるであろう子供たち。私たちの世代で、どうにか流れも気分も変えなければ、失われた20年などと言われる自信喪失の時代の次に来るべき希望がない。大人を見て子供は育つのだから。まず大人が変われば よい。 ドイツの脱・原発の議論では、代替エネルギーのイノベーションが次世代にとってのアポロ計画と位置づけられている。そもそも今こそイノベーションが叫ばれるべきではないのだろうか。挑戦するべきではないのか。そのために思い切ったことをするべきではないのか。けっきょくこれまでとまったく変わらない日常を生きることになれば、政治が機能していない証拠になるが、気づいたときにはすでにキャッチアップできない ほど手遅れであるだろうという不安あるいは予感がしてならない。
19550	個人	その他	30代	女性	原発ゼロシナリオ	即時0%を希望します。 原発はいりません。 生きていくのに安全でないものだと思います。
19551	個人	無職	60代	女性	原発ゼロシナリオを選びます。 2030年を待たずに、今すぐに原発ゼロにして欲しい。勿論再処理工場の運転も高速増殖炉もんじゅの運転も停止です。	原発ゼロ。いますぐ原発ゼロです。 福島原発の事故を体験してしまってから核燃料サイクルは不安だらけになってしまいました。地震の多い日本で地震の度に核の被害が気になって仕方がありません。美しい国土がある日本に安心して住めるように、農業・漁業等々放射能汚染の心配をする必要がないようにしてほしい。 孫達の将来のためにも核廃棄物をこれ以上増やすことは出来ない。 省エネをすすめ、もっと再生可能な自然エネルギーを推進してください。 まずは命を大事にすることを優先してほしい。
19552	個人	会社員・公務員	40代	男性	「ゼロシナリオ」を支持する。2012年現在でも国内の原子力発電をゼロにしても総需要をまかなうことが可能である。稼働中の2基の即刻停止とともに、再生可能エネルギーの拡充、転換を進めることを求める。	東京電力福島第一原子力発電所の事故によって、原発からの撤退以外にとるべき道はないことが明らかになった。「エネルギー・環境に関する選択肢」では「ゼロ」、「15」、「20～25」の3つのシナリオを提示しているが、現在稼働中の2基以外にも新たな稼働を必要とする「15」、「20～25」のシナリオには、もはや国民の安全といった視点が全く感じられない。「ゼロシナリオ」を支持する。2012年現在でも国内の原子力発電をゼロにしても総需要をまかなうことが可能である。稼働中の2基の即刻停止とともに、再生可能エネルギーの拡充、転換を進めることを求める。
19553	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発のエネルギーの必要性について	3・11の原発事故が起こって、どれだけの犠牲がでたのでしょうか。そして、原発の再稼動を決定する方々は、現地にどのくらい行きましたか？ 遺体の匂い、臭然と立ち尽くす家族。 事故は起こってお終いではありません。農作物は放射能汚染で市場にで回ることもなく、食べて応援しよう！なんてタダも見かけますが、食べて応援ができるわけありません。未来ある子どもたちに深い傷を負わせ、その子どもたちを育てる親を悲しみのどん底に突き落とし、また年配の方々は希望も持てず只々、今を生きています。 東北の物を食べて応援してますか？ 現地で復興作業をしましたか？ 綺麗な作業服を着ている官僚がよくテレビにでますが、なぜそんなに服が綺麗なんでしょうか？ こういったことを起こさないためにも、別のエネルギーを考えるべきです。国民がいて、初めて国があるんです。人々の安全を守る、そして、情報を操作しないオープンでクリーンな判断を期待してます。原発0を目指してください。
19554	個人	会社員・公務員	40代	女性	2030年に原発0ではなく、原発は今後二度と再稼動させないでほしい。	地震が頻発している日本で、2030年までに東北のような地震がまた発生しないとも限りません。 2030年までに原発0などといった悠長なことは言ってられないのではないかと思います。 原発が動かなければ経済が衰退するかのような話をされる方が特に経済界の方からよく聞くように感じますが、原発以外にも電気を作れる手段は色々あるはずです。電気を作る唯一無二のものでもないのに、生命（地球）の存続を脅かす可能性の高い原発にこだわる必要がどこにあるのでしょうか。 政府は原発のような先の無いものの存続を問うといった後ろ向きな意見を募集するのではなく、今後の原発ではない新しいエネルギーを（経済復興も絡めて）どうやっていくかといった日本人が前向きになれるような意見の募集をおこなってほしいと思います。
19555	個人	その他	60代	男性	原子力発電所は即刻廃止すべきです。	もともと兵器として開発されたものであり、事故つづきで完全にコントロールもできず、使用後の処理法もまだ確立されてない。 長年に渡り生命体に危険を及ぼす核廃棄物を未来に託すことは全く倫理観のない極悪非道な行為です。 たかが電気のために多くの命を危険に晒したり、未来に脅威を残すべきではありません。 私は原発難民です。生産基盤、生活基盤を失い多額の負債を抱え途方に暮れています。 広島、長崎、第五福竜丸、東海村そして福島、たくさんの犠牲者を出しながら、 核にどんなメリットがあるというのか。 今すべき事は、即刻原発の廃炉作業を進め、未来への負担をできる限り軽くする事だと思う、それが良識ある日本人のすべき事。
19556	個人	会社員・公務員	40代	男性	「エネルギー・環境に関する選択肢」に対し、(1)ゼロシナリオを選択することを希望いたします。	「エネルギー・環境に関する選択肢」に対し、(1)ゼロシナリオを選択することを希望いたします。 私達日本人全体が、謙虚に私達の安全な生活環境について見直すために、原発依存度ゼロの環境を構築していく努力をすべき時であると感じるためです。ドイツには風力発電の推進によって原発不使用を実現した地域があり、日本においても不可能ではないと信じるためです。
19557	個人	会社員・公務員	30代	男性	(1)ゼロシナリオを選択します。 日本が地震国でありまた国土が狭いことから、将来的にも事故が発生する可能性があることが一番の理由です。また、放射性廃棄物の処分にコスト・時間がかかりそうなことも理由です。	私は、以前から原子力発電には反対でした。子どもの頃に、チェルノブイリ事故が発生しました事故の関連書類を読んだことから、その安全性に脅威を感じていました。ただし、事故の要因がソ連の社会体制にもあると考えておりました。一方で、大地震がしばしば発生する日本での原子力発電にも、その理由から不安を感じていました。 今回の福島での事故を受けて、個人的には今まさが幸運だっただけだったという見解を持つに至りました。思えば、日本で原子力発電が始まって以降、新潟での地震により柏崎刈羽で大きなトラブルが発生したことはありましたが、それ以外に原発近辺で大きな地震や大津波はそれほど起きていないように思われます。現に、阪神大震災や十勝沖・今までの三陸沖の地震の際に、原発について言及された記憶は個人的にはありません。 今回の事故の要因には、東京電力の津波対策不足（指摘があったにも関わらず）が大きな原因のようですが、それ以外にも地震でヒビが既に入っていたのではというような噂も見ました。いずれにせよ、日本の原発でも旧ソ連のように原発関連の組織・企業の体質にも大きな問題があるように思われます。東電以外の他の電力会社も同様の体質を持っているように思いました。 今回の原発事故で驚いたのは、関係者がその後進も大きな責任を取ったように思われない点です。従来の企業不祥事では、企業トップ・担当者が刑事処分がされたケースも多いのに、今回はそんな話も出てこないあたりから、業界の体質改善はさっぱりされていないように思います。保安院の関係者等も適切な責任を取っているように思われませんので、行政側のチェックが働かない状態も続くと思います。 以上のように、原発を運営する企業や監視する行政サイドにまったく信頼が置けないと上に、日本は世界的に見ても大地震が頻発する地域であり、津波も起きるのに海岸にばかり原発が立地しているという、地理的な悪条件があります。そもそも、原発はフランスや米・ロシアのうちで広くて地震が発生しない地域に適したものであって、大地震が起こる可能性がある地域には向いていないように思われます。現状の原発の安全基準も、この揺れの大きさ・津波の高さまでであればだろぶん大丈夫、といったレベルに思われます。たとえば今回と同規模の地震がおきた場合に何%の確率で原発にトラブルが発生するのかといった数値は発表すべきと思います。（もちろん0%といったインチキの数字ではなくすた。今回の地震は日本を遠く離れた場所での地震であり、直下型でかつ震源に近い場合といった都合の悪いデータも発表すべきと思います。その場合、50年に1度の事故の確率といった都合の悪い数値が出ると、私は怨像しています。 それに加え、放射性廃棄物の処理問題があります。もんじゅとかで大きなお金を無駄にしたようですが、結局、きちんとした処理方法に目処がついていないと認識しています。また、何万年単位で子孫が管理しなきゃいけないようですが、そのコストは大き過ぎるように思います。最低限、放射性廃棄物の処理方法が確実に安全な方法でコストに見合ったものとなるまで、原発を稼動させるという選択肢は無いと思います。 結論として、(1)原発を運営する企業・監視する行政に信頼が置けない(2)日本は大地震が起きる可能性が高すぎる、という理由から事故の脅威が拭い去れず、(3)放射性廃棄物の処理方法が確立されていない、という理由から原発で電力をまかなう、という選択肢は日本という国家を危機にさらしすぎであると思われますので、なるべく早い時期にゼロ原発に持っていくべき思います。
19558	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発は要りません。ゼロプラン以外考えられません。	電力需給の数値の信憑性が甚だ疑問です。 本当に正確な数字を持っているのでしょうか？ 原発依存のテイタラクではないでしょうか？ 役人にクリーンエネルギーへの熱意が全く感じられません。 断層調査問題についても然りです。 あんな事故が起きて、今後東海沖大地震も予測されている状況の中で、 ゼロプランでも危険を感じます。（本当にゼロになるまで）
19559	個人	自営業	60代	男性	原子力利用に安全は安全はない。科学技術の利用応用には止めたいときに確実に止まる技術開発ができてなければ大脳を待った技術であるといえる。このような観点から原子力は止める技術がないので完全に欠陥といえる。	原子力利用には安全神話ともいえる安全のアピールが行われるがそれはそれぞれの技術者が止められないことを十分に承知しておりその欠陥に気づいていらからそのことを外に知られないようにまた悟られないようにしてきた結果である。 原子炉は運転を止めても核分裂は止まってなく廃炉するにも大変なことになる。 火はいかに大規模な火災であっても消すことはできるし、新幹線は300kmの高速で走っても異常があれば即停止するシステムを持っている。 ブレーキのないり車は遠く走れない 原子力利用技術は原子爆弾から一歩も進歩していないではないか 格納容器の中で穏やかに爆発させているだけで長崎・広島の視点からなんの進歩もしていない。

19560	個人	会社員・公務員	20代	女性	原発ゼロシナリオを支持します。 省エネ、自然エネルギーを推進し持続可能な社会をつくることを強く求めます。	原発ゼロシナリオを支持します。 福島の原発事故で浮き彫りになったように、地震大国である日本で原発を稼働し続けることはリスクが大きすぎます。 また、脱原発を求める最大の理由は、原子力が人間の力ではコントロールできないものだと考えるからです。 寿命40年と言われる、今現在ある50基あまりもの原発は次々と廃炉となりますが、廃炉となった原子炉や発電所の解体には多大な時間や費用や労力、リスクが伴います。 低レベル放射性廃棄物、高レベル放射性廃棄物など使用済み核燃料が増え続ける一方で、その具体的な処理方法や処理場所は決まっていません。放射能が収まるまでの数十万年もの間、その管理を人間が行える保障がどこにあるのでしょうか。責任を取るのは今の政府ではありませんし、また、リスクを負うのもわたしたちの世代ではありません。原発を稼働する限り半永久的にわたしたちの子どもや その子どもの世代へと続いていきます。 その事実をあまりにも軽視しすぎてはいないでしょうか。 政府や東電の怠さんには、ご自身の任期が無事に終わりさえすれば良いという考えが少しでもないか、厳しく自分自身に問い詰めて欲しいのです。 国民の多くは原発に未来がないことに、原発を動かし続ける理由がほんの一部の利権のためでしかないことに気づいています。 省エネや節電への取り組みも盛んになり、一人一人の努力や意識の高さが形になっていると思います。 大きな転換期である今、日本の技術を活かし自然エネルギーや再生可能エネルギーにシフトするべきです。
19561	個人	家事専業	30代	女性	(1)原発ゼロシナリオを選択します。	(1)原発ゼロシナリオを選択します。 これ以上私たちを被ばくさせないで。 福島原発事故が起きて、さんざんな目にあったのに、原発を続けないで。 地震が起こるたびに原発の心配をしている。 もう、こんな思いはたくさん。 原発なんていらない。
19562	個人	自営業	30代	男性	原子力ゼロを希望します。	私は新婚でこれから子供を作ろうと考えてる34歳の男です。 僕の意見は今の日本の技術力をもってしてなら必ず将来的に原発依存から脱却出来ると思います。 今は未来へ向けて方向転換が出来る数少ない時期だと思っています。 海外からの目線は日本国内から思っているよりも厳しいです。 だからこそ対外的にも日本が環境問題に真剣に技術力で立ち向かう姿勢が必要なんです。 太陽光、風力、水力発電で日本の技術力は世界のトップクラスなのですから、 今後地熱発電の可能性さえあるのに何故ここで国の意思を切り替えられないのでしょうか？ ただ僕は今の大量消費国家の日本に対しては疑問も抱きます、しかし我々には清貧という選択肢もあるのではないでしょうか？　僕たちは目の前に物や電気があるから使うんです、原発だって今年の夏は再開せずにいたら必ず国民は生活必要電力を節電したでしょうし、法人もさらに努力せざる得なかったでしょう。 重要なのは我々が自発的に行動をしたのか？　それともそこに民主的な選択肢がなかったのか？ 僕は自分の意見を持って行動をしたいです。それが未来に繋がってゆくと信じています。
19563	法人・団体等	自営業	40代	男性	原発ゼロシナリオにすべきだと思います。ただ、火力発電に頼るのではなく再生エネルギーを増やし省エネを進めながら、30年後の地球環境を守る意識を国民全員が持ち、社会のシステムを変えていくべきだと思います。	今、私達に必要なことは、安全な生活と将来の地球環境を守ることです。原発は環境を汚染するリスクが高い上に、廃棄の問題は完全に将来、深刻な問題として残るエネルギーです。又、火力発電はCo2の排出や資源の枯渇に繋がる問題をかかえており、一刻も早く削減していかなければなりません。その為、再生エネルギーの開発は絶対に行わなければいけないもので、その開発や設備投資に関しては、最優先の国策として取り組み、日本の新しい経済の柱として位置づけるべきではないでしょうか？また、国民全員が電気をなるべく使わない意識を持つべきです。それには社会のシステムから改革を行い、私達の生活を変えていかなければいけません。国・地方自治体・経済界・国民が協力し合って、初めて実現できることですし、ただ目標を掲げるのではなく、努力をしなければ、なんの達成もありえないと思います。
19564	個人	自営業	50代	男性	使用済み核廃棄物に対する疑問	何よりも核のゴミの処理が確定してないのに原発をエネルギー源とするには、どんなに安全が確保されていようとも矛盾だらけで、将来の世代の事を無視してるとしか思えません。 原発を動かしたい理由がわかりません。日本は廃炉技術の世界一を目指すべきではないでしょうか。7
19565	個人	会社員・公務員	30代	男性	通常運転でも被曝者を生み出し、事故が起きたら手がつけられず、子々孫々に渡る末に核廃棄物という負の遺産を押し付け、まともにコスト計算するとメチャ高の原子力発電は、もういりません。速やかに0%にすべき。	同左。
19566	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発再稼働条件付き賛成	原発再稼働は、最終処分地が決定してからの稼働とするべし。 福島県内に放射性物質を30年中間貯場施設といって、最終処分を福島県外ということは信じられない。 本当に福島県外最終処分をするつもりなら処分場を決定してから福島県民全員に文章化して確約してもらいたい。 政府シナリオとして30年経過しても受け入れ先が見つからず、帰還困難地域だからと福島にそのまま置く気であろう。 絶対許さない。本気で取り組む気があるなら見つからなかった時は、使用地域である関東での受け入れか、現大臣である細野豪志の実家や現住まいに持っていくらいの気持ちを見せろ！ 法律を作るのは政治家の仕事！ 自分の都合のいいような法律だけ作るな！ 福島県民全員の声 核のゴミは使ったところで処分！ゴミは持ち帰ろう！
19567	個人	自営業	60代	男性	電気、水道、薬、自動車の文明生活は快適です。近代世界に住むためには原発もダイナマイトと同じく人の英知の産物です。日本の皆様の英知で原発をより改良し皆様方の幸せを築いて頂きたいです。	人である以上やはり人を信じ愛し合い共存を図って欲しいです。
19568	個人	家事専業	30代	女性	私は(1)ゼロシナリオを選択します。	「エネルギー・環境に関する選択肢」1シナリオを検証するに当たり踏まえるべき視点　(2)エネルギーの選択を行うに当たって重要となる4つの視点　1)原子力の安全確保、将来リスクの低減の中の記述にあるように、原発依存を続ける限り、将来世代へ処理に困るものを押し付ける事は量は減らせてもやめられないのです。 そんな八方な事は日本にしてほしくない。 戦後、何もないところから経済成長できた日本人です。 「できない。無理だ。」ではなく、知恵を絞って、自然エネルギー100%の社会を目指すこともできるのではないでしょうか。 私は(1)ゼロシナリオを選択します。
19569	個人	その他	40代	女性	原発はすべて止めてください。そして、止めた原発の管理は一企業には無理だと思うので、国で管理してください。	もう、日本だけの問題でもないし、世界の問題だと思います。今ある原子炉を全てどう管理していくのかということは。どうせ、100年もたないはずなので、遅かれ早かれこの負の遺産を抱えてどうにかしていかないといけなくなります。 それなら、少しでも核廃棄物が少ないようにしてあげないと。三世代後の人たちに今私たちが出来ることをしていかないといけないと思います。 どうか、よろしくお願いします。
19570	個人	家事専業	60代	女性	原発の依存度0シナリオを希望します。 また政府はそれに向けて頑張ってほしいと思います。	原発はその安全性が100%でなければならない。それはどんな 災害にも耐えられるという意味から100%にはならない。また 使用済みの核燃料の捨てる場所がないこと。何よりも大事な命を守るため、未来の子供たちのため考えてほしいと思います。原発の再稼働は絶対に反対です。前回の選挙では民主党に投票しましたが、今は失望と後悔でいっぱいです。
19571	個人	会社員・公務員	40代	女性	2030年の原発稼働率は0%をめざしてほしい。そのために必要な政策を可及的速やかに行わないと、この国に安心できる未来はこないと考えます。日本人の知恵と技術力と忍耐強さがあれば、可能だと信じます。	2030年の原発稼働率は0%を本気でめざしてほしい。本気で目指した結果なら結果0%でなくてもそれは容認できます。いずれ遠くない時に0%になるのだと確信できれば、自分の国の政府に失望せずに何とかやっていけると思うのです。「原発0」のために必要な政策を可及的速やかに行わないと、この国に安心できる未来は来ないと考えます。 本気で原発をやめる勇気を持つことで、代替エネルギーの開発や原発関連のお仕事をされていた方の雇用等を保障できる道も開けるでしょう。今まで推進に回していたお金をこちらに使えば、経済的な手だてのための お金もかなり出てくるはずです。「廃炉」だって5年や10年分のビジネスチャンスになるでしょう。 原発に変わる発電の「代替案」や、雇用についての「代替案」を提示なさっている方も、国のあちこちに出ているのですから(中には電力会社の株主になって発言している方さえいます。)そういう意見にもどんどん耳を傾けて欲しい。机上の空論でなく、実際に検討に値する提案が出ているのだから、政府も官僚も、それに謙虚に耳を傾けて欲しいと思います。 私たち日本人に必要なのはある程度の「電気」であって「原発」ではない。 遠くの誰かに辛い思いをさせるような電気なんて使いたくありません。 原発を誘致（？）した自治体に必要だったのは、本当は「雇用」「税収があがる産業」であって、それが「原発」由来である必要は別にないはずです。 日本人の知恵と技術力と忍耐強さがあれば、「原発0」の未来は可能だと信じます。研究を続ける必要は「廃炉」のためにも必要ですが、「商業原発」の限界を見据える勇気を、この国のリーダーたちには持って欲しいと思います。
19572	個人	家事専業	40代	女性	落ち着いて今の日本のエネルギー事情を考えれば、感情や、情緒的判断で1～3のシナリオの中で決めるのには無理がありすぎる。	全国的に計画停電などを日々危惧する状態が続いていると言うことは、現時点でのエネルギー供給量が不足しているということの表れであって、この状況で1～3のシナリオ全てにそもそも無理があると思います。 各、研究機関や大学が分析した試算結果などをよく考慮され、どれだけGDPが下がりこの国にどのようなことが起こるのかを、感情や、明らかに偏向したマスコミ報道を参考にするのではなく、長い目で見てよくよく検討していただきたいです。 再生エネルギーも考え通りに進むとは限らないのですから。 “多種多様な税金”や、マスコミも国民に殆ど伝えなかった控除の廃止などに 企業や家庭は疲弊している中、国防の上でも大切な、「エネルギー政策」まで間違えば、国としての力を失い、失業者はもっともっと増え、日本を支えてくれている大手企業はどんどん海外へ移らざる負えなくなるのではないでしょうか？ 今回のシナリオはどれも、震災前に制定されたエネルギー政策45%から大きく引き下げられてます。 「原発反対」に賛成しなければ人ではない様な、異常な空気や、左翼的なマスコミに惑わされず、感情で政策を間違わないでいただきたいです。 この国が正しい方向を見失わないことを信じています。
19573	個人	会社員・公務員	40代	女性	「エネルギー・環境に関する選択肢」として地震要因の多いの日本には原子力発電は不要。原発の早期全廃を求めます。	東日本大震災により地震の研究はまだ進んでおらず、その規模は想定範囲外になることのほうが多い、また東京電力福島第一原子力発電所の事故により状況により、命の危険を伴う、制御しきれない原子力の技術を利用することは間違っていると感じています。 日本の電力消費量には原子力発電がコストのかからない方法で、停止するにも莫大な費用がかかるとは思いますが、地震要因を多く抱えた日本にはふさわしくない技術だと判断したので、早期全廃を求めます。 事故が発生して以来、完全修復されていない原子力発電所に、修復させる技術と別クリーンエネルギーなど、以下のような技術開発を求めます。 1.原子力発電に頼らない 国民が電力消費量を抑える必要がありますが、最近の家電は技術がすすみ電力消費量が徐々に抑えられるようになっています。また別クリーンエネルギーに関しても技術が進めば、コストをかけずに発電量を増やすことも可能になるかと思います。 発電・電気に利用に関しては技術開発が必要になります。 2.電力会社の独占を廃止 また、一般家庭で利用できる電力会社が限られているようですが、利用できる電力会社を選択できるようになれば、自由競争させることでいくつかのクリーンエネルギーが同時進行で技術開発・精査されるのではないでしょうか。 3.自己発電の推進 病院など停電により命の危険性が高まる施設には、原因に限らず万が一の停電の際にも対応するために、自己発電の施設を早急に推進していただきたいです。
19574	個人	自営業	30代	男性	再稼働に賛成！	原発再稼働は、最終処分地が決定してからの稼働とするべし。 福島県内に放射性物質を30年中間貯場施設といって、最終処分を福島県外ということは信じられない。 本当に福島県外最終処分をするつもりなら処分場を決定してから福島県民全員に文章化して確約してもらいたい。 政府シナリオとして30年経過しても受け入れ先が見つからず、帰還困難地域だからと福島にそのまま置く気であろう。 絶対許さない。本気で取り組む気があるなら見つからなかった時は、使用地域である関東での受け入れか、現大臣である細野豪志の実家や現住まいに持っていくらいの気持ちを見せろ！ 法律を作るのは政治家の仕事！ 自分の都合のいいような法律だけ作るな！ 再稼働するなら(削除)とも再稼働しろ！ 福島県民全員の声 核のゴミは使ったところで処分！ゴミは持ち帰ろう！
19575	個人	その他	40代	女性	(1)ゼロシナリオを選択いたします	ゼロシナリオの中では「2030年までに…」とありますが、今年来年中のゼロを訴えます。 昨年の地震の時には「安全ではない」という事を、地震が教えてくれました。 地震は今後もなくなりません。 もっとたくさん起る可能性もあります。 もし、地震が起り何かあった時には、諸外国にも迷惑がかかります。 原子力発電所はもう必要ないのだと思います。 そして、それに変わる何かを早い段階で考える時期だと思います。 原子力発電所ない国の日本という事で、リーダーシップの国として世界に発信して進んで行く事がよいと思います。
19576	個人	その他	50代	男性	3月11日の福島原発事故で明らかになった原発の危険性から私たちの命を守るには、「ゼロシナリオ」しかありません。	3月11日の福島原発事故で明らかになった原発の危険性から私たちの命を守るには、「ゼロシナリオ」しかありません。 原発絶対反対です。あの事故以降、十数年後には福島の原発周辺の人はどうなるでしょう。私はおそらく生きています。どのような事実があきらかになるでしょう。今、エネルギーを変えないといつ変えるのですか！！この地震大国日本で原子力発電などやめてください。日本はもっと原子力には敏感にならないといけません。原子で、何人の日本人を殺すのですか。原爆です。昔あった日本沈没です。 別のエネルギーで日本をかえてください。生き遺らせてください！！ 馬鹿な考えはやめてください。日本人を天然記念物にしないでください。人までも絶滅危惧種にしないでください。若い人たちに希望のある未来を！ 民主党はやったという軌跡を残してください。

19577	個人	会社員・公務員	40代	女性	エネルギー・環境に関する選択肢	私はごく、ごく一般の国民です。科学に明るいわけでもありません。 でも、現在の日本におけるエネルギー政策については、不安があります。 現代の人間が生きていくためには、"絶対"といっていいほど電力が必要です。しかし、その一部でも原子力発電に頼るのでは本末転倒となるような気がします。ひとたび、原子力発電所に事故があった場合、何事も な事故を終息させることは現代の人間には無理だと思います。チェルノブイリや福島がある程度で終わったことは奇跡に近いと思います。"絶対に事故は起こらない"など、ありえないことだと思います。 日本には有能な科学者の方がたくさんおられます。大学の研究所など世界に誇れるほどの方達がおられます。ぜひ、その方達の研究成果を政府で取り上げ、新しく安全な、エネルギー開発を政府推進の元進めていってください。 大変有能な科学者の方達が日本で、世界のために、日本から、新しい安全なエネルギーを開発されることを切に願います。 そのためには政府に全面バックアップをしていただきたいと思います。 ちなみに私は一国民として原発使用は反対します。
19578	個人	会社員・公務員	30代	男性	日本は世界でも有数の地震大国。万が一にでも原発が被災した際のリスクは無限大である。よって脱原発を支持したい。	しかし雇用等無視できない問題もあるなかで新たな電力創設に際し政府に寄る雇用創出を期待する。その事で脱原発及び経済の発展が約束されるのではないだろうか。今の日本があるのはよい意味でも悪い意味でも原発のおかげである。だからして100パーセント反対したくはないが福島の現状を見るにつけ倍増するばかりである。 再生可能エネルギーでさえもうまくビジネスチャンスとからえ経済発展に結びつけられるよう国民挙げての脱原発を切に願う。
19579	個人	家事専業	50代	女性	7月21日に書き忘れたことを追加させてください、原発ゼロの選択肢を支持します。	7月21日に、すべての原発を可及的速やかに廃炉にしてください という意見を送信しました。 「ゼロにする」という選択肢を支持するという一番大事なことを書き忘れてしまいました。 申し訳ありませんが、ここに追記させていただきます。 ゼロシナリオ（2030年までに原発ゼロ）を支持します。
19580	個人	家事専業	60代	女性	ゼロシナリオを支持します。原発をゼロにし、再生可能エネルギーを中心としたエネルギー政策をとるべきと考えます。	原発は一度事故が起きると放射性物質がまき散らされ土地、食べ物を汚染します。事故が起こらなくても放射性物質は漏れ出ています。また燃料ウランは約20年で枯渇します。使用済み燃料はその処理方法も確立されておらず、何世代も未来の子どもたちにツケをのこすことになります。このような理由から、将来は原発に頼らず、風力、太陽光、地熱などの再生可能エネルギーにシフトすべきです。日本はその技術力はあるはずです。
19581	個人	会社員・公務員	50代	男性	地球温暖化対策のため原子力発電稼働は当面はやむを得ない選択と考える。	地球温暖化は進行しており、CO2排出をできるだけ抑えることが必要である。同時電力エネルギーの安定供給は企業の健全体質を維持するために欠かせないものである。そのために低コストでCO2排出の無い原子力発電の稼働は当面止む無しと考える。現在のような暮らしを全世界で行うことが本当に良いのか議論すべき点ではあるが、単純に原子力発電が危険だからと言って自分たちの生活を見直さないで単純に反対を言っていることに甚だ疑問を感じる。ツイッター やフェースブックを活用して原子力反対と言っている人たちは、その サーバが電力を使用していることを理解しているのでしょうか？単純に再生可能エネルギーを現在の火力発電所並みに利用できるまでにどれだけの課題があるか理解しているのか、デモに参加している人たちの言動に疑問を感じます。またマスコミも単純にデモの映像を放映して利益を得ているが、そのテレビ放映でも巨大な電力を利用していることを少しでも市民に話したことがあるのでしょうか？再生可能エネルギーが気軽に利用できるまでの当面の間はベストミックスでの電力供給が必要と思います。15%でも25%でも構いません。
19582	個人	その他	30代	男性	原発は絶対だめの観点から(1)ゼロシナリオを選択します。(1)の中での発電や提示にいろいろ疑問や問題点もあると感じるが、原発事故が起きると取り返しがつきません。今こそ原発ゼロの決断を。	原爆で唯一の被爆国の日本で、またしても被爆者をだしてしまった原発事故。 絶対安全はないです。その事を日本が世界に発信する役割をなぜ果たせないのかと怒りを感じます。 一旦事故が起きると、地域が、将来が、そして生活する人間や動物が危険にさらされる、そんな発電ではダメです。その事が今回の福島原発事故で明らかになりました（問題点は指摘されてきたが、多くの人がそんな事故が起こり得ないと思い込まされていた事自体にも問題があります。）。 それに、経済性を優先させる考えを貫り通き、地域住民や人間をどっぷりつけてしまうやり方にも問題があると感じています。大量消費や大量廃棄、24時間型の社会が全ではない。「昔のような生活にもどりたいのか」というような意見など電気や経済を優先する声をきいたりしますが、省エネや再生可能・自然エネルギーの潜在能力をかいし、原発がなくても地域での地産地消のエネルギーや経済に変えていくべきです。 科学的な知見で特に住民の生活に影響を出さない発電や研究も同時に求められていると思いますし、人類が共存できる発電やエネルギーが求められていると感じています。 今が原発ゼロの決断ときです。
19583	個人	家事専業	50代	女性	3つのシナリオからは ゼロシナリオを希望します。 それしかないと思います。	次世代に危険なものを残したくない。それが一番、正しいと思うのが、当たり前だと思います。 政府は色々なしがらみや考えがあると思いますが、普通の人の方が、感覚は鋭いです。 福島の人が犠牲になっているのを見ながら、それでも原発を進めるこの国には住みたくありません。外国も見ています。 おおい原発事故でひわ湖や山が汚れたら関西は死んでしまいます。 責任が誰になるのか、解りにくいのも困ります。 簡単に、責任を持つ、なんて言うな。絶対に許しません。 危険な原発を作るお金を再生エネルギーに回してください。 脱原発希望です。私の家はエアコンがありません。それなりに節電、エコに努力しています。このくらい言っても罰は当たりません。
19584	個人	パート・アルバイト	50代	女性	ゼロシナリオを選択します。一気に全廃できればいいですが、それが無理なら老朽化度や活断層の存在など危険度の高いものから廃炉にすべきです。	活断層やストレステストなど、原発の安全性（全て危険にかわりはありませんが）を検証する時になぜ電力会社にまかせるのですか。 政府や当事者以外の利害関係のない第三者が行うべきでしょう。明らかに活断層があると分かっていても、電力会社や保安院がその事実を素直に認めるとは到底思えません。子供だましのやり方で国民を愚弄するのはいい加減にやめて下さい。今の電力会社や政府に原発を管理する能力や倫理観はありません。放射性廃棄物をこれ以上増やすことも許されません。原発全廃ゼロシナリオを一日でも早く実現するべきです。
19585	個人	自営業	40代	男性	1）2030年の時点で原発を0%に 2）老朽化した火力発電を早急に最新型に更新 3）病院など へ早急にCGS・燃料電池の設置を支援 4）再生可能エネルギーの推進（国内産業育成と市場拡大支援策）	1)については、2030年は遅いとおもっている。全力で早期に脱原発を達成することを期待している。原発事故被害の大きさ、深刻さを直視すれば、いつ発生するとも限らない原発の過酷事故について、恐義に構えていることは犯罪的です。 2)大飯原発の再稼働の理由は深刻な電力不足であることを政府は繰り返し述べたが、電力会社は電力不足が原発再稼働の理由ではないことを明言していた。実際、7月25日になって、関西電力は「大飯の次は高浜原発再稼働を公言し始めている」。こうした電力会社の横暴を許すのは、政府のエネルギー政策が、引き続き原発利用からは脱することはないことを見越しているからです。 営利企業のおこなう事業によって、国民の生命や財産が危険にさらされることを許すのか、このまま続けてよいのか？が問われています。 「絶対に事故を起こさない」、ことを確約できる人間はおらず、であるならばその可能性を真剣にうけとめ、可能なかぎりその危険を国民から遠ざける義務が政府にはあります。その最良の策が脱原発です。逆に原発利用を1年も長く続けようとする判断は国民を軽んじ、ベンキを上塗りしただけの「安全神話」に踊っていると示すものです。断じて受け入れるこのどできない愚かな考えです。 再生可能エネの大規模な普及には、一定の年数を要するでしょう。脱原発の条件に再生エネの普及をつけることは非現実的です。当面の電力確保と、二酸化炭素排出量を極力抑えることを目的に火力発電所の設備更新を電力会社に義務付けることが必要です。電力会社が設備更新への努力をサボタージュすることのないように強制力をもった法的措置が求められます。 3)電力不足を理由に命が危険にさらされる自体は避けなければなりません。また、これを理由に原発の延命をはかる主張も通ればなりません。そこで、常に一定の電力確保が求められる病院や各種介護施設（在宅介護含む）などでは、蓄電池の準備が求められます。そうした用途向けの製品・技術開発を急ぐとともに、施設への普及をスケジュールを決めて取り組むべきです。 4)再生可能エネルギーの普及、最大の後押し材料は、政府が脱原発の新エネルギー方針を確立することです。逆に、この方針転換を避けたうえで、再生エネの普及の遅い・早いを指摘することは馬鹿げた、為にする議論と言わねばなりません。 新産業と呼べるのは向こう10年間ほどでしょう。日本が後追いではなく、世界の先端に躍り出ることが求められます。それでこそ、再生エネを新産業として育てる環境が整うものと考えます。 政府の方針転換が、ヒトもカネも技術も、再生エネ産業へ集まるものと信じます。 この待ったなしの、一方で絶好のチャンスを逃すことなく、その他の雑多な利権にまつわる抵抗はすべて排除し、怯むことなく脱原発と再生エネ拡大へのエネルギー方針の大転換を求めます。 それを実行させた政治家と官僚は、歴史に良い意味で名を残すことなるでしょう。
19586	個人	パート・アルバイト	30代	女性	日本は今、脱原発を絶対にやってのけなければならない、その理由とは。	日本に降りかかるさまざまな試練、これらは偶然にしろ必然にしろ全て世界に平和を訴えるメッセージになっている。広島、長崎、沖縄、福島。世界が注目していた。なのに何も変わらない？、日本国民の話を聞いてもらえない、誰に？世界に？？アメリカに？いいえ、この国の法律をつくっている人たちに。今日本が脱原発をやってのけなければ、もうこの国は尊敬には値しない小さな国となるでしょう。この先日本が世界に述べる平和への意見も、願いも説得力をもたず聞いてもらえないでしょう。今日本は平和を訴えながら、実は戦争をしていた時と同じように国民を犠牲にして大国と肩を並べる事にやっきになっているのではないですか？どうかお願いです。頭を冷やしてください。今日本が、国民と政府とがひとつになって、なんとしても守りきらなくてはならないのは、派手な経済活動ではなく、平和と、愛国心と、未来につながる希望です。日本人としての誇りです。日本人なら痛みに耐えても脱原発についていきます。やってください。日本が世界の平和の象徴として、日出国として、これから世界に誇れる国になれるよう、導いてください。今が革命の時、正真正銘の分かれ目です。この祈るような思い、総理大臣をはじめ一人でも多くの人に届きますように。届きますように。
19587	個人	会社員・公務員	50代	女性	地震国日本では、近い将来大規模な地震が想定されています。その中で原発の安全性を保つことは不可能でしょう。「ゼロシナリオ」の他に私たちの安全を確保する道はありません。	3.11以来、大地震を予想されるような情報が、多く出されています。私の勤務している場所には活断層が走っています。また、近くの工場では原発に関係のあるものを製造しています。 いずれにせよ、たくさんの不安を抱えて生活しています。もちろん福島では、毎日の生活や将来に不安を抱えている方がたくさんいます。 政府はエネルギー政策の転換に早急に着手すべきです。
19588	個人	自営業	60代	男性	原発は直ちに0%にすべきである。如何に嘘で塗り固めた安全神話によって推進されて来たか、福島の事故は全く収束していない。原因究明も端緒についただかり。誰も責任をとってない。被災者の援助が最大の課題だ。	最大の問題点は、放射性廃棄物の処理方法が全く確立されていないことだ。最終処分場も決められていない。原発を稼働すればするほど、核のゴミが増え続ける。子孫にどんどん負担を押し付けることになる。無責任極まる、反倫理的な発電方式である。コストにしても、福島事故収束と賠償に幾らかかるのか。それは途方もない額であろう。すべて国民の税金と電気料金から支払われるのだ。推進派はほとんど何の損罪もなく、責任も取ることなく、同様の悪見を言い続ける。関電社長はもう、美浜の再稼働を言い出している。廃炉の費用すら明らかにされない。穴ぐ所村で再処理の見通しもたたない。海水の温度を高度に高めるという問題もあり、環境に負荷をかける危険に満ちている。再度、福島級の事故が起こったら、日本は壊滅だ。この危機感を何故政治家や役人がもってないのかが不思議でならない。大飯に活断層がある可能性はきちんと調査もされていない。座断れの危険も指摘されている。大飯も直ちに止めるべきである。規制委員会の委員も推進派から選ばれており、全く納得がいかない。今まで、科学的な根拠に基づき、反対していた人間が規制すべきであり、そういう人を選ぶべきではないか。再稼働は非常識きわまる。このままの流れで行くと、選挙で原発推進を掲げる党は、壊滅するであろう。
19589	個人	無職	50代	女性	2030年を待たず直ちに原発0を。再処理、高速増殖炉からも即刻撤退を。電力業界、経産省の無能力、無責任、不道徳が世界の笑い物になっている。私達の無二の祖国、地球を壊さないで。使用済燃料どうするの？	2030年を待たず直ちに原発0を。再処理、高速増殖炉からも即刻撤退を。電力業界、経産省の無能力、無責任、不道徳が世界の嘲笑の的になっている。私達の無二の祖国、地球を壊さないで。使用済燃料どうするの？ 電力不足などというキャンペーンが全くいんちきだったことは、先ほどの関西電力社長の会見ではっきりしました。もういい加減にしてください。
19590	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロシナリオを強く希望します。 2030年といわず、できる限り早く、原発ゼロへ。	物心ついたときには、原発がありました。 原発のある生活が、普通だと思っていました。 日本の技術で、ずっと安全に暮らしていけるものだと思っていました。 しかし、福島の事故の後、そうではなかったことを知りました。 事故を防ぐことができなかった、 それは起こってしまった以上もう戻すことはできません。 ですが、今回の事故を受けて新たな事故を防ぐための 新たな防止策が取れているわけでもなく、 また事故が起こらずとも、数十年後には廃炉にしなければならない、 しかもそれには多くの時間がかかるし、費用もかかる、 だから、老朽化したものを当初の使用期間を延長して使っている。 もしかしたら、私たちは私たちの技術を過信しているのではないでしょうか。 原発を立て始めた当初は、 廃炉にする頃にはあっという間に廃炉にする技術ができると 思っていたかもしれません。 ですが、21世紀になって10年以上経った今でも そんな素敵な廃炉システムはできていないし、 なにより事故を防ぐことができない。 車も事故を防げないがみんな乗っている、というような意見もありますが、 影響力が違いすぎます。 私たちの長い将来にわたる未来に影響を及ぼす（実際及ぼし始めています！） 事故が起こる可能性、 しかも、地震大国である日本、地震活発期に入ったこの地球で、 このような危険を自ら持ち続けている必要がありません。 原発ゼロシナリオを強く希望します。 2030年と言わず、できる限り早く、原発ゼロへ。
19591	個人	会社員・公務員	40代	男性	どんなに遅くとも2030年には原発はゼロにすべきである。	福島第一原発は事故の収束宣言がなされたものの、放射線物質を原子炉内に封じ込めることが出来ず、未だに環境中に放射線物質が垂れ流されている。また、使用済み核燃料の処分、保管法も確立されていない。原子炉は、核反応により発電することだけが目的であるものの、核突封に込めも廃棄物の処理は出来ない。きわめて未熟な技術である。原子力発電は廃棄物の処理まで含めた技術が確立された後に実用化されるべきであり、それまでは行うべきでない。また、原子力発電の存続には被曝作業員を必要とし、電気を作るために被曝を余儀なくされる人間を生み出している。これは、社会あるいは電力会社の利益のために、ある特定の人々が健康を犠牲にする必要があることを意味し、差別そのものに他ならない。社会全体のために原子力発電が必要だということであれば、裁判員制度と同じく、被曝作業員も抽選で選ぶべきである。電力会社の利益のために国民の健康を害するとは本末転倒も甚だしい。
19592	個人	会社員・公務員	30代	男性	想定されている経済成長率は楽観的で、円高の継続や電力料金の上昇等による影響を十分に考慮したものではない。各シナリオにおいて、国内の産業がどのような影響を受けるのかをはっきり示すことが必要である。	シナリオの中で、わが国の実質経済成長率を2010年代は1.1%、2020年代は0.8%と想定していることについて、過去20年間の実質経済成長率が平均で0.8%であることに加えて、輸入化石燃料の高騰、超円高の継続等の影響によって、これまで以上に経済に悪影響を及ぼしていく可能性が考えると、この想定はあまりに楽観的すぎると思われる。さらに、今後行われることになる再生可能エネルギーの導入促進による電力料金の上昇は、家庭のみならず、電力多消費産業の業績に対しても大きな影響を及ぼすと考えられ、これにより生活必需品への価格転嫁、国内の雇用低迷等を加速させることが予想される。したがって、国民が本シナリオを基に正しい選択を行うためには、想定される経済状況をより厳しく判断し、それぞれのシナリオにおける国内の産業・雇用・物価に対してどの程の影響を及ぼすのかも、はっきりと示す必要と考えられる。これは原発依存度をどうするかだけで決められる問題ではなく、国内産業空洞化の抑制策やCO2削減とも併せた議論を行って決められるべきものと考える。
19593	個人	家事専業	20代	女性	原発ゼロ。 私達と地球の未来のために、原発ゼロにして、持続可能なエネルギーを地域ごとに作っていける仕組みにしてほしいです。	原発ゼロを支持します。 電気が足りない、経済が発展しないなどという問題ではないと思います。 これ以上、自然を傷つけている場合ではなく、これからは、どうすれば自然と共存し幸せに暮らせるか、考えなくてはいけません。 福島の事故の後片付けも出来ずに、原発廃棄物の処理問題も解決していないのに、原発を動かしていくなんて、やめて下さい。 持続可能なエネルギーに切り替えて下さい。もちろん私達国民も、生活スタイルを見直していかないといけません。 メガソーラーや大規模な風力、水力発電は、やはり自然にダメージが大きいそうです。 地域ごとに小規模な発電ができるような仕組みにしていただけたら嬉しいです。 日本は、福島の事故で、世界中の人々、生き物たちに申し訳ないことをしました。せめて、ここから学び、世界のいいモデルとなる国にしていきたいです。 どうぞよろしくお願いします。
19594	個人	会社員・公務員	40代	男性	「原発ゼロシナリオ」を強く望みます。子供たちが健康に生きていける郷土を守ることはこの国の未来のために絶対に必要なことです。限られた国土を激しく毀損するリスクを持った原発は国の破滅につながりかねない	私は「原発ゼロシナリオ」を強く望みます。 危険な核物質を利用して まで発電する必要が本当にあるのでしょうか。福島第一の事故のため、すでに日本は広範囲に汚染しています。健康で文化的な生活を根底から脅かす放射能汚染。 その原因をつくった原発が、日本中で再稼働することに全く賛成できません。日本は少子高齢化が懸念されている国です。子供たちが健康に生きていける郷土を守ることは、この国の未来のために絶対に必要なことです。限られた国土を激しく毀損するリスクを持った原発を、地震国であるこの国にこれ以上存続させることは、国の破滅につながりかねない危険だと考えます。電力は、火力を中心に損えながらエネルギーシフトしていくことが可能だと思います。人類と共存できない核に電力を依存する必要などない。経済と天秤にかける問題ではないと考えます。日本から原発はゼロにしましょう。
19595	個人	学生	10代以下	女性	原発0希望	今すぐ、止めて下さい。
19596	個人	パート・アルバイト	30代	女性	電子力発電、0%にしてください。	福島第一原発の事故の保障もなにも終わっていない。いまだ自宅に帰れない国民がいる中で、大飯の再稼動はおかしかったし、経済より人の命が最優先ではないでしょうか。 政府の対応、電力会社の対応に不信感を抱かざるを得ません。福島の子供たちに積算線量計をもたせたい。おかしいと思います。
19597	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオを指示します！！	３．１１の原発事故を経験したにも関わらず、まだ原発を捨てられないのでしょうか。１００％安全が保証されていないのに、再稼働してしまったことに本当に憤りを感じています。脱原発社会に向けて、踏み出すことが二度も原子力の被害を受けた我々日本人の道であり、亡くなった方に対する姿であると考えます。
19598	個人	学生	10代以下	女性	原発0でお願いします。	毒を生みだす原発は、今すぐ止めて。

19599	個人	自営業	40代	男性	エネルギー・環境会議が提示している3択は、2030年の原発依存度を0、15、20～25%の選択ですが私の意思は原発依存度を0度%にすべきです。	原発依存を0度%にすべき理由は福島の事故でわかるように日本の原発の脆弱性が露呈しています。地震、津波等の天災によるところ人災による可能性やましてや他の国からテロ等による原発の爆破ミサイルによる攻撃等によって放射能がばらまかれる可能性等ある程度ずぶのドシローとが考えてもプロトニュームのリスクに対し現在の科学力において取扱困難なものであるため一度、放射能が散らばった土地はそこに住むことができなくなります。日本人が日本に住めなくなるような自体になるのだけはやめるべきである。
19600	個人	会社員・公務員	30代	男性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します。	原子力発電の推進は安全が大前提のはずですが、福島原発の事故により、その原子力発電が安全でないことは明らかになりました。 即時、すべての原発を廃炉にし、原発ゼロ社会を希望します。
19601	個人	その他	40代	女性	原発のエネルギーは 0パーセントで! 原発のエネルギーはいりません！	放射能まみれの福島県郡山市在住です。 普通の生活を返してください。 事故以前の普通の生活を返して。 原発はいらない。 即、廃炉に！
19602	個人	会社員・公務員	30代	男性	エネルギー源は安定供給、経済性、低環境負荷の観点から、選択されるべきであると考える。3つのシナリオからひとつを選択するとすれば、原子力20～25%のシナリオを選択すべきと考える。	エネルギー源は安定供給、経済性、低環境負荷といった総合的な観点から、選択されるべきであると考える。 原子力ゼロシナリオは、再性可能エネルギーへ過度に期待し、化石燃料への依存が依然として大きいシナリオとなっている。このシナリオは、3つのシナリオの中で経済的負担が最も大きい。 現に昨今の原子力発電所の停止に伴う化石燃料の輸入増加により、貿易赤字が膨大となっている。大きな財政赤字を背負う日本がこれ以上経済的な負担を負う余裕はない。燃料費が発電コストの大半を占める火力発電と異なり、原子力発電のコストの多くは建設段階のコストであり、燃料費の割合は低いことから、少なくとも安全性が確認された既存の原子力発電所はできるだけ使うべきと考える。再性可能エネルギーは気象条件に、化石燃料は中東等の国際情勢に左右されることから、安定供給の観点で問題である。環境負荷の観点からも、温室効果ガスの増加や大気汚染の原因となる化石燃料は言うに及ばず、クリーンとされる再生可能エネルギーであっても、膨大な数の太陽光発電パネルの住宅への設置を進めれば、多くの住宅で耐震性の低下、台風等による太陽光パネルの飛散といった住人の生命に対するリスクが生じることが考えられる。風力発電についても、騒音や地震や風水害による倒壊のリスクがあり、その数が増えれば環境負荷は顕著となると考えられる。原子力のリスクのみが強調される昨今であるが、火力発電のリスクを無視し、再生可能エネルギーに全く環境負荷がないと考えるのは間違いである。また、再生可能エネルギー推進のための固定価格買取制度は、太陽光発電パネル等を設置できる余裕のある人が、そのような余裕のない人に負担を強いて、貧の悪い電力を高価で流通させる不公平な行為であると思う。現段階の再生可能エネルギーの実力では、余裕のある人が自主的に行うことに留めるべきであり、機械に高価な買取価格は改めるべきと考える。 現在、原子力を減らすことによる国民の負担増、および、原子力以外のリスクはマスコミではあまり語られておらず、それどころか、「原子力をあれもれば゜ゼロリスクがタダで手に入る」との印象を持たせる報道も見られ、多くの国民が必ずしも、この負担増を許容しているとは思えない。 個人的な意見として、安価で安定した日本の自主エネルギー源として、原子力は相当量を維持すべきと考える。大気汚染により多くの方の健康が害された公害の町に生まれ、更に、風水害により被害を受けた経験を持つものとして、原子力のリスクは、大気汚染や風水害等のリスクと比べ、決して高いとは言えないと考える。原子力発電所に対してハード、ソフトの両面から、事故の反省に基づいた適切な対策を講じること、科学的に正確な情報を国民に開知し、基準を適正化することにより、原子力に対するリスク、国民の不安は低減できると考える。今後とも安定供給、経済性、低環境負荷のエネルギー源として、原子力を維持し、将来的には、国民の信頼を回復し、再び推進して行くべきと考える。 これからの日本に、大きな経済的な損失を与えてまで、実現性に乏しく、不安定なエネルギー構成を選択する余裕はないと考える。電気料金の高騰、電力供給の不安定化により、その影響を強く受けるのは社会的弱者であり、将来の世代である。マスコミが偏る無責任な空気に迎合することなく、将来を見据えた責任あるご判断をお願いしたい。
19603	個人	家事専業	40代	女性	(1)ゼロシナリオを選択。 どうしても、この3つからの選択ならば(1)になります。	ゼロシナリオでは「2030年までに」と書かれていますが、日本の多くの地盤学者の共通見解は、巨大地震のサイクルに入ったと言ってます。 再稼動中の大飯原発もそうですが、再調査も行われず、確実な安全対策もとられないままです。原子力発電には「絶対の安全」は、ありません。ひとたび事故を起せば、日本の国土を失い、人の命、未来をも失います。 政府は自然エネルギー比率を増やすスケジュールを国民にしっかり示してください。 政府は経済再生と経済復興というけれど、毎年、再生可能エネルギー比率が増えていくことが国民の活力を生み出す。放射能の危険から開放されれば、日本は飛躍的に成長します。 「2030年にゼロ」ではなく、「即刻ゼロ」を訴えます。
19604	個人	会社員・公務員	40代	男性	2030年までに「ゼロ」といわず、いまから原発ゼロを目指して動くべき。	・活断層やプレートによる地震・津波の影響をうけやすい地理的環境に設置されている現在の原発、それに対しての立地調査の甘さ ・実際に事故が起こった際、避難救助対策が全く浸透していない運営体制 ・安全対策のなさ（建造物の耐震基準、電源補給ルールの不整備など） ・事故調査の不透明感 など本気で原発を運営することに対する覚悟のなさが露呈した現状では、どうやっても原子力発電を中心にエネルギーを解決するシナリオは説得力がありません。 どれかひとつが不十分、というならまだしも全てがおざなりという状況、そしてなにかあったときには人類に致命的なダメージを与えるリスクに対して、いち首相、いち政党が責任を取れるとはとうてい思えません。 人間の手に余る技術に今後も膨大な予算をかけて押さえ込むよりも、より安全で恒久的に利用できるエネルギーの開拓に目を向けるべきです。 民間のうちかりつつ、きっと方法はあるはずです。 ぜひ未来のために、みなの納得する方向を作り出してください。 よろしくお願いします！
19605	個人	自営業	30代	男性	原発依存度ゼロパーセントの要望	将来的にはやい段階で、原発をゼロパーセントにしていただきたい。一に、危険性のため。（それがないのならば、かつて住居があり現在立ち入り禁止区域があるはずがありません） ドイツなどがそれをするということは、それだけ、自然エネルギー発電のための技術が発達し、日本ではそれが後発になることを意味する。これは、得策ではない。日本には、ものづくりの精神と技術がある。それを政治が見すごしてはならない。 現在の原発による財政依存の市町村には、自然エネルギー発電施設を代わりにつくり、また関連企業を誘致し、雇用を保持してゆけばよいと思われる。 核の保有による軍事利用の可能性については、それが得策であるならば、発電とわり切って国民に説明をし、かつ国民全体の意見を真にきき、判断してもらいたい。 国民の今の健康と、将来のストレスの少なくのびのびとした社会のことを考えてもらいたい。秘密にすることで、付加価値を持たせることだけは、やめていただきたい。
19606	個人	会社員・公務員	20代	女性	原子力発電からはできるだけ早く撤退する。将来的には原発ゼロを目指してエネルギー政策の舵をきるべきだと思う。	(1)事故が起きた時のリスクが大きすぎる。福島原発周辺では人が生活できなくなり、復興の目途も立たず、人々に与える被害・影響がありすぎる。 (2)放射線廃棄物が発生する。処理方法も長期にわたって安定的に管理する必要があり、その管理費用がどこくらいになるのか、はっきりしていない。正式な処理方法が決まっておらず、一時保管場所にたまり続けている。これ以上処理できないゴミを増やし続けてどうするのかとても疑問。 (3)原子力発電所で働く作業員への放射線被曝がある。制限はあるが、放射線をできるだけ浴びない方が健康にいいのは明確。憲法では国民が健康的に文化的な生活をおくることを保障しているのに、健康に良くないであろう放射線をあびなければならないながいることに納得がいかない。 また、放射線被曝量の制限があり、一人の人が作業に携われる時間が制限される中で、十分に技術が継承されていけるのか、技術的な面でも不安を覚える。
19607	個人	家事専業	50代	女性	原子力発電について、原子力発電は即刻ゼロにすべきである。	福島第一原子力発電の事故は、まだ、収束も、冷温停止もしていません。 被ばく作業労働者も、今でさへ足りないと言われています。 そんな中、再稼動があってはいけないことです。 原子力事業からは、日本は撤退すべき！ それができないということは、福島県民を愚弄することだという事を知るべきです。 現在、原発が無くても、電気は足りています。 一たび原発事故が起きれば、廃炉までの、時間、お金、そして被ばく作業労働者が今まで以上に、被ばくを強要されること、人員が要ること、時間がかかること、お金がかかること、をどう考えているのか！ このことから、原子力の電気は廃炉、そして管理していくことに、一番コストがかかる事がわかった。真実を国民に伝えるべきです。 原発は即時稼動をストップし、廃炉政策へ転換すべき！ 即時ゼロ！
19608	個人	会社員・公務員	30代	男性	賛成 原発ゼロシナリオ 原子力「0%」再生可能エネルギー「35%」	子どもといて思います。 現在以上に、原発、廃炉の負の遺産を未来の人たちに残したくないです。
19609	個人	家事専業	50代	女性	日本のエネルギー政策において、原子力発電から脱却し、全国の原発は一日も早く停止した方が良いと思っています そして、自然エネルギーを最大限に利用する政策を直ちに実行してもらいたいです	地震大国である日本にひとたび大事故が起これば、全く人手に負えない原発が50基もあることが信じられません 放射能の拡散という恐怖を昨年の東日本大震災でまざまざと感じました そして原発が稼働する限り生み出される放射性廃棄物、処分方法も場所も解決せぬまま、なぜ原子力政策に依存するのか訳がわかりません 自然界に存在しない危険な核の廃棄物を将来に遺していいはずがありません 原発0%でもやり方次第で日本は大丈夫です 自然再生エネルギー政策に本腰を入れて取り組んで下さい その政策実効遅延期間に、生活に多少不便が生じるとしても甘んじて受け入れる国民はたくさんいると思います
19610	個人	自営業	60代	女性	確認させて頂きたいのは、国民から意見を募集しながら、本当は、まったく読まないで削除してしまっているのでは？昨年の3・11以降の政府の対応から、そんな不安を持たざるを得ません。本当は、どう？	原子力発電には、反対です。直ちに廃棄してほしいと思っています。福島で何の進展もみられないのですよ。 「安全性」を謳が、どのように、確かに保障してくれるのですか。絶対に安全性を保障出来るという人は、手を上げてみてください。お顔を拝見してみたいです。 もっと、地球に優しいエネルギーを創造していきましょう。 太陽熱発電、太陽光発電、波動発電・・ 日本は、技術力充分。政府のバックアップがあれば、 すぐに世界一位になれると思います。 核兵器が欲しいから、原発をよめられないんだと皆さん、おしゃっています。「絶対、核兵器を持たない」が国民皆さんのお約束なのではないですか・・・違いますか。
19611	個人	家事専業	30代	女性	脱原発（0%）を希望します。	私たちは皆それぞれの立場や思いがあって生活をしています。私だって生きているから電気を使っています。でも、原発はもうやめてほしい、阪神淡路大震災の時、「こんな大きなビル建てなきゃいいのに」と思っていました。時は経ち、東日本大震災ではさらに多くの人が犠牲になりました。命を奪われなくても「生活」を奪われた人もたくさんいます。地球が発しているメッセージを無視した結果だと感じています。変革の発端は子どもたちであってほしいことだけれど、今の日本はおかしい、そう思っている人がたくさんいるからデモに参加する人も多いし、パブコメを寄せる人も多いのだと思います。今回の再稼働も、なし崩し的に行われ、とても情けなく思っています。「自分さえよければいい」という意識の低さだから、いろんなことがうまくいかない。もっとしっかり話し合うべき。誰かの不幸の上に成り立っている幸せはまやかしであり、いつか足元をすくわれます。電気は本当にたりませんか？寒すぎるほど冷房をきかせている場所、いくらでもありますよ。宇宙から見ても日本の形がわかるほど明るいんですよ。まだまだ余裕があるとしか思えません。電気は私たちの命を懸けるほどのものです。地球は私たちの「もの」ではなく借り物です。こんな図々しい生き物が他にいますか。この先は座なのにどんどんそちらへ進もうとする指導者たちの意図しているものは何ですか。日本も方向転換の時期です。一時しのぎではなく、長い目で考えてください。よろしくお願いします。
19612	個人	パート・アルバイト	40代	女性	「ゼロシナリオ」を支持するが温室効果ガス削減の取り組みが不十分	福島の事故が原発の危険性を実証している、原発はゼロにすべき。 自然エネルギーを地産地消出来るシステムを構築すべき。
19613	個人	その他	30代	男性	エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見。 日本はその気になれば、自然エネルギー（バイオマス、風力、地熱）などのリーダーになれる。明日からにも、エネルギーを自然にシフトして欲しいと思います。	エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見。 日本はその気になれば、自然エネルギー（バイオマス、風力、地熱）などのリーダーになれる。明日からにも、エネルギーを自然にシフトて欲しいと思います。
19614	個人	自営業	40代	女性	日本におけるエネルギーの原発比率を2030年を待たず!早急にゼロを目指していただきたい。電気より命を大切にしたい。核廃棄物の問題が解決しない限り、人類と原子力（核）の共存は不可能です。	私の故郷は福島県いわき市です。家族は長い間農業をして里山に暮らしておりました。あの2011年3月11日の東京電力福島第一原発事故でその生活が一変しました。故郷で作った農作物を子どもには食べさせません。家族内の意見の相違で家族解体 も見えるときがあります。と之次に触れて生きてきた者ほど辛い目にあっています。福島の農家が代替地を求めて移住せてもらうことができるかどうか等まだ考えていただかなければならぬ点がたくさんあると思います。1986年の チェルノブイリ原発事故の後にソ連がもみ消した。たくさんの放射能被害を国際的には認められていなくても、現在のネット社会では我々一生活者の知るところとなります。それでもソ連は事故後に強制避難をさせました。私の国、日本はそれにも劣る最悪の判断で福島の人々を被曝させたのです。このような国に原子力発電を制御することなどできないと思います。「安全神話」は壊れました。 原子力発電自体の片付かない問題、核廃棄物のこと、ウラン採掘時の被曝のこと、人類に及ぼす悪影響は金銭の流れも混ざって計り知れないものになっています。経済界がエネルギーを支配しているためだと考えます。経済発展と命を守ることを比べさせることを国民に突き付けるのも極悪な行為です。命は電気とは比べ物になりません。生活スタイルを変えても原子力発電に頼らない今、そして未来を欲します。原子力に頼る国には住みたくありません。
19615	個人	パート・アルバイト	50代	女性	代替エネルギーに切り替えるべき時	311の際のように一旦暴走すると止められぬ、人間がコントロールでき ない原発は扱うべきではないと思います。便利さや経済性を優先させるこれまでのやり方は責任ある人間のすることではありません。放射能の問題は日本のみならず世界中に影響を与えます。代替エネルギーを提唱する人々はたくさんいます。その中でも実現可能なものがいくつかあります。が、電気＝原発、電気使いたくない人＝悪、原発廃止＝電気使うな、という二者択一しかないかのように、ほとんどの人は思い込まされています。平和の象徴日本国よ、本気で代替エネルギーの開発をしてください。原発をもう過去のものにしてください。完全に安全でクリーン、低コストのエネルギーを国民は本気で求めています。311を単なる偶然の災害・事故で終わらせぬよう、もっとも地よい国、世界のお手本となる国にしていってほしいと思います。本気で取り組んでください。原発稼働を続けることは、北朝鮮の核問題と同じことなのだと気づいてください。
19616	個人	会社員・公務員	30代	女性	原子力発電依存度0%を支持します。	唯一の被爆国である日本が、取り返しのつかない原発事故を起こしたことを知り、はや一年半が過ぎました。 インターネットではテレビで流れない情報がどんどん流れ、私はそれで、人類は原子力発電というものから脱却するべきではないかと思いました。 私は無学な人間ですが、目に見えない危険物質を絶対安全に制御しつづけることなど、できるはずがないと思います。 そして、命を脅かす危険な放射性物質から日本、いや、地球上のどこからもほぼ逃れようがない、という現実のなかに生きているように感じます。 その現実と、これまで頑ならいやいや原子力＝クリーン、エネルギー＝とうたイメージ」にふろうと頑き続けてきた自分が、どれだけ愚かしかろうとも、原子力発電から脱却した、希望的な世界のさきがけに、日本がなれたらどれだけよいだろうと思わずにはいられません。 それで私は、原発依存度0%を支持します。
19617	個人	会社員・公務員	40代	男性	20-25シナリオが現行では現実的なシナリオだと思う。ただし、新エネルギー政策に関して、規制や補助などではなく、国家戦略的な技術開発を視野に入れなければ、このシナリオでも不可能であると思う。	先ずは国民の安定した生活を前提にシナリオを検討して欲しい。規制による電力確保では工場の生産活動などに影響が出て、国力が下がってしまう。政府がなすべきことは国民の生活レベルを維持しながら、どう、電力政策に取り組むべきであるかを考えるべき。シナリオ自体も、規制や、普及を目的としたものが多いが、技術レベルを加速的にあげる政策のほうが重要ではないかと思う。現在の技術のものを普及させても、普及した先では省エネ対象となるかもしれないが、製造過程で、莫大なエネルギーを使って生産されているものも少なくないはず。また、製品のエネルギー変換効率も一昔前のものに比べれば飛躍的に進歩しているかもしれないが、まだまだ、低い。現在を凌駕する技術的な進歩（革新）があれば、政府の援助などによる普及政策がなくても国民に浸透されると考える。仮に新しい技術が確立されれば、計画（シナリオ）の前倒しも可能である。
19618	個人	会社員・公務員	30代	男性	これからの日本の将来を考慮すると、原子力依存度はゼロシナリオを選択することが適切だと思われます。これに対する理由は二つあります。	まず、一つめの理由として、これから近い将来、原子力発電も火力発電と同じように燃料の高い電力となるからです。現在の発電構成における問題として、安価な電力を供給するために原料の高い火力発電の割合を減らす必要がありますが、原子力が安価な電力となるには原料のウラン価格が今後も変動しないことが前提です。しかし、エネルギー資源の可採年数について、ウランは100年、天然ガスは63年、石油は46年とほぼ全ての資源について1世紀に満たない状態です。[東京電力サステナビリティレポート]より 二つ目の理由として、放射性廃棄物の問題です。原子力発電を行えば、今現在の電力価格は安価となりますが、次の世代に放射性廃棄物の処理を押し付けてしまいます。これから先、高齢者社会を支える世代にさらに放射性廃棄物の処理を押し付ける状態となります。しかも、未だに処理方法も確立されていません。これでは日本の将来は絶望的です。 ゼロシナリオを選択することで日本の経済が大きく後退する可能性が高くなります。しかし、上記の理由を鑑みると再生可能エネルギーの導入・拡大は将来の日本にとって必要不可欠な選択ではないのでしょうか。
19619	個人	家事専業	50代	女性	ゼロシナリオを支持。地震国日本に原発は必要ありません。使用済み核燃料処理技術もなく危険な物が増えています。子々孫々に負の遺産を残さない事が大人の責任です。今こそ再生可能エネルギーにシフトすべきです。	３．１１事故以降、多くの国民が原発に対して大きな不安・不信を抱いています。福島第一原発の事故原因もはっきりしていないのに、再稼動に前のめりになっている電力会社・政府の姿勢は、「国民の生活を守る」とは真逆でありますせんか。地震の多い日本の別の原発で福島と同じような事故が起きたら、日本人の暮しや経済は破綻すると考えます。たとえ原発が動いていなくとも使用済み核燃料は大量に各原発にたまっています。福島の４号機での様子をみれば如何に危険なのかが分かります。今あるものの処分さえ１０万年かかると言われているのにこれ以上増やしてどうするのですか。人は百年も生きれません。何世代先の人間に処分をお願いするのです。子孫に大きな負の遺産を残すことは無責任です。私たち国民も安全神話の上に胡坐をかいていたと思います。エネルギーを使いすぎていたと思います。今回福島原発事故で故郷を離れなければならない人や放射能汚染に日々の生活で怯え不安を抱えている人達の事を思うと心が痛みます。同じことを二度と起こしてはいけません。だから、今こそ原子力に頼らず再生可能エネルギーにシフトすべきです！！「国民のいのちと生活を守る」ことを第一義に考えて判断してください。「原発はいらない」が多くの民意です！
19620	個人	自営業	20代	男性	0%シナリオを支持します。なるべく早く廃炉、解体すべきです。地震、津波、テロ、日本に原発は無理だと思います。自然エネルギー普及をもっと進めるべきです。	0%シナリオを支持します。なるべく早く廃炉、解体すべきです。地震、津波、テロ、日本に原発はいりません。自然エネルギーをもっと進めるべきです。使用済み核燃料はどうするのでしょうか？ その処分費用も含まれずに、原発はなぜ安いと言われていたのか疑問です。
19621	個人	会社員・公務員	40代	男性	脱原発社会の実現を強く望みます。よって「ゼロシナリオ」を支持します。	今回の原発事故で、やはり核と人類は共存できないことが明らかになったと言えます。これまで万が一の事故を想定しながらも、いざ起こってみるとこれだけ多くの課題が浮き彫りとなっている現実があります。ふたたび同様の事故によって、多くの人々の生活や生命にまで関わってくるような可能性のある原発を、これ以上稼働させるわけにはいきません。再生可能エネルギーの促進、省エネルギーの推進への政策転換を強く求めます。

19622	個人	無職	60代	女性	即時原発ゼロを求めます。2030年ではなく即時ゼロでお願いします。政府は当面原発維持を前提とした3つの選択肢の中から選べというのは国民を馬鹿にしている。これからのエネルギー政策の選択肢に原子力は無い。	原子炉の内部で働く作業員は家族のために自分の身を犠牲にして将来の保証もない危険な仕事をしています。電気を起こすために、お湯を沸かすだけなのに、一人でも死人が出るような危険な発電所はあってはなりません。線量計を鉛カバーで覆う不正が報道されましたが、福島原発事故収束作業は労働者の命と安全が守られていません。このままでは、線量限度超えて事故収束作業員が不足するし、どこの原発でも金で釣って作業員を確保するのに限度がある。こんな原発に将来はない。また、今ある核のゴミを処理できないのに、どうして再稼働して増やすなど考えられるのか？核のゴミを子や孫に押し付けて先送りし正面から取り組まない、国民を大事にしない政府が信頼できない。
19623	個人	パート・アルバイト	30代	男性	経済、コストに影響があってもゼロシナリオで行くべき。	15シナリオや20～25シナリオでも結局いつかはゼロにしないといけないと思うので、今後あやふやになるんだったらいっそのことゼロシナリオを断行していくのが良いのではないのかと思いました。 ゼロシナリオにより今後日本が経済破綻しないかが不安ありますけど。
19624	個人	自営業	50代	女性	?ゼロシナリオ 原発は必要ありません。 停止している原発の再稼動も反対です。 プルトニウムの再処理施設もいりません。	福島第一原発の事故をみれば一目瞭然です。 人の糧を生み出す大地が汚染され、住めなくなります。 難民にはなりたくありません。 自然エネルギーへとシフトしてください。
19625	個人	会社員・公務員	50代	男性	1．ゼロシナリオを選択します。	福島原発事故当時福島市に住んでいました。 家族は東京一山梨と避難。結果昨年5月に東京へ移住しました。 実際、住んでいた所はガイガーカウンターで計測するとμシーベルト/hもありました。 こんな事を経験し、地を人間が狭うこと事態が間違いだと思っています。 なので、今日からゼロを主張します！ 再稼動も撤回を求めます！ 即、全原発廃炉を求めます！ 次回の選挙では私は絶対に民主党の議員へは投票しません。
19626	個人	自営業	50代	男性	原発は、反対です。未来の子供達に、負の遺産を残す事になる。	福島の原発事故がおこり、原発は人の手に統えるものでは無い事がはっきりと解ったとおもいます。使用済核燃料の処理にしても莫大なお金と時間がかかり、将来の子供達に、負の遺産を残す事になる、こんな危ない原発は早く無くす事が大事である。
19627	個人	会社員・公務員	30代	女性	原子力エネルギーについて見直しし、全廃する方向として欲しい。そして代替エネルギーにシフトしていって欲しい。（地熱エネルギーや太陽光エネルギー等）	福島の原発事故を受けて、実際大規模な事故が発生すると誰も適切に対応できないし、影響範囲が広くそして長期間にわたって問題が残ったまま（健康面等）となることを痛感した。 そもそもも人間がコントロールできな原子力については手を出すべきでないし、原発から出る放射性廃棄物についても気の遠くなるような期間、安全に保存しなければいけない点を考慮すると、高コストのエネルギーと考えられる。 計画停電等の多少の不便は我慢できるので、それよりは安全にそして安心して生活したい。
19628	個人	家事専業	60代	女性	原発による電力は0パーセントにすべきです。	(1)原発事故により、家を追われ、家族をばらばらにされ、仕事も失って先の見えない中で、1年4ヶ月過ぎた今も不自由な日々に苦しんでいる大勢の方の話を伺いました。質の良い作物を作ろうと土作りに努力を注いできた農家や酪農の方、漁業の方、「まち」のお付づくりをはじめていた飯舘の方がたも、健康不安に脅かされる子どもたちもみんな苦しんでいる。また自己の健康を省みず事故の収拾にあたっている方々も苦しんでおられることでしょう。政治を掌る方々は、国民にそういう苦しみをさせないことをモットーにして欲しいと強くのぞみます。 (2)原発は事故が無くても、最終処理ができない大量の猛毒ゴミをつくります。除染しても、そのゴミは放置されたままです。どうするのですか？結局子孫にとんでもない負担をおしつけることですね。子や孫に借金を押し付けるのはだめだけど、放射能ゴミは知らない、と言うことはあってはならないと思います。 原爆の被害を受けた日本は、世界の国々に、「原発はやめよう」「放射能ゴミの最終処理技術を獲得するまでは使うことをやめよう」と発信していく役割があるはずと考えます。 (3)地震、津波、火山、自然災害が多い日本では、特に特に原発は使用すべきではありません。 原発に投入していたお金を、再生可能エネルギーの研究や開発に使えば、必要な電力は作れるはずです。電力の使い方を企業も、国民ももっとみんなで考え直して、暮らし方、働き方も変えていくことも必要だと思います。
19629	個人	自営業	40代	男性	原発ゼロに	発電することでできるゴミ(自ら及び将来の命を脅かすゴミ)を自分で処理できず、未来への負債を生み続ける発電方式がよいはずはありません。なんで、そんな簡単なことがわからないのか、不思議で仕方ありません。
19630	個人	家事専業	30代	女性	日本のエネルギーが原発に依存する割合をゼロに	福島の原発の事故を受けて、人が住めないような環境を作り出すものと人との共存は出来ないと考える。 原発以外の自然エネルギーの開発、研究に資用や力を注ぎ、その技術を輸出できるように日本が先頭に立ってエネルギーの転換をしていかなくてはならない。 私は、原発で子供を働かせたくないし、事故の処理を子供にさせたくない。 有効に利用すればすばらしいエネルギーになるかもしれないが、子供に危険な状況を作ってまで、電力を必要としないし、子供に原発の処理の費用を払わせたくないと考える。
19631	個人	自営業	30代	男性	原発全て、即刻廃炉。国のエネルギー政策を、持続可能な自然エネルギーの方向へと完全に転換。海外への原子炉の販売などもてのほか。脱原発における世界のリーダーとして、名誉ある地位を築く。	原子力とは今すぐに決別。原発は全て即時停止の上、廃棄する。 人類は猛毒を生み出す核とは共存できない。 2030年ではなく、今すぐに原発をゼロに。 今すぐに自然エネルギーの実用化にシフト。 国民、国際社会に、原子力からの撤退という方向転換を発表せよ。 原発を推進する、いわゆる原子力村の解体に総力をあげよ。 こどもたちに、なんと説明するつもりでしょうか。 原子力とは、今すぐに決別。 原発ゼロを実現すべし。 私たち国民は、憲法上の権利を行使し、原発なき社会のためにその権利を行使する。 命がけで子供を守る覚悟がある。
19632	個人	無職	50代	女性	2030 年のエネルギー・環境に関する3つ選択肢についてですが、私としてはシナリオ＜⑶ 20 ～25%＞にしていただきたいです。	本当は今の現状のままでしてくれるのが一番なのですが。 安い給料で今の約2倍の電気料金を支払うのはとても無理です。 今ですら、電気料金を支払うのがやっとなのに・・・ 貧乏人のことをもっと考えてほしい。安月給のものは電気を使うなということなのでしょうか・・？
19633	個人	家事専業	50代	女性	原発は0%にする。更に、温暖化対策としてシナリオにしめされているより自然エネルギーへの比率をあげる。 また、火力発電は天然ガスへと転換する。 同時に更なる省エネ対策に取り組む。	原発を動かせば、今回のような事故が起きなくても、多くの被爆労働者を生み、核のゴミを後世に残し続けることになる。そのようにして、命を奪う犠牲のうえに生み出された電気を「経済の為」、「国民生活の為」として使っていいのか 人としての倫理に反するものです。 原発を稼動させなくても電力は足りていることはマスコミも伝えているところです。そして、日本のエネルギーの未来のために輸入に頼らない、自然エネルギーへの政策転換が望まれます。
19634	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発を即廃止に	日本に原発は要らない　利権のための原発は必要ない
19635	個人	会社員・公務員	60代	男性	「エネルギー・環境に関する選択肢」は、原発依存度を基準に、ゼロシナリオであるべきです。	原発依存度は、ゼロにするべきです。 原発は存在してはいけません。現に存在するものは、可能な限り早急になくすべきです。 原発は生物に非常に有害な放射性廃棄物を生成し、それをどのような形であれ扱う、人間の能力には限界があり、人間は必ず誤りを犯すものであり、将来の予測も完全にはなしえないからです。 従って、原発による放射能が環境に放出される、非常な危険性が、皆無であるということは決していえません。人間の力で完璧に、将来を100パーセント予測することも、事故を100パーセントなくすることも不可能です。そのような危険性のある状態は、確率がいかに低かろうと、取るべきではありません。 その他の危機管理とは決定的に異なり、完全に避けることだけが解決策です。 また、原発はその様々な局面で、社会のあらゆる場面に不公平、不公正、差別、不正義を生み出しています。即ち大いに利益を受けるものと、利益を受けないものと、大きな不利益を受けるものを作り出しています。このような不公平ものを社会に公然と存在させるのは、その社会を非常に危うく不幸にします。 電気が足りるかどうか、電力会社の経営がなりたつか、などを原発が必要かどうかの判断の材料にするのは完全な間違いです。 まず、原発は絶対に存在してはいけません。そのなかで、電気のことや電力会社の経営のこと、その他のことを考えるべきです。どんなに難しくても仕方ありません。いかなる条件も、原発が必要かどうかの判断に使用することは間違っています。 まず、原発は存在してはいけません。 現に存在するものは、可能な限り早急になくすべきです。 比喩には限界がありますが、原発は麻薬のようなものです。苦しくても再び手を出してはいけません。
19636	個人	パート・アルバイト	20代	男性	ゼロシナリオを支持します。福島の原発事故を経験した今、もうこれ以上原発事故のリスク、放射性廃棄物を増やしてはいけないと思います。	今、問われているのは「エネルギー・環境に関する選択肢」ということですが、つまり、「どういう暮らしをしたいのか？」というところに集約されているのだと思います。エネルギーは暮らしの過程、環境は暮らしの結果だと思います。だからどんな暮らしをしたいのか？が重要だと考えます。誰かが誰かの暮らしのために犠牲になるような暮らし方では駄目なのだと、福島の事故で経験しました。経験した以上、もうこれ以上原発リスクは負ってはいけないし、処理の仕方も分からない最終処分場も決めることができないような放射性廃棄物を、将来の世代に残してはいけないと思います。老朽化した火力発電施設もある中で火力に頼るのにリスクがあることも忘れてはいけませんが、私たちの暮らしを今より慎ましく美しい暮らしにシフトする必要があると感じます。脱原発の意識を、声を、一人一人の暮らしへ持ち帰ることが最も必要なのだと思います。
19637	個人	家事専業	30代	女性	エネルギー・環境に関する3つ選択肢 原発依存度を基準、⑴ゼロシナリオ を切望します。	福島第1原発の事故を踏まえ、2度と同じことを繰り返さないために、原発0国であって欲しいです。 再稼動もやらないで欲しいです。 どこでまた同じようなことが起こるかは誰もわかりません。 でも、また多くの国民が辛い思いをし、不安な毎日を送るのは、 もううんざりです。私は妊婦のときの不安を今も忘れることができません。 国が、国民生活を守る固い意志があるならば、経済優先ではなく、国民の 安全、幸せを最優先に考えていただきたいです。 今回のシナリオは、2013年時点のものですが、原発に関しては、即脱原発宣言していただき、再生可能エネルギーへのシフトを早急に考えるべきだと思います。再生エネルギーは地域の特徴を活かし、各都市独自の電力供給が存在すべきと考えます。送電線の分離とともに、電力の自由化も進めていただきたいです。 　また、ゼロシナリオでは、2013年の化石燃料への依存度が現時点よりも上がるとの見通しですが、国が国民にきちんと説明し、明確な進路を提示することで、再生可能エネルギーの普及が進み、化石燃料の依存度も下がると思います。 化石燃料は今までは国が遠い中東から買っていましたが、地産地消で見えるエネルギーなら安いし、親しみもわいて、大切にできると思います。 環境に関しては、これからは現代科学と伝統を大切にしながら持続可能な社会を存続させていく意識が大切だと思います。 自然とともに、地に足をつけた暮らしが、エネルギー問題、環境問題を解決に導く第一歩になると思います。 国と国民が一体となって、新たな時代を切り開いて行ければと思います。 長くなり申し訳ございませんが、どうぞよろしくお願いいたします。 (削除)
19638	個人	会社員・公務員	40代	男性	2030年まではシナリオ3原発20～25%にするべき。	中東で戦争が始まると、日本は原油を手に入れにくくなります。その結果、火力発電すらできず、原子力発電なき日本は、深刻な事態に陥る事が容易に予測されます。原子力発電に代わる、代案が開発され、実用段階に至るまでは、リスクを背負ってでも原子力は必要です。
19639	個人	家事専業	30代	女性	「原発ゼロシナリオ」・・・唯一の脱原発シナリオ 原発なんていりません！ひとつも動かさないでください！！	人間が制御出来ない物、作ったはいいが壊せないもの、廃炉が簡単に出来ないもの・・・そんなものいりません！ 福島の事故は全世界に不安と恐怖を与え、悲しいことに犠牲者も出しました。 今後も癌や病気で犠牲になる方は増えると思っています。 このタイミングで脱原発に向かわないで、いつ向かうんですか？ もっともっと、こんな恐ろしいものを作り続けるつもりでしょうか？ お願いだから、もっと国民の声に耳を傾けて欲しいです。 廃炉には時間もお金もかかると思います。 また被爆者が増え、悲しい事故も起こるかもしれません。 でも、原発を稼動し続けたら、もっともっと悲しいことが起こるはずです。 だから今！もうやめて欲しいんです。 お金より電気より、命や自然の方が絶対に大切です。 人間には作り出せないものだからです。 自然エネルギーへの転換で莫大な費用がかかるなら、それは私は負担してもいいと思っています。 もちろんただの主婦ですから、全ては負担できません。 日々の電気代や税金、そういったもので負担が増えてもかまいません。 だから原発はもういりません。お願いします。 そして明確に、原発ゼロシナリオなら、何年後にどう変わり、どんな計画で、どう負担が増え、メリットやデメリット、そういったことを国民に提示し、意見を求めて欲しいです。 政府が変えるんじゃなくて、国民皆で日本のエネルギー政策を考え、変えていきたいです。
19640	個人	会社員・公務員	50代	男性	エネルギーの国産化、多様化、不測の事態に対するリスク対応、およびコスト的にも問題ないこと、を考えると、20～25%以上、30%近い値とすることが、適切であると考える。	エネルギーはライフラインを司るものでありかつ国家・国民成長の源である。そのうち電気エネルギーは、構成比率も大きく重要である。そしてまた、開発には長期間必要とすることも大切である。 　したがって、本来、福島原発の事故後の現在、公平な議論ができない状況で、長期の国家戦略ともいえるエネルギーについて、目先のことしか考えられない、国民投票的な意見聴取をすることは適切ではないと考えられる。 　また、現状の説明資料もこれら観点が十分議論を尽くしているとはいえないと考える。 　しかしながら、意見ということであれば、以下のとおりと考える。 　エネルギーは、輸入に頼りすぎると、外国の動向に左右されるため好ましくない。このため、ある程度の国産化を目指すことが必要である。また、単一構成とすると、不測の事態の際全滅するなどが考えられるため、多様性を持たせることが必要である。さらに、成長%が想定を上回ること、下回ることも考えるため、これらにフレキシブルなものでなければならない。 　このさまざまなリスクに対しても柔軟に対応できるようにしておくことが、今今回の震災から得た教訓であると私は理解している。 　これらの点から考えると、原子力0%というケースはありえず、15%ケースをもってしても不測の事態や成長%に対するリスク対応がとれていない。 少なくとも20～25%程度、あるいはそれ以上が必要と考える。 　このような考えのもと、早期に核廃棄物処分についても手を加えていかなければならない。

19641	個人	自営業	40代	男性	原発の即時廃止と、次世代エネルギーの開発について。	一度事故が起こってなん百万人もの人を被曝させ、発ガンの恐怖を強いた原発による発電は最早あり得ない。企業的にもどんなに利幅があっても事故を起こせばその儲けは一瞬で吹き飛ぶころか倒産の危機である。東電の高コスト体質を今言って仕方ないのだが、日本より原発比率の低いアメリカがなぜ日本の電力価格の半分なのかを考えるべきである。話がそれたが、再生可能エネルギーの開発も確かに重要な要素ではある。しかし蓄電技術に時間がかかりロングスパンで考えざるを得ないことは言うまでもない。ならば、シェールガスを確保し、LNGのコストを下げることが早急にするべきこと、そして地熱発電の集中的な設置、そして短期スパンで言えば、メタンハイドレートをLNGより安価に採掘する方法を早急に研究すべきである。メタンハイドレートはご存知の様に日本の未来を握る戦略資源である。おそらく開発に成功すれば、自民党の土建屋議員がバカなことを言い出さない限りは国債の一発償還も可能な資源である。また石炭は自給可能資源であり、安価に液化して高効率化すれば、原発等バカバカしくなるエネルギーであることも言うまでもない。そして南関東ガス田の採掘技術を早急にかくりつすべきである。とどのつまり、ウランと中東一辺倒に頼るエネルギー政策を放棄すべきなのである。あらゆる意味で不安材料が多すぎである。ご存知の様にサウジアラビアは最悪の独裁国家であり、そのサウジが中東の石油の価格決定権を握っているといっても過言ではない。現在はアメリカに燃を売りたいのか、安価にシフトするような政策を表向きには取っているが、石油収入一王族の収入であるから、自分たちが贅沢できない。もしくは宗教的マイノリティ一発の反政府運動が起こった場合に備えて反政府側に金を撒き、混乱を収めようとする事も考慮に入れなければならない。そういう意味で石油一エネルギー渡の思想は捨てるべきである。 今まで「危険で最も愚かで罪づくりである」原発のみに殆どの研究費をつぎ込み、他のエネルギーを研究してこなかったツケが今来ているのである。原発の開発予算を0にしてでも他のエネルギーの開発をすべきである。もんじゅなど即廃止、日本原子力発電(株)など、即お取り潰しすべきである。
19642	個人	会社員・公務員	50代	女性	原発を続けることは、将来の子ども達にどうすることもできない危険な放射能を残すことになります。使用済み核燃料をどうするかの技術も処分場も不確定な中で、原発を動かしていくことはできません。	原子力は、広島・長崎・チェルノブイリなど長い間人々を苦しめてきました。原子力発電は、今回の福島原発事故で明らかになったように、想定外では済まされないとても危険なものです。放射能は、日本だけでなく、世界中を汚染していき、その影響は計り知れないものです。そうなってからでは遅いのです。美しい自然を守り、安心して生活できる環境を守るために、原発をなくすことを強く望みます。
19643	個人	自営業	40代	女性	原発依存度、ゼロシナリオでお願いします。	福島原発事故が収束の目処もたっていないのに、大飯原発も再稼働しました。 私たち国民には、まさに信じがたい現実です。 どこまで経済を重視して、国を動かそうとするのですか？ 国民の命を最優先に考えたら、こんな地震大国に原発を動かし続けることが、狂気の沙汰であることに気づく筈です。 原子力発電はゼロでも、日本の電気はまかなえる筈です。 原発をすべて止め、すべて廃炉にしてください。 福島原発事故によって撒き散らされた放射能を含んだ汚染土を、きちんと保管する場所を作ってください。 どうか、この「ゼロシナリオ希望」の意見を、握りつぶさないでください。 お願い致します。
19644	個人	パート・アルバイト	40代	女性	全ての原発は廃炉に向けた計画を実施すべき。 原発事故を経験した私達は、核の恐ろしさを身をもって知りました。 子供達や、海外の子供達へ同じ経験をさせることはなりません。	福島の原発事故をもってしても、未だこの議論をすること自体 おかしいのではないでしょうか？ 原発推進派の人たちは、昨年の様な事故が今後あっても 自分たちだけは海外へでも逃げるつもりだからこのような茶番をつづけるのですか？ それとも、本当に原発は安全なクリーンなエネルギーだと信じているのですか？ もし、そうなら日本の危機管理に関する仕事をする資格はないと思います。 時代は変わりました、 核の保有が目的だった原子力発電所の存在理由について 正直に国民の声を聞くべきです。 今日本が核に対してどういう姿勢を取るかで 日本の将来が決まると思います。 核はいりません。 原子力発電所は今すぐ廃炉に向けた計画を実施すべきです。
19645	個人	パート・アルバイト	30代	男性	原子力発電からの依存からの脱却と撤廃を求めます	はじめまして。 私は原子力発電を信用していません。とゆうよりもこの国や国によって機能している機関や企業、はては政府と言うものにです。それは3・11以降何一つ大事なことが解決していないとゆうことです。それなのにいまだに原発に対しての依存が拭いきれないこの国を、私だけではなくたくさんの人々が信じることができないでいます。それはまだ国民の一部分にすぎないかもしれませんが、このままではいずれ近い将来大部分の国民がそう思うでしょう。 国民から信用のない国は果たしてこれからの世の中で本当に国と言えるでしょうか？ このままでは不安です。 どうかそのためにも原子力からの脱却と全ての原発の撤廃によって信用を取り戻してほしいと切に願います。 どうか日本を守ってください。
19646	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオを強く主張します。 そして、2030年までではなく「可及的速やかな原発依存度0」のロードマップを提示し、国民に広く正しく共有される政策を切に願います。	福島原発事故以降、誰も責任を取らず、責任がどこにあるのかも調査が十分とはいえない中、大飯を再稼働させた後で、このような意見聴取を行っていることにまず疑問を抱きます。 電気と経済によってのみ我々は生きているわけではありません。 電力の不足は節電とピークマネジメントで、 化石燃料の高騰については再エネ促進と天然ガスも交えたベストミックスで、 それでもカバーできないトレードオフとしての痛み、コストも受け入れる覚悟は我々にも必要だとは認識しています。 しかし、それは正しい現状認識と未来へのビジョン、何より東日本大震災以降を生きるうえでの価値観を共有することで乗り越えられると信じます。 どうか様々な団体、ステークホルダーとの利害調整によってのみ政策を進めるのではなく、このパブリックコメントのオープンな公開も含め、正しく国民的議論が共有されたうえで次のエネルギー政策を決定して頂けるようお願い致します。 上記理由から「可及的速やかな原発依存度0」でのゼロシナリオを主張します。
19647	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオ 支持	数年後に製造業の半数以上が海外へシフトするのが見えてる現在 必要な電力量算定の根拠が甘い 景気の状態に比例して消費電力が下降する以上、ゼロシナリオで十分 20～25 シナリオを支持するなら まず、為替問題と今後の国内産業の見通しが明るいことを証明すべき
19648	個人	学生	20代	男性	2030年時点での原発比率は0%であるべきだと思います。放射性廃棄物、地域差別の問題を引き起こす原発に頼るべきではありません。	2030年時点での原発比率は0%であるべきであり、すべての原発の即時廃炉を求めます。原発を動かし続ける中で、放射性廃棄物が生じてきます。この放射性廃棄物の処分方法はいまだに決まっておらず、放射性廃棄物の置場も5一杯になるつつあると聞いています。30年、40年と議論が進まなかったこの問題をどう解決するつもりでしょうか。 原発の建設計画を打診された地域では、深刻な地域内での差別問題が生じてきました。原発建設地域内での原発推進派か原発反対派かという立場の違い、意見の違いから生じる深刻な対立が生まれています。たとえ町で子どもが転び、ケガをしていても、まず原発推進派の子か、反対派の子かを見て、自分と同じ派の子どもなら助けるというような、人としての道徳もおかしくしてしまうほどの対立が原発によって起きてきました。なぜ単なる意見の違いからそれほどまでの対立となるのか、それは原発特有の多額な金銭的面が大きいからであると思います。原発が建てられる地域は、財政面では厳しい地域が多いのは事実として存在します。そのような地域に多額の原発交付金、雇用をもたらす原発は一時的な物であるにもかかわらず行政、電力会社一体となって強力に推進されています。原発によってもたらされる交付金というものはあくまで一時的な物にすぎず、持続性という観点からみれば地域の財政問題解決に至ることはない。しかし、行政、電力会社の強力な推進政策によって、地域住民は思考停止状態に追い込まれていきます。町全体として原発推進ならしようがない、そういう地域住民も少なくありません。原発の不透明性から、「安全神話」というものもつくられていきます。しかし、実際には原発労働者、数々のトラブル、情報隠しなどさまざまな問題が生じていると私は思います。こうした問題に目を向け、原発は自分の地域にいらないと声を上げる住民と原発推進の住民はどちらも生活に目を向け主張します。しかし、対立は深くなる一方であるのです。このような対立をもたらす多額の原発交付金などは廃止するべきであり、それは結果的に原発を誘致する自治体は存在しなくなることになると思います。しかし、それが行われるべきであり、今後、原発は作られるべきではありません。これ以上、不要な対立を生じさせないでほしいです。原発がもたらす問題があるなかで原発を起動することは、エネルギーが足りる、足りない以前の、動かすべきでないものであります。どうか、原発は即時廃炉を検討していただけるようお願いいたします。
19649	個人	その他	50代	男性	原発0%。(1)閣電社長が供給量から原発再稼働を求めていたのではなかったことを認めた(2)IAEAの5層の防護や野田首相自ら国際公約した世界最高水準の安全性を確保しないまま再稼働、原発を扱う資格はない。	1 閣電社長が「電力供給ではなく」と述べましたね。実際再稼働したら火力発電所は停止。一番原発発電率が高い関電でさえ原発がなくても供給不足にならないことを社長自ら認めました。だから供給量からの必要性はない。 2 再稼働は、IAEAの5層の防護を満たしてない。且つ野田首相が国連ハイレベル会合で国際的に約束した世界最高水準の安全性を満たさないままです。 こういう誤や政府は国際的信用を失い大いに国益を害してる。 心ある原発推進勢力は野田政権の判断に苦言を唱み渡してることでしょうね。 国際基準が大好きな野田政権は、なぜ再稼働については国際基準に言及しないのでしょう？ こういう国に原発というコントロールが困難なエネルギーを使う資格はありません。
19650	個人	会社員・公務員	30代	女性	新しく提案された3つのエネルギー計画の筋書きはどれひとつとして、将来の世代に対して安全できれいな日本を築くためには十分ではありません。	3つすべての筋書きは私たちの子孫に対して長期間の核や気候災害の脅威を運命づけるものです。2030年に完全非核化するオプションでさえ、私たちの原子炉再稼働の中止要請を無視し、気候変動に対して高いコストを払うことになります。他の2つの選択肢であっても今後数十年に渡って原子力に依存し続けるものです。」
19651	個人	無職	80代以上	男性	原発依存度ゼロ 太陽、風力、地熱などの自然エネルギー開発にもっと意欲を持って取り組むべきです。	原子力発電の使用済み燃料を処理する方法が、まだ確定していないままに原発にのめりこんでいます。人体にも、自然にも有害となるものを増やすばかりです。原発ゼロにしてもらいたい。
19652	個人	会社員・公務員	50代	男性	国策でこれまで進めてきた原子力発電をゼロ目標にし、自然エネルギー(太陽光発電、地熱発電、風力発電)を各地域に設置して、電源開発をする。	日本がこれまで行ってきた原子力政策では、原子力発電に力を入れすぎてきた。その結果、自然エネルギーによる電源開発は遅れをとり続けてきた。 原子力発電による放射性廃棄物のプルトニウムなどの危険性は抜きん出て大き過ぎるので、中止してほしい。 新しいエネルギー開発の方向性を政府が示すことで、経済活動も活性化するはずである。 電気自動車の電気をピーク時に使用するなど、新しいアイデアが生まれてきつつある。 各家庭に太陽光発電設備を推奨するなどの政策で、電力会社だけに頼らなくても済むような地域毎のエネルギー政策を支援してほしい。 今こそ、一人一人がエネルギーや自然環境を大切に考える絶好のチャンスである。
19653	個人	会社員・公務員	30代	女性	新しく提案された3つのエネルギー計画の筋書きはどれひとつとして、将来の世代に対して破壊的なコストを強いるものです。 日本を築くためには十分ではありません	新しく提案された3つのエネルギー計画の筋書きはどれひとつとして、将来の世代に対して安全できれいな日本を築くためには十分ではありません。これらは今後数十年以上にわたって原子力に依存するかまたは気候に対して破壊的なコストを強いるものです。今すぐ原子力から脱却し、意欲的な気候変動目標を掲げ、果敢に機能不全に陥ったエネルギー部門を転換する大胆なエネルギー計画の「4番目の筋書き」を、あなたが私たちに提案してください。
19654	個人	自営業	50代	男性	資源のないこの国は未来のためにコストを掛けてでも再生エネを大幅に導入すべき、エネルギーで自己完結型のリサイクル社会を望む	多大な費用を掛けてでも将来的に化石からの脱依存、脱原発の社会を目指して欲しいと願う。 現在の電力をめぐる情勢は明らかに電力会社主導でしかも傲慢経営である。それを助長もしくは癒着の行政にも問題があるため電力改革だけでなく行革も大鉈を振ってもらいたい。 もはや原発は使用済み核燃料の始末でさえ的確な将来像が見えない中で、経済優先や過去のムダに電力消費を煽った不道徳な発電会社との決別、もうお金を出せば幾らでも買える電力ではなくて、 個々人が節電・発電・創エネも意識しなくてはならない時代に突入したと云う認識が国民レベルで必要である。 またそれの意識改革が国から必要でありアナウンスが必要。 本来は世界で消費の石油・石炭は燃やして雲散霧消の炭酸ガスにすべきではなく、もっと有用な化石由来の高分子化学製品としてリサイクルできる利用が望ましい。 天然ガスが豊富で炭酸ガス放出が少ないと言っても国内で生産できない限り、戦略上で利用されやすい資源であるため、安全の保証がない事やいずれ枯渇の有限な資源である事から、現在は経過的に仕方ないとして、将来的には高依存すべきではないと思う。 風力・太陽・地熱・その他、再生エネルギーを最大限導入しても全く不足と言うが、その前に地下蓄熱の利用も大きく提言すべきだと思う。 ムダに熱を大気に放出せず定温の地熱と熱交換し、冬には夏と逆の熱交換する。これは官民産業界もすべて取り組み導入すれば恐らく省エネに繋がるので有望視している。 活用できるシステムのコラボでもう一歩踏み込んだ高度なエネルギー創出と活用の計画を求めるところ。 いずれの将来に太陽光発電でも現在の3倍くらいの効率化が期待できるとすれば、現在計画の洋上における大規模風力発電が更に進化発展すれば、さらには宇宙空間での太陽光発電実現をにらみつつ それらへの過渡期で原発は最低稼働も仕方が無いと思うが、早期に脱原発を願うものである。
19655	個人	学生	30代	女性	原発ゼロシナリオを支持します。	福島第一原発の事故を経験した今、私たちは原子力を完全にコントロールできないことが分かりました。生命を危険にさらしてまで、しかも、大都市への電力供給のために原発立地地域の人々のみが健康への影響を受け、住む場所を追われてしまうような悲劇は、二度と繰り返してはならないと思います。 政府は、原子力がコストが低いと言いますが、原子力発電に多額の税金が投入されていることを考えると、コストが低いとは言い切れないと思います。 日本は高い技術力を誇る国です。最近の例では、CO2削減という圧力のもと、ハイブリッド車、電気自動車など多くの技術を生みだしてきました。 そんな日本なら、再生可能エネルギーの技術を今後どんどん生みだしていけると思います。原発で利益を得る業界が、今こそ、再生可能エネルギーに舵を切り、そこから利益を得るような仕組みを作ることが必要だと思います。 未来の世代に、原子力発電の危険をこれ以上引き継いではいけないと思います。 原発ゼロの時期が大飯原発再稼働の前はあったわけですし、今でも大飯原発以外の原発は動いていません。それでも、この猛暑と言われる今年の夏を乗り切ることができています。それが、私たちの努力次第で原発が要らないことを証明していると思います。
19656	個人	家事専業	60代	女性	ゼロシナリオでいくべきです。現在の原発は再稼働せず、廃炉にするべきです。	チェルノブイリの事故以来、原発にたいして、廃炉にすべきだと 思っていました。今回、福島原発の事故で、とうとう心配していたことが日本においても起こってしまいました。多くの方々が故郷を失い、育てていた家畜・ペットを置きざりにし、丹誠込めた農作物は枯れ果ててしまいました。この先、放射性物質による影響は私達人間だけではなく、動物、植物、ありとあらゆる生命夫をおびやかすことでしょう。 放射能と人間とは絶対に共存できません。 事故はおこらなくても、稼働するかぎり、放射性廃棄物は日々うまれていきます。
19657	個人	会社員・公務員	50代	男性	ゼロシナリオ以外ありえません	一旦事故が起きた場合、広範囲な国土が長期間にわたって使用できなくなること。 廃棄物の処理方法が確立されていないこと。 燃料の安定供給にも疑問があること。(石油、LNGに比べ産出量が少ない) 燃料の生成過程において重大な環境汚染が懸念されること。 技術者、従事者が長期間働けないため使い捨てになること。 以上を考慮しても、原子力については基礎研究のみとして、できるだけすみやかに撤退を図ることが望ましい。 再生可能エネルギーに力を入れることはともかく、省エネを進めることが肝心である。
19658	個人	家事専業	30代	女性	ゼロシナリオを支持します。	日本は原爆と大規模な原発災害二つを経験してきた。そして、世界有数の科学技術と勤勉な国民性を持つ国である。また、四季のある自然豊かな国でもある。 今後の日本は世界に先駆け、再生可能エネルギーシステムの開発を国の重点産業とし、エコロジーでクリーンな国として世界の尊敬を集めるような国となってほしい。それが、遠回りなようで日本の国力増強につながるし、日本人がより日本を愛するきっかけになると思う。

19659	個人	自営業	40代	男性	原発依存度を0にする方針でお願いします。	他国と違い地震の多い日本での発電所の耐震問題。 福島事故により放出された放射性物質による汚染の解決。 使用済み核燃料の最終処分方法。 以上の3点において明確な方針が伝わってきません。 また示されていた様に代替え発電で賄う事ができるのであれば、。 現在の経済より将来の命のために今原発依存度を0にする方針に切り替える事が必要だと考えます。
19660	個人	自営業	70代	男性	日本の将来のエネルギー源は原子力ではない。 それに原発は地震・自然災害が多い日本では危険すぎる。自然エネルギー研究・開発・導入こそ日本が開発国という看板を保持出来る手段でしかない。	ヨーロッパ連合諸国が自給率を増すため、2020年までに全エネルギーの20%を再生可能エネルギーで補う目的を数年前に立てた。スウェーデンやドイツは既に20%を達成し更に増加中、他国も追従している。石油枯渇は遠い日でもなく、アメリカも風力・太陽熱発電導入を増加中、風力発電は原発より安い価格に達している。一方日本では原発費用が高すぎて、自然エネルギーの研究・開発資金は無に近く、自然エネルギー導入は1%にも満たない貧弱さ、自然エネルギーでは日本は未開発国でしかない。 資源エネルギー庁の原発電力価格が過去数回以上試算され、1kWhにつき5.3～5.9円だったが、最近再び試算され、実際は50%高いとか、国民の信頼度は全く無い。アメリカ・バーモント大学のMark Cooper教授の2009年の報告書 http://www.vermontlaw.edu/Documents/Cooper%20Report%20on%20Nuclear%20Economics%20FINAL%5B1%5D.pdf によると、 原発は一番高価な発電の一つである。他に外国で調査された報告書が沢山あり、原発は決して安価な発電方法では無い。エネ庁が主張する「原発電力が一番安価である」は、世界原発事業者が発行した文献にしかない、つまり経産省の試算は「原子力推進」の試算である。 原発電力価格に、エネ庁の試算価格に加えるべき項目は「原子力委員会」原子力安全委員会」「無数の小委員会」「保安庁」「東海村」「原子力教育奨励費」 「交付金」等の経常費、それに「廃棄物海外処理・輸送費」「廃棄物取り扱い・中間保管・管理費」「廃炉費」「永久貯蔵地建設費」「永久貯蔵管理費」、加えて今回は政府の「東電支援金」「文部省放射線測定」「限りない洗浄費」等、"他の発電に全くない費用が全て含まれるべきだ"。そうすると原発価格はとてつもなく高いのが実状であり、現在直面している事実、それでは原発に依存する理由は全く無い。 原発を安全運転・維持するのは莫大な費用がいるし原子炉の寿命は40才が無難とされ、1970年代に運転開始された原発が14基、老朽化した原発の運転を延ばすのは危険性を増すばかり、冷却配管など信頼できるものではない。現在ある廃炉、恐らく廃炉になる原子炉は計9基、40才以上の原子炉を運転中止した方が安全で2020年に廃炉にすべきは23基、福島1～4号機の廃炉費用見積りが1兆円以上、他の廃炉費用を過少見積りし、今から40年の廃炉期間に返済する10兆円借用金があるのと同じ、その後10年間に再び廃炉が増え費用が倍になる。電力会社が払うと言っても、いずれ総括原価計算で国民が払う、何処にそのような金があるのか、政治家と国家公務員の給料を30%減給しても未だ足らない。2015年から消費税が15%になり7～8兆円の歳入増加が見積もられる。しかし、この歳入増加は原発にかかる費用の大火事をにコップの水で鎮火しようとするのに似ている。 財政困難の最中、将来5年後に発電する新原子力発電所建設へ莫大な資金投入するなど理不尽としか言えないし、そのような政府があってはならない。最近ドイツのRWEはイギリスにE.Onと共同で原発を建設する予定だったが、契約を取り消し、将来は外国・自国関係なく「原発無し」の方針となった。「膨大な資金を投入し見返りがあるのは早くて5年以後、建設費の上昇もあるし、5年以降の見返りも少ない、投資家の資金で動いている会社として原発継続は無責任すぎる」が新社長の説明だった。大会社のRWEが原発は投資家に対し無責任であれば、国も国民に対し無責任な投資は出来ないはずだ。 2006年に「原子力立国計画」が制定され、将来のエネルギーは原子力拡張になった。自給率増加の面で良いが、大きな欠陥が三つある。第一は自然災害が多い地震国日本で原発を如何に安全に稼動するか、その考慮が全く欠けていた。これは福島事故で暴露されたとも言えるし、他の原発で再び暴露される可能性は大いにある。第二の欠陥は廃棄物処理、バックエンドの対策が全く無い、これは車のエンジンを強力にしブレーキが効かないのと同じである。原発所有最大のアメリカに廃棄物が蓄積し、どうして良いか分からないでいるのが現状。国土面積がアメリカの26分の1、人口密度は10倍の日本で、何処で安全保管するかの構想がない、永久貯蔵地構想があったとしても、将来に構想を受け入れる県はないだろう。第三の欠陥はMOX燃料の廃棄物、ウラン燃料の廃棄物より熱が高く5年間水槽冷却は不十分、「有毒ガス・放射線放出が高く危険極まりない」が世界の科学者の通念である。唯一の解決策は高速炉の燃料にすること、しかし高速炉の商業化は未だ世界中どこにも無い。ロシアにあるそうだが、公表・公開されてなく稼動しているかも分からない、つまり高速炉は空想の世界にしか存在していない。「もんじゅ」はフランスのSuperphoenixと同じ、日本より原発専門家・権威者が多いフランスでさえ問題が多く、費用が高すぎて1997年に閉鎖、イギリスの高速炉も同じ経験で閉鎖、核燃機構によると、これまでに「もんじゅ」の費用は約8000億円とか、これが日本の科学者が"夢を見る費用"。この費用を風力・太陽発電に使っていたら、極端な節電は必要でなかったはず、「原子力立国計画」の欠陥は日本を悦い、何と言う欠陥政策であるか。 原子力は電力を発電するだけ、総一次エネルギー源の50%、日本の固体・液体燃料の外国依存度は100%に近いし、石油枯渇に向かい、それらの価格が急騰するのは必然となる。それをすこしでも緩和出来るのは自然エネルギーで自給率を増やすことしかない。研究・開発・導入は地方の仕事作りにもなり得る。日本は自然エネルギーでは遅れが大きいので、早急に始めないとエネルギー価格急騰は避けられず、日本の産業空洞化も輪がかかるばかりだ。
19661	個人	会社員・公務員	20代	男性	脱原発。	100パーセント安全な原発なんてありません。 核廃棄物も増える一方。 あまり多くはかきませんが将来の世代に誇れる日本でありたいです。
19662	個人	会社員・公務員	40代	男性	「ゼロシナリオ」を選択します。	3．11の福島原発事故で原発の安全神話がくずれ、その危険性がはっきりと国民にもわかりました。問題の解決や安全性が確保されないまま、すでに大飯原発が再稼働をはじめていますが、直ちに停止をすべきです。 今、「ゼロシナリオ」を選択しなければ、将来の子どもたちへも不安を残すことになります。「人類と核は共存できない」という認識のもと、政府を含め国民一人ひとりが少しずつ負担をし「ゼロシナリオ」を実現すべきだと考えます。
19663	個人	自営業	50代	男性	人間の暮らしを支えるエネルギーが人間の生命を脅かすとなれば本末の目的から逸脱している。生命とかけひきするものなど何もない英断をする時、その時が来ている。	何がたいせつなのか！ 私たち人間は、何かの目的で地球に存在している。 人間は、生きていること自体意味を持つ。 人間が、生きて行くためには、多くの命を頂いて生きている。 これほど手間の掛かる生命体はいない。 非常に価値があり貴重な人間の生命や健康を脅かすものに 継続するかしないかの議論をすること自体意味がない。 人は時として間違いを犯す。 過去の間違いを反省し、そして学ぶ その繰り返しをして人間は生き延びてきた。 今必要なことは、"行動"ではないか。 行動はひとつ歩みを止めること 原子力発電をストップすること そして代替エネルギーを試すこと、促すことです。 この汚染状況は尋常じゃない。 将来の人類を考えればそれ以外、答えはあるのだろうか？ 日本は、工夫力・技術力は世界トップレベル 今この能力・技術を活かして 日本の地球上での役割 日本の存在価値を正面から向き合う必要がある。 決断は今 答えは誰もが解っている。
19664	個人	会社員・公務員	60代	男性	0シナリオ・原発は全廃	原発事故後、そして。現在の政府・東電の対応は東電・その権益を守る取り巻きたちの事を優先にしか考えていない。「将来の世代に負担をかけない」と言って、公約とは反対の増税を多くの国民の意見を無視して勝手に決めてしまい。原発に関しても、形だけの、意見会を開き、再稼働しようなんて。それこそ、「今さえよければ良い。将来の事など考えなくてもよいという事です。
19665	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発は、将来は全てを廃止すべき。今後、より安全なエネルギー源で代替できるよう政府は強力に取り組むべき。電力等の地産地消化を強力に進め、また新エネルギー技術を開発して、世界をリードすべき。	☆原発廃止を希望する理由 〇完全に統御できる技術となっていないうえに、事故が起これば甚大な被害と国土の喪失という事態を招く 〇国家経済への影響を考慮すると原発を再稼働させたい経済界の考えはあるかもしれないが、国土全体の地震防災等への安全性を確実とするシステムが未整備であり、また十分な対応を即座にできないことを考えると、原発は危険な存在にいつなるともしれず、国民の平和な生活を政府は保障できない 〇経済成長の鈍化を危惧するよりも、まずは国民生命の安全を第一に図った上での経済成長を目指すべき 〇まずは、稼働させる原発を最低限に ☆より安全で有効なエネルギー源について 〇できるだけ早く、太陽光発電や風力発電での他の代替エネルギーの比率を向上すべきであり、その対応には、整備の面からも電力の地産地消化が有効だと考えるので、一般家庭や企業での導入には多額の補助や電気料金軽減施策を用意して、強力なインセンティブを用意する 〇小型水力発電は、国土が急峻な日本では、非常に有効な電源であると考えるので、こちらもより普及できるよう対策を講ずる。 〇新エネルギーについては、日本が新技術を開発し、原発に代わるエネルギー源として世界への福音としてほしい
19666	個人	自営業	60代	男性	東電を解体せよ。 原発は、破棄せと。	東電は、独占を守る為に、国中を買収した。 国の為、国民の為ではなくて、東電の為だ。 こんな会社は、要らない。
19667	個人	家事専業	30代	女性	ゼロシナリオを選択します。	原発の危険性はいろんな方がいままで言われていると思います。その中で起こった福島での原発事故・・ 放射能、放射性物質は大人より胎児、子供に影響が大きいと聞きました。 私はいま妊娠中です。この子が産まれるときには放射能を気にせずみで遊び、放射能で汚れていない食べ物を食べさせてあげたい、そう強く願います。 原発に依存しないエネルギーを選択した場合、いまより電気代が上がるようなことがあっても、私は受け入れます。 それよりも安心して毎日を過ごしたい、ただそれだけです。 原発の安全性がでていない状況での再稼働も強く反対します。 本当に原発が安全、そしてこれに代わるエネルギー政策がないというのであれば、国民全員が納得のいく説明をしてください。そして、きちんと国民の意見を投票というかたちで表してください。
19668	個人	会社員・公務員	50代	女性	人間である以上ヒヤリ・ハット等の人災はゼロにできない。できなくても対応できる物事もあるが、原発は違う。2030といわず、原発は即廃止すべき。	人間である以上ヒヤリ・ハット等の人災はゼロにできない。できなくても対応できる物事もあるが、原発は違う。一旦失敗すれば、今回の福島のように、人体にも深刻な影響を長期間（あるいは永年）与える。環境にも影響を与え、日本ばかりではなく、世界に対して取り返しのつかない損害を与えてしまう。また、与えた損害は、人間の力で修復不可能である。これは、経済的な損失も多大であり、今回の東電はお茶を濁すつもりのようだが、元の生活、全ての産業において、事故前の状況に戻すための慰謝料は出し切れるものではない。国であっても同様である。とするならば、身の丈にあった生活をするべきである。 2030といわず、原発は即廃止すべき。 人間として、また、これまで電気を贅沢に使用してきた日本人としては、そのために生活の質を落とさなければならないのであれば、それを享受すべき。 ドイツでもできたことがなぜ、日本でできないのか。 日本人の工夫する能力、技術を使えば原発の次のエネルギー資源を開発することはできるはずであると信じている。
19669	個人	家事専業	30代	女性	脱原発ゼロのお願い	原発ゼロを、お願いします。 3月11日よりいろいろなニュースを見てきて、原発の怖さを知りました。 子供を持つ母親としては、これから先は原発がゼロになることを願わずにはいられません。 自分が子供のころ、食べ物や空気、水、雨、土、海に対して安全だと疑わずにいられました。でも、今は、不安でいっぱいです。 　それぞれの失ってしまった命や健康、時間を責任もって取り戻すことができる人などいません。何をもって責任をとると言えるのでしょう？ それに、現時点で異常はないということばもきらいです。ただでさえ、これから先の安心感を求めているのに、なんの気休めにもなりません。欲しいのは、これから先も、確実に異常はないという言葉なのです。 　安全な廃棄処理も決まっていないような原発はなくし、早く次への新しいエネルギー対策に力を注いでいただきたいです。
19670	個人	その他	50代	女性	脱原発にむけて。今までの、エネルギー政策はいのちのものさしではなくて、経済のものさしで、はかられています。いま、日本は世界でただひとつの被爆国として、脱ゲンパツの方向性をしめそうではありませんか？	原発がどれほどのリスクをもった、エネルギーかということは、福島の3つの原発が同時にメルトダウンをおこすという、世界ではじめての事故をもって、わかりました。いまもなお、放射能は日本じゅうにふりそそぎ、いずれは土地さえもうしなうという、おおきな事故です。さらに4号炉の使用済み核燃料棒は1535本プールのなかにあり、そのプールはぼろぼろで、もはやつぎに、おおきな地震がおきたら、崩壊して、またもやおおきな惨事になるといわれています。こんな状態なことは、世界中のひとびとがみまもっているわけです。なのに、原発再稼働はありえないことです。いまにせかいじゅうのひとびとからの批判で、あふれかえるとおもいます。その上、この汚染の被害をどう賠償するのでしょう。ひとりとして、ふつうにかんがえてください。未来はこども。こどもは未来。 未来のある日本をつくりましょう。
19671	個人	その他	50代	女性	原発0シナリオ希望します。	もう二度と同じような、悲惨な事故を繰り返さないようにしてほしい。 国民すべてが、安心して暮らせるように。 60年前の生活にいつでも戻れる覚悟はできています。
19672	個人	家事専業	30代	女性	原子力発電は廃止しなくてはならない	福島の原発事故で誰もが十分、学習したと思います。 もう日本でこれ以上、原子力、核の悲惨な体験は要りません。 危険と隣り合わせの日本列島です。 使用済み燃料の冷却は何十万年も継続しないとならないといいますが、責任をもって、冷却を続けられる人間は誰もいません。 人間の手に負えないものを、夏の電力や経済活動のためという一瞬のために動かすと、どんどん管理不能な使用済み燃料が増えていきます。 得られる利益よりもリスクが大きすぎです。 今、気付いたときに辞めるべきです。 原発にしがみつく理由など、長い目でみればないと思います。
19673	個人	学生	20代	女性	原発反対について	原子力発電の再稼動に反対します。 どうしてこんなにも危険な原発を平気で再稼動できるのですか？ もちろん、政府の方々も電力会社の方々も危険性を認知しているのですよね？ 一番原発に対して詳しい存在であるべき方々がこのようなことをしてしまうと 素直な国民はあなた方を信じてしまうのです。信じるしかないのです。

19674	個人	会社員・公務員	30代	男性	未来の子供たちのために必要なのは、本当の安全・安心・平和な世界です。 そのためには原発は必要ありません。2030年と言わず、今すぐにでも原発0%にすべきだと考えます。	ドイツのように、国の政策として再生可能エネルギー等の研究・開発に取り組むことができれば、日本でも原発に頼らずに今と同様、もしくはそれ以上のエネルギーを生み出すことが出来るはずです。 日本が誇る技術力を、未来の為に活かすべきです。 原子力への研究開発費を減らしすぐにでも自然エネルギー・再生可能エネルギーの研究開発に予算を回すべきです。 そして、未来を受け継ぐ子供たちに、綺麗な地球を残しましょう。 何百年、何千年と放射線を発し続ける危険な燃料を地中に埋めて地球を壊してしまうのはやめましょう。
19675	個人	無職	60代	男性	「原発ゼロシナリオ」に賛成します。再生可能エネルギーの技術開発に国の力を注ぎ、安全・安心な未来の日本を作っていくべきと考えます。	原子力発電は、必然的に放射性廃棄物を随伴するものである。放射性物質は私たちのDNAを傷つけ、突然変異を起こすものとなる。現在、これら放射性物質の安全な処理方法も分からないまま、どんどん溜め込んでいる状況である。私たち及び子孫の安全・安心のため、原子力発電ゼロの方向に向かい、替わって再生可能エネルギーの技術開発に国力を傾けるべきと考える。この新しい技術開発（イノベーション）が他国に先がけて達成されたとき、再び、国際社会における日本の躍進につながっていくものと考える。
19676	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発は絶対必要！　経済成長にはエネルギーは欠かせない。日本の原発の安全性は、実証されてた。福島の事故は、官直人による人災。脱原発では電気代が上がり日本は弱くなる。中国に対しても、原発は抑止力となる。	原発の危機感ばかりがあおられているが、矢の原発事故での死者はゼロ名。被害を被られた方はたいへんお気の毒だが、これは菅直人の失政による「人災」であることが、矢の調査委員会の報告で明らかになっている。だから、東電や原発ではなく、政府をもっと鋭弾しなくてはいけないはずす。 一方、節電による熱中症や、不最気による自殺などはまったく考慮されていない。つまり、物事の軽重がいまのマスコミは分かっていない。というよりは、左翼思想に染まりきっているのではないか。 左翼思想とは、ズバリ「日本を弱かたい勢力」が持つ思想。原発から得られるエネルギーの安定供給があるから、日本の企業の成長力は担保されているし、代替エネルギーは不安定かつ小さすぎる。化石燃料を多用すれば温暖化に拍車がかかり、電力料金が跳ね上がる。消費税を増税され、電力料金は高くなり、企業のコスト競争力が弱まると、企業は外国に拠点を移さざるを得ないだろう。これでは必ず「大不況」がやってくるに違いない。矢業者はあふれかえり、結果、税収は落ち込み、更なる増税を招きかねない。それでなくても、日本には「見えない税金」としての年金保険料や健康保険料、介護保険料などいっぱい払っている。国民はもっとよく総与明細を見るべきでしょう！ 一方、一部の外国が日本の領土を狙っている。否、占領を計画している。これらの核保有国がいちばん嫌がってるのが、日本の核武装だ。原発が稼動していれば、絶対の抑止力になる。 私には、簡単な理論なのだが、原発反対論者は聞く耳を持たない。原論を封殺し、イデオロギーのみで国民の感情を煽るのは、いま世界で滅びつつある共産主義の専制政治以外の何者でもない。いま、日本が目指すのは「経済成長」を目指し、世界をすくうリーダーになることだ。 まだまだ、日本は底力がある。なにせ、この20年、無理やりゼロ成長を演じてきたのだから！
19677	個人	自営業	30代	女性	原発はいずれ0パーセントに！ 未だゴミを処理することができない原発。完全に安全とは言い切れない原発。 未来の子孫に不安を残さない。	経済優先で日本は豊かになった。電気を享受した。ありがとう原発。私達は次の選択行くべき転換期に来た。安心で、安全な社会。豊かな自然と共存する社会。物質至上主義から心と繋がりを大切にする社会。 災害大国ということを念頭において、謙虚に。そして日本は再生エネルギーの研究に力を入れて世界をリードすべきです。
19678	個人	家事専業	40代	女性	訂正前回コメントは取り消し。原発は現状の点検による停止のまま2030年には廃炉が終了という意味での2030年0選択送電線を使用しない発電電力供給方法の開発支援と現行再生可能エネルギーの利権化を防ぐ監視	震災以降点検によって全原発が停止しても、停電は起きませんでした。原発が無ければ電力が不足するというのは通用しません。夏に電力需要が高まるとか原子力以外の発電方法で何とか乗り切っているがコストがかかりすぎるとかそういう意見をマスコミによって知ります。けれど政府は本当にそう思っていますか？以前のままの方が利益のある人達に押し切られているだけではないですか？海外中国内から無理な要求があってもそれを乗り越える智慧を絞ってきたお陰で資源もないアジアの小国が経済大国になったと思います。是非乗り切って欲しいです。そして今後海外で原発に不具合が起きた時に日本での方法が採用出来るようにエ夫を凝らして欲しいです。 　また原発を使わないだけでなく出来れば送電線を使わない電力供給についても研究機関や個人でも構いませんん支援して早急に開発してもらいたいです。震災後の日本を見れば原発へのテロ行為がその国への大きな攻撃に成り得ることかなり小さく容易な攻撃でも大きなダメージを与えられることが既に反社会組織にもわかったであろうことと、今後の太陽活動において大停電か送電線の損傷が起これば多数の原発が制御不能になり電気に依存する全ての活動が停止せざるを得ないと思います。 　この送電線も使わずに済む発電が開発普及するまでの間現行の再生可能エネルギーで賄う事と、再生可能エネルギーも利権が絡んで他の発電方法の開発の足かせをしないような管理監視が全求めます。
19679	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発は早急に廃止すべき	1．原発には高濃度放射性廃棄物が必ず出る。 再処理のシステムがままならないまま、見切り発車で稼動したことがそもそもの間違いだった 未来に高濃度放射性廃棄物を押し付けてまで便利に生活したいとは思わない。 2．人間が扱うシステムであるから、必ず事故は起こる。 何重にも安全を考えているシステムであろうとも、事故の起こる確率はけして0にはならない。 0でないということはいつか起こるということ。 原発はその事故が起こったときのリスクがあまりにも大きすぎる。
19680	個人	会社員・公務員	30代	女性	このような理由により、あなたがたに原子力の使用を停止させて不必要に気候変動を引き起こさない賢明で大胆な「4番目の筋書き」を示して欲しいのです。	3つすべての筋書きは私たちの子孫に対して長期間の核や気候災害の脅威を運命づけるものです。2030年に完全非核化するオプションでさえ、私たちの原子炉再稼働の中止要請を無視し、気候変動に対して高いコストを払うことになります。他の2つの選択肢であっても今後数十年に渡って原子力に依存し続けるものです。 このような理由により、あなたがたに原子力の使用を停止させて不必要に気候変動を引き起こさない賢明で大胆な「4番目の筋書き」を示して欲しいのです。 具体的な「4番目」の筋書きとして以下を挙げてみます： 直ちに原子炉再稼働をやめさせる 積極的な温室効果ガスの削減目標を掲げた日本の気候変動と戦うための国際公約を尊守させる 再生可能エネルギーの生産を加速させる 発送電分離によって崩壊したエネルギー部門を再生する 化石燃料と天然ガスへ依存に対してエネルギー効率を優先付ける 私たちはあなたがたが人々の意見に真剣に耳を傾け、私たちが誇りを持って後押しすることができる新しいエネルギー計画を提案することを望んでいます。
19681	個人	自営業	50代	男性	GDPが下がると言うことは、国民が貧しくなると言うことだろう。現状で利用できる施設は、可能な限り利用し、原子力に変わる代替の新エネルギーに順次変えていくのが　より良いのではないか。	これ以上、国を貧しくさせる政策をとってもらいたくないから　原子力の依存度は25～30%で頑張ってもらいたい
19682	個人	会社員・公務員	50代	女性	原子力発電は、可能な限り、発展推進していくべきである。	現在、原子力こそが、もっとも安価で安定した電力供給源であると思う。 事故が起きない方向での技術開発が遅れているのだと思う。 もっと冷静に現状を分析すればそういう結論になると私は思う。
19683	個人	会社員・公務員	50代	女性	原発0のシナリオでの推進を希望します。	原発は一度事故が起きたら、甚大な被害になり、それがいつまでも続く。人権及び人道の視点からも問題がありすぎる。また、LCAの視点からみても放射能廃棄物の処理が未解決である。よって、自然再生エネルギー活用と省エネルギーなどエコライフの両視点から、エネルギー問題は解決すべきであると思う。
19684	個人	会社員・公務員	50代	女性	現在市民の努力により電力消費が大幅に減少、生活改善、意識向上が明確。再生エネルギー開発による雇用増加、経済発展も確実。原発0%で日本は環境先進国に、国民の意見量産で真の民主国、国際的リーダーになれる。	震災直後からのメディア報道を見るとINESでレベル7とされたFukushimaが、チェルノブイリと並ぶ原発大惨事の新たな代名詞となり、住民の健康、食や水の安全はもちろんのこと、全世界に原発、エネルギーについて考え直す機会を与えたことが分かる。 特にイツは、震災後2ヶ月後には17基ある原子炉の8基を停止、残り9基も11年後の2022年までに完全停止という「脱原発」の方向性を決めている。その時点でメルケル首相は「ドイツは再生エネルギーの最先端を行くことで、テクノロジー開発や雇用を促進することができる」と発言している。ドイツは1986年のチェルノブイリ惨事の影響を大きく受けたこと、環境団体グリーンピース支持者が30万人をこえ、また、1998年以来緑の党が「脱原発、自然エネルギーへの転換」を強く推進してきたという背景がある。また、イタリアも1988年には脱原発を決定、1990年に実行、その後2030年までに電力の25%を原子力でまかなうという提案も昨年6月の国民投票で却下されている。先のメルケル首相の発言に応え、ドイツ連邦環境省の報告(2012.5.26) では、再生可能エネルギー業界での雇用者数が38万人以上に達した、という報告があった。持続可能な社会は、環境保全、経済、社会・文化のバランスが必須であるが、ドイツの例は再生可能エネルギーが「供給不安定、開発への躊躇、高コスト」という悪循環を脱し、より持続性ある生き方への積極的な選択となりつつある例だといえる。 今年6月までの累計で百万人を超えたとされるが、実際にはもっと多くの方が現地入りしていると考えられる。私は一市民ボランティアとして、また大学教員として、岩手県を中心とした被災地を7回ほど訪れたが、和歌山大学でも学生がボランティアグループを立ち上げ、8月に2便のボランティアバスを出した。活動地域は岩手県陸前高田市の北部に位置する広田半島小友地区。二方向からの津波に巻き込まれ大船渡線の鉄道駅も跡形もない状態だった。地区代表巻の指揮の下、真夏の炎天下の下、シャベルや一輪車など慣れない道具もすぐに使い慣れ、側溝掃除、草取り、屋内清掃にとりかかる学生たちは、自分自身の力に驚いたのではないだろうか。日々の反省会で明日はより効率よく作業を進めたいと話し合う真摯さに若い力の可能性を感じた。代表者は「逃げる、守る、攻める、あなどらない」を地域復興の4原則にすると言う。それは「高台への避難路を確保し、住宅地域は防波林や森の再生によって守る。住み慣れた地域から離れることなく生た住み始める。が同時に薪、ランプなど電気に頼らない資源を蓄え、自然の脅威を侮ることなく暮らす。」という、そこには共生の理念がある。若い学生たちの一つの大きな使命は、これらの経験を受け止め、真剣に考え、未来に生かしていくことだと言える。 陸前高田から20kmほど内陸にある住田町では仮設住宅がいち早く完成し5月2日には第一の入居が始まっている。この住宅は、気仙杉を使い、気仙大工の独特の手法で作られたもので、震災以前から今後の東南アジア各地での震災、津波に備えて、伝統技法を使った、住み心地のよい仮設住宅の構想が既にあったと言う。住田町は2000年に「エネッシュゼロ」宣言をしており、ペレットストーブの普及など「環境持続性」への取り組みを行ってきた。また、大船渡綾里半島で作業小屋、船を失った漁師さんは、木材の搬出に重機でなく馬を使う「馬搬」という技法を選び、「山を傷つけない木材利用」にこだわりを持っている。地域に伝わる伝統知識、技法はその独特な環境と「持続可能な」共生の技、知識を教えてくれる。この震災を期に、それぞれの地域が、「復興ビジョン」というかたちで、日本全体を新しい方向に導いていくことができる。 復興支援で得た市民の力、今までの政治参加の低迷、またそれにより、エネルギー政策に国民が関わっていなかった現実、その反省は、今国民を大きく動かしている。特に「ヒロシマ、ナガサキ」の教訓を生かし、憲法にも平和をうたう国が、「原発」があたかも「核」とは別のものであるというふりをすることは、被爆者のみならず全人類に対して、そして福島で未だに、または、もう故郷に戻ることのできない住民に対して、申し訳ばたたないものである。海外報道でも、日本の現実～「実は エネルギー政策のみならず民主主義後進国であった」、という現実が報道され、これは日本の政治、経済的国際的位置を大きく後退させたと言える。大飯原発稼動に関しては、「地域の承諾」を得たとされるが、「原発の地域」を、大飯町や福井県とする見方はあまりにも無責任である。原発の影響を受ける可能性がある全ての「地域」は全世界であるからだ。このように国際評価が格段に低下した日本であるが、国民のエネルギー消費量減の成果、毎週のように開かれる集会での強い主張、再生エネルギー開発の技術等は、国際的に高く評価されるものである。また、国民の真摯な意見が反映される政治が実現することで、ドイツに次ぐ環境大国となる可能性がある。そのためには、原発0%、即刻に、公選挙はだめ。
19685	個人	その他	40代	男性	原発比率ゼロシナリオを実現してください。	発電力量に対する原発比率はゼロにするべきです。節電と代替発電技術の開発でそれを実現させるべく方針を国が示してください。
19686	個人	自営業	50代	男性	世界に向けて、日本が手本を示す時期が到来した。 日本が持たえる科学力を総出力し、地球の将来の為、原発なしの社会を作ることです。 原発なしの国家を作り、世界が日本をお手本にし進歩することです。	核廃棄物の処理が出来ないのは周知の事です。核を新に作らないことは、世界の未来にとってプラスになります。世界唯一の被爆国日本が手本を見せる時期到来です。
19687	個人	家事専業	40代	女性	命を奪う核・幸せを奪う核・居場所を奪う核はいりません！皆が協力すれば大丈夫！無駄なエネルギーを使いすぎた私たちが今なんとかしなければ、これから地球で生きていく子供たちに申し訳ないです！	電気の使用制限があれば、不便には違いないです。勘違いして我慢しすぎて熱中症になる人もいるかもしれませんな。でも、皆が正しい認識をして限りあるエネルギーの使い方を考えれば、なんとかなると思います。無駄に使われてきたところも沢山あると思います。お店の照明や店内の冷暖房にしても今まで必要以上に使ってきたのでないでしょうか？日本人は賢いから、困ったら何かいい方法も考えられると思います。頑張れると思います。自分達を信じたいと思います。
19688	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発0実現を 再稼働断固反対	今回のフクシマ原発事故で災害対策が全く不充分であったことが証明され、また原因究明がされていない段階での再稼働には一切の言訳ができないはずです。また使用済み核燃料の処理方法が確立されていないのに原発を残していくということは絶対ありえません。今だれも処理できない有害ゴミを未来の子供たちに残していくこと、また他の国に押し付けようとしていることなど絶対にあってはならないことです。 電力不足といっているが、昨夏はのりきれたわけだし、これから再稼働させようとしている原発は夏の間には絶対稼働できませんよね？ということは原発がなくても最大需要の為夏はのりきれることがすでに証明されています。それをマスコミをあおって電力不足キャンペーンをはり、国民に脅しをかけるなど姑息な手段と言わざるを得ません。 また15%という折衷案的な案を出していますが、設置から40年経つ原子炉に関して今後段階的に廃炉にしていくことを政府としても決定していることを考えれば、今後新しい原発を建設することなどは考えられない数字です。つまり現在からは減らすと見せかけておいて、将来的な利権を守ろうとする原子力ムラの方々の意図がはっきりと浮き出ています。 大飯原発の直下に活断層の存在も確認され、同じ例が全国の原発でも多数あると報告がされます。このことだけをとっても再稼働はできないはずなのに、なぜ強行するんですか？原子力ムラの方々の利権と国民の命を天秤にかけるのはもうやめてください。命より重いものはこの世に存在しないはずです。
19689	個人	無職	60代	男性	「原発ゼロ」を選択すべきです。生命の安全こそ最優先すべき国策です。「原発ゼロ」を前提にしたエネルギー政策、生活の仕方を国民に提示し、世界に示していくことが、フクシマの人災を起こした国の国際貢献です。	「原発ゼロ」を選択すべきです。生命の安全こそ最優先すべき国策です。核廃棄物の最終処分技術すら確立しないのに、安全神話を振りまき、平和利用の美名で原発を作り続けてきたことこそ政府・電力会社・関係企業は反省すべきです。反省せずに、海外に輸出を推進する神経は、クレイジーです。 「原発ゼロ」を前提にしたエネルギー政策、生活の仕方を国民に提示し、世界に示していくことが、フクシマの人災を起こした国の国際貢献です。また、経済政策としても、地球温暖化問題含め、グリーンエネルギー、エネルギーを含めた地産地消による雇用政策など、内需拡大を軸にすすめるべきです。そのための、電気料の値上げは容認できますが、原発のための値上げは反対です。 最後に、電発立地の活断層調査を当事者かつ虚偽の報告をしてきた電力会社に依頼するのは納得できません。費用負担は電力会社にし、国の責任で第三者機関に依頼すべきです。こんなことも出来ない民主党政権にがっかりです。
19690	個人	家事専業	30代	女性	確実に着実に原発依存度を無くすゼロシナリオで意見します。	ゼロシナリオ。絶対ゼロシナリオ。 これは今回の原発事故の問題ではありません。 地震の多いこの国に原発があることが恐ろしい。 この国の対応の遅さも腹立たしいくらい。 ドイツに住んでいたこともありますが、日本はドイツの20—30年ほど遅れています。環境問題への取り組みにしても動きが遅すぎるのです。 何にしても壊れてからでは遅いのです。 そしてこのパブリックコメント、インターネット環境を持たない人はどうするのでしょうか。最初から意見する権利もないのでしょうか。 不平等です。FAX用紙や郵送用紙を各家庭の人数分配布するくらい大事な決断への意見を求めているものではないのでしょうか。 これで意見を国民に求めたという既成事実にされるのは問題有りと感じます。ゼロシナリオ以外を選ぶと必然的に原発推進となる流れも頂けません。 まずは原発が必要か不必要かそこを国民に問うべきと考えます。
19691	個人	家事専業	40代	女性	私は原発依存ゼロを選びます。	福島はいまだ収束していません。人間の手で始末できないものはあってはならないと思います。 私の実家は福島県郡山市です。妹達家族は関西に避難し、両親と姉家族は現在も郡山市にいます。原発さえなければみんなバラバラにならず楽しく生活できたし、両親も孫の成長をずっと見続けることができたのにと思うと腹立たしく思います。 子供達の未来にこんなものを残したくはありません。子供達とその先の子供達がずっと安心して暮らせる社会になるためにも原発依存ゼロ。 そのための節電ならいくらでもしますよ。
19692	個人	その他	70代	男性	原子力発電　０　%にすべし 即刻全原子力発電を廃炉にすべし	原子力発電　０　%にすべし ・電力は原子力発電なしでも充足出来る ・原子力発電の廃棄物の処理が出来ない ・万が一の事故に対応出来ない ・経済的にも原子力発電は不経済
19693	個人	会社員・公務員	70代	男性	消費税増税は道理に合わない。道理に合わない施策を権力が強行すれば 必ず、国民が苦労する、苦労するのは当然だが破綻する事を防ぐのが政府だ	世界景気は下降局面にある、欧州も米国も、中国、インドもである 世界の動向を見ないで、消費税増税を倍にする施策は時を見ていない。 政権交代したのに再び自公政権に戻るのは、民主党が崩壊する。 被災者の財布に手を突っ込んで増税すれば法理上の罰を受ける。 止めるべきだ。10年後に増税すれば道理は立つ。

19694	個人	家事専業	40代	女性	原発を止めるべきではない	原子力発電を止めるというのは、次のエネルギー政策にきちんとめどが立ってから順次というのが筋。今、感情論で止めてしまうと経済にも生活にも直結して日本をおかしくすることになる。原子力発電で、日本では人が死んだりしていないのに、節電のためと宣伝しまくった結果、たくさんの人が熱中症で亡くなっている事実をきちんととらえているのか？ ただでさえ、増税増税と言っている政府がこの上エネルギー料金さえもあげ、日本国民を苦しめることしかしないのか？ 原発は最低でも30%は確保すべきです。
19695	個人	無職	60代	男性	(1)原発依存度ゼロを選択する。 1．放射性廃棄物の処理は不可能である。 2．日本列島の位置から巨大地震は避けがたい。 3．原発の財源をクリーンエネルギー開発に回し、経済の新たな発展を図る。	1．トイレのないマンション。 人類は紙工業、化学工業の発達とともに有害物質を自然環境中にまき散らしてきた。20世紀に入ってからのそれは、特定地域の被害から地球規模に拡大してきている。われわれは目先の利便性だけでなく、代わりに失うものとの比較において新製品・新技術の使用・利用を考えなくてはならない 原子力発電についても、同様である。 原発による廃棄物＝電放射性物質の拡散による被害は空間的・時間的に人類の存在にかかわる被害を及ぼすものである。 発電コストにかかる費用が安いことを、原発依存を主張する人が挙げているが、放射性廃棄物の処理費・ひとたび事故が起きた時の損失＝保険金を計算にいれていない。東電は福島原発廃炉に今後40年かかるといわれているが、その費用をどう見積もっているのか？ 2．日本列島はプレートの境界上に位置していること。 太平洋プレート、フィリピン海プレート、ユーラシアプレートの交接する真上に位置する日本において、地震・津波に耐えうる原発・・これは技術者（と称する）の奢りではないか。イソップ童話の「牛より、私の方が大きいとお腹を膨らませてパンクした母さん蛙」と同様の・・。 3．国際競争力「神話」を乗り越える。 原発をやめれば国際競争力が落ちる・・これは既存の特権にしがみつく「原子力村ムラ」の言い分にすぎない。大きく方向転換し、クリーンエネルギーの開発に財源・人材を投入し、そこから新しい産業を起こし、雇用を増やし、その技術力で、あらたな国際競争力を構築すべきと考える。
19696	個人	家事専業	30代	女性	私は原発の再稼働には反対です。	東日本大震災以降、福島の事故の新聞記事を読んでいて事故処理の対応にすごく綱渡り感があります。原子炉冷やすために水（海水）をかける。冬場は水を流すホースが凍結してしまう・・・など対応や起きてくる問題はなんとも原始的なものです。その作業をする人たちは命がけで、この先何年もかかります。そんな事故がもう一度もし起こったらどうなるでしょう。 原子力は人間の手には負えないと認めるべきだと思います。廃棄物の処理が（理める以外に）できないことも手に負えない証拠だと思います。 国のトップの方々が「日本は原発を0にする」と方針を示してくだされば、いいんです。方針さえ示しさえすれば国民はクリーンエネルギーや節電に向かって一丸となって努力することでしょう。 どうか今のことだけでなく将来のことを考えてください。
19697	個人	自営業	50代	女性	原発0シナリオに向けて。	再稼働反対します。 子供たちに健康な未来を残してください。 原発はゼロにしてください。 ・もっと省エネルギーの取り組みを進めてください。 ・もっと自然エネルギーを推進してください。 ・既に破綻している核燃料サイクル温存が2と3のシナリオです。再処理の廃止を決めてください。 ・放射性物質が空中にあることを常に意識せざるを得ない状況です。 苦しい・・・弱い個体はこうして死滅するのでしょう。 日本の未来を守る為に最善の策はきっとあるはずです。希望を持てる社会を作って下さい。
19698	個人	会社員・公務員	50代	男性	核のゴミ処理策も無く、原発を地震列島に建設をして稼働させる狂気を、たった今から止めましょう。問題の先送りは、生き物の子孫に失礼です。謙虚に自然に向き合いたいものです、	核のゴミ処理策も無く、原発を地震列島に建設をして稼働させる狂気を、たった今から止めましょう。問題の先送りは、生き物の子孫に失礼です。謙虚に自然に向き合いたいものです
19699	個人	会社員・公務員	30代	男性	今回の選択では 1．ゼロシナリオを選択いたします。 十分な拡散防止、補償金、避難先の準備があればゼロ選択以外も考えられますが、ゼロ以外を選択できる十分な対策が打たれていないしできると思えない。	現在、 ・拡散防止対策が十分でない ・原発による発電は安いといっているが、廃棄、廃炉といった費用は先送りにしているだけで、総費用をいれると安く無いはず。専門家ではないため正しい試算は出来ておりませんが、原発による発電が安いというのはウソと思います。 これから、 ・原発立地地域は廃炉と電力配線インフラを用いて事業展開し雇用を確保。 ・複数がどうしても必要なら、科学技術が必要と思われるあらゆる拡散防止対策の実施。その費用は電気料金に上乗せ、出来なければ、国から出す。太陽光発電に入れている補助金と同じように乗せる。 ・売電の自由化、 ・売電会社の自由化、 ・発電方式にユーザー選択できるようにする。 ・価格設定は適正にすれば高くても、自然発電を選択するユーザーが増えれば発電設備を増やすことにもつながる。 ・原発による発電は仮に安く設定されてもユーザーが選択しないと閉鎖せざる終えない。 ・原発による発電は廃炉、廃棄物処理を適切に設定すれば、価格も高くなると思われるため、廃止へ向かう。 など思います。
19700	個人	その他	60代	女性	毎週放射線量測定をしていますが、若いお母さんが心配して寄ってきます。 国民の健康を守るのが、政府の仕事のはず！！ 「ゼロシナリオ」以外に選択肢はありません。	国民の命を守るのが政府の最も基本の仕事のはずではありませんか！ 今の日本は安心して暮らせる場所ではありません。 今からでも遅くはありません。 国民が安心して暮らせる日本にしてください。 「ゼロシナリオ」以外に選択肢はありません。
19701	個人	その他	50代	男性	原発ゼロシナリオを希望します！	原発の事故を防ぐことはできません。人間には制御できない技術です。
19702	個人	自営業	60代	男性	絶対にゼロシナリオです。	長期にわたり人間や動物が生活できなくなる環境を作ってしまう そのような原子力発電所は廃止すべきです。 一番大切なものは命です。次世代の人たちに、放射能の遺産は残したくない。 広島、長崎、福島の被ばくから学びましょう。目を覚ましましょう。
19703	個人	会社員・公務員	40代	男性	自然エネルギーの活用促進するべき。原発は計画的に廃止するべき。	原発に関しては、事故を起こす可能性が無くならないことが はっきりしたので今後は全廃を計画的に進めてほしい。 自然エネルギーの活用は日本はまだまだ後進国でありポテンシャルは高い。活用できる資源を民間でも直ぐに使える様に規制の緩和や特区など、整備すべき。
19704	個人	自営業	60代	男性	危険な原子力発電は即時停止の方向がもとめられる。	地震の発生もひんぱんにあり、安全であるとだれが保障できるのであろうか。 こんど事故がおこれば、管前首相が遭遇した「首都圏」「関西地区」 の数百万人の避難、逃げ惑うことになる。 国家沈没である。 これだけ悲惨な結果をみて、直ちに原発の使用はなくすべきである。
19705	個人	会社員・公務員	30代	女性	日本国民として、地球人として原発ゼロシナリオを選びます！	原発はいらない。福島の人がこんな思いを体験しているだけでもう答えは出ています。子孫に住んでいても、線量は高いまま。子供の未来に何か影響が出たら、 人類として申し訳ありません！！！！！！原発ゼロシナリオを選択します！節電は企業がすればいいです。電気なんて少々暗くても日常生活は困りません。日本は明るすぎます。イギリスみたいに、お店は17時に閉めれば電力も食わず、スローライフに戻って、家庭をかえりみて助け合って生きていくようになると思います。日本の夜は明るすぎ。
19706	個人	パート・アルバイト	50代	女性	(1)ゼロシナリオを支持します。 本当は、2030年まで待ちたくありません。 今すぐに、すべての原発を停止し、2030年までの18年間で、廃炉になった原発の安全な管理体制を整えてほしい。	福島事故で、原発のリスクと、人間がコントロールできない原発の怖さが明らかになりました。 以前から、原発の使用済み燃料棒の保管方法など、トイレのないマンションと言われる原発のゴミ問題が解決されていません。動かせば動かすほど、放射能まみれのゴミがたまっていきます。 それは、何代もの先の子孫に負の遺産として残すことになります。これ以上、ゴミを増やすことは、犯罪です。 また、原発作業員の被爆なしで原発を維持することはできない事実も明らかになっています。これ以上の犠牲を出すことは、許されません。 人類が、地球の恵みの中で生かされていることを謙虚に認め、誰も犠牲にしないエネルギー政策に切り替えなくてはいけないと思います。そのために、自分たちの生活や価値観を見つめなおすことを、日本中の人びとがしようとしています。 日本の科学技術が、廃炉になった原発の安全な管理と、新しい再生可能エネルギーの実現に向けて、使われることを願っています。
19707	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロシナリオを希望します。原発の再稼動を即中止し、再処理を廃止して下さい。脱化石燃料依存・発送電分離・自然エネルギーへ徐々に移行して下さい。私たちに、電力を選ぶ権利を与えて下さい。	原発ゼロシナリオを希望します。 地震が頻繁におきる日本おいて原発を動かすこと自体、危険極まりない行為だということが、2011年の東日本大震災において明らかになりました。各原発の使用済み燃料を保管するプールはすでに7割がうまり、六ヶ所村再処理工場においては、ほぼ満杯であるとの情報があります。危険な再処理は絶対にやめ、これ以上、どこにも持って行き場のない核のゴミは増やさず、原発はすべて即廃炉してください。むろん新規の原発の建設は行なわないでください。 さらに、地球温暖化対策・資源の制約のある化石燃料からは、長期的に脱却を目指し、自然エネルギーへ移行をしてください。特に家庭の電力は太陽光やバイオマスでまかなう方向にシフトチェンジしていくことは可能だと思われます。 自然エネルギーへの移行に際し、現在の独占体制から発電を地域ごとに分散し、発送電分離にしていくことは不可欠に思われます。何から出来ている電力を使うのか、私たちに選ぶ権利を与えてください。 また、エネルギー政策を決める前に原発を再稼動することはやめてください。福島原発の問題、今、全国にある使用済み核燃料をどう保管していくかに力を注ぐことが先決だと思います。
19708	個人	自営業	50代	女性	原発は即廃止して欲しい。作ってしまった原発は安全統息にむけ管理し、太陽・風力・地熱等の自然エネルギー利用に転換を望みます。 省エネ生活で協力します。 ドイツのようにきっぱりとした決断を望みます。	日本中が核汚染されてしまう。 人間には制御できないものを作ってしまったと思います。 子供たち、孫たちの代が心配です。 原発で故郷を失いたくない。 福島の悲劇はもういらないです。
19709	個人	その他	40代	女性	2030年を待たず、いますぐに原発依存度をゼロにするべきです。 原子力を完全にコントロールすることは人間には不可能だからです。再び事故が起きれば、日本の国自体が立ち行かなくなるでしょう。	2030年を待たず、いますぐに原発依存度をゼロにするべきです。 原子力の完全制御が人間に不可能なことは、福島第一原発の事故を見ても明らかです。そして事故が起きる可能性はゼロにはできません。 事故が起きなくても、使用済み燃料をこの先どう保管するのかさえ人間にはわかっていません。 また内部被曝の影響もわかっていません。すでに放出された放射性物質が子どもたちの体の中、空気や水の中でどんな働きをするのかわからないのに、これ以上の原発の運転は許容できません。原発運転時であっても放射性物質は空気中や水中に放出されているからです。 以上の点から、今すぐに原発依存度をゼロとし、日本中の原発を止めることを求めます。また同じ理由から、原発とその技術の輸出にも反対します。 そのためにも政府は再生可能エネルギーの技術開発、普及にもっと力を入れるべきです。
19710	個人	会社員・公務員	60代	男性	原発0のシナリオを選びます。	・エネルギー問題ではなく環境問題です。 核廃棄物処理が確定していないので結果地球環境を汚します。 地球上で核の力を使用すること自体に無理があると思います。 再稼動の是非の前に脱原発のスケジュールを示すべきです。 世界が見ています。 一国でも挑戦の姿勢を明確にすれば、賛同国は増えるはずです。 ・情報の開示に関連して この「意見の募集」自体もうさんくさく見えます。 おざなりの姿勢では納得できません。 時を決めてこの意見を集約し発表し、政策に生かすことを明言すべきです。 ガス抜きのために書かせてやろうなんて少しでも思っていると大変なことになると思います。 皆は見剣です。
19711	個人	会社員・公務員	20代	男性	原発の廃止	次の世代に残るから。放射性廃棄物の処理の早め方を考えるよりも、苦しくとも、現行する経済の破綻を選ぶ。選んだ生活に対するしわ寄せが起こっているのだと感じる。 贅沢をして誰かが死んだり、悲しんだりするのならば、しない方がよいのでは？ 苦しいことほど、先にしたほうがあとが楽になる。 そんな教育をしてきたのが日本じゃないのか？私はそんな日本人が好きだし、これからもそうあって欲しい。 それぞれが逆境を乗り越えていく力を持っていると信じています。 原発の廃止をよろしくお願い致します。
19712	個人	自営業	40代	女性	原発はもう不要です。様々な代替エネルギーの情報が一般市民でも楽に手に入る時代です。危険が1%でもある原発を利用する意味があるのでしょうか？安全な社会を提供できるのは私たち大人の使命です。	今は個人が意見を発することのできるブログ、メールマガジン、ツイッターを持っています。正しい情報も表にどんどんでてきています。何が正しく、何が間違っているのかということを、日本人の多くはすでに分かっています。おとなしい日本人があれほど抗議デモを行っているのです。どうぞその意をくんで、正しい判断をしてください。原発はもういりません。すべて停止してください。代替エネルギーに意識を集中されて、安全な社会を作ることだけに、国全体が取り組んでください。切なる私たちの願いです。このままでは日本がなくなってしまいます。最優先すべきは、私たちの大切な子供たち、日本の未来をたくされている子供たちに、安全な社会を残すことにです。このままでは日本がなくなってしまいます。目の前の利権に惑わされないでください。
19713	法人・団体等	会社員・公務員	60代	男性	原子力エネルギーに頼らなくても、現在の時点で電力量はまかなえるという講和を聞きました。 理論的にも理解が出来ます。 今後は、替える同胞の命をないがしろにする原子力発電は即座に廃止すべきです！！	国民の国税をたれ流しにして暴利を無差ぶった方々は心から陳謝すべきです！！ その方々の何倍もの命を危険にさらして平気なはずがありません。 もともと原子力発電に関する建設費用は非公開とされていた事からおのずとその関係がうかがい知れます。 日本の原子力製造技術を持ってすれば原爆なんか簡単に作れます。 尖閣諸島に代表される無謀な攻撃に何も抵抗できないで、 経済危機に見舞われながら日本を沈没させていのものではありません。

19714	個人	学生	30代	女性	原発反対 大飯原発を一刻も早く止めてほしい。	大飯原発が福島のような事態になったら、日本海側の海の幸も、新潟のお米も放射能汚染で食べられなくなってしまいます。福島の二の前になることは避けなければなりません。 原発が運転しないと電力は不足すると政府は言っていますが、自家発電機を大企業や病院はもっているから、真夏のピーク時（日中の一番暑いとき）でもそれで十分しのげるそうです（ピーク時以外は自家発電機も必要ない） 大飯原発の真下には活断層があって、地震が起きたら自動制御装置が発動する間もなく、原子炉が壊れてしまう可能性があり、そうなったら福島以上の放射能汚染が起きるそうです。福島は、120km沖で起きた地震を感知して、核分裂を止めることのみは成功したとのこと。そのあと冷やして、放射能を閉じ込めることまではできなかったのだけど、せめて核分裂を止めることができたことは、まだ救いだったそうなのです。そうでなくてもこの事態だけど。。大飯の場合は、真下にある活断層から瞬時に地震がくるから、その核分裂を止めることすらできない可能性が高いそうなのです。 どうしよう。私、マジ怖い。これから赤ちゃんだってほしいのに。再び原発事故が起きたら、母乳からも放射能がでちゃうし、離乳食も、きっと放射能を含んでる。毎日泣きながら、それでも生きるために、料理を作らなくてはいけなくなる。そんな人工的につくりだした苦悩、一般市民が受け入れなきゃいけないなんておかしい。命や健康、日本の土、水、空気と引き換えてに得られる経済効果ってなに！？すっごいバニックだよお。日本は地震大国だよ。日本海側も過去に大きな地震や津波があったし、これからもあるらしいよ。今日にも明日にも、地震がくる可能性があるのに、大飯原発は再稼動して、今も放射能を産み出してるんだよ。 大飯が再稼動したのは、このままだと電気が足りないためとされていたけど、本当はそうじゃないんだって。実は、これまで原発に投資してきた銀行が、原発という資産の価値がゼロになることを恐れているからなんだって。私は経済のことよくわからないのだけど、そうなると、銀行も電力会社も倒産してしまうそうです。だから、原発という資産価値をアピールするために、今回の再稼動があったそうなのです。だから、再稼動の真の目的は電力不足じゃないんだって。その根拠となることを、私も2回聴後を見て理解しました。えっと、国の言っている15%節電というのは、猛暑だった一昨年の夏との比較であり、しかも、その15%節電したときの電気使用量というのは、去年の電気使用量を上回ってるんだって。つまり、去年より多く電気を使っても、15%節電は達成されちゃうんだって。なのに、政府は電気が足りないから節電って言ってるんだよ。たしかにおかしい。 ただ確かに、銀行と電力会社にしてみれば、倒産しないように必死なのだと思う。それで講演をしてくださった広瀬さんが言うには、別に僕たちは銀行と電力会社を倒産させたくて反対運動を起こしてるわけではないんだって。だから、電力会社とこれから交渉したいそうです。倒産を免れる範囲で、電気料金をあげてもいい。だから原発は止めてくれと。いつれそのような交渉にもっていくことを、一般市民の私たちに理解してほしいようでした。 7/4に行われた広瀬隆さんの講演は、3時間半に及ぶものでした。でも原発について、いろいろなことが学べました。3時間半のなかに、無駄な話は一切なかった。どうか、できたら時間をつくって、この映像を見てください。日本人が日本を失うか否かの問題だと私は思います。現に、福島原発周辺の人たちは地元を失っているんです。専門家（小出裕章さん）によると、もう一生帰れないそうです。 どなたか、私の意見が間違ってたら私に教えてください。私も本や講演を食いかじっただけのドドド素人です。でも私は原発はいらないと思うんです。放射能という最悪の毒を産み出す装置だからです。こんなものが、電力供給の選択肢に入ること自体、おかしいと思うんです。
19715	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオしか考えられません。2030年でも遅くらいです。	一度事故が起これば人の手に負えないようなものは早急に廃止するべきだと思います。最終的にはゼロにし、段階を追って減らしていけばいいと思います。その段階の中で、20～25%にするとか15%にするとか いうのは考えられることだと思います が、早くゼロに向けて動き出すべきです。
19716	個人	無職	60代	男性	人類の生存に危険な原発をなくすため、原発再稼働に反対します。省エネと再生可能な自然エネルギーの技術開発を強力に進め、原発に頼らず安心して生活できる日本を取り戻すべきです。	原発から出る放射性廃棄物を処理する技術も場所もない状態で原発を稼働させるべきではありません。放射性物質が安全になるまでの数万年もの間無事に保管できる場所など地震多発地帯の日本のどこを探してもないことは明らかです。我々は原発というこのような危険なエネルギーに頼りながら一方でエネルギーを無駄使いして見かけの豊かな生活を送ることの矛盾にも5気づかなくてはなりません。脱原発は経済性とか利便性の問題ではなく、子孫への愛情、人間の倫理観の問題です。原発をなくさなくてはならない理由は今回の福島の事故のような運転中の事故の他にもいろいろあります が、最も基本的な問題は原発を使用し処理できない放射性廃棄物を蓄積させ、危険な状態で放置することです。放射能におびえながら無駄遣いする生活より身の丈にあった安全な生活の方を選択したいと国民は感じ始めています。 再生可能な自然エネルギーの技術開発は、地球温暖化防止、エネルギーの自給、技術立国の維持の面からも、最優先の国家政策として取り上げる必要があります。自然エネルギーの柱は太陽光発電と風力発電です が、発電出力が一定しない、コストが高いとの経済性、利便性の理由から敬遠されています。本当にそうでしょうか？ 自然エネルギーの技術開発努力が足りないのではないでしょうか？ 最終的には人類には自然エネルギーしか残らないのですから、今からでも本格的に技術開発を促進すべきです。開発の中心は出力が変動する発電を広域で平準化して融通して送電する“スマートグリッド”と、特に風力発電に効果がある蓄電技術です。例えば、風力発電は夜間も発電可能ですので、電気自動車をもっと普及させ、夜間に蓄電し昼間に使用します。太陽光発電、風力発電などの自然エネルギー関連産業を世界に先駆けて低価格化、輸出産業に育て、日本の活性化と安全保障にも貢献させながら国民の安全を守る手だてを講ずることが今最も必要なことです。
19717	個人	家事専業	30代	女性	「エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 原発をすぐに停止する。停止した後、すべてを安全に廃炉する。	原発が動いていなくても、電力の供給には困らない。 地震が多い日本で原発を動かすべきではない。 原発の事故は、必ずまた起こると思う。
19718	個人	自営業	70代	男性	15シナリオに賛成	原発の危険性ばかり強調しないこと
19719	個人	家事専業	70代	女性	原発はできるだけ早くOにしてください。	原発を擁護している意見のロジックは電気＝原発というものです。 つまり電気が足りないと困る人々のことを語り、原発は必要と言っている。 しかし電気＝原発ではありません。他に電気はあるのです。反原発は反電気ではないのです。違うもので発電しようと 言っているのです。 反原発のロジックはただ、生命を自然を環境を、我々が生きるために必要な 大前提を守りたいだけなのです。 こんな簡単なことも判断できず、今までの権力構造を変えられず 原発を止められないなら、政治というものは この現代においてまったく役に立たないものと証明することになるわけです。
19720	個人	会社員・公務員	60代	男性	20～25%ではさげすぎ。震災前に制定されたエネルギー基本計画で行くべき。 原発依存度45%まで引き上げる	GDPが下がり、国防意識からも原発をやめるべきではない。
19721	個人	その他	30代	男性	原発反対。	処理できない物はつくらない。 制御できない事をするな。 予想外の事が起こるから事故。 ありえるから事故。
19722	個人	自営業	60代	男性	原子力発電を否定する社会環境ですが、私が知る原子力発電は稚々なエネルギーを検討しても他の自然エネルギーで代替できるものはない。従って、基幹エネルギーとすべきです。	福島第一原発の事故は1000年に一度の想定外の津波による天災で、非常用の電源喪失が発生して起こったものです。電源喪失がなければ安全に停止出来たと私は判断しています。水素爆発も電源の喪失がなければ適切に排出出来あのような大爆発は起こらなかったと思っています。従って、今回の事を教訓として問題点を改善してやれば何ら問題がないと思います。放射能の問題は最近ブラウンガスで無毒化が出来る実験成果を上げている研究室もあると聞くので、放射能の問題も近い将来解決出来ると思います。従って、むやみに恐れるような不評被害を出すべきでありません。 ここで、自然エネルギーを推奨する方々がいますが、私が調べた結果は全く基幹エネルギーになりえません。以下にその問題点を述べます。 1、太陽光発電については、お天気任せで稼働率が悪い。梅内のメガソーラーは稼働率が僅か12％と言う有様です。本州でも良くて30％前後と言われています。しかも膨大な設置面積を必要とします。電気の品質も悪く製品製造には使えない粗悪な電気です。 2、風力発電も風任せで電圧や周波数の維持には問題があります。 3、地熱発電の発電用タービンは原子力発電と同じですが、問題は地熱からの蒸気は硫黄を含んでいる為にステンレス配管でも腐食して、維持管理に問題があります。タービンにも付着して絶えずメンテナンスが必要です。更に井戸の枯渇が早く絶えず井戸を掘り直さなければ出力ダウンを起こしてしまいます。 以上全く当てはまりませんし専門家の知恵を拝借し判断を頂くようにすべきです。これくらいも大衆迷妄の愚かな意見聴収をすべきでありません。 最後に、私が最も有望と思うのは高速増殖炉です。通常の原子炉で0．5%しかウランを利用できないそうですが、高速増殖炉は60倍利用出来るそうです。従って、高速増殖炉は国を挙げて開発すべきです。
19723	個人	自営業	60代	男性	「エネルギー・環境」に関する選択肢」について一度ちゃんと議論を止め、具体的な廃炉のエ程に入るべきだ。核燃料の処分の技術の研究も最重要課題とすべき。このままでは後世に大きな負の遺産を残すことになる。	福島第一原発の事故は、取り返しのつかない環境破壊を引き起こした。しかも奇跡的に今日の汚染レヴェルに止まっているのであって、これまでの過程の中でももっと過酷な可能性もいくらでもあったし、まだ途上、むしろこれからである。もっとひどくなれば東電の破綻どころか、国が破綻する可能性もあったし、これからもありうる。同じレベルの事故でも大飯原発などのように都市の水源や人口の多い地域に隣接していれば、人的経済的に破壊的被害になる。どのような有能な政府・行政組織であっても、コントロール不能である。 すでに「脱原発」を決めた独・伊と共に、『日独伊脱原発同盟』を結んで脱原発を積極的に先導し、世界の流れを変えることに大きく踏み出してはどうだろうか。
19724	個人	家事専業	60代	女性	原発の再稼働に反対します。新たなエネルギーを作り出すよう国は努力すべきです。	福島の事故から1年以上がたった今でも、福島原発は放射能をまき散らしています。被害を食い止める方法も講じられないまま、放置せざる負えない状況です。こんな中、原発の安全性は確められたとして、原発を再稼働するのは、理解できません。福島では、多くの人が帰宅できない状況が続いています。関東地方でも、放射能による農業の危機や子供たちの安全性が疑問視される状況が続いています。「国民を守る」ために再稼働といわれていますが、誰を守るために原発を稼働させるのでしょう。新しいエネルギーを模索していくことが急務です。
19725	法人・団体等	会社員・公務員	20代	男性	電力の供給力不足や使用料金上昇等が続けば、国内製造業の国際競争力は大きく脅かされる。生産拠点の海外移転が加速され国内産業の空洞化を懸念するものであり、「ものづくり産業」活性化の観点が不可欠である。	わが国を取り巻く状況は、電力需給のひっ迫に伴う輸入化石燃料の高騰、超円高の継続に伴う輸出型産業の業績低迷、再生可能エネルギーの導入促進による電力料金の上昇など、今まで以上に厳しい状況を想定せざる得ない。こうした状況が継続すれば、国内製造業の国際競争力は大きく脅かされ、生産拠点の海外移転は更に加速し、それに伴う雇用調整も想定され極めて大きな課題になってくるものと懸念する。 したがって、エネルギー・環境政策の最終結論は、わが国「ものづくり産業」の国際競争力確保・活性化の観点を含め、健全な経済成長に向けた成長戦略の策定とその実行が不可欠である。
19726	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	「ゼロシナリオ」を選択	「3．11福島原発事故」で明らかなように、原発の危険性から私たちの命を守るためには「ゼロシナリオ」しかありません。原発を稼働し続けることは、将来にわたって危険な放射能を残すことであり、使用済み核燃料の処分技術や処分場所が不確定な中で、原発を稼働させることはできません。自然エネルギーへの政策転換を図るべきです。
19727	個人	自営業	50代	男性	ゼロシナリオを選択します。	使用済み燃料の抜本的解決策が見いだせていない以上原子力発電所を継続していくのに無理が有ると考えます。どうしてもというなら、まだ、不確定技術ですが、常温核融合以外に道は無いでしょう。再生可能エネルギーは出力が不安定で良質な電源として使えない意見がありますが、これは、蓄電装置又は蓄エネルギーシステムの開発が鍵を握っています。8年以内なら開発は可能と考えます。
19728	個人	自営業	60代	男性	原発ゼロ・シナリオを支持します。 原発は危険な技術であるとともに、後世代に負の遺産を残すものです。	原発ゼロシナリオを支持する主な理由は以下です。 1．福島事故で学んだように、原発はいったん事故を起こすと、人々の健康と経済に取り返しのつかない被害を及ぼします。 2．放射性廃棄物の最終処分方法さえ決まっていません。後世代に負の遺産を残す無責任さは許されません。 3．いわゆる原子力ムラに取り込まれた原発行政の仕組みはいまだに改善されているとは思えません。また、隠ぺいを繰り返す東電等事業者に原発を運転する資格があるとは思えません。 4．まずは福島事故の原因を解明し、廃炉と除染への道筋をつけることが何よりも優先されるべきです。 以上
19729	個人	パート・アルバイト	40代	女性	原発はすべて廃炉にし(その後の処理でかなりの額が必要だが、使い続けるより危険が少ない)欧州諸国を見習い、日本もクリーンエネルギー(太陽光、風力、地熱発電)等に力を入れて欲しいと切に願います。	私が住んでいる神奈川県川崎市でも、放射能汚染はあるし、食べ物も安心して食べれません。 将来、被爆が原因で健康被害が出ても、被爆が原因と特定しづらいため、何の保証もないし、いつも自分たちの保守と利益のためだけに政治をやってる政治家たち、いい加減ちゃんと国民のこと(健康・安心・安全・幸福)を考えて政治をやってほしいと思います。 原発の利権もすべてなくし、政治家や原発を招致した人達は、欲張りな心根(エゴ)を断っていただきたいです。
19730	個人	家事専業	60代	女性	私は、原発0%シナリオを選択します。 他の選択肢では、使用済み核燃料の再処理を進める可能性があります。 原発をいつまでに何基減らすかというシナリオを提示すべきです。 3案だけというのはおかしい。	原発0%シナリオを選択します。 理由は、(1)福島事故の解明されていない。(2)地震国日本に原発は危険です。 (3)電力は他の選択肢が可能。(4)命と原発を比較はできない。 (5)使用済み核燃料の処理が確立されていない。 (6)他のシナリオは、使用済み核燃料の再処理の道を残すことになる。 などの理由で原発のない社会を選択します。
19731	個人	家事専業	60代	女性	2030年のエネルギー・環境に関する選択肢で： ゼロシナリオを選択致します。 今後の日本の技術力を信じて、原子力発電を利用しないエネルギーで発展して欲しいと考えます。	原子力発電に関しては、安全な最終処理が極めて困難であり、狭い日本でその処分場を決定するのは至難のことです。特に、日本は地震列島と即揺れるくらい地震の多発地帯であり、日本全国のどこであっても天変地異の恐怖から逃れることはできません。 現在保存している使用後核燃料の処理過程も構築できぬまま、危険な核燃料を増やすことには絶対に反対します。 私達は少しくらいの不便や費用負担は致仕方ないと思います。ほんの数十年前まではもっと簡素な生活をしていたではありませんか。 原子力発電は安価という間違った発想は止めましょう。例え安全に稼働したとしても、最終的に処理するまでの費用は莫大なものです。そして、一度事故が起これば、その被害は甚大であり、一企業が保証できるようなものではありません。 エネルギー政策の抜本的な転換を要請します。
19732	個人	無職	60代	男性	原発に依存しないエネルギー施策をたてよう。	福島原発の破壊による「放射能汚染」は大変なことです。 これ以上申しあげることはない。 関西電力の原発が稼動されたが、もし、不幸にも「破壊」されたら、・・・、大変だ。 「琵琶湖」の水が汚染されると予想される。 そうなると、どう？ 「琵琶湖」の水で生活している人々は・・・・・。 大変な人々の生活が失われる。水はどうするの？ このような心配が起こることが予想される。 ぜひ、原発依存の生活をやめるように、国は施策をたてよう。
19733	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	(1)ゼロシナリオを選択します。原発事故後の処理が進まないまま、多くの人々が苦しんでいる状況で原発推進政策は愚策です。原発がなくても代替エネルギーで電気が足りることが証明された今、脱原発政策へと転換すべき	2012年7月26日 23区南生活クラブ　理事長　岡本京子 「エネルギー・環境に関する選択肢」についてのパブリックコメント (1)ゼロシナリオを選択します。 フクシマの原発事故後の処理が進まないまま、多くの人々が苦しんでいる状況で原発推進政策は愚策です。原発がなくても代替エネルギーで電気が足りることが証明された今、脱原発政策へと大きく転換すべきです。 1．原発を稼働すれば、放射能を放出し「死の灰」であるプルトニウムを製造し続けることになります。いつまでに原発ゼロにするのか、時期が明記されていません。はっきりと目標をもち、出来るかぎり今すぐ原発をゼロにすべきです。原発がなくてもエネルギーは足りることは多くの研究者によって明白になりました。原発で働く人々の雇用問題が引き合いに出されますが、廃炉にしても永い将来にわたって維持管理しなければならない原発は、今後も雇用を生むことになるはずです。 2．昨年の夏と冬の前の年に比べ約30%の省エネを実現しました。エネルギーを多く使うのは家庭ではなく産業部門です。まだまだ省エネの余地はあります。発電転換時、送電によるエネルギーの無駄は多く、国として率先して省エネを行うべくシステムの変更をすべきです。シナリオ上、省エネの割合を約1割としているのは消極的です。 3．3つのシナリオとも省エネの見込みが小さく、その分、化石燃料依存度が高いのはおかしいです。脱原発と脱化石燃料を両立し、石炭依存からの脱却を図るべきです。 4．再生可能エネルギーは、ゼロシナリオにおいて35%としていますが、もっと増やすことができるはずです。一時は、太陽光パネルの設置が世界一といわれた日本が政策の誤りにより、すでに大幅に水をあけられています。太陽のエネルギーは、化石燃料とは比較にならないほど大きく無限です。 5．原発に依存しても「温室効果ガスの排出量を2020年までに25%削減する」という目標は達成できませんでした。ゼロシナリオを選択すると、あたかも温暖化対策が遅れるかのように考えるのは誤りです。 6．再処理は破たんしています。また、仮にパ～ク所再処理工場が本格稼働すれば、核兵器1000発分のもプルトニウムが毎年製造されることになります。「平和利用」という名目で世界最大の核物質を保有することになってしまった日本が、これ以上の増産をすることは認められません。 7．再生可能エネルギーは、まだまだ可能性のある新な技術が誕生するまさに「技術立国日本」の待望の分野です。電力の自由化や発送電分離は、新たな可能性への必要不可欠なシステム改革でありビジネスチャンスとなります。 8．再生可能エネルギーを選択する消費者は、これ以上、次世代に負の遺産を残したくないという思いから、未来への投資を願いません。
19734	個人	パート・アルバイト	30代	女性	ゼロシナリオ（0%）を 強く指示します！	ゼロシナリオ（0%）を 強く指示します！ 原発事故があったからこそ、 世界に堂々と原発に頼ることを止めると言えます。 今しかないです。 今がチェンジできる時です。 日本独自のかしこく優しい暮らし方を世界に発信して下さい。 どうか未来へ繋げてください。

19735	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロ・シナリオを選択 最優先されるべき判断基準は、事故発生時の損害の大きさ。 事故は必ず発生するもの。 日本で恵まれた水力を低コストで利用し原発依存なしの電力確保が可能。	ゼロ・シナリオを選択 最優先されるべき判断基準は、事故発生時の損害の大きさでしょう。 事故は必ず発生するものです。 これは自明の事実です。 原子力に限らず、全ての自然、人工物は完全ではありません。 飛行機は、ライト兄弟以来、落ちなくなった歴史はありません。 歴史のある舟ですら、沈没しなくなった歴史はありません。 原子力だけが完全などと言えるはずはないでしょう。 もちろん、火力、水力など、他の発電システムも同様です。 ならば、まずは、危険性の高さを判断の第一に持ってこなければなりません。 原子力事故による損害は他の発電システムとは比較にならないことは説明するまでもありません。 火力なら、火災などが考えられます。 CO2排出など、環境への影響も損害の一つです。 原子力と比べれば、極めて小さいですが、無視できるほどでもありません。 風力は、プロペラによる鳥への影響、設置場所の自然破壊、低周波による影響などが考えられます。 地熱は、地下水脈の変動などが考えられます。 水力は、ダムの決壊があります。損害としては無視できません。 ただ、水力の場合は、ダムに頼らない小水力発電もあります。 事故時の損害の大小で、絞られた選択肢から先は、コストが問題になります。 先に挙げた小水力発電なら、大量生産も可能で、コストダウンも期待できます。 日本には、水力という恵まれた資源があります。 資源の確保も比較的容易でしょう。 低コストで発電量も確保できるため、コストパフォーマンスも大きくなります。 簡単に建設できるため、時間もかからないでしょう。 ゼロ・シナリオ以上に、高率を確保できることでしょう。
19736	個人	自営業	50代	男性	ゼロシナリオを選択し、可能な限り早期にすべての原子炉を廃炉にし、原子力によらないエネルギーを選択すべきである。	原発の安全性は何ら担保されていない。地震、津波の自然災害はもとより、他のリスク要因も無視できない。また、核廃棄物の処理ができないなど、そもそも欠陥だらけのエネルギーだ。そして、ひとたび事故が起これば今回の福島の例をみれば明らかなとおり、およそ取り返しのつかない規模の被害をもたらすことは実証された。万が一、再び事故が起こることになれば、日本社会は崩壊しかねない。特に子どもたちを中心とした健康被害は深刻の極みである。このようなリスクを冒して、なお原子力を選択する理由は全く思い浮かばない。生命や健康を上回る価値など存在しないのだから。仮にそのことによって、現在の利便性を維持できないとしても、それは喜んで甘受します。命と健康、子どもたちの未来に勝る価値などないのであるから。
19737	個人	その他	50代	女性	原発はすべてなくし、0%にするべきである。	日本のような地震国に原発はあってはならないものである。ましてや、大半の原発が活断層の真上に立っているのはとんでもないことである。すべての原発を廃止してほしい。 また、大飯原発は安全である、という何の根拠もないデタラメを述べて再稼働を押し切るなどという態勢が、その危険性に拍車をかけている。 日本の技術力をもってすれば、安価な再生可能エネルギーの開発はじゅうぶん可能であり、政府はそちらを推進する方針を取るべきである。 もしこのまま原発を再稼働させたり、稼働年数を延ばしたりということをしていれば、今後必ず第二、第三の福島が起こると思う。そうなってからでは遅い。原発推進をやめない人々のせいで、日本が滅びるのは勘弁してもらいたい。
19738	個人	パート・アルバイト	40代	男性	原発を減らして　電力不足が起こったら　夏は熱中症になる人が増え　冬は凍死する人が　増えます　そして産業が海外に移転し　国内産業の空洞化が進み失業者が増大します　中小企業が次々倒産します	政府は左翼の言いなりにならず　原発を震災前と同様に稼働すべきです 再生可能エネルギーはドイツで電気料金の大幅な上昇を招き失敗しています もし中東で戦争が始まったら　シーレーンが危うくなります　そうした エネルギー安全保障も考え　原発は維持すべきです せっかくここまで　発展した日本という国を　左翼の言いなりになって 没落させないでください
19739	個人	無職	60代	男性	危険な原子力発電に反対し、(1)ゼロシナリオを選択します。	原子力発電に反対し、原発依存度は(1)ゼロシナリオを選択します。 その理由は、原発の危険性です。福島の事故を見ると、リスクが大きすぎると思うからです。
19740	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	税原発への政策転換を求めます。再生可能エネルギーを活用し、「ゼロシナリオ」を基本に制度の設計をお願いします。	日本は地震、津波、台風など自然災害の多い国です。福島第1原発事故は原発の安全神話を崩壊させ自然の脅威を証明しました。島根原発周辺にも活断層が存在し、いついかなる時に大地震が発生し重大事故につながるか分からず、住民は常に不安を抱えています。絶対的な安全を実現するには、原発をなくすしかありません。「ゼロシナリオ」を基本とした自然エネルギーへの早期転換を考え及べきです。
19741	個人	自営業	60代	男性	原発は廃止する	核燃料廃棄物がたまり続けて処理方法がない。原発内に保管することは事故時の危険を増大させることであり、危険極まりなく、言語道断。
19742	個人	その他	80代以上	男性	原発反対全部直ちに廃止する	原発反対全部直ちに廃止する 活断層があったり技術が複雑で危険だから即時全部廃止する
19743	個人	無職	70代	男性	原発0%を支持します。	地震国日本では、原発の長期的な安全操業は確保しがたい。仮に安全操業が可能と，１００歩譲って仮定しも，使用済み核燃料・放射性廃棄物の抜本的処理は不可能である。
19744	個人	自営業	40代	男性	1、ゼロシナリオ できるだけ早くゼロにしてほしい。 2030年には確実にゼロに！	原発の事故によって命の危険に晒され、日常の生活を奪われている人がたくさんいる現状をみながら、ゼロシナリオ以外の選択は出来ません。これから先、新しい原発はひとつもいらないし、今ある原発も順番に廃炉にして、事故のリスクを減らすべきです。便利な生活よりも命のほうがたいせつですから。
19745	個人	無職	60代	男性	「エネルギー・環境に関する選択肢」の中から選ぶなら、「ゼロシナリオ」にならざるを得ないが、私の希望としての意見は、「原発の即座の全廃」である。	意見 私の意見は、「原発の即座の全廃」である。用意された「エネルギー・環境に関する選択肢」の中から選ぶなら「ゼロシナリオ」であるが、２０３０年などと悠長なことは言ってはいられない。 理由 １．原子力が人類にとって制御できない代物であるため、危険極まりない 　一未来の子どもたちのために、残してはいけない ２．原発で発生する核廃棄物の処理方法、最終処理場所が定まっていない 　福一原発事故の発生により、立検補する国（場所）が皆無となることが確定したと思わざるを得 　ない。また、今想定している封じ込め法で、危険性がなくなるまで何万年もかかるようなものを将 　来の人類に対するようなとはすべきでない（神でもしない。まさに「現代のパンドラの箱」） ３．仮に一層の莫大なコストをかけて地震、津波に耐えられる原発ができたとしても、テロ攻撃には 　　耐えられない（飛行機突入、爆弾落下、ミサイル撃ち込みまで考えると・・・） ４．原発による電力料金は本質的には高い 　福一原発事故の賠償コストを如何に算入するか、今後発生しうる事故の同コスト、核廃棄物の 　処理コストを如何に見込むか、そうでなくても、すでに発生しているが料金に反映されていない、 　原発立地地域への政府援助・支援歳出、国内で原発を運営するが故に必要となっている政府 　組織コスト（経産省・文科省関連部門、原子力安全委員会、規制組織（旧保安院）等）、夜間の 　揚水発電コストなどなどを考えれば、原発電力料金は超馬鹿高となる。 原発がなくなっても行けそうな気がするが情報がない、あるいは隠蔽されている（？）ので、正しい判断ができない。東京電力でいえば、今すべての原発が止まった状態にあり、原発依存ゼロは実現している。。昨年の関東で「計画停電」が実施されたのは、夏場の７日間に過ぎない。 もしもできないとしても、日本人は、対策の具体例が示されれば我慢をする可能性があると思うし、 仮に脱原発で電気料金が上がることになるとしても、受け入れるのではあるまいか。 むしろ原発は止めて、代わりのクリーンエネルギーに国全体の技術力、全資源・資金を集中する方がスマートだし、未来志向。先行して優位にたてば、リードできるし、人類への貢献となる。 こんな適当なシナリオや意見収集でなく、「国民投票」で全国民の意見を聞くべき。投票結果もさることながら、投票に至る過程で情報が広く公開され、専門家の知見が披露され、議論し、意見を交換などを通して、真に国民を巻き込んだ広く深い議論が達成されることになる。　　以上
19746	個人	その他	50代	男性	2030年のエネルギー・環境に関する選択肢は、(1)ゼロシナリオを希望します。 更に、現在稼動している原発を停止し、日本国内にある原子力発電所の出来る限り早期の廃炉を希望します。	2030年のエネルギー・環境に関する選択肢は、(1)ゼロシナリオを希望します。 2030年迄は原発を存続する前提のパブリックコメント募集は、あきらかに国民の真の意見を聞く姿勢に反すると考えます。出来る限り早期に、現在稼動中の原発を止めることと全ての原子力発電所の廃炉を希望します。 福島原発の問題が未解決のまま、原発を再稼動させたことは許せません。また、全く当初の計画通りに技術開発されてなく、いまだに成功しない核燃料リサイクルを前提とした原子力政策を進めることは無謀と考えます。 私は、社会福祉法人立の保育園で園長をしています。 震災とその後の福島原発の問題で、日本の宝である多くの子どもたちにダメージを与え、更にその後の国及び政府の対応のまずさから、多くの人の不信・不満を増大させました。そして、次々に明るみにされた嘘・誤魔化しにより、希望を奪いました。 もし本当にこの国と世界と地球の将来を考えるのであれば、経済優先の政策をやめ、争いの抑止力としての核の技術研究の継続ではなく、核（放射能）の病の治療技術の確立や地球規模で豊かさを享受できる新エネルギー技術を開発できる能力のある人材を生み出せるように、教育に力を入れる必要があると考えます。そのことが、将来あるご子どもたちに希望を与え、日本に豊かさをもたらし、日本が世界平和に貢献できるようになると考えます。
19747	個人	会社員・公務員	30代	男性	2030年の原発依存0%『ゼロシナリオ』が今後の日本のエネルギー・環境保全の方向として進めるべきだ。	原発は、人間の英知の結集であることは否定しませんが、3.11の東京電力福島第一原発事故で明らかになったとおり、人工物は、自然の前では完璧ではいられないのです。必ず人工物は壊れるものだという認識をもつべきです。自然災害大国の日本での視点は、とても重要ではないしょうか？ あれだけ甚大な被害をもたらす原発施設が、今は大丈夫でも後々壊れる恐れがあるなら、原発に依存しないのが正しい道だと考えます。危険と隣り合わせとなるものと国土は共存などできませんよ。 また、原発を続けるということは、将来この日本を担う子どもたちに事故が起これば対策方法もない危険な放射能を残していくということです。使用済み核燃料の始末の技術も確立されていない中、この日本に危険物質を増加させるということです。 福島の今の現状を見れば そんなことができるはずもありません。政府が一番に考えるべき「国民の生命・安全・財産」を原発事故は粉々に砕いたではありませんか？そもそも原発施設がなければ、事故後に我々の税金を東電なんかに投入する必要もなかった。もっと災害に遭われた地域の復旧に当たられたと考えます。 そして今も福島第一原発の根本的な解決に至っていないではありませんか？ そんなか、まだ原発に依存しようとする意見が存在すること自体が信じられません。 今後は、再生可能な自然エネルギーの活用を図り、原発に依存しない新しい日本スタイルを世界に発信すべきだと考えます。 ぜひ、『ゼロシナリオ』を推進してください。
19748	個人	学生	20代	男性	シナリオー(1)ゼロシナリオ 燃料電池とメタンハイドレートによるコジェネレーションの普及で家庭・工場の電源を賄い、そのために生じた余剰供給力分の原発を全廃するべきである。	[原発依存をやめる方法] ・燃料電池によるコジェネレーションへ都市部のエネルギー源を移行する 私の在学する大同大学をはじめとする多くの大学等で燃料電池の研究が行われている。 そして、日本海溝に大量のメタンハイドレートが埋蔵されており、その掘削研究も現実のものとなっている。 これらの技術を10年後を目途に実用化し、コスト低減と普及促進を図ることで2030年の段階においてシナリオ目標(普及率一般家庭10%、発電率15%)を大幅に超える、家庭普及率30%、発電率45%程度を目指すべきである。 太陽光や風力などのいわゆる「クリーンエネルギー」にだけ頼ろうとし、それが困難なことを理由に「原発が必要」という答えをもちだす議論に危機感を覚えており、もっと「燃料電池」という第3選手を育てたいと思う。 燃料電池の最も大きなネックはコストであり、その原因は触媒に白金を用いていることである。 そのため本体価格が高額であり、電気料金との差額で原価償却を行う2.40年近くかかってしまう現状である。 この状況を解消するためには、 (1)海外で開発が進んでいるカーボンナノチューブを用いた無白金触媒を実用化する (2)国内で開発に成功した金属ナノ粒子可溶化技術を実用化する などの方法で触媒の大幅な低コスト化を実現することが必要となる。 この研究開発費に、「将来的な原発稼働ゼロ」を前提とした改革により「もんじゅ・六ヶ所村再処理工場全廃」を実現し、そのために投入されている費用を燃料電池開発に振り分けることを提案する。 そして、各機関への研究開発費を倍増し、より多くのトライアンドエラーを行えるようにするべきである。 同時にメタンハードレートの掘削技術開発および事業化への補助金も同財源から積極的に支出し、都市ガスの価格を大幅に削減するべきである。 上記2つを10年後をめどに実用化し、残りの8年を使って燃料電池の一般家庭・工場設備への普及や都市ガスのメタンへの切り替えを進めることで2030年時点での原発稼働ゼロを勝ち取らなければならない。 この案は燃料電池の燃料となる水素はガスから取り出す方式を前提としているため、安価なガスを使用できる都市ガスの敷設地域でしか利用できず、プロパンガスの供給に頼る地方では普及に時間がかかると思われる。 しかし、都市ガスの利用できる都市部では18年後、電力はすべて燃料電池で賄うのが常識となり、「電力会社を利用するのは田舎」といわれるような状況になっている可能性は十分にあるはず。 同時に、都市ガスのない山間部では水利権の緩和により、量産化でコストが半減した小水力発電機によって家庭用電源を賄い、こちらでも電力会社は不要となっているかもしれない。 [原発をやめなければならない理由] ・政府の「安全」が嘘であるから 野田政権は「安全な原発は動かすべきである」との発言を繰り返しているが、実際に行われていることは免震重要等もベントフィルターもない、しかも敷地内に活断層の存在が指摘されている

19749	個人	自営業	30代	女性	「中長期的には原発依存度を可能な限り減らす」ではなく、即時、脱原発への選択をお願いします。	原子力がクリーンエネルギーだなんて幻想をずっと持ってしまった今までを後悔しています。 よく考えれば、ヒロシマ・ナガサキと同質のものですもの、クリーンな訳がありません。経済成長のために頼らざるを得なかったのか、はたまたアメリカの圧力によって導入せざるを得なかったのか、、、経緯について勉強不足で申し訳ありませんが、昨年の311を経て、まだ原発依存する国の選択に何故？と問いたくなります。 「原子力発電の事故リスクをいかに管理していくか」自然災害の前に管理は出来ない事を私たちは肌身を通して体験したはずです。 日本経済のことを考えても、既に失敗のように思います。今からでもソーラー、風力、地熱エネルギーの開発に力点を置いた方が、将来性がありますよね。。。 昨年のような日本をみて、どこの国が日本の原発開発技術に頼ろうとするのでしょう？ そして、多くの人が疑問に思っていること。それは電力は本当に足りないのか？だと思います。昨年1年間福島原発は稼働せずにきましたが、東京に停電はありませんでした。「一度頼らずやってみたら、案外できるんじゃない？」そう考えてはいけないのでしょうか？ CO2の問題は？となりがちですが、それは政府の節電の広告がたりないように感じます。。。もっと　告知を、こうしてwebをつかえるような人々に対してでなく団塊の世代以上の多数の人たちにお願いしたい。 技術的に核のゴミの処理もまともならない、核リサイクルって本当に実現するの？　その作業をするのは、原発銀座のような産業のない地域の人が請け負うのですか？　その人たちは健康はどの程度保証されるのですか？　その負担額は税金からですか？ 考えると疑問だらけになってしまいます。いい結果が見えてこない。 これからも負の尻拭いを後の世代に残してしまう産業。 そんな原発は未来ある産業ではないですよね。改めて、より安全な電力を安価で提供できるように政府と電力会社は努力すべきであり。さらなる自然エネルギーの効率的利用を可能にするよう、本当に豊かな国をつくるよう精進してください。 多くの国民が誇り思えるような政策を求めます。いま政府の決断にはそうとうガッカリです。首相、こんなでは　あいだみつおさんも泣くと思います！
19750	個人	家事専業	50代	女性	原発比率0パーセントを希望します。 再稼動などありえません。	今の日本の体制では、安全に原発を動かすことなど不可能だと思います。 福島の原発事故の後始末もできないのに、再稼動などもってのほかだと思われます。 我が家には幼い子どもを連れて、関東で暮らす事を断念した娘がいます。 家族離れ離れで暮らし、経済的にも精神的にも大変な思いをしています。 国民の生活、食料の安全を脅かす原発など、動かさないで下さい。
19751	個人	会社員・公務員	50代	男性	原子力発電は30%以上必要である。	国家のエネルギー政策は、現状の原子力発電30%以上が必要である。 地震による原発事故を受けて、菅前首相が原発の安全性を訴えて原発停止の流れができ、違日のマスコミの原発反対報道により国民を不安の中に陥し感情論で原発反対が国民の総意であるかのような報道がされ続けている。しかし、福島の事故で亡くなった人はいないのである。また最近の報道では「福島・宮城県以外でストロンチウム90が観測され危険」などの報道もされているが1960年代大気圏核実験がされて日本に降り注いだ量の60分1程度であるとのも記載されているのを読む限りでも原発反対を誘導しているとしか考えられない。こうした正しい原発の情報が国民に知らされていない中で、原発専門家の意見を除外した政策意見での政策議論は正しい選択がなされないと考える。国のエネルギー政策は、国防と関係し、安易な感情論が国民の総意だと判断されるのは危険である。原発停止後は化石燃料による火力発電で まかなっているが、その燃料は他国からの輸入であり経済的な損失も大きいばかりか、安定的に供給される保証はない。アジア情勢は不安定でありシーレーンが抑えられれば日本は電力危機に陥るだけでなく国の存亡にも関わる問題である。国のエネルギー政策は他国に依存しては危険である。原子力発電は安全であり国防上も重要である。さらに日本の原子力の技術は高く、世界の国々にとっても必要な技術である。その技術をなくさないためにもさらなる安全性の高い原発を製作し他国のエネルギー政策にも寄与すべきである。
19752	個人	その他	60代	女性	省エネ・自然（再生）エネルギー（太陽光・風力・地熱・潮力・バイオマス等）によるエネルギー供給計画をたて、全ての原発を早急に廃炉する。即ち、2030年以前に原発へのエネルギー依存率をゼロにする。	・チェルノブイリ、スリーマイル、福島の原発事故などの経験からわかるとおり、災害の影響や人為的ミスによる事故が不可避である。原発から放出された放射能汚染の影響は甚大であり、生命・環境・経済を長期にわたっておびやかす。 ・放射性廃棄物の処理には莫大な時間と費用を要する。原発用地費用や建設費だけでなく、廃棄物の処理・管理、事故の賠償や廃炉費用をいれるともっとも高コストのエネルギーである。たとえば、使用済み核燃料は30年間冷却後、ガラス固化体・ステンレスのキャニスターで密閉し、地中深く保管しなければならない。この放射能が無害レベルに達するには数万年から200万年を要する。しかも、その技術は未だ確定していない。人類が責任を持てないような廃棄物を生み出すエネルギー源を選択すべきでない。 自然エネルギー資源は国内にあり、しかも廃棄物を（プラント以外は）生み出さない。 ・「安全神話」、「原子力村」、「原子力マネー」といったことばに象徴されるように、一部の専門家といわれる人たちにしか扱えない危険なエネルギー源は、情報の管理・操作・隠蔽、国家統制、利権といった問題をひきおこす。 ・テロの襲撃やミサイル防衛上、標的となりやすい危険な存在でもある。 ・原発はCO2を出さないクリーンエネルギーとして温暖化防止に役立つとされてきたが、自然（再生）エネルギーという代替物がある。これらに開するわ日本の技術は世界をリードしている。 ・原発立地地域の雇用・産業の問題については、廃炉までの期間（この間も雇用は生まれる）に産業構造の転換計画をたてるのが良い。自然エネルギー誘致もその選択肢の一つであろう。
19753	個人	自営業	60代	男性	原発はすぐにでもゼロにすべきだと考えます。そして早急に代替のエネルギー、特に再生可能エネルギーの開発に全力を注ぐべきです。そうしなければ将来の日本に禍根を残すだけに違いありません。	今私たちがしなければならないことは一刻も早く原発への依存から脱することです。原発については単純にエネルギーの問題とだけ考えるのは危険です。原発はどうやっても何十万年も放射能を出し続けます。核廃棄物が残ります。、現在の科学ではその処理は不可能です。ともかく危険極まりなく処理で きないものを、もうこれ以上増やすことはできません。これは原発事故が起るか起こらないか、原発事故を起こさないようにするには？という問題以前の根本的な問題です。ですから今考えるべき一番の問題はこのことです。政治は目先だけでものを決定すべきではありませんん。<br　　では、目前の問題はどうするのか？ これは政治家たち、特に政府が一致して臨めば、そして国民や企業が多少の不便を我慢すれば、可能性はあるように思います。原発への依存意識を捨てて去り、日本でのメタンハイドレートやシェールオイルの採掘や次世代の再生可能エネルギーの開発に最大限の努力をして欲しいと願っています。政府は、「政府もそのくらいは考えているし努力しているよ」と言うかもしれません。しかし、少しでも原発に依存する意識があるかぎり、これらの採掘・開発への意欲がそがれます。事実、原発0%か15%か20～25%かなどと原発への思い入れが見え隠れしているために、ますます対策が後手に回ってしまうのです。私にはそのようにしか見えません。<br　　政府が腰をすえてこの問題（原発ゼロ）に立ち向かっているのがわかりさえすれば、おそらく国民も節電などの不自由や電力料金（2倍以上になろうと）の問題も耐えられると思っています。国民の理解を得るためにも電力会社の利益のためにではなく、将来の日本のためを考えて政治をしていただきたいのです。<br　本腰を入れて原発ゼロ、代替エネルギーの採掘・開発 への道を選んで欲しいと私は願っています。
19754	個人	家事専業	50代	女性	原発比率を0%にすることを支持する。また、2030年までではなく、遅やかに0%にすることを望む。	福島第一原発事故から1年以上経過しているにもかかわらず、未だ放射能汚染に苦しめられている。本来、日本は再生エネルギーで賄うことができたはずなのに、原発を推進するために再生エネルギーの技術を封印し、海外に持っていかれた。これからでも遅くはない。再生エネルギーに速やかに移行し、危険な原発は廃炉にしていって頂く。地震国日本にとって安全は100%はないし。野田首相がよく言っている「将来の子供たちにつけを残さないためにも」、日本に原発はいらない。
19755	個人	家事専業	50代	女性	原発の割合はゼロを望む。核廃棄物を増やし続けない。電気は必要最小限にし、不便でも、経済が今までのように成長しなくてもよい。原発に使っていた予算や技術力・人材を廃炉や新エネルギー開発の方へ向けて欲しい。	福島の原発事故から、様々な事態が発生し、それに対する政府や東電、マスコミ等の対応をみて、私たち国民の無関心・無知がこのようなことの根源にあると感じました。少なくとも私はこの体験のあとに今までの日本と同じ事を繰り返してはいけないと思います。復興するにしても前と同じになることは避けなければなりません。原発による発電、もんじゅを開発すること、六ヶ所村の核処理工場を作ることは速やかにやめ方向転換すべきだとおもします。原発を他の国に輸出するなどもってのほかです。アメリカにやられたことと同じ事を他の国にすべきではありません。また電力会社を速へ ないことは本当に嫌気がさすので発送電分離や電力の自由化も進めて欲しいです。この大切な時期に生きている大人は、未来の大人たちのためにできることをするべきだと思います。無力感を感じ毎日ですが熱っていることは、今国が進めていることにイエスと言っていることになると思うのでこの意見を述べさせていただきました。
19756	個人	会社員・公務員	60代	男性	エネルギー問題は国の安全保障問題を基本に考えるべきで、単純に原子力発電を廃止するべきでない。	終戦後、昭和の時代の人たちは常に日本を世界に認めてもらう努力をしてきた。原子力発電については被爆国である日本に導入するにはかなりの抵抗があったと思う。それでも資源を持たない日本の安全保障を考え、原子力発電が導入された。それを昭和の時代の国民は受け入れた。原子力による放射線の人体への影響の知識を全く持たないで現在反対運動が起きている。病院の検査・治療で放射線を受けるとき、ほとんどの人は全く抵抗もなく放射線を被ばくしている。戦争を知らない世代の人間は戦争が起きないことを前提に（想定外）反対運動に参加している。今度こそ日本の置かれている立場、リスクを考え想定外ということのないように日本の国民が安心できる国作りをしてもらいたい。
19757	個人	会社員・公務員	50代	女性	原発必要なし。結局電力会社は再起動したら自社がコストがかかる火力をストップした。それに原価償却の積み立てが足りないのも未透視が甘かった。	今以上に便利になることも、長生きする必要もないと思います。拡大から縮小はいろいろな軋轢を受け難しいとおもいますが現代は、人間の価値が低すぎると思います。原発は、必要ないです。原発を必要としている人たちは、利権がからんでいるだけだと思います。私自身の地区も中電の原発立地区域の近くでした。原発がたったら事故があれば避難区域です。
19758	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発の比率は、選択肢1　の　ゼロシナリオを選択します	原発を廃炉にすべき理由 1、安全性が確保できない。<br　日本では地震・津波は「想定内」の出来事である。<br　それを「想定外」とすることは、ゆるされない。 2、使用済み燃料の処理方法が確立されていない。<br　即時に処理できる方法がない状態のまま、ゴミを増やし続けるなんて論外。 3、原発ではなく自然エネルギーの技術開発に税金を使うべき。
19759	個人	会社員・公務員	40代	男性	国の経済成長や国民の文化的な生活を維持するうえで20～25%以上で一定割合の原子力発電の必要性は当為である。また、震災以降、緊急避難的に火力発電にかなり依存しているが早期に縮小させるべきと考える。	原子力技術のリスクを最小限に留め、安全性を確保したうえで従来以上に原子力発電は推進するべきと考える。将来、原子力に変わる安全でクリーン、そして自国で安定供給できるエネルギーが確保されるまでの間、原子力に依存せざるをえない国情はだれもが認識しているはず。次世代に確かな未来を約束するためにエネルギーの安定確保は必須の課題です。新エネや火力など、それぞれのエネルギーにはリスクが存在するように原子力のリスクもある程度許容したうえで、福島の事故から得た教訓を活かし、日本独自の安全な原子発電技術の推進を図るべきと考えます。また、火力発電による電模供給はあくまで緊急避難的なものであり、環境負荷や資源の枯渇といった観点では決して現状維持するべきではないと考えます。挙ろ、火力発電こそ徐々に縮小させる方向で検討するべきです。火力発電用の燃料費の増加は経済成長を楽しく低迷させ、産業振興や雇用問題などあらゆる問題に波及することを懸念しています。年間3兆円にも及ぶ燃料費の増加は勿体ない！国内で循環させることができればかなりの経済効果になるのではないでしょうか。 以上ですが、一部反原発の方々からは、六ヶ所村民や原発の立地地域の住民が非国民のような扱いをされることがありますが、私たちは国の政策に協力してきたという自負があります。私たちの主張も一国民として耳を傾けていただく権利があるはずです。これまでの地域の歴史戦や事情を十分ご賢察をいただき、慎重な議論をされることを期待しています。
19760	個人	家事専業	50代	女性	情報化時代とは何か・・もう、原子力推進はシフトするべきと警告を鳴らしている。国民の税金で埋めあわせも限界。国土の安全のリスクが高い。止めるのにも早くて50年かかる。原子力なしの希望の国をつくろう。	東北の人間として、こんな怖いエネルギーはいらない。世界がどうの、国が貧乏になるの、怖くない。たかが40年前にはなかったエネルギーだ。 国際社会の尊敬を得られること、信用を得られることと吟味すると答えは出た。貿易、技術の基礎は、信頼、尊敬である。国民の支持のないエネルギーなど虚しい。 いままで、黙っていたオトナシイ国民がまたおとなしくなるとしても、この国を思う気持ちのあるリーダーは、エネルギーのシフトで国民に希望を与えるべき。 ここで、震災この痛みの中で、自然災害を超えた痛みの根底の政治や電力会社・・・ がんじがれめの黒い絆をたちきりなさい。 それで、国民の問う、エネルギーをどうするって、アメリカとどうするって、 大丈夫、希望や夢のない国を嫌う。新たな希望を持つことが一番大事。エネルギーのシフト。戦後、あせりすぎた結果がでた。あらたな希望のエネルギー研究のためにすすみましょう。 太陽光等々、健康や国土をあまりに害うものは止めよう。
19761	個人	無職	30代	女性	再稼働絶対反対です！！0%にして下さい！！	計画停電に時、火力発電所を止めたとお聞きました。理由が、電力が有り余っているから！可笑しくないですか！！あなた方は、国民に、どこまで、白々しい嘘を吐けばすむんですか！そんなに国民の命よりお金が大事ですか！！何の為の国ですか！！本当に安全だと抜かすのならば、あなた方が自分たちの身をもって証明して下さい！！福島に移住してみて下さい！！出来もしない癖に！！嘘つき！！
19762	個人	パート・アルバイト	50代	女性	水道管理と同じ様に地産地消の電気の管理で、市や県が電力会社の資産を、年3～5%買い取る事で送電線の使用を可能にし、地理条件で分けて、地域に向いた方法で発電し欠点をカバーし合う、その為蓄電池の相互利用を	原発はゼロで。 （1）各地で工業用に開発した、余っている遊休地や廃工場地、学校など、市が借り上げ、ソーラー発電をして送電と統一規格の蓄電地に貯め、相互使用に備える、 （2）不足時と夜間は、小さな自治体単位のガス発電機に寄る送電とソーラの蓄電池の両方で補う。 （3）山側の場合、 間伐材や廃棄材を利用した、バイオマス発電、そして小川を利用した、小規模発電で、 （4）海側の場合 生活排水に寄る、バイオマス発電で （5）中間地は ガス発電とソーラで、利点と欠点を補いながらの位置付けでやる。 （6）充電池を共通にする事で、車がガソリンスタンドに寄る様に電気を買う様にする。 *そんなお金をどうすると言われそうですが、原発に掛かるお金とリスクに比べたら、なんでもない事だと思います。 *決死の覚悟で水をかけてくれた人、決死の覚悟で海に潜って福島第一の取水口を診てくれた人がいたから、日本は、東日本と西日本が分断されずに済んだのですから。
19763	個人	家事専業	60代	女性	原発　0%に賛成します。	1．地震、津波など災害多発国の日本で、想定外のことが起こる状況は誰も否定　できない。そのような中では、原発を人間の力で制御できない。 2．廃棄物の処理にしても、莫大な年月と費用がかかる。つけを次の世代に負わ　せるべきではない。 3．福島の被災地の復旧未も出来ないうちに、原発再稼動など狂気の沙汰であ　る。 4．国民を信頼し、わかっている情報は出来るだけ正確に開示してほしい。 5．50年、100年先のことを考えて、賢明なる日本の指針を考える為政者　　になって下さい。 6．私も節電などいろいろ工夫したいと思う。
19764	個人	自営業	40代	男性	将来的には全ての原発をなくすべき。原発に絡む利権構造も解体されるべき。	福島第一原発のように一旦暴走したら手に負えなくなるものはいらない。稼働に伴って出る放射性廃棄物の処分方法も定かではない。 何も福島をふまえた改善策を施すわけでもなく再稼働させた関西電力の大飯原発にも不快感を感じる。経済性ばかりを重んじる社会構造の転換を求める。
19765	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオを選択。 クリーンエネルギー事業の研究・促進。 原子力研究の促進。	・ゼロシナリオを選択。 事故を起こした際のリスクが大きすぎる。 国民の努力で電力消費量はなんとかなる。させる。 発電後の最終廃棄物の処分方法が開発されていない。 危険性を認識せずに見過ごしてきた責任を全国民で担うべき。 メリットが見えない。 ・クリーンエネルギー事業の研究・促進。 雇用の促進、国際競争力の向上につながる。 事故を起こしたとしても、現在の技術で対応が可能。 全建築物に、風力、太陽光を。高層建築物には揚水発電の義務化で昼間の発電所の負荷を軽減が可能。 買い取りよりも、発電した電気をその施設で消費させるかを考えるべき。 ・原子力研究の促進。 発電後の最終廃棄物の完全無害化させる技術が必要。 洗浄以外の除染技術の開発が必要。 技術が確立出来れば、国際的な発言力が大きくなる。 事業にまで発展できれば、外貨獲得のチャンスにもなる。
19766	個人	会社員・公務員	40代	女性	『いますぐ』原発0%シナリオを望みます。	原発再稼働は絶対反対です。 子どもたちに安全な未来を残すためにも、今すぐ止めてください。 自然エネルギーの開発を推進してください。
19767	法人・団体等	法人等	60代	法人等	原発はゼロにしてください。	電気が足りない、計画停電が必要になるかも、経済が落ち込むという前に、もっと消せる電気があります。 自動販売機は今の半数でも十分便利です。 たとえ原発が止まっても次世代に負の遺産を残し続けることになり、現在・未来のあらゆる面に影響を出しました。 私たち一人一人は、選択できる状態であれば原子力や化石燃料を使う発電を決して選びません。 ソーラーパネルをつける人はどんどん増えるでしょう。 政府はその動きを最大限サポートしてください。
19768	個人	自営業	80代以上	男性	可及的速やかな脱原発を望む	日本人さらに人類全体の文明のありうるを省みれば、自然エネルギーを最大限に利用することが、未来への責任を果たし得る道と考えます。エネルギーに上限が課せられるなら、その範囲で経済活動を進めるべきで、徒に他国との競争意識に駆られれば、戦前の愚を再演するでしょう。あの時代の背伸びレースを肌で知る者として、痛感しております。

19769	個人	家事専業	70代	女性	原発推進派です。世界一科学立国で日本は道徳、科学、勤勉さにも優れてます。中国、ロシア等核保有国が現に有り侵略を狙っています。この阻止にも日本は原発設備と核兵器を持ちこの不況からも脱出することです。	原発推進派です。世界一科学立国で日本は道徳、科学、勤勉さにおき優れています。研究等を一時中断すれば日本の技術は直ちに後退するでしょう。 電力不足でつい心も暗く計画停電では企業も落ち着いて働けません。消費税増税も加われば更に不況は加速し、為替レートも円高になり日本は不利になりますます。多くの面で、適度な原発推進は世に光を放ちます。 中国等からの移民を最小限にして、健全な日本の若者を育成することです。 3.11放射能汚染は人災と風評被害が多く「低線量率放射線療法」ある位で＋もあり放射能では亡くなっていません。寧ろ交通事故や自殺者の方が多かったのです。前総理・菅は初動体制から悪く、返って日本崩壊を狙った売国奴と思える程です。 野田総理の言われるように、或る程度の原発は再稼動し地震列島日本のために、地震・津波・テロにも耐えるように研究開発をよろしくお願いします。 日本は毎年世界に逆らい、国防費を減額してきました。日本人の生命、国土、財産、歴史伝統を守る為にも、原発設備と核兵器を開発し、出来るだけ大自然とも調和しこの不況から緊急に脱出することです。
19770	個人	会社員・公務員	50代	男性	ゼロシナリオを選択します。 国民の声に耳を傾けてください。	先日、福島県に行ってきました。飯舘村の美しい光景と高い線量計の目盛を目にした時、深い悲しみとともに怒りがわいてきました。こんなにも美しいところに住むことができない。これが放射能の、そして原発の怖さだと実感しました。100パーセントの安全はあり得ない。これが、今回大きな犠牲を払って得た貴重な教訓です。原発が存在し続ける以上、事故の確率はけっして0にはなりません。美しい日本の国土をこれ以上汚すことは決して許されません。原発0の社会をめざし、出発すべきです。短期的には電気代の上昇、二酸化炭素排出量の増加などの課題もあるでしょうが、これらは克服できる課題です。昨年、そして今年の夏に節電状況からわかるように国民にその覚悟はできています。長期的には新しい産業の成長など効果も期待できます。ぜひ決断してください。 毎週末、官邸前には多くの人が集まっていると聞いています。16日には代々木公園をはじめ全国で集会やデモがありました。このパブリックコメントにも多くのゼロシナリオを選ぶ声が上がっていると思います。（意見聴取会への参加希望の数からみてもゼロシナリオが最多だと思われます。）これらの声に耳を傾けてください。無視をしないでください。 お願いします。
19771	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	ゼロシナリオ選択 「ゼロシナリオ」を決定し、自然エネルギーの拡大に努力すべきです。それが経済成長にも寄与するはずです。原発立地市町村には新しい地域経済復興の施策を実施することを求めます。	ゼロシナリオ選択 「ゼロシナリオ」を決定し、自然エネルギーの拡大に努力すべきです。それが経済成長にも寄与するはずです。原発立地市町村には新しい地域経済復興の施策を実施することを求めます。
19772	個人	会社員・公務員	60代	男性	原発再稼動はやめて、原発を廃止し再生可能エネルギーの開発に国民の英知を集めるべきで、そのための資金は無駄にならない。	原発に未来はないことが今回の災害で明らかになったと思う。あれだけ安全と思われていたものが実はそうではなかった。また仮に安全対策を強化することが出来ても、最終の廃棄物の処理方法も確立されない中では、巨大な資本を投資して、再稼動と安全対策の確立を行っても、最終の処理までは更にその何倍か分からないほどの資本が必要となる。こんな負の処理に投資するより、再生可能エネルギーの開発のほうが国民は納得するし、何より未来がある。 ドイツはいち早く方向転換した。日本の負の処理に対するエネルギーと、ドイツの未来を開くエネルギー、最初から勝負は決まっている。日本も早く方向転換の決断をしよう、それには国民も支持する。
19773	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発依存は今やめるべきです	人を危険にさらしすぎているため。 大丈夫と言ってたものが、大丈夫では なかったです。その理由は想定外の事が 起こったから。 隕石がおちたら？他にも考えられない想定外 の事が起こるのだと思います。
19774	個人	会社員・公務員	50代	男性	福島第1原子力発電所の事故以降の多くの人々の苦しみを考えるとゼロシナリオ;を決定し、原発立地市町村に、新しい地域経済復興の施策を実施することを強く求める。	東京電力福島第1原子力発電所の事故以降、過酷な負担が強いられています。事故後1年以上が経過した今でも多くの人たちが故郷を離れた場所で避難生活を余儀なくされ、福島県民や子どもたちの苦悩が続いています。また多くの地域や人々が風評被害に苦しんでいます。こうした状況を考えれば、原発をなくすことが最重要課題であり、新たなエネルギー・環境戦略としては「ゼロシナリオ」以外選択肢はありません。「ゼロシナリオ」を決定し、原発立地市町村には新しい地域経済復興の施策を実施することを強く求めます。
19775	個人	自営業	50代	男性	二点書く。一つは2030年時点の原発比率（ゼロ）とその理由。もう一点は、パブコメをどのように活用としているのか？　という観点からの意見。	このパブコメには、二つの見解を述べる。一つは、2030年時点の望ましい原子力発電の比率のこと、二つ目は、本来専門家の意見で判断すべきことを、一般国民からパブコメを募集する政府の意図への疑問である。パブコメの意見をどのように利用しようとしているのか、事前に明確にされていないことに関して意見を述べる。 まず、一点目について。結論から述べれば、2030年時点での原子力発電の比率はゼロが望ましい。以下に理由を書く。 1．2030年というのは今から18年後である。“18年後の望ましい状態”が問われているわけで、その判断をどのような観点・基準から行うべきかをまず考えることが冷静で客観的な判断を行う上で重要である。 2．三つの案について、世間ではいろいろな意見があるが、その中には、“18年後の望ましい状態”を考える上では、まったく関係のない視点が混在している。まず、そういう基準を除外することが必要である。 3．除外すべき判断基準の一つは、“当面の電力需要をまかなえない可能性”だ。求められているのは、18年後の姿である。1－3年の電力需給のことを考慮することは無意味であることを指摘しておきたい 4．もう1つ除外すべき重要な要素は、“電力会社の経営問題”である。これも“18年後の電力供給の望ましい姿”とは、無関係の基準である。経営問題に対しては、何らかの対応を考慮すべきではあるが、それと“18年後のエネルギー政策”とを同じ土俵で議論するのは誤りである。 5．それでは、18年後のエネルギー政策を考えるとしての判断基準は何か?それは、以下の要素である。 (ア)日本の産業政策(再生可能エネルギーへの投資を増やし世界をリードしていくべきか) (イ)18年後の再生エネルギーによる発電の技術発展の可能性 (ウ)18年後の火力などの従来型発電技術の進化の可能性 (エ)18年後の原子力発電の安全性の技術的の進化の可能性 (オ)18年後のエネルギー重要動向（人口、世帯数、低電力商品の開発など） (カ)今後18年間に地震などの自然災害が発生する可能性と電力供給種類ごとのリスク(確率と被害の大きさ) (キ)世界の再生エネルギーの投資の動向 (ク)世界各国の日本を見る目（原子力政策を変えずに行くのか、大幅に変化させ世界を驚かすのか?） こういった観点から2030年時点のエネルギー政策を考えるべきである。どう考えても、原子力発電を少しでも残す　という選択肢はないと判断する。 次に二点目について。このパブコメで政府は何を期待しているのか?本来であれば、パブコメを募集するときに、提出されたパブコメをどのように活用するのかを合わせて明記すべきである。集まってから考える、では、恣意的に利用されたという批判がでるのは明らかであり、今から心配している。まさかとは思うが、こういう政策の決定を多数決でやろうとしているわけではないだろう。 では、どのような活用が望ましいのか？　次のことを提案したい。 (ア)政策の決定判断にかかわる事項（判断基準）で、今まで議論し尽くされた点以外に聞くべき事項があるかどうかを知る (イ)エネルギー政策に直接影響を受ける電力会社、ガス会社、再生エネルギー業者の意見ではなく、一般利用者の意見として、電力需要の観点で特段考慮すべきことがあるかどうかを知る 基本は、この二点だと考える。 2030年という18年後の未来を“予測”するのではなく、“意思として”どのような方向に向かうべきか？　こういう観点から政策を決定してほしいと切に期待する。 以上
19776	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発の安全性、放射性廃棄物の処理方法が確立できない現状では将来的に原発依存度は低減していかざるを得ないと考えます。ただし短期間での原発完全停止は環境や個人生活に与える影響が大きいため反対です。	原発については、その安全性確保についてはもちろんですが、それ以上に放射性廃棄物の処理方法が確立されていないことに非常に危惧しています。何十年、何百年も管理が必要であり、それが今後も増加し続けた場合、将来がどうなるのか不安を感じざるを得ます。安全性確保についても地震が多い日本ではいくら対策しても完全と言うことはなく、その意味でも大きな危険性を有する原発については将来的には廃止していくことが好ましいと考えています。 しかしながら、原発停止した場合、化石燃料に依存した発電は環境破壊や資源枯渇の問題があり、またそれ以外の有効な代替方法がない以上、総合的に考えて現状では原発の稼働維持がベストではないがベターな選択だと考えます。 原発停止し、化石燃料や再生可能エネルギーに依存にした発電とした場合のコスト増加は我々の生活や国内産業に大きな影響を与えることが予想され、現在問題となっている日本全体の衰退がさらに加速される結果になることが懸念されます。我々が快適に暮らしていくためには日本の発展を維持していくことも重要ですので、原発のリスクを極小化することを常に追い求めながら、安全、安心、安価な代替エネルギーが開発されるまで原発は維持せざるを得ないと考えます。 一方で、当たり前のことですが、各個人が環境意識を高め、エネルギーの過剰消費を避ける努力をしていくことも必要です。昨年の震災後の電力不足の際、全体の努力で大きな節電を達成しましたが、それでも大きな不自由はなかったと理解しています。自然との共生を考えれば多少の不便には目をつぶることも必要かと思います。いくら技術が進歩したとしても人間が快適に生活していくには地球に負荷をかける事は避けられませんので、各個人がいかに日常生活での環境負荷を減らせるか考えていく必要があると思います。そのためには学校教育での意識付けをしっかりしていくことも有効な手段であると考えています。
19777	個人	自営業	40代	男性	原発ゼロ。東電解体。発送電分離。蓄電の出来る自然エネの開発。	守銭奴＝売国奴＝老害からの脱。少子化対策とエネルギー問題は繋がっている。子供の育たない国は終わる。
19778	個人	会社員・公務員	30代	男性	2030年までに（というよりも可能なかぎり速やかに）原発はゼロにするべきであると考えます。	ただでさえ絶対的な安全の確保がおぼつかない上に、原発事故の詳細な検討もないままの出題目としか言いようのない安全対策に乗っ取った原発の稼働には賛同できません。 また、たとえ安全が確保されたにせよ、放射性廃棄物の処理の問題を考えた際、可能なかぎり速やかに原子力発電は廃止し、代替エネルギーの開発に力を入れるのがまっとうな考えのように思います。
19779	個人	その他	70代	男性	3ケースとも再生エネルギー比率が約30%、政治的、思惑的な色彩が強く、実現可能性は極めて低い。化石燃料の確保可能性についても同様。国の根幹を変えるエネルギー計画がこの程度では、日本の未来が心配である。	1．再生可能エネルギーのうち太陽光はエネルギー密度が低く、またお天気任　せ。先進国と言われたドイツ、スペインでも供給電力は数%に過ぎず、電力　コストの上昇からすでにこの推進どころか反省期に入っている。主力電源に　は到底なりえないのは自明。 2．風力についても過剰な期待を持ちすぎている。ドイツは僅西風地帯に位置　する水深20メートル前後のバルト海に設置している。 　日本は偏西風地帯の南限に過ぎず、かつ荒波の太平洋に浮上式立地で進めよ　うとしている。年間を通して風が吹かない日本、浮上式を考えただけで高コ　ストであり、これに風力特有の不安定性、間歇性を考えただけで、高コスト　であり、主力電力源と期待するには無理がある。 　ヨーロッパと日本の送電網の違いも忘れるわけにはいかない。日本は尾根　　型、櫛状型、ヨーロッパはネット型この日本の弱点の克服も難しい課題。め　ぐまれたドイツでも南部への送電網の整備が制約となっている。 3、化石燃料の未来についても驚くほど勉強不足である。200年も心配がな　いと言われた石炭も途上国の摸倣で2030年代に資源面からの危機がささ　やかれている。特に中国の資源量の低下が指摘されている。 　石油は2006年にピークを打ち、非在来型石油で補う構造変化が進行して　いる。 　最近シエールガスに期待が集まっている。しかしながら、現在の天然ガス埋　蔵量が2.5倍にストレッチしたとしても、米国並みの消費を世界中で行えば　20年程度で枯渇する現実から目をそらすべきではない。 　またホルムズ海峡の不安定さにも備えるべきである。 4．以上から3ケースのうち原子力20から25%、原子力の信頼性、安全性　を高めながら25%以上に原子力発電を増やしていくべきだと思う。
19780	個人	その他	60代	女性	ゼロシナリオを選択します。	もう一度福島のような原発事故がおきたら、もう日本はありませんよ！ 本当に、日本の国を考えるなら、原発から即時撤退すべきです。 仮に事故が起こらなくても、放射能の被害は無くならないし、核のゴミは溜まり続けてしまうのです。 金儲けは別の形でやってください。太陽光発電やバイオマス発電などで、日本の技術力を高めていくなかでやってください。そうすれば、世界に人々からも尊敬される国になれます。 子どもたちの健康が守られなければ、日本の未来はないのです。そのことを肝に銘じて「ゼロシナリオ」を選択しなさい。 「健康」「いのち」が一番大切。それが損なわれたら、何もなりません。
19781	個人	無職	60代	男性	可能な限り速さで原発ゼロ社会を目指す。 原発の廃炉処理は同時並行で行う。 代替えは当面は化石燃料主体で、発送電分離、競争原理度を取り入れ小規模発電や再生可能エネルギーを推進する。	1.地震国の日本ではリスクが大きすぎる。 　あれだけ広大な原発用地やその近くに活断層がないはずがない。 　事業者は強弁しているがその論法は欺瞞に満ちている。 2.各廃棄物処理技術や環境が確立される見込みがない。 3.今回の過酷事故でその制御困難性や技術とも呼べない欺瞞性が明確になっ　たおかげで、原子力分野ではまともな人材が育成困難となり益々危険レベル　が増大する。 4.原発コストは今後益々増大し、補助金や将来へのツケを考えれば競争力を　失っている。 5.行政、事業者、学会が正当であっても異論は排除する日本独特の村を作り　旧日本軍のようなゾンビ組織を作り上げてしまった。自己利益のためにまた　もや国家をつぶす危険がある。 6.温暖化防止を理由に原子力依存を主張する人がいるが、原子力にかけてき　たコストをすれば、省エネや再生可能エネルギー技術は必ず高度に実用化さ　れ産業的にも日本を救う者ある。 　百歩譲っても地球温暖化のために、日本の安全を担保にすることはできない。 7.隠してきたが原発は核技術の確保と経済の二股をかけた半軍事事業である　。その経済性や国家的安全性で破たんをきたした今、原発の管理を民間　にやらせるのは無理がある。本来の目的に戻り、防衛省が今後の維持や廃炉　処理を担当することが妥当で、それくらいの大きな問題である。 （今回の事故で起こった官僚、学者、民間事業者の無責任な答弁を見れば無　　理さ加減がよくわかる。）
19782	個人	無職	60代	男性	政府は電力会社や財界の利益を守るのではなく、国民の命と生活を守ることを第一にするべきだ。だから原発の40年廃炉を確定し、原発ゼロをめざしてエネルギー政策を進めるべきだ。	まず第1に原発は危険である。フクシマに限らず地震大国の日本の中で安全な立地はない。また設備の故障も相次ぎ、今回のような人為ミスも必ず起こる。絶対に安全な原子炉など存在しない。第2に放射性廃棄物の処理が不可能。国内に安全に埋める場所もなく、一時保管プールも満杯だ。また再処理技術も確立しておらず、それもプルトニウムの核兵器への転用という重大な危険が伴う。第3に炭素から原子力へのエネルギーの転換は、大企業の利益追求の為に行われたもので、限られた資源の節約とか温暖化防止のためではない。第4に独占的な電力会社を守るための原発の再起動や節電政策を辞めるべきだ。政府や電力会社の電力危機のツケはもう国民にバレている。第5に次の大地震によって更に日本を放射能汚染列島にしないことだ。今すぐ原発を止めても廃炉までに何十年もかかる。その間、高濃燃料保管プールはず っとフクシマと同じ危険な状態に晒される。もう間に合わないかも知れない。以上、子や孫の時代に国民が放射能に汚染された生活をしないために、一日も早く原発を日本から、そして世界から無くすべきである。
19783	個人	無職	60代	男性	今政府の取るべき決断は、原発再稼働ではなく、日本の将来を賭けて、日本の大地と人間の生命を守るために、原発からの脱却です。	福島原発の事故は原発の周辺に、広大な人間の立ち入れない土地が生んでしまい、将来の人の死の確実な増加を作り出してしまいました。今度再び原発事故が起こったなら、日本の中心に立ち入れない土地が生まれ、日本は二分されてしまい更に多くの人命を失うことになります。 　原発はそれを動かせば、必ず放射性物質を多量に生産することになります。それを処理する技術は今の科学にはありません。死の灰と言われる放射性物質を安全に保管する土地も日本国内にありあません。何百万年という長いスパン死の灰を管理し続けることは不可能です。将来の日本人にこのような危険な物質を渡すのは、人倫においても許されないことと思います。 　地殻変動のまっただ中にある日本は特に、原発を持つことに適さない土地です。電力不足は一時の問題ですが、死の灰の危険は人の何千世代にもわたる危険です。 　日本人の知恵と技術開発能力からすれば、必ず電力不足の解決はごく近い将来に克服することができると確信しています。一時の問題のために未来永劫の危険を背負い込むことはばかげています。 　政府は脱原発の決意を持って今後の日本の方向を定めて下さい！公害列島日本と言われた日本が、公害克服の技術で世界のトップになりました。今度は脱原発の技術で世界のトップになろうではありませんか！
19784	個人	自営業	50代	女性	(1)ゼロシナリオを選択します。	このような拙速な方法で国のエネルギー政策を決めるのは、問題だと考えます。意見聴取会を見ても、充分な国民的議論がなされているとはいえない状況です。しかも、選択肢の中に「直ちにゼロにする」がありません。 とはいえ、3つの選択肢の中から選ぶとすれば、「(1)ゼロシナリオ」です。
19785	個人	会社員・公務員	60代	男性	原発は危険であるということが分かったのです。早い時期にすべてを廃炉にしてほしいと思います。	原発は危険であるということが分かったのです。早い時期にすべてを廃炉にして欲しいと思います。情報を知らされずにいる国民は不幸です。隠ぺいするのはやめてほしいです。そして責任をとれる人がいないのが悲しいですね。 責任を持って政策立案してほしいものです。私の怒りはどこに向ければいいのでしょうか。
19786	個人	会社員・公務員	40代	男性	初投稿させていただきます。そもそもこのパブリックコメントがどれだけ反映されているのかが疑問です。このパブリックコメントが活かされているのがわかるよう、メディア等を介してアピールしていただきたい。	テレビ、新聞等でのアンケート調査では、今後、原子力発電所稼働20%以下を希望する世論が大半（70%以上）を占めています。それにもかかわらず、いつまでたっても政府が動かないのは、財界の力が絡んでいるのではありませんか？何のためのパブリックコメントでしょうか。何のためのアンケート調査でしょうか？ 政府は何かの理由付けにこれを実施しているようにしか思えません。意見交換会なるものが各地で行われていますが、単なる税金の無駄遣いのようにしか思えて仕方ありません。意見を聞く場ではなく、単なる政府のパフォーマンスではないのでしょうか？ その場しのぎの政府の対応には飽き飽きです。 もっと住民を納得させるような政府の政策が必要です。 一部の権力者が納得するような政策はもうしないでいただきたい。 それができなければ、次の選挙で審判が下されると考えます。

19787	個人	その他	70代	男性	原発ゼロシナリオ選びます	原発ゼロシナリオ選びます 【理由】 1）危険な原発は廃止すべし 　福島原発事故発生１年以上経過しても対策が取れない 2）事故が発生した福島原発の廃炉に40年も要する 3）もし廃炉に失敗しても40年後ではただの歴史として残り 　　人類に大きな禍根を残すことになる 4）廃炉の方法も明確でない 5）使用済み核燃料の処理方法も明確でない、すでに遅いかも 6）当然我々の生活も廃炉に伴うリスク(節電・料金アップなど)を 　　負う覚悟は必要
19788	個人	家事専業	50代	女性	一刻も早く、原発をゼロにするべきである。	たとえ福島の事故がなかったとしても、廃棄物処理の問題や廃炉の問題、日常の温排水、燃料を運搬する時や検査をする時の被爆の問題、等、どれをとっても、原発を進める理由は無い。 今回の福島の事故を受けて、どうしてすぐに日本中の原発を廃炉にしないのか疑問である。また、福島の事故が全く解決されていないにも関わらず、再稼働という方行に行くのは、意味が分からない。こんなに世界中に放射能をまき散らして、その上、原発を売り出そうとしているなんて、日本人であることが恥ずかしい。 既に我々は子孫に対して、過分な量の負の遺産を残してしまっている。過去のことは さて置き、すぐに日本は方向転換をして、「皆様にご迷惑をおかけしましたが、今後日本は原発のない国、原発がなくても発展できる国として、廃炉の研究や放射能の害について研究し、世界の皆様のお役にたてるよう、頑張ります」と発信すべきである。 とにかく、日本が発展するためには、それ以外に選択肢はないと思う。
19789	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロシナリオ。再稼働は反対です。子供たち、これから産まれてくる命の未来を考えてください。人類の手におえないものを稼働させることは断固として反対です。	安全性を見極めれば立地上安全と言えないと思います。 廃炉然り最終処分然り、先の見えないものを、決定していないものを、どれほどの莫大な金額がかかるか分からないものを動かし、私たちの未来は明るいものとなるのでしょうか。 福島の事故を受けて、いまだに手の付けられない原発。この地震国家で、これ以上危険なものはありません。
19790	個人	会社員・公務員	40代	男性	「原発ゼロシナリオ」を支持します。	大地震が定期的に発生する日本には、原子力発電は事故発生時のリスクが大きすぎるため。 核廃棄物の処理方法についても解決されておらず、原子力発電は、次世代に負の遺産を残すものであるから。
19791	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	ゼロシナリオを支持します。 これ以上核燃料廃棄物等を負の遺産として残すべきではありません。 ゼロシナリオ達成のため私たち一般市民も覚悟と努力が必要です。政府、企業の皆さんも一緒にがんばりましょう。	福島原発事故の失敗を教訓として学べないのはなぜでしょうか。 一朝一夕に非常に大きな課題であるエネルギー政策を転換できるものではないことは理解できます。 私たちの暮らしは膨大なエネルギー消費の上に成り立っているという前提があって初めて便利に暮らせているという事実も認識しています。 しかし、未曾有の国難に直面し、その後の原子力災害を目の当たりにした私たちの意識は変わってきています。 一般市民も政府も企業も自治体も、自然エネルギーの拡大に努力すべきです。犠牲になるものは多いかもしれません。 しかし、3.11を経験しておきながら、なおも完全にコントロールできていないエネルギーを使い続けることは、愚の骨頂です。 将来のためゼロシナリオを実現すべきです。
19792	個人	会社員・公務員	30代	男性	「原発ゼロシナリオ」を強く支持します。すべての原子力発電所の撤廃を求めます。その決定があって初めて、知恵と知識と技術力とを結集できます。	「原発ゼロシナリオ」を強く支持します。すべての原子力発電所の撤廃を求めます。その決定があって初めて、知恵と知識と技術力とを結集できます。これまで以上に愚かな選択をするのはやめたいと思います。先人たちを裏切り、次世代を踏みにじることをやめたいと思います。少しでもそのような暴力を減らしていきたいと思うのです。 今生まれてきたばかり子どもたちは、20年後に成人したとき、なにを考えるでしょうか。未曾有の「事故」を経験した後にもなお、「快適さ」、「便利さ」、「経済力」を第一の基準として、生活の回復を求め、原発を残そうとした大人たちを、強く恨み、軽蔑すると思います。「おじさん、おかあさん、おじさん、おばさん、そのときいったいなにをしていたの？」と本気で尋ねると思います。20年後、そう問いかけられたとき、わたしたちには応えるべき言葉がないように思います。 世界中で行われてきた人類学や社会学、歴史学、哲学の研究蓄積から論理的に考えても、人類が「種」として生き延びようとするならば、原発の撤廃が唯一の選択肢です。また生活者の感覚を基軸に考えても、7歳の娘や2歳の息子を、積極的に原発のすぐ近くで育てたいと思う人がどれほどいるのでしょうか？　一度でも生活を踏みにじられる危険を経験したことのある人であれば、「むずかしいことはよくわからない。けれど、すくなくとも今この段階にきてなお、原発を残すという判断は間違っている」と考えることでしょう。
19793	個人	自営業	60代	男性	原発ゼロシナリオを選択します。	使用済み燃料の無害化が確立されていない。
19794	個人	無職	50代	男性	原発は大いに進めるべきである。	現在、電力を作り出すには、原油、天然ガス、水力、原子力等があるが、それ以外の代替エネルギーはわずかである。エネルギー効率、価格から比較すれば原子力発電が最も優れており、且つ技術水準も日本のものが最高であると思います。 従い、比率も現在以上に原子力発電に重きを置くべきと考えます。
19795	個人	その他	60代	女性	ゼロシナリオを選びます。 日本のような地震多発国では、原発の安全性を維持することはできません。原発による核廃棄物を無害化して処理する方法もありません。	ゼロシナリオを選びます。 福島第一原発の事故により、日本のような地震多発国では原子力発電の安全性を維持することはできないということがわかりました。現在、なお十数万人の方々が避難を余儀なくされています。こどもや妊婦に対する放射能による影響はこれから現れることのなりますが、取返しのつかない健康被害が生ずることになるでしょう。すでに、救援ができないまま放置されて亡くなった人々、避難中に亡くなった人々等々、多数の生命が失われています。原子力発電を続けてこれ以上の犠牲を出すことは許されません。 原子力発電の結果発生する核廃棄物を処理する方法はありません。にもかかわらず、原子力発電を続けて核廃棄物を垂れ流し続けることは、次世代の人々に対する冒涜です。 原発を続けるためには、多くの下請け労働者が自らの健康を犠牲にして働き続けなければなりません。このような差別的な構造を人権尊重の時代に続けることは許されません。 原発を続けることを主張しているのは、原発の廃炉によって赤字経営になる電力会社、原発建設によって利益を得てきた電機、鉄鋼、ゼネコン大企業と思われます。国策で推進してきたのですから、責任として原発ゼロにすると決断して、電力会社の資産査定について特例をもうければよいことです。また自然エネルギー等に産業転換すれば新たなビジネスチャンスが生まれます。もう一つの根拠として核兵器をもつ潜在的可能性を維持したいというものがあります。核兵器をもたないというのが日本の国是なので論外です。周辺国に対する軍事的優位を保つために、原発事故により日本が消滅してしまうことになります。
19796	個人	会社員・公務員	30代	女性	ゼロシナリオを支持します。私たちが生まれ育った「日本」をこれ以上ボロボロにしたくありません。原発使用は選択肢にありません。	昨年の原発事故で、被災地の方の多くの命が奪われたこと、今だその被害を受け続けていること、そして日本中が抜け道のない不安を抱えていること。 これだけを鑑みても、原発を使い続けようとしていることが信じられません。 クリーンエネルギーは発展途上にありますが、今まで原発に使っていた資金を投入すれば、その発展も飛躍するでしょう。クリーンエネルギーを擁護するシステムと完全な脱原発に対して、多くの国民はそれぞれがある程度の辛抱と犠牲を払うことを受け入れらると思います。 東京電力は今夏、電力を値上げしました。この多くの命を奪った会社がさらに、国民からお金を吸い取る。ありえません。これほどの信頼の失った会社は、本来であれば、潰れているはずなのに。電力会社も独占しているからこのような馬鹿げたことがまかりとおるのでしょう。 国会議員の方もヨーロッパの環境対策やエネルギー供給方法などで視察に行っているでしょう。電力会社が独占にあるから電力が少なく、そして高くなるんだと思います。日本中探せばエネルギーを作れる場所はたくさんあります。それを個々人、そして多くの会社が作れるシステムをつくれば、それぞれがエネルギーを生産できるので、エネルギーが足りないということもなくなるのではないでしょうか？そして個々人のエネルギーへの意識が高くなり、無駄に使うことも少なくなると思います。どうか、日本国民の命と気持ちを大事ににしてください。これ以上、日本の土地を傷めつけないでください。
19797	個人	家事専業	60代	女性	原発ゼロシナリオで原発を廃止する	原発は即時廃止してください。多くの人は、原発がないほうがいいと望んでいると思います。しかし、電気が足りないからという理由で一基再稼働したとたんに、原発は必要だとか、もう一基稼働とか、稼働の方向にすすんでいます。福島の人たちの事故後のどうしようもない状況を見、素晴らしい東北の自然を汚染してしまったことを思えば、何ら事故解明されていない原発をずるずると稼働していいはずがありません。ゼロしかありません。政府がそれを打ち出すことを期待しています。
19798	個人	会社員・公務員	60代	男性	政府が示した2030年時点での原発比率のについて、私は選択肢(1)0%を支持する。	昨年の3.11以降、地震大国・災害大国であるこの狭い日本の国土に、これ程の数の原子力発電所があることに今更ながら驚かされました。 そして、電気の恩恵に特別な関心も払わずに与っていたことは素直に認めるところです。 　しかし、福島の原発事故以降国民大多数の考え方は一変したはずです。 節電しかり、多少の不便は我慢し、工夫して新しい生き方に取り組む覚悟は皆持っているのです。 ところが政府、経済界、銀行はこの悲惨な事故を顧みることなく経済最優先の旗幟のもと、再稼働を推し進めようとしています。 　戦後日本は経済大国として限りなく発展してきましたが、同時に多くの大切なｍｏｎｏを失ってきたのではないでしょうか。 大震災そして福島第一原発の事故は、先の大戦以降今日に至るまでの国の在り方を、国民一人一人に考え直させる為に大自然という天が与えた極限の試練であり最後のチャンスであると思います。 　被爆国であり、他の何処の国よりも放射能の恐怖を知っているはずの日本がこのような事態を引き起こしながらも、平然と再稼働に踏み切る愚挙を許すことは出来ません。 　この国の将来を担う子供たちが安心して住める国、自然豊かな美しい国に心から誇りを持って暮らせる国であるために、原発の廃絶を願って止みません。
19799	個人	会社員・公務員	50代	女性	まずは、原発ゼロを意思決定するべきです。	どれほどの安心安全策を講じたとしても、一度大きな自然災害に見舞われればなし崩しになってしまうことは明らかです。 電力会社の社員が作業できないような現場の安心安全をどのように管理していくというのだろうか。 ゼロと決めて、その方法を講じれば必ず新しい方策が見つかるというものです。 さすれば新しい産業も生まれてくるでしょうに・・・
19800	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発は要りません。	使用済み核燃料の処理の見通しのない原発を動かす事に本当に理解できません。
19801	個人	その他	60代	男性	原発は廃止すべき。理由は(1)核廃棄物の処理方法がないこと、及び(2)稼働中の安全性確保が困難なことの2点。 廃止に至る手順は、まず廃止の方針を明確にした上で、そのための工程表を検討・確定すること。	長期的方針を明確にした上で、その道程を合理的・現実的に策定するのが王道であるが、政府はこの10年、20年程度の短期的な対応策を先に議論しようとするので、本質的な議論になっていない。 ウラン燃料が有限な資源であることを知らない国民はまだ多い。ピークオイル問題を含めて、化石燃料をはじめとする資源の有限性と原発問題は総合的に議論検証される必要がある。 あと100年も持たないウラン埋蔵量に対して、10万年継続する放射能被害を比較衡量すれば、原発維持の無意味さがより明確になる。 原発正当化の道具に使われている地球温暖化仮説に対しても、日本国家として検証作業を行うべきである。絶対多数の科学者が気候変動Co2原因説が嘘であることを知っていると言われている。 原発再稼働に賛成する一般国民は無知の故に、現在の生活を維持するためという事を理由としてあげるケースが大半である。経団連に代表される経済界もほぼ同程度の知的水準でしかない。 原発問題は、経済問題として比較すると自体が馬鹿馬鹿しい問題である。もう一度事故が起こったら、日本は滅びる。それも今後10万年にわたってである。このようなリスクがどんな経済価値と見合うというのか。原発推進論者は事故が起きないということを確然の前提としてはいる。
19802	個人	会社員・公務員	30代	女性	ゼロシナリオを推奨です。 原発ゼロの場合CO2の問題が出てきますが、太陽光など再生可能エネルギーの普及を早めれば導入コストが減り、現在のシナリオより多くの再生可能エネルギーを作り出せると考えます。	ゼロシナリオを推奨致します。 原発ゼロで他のエネルギーに頼った場合、CO2排出量の問題が出てきますが、太陽光など再生可能エネルギーの普及を早めれば導入コストが減り、現在のシナリオよりも多くの再生可能エネルギーを作り出せる可能性が高まります。 また、現在使用しているエネルギーを個々が減らす工夫をしたり、地デジ普及の時のように省エネ家電導入政策をしたりして使用エネルギー自体を減らせば、原発を動かさず生活していく事は十分可能だと思います。 関西電力の社員の発言に大飯原発を動かすのは、電力不足解消のためではないという言葉がありました。 すでに原発を動かさずとも電力が足りているという証拠です。 あとはCO2排出量を減らす問題がクリアできれば、日本は世界のよいモデルとなる国になると思います。 一刻も早く原発を廃止してクリーンエネルギーを生み出す開発をし、どの国よりも早く普及させる事が、日本が世界のリーダー的存在になれる道だと思います。
19803	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発ゼロシナリオを選びます	原発ゼロシナリオを選びます。発送電分離を行い、電力の自由化を進め、電力会社の殿様経営をやめさせてください。
19804	個人	会社員・公務員	20代	女性	2030年までに原発依存度0になるよう政策を進めていただくことを希望します。	・地震の多い日本で原発施設を持ち続けることは、放射能が漏れた際の人体への悪影響などリスクが高い。 ・福島の二の舞が起きるのではと、日常から恐怖感がぬぐえない。 ・原発を使用することによって出るゴミをこれ以上増やしても置くところがない。 ・日本が、経済的にも環境的にもすみよい国にするために、前例から抜け出す大きなチャンスだと思う。 再生エネルギーを活用し、「とりあえず今だけよければ」という勝ち逃げの国から卒業したいと考えています。 そのためには経済的負担も、生活水準を下げることもやぶさかではありません。喜んで協力いたします。 よろしくお願いします。
19805	個人	無職	60代	女性	安価でエネルギー安全保障上も優れるという理由で原子力発電の拡大が選択された訳ですが震災によりこれまでとは異なるエネルギー選択を迫られている今に至って原子力発電をゼロにすることは不可能かも知れない	が、使用済み燃料の処理工場の現場の方が今はこのままで20年後・30年後には新しい良い方法が考えられるでしょうとの言葉には呆れました フィンランドでは4万年後を見据えた話をしていたのに日本の原子力に対しての緊迫感の無さは否めないと思いました
19806	個人	家事専業	40代	女性	シナリオは3つでなく、原発を残すか廃止するかの2つである。全面廃止すべきである。原発は、有事の際、ミサイルなどの標的ともなりうる。広島、長崎、福島を経験した日本が、原発を残すなど論外である。	左記の概要と同じ。
19807	個人	パート・アルバイト	40代	女性	日本のエネルギー選択は、必ずゼロシナリオであるべきです。原発を全面廃止することが未来のための国民の義務であり、政府の責務です。	誰かの命や生活を犠牲にしてまでも莫大なお金を儲けるための手段、原発がそういうモノであることを知った以上、一基たりとも稼働を認める訳にはいきません。どれだけ説明を並べたところで、この問題は拝金主義でしかなく、今のままでは、この国の子どもたちに未来はありません。経済や産業が維持されても、放射能の恐怖にさらされて生きる世界に「快適な生活」など存在しないのです。
19808	個人	無職	60代	男性	この世のあらゆる現象にも物事にも安全ということはありません。すべてはそのものを取り扱う人達が対応することしかありません。人間が安全に取り扱いことしかありません。	原子力発電は原子核の力を活かした電力確保のための技術です。すべては人間が考えた知恵であり活かすのも悪くするのも人間の考え方で決まります。 　人間が生きていくためには便利な方法で確保できる原子力発電は必要なのです。だからこそ人間の知恵で安全に取り扱うのです。 　火力発電も公害発生につながりますよ。人間が作り出したものに安全な物はありません。 すべては取り扱う人も安全に取り扱う心があれば安全になります。
19809	個人	自営業	50代	男性	ゼロ・シナリオ希望。私は福島の事故で直接被害に遭っている。経済的に見ても原発の稼働はマイナス。何よりも希望がない。希望は経済活動の活力で、希望のない国には経済の発展もない。	原発ゼロ・シナリオを希望します。ただし、3つの選択肢の中ではこれしかないということで、実際には直ちにすべての原発を廃炉にしてただきたいと思っていますし、大飯原発の再稼働も中止していただきたいと思っています。 　福島第一原発で事故を起きた時、私は栃木県に住んでおり、滋賀県への移住を余儀なくされました。私の周りには同じ境遇の人がたくさんいますし、現在も現地に残り放射能の恐怖に怯えながら農業やエコツーリズムに携わる仕事をしている人がたくさんいます。 　福島の事故は農業、漁業だけでなく、観光業、エコツーリズム（農業体験など）にも多大な被害をもたらし、育児を困難にしました。少子化が問題となっている中、安心して育児ができる場所が東日本では大幅に減ってしまったのです。 　そんな私たちにとって、西日本というのは最後の砦なのです。ここでも事故が起きれば、日本列島には移住できる場所がなくなります。 　滋賀県は京都の隣に位置し海外からの観光客を呼び込める場所ですが、売りは農的暮らしなのです。しかし、大飯原発の再稼働はすでに風評被害をもたらしています。 　私は直接海外の人とやりとりをしていますが、今回の日本の決定は非常に評判が悪いです。ドイツの決定とは対照的です。 　脱原発の社会は、再生可能エネルギー産業をはじめとする広範囲に雇用を生み出すだけでなく、子供たちに希望を与えます。日本の将来は若者と子供たちにかかっていて、彼らに今一番必要なのは夢と希望なのです。ドイツは新しい世代に向けて可能性を示してくれました。それは段階的というような中途半端な決定ではなく、思い切った決定をしたからです。 　ぜひともゼロ・シナリオを選び、国民に夢と希望を与えていただきたいです。
19810	個人	家事専業	30代	女性	原発ゼロシナリオを選びます。	原発ゼロシナリオを選びます。事故がおきたとき、人間は原子力を扱えないと思います。これ以上地球を汚したくありません。

19811	個人	その他	60代	女性	原子力は制御できないという事実を、今度の事故で認識しました。制御できないものを「安全」ということは誰も確約できません。2030年までに廃止をしてください。また、これまでの使用済みの核のゴミ、廃止炉の処理というだけをとっても、大変な費用と年月がかかります。結局、大きな犠牲を払ってまでして、被爆国日本は何を選択してきたのでしょうか。	原子力は制御できないという事実を、今度の事故で認識しました。制御できないものを「安全」ということは誰も確約できません。2030年までに廃止をしてください。また、これまでの使用済みの核のゴミ、廃止炉の処理というだけをとっても、大変な費用と年月がかかります。結局、大きな犠牲を払ってまでして、被爆国日本は何を選択してきたのでしょうか。				
19812	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	地球気象条件が激変する中、絶対的な安全想定は不可。 事故責任がとれない以上は脱原発への政策転換を強く求める。ずれ込むとしてもゼロシナリオが可能となる手法、再生可能エネルギーの将来像も明らかにすべき。	地球の気象条件等が大きく変化していく中、絶対に安全を想定することは不可能と考えます。 事故時の責任が1年以上たってもそれない以上、脱原発への政策転換を強く求めます。 仮に目標が2030年以降にずれ込むとしても、現実的にゼロシナリオが可能となる手法を模索してください。 再生可能エネルギーの将来像（25%～35%）を達成するための手法も明らかにしてください。				
19813	個人	無職	70代	男性	原発0シナリオに賛成です。 原発が無くても地球温暖化対策と両立する新エネルギーの技術を持っています。 また、原爆で被害を受け、福島でも被害を受けたのに、それでも続けることは許されません。	「0シナリオ」は、2030年の時点でゼロですが、2030年を待たずに、出来る限り早く0%を実現することが必要です。今年の5～6月には、原発0%を実現していますし、今現在(7月25日)でも電力需要は想定を下回っており、大飯原発再稼動の必要性に疑問が投げかけられています。ご承知のように多くの国民は「今すぐ原発0」を望んでいます。 今すぐ原発を0にすると、(1)電力不足になるは、現実がはっきりと誤りであると証明しています。(2)火力発電が増えて燃料費が莫大になり、CO2排出量の削減にもつながらないは、設備容量は足りていますし、ピークカットなど色々方法で電力需要をコントロールしたり、省電力の実施や古い設備の更新や省エネ対策を実施することでピーク時の電力不足も解消できます。 また、複数のNGOや学者は、「温室効果ガスの排出量を2020年までに25%以上削減することが可能」という試算も発表しています。これまで日本は、原子力発電に大きく依存しながら、結果的にCO2を減らすことはできず、その上、原発のトラブルでCO2の排出量を大きく増やしてきた経緯があります。しかし、省エネが進めば、化石燃料のコストを小さくすることも可能なのです。 ついでながら、節電という言葉も良くないと思います。この言葉にはある満足がいく電気量から我慢して少々不満があるが電気の使用を減らしましょうという感じの一種の苦痛を伴う行為を連想させます。しかし、実際は現在が過使用なのであって、節電の状態こそが正常な状態なのです。政府はそのことをもっとはっきりと述べ、節電をお願いではなく、これこそが正しいのだと説明すべきです。 最後に、原子力爆弾を広島と長崎に2度も落とされた日本が、こともあろうに今度は自身で原発を爆発させてしまいました。政府はこのことを深く恥じるべきです。にもかかわらず、その原爆が落とされた8月6日(広島)を前に、大飯原発の再稼動を強行したのは恥知らずそのものです。恥を忘れた日本政府を持つ国民は悲しいものです。				
19814	個人	パート・アルバイト	40代	女性	一度原点に戻って本当に必要なものと、そうでないものと見極めませんか。 神様が下さった最後のチャンスかもしれません。 人間にやさしい生活が実は人間を追い詰めていることに早く気づきましょう。	1999年にある音楽家の方が書かれたブログを発見しました。鳥肌が立ちました。今の私の気持ちと同じです。 10月７日 支持政党を持たない僕だが、一つだけ決めていることがある。それは原子力発電所（原発）推進行政を進める政党政治家には票を入れない、ということだ。そうすると当然のことのように僕が票を入れた候補者は落選し、原発支持政党候補者が当選する。これが現在の日本国民と呼ばれる私たちの選択なのかッ 確かに政府や電力会社は巨額の宣伝費を投入して安全性、経済性を説き、必要性をあたかも戦時中の大本営発表の如く垂れ流した効果が現れているのかもしれないが、百の真実の内、一つの真実を上げ、九九の真実を隠すそのCMを目にし耳にしてしまうたび僕は頭に来てしまう。まったく国民を馬鹿にしているとしか僕には思えない。本屋さんへ行って何冊か原発関係の書籍を読めばどちらが言い分が正しいのかすぐに判るだろう。なのになぜだ？ 人間も機械も100%、ミスをしないものはこの世に存在しないし、事故は必ず起こる。起これば それは阪神淡路大震災や台湾大震災の規模を遥かにしのぐ地球規模となるはずだ。そして奇跡的にその大事故が起こる時期が遅れていたとしても、放射能廃棄物の処理問題はいまだ未解決のまま、世界中の原発は見切り操業を続け、放射能汚染物質を地中や海中に溜め込んでいることを忘れてはならない。 なぜこのような危険を犯して僕たちは日常生活を送らなくてはいけないのか？地震は防げないが、原発は人間の手によって止めようと思えば止められるのに、である。 僕が戯れ事を書いたり話したりしながら、太鼓を叩いて何とか一家が生活できているのも、世の中が平和であるからこそできることだ。 いくら安全対策をとり法案を作ったとしても、交通事故や飛行機事故がゼロにはならないように、原発事故も再び三度何度でも起こる。今こそ自分の中で小さな決断をすべきだ。少なくとも原発行政を推す政治家には票を入れないことである。				
19815	個人	会社員・公務員	60代	男性	原発は反対	原発は反対ですが、現状の気候、使用電力等状況を考えるとやむなしと考えます。しかし早急に代替のエネルギーを構築していかねばなりません。よろしくお願いします。				
19816	個人	自営業	40代	男性	原子力発電に反対です。	電気は必要なモノですが、その作り方には問題があります。 原子力でなくても発電できるし、未だ帰郷のかなわない人々がたくさんいるのです。 確かに魅力的なエネルギーではありますが、福島の事態が終息しておりません。 せめて、放射能に色をつけて可視化する、放射能を中和する方法を開発する、スイッチを切った時点で運転が止まる。ということをクリアしてから原子力を考えたいものです。 ヒトの手には負えていないエネルギーをコントロールするのは危険すぎます。 よって、私は原子力発電には大反対です。				
19817	個人	無職	60代	男性	2030年のエネルギーの原子力依存はゼロシナリオを選択するべきです。福島第一原発の震災時の対応を見ましても、日本の原子力の知識レベルでは安全には担保できないのは明白です。	今後の廃炉までのスケジュールは、安全の確認（免震重要棟の設置、防潮堤の整備、非常用電源の確保、活断層の調査等）の取れた原子炉は耐用年数の建築後40年までは稼働させ、その後順次廃炉にすべきです。原子力政策の基本である使用済み核燃料の処理方法（中間、最終処分場や処分方法）を早急に決めるべきです。 天然ガス使用によるコストアップは、昨今の世界の天然ガス市場では価格はかなり下がっていますので、今後調達コストは低く抑えられると思います。更に再生可能エネルギーは技術革新によって効率も良くなると期待できますし、国民、企業の節電によって原子力に依存しなくてもエネルギーは十分足りると思います。環境面では、石油、天然ガス使用によるCO2の増加に対しては、古い火力発電所に代わって効率の良い火力発電所に投資する必要はあるでしょう。				
19818	個人	自営業	50代	女性	原発は即刻廃炉。放射能汚のない、安全対策コストがより少ない発電方法を選択、開発すべき。原発はウラン採掘時から使用済み燃料の処理まで、多大な危険とコストを有する。一刻も早く安全なエネルギーに転換を望む。	原子力発電がもたらす放射能汚染の問題は、どれだけコストをかけても危険性を0%にすることはできません。 たえず緊張を強いられ、危険と対峙しながら電気を得るというネガティブなエネルギーです。無事原子炉の寿命を全うしても、その後も続く放射能ゴミの管理、原子炉の廃炉費用までをコストに入れれば、経済的メリットはいったいどのくらいあるのかわかりません。 私が享受するエネルギーは、エネルギーを生み出すところから使用した後処理まで、すべての工程において、自分自身を含み、他者、他の生命に害を与えることのないクリーンなエネルギーしか使いたくありません。 太陽光をはじめとし、風力、地熱、潮力などの自然エネルギーはまだ開発途上です。 さらには科学の新技術開発による新エネルギーも、期待できるものが多々あります。 原子力に費やす莫大な資金をそれらに回せば、加速的に開発はすすむであろうに、なぜ原子力に執着するのでしょうか？ 安全安心なエネルギーを、地球上のすべての人たちが分かち合える世の中であれば、争いはなくなり、争いにかかる費用はクリーンな未来への投資へとむけることが可能になります。 日本は甚大な原発事故をおこしました。この事故から学ぶべきを学び、世界を変えていくエネルギー立国になることを願います。				
19819	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロ、自然エネルギーへの移行希望	双葉町に実家がありました。 充分に安全も保証できない危険物を稼働させ続ける意味が分からない。 何かあっても責任も負えないものを国の政策として進めていたのが今回分かってそれでも稼働させたこと自体怒りを感じます。				
19820	個人	パート・アルバイト	40代	女性	東日本大震災の震源に一番近い女川原発には事故がありませんでした。大きな災害を想定して原発施設を開発することにより事故は防げると思います。『原発そのものが悪いのではない』と思います。	東日本大震災の震源に一番近い女川原発には事故がありませんでした。事故がなかった女川原発の報道はなく、事故が起きた福島原発の報道ばかりされるのはどうしてでしょうか？ 東芝の元社員で福島第一原発の設計に携わった人は「このような大きな震災は想定していなかった」ということを正直に言っていた、ということです。『震災の規模を甘く見て、設計したところに問題があるのであって』、『原発そのものが悪いのではない』と思います。女川原発はそのことを証明しています。原子力エネルギーを抜きにした日本の発展はあり得ない!!				
19821	個人	無職	60代	男性	今後のエネルギーの選択肢は原発0%。それ以外はありえない。原発を全廃すべきであり、再稼動した大飯原発も即刻停止してほしい。全原発を廃炉にし、核燃料サイクルも全廃してほしい。新規建設は認められない。	福島第一原発の事故がどれほど多くの人に災いをもたらしたのか？現在も10数万人が避難生活を余儀なくされている。放射線被曝の影響は、すでに現れているし、今後も避けられない。広大な山・森林・川・湖沼・大地・海・大気の汚染は甚だしい。これまでも事故があったにもかかわらず、隠し続け、結局この大災害をもたらした。事故がない状態でも、原発は放射能を撒き散らしながら運転を続けている。 ウラン燃料も無尽蔵にあるわけではないし、廃棄物処理もできないのだから。夢のエネルギーでも何でもない。強欲な事業者は、己の利益をひたすら追求し、原発事業に群がり、被災住民の生活再建などにも抵抗している。首相はじめ政権幹部は、原発の再稼動や輸出の機会を狙い、原子力事業と核開発の推進を未だに図っている。 しかも、地震の多い日本でこんなに多くの原発を建設してきたこと自体が異常である。今になって、断層が発見されたり、評価を訂正したり、これまでの原発建設がいかにでたらめだったか！国策に基く原発・核燃料サイクル事業を全面的に廃棄すべきだ。 あの大事故以前の原発依存度は26%だったそうだが、0%以外の選択肢は原発を今後も続け、新設もありうるという意味であり、全く容認できない。当然ながら、今後のエネルギーの選択肢は原発0%であり、それ以外はありえない。				
19822	個人	その他	60代	女性	私の選択は、ゼロシナリオです。すぐにでもゼロにしてほしいです。地震国日本に原発は危険すぎます。今でも行き場のない使用済み核燃料をこれ以上増やして、孫に危険なツケをまわしたくありません。	私の選択は、ゼロシナリオです。すぐにでもゼロにしてほしいです。 まず、地震国日本に原発は危険すぎます。全国どこで地震がおこるか、その規模はどの程度か、一応の想定はできても、想定以外のあるいは想定以上の地震も起こり得ます。 次に、今でも行き場のない使用済み核燃料をこれ以上増やして、どう処分するのでしょうか？ 現実の問題となった核燃料廃棄物の処分方法を棚上げにしたまま、原発を進めることはもう許されません。想定しなければならない問題のはずです。孫に危険なツケをまわしたくありません。 また、原発は、事故を起こした時はもちろん、通常でも、労働者に一定の被爆を強います。作業員という名前がつけば被爆量が高いことが、問題にならなくなっています。労働者も日本国民です。今、どれだけ多くの国民に被爆をさせているでしょうか？労働が生きるための苦役になっている世の中は、どこか間違っていませんか？ その上、活断層の可能性を隠して大飯原発を再稼働させるなど、昨今の動きを見るに、福島以前のチェック体制がどうだったのかという真っ先に反省すべき点の反省もなく、日本には原発を扱う資格がないと思われます。 電気は必要ですが、今ほど使う必要もないと思います。美しい四季のある国日本で、春や秋にも風を感じることなく、窓を閉め切ってエアコンをつける暮らしが、素敵でしょうか？夜に昼と見まがうような照明、真夜中店の営業は必要でしょうか？ 一日も早く再生可能エネルギーに舵を切ることが、再生可能エネルギーの開発を進めます。原発を残すシナリオでは、再生可能エネルギーへの予算の十分な投下ができず、推進を阻害するのではないでしょうか？ゼロシナリオにも、電力の自由化や発送電分離について触れられていませんが、システムの改革を併せて行うことで、想定より高い再生可能エネルギーの割合を達成できるのではないでしょうか？また、エアコンに頼らない建物の設計なども併せて進めることや、日本の省エネ技術をもってすれば、省電力もちっと達成できるのではないでしょうか？ 再生可能エネルギーは、新しいビジネスも創出し、経済にもプラスに作用すると思われます。大企業の既得権益は脅かすかも知れませんが、日本の将意分野でもあり、発展が期待されます。そして、その労働は、被爆のない、地域に根ざしたものになります。 電気料金も、日本は原発のリスクに対してちゃんとした対策をしていないから、安いだけで、対策をすれば、そして再生可能エネルギーが普及すれば、逆転するはずです。スイスはそうした試算をしていると聞きます。原発をやめるなら、廃炉費用もかなりの期間必要になるわけで、その費用がだぶることになり、一定期間、高くなる時期があろうかと思います。しかし、きちんと脱原発を進めてもらえるなら、それは将来への投資として、甘受したいと思います。				
19823	個人	その他	50代	女性	日本にあるすべての原子力発電の稼働停止を願い、代替エネルギーのリーダーとして日本を世界にアピールするべき。 今こそ、原子力廃止へ（今確証はなくとも）コミットメントするべきと思います。	原発事故の犠牲となった福島の方たちの、痛み（傷み）を考えると、 原発再稼働を進めることは、多くの国民が政治不信に陥ることは間違いないと思います。 3.11以降、国民が一致して節電に努め、昨夏を乗り切りました。 核燃料廃棄物の地球への計り知れないダメージを思うと エアコンもなかった暑い夏らしい夏を子供時代に過ごした、物はないけれど夢たくさんあった時代を過ごした、団塊の世代周辺の世代の私たちが、子供たちの未来のために、知恵を絞り後世へ残す仕事ではないでしょうか。 このように広く意見を求めていただける姿勢には、希望が湧いてきます。 頑張っていただきたいです。				
19824	個人	その他	30代	男性	原発ゼロシナリオに賛成します。 ただちに全原発を廃炉にしてください。	放射能を無効化する技術の確立、放射能汚染地域の放射能の除去・対処を最優 先に考えて下さい。				
19825	個人	その他	30代	男性	人体、環境に大きな影響を与え取り返しのつかなくなる放射性物質を生み出す原子力エネルギーは人類が生活する枠組みに入れない方が良い。	現状を見る限り、放射線被害は甚大で取り返しがつかない、安全運用の中でも蓄積された放射線被害は作業員をはじめ近隣の方々に出ている。それらが放射線物質とは関係ないという話をいくらされても、本質的にその可能性がある以上は原因の最有力であることには代わりがない。果たして、私自身は健康被害を被っているわけではないので被害者でもなく、避難者でもない。しかしながら原発がある限り被害・避難の当事者になる可能性は有り続ける。ゆえにその可能性を0にする手立てを望みます。2030年までに原発0。それ以上に早いに越したことはない。				
19826	個人	会社員・公務員	50代	女性	エネルギー問題に関する、政府の3つの選択肢のすべてに反対する	まず国民から広く意見を聴くのであればなぜ選択肢が3つしかないのでしょうか。3つに絞った上で意見を聴いているのですね。 これもおかしな事だと感じます。 女、子供ではなく社会人であれば いきなり原発を止めれば世の中がどのように変化するのかぐらい容易に想定がつきます。 経済の低迷、不況が深刻化し、会社の倒産、失業者の増大、電気料金の値上げ、国力の衰退。 今回の福島原発の原因は人災です。それをなぜ原発＝悪という単純な考えがまかり通るのでしょうか？ それをあえて原発の廃止へ向けて舵をとろうとしている政府には 何らかの意図があるとしか思えません。 原発をあらゆる災害から守る改善をすればいいことであって廃止することではないと思います。 現政権の民主党にはもちろん先回、投票しませんでしたが、次回選挙では二度と政権をとることはないでしょう。また民主党議員というだけで票を失うこととなるでしょう。 選択肢の3つすべてに絶対反対です。				
19827	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオに賛成です	昨年の東日本大震災で私たちが学んだことは、「絶対安全な核利用はない」ということです。今現在も苦しんでおられる福島の方々、二次災害や風評被害に悩まされている多くの方々の姿を見るにつけ、この悲劇を二度と繰り返してはならないと強く思います。 これまでの生活が原発発電の恩恵に浴してきたことは確かで、そのことを忘れての「原発反対運動」は身勝手です。しかし、原発に頼らない社会を目指すことはたいへん重要です。一人ひとりが強い覚悟と決心を持って今の生活を変えていきたいと思います。				
19828	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発ゼロ以外はあり得ないのではないでしょうか	福島原発の事故は日本国民全員の記憶から決して消え去ることのないものとして強烈に残っていくものであると思います。私自身も震災後、福島県の避難所に支援業務に入らせてもらいましたが、その際に、当事者のみなさんの悲痛な思いを生で聞き、原発に対する恐怖がさらに大きくなったところです。私の居住している島根県にも原発があります。活断層の存在も指摘されている中、事故が起こった場合、いったいどうなるのだろうかと大きな不安があります。人間が作るものに「100%」はあり得ません。人間は自然に対しては無力であることをあの事故で思い知らされたのではないでしょうか。自分の、家族の、仲間の、子孫たちの命と引き換えに得る豊かさなど、価値のあるものといえるのでしょうか。事故が起こったとき、いったい誰が責任をとることができるのでしょうか。人の命を危険にさらすことに対する責任は、どんなことをしても償うことのできないものです。『原発ゼロ』実現に向けて動くには、今さおいて他にはありません。私は、「ゼロシナリオ」以外には考えられないと考えます。				
19829	個人	パート・アルバイト	30代	男性	提示されている選択肢自体が正統性を欠いていると思います。それでも選ばざるを得ないのなら原発ゼロパーセントシナリオです。	われわれの社会はさまざまなことを虚構によって決定してきました。選択には責任が伴いますが、国民を含めて重大な決定はすべて自分とは違うどこかで為されていると思い込んできたのです。 政治、行政、電力会社、それにマスコミ、それぞれの重大な過失について紛糾する意見が多く届いていることは、脱原発を訴える声のすべてが、それらの過失が実際にはわれわれ自身のものであったということ、これからはその責任をわれわれ自身が負わなければならないということを自覚した上でのものではないでしょう。われわれの愚民性がこの国の行政を含めた虚構体質を醸成しているのも事実でしょう。 しかし価値観を変えるためには実践が必要であり、今の状況はかつてなかったほどの大きな機会であると考えます。この国にとっての重大なチャンスを見逃すべきではありません。 エネルギーの自給率を上げることはわれわれ自身が自分たちの社会に誇りを持ち、それゆえに社会を広い視野で見ようと思うことを可能にするためにも必要です。再生可能エネルギー市場を作り出すために、発送電分離政策の推進を強く希望します。 原子力技術というものを完全に放棄してしまうべきだとは思いません。廃炉や放射能除去の問題のためにもただの原子力アレルギーには反対します。しかし原発を適正に運営することは今のわれわれには不可能です。われわれが成熟し、かつそれ以外の選択肢がないという状況になったときのために、他の多くの科学分野同様、研究のための研究として、原子力技術という分野は残されていくべきだと思います。				

19830	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発のコストをはっきりと見せてもらえなければ、判断ができない。	自分は、原子燃料に携わっている人間なので、会社の立場からも電力の安定、安価供給の為に原発は必要であると声を大きくして言ってはいないが、そのような雰囲気をみせている。しかし、昨年の事故を受けて、万が一の事を考えるとやはり理想は不要な社会だと考えている。但し、反原発デモや一般的な議論で強い違和感を感じるのは、原発は危ない、危なくないの議論が中心で、原発を止めた場合の家計及び産業の電気料金への影響がどうなるのかの問いが聞かれない、またそのような情報が出てこない、反原発デモも、はたして電気料金が倍になって、失業してまでの覚悟があって言っているのか疑問である。なお、現在、原子力発電のコストも安いという事になっているが、これも実際はブラックボックスで、税金が結局は現在も使われており、直接国民が見えない形になっているだけなので、直接的に電気料金で請求された場合と比較する事が難しいが、これが分からなければ、判断が出来ない。廃炉、処分を含めての原発のコストをはっきりと見せてもらいたいと強く要望する。
19831	個人	会社員・公務員	60代	男性	【要旨】 ●原発依存率、ゼロ%を選択する。 ●他の選択肢は、ない。	【理由】 1．原発依存から即脱却を求める 　核がコントロール不能であることは、原発事故の収束は未だ目途がたっていてことからも明らかです。 　そして放射性廃棄物の課題はいまだ解決されていません。 　地震多発国の日本で、日本列島のどこにも原子力発電所の適地はありません。 2．他の選択肢はない 　これまで原発推進のためにマイナス要因に蓋をし、かつ嘘を言い国民を欺き、 目先の利益を追い求め続けてきた政府や電力会社等の罪はたいへん重いと考えます。 1基でも増設を認めれば何かと理由をこじつけ原発依存から脱却しなくなることは明白です。 もう騙されません。 3．次世代に責任を果たす 　フクシマの多大な犠牲を教訓に最善を為すことを、世界は注目しています。 　もはや、「自分の国」が愚行重ねることを看過することはできません。
19832	個人	会社員・公務員	30代	女性	「(1)ゼロシナリオ」を求めます。 地震や台風など自然災害が多い日本では、安全に「絶対」はないと考えます。自然エネルギーへの早期転換を考えるべきです。原発依存は考えられません。	脱原発への政策転換を求めます。 再生可能エネルギーを活用し、「(1)ゼロシナリオ」を基本に制度の設計を進めてください。 地震や台風など自然災害が多い日本では、安全に「絶対」はないと考えます。自然エネルギーへの早期転換を考えるべきです。事故が起こった場合、責任が取れないことが明らかになった以上、原発依存は考えられません。
19833	個人	家事専業	60代	女性	脱原発賛成！　オスプレイ配備反対！ 日本という国は尊厳を失い、消えてしまうのではと。	"山を荒らさず　川を荒らさず　村を破らず　人を殺さざるべし" 足尾銅山公害問題と痛みに一人議員バッジを外し生涯をかけた田中正造の言葉 を今の議員たちに、多くの人たちに深く感じてもらいたい。 大いなるものへ畏敬の念をもってもらいたい。 破壊されたものは自然にかえしていく努力をすべきかと。 小さな地震大国がこれほどの数の原発に囲まれている異常な事態に恐怖と狂気を感じるばかり。 脱原発なくして日本に、世界に未来はないかと。 子供たちの明日を祈り、電気を使う側も覚悟しなくては！ 未亡人製造機と言われる"オスプレイ"はアメリカでも問題視されているというのに、日本政府はアメリカの言いなり！ 原発事故と同じように、多くの痛みと不安をそのままにして安全を語るとは！ 人としての尊厳も崇高さもない。
19834	個人	無職	70代	男性	2030年に原発ゼロが最短の脱原発への選択肢となっているが、昨今盛んなデモで叫ばれているのは「再稼動反対＝原発即廃炉」である。民意を十分反映できるよう「再稼動反対＝原発即廃炉」を選択肢に加えるべき。	国民にこの3つの選択肢だけから選ばせる政府のやり方では、結果として2030年に原発依存度15％や20～25％が選ばれることとなり、多くの原発が再稼働され、多数の国民の声を無視することとなる。 すなわち、この3択のままでは、不本意であっても2030年に原発ゼロを選んでおかないと15％や20～25％が選ばれる可能性が高くなり、ゼロの可能性が非常に少なくなるので、原発ゼロを選ぶこととなる。すると2030年までは再稼働容認を表明することとなる。 また、この3つの選択肢だけから選ばせる政府のやり方はおかしいと、無視すると原発依存度15％や20～25％が選ばれる可能性がうんと高くなる。 これでは、最近常態化した大規模なデモで叫ばれている「再稼動反対＝原発即廃炉」の民意が十分反映されないこととなる。
19835	法人・団体等	無職	30代	女性	疑問の2030シナリオ問題	福島原発事故による被災者や避難指示された福島住民の生活や健康やふるさとの心を奪われた事実を 思えば、二度と原子力　エネルギーを利用とは思えない。 正直に国策を学び、政界、官界、財界から安全神話を浴び、信じてしまった国民と思えば、 もう原発や国への信頼性が完全に外れられた。 従って、一般的なエネルギーの選択には、原子力が外している。 今回のエネルギー政策のパブコミの流れを見れば、原子力委員会のHPやメルマガを見てわかるように、 核燃料サイクル政策の選択肢であり、原子力エネルギー推進側で作ったパブコメと見れる。 2030年の根拠も不明のまま原子力エネルギーを一方的に約18年依存して、そこで選択するとは信じられない。結局、国民に選択をさせ、この約18年間の原子力政策依存を自動的に支持する・・・ 国民と言いながら、巧妙な誘導と見える。ナンセンスのシナリオである。 以上
19836	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発「0%」・再稼働反対！	トイレなきマンションといわれる原発は直ちになくしてください。 地球のありとあらゆるものの汚染・被爆につながります。 絶対になくしてください。再稼働はありえません！
19837	個人	家事専業	60代	女性	原発は即時廃業としなくてはなりません。	国の債務を孫子に押し付けてはならないのと同様に、使用済み燃料の処理もままならない核のごみをこれ以上増やし続けて、後の処理を後の世代に付け回すのは許されません。即時廃炉として、廃業技術を一刻も早く築き上げなくてはならないと考えます。年金問題にせよ、地球環境汚染も然りで、後世代に負担ばかり先送りすることはできないし、恥を知るべきです。
19838	個人	会社員・公務員	40代	女性	原子力エネルギー利用に反対です。 原発の廃止もですが、原子力産業自体全廃の必要あり!です。	人工的な核種については最終処分が不可能であるため
19839	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原発ゼロシナリオに賛成します。	これ以上処分方法も決まっていない放射性廃棄物を増やす原子力発電所の稼働、新設、増設、運転期間の延長に反対します。そしてより高レベルの放射性廃棄物を出し、問題も多い核燃料サイクルにも反対します。 放射性廃棄物はこの先何百年と管理が必要ですよね。また原子力発電所を廃炉にした時に出てくる原子炉はもちろんのこと、建屋のコンクリートでさえ、一般の廃棄物と同様には処分できないはずです。現在の日本には50基以上の原子力発電所があり、今までの発電で出来た使用済み核燃料もたくさんあります。これらを管理処分していくのは、子供たち孫たちになります。これ以上の負担を次世代に押し付けるのは、やめてください。しかもこの負担は命にかかわることです。 また、福島の事故では多くの方が平穏な生活を奪われ、不自由な生活を強いられ、健康にも大きな不安を抱えていることと思います。ひとたび事故が起これば、大変なことになるのです。 このような危険な原子力政策を推し進めるのではなく、原発ゼロシナリオを進めていってほしいです。 日本の科学力、ものつくり力を、原子力推進に向けるのではなく、省エネや自然エネルギーの開発、促進に向かうよう政府も後押ししていただきたいです。
19840	個人	自営業	30代	女性	原発ゼロシナリオを希望します。まず原発すべてを廃炉にすることを決定すべきと思います。	原発ゼロ、すべての原発を廃炉にするということを決定、明言した上で、いつまでにゼロにするのか、また、エネルギーのこれから、それに関わる仕事をしてきた方々のことや、立地地域のこれから、核の廃棄物の問題、C02削減について等、しっかりと話し合われるべきだと思います。 福島でこれだけの事故が起きたのにも関わらず、また、まだ収束もしていないのにも関わらず、まず再稼働ありきという国の姿勢には納得ができません。事故に関しても、徹底して情報を公開していただきたいです。数字などが公表されるのが遅すぎます。 これでは一般市民の感覚として、国を信用することができません。福島や近隣県の作物の風評被害を減らすためにも、どうか、信用すると足る情報公開や、パフォーマンスではない、真摯な姿勢を示していただけたらと願います。
19841	個人	会社員・公務員	30代	男性	0%シナリオを選択すべきです。	今現在私も幼い子供の親であります。未来ある子ども達に安心して暮らせる未来を求めます。本当に原発は必要なのでしょうか？私は必要ないと思います！！
19842	個人	家事専業	40代	女性	2030年ではなく、即刻原発0を主張します	原発は管理不能であり即刻やめるべき。再生可能エネルギーやフリーエネルギーで新しくスタートするスケジュールを明確に国民に示す時だ。日本なら技術的にも人材的にもできると信じている。
19843	個人	自営業	30代	男性	「エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見	私はゼロシナリオを選択します。「2030年までのなるべく早期」ではなく、「明日にでも原発ゼロ」にして欲しいです。2030年では遅いと思います。
19844	個人	パート・アルバイト	30代	女性	ゼロシナリオを採択します。 即時撤廃希望	原発には安全はないということが、福島第一原発の事故であきらかにされました。 核の平和利用という大義名分にはもうだまされません。 核、原子力エネルギーは完全廃止しかありません。
19845	法人・団体等	会社員・公務員	60代	男性	15シナリオが良いと考えます。 原発は安全確保に多大な労力を要し、それでも人間が扱うので完璧は難しい。 一方、あまりに性急な脱原発は、一部、社会的にストレスが大きくなる懸念があります。	15シナリオが良いと考えます。 原発は、福島事故で明らかになったように、安全確保のためには、技術的側面だけでなく、組織的・システム的な側面からも、対策が必要で、完璧さが要求されます。人間が作り、運用する以上、不完全さが残ることやミスを避けられないことは、多くの産業安全活動の歴史の中で経験済みです。他の産業との違いは、万一でも、事故が起きたときの影響の甚大さです。すなわち、原発は、可及的速やかに、安全なエネルギーに切り替えるべきです。 一方で、あまりに性急な脱原発は、社会的な変を生じます。創えられる速度での転換が妥当なところだと思います。 安全なエネルギーとして、地球温暖化対策の視点、エネルギー安全保障の視点から、再生可能エネルギーを選択することが妥当と考えます。 新しいエネルギーであり、不安定な面がありますので、技術的、経済的に負担が発生します。これを乗り越えようとするところに、新しい技術、産業の芽が出てくることが期待されます。つぶされないよう、育てていって、海外にも販売できる技術・製品やシステムに仕上げてくことが、将来の日本の生きる道を確保するためにも重要と思います。
19846	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発ゼロを求めます。稼働している、していないに関わらず放射線を多量に発する物質は商業目的で設置・保管するべきではないと考えます。早期撤廃を強く要望いたします。	原子力発電所は早期に全て廃炉にするべきだと考えています。 理由として以下にあげます。 (1)地震大国日本において、原子炉を自然災害から完璧に保護する事は現代の科学では難しいと想定される為、その安全性を確立する事ができない。 (2)国連が提唱する健康権を得る為にも自然界以外からの人為的な放射線を発しない措置が必要と考える。 そこで発電量確保の代替案として以下を提案します。 (1)エネルギーロスなどを防ぎ、節電の意識を高める為、発電、送電体制を地域分散型にする。緊急時以外は各広域連合以下の単位で発電網を確保する。 (2)太陽光、風力、地熱、水力などの高効率化などの研究開発をもっと進めるべき。 自然エネルギーへのシフトには時間がかかる事が懸念され、一時的に世界的な地球温暖化対策の流れに逆行するかもしれません。しかし、長期的に見れば二酸化炭素の排出量をより抑えられるのではないかと思います。なによりも、放射能汚染を幾度も経験している日本がわざわざ危険物を持ち込んでいる事は不可解極まりありません。自然エネルギー開発・実施は一定の雇用も促進し、環境汚染も殆ど無く、あらゆる分野から貢献されるべき政策となりうると考えます。 これからは前向きに原発ゼロシナリオを日本発で世界的な運動とするべきです。よろしくお願いいたします。
19847	個人	無職	60代	女性	原発ゼロを望みます。青森の再処理を中止し、核燃料サイクル事業の廃止を望みます。	原発はできるだけ早く止めて欲しい。 青森の農作物は安全、安心が売りです。放射能汚染で、誰も買ってくれなくなります。県としての産業がなくなります。子供達にがんが多発します。子供達が病気に冒される国に未来はありません。 100年後、人の住めなくなった国に、原発の建屋だけがさらされた風景が目にうかぶのです。SFではなく、現実の風景となりつつあります。 青森は、海も山も豊かな自然と食に恵まれたすばらしい土地です。人間が生き物として人間らしく生きられる環境です。 なんとしてもここに住んでいたい。 福島のように放射能に追われるの生活はは厭です。
19848	法人・団体等	法人等	60代	男性	今や世界でトップクラスの技術先進国となった日本に住む人間として、冷静に考えた場合の原発再稼働問題と今後の電気エネルギーについて	開発途上国として考えれば、原発はこれから発展する為の大きなエネルギー源である。 もし今後原発をどうするか考えるのであれば、当然世界レベルでの議論が必要でしょう。 決して先進国のエゴであってはならないと思います。 西の隣国(韓国、中国)の原発事故が発生すればその東の国である日本は偏西風などにより黄砂と同じ様に放射性物質が大量に降ってくる事は事実でしょう。日本だけ原発を無くして喜んではいられない様に思います。原発廃止を叫ぶなら先進国の代替えエネルギー技術を積極的に開発途上国に譲渡指導し、世界レベルで原発を廃止する行動を起こすべきでしょう。シェールガスやメタンハイドレートなども利用してガスタービン発電設備なども積極的にアピールすべきではないかと思います。 この様な発電設備が整った段階で原発を縮小して行けば充分に思います。 現状を見ると、何かに恵かれた様に太陽光発電などの再生可能エネルギーと称するものばかりが注目されているのが異常であり不思議に思います。又、一部では営利企業がこぞぞとばかりに参入利益を得ようと企んでいるのも嫌ですね。金持ちが得をして貧乏人が損をする仕組みになりそうで恐いです。現状では核エネルギー程大きなエネルギーは無く、安全性が高ければこれ程理想的なエネルギーはないと思います。(安全と言う言葉程曖昧な言葉は無いのですが) 核を考えるなら、より安全性が高いと思われる進行波炉や核融合炉を世界の技術者が一つになって研究開発加速に注力すべきでは。個々の国単位の営利目的の競争は排除し、地球上の人間として研究すべきだと考えます。劣化ウランを含め使用済み核燃料は現在100万t一以上が存在すると言われています。この様な厄介なものを燃料に利用出来るかもしれない進行波炉などはもっと研究されても良いと思いますが、如何でしょうか。何れにしろ一朝一夕の技術では無いですが世界の優秀な技術者一体となって研究すれば夢も現実になるのではないでしょうか。
19849	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発ゼロです。子どもたちに安心で安全な社会を受け継いで行かせたい。 この選択肢についての地球温暖化について原発問題と一緒にするのではなく、 別々に考え、方針を出してほしい。	原発はゼロを支持します。今日本の福島で起きていることをもっと真摯に受けとめ、未来に生きる子どもたちのためにも、自然豊かな日本を作ることが大人の責任です。地球温暖化においても、原子力発電と一緒にせずに、社会のあり方仕組みも含めて、もう一度見直すべきだと思います。
19850	個人	無職	60代	男性	原発0%、シナリオを支持します	原発は直ちに廃止してほしい。 この世は「絶対安全」なものはなく、原発が事故を起こす場合の被害が広範囲で深刻なものになることは、2011年3月11日以降の東電福島第一原発の大事故で立証済み。 たとえ事故がなくても、原発は放射能漏れを起こすし、原発労働者は被爆し生命と健康を破壊する。 原子力はもういらない。電力は足りている。 太陽光、風力、地熱など安全な再生可能エネルギーを強力に推進してほしい。 人間が制御できない魔物(原発)はいらない。
19851	個人	家事専業	40代	女性	原子力は人間の手に負えない。 小規模の事故であっても、コントロールできなければ一瞬で大事故につながる。 日本人が国土を追われることになったら、国が無くなってしまうかもしれない。	自然、再生可能エネルギー等の実用化が間に合わなければ、火力発電中心でも構わない。地球は温暖化していないという研究者もいます。 機械と人間は必ず故障やミスを犯すものです。想定外の事態においても事故を起こしてはならないのですから、原子力は使えない。(研究は必要と考えますので、小規模の一基一部のみ残しても良いと思います)
19852	個人	自営業	60代	男性	ゼロシナリオを選択します。	福島の惨事を目の当たりにしては、ゼロシナリオ以外考えられない。2030年と言わず、なるべく早く原発をゼロにするべきであると考える。

19853	個人	家事専業	70代	女性	原子力発電は材料の処理が安全に出来、最終処分ができつようになるまで、封印するべきと考えます。	今のままでは危なくて安心して暮らせません。 規制する機関を独立させて、経済的、政治的な利権のない人々で構成されなければ意味がありません。 専門の危機管理が素早くできるチームの養成が先決です。
19854	個人	自営業	40代	女性	30年後にはもちろん原発0でなくてはなりません。エネルギー政策を転換することで、再生可能エネルギーを推進するために私たちの血税を使ってください。	チェルノブイリの原発事故があり、原発はひとたび事故があると半減期が30年のセシウムやストロンチウムなどが大地や海、河川を汚染し、半永久的長期にわたって食物連鎖の頂点にいる私たち人間へ内部被曝という目に見えない被害を及ぼすことを知りました。事故から25年経ったチェルノブイリですら、その被害状況はまだわかっていないことが多いですが、原発から80km圏内の住民にも大人甲状腺がん、白血病が増えているといいます。事故後処理に当たった若者たちの多くは50歳まで生き延びることが出来ず、癌でこれ、癌でこれ、癌でこれ、癌でこれなる方が非常に多く、流産や障害児も多くなったと聞きます。福島の原発事故の健康被害が出てくるのはこれからです。その時に、まだ相変わらず日本が原発推進の政策をとっているようだったら、日本という国は何というお粗末な国に成り下がってしまったかと世界からも呆れられることでしょう。事故後、1年以上経っても誰も責任をとっていませんが、せめて政策を転換すべきです。多くの国民の願いだと思います。目先の経済よりも恒久的視点から命の重さを重要視してください！
19855	個人	会社員・公務員	50代	男性	そもそも3つのシナリオからという示し方に問題があるのではないか。	今後のエネルギー選択について、国民にゆだねるということは理解できる。 しかしながら選択肢に書かれている内容が、あまりにも抽象的であること、そして何よりも、原発には依存せざるを得ないが、福島原発の事故により多くの方が苦しんでいる状況の中、今まで国として考えていたエネルギーミックスの方針を転換せざるを得なくなった等、今回の選択肢は国の泣き言、言い訳、アリバイ作りの羅列にしか見て取れない。 もちろん私にも子供はいるが、これからの子供たちのために明るい未来の礎を作る責任を感じている。 そうした中、ここまで堂々になってしまった社会をどのようにして次世代に引き継いでいくのかと言うことを真剣に考えなければならないが、身近なエネルギーであるがゆえに、方向性（シナリオ）によっては、我々に相当な覚悟が必要となる。まずはここをしっかり議論しない事には、将来のシナリオは描けないのではないだろうか。 確かに、100%安全とは言えない原発に依存するのもどうかとは思うが、では明日から新エネルギーに移行できるのかと言えば、全くそのような現状ではないし、それでなくても経済状況が不安定な中、エネルギー供給の不安定と価格高騰を考えれば、ますます企業の国内離れに拍車がかかる。 もちろん、これに対する国策も皆無の状況であることから、こうしたエネルギー不安の状況が、すぐに国内企業を直撃している状況であり、以前、景気上昇のきっかけもつかめないままである。 ただ、不安との同居は耐え難いと多くの国民が望めば（全ての原発廃止）、高度経済成長は無ともも、昭和40年代前半の生活に逆戻しし、（極端な話ではあるが）給料は現在の3分の1、新規雇用がなくても母舎に暮らし、少しの田畑を作りながら接電球と、五右衛門風呂、薪ストーブ等で楽々ながらでも明るく楽し過ごしますと言った生活スタイルになってもよいが、放射線の知識と同様に、どれだけ多くの国民が、そうした影響の中身まで踏み入って理解をされているのであろうか。 結局、国は体裁ばかりを気にするがあまり、いつも上辺だけの結果主義であるが、今回はもう少し踏みこんで話し合わなければ、本当に将来の責任が持てない結果にしかならないのではと不安を募らせている。 国民に責められまいと保身するあまり、こうした程度の内容しか示せないのかと、正直情けなく思っている。
19856	個人	無職	70代	男性	原発依存度を出来るだけ早くゼロに。 原因がなんだろうと万一起きたらそのエリアは規模したいで何千年も「無」になるリスクがあることを知った。再生可能エネルギー方針と開発は国民に夢と希望を与える。	日本は地震大国であり日本語のツナミは国際語になるほどの自然条件の国でありひとたび大きな事故に見舞われて崩壊すると運が悪ければ広範囲に猛毒を撒き散らし何年何十年、あるいは何千年もん人が住めなくなることは決してゼロではないだろう。 公聴会で電力会社の社員が今回の事故で死者は出ていないと嘆っていたがそのあまりの程度の低さには背筋が寒くなった。福島の住民で放射能の汚染がひどい危険な地区からは避難をしたから生命を危険にさらされていないまでであっていう自分の家に戻れるか、いつ自分の畑で仕事が出来るかはまったく分からずそのことを絶望視して多くの自殺者を出したのは原発事故と関連がないと思っているのだろうか。しかしこの電力会社の社員の発想はかれー人ではなく電力会社の経営者も含めマジョリティと容易に想像出来、とてもこの危険なものをこの人たちに任せられるものではない。と国民の多くは感じただろうということも分からないのだろうくらいお粗末な一幾であった。万一原発が一つ爆発すると広島の原爆5000個分の放射能が飛び散るそうだが、天災だけでなくあらゆる要因が大事故を引き起こす可能性があると想定すべきです。よく飛行機事故や自動車事故でもゼロではないと言う人たちがいるが事故を起こした場合の結果は全く違い、運が悪ければ国がなくなることもある以上、即刻原発ゼロを宣言すべきである。 とりあえずは原発の開発を続ける他国のことはほうっておき国を上げて自然エネルギー開発に取り組む宣言をすれば国民は夢と希望に輝くだろう。76歳の私でも胸が踊る心地がする。日本人の勤勉さ、優秀さはかならずこのテーマで大きく経済発展へと築いていくと信じている。
19857	個人	家事専業	60代	女性	ゼロシナリオを支持します。 不誠実で無能な政府・電力会社には原子炉を安全に取り扱っていく事は出来ません。	ゼロシナリオを支持します。 事故から1年以上経過しているのに、政府・電力会社は有効な対策をしないまま、原発を再稼働しました。 原子炉は、地震によって真っ先に破壊されたという複数の証拠が出ているのに、政府・電力会社は、原因は津波であると強弁し、津波対策だけで事足れりとしています。 こういう不誠実で無能な政府・電力会社が、今後、原発を安全に取り扱っていくことが出来る筈はなく、同様の事故は遠からず繰り返されるでしょう。そういう事態を避けるには、原発を無くすのが一番です。
19858	個人	その他	50代	女性	原発ゼロ社会の実現。それ以外の段階的な手法は不可。再生可能エネルギー及び新エネルギーの活用と普及。	原発の推進は、人間の正常心を喪失した滅びの方向への危険性を十二分に有するものである。倫理的にも、生存の権利の上からも合理性や政策化が許されるべき種類のものではない。経済的な成長が、国民の生活を護る最優先課題という見方をしている者がいるが、現在、人類が置かれている地球環境の現実は、人間が各々の生活において、物質的な買い込みの習癖を、解除することが余儀なくことを明白に示している。それほどの選択を要する所に、自分たちが位置していることを認識することが出来ることが、学習の本来、意味するところであると考える。 日本は、「知足」の分野において、文化的なリリューションとライフスタイルを ソフトテクノロジーとして、経済化していくことが充分に可能である。エネルギーの消費を前提としない、社会的な方法を示し、世界に伝えていくことを始めるべきである。
19859	個人	パート・アルバイト	60代	男性	世界の原発は概ね500機、約10分の1が地震大国日本にある。これは全くの異常なことと言わざるを得ません。なので、現実的に考えて、全機即時撤廃を提案します。	繰り返しになりますが、世界中の原発の10分の1が世界1地震 が多い島国に集中していることは、誰もが、利権当事者であっても、 少し俯瞰してみれば、自ずと結論は導き出せると思います。本来で あれば、地震大国、島国、つまりはそれを逆手にとって地熱や海流などを 優先的に推進すべきところ、それらを隅に追いやって等閑にしてきたの であります。今後、核廃棄物の処理、新技が無いのであれば、廃炉 ということになりますが、今迄半世紀に渡り、核の無害化の研究をされて きたであろうことや、核燃サイクルを回すことも考えられてきたと思いますが、 現実的には不可能であるということが既に関係する学者においても、共有 出来ている価値観かと思います。残念ながら、昨年原発事故直後の 行政の対応、メディアのでたらめな報道を目にし我々愚民の側の多くは その図式に気がついてしまったのです。それ故、昨年末の野田首相の 収束宣言も先の大飯原発再稼働報道も何度繰り返し観ても違和感を 感じてしまいます。結果、その後多くの心ある市民は金曜の夜、内閣府前に 集まっているのだと考えます。今迄ことあるごとに、再生可能エネルギーの 問題点、「安定性に欠ける」ということをメディアを通じて世の中にけん伝 されてきた訳ですが、今迄多額の予算をつぎ込んできた原発マネーをこちら にせめて半分でも振りむければ、日本の技術力をもってすれば、ウラン、 プルトニウム、ストロンチウムを無害化するよりは遥かに、現実的では無い でしょうか？電力村に執着し、そこに過度に依存してきた、電力会社、 金融、学者、行政、そして報道これらペンタゴンで今後も次の原発事故が 起きるまで、再発しないよう祈り を込めて回していくのですか？そして我々 愚民はなすすべもなく、高い電気料を払い、万一の事故のときには棄民 となり、日本全国を逃げ惑うことになるのでしょうか？推進側は東電同様、 何事もなくそれまでの生活を送る、これが人として正しい道なのでしょうか？ 後世のつけは財政赤字だけではありません。この膨大な量の核のゴミも同様 です。しかも有毒で、放射性物質によっては我々6000世代先まで燃え続ける しろものです。そのことを十分に熟慮され今一度、冷静、公平に倫理観を 持って市民の側にたった決断を期待いたします。。
19860	個人	家事専業	40代	女性	原子力0%を支持します。いくら膨大なエネルギーが作られようとも、自然や生命を破壊する原子力に頼るのは危険すぎます。子供達にこれ以上の負の遺産を残せない！	これからは、自然と人間が共存し、循環できるものでないと、立ち行かなくなってくるだろうし、それをないがしろにして経済の発展もないと思います。 瓦礫処理の運搬等に費用を使い、毒をまき散らすくらいなら、今飛び散らかってる放射能の毒性を無毒化したり、有用するための研究費や製品化のとして予算を使ってほしい。たとえ、楽晴らしい技術が生まれたとしても、一部のものの損得のために技術が日のめみれないなどというのは絶対にやめていただきたいし、もう国民もだまさせません。 壁面でソーラー発電できるマンションも素敵だと思うし、ベランダに気軽におけて、コンセントが差し込めるような蓄電機能付きのソーラー発電機が手頃な価格であれば私は欲しいです。 清浄作用を持ち、様々に有用することが出来る、麻の栽培においても規制を見直すべきだと思います。 大きな権力の利より、国民が本当に幸せになる利が大事です。それが政治ではないですか？ 人間も自然の一部なんだから、自然なくして幸せはないです。もはや東北や一部の地域の問題ではないです。外国に原発を輸出することもやめてほしいです。不要なゴミを押し付けて、さらに儲けようとしているようで、結局は自分の住む地球を汚してしまいます。地球上すべて空や海はつながっていて、全ては影響しあっています。絶対自分のところに影響はやってきます。 放射線で海や農地や作物が汚染され、食べることがどんどん難しくなってきています。瓦礫処理や再稼働などでもますますその不安がつのってきており、自然災害も加われば、原子力が安全とはどうして言えるでしょうか？このままだと日本で住めるところ、食べられるものが無くなってしまいます。 可能な人は自分で作物を作り、電気なども作ることができたら大きな企業に依存しなくても良いし、不要なコントロールも受けずにすみます。 頻繁な癌検査より、多くの医療措置や薬の提供より、そんなものがいらない当たり前に健康的に暮らしていけるような手助けを政府には求めています。 生命、自然、そして地球全体を守るためには、今ここで原子力から撤退することが絶対に必要であると思います。
19861	個人	パート・アルバイト	40代	女性	ゼロシナリオを選択します。 代替エネルギー開発を早急に進めるべきです。	原発は、事故の危険性はもちろん、 将来長くにわたって廃棄物を管理していかなければならない 厄介で危険な発電方法です。 コストもかかります。 日本の技術力を持ってすれば、 地熱、太陽、風力、波力など、 代替エネルギーの開発は十分可能です。 日本国内のみならず、原発輸出も早急にストップすべきです。 自然エネルギーを日本から世界に広めていきましょう。
19862	個人	無職	70代	男性	今後50年の間、原発を40年で廃炉にしながら、新増設を行い、原発比率30%継続維持を提唱します。理由は、日本経済の向上と地球温暖化対策の推進です。前者は安定電源が、後者は火力発電の削減が欠かせません。	私は、以下の理由から今後50年の間、原発の新増設を行いながら、30%継続維持を提唱します。政府が示した選択肢にないので、あえて選べば20～25%になります。 私は、日本はエネルギー開連でふたつの課題を抱えていると考えています。ひとつは経済の向上であり、ふたつは地球温暖化対策の着実な推進です。 経済の向上には質の良い電力の安定供給が欠かせません。現段階で考えられるのは火力発電と原発です。さらに、安定性を向上させるため、揚水発電の増強、全国規模での電力融通を可能にする送電網の拡充、原発敷変換施設の充実が必要ですが、これには資金と時間がかかります。 温暖化対策では、火力発電を減らす必要があります。日本は温室効果ガスを2020年までに25%削減という国際公約をしていることもあり、ここまで温暖化を進めてきた先進国の一員として、25%削減はともかく、温室効果ガスの削減を着実に進めていくことは、国際的な責任です。 太陽光発電、風力、地熱などの自然エネルギーの導入を大いに進めればよい。海洋エネルギーの開発も進めればよい。しかし、いずれも欲しいときに手に入るというものではありません。 シェールガスに期待する声がありますが、しょせんは火力発電です。火力発電に代わりうる安定電源は原発以外に何があるでしょうか。 私は、今迄50の間、既存原発を40年（延ばしても60年）で廃炉にしつつ、新増設をしながら原発比率30%程度を維持し、その間に原発、火力発電に代わりうる安定電源を開発してめどのついたものから導入していき、長期的には原発ゼロを目指すことを提唱します。開発が早く進めば、それだけ早く原発ゼロに進み、遅れればゼロも遅れることを覚悟するということです。 核燃料サイクルについては、まず、高速増殖炉「もんじゅ」の開発はやめる。原子炉の持つ潜在的な危険性のほかに、ナトリウムの取り扱いの難しさからです。 そのうえで、使用済核燃料の再処理については、将来のウランの量によります。 文献によれば、低価格で採掘可能なウラン資源の量は、今迄50年に限ってもかなりの量があるとされています。だとすれば、再処理はやめて乾式貯蔵後、直接処分するべきです。 逆に、ウランの量が十分でなければ、再処理してプルトニウムを抽出し、プルサーマルとして原発で使うことになります。プルサーマルに必要な量だけ再処理し、残りの使用済み核燃料は乾式貯蔵後、直接処分することになります。以上
19863	個人	会社員・公務員	60代	男性	シナリオ的に③に近いが、更に低減し原発依存率を10%程度とする。 活断層に近い原発、老朽化した原発は即刻停止とするが、エネルギー選択肢の確保も必要。2030年での原発依存率は10%程度が適当。	3．11の悲惨な事故を経験したわが国では、エネルギーの原発依存率を可能な限り下げていくのは当然と考える。しかしながら、今まで原発を国是として構築してきた現状においては、即刻全面廃止ということにいろなと、産業や国民生活への影響は多大なものとなると考えられる。 これから、原発に依存しない体制を構築していくためにも、時間が必要であり、安定的な電力確保のためには原発に変わりうる安定エネルギー源（地熱，ガスコンバインド，ニュー原発，波力等）の開発が必要である。また、エネルギーの選択肢、多様性を確保することも、エネルギー安全保障の観点からも必要であろう。 以上の観点から、以下のように考える。 1．現状の原発に対しては、危険度の高いものは即刻廃止とする。 危険度の高いものとは、例えば 活断層が敷地内またもとより付近、5km以内に通っている原発、 40年ルールを厳密に適応し、それ以上老朽化した原発、等である。 2．エネルギーの選択肢を多く持つことは、エネルギー安全保障の観点から必要であり、原発についても安全なものは稼動しほぼ10%程度維持することは必要であろう。 3．原発に代わりうるエネルギー源として、地熱，メタンハイドレード，シェールガス，海洋波力等の開発を促進し、実用化を推進する。 4．太陽光や風力等の再生可能エネルギーに過度に期待するのは、安定供給の観点から問題である。 5．安全な原発なら、新規建設も可能と考えられ、恐らく2～3基の建設が必要となろう。その際、過疎地に建設するのではなく、エネルギーを最も必要としている都市部に建設することとする。たとえば、火力発電所と同様、新規建設は東京湾岸に建設すべし。安全な原発ならどこに建設してもよいはずであり、消費地に近い場所に建設するのが常道である。 以上の観点により、エネルギーの依存率は 火力：55%，原子力：10%，再生可能エネルギ1（風力，太陽光等）：10%，再生可能エネルギ2：（水力，地熱，波力　等）25% とするのが適当であると考える。
19864	個人	会社員・公務員	50代	男性	「エネルギー・環境に関する選択肢」に対する意見 「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張します。 《政府は本腰を入れて再生可能エネルギー開発に尽力すべきです。》	政府は原発を即刻ゼロにし、自然エネルギー比率を増やすスケジュールを国民にはやく示すべきです。 このパブコメ募集の前提が「2030年までは原発が維持される」というもの。このパブコメの前提自体が国民をだますトリックだ。地震はいつ起こるかわからない、即刻原発を停止し、自然エネルギーを急速に推進することこそが、日本を発展させる。 地震などにより国内の原発に再び事故が起これば、日本は再起不能になる。 福島第1原発の事故原因すらわかっていないのに、大飯原発再稼働することもとんでもないことです。即刻、原発を止め、すべての原発を廃炉にすべきです。 放射性廃棄物の処理の問題でも、すでにある放射性廃棄物の処理もできず、さらに廃棄物を増やすどとんでもないことです。 原発は正常に動いても、大量の放射性廃棄物を出し、作業員は被爆し、住民は常に危険にさらされて暮らすなど、放射能の部分一つとってもいいものがありません。 自然エネルギーは、原発のように国民への放射能被害や事故時の大量避難はありません。 発電コストでも、廃棄物処理を何100年以上も責任を持って行うことを考えれば、自然エネルギーの方がずっと安く、その上さらに安全です。 将来世代に放射能と放射性廃棄物処理費用という二重のつけをまわす原発は、2030年ではなく即刻廃止すべきです。
19865	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	脱原発への政策転換を求めます。再生可能エネルギーを活用し「(1)ゼロシナリオ」を基本に制度の設計を進めてください。事故が起こった場合、責任が取れないことが明らかになった以上、原発依存は考えられません。	地震や台風など自然災害が多い日本では、安全に「絶対」はないと考えます。自然エネルギーへの早期転換をはかるべきです。 原発を続けることは、将来の子どもたちにどうすることも出来ない危険な放射能を残すことです。使用済み核燃料をどうするかの技術も処分場所も不確定な中で、原発を動かしていくことは出来ません。
19866	個人	自営業	40代	男性	原発比率0%の早期実現が望ましい。	次にまた起こりうるであろう原発事故の甚大さ、使用済み核に対する人類が手に負えない処理問題等を考え、反対です。次世代、その先の世代のため、環境を改善してバトンタッチしなければなりません。最も危険なものをまず無くすこと。そこから世の中のシステムを再構築する必要性があります。ドイツ、イタリアを超えてクリーンエネルギーによる明るい未来の構築を日本は世界の手本になるようやるべき国だと思います。よろしくお願いします。

19867	法人・団体等	法人等	60代	法人等	資源・エネルギーを海外に依存する我が国では、20～25シナリオとし、省エネ化を推進することで海外への依存を可能な限り低減することが望ましいと考えます。	1．日本の競争力確保 ： 日本は富士山型産業構造から八ヶ岳型産業構造を目指す（経済産業省）と言われておりますが、外貨を獲得するには製造業の活躍が不可欠です。日本の特徴は、素材・部品、加工組立までの産業群があることで、それゆえ、優れた新製品、新商品開発力があります。グローバル化の進展で海外生産はやむを得ないにしろ、国内に拠点を残す必要があります。また、医療・福祉、コンテンツ等次の産業育成にも、ものづくりの技術は不可欠です。そのためには、電力の安定供給と、料金は大きな要因です。 2．太陽電池の問題 ： クリーンエネルギーとして太陽電池は優れていますが、製造に要する電力、製品としての発電能力の課題があります。また、シナリオで全家庭に設置する案もありますが、補助金だけでは限界があり、先行していたドイツでの問題も日本で発生する可能性もあります。（但し、製造業の競争力につながれば国益になりますが、現状では海外に押されているように思います） 3．産業界での省エネ（発電含む）の推進 ： 家電製品の省エネはPRされていますが、産業機器（ポンプ、送風機、ボイラ等）を入れ替えることで省エネを図ることが余りPRされていないように思います。また、ごみ焼却発電等も有効ですが、この点もPRされていないように思います。新エネも必要ですが、こうした産業面の省エネを推進する方が有効のように思います。 不十分な表現ですが、厳しい環境の中で日本が今後どのように生き残るのか、といった（エネルギーだけでなく）大きな視点からの議論を期待いたします。
19868	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	「ゼロシナリオ」2030年までの、早期に原発比率をゼロにすることを支持します。	当生協連が「ゼロシナリオ」を支持する理由。 1．生協の主体・主人公である組合員の思いと願い、要求に基づくことだから。 今回の原発事故で放射能の恐ろしさ・汚染された食品への不安・子供や孫たちへの悪影響など、組合員は急速に関心を高めています。そして福島県民、や福島の生協組合員の怒りや苦しみ、不安に心を痛めています。同じ震災被災者の立場としても、「地震大国のわが国では原発は危険であり廃止すべき」という率直な感情や意見が組合員の大半です。 2．協同組合の「価値」、即ち「正直・公開・社会的責任・他者への配慮、とい う倫理的価値を信条とする」という視点から捉えると、これまでの原発・エネルギー政策はまったく反対のことをしており、「自主・民主・公開」とい う原発政策の3原則を踏みにじってきた歴史だった。私たちのめざす理念や社会のありように原発は反する。 3．私たちは、食をはじめとするくらしと命の「安全・安心」、自給率向上をめざしくらしと地域を守る運動や事業、憲法に保障された「生存権・幸福追求権・基本的人権」などを最大尊重して運動してきた。しかし、放射能による食・命の危機、農林水産業はじめ地域社会・経済の破壊・衰退などが原発事故によりもたらされた現実から、また、子供たちの未来を含めて「人間社会と原発の共存はありえない」「生協運動の理念と原発は両立しない」と考え る。 以上のような視点から、岩手県生協連として「原子力発電に依存する政策を転換し、再生可能エネルギー中心の政策を推進しよう」「大地震の危険性ある地域の原子力発電所、30年以上経過した原発は即時廃止し、再生可能エネルギーの技術開発・事業拡大予算を優先し、すべての原発は5～10年以内に全廃する」という立場をとります。 風力・太陽光・太陽熱・バイオマス・小水力・地熱・波力など、再生可能エネルギーは無尽蔵なものであり、原子力開発関連予算を大胆に展開すれば、その技術・施設・発電量は爆発的に拡大でき、原発からの速やかな転換が可能です。現在でも、原発以外の既存エネルギーの活用や省エネ技術で省エネ社会をつくれば、原発がなくてもやっていけるとの主張も十分説得力があります。 また、若者の働き口が無く、少子化、人口減少に苦しむ地方において自然エネルギーは雇用をはじめ地域の活性化、地域経済のためにも大きな可能性があり、こうした投資や歳出は単なる発電コストとしてだけでなく、地方の衰退を食い止めながらバランスのとれた国土計画としても位置付けることが必要です。 原発で生み出される雇用は、危険と隣り合わせであり、過疎や少子化の解決策にもなりません。 一刻も早く、原発依存をなくすことを支持し、「ゼロシナリオ」を支持します。
19869	個人	無職	50代	女性	原発の廃止を訴えます	今回の事故で多くの知人が被害を受けていることを見過ごしにできません。幼い子供達の将来を考えると、人間がもはや制御できないことが明確になった原発は廃止すべきという考えに至りました。
19870	個人	家事専業	50代	女性	原発ゼロシナリオ	私は今50代です。原発について無関心で生きてきたことが悔やまれます。 3.11の大震災で何が起こったのか。自然の脅威はもちろん原発という人災の愚かさを噛み締めています。 地震多発国の日本に人間の制御不能な原発は作ってはいけない。 目先の利権、国民無視のやみくもな経済発展は必要ありません。 日本政府は日本国民の命、生きる権利を守ってください。 その他大勢の国民の命より政治家は自分の利権の方が大切ですか。 電気はなくてはならないものです。でも原発はNO! 原発に変わるエネルギー対策を早急にお願いいたします。 福島の方達の原発事故以降の現実をご存知ですか。自ら命を断った方、慣れない避難生活で亡くなった方、築いてきた人生を全て失った方。人間だけではありません、動物、植物、森、海などかけがえのない日本の自然が失われたのです。 原発のある今の便利すぎる生活より、不便でもいいから原発ゼロの安心して暮らせる国を望みます。将来に生きる子供達の為に。
19871	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発は将来的に0パーセントをめざすべきだと思う。	核廃棄物の処理法もなく原発との共存はありえない。 高速増殖炉もんじゅの計画はすでに破たんしているのだから、そちらにつぎ込む予算を再生可能エネルギーの開発にむけてほしい。 大飯原発再稼働も中止の方向に持っていくべき。
19872	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発ゼロにしてください。保育士です。 子どもの安全と健康を守りたいです。	子どもたちが安心して外で遊べて、安心した食生活が送れるようにしてください。 子どもたちが健やかに育てる日本にしてください。 宜しくお願いいたします。
19873	個人	無職	70代	男性	0%支持。	我が国のような地震多発国でさらに沿岸部に人口が集中している国には原発は設置すべきではない。太陽光・風力・波力・地熱などの自然エネルギーを利用した発電を強力に推進すべき。 電力が不足するならば、国民全員が無駄な電力の使用を減らすことも考えるべきだ。そのためには精神論だけでは無理。個人家庭では使用量の少ない場合は安く、増加には高い料金体系を検討する。会社ではたとえば昼間のガソリンスタンドのような無駄な電燈の消灯など節電の余地は十分ある。
19874	個人	無職	70代	男性	原発依存率0%に賛同します。	定年まで産業界に身をおき、大量生産・大量消費の時代を生きてきました。電力についてはその供給には些かの危機感も抱かず、生産ラインは生産性を重視して高速・高馬力のものを開発してきました。其のエネルギー源・電気の生産に原子力が寄与しているということはあまり意識していなかった感があります。米のｍｍ震のチェルノブイリの原発の事故はまだ他山の火事と思い、日本の政府・電力会社は国民の危機意識を彼らの創った原子力神話を基に安全安心の方向へ導いて行ったのです。今回の某電の事故は政府・電力会社が全く様変わりしない限り再び起こるでしょう。（今の指導者は自分達の代で起こらなきゃ良いと考えているとはみえみえだけれど・・・）原発を再稼動したがる連中の意図は明白です。このような輩に日本の未来のエネルギーを任せておけません。消費者も意識を変えてゆかねばなりません。省エネ努力は勿論のこと、省エネ機器・省エネ技術の開発に早急に取り組まねばいけません。日本の技術を持ってすれば、この技術で原発を全部止めても電気が余る世界が作れると信じます。
19875	個人	その他	40代	男性	「2030年に原発0」ではなく、「即時、原発0」にすべき。地震大国の日本に絶対安全といえる原発はありません。核燃料廃棄物の最終処分先も決まらず、再処理も実現困難であり、将来世代に対して無責任です。	電力不足の問題は電力使用のピーク時間の制御で解決できるので、再生可能エネルギーだけでなく、省エネルギーの技術開発と料金体系の組み合わせで原発は不要と考えます。
19876	個人	無職	40代	女性	私は原発ゼロシナリオを支持します。	何よりも経済が優先される今の社会のあり方に違和感をおぼえます。健康や命よりも大切なものがあるのでしょうか？ 100%の安全なんて、ありえません。新たに原発を増設するようなことは、断固やめていただきたいです。 自然エネルギーの普及や省エネにもっと力をいれるべきではないでしょうか。
19877	個人	家事専業	40代	女性	原子力発電所の再稼働は反対。すべての原発を即時廃炉にすべきである。	福島の事故後、いまだ、収束しておらず、また、事故の原因が地震による部分もある可能性が否定できていない。地震大国の日本では、同じような事故が起こる可能性は否定できない。1パーセントでも、事故の起こる可能性があるのであれば、即時、原発を廃炉にすべきである。 福島が、事故以前の状況に戻るまでに、どれだけの時間がかかるのであろうか。低線量被ばくをした人々の健康は、誰が守るのか？ 誰が、同じような事故が起こらないといえるのか？ 生活が多少不便になろうとも、経済が多少後退しようとも、放射能による被害を少しでも出す可能性のあるものは、やめるべきである。 それが、未来を今の子供たちに託すためのあるべき姿ではないだろうか？ 絶対に今現在の経済状況だけを優先させるようなことではいけない。未来を見据えた結論だといえる。
19878	個人	家事専業	50代	女性	0シナリオ。即刻原発は0です。	原発を即時止めてください。乱立する福井の原発から風下の当地です。危険きわまりない原発は即刻停止してください。一度事故が起きれば、この国は立ち直れません。原発がない日本にしてください。
19879	個人	無職	70代	男性	原発0%。理由：原発は一度過酷事故を起こせば人々の暮らしと国土に回復不能の被害を与える。地震大国日本では100%の安全は不可能。電力問題・費用問題は、2次的な問題。	2030年の原発比率0%を支持。理由：使用済み核燃料の処理問題が未解決なこと（おそらく解決不能と思う）、および原発が核兵器開発と密接につながっている、などの問題は、さておく。原発は100%安全でなければ使用してはならない。確率がどんなに低くても、一度過酷事故を起こせば、人々の生命と暮らし、、そして国土に、回復不能の被害を与える。そのことはすでにチェルノブイリ事故で立証済みであり、今回の福島原発事故は今もそのことを示し続けている。そして、日本のような地震大国では、100%の安全はあり得ない。今回の事故では津波による被害がクローズアップされているが、国会事故調の報告が指摘しているように、津波到達以前に事故は始っていた可能性が高い。原発の内部は起管のお化けといわれるくらい無数の配管があり、それが今度のような大地震で全く破損しないなどということは考えられない。他の地域は知らず、少なくとも日本では、原発は存在自体が恐ろしい災害の源である。そう考えれば、原発は2030年といわず、一刻も早くすべて停止すべきである。 電力供給の問題、費用の問題を原発維持の理由に挙げる意見があるが、こうしたことを言う人々は、福島の被害者たちを他人事としてしか見ていないのではないか。これらの問題は、原発事故の被害の恐ろしさ深刻さにくらべれば、2次的3次的問題に過ぎない。これらは「原発ゼロ」を前提にして、「ではどうしたらよいか」の問題として考えるべきである。
19880	個人	無職	70代	男性	原発依存度は速やかにゼロとせよ。絶対安全の保証は神しかできず、制御不能の巨大事故に発展する可能性が解消できない。吾々は、かかる不安定かつ危険な技術基盤の上に文明を構築維持すべきではない。	原子力発電システムの稼動は、絶対安全でなければならないが、絶対に安全であると保証するのは、神しかできないことだ。人間による安全の保証など、何の足しにもならない。また人間によいて想定外を想定するなんて、論理矛盾であり、傲慢ですらある。想定外の事象はいつも生じうる、と覚悟なければならない。人間が考えたシステムにおいて、事故発生の確率はゼロにはできないのだから、原発事故は、いつかは、必ず、発生する。 その場合、炉心溶融など常に制御不能の巨大事故に発展する可能性があり、被害の内容と規模について、如何なるひとも想定不能であって、またその大きさにおいて捨も責任の取りようがない。フクシマ以上の深刻な事故になれば、例えば、国土上に巨大な「ブラックホール」が出現してしまうことになる。このブラックホールは、一切ひとが近づくことを許さず、交通が阻害され、国土の相当な部分が分断され、荒廃し、放棄される。そのうえ財産、健康、福祉、税金、人的資源、インフラ設備など、ひとにとって重要かつ貴重なあらゆる資源を呑み込み蝕み続けて止むことがない。 幸い原発に大事故がなくても、維持稼動させる限り溜まり続ける核のゴミをどうするか、最終処理問題の先行きは全く見えていない。放射能汚染を除染するというが、できることは移染くらいで、完全な除染などできるわけがない。隔離保管できたとして無害化を待てば、気の遠くなるような年月と費用が要る。 核のゴミの増加と原発事故の危険を抱えたまま根本的な対策と責任を放棄し、リスクを先送りすることは、未来世代に対し恥ずかしいことだと思わないのか。かかる不安定かつ危険な技術基盤の上に、吾々は文明を構築維持すべきではない。効率を論じる前に、倫理を論じてかからなければならない。 原子力発電所は、数年以内に全て廃炉にすべきである。これでまず、放射性廃棄物が無際限に増加することは止められる。また廃炉問題に、対応の局面を限定することができる。稼働中の事故による危険も大きく減殺される。なお一部の最新型に限り、例外的に、数年以内程度の稼動を認める。その間に、国の総力を傾けて、あらゆる再生可能なエネルギーの開発に努め、供給面でも競争原理が働くようにし、また省エネ意識の徹底普及を計る。安全でクリーンなエネルギーへの依存度は、80%台前半とすることを国の目標とする。そんなことできるか？ではなく、やらねばならないという自覚、そしてヤル気だ。数年以内に、ハード・ソフト両面でクリーンエネルギー大国を目指せ。子々孫々に至るまで、安全でクリーンなエネルギーが享受できる仕組みを作れ。これで国際公約たる炭酸ガス排出削減目標は、最終的に達成されよう。また、政治的に不安定な中東の原油に依存しなくて済むようになれば、資源外交面でも発言力にも重みが増す。 諸外国に迷惑をかけない、安全で平和な日本というイメージが世界に定着する。 日本という国の有り様が、大きく好転してゆくに違いない。 ピンチをチャンスに変える国家戦略として、これに勝るものはない。（終）
19881	個人	無職	50代	女性	原発ゼロシナリオを望みます	安心して暮らせる日本にしてほしい。 しっかりとした核廃棄物の処理方法も無いまま、再稼動なんてありえないと思う。福島であんな悲惨なことが起きたというのに、なぜ、原発を続けられるのか、未来の子供達に対して、無責任すぎる。どれだけの人が涙を流したか忘れてはいけない。 原発で生活している人たちの雇用を、自然ｴﾈﾙｷﾞｰ開発の雇用にシフトしていってほしい。 福島に事故を繰り返さないためにも、おろかな原発稼動には、絶対に反対します。 安心して生活できる日本であってほしい。政治家・かかわりのある方々、日本の未来のために、目を覚ましてください。 心からお願いします
19882	個人	パート・アルバイト	30代	女性	ゼロパーセントを支持。全ての原子炉廃炉を決断し、海外への技術移転もやめてほしい。今後、お金も労力も、自然エネルギーへのシフト、廃炉、使用済み燃料始末、原発事故責任の所在究明、被爆地の補償に注ぐべき。	福島原発事故により、これほど、原発の危険性が明らかになり、責任の所在の究明も、被爆地の補償もままならないまま、どうして今後も原発を使い続けるという考えが存在しうるのでしょうか。全原子炉を止め、廃炉、それに伴う使用済み燃料の始末の方法、自然エネルギーへのシフトに、国そして科学者や学識者の力を注いでもらい、国民も協力していくべきだと思います。 なお、自国で安全性が確認できないものを、海外に売り込むのもやめてください。原発事故の悲惨な経験をもとに、外国にも、原発ゼロ、そして、その方法を示していくのが、日本の役割だと思います。
19883	個人	家事専業	50代	女性	ゼロシナリオを選択する。 日本の新たな発展のためにも思い切った変換が必要。 時間をかけて議論を尽くすべきである。	私は、ゼロシナリオを選択する。 その理由として、放射能という人類の手には負えないリスクを抱えたエネルギーを使用することは、結局何の益も生み出さないと考えるからである。 廃棄物の根本的な処理ができないエネルギーは使うべきではないと考える。 経済面、化石燃料の問題等考慮すべき点はあることは、承知しているが、唯一の被爆国である日本国が、脱原子力の道を選択し世界の国々をリードすることこそ望ましいと考える。日本人の英知を結集し、新しいエネルギーを開発することは、日本の経済発展のみならず地球規模の発展にもつながると信じる。 最後に今回の意見募集の進め方が、あまりにも短期間で周知徹底がなされていないことを指摘したい。国民の多くが思いを持ってはいても伝える間もなく重大なことが決定されてしまいそうで恐ろしい。もっと徹底的に国民に知らせ思いを聞く努力がなされるべきである。この意見募集がアリバイ作り的にならないことを切に希望する。
19884	個人	自営業	30代	女性	今すぐゼロシナリオ。が私の意見です。	日本のどこでいつ巨大地震が起こるか、巨大津波がおこるかわからないことが、東北で証明されました。4つのプレートをこの地下にもっていることを知っていれば、この世界一の地震大国で原発を動かそうなどと考える思考がなくなることが当然だと理解しています。これ以上子どもを守りにくくする、子どもの健康を奪うこと、もう絶対やめてください。お願いです。お願いです。
19885	個人	自営業	50代	男性	原発は絶対無くす方向へ進まなければいけないと思います。早く代わりのエネルギーが開発されるといいですね	放射能はとても危険なものです、どうしても国が原発に頼らざるなるを得ないのなら安全面を100パーセントに近い状態にしてほしいと思います。
19886	個人	家事専業	40代	女性	原発再稼働容認への抗議	政府が自体の意志でなく、関西電力や経団連の経済優先（つまり命よりもお金を重視する団体の都合）に押し込まれ、原発の再稼働を容認したことに強く抗議します。海外のデータでは5年後には太平洋全体に放射性物質がいきわたるそうです。そのような情報を国民に知らせることもなく、国民の強い反対意志に耳を貸すことなく、国としての方向性を簡単に曲げたことを恥ずかしく思いませんか？ 我が国では放射能の付着疑いのある地域の農産水産物は子供の為に避けています。5年後には食べられる太平洋、日本海の魚がなくなります。自分の子供を守るためだけでもありません、太平洋にいる罪のない生物、植物に申し訳ないです。これだけの犠牲をはらってまだわからないのでしょうか。そろそろ政党や経済のための政治ではなく、純粋に国や世界の未来の為に良心でうごく政治に変わりませんか？それが民意です。お願いします。
19887	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	脱原発にむけ、「(1)ゼロシナリオ」を基本に意見の投稿をします。	1．脱原発への政策転換を求めます。再生可能エネルギーを活用し、「(1)ゼロシナリオ」を基本に制度の設計を進めてください。事故が起こった場合、責任が取れないことが明らかになった以上、原発依存は考えられません。 2.「(1)ゼロシナリオ」に沿った政策を求めます。地震や台風など自然災害が多い日本では、安全に「絶対」はないと考えます。自然エネルギーへの早期転換を考えるべきです。
19888	個人	法人等	30代	男性	最も大切なのは人間の命。福島原発事故が収束せず、未だに放射性物質を放出している中、大飯原発を再稼働した政府の決断には、無謀・無策の一言しか出ません。2030年に原発ゼロではなく、即刻ゼロを求めます	優先されるのは、経済でしょうか、人間の命でしょうか？天秤にかけるまでもありません。人間の命に他ならません。福島原発事故が起きる前まで、地震大国である日本に原発があること自体に疑問を感じなかった自分が恥ずかしいです。科学技術に絶対ということはありません。日本経済発展は、原発なしでも十分可能です。国民一人ひとりが、今まで及び10のことを我慢し、社会のこと、人のことを思いやる心を育めば、原発はいりません。人が生きる道を、国民一人ひとりで考えましょう。
19889	個人	会社員・公務員	30代	男性	「エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張 《政府は本腰を入れて再生可能エネルギー開発に尽力すべき》	このパブコメ募集の前提が「2030年までは原発が維持される」というもの。前提自体が国民を騙すトリックだ。再び事故が起これば、日本は再起不能になる。政府は自然エネルギー比率を増やすスケジュールを国民にしっかり示すべき。

19890	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原発ゼロシナリオ	原発ゼロシナリオを目指してください。 私は福島県から避難してきました。 福島第一原発はまだ収束してません。あきらかに誰が見ても分かることです。 それなのに危険な原発を再稼動させようとするには、人間ではありません。 私達の命、未来の子供達を軽視してます。 誰が責任をとるのか、原発を作った時もし何かあれば責任をとるのは誰でしたか？ 未来の私達ではありませんか？ 誰一人責任なんかとれるわけがないです。 現在避難してる人達の責任は誰が責任とってますか？ 高線量の中で暮らしてる人々の責任は誰がとってますか？ 自分の命を守るのは結局自分しかいません。 原発を廃炉にした日本を目指してください。
19891	個人	家事専業	50代	女性	エネルギーについては、「ゼロシナリオ」を支持します。 地球温暖化については、電力の消費を今後さらに抑制し、再生エネルギーの比率を高めることによってさらなる努力が必要と思います。	福島の原発事故を経験した日本がこのまま何事もなかったかのように発電を原発に依存していくことは考えられません。原発は出口のないエネルギーです。責任の負えない将来の長きに渡って、核廃棄物をもたらすことになります。 避難を余儀なくされ、生活も仕事も財産もすべて失われいまだ苦しんでおられる福島の方たち、現場で処理にあたっている下請けの多くの作業員の方たち、そのまま飢え死にするしかなかった多くの家畜やペットたち、その気の遠くなりそうな犠牲を無駄にすることのない選択肢は、原発ゼロでしかありえません。 原発を安全に廃炉にしていく技術と、再生エネルギーを効率よく利用していく技術こそ今後日本から世界へ売り出していくべきです。自国で制御できなかった原発を他国へ輸出するなどもってのほかです。そこで事故があれば日本国のすべてを もってしても償いきれないことになります。 私は、福島以前電気は安全に無尽蔵に送られてくるものと勘違いしていました。以後は生活すべてを見直し2010年の比較でいくと消費はほぼ半減しました。もちろん高齢者、病人、乳幼児など弱者には必要な電気を必要なだけ使ってもらわなければなりませんが、見直せばどこの家庭でも20パーセントくらいの節電はできるはずだと思います。 電力が不足すると閉電は負債してしまったが、結局原発を動かさなくても乗り切れたのでは？というデータが朝日新聞にありました。 もっと政府が本気になれば、問題は平日昼間の敗北なのですから、逼迫したら電力需給などもだし、みんながその時いらないエアコンなり、テレビなりお止めればいいのです。30分みんながエアコンを順番に止めればピークをのりきます。日本全国で今動いている原発は大飯の2基だけです。それで全国の電気は足りているのですから、本当に原発はいらないのだということがわかります。 再生エネルギーの技術を高め、電力会社の独占にせず、自由に電気の売買ができる体制を整え、国民すべての意識を変えれば必ず原発をゼロにし、しかも環境を破壊しないエネルギーの未来があるものと確信しています。
19892	個人	その他	40代	女性	ゼロシナリオ	放射性廃棄物の処理法も見つかっていない今、できるだけ早く原発に頼らない社会を創ることが、今行きているものの勤めと考えております。 代替エネルギーへの移行を目指したいです。 自分の体調にも、放射線の影響を感じる今、一刻も早く原発をゼロにすることを訴えます。
19893	個人	家事専業	50代	女性	選択肢(1)直接処分の技術開発、制度の措置を行う。 原子力の恐ろしさを体験した国として、国際的にもクリーンエネルギーの推進と環境保護の立場から、原子力依存の脱却成功の先駆をとっていくべきである。	私は、現在NPOとして子育て支援活動に取り組んでいます。未来を担う子どもたちに、きれいな地球で住めるように平和な世界を目指していくべきと考えます。高度成長期、経済の発展とともに思恵をうけてきた世代です。便利を優先して、エネルギーを使いすぎ、限りある資源の大切さをわかっていても、流されて当たり前のように使ってきました。そして、環境を破壊し地球温暖化や環境汚染をうみだしました。だから繰り返さないため、そして、ここで原発事故の体験を無にしないためにも、原発依存から脱却すべきです。 震災後も、日本の原発輸出ビジネスは変化がない状態。原発依存度はフランス77.7%と最も高く、ヨーロッパに高い国が多い。世界的には、1971年は2.1%だったのが、1990年には17%。2009年には13.4%となっている。原発輸出ビジネスはまだこれからというかもしれないが、原発事故がありながら、原発ビジネスに政府が力を入れるのはおかしい。世界的に優れた技術をもつ日本であるなら、ここで平和的に活かせる方向転換はできないでしょうか？一番こわいのは、核兵器の転用です。被爆国でもある日本には、原子力の恐ろしさを世界に伝える使命がある国と思われます。核の恐怖、放射線の恐怖、自分たちの世代がしてしまったことを、次の来未に残してはいけないものです。子孫のためにいまやるべきことは、ゼロにすることです。そのためには、国も国民も、目先のことにとらわれず、研究努力すべき時がきているといえます。国の政策転換に大きな期待をよせるとともに、国民に透明な行動をとり理解を図るべきであると考えます。国民は決して無関心ではありません。
19894	個人	会社員・公務員	60代	男性	広大な国土を失い、16万人以上もの原発難民を出したフクシマ原発事故は終わっていない。 電力は原発がなくても足りている。 原発は即刻ゼロにすべきだ。	福島原発事故によって16万人もの人が住み慣れた土地・故郷を追われて帰れない。 福島にいる人々も首都圏各地の高線量の地に住んでいる人々も被曝し、健康不安におびえている。 このような悲惨な過酷事故を起こした原発。 地震の活動期に入った日本列島の上にまだ54基の原発がある。 福島原発事故は人災という国会事故調報告。 過酷事故を想定した対策をわざととろうとしなかった東電・政府・経産省（政府事故調報告。） このような報告があってもなお、十分な調査・対策もとらずに原発安全宣言をして稼働させようと言うのは犯罪です。 少なくとも事故調査報告に言われている項目だけでもすぐさま実行すべきではないか。 今のように何の反省もない政府・電力会社のもとでは何度でも人災は起こると言わざるをえない。 そのとき、日本という国はこの世に存在していないのではないか。 それだけでなく、地球環境も破壊し、他国にも被害を及ぼす。 関西でも、原発無しでも電力は十分足りている。 にもかかわらず関電は圧倒的な国民の反対を無視して大飯原発を稼働させ、更に他の原発も稼働させると言っている。 火力発電所を休止させながら。 原発10つでも電力は足りる。 関電は経営問題（損算）だけで国民の同意も得ずに危険な原発を動かし、国民を危険にさらしている。 東電の犯罪的体質は関電も他の電力会社も同じ。 彼らは反省などしていないし、事故から何ら学んでもいないと思わざるをえない。 再び事故が起こったとき、誰も責任をとりようがないのが原発事故です。 賠償だって何百兆円かかるか、そもそも金だけでは解決出来ない問題です。 現在電力は足りている、国民は節電に励んでいる（原発の電気を使いたくないから）。 2030年に原発ゼロなどではなく、すぐにも原発ゼロにすべき。 安全な生活、命こそ大事。 15%、30%等は危険な原発を継続させるためのまやかしです。 国民の圧倒的多数は原発廃止を望んでいる。 この切実な（悲痛な）国民の声を政府は聞くべきです。
19895	個人	パート・アルバイト	30代	女性	脱原発の推進を希望します	東日本大震災で分かったように、人間の想像を超えた出来事というのは起こりえます。 脱原発が可能であるは上、脱原発を推進するのがあのような惨事を引き起こした日本という国の責務ではないでしょうか。 地熱、風力、波力、そういうものの利用にもっと本気で取り組まないで、日本の未来はないと思います。 そして、パブリックコメントを求めるといいながら、この告知の少なさ！！ パブリックコメントにコメントした母数を減らして、周知の電力関係者に原発の存続もやむを得ないとコメントさせて、あたかもそれが国民の大多数の意見だと思わせたいんじゃないかと勘繰ってしまいます。
19896	個人	自営業	60代	女性	原発"ゼロ"の世界を望みます。 それによって、たとえ、経済が停滞したとしても、命の方が大事です。 原発のない昔に戻って、慎ましく生きていきたいです。	使用済み燃料を、始末する方法を持たずに、新たに稼働させるなんて、未来に禍を残すやり方です。 そこら中を放射能だらけにして、海を汚し、生態系を傷つけるのは、耐えられません。 原発を止めて、今よりマシな地球を子孫に残す責任があると思います。
19897	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	原発を再稼働せず、原発依存をただちに0%にする「ゼロシナリオ」を求めます。	＜国民議論の仕方についての意見＞ 選択肢が3案しかないことにも、中間の「15%」を選択させたい意図を感じます。政府自身も国民の批判を前に28日以降、3案以外の発言枠を認めざるをえなくなっています。 国民的な議論をすると言いながら、自由で十分な議論を保障せず、8月に結論を出すという政府の拙速な姿勢は納得できません。多くの国民からも批判が相次いでいます。 ＜意見の理由＞ （1）まず、目標の時期は「2030年」でなく、「ただちにゼロ」を目標に、すべての原発を廃炉にする工程をつくるべきです。示された選択肢で0%を選んでも、あと18年間原発を使うことになります。政府がただちに原発ゼロにする決断をすることで、省エネ、節電、再生可能エネルギーへの転換を本格的にすすめることができます。地球温暖化対策と原発ゼロを両立させる政策の実現を求めます。 （2）このシナリオには、原子力を基幹電源とした経過について「燃料となるウランは特定の国・地域に頼ることなく安く買うことができ」る、また「使用済核燃料」を再処理する核燃料サイクル政策により「準国産電源としての原子力発電の優位性がさらに高まる」とあります。しかし、日本に原発が導入され、濃縮ウランを買い続けるしくみがつくられたのは、アメリカの軍事戦略によるものです。 また、核燃料サイクルは実質的に破たんしており、世界中の国々が相次いで撤退しています。「安い」と宣伝されてきた原発のコストは、原発立地の自治体に支払う交付金や放射性廃棄物の処理費用、事故を起こした際の収束や賠償の費用などを含めると、むしろ他より高いことが明らかにされています。さらに、政府と電力会社による「電力不足」は、専門家から「需要は過大に、供給は過小に見積もっている」と指摘され、根拠がありません。 （3）福島第一原発事故はいまだ収束しておらず、事故の原因究明も、被災者の救済もすすんでいません。日本は世界有数の地震国であり、活断層も無数に存在し、南海トラフなどの巨大地震の発生もあいつぎ警告されています。地震列島の上に原発など、あまりに危険すぎます。 原発ゼロを決断し、「安全に廃炉にしていくだけでも大変な国家事業です。すでにある核のゴミを、今後100万年以上にわたって管理し続けなければならない」という、人類にとって不可能なことを作り出してしまっています。「15%」と「20～25%」シナリオは、いずれも今後新たな原発の建設に向かう計画であり、絶対にありえません。 10～20万人にのぼる大規模官邸前抗議行動や、さようなら原発117万人集金など、「原発再稼動反対、原発はいらない」という多くの国民の願いを政府が真摯に受けとめ、どう決断するか、世界の国々が注目しています。これから2020年にCO2の25%削減を視野に、徹底した省エネルギー政策、再生可能エネルギーの推進をつよめるべきです。
19898	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	原発を続けることは、将来の子どもたちにどうすることもできない危険な放射能を残すことになります。人類の技術では制御できない危険性をもつ核燃料を使うべきではありません。ゼロシナリオの推進をお願いします。	日本はかつて、原子力爆弾により放射能の被害を受けています。そして、昨年、3.11の福島原発事故により、多くの人々が故郷を失い、今なお、事故現場には入が近づけない状況にあります。 このような事故の詳しい原因を解明できないままで、安全な対策が講じられるわけがありません。放射能のこわさを十分に知っている日本だからこそ、『脱原発』を推し進めるべきではないでしょうか。安心・安全な未来の社会、未来を担う子どもたちにのためには、「ゼロシナリオ」以外に考えられません。日本政府の殺然とした決断をもとめています。
19899	個人	その他	60代	男性	原子力発電比率は最低でも20～25%（選択肢(3)）以上を確保し、化石燃料資源は将来世代もその恩恵に浴せるよう少しでも多く残すべき。21世紀で使い切るのは将来世代からの資源の略奪であり、犯罪にも等しい。	エネルギー基本計画は、国家100年の大計である。100年単位で、日本の、世界のエネルギー需給を見通して計画を立てるべきである。 提示された"3つのシナリオの要点"の中に、"4つの視点"での評価（論点）も明確に提示すべきであった。基本問題委員会ではそれならいに議論されていた筈である。また、表2は珠更差が出ないように、まとめられているように見えるし、一般国民にはこの表から4つの視点で評価することは不可能に近いと考えられる。一助とはなりえない。とは言え4つの視点で意見を述べる。 （1）原子力の安全確保 人類が火を手にしたそのときから、文明の進歩は止められない。日本が原子力発電を止めても、世界は着実に原子力発電を導入していく、ならば、福島原子力発電所の事故を経験した日本は、その経験を基により安全な原子力発電の開発を推進し、世界に提供していく責務があると考える。原子力発電所の安全確保技術を確実に開発、実装、検証していくためには新設プラントが必須である。それには原子力発電比率は20～25%以上確保しておく必要がある。 （2）エネルギー安全保障の強化 各種統計によれば、石炭を除き、ほとんどの化石燃料を21世紀中に使いきることになる。たとえ、最近注目されている、シェールガス等の新化石燃料を含めても、200年を超える可採年数を示すものはない。化石燃料は燃やし尽くしてはならない、化学材料として重要な資源であり、500年、1000年と大切に使っていくべきものと考える。一方、原発の燃料となるウランも、そのまま使うとやはり21世紀に使い切ってしまう。将来世代のエネルギー安全保障を考えるならば、そのままでは燃料とならないウラン（U238）をプルトニュウムという核燃料元素に変換することにより、"数千年間は原子力エネルギー"を確保できる。このための技術を早期に実用化できれば、化石燃料に頼らない確固としたエネルギー安全保障が可能となると考える。原子力の利用・開発の基盤を確保するためにも原子力発電比率は20～25%以上は確保すべきと考える。 （3）地球温暖化問題解決への貢献 地球温暖化問題の解決は、喫緊の課題である。原子力発電比率を減らすと、これを火力或は再生可能エネルギーに頼らなければならないが、ドイツの例を見るまでもなく、再生可能エネルギー（太陽光、風力）はその設備容量に比べ発電電力量が小さく、その上出力が不安定であり、結局火力に頼らざるを得ない。今回の評価では、再生可能エネルギーを大幅に増加することにより、CO2排出量が軽減されるような評価がされているが、結果的には火力頼みとなり、CO2排出量はむしろ増加すると見られる（ドイツも結局、褐炭火力発電に頼ることになりつつある）。化石燃料の消費を削減するためには、原子力発電比率を極力高める必要がある。 温暖化問題解決の切り札は、現状原子力発電以外に見当たらない。原子力発電比率は20%～25%以上、現行エネルギー基本計画とする必要がある考える。 （4）コストの抑制、産業空洞化防止 近々消費税が10%に増税されます。その上、公共料金たる電力料金も東電は10%近い値上げをしようとしています。他の電力もこれに倣うでしょう。基本問題委員会での試算に電力料金が2倍になるという試算もあります。再生可能エネルギーの買取価格が42円/kWhで20年間も買い取るということです。驚くべきことに、損害賠償費用まで含めた原子力発電コスト（コスト委員会評価値）の数倍の価格です。再生可能エネルギーを無理に導入をすれば、電力料金は2倍、3倍となるでしょう。憲法第25条には「すべての国民は健康で文化的な最低限の生活を営む権利を有する」とあります。日本の40%近くを占める低所得者にとって増税と合わせて2重苦と言わざるを得ません。電気はいまや必需品です、"貧乏人は冷蔵庫、エアコンの類は使うな"というに等しい。貧乏人はLED電球でさえ買うお金もないのです。ましてや省エネ新製住宅や太陽光発電システムなどどうやって買うのですか、"追加対策"で政府は無料で支給してくれるのでしょうか？ 政府のコスト委員会の報告書を見る限り、電力料金を抑える"切り札"は原子力発電以外にない。 また、電気料金が高騰すれば国内産業は壊滅するか。海外移転せざるを得なくなることは目に見えている。再生可能エネルギー分野の産業の発達を期待する向きがあるが、米国、ドイツを見るまでもなく、比較的在来技術で済むこの分野での先進国の競争はないと考える。一方、現在世界の最先端にある日本の原子力発電に関る技術は、原子力発電プラントの新設なくして維持できず（米国が良い例：今や日本、フランス等が頼り）空洞化してしまい、日本は大きな産業を失うことになる。技術の維持、開発には最低でも、プラント新設が可能な20～25%以上の原子力発電比率が必須と考える。
19900	個人	自営業	60代	男性	日本の原発はないほうが良いと思います。 特に停止原発の再稼働は、認められませんな。 なぜなら、福島原発事故で、全電源喪失や過酷事故の現実性が明らかになったのに、その対策が全く不十分だからです。	日本の原発をすべて廃止してください。 子供や孫に、始末のできない廃棄物や原子炉を残すことは犯罪です。 まず、稼働40年を過ぎた炉、大都市に比較的近い炉、断層の上の炉から廃炉にし、順次閉鎖してほしいと思います。 原発推進のための経費は、除染や廃棄物処理や廃炉の費用にまわしてほしいとも思います。 再稼働については、電力不足は深刻な問題と思いません。 節電と火力（できればガスタービン）でまかなえます。 仕事や輸出のことは、別の手段で儲けてくださいとしか言えません。 福島のように、事故がおきればかくも大きな被害を与えるプラントは、他にありません。志賀も怖いが、福井や新潟の原発も怖い近さです。 国会事故調の報告を読んでいます。 フランスやドイツの原発に標準装備されている、設備が日本の原発に装備されれば、ごく一部の再稼働を認めることができるでしょう。 そのためには、事故対策の思想を、深層防護5段階とするべきです。 そのうえで、設計思想を変え、サンドタワーなど一連の設備を備えるべきです。 電源車を1台置いて、さあ安全になりました、などとは子供でもだますまいな。 フランスドイツ並みの設備にしてから、再稼働を議論すべきではありませんか。 ドイツでは、事故直後に、10年で廃炉、それまでは稼働という決断が下され、 一応の国民合意のもとにあるようです。 日本も浜岡も停止決断のほかに、40年超の炉をただちに廃止すれば、 新しい原発の再稼働ができた可能性があります。 廃炉スケジュールを政治決断できないことが、結局全原発停止になったのでしょう。 個人的には勧められませんが。 一部の原発を再稼働したいと思われるなら、 脱原発のタイムスケジュールと、古い原発の即時廃炉、を発表して、 国民と取引するしかないようです。 今回事故の起きていないドイツを参考にすれば、今後、原発を10年以上動かすことは国民世論として、不可能と思います。
19901	個人	無職	70代	男性	3つの選択肢は、いずれも選択不能。原発の稼動は諦ちに止こと。さらに再生可能エネルギーによる電力は、2030年の時点で50%以上とし、日本が国際公約したCO2の25%達成に責任を負う必要がある。	(1)ゼロシナリオはどんな意味を持つシナリオか。このシナリオは、2030年に原発ゼロにするシナリオであって、国民が求めている脱原発とは異質のものであり、それまでは、原発の稼動を容認するものであることを、さらに再生可能エネルギーによる電力は、2030年の時点で50%以上とし、日本が国際公約したCO2の25%達成に責任を負う必要がある。 (2)15シナリオとはなにか。原発の耐用年数を40年とすれば、2030年までに37基の原発が廃炉となる。こうした条件の下で15%の電力を原発で生産するとすれば、敦賀の3・4号機と大間原発の新規稼動が必要であり、場合によっては耐用年数の延長すら必要になる場合が出てくる。よって(2)案は選択できない。 (3)20～25%の場合はどうなるか。この選択は、耐用年数40年を守るとすれば、かなりの増設が必要になる。このような選択は絶対できない。 よって3案から選択することは不可能である。 意見の概要でも述べたように、2030年時点での再生可能エネルギーによる発電を最低でも50%とすることをもとめる。 さらに、2030年の時点での必要電力総量1兆kWの設定は、省エネや節電努力をどの程度考えているのか、きわめて疑問である。いまJR東海が計画している「リニア中央新幹線」のような原発1基分の電力を必要とする計画まで包括する需要見透視に立った総電力量ということではないのかと考える。提供されている情報が、こうした疑問に答えるものになっていないことを付け加えておく。

19902	個人	会社員・公務員	50代	男性	核はいらない。自然エネルギー利用による発電があれば、それが第一だと思います。	発電に要する燃料は、核の場合のウランは、最終処分に膨大な時間と費用が必要。 実際の話ですが、建物設置、周辺への環境対策費、使用済み核燃料の処理など電力会社が支払わない金は税金から支出されており、結局は国民が支払っている事は、みんな知っている。それがはたしていくら使われているのかが、明確にされていないので、疑心暗鬼である。 核燃料周辺費用をこの際影かにすべきであり、その金額をみてからこの話をすべきであろうことは間違いない。 しかし、そこを明らかにしないのは、少しでも核を残そうとしている政府と電力会社の思惑があるとしか思えない。それが両社にどのようなメリットがあるのかが、解らない。 日本から、核を無くさないためには、現存する使用済み核燃料の最終処分方法の研究の為にのみあればよいと思う。それが抑止力にするべきである。 核燃料に依る発電は不要。 ちなみに他のエネルギーの場合は。 油は、限りあるエネルギーであり、二酸化炭素の発生が大きい。 水力は有効ではある。 太陽光は、各家庭でも良いし、工場の屋根に乗せることを推奨するべきであり、工場の屋根に乗せることにより、直射日光が屋根にあたらず、真夏は、屋内が少しだけ気温上昇が抑えられる気がする。 地熱発電は、熱による発電と、温水に依る野菜作りが通年で行える。食品の国内需給率が増え輸入に頼らなくても良いし、輸入する場合は、そちらの方が安い季節である。 小水力発電が少しずつ出て来てはいるが、おそらく耐久性や投資効果から換算するとおそらく採算割れすると思われる。科学の実験程度で、小学校などに於いておくのは良いかもしれない。
19903	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	ゼロシナリオの選択を希望します	2030年までには当然原発への依存度は0%になるべきです。2030年と言わず、今すぐにでも0%になるべきです。政府・電力会社は「電力の安定的供給のため」と銘打って原発の再稼動を無理やり推し進めていますが、福島の悲劇を繰り返すつもりなのでしょうか。たとえこれまでよりも厳重な管理をし、安全だから大丈夫だと宣言したとしても、再度「想定外」が起こる可能性は少なからずあると思われます。 福島の事故は、原発は人間の手に負えるものではないことを証明しています。事実、終息の見通しは立っていないでしょう？いったん原発が暴走すると、その影響は遥か未来に渡って及んでしまいます。私たちの子供の代、孫の代、それよりもっと後まで影響を与えてしまいます。「未来に禍根を残すべきではない。」原発は存在してはいけないというのが私たち浜中町役場青年女性部の意見です。
19904	個人	会社員・公務員	40代	女性	3つのシナリオの中からは　原発ゼロしか選べません。	原子力エネルギーを利用する危険性は、原爆を受けた国として充分知っているのでは無いでしょうか。その上、地震国としての危険性も知り得たと思われます。 原材料産出場所も危険で、運搬や扱う為の最低限の安全性を確保するにも莫大な設備・費用が必要で危険を伴い、危険なゴミも出来クリーンエネルギーとは思えません。 後に危険なゴミを残すのは極力避けたいと思います。
19905	個人	その他	50代	女性	国の将来像を決める重要なエネルギー政策を素人に判断させ、「多数決」で世論を誘導しようとする方法には大反対である。	各地での「意見聴取」の場で、電力会社の社員が意見を述べたことに対する批判が噴出しているが、そもそも、日本の国の市場経済活動や安全保障にまで大きな影響を及ぼすエネルギー政策を、専門知識の無い「一般国民」に決めさせようというような発想をすること自体が、首相以下、関僚が責任を回避、転嫁しようとばかり画策する政府・民主党の無責任さの象徴である。 また、環境問題を国家の柱の一つであるエネルギー政策に直結させることにも問題があると思う。確かに、火力発電が全体にためる割合が、「CO2削減」に大きく関わってくることは否定できないが、環境問題に関わる要因はその他にも数多くあるはずだ。 種々の要因が複雑に絡み合う「電力」の問題を、たった3つのシナリオ（非現実的な架空の将来設計）に集約させたことに、まず無理がある。 今現在の電力受給についても、まだ明確なシナリオが描けていないにもかかわらず、いきなり、「15年後の着地点」を定めることなど不可能だ。 CO2を出さず、原発に変わる「再生可能エネルギー」による発電割合が、右肩上がりで2030年には全体の30%を担うことができるようになっていると決め付けているようだが、果たしてそれは実現できるのか？　実現できる、あるいは実現させるというのなら、どのような国策を立てるのか、開発・定着に国はどの程度の支援をするつもりなのか、それも不明である。 再生エネに依存できない現状であるにもかかわらず、イランを中心とした、日本が化石燃料を依存している中東諸国の政治・外交情勢が不安定であることは、「原発ゼロ」のシナリオの非現実性を示しているというのに、政府もマスコミも、ほとんど説明していない。 「再生可能エネルギーの全量固定価格買取制度」にしても、当面の買い取り価格が40円超と極めて高いが、それが電力料金にはね返ってくるということも、政府はあえて言及を避けているようにしか思えない。 その他、原発が国の「安全保障」や「核兵器」製造とは無関係で議論できないものであることなど、言いたいことはいろいろあるが、結局のところ、できもしない、あり得ない「シナリオ」について、議論をしようということ自体が、画に描いた餅であり、無駄なことであると思う。
19906	個人	自営業	40代	女性	あなた方が示した3つの筋書きでなく、原子力の使用を即停止させて不必要に気候変動を引き起こさない賢明で大胆な「4番目の筋書き」を示して欲しいです。	?直ちに原子炉再稼働をやめさせる ?積極的な温室効果ガスの削減目標を掲げた日本の気候変動と戦うための国際公約を尊守させる ?再生可能エネルギーの生産を加速させる ?発送電分離によって崩壊したエネルギー部門を再生する ?化石燃料と天然ガスへ依存に対してエネルギー効率を優先付ける
19907	個人	会社員・公務員	40代	男性	オスプレイの配置撤回について	わたしたちはオスプレイの普天間基地への配備に反対します。これ以上、沖縄の人々に米軍の重荷を押し付けてはいけません。欠陥機といわれるオスプレイは数度にわたって墜落事故を起こしていますが墜落原因は不明のままです。このオスプレイの普天間基地配備は日米政府による沖縄差別の現れです。アメリカ政府に対して、オスプレイの配備撤回と、普天間基地の閉鎖・返還を求めてください。
19908	個人	会社員・公務員	50代	男性	今一度、エネルギー政策の慎重な見直しを。	将来的には原発への依存度がゼロになることを望みます。 しかし、その前に地球温暖化に配慮した代替エネルギーの選択、そして、国の投資に関する慎重な検討が必要だと考えます。 現状は国民にどのような検討がなされているのか十分な情報が開示されないまま、物事が進められているように感じてなりません。 是非国民が参加できる形での協議、検討をお願い致します。
19909	個人	会社員・公務員	40代	男性	すべての原子炉の廃炉	処分方法も定まっておらず、一度事故を起こすとそのコストが非常に高い原子炉をコントロールする力は日本のどこにもない。放射能を使わないクリーンなエネルギーの使用を前提としたエネルギー施策を強く望む。
19910	個人	家事専業	40代	女性	ゼロシナリオを支持します。 原発の即廃炉を求めます。 太陽光、地熱、風力発電の比率も増やしてください。 太陽光、地熱、風力発電が増えるまで、火力発電を増やして、原子力はゼロにしてください。	原発は大飯や福島第一のように地震、津波の対策がされていないし危険。活断層の上にもあり、でたらめすぎる。40年の寿命を待たず、すべての原発の運転を停止し、廃炉にすべき。また、これ以上放射性廃棄物を増やすべきでない。放射性廃棄物を処理する予定の穴ヶ所村の施設も使えず、また活断層が下にあるため、使うべきでない。 事故が起こらなくても、定期運転中に大気、海洋に少しずつ放射性物質がもれ、ガン死が増えているとの資料がICRPからも出ている。 太陽光、風力、地熱発電で、雇用を増やし、景気対策にしてほしい。
19911	個人	会社員・公務員	50代	男性	あなた方が示した3つの筋書きでなく、原子力の使用を即停止させて不必要に気候変動を引き起こさない賢明で大胆な「4番目の筋書き」を示して欲しいのです。	3つすべての筋書きは私たちの子孫に対して長期間の核や気候災害の脅威を運命づけるものです。2030年に完全非核化するオプションでさえ、私たちの原子炉再稼働の中止要請を無視し、気候変動に対して高いコストを払うことになります。他の2つの選択肢であっても今後数十年に渡って原子力に依存し続けるものです。 以上挙げた理由により、あなたがたに原子力の使用を停止させて不必要に気候変動を引き起こさない賢明で大胆な「4番目の筋書き」を示して欲しいのです。 具体的な「4番目」の筋書きとして以下を挙げてみます： ?直ちに原子炉再稼働をやめさせる ?積極的な温室効果ガスの削減目標を掲げた日本の気候変動と戦うための国際公約を尊守させる ?再生可能エネルギーの生産を加速させる ?発送電分離によって崩壊したエネルギー部門を再生する ?化石燃料と天然ガスへ依存に対してエネルギー効率を優先付ける 私たちはあなたがたが人々の意見に真剣に耳を傾け、私たちが誇りを持って後押しすることができる新しいエネルギー計画を提案することを望んでいます。
19912	個人	無職	60代	男性	「あなた方が示した3つの筋書きでなく、原子力の使用を即停止させて不必要に気候変動を引き起こさない賢明で大胆な「4番目の筋書き」を示して欲しいのです。」	「3つすべての筋書きは私たちの子孫に対して長期間の核や気候災害の脅威を運命づけるものです。2030年に完全非核化するオプションでさえ、私たちの原子炉再稼働の中止要請を無視し、気候変動に対して高いコストを払うことになります。他の2つの選択肢であっても今後数十年に渡って原子力に依存し続けるものです。 以上挙げた理由により、あなたがたに原子力の使用を停止させて不必要に気候変動を引き起こさない賢明で大胆な「4番目の筋書き」を示して欲しいのです。 具体的な「4番目」の筋書きとして以下を挙げてみます： ?直ちに原子炉再稼働をやめさせる ?積極的な温室効果ガスの削減目標を掲げた日本の気候変動と戦うための国際公約を尊守させる ?再生可能エネルギーの生産を加速させる ?発送電分離によって崩壊したエネルギー部門を再生する ?化石燃料と天然ガスへ依存に対してエネルギー効率を優先付ける 私たちはあなたがたが人々の意見に真剣に耳を傾け、私たちが誇りを持って後押しすることができる新しいエネルギー計画を提案することを望んでいます。
19913	個人	会社員・公務員	60代	男性	次期エネルギーが開発されるまでは、原子力が必要である。どのようなものでもリスクはあります。他のものでは、コストが合わない、競争力を失う、理想ばかりで現実を見ていない。世界の厳しさを知らない。	現時点では防衛上も原子力は必要です。地球人口100億に向かっています。石油価格上昇は、将来的には避けられない。政府は勇気を持って再稼働すべし。歴史がその正しさを証明します。もうそろそろ衆愚制から抜け出そうでは、ありませんか。
19914	法人・団体等	法人等	30代	男性	可能な限り早く原子力発電をなくし、安全に収束、廃炉にしていただきたい。	官僚のための政府なのか？ 私達もそんなに無関心ではない。 たまには長期的視野をもって人間らしい活動をしていただきたい。 ?再生可能エネルギーの生産を加速させる（原子力以外） ?発送電分離によって崩壊したエネルギー部門を再生する 上記提案をまっとうに実行していただきたい。
19915	個人	その他	50代	女性	原発を減らすことのマイナス	原発を減らすと電力不足により熱中症で倒れたり死亡する人もでる。命を大事にという事を空気に動かされるのでなく真実に目をむけなければならない。日本が原子力技術をもつ事は安全保障上、抑止力になると思います。
19916	個人	会社員・公務員	40代	女性	「あなた方が示した3つの筋書きでなく、原子力の使用を即停止させて不必要に気候変動を引き起こさない賢明で大胆な「4番目の筋書き」を示して欲しいのです。」	御意見及びその理由 「3つすべての筋書きは私たちの子孫に対して長期間の核や気候災害の脅威を運命づけるものです。2030年に完全非核化するオプションでさえ、私たちの原子炉再稼働の中止要請を無視し、気候変動に対して高いコストを払うことになります。他の2つの選択肢であっても今後数十年に渡って原子力に依存し続けるものです。 以上挙げた理由により、あなたがたに原子力の使用を停止させて不必要に気候変動を引き起こさない賢明で大胆な「4番目の筋書き」を示して欲しいのです。 具体的な「4番目」の筋書きとして以下を挙げてみます： ?直ちに原子炉再稼働をやめさせる ?積極的な温室効果ガスの削減目標を掲げた日本の気候変動と戦うための国際公約を尊守させる ?再生可能エネルギーの生産を加速させる ?発送電分離によって崩壊したエネルギー部門を再生する ?化石燃料と天然ガスへ依存に対してエネルギー効率を優先付ける 私たちはあなたがたが人々の意見に真剣に耳を傾け、私たちが誇りを持って後押しすることができる新しいエネルギー計画を提案することを望んでいます。
19917	個人	会社員・公務員	50代	男性	あなた方が示した3つの筋書きでなく、原子力の使用を即停止させて不必要に気候変動を引き起こさない賢明で大胆な「4番目の筋書き」を示して欲しいのです。	3つすべての筋書きは私たちの子孫に対して長期間の核や気候災害の脅威を運命づけるものです。2030年に完全非核化するオプションでさえ、私たちの原子炉再稼働の中止要請を無視し、気候変動に対して高いコストを払うことになります。他の2つの選択肢であっても今後数十年に渡って原子力に依存し続けるものです。 以上挙げた理由により、あなたがたに原子力の使用を停止させて不必要に気候変動を引き起こさない賢明で大胆な「4番目の筋書き」を示して欲しいのです。 具体的な「4番目」の筋書きとして以下を挙げてみます： 直ちに原子炉再稼働をやめさせる 積極的な温室効果ガスの削減目標を掲げた日本の気候変動と戦うための国際公約を尊守させる 再生可能エネルギーの生産を加速させる 発送電分離によって崩壊したエネルギー部門を再生する 化石燃料と天然ガスへ依存に対してエネルギー効率を優先付ける 私たちはあなたがたが人々の意見に真剣に耳を傾け、私たちが誇りを持って後押しすることができる新しいエネルギー計画を提案することを望んでいます。
19918	個人	自営業	50代	女性	子や孫のため原発に反対します	この国はいったいいつからこんな狂った国になってしまったのでしょうか？ 気がつくと、国中に原子力発電所が50箇所以上もあるというのです。こんな、山だらけの、狭い国土の上に、しかも、世界でも有数の地震国にもかかわらずです。 あの徴底的に負けた戦争で、日本人は精神というものを捨て、お金にひれ伏してしまったのかもしれません。私が生まれたころには、すでにこの国は経済成長という波に乗り、それまでの歴史をすべて否定したいかのように、お金もうけに邁進していました。すべてがお金、お金。そのための競争競争でした。お金さえあればすべてが解決すると錯覚しました。何のため生きているのかも忘れました。 あの震災と原発の事故以来、日本中の多くの人間が自分たちのしてきたことの愚かさにたちすくんでいるように思います。ですが、信じられないことにこの国の政府はまだいままでの路線を推し進めようとしているようです。個人的にはもう愚かな人たちはほっておいて残りの人生を平和に暮らしたいという気持ちも強いのですが、子供や孫のためにここであきらめるわけにはいかないとも思います。そのためには、どんなに恐ろしくても現実を見なくてはなりません。 福島県の半分は放射能に侵され、この先何代にもわたって人が住めない地が生まれてしまいました。こんな恥ずかしいしい歴史はこの国はじまって以来ではないでしょうか？こんな愚かなことをこれ以上繰り返すのですか？すべてに目をつぶって？本当にこの国はそんなに愚かな国なのだと思ったまま死にたくありません。 残りの人生、この国を子や孫に託すため自分に何ができるか考え行動しながら生きていこうと思います。 これは、国というものをほとんど意識してこなかった私の反省とともに、これからは政府がしていることから絶対目を離さないという決意表明でもあります。
19919	個人	会社員・公務員	40代	男性	地震国日本において原発との共存は不可能という視点から「ゼロシナリオ」を選択し、自然エネルギーの拡大を望む。	福島第1原発事故は原子力をエネルギー選択の妥当性を根本から問いただすものとなっています。放射能はいったん外に出ると私たちのすべての生活環境を破壊してしまいます。日本では、近い将来相当規模の地震が想定されています。その中での原発の安全性はないに等しいものがあります。「ゼロシナリオ」のほかに私たちの安全を確保する道はありません。原発に頼らない自然エネルギーの拡大努力をすすめることは、新しい日本の経済成長にも寄与するはずです。「ゼロシナリオ」の決定を強く求めます。
19920	個人	会社員・公務員	50代	男性	「あなた方が示した3つの筋書きでなく、原子力の使用を即停止させて不必要に気候変動を引き起こさない賢明で大胆な「4番目の筋書き」を示して欲しいのです。」	「3つすべての筋書きは私たちの子孫に対して長期間の核や気候災害の脅威を運命づけるものです。2030年に完全非核化するオプションでさえ、私たちの原子炉再稼働の中止要請を無視し、気候変動に対して高いコストを払うことになります。他の2つの選択肢であっても今後数十年に渡って原子力に依存し続けるものです。 以上挙げた理由により、あなたがたに原子力の使用を停止させて不必要に気候変動を引き起こさない賢明で大胆な「4番目の筋書き」を示して欲しいのです。 具体的な「4番目」の筋書きとして以下を挙げてみます： 直ちに原子炉再稼働をやめさせる 積極的な温室効果ガスの削減目標を掲げた日本の気候変動と戦うための国際公約を尊守させる 再生可能エネルギーの生産を加速させる 発送電分離によって崩壊したエネルギー部門を再生する 石炭と天然ガスへの依存の前に、エネルギー効率を優先付ける 私たちはあなたがたが人々の意見に真剣に耳を傾け、私たちが誇りを持って後押しすることができる新しいエネルギー計画を提案することを望んでいます。

19921	個人	自営業	60代	女性	直ちに原子炉再稼働をやめさせる 積極的な温室効果ガスの削減目標を掲げた日本の気候変動と戦うための国際公約を尊守させる	原発は私たちに便利なものかもしれません。しかしリスクが高すぎます。 廃棄物まで危険なものを便利さと引き換えにするには割に会いません。 人類の長い歴史の中でそんなものなくても充分快適に楽しく 暮らしてきました。 私たちの世代のつけを未来の人々に預けることはできません。 人類の知恵で再生可能エネルギーに力を注ぐべきです。
19922	個人	自営業	40代	女性	原子力発電をすべてストップし、新しいエネルギー政策を立ち上げ、世界に新しい日本を提示してください。子供たちの未来を、クリーンかつ安全なエネルギーで守って。お金にはならなくても、後世に尊敬される政策を！	「3つすべての筋書きは私たちの子孫に対して長期間の核や気候災害の脅威を運命づけるものです。2030年に完全非核化するオプションでさえ、私たちの原子炉再稼働の中止要請を無視し、気候変動に対して高いコストを払うことになります。他の2つの選択肢であっても今後数十年に渡って原子力に依存し続けるものです。 以上挙げた理由により、あなたがたに原子力の使用を停止させて不必要に気候変動を引き起こさない賢明で大胆な「4番目の筋書き」を示して欲しいのです。 具体的な「4番目」の筋書きとして以下を挙げてみます： 直ちに原子炉再稼働をやめさせる 積極的な温室効果ガスの削減目標を掲げた日本の気候変動と戦うための国際公約を尊守させる 再生可能エネルギーの生産を加速させる 発送電分離によって崩壊したエネルギー部門を再生する 化石燃料と天然ガスへ依存に対してエネルギー効率を優先付ける 私たちはあなたがたが人々の意見に真剣に耳を傾け、私たちが誇りを持って後押しすることができる新しいエネルギー計画を提案することを望んでいます。
19923	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	「ゼロシナリオ」を基本とし早期に原発比率ゼロにする方向へエネルギー政策の転換を図ることこそが現実的な選択であると考えます。	東京電力福島第一原子力発電所の大事故から1年5ヶ月を迎えようとしています。現在でも放射性物質の拡散は続いており、4号機は予断を許さない状況です。放射性物質拡散による環境汚染は、日本のみならず地球全体に広がっています。原発立地県である福島県では多くの人々がそれまでのくらしを奪われ、見通しの立たない避難生活を余儀なくされています。その人数も今年6月中旬時点で避難指示898,055人、自主避難等7,567人、県外避難35,514人と報道されています。 私たちはこの日本が地震列島であること、一旦原子力発電所事故があると社会的・経済的に取り返しがつかないということ、原子力発電が人の手に余るものであること、放射性廃棄物の処分は未解決の課題であること、原発がコスト的に優位ということはごまかしであることなどを再認識しました。 原発を残し更に増やす可能性のある「15シナリオ」や新たに原発を増設するシナリオである「20～25シナリオ」ではなく、「ゼロシナリオ」を基本とし既存の原発を稼動させないこと、新規に原発を作らないこと、廃炉をすすめることで、原発事故の危険と隣り合わせではない安心できる暮らしを心から求めます。未来の世代に今の私たちが責任を持つべきです。 そして、このことを推進するために省エネルギーの取り組みを進める、自然エネルギー活用を推進する、地域分散型のエネルギー供給を進めるなど電力システムを改革することを求めます。 脱原発と地球温暖化防止は両立できます。これからは原子力発電所の廃炉と、膨大な放射性廃棄物のより安全な処理の研究及び人材育成に全力を注いでください。 また原発事故後も継続している「原発輸出」についても見直しを求めます。原発事故を起こし膨大な放射性物質を拡散させた日本の果たすべき国際貢献は、原発に頼らない社会づくりを率先して実践することにあります。
19924	個人	無職	60代	男性	ゼロシナリオ	放射能汚染が起こるのような、取り返しのつかないものはやるべきでない。 津波や水害からの修復は時間とお金で可能です。 原発事故で、責任者が責任を取らねばならなくなったときは、責任を取った原因の修復は残された人たちが行ない、その被害影響は国民が等しく受けます 我々は、責任者に責任を取らせるようなことをしてはいけないのです。 また、放射能汚染除去、避難生活、安全な食品の選別、etcをいつまで続けるのですか、そんなことをしながらの生活はけっして「健康で文化的生活」とは云えないでしょう。 原発で発電に用いた燃料の最終処理もままならない現状と併せ、原子力による発電は止めるべきです。 本当に必要な電力/電力量の査定と自然エネルギーによる発電の推進を望みます。
19925	個人	会社員・公務員	40代	男性	あなた方が示した3つの筋書きでなく、原子力の使用を即停止させて不必要に気候変動を引き起こさない賢明で大胆な「4番目の筋書き」を示して欲しいのです。	「3つすべての筋書きは私たちの子孫に対して長期間の核や気候災害の脅威を運命づけるものです。2030年に完全非核化するオプションでさえ、私たちの原子炉再稼働の中止要請を無視し、気候変動に対して高いコストを払うことになります。他の2つの選択肢であっても今後数十年に渡って原子力に依存し続けるものです。 以上挙げた理由により、あなたがたに原子力の使用を停止させて不必要に気候変動を引き起こさない賢明で大胆な「4番目の筋書き」を示して欲しいのです。 具体的な「4番目」の筋書きとして以下を挙げてみます： 直ちに原子炉再稼働をやめさせる 積極的な温室効果ガスの削減目標を掲げた日本の気候変動と戦うための国際公約を尊守させる 再生可能エネルギーの生産を加速させる 発送電分離によって崩壊したエネルギー部門を再生する 化石燃料と天然ガスへ依存に対してエネルギー効率を優先付ける 私たちはあなたがたが人々の意見に真剣に耳を傾け、私たちが誇りを持って後押しすることができる新しいエネルギー計画を提案することを望んでいます。
19926	個人	自営業	50代	男性	あなた方が示した3つの筋書きでなく、原子力の使用を即停止させて不必要に気候変動を引き起こさない賢明で大胆な「4番目の筋書き」を示して欲しいのです	3つすべての筋書きは私たちの子孫に対して長期間の核や気候災害の脅威を運命づけるものです。2030年に完全非核化するオプションでさえ、私たちの原子炉再稼働の中止要請を無視し、気候変動に対して高いコストを払うことになります。他の2つの選択肢であっても今後数十年に渡って原子力に依存し続けるものです。 以上挙げた理由により、あなたがたに原子力の使用を停止させて不必要に気候変動を引き起こさない賢明で大胆な「4番目の筋書き」を示して欲しいのです。 具体的な「4番目」の筋書きとして以下を挙げてみます： 直ちに原子炉再稼働をやめさせる 積極的な温室効果ガスの削減目標を掲げた日本の気候変動と戦うための国際公約を尊守させる 再生可能エネルギーの生産を加速させる 発送電分離によって崩壊したエネルギー部門を再生する 化石燃料と天然ガスへ依存に対してエネルギー効率を優先付ける 私たちはあなたがたが人々の意見に真剣に耳を傾け、私たちが誇りを持って後押しすることができる新しいエネルギー計画を提案することを望んでいます。
19927	個人	会社員・公務員	40代	女性	ゼロシフト	原子力は人間が制御できないものであることがわかった以上 緩やかにでもゼロの方向へというのが、賢い選択だと思います。 ゼロにするにも、長い時間がいるので、研究が途絶えないよう 研究者が続くような工夫をお願いします。 一刻も早く、原子力発電所ゼロの日が迎えられますよう お願いします。 周辺の権益が莫大なのはわかりますが、受益する方々だけ その人一代だけの権益のために人類を犠牲にするのでしょうか。 広島・長崎で大変な思いをした国だから出来る選択を 今からでもしてください。 原子力発電所がなくなったら困ることがあっても 国民全員で工夫し、節電したら乗り越えられる そう思いますし、国民は出来ると思います。
19928	個人	自営業	40代	女性	「原発ゼロ」にしてください	地震大国、津波大国である日本が原発を利用してゆくにはリスクが大きすぎるということが、今回の事故でよく分かったので、将来の日本は原発ゼロを目指すべきです。国民の命と健康を最優先させてください。経済最優先ではなく、国民あっての経済です。かけがえのない命。それを守るためであれば、暑さも我慢できます。節電もがんばります。将来を担うこの国の子供たちのために、どうか正しい判断をしてください。目先の利益や、他国の圧力に屈することなく、勇気ある希望のある決断をお願いします。
19929	個人	自営業	40代	男性	原発ゼロシナリオ	2030年といわず、ただちに火力、地熱、自然エネルギーなどへの変換に努めていきましょう。 原発は今すぐとめたとしても、この先ずっと使用済み核燃料や被爆労働者の問題が続きます。 未来の子供たちのためにも、目先の一部の権力者の利権や経済などのために、一般庶民を巻き込まないで下さい。 パブリックコメントなので、民衆の意見を取り入れて下さい。 ３１１の事故や福島の事をなかった事のように、現在の再稼働への政府の動きなどありえません。 民衆の意見を聞いているとは到底思えません。 命より大切なものなどありません。 これ以上地球を汚す事はやめ、必要のない原発からエネルギー移行を求めます。 もちろん自分たちもそのような生活を送るよう努めます。 よろしくお願いします。
19930	個人	無職	60代	女性	電力は、原発無しで十分足りている！その証拠に、火力発電を全部、止めたではないか！？アホカラ、。、人の命を何と心得おるか！地球は、放射性廃棄物の処理場ではない！	政府は大飯原発の再稼働に際し、国民の生活を守る為などという、お為ごかしを恥知らずにも言い、その口の乾かぬ間に、８基の火力発電を何とすべて、ストップさせるという、再稼働ありきの、利潤追求だけが目的の、すべての生命をないがしろにするという、前代未聞の、歴史的悪行を繰り出しております。 本当に電気が足りない訳ではなく、唯、原発を動かし（古ければ古い程、儲かる仕組み！！）、利益を出し続け、権力をその手に握り続けたいという、底の浅い、強欲政策そのものです。 その欲に目のくらんだ視線の先には、子供達も自然の命達も、地球の未来も、一切無いのです！ これは、史上最悪の政府です。 即刻、すべての原発を廃炉にし、東電は破綻処理を速やかにし、そしてこの国から、廃炉ビジネスは核に絡む、唯一の許される、後に回せない、喫緊の課題である事を宣言し、あらゆる知恵と可能性を絞り出さなければなりません。 電力は、本気を出せば、必ず、別の真っ当な方法で、必要な量を生み出す事が出来る筈です。 儲からないから、その方法を放ってあるのではないですか？！ どのくらい、欲が深いのですか？ 何がしたいのでしょうか？ 目を覚ましてください。
19931	個人	その他	60代	女性	原子力の使用を即時停止し、不必要に気候変動を起こさない賢明で大胆な別の筋書きをしめしてください。	私たちの子孫に対して長期間の核や気候災害の脅威を運命づける政策は不要です。原子炉再稼働を中止し、気候変動に対する高いコストを支払うことをやめてください。 要求は下記のようなことです。 ・直に原子炉再稼働をやめさせる。 ・積極的な温室効果ガスの削減目標を掲げた日本の気候変動と戦うための国際公約を順守する。 ・再生可能エネルギーの生産を加速させる。 ・発送電分離によって崩壊シタエネルギー部門を再生する。 ・化石燃料と天然ガスへの依存に対してエネルギー効率を優先づける。 私たちはあなた方が人々の意見に真剣に耳を傾け、私たちが誇りを持って後押しすることができる新しいエネルギー計画を提案することを望んでいます。
19932	個人	自営業	30代	女性	あなた方が示した3つの筋書きでなく、原子力の使用を即停止させて不必要に気候変動を引き起こさない賢明で大胆な「4番目の筋書き」を示して欲しいのです。	日本には不必要なエネルギー使用が見受けられます。物資が豊富な国ではありますが、これから生み出すものに関しては検討が必要です。未来へ向けて現状を見直す、過去から学ぶ姿勢が重要ではないでしょうか。 3つすべての筋書きは私たちの子孫に対して長期間の核や気候災害の脅威を運命づけるものです。2030年に完全非核化するオプションでさえ、私たちの原子炉再稼働の中止要請を無視し、気候変動に対して高いコストを払うことになります。他の2つの選択肢であっても今後数十年に渡って原子力に依存し続けるものです。 以上挙げた理由により、あなたがたに原子力の使用を停止させて不必要に気候変動を引き起こさない賢明で大胆な「4番目の筋書き」を示して欲しいのです。 具体的な「4番目」の筋書きとして以下を挙げてみます： 直ちに原子炉再稼働をやめさせる 積極的な温室効果ガスの削減目標を掲げた日本の気候変動と戦うための国際公約を尊守させる 再生可能エネルギーの生産を加速させる 発送電分離によって崩壊したエネルギー部門を再生する 石炭と天然ガスへの依存の前に、エネルギー効率を優先付ける 私たちはあなたがたが人々の意見に真剣に耳を傾け、私たちが誇りを持って後押しすることができる新しいエネルギー計画を提案することを望んでいます。
19933	法人・団体等	法人等	50代	女性	直ちに原子炉再稼働をやめさせる 再生可能エネルギーの生産を加速させる 化石燃料と天然ガスへ依存に対してエネルギー効率を優先付ける	直ちに原子炉再稼働をやめさせる 積極的な温室効果ガスの削減目標を掲げた日本の気候変動と戦うための国際公約を尊守させる 再生可能エネルギーの生産を加速させる 発送電分離によって崩壊したエネルギー部門を再生する 化石燃料と天然ガスへ依存に対してエネルギー効率を優先付ける
19934	個人	家事専業	50代	女性	私は、脱原発を支持します。	私達は、何よりまず自然を守り、すべての命を守る責任があります。子孫に安心を与える義務があります。 尊い命、美しい自然を守るために原発の廃止を求めます。 日本は美しい国です。が、地震があります。津波による災害も予測されます。 私達は、過度に依存した電気生活をあらため、私達の生活を見直す事が必要だと思います。
19935	個人	会社員・公務員	40代	男性	「ゼロシナリオ」の早々の実現	3／11の福島原子力発電所の事故でも明らかになったように、原子力発電の危険性から私たちの命を守るには、「ゼロシナリオ」しかありません。これから将来にわたって、原子力発電を続けることは、将来の子ども達に、どうすることも出来ない危険な放射能を残すことです。使用済み核燃料をどうするかの技術も処分場所も不確定な中で、原子力発電を動かしていくことはできません。地震国日本では、地下将来相当大規模な地震が想定されています。その中で、原子力発電の安全性を保つことは不可能でしょう。「ゼロシナリオ」の他に私たちの安全を確保する道はありません。放射能は、いったん外に出ると、私たちの生活環境を奪ってしまいます。故郷を失った福島県民のことを考えれば、原子力発電所を無くすことが重要であり、「ゼロシナリオ」しか、選択肢はないと思います。そこで、政府においては、「ゼロシナリオ」を早々に決定し、自然エネルギーの拡大に努力すべきです。そして、そのことは、新しい日本の経済成長にも、寄与するはずです。さらに、原発立地市町村には、新しい地域経済復興の施策を実施することを求めます。
19936	個人	自営業	60代	男性	用意された選択肢が3点しかないというのはおかしいが、原発をゼロにする立場から(1)ゼロシナリオを選択する。	今後のエネルギー政策を決定するための選択肢として、3点が用意されているが、この選択肢はおかしい。福島の原発事故を見るとき、そして、使用済み燃料の処理について未だ確立していない現状を見るとき、直ちに原発をゼロにする方向で動き出すべきである。 しかしながら、用意された選択肢が3点であるので、その中からは、(1)を選択することとした。

19937	個人	自営業	50代	男性	原子力に対する国民の不安は払拭されていない。政府は国民の意思を無視する意思決定の方策を進めているようにしか見えない。国民の基本的人権、生命と財産を守るため国民投票を行うべき。	国民投票の法的拘束力は憲法改正しか認められていないが、エネルギー政策法案に関し国民全員の意見を聞くために国民投票を行い、当面のエネルギー政策に反映させる。後に憲法改正により国民の将来的生命、財産にかかわる重要政策には国民投票をして法改正できるようにすることが必要。
19938	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発即時停止をお願い致します。	福島で明らかにされましたが、処理・対処できないエネルギーである原子力により日本の将来を破滅させる訳にはゆきません。一部の利権集団のために、原発を再稼動することは許されません。第二次世界大戦の二の舞では済みません。
19939	個人	会社員・公務員	20代	男性	今まで安全と信じ、正直あまり意識したことのなかった放射能の恐怖を知り、福島の未来が心配でならない。ゼロ・シナリオを政府は選択すべきです。	エネルギー＞人の命ではないことは間違いない。
19940	個人	自営業	60代	男性	ゼロシナリオを支持します！ 最悪のシナリオは15シナリオです！	そもそも三つのシナリオの中に、原発などの比率といっしょに、核燃料サイクルのことを抱き合わせで出してくることが問題です。 私は原発の比率は、再生可能エネルギーがどれだけ広がるかによって、早ければ数年後にゼロになるかもしれないし、遅ければゼロになるのに、百年以上かかるかもしれないと思っています。 ゼロにするのが理想ですが、必要悪として、再生可能エネルギーが広がるまでは 原発も稼動し続けなければならないと思います。 だからすべては、再生可能エネルギーがどこまで伸びるかにかかっています。 そこで、今回抱き合わせで出されている核燃料サイクルのことが重要になってきます。 ゼロシナリオ以外は、核燃料サイクルを従来どおり維持していこうとする内容です。再処理工場も「もんじゅ」も維持される可能性があります。 きびしい財政状況のなかで、再処理工場や「もんじゅ」に金を出し続けていて、 再生可能エネルギー化をおし進める予算など組めるはずがない。 私は、核燃料サイクル計画をストップするという意味だけにおいて、ゼロシナリオを支持します。 （つまり原発ゼロの達成は早ければもちろん良いが、時間がかかっても仕方がない。それより国が核燃料サイクル計画にはっきりと見切りをつけることが重要。そして再生可能エネルギー開発に思い切り予算を使う覚悟を示すことがいちばん肝心なのです。） 今いちばんダメなのは中途半端なことです。役所は一度動き出した計画を止められないとよく言われます。そしてそれがぼうえな無駄を生み出します。 核燃料サイクル計画と再生可能エネルギーの二兎を追ってはいけません。それをしようとする15シナリオは国を滅ぼしかねない最悪のシナリオです。
19941	個人	自営業	50代	男性	脱原発の為に何をすべきか・・・	原子力発電システムはコスト・高効率・供給安定性を考えると必要と考えるのは当然である。しかし、想定外(天災・戦争等)の事態が起きた・事故の発生(テロリスト)があった場合のセーフティーガイドラインの整備がなかった事が、大きな問題となりました。何が悪い、誰が悪いと責める態度だけでは、何一つ進まないと感じます。それよりも、原子力発電所の問題点・弱点がある程度判明した事を教訓にし、ルール整備をすべきであり太陽光発電所の設置も推進すべきと考えます。時間はかかるコスト・もかかる・天候に左右される・蓄電システムの技術革新が必要であると言うのが、太陽光発電所の問題点・弱点である。原子力発電所と太陽光発電所のそれぞれの問題点・弱点を日本の技術力により段階的に切り替えていけるようにして頂きたい。子供達の未来を考えよう。
19942	個人	その他	50代	女性	示されている3つの筋書きでなく、原子力の使用を即停止させて不必要に気候変動を引き起こさない賢明で大胆な「4番目の筋書き」を示して欲しい。	3つすべての筋書きは私たちの子孫に対して長期間の核や気候災害の脅威を運命づけるものです。2030年に完全非核化するオプションでさえ、私たちの原子炉再稼働の中止要請を無視し、気候変動に対して高いコストを払うことになります。他の2つの選択肢であっても今後数十年に渡って原子力に依存し続けるものです。 以上挙げた理由により、あなたがたに原子力の使用を停止させて不必要に気候変動を引き起こさない賢明で大胆な「4番目の筋書き」を示して欲しいのです。 具体的な「4番目」の筋書きとして以下を挙げてみます： ?直ちに原子炉再稼働をやめさせる ?積極的な温室効果ガスの削減目標を掲げた日本の気候変動と戦うための国際公約を尊守させる ?再生可能エネルギーの生産を加速させる ?発送電分離によって崩壊したエネルギー部門を再生する ?化石燃料と天然ガスへ依存に対してエネルギー効率を優先付ける 私たちはあなたがたが人々の意見に真剣に耳を傾け、私たちが誇りを持って後押しすることができる新しいエネルギー計画を提案することを望んでいます。
19943	個人	会社員・公務員	30代	男性	問題視していなかった原発の危険性を目の当たりにした事故から一年半。九州にも原発があり、自分の子供達の未来を守る為にも政府がゼロ・シナリオを選択することを切に願う。	子供達の将来が不安。安心して生きていけるような社会を自分達が作っていかなければならないと思う。
19944	個人	自営業	30代	女性	原発ゼロシナリオ	原発ゼロシナリオ 人間だけの地球ではないことを知った上で そばにある命を守ることを考えてもらえませんか？ 色んな肩書きを捨てて 一個人として知恵を出していきましょう。 反省する、知恵を出す、助け合う 唯一人間ができる人間らしいことではないでしょうか？
19945	個人	自営業	50代	男性	原発はすべてを直ちに廃炉にすべきである。再生可能エネルギーの拡大に国力を集中し、その成果が具体的な形で現れるまでの間は、火力発電でつないでいくのが相当である。	原発安全神話が崩壊した今、我々が考えなければならないことは、どうして第2のフクシマを防ぐかである。危険な炉を廃して、安全な炉の運転を認めるという考え方もあるが、誰もが納得できるまで安全性を高めるとすれば、莫大な費用がかかることになり、経済合理性に合わなくなる。 これからは、再生可能エネルギーの開発普及に、国力を注ぐべきである。それとともに、エネルギー供給の仕組みを根本的に変え、発送電を分離し、発電部門を自由化して企業の参入を促す。 また、エネルギーの地産地消の取組をすすめていく。コージェネでエネルギーの有効活用を行う。そして、これらの成果がでるまでの間は、国民的な節電の努力と火力発電所の増強で急場を凌ぐことになる。直ちに原発を全廃しても、電力融通と揚水発電を最大限利用すれば、エネルギー供給に支障はきたさない。 原発を動かさなくても、電気を産み出す方法はいくらでもある。たかがお湯を沸かすために、国民の多数の生命、身体や、国の存亡をかけることはない。
19946	個人	家事専業	30代	女性	私は提示している3つの中ではゼロシナリオが一番、有望と考えます。 20～25%、15%原発を取り入れるという案には賛成できません。	2030年における3つのシナリオの表を拝見しました。 化石燃料費比率は「現状程度」になっているのですが、 CO2のことや、化石燃料費高騰の見込みがあることを考えると、 天然ガスなど、代替えエネルギー案は考えないのでしょうか。 更に、再生可能エネルギーを導入することによる電力供給シェアも、 本格的に対策をすれば、2030年までにもっと多くできるという意見もあります。 原発を使用維持するシナリオがあるならば、 核廃棄物問題や、地震からの安全面の強化もセットで 考えるべきではないでしょうか。 2030年まで15%又は20～25%原発電力に頼った場合、 その間の原発事故による保障が不十分ではゼロがよいとなります。 省エネ体制が整っていない現段階でさえ、 今年の夏の電力は大飯原発を動かすだけで、停電することなく、足りています。 それならば、これ以上、原発を動かす必要はないのではないですか？ それと、政府の国民的議論の求め方に問題を感じます。 意見聴取会は設置個所も少なく、恣意的に発言者が選ばれるとのこと。 討論型世論調査は事務局が選別して、偏った情報を与えてから、調査してると のこと、どれも正しい民意を聞こうとする態度には見えません。 これだけ情報社会が進んでいるのですから、政府はマスメディアなどを使って、 もっと広く国民の意見を取り入れるべきです。
19947	個人	その他	30代	女性	各自治体ごとの自由な発電を！	高度成長期に伴い、中央集権的国家の様相を呈し、なんでも国が一括でやってきたように思う。しかし、中央が権力を握り、地方を従えることで、たくさんの弊害が生まれてきた。地方の現状に合わない法律設定や、税金の無駄、対応の遅れなどである。エネルギー対策も同じである。電力供給の目的のもとに、国の保護を受けた電力会社が大きな力を握り、国民のインフラをにぎっているというおごりから、マスコミまでもコントロールして、情報操作を行い、その結果、福島原発という重大な事故を引き起こした。 十分な説明を行ってこなかったこと、また反対派の有識者の意見を無視して、もてる特権を乱用したためにおこったことである。 　自宅の隣に原発があれば、おそらくほとんどの人が、NOというだろう。 しかし、自分は安全な位置にいて、その恩恵だけを受けるという意味で、たくさんの人間が都合のいい理屈をとり、原発稼働を推進している。 　国会を取り巻く国民の数も数万人単位。しかしそれでも、原発稼働を推進するのは、これは民衆の意志を反映した政治とは言えない。 自由な意思の発動を認める意味でも、東京電力だけではなく、競争参入できる他社が市場に参入することは、非常に重要だ。そうなれば、国会を取り巻くまでの行動に出なかったほかの国民までもが、電力の供給先を自分の意志で選ぶという表現方法で、政府にNOを突きつけるに違いないからだ。 　今の電力供給には、非常に問題がある。とくに送電線を流れる電流のロス。そして、夜間電力というおおいなる無駄は、国民の24時間生活を可能にする一方、過労、活動の夜間化を招き、健全なリズムを送ろうとする国民の家族生活を破壊する。必要な時に、必要なだけ使ろシステムを取り入れるためにも、各自治体に発電を認め、自治体単位で、もしくは各家庭単位で、自家発電を認めるべき。 　これによって、東京電力が隠してきた、電磁波健康被害の問題も片付く。 また、地熱発電を推進し、日本がもっている恵まれた資源をもっと活用すべき。そして、夏場の高温、冬場の低温を防ぐためにも、市街地のコンクリート面積を規制すべき。
19948	個人	自営業	60代	女性	原発は早急にゼロに。 中途半端な技術で地球を危険に晒すべきではない。 本気で再生可能エネルギーへの転換を進めるべき。 国土が放射性物質で汚染されるよりは快適さや便利さを我慢する方がまし。	２０３０年までなどと悠長なことを言っていられません。 原発は早急にゼロにすべきです。 現在の技術は、原発の管理、および放射性廃棄物の処理の安全性を保証できるところまで進んでいないという事実が３．１１の震災によって明らかにされました。その事実を真摯に受け止めるべきでしょう。 原発事故が再び繰り返されたら、日本はもう生き残れません。 今必要とされているのは、原発再稼動しか道が無いという思い込みを捨て、再生可能エネルギーへの転換の現実的な方法を見つけることです。 多くの日本人が、戦後、経済的な豊かさと快適で便利な生活を追い求めてきました。しかし今や、安全な暮らしこそが一番大切だと気付いています。 原発再稼動によって、その安全な暮らしが脅かされています。 再稼動を白紙にもどし、早急に原発ゼロを実現してください。 日本が、ひいては地球が放射性物質で汚染されるよりは、快適さや便利さを犠牲にする方がましです。
19949	個人	会社員・公務員	50代	男性	ゼロシナリオとして、構築を図るべきである。福島原発事故の原因は、不明であり高濃度放射線量の為、進展が無い事や核の廃棄物処理も行う事が出来ない事から、早期に再生可能エネルギー主体にシフトすべきである。	景気回復の為にも、原子力開連予算を削除し、早急に再生可能エネルギーの導入を図るシステムを構築すべきである。 我国の地熱は、既存量世界第3位、急峻な山脈と降水量から、小水力発電、島国特有の海岸風の活用、海洋資源を豊かにするためにも木質バイオマスの循環型形成を行いコ・ジェネレーションを導入させる事により、森林資源の活用と育成に於いて、雇用創出が形成される休耕地などを太陽光発電を導入させることにより、雇用創出が生み出されます。我が国のGDPがまだ高いうちに、海外輸入では無く自国で生み出すことが出来る再生可能エネルギーにシフトすることが、将来的にも自国の強化に繋がり、短期的には産業の活性化と技術構築を生み出し雇用創出にも繋がります。 それでも既存火力や、原子力を動かす場合、安全対策は無論の事であるが、２/３を熱で捨てている熱を回収し、地域熱供給を確立させないと動かすべきではない。資源の無い我が国に於いて、エネルギーが不足と言いながら、発電所から50～75%の熱エネルギーを垂れ流していることが、国の損失であると考えます。
19950	個人	自営業	40代	女性	原発事故による「被害の甚大さとその回復の困難さ」は「原発の恩恵」をはるかに上回る。	エネルギー・環境会議の3つのシナリオでは、原発0%シナリオから20-25%シ ナリオまで温暖化や発電量に大きな違いは認められない。0%シナリオで若干のコストと節電が求められるが、4-30年以内に7割の確率で大震災発生が予想される以上、国民は0%を求めるし、 政府は効率でなく国民と国土の安全を指向すべきである。報道によれば北海道では梅内など風力発電量が充分あっても、北電の送電能力不足のため活用できていない。再生エネルギーを本気で増やすのであれば、発送電分離をし、初期段階でのコストがかかっても長期的に非核・非化石エネルギーである風力、太陽光、地熱、潮力などの自然再生エネルギーを国が積極的に開発主導すべきである。同様に費用がかりかかりビジョンのない高速増殖炉を即刻中止し、使用済み核燃料を全部直接処分することで無駄な費用を削減すべきである。国民は将来の安全（非核）でクリーンな再生エネルギーの推進のためであれば当所の節電と、費用の増額を我慢できる。政府に求められているのは、子孫のための１００年の大計である。
19951	個人	会社員・公務員	40代	男性	3つの筋書きでは、なくて四番目の筋書きを示してください。 原発稼働は絶対に反対。利権にまみれたエネルギー政策をまだ あなたたちはしようしているが国民は騙されません。	原発を停止し再生可能エネルギーを押し進め 新たなエネルギー計画を望みます。 日本のテクノロジーなら可能です。 子孫のためにもやらなければいけません。
19952	個人	自営業	40代	女性	電気はそんなに必要ありませんので、原発はいりません！	私が子供の頃、エアコンはありませんでした。 意識的に節電しなくても、節電は当たり前でした。 毎日テレビをつけませんでした。 昼間に日の当たらない部屋に電気をつけませんでした。 それは可能なことです。体感していますから。 熱中症はしかたがないでしょう。被爆するより数段まします。 電気を沢山必要とするのは、大企業、大手広告代理店、政治家だけです。 私たちは、大企業にすがっておりませんので、すい取られるだけの側なのです。 食べ物さえあれば生きて行けます。 仕事がなくなれば自分で、野菜を作り、鶏を買うでしょう。 大企業にすがるのでなく、そういう考えの日本人が多いということです。 官邸前のデモを見るとお分かりでしょう。
19953	個人	自営業	40代	女性	あなた方が示した3つの筋書きでなく、原子力の使用を即停止させて不必要に気候変動を引き起こさない賢明で大胆な「4番目の筋書き」を示して欲しいのです。	3つすべての筋書きは私たちの子孫に対して長期間の核や気候災害の脅威を運命づけるものです。2030年に完全非核化するオプションでさえ、私たちの原子炉再稼働の中止要請を無視し、気候変動に対して高いコストを払うことになります。他の2つの選択肢であっても今後数十年に渡って原子力に依存し続けるものです。 以上挙げた理由により、あなたがたに原子力の使用を停止させて不必要に気候変動を引き起こさない賢明で大胆な「4番目の筋書き」を示して欲しいのです。 具体的な「4番目」の筋書きとして以下を挙げてみます： 直ちに原子炉再稼働をやめさせる 積極的な温室効果ガスの削減目標を掲げた日本の気候変動と戦うための国際公約を尊守させる 再生可能エネルギーの生産を加速させる 発送電分離によって崩壊したエネルギー部門を再生する 化石燃料と天然ガスへ依存に対してエネルギー効率を優先付ける 私たちはあなたがたが人々の意見に真剣に耳を傾け、私たちが誇りを持って後押しすることができる新しいエネルギー計画を提案することを望んでいます。
19954	個人	家事専業	60代	女性	原発は0%にする。再稼働は絶対にすべきではない。	再稼働は絶対にすべきではない。原発は0%にする。 安全を制御できない原発を動かすことは国家の存亡に関わる。 原発は即刻廃炉にすべきである。

19955	個人	会社員・公務員	40代	女性	ご提案案の三つの選択肢だと、選んだことで、将来どうなるかイメージできません。一つ一つの選択肢にこれを選ぶと数年後原発はどうなる、と断りをいれて下さい。選択肢の中に、即時撤廃希望をいれて下さい。	福島県で育ち、家族は全て郡山市にいます。一度起こった原発事故は二度と取り返しが付きません。 妹の子どもは郡山市在住で0才児です。子どもの将来の健康を考えた政治をしていかなければ、国民がいなくなり、日本の国が衰退します。 もっと自然科学的な視点を持って下さい。 ベラルーシの医師と直接話しましたが、チェルノブイリ事故で、一番被害がでたのは5から15年後で、今も孫が甲状腺を患っていると悲しい顔をされていたのが、忘れられません。 国民の宝は未来を育ててたつ子どもたちです。 地震国に原発が稼働している以上、また事故が起こる可能はあるということです。 郡山在勤時代、福島県では地震もつなみも起きないから問題ない、と、東京電力の方が良く話していました。 今、事故が起きて、東電のかたのような認識で稼働させることは、危険です。 実際起きて家族が全員被曝した者として、意見させていただきました。
19956	個人	家事専業	40代	女性	【原発ゼロシナリオを望みます】 「2030年までに」ではなく、もっと早期に、現在稼働してしまった大飯原発をまず停止してください。	現在、福島第一原発事故も未だ収束せず、これから先も放射線の健康不安の中で暮らしていく状況です。 地震大国の日本でこれからも原発を稼働させることは危険過ぎます。 原発、高速増殖炉もんじゅ、六ケ所村再処理工場すべていりません。 未来を作る子供たちが安心して暮らせるエネルギーに転換してください。
19957	個人	会社員・公務員	30代	男性	2030年までの原子力発電の比率を何パーセントにするべきか？	原理力発電の比率は今後ゼロにするべきです。 電気の供給量が不安定になり、ブラックアウトの可能性が増える という点から、経済活動に影響を及ぼす、という懸念もあると思います。 ブラックアウトは節電やピークタイムシフトで回避できます。 しかし原発事故は予測不能、制御不能、収拾不能、人間の英知では どうすることもできません。福島の現状が物語っています。 このままで行けば今ある原発はすべて廃炉になります。いずれはゼロに なります。安全保安院が40年廃炉の形式を10年延長とするようですが それだとしても、新設しない限りはいずれ廃炉になります。 ならば、早い段階から廃炉ビジネスを確立し、代替エネルギーの確保に 努めたほうが、よっぽど未来は明るいのではないのでしょうか。 玄海原発以外は活断層の懸念があると言われています。 なにより日本国民の生命と日本の国土が危険に晒されています。 原発事故はは人災だろうが天災だろうが、現実に起こりうるということが 明らかになりました。 政治家の皆様や省庁の方々も同じ日本国民です。その良心を信じます。 日本の未来のためにも、段階的な原発全廃を望みます。 ありがとうございました。
19958	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原発ゼロ	福島であれだけの被害を出して それでもなぜまだ原発を指示するのかがわからない。原発で働く方達の事を考えたら、ゼロにするというのは、職を失うという意味でざんこくなはなしだが、そういった方達の将来も一緒に考えつつ、自然エネルギーなどへの転換をこれを気に進めていくべきだ！唯一の被爆国でもある日本、原子力の怖さを一番知っている国が、この先も原発を推し進めて行くのではなく、世界中に見本となる方向へ今進んでいかなくてはいけないと思います。しあわせボケしている日本に与えられた試練を目先だけで考えずに、長い目で見て行って欲しいです。
19959	個人	会社員・公務員	40代	男性	すぐに全ての原発を停止すべき	現代の技術では核を管理できない
19960	個人	家事専業	70代	女性	ヒロシマ・ナガサキと2度も被爆した日本が、3度目は自らの手で被曝したことが非常に残念です。原発推進が核兵器を持つことが目的ならそれも断固反対。脱原発を前提の政治を望みます。原発反対！	札幌に住んでいます。 泊原発ができるときに、その危険性から反対をしましたが、稼動してしまいました。 稼動した以上　安全を信じるしかないと思いましたが、 昨年の3・11福島の原発事故の際、なにも手を施せない状態を知り、また使用済み核燃料の持って行き場所もその手段もないことも知って、原発はあってはならないものだという思いを強くしました。 原発で働く方々の被曝という犠牲の上になりたっている原発は人道上からもなくさなければという思いを強くし、是非、人間を守り地球を守った上での経済発展、日本の繁栄を考えた政治をと強く望みます。 脱原発を前提に政治を行っていただきたい。 私は高齢者ですが、長生きしたいとは思っていません。 こどもや孫から一つでも不安を取り除き、みんなが笑って生きるのを見届けて死にたいと思うのです。
19961	個人	会社員・公務員	50代	女性	原発再稼働絶対反対！ 原発は人間と共存できない！ すべて廃炉にしないと取り返しのつかないことになる。	福島原発事故で避難させられている人たちのことを知るにつれ、こんなことはあってはならないと強く思います。伊方原発100キロの私たちの町も、もし事故が起きたら風向きによったら避難しなければならないと考えると、ほんとに恐ろしく不安でいっぱいです。各地で再稼働反対のデモが、盛りとがっています。国民の声を政府は聞いてください。
19962	個人	自営業	50代	男性	「あなた方が示した3つの筋書きでなく、原子力の使用を即停止させて不必要に気候変動を引き起こさない賢明で大胆な「4番目の筋書き」を示して欲しいのです。」	「3つすべての筋書きは私たちの子孫に対して長期間の核や気候災害の脅威を運命づけるものです。2030年に完全非核化するオプションでさえ、私たちの原子炉再稼働の中止要請を無視し、気候変動に対して高いコストを払うことになります。他の2つの選択肢であっても今後数十年に渡って原子力に依存し続けるものです。 以上挙げた理由により、あなたがたに原子力の使用を停止させて不必要に気候変動を引き起こさない賢明で大胆な「4番目の筋書き」を示して欲しいのです。 具体的な「4番目」の筋書きとして以下を挙げてみます： 直ちに原子炉再稼働をやめさせる 積極的な温室効果ガスの削減目標を掲げた日本の気候変動と戦うための国際公約を尊守させる 再生可能エネルギーの生産を加速させる 発送電分離によって崩壊したエネルギー部門を再生する 化石燃料と天然ガスへ依存に対してエネルギー効率を優先付ける 私たちはあなたがたが人々の意見に真剣に耳を傾け、私たちが誇りを持って後押しすることができる新しいエネルギー計画を提案することを望んでいます。
19963	個人	無職	50代	女性	既存の原発再稼働はしない、また新規の原発建設もしないこと、そして原発ゼロを実現すること。 海外にも原発輸出・現地での建設推進をしない。	現在のみでなく、将来世代にも安心して暮らせる社会を手渡すためには、格差や差別をベースとしてしまい、環境を破壊するような原子力エネルギーの使用はやめるべきです。原発事故の経験を肝に銘じ、地域にあった再生可能な自然エネルギーを作り、使える政策を進めるべきです。 またエネルギーの過剰消費を避け、適正利用を進めることが大切です。
19964	個人	自営業	60代	女性	地震国日本は原発を立地するに適した場所はありません。稼働している原発は止め、今すぐすべての原発を廃炉にすべきです。	2030年に稼働50年を越えるものは14基。40年を越えるものは19基。これらは、政府の「原則40年で廃炉」に該当します。2030年に稼働30年未満は4基です。2030年までにゼロにするというのは事実上今ある原発はずっと稼働すると言う意味に等しいことです。国民の意見を聞くと言いながら、パブリックコメントに「即時廃炉」という選択肢がないのはまやかしとしか言いようがありません。
19965	個人	その他	30代	女性	2030年時点の原発依存度はゼロまで削減すべきと考えます。	2030年時点の原発依存度はゼロまで削減すべきと考えます。 福島原発事故による放射能拡散の長期的な影響（人体、土壌、海産物への影響等）も現時点では分からないことに加え、事故の原因究明、今後の安全対策、いわゆる「想定外」の事故が今後起きた際の対応方法が策定されていない中、原発を再稼働するのは極めて危険な行為です。万が一、福島のような事故が起きる可能性はゼロとは言い切れず、海に囲まれた地震大国の日本では、どんな小さなリスクでもリスクテイクするべきではないと考えます。それが未来の日本に対する最低限の責任ではないでしょうか？ 更には、使用済み核燃料を地中に埋め、気の遠くなるような期間保管する以外に現時点で処理方法がないことを鑑みても、原発の継続・新設は将来の世代に負担を負わせるだけであり、極めて無責任な行動です。 原子力エネルギーの撤廃に伴い、経済的な打撃を危惧する意見もありますが、原子力という選択肢が排除されることにより、クリーンエネルギー分野の研究、開発に民間企業も積極的に参加し、さらには他国よりも早くクリーンエネルギー開発に力を入れることにより、世界にクリーンエネルギー技術を輸出し、結果的に経済効果も生まれるはずです。 また、上記の取り組みの結果、エネルギーが多様化し、多くの企業が電力業界に参入し、国民は電力供給元を各自選択することができるようになります。また、電力業界における競争が促され、価格低下、サービス向上にもつながります。 原発依存度をゼロに削減することによって発生する、電気代の値上げや節電の必要性は、論理的な数字、根拠が明確に開示されれば、納得する国民が多いのではないでしょうか？（例えば、今般の東電の電気料金値上げについては論理的な説明、数字の開示がなされてない結果、国民の反発を買っているのではないでしょうか？）また、上記の通り、長い目で見れば、エネルギーの多様化、競争原理の導入によって、電気料金が下がる可能性も十分考えられます。 以上の理由から2030年までに原発依存度ゼロにすることを強く希望します。
19966	個人	会社員・公務員	40代	男性	「あなた方が示した3つの筋書きでなく、原子力の使用を即停止させて不必要に気候変動を引き起こさない賢明で大胆な「4番目の筋書き」を示して欲しいのです。」	「3つすべての筋書きは私たちの子孫に対して長期間の核や気候災害の脅威を運命づけるものです。2030年に完全非核化するオプションでさえ、私たちの原子炉再稼働の中止要請を無視し、気候変動に対して高いコストを払うことになります。他の2つの選択肢であっても今後数十年に渡って原子力に依存し続けるものです。 以上挙げた理由により、あなたがたに原子力の使用を停止させて不必要に気候変動を引き起こさない賢明で大胆な「4番目の筋書き」を示して欲しいのです。 具体的な「4番目」の筋書きとして以下を挙げてみます： 直ちに原子炉再稼働をやめさせる 積極的な温室効果ガスの削減目標を掲げた日本の気候変動と戦うための国際公約を尊守させる 再生可能エネルギーの生産を加速させる 発送電分離によって崩壊したエネルギー部門を再生する 化石燃料と天然ガスへ依存に対してエネルギー効率を優先付ける 私たちはあなたがたが人々の意見に真剣に耳を傾け、私たちが誇りを持って後押しすることができる新しいエネルギー計画を提案することを望んでいます。
19967	個人	その他	40代	男性	私はゼロシナリオを希望します。	日本は地震大国であり、いくら安全対策をしても常に想定外の可能性があるかぎり、原発を稼動すべきではないと考えます。 まして原発の立地場所で、地震の可能性の無いところはありません。 原発を稼動している限り常に事故の危険性があります。 福島原発事故のような大惨事はもうたくさんです。
19968	個人	法人等	70代	男性	予め15%に誘導するような3つの筋書きでなく、原子力の使用を即停止させる具体的かつ賢明で大胆な「4番目の筋書き」を示して欲しいのです。	3つすべての筋書きは私たちの子孫に対して長期間の核や気候災害の脅威を運命づけるものです。2030年に完全非核化するオプションでさえ、私たちの原子炉再稼働の中止要請を無視し、気候変動に対して高いコストを払うことになります。他の2つの選択肢であっても今後数十年に渡って原子力に依存し続けるものです。 以上挙げた理由により、あなたがたに原子力の使用を停止させて不必要に気候変動を引き起こさない賢明で大胆な「4番目の筋書き」を示して欲しいのです。 具体的な「4番目」の筋書きとして以下を挙げてみます： ?直ちに原子炉再稼働をやめさせる ?積極的な温室効果ガスの削減目標を掲げた日本の気候変動と戦うための国際公約を尊守させる ?再生可能エネルギーの生産を加速させる ?発送電分離によって崩壊したエネルギー部門を再生する ?化石燃料と天然ガスへ依存に対してエネルギー効率を優先付ける 私たちはあなたがたが一般市民の意見に真剣に耳を傾け、私たちが誇りを持って後押しすることができる新しいエネルギー計画を提案することを望んでいます。なお、そのために新たなコストが生ずるなら、個人の生活を破壊しない範囲で、そのコストを負担することを厭いません。
19969	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発についてのﾊﾟﾌﾞﾘｯｸｺﾒﾝﾄ	現状での原発全廃は断固反対です。自前のｴﾈﾙｷﾞｰ調達ができていない状況で一つのｴﾈﾙｷﾞｰ源に頼ろうとすることは狂気の沙汰です。短期、中期。長期に於いて計画を建ての政策運用が絶対に必要です。その意味でのﾍﾞｽﾄﾐｯｸｽは日本にとって絶対に必要です。
19970	個人	会社員・公務員	40代	男性	エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 「2030年に原発0」ではなく「即刻、原発稼働0」を主張 既存の原発稼働を明日にも0%とし、原発跡地や周辺には洋上風力など再生可能エネルギー施設	福島第一原子力発電所の事故は自然災害に起因するものと考えても、実際に起こったレベルに耐えられなかったことから、いまある原発全てに対して、安全性に疑念を持たざるをえません。 また、一般に報じられているように、日本最大の電力会社が安全を優先しなかったことは他の電力会社に対しても同様の不信感を持ちます。 原発の技術レベルも安全に稼動させることが出来ないのが現時点だと考えます。 結論としては、安全な商用原発は今の日本には存在しないというのが率直な感想です。 これからも、いまある原発が稼働すること、いまの設計技術による原発が建設され稼働することには反対します。 その上で、新しく、より安全に配慮される原発が開発される可能性は否定しません。 新しい原子力発電技術が開発されるとしても、2030年に稼働ができるようにならないと考えるので、2030年時点での原発稼働は、ゼロパーセント、という意見を選択します。 当面のエネルギー生産については、再生可能エネルギーと揚水発電などのエネルギー貯留施設、もしくはフィッシャートロプシュ法などで、炭化水素を生産する施設を造ってはどうでしょうか。 次に、地元経済への大作としては、廃炉と原発跡地、周辺地域での再生可能エネルギー施設の建設で当面を補うことを提案します。 廃炉は遅かれ早かれ、やらなければならないものですし、原子力産業に関わるメーカーの技術力なしには到底なし得ませんので、産業が空洞化するとも思えないのです。 原子力産業の方向性を変えて、発電効率などいまある知識や経験を活かしながら、産業の活性化を目指していただきたいものです。 最後に、データが無いものや、諸説があるために危険の度合いが定まらないもの、計測が難しい状態のもの、これらの状態は「危険」を疑って、より慎重な対応を選択するようにお願いします。
19971	個人	無職	50代	男性	「ゼロシナリオを支持します」	原子力での発電は必要ありません。負債事業ですしね。核廃棄物の永久処理はできますか？次世代にツケを残すことはできません。
19972	個人	自営業	30代	男性	ただちにすべての原発を無くし、再生可能エネルギーへの移行を希望します。	経済の発展や維持は大事だが、住める土地が普通にあることがまず大前提。あたりまえ過ぎる事。 あまりもリスクが高い原発というものは完全に過去のものだと思う。 世界中でなくなってほしいし、日本が原発無しでも回して行けるモデルになってほしい。自分の生まれ育った国が世界に自慢できる国であってほしい。 今の日本は、恥ずかしい。

19973	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	「エネルギー・環境に関する選択肢」に対する意見	選択肢に3種類あるが、いずれもまともな政府、政治家が行っているアンケートとは思われない。どれを選ぼうと時間の差こそあれ、近隣国に経済で水をあけられること間違い無し！何故、次世代エネルギーが実用化するまで原発が必要だと、国民に説明しない？この政権与党はそんな中途半端な人気取りが有効だと本当に考えているのだろうか？政治は最後には真の正義がこんていにひつようなんでしょう？ したがってアンケートの 3つとも反対であり、原発比率は45%が妥当と考えます。
19974	個人	自営業	70代	男性	原発の発電比率は2010年で26%。「20%～25%シナリオ」 は事故当時の「原発依存度」と殆ど変わらない。このよう な「選択肢」を示すこと自体が問題。	(1)「0%シナリオ」は使用済核燃料の直接処分(地層に処分) が前提。「15%シナ リオ」「20%～25%シナリオ」は、使用 済核燃料の再処理利用(プルサーマル利用、高速増殖原型 炉「もんじゅ」利用)を選択肢として残すもの。いかがなの か。(2)原発事故による「被害の甚大さとその回復の困難さ」 は「原発の恩恵」をはるかに上回る。 「0%シナリオ」は使用済核燃料の直接処分(地層に処分) が前提。「15%シナリオ」「20%～25%シナリオ」は、使用 済核燃料の再処理利用(プルサーマル利用、高速増殖原型 炉「もんじゅ」利用)を選択肢として残すもの。いかがな ものか。 (3)原発事故による「被害の甚大さとその回復の困難さ」は「原発の恩恵」をはるかに上回る。 (4)長期でみると再生可能エネルギーの経済性は高くない。設備投資が回収されるから。 (5)再生可能エネルギーの買取価格が電気料負担引き上げの 口実に使われている (6)バックエンド(再処理事業、濃縮事業、廃棄物管理事業、 埋設事業)費用は2003年12月・電気事業連合会の試算で18兆 8千億円。週刊東洋経済(2011年6月11日号)が立命館大学大 島賢一氏のデータに基づき試算すると74兆円。原発なければいらない負担が税金と電気料に上乗せされる仕組み。 (7)「炉心溶融」すると、冷やし閉じ込める他はない。 (8)想像を超える巨大地震がいつ起こるかわからない日本で は「当面(0年～100年)安全な原発」という前提さえ成り立たない。 (9)原発は延命するほど老朽化対策などでコストがかかる。 さらに廃棄汚染物は10万年単位の管理が必要だ。想像を絶する負担だ。 (10)「20~25シナリオ」は原発依存度が一番高く、化石燃料比率は1番低い。しかし、温室効果ガスの排出量が一番多い。 地球温暖化対策としても原発推進はいただけない。 (11)ウラン鉱山から取り出したウランを精製するには、1000トンのウラン鉱から0.9トンのウランに濃縮するために、大量のエネルギーが必要であり、決して温室効果に貢献していない。
19975	個人	その他	30代	男性	子供達に住み良いみらいを。	3つすべての筋書きは私たちの子孫に対して長期間の核や気候災害の脅威を運命づけるものです。2030年に完全非核化するオプションでさえ、私たちの原子炉再稼働の中止要請を無視し、気候変動に対して高いコストを払うことになります。他の2つの選択肢であっても今後数十年に渡って原子力に依存し続けるものです。 以上挙げた理由により、あなたがたに原子力の使用を停止させて不必要に気候変動を引き起こさない賢明で大胆な「4番目の筋書き」を示して欲しいのです。 具体的な「4番目」の筋書きとして以下を挙げてみます： 直ちに原子炉再稼働をやめさせる 積極的な温室効果ガスの削減目標を掲げた日本の気候変動と戦うための国際公約を尊守させる 再生可能エネルギーの生産を加速させる 発送電分離によって崩壊したエネルギー部門を再生する 化石燃料と天然ガスへ依存に対してエネルギー効率を優先付ける 私たちはあなたがたが人々の意見に真剣に耳を傾け、私たちが誇りを持って後押しすることができる新しいエネルギー計画を提案することを望んでいます。
19976	個人	自営業	40代	男性	家庭用ソーラーの発電コストの運転維持費部分に重大な計算ミスがある！	運転維持費を建設費の1.5%と試算しているが、 参考資料を確認したらパワコンの代金と点検代で この係数を値としてだしているが、家庭用は10年のシステム保証に パワコンは含まれていて少なくとも最初の10年は建設費に既に含まれていて 2重計上している。しかも10年後に必ず交換しなければならないモノでもないのに パワコンを交換で試算しさらにそのパワコンの価格も現在の値段と出鱈目すぎる 私は自宅に太陽光発電つけているが10年間に1.5%も維持費を計上していませんし 本日メーカーにも10年後保証なので維持費を考慮することは不要との回答を得ました。 発生しない運転維持費を設置から10年も計上しているのが問題点1 10年後に必ずパワコン交換で計算が問題点2 パワコン交換費を現在のパワコン価格試算が問題点3 上記3点で過剰な運転管理費を計上して正しいコストに計算を阻害している。 どうしても10年後にパワコン価格を計上したいのなら初期建設費に故障割合を加味して価格を割引いて計上すべきである。 パワコンは10年でメーカーの保証が無くなるだけで決して全てのパワコンが 10年で壊れる訳ではない！ 好い加減な試算は稼働率12%では大きな誤差となるのを判ってやっているのか？ 運営維持費が一番高いと現実とかけ離れた答え見て呆れています。
19977	個人	無職	60代	男性	地震大国に核の安全はあり得ない。核、化石燃料を必要としないエネルギーの確保を進めるべきです。	風力、地熱、波力、太陽エネルギー、堆肥エネルギーなど色々なことが能変えられる。
19978	個人	自営業	30代	男性	原発絶対反対。 ゼロシナリオ。	原発や化石燃料での発電は時代遅れ。日本の技術力で持続可能な自然エネルギー[illegible]による発電技術の開発に力を注ぎ（新たな雇用も生まれ）、世界をリードする自然エネルギーのシステムを輸出することなどで日本経済をも回復させることを強く望む。日本には、日本国民にはその力がある。 今、世界中から日本の動きに注目が集っている。今、政治を動かせるアナタ達にこそ世界から賞賛が与えられるチャンスが手の中にある。現状に甘んじ、国民から同意の得られない方法を突き通し お金だけを搾り取るようなやり方は続けないでください。
19979	個人	会社員・公務員	50代	女性	原子力発電は必要。(3)20～25シナリオに賛成。	エネルギー問題は国の根幹であり、国民生活を豊かに安定させる重要な問題である。 かつて第2次世界大戦を引き起こした原因の一つは、アメリカが日本のエネルギー輸入をできなくしたからである。今度もシーレーンを他国に占領されたら、石油が輸入できなくなる怖れがある。そうなると、日本は首根っこを捕まれたも同然になり、他国の植民地になってしまう。 また、火力に頼ると、火力だけでは十分な電力がまかなえないで、計画停電などで病院や家庭電力がまかなえず、死に至る人も出てくる。工場などは、仕事ができず生産コストは下がり、海外へ移転する企業も増える。しかも、電気料金は高くなるし、全国で1日68億円も燃料費が増加する見込みだと聞く。電力不足が続けば、国はドンドン貧しくなっていく。 「たかが電気で・・」と反原発の有名人は叫んでいたが、その電気が人の命を守り、日本を今まで育ててきたことを知らないのだろうか。
19980	個人	会社員・公務員	30代	男性	あなた方が示した3つの筋書きでなく、原子力の使用を即停止させて不必要に気候変動を引き起こさない賢明で大胆な「4番目の筋書き」を示して欲しいのです。	3つすべての筋書きは私たちの子孫に対して長期間の核や気候災害の脅威を運命づけるものです。2030年に完全非核化するオプションでさえ、私たちの原子炉再稼働の中止要請を無視し、気候変動に対して高いコストを払うことになります。他の2つの選択肢であっても今後数十年に渡って原子力に依存し続けるものです。 以上挙げた理由により、あなたがたに原子力の使用を停止させて不必要に気候変動を引き起こさない賢明で大胆な「4番目の筋書き」を示して欲しいのです。 具体的な「4番目」の筋書きとして以下を挙げてみます： 直ちに原子炉再稼働をやめさせる 積極的な温室効果ガスの削減目標を掲げた日本の気候変動と戦うための国際公約を尊守させる 再生可能エネルギーの生産を加速させる 発送電分離によって崩壊したエネルギー部門を再生する 化石燃料と天然ガスへ依存に対してエネルギー効率を優先付ける 私たちはあなたがたが人々の意見に真剣に耳を傾け、私たちが誇りを持って後押しすることができる新しいエネルギー計画を提案することを望んでいます。
19981	個人	自営業	40代	男性	今あるすべての原発をストップし、すべて廃炉にしてほしい。	山手線の中に太陽発電パネルをひきつめれば、原発一基分になるのであれば、 建築基準法で、太陽光発電を義務つければいい。 街灯も太陽光発電でまかなえるし、停電になっても灯りを確保できる。 お湯は、ガスで沸かせばいい。 パソコンや、携帯にも、太陽電池を着けておけば、充電が楽だ。 電気は便利であるが、我々の命を脅かしていいものではない。 電気は便利であるが、我々の生活を脅かしていいものではない。 電気は便利であるが、夜が明るいのがいいとは思えない。 電気は便利であるが、独占企業の利益を追求するものではない。 電気は便利であるが、たかが電気である。 使い続けたいのは人類だけだ。 その人類を滅ぼそうとしている。
19982	個人	無職	60代	男性	?直ちに原子炉再稼働をやめさせる ?再生可能エネルギーの生産を加速させる ?発送電分離によって崩壊したエネルギー部門を再生する 。	人工放射性物質がひとたび自然界に放出されると、連鎖的に崩壊を繰り返し、人体及び自然界に重大かつ長期的な害を及ぼします。先日放出が明らかになったストロンチウム90がβ崩壊によってイットリウム90に変化した時の計り知れない害について、どう考えているのでしょうか。今の子供たちが二十年後、否、十年後にでさえ骨髄ガンを発症しないとは言い切れないことを、どう責任をとると言うのでしょうか。更にもっと長期に亘る被害に対して、個人の「責任」などという言葉にどんな意味があると言うのでしょうか。本当に責任をとる気があるならば、今すぐエネルギー産業の構造変革に全力を傾けるべきではないでしょうか。そして、既に生成されてしまった放射性物質をこの自然界から隔離する為の研究を最優先で援助すべきではないでしょうか。
19983	個人	会社員・公務員	50代	女性	エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張 《経済復興には国民の「未来への希望」というエネルギーが必要だ》	エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張 《経済復興には国民の「未来への希望」というエネルギーが必要だ》 政府は経済再生と経済復興というけれど、毎年、再生可能エネルギー比率が増えていくことが国民の活力を生み出す。放射能の危険から開放されれば、日本は飛躍的に成長する。求められるのは国民のほうではなく、官僚の頭の中のパラダイムの転換だ。
19984	個人	自営業	50代	女性	未来に向けて、「使用済核燃料」と言うツケをこれ以上増やさないために、 今世代が次世代にとって、これ以上加害者とならないために、 原発0%を目差し、大きく舵を切るのは今しかないと思います。	電気が足りないと言う前に、使用済み核燃料の後始末を先に考えるべきではないでしょうか？　　この問題は、今現在は勿論のこと、将来に渡って解決出来るとは思えません。 私たちが、後始末も出来ないようなものに手を出すべきではありません。 福島第一原発の事故を経験した私たちが、これ程高い授業料をはらってもなお 脱原発に舵を切らないとすれば、そこから何を学んだと言うのでしょうか？ 学んだ事の唯一の証は、「変わること」だと思います。 今変わらなくて、いつ変わるのですか？
19985	個人	自営業	40代	女性	脱原発　ゼロシナリオを支持します。安全ではなかった原発そしてまだ福島の人は被爆しながら生活しています。さまざまな問題を先送りにしての再稼動に反対します。	何も知らずに暮らしていましたが、3.11以降私は政治に対しても日本経済に対しても自分でしっかり考えなければいけないことに気づきました。電気エネルギーを否定するわけではありません。しかし、みんなで工夫して脱原発する事はできると思います。あまりにも危険な原子力発電所の実態を知り、（核廃棄物や温水処理、被爆作業員等）知らないでいた事に恥じ入っています。そして元に戻らない生活をされてる福島の方々、福島の自然、被爆し続けている子供たちに対して申し訳ない気持ちでいっぱいです。 ゼロシナリオ・再処理事業の廃止・高速増殖炉の廃止・核燃料サイクルの変換を国策として急務の取り組みをすれば、移行するスピードは加速すると思います。そして国民一人一人もこの災害を乗り越えるために何かしたいと思い始めている様に見えます。この力は節電への意識の高さにつながっていきます。 今すぐにでも原発ゼロへ、再稼動に反対します。
19986	個人	学生	20代	女性	原発を日本からなくすべき。	元々原発を作ったのは、原子力発電所を作るために多くの費用がかかり、その分関係者は国からお金を貰えるため。原発を賛成している人達は、自分の職を失うことを恐れている人達。ウィンランドでは、原発によって出た廃棄物を150万年以上地下深くで保管しようとしているが、果たして150万年後の人々にどうこの危険物に近寄らないよう伝えられるのか知る由も無く、困り果てている。150万年後の人々に今の言葉が通じるか？日本も同様、廃棄物の保管方法に困っている。処理の仕方も分からない物を使い続けていいのか。
19987	個人	学生	20代	男性	日本の経済発展のために原子力発電は必須である。エネルギーセキュリティ、環境破壊、産業の空洞化、失業率の増加などが懸念されるため私は、(3)20~25シナリオを支持する。	現在は、夏の電力需要のために原発を動かしているということになっているが、それは、経済活動のために必要ということである。『たかが電気のために原発を動かすのか？』という意見があるが、電気が無くては、産業の空洞化が進み私たちは失業者になってしまう。たかが電気ではすまされない。また、子供のためにという意見もあるが、『私の父は脱原発のせいでリストラされた』という言葉は無視できるのか？ エネルギー自給率で日本はほとんどが輸入に頼っており危機的な状況である。これに有効なのが原子力発電であり準国産エネルギーを得ることができる。ただし、これには再処理等の問題が必要だが一時的に保管することが可能なのでエネルギー需要ほど急いで決めるべきでは猶予はあると思う。最近は、原発の停止によって火力発電所がフル稼働で作動している。この状況では二酸化炭素の排出が大幅に増加し地球温暖化に影響を与える。福島以前に地球環境問題に努めていたのが嘘のようだ。環境容量のことを考えると二酸化炭素の量と放射能の影響とで分散することで環境に影響を与えない程度で発電できると考えられる。ここでエネルギーのベストミックスが重要だと考える。つまり、1つのエネルギーに依存すると無く多彩なエネルギーを用いることでエネルギーセキュリティーを守ることができる。原子力はその中の一つであり、今後再生可能エネルギーの開発も重要である。 以上の理由から(3)20~25シナリオを支持する。
19988	個人	学生	20代	女性	「あなた方が示した3つの筋書きでなく、原子力の使用を即停止させて不必要に気候変動を引き起こさない賢明で大胆な「4番目の筋書き」を示して欲しいのです。」	「3つすべての筋書きは私たちの子孫に対して長期間の核や気候災害の脅威を運命づけるものです。2030年に完全非核化するオプションでさえ、私たちの原子炉再稼働の中止要請を無視し、気候変動に対して高いコストを払うことになります。他の2つの選択肢であっても今後数十年に渡って原子力に依存し続けるものです。 以上挙げた理由により、あなたがたに原子力の使用を停止させて不必要に気候変動を引き起こさない賢明で大胆な「4番目の筋書き」を示して欲しいのです。 具体的な「4番目」の筋書きとして以下を挙げてみます： 直ちに原子炉再稼働をやめさせる 積極的な温室効果ガスの削減目標を掲げた日本の気候変動と戦うための国際公約を尊守させる 再生可能エネルギーの生産を加速させる 発送電分離によって崩壊したエネルギー部門を再生する 化石燃料と天然ガスへ依存に対してエネルギー効率を優先付ける 私たちはあなたがたが人々の意見に真剣に耳を傾け、私たちが誇りを持って後押しすることができる新しいエネルギー計画を提案することを望んでいます。
19989	個人	会社員・公務員	60代	男性	原発をただちに廃止すべき	放射能廃棄物の処理が現実にできないではないか！

19990	個人	パート・アルバイト	40代	女性	原発は、いらない	福島第一原発を収束させることもできず、再稼働させるとは何事か。 人の力で制御できない原発は不要です。 すべての炉を廃炉にしてください。
19991	個人	会社員・公務員	40代	女性	「原発ゼロシナリオ」	「原発ゼロシナリオ」を選びます。 地球環境破壊、地球資源の枯渇、異常気象、地球温暖化…。 私たちは今の生活を見直す時期に来ていると思います。 経済の発展も人間の幸福の要因として大切かもしれませんが、そのために人間自身や自然が危険にさらされては本末転倒です。原発なしでも暮らせる方法を考えるべきです。
19992	個人	自営業	40代	男性	「あなた方が示した3つの筋書きでなく、原子力の使用を即停止させて不必要に環境を破壊しない「4番目の筋書き」を示して欲しいです」	自然エネルギーは山ほどある 風力発電 地熱発電 マイクロ水力発電 波力発電 等・・・ 危険な核廃棄物を10万年以上残す原発を使う意味が分からない
19993	個人	その他	60代	男性	原発再稼働反対！	原発再稼働は必要ないです。 夜の照明はローソクで我慢します。・・・・・・ 日本には原子力エナジーはいりません！・・・・・・・・・・ もっと自然にピュアーな時点、白紙の状態から考えれば、原子力以外のエナジーの創造が出来るはずです。・・・・・ 上記の考えは日本だけでなく、この地球全体に言えるはなしです。
19994	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発はすべて廃止してください。	何万年も先まで我々を脅かす放射能廃棄物を全く出さない方法が見つかるまで、原発は動かせません。
19995	個人	その他	60代	男性	ゼロシナリオしかありません。日本は有数の地震国です。接合部分などが地震の揺れで壊れる可能性は明らかです。核廃棄物の処分についても、地震国で最終処分地を見つけるのは極めて困難です。	ゼロシナリオしかありません。 日本は有数の地震国です。４つのプレートが交わるところにあり、どこでいつ地震がおこってもおかしくない。福島原発は地震でも破損していたのは確実です。格納容器などは頑丈に作られていても、接合部分などが無数にあり、どこかが地震の揺れで壊れることは容易に想像されます。保険に入れないほどのリスクが高い地に原発を持つべきではありません。 核廃棄物の処分についても、地震国であることを考えると、最終処分地を見つけるのは極めて困難です。外国にという案もあると聞きますが、自分たちが生んだ、危険なゴミをお金にものを言わせて、途上国に押し付けるような国民になりたくありません。核燃料サイクルに夢を託して棚上げにしてきましたが、もうやめるべきです。世界でも失敗して中止しているし、過程もとても危険、おまけにもっと危険なプルトニウムの大量生産、高濃度核廃棄物も生み出し、汚染水を海洋に流す。処分方法も決まらない中、使用済み核燃料を増やし続ける原発稼働は、１日たりとも許せません。 原発で地球温暖化防止とか言いますが、原発は決して環境にやさしくありません。CO2と放射性物質と、どちらが地球に有害か、当然放射性物質です。それに、原発はCO2の代わりに、高い温度の汚染水を海洋に流し続けています。CO2だけで測ってはいけないでしょう？この間、原発への依存度を増しながら、CO2は減少してこなかったのはなぜですか？再生可能エネルギーに転換すれば、一時的に化石燃料の使用が増え、CO2排出が増えるかも知れませんが、出来るだけ早く普及させ、再生可能エネルギー比率を増やしていけば、CO2削減にも寄与して行きます。早急に、抜本的な転換をするべきです。 石油も輸入に頼っていますが、原発の原料、ウランも輸入するしかありません。そもそも石油がいずれ枯渇するということで導入された原発ですが、ウランはもっと少ない限りある資源でもっと早
19996	個人	会社員・公務員	30代	男性	(1)ゼロシナリオ支持。原発事故による甚大な影響は昨年の例で明らか。災害・人為ミス・テロを考えれば「絶対に事故を起こさない原発」はあり得ない。原発を抱えるリスクは原発を棄てるデメリットとは比較にならない。	(1)ゼロシナリオを支持します。 昨年の福島第一原発の事例により、原子力発電所がひとたび事故を起こせばどのような事態になるか、この国は学んだはずです。 原発周辺に住んでおられた何万人もの方々は自宅に帰れる目途も立たず、原発の廃炉・避難者への補償・除染・広範囲にわたる外部被曝や内部被曝への懸念などの問題もいまだ山積しています。 停止中の全国の原発の再稼働にあたっては、「安全を確認して」「安全管理を十分に行い」…等と言われますが、理論上の「安全」はあり得ても、災害・人為的ミス・テロなどの可能性を考慮すれば、「絶対に事故が起こらない」ということは現実にあり得ません。たとえわずかな可能性であっても、一瞬にして付近の住民の生活の全てを奪ってしまうようなリスクを原発が内包していることを、しっかり認識せねばならないと思います。 全国の原発を止め続けることのデメリットが色々と取り沙汰されていますが、原発事故のリスクとは比べるべくもありません。そのリスクに目をつぶって原発を動かすというのであれば、「最大多数の幸福のためには一部の者の生活は破壊されても構わない」という思想だと言わざるを得ません。そのような国には住みたくはありません。
19997	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発依存度0%を望みます。	原発は一度事故が起これば、空間的、時間的、社会的に甚大な被害、影響があります。 福島の原発事故を見て、安全な原発はあり得ないと確信しました。 また、原発が存在している限り、処分できない放射性廃棄物がたまる一方です。 原発0%を決断し、自然エネルギーの開発に全力に取り組むべきです。
19998	個人	その他	50代	女性	ゼロシナリオを強く推して選択します。	足を知って　自然の恩恵とバランスを取って生活できる知恵を活かせばゼロシナリオでいけると信じます。 そして日本のゼロシナリオは世界が教えて欲しい、指導して欲しいテクノロジーになるはずです。 よろしくお願いいたします。
19999	個人	家事専業	40代	女性	原発即廃止希望！	福島からの避難者です。 高校生と小学生のこどもの母親です。 福島以外で生活している人は、原発事故を自分のことと、ほんとうに受け止めるのは難しいのかもしれません。たくさんの方がデモに出てますが、事故のことは想像するしかなく、家に帰れば普段の日常に戻っていけます。 福島での日常・・原発のことを話すことさえタブー、避難した人、しなかった人との人間関係も壊れていきました。日常は、あの日のまま、麻痺してしまい、違和感のあるおかしな色をしています・・・。 政府の人も福島で生活してみればいい！！自分の子供をそこで生活させることができるのでしょうか！？ 原発で働いてる方にも生活があるのは分かりますが、自然エネルギーのための企業にそのまま起用できるようなシステム他、頭のまわる優秀な脳をもっと働かせて、子供たちのためにほんとうになにができるのか、自分の子供たちになに残せていけるのか、もっと真摯に考えてください。 福島の被災者として、声を大にして、 即刻NO.原発！！と心から叫びたいと思います。
20000	個人	無職	60代	男性	原発はいらない。 即、撤廃して欲しいが、それが無理なら10年内に全廃するロードマップを作成し、示して欲しいい。 このままでは日本沈没！！ なぜ行政の頭が原発に固執するのか理解できない。	１）最終処理方法の結論が出てい。（トイレの無い家と言われている） ２）運任せの対処しか出来ないシステムは不要。 ３）破棄までのコストが他の自然エネルギーに比較し桁違いの割高。 　これに原発事故が加算されると天文学的なものになる。 ４）国民は、原発無くなった分の節電に喜んで協力する。